

【表紙】

【提出書類】 有価証券報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2025年6月25日

【事業年度】 自 2024年1月1日 至 2024年12月31日

【会社名】 スヴェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクト
(Svenska Handelsbanken AB (publ))

【代表者の役職氏名】 ヘンリク・アダムソン
(Henrik Adamsson)
ヘッド・オブ・リーガル兼
ヘッド・オブ・トランザクション・マネジメント
(Head of Legal and Transaction Management)

リーゼロッテ・エルフストランド
(Liselotte Elfstrand)
ヴァイス・プレジデント
(Vice President)

【本店の所在の場所】 スウェーデン王国 SE-106 70 ストックホルム クングストラッド
ゴードシュガータン 2
(Kungsträdgårdsgatan 2, SE-106 70 Stockholm, Sweden)

【代理人の氏名又は名称】 弁護士 多賀 大輔

【代理人の住所又は所在地】 東京都千代田区大手町一丁目1番1号
大手町パークビルディング
アンダーソン・毛利・友常法律事務所外国法共同事業

【電話番号】 03-6775-1029

【事務連絡者氏名】 弁護士 森 真幸人
弁護士 高野 聖也

【連絡場所】 東京都千代田区大手町一丁目1番1号
大手町パークビルディング
アンダーソン・毛利・友常法律事務所外国法共同事業

【電話番号】 03-6775-1679
03-6775-1945

【縦覧に供する場所】 該当事項なし。

注記：

(注1) 本書において、別段の記載がある場合を除いて、下記の用語は下記の意味を有するものとする。

「当行」とは、	スヴェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクトをいう。
「当行グループ」とは、	スヴェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクト及びその連結子会社をいう。
「北欧諸国」又は「北欧」とは、	スウェーデン、デンマーク、フィンランド及びノルウェーをいう。
「スウェーデン」とは、	スウェーデン王国をいう。

(注2) 別段の記載がある場合を除き、「スウェーデン・クローネ」はスウェーデン・クローネを、「米ドル」はアメリカ合衆国ドルを、「円」は日本円を、「英ポンド」は英貨ポンドを、「デンマーク・クローネ」はデンマーク・クローネを、「ノルウェー・クローネ」はノルウェー・クローネを、「ユーロ」は欧州連合の機能に関する条約(その後の改正を含む。)に基づき単一通貨を採用する又は採用した欧州連合の加盟国の通貨を指す。2025年5月30日現在(日本時間)、株式会社三菱UFJ銀行が提示した対顧客電信売買相場の仲値は、1スウェーデン・クローネ=15.05円であった。本書におけるスウェーデン・クローネから日本円への換算額は、読者の便宜のためにのみ記載するものであり、スウェーデン・クローネ額が上記レートで日本円に換算されることを示すものと解してはならない。

(注3) 本書中の表における数値が四捨五入されている場合、合計欄の数値は必ずしも関連する各数値の合計と一致しない。

(注4) 本書には、将来の事象、財務及び経営成績並びに将来の市場の状況についての経営陣の現在の予測を反映した、将来の見通しに関する記述が含まれている。「確信している」、「期待している」、「予想している」、「目指す」、「見積もっている」、「意図している」、「見通しである」、「目標としている」、「と思われる」、「可能性がある」、「想定する」、「場合がある」、「予定である」及び「はずである」等の語句又はその他の変化形若しくは類似の用語は、将来の見通しに関する記述であることを明確にすることを意図している。将来の見通しに関する記述は本書中、複数箇所に登場する(「第一部―第3―1 経営方針、経営環境及び対処すべき課題等」から「第一部―第3―4 経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析」までを含むが、これらに限られない。)

将来の見通しに関する記述は、将来起こることも起こらないこともある事象に関連し、またかかる状況に依拠するものであるため、本来的にリスク及び不確実性を伴う。当行グループ及び当行は誠実に、かつ合理的と信じる想定に基づいて、上述の将来の見通しに関する記述を記載したが、かかる将来の見通しに関する記述のいずれも、将来の実績を確約又は保証するものではない。当行グループ及び当行の実際の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フロー並びに当行グループ及び当行が事業を行っている市場の動向は、本書に含まれる将来の見通しに関する記述において明示又は示唆された内容とは大幅に異なる可能性がある。「第一部―第3―1 経営方針、経営環境及び対処すべき課題等」から「第一部―第3―4 経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析」までのすべての将来の見通しに関する記述は、2024事業年度末現在で見積もられたものである。

将来の見通しに関する記述に依拠する場合、読者は、前述の要素、その他の不確定要素及び事象、特に当行グループ及び当行が事業を行う環境における政治的、経済的、社会的及び法律的な要因について慎重に検討すべきである。かかる将来の見通しに関する記述は、それらの記述がなされた日現在における記述に過ぎない。したがって、当行グループ又は当行のいずれも、それらの記述について、新たな情報、将来の事象又はその他の要因にかかわらず、更新又は修正する義務を負わない。当行グループ及び当行は、かかる将来の見通しに関する記述により期待される結果が達成されると表明し、保証し又は予想するものではなく、また、将来の見通しに関する記述は、いずれの場合も、多くの想定されるシナリオのうちの一つを示しているに過ぎず、もっとも可能性の高いシナリオ又は標準的なシナリオと考えられるべきではない。

(注5) 当行は、いかなる場合においても、本書において税制上、法律上又は規制上の助言を行うものではない。

(注6) 当行グループ及び当行の事業年度は暦年である。

第一部【企業情報】

第1【本国における法制等の概要】

日本において得られた判決の効力

外国の裁判所が民事及び商事事件について下した判決のスウェーデンにおける執行可能性は、当該判決の執行可能性がスウェーデンの法律に明示的に定められていること又は判決の相互承認及び執行を定める条約を条件とする。日本とスウェーデンは、民事及び商事事件の判決の相互承認及び執行を定める条約を締結していない。したがって、民事責任に基づいて日本の裁判所が下した判決は、スウェーデンにおいて直接執行できない。

有利な最終判決を得た者が管轄権のあるスウェーデンの裁判所に新規に提訴する場合、その者は日本の裁判所によるかかる最終判決をスウェーデンの裁判所に提出することができる。かかる最終判決は、スウェーデンの裁判所においては、かかる判決が関係する紛争の結果に関する証拠としてしか扱われず、スウェーデンの裁判所は、新規にかかる紛争について審理することができる。

1【会社制度等の概要】

(1)【提出会社の属する国・州等における会社制度】

(i)概要

関係法令及び自主規制

当行のようなスウェーデンで設立された公開有限責任会社である銀行(publikt bankaktiebolag)は、主として、すべての有限責任会社に適用されるスウェーデン会社法(aktiebolagslagen (2005:551))(以下「会社法」という。)、スウェーデンにおける銀行・金融業を規制するスウェーデン銀行・金融業法(lag (2004:297) om bank- och finanseringsrörelse)(以下「銀行法」という。)及び証券業を規制するスウェーデン証券市場法(lag (2007:528) om värdepappersmarknaden)(以下「証券市場法」という。)により規制される。有限責任会社である銀行の年次会計は、信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法(lag (1995:1559) om årsredovisning i kreditinstitut och värdepappersbolag)により規制される。当行はナスダック ストックホルムに上場しているため、ナスダックの上場規則(発行会社のための規則集)及び自主規制の基礎であり、「遵守するか、そうでない場合は説明をする(comply or explain)」の原則に基づくスウェーデンコーポレート・ガバナンス・コード(以下「コーポレート・ガバナンス・コード」という。)も遵守しなければならない。

当行は、スウェーデン金融監督庁(Finansinspektionen)(以下「SFSA」という。)から、銀行法に基づく銀行業を営む免許及びとりわけ証券市場法に基づく証券業を営む免許を取得している。そのため、当行は、SFSAの規則及びSFSAが発表する一般指針の適用を受ける。さらに、当行の子会社の多くは金融機関及び保険会社を規制するスウェーデン及び外国の法律により規制されており、またSFSA又は他の法域における類似機関の監督に服している。当行は、当行が事業を営むすべての市場において、消費者保護をはじめとする広範な規制に服している。

銀行法の規定のうち特筆すべきは、当行の株式を取得しようとする株主の持分が一定の基準(当行の資本又は議決権の10、20、30若しくは50%又は結果的に当行が取得者の子会社となるような数)に達するか若しくはそれを超えることとなる場合、又は株主がその他の方法により当行の経営に重要な影響力を持つこととなる場合には、SFSAの事前の承認が必要であるとする規定をはじめとする、所有及び経営評価に関する規則である。さらに、当行の取締役会の構成員及びその代理並びに経営責任者及び経営責任者代理の任命については、経営評価に関するスウェーデンの規則に基づき、SFSAの承認を得なければならない。

設立

当行は、公開有限責任会社である銀行(publikt bankaktiebolag)である。

有限責任会社の設立には、発起人が特に会社の定款(bolagsordning)を含む設立証書(stiftelseurkund)を作成することを要する。定款は、とりわけ、会社の商号及び事業活動に関する情報を含むことを要する。

設立証書には、会社の株式を引き受ける発起人の名前及び各発起人の引受株式数が記載される。引受株式の支払いは、現金又は現物(apportegendom)によりなすことができる。会社は、会社登記番号を交付するスウェーデン会社登記所(Bolagsverket)(以下「SCRO」という。)に登録することにより設立される。登記の申請は、設立証書の作成後6ヶ月以内にSCROに対してなされなければならない。

非公開有限責任会社の資本金は50,000スウェーデン・クローネ以上、公開有限責任会社の資本金は500,000スウェーデン・クローネ以上であることを要する。一般に、銀行法に従い、銀行はその事業開始にあたり、SFSAからの免許取得時に5百万ユーロ以上の当初資本金を有していなければならない。

定款

定款は、すべての有限責任会社の基本的な統治書類である。定款には、とりわけ、会社の事業内容、資本金及び株主の株主総会出席権が記載される。定款は公的記録上に保存され、SCROにおいて入手可能である。

資本金及び株式

資本金

会社法に従い、公開有限責任会社の資本金は500,000スウェーデン・クローネ以上であることを要する。銀行法には、銀行の資本規模は銀行の事業の範囲及び性質に基づき決定されなければならない旨を定める追加の規定がある。有限責任会社の定款には、資本金の最低額及び最高額を定めなければならない。有限責任会社の現在の登録資本金は公的記録事項であり、SCROにおいて入手可能である。

議決権

有限責任会社の定款に別段の定めのない限り、1株は1議決権を有する。定款には、他の株式の10倍超の議決権を有する種類株式について定めることはできない。当行の定款の下では、A種株式及びB種株式の2種類の株式を発行することができ、A種株式には1株につき1議決権が、B種株式には1株につき10分の1の議決権が付される。

配当

スウェーデン法に基づき、配当は株主総会での承認を得なければならない。配当は、分配可能額の範囲内であることに加えて、事業の性質、範囲及びリスク並びに会社の財務体質、流動性及び財政状態を強化する必要性から課される株主資本の大きさに関する要請に照らして、妥当な範囲内である場合に限られる。さらに、株主は、一般のルールとして、取締役会で提案又は承認された額を上回る額の配当の決定をすることはできない。

スウェーデン法においては、当行の発行済株式総数の10分の1以上を保有する株主には、当行の利益から配当金の支払いを要求する権利がある。かかる要求がなされたら、年次株主総会では、(i)非制限準備金を超える繰越損失の超過額、(ii)法律又は定款により、制限資本に繰入れなければならない額、及び(iii)定款上、株主への配当以外の目的に使用すべきとされている額を控除の上、承認された貸借対照表に従い当期の残存利益の2分の1相当額の配当を決議する。年次株主総会は、当行の株主資本の5%を超える配当を決議する必要はない。さらに、株主総会では、分配可能額を上回る配当又は上述の妥当な範囲を超えた配当を行うことはできない。

株主総会は、有限責任会社における上位機関であり、株主への配当の分配を決定する権利を有する唯一の機関である。

配当は、通常、ユーロクリアを通じて1株毎に現金で支払われるが、現物により支払われることもある(現物配当)。株主総会において決定された基準日において、ユーロクリアが保管する株主名簿に株式所有者として登録されている者が、配当を受領する権利を有する。ユーロクリアを通じて株主と連絡を取ることができない場合も、当該株主は配当金額に係る当行への請求権を保持し、かかる権利は時効によってのみ制限される。請求権が時効になった場合、配当金額は当行が没収する。

当行株式の取引

当行の株式は、ナスダック スtockホルムでの取引が認められている。

ナスダック スtockホルム等の取引所における取引を認められた株式の譲渡は、ユーロクリアのシステムを通じて清算及び決済される。

ライツ・イシュー

既存株主は、スウェーデン法の主要規則として、株式、ワラント及び転換可能証券の新規発行の場合と同様に、その保有株式数に応じて新株式の優先的引受権を有する。但し、株主総会は株主の優先的引受権を制限する決議をすることができる。かかる決議は、投票総数及び総会出席者の保有株式数の各々3分の2以上を保有する株主の賛成がある場合にのみ有効である。さらに、発行される有価証券の対価が現金以外で払い込まれる場合、株主は優先的引受権を有しない。会社又はその子会社が保有する株式には、優先的引受権は付されない。

株主総会、取締役会及び経営責任者

株主及び株主総会

株主は、有限責任会社における最上位の意思決定機関である有限責任会社の株主総会(bolagsstämma)においてその権利を行使する。年次株主総会(årsstämma)に加えて、臨時株主総会(extra bolagsstämma)が招集される場合もある。株主総会は、特に、定款又は資本金の変更及び利益配分を決議し、取締役会の構成員を任命し、取締役会の構成員及び経営責任者の免責を決議し、取締役会の報酬を決議し、経営責任者及び上級経営陣の報酬原則を承認する。

株主総会出席権

当行のような会社の株主名簿はユーロクリアが保管しているが、株主総会の6銀行取引日前の日において株主名簿に登録されており、かつ遅くとも株主総会の4銀行取引日前までに当該名簿に直接登録されている株主であって、株主総会招集通知に記載の日において当行に出席の意思を通知した株主は、株主総会に出席する権利を有する。株主は、本人が直接、代理人により、又は当行の定款により許可されている場合にはデジタルで株主総会に出席することができる。株主は、2名以下の同伴者を同行させることができる。株主は通常、複数の異なる方法により株主総会のための登録をなすことができる。株主総会招集通知には、利用可能な出席方法(電磁的方法による参加の可能性を含む。)並びに出席権を得るための登録及び当行への通知の方法及びその期限が記載されている。

取締役会

銀行法及び会社法に基づき、取締役会は、当行のような会社の組織及び経営につき最終的な責任を負う。年次株主総会は、会長を含む取締役会の構成員を選任し、監査人の選任が予定された場合は、監査人を選任す

る。コーポレート・ガバナンス・コードに従い、会長を含む取締役会の構成員及び監査人の指名は、指名委員会が行うものとする。指名委員会の任命原則は、株主総会において決議される。

SCROが例外を認める場合を除き、スウェーデン法の下では、経営責任者及び半数以上の取締役が欧州経済領域に属する国の居住者であることを要する。有限責任会社の定款は、通常、株主総会で選任された取締役会の構成員の任期を次回の年次株主総会の時までとする旨定めている。株主により選任された取締役会の構成員は、株主総会により随時解任することが可能である。取締役会の欠員は株主総会の決議によってのみ補充される。スウェーデン法の下では、公開有限責任会社の経営責任者は、取締役会会長を務めることができない。さらに、公開有限責任会社である銀行においては、取締役会のすべての構成員につきSFSAの承認を得なければならない。

経営責任者

公開有限責任会社である銀行においては、取締役会は経営責任者を任命しなければならない。会社法に従い、経営責任者は、取締役会が出した指針及び指図に従って会社の日常的な経営につき責任を負う。さらに、経営責任者は、法に従って会社の計算を管理し、健全な資金運営が行われるよう必要な措置を講じなければならない。経営責任者は、SCROに登録される。さらに、公開有限責任会社である銀行においては、経営責任者につきSFSAの承認を得なければならない。

損害賠償責任

会社法に従い、自らの職務の遂行にあたり故意又は過失により会社に損害を及ぼした発起人、取締役会の構成員又は経営責任者は、かかる損害を賠償しなければならない。会社法、適用ある年次報告関係法令又は会社の定款に違反した結果、株主又はその他の者に損害を及ぼした場合も同様である。さらに、有限責任会社である銀行については、銀行法、スウェーデンの金融機関及び投資機関の特別監督に関する法律(lag (2014:968) om särskild tillsyn över kreditinstitut och värdepappersbolag)、資本バッファに関する法律(lag (2014:966) om kapitalbuffertar)並びにEUの所要自己資本規制(EU)575/2013(以下「CRR」という。)に違反した場合も上記と同様である。

損害は、作為又は不作為の性質、損害の程度及び一般的な状況を考慮の上、合理的に調整されることがある(jämkas)。同一の損害につき複数の者が責任を負う場合、それらの者のいずれかの責任が上記に従い調整されない限り、かかる者は連帯して責任を負う。これらの者のいずれかが損害を賠償した場合、かかる者は他の当事者に対して状況に応じて合理的に求償権を行使することができる。

会社への損害に関する訴訟は、株主総会において、過半数又は会社の全株式の10分の1以上を保有する少数株主が、損害に関する訴訟の提起の決議に賛成した場合又は取締役会の構成員若しくは経営責任者の免責の決議に反対した場合にのみ提起することができる。

法定監査人

銀行法に従い、有限責任会社である銀行は、1名以上の監査人を置かなければならず、選任される監査人の1名以上は、認可公認会計士(auktoriserad revisor)であることを要する。

年次計算書類

スウェーデンの会計関連法令は、会計に関する強制法により構成され、そのうち最も重要なものが年次報告法(årsredovisningslagen)及び簿記法(bokföringslagen)である。年次報告法及び簿記法は、会計の一般的な枠組であり、いずれも「一般に公正妥当と認められた会計原則」を定めるものである。信用機関は、信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法の適用を受ける。

規制市場(ナスダック スtockホルム等)における取引を認められた株式の発行会社は、IFRSに従って連結年次計算書類を作成しなければならない。

年次株主総会においては、損益計算書及び貸借対照表の承認決議がなされ、グループ全体の財務書類を作成しなければならない親会社の年次株主総会においては、連結損益計算書及び連結貸借対照表の承認決議がなされる。前事業年度の年次報告書は、当該年次報告書に対応すべき年次株主総会よりも前に監査人に提出されなければならない。

会社は、すべての事業年度につきSCR0に年次報告書を提出しなければならない。その結果、年次報告書は一般に閲覧可能なものとなる。

(ii)規制環境及び資本基盤

規制環境

スウェーデン金融監督庁

1世紀以上の間、スウェーデンにおける銀行業は政府の厳密な検査及び管理に服してきた。SFSAは、スウェーデンの金融機関の監督当局である。SFSAの監督責任は、銀行及びその他の金融機関から、保険会社、証券業者、ファンドの運用会社及びナスダック スtockホルムにまで及んでいる。かかる監督責任は、スウェーデンの銀行の国外支店にも及ぶ。SFSAの総合的な目的は、金融システムの安定化及び効率性に貢献するとともに消費者保護を促進することである。

SFSAの監督は、とりわけ、自己資本比率、大口エクスポージャー及び財務書類に関する報告書の分析、並びに各銀行の業務がスウェーデンの銀行法規を遵守することを確実にするための実地検査を通して行われる。

SFSAは法律により授権された規制権限を有しており、これには、会計規制を発令し、銀行に対し月次財務書類及び様々なリスク報告書の提出を求め、各銀行の業務が銀行業務を規制する法律及び各銀行の定款を遵守することを確実にするための定期的な検査を実施する権限が含まれる。SFSAは、各銀行の年次株主総会において株主により選任される監査人とともに当該銀行の財務書類及び業務運営を調査する1名以上の監査人を任命する権限を有する。SFSAは、2008年度から2024年度の会計年度については当行の監査人を任命しなかった。

監督機能に加えて、SFSAは、スウェーデンの金融市場で事業を営む会社に対する義務的規制及び一般指針の両方を公表している。SFSAは、CRD IV(以下で定義する。)に基づく資本バッファを決定し、適用する主な責任を負い、マクロ・プルーデンス監督において中心的役割を果たす。

銀行法は、すべての銀行に対し、SFSAの与える免許に基づいて営業するよう求めている。かかる免許は無期限であるが、SFSAによる制限付取消権に服する。

当行の存続期間は無期限である。

リクスバンク

リクスバンクは、スウェーデンの独立した中央銀行であり、スウェーデン議会(リクスダーグ)の自律的機関である。これは、リクスダーグがリクスバンクに権限を付与し、リクスバンクが担う任務を決定するが、リクスバンクにおける決定は、リクスバンクの執行委員会により独立して行われることを意味する。リクスバンクは、金融政策を決定し、スウェーデンの為替政策の実施に責任を負い、スウェーデンの通貨準備を管理し、一定の場合における銀行への最後の貸手として待機し、また金融の安定を守るためその他の措置を講じる可能性がある。また、リクスバンクは、銀行間の決済手続を行う。

スウェーデン国債局

スウェーデン国債局(Riksgäldskontoret)(Swedish National Debt Office、以下「SND0」という。)は、銀行サービスを中央政府に対して提供し、借入を行い、中央政府の債務を管理し、政府保証及び貸付を提供する。当局はまた、預金保険制度及び投資家保護制度の責任を負い、スウェーデンの破綻処理機関でもある。

所要自己資本

スウェーデンの自己資本比率の枠組は、CRR(その後の改正を含む。)及び指令2013/36/EU(以下「CRD IV」又は「CRD指令」といい、その後の改正を含む。)に基づいており、2010年度にバーゼル委員会が公表した信用機関の資本基準の強化及び最低流動性基準の設定を目的とする、資本及び流動性の要件の枠組(いわゆる「バーゼルIII」枠組)をEEAにおいて実施している。また2011年1月13日に、バーゼル委員会は、破綻時の損失吸収能力を確保するための自己資本規制に関する最低要件を発表した。

CRDは規則及び規制の一群であり、国内法化のために一連の要件を課しており、その多くは数年をかけて段階的に導入される予定である。しかしながら、CRRは各加盟国に直接適用されるものの、多くの重要な解釈上の問題は、拘束力のある技術的基準を通じて、又は関連規制当局の裁量に委ねて、解決される必要がある。

2014年1月1日以降、スウェーデンの自己資本比率の枠組はCRR及びCRD IVに基づいている。2014年1月1日から、CRRはスウェーデンの法律となり、CRD IVはスウェーデンの法律及びSFSA規則の改正により、2014年度にスウェーデンにおいて施行された。CRR及びCRD IVは、EBAが発展させ、欧州委員会が採択した一連の技術基準によって補完されている。

規則改正

それぞれ、2019年4月16日に欧州議会が、2019年5月14日にEU理事会が、CRD V指令及びCRR IIを採択した。CRR IIは、レバレッジ比率、正味安定調達比率、自己資本及び適格債務の基準、カウンターパーティー・信用リスク、市場リスク、中央清算機関へのエクスポージャー、集団投資事業へのエクスポージャー、大口エクスポージャー、報告及び開示の要件に関してCRRを改正し、CRD V指令は、適用除外の企業、金融持株会社、混合金融持株会社、報酬、監督措置及び監督権限並びに資本保全措置に関してCRD指令を改正する。CRR及びCRD指令の改正版は、2019年6月27日に効力が発生した。さらに、CRR IIには、2022年6月28日以降、規制市場における取引を認められた有価証券を発行する大手機関のESGリスクに関する情報を開示する義務が含まれている。またCRRの市場リスク要件は、バーゼル銀行監督委員会の要件に完全に沿うように改正され、2022年1月1日に効力が発生した。

これらの自己資本の追加基準の改正は、以前関連規制当局が適用したアプローチとは異なり、スウェーデンの銀行の全体的な所要自己資本の水準及び構成の変更に通じる可能性がある。当該改正は、第二の柱に基づく資本要件(以下「P2R」という。)と第二の柱の指針(以下「P2G」という。)を明確に区別した。P2Rは、監督当局が所定の基準に基づき個々の機関に課することができる追加の最低要件により構成される。これは、第一の柱の最低要件より上位に、また結合バッファー要件より下位に配置され、第一の柱によりカバーされない又は十分にカバーされないリスクに対応する。結果として、当該結合バッファー要件にリンクする、配当に対する自動的な規制が、関連規制当局により現在導入されている第二の柱のアプローチの前に発動される可能性がある。金融システム上のリスク及びマクロ・プルーデンスのリスクに対する資本アドオンの適用は、明確にP2Rから除外されている。一方、P2Gは金融機関に対し、将来的な又は遠隔的な状況に対処するために、第一の柱に基づく資本要件、P2R及び結合バッファー要件を超えた資本を保有することを要求するための所轄官庁の能力について言及している。当該改正によると、この指針は資本ターゲットを構成し、当該結合バッファー要件の上位に配置されている。

CRD指令の改正は、EU加盟国の国内法において施行される必要があったが、3%の拘束力のあるレバレッジ比率の要件を含むCRRの改正は、すべてのEU加盟国で直接適用された。CRDの改正を施行するスウェーデンの法令変更は、2020年12月29日にスウェーデンにおいて効力が発生したが、ほとんどの変更が同日から適用された一方で、施行された変更の一部は次の期日から適用される(また、CRR IIに関連するスウェーデンの法令変更は2021年6月28日から適用された。)。欧州議会及びEU理事会により採択された最近の変更は、2024年6月19日付の官報に掲載された。ESGリスクに関する新たな要件を含むこの提案は、2025年度に効力が発生する予定である。とりわけ、新たな規則は、信用リスク及び信用評価調整リスクに関する既存のCRRの規定を大幅に改正し、現行のオペレーショナル・リスクの枠組を完全に置き換え、現在は拘束力のある自己資本規制上の義務としての報告のみが適用されている市場リスクに関して規定を課す。新たな規則は、国際的な健全性基準と直接関連のない事項にも適用される可能性が高い。これらは、銀行の主要人物に適した新たな枠組及びESGリスクに関する措置を含む可能性がある。しかし、市場リスクの枠組の改正は1年延期された。当行は、初日の影響はリスク・エクスポージャー額のわずかな減少にとどまると見積もっている。しかしながら、CRDの枠組や要件が当行に対してどのように適用されるかは、依然として一定の不確実さを残している。

自己資本比率

自己資本比率の枠組に従って、当行グループは、信用リスク、市場リスク及びオペレーショナル・リスクに関するリスク加重エクスポージャー額合計の4.5%以上の普通株式等Tier 1資本、6%以上のTier 1資本及び8%以上の自己資本合計を保有しなければならない。

当行グループは、最低所要自己資本を満たす資本を維持することに加え、スウェーデンにおいては2.5%の資本維持バッファ、2.5%までのカウンターシクリカル・バッファ、「その他の金融システム上重要な機関(0-SII)」として指定されたことに起因する1%のバッファ及び3%のシステミック・リスク・バッファの合計により構成される結合バッファ要件に従うための普通株式等Tier 1資本も維持しなければならない。ノルウェーにおけるエクスポージャーは、4.5%のシステミック・リスク・バッファの対象である。例えば配当に対する規制を回避するためには、定められた結合バッファ要件を満たさなければならない。

スウェーデンにおいては、最大2.5%のカウンターシクリカル・バッファが適用され得る。スウェーデン国外のエクスポージャーに対するカウンターシクリカル・バッファ要件に関して、SFSAは、その他の国の所轄当局がその国のエクスポージャーに関して決定する2.5%までのバッファ水準を認めることとなる。本有価証券報告書提出日現在、スウェーデン及び英国において適用されているカウンターシクリカル・バッファは2%である。一方、ノルウェーにおいては2.5%のカウンターシクリカル・バッファが適用されている。

上記の第一の柱の要件と称される要件に加えて、当行グループは、P2Rに基づく要件のための資本を保有していなければならない。これらの要件は、各金融機関に特有のものであり、監督機関により決定される。集中リスク、年金リスク、非トレーディング勘定における金利リスク等の様々な要因が第二の柱において評価される。SFSAはまた、P2Gに基づく資本バッファを保有する必要性を算定している。かかる指針が資本維持バッファを上回らないと推定される限り、資本計画バッファにより当行グループに対し資本費用がこれ以上発生することはない。P2Gは、監督審査及び評価プロセスの一環として、SFSAにより決定される。

スウェーデンの住宅ローン及び不動産会社へのエクスポージャーは、CRRの第458条に基づき、第一の柱におけるリスク加重のフロアに服している。かかるフロアはリスク加重エクスポージャー額に直接影響を与え、したがって当行グループの最低所要自己資本に反映されている。SFSAは、IRB手法によってカバーされるスウェーデンの住宅ローンのエクスポージャーに対して、25%の金融機関特有の第一の柱におけるリスク加重フロアを課している。不動産会社へのエクスポージャーは、スウェーデンにおける商業用不動産を担保とするエクスポージャーについては35%、スウェーデンにおける住宅用不動産を担保とするエクスポージャーについては25%のリスク加重のフロアに服している。

さらに、ノルウェーの住宅ローンは、すべての住宅用及び商業用不動産へのエクスポージャーの第一の柱における平均リスク加重に対し課される、それぞれ20%及び35%のフロアの対象になる。ノルウェー当局は、2025年7月1日以降、住宅用不動産に対する住宅ローンのフロアを25%に引き上げることを決定した。当行のエクスポージャーにこの引上げを反映させるためには、スウェーデンにおいても同様の決定がなされる必要がある。

当行グループは、規制上の最低資本及びバッファ要件に加えて、自己資本比率の内部評価を実施しなければならない。かかる内部評価においては、すべてのリスク及び所要自己資本を公平な方法で評価する。2007年のバーゼルⅡの導入以降、自己資本比率の内部評価の過程において、当行グループは、第一の柱に基づき正式に求められているよりもかなり多くの資本を保有している。これは、資本の内部評価が経済資本(以下「EC」という。)及び保守的なストレステストの計算に基づくことに起因しており、通常の景気のサイクルにおける資本供給が、ストレス条件下で発生する可能性のある潜在的な損失及び所要自己資本の変動を埋め合わせるのに十分なものでなければならないことを示している。第二の柱の枠組におけるすべての資本費用は、包括的な資本評価、すなわち当行の所要自己資本へのSFSAの個別評価において行われる。これは第一の柱において設定された最低所要自己資本に追加されたもので、P2Rの費用は、例えば配当に対する自動的な規制が効力を生じる水準に直接影響を及ぼすが、一方でP2Gの費用は影響を及ぼさない。

2024年に採用された当行グループの最新の資本方針は、自己資本比率の内部評価に関するガイドラインを規定している。普通株式等Tier 1比率に関して、当行は、通常の状況下においてSFSAから当行に対して伝達された普通株式等Tier 1資本要件を1%から3%上回ることを目標にしている。

2024年12月31日現在、普通株式等Tier 1比率は18.8%であった。当行の評価では、同日のSFSAの当行グループに対する普通株式等Tier 1資本要件は14.85%(P2Gの0.5%を含む。)であった。したがって、当行グループの普通株式等Tier 1比率は目標範囲を大幅に上回った。

2021年6月28日以降、当行グループは3%の拘束力のあるレバレッジ比率の要件の対象となっている。自己資本比率は、標準的アプローチにおいて定義された信用換算係数を用いて再計算された貸借対照表に記載しない特定の項目を含む資産合計及び自己資本の規制上の調整に関するTier 1資本として定義される。最低要件は、0.5%のP2Gにより補完されている。

2024年12月31日現在の当行グループの自己資本についての詳細情報については、下記「第6-1-(1) 連結財務書類-注記G52」を参照のこと。

「バイルイン」を含む金融機関及び投資会社の再生及び破綻処理

2014年5月6日、EU理事会は、金融機関及び投資会社の再生及び破綻処理に関するEU全体にわたる枠組の設定を定める指令(以下「BRRD」という。)を採択した。BRRDは、金融の安定を守り、納税者の損失エクスポージャーを最小限に抑えるために、当局に対して金融危機に先制的に対応するための一連の手段及び権限を与えることを目的としている。BRRDは、スウェーデン破産処理法(Sw. lag (2015:1016) om resolution)を通じて、2016年2月1日にスウェーデンにおいて施行された。

この指令に基づき当局に与えられた権限は、予防権限、早期介入権限及び破綻処理権限に分類される。SFSA及びSND0は、スウェーデンにおいてBRRDを実施する国内法に基づき権限が与えられる。破綻処理権限を行使する主な責任は、破綻処理機関であるSND0が負う。最終的に、当局は、例えば民間の買主又は民間部門の取り決めまでの間、公的管理事業体(いわゆる「ブリッジ金融機関」)に銀行を譲渡することができる。この指令は、また、損失を銀行の株主及び債権者に対し負担させることを確実にするために、株式資本の削減並びに未払債務(資本基盤に加算される債務及びその他の債務の両方を含む。)の削減及び／又は銀行の資本への転換を行う広範な権限を含んでいる。このメカニズムを、一般的に「バイルイン」という。破綻している銀行のかかる債務のほとんどが、バイルインの対象となる(付保預金及び担保付負債等の一定の例外を除く。)。BRRDの実施の

一つの側面として、2018年1月1日から、自己資本及び適格債務の最低基準(MREL)(以下で定義する。)が導入された(下記「自己資本及び適格債務の最低基準(MREL)」を参照のこと。)

ベイルイン・ツールは、破綻しているか又は破綻寸前である機関の資本再構築のために用いられ、当局が、破綻処理プロセスを通じて当該機関を再建し、その組織改編及び再編後の持続性を回復させることを可能にする。その結果、ベイルイン・ツールは、債務(日本で発行された未償還の社債を含む。)の保有者に損失を負担させるために利用することができる。これにより債務(日本で発行された未償還の社債を含む。)の保有者は、その投資額の一部又は全部を失う結果になる可能性がある。さらに、当局はベイルイン・ツールを用いて、とりわけ、債務証券にかかる債務者としての発行体を置換え又は代替し、債務証券の条件を変更(満期の変更及び／若しくは支払われるべき利息の金額の変更並びに／又は支払の一時停止の強制を含む。)する可能性がある。したがって、かかる権限の行使又は行使の提案若しくは予測は、発行済みの社債(日本で発行された未償還の社債を含む。)の価値に重大な悪影響を及ぼす可能性がある。

2019年度初め、欧州連合の共同立法機関(閣僚理事会及び欧州議会)は、現行規則の一定の明確化、改正及び追加(以下、合わせて「BRRDの改正」という。)に関して合意した。新たに合意された当該規則は、自己資本規制及び破綻処理規制から構成される。その目的は、金融の安定性を高め、欧州連合内の銀行の融資能力を向上させ、銀行が欧州連合内の資本市場の深化及び流動化に貢献することをより容易にすることである。さらに、この改正は、TLACに関する国際的に合意された原則がEUの規則に確実に反映されることを目指している。金融機関及び投資会社の損失吸収能力及び資本再構築能力に関するBRRDの改正は、指令2014/59/EUを改正する2019年5月20日付の欧州議会及び理事会の指令(EU)2019/879の方式により、2019年6月7日に欧州連合官報において公表された。BRRDの改正版は、2019年6月27日に効力が発生した。BRRDの改正を施行するスウェーデンの法令変更は、2021年7月1日に効力が発生した。

BRRDに基づき、スウェーデンの破綻処理法は、当局による将来的な破綻処理措置に資金を供給することを目的とした破綻処理基金の積立てに各機関が貢献するよう規定している。各機関の破綻処理基金への出資金は、破綻処理のための資金調達における事前積立てに関連する欧州委員会委任規則(EU)2015/63に規定された手法を用いて計算される。これは実際には、ある機関の出資金が、とりわけそのリスク・エクスポージャー、資金源の多様性、及び金融システム又は経済の安定性における当該機関の重要性を考慮した当該機関のリスク・プロファイルに基づいて決定されることを意味する。かかる委任規則は、出資金の計算方法を決定するが、その金額については定めていない。BRRDの最低要件に基づき、出資額は各EU加盟国により決定される。

2020年1月1日以降、スウェーデンの破綻処理基金への出資金は、0.05%の年間手数料から成る。スウェーデンの破綻処理基金の準備金が、対象となるすべての預金(すなわち、スウェーデンの預金保護スキームの対象となる預金)に対し3%を超える場合、各機関は年間手数料という形での出資金は支払わない。

自己資本及び適格債務の最低基準(MREL)

BRRDの実施に伴い、欧州の銀行は自己資本及び適格債務の最低基準(以下「MREL」という。)を満たすため、ベイルインの実施が可能となるリソースを保有することが求められている。MRELは、SND0により、スウェーデンの法律並びに関連するEUの規則及び規制において定められた枠組において決定される。MRELは、損失吸収額及び資本再構築額の合計により構成され、どちらもリスクベース及びノン・リスクベースのエクスポージャー指標として計算される。当該基準の一部は、通常の上位債務に劣後する債務及び自己資本によって満たされなければならない。

2021年10月13日、SND0は、銀行のためのMRELの新たな枠組を発表した。MRELの計算のためのモデルにより、各銀行が保有すべき自己資本及び適格債務の量、債務の割合、並びに基準を満たすために使用される債務の種類が決定された。

当該枠組によれば、システム上重要な銀行に対するリスクベースの所要基準の合計は、1)CRRに基づく第一の柱及び第二の柱の最低基準の合計に相当する損失吸収額、並びに2)CRRに基づく第一の柱及び第二の柱の最低基準の合計に相当する資本再構築額並びに市場の信頼区間のバッファの合計をリスク・エクスポージャー額合計で除して算出される。対応するリスクベースの劣後要件は、所要基準の合計と同様に算出されるが、市場の信頼区間のバッファは含まない。

ノン・リスクベースの所要基準の合計は、百分率で表され、1)CRRに基づく第一の柱及び第二の柱のレバレッジ比率の最低基準の合計に相当する損失吸収額、並びに2)同額に相当する資本再構築額の合計をレバレッジ比率のエクスポージャー指標で除して算出される。ノン・リスクベースの劣後要件は、所要基準の合計に等しい。

劣後要件は経過措置の対象となり、銀行は2024年度までに基準を満たすため、劣後債務の金額を徐々に増加させなければならない。

最低基準は、SND0及び関連規制当局により策定され、2024年12月20日に発表された当行グループの破綻処理計画に定められている。

当行グループの2024年度のMRELの基準は、連結勘定のリスク加重エクスポージャー額の合計の27.1%、レバレッジ比率6.0%に相当する。かかる基準は、損失吸収額及び資本再構築額により構成される。MRELの基準のうち、上位債務に劣後する債務及び自己資本によって満たされる必要のある部分は、リスク加重エクスポージャー額の合計の20.0%、レバレッジ比率の6.0%に相当する。

大口エクスポージャー

信用機関及び投資会社の健全性要件に関する2013年6月26日付欧州議会・欧州理事会規制CRR並びに修正規制(EU)648/2012に基づき、顧客又は関連するグループ顧客に対する金融機関のエクスポージャーが当該金融機関のTier 1資本の10%を超えると、かかるエクスポージャーは「大口」とみなされる。かかるエクスポージャーは、所轄官庁に報告されなければならない。金融機関はまた、自身の大口エクスポージャーが「Tier 1資本の10%を超えるエクスポージャー」という定義による大口エクスポージャーには当てはまらない場合でも、大口エクスポージャーの上位20件を報告するよう求められる場合がある。金融機関はまた、他の金融機関に対する大口エクスポージャー上位10件及び規制の枠組の外で銀行業務を行うシャドーバンキングに対する大口エクスポージャー上位10件を報告しなければならない。

これらの規制の下では、1人の顧客又は関連顧客グループに対するエクスポージャーが金融機関のTier 1資本の25%を超えることは認められない。一定の場合には、これを下回る上限が適用される。金融機関が規則を遵守しない場合、所轄官庁は、当該金融機関に是正を命じることができる。かかる命令は、罰金を伴うことがある。

スウェーデン国内預金保証

EU指令を受け、スウェーデンは、預金保証法(lag (1995:1571) om insättningsgaranti)の可決により1996年に預金保護スキームを確立した。スキームの対象となる各金融機関は、かかるスキームに基づいて行われる可能性のある支払いの原資となる基金を維持するために、関連する保証機関(SND0)に年間手数料を支払わなければならない。その後、欧州及びスウェーデンのそれぞれのレベルにおいて預金保護スキームについて一定の改正があり、スウェーデン国内預金保証に基づく保証の上限額は、現在、1,050,000スウェーデン・クローネである。しかしながら、保証の額は、預金保証法に記載のとおり、住宅用不動産の売却又はその他の「ライフ・イベント」に関連した預金については一時的に引き上げられ、5百万スウェーデン・クローネとなっている。かかる保証は、その他の銀行、証券会社、保険会社、年金ファンド及び公的機関を除くすべての分野の預金顧客に

適用される。保証には一定の制限があり、保険契約、有価証券による貯蓄又は個人年金貯蓄制度等はその対象ではない。

スウェーデンの金融制度安定化計画

2008年、スウェーデンは、スウェーデンの金融制度の安定性を高め、世界金融危機がスウェーデン経済に及ぼす悪影響に対処するため、スウェーデン政府金融機関支援法(lag (2008:814) om statligt stöd till kreditinstitut)の可決により安定化基金を設立した。金融機関は、安定化基金に年間手数料を支払ってきた。BRRDのスウェーデンにおける施行に関連して、スウェーデン政府金融機関支援法は廃止され、スウェーデン破産処理法((Sw. lag (2015:1016) om resolution)(危機管理条項を含む。))及びスウェーデン予防的状態支援法(Sw. lag(2015:1017) om förebyggande statligt stöd till kreditinstitut)(安定した金融機関への支援に関する条項を含む。))に置き換えられた。この破産処理法に基づき、危機的状況にある銀行への対処の財源は、第一に、ペイルイン等を通じて株主及び債権者が負担する資本再構成のための損失及び費用によってまかなわれる。しかしながら、特別な状況下においては国家的な支援が認められる。破産処理準備金がこの目的のために設定され、2016年から安定化手数料は、破産処理準備金手数料に置き換えられた。したがって金融機関からの手数料は、今後、安定化基金の代わりに破産処理準備金に寄与することとなる。現行の安定化基金の一部は、破産処理準備金に移された。残りの安定化基金は、予防的状態支援法に基づく予防的状態への支援に使用されることとなる。

マネーロンダリング及びテロリズムへの資金供与

スウェーデンを本拠地とするすべての銀行及び金融市場機関は、マネーロンダリング及びテロリズムへの資金供与を防ぐことを目的としたスウェーデンの国内法に服している。スウェーデン・マネーロンダリング及びテロリズムへの資金供与対策法(Sw. lag (2017:630) om åtgärder mot penningtvätt och finansiering av terrorism)は2017年8月2日に効力が発生し、EUの第4次マネーロンダリング指令(EU指令2015/849)が施行された。当該法律は銀行及び金融機関がマネーロンダリング活動又はテロリズムへの資金供与を目的とした金融システムの悪用を防止するための措置を実施することを求めるとともに、疑わしい取引をスウェーデン国家警察局に通報することをこれらの機関に求めている。EUの第4次マネーロンダリング指令(EU指令2015/849)の導入以降、EUではさらなる改正が行われ、それに伴いスウェーデン・マネーロンダリング及びテロリズムへの資金供与対策法も更新された。

(2) 【提出会社の定款等に規定する制度】

以下は、2024年3月20日の年次株主総会において採択された当行の定款の抜粋である。

資本金及び株式数

当行の資本金は、2,325,000,000スウェーデン・クローネ以上、9,300,000,000スウェーデン・クローネ以下とする。

株式数は、1,500,000,000株以上、6,000,000,000株以下とする。

A種株式及びB種株式の2種類の株式を発行することができる。A種株式の発行可能株式総数は6,000,000,000株であり、B種株式の発行可能株式総数は150,000,000株である。

A種株式は1株につき1議決権が付され、B種株式は1株につき10分の1の議決権が付される。

増資に際する株主の権利

当行が、現金による払込み又は債務の相殺により、新たにA種株式及びB種株式を発行することを決定した場合、A種株式及びB種株式の保有者は、従前の保有株式数の割合に応じて同種の新株を引き受ける優先権(第一優先権)を有する。第一優先権により引き受けられなかった株式は、すべての株主に対し引受けの募集が行われる(第二優先権)。かかる募集株式数が第二優先権による引受けに不足した場合、株式は引受人の保有株式数の割合に応じて分配されるか、また、これが不可能な場合は抽選により分配される。

当行が、現金による払込み又は債務の相殺により、A種株式又はB種株式のいずれか一方のみを発行することを決定した場合、すべての株主はその保有株式がA種株式であるかB種株式であるかにかかわらず、従前の保有株式数の割合に応じて新株を引き受ける優先権を有する。

当行が、現金による払込み又は債務の相殺により、ワラント又は転換可能証券を発行することを決定した場合、株主は、ワラントの行使によりその新たな引受けの対象となる株式にかかる発行が適用される場合と同様にワラントを引き受ける優先権を有し、又は転換可能証券の転換により発行される株式にかかる発行が適用される場合と同様に転換可能証券を引き受ける優先権を有する。

上記は、当行が株主の優先権を排除して現金による払込み又は債務の相殺による株式発行を決定する機会を制限することを示唆するものではない。

取締役

法律に基づき株主総会以外の者により任命される取締役に加え、取締役会は8名以上15名以下の取締役に構成されるものとする。

監査人

法律に基づき株主総会以外の者により任命される監査人に加え、当行は1名若しくは2名の監査人及びこれに応じた数の代理監査人、又は1社若しくは2社の登録監査法人を置くものとする。

株主の株主総会出席に関する権利

会社法に従った議決権登録が株主総会の4銀行取引日前に行われることを考慮し、株主総会に参加を希望する株主は、総会の6銀行取引日前の状況を示した株主名簿全体の写しに記載されていなくてはならず、また、総会の招集通知に指定された日にちまでに当行本店に通知を行わなくてはならない。日曜日、その他の祝日、土曜日、夏至祭前日、クリスマスイブ又は大晦日を当該日として設定してはならず、また、総会から5営業日より前に設定してはならない。

株主は最大2名のアドバイザーを帯同することができるが、前段落に記載の要領でアドバイザーの人数を通知していた場合に限る。

株主総会の議長

株主総会は、取締役会会長又は当該目的のために取締役会が任命した者により開会される。

株主総会の議長は出席株主により選任される。

郵便投票

取締役会は、会社法に記載された手順に従い株主が総会に先立ち郵送により議決権を行使する権限を有することを、かかる総会に先立ち決定することができる。

年次株主総会

以下の項目が、年次株主総会の議題となる。

1. 総会の議長の選任
2. 議決権行使者リストの作成及び承認
3. 議題の承認
4. 2名の議事録署名者の選任
5. 総会招集の適法性の判断
6. 年次計算書類及び監査報告書並びに連結年次計算書類及び連結計算書類に対する監査報告書の提示
7. 決議事項
 - a) 損益計算書及び貸借対照表並びに連結損益計算書及び連結貸借対照表の承認
 - b) 承認済み貸借対照表に基づく当行の利益又は損失の処分
 - c) 取締役及び最高経営責任者の責任免除
8. 取締役並びに、適用ある場合、監査人及び代理監査人の員数の決定
9. 取締役及び、適用ある場合、監査人の報酬の決定
10. 取締役並びに、適用ある場合、監査人及び代理監査人又は登録監査法人の選任

総会の管轄に服するその他の事項は、会社法又は定款に従うものとする。

2【外国為替管理制度】

1989年以降、スウェーデンにおいて有効な外国為替管理制度は存在しない。スウェーデン政府は、スウェーデン為替・クレジット規制法(lag (1992:1602) om valuta - och kreditreglering)により、スウェーデンが戦争中の場合又は戦争、戦争の脅威、深刻な事故若しくは特に大規模な短期資本移動による例外的な状況が存在する場合は、リクスバンクと協議の上で、外国為替管理を実施する権限を与えられている。また、スウェーデン政府は、外国為替管理が導入された場合、リクスバンクの要請により信用管理を実施する権限を与えられている。かかる管理の実施に関する一切の決議は、承認のために、決議から1ヶ月以内にスウェーデン議会に提出されなければならない。定められた期間内にかかる提出がなされない場合、当該決議はその効力を失う。

3【課税上の取扱い】

(1)スウェーデンにおける課税上の取扱い

スウェーデンの租税

以下の概要は、スウェーデンの税法上スウェーデンの居住者とはみなされない当行によって日本で発行された社債(以下「本社債」という。)の所持人に関する一定のスウェーデンの課税上の影響について要約したものである。当該概要は、本有価証券報告書の日付現在有効なスウェーデンの法律に基づいており、一般的な情報提供のみを目的としている。当該概要は、本社債が貯蓄投資勘定(investeringssparkonto)又は養老保険(kapitalförsäkring)において保有される場合、本社債の削減若しくは転換の課税上の影響、かかる削減若しくは転換を行う関連規制当局の能力の存在、又は利息の支払人等の報告義務に関する規則についてはとりわけ対応していない。さらに、当該概要は、外国税の控除にも対応していない。投資家は、各々の個別の状況に応じて、スウェーデンの租税並びに本社債の取得、保有及び処分に係るその他の課税上の影響(二重課税回避のための租税条約の適用可否及び影響を含む。)について、専門の税務アドバイザーに相談すべきである。

スウェーデンの税法上居住者でない本社債の所持人

本社債の所持人に対する元本金額又はスウェーデンの税法上利息とみなされる金額の支払いについては、スウェーデンの所得税は課税されない。但し、かかる所持人が(i)スウェーデンの税法上居住者でなく、かつ、(ii)本社債が有効に関連性を有する恒久的施設をスウェーデン国内に有しない場合に限る。

スウェーデンの税法上居住者でない本社債の所持人に対する元本又はスウェーデンの税法上利息とみなされる金額の支払いについては、スウェーデンの源泉徴収税又はスウェーデンの課税控除は適用されない。

スウェーデンの税法上居住者であった本社債の所持人

本社債が株式として課税される有価証券とみなされる場合、処分若しくは償還が行われた暦年中又は処分若しくは償還が行われた年に先立つ10暦年間のいずれかの時点においてスウェーデンにおける永住又は継続した居住により、税法上スウェーデンの居住者であった個人については、当該本社債の処分又は償還に際し、スウェーデンのキャピタルゲイン税が課される。しかしながら多くの場合、当該規則の適用は、適用ある二重課税回避のための租税条約により全面的又は部分的に制限されている。

(2)日本における課税上の取扱い

- (i)日本の居住者が支払いを受ける本社債の利息は、日本の租税に関する現行法令(以下「日本の税法」という。)上20.315%(所得税、復興特別所得税及び地方税の合計)の源泉所得税を課される。さらに、日本の居住者は、申告不要制度又は申告分離課税を選択することができ、申告分離課税を選択した場合、20.315%(所得税、復興特別所得税及び地方税の合計)の税率が適用される。日本の内国法人が支払いを受ける本社債の利息は、日本の税法上15.315%(所得税及び復興特別所得税の合計)の源泉所得税を課される。当該利息は当該法人の課税所得に含められ、日本の所得に関する租税の課税対象となる。但し、当該法人は当該源泉所得税額を、一定の制限の下で、日本の所得に関する租税から控除することができる。
- (ii)本社債の譲渡又は償還による損益のうち、日本の居住者に帰属する譲渡益又は償還差益は、20.315%(所得税、復興特別所得税及び地方税の合計)の税率による申告分離課税の対象となる。但し、特定口座のうち当該口座内で生じる所得に対する源泉徴収を日本の居住者が選択したもの(源泉徴収選択口座)における本社債の譲渡又は償還による所得は、確定申告を不要とすることができ、その場合の源泉徴収税率は、申告分離課税における税率と同じである。日本の内国法人に帰属する譲渡損益又は償還差損益は当該法人のその事業年度の日本の租税の課税対象となる所得の金額を構成する。
- (iii)日本の居住者は、本社債の利息、譲渡損益及び償還差損益について、一定の条件で、他の債券や上場株式等の譲渡所得、利子所得及び配当所得と損益通算及び繰越控除を行うことができる。
- (iv)本社債に係る利息及び償還差益並びに本社債の譲渡により生ずる所得で、日本に恒久的施設を持たない日本の非居住者及び外国法人に帰属するものは、日本の所得に関する租税は課されない。

4【法律意見】

当行の法律顧問であるマルティン・ウェイストソン氏より、大要、以下の趣旨の法律意見書が出されている。

- (イ)当行は、スウェーデン法に基づく公開有限責任会社である銀行として適法に設立され、かつ有効に存続しており、本書に記載された事業を営み、その財産を所有及び運用するすべての権限及び権能を与えられている。
- (ロ)本書中のスウェーデンの法令に関するすべての記述は、すべての重要な点において真実かつ正確である。

第2【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

連結－当行グループの5年間の概要

連結損益計算書^{1, 3}

(単位：百万スウェーデン・クローネ)

	2024年度	2023年度	2022年度	2021年度	2020年度
純利息収益	46,841	47,578	36,614	30,321	29,963
純手数料及びコミッション収益	11,726	11,139	10,981	11,458	9,670
金融取引による純損益	3,103	2,661	1,540	1,699	1,217
保険リスク				179	194
保険事業による純損益	422	493	-11		
その他配当金収益	16	3	17	2	53
関連会社及びジョイント・ベンチャーの持分利益	27	51	-13	63	18
その他収益	209	325	1,246	555	137
収益合計	62,345	62,249	50,375	44,277	41,252
人件費	-15,731	-13,642	-13,040	-12,452	-13,907
その他費用	-7,474	-7,796	-6,526	-5,577	-5,245
不動産及び器具備品並びに無形資産の 減価償却費、償却費及び減損費用	-2,004	-1,743	-1,646	-1,814	-1,775
費用合計	-25,209	-23,182	-21,212	-19,843	-20,927
信用損失及び規制関連費用控除前利益	37,136	39,067	29,163	24,434	20,325
正味信用損失	601	-141	-47	-43	-649
不動産及び器具備品並びに無形資産の処分損益	13	20	24	14	5
規制関連費用 ²	-2,733	-2,624	-2,311	-930	-884
営業利益	35,016	36,322	26,829	23,475	18,797
法人税等	-7,795	-8,417	-5,431	-4,627	-4,240
継続事業からの当期利益	27,221	27,905	21,398	18,848	14,557
非継続事業からの当期利益(税引後)	234	1,209	280	695	1,031
当期利益	27,456	29,114	21,678	19,543	15,588
帰属先：					
当行の株主	27,451	29,107	21,676	19,527	15,585
うち、継続事業	27,217	27,898	21,395	18,834	14,556
うち、非継続事業	234	1,209	281	693	1,029
非支配株主持分	5	8	1	16	3

事業合計から一株当たり利益

(単位：スウェーデン・クローネ)	13.86	14.70	10.95	9.86	7.87

－希薄化後	13.86	14.70	10.95	9.86	7.87

継続事業から一株当たり利益

(単位：スウェーデン・クローネ)	13.75	14.09	10.81	9.51	7.35

－希薄化後	13.75	14.09	10.81	9.51	7.35

非継続事業から一株当たり利益

(単位：スウェーデン・クローネ)	0.12	0.61	0.14	0.35	0.52

－希薄化後	0.12	0.61	0.14	0.35	0.52

¹ 当行がフィンランド及びデンマークでの事業停止を決定した結果、2021年12月31日現在及び2022年12月31日現在において、これらは非継続事業として計上されている。デンマークにおける事業の売却は2022年度に完了したため、2023年12月31日現在及び2024年12月31日現在、フィンランドにおける事業のみが非継続事業として計上されている。比較可能性の観点から、2020年12月31日に終了した年度の損益計算書は修正再表示されている。

² 規制関連費用は、2022年第1四半期をもって、純利息収益内ではなく、営業利益内の独立項目として計上されるようになった。そのため、表に示された2020年度から2021年度の収益の比較数値は修正再表示されている。

³ 当行グループは、2023年度からIFRS第17号「保険契約」を適用している。関連する比較数値(損益計算書、貸借対照表及び主要指標)は、これらの規制が2022年度中にも適用されたものとして修正再表示されている。2020年度及び2021年度の数値はIFRS第17号への移行に関して修正再表示されていない。その他の開示事項は、下記「第6－1－(1) 連結財務書類－注記G1 重要性がある会計方針」及び「第6－1－(1) 連結財務書類－注記G34 保険負債」に記載されている。

連結包括利益計算書

(単位：百万スウェーデン・クローネ)

	2024年度	2023年度	2022年度	2021年度	2020年度
当期利益	27,456	29,114	21,678	19,543	15,588

その他包括利益**損益計算書に組み替えられない項目**

確定給付年金制度	344	-2,226	3,049	6,820	1,523
その他包括利益を通じて公正価値で測定される資 本性金融商品	207	63	41	62	-583
損益計算書に組み替えられない項目に係る税金	-77	439	-642	-1,401	-256
うち、確定給付年金制度	-36	450	-622	-1,398	-267
うち、その他包括利益を通じて公正価値で測定 される資本性金融商品	-41	-11	-19	-3	11
損益計算書に組み替えられない項目合計	475	-1,724	2,448	5,481	684

その後に損益計算書に組み替えられる可能性のある項目

キャッシュフロー・ヘッジ	160	614	-2,640	-1,970	-1,124
その他包括利益を通じて公正価値で測定される負 債性金融商品	6	25	-60	6	7
保険契約	66	-396	793		
当期為替換算差額	1,758	-1,078	2,312	3,201	-4,269
うち、在外営業活動体における純投資のヘッジ	-230	31	-297	-910	848
その後に損益計算書に組み替えられる可能性のある 項目に係る税金	-52	113	-15	595	93
うち、キャッシュフロー・ヘッジ	-33	-127	544	406	274
うち、その他包括利益を通じて公正価値で測定 される負債性金融商品	-1	-5	6	-1	-1
うち、在外営業活動体における純投資のヘッジ	47	-6	61	190	-180
うち、為替換算差額に係る税金	-65	251	-626		

その後に損益計算書に組み替えられる可能性のある項目合計

	1,937	-722	390	1,832	-5,293

その他包括利益合計

	2,412	-2,447	2,838	7,313	-4,609

当期包括利益合計

	29,868	26,667	24,516	26,856	10,979

帰属先：

当行の株主	29,870	26,662	24,516	26,840	10,976
非支配株主持分	-2	5	1	16	3

2024年1月から12月の税引後のその他包括利益合計は、総額2,412百万スウェーデン・クローネ(前年度は-2,447百万スウェーデン・クローネ)であった。2024年度中、確定給付年金制度は、税引後、308百万スウェーデン・クローネ(前年度は-1,776百万スウェーデン・クローネ)のプラスの影響を受けた。スウェーデンの年金債務に係る割引率が2023年度末の3.5%と比較して3.6%に上昇したにもかかわらず、年金債務は増加した。かかる増加は、当該債務を増加させる前提条件の変更によるものであった。しかし、年金資産の価値のプラスの変動により、2024年度の純額もプラスであった。

2023年度末から当行グループが事業を行うほとんどの国の通貨に対してスウェーデン・クローネが弱まった結果、スウェーデン国外の事業の換算により、税引後、1,740百万スウェーデン・クローネ(前年度は-833百万スウェーデン・クローネ)のプラスの影響が生じた。

連結貸借対照表^{1, 2}

(単位：百万スウェーデン・クローネ)

	2024年度	2023年度	2022年度	2021年度	2020年度
資産					
現金及び中央銀行 ³	542,542	482,453	480,472	292,839	418,968
その他金融機関への貸出金	18,922	19,294	9,411	21,745	21,920
一般顧客への貸出金 ⁴	2,291,479	2,282,151	2,299,202	2,161,235	2,269,637
利付証券	220,114	249,215	165,475	133,855	143,699
売却目的で保有する資産	74,506	178,590	191,916	421,417	1,657
その他資産	391,611	326,088	307,242	315,673	279,407
資産合計	3,539,173	3,537,792	3,453,718	3,346,764	3,135,288
負債及び資本					
金融機関からの預り金	84,280	90,143	81,693	83,034	124,723
一般顧客からの預金及び借入金	1,310,739	1,298,480	1,318,925	1,286,637	1,229,763
発行済証券	1,550,027	1,523,481	1,474,801	1,353,768	1,310,737
売却目的で保有する負債	10,623	63,721	68,938	133,922	
劣後負債	37,054	43,117	42,404	32,257	41,082
その他負債	336,424	313,763	272,932	275,415	257,510
資本	210,027	205,085	194,024	181,731	171,473
負債及び資本合計	3,539,173	3,537,792	3,453,718	3,346,764	3,135,288

¹ 2021年12月31日現在、デンマーク及びフィンランドにおける事業は、貸借対照表上では、「売却目的で保有する資産」及び「売却目的で保有する負債」に再分類されている。その結果、2021年12月31日現在から2024年12月31日現在の一定の項目について、2020年12月31日現在のそれらの項目と直接比較することはできない。

² 当行グループは、2023年度からIFRS第17号「保険契約」を適用している。関連する比較数値(損益計算書、貸借対照表及び主要指標)は、これらの規制が2022年度中にも適用されたものとして修正再表示されている。2020年度及び2021年度の数値はIFRS第17号への移行に関して修正再表示されていない。その他の開示事項は、下記「第6-1-(1) 連結財務書類—注記G1 重要性がある会計方針」及び「第6-1-(1) 連結財務書類—注記G34 保険負債」に記載されている。

³ この項目は、「現金及び中央銀行預け金」並びに「中央銀行へのその他の貸出金」の合計を示している。

⁴ この項目は、「ポートフォリオ・ヘッジにおける金利ヘッジ対象の価値変動」を含む。

当行グループの主要指標 ¹	2024年度	2023年度	2022年度	2021年度	2020年度
継続事業からの信用損失及び規制関連費用控除前利益					
(単位：百万スウェーデン・クローネ)	37,136	39,067	29,163	24,434	20,326
継続事業からの正味信用損失					
(単位：百万スウェーデン・クローネ)	601	-141	-47	-43	-649
継続事業からの営業利益					
(単位：百万スウェーデン・クローネ)	35,016	36,322	26,829	23,475	18,797
事業合計からの当期利益					
(単位：百万スウェーデン・クローネ)	27,456	29,114	21,678	19,543	15,588
継続事業からの当期利益					
(単位：百万スウェーデン・クローネ)	27,221	27,905	21,398	18,848	14,557
非継続事業からの当期利益					
(単位：百万スウェーデン・クローネ)	234	1,209	280	695	1,031
資産合計(単位：百万スウェーデン・クローネ)	3,539,173	3,537,792	3,453,718	3,346,764	3,135,288
資本(単位：百万スウェーデン・クローネ)	210,027	205,085	194,024	181,731	171,473
事業合計からの株主資本利益率(単位：%)	14.6	15.9	12.8	11.8	10.0
継続事業からの株主資本利益率(単位：%)	14.5	15.3	12.6	11.4	9.3
総資産利益率(単位：%)	0.75	0.81	0.61	0.58	0.47
継続事業からの収益に対する費用の比率 (以下「C/I比率」という。)(単位：%)	40.4	37.2	42.1	44.8	50.7
継続事業からの信用損失率(単位：%)	-0.02	0.01	0.00	0.00	0.02
事業合計からの一株当たり利益 (単位：スウェーデン・クローネ)	13.86	14.70	10.95	9.86	7.87
－希薄化後	13.86	14.70	10.95	9.86	7.87
継続事業からの一株当たり利益 (単位：スウェーデン・クローネ)	13.75	14.09	10.81	9.51	7.35
－希薄化後	13.75	14.09	10.81	9.51	7.35
非継続事業からの一株当たり利益 (単位：スウェーデン・クローネ)	0.12	0.61	0.14	0.35	0.52
－希薄化後	0.12	0.61	0.14	0.35	0.52
一株当たり普通配当金 (単位：スウェーデン・クローネ)	7.50	6.50	5.50	5.00	4.10
一株当たり配当金合計 (単位：スウェーデン・クローネ)	15.00	13.00	8.00	5.00	8.42
一株当たり調整後資本 (単位：スウェーデン・クローネ)	105.91	103.48	98.14	90.87	84.90

12月31日現在の株式数(単位：百万株)	1,980.0	1,980.0	1,980.0	1,980.0	1,980.0
うち、発行済株式数	1,980.0	1,980.0	1,980.0	1,980.0	1,980.0
発行済株式の平均株式数(単位：百万株)	1,980.0	1,980.0	1,980.0	1,980.0	1,980.0
ー希薄化後	1,980.0	1,980.0	1,980.0	1,980.0	1,980.0
CRRによる普通株式等Tier 1比率(単位：%)	18.8	18.8	19.6	19.4	20.3
CRRによるTier 1比率(単位：%)	20.2	20.6	21.5	21.1	21.9
CRRによる総自己資本比率(単位：%)	23.4	23.9	23.8	23.3	24.3
事業合計からの平均従業員数	12,703	12,216	12,030	12,240	12,563
うち、継続事業	12,224	11,683	10,954	11,039	11,354

¹ 当行グループは、2023年度からIFRS第17号「保険契約」を適用している。関連する比較数値(損益計算書、貸借対照表及び主要指標)は、これらの規制が2022年度中にも適用されたものとして修正再表示されている。2020年度及び2021年度の数値はIFRS第17号への移行に関して修正再表示されていない。その他の開示事項は、下記「第6－1－(1) 連結財務書類－注記G1 重要性がある会計方針」及び「第6－1－(1) 連結財務書類－注記G34 保険負債」に記載されている。

非連結－当行の5年間の概要

非連結損益計算書

(単位：百万スウェーデン・クローネ)

	2024年度	2023年度	2022年度	2021年度	2020年度
純利息収益	25,416	25,946	18,230	13,502	13,456
受取配当金	21,673	15,957	16,953	17,611	15,937
純手数料及びコミッション収益	4,771	4,573	5,167	5,230	5,692
金融取引による純損益	2,880	1,745	820	1,808	1,869
その他営業収益	3,953	4,230	4,841	3,576	2,790
営業収益合計	58,693	52,452	46,011	41,727	39,744
一般管理費用					
人件費	-12,865	-11,456	-11,990	-10,242	-11,689
その他管理費用	-7,745	-7,453	-7,415	-6,002	-5,684
不動産及び器具備品並びに無形資産の減価償却費、償却費及び減損費用	-2,258	-2,334	-2,459	-2,803	-2,672
信用損失控除前費用合計	-22,867	-21,243	-21,864	-19,047	-20,045
信用損失及び規制関連費用控除前利益	35,825	31,208	24,148	22,680	19,699
正味信用損失	446	58	-41	-55	-477
金融固定資産の減損損失	-2,163	-1,524	-2,305	-1,180	-79
規制関連費用 ¹	-1,655	-1,633	-1,331	-366	-385
営業利益	32,454	28,110	20,471	21,079	18,758
繰入	336		-160	227	743
税引前利益	32,790	28,110	20,311	21,306	19,501
法人税等	-5,131	-5,747	-4,856	-4,618	-4,275
当期利益	27,659	22,363	15,455	16,688	15,226
当期配当金	29,700	25,740	15,840	9,900	16,666

¹ 規制関連費用は、2022年第1四半期をもって、純利息収益内ではなく、営業利益内の独立項目として計上されるようになった。そのため、表に示された2020年度及び2021年度の収益の比較数値は再計算されている。

包括利益計算書

(単位：百万スウェーデン・クローネ)

	2024年度	2023年度	2022年度	2021年度	2020年度
当期利益	27,659	22,363	15,455	16,688	15,226

その他包括利益

損益計算書に組み替えられない項目

その他包括利益を通じて公正価値で測定される資

本性金融商品	198	63	41	62	-583
損益計算書に組み替えられない項目に係る税金	-39	-11	-19	-3	11
うち、その他包括利益を通じて公正価値で測定される資本性金融商品	-39	-11	-19	-3	11
損益計算書に組み替えられない項目合計	159	52	22	59	-572

その後に損益計算書に組み替えられる可能性のある項目

キャッシュフロー・ヘッジ	-767	-1,571	3,411	246	-1,677
その他包括利益を通じて公正価値で測定される負債性金融商品	6	25	-61	6	7
当期為替換算差額	-219	-1,289	1,326	1,034	-2,184
うち、在外営業活動体における純資産のヘッジ	0	5	-83	-63	-256
その後に損益計算書に組み替えられる可能性のある項目に係る税金	88	522	-1,251	-39	420
うち、キャッシュフロー・ヘッジ	158	324	-703	-51	365
うち、その他包括利益を通じて公正価値で測定される負債性金融商品	-1	-5	6	-1	-1
うち、在外営業活動体における純資産のヘッジ	0	-1	17	13	56
うち、為替換算差額	-69	204	-572		

その後に損益計算書に組み替えられる可能性のある項目合計

	-892	-2,313	3,425	1,247	-3,434

その他包括利益合計

	-733	-2,262	3,447	1,306	-4,006

当期包括利益合計

	26,926	20,100	18,902	17,994	11,220

非連結貸借対照表

(単位：百万スウェーデン・クローネ)

	2024年度	2023年度	2022年度	2021年度	2020年度
資産					
一般顧客への貸出金 ¹	517,772	591,340	621,110	609,948	566,158
金融機関への貸出金	996,917	1,007,992	1,025,664	986,897	953,650
利付証券	226,175	249,919	166,117	134,861	145,648
その他資産	564,189	511,092	549,998	498,428	459,407
資産合計	2,305,053	2,360,344	2,362,889	2,230,134	2,124,863

負債及び資本

一般顧客からの預金及び借入金	1,050,028	1,109,471	1,137,272	1,173,172	1,021,130
金融機関からの預り金	169,394	176,143	169,617	153,490	193,054
発行済証券	840,866	806,167	806,013	679,808	657,520

劣後負債	37,054	43,117	42,404	32,257	41,082
その他負債	46,990	66,147	52,829	46,481	68,305
非課税剰余金	531	867	867	706	933
資本	160,189	158,431	153,887	144,220	142,839
負債及び資本合計	2,305,053	2,360,344	2,362,889	2,230,134	2,124,863

¹ この項目は、「ポートフォリオ・ヘッジにおける金利ヘッジ対象の価値変動」を含む。

当行の主要指標

(単位：％)	2024年度	2023年度	2022年度	2021年度	2020年度
CRRによる普通株式等Tier 1比率	31.4	29.8	29.4	30.2	31.7
CRRによるTier 1比率	34.2	33.4	32.9	33.4	34.6
CRRによる総自己資本比率	41.0	39.9	37.2	37.4	38.8
総資産利益率	1.13	0.90	0.63	0.72	0.65

2【沿革】

当行は、ストックホルムズ・ハンデルズバンクとして、1871年にストックホルムにおいて当初設立された。ストックホルムズ・ハンデルズバンクは1873年に株式をストックホルム証券取引所に上場させ、1919年にスヴェンスカ・ハンデルスバンケンに名称を変更した。

当行は当初、地元のストックホルム市場に重点を置き、かかる市場において確固たる地位を築いた。20世紀の初めの10年間に於いて、当行は、最初にスウェーデンの北部、次いで南部における複数の地方銀行を買収することによって成長した。

第二次世界大戦後の期間において、当行は統合が進んだスウェーデンの銀行市場において拡大を続けた。1955年に当行は、モーゲージ会社であるSIGAB(後にハンデルスバンケン・フィポテックに名称を変更。)を買収した。1963年に当行は、スウェーデンの最初の金融会社であるスヴェンスカ・フィナンス(後のハンデルスバンケン・フィナンス)と合併した。1971年に当行は、一定のミューチュアル・ファンドを販売する総代理店を買収し、同社は当行のファンド管理会社であるハンデルスバンケン・フォンデル・エイ・ビー(以下「ハンデルスバンケン・フォンデル」という。)となった。長期にわたった地方銀行の買収は、1990年のスカンスカ・バンケンの買収により完了した。モーゲージ会社であるスタッドフィポテック・エイ・ビー(以下「スタッドフィポテック」という。)は、1997年に買収された。

1969年に当行は分権化し、当行の支店は当行グループの地域銀行の傘下に再編成された。各地域銀行は高度な自治権を与えられ、営業を行っている。当行グループは、規模よりも利益率、またその他のスウェーデンの上場銀行の平均を上回る株主資本利益率を達成することに焦点を移した。この期間中、当行の主要株主の一つとなった従業員利益分配基金のオクトゴネン・ファウンデーションが設立された。

1990年代に当行は、小規模の買収及び内部成長の組合せを通じて、その他の北欧諸国における活動を増やし始めた。今日、当行は、北欧諸国、英国及びオランダを当行の本拠地市場であると考えている。英国については、とりわけ21世紀の最初の10年間に於ける成長を目標としていた。

1992年に当行は、生命保険相互会社であるRKA(後のハンデルスバンケン・リヴ)を買収することにより、保険業界に進出した。2001年に当行は、生命保険会社であるSPPを買収し、これにより当行はスウェーデンにおける生命保険会社最大手の1社となった。SPPは、2007年12月21日にストアブランド・エイ・エス・エイに売却された。

2019年度の戦略的な見直し後、地域銀行制度に代わり、スウェーデンにおける支店業務の責任者に直属する県単位の組織を設置し、スウェーデンにおける支店業務を再編成することを決定した。2020年度には、英国における支店業務についても同様の決定がなされた。しかし、1960年代後半に確立された分権的な構造及び戦略的目標は今も継続している。2021年度中、当行は、デンマーク及びフィンランドにおける事業を停止し、収益性の高い成長及び強力な市場地位のための最適な条件が揃うスウェーデン、ノルウェー及び英国にプレゼンスを集中させることを決定した。デンマークにおける事業は2022年11月に売却されたが、フィンランドにおける事業売却の手続きは進行中である。下記「第3-4-(3) 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析-非継続事業」を参照のこと。

3【事業の内容】

当行グループは、スウェーデンの主力銀行グループであり、主に当行グループの本拠地市場で、個人顧客及び法人顧客に対し、幅広い従来の銀行サービスに加え様々な投資サービス及びその他の金融サービスを提供している。かかるサービスには、住宅ローン、法人を対象とした相対貸出及び資本市場を通じた資金調達などのファイナンス、資産管理、年金及び保険などの貯蓄分野におけるサービス、プライベート・バンキング並びに様々な支払ソリューションだけでなく様々な補償ソリューションが含まれる。当行グループは、スウェーデン、ノルウェー、英国及びオランダを本拠地市場であると考え、当該地域において行われる業務は国内業務で

あると考えている。デンマークにおける事業は2022年度中に売却された。2023年5月に当行は、フィンランドにおける当行の事業の一部を譲渡することに関して合意に達し、かかる取引は2024年度下半期中に完了した。フィンランドにおける当行の事業の一部は未だ売却途中であり、引き続き非継続事業として財務報告される。フィンランドにおける事業の売却に関する追加情報については、下記「第3-4-(3) 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析―非継続事業」を参照のこと。当行は、各地域における高水準の意思決定権を備えた分権的な事業モデルを採用している。当該事業は、各本拠地市場における支店網及びその他の会議施設を通じて行われている。また当行グループは、ルクセンブルグ及びニューヨークでも事業を展開している。下記「第3 事業の状況」を参照のこと。2024年12月31日に終了した事業年度において、当行グループの継続事業における平均従業員数は12,224名であった。

当行グループは本書提出日現在、以下の5つの事業セグメントから成る。

・ハンデルスバンケン・スウェーデン

スウェーデンにおける支店業務により構成されており、また県単位の組織により編成され、かかる県の統括は最高経営責任者に直属する。当該セグメントは、スウェーデンにおける貯蓄及び年金部門を含み、また当行が完全所有する住宅金融専門機関であるスタッドフィポテックのスウェーデンにおける業務も含まれる。現在、中央人事部門、財務経理部、コミュニケーション部及び金融犯罪防止部などの一部の本社業務もこの事業セグメントにおいて報告されている。当該セグメントには、様々なパートナーを通じて消費者向けの融資商品を提供してきたエクスターも含まれるが、現在エクスターは非継続事業であり、ローンストックは2024年春以降、段階的に縮小されている。

・ハンデルスバンケン英国

各地域で構成される英国における支店業務及び子会社のハンデルスバンケン・ウェルス&アセットマネジメントから成るハンデルスバンケン・ピー・エル・シーにより構成される。各地域の統括はハンデルスバンケン英国の代表に直属する。

・ハンデルスバンケン・ノルウェー

ノルウェーにおける支店業務に加え、ノルウェーにおけるスタッドフィポテックの業務により構成されており、また地域の貯蓄及び年金部門を含む。

・ハンデルスバンケン・ネザーランド

オランダにおける支店業務に加え、オプティミクス・ベルモーゲンズベヒールにおける資産運用事業により構成されている。

・ハンデルスバンケン・マーケッツ

リスク管理、有価証券、デリバティブ、リサーチ、デット・キャピタル・マーケッツ、コーポレート・ファイナンス及び取引銀行(現金管理、トレード・ファイナンス及びエクスポート・ファイナンス)に関連する商品及びサービスを提供している。

上記の事業セグメントに加え、「その他の部門」には、事業セグメントに計上されていない部門(主に財務部門及び中央支援部門)に帰属する収益及び費用項目であるが、オクトゴーネン利益分配制度への引当金並びにルクセンブルグ及びニューヨークにおいて行われる国際業務も含まれる。

当行グループの事業は分権的であり、各支店が個別に、中央組織の専門家の協力体制の下、必要に応じて顧客へのサービスを調整する責任を有している。このため、当行グループでは、中央の業務部門よりは支店が、各個別顧客向けに当行グループの商品及びサービスのマーケティングを行う責任を有している。但し、かかる分権体制は一元化されたリスク管理により支えられている。

当行は、スウェーデンの銀行法に基づき設立された公開有限責任会社であり、ストックホルム県において登記されている。当行の登録事務所の所在地は、スウェーデン王国 SE-106 70 スtockホルム クングストラッドゴードシュガータン2である。

4【関係会社の状況】

2024年12月31日現在、当行は、15の直接所有子会社及び連結会計において持分法に基づく6つの直接所有関連会社を有している。

当行グループの主要な子会社は、以下のとおりである。

ハンデルスバンケン・フォンデルは、当行グループのミューチュアル・ファンドの運用及び管理並びに顧客のために資金の一任的な運用及び管理を行っている。ハンデルスバンケン・フォンデルは、スウェーデン、ノルウェー及びルクセンブルグにおいて、該当する場合には適用される届出手続に従い、自社のミューチュアル・ファンドを販売している。

当行の完全所有子会社であるハンデルスバンケン・リヴは、定期生命保険、終身生命保険及び顧客が保険に関するスウェーデンの一定の税制の恩恵を受けることができる貯蓄型保険を含む、幅広い生命保険商品を提供しており、スウェーデンの生命保険市場における主要な参加企業の1つである。ハンデルスバンケン・リヴの商品は、スウェーデンの支店網を通じて市場に提供され、販売されている。フィンランドにおけるハンデルスバンケン・リヴの事業は2024年度下半期中に売却された。

スタッドフィポテックは、一世帯用住宅、セカンドハウス、住宅共同組合のアパート、農業／林業用地、集合住宅、商業施設及びオフィスビルのための住宅ローンを提供している。スタッドフィポテックの活動は、スウェーデンに集中しているが、ノルウェーにおいても事業を展開している。スタッドフィポテックの業務は、当行の支店業務に完全に統合されている。フィンランドにおける事業売却の手続は、2024年度下半期中に完了した。

ハンデルスバンケン・ピー・エル・シーは、英国における事業活動を担う当行の英国における完全所有子会社である。ハンデルスバンケン・ピー・エル・シーは、英国全域に支店のネットワークを有し、当行グループのその他の地域と同じ原則に従って、個人顧客及び法人顧客に対し銀行サービスを提供している。

当行には、親会社はない。

以下の表は、当行の重要な子会社を示している。持分法適用関連会社に関する特定の情報については、下記「第6－1－(2) 個別財務書類－注記P17」を参照のこと。

会社名	住所	株式資本	保有比率
		(単位：百万スウェーデン・クローネ)	
子会社			
ハンデルスバンケン・ピー・エル・シー ^{1, 2}	ロンドン	59	100%
スタッドフィポテック・エイ・ビー ^{1, 2}	ストックホルム	4,050	100%
ハンデルスバンケン・フォンデル・エイ・ビー	ストックホルム	1.5	100%
ハンデルスバンケン・リヴ・フォルセクリングス・エイ・ビー	ストックホルム	100	100%

¹ 金融機関

² 2024年12月31日現在の当行グループの連結財務書類に記載の収益合計に対するスタッドフィポテック・エイ・ビー及びハンデルスバンケン・ピー・エル・シーの非連結基準の営業収益合計の割合は、10%を超過する。

2024年12月31日現在及び同日に終了した事業年度におけるスタッドフィポテック・エイ・ビーの非連結基準の損益等に係る主な情報は、以下のとおりである。

- (i) 営業収益合計： 12,418百万スウェーデン・クローネ
- (ii) 当期利益： 6,924百万スウェーデン・クローネ
- (iii) 資産合計： 1,629,948百万スウェーデン・クローネ
- (iv) 資本合計： 60,773百万スウェーデン・クローネ

2024年12月31日現在及び同日に終了した事業年度におけるハンデルスバンケン・ピー・エル・シーの非連結基準の損益等に係る主な情報は、以下のとおりである。

- (i) 営業収益合計： 12,726百万スウェーデン・クローネ
- (ii) 当期利益： 6,727百万スウェーデン・クローネ
- (iii) 資産合計： 426,206百万スウェーデン・クローネ
- (iv) 資本合計： 32,322百万スウェーデン・クローネ

5【従業員の状況】

2024年12月31日に終了した事業年度において、継続事業においては平均12,224名の従業員を有していた。

2024年12月31日に終了した事業年度における当行グループの継続事業における各事業セグメント毎の従業員数は、以下のとおりである。

	平均従業員数
スウェーデンにおける支店業務	4,764
英国における支店業務	2,842
ノルウェーにおける支店業務	993
オランダにおける支店業務	425
ハンデルスバンケン・マーケット	470
その他の部門	2,729
継続事業合計	12,224

* 上表の数値には、当行グループのフィンランドにおける事業の従業員数は含まれていない。

第3【事業の状況】

1【経営方針、経営環境及び対処すべき課題等】

(1)経営方針及び対処すべき課題等

当行グループの総合的な目的は、本拠地市場における同業銀行の平均を上回る水準の収益性を達成し、その結果として、景気循環にわたり一株当たり利益の増加を伴う、長期的な価値の高成長を株主にもたらすことである。かかる目的を実現するため、当行グループは、支店網を通じた顧客への高品質なサービスの提供、質の高い貸出金ポートフォリオの維持及びコスト効率の確保に力を注いでいる。当行は、有機的な成長を目指す戦略に基づいて活動している。

当行グループは、主にその本拠地市場であるスウェーデン、ノルウェー、英国及びオランダにおいて、個人顧客及び法人顧客に対し、幅広い従来の銀行サービスに加え様々な投資サービス及びその他の金融サービスを提供している。かかるサービスには、住宅ローン、法人を対象とした相対貸出及び資本市場を通じた資金調達などのファイナンス、資産管理、年金及び保険などの貯蓄分野におけるサービス、プライベート・バンキング並びに様々な支払ソリューションだけでなく様々な補償ソリューションが含まれる。当該事業は、各本拠地市場における支店網及びその他の会議施設を通じて行われ、近年では、顧客が、当行と取引を行う様々なチャネル間を円滑に移動できるようにすることを目的として、個人顧客の分野を対象とした新たなデジタル・サービスの開発に向けて追加の資源が注がれている。

2019年度の戦略的な見直し後、当行は、地域銀行制度に代わり、スウェーデンにおける支店業務の責任者に直属する県単位の組織を設置し、スウェーデンにおける支店業務を再編成することを決定した。2020年度には、英国における支店業務についても同様の決定がなされた。2021年度中、当行は、デンマーク及びフィンランドにおける事業を売却することを決定した。デンマークにおける事業は2022年11月に売却された。2023年5月に当行は、フィンランドにおける当行の事業の一部を譲渡することに関して合意に達し、かかる取引は2024年度下半期中に完了した。フィンランドにおける当行の事業の一部は未だ売却途中であり、引き続き非継続事業として財務報告される。フィンランドにおける事業の売却に関する追加情報については、下記「4－(3) 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析－非継続事業」及び「第6－1－(1) 連結財務書類－注記G14」を参照のこと。

2024年4月1日に、より効率的で事業本位の組織を構築することを目的として、新たな組織が発足した。効率化のため、当行グループ全体の業務の見直しが行われた。かかる過程で、当行グループ全体の業務の合理化及び縮小が行われ、事業支援部門は合理化され、事業開発活動により近づくよう組織された。

(2)経営環境

当行グループの資産及び顧客の多数は、スウェーデン、ノルウェー及び英国に所在し又は関連する事業を有している。その結果、当行グループは、これらの国々のマクロ経済状況の影響を大きく受ける。

COVID-19の世界的な拡大及び現在進行中のウクライナでの戦争を受けた高インフレ及び急速な金利上昇により、スウェーデンの家計消費は抑制された。経済活動は2022年度に減速し始め、2023年度も継続したが、これは家計消費の減少及び住宅建設の減少によるものであった。スウェーデン統計局(Sw. Statistiska Centralbyrån)によると、2022年度におけるスウェーデンのGDPは1.5%成長したが、2023年度には0.1%下降した。2024年度中、経済成長は依然として鈍く、スウェーデン統計局の報告によると、2024年度の年間GDP成長率は1.0%であった。当行のエコノミストは、トランプ政権が課した関税がスウェーデンの輸出に直接影響を及ぼし、世界経済の不確実性及び金融市場の混乱を引き起こす可能性があり、2025年度の成長率も引き続き低調であると予想している。当行の最新の予測では、2025年度のGDP成長率は1.5%になると予想されている。

スウェーデン以外の本拠地市場においても、2024年度中は低成長となり、英国及びノルウェーにおける実質GDPはそれぞれ1.1%及び0.6%増加した。インフレ率は2023年度を通じて高いままであったが、2024年度は低下

傾向にある。スウェーデン統計局によると、2024年12月の固定金利における消費者物価指数(以下「CPIF」という。)は1.5%であったが、2025年3月には2.3%に上昇した。当行の最新の予測では、2025年度のCPIFのヘッドラインインフレは2.6%となり、2.0%のインフレ目標を上回ると見込まれている。

2022年度及び2023年度の高インフレにより、リクスバンクは政策金利を引き上げた。この間、政策金利は数回にわたり0%から4.0%まで引き上げられた。2024年5月8日、リクスバンクは8年ぶりに金利の引下げを発表し、政策金利を0.25パーセント・ポイント引き下げて3.75%とし、その後、現在の2.0%の水準まで数回にわたり引き下げられた。

2022年度までの数年間、住宅不足及び低金利を含む要因により、スウェーデンにおける特に個人へのモーゲージ貸付高が増加した。スウェーデン統計局によると、家計負債比率(純可処分所得に対するローン)は、平均で、2021年度に197.1%と最高水準に達したが、その後、2023年度末には181.4%まで減少した。このように、スウェーデンの個人の負債の水準は依然として高い水準となっている。したがって、個人は金利の上昇、収益の損失及び住宅価格の下落の影響をより受け易くなる。個人の負債の増加に関連するリスクを低減する手段として、2016年6月に住宅ローンに関連する償却要件が導入され、それ以降、さらなる償却要件が導入されている。高インフレ及び2022年度中及び2023年度中の住宅ローンの利率上昇により、取引の減少及び価格の下落が生じ、住宅市場の状況は変化した。2022年度中、年間で住宅の価格は10%、アパートの価格は9%下落したが、2023年度中は価格が安定し、わずかに上昇した。スヴェンスカ・マークラースタティスティックによると、2024年度中、年間で住宅の価格は5.0%、アパートの価格は5.9%上昇した。

当行グループはスウェーデンにおいて市場リーダーであり、スウェーデンにおいて営業する4つの主要な銀行の1つであって、その他3つの銀行はノルディア・バンク・エイ・ビー・ピー・フィリアル・アイ・スヴェリエ(Nordea Bank Abp filial i Sverige)、スカンジナビスカ・エンスキルダ・バンケン・エイ・ビー(Skandinaviska Enskilda Banken AB)及びスウェドバンク・エイ・ビー(Swedbank AB)である。当行グループは、スウェーデン及び海外の両方において当行グループが事業展開する市場内で厳しい競争にさらされている。商業銀行に加えて、当行は金融会社及び住宅金融専門機関とも競合している。

銀行部門を含む社会のデジタル化の速度及び範囲は近年加速しており、その結果、顧客はますますデジタル・チャネルを通じて銀行取引を行っている。当行は引き続き、当行のサービスをデジタル化し、顧客の希望やニーズに合わせているが、これらのデジタル・サービスは支店の現地拠点と連携している。

経営環境に関する追加情報については、下記「第3-3 事業等のリスクー気候変動、大惨事、テロ攻撃、戦争行為及び自然災害などの世界の経済状況及び地政学的展開は、当行グループの事業、利益及び経営成績に悪影響を及ぼす可能性がある。」及び「第3-3 事業等のリスクー当行グループが事業を行っている英国及びノルウェーを含むその他の市場のマクロ経済情勢は、当行グループの業績に悪影響を及ぼす可能性がある。」を参照のこと。

2 【サステナビリティに関する考え方及び取組】

ガバナンス及びリスク管理

ガバナンス

サステナビリティ・リスク戦略

取締役会は、当行のサステナビリティに関する方針において、責任ある行動が当行の長期的な価値創造及び当行への信頼維持に不可欠であると定めている。業務全体にサステナビリティの視点を組み込むことで、当行グループが財務的に健全で、環境的及び社会的に持続可能であり、かつ持続可能な開発に寄与する業務を遂行することを確保する。サステナビリティ・リスクは、当行の通常の低いリスク許容度に沿って管理され、またサステナビリティ・リスクをリスク評価の最も重要な要素とするリスク分類におけるリスク許容度に適合させなければならない。

取締役会の方針は、最高経営責任者により発せられた多くのガイドラインの基盤となる。当該ガイドラインは、環境及び気候変動、林業及び農業、人権及び労働、武器及び防衛産業、タバコ産業、金融犯罪、サプライヤーとの取決め、タックスマネジメント並びにセキュリティ及びデータ保護に関連して当行グループがどのように行動すべきかを詳細に規定する。

管理機関、経営機関及び監督機関の役割

取締役会は、経営陣及び従業員の双方の業務プロセスの枠組として機能する、当行グループ全体の業務を管理する包括的な方針を定める。これらの方針は毎年見直されるが、当行が状況の変化又は新たなリスクに迅速に対応することを確保するため、より頻繁に更新される可能性がある。

取締役会は、サステナビリティ及び気候に特化した部門を含む、組織内に配置された専門家を通じて、サステナビリティに関する専門知識にアクセスすることができる。これにより、取締役会は、事業運営における戦略上及び業務上の課題を理解し、サステナビリティに関する事項について、情報に基づいた決定を行うことができる。サステナビリティに関する事項への対応に利用可能な技能及び専門知識は、当行の事業運営並びに重要なサステナビリティのリスク及び機会と直接関連している。当行のサステナビリティ及び気候に係る最高責任者は経営陣の一員であり、四半期毎に取締役会及び最高経営責任者に、当行が特に懸念する事項を含め、サステナビリティの進捗及び進展を報告する。

ガバナンス情報

当行は、責任ある業務遂行を確保するため、高い倫理基準を維持し、適用ある規制を遵守している。当行は、明確な運営文書及び効率的な業務プロセスの利用により、リスクを軽減し、顧客及び株主のための長期的な価値を創造している。同時に、当行はマネーロンダリング及びテロリストへの資金供与等の金融犯罪への対策にも積極的に取り組んでいる。当行はまた、低リスクで長期的な顧客関係並びに強固な資本バッファ及び流動性準備金を通じて、金融の安定性を維持するための取組みも行っている。

不正行為及び腐敗の防止及び発見

当行は、不正行為及びその他の金融犯罪を含むあらゆる種類の犯罪行為への対応に積極的に取り組むことを目指している。当行はまた、利益相反の管理及び顧客の利益への悪影響の防止に係る手続も定めている。当行の不正行為に対する方針は、従業員が腐敗又は不適切な影響を伴う可能性のある行為に決して関与してはならないことを強調している。

不正行為を防止し、発見するために、定期的なリスク分析が実施されている。当該年次評価は、海外支店及び子会社を含む当行全体を対象とし、100%に相当する従業員及び部門における腐敗及び不正行為のリスクを評価する。さらに、マネーロンダリング及びテロリストへの資金供与に関する通常のリスク評価では、マネーロンダリングの前提となる犯罪として当行の顧客による不正行為に関連する犯罪のリスクも調査する。不正行為の発生率が高い国又はセクターで業務を行う顧客等、不正行為リスクの高いリスク領域は、具体的に特定されている。

当行の不正行為防止業務は継続的なプロセスであり、また2017年度以降、当行はトランスペアレンシー・インターナショナル・スウェーデンのメンバーであり、当行及びその他のスウェーデンの大企業は、かかる分野における経験及び知識を交換している。

当行は、詐欺若しくはその他の不正行為を確認した場合又はかかる行為が疑われる場合、すべての従業員に対して報告することを奨励している。当行は、不正行為が発生した場合、行動を起こすことが不可欠であると考えている。当行は、すべての従業員、コンサルタント及び外部関係者がアクセスし、匿名で不正行為を報告

することができる、外部の内部告発システムを有している。不正行為の疑いに関するすべての報告は、業務部門から独立した機能によって迅速に調査される。

影響、リスク及び機会の管理

当行は、予防業務を安全で健全な銀行業務の基本方針として認識しており、金融犯罪対策の優先度は高い。金融犯罪への対処における企業固有のサステナビリティの問題を扱う運営文書は、以下のとおりである。

- ・倫理基準に関する方針
- ・金融犯罪防止方針
- ・サステナビリティに関する方針
- ・不正行為防止方針
- ・金融犯罪に対する措置に関するガイドライン

リスク管理

重大な影響、リスク及び機会の特定及び評価のプロセス

当行は2023年秋に、ダブル・マテリアリティ評価を開始し、2024年度に当該評価の最終結果を採択した。

ダブル・マテリアリティ評価は、インパクト・マテリアリティ及び財務マテリアリティの2つの側面に基づいていた。インパクト・マテリアリティでは、企業の事業及びサステナビリティに関する事項の管理が、社会、人々及び気候を含むマクロ環境にどのような影響を与えているかを評価する。かかる評価は、実際の影響及び潜在的な影響並びにプラスの影響及びマイナスの影響の両方を対象としている。財務マテリアリティは、様々なサステナビリティに関する事項が企業の財政状態及び業績にどのように影響しているかを、短期、中期及び長期にわたるリスク及び機会に焦点を当てて分析することを目的としている。

マテリアリティ評価は、様々なセクターにおける当行の貸付、顧客預金の投資、支払処理、供給業者及びすべての本拠地市場における当行自身の事業により生じる影響などの側面を考慮して、当行グループ内のすべてのバリューチェーンを対象とした。これらの側面は、業務遂行に関する事項を評価する際にも考慮された。

サステナビリティ・リスクの管理は当行の分権的なモデルに従っており、当行の事業活動は、確立されたリスク管理プロセスの枠組の下でサステナビリティ・リスクを特定し、それらを管理する主要な責任を負う。当行の移行プロセスにサステナビリティ・リスクを含めることにより、重大なサステナビリティ・リスクが発生し、当行に悪影響を及ぼすことを防止することができる。貸付においては、物理的な気候リスク及び移行リスクを含むサステナビリティの側面が、当行の意思決定プロセスの不可欠な要素を形成する。当該評価においては、顧客のサステナビリティ活動及び顧客の評判に関するリスクを含む、顧客の業務又は信用の目的に関わる可能性のあるサステナビリティ・リスクを評価する。当行の貸付の多くは不動産担保付きである。物理的な気候リスクは、不動産を損傷させ、その価値を減じ、修繕費用及び保険費用を増加させ、又は賃貸用若しくはその他の事業用の不動産から発生する収益を減少させる可能性がある。同様に、移行リスクは、エネルギー効率対策の調整費用を生じさせ、又は投資が行われない場合には不動産の価値を減じる可能性がある。例えば、資金及びアドバイザー・サービスの提供を通じて顧客を支援することにより、当行は顧客の気候リスクへの対応に協力することができる。

戦略、指標及び目標

戦略

提供された情報及びサステナビリティに関する事項

当行の取締役会は、主に取締役会が発行する運営文書を通じて、全体的な戦略、取引及びリスク管理を含む、多くのサステナビリティに関する主要分野における影響、リスク及び機会を検討する。これらの運営文書

は、当行の業務の基本原則を定め、当行がサステナビリティに関連するリスク及び機会をどのように管理するかを含む、当行のサステナビリティに関する業務の枠組を提供する。これらの運営文書は、サステナビリティに関する業務が実際にどのように実施されるべきかについての指針及び手引きを定めた詳細な内部規則によって補完されている。

2024年度中、当行の取締役会又は関連する委員会において、以下の事項が取り上げられた。

- ・ガバナンス：当行の方針、ガイドライン及び組織が評価され、取締役会は、当行の気候に係る移行計画について報告を受けた。
- ・CSRD及びダブル・マテリアリティ評価：当行は、当行にとって最も重要なサステナビリティの問題を特定するためにダブル・マテリアリティ評価を実施した。
- ・CSRDに準拠したサステナビリティ目標：企業サステナビリティ報告指令(CSRD)の新たな要件に関する目標の設定及びスケジュールを含む内部準備。
- ・PRBに準拠したサステナビリティ目標：当行の責任銀行原則(PRB)への参加に際し、2021年度に当行の最高経営責任者により採択されたサステナビリティ目標の報告及び達成。
- ・男女平等ファイナンス：特に金融リテラシー及び専門知識の認識に関する男女平等アドバイザリー・サービスの目標の更新。
- ・外部イニシアティブ及びコミットメント：当行のサステナビリティに関する業務に影響を及ぼす重要な外部イニシアティブ及びコミットメント。
- ・化石燃料コミットメント：化石燃料へのエクスポージャーの削減に関する当行のコミットメント。
- ・グリーンウォッシング：当行の活動及び商品が実際よりも持続可能性が高いように装うことに関連するリスク。

戦略、事業モデル及びバリューチェーン

当行の業務は、個人に対する基本的な尊重及び信頼に基づいている。顧客関係は事業の中核をなしており、当行は顧客の様々なライフステージに寄り添い、顧客のニーズに応じた事業モデルを設計する。当行の戦略は、リスク軽減及び顧客関係における長期的なアプローチに焦点を当てた分散型の業務方法に、サステナビリティを融合している。これには、顧客のサステナビリティ要件に合わせた融資、投資並びにアドバイザリー・サービスに係る商品及びサービスの提供が含まれる。

当行は、本拠地市場における銀行平均を上回る収益性の実現を目指している。当行はこの目標を達成するために、同業他社を上回るコストの削減及び顧客満足度の向上の2つの目標を設定している。さらに、これらの柱にサステナビリティを融合させることで、当行は顧客及び社会にとって有益で長期的に安定した責任ある発展に貢献することができる。

指標及び目標

指標及び目標

当行の以前のサステナビリティ目標は、「同業他社の中で最も持続可能な銀行となり、かつ最も持続可能な銀行であると認識されること」であった。さらに当行は、投資、融資及びアドバイザリー・サービスの3つの分野においてサステナビリティ目標を掲げており、融資ポートフォリオ及び投資ポートフォリオの関連部分を含む、当行グループの業務における温室効果ガス排出量を実質ゼロにすることを目標としている。当行グループは現在、当行の分権的な事業モデルとの整合性をさらに高めるため、サステナビリティに関する業務の見直し

を進めている。その結果、2021年度に採択されたサステナビリティ目標に代わって、当行の全体的な企業目標が設定され、当行グループは今後、これらの目標に関する報告をまとめる。

ハンデルスバンケン・フォンデルは、投資ポートフォリオ及びパリ協定の目標及び移行の道筋(2040年度までに温室効果ガス排出量実質ゼロ)との整合性並びに2030アジェンダへの投資の貢献度を継続して追求する。

目標は、スコープ1及びスコープ2の総排出量を2030年度までに2021年度の水準から50%削減することである。基準年は、科学に基づく目標設定イニシアチブ(SBTi)の基準年設定に関する勧告に基づいて決定された。2024年12月31日現在、当行は、2021年度と比較してスコープ1及びスコープ2の排出量を23%削減した。また総排出量削減目標に加えて、当行は電力調達目標も設定しており、2030年度まで100%再生可能電力の購入を継続する。当行グループにとってエネルギー効率の向上に取り組むことは、当行グループの業務への気候による影響を削減するために不可欠であり、より少ないエネルギー量で、同じ結果を達成することを意味する。2023年度から2030年度の間に、本社及び内部部門における1平方メートル当たりのエネルギー消費量を平均で年間2.5%以上削減することを目標としている。建築物及び施設のエネルギー消費量を削減することにより、スコープ1及びスコープ2の排出量を削減することができる。この目標は、国内の目標及び国際的な目標に沿っており、EUの公共建築物に係るエネルギー効率化要件及びスウェーデン国内の貢献目標として設定された水準を上回っている。

人的資本に関する戦略、指標及び目標

従業員に関する方針

当行は、すべての従業員に対する労働慣行並びに均等な待遇及び機会に関して、プラスの影響及びマイナスの影響に対処するため、以下の運営文書を定めている。

- ・報酬に関する方針
- ・労働環境に関するガイドライン
- ・倫理基準に関する方針
- ・サステナビリティに関する方針
- ・人権及び労働条件に関するガイドライン

これらの方針及びガイドラインは、当行における男女平等、多様性及びインクルージョンに関する全体的な枠組とともに、従業員の業務プロセスを支援するための当行の運営文書の基礎を形成し、マイナスの影響を最小限に抑え、プラスの影響を拡大するための当行の取組みを支えている。すべての運営文書は、当行グループのすべての従業員に適用される。

当行グループの従業員に対する影響を扱う当該運営文書の内容は、当行が、信頼及び尊重により特徴付けられ、すべての従業員が気持ちよく成長する機会を得られる、健康で良好で安全な職場の創造を目指していることを示している。

当行は、当行の従業員のための良好な労働条件の促進に積極的に取り組んでいる。報酬に関する方針は、当行グループの報酬制度がその目的に適合し、当行の事業目標及び事業文化に合致したものでなければならないと定めている。かかる事業目標及び事業文化は、健全で持続可能な業務に基づいており、これにより、従業員の行動は高度な倫理基準、良好な管理秩序及び規制遵守によって特徴づけられる。また、報酬は、サステナビリティ・リスクの健全かつ効率的な管理を促進するように構成されなければならない。当行グループは長期的な雇用アプローチを採用しており、報酬は市場条件に基づき、平等であって性別による差別がなく、当行が有能な従業員を惹きつけ、雇用し、定着させ、育成することを可能にするものでなければならない。当該報酬制度はまた、優れた経営の継承を確保し、当行グループの企業目標の達成に貢献するものでなければならない。

従業員への重大な影響に対する措置を講じること、並びに従業員に関連する重大なリスクを軽減するため及び重大な機会を追求するためのアプローチ、並びにそれらの措置の有効性

当行は、物理的、組織的及び社会的な職場環境を含む体系的な職場環境管理に取り組んでいる。かかる取組みは、当行の文化及び価値観を出発点として、多くの健康要因に基づいた年次プロセスを中心に構築されている。職場環境管理は日常業務の当然の一部であり、定期的な職場環境調査、リスク評価、特定された欠点に対処するための措置、及び実施された措置が望ましい効果を上げていることを確認するためのフォローアップを含む。職場環境活動は、当行が事業を展開する各国における現地の法令及び規制に従って実施され、全従業員を対象としている。各マネージャーは、各自の従業員及び労働組合の代表者又は従業員の代表者と協力して、当行の健康要因に基づいて定期的な職場環境調査を実施する責任を負っている。これらの健康要因は、尊重、信頼、誇り、能力、バランス、コミュニケーション、安全性及び物理的な労働環境であり、インクルージョン及びエンゲージメントの関連カテゴリーも含まれる。職場環境調査及び共同リスク評価の結果に基づき、当該年度の部門の事業計画の一部となる活動を含む職場環境計画が作成される。これらの活動は、良好で包摂的な職場環境の維持及び発展並びに疾病リスクへの対処のために、該当する年度について継続的に監視される。特定されたリスクは、個別に調整された改善策を通じて管理される。

当行では、2024年度以降にフォローアップされる予定の人的資本に関する目標として、同一賃金、良好で包摂的な職場環境及びジェンダーバランスを設定している。下表は、2024年12月31日現在の目標及び指標を示している。

目標－従業員

目標	対象及び指標	2024年度 ¹
同一賃金－当行は、当行の全分野にわたって同一賃金を達成することを目指している。	平均給与における男女間の格差、全従業員(単位：%) ²	
	スウェーデン	17
	英国	25
	ノルウェー	13
	オランダ	19
	合計	20
良好で包摂的な職場環境－当行の職場環境は、年次職場環境調査において、従業員の少なくとも90%から良好で包摂的であると認識される必要がある。	良好で包摂的な職場環境であると認識する従業員、全従業員(単位：%)	93 ³
ジェンダーバランス－当行は、全従業員及びマネージャーの少なくとも40%を女性又は男性が占める、ジェンダーバランスの取れた労働力を有することを目指している。2026年までにこれらの役割におけるジェンダーバランスを達成及び／又は維持することが目標である。	男女別内訳、女性／男性(単位：%)	
	全従業員	49/51
	マネージャー	44/56

¹ 当該データは、欧州サステナビリティ報告基準(ESRS)に従った新しい算定基準を用いて作成された。したがって、過去のデータは当年度との比較可能性がないため、比較数値はない。

² (男性の平均給与-女性の平均給与)／男性の平均給与×100。賃金格差を説明する客観的要因(職務の複雑さ及び経験など)は考慮に入っていない。

³ 2023年度の結果も、93%であった。

3【事業等のリスク】

本項に含まれる将来の見通しに関する記述は、2024事業年度末現在の当行の意見、見通し、目標、期待及び見積りに基づくものである。

当行は、以下のリスク要因が当行の本社債に基づく債務を履行する能力に影響を及ぼす可能性があると考えている。これらの要因はすべて、発生するかどうか分からない偶発事象であり、当行はかかる偶発事象が発生する可能性の程度につき見解を表明する立場にない。

当行は、現在入手可能な情報に基づき当行が重要でないと考えるその他の理由又は現在予測不能なその他の理由によっても、利息、元本又はその他本社債に関する金額を支払うことができない可能性がある。本社債への投資を予定する投資家は、本書の他の部分に記載する詳細情報も精読し、投資の判断を行う前に投資家自身の見解を確定すべきである。

以下のリスクの記載順は、当該リスクの発生可能性又はその潜在的な影響の重大性を示すものではない。

本社債に基づく当行の債務の履行能力に影響を及ぼす要因

信用リスク

信用リスクとは、当行のカウンターパーティが契約上の債務を履行できないことにより生じる当行が経済的損失に直面するリスクである。当行は、貸付、保証の発行並びに外国為替市場及び証券市場におけるカウンターパーティとの取引を実行する結果、信用リスクにさらされる。信用エクスポージャーは、取締役会が定める与信方針に従って管理される。

当行の全体的なリスク・プロファイルは、信用リスクを含むリスクを低水準に維持することを目的とする。当行は、顧客について選択的であり、貸付先の信用の質が高くなるようにする。与信の責任は、当該顧客との関係を管理する支店に存する。支店長及び大部分の支店のスタッフについては、担当する顧客への与信限度額を決定できる個別の決定上限額が定められている。与信限度額を上回る決定については、中央レベルだけでなく、県及び国レベルの意思決定機関がある。より上位のそれぞれの意思決定レベルにおいては、与信に関する専門的見解が加えられ、それぞれの意思決定レベルは、自らの意思決定レベルに関して、また、より上位のレベルで決定される与信に関しても、与信を拒否する権限を有している。最大与信限度額は、ハンデルスバンケン・クレジットで当行グループのレベルにおいて審査され、取締役会で決定されるか、又は取締役会によって設立される与信委員会で決定される。但し、その与信の責任を負う支店長の推薦がなければ、当行において与信申請が処理されることはない。当行はリレーションシップ・バンクであり、かかる与信の手続は、地域に密着した分権化された組織が与信決定を高い質にするという信念に基づいている。

オペレーショナル・リスク

オペレーショナル・リスクとは、不十分な若しくは誤った内部手続、人為的ミス、システムの誤り又は外的要因により生じる損失のリスクをいう。かかる定義には、法的リスク、モデル・リスク並びにITリスク及び情報セキュリティ・リスク(ICTリスク)が含まれる。

オペレーショナル・リスクは、当行グループのあらゆる業務において生じる。オペレーショナル・リスクの特定、評価及び管理の責任は、当行グループ内のあらゆるレベルにおける経営上の責任の不可欠な部分である。

取締役会は、当行グループのオペレーショナル・リスクの許容度を設定している。当行グループのオペレーショナル・リスクに対する許容度は低いものの、オペレーショナル・リスクは当行のすべての業務において避けることのできない要素である。事故が発生した場合に、当行グループ、当行グループの顧客又は金融システムに深刻な悪影響を及ぼす可能性のあるオペレーショナル・リスクは、より低いリスクレベルへ低減させる必要があり、リスクを受容可能な程度にするために、リスクを軽減する手法を講じなければならない。

オペレーショナル・リスクは事業活動内で管理され、ハンデルスバンケン・リスク・コントロール部によってかかる管理が統制されている。特別に任命されたオペレーショナル・リスクの地域コーディネーターは、マネージャーによるオペレーショナル・リスクの管理を補助するために配置される。これらのコーディネーターは、オペレーショナル・リスク、インシデント管理、リスク指標、アクションプラン、制限及び報告に関する事業活動にかかるサポートに責任を負う。

ハンデルスバンケン・リスク・コントロール部は、オペレーショナル・リスクの特定、評価、管理及び報告の業務に用いられる様々な方法、プロセス及び手続に対する定期的な評価を行い、決定された措置の実施が業務内で適切に監督されていることを確認することについて、責任を負う。また、ハンデルスバンケン・リスク・コントロール部は、新規の若しくは重大な変更があった商品、サービス、市場、手続若しくはITシステムに関する決定が行われる前に、又はグループの事業若しくは組織構造に重要な変更がなされた場合に、リスクの評価が行われるようにする責任を負う。また、ハンデルスバンケン・リスク・コントロール部は、当行グループのレベルにおいてすべての重要なオペレーショナル・リスクを特定、測定及び分析し、上級経営陣及び取締役会に対しそれらの進展について報告する責任を負う。

持続的なオペレーショナル・リスクの特定、評価及び管理を支援するため、当行は事故の報告及び事例管理制度、オペレーショナル・リスクの自己評価のための手法及び手続並びにリスク指標を有している。

ICTリスク

当行の事業は、ITサービスの利用可能性及びセキュリティに依存している。銀行サービスの技術開発及びデジタル化は、かかる分野の重要性が増していることを意味している。最高経営責任者は、当行グループのIT事業の全体的な目標及び戦略に関するガイドラインを策定する。かかる分野のオペレーショナル・リスクは、当該分野における特定の種類のリスクを管理するための追加の特別な手続と併せて、当行の他の部分で使用されている手続と同じ手続に基づき管理される。かかる手続には、以下が含まれる。

- ・稼働中のITシステムの監視
- ・ITインシデントの管理
- ・新規のITシステム又は変更されたITシステムの管理
- ・サイバー・リスクの管理
- ・セキュリティ・テストの実施
- ・ITシステムのリスク分析の実施
- ・IT及びセキュリティの観点からの業務委託契約及びその他のサプライヤーとの取決めの見直し
- ・ITシステムの継続的な管理

最高経営責任者は、当行グループのセキュリティ及びデータ保護のガイドラインを策定する。当行は、潜在的な脅威及びリスクを回避するための体系的なデータ保護及びセキュリティ業務に従事しており、マイナスの影響を及ぼす可能性のあるIT環境における変化を管理する手続が存在する。

当行のセキュリティ業務は、従業員及び顧客の安全、セキュリティ及びプライバシーを保護し、顧客及び当行の資産並びに当行グループの名声及び評判を保護することを目的としている。当行の情報セキュリティ及びデータ保護における取組みの全体的な目的は、可用性、完全性、機密性及びトレーサビリティに基づき、顧客の機密情報を保護することである。情報システム及び業務システムは、業務上の要件に基づき利用可能でなければならない。

セキュリティ及びデータの保護活動は、ISO 27001(当行の情報セキュリティ業務は、ISO 27001に基づいて認証され、毎年審査される。)及び情報セキュリティフォーラム(以下「ISF」という。)により策定された情報セキュリティ良好実践基準などの国際基準に従った情報セキュリティ管理システムに基づいて行われている。リ

スク分析は、ISFの情報リスク分析手法(IRAM2)及びプライバシー影響評価(PIA)の手法を採用している。また当行のセキュリティ及び機密情報の取扱いに関する業務も、国際法及び国内法によって規制されている。

ハンデルスバンケン・リスク・コントロール部は、オペレーショナル・リスク(ICTリスクを含む。)及び発生した主要な事故について、最高経営責任者、取締役会のリスク委員会及び取締役会に四半期毎に報告する。

流動性リスク

流動性リスクとは、許容できない費用又は損失なくして当行グループが期日の到来した支払債務を履行することができないリスクである。当行グループは、全体レベル及び各通貨毎の双方において、流動性リスクに対する許容度を低く設定している。その目的は、流動性への良好なアクセスを可能にし、業績の変動を小さく抑え、困難な状況下においても顧客ニーズを満たす十分な資金調達能力を保有することである。これは、当行にとって重要な通貨のすべてにおいて、キャッシュ・フローの流入及び流出を適切にマッチングさせるとともに良質な十分な流動性準備金を維持することによって達成される。

流動性管理におけるリスクを抑制するため、当行は、流動性リスクの制限及び定性的な目標を含む強固なリスク許容度の枠組を有している。ハンデルスバンケン・リスク・コントロール部は、リスクを測定する責任を負い、毎日、最高経営責任者及び最高財務責任者に、また定期的に取り締役に、リスクの管理状況を報告する。流動性計画は、各通貨のキャッシュ・フローの分析に基づいて策定される。原則として、流動性の高い通貨は、流動性の低い通貨よりも大きなエクスポージャーをとることが認められている。資金調達戦略では、非流動資産を安定的かつ長期的に調達し、ストレスのかかる状況下においてもプラスの流動性ポジション(キャッシュ・フロー及び流動資産の合計)を維持する必要がある。

したがって、当行の流動性状況のガバナンスは、ストレス・テストに基づいており、ストレス・テストは全体レベルで実施されるほか、当行にとって重要な通貨毎に個別でも実施される。ストレス・テストは、当行が様々なストレス・シナリオ及び流動性創出策において、短期及び長期の両方の観点から十分な流動性を有することを確保する。

当行グループは金融市場の混乱の可能性に備えるための戦略の一部として、流動性準備金を維持している。流動性準備金は、現金、預金残高及びその他の中央銀行への貸出などの複数の異なる部分より構成されており、これらは当行に緊急の流動性を提供可能である。当該準備金はまた、国債、カバード・ボンド及びその他の信用の質が高い有価証券をはじめとする流動性の高い有価証券により構成され、これらは流動性が高く、中央銀行への担保として適格なものである。流動性準備金の残りの部分は、カバード・ボンドの未発行額及びその他の流動性創出対策により構成される。

当行グループ内のすべての資金調達及び流動性管理は、ハンデルスバンケン・トレジャリーに一元化されている。資金調達及び流動性管理は、取締役会が定める方針に準拠し、取締役会は上限についても決定する。最高財務責任者からの指示は、これらの方針を具体化するものである。これらの指示により、上限、資金調達の構成及び資金調達市場に混乱が生じた場合のベンチマークなどのパラメーターを設定する。さらに、すべての流動性リスクの上限は、ハンデルスバンケン・トレジャリーを通じて業務部門へ伝達される。ハンデルスバンケン・トレジャリーは、当行の流動性準備金についても責任を負う。

欧州委員会が委任規則(EU)2015/61を導入後、流動性カバレッジ比率(以下「LCR」という。)は、EUにおける銀行に対する拘束力のある要件となっている。かかる数値は、当行の流動性バッファー及び30日間の大きなストレス・シナリオにおける当行の正味キャッシュ・フローとの比率を規定する。かかる要件は総計レベルで適用され、比率は少なくとも100%でなければならない。さらにSFSIは、第二の柱における監督審査及び評価プロセスの枠組において、各通貨のLCRを規定している。当年度末において、欧州委員会の定義に基づき計算した当行グループの総計のLCRは207%であった。このことは、当行グループが資金調達市場における短期の混乱に対して著しく耐性があることを示している。構造的流動性指標の最低要件である、安定調達比率(以下「NSFR」と

いう。)は、利用可能な安定調達と必要とされる安定調達の比率であり、それによって当行は1年後の見通しの観点から通常時及びストレス下の両方の状況において資金需要を満たすのに十分な安定調達を確保することが必要となった。最低要件は総計レベルで適用され、比率は少なくとも100%でなければならない。2024年度末時点で、NSFRはグループレベルで124%であった。

当行グループは、通貨、市場及び資金調達金融商品に関して、十分に多様な資金源を維持するよう努めている。当行グループは、海外及びスウェーデンの資本市場から即時に資金を調達できるよう、様々なプログラムを維持している。短期資金は、スウェーデン、アメリカ合衆国及び欧州におけるコマーシャル・ペーパー・プログラムを通じて調達される。長期資金は、主にスウェーデン・クローネ建てのカバード・ボンドの発行及び当行グループのその他の資金調達プログラムの利用を通じて調達される。グループ財務部は、資産と負債の満期の適切な均衡を維持する責任を負う。

市場リスク

市場リスクは、金融市場における価格及びボラティリティの変動により発生する。市場リスクは、金利リスク、為替リスク、株価リスク及びコモディティ価格リスクに分類される。

市場リスクは、当行の非トレーディング勘定の業務において、主に当行の資金調達業務及び貸付業務において生じる金利及び為替ポジションにより発生する。市場リスクは、これらのポジションが完全に一致しない場合に生じる。また市場リスクは、顧客主導のポジションに加え、ハンデルスバンケン・トレジャリーの流動性ポートフォリオ等の銀行業務の遂行に必要なポジションからも生じる可能性がある。トレーディング勘定の市場リスクは主にハンデルスバンケン・マーケットツにおいて、固定利付債券、外国為替、株式又はコモディティ市場に対するエクスポージャーを伴う金融商品の顧客需要を満たすために発生する。さらに、市場リスクは、当行のマーケット・メーカーとしての機能に関連して生じる可能性もある。当行の業務における市場リスクは、主にハンデルスバンケン・トレジャリー及びハンデルスバンケン・マーケットツにおいて生じており、それぞれ管理されているが、ハンデルスバンケン・リヴにも存在する。

金利リスク

金利リスクは、主として、ハンデルスバンケン・マーケットツ、ハンデルスバンケン・トレジャリー及び当行グループの貸出事業において発生する。貸出事業における金利リスクは、その資金と部分的に異なる固定金利の期間を有する顧客及び他行への貸出しを行うことにより発生する。当行グループは、金利スワップ契約の締結により、かかるリスクの相当な部分を排除しようとしている。一般に、金利リスクへのエクスポージャーは、流動性の高さを特徴とする市場において生じる。

当行は、一般的な金利リスク、特定の金利リスク及び非線形金利リスクを捉える方法により、金利リスクを測定及び制限している。

株価リスク

株価リスクとは、市場価格の変動による株式関連ポジションの市場価値の変化に起因する損失のリスク及び市場価格のボラティリティに起因する損失のリスクである。当行グループの株価リスクへのエクスポージャーは、主としてハンデルスバンケン・マーケットツでの顧客との取引及び当行の保有株式において生じる。当行グループは、株価リスクを測定し妥当な上限を設定するために、原株式価格及びボラティリティの大幅な変動を想定して事前に設定したストレス・シナリオを用いている。

為替リスク

当行グループは、スウェーデン以外を拠点とする市場を有しており、他の複数の国においても事業を行っている。したがって、当行グループの勘定がスウェーデン・クローネで表示されていることにより、構造上、為替エクスポージャーが生じる。かかる構造上のリスクは、自己資本比率又は資本のそれぞれに対する為替変動の影響間のトレード・オフを考慮することによって管理される。

当行の直接的な為替エクスポージャーは、ハンデルスバンケン・マーケットにおいて行われる国際為替市場における顧客主導の日中取引の結果として生じる。顧客の支払フローの管理の一環としての通常の銀行業務及びハンデルスバンケン・トレジャリーの資金調達業務においても、ある程度のが為替エクスポージャーが生じる。当行の取締役会、最高経営責任者及び最高財務責任者は、これらのリスクに対して、ポジション限度額を設定している。

コモディティ価格リスク

コモディティの取引は、ハンデルスバンケン・マーケットにおいて独占的に行われ、コモディティ関連商品のエクスポージャーは、国際コモディティ市場における顧客主導の取引の結果としてのみ発生し、取締役会、最高経営責任者及び最高財務責任者が決定した限度によって制限されている。

当行は、線形リスク及び非線形リスクの双方を効果的に捉える方法により、コモディティ価格リスクを制限及び測定しており、またかかるリスクは、当行がさらされているあらゆるコモディティのリスクの絶対合計として測定される。

保険リスク

保険リスクとは、保険契約者からハンデルスバンケン・リヴへ移転される財務リスク以外のリスクを指す。ハンデルスバンケン・リヴにおける最も重要な保険リスクは、死亡リスク、余命リスク、障害回復リスク、無効リスク及び管理費用リスクである。

各保険契約は、これらのリスクの複数へのエクスポージャーを含む可能性がある。当行グループの保険会社であるハンデルスバンケン・リヴは、利益分配を行う保険会社であるため、これらのリスクをはらんでいる。したがって、保険の購入予定者に対しては、医学的リスクの評価が行われる。

報酬リスク

報酬リスクとは、報酬制度の結果として生じる損失又はその他の損害のリスクである。報酬リスクに対する当行グループの許容性は低く、当行グループはかかるリスクを低い水準に維持するよう努めている。変動報酬は注意して適用され、当行のリスク・プロファイルへ重大な影響を与える職務活動を行っている従業員には提供されない。

当行グループにおいて、従業員が新たな役職に就く際及び現地の給与の見直しの際、報酬は個別に設定される。当行グループに対し拘束力のある労働協約又は対応する現地の標準化された契約若しくは合意を考慮に入れて、報酬は当行の給与の設定モデル及び給与の決定要素に基づいて決定される。給与の決定要素とはすなわち、業務内容及び難易度、能力及びスキル、業務実績及び成果、指導力、市場並びに当行の企業カルチャーの代表者であるかである。これらの原則は何年もの間、適用されている。これらは、あらゆる階層のマネージャーが定期的に給与の見直しに参加し、当行の給与方針の実行及び各自の部門の人件費に責任を持つことを意味している。

コンプライアンス・リスク

コンプライアンスとは、当行の認可業務に適用される内外の規則及び規制、並びに一般的な市場慣行及び関連基準を順守することを指す。コンプライアンス・リスクとは、当行グループがこの枠組を遵守しないこと、及びその結果、当行が被る可能性のある制裁、重大な財務上の損失又は評判の失墜という形での影響に関連するリスクをいう。当行グループは、コンプライアンス・リスクに対する許容度を低く設定しており、これらのリスクを可能な限り防止し、特定されたリスクに迅速に対処するために実施すべき作業を優先しなければならない。

統制機能は、当行の認可業務に関連するコンプライアンス・リスクの特定、監視、統制及び報告を担当する管理機能である。組織上、この機能はハンデルスバンケン・コンプライアンス部及び特定の子会社の地域部門に分かれている。また、ハンデルスバンケン・コンプライアンス部には、適用されるマネーロンダリング及びテロリストへの資金供与に関する規制に基づく管理・報告義務に係る任命責任者、並びに適用されるデータ保護及び個人データ処理に関する規制に基づくデータ保護責任者(以下「DP0」という。)等、具体的に定められた役割も含まれる。

最高コンプライアンス責任者は、当行のグループ最高経営責任者、リスク委員会及び取締役会に、当行グループにおける現在のリスク状況を四半期毎に報告する。これには、任命責任者及びDP0からの報告も含まれる。

サステナビリティ・リスク

サステナビリティ・リスクとは、環境及び気候、人権及び労働を含む社会的責任並びにガバナンスの問題に関連する要因による、財務上の損失又は評判の失墜のリスクをいう。サステナビリティ・リスクは、サステナビリティに関連する要因が、環境及び気候(物理的な気候変動、持続可能な経済への移行及び生物多様性を含む。)、社会的責任(人権、労働、性別、平等及び個人データの情報セキュリティを含む。)並びにガバナンス(腐敗防止及び贈収賄対策を含む。)等の既存のリスク分類に与える影響により発生する。これらのリスクを適切に管理できない場合、財務上の損失又は評判の失墜を引き起こす可能性がある。

当行のサステナビリティ・リスクは主に、与信供与及び投資等の当行の事業を通じて間接的に生じる。

取締役会は、当行のサステナビリティに関する方針において、責任ある行動が当行の長期的な価値創造及び当行への信頼維持に不可欠であると定めている。業務全体にサステナビリティの視点を組み込むことで、当行グループが財務的に健全で、環境的及び社会的に持続可能であり、かつ持続可能な開発に寄与する業務を遂行することを確保する。サステナビリティ・リスクは、当行の通常の低いリスク許容度に沿って管理され、またサステナビリティ・リスクをリスク評価の最も重要な要素とするリスク分類におけるリスク許容度に適合させなければならない。

取締役会及び最高経営責任者は、当行グループのサステナビリティ活動の基本的な方針及び枠組を定めている。最高経営責任者は、当行グループにおけるサステナビリティに関する機能的な責任を当行の最高財務責任者に委任している。ハンデルスバンケン・サステナビリティは、ハンデルスバンケン・ファイナンス内の当行グループ全体の専門機能として、サステナビリティ活動を調整し、当行グループの業務へのサステナビリティの組込み及び重要なサステナビリティ・リスクの特定において、事業を支援する。サステナビリティ部門の業務は、当行の最高財務責任者に帰属するハンデルスバンケン・サステナビリティの業務部長により指揮される。

当行グループの事業活動は、サステナビリティ・リスクを識別し管理する責任を負っている。これは、リスク管理に関して確立されたプロセスの枠組内で行われる。

気候変動、大惨事、テロ攻撃、戦争行為及び自然災害などの世界の経済状況及び地政学的展開は、当行グループの事業、利益及び経営成績に悪影響を及ぼす可能性がある。

当行グループの各事業部門は、市況の影響を受け、これにより年間及び長期の業績が変動する可能性がある。かかる市況には、市場価格の不安定な動向を含む金融市場のサイクル及び銀行業界のサイクル等の経済サイクル並びにCOVID-19の大流行及び世界的な蔓延により生じた混乱のような、地域経済及び世界経済又は商品及びサービスの自由な流れにおける混乱をもたらす地政学的展開が含まれる。当行グループの業績は、金利及び為替、金融方針及び財政政策、消費者支出及び事業支出、人口動態並びに競争上の要因及びその他の要因の変動によっても影響を受ける。

アメリカの政治情勢は、ドナルド・トランプの大統領選出及び2025年1月の就任に伴い変化した。トランプ政権は新たな政策及び大統領令を導入しており、今後も継続する可能性がある。これは世界経済及びEU経済に不確実性及び潜在的リスクをもたらしている。かかる政策には、貿易関税、移民制限及び規制変更が含まれる。これらの変化は、不確実で予測不可能な状況を創出し、国際貿易、規制枠組及び経済安定性に影響を及ぼす可能性があり、影響を受ける第三国からの報復措置につながる可能性がある。かかるシナリオは、世界のサプライチェーンを混乱させ、商品原価を上昇させ、国際貿易量を減少させる可能性がある。国際関係の不確実性は、金融市場のボラティリティを引き起こし、今後も影響を及ぼし続ける可能性があり、投資家の信頼及び経済の安定性に影響を及ぼす。さらに、トランプ政権の特定の政策は、領土紛争及び投資紛争を引き起こし、外交関係及び通商関係のボラティリティを高める可能性もある。貿易関税の賦課並びに米国並びにその他のいくつかの国々及び地域との間の貿易戦争の可能性は、貿易パターンを混乱させ、当行グループが事業を行う国々の経済に悪影響を及ぼす可能性がある。

また市況は、地政学的緊張の高まりに対する懸念の影響も受けており、今後もかかる影響が継続する可能性が高い。2022年2月のロシアによるウクライナへの侵攻以降、とりわけ米国、EU、カナダ、日本及びオーストラリアは、ロシアの高官、個人、地域、企業及び産業に対して広範な経済制裁を課している。加えて、多くの大企業及び事業が、特定のロシアでの事業における権益を売却し、若しくは取引を縮小し、及び／又はロシアでの事業を閉鎖している。2022年2月27日に、スウェーデンは紛争中の国に武器を送らないという原則を破り、ウクライナに軍装備品を送ると発表した。2022年5月17日に、スウェーデンは北大西洋条約機構(以下「NATO」という。)への正式な加盟申請を行い、2024年3月7日に、スウェーデンはNATOの正式な加盟国となった。トランプ政権はロシア及びウクライナの和平交渉を仲介してきたが、未だ合意には至っておらず、ロシア、ウクライナ及び米国間の緊張は依然として高いままである。ウクライナでの出来事を巡るロシア及び制裁を課すその他の国々間の緊張の高まりは、世界的なマクロ経済情勢に重大な悪影響を及ぼしている。

さらに、2023年10月のハマスによるイスラエルへの攻撃並びに最近のイスラエル及びイランの攻撃及び反撃により、地政学的緊張はさらに高まっている。2025年1月、ハマス及びイスラエルは15ヶ月にわたる紛争を終結させるため、停戦協定に合意した。しかし、2025年3月18日に停戦は破られ、紛争の今後の展開は依然として不透明である。これらの緊張がさらに高まった場合、重大な地政学的不確実性が生じ、地域及び世界の経済環境に悪影響を及ぼす可能性がある。

より一般的には、気候変動、大惨事、テロ攻撃、戦争行為、感染症の蔓延、自然災害並びにこれらの事象及び行為に対する反応・反響などの地政学的展開は、経済及び政治の不安定性を生み出す可能性があり、当行グループが事業を行う地域又は全世界における経済状況にマイナスの影響を与えるおそれがある。より具体的には、当行グループの事業を妨げるおそれがあり、重大な損失に繋がる可能性がある。このような事象／行為及びそれらから生じる損失は、予測が難しく、不動産、金融資産、ポジション売買又は重要な従業員に関係する可能性がある。

これらの事項の結果として当行グループが直面するリスク及び不確実性の正確な本質を予測することは不可能であり、これらのリスクの多くは、当行グループの統制が及ばないものである。しかしながら、市場の混乱

及びボラティリティが当行グループの事業、経営成績及び財政状態並びに社債(本社債を含む。)に基づく当行の債務の履行能力に重大な悪影響を及ぼす可能性がある。

当行グループが事業を行っている英国及びノルウェーを含むその他の市場のマクロ経済情勢は、当行グループの業績に悪影響を及ぼす可能性がある。

当行グループの事業の大部分はスウェーデン国外で行われており、スウェーデン国外の本拠地市場は当行グループの収益合計の32.0%を占めている。スウェーデンと同様に、当行グループが事業を行っているその他の市場は、現在進行中のウクライナにおける戦争並びに英国及びユーロ圏におけるインフレ圧力など、人口動態及び政治動向に関する課題を含む多くの課題に直面している。例えば、2022年度及び2023年度には、インフレが持続的かつ顕著に進行したことを受け、イングランド銀行及び欧州中央銀行は、政策金利を大幅に引き上げた。インフレの進行は、英国及びユーロ圏全体において実質賃金の相応な下落を引き起こし、消費者信頼感は急激に低下し、場合によっては過去最低を記録した。しかし、その後インフレ率は低下し、本書提出日現在、イングランド銀行及び欧州中央銀行は、政策金利をそれぞれ4.25%及び2.00%に引き下げている。

ユーロ圏において、GDP成長率は全体的に低調で、ユーロスタットの報告によると2023年度は0.4%の成長、当行の最新の予測によると2024年度は0.8%の成長であった。2023年度の英国のGDP成長率はわずかに0.4%であり、2024年度は1.1%となりわずかに改善した。当行の最新の予測によると、2025年度の英国のGDP成長率は1.0%と予想されている。ノルウェー本土では、2023年度のGDP成長率はゼロに近く、2024年度はわずかに0.6%であった。当行の最新の予測によると、ノルウェー本土のGDPは2025年度に1.5%成長すると予想されている。ノルウェーのインフレ率が低下し始めたことを受けて、ノルウェー銀行は本書提出日現在、政策金利を4.25%に引き下げている。

さらに、2020年1月31日、英国は正式にEUから離脱した(かかる離脱を、以下「英国のEU離脱」という。)。英国のEU離脱後、直ちに移行期間に入り、2020年12月31日に終了した(以下「移行期間」という。)。2020年12月24日、EU及び英国は貿易及び協力に関する協定に合意した。これは、移行期間の終了後のEUと英国間の関係に関する指針を定めており、2021年5月1日に施行された。

EUと英国の間で金融サービスに関する追加の貿易協定又は同等の決定が締結されるかは依然として不確実である。概して、そのようないずれの貿易協定、同等の決定又は金融市場に関するその他の協力メカニズムによる影響、英国及びEU加盟国の間で求められ得る法的及び規制の合致並びに規制的協力の程度、並びにEU及び英国の市場に渡る金融サービス会社に付与され得るアクセスのレベルもまた不確実である。英国のEU離脱による市場分断を通じた金融市場への影響が広範囲にわたるほど、ファイナンス及び資金調達に対するアクセスは低下し、特定の金融市場インフラに対するアクセスの欠如は、当行グループの業務、財政状態及び財政予測並びに顧客の財政状態及び財政予測に影響を与える可能性がある。英国健全性規制機構の認可に基づいて運営されている子会社である当行グループの英国支店の事業を含め、当行グループの事業への正確な影響を予測することは困難である。

税法の不利な改正により、当行グループの事業は悪影響を受ける可能性がある。

当行グループが業務を行う管轄地域において、当行グループの活動は様々な税率で課税され、当該税率は現地の法律及び実務に基づき計算されている。税法の改正又はかかる法律の解釈の改正により、当行グループの財政状態は悪影響を受ける可能性がある。スウェーデン政府又はその他の国々の政府が将来的に税率を引き上げる又は追加の税金を課す措置を講じた場合、当行グループの収益性が低下する可能性がある。例えばスウェーデンにおいて、2022年1月1日から、当行を含む、スウェーデン国内の総負債がリスク税の閾額(現在、2025年に開始する事業年度については192十億スウェーデン・クローネ)を超える特定の信用機関に対する新たな「リスク税」が導入された。リスク税率は、特定の規則に従って計算された信用機関の債務の0.06%であ

る。さらに、スウェーデン政府は、リスク税率を2026年1月1日から0.07%に引き上げること(リスク税の閾額に相当する基礎控除を伴う。)を提案している。提案されている法律の調整は、当行グループの収益性に重大な影響を及ぼさないと予想されている。

税務上の規制又は方針の将来の変更は予測不可能であり、かつ当行グループの制御の範囲を超えており、スウェーデン及び当行グループが活動するその他の法域の税務当局による将来の法律の変更又は決定は、当行グループの税務上のポジションを損なう可能性がある。かかる税法に関する改正により、当行グループの税負担が増加し、当行グループの事業、業績、財政状態又は当行の社債(本社債を含む。)に基づく義務を履行する能力に重大な悪影響を及ぼす可能性がある。

重大な悪影響を及ぼす規制上の進展により、当行グループは悪影響を受ける可能性がある。

当行グループの事業は、スウェーデン、英国及び当行グループが事業を行うその他の国々の法律、規制、方針及び／又はそれらの各解釈の変化の影響を含む、現行の規制及び関連する規制上のリスクに服している。法律及び規制並びに法律及び規制の施行又は解釈の方法は、ともに予測不可能であり、当行グループの制御の及ぶものではなく、当行グループの事業、経営成績若しくは財政状態又は社債(本社債を含む。)に基づく当行の債務の履行能力に重大な悪影響が及ぶ可能性がある。

当行は、SFSAによる監督並びにとりわけ自己資本比率及び流動性の規則などに関するスウェーデンの規制の適用を受けている。当行グループの業務の多くは、現地の監督当局による監督に服している。当行グループはまた、直接適用されるEU規則及び現地の法律を通して施行されるEU指令に服している。当行グループは、欧州連合、ノルウェー、英国又はSFSAによる規制上の取組みの結果として、将来どのような規制上の変更が課されるか予測することができない。

当行グループが効果的に規制上のリスクを管理できない場合、当行グループの事業、経営成績若しくは財政状態又は社債(本社債を含む。)に基づく当行の債務の履行能力に重大な悪影響が及ぶ可能性がある。

当行は、マネーロンダリング活動に関連するリスクにさらされており、マネーロンダリング防止及びテロ資金供与防止に関する規制の順守には、重大なコスト及び努力を要する。

当行は、マネーロンダリング防止、腐敗防止及びテロ資金供与防止に関する規則及び規制に服している。一般的に、銀行が、マネーロンダリングに関して負う又はそれらに利用されるリスクは、近年世界的に増大している。マネーロンダリング防止及びテロ資金供与防止に関する規制の順守には、重大なコスト及び努力を要する。これらの規則に対する違反は、当行及び当行グループにとって法的及び風評に関わる悪影響(クライアント、パートナー及びその他第三者との関係におけるものも含む。)を含め、深刻な影響を及ぼす可能性がある。当行は、当行における現行のマネーロンダリング防止及びテロ資金供与防止に係る方針及び手続並びに行動基準(腐敗防止を含む。)は、適用規則を順守するのに基本的に適切であると判断しているが、当行は過去において又は今後において、常にすべての適用規則を順守してきた又は順守すると保証することはできず、また、当行グループ全体に拡大適用されるマネーロンダリング、テロ資金供与及び腐敗を防止するための当行の方針及び規則が、その従業員によって常に順守されていると保証することはできない。かかる規則、方針及び規制を遵守しない場合、当行の事業、経営成績及び財政状態に重大な悪影響を及ぼす可能性があり、したがって当行の社債(本社債を含む。)に基づく義務を履行する能力に影響を及ぼす可能性がある。

当行及びその顧客は、サイバー犯罪及び詐欺に関連するリスク及び潜在的損失の危険にさらされている。

その他の金融機関同様、金融サービスにおけるテクノロジーの活用を受けて、当行及びその顧客は、当行のシステムに過負荷を掛けるように意図された攻撃を含め、犯罪目的又は悪意を持ったグループによる実際のサイバー攻撃又はその企てのリスクにさらされている。これらのリスクは、当行がその商品、サービス、

主要な機能及び流通経路のデジタル化を進めるにつれて、また、サイバー攻撃がより複雑化し、より蔓延するにつれて増大する。当行は、サイバー攻撃によりその従業員及び／又は顧客に対する当行のシステムの運用上の可用性が一時的に失われるリスクにさらされており、結果として、当行の事業、経営状況、業績及び将来的な展望に対する重大な悪影響につながる可能性がある。

当行が、サイバー犯罪や詐欺等の新たな脅威に対する情報セキュリティ管理に十分な投資を継続できないリスクがあり、また、当行が、既知の脅威に対する管理を頑強であるようにすることを継続できないリスクがある。さらに、サイバー犯罪グループによる益々複雑化する攻撃や、顧客口座に対する詐欺行為等による当行のシステムに対するセキュリティ侵害は、業務の中断、機密情報の漏えい、重大な財務リスク及び／又は法的リスクの発生並びに当行の評価及び／又はブランド価値の棄損につながるおそれがある。加えて、当行及びその顧客は、カード、口座、個人情報、内部及びその他の詐欺に関連するより一層のリスクにさらされており、中にはより複雑で、組織化され、テクノロジーに誘発されるものも含まれる。

これらの活動はいずれも防止したり検知したりすることが難しく、これらのリスクを軽減するための当行の内部方針が不適切又は非効果的である可能性がある。当行は、これらの活動又は事象により生じた損失を回復することができない可能性があると同時に、これらの結果として風評被害を被るおそれがあり、そのいずれもが当行の事業、経営状況、業績及び将来的な展望に重大な悪影響を及ぼす可能性がある。

4【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1)業績等の概要

下記「(3)財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析」を参照のこと。

(2)生産、受注及び販売の状況

該当事項なし。

(3)財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析

本セクションに含まれる将来の見通しに関する記述は、2024事業年度末現在の当行の意見、見通し、目標、期待及び見積りに基づいている。

2024年12月31日終了事業年度

業績報告

営業利益は、4%減少して35,016百万スウェーデン・クローネ(前年度は36,322百万スウェーデン・クローネ)となった。比較可能性に影響する項目を調整後、かかる減少は2%であった。

収益合計は、62,345百万スウェーデン・クローネ(前年度は62,249百万スウェーデン・クローネ)に増加した。

費用合計は、総額-25,209百万スウェーデン・クローネ(前年度は-23,182百万スウェーデン・クローネ)であった。

継続事業からのC/I比率は、40.4%(前年度は37.2%)であった。

継続事業からの信用損失率は、-0.02%(前年度は0.01%)であった。

事業合計からの当期利益は、総額27,456百万スウェーデン・クローネ(前年度は29,114百万スウェーデン・クローネ)であった。

事業合計からの一株当たり利益は、13.86スウェーデン・クローネ(前年度は14.70スウェーデン・クローネ)であった。

事業合計からの株主資本利益率は、14.6%(前年度は15.9%)であった。

支払済配当金及び提案配当金を控除後の普通株式等Tier 1比率は、18.8%(前年度も18.8%)であった。

収益

(単位：百万スウェーデン・クローネ)

	2024年度(通年)	2023年度(通年)	変動
純利息収益	46,841	47,578	-2%
純手数料及びコミッション収益	11,726	11,139	5%
金融取引による純損益	3,103	2,661	17%
その他の収益	675	871	-23%
収益合計	62,345	62,249	0%

純利息収益は、2%すなわち737百万スウェーデン・クローネ減少して46,841百万スウェーデン・クローネ(前年度は47,578百万スウェーデン・クローネ)となった。為替の影響は、163百万スウェーデン・クローネ寄与した。全体として、利鞘及び資金調達費用の正味の影響により、-591百万スウェーデン・クローネの影響が生じた。取引額の減少により、純利息収益に-380百万スウェーデン・クローネの影響が生じた。2024年は閏年であり、閏日が含まれたことにより生じた影響は、99百万スウェーデン・クローネであった。預金保証スキームの

費用の減少により、10百万スウェーデン・クローネの影響が生じた。その他の影響は、総額-38百万スウェーデン・クローネであった。

純手数料及びコミッション収益は、5%増加して11,726百万スウェーデン・クローネ(前年度は11,139百万スウェーデン・クローネ)となった。ファンド運用手数料、カストディ手数料及びその他の資産運用手数料は、9%増加して7,151百万スウェーデン・クローネ(前年度は6,531百万スウェーデン・クローネ)となった。これは、8%増加して5,980百万スウェーデン・クローネ(前年度は5,534百万スウェーデン・クローネ)となったミューチュアル・ファンド手数料を含む。仲介収益は、7%増加して449百万スウェーデン・クローネ(前年度は420百万スウェーデン・クローネ)となった。純コミッションは、3%増加して1,802百万スウェーデン・クローネ(前年度は1,758百万スウェーデン・クローネ)となり、そのうち995百万スウェーデン・クローネ(前年度は1,053百万スウェーデン・クローネ)は、クレジットカード事業からの手数料により構成された。貸出手数料及び預金手数料は、12%減少して1,017百万スウェーデン・クローネ(前年度は1,156百万スウェーデン・クローネ)となった。保険手数料は、776百万スウェーデン・クローネ(前年度は673百万スウェーデン・クローネ)に増加した。アドバイザー手数料は、208百万スウェーデン・クローネ(前年度は236百万スウェーデン・クローネ)であった。その他の純手数料及びコミッション収益は、総額324百万スウェーデン・クローネ(前年度は365百万スウェーデン・クローネ)であった。

金融取引による純損益は、17%すなわち442百万スウェーデン・クローネ増加して3,103百万スウェーデン・クローネ(前年度は2,661百万スウェーデン・クローネ)となった。ハンデルスバンケン・マーケットにおける顧客主導型事業により、ハンデルスバンケン・マーケットの利益は129百万スウェーデン・クローネ増加して1,220百万スウェーデン・クローネ(前年度は1,091百万スウェーデン・クローネ)となった。当行の流動性ポートフォリオからの寄与は、58百万スウェーデン・クローネ増加して253百万スウェーデン・クローネ(前年度は195百万スウェーデン・クローネ)となった。フィンランドの子会社であるハンデルスバンケン・ラホイトス・オイの換算調整勘定の計上は、同社の清算と併せて、178百万スウェーデン・クローネ寄与した。その他の金融取引による純損益は、主に当行のヘッジ関係の非有効性並びに当行の資金調達における金利リスク及び為替リスクを管理するために使用されるデリバティブの市場価値の変化に関連し、総額1,452百万スウェーデン・クローネ(前年度は1,375百万スウェーデン・クローネ)となった。

保険事業による純損益は、-71百万スウェーデン・クローネ減少して422百万スウェーデン・クローネ(前年度は493百万スウェーデン・クローネ)となった。保険契約者に代わって保有する資産からの収益は-39百万スウェーデン・クローネ減少し、総額297百万スウェーデン・クローネ(前年度は336百万スウェーデン・クローネ)となった。保険事業による損益は126百万スウェーデン・クローネ(前年度は157百万スウェーデン・クローネ)であった。

収益の残りの項目は、合計252百万スウェーデン・クローネ(前年度は379百万スウェーデン・クローネ)であった。

費用

人件費は、15%すなわち2,089百万スウェーデン・クローネ増加して-15,731百万スウェーデン・クローネ(前年度は-13,642百万スウェーデン・クローネ)となった。2024年度に計上された雇用終了契約に関連するリストラクチャリング費用は、総額-472百万スウェーデン・クローネであった。オクトゴーネン利益分配制度に対する引当金は-255百万スウェーデン・クローネ(前年度は-285百万スウェーデン・クローネ)であり、そのうち-159百万スウェーデン・クローネは2023会計年度に関連するものである。為替の影響は、合計-50百万スウェーデン・クローネであった。リストラクチャリング費用、オクトゴーネン利益分配制度及び為替の影響を調整後、人件費は12%増加した。かかる増加は、従業員数の増加、年間給与の調整、外部人材の無期雇用従業員へ

の置き換え及び2024年度初頭における割引率が前年より低下したために生じた年金費用の増加によるものであった。

2024年度末において、従業員数は合計11,976名(前年度は12,017名)であり、総人員(外部人材を含む。)は705名すなわち5%減少して12,571名(前年度は13,276名)となった。2024年第1四半期からの減少は、778名すなわち6%であった。2024年度中、継続事業からの平均従業員数は、5%増加して12,224名(前年度は11,683名)となった。かかる増加のうち、4パーセント・ポイントは支店業務に従事する従業員の増加によるものであり、1パーセント・ポイントは(コンサルタントの給与払い従業員への置き換えを通じた)当行のIT開発によるものであった。

その他費用は、4%減少して-7,474百万スウェーデン・クローネ(前年度は-7,796百万スウェーデン・クローネ)となった。これは主に、外部人材の利用の減少による。

不動産及び器具備品並びに無形資産の減価償却費、償却費及び減損費用は、15%増加して-2,004百万スウェーデン・クローネ(前年度は-1,743百万スウェーデン・クローネ)となった。

信用損失

(単位：百万スウェーデン・クローネ)

	2024年度(通年)	2023年度(通年)	変動
正味信用損失	601	-141	742
一般顧客への貸出金に対する信用損失率の割合 (単位：%)	-0.02	0.01	

正味信用損失は、601百万スウェーデン・クローネ(前年度は-141百万スウェーデン・クローネ)の正味回収額により構成された。そのうち455百万スウェーデン・クローネは、専門家の見解に基づく引当金の戻入額であり、2024年度末は総額149百万スウェーデン・クローネ(前年度末は604百万スウェーデン・クローネ)であった。一般顧客への貸出金に対する信用損失率は、-0.02%(前年度は0.01%)であった。

規制関連費用

規制関連費用は、合計-2,733百万スウェーデン・クローネ(前年度は-2,624百万スウェーデン・クローネ)であった。リスク税は、合計-1,655百万スウェーデン・クローネ(前年度は-1,644百万スウェーデン・クローネ)であった。破綻処理手数料は、合計-1,031百万スウェーデン・クローネ(前年度は-980百万スウェーデン・クローネ)であった。イングランド銀行による賦課金は、-47百万スウェーデン・クローネ(前年度はなし)であった。

税金等

継続事業における実効税率は22.3%(前年度は23.2%)であった。かかる税率とスウェーデンにおける20.6%の法人税率との差異は、主に英国の事業における税率の引上げ及び控除できない劣後債務の費用によるものであった。

事業合計における実行税率(非継続事業を含む。)は22.3%(前年度は22.8%)であった。

非継続事業

2023年5月31日、当行はフィンランドにおける個人顧客、生命保険及び中小企業に係る事業活動の売却に関する契約を締結した。かかる契約の一部である中小企業向け事業の売却は、2024年9月初旬に完了し、当該事業は

ウーマ・スパーバンク・エイ・ビー・ピーに譲渡された。フィンランドにおける個人顧客及び生命保険に関連する事業の売却は、2024年12月初旬に完了した。

税引後の非継続事業からの当期利益は、総額234百万スウェーデン・クローネ(前年度は1,209百万スウェーデン・クローネ)であった。

事業売却に関連するキャピタルゲイン／ロスは、売却費用を除き、総額4百万スウェーデン・クローネ(前年度はなし)であった。

売却対象グループにおける不動産及び器具備品の減価償却費は、総額-446百万スウェーデン・クローネ(前年度はなし)であった。

非継続事業からの収益合計は、19%減少して2,284百万スウェーデン・クローネ(前年度は2,829百万スウェーデン・クローネ)となり、そのうち非継続事業からの純利息収益は、20%減少して1,895百万スウェーデン・クローネ(前年度は2,368百万スウェーデン・クローネ)となった。

非継続事業からの費用合計は、5%増加して-1,369百万スウェーデン・クローネ(前年度は-1,306百万スウェーデン・クローネ)となった。

非継続事業からの正味信用損失は、正味回収額で構成され、総額53百万スウェーデン・クローネ(前年度は41百万スウェーデン・クローネ)であった。

営業利益のうち非経常項目及び特別項目

(単位：百万スウェーデン・クローネ)		
	2024年度(通年)	2023年度(通年)
特別項目		
オクトゴーネン:前年度の割当の調整(人件費)	-159	-202
オクトゴーネン:当年度の引当金(人件費)	-96	-83
非経常項目		
リストラクチャリング費用(人件費)	-472	
クレジットカード・アクワイアラー事業の売却時に支払った付加価値税の還付(収益)		158
合計	-727	-127

為替の影響

(単位：百万スウェーデン・クローネ)	
前年度と比較した為替の影響	2024年度(通年)
純利息収益	163
純手数料及びコミッション収益	7
金融取引による純損益	0
その他の収益	0
収益合計	171
人件費	-50
その他費用	-25
不動産及び器具備品並びに無形資産の減価償却費、償却費及び減損	-3
費用合計	-78

正味貸倒損失	-2
不動産及び器具備品並びに無形資産の処分損益	0
規制関連費用	5
営業利益	95

事業の展開

本拠地市場における一般顧客への貸出金の平均額は、合計2,254十億スウェーデン・クローネ(前年度は2,277十億スウェーデン・クローネ)であった。

本拠地市場における一般顧客からの預金及び借入金の平均額は、1,253十億スウェーデン・クローネ(前年度は1,255十億スウェーデン・クローネ)であった。

当行グループにおける運用資産合計は、過去12ヶ月間に16%増加し、2024年度末に総額1,192十億スウェーデン・クローネ(前年度は1,028十億スウェーデン・クローネ)となった。そのうち1,107十億スウェーデン・クローネ(前年度は949十億スウェーデン・クローネ)は、当行のミューチュアル・ファンドに投資された。スウェーデンにおける当行のミューチュアル・ファンドへの純流入は、総額35.1十億スウェーデン・クローネ(前年度は17.3十億スウェーデン・クローネ)であった。2024年度におけるスウェーデンのミューチュアル・ファンド市場への純流入の合計の18%が当行グループの投資信託に投資され、当行グループは新規資金流入額において、スウェーデンのミューチュアル・ファンド市場最大のプレーヤーとなった。スウェーデンのミューチュアル・ファンド市場に占める当行グループのシェアは11.6%であった。

資金調達及び流動性

当行は、数十年にわたり、資金調達において、リスク特性の低い、慎重なアプローチを採用してきた。当該資金調達戦略は、複数の安定した資金調達源の多様でバランスの取れた活用に基づいている。かかる資金調達源は、個人及び中小企業からの預金、非金融機関からの預金並びに複数の通貨建ての様々な種類の負債性金融商品に分散した、市場における資金調達により構成される。

非流動資産は、安定的な市場での資金調達並びに長期安定的な一般顧客からの預金及び借入金の形で、安定的な固定負債により資金が調達されている。流動負債は、一般顧客からのその他の預金及び借入金並びに短期的な市場での資金調達の形で存在し、777十億スウェーデン・クローネ(2023年度末は763十億スウェーデン・クローネ)の流動資産及び流動性準備金と対応している。かかる準備金のうち92%は、中央銀行への預金及び国債の保有に充てられている。残りの大部分は、流動性のあるカバード・ボンドの保有に投資されている。保有債券の金利リスクは、デリバティブ商品を用いてヘッジされており、保有債券全体は継続的に時価で測定されている。

当行の資産に対する担保比率の低さはカバード・ボンドの未使用発行額を生み出し、流動性の観点において、実質的に追加のバッファーとして機能している。また、低い担保比率は当行のシニア債の社債権者に対する保護としても機能する。無担保資金調達額に対する担保に供されていない資産の割合は252%(2023年度末は261%)に減少した。

2024年度末における欧州委員会による委任規制に基づき計算された当行グループのLCRは、207%(2023年度末は210%)であった。2024年度末におけるCRR IIに基づくNSFRは、124%(2023年度末は120%)であった。

2024年度中の社債発行は、合計161十億スウェーデン・クローネ(前年度は239十億スウェーデン・クローネ)であり、そのうち121十億スウェーデン・クローネ(前年度は163十億スウェーデン・クローネ)はカバード・ボンド、34十億スウェーデン・クローネ(前年度は67十億スウェーデン・クローネ)はシニア債であり、そのうち17十億スウェーデン・クローネ(前年度は11十億スウェーデン・クローネ)は適格債務であった。2024年度中、6十億スウェーデン・クローネ(前年度は9十億スウェーデン・クローネ)の期限付劣後債が発行された。2024年度

に発行された長期社債の合計額のうち、29十億スウェーデン・クローネ(前年度は22十億スウェーデン・クローネ)は当行のグリーン・ボンド・フレームワークに基づき発行され、過半の種類の社債がかかる枠組に基づいて発行された。

資本

2024年度末の普通株式等Tier 1比率は、提案配当金の控除後、18.8%であった。当行の評価では、同日のP2Gを含む普通株式等Tier 1資本要件は、14.85%すなわち123十億スウェーデン・クローネであった。第二の柱における普通株式等Tier 1資本要件は、14十億スウェーデン・クローネに相当する1.7パーセント・ポイント(うち0.5パーセント・ポイントはP2G、1.2パーセント・ポイントはP2Rから成る。)であった。カウンターシクリカル・バッファ要件は2.0%であった。

2024年第4四半期末の総自己資本比率は23.4%であった。当行の評価では、同日のP2Gを含む所要自己資本合計は19.0%(157十億スウェーデン・クローネ)であった。このうち19十億スウェーデン・クローネに相当する2.3パーセント・ポイントは、P2Gを含む第二の柱における所要自己資本合計から成る。

当行の資本目標は、通常の下況下において、当行の普通株式等Tier 1比率がP2Gを含む普通株式等Tier 1資本要件を1から3パーセント・ポイント上回ることである。したがって、当行の資本は、目標範囲を超えるものであった。

財務の健全性は、安心感を生み、信頼感を育み、成長の前提条件となる。2024年度通年の利益から、一株当たり15.00スウェーデン・クローネの配当が年次株主総会に提案された。提案配当金は、SFSAが設定する要件を1から3パーセント・ポイント上回る長期目標範囲に対して0.97パーセント・ポイントの追加的な資本バッファを意味する。かかる水準は、主要な国際信用格付機関によると、不確実な時代における非常に優れたカウンターパーティーとして当行を差別化し、世界で最も安全な銀行の一つとしての当行の財務上の地位の強化に寄与している。また追加的なバッファは、周囲の動向にかかわらず、当行が信用供与に対して重要な責任を負い、顧客の需要に合わせてその事業を拡大する能力が高まったことを意味する。当行は、一般的な事業環境に応じた適切なバッファの再評価を定期的に行う。

2025年1月1日、バーゼルIII合意の最後の構成要素である新たなEUの銀行パッケージの初期段階が導入された。EUの銀行パッケージの導入により、当行グループのリスク・エクスポージャー額は9十億スウェーデン・クローネ減少した。これは、2025年3月31日現在における普通株式等Tier 1比率の0.2%の増加に対応する。

資本連結状況

自己資本合計は193十億スウェーデン・クローネ(前年度は200十億スウェーデン・クローネ)であり、総自己資本比率は23.4%(前年度は23.9%)であった。普通株式等Tier 1資本は155十億スウェーデン・クローネ(前年度は158十億スウェーデン・クローネ)であり、普通株式等Tier 1比率は18.8%(前年度も18.8%)であった。

(単位：百万スウェーデン・クローネ)

	2024年12月31日現在	2023年12月31日現在	変動
普通株式等Tier 1比率(%)	18.8%	18.8%	0.0
総自己資本比率(%)	23.4%	23.9%	-0.5
リスク加重エクスポージャー合計額	825,457	836,790	-1%
普通株式等Tier 1(CET1)資本	155,345	157,576	-1%
自己資本合計	193,191	200,081	-3%
資本合計	210,027	205,085	2%

普通株式等Tier 1比率は、2024年度の利益により3.0パーセント・ポイント増加した。支払済配当金及び提案配当金により、-3.5パーセント・ポイントの影響が生じた。取引額の変動により0.1パーセント・ポイントの影響が生じた。信用リスクの移行による影響はほとんどなかったが、流入及び流出の信用の質の違いによる正味の影響は、0.2パーセント・ポイントであった。リスク加重のフロアにより、-0.3パーセント・ポイントの影響が生じた。為替の影響はほとんどなかった。フィンランドにおける事業の売却により、0.3パーセント・ポイントの影響が生じた。その他の影響により、0.2パーセント・ポイントの影響が生じた。

経済資本及び利用可能な財源

当行の自己資本の必要性に関する内部評価は、当行の所要自己資本、ストレステスト及び当行のECに係るモデルに基づいている。これは当行の利用可能な財源(以下「AFR」という。)に関連して測定される。取締役会は、当行グループのAFR/EC比率は120%を上回らなければならない旨を定めている。2024年度末、当行グループのECは合計で58.9十億スウェーデン・クローネ(前年度は65.5十億スウェーデン・クローネ)であり、またAFRは225.7十億スウェーデン・クローネ(前年度は239.6十億スウェーデン・クローネ)であった。したがって、AFR/EC比率は383%(前年度は366%)であった。連結では、ECは合計で32.7十億スウェーデン・クローネ(前年度は38.4十億スウェーデン・クローネ)であり、AFRは215.8十億スウェーデン・クローネ(前年度は232.6十億スウェーデン・クローネ)であった。

サステナビリティ

2024年第2四半期において、当行は、2023年度のグリーン・ボンド・インパクト・レポートを公表し、その中で、2024年度中に当行のグリーン・ボンドが90,000トン余りの二酸化炭素排出量の減少及び削減にどのように貢献したかを説明した。

2024年第3四半期において、当行は、自然関連財務情報開示タスクフォース(TNFD)の枠組に基づく当行初の「自然及び生物多様性に関するプログ्रेसレポート」を公表した。

EUのサステナブル・ファイナンス開示規則(以下「SFDR」という。)は、資産運用会社が、自社のミューチュアル・ファンドがSFDRにおいてどのように分類されるかに関して透明性を確保しなければならないことを規定している。2024年第4四半期末において、当行グループのファンドのうち運用資産の22%に相当する14ファンドが、最も高い分類(第9条)、すなわち持続可能な投資を目的とするファンドとして報告された。また、運用資産額の74%に相当する合計107ファンドが、2番目に高い分類(第8条)、すなわち環境的特性又は社会的特性を促進するファンドとして報告された。

当行のサステナビリティ活動に関連する取引額は、拡大を続けてきた。グリーン・ローンの総額は、2023年第4四半期と比較して、42%増加して123十億スウェーデン・クローネ(前年度は87十億スウェーデン・クローネ)となり、かかる総額のうち、グリーン住宅ローンは17%増加して41十億スウェーデン・クローネ(前年度は35十億スウェーデン・クローネ)となった。さらに、サステナビリティ・リンク・ローン・ファシリティは、144十億スウェーデン・クローネ(前年度は105十億スウェーデン・クローネ)に増加した。

セグメント報告

(単位：百万スウェーデン・クローネ)

2024年度 における セグメント報告	スウェー デン	英国	ノルウェー	オランダ	マーケット	その他	調整及び 消去	合計
収益合計	39,535	11,837	5,957	2,176	1,826	1,015		62,345
費用合計	-11,918	-6,242	-2,739	-1,136	-1,567	-1,834	228	-25,209
信用損失及び規制関連費用								
控除前利益	27,617	5,595	3,217	1,040	259	-819	228	37,136
営業利益	25,969	5,686	2,883	910	234	-893	228	35,016
利益配分後の営業利益	26,339	5,736	2,943	910	-189	-951	228	35,016

セグメント報告に適用される原則並びに「その他」並びに「調整及び消去」の列の項目の説明は、下記「第6―1―(1) 連結財務書類―注記G46」で詳述される。

「その他」の列には、フィンランドにおける売却対象グループに帰属する割当資本が含まれている。

(単位：百万スウェーデン・クローネ)

2023年度 における セグメント報告	スウェー デン	英国	ノルウェー	オランダ	マーケット	その他	調整及び 消去	合計
収益合計	40,575	12,121	5,366	2,157	1,634	397		62,249
費用合計	-11,538	-5,780	-2,401	-1,009	-1,530	-1,303	379	-23,182
信用損失及び規制関連費用								
控除前利益	29,037	6,340	2,965	1,148	104	-906	379	39,067
営業利益	26,990	6,289	2,615	1,048	83	-1,082	379	36,322
利益配分後の営業利益	27,395	6,340	2,662	1,048	-338	-1,165	379	36,322

セグメント報告に適用される原則並びに「その他」並びに「調整及び消去」の列の項目の説明は、下記「第6―1―(1) 連結財務書類―注記G46」で詳述される。

「その他」の列には、フィンランドにおける売却対象グループに帰属する割当資本が含まれている。

2024年第2四半期に、より効率的で事業指向の組織を構築することを目指し、組織再編が行われた。以前はその他の部門に含まれていた旧中央人事部門、財務部、コミュニケーション部及び金融犯罪防止部並びに以前はハンデルスバンケン・マーケットのセグメントに含まれていた事業支援部門がハンデルスバンケン・スウェーデンに移管された。ルクセンブルグ及びニューヨークにおける業務、すなわち本拠地市場外の業務は、ハンデルスバンケン・マーケットからその他の部門に移管された。さらに、以前はその他の部門に計上されていた当行のIT部は、ハンデルスバンケン・マーケットに移管された。セグメント報告の比較数値は、この組織再編に伴い再計算されている。

スウェーデン

2024年12月31日に終了した事業年度におけるセグメント報告において、ハンデルスバンケン・スウェーデンは、スウェーデンにおける支店業務により構成されており、また県単位の組織により編成され、かかる県の統括は最高経営責任者に直属する。当該セグメントは、スウェーデンにおける貯蓄及び年金部門を含み、また当行が完全所有する住宅金融専門機関であるスタッドフィポテックのスウェーデンにおける業務も含む。現在、中央人事部門、財務経理部、コミュニケーション部及び金融犯罪防止部などの一部の本社業務もこの事業セグメントにおいて報告されている。当該セグメントには、様々なパートナーを通じて消費者向けの融資商品を提供してきたエクスターも含まれるが、現在エクスターは非継続事業であり、ローンストックは2024年春以降、段階的に縮小されている。本書提出日現在のセグメント報告に関する情報については、上記「第2-3 事業の内容」を参照のこと。

(単位：百万スウェーデン・クローネ)

	2024年度合計	2023年度合計	変動 (単位：%)
純利息収益	29,003	30,222	-4
純手数料及びコミッション収益	9,066	8,460	7
金融取引による純損益	959	1,185	-19
保険事業による純損益	423	494	-14
その他の収益	84	214	-61
収益合計	39,535	40,575	-3
人件費	-5,073	-4,783	6
その他費用	-1,173	-1,353	-13
内部購入及び売却されたサービス	-4,899	-4,738	3
不動産及び器具備品並びに無形資産の減価償却費、 償却費及び減損	-773	-665	16
費用合計	-11,918	-11,538	3
信用損失及び規制関連費用控除前利益	27,617	29,037	-5
正味信用損失	377	-142	
不動産及び器具備品並びに無形資産の処分損益	8	14	-43
規制関連費用	-2,033	-1,919	6
営業利益	25,969	26,990	-4
利益配分	371	406	-9
利益配分後の営業利益	26,339	27,395	-4
内部収益	5,009	5,767	-13
C/I比率(単位：%)	29.9	28.2	
信用損失率(単位：%)	-0.02	0.01	

一般顧客への貸出金	1,589,948	1,660,862	-4
一般顧客からの預金及び借入金	848,854	854,313	-1
割当済資本	123,381	123,899	0
割当済資本に係る利益率(単位：%)	17.3	18.2	
平均従業員数	4,764	4,695	1

(単位：十億スウェーデン・クローネ)

取引額、スウェーデン国内の平均額	2024年度	2023年度	変動 (単位：%)
一般顧客への貸出金 ¹	1,593	1,625	-2
うち個人	967	981	-1
うち住宅ローン	940	948	-1
うち法人	626	644	-3
うち住宅ローン	452	439	3
一般顧客からの預金及び借入金	836	848	-1
うち個人	480	483	-1
うち法人	356	365	-2

¹ 国債局に対する貸出金を除く。

業績

営業利益は、4%減少して25,969百万スウェーデン・クローネ(前年度は26,990百万スウェーデン・クローネ)となった。割当済資本に係る利益率は、17.3%(前年度は18.2%)であった。C/I比率は、29.9%(前年度は28.2%)であった。

収益合計は、3%減少して39,535百万スウェーデン・クローネ(前年度は40,575百万スウェーデン・クローネ)となった。

費用合計は、3%増加して-11,918百万スウェーデン・クローネ(前年度は-11,538百万スウェーデン・クローネ)となった。

純利息収益は、4%減少して29,003百万スウェーデン・クローネ(前年度は30,222百万スウェーデン・クローネ)となった。取引額の減少により、-416百万スウェーデン・クローネの影響が生じた。利鞘の変動及び資金調達費用の純額により、-809百万スウェーデン・クローネの影響が生じた。2024年が閏年であった影響は、59百万スウェーデン・クローネ寄与した。預金保証制度の手数料の減少は9百万スウェーデン・クローネ寄与し、その他の影響により純利息収益に-62百万スウェーデン・クローネの影響が生じた。

純手数料及びコミッション収益は、7%増加して9,066百万スウェーデン・クローネ(前年度は8,460百万スウェーデン・クローネ)となった。ミューチュアル・ファンド手数料は、10%増加して5,211百万スウェーデン・クローネ(前年度は4,747百万スウェーデン・クローネ)となった。カストディ手数料及びその他の資産管理手数料は、20%増加して870百万スウェーデン・クローネ(前年度は725百万スウェーデン・クローネ)となった。仲介業務及びその他の証券業務の手数料は、6%増加して164百万スウェーデン・クローネ(前年度は154百万スウェーデン・クローネ)となった。保険手数料は13%増加して756百万スウェーデン・クローネ(前年度は

670百万スウェーデン・クローネ)となった。貸出金及び預金並びに保証からのコミッション収益は、総額734百万スウェーデン・クローネ(前年度は826百万スウェーデン・クローネ)であった。純コミッションは3%増加して1,344百万スウェーデン・クローネ(前年度は1,300百万スウェーデン・クローネ)となり、そのうちクレジットカード事業からの純コミッションは、合計871百万スウェーデン・クローネ(前年度は916百万スウェーデン・クローネ)となった。

金融取引による純損益は、合計959百万スウェーデン・クローネ(前年度は1,185百万スウェーデン・クローネ)となった。

保険事業による純損益は、423百万スウェーデン・クローネ(前年度は494百万スウェーデン・クローネ)であった。

その他の収益は、総額84百万スウェーデン・クローネ(前年度は214百万スウェーデン・クローネ)であった。

人件費は、6%増加して-5,073百万スウェーデン・クローネ(前年度は-4,783百万スウェーデン・クローネ)となった。この増加は年間給与の調整及び平均従業員数が1%増加して4,764名(前年度は4,695名)となったことによるものであった。かかる平均従業員数の増加は、顧客活動の増加に対応するために採用された支店業務における従業員数の増加によるものであった。

その他の費用の項目は、1%増加して-6,845百万スウェーデン・クローネ(前年度は-6,756百万スウェーデン・クローネ)となった。

正味信用損失は、377百万スウェーデン・クローネ(前年度は-142百万スウェーデン・クローネ)の正味回収額により構成され、信用損失率は、-0.02%(前年度は0.01%)であった。

規制関連費用は、合計-2,033百万スウェーデン・クローネ(前年度は-1,919百万スウェーデン・クローネ)であり、そのうちリスク税は総額-1,220百万スウェーデン・クローネ(前年度は-1,199百万スウェーデン・クローネ)、破綻処理手数料は総額-812百万スウェーデン・クローネ(前年度は-719百万スウェーデン・クローネ)であった。

事業の展開

貸出金の平均額の合計は、2%減少して1,593十億スウェーデン・クローネ(前年度は1,625十億スウェーデン・クローネ)となった。個人への貸出金は、1%減少して967十億スウェーデン・クローネ(前年度は981十億スウェーデン・クローネ)となり、法人への貸出金も、3%減少して626十億スウェーデン・クローネ(前年度は644十億スウェーデン・クローネ)となった。

一般顧客からの預金及び借入金の平均額の合計は、1%減少して836十億スウェーデン・クローネ(前年度は848十億スウェーデン・クローネ)となった。個人からの預金及び借入金は、1%減少して480十億スウェーデン・クローネ(前年度は483十億スウェーデン・クローネ)となり、法人からの預金及び借入金も2%減少して356十億スウェーデン・クローネ(前年度は365十億スウェーデン・クローネ)となった。

2024年度末において、スウェーデンの運用資産合計は1,040十億スウェーデン・クローネ(前年度は888十億スウェーデン・クローネ)に増加し、そのうち運用投資信託の総額は974十億スウェーデン・クローネ(前年度は837十億スウェーデン・クローネ)に増加した。2024年度中の当行グループのスウェーデンのミューチュアル・ファンドへの純流入は、合計37.9十億スウェーデン・クローネ(前年度は17.4十億スウェーデン・クローネ)であった。2024年度におけるスウェーデンのミューチュアル・ファンド市場への純流入の合計の18%が当行グループの投資信託に投資され、当行グループは新規資金流入額において、スウェーデンのミューチュアル・ファンド市場最大のプレーヤーとなった。スウェーデンのミューチュアル・ファンド市場に占める当行グループのシェアは11.6%であった。

英国

2024年12月31日に終了した事業年度におけるセグメント報告において、ハンデルスバンケン英国は、地域毎に構成される英国における支店業務及び子会社のハンデルスバンケン・ウェルス&アセットマネジメントから成るハンデルスバンケン・ピー・エル・シーにより構成される。各地域の統括はハンデルスバンケン英国の代表に直属する。本書提出日現在のセグメント報告に関する情報については、上記「第2－3 事業の内容」を参照のこと。

(単位：百万スウェーデン・クローネ)

	2024年度合計	2023年度合計	変動 (単位：%)
純利息収益	10,729	11,010	-3
純手数料及びコミッション収益	869	845	3
金融取引による純損益	225	253	-11
その他の収益	15	13	15
収益合計	11,837	12,121	-2
人件費	-3,579	-3,149	14
その他費用	-841	-907	-7
内部購入及び売却されたサービス	-1,445	-1,414	2
不動産及び器具備品並びに無形資産の減価償却費、 償却費及び減損	-378	-310	22
費用合計	-6,242	-5,780	8
信用損失及び規制関連費用控除前利益	5,595	6,340	-12
正味信用損失	139	-51	
不動産及び器具備品並びに無形資産の処分損益	0	-1	
規制関連費用	-47		
営業利益	5,686	6,289	-10
利益配分	49	52	-6
利益配分後の営業利益	5,736	6,340	-10
内部収益	4,045	2,999	35
C/I比率(単位：%)	52.5	47.5	
信用損失率(単位：%)	-0.06	0.03	
一般顧客への貸出金	246,790	230,692	7
一般顧客からの預金及び借入金	289,072	260,595	11
割当済資本	27,866	25,856	8

割当済資本に係る利益率(単位：%)	17.1	21.2	
平均従業員数	2,842	2,707	5

(単位：百万英ポンド)

取引額、英国の平均額	2024年度	2023年度	変動 (単位：%)
一般顧客への貸出金	17,865	18,621	-4
うち個人	5,120	5,520	-7
うち法人	12,745	13,101	-3
一般顧客からの預金及び借入金	20,592	20,365	1
うち個人	5,300	5,441	-3
うち法人	15,292	14,924	2

業績

営業利益は、10%減少して5,686百万スウェーデン・クローネ(前年度は6,289百万スウェーデン・クローネ)となった。現地通貨では、営業利益は12%減少した。割当済資本に係る利益率は、17.1%(前年度は21.2%)であった。C/I比率は、52.5%(前年度は47.5%)に悪化した。

収益合計は、2%減少して11,837百万スウェーデン・クローネ(前年度は12,121百万スウェーデン・クローネ)となった。為替の影響は、総額266百万スウェーデン・クローネであり、現地通貨では、収益合計は5%減少した。

費用合計は、8%増加して-6,242百万スウェーデン・クローネ(前年度は-5,780百万スウェーデン・クローネ)となった。現地通貨では、費用合計は6%増加した。

純利息収益は、3%減少して10,729百万スウェーデン・クローネ(前年度は11,010百万スウェーデン・クローネ)となった。為替の影響は総額240百万スウェーデン・クローネであり、現地通貨では、純利息収益は5%減少した。取引額の減少により、-78百万スウェーデン・クローネの影響が生じた。利鞘の変動及び資金調達費用の純額により、純利息収益は451百万スウェーデン・クローネ減少した。2024年が閏年であった影響は、28百万スウェーデン・クローネ寄与した。その他の影響により、純利息収益に-20百万スウェーデン・クローネの影響が生じた。

純手数料及びコミッション収益は、3%増加して869百万スウェーデン・クローネ(前年度は845百万スウェーデン・クローネ)となった。現地通貨では、純手数料及びコミッション収益は横ばいであった。仲介業務及びアドバイザー・サービスを含むファンド運用手数料、カストディ手数料及びその他の資産管理手数料によるコミッション収益は、3%増加して444百万スウェーデン・クローネ(前年度は433百万スウェーデン・クローネ)となった。支払いにかかる純手数料及びコミッション収益は、4%増加して293百万スウェーデン・クローネ(前年度は281百万スウェーデン・クローネ)となった。

人件費は、14%増加して-3,579百万スウェーデン・クローネ(前年度は-3,149百万スウェーデン・クローネ)となった。現地通貨では、人件費は11%増加した。かかる増加は、年間給与の調整及び平均従業員数が5%増加して2,842名(前年度は2,707名)となったことによるものであった。かかる平均従業員数の増加は、主に支店業務、IT及び事業開発業務並びに金融犯罪防止業務における採用の増加によるものであった。

その他の費用の項目は、1%増加して-2,664百万スウェーデン・クローネ(前年度は-2,631百万スウェーデン・クローネ)となった。現地通貨では、その他の費用の項目は1%減少した。これは、前述のイングランド銀行による賦課金に関する変化が一因であった。

イングランド銀行による賦課金で構成される規制関連費用は、-47百万スウェーデン・クローネ(前年度はなし)であった。

正味信用損失は、139百万スウェーデン・クローネ(前年度は-51百万スウェーデン・クローネ)の正味回収額により構成された。信用損失率は、-0.06%(前年度は0.03%)であった。

事業の展開

貸出金の平均額の合計は、4%減少して17.9十億英ポンド(前年度は18.6十億英ポンド)となった。個人への貸出金は7%減少して5.1十億英ポンド(前年度は5.5十億英ポンド)となり、法人への貸出金も3%減少して12.7十億英ポンド(前年度は13.1十億英ポンド)となった。

一般顧客からの預金及び借入金の平均額の合計は、1%増加して20.6十億英ポンド(前年度は20.4十億英ポンド)となった。個人からの預金及び借入金は、3%減少して5.3十億英ポンド(前年度は5.4十億英ポンド)となり、法人からの預金及び借入金は2%増加して15.3十億英ポンド(前年度は14.9十億英ポンド)となった。

2024年度末において、ハンデルスバンケン・ウェルス&アセットマネジメントにおける運用資産の額は、4.5十億英ポンド(前年度は4.3十億英ポンド)に増加した。新規資金流入額は純額で合計-31百万英ポンド(前年度は60百万英ポンド)であった。

ノルウェー

2024年12月31日に終了した事業年度におけるセグメント報告において、ハンデルスバンケン・ノルウェーは、ノルウェーの支店業務に加え、ノルウェーにおけるスタッドフィポテックの業務並びに地域貯蓄及び年金部門により構成されている。本書提出日現在のセグメント報告に関する情報については、上記「第2―3 事業の内容」を参照のこと。

(単位：百万スウェーデン・クローネ)

	2024年度合計	2023年度合計	変動 (単位：%)
純利息収益	5,162	4,624	12
純手数料及びコミッション収益	695	659	5
金融取引による純損益	80	79	1
保険事業による純損益	-1	0	
その他の収益	21	5	320
収益合計	5,957	5,366	11
人件費	-1,307	-1,103	18
その他費用	-517	-493	5
内部購入及び売却されたサービス	-809	-708	14
不動産及び器具備品並びに無形資産の減価償却費、 償却費及び減損	-106	-97	9
費用合計	-2,739	-2,401	14
信用損失及び規制関連費用控除前利益	3,217	2,965	8
正味信用損失	72	37	95
不動産及び器具備品並びに無形資産の処分損益	5	6	-17
規制関連費用	-411	-393	5
営業利益	2,883	2,615	10
利益配分	61	47	30
利益配分後の営業利益	2,943	2,662	11
内部収益	-10,458	-8,567	-22
C/I比率(単位：%)	45.5	44.4	
信用損失率(単位：%)	-0.02	-0.01	
一般顧客への貸出金	320,705	313,267	2
一般顧客からの預金及び借入金	97,713	90,206	8
割当済資本	22,684	23,339	-3

割当済資本に係る利益率(単位：%)	10.4	9.4	
平均従業員数	993	828	20

(単位：十億ノルウェー・クローネ)

取引額、ノルウェーの平均額	2024年度	2023年度	変動 (単位：%)
一般顧客への貸出金	323.8	306.3	6
うち個人	133.6	114.3	17
うち法人	190.2	192.0	-1
一般顧客からの預金及び借入金	97.1	97.0	0
うち個人	41.5	32.4	28
うち法人	55.7	64.6	-14

業績

営業利益は、10%増加して2,883百万スウェーデン・クローネ(前年度は2,615百万スウェーデン・クローネ)となった。営業利益への為替の影響は、総額-49百万スウェーデン・クローネであり、現地通貨では、営業利益は13%増加した。割当済資本に係る利益率は、10.4%(前年度は9.4%)に増加した。C/I比率は、45.5%(前年度は44.4%)であった。

収益合計は、11%増加して5,957百万スウェーデン・クローネ(前年度は5,366百万スウェーデン・クローネ)となった。現地通貨では、収益合計の増加は13%であった。

費用合計は、14%増加して-2,739百万スウェーデン・クローネ(前年度は-2,401百万スウェーデン・クローネ)となった。現地通貨では、費用合計は17%増加した。

純利息収益は、12%増加して5,162百万スウェーデン・クローネ(前年度は4,624百万スウェーデン・クローネ)となった。為替の影響は、総額-89百万スウェーデン・クローネであり、現地通貨では、純利息収益は14%増加した。取引額の変化により、48百万スウェーデン・クローネの寄与が生じた。利鞘の変動及び資金調達費用の正味の影響により、582百万スウェーデン・クローネの影響が生じた。2024年が閏年であった影響は、10百万スウェーデン・クローネ寄与した。その他の影響は、-13百万スウェーデン・クローネであった。

純手数料及びコミッション収益は、5%増加して695百万スウェーデン・クローネ(前年度は659百万スウェーデン・クローネ)となった。現地通貨では、純手数料及びコミッション収益は8%増加した。仲介業務、アドバイザー・サービス及び保険を含むファンド運用手数料、カストディ手数料及びその他の資産管理手数料によるコミッション収益は、10%増加して390百万スウェーデン・クローネ(前年度は356百万スウェーデン・クローネ)となった。純コミッションは、5%減少して178百万スウェーデン・クローネ(前年度は187百万スウェーデン・クローネ)となった。

金融取引による純損益は、合計80百万スウェーデン・クローネ(前年度は79百万スウェーデン・クローネ)であった。

保険事業による純損益は、-1百万スウェーデン・クローネ(前年度は0百万スウェーデン・クローネ)であり、その他の収益は、21百万スウェーデン・クローネ(前年度は5百万スウェーデン・クローネ)に増加した。

人件費は、18%増加して-1,307百万スウェーデン・クローネ(前年度は-1,103百万スウェーデン・クローネ)となった。現地通貨では、増加は21%であった。かかる増加は、主に年間給与の調整及び平均従業員数が20%

増加して993名(前年度は828名)となったことによるものであった。平均従業員数の増加は主に、デジタル事業開発分野及び金融犯罪防止業務において追加のスタッフを採用したことによるものであった。

その他の費用の項目は、10%増加して-1,432百万スウェーデン・クローネ(前年度は-1,298百万スウェーデン・クローネ)となった。現地通貨では、増加は13%であった。かかる増加は主に、前述した、新規及び既存の個人顧客向けのデジタル・サービスの提供及びその利用可能性の強化への継続的な投資によるものである。

正味信用損失は、72百万スウェーデン・クローネ(前年度は37百万スウェーデン・クローネ)の正味回収額により構成された。信用損失率は、-0.02%(前年度は-0.01%)であった。

規制関連費用は総額-411百万スウェーデン・クローネ(前年度は-393百万スウェーデン・クローネ)であり、そのうちリスク税は総額-234百万スウェーデン・クローネ(前年度は-230百万スウェーデン・クローネ)、破綻処理手数料は総額-177百万スウェーデン・クローネ(前年度は-163百万スウェーデン・クローネ)であった。

事業の展開

貸出金の平均額の合計は、6%増加して323.8十億ノルウェー・クローネ(前年度は306.3十億ノルウェー・クローネ)となった。個人への貸出金は、17%増加して133.6十億ノルウェー・クローネ(前年度は114.3十億ノルウェー・クローネ)となり、法人への貸出金は、1%減少して190.2十億ノルウェー・クローネ(前年度は192.0十億ノルウェー・クローネ)となった。

一般顧客からの預金及び借入金の平均額の合計は、わずかに増加して97.1十億ノルウェー・クローネ(前年度は97.0十億ノルウェー・クローネ)となった。個人からの預金及び借入金は、28%増加して41.5十億ノルウェー・クローネ(前年度は32.4十億ノルウェー・クローネ)となり、法人からの預金及び借入金は、14%減少して55.7十億ノルウェー・クローネ(前年度は64.6十億ノルウェー・クローネ)となった。

2024年度末において、運用資産合計は、53十億スウェーデン・クローネ(前年度は42十億スウェーデン・クローネ)に増加し、そのうち運用投資信託の総額は51十億スウェーデン・クローネ(前年度は40十億スウェーデン・クローネ)に増加した。ノルウェーにおける当行のミューチュアル・ファンドへの純流入は、総額7.1十億スウェーデン・クローネ(前年度は1.5十億スウェーデン・クローネ)であった。

ネザーランド

2024年12月31日に終了した事業年度におけるセグメント報告において、ハンデルスバンケン・ネザーランドは、オランダの支店業務に加え、オプティミクス・ベルモーゲンズベヒールにおける資産運用事業により構成されている。本書提出日現在のセグメント報告に関する情報については、上記「第2-3 事業の内容」を参照のこと。

(単位：百万スウェーデン・クローネ)

	2024年度合計	2023年度合計	変動 (単位：%)
純利息収益	1,967	1,941	1
純手数料及びコミッション収益	188	198	-5
金融取引による純損益	18	17	6
その他の収益	3	1	200
収益合計	2,176	2,157	1
人件費	-611	-537	14
その他費用	-145	-136	7
内部購入及び売却されたサービス	-322	-277	16
不動産及び器具備品並びに無形資産の減価償却費、 償却費及び減損	-58	-59	-2
費用合計	-1,136	-1,009	13
信用損失及び規制関連費用控除前利益	1,040	1,148	-9
正味信用損失	2	13	-85
不動産及び器具備品並びに無形資産の処分損益			
規制関連費用	-132	-113	17
営業利益	910	1,048	-13
利益配分	0	0	0
利益配分後の営業利益	910	1,048	-13
内部収益	-152	-98	-55
C/I比率(単位：%)	52.2	46.8	
信用損失率(単位：%)	0.00	-0.01	
一般顧客への貸出金	104,604	97,110	8
一般顧客からの預金及び借入金	44,743	35,945	24
割当済資本	5,690	5,177	10
割当済資本に係る利益率(単位：%)	13.0	16.9	

平均従業員数	425	388	10

(単位：百万ユーロ)

取引額、オランダの平均額	2024年度	2023年度	変動 (単位：%)
一般顧客への貸出金	8,848	8,664	2
うち個人	4,900	4,891	0
うち法人	3,947	3,773	5
一般顧客からの預金及び借入金	3,704	3,537	5
うち個人	828	679	22
うち法人	2,876	2,858	1

業績

営業利益は、13%減少して910百万スウェーデン・クローネ(前年度は1,048百万スウェーデン・クローネ)となった。現地通貨では、営業利益は13%減少した。割当済資本に係る利益率は13.0%(前年度は16.9%)であり、C/I比率は52.2%(前年度は46.8%)であった。

収益合計は、1%増加して2,176百万スウェーデン・クローネ(前年度は2,157百万スウェーデン・クローネ)となった。

費用合計は、13%増加して-1,136百万スウェーデン・クローネ(前年度は-1,009百万スウェーデン・クローネ)となった。収益合計及び費用合計への為替の影響はわずかであった。

純利息収益は、1%増加して1,967百万スウェーデン・クローネ(前年度は1,941百万スウェーデン・クローネ)となった。純利息収益への為替の影響は、総額-7百万スウェーデン・クローネであり、現地通貨では、純利息収益は2%増加した。取引額の変化により、66百万スウェーデン・クローネの寄与が生じた。利鞘の変動及び資金調達費用の純額により、-37百万スウェーデン・クローネの影響が生じた。2024年が閏年であった影響により、2百万スウェーデン・クローネのプラスの寄与が生じた。その他の影響により、2百万スウェーデン・クローネの寄与が生じた。

純手数料及びコミッション収益は、5%減少して188百万スウェーデン・クローネ(前年度は198百万スウェーデン・クローネ)となったが、これはすべて、オプティミクスの運用報酬が総額14百万スウェーデン・クローネ(前年度は31百万スウェーデン・クローネ)に減少したことによるものであった。仲介業務を含むファンド運用手数料、カストディ手数料及びその他の資産管理手数料による純コミッション収益は、3%減少して192百万スウェーデン・クローネ(前年度は198百万スウェーデン・クローネ)となった。

人件費は、14%増加して-611百万スウェーデン・クローネ(前年度は-537百万スウェーデン・クローネ)となった。かかる増加は、年間給与の調整、主に金融犯罪防止業務における採用の増加により平均従業員数が10%増加して425名(前年度は388名)となったこと及び事業拡大によるものであった。

その他の費用の項目は、11%増加して-525百万スウェーデン・クローネ(前年度は-472百万スウェーデン・クローネ)となった。かかる増加は主に、IT開発の増加、事業の成長及び購入したサービスにおける一般費用の高騰によるものであった。

正味信用損失は、2百万スウェーデン・クローネ(前年度は13百万スウェーデン・クローネ)の正味回収額により構成された。信用損失率は、0.00%(前年度は-0.01%)であった。

規制関連費用は総額-132百万スウェーデン・クローネ(前年度は-113百万スウェーデン・クローネ)であり、そのうちリスク税は総額-73百万スウェーデン・クローネ(前年度は-70百万スウェーデン・クローネ)、破綻処理手数料は総額-58百万スウェーデン・クローネ(前年度は-43百万スウェーデン・クローネ)であった。

事業の展開

貸出金の平均額の合計は、2%増加して8.8十億ユーロ(前年度は8.7十億ユーロ)となった。個人への貸出金は、わずかに増加して4.9十億ユーロ(前年度も4.9十億ユーロ)となり、法人への貸出金も、5%増加して3.9十億ユーロ(前年度は3.8十億ユーロ)となった。

一般顧客からの預金及び借入金の平均額の合計は、5%増加して3.7十億ユーロ(前年度は3.5十億ユーロ)となった。個人からの預金及び借入金は、22%増加して0.8十億ユーロ(前年度は0.7十億ユーロ)となり、法人からの預金及び借入金は、1%増加して2.9十億ユーロ(前年度も2.9十億ユーロ)となった。

2024年度末現在のオプティミクスにおける運用資産は、自社のミューチュアル・ファンドを含め、2.2十億ユーロ(前年度は2.0十億ユーロ)に増加した。2024年度中のオプティミクスにおける新規資金流入額は、純額で合計-47百万ユーロ(前年度は-31百万ユーロ)であった。

ハンデルスバンケン・マーケット

2024年12月31日に終了した事業年度現在、ハンデルスバンケン・マーケットのセグメントは、リスク管理、有価証券、デリバティブ、研究、デット・キャピタル・マーケット、コーポレート・ファイナンス及び取引銀行(現金管理、トレード・ファイナンス及びエクスポート・ファイナンス)に関連する商品及びサービスを提供する。本書提出日現在のセグメント報告に関する情報については、上記「第2-3 事業の内容」を参照のこと。

(単位：百万スウェーデン・クローネ)

	2024年度合計	2023年度合計	変動 (単位：%)
純利息収益	-17	-50	-66
純手数料及びコミッション収益	621	592	5
金融取引による純損益	1,220	1,091	12
その他の収益	3	1	200
収益合計	1,826	1,634	12
人件費	-985	-954	3
その他費用	-509	-461	10
内部購入及び売却されたサービス	72	17	324
不動産及び器具備品並びに無形資産の減価償却費、 償却費及び減損	-145	-131	11
費用合計	-1,567	-1,530	2
信用損失及び規制関連費用控除前利益	259	104	149
正味信用損失	0		
不動産及び器具備品並びに無形資産の処分損益	0		
規制関連費用	-25	-20	25
営業利益	234	83	182
利益配分	-423	-421	0
利益配分後の営業利益	-189	-338	-44
内部収益	-156	667	
C/I比率(単位：%)	111.7	126.1	
信用損失率(単位：%)	0.00		
一般顧客への貸出金	15,335	12,467	23
一般顧客からの預金及び借入金	711	26,243	-97
割当済資本	1,831	1,686	9
割当済資本に係る利益率(単位：%)	-9.1	-17.6	

平均従業員数	470	479	-2

業績

営業利益は、234百万スウェーデン・クローネ(前年度は83百万スウェーデン・クローネ)に増加した。

収益合計は、12%増加して1,826百万スウェーデン・クローネ(前年度は1,634百万スウェーデン・クローネ)となった。

費用合計は、2%増加して-1,567百万スウェーデン・クローネ(前年度は-1,530百万スウェーデン・クローネ)となった。

純利息収益は、合計-17百万スウェーデン・クローネ(前年度は-50百万スウェーデン・クローネ)であった。

純手数料及びコミッション収益は、5%増加して621百万スウェーデン・クローネ(前年度は592百万スウェーデン・クローネ)となった。

金融取引による純損益は、12%増加して1,220百万スウェーデン・クローネ(前年度は1,091百万スウェーデン・クローネ)となった。

人件費は、年間給与の調整の結果、3%増加して-985百万スウェーデン・クローネ(前年度は-954百万スウェーデン・クローネ)となった。平均従業員数は、470名(前年度は479名)に減少した。

その他の費用の項目は、総額-582百万スウェーデン・クローネ(前年度は-575百万スウェーデン・クローネ)であった。

規制関連費用は、合計-25百万スウェーデン・クローネ(前年度は-20百万スウェーデン・クローネ)であった。

事業セグメントに含まれないその他の部門

以下は、事業セグメントに計上されていない部門(主に財務部門及び中央支援部門)に帰属する収益及び費用項目であるが、オクトゴーネン利益分配制度への引当金並びにルクセンブルグ及びニューヨークにおいて行われる国際業務も含まれる。

(単位：百万スウェーデン・クローネ)

	2024年度合計	2023年度合計	変動 (単位：%)
純利息収益	-3	-170	-98
純手数料及びコミッション収益	288	385	-25
金融取引による純損益	602	37	
関連会社及びジョイント・ベンチャーの持分利益	27	51	-47
その他の収益	99	94	5
収益合計	1,015	397	156
人件費	-4,428	-3,519	26
その他費用	-4,290	-4,446	-4
内部購入及び売却されたサービス	7,404	7,120	4
不動産及び器具備品並びに無形資産の減価償却費、 償却費及び減損	-520	-457	14
費用合計	-1,834	-1,303	41
信用損失及び規制関連費用控除前利益	-819	-906	-10
正味信用損失	12	3	300
不動産及び器具備品並びに無形資産の処分損益	0	0	
規制関連費用	-86	-179	-52
営業利益	-893	-1,082	-17
利益配分	-58	-83	-30
利益配分後の営業利益	-951	-1,165	-18
内部収益	1,712	-768	
一般顧客への貸出金	20,496	38,553	-47
一般顧客からの預金及び借入金	29,671	31,204	-5
フィンランドにおける割当済資本	5,915	6,904	-14
平均従業員数	2,729	2,587	5

業績

営業利益は、-893百万スウェーデン・クローネ(前年度は-1,082百万スウェーデン・クローネ)に改善した。

収益合計は、1,015百万スウェーデン・クローネ(前年度は397百万スウェーデン・クローネ)に増加した。

費用合計は、-1,834百万スウェーデン・クローネ(前年度は-1,303百万スウェーデン・クローネ)に増加した。

人件費は、26%増加して-4,428百万スウェーデン・クローネ(前年度は-3,519百万スウェーデン・クローネ)となった。オクトゴーネン利益分配制度に対する引当金は-255百万スウェーデン・クローネ(前年度は-285百万スウェーデン・クローネ)であり、そのうち-159百万スウェーデン・クローネは、2023会計年度に関連するものであった。その他の増加は、従業員数の増加、年間給与の調整及び2024年度初頭における割引率が前年より低下したために生じた年金費用の増加によるものであった。平均従業員数は、5%増加して2,729名(前年度は2,587名)となり、当行のIT部の従業員数は、合計2,008名(前年度は1,883名)となった。

その他費用は、4%減少して-4,290百万スウェーデン・クローネ(前年度は-4,446百万スウェーデン・クローネ)となった。

不動産及び器具備品並びに無形資産の減価償却費、償却費及び減損は、総額-520百万スウェーデン・クローネ(前年度は-457百万スウェーデン・クローネ)であった。

5【経営上の重要な契約等】

該当事項なし。

6【研究開発活動】

該当事項なし。

第4【設備の状況】

1【設備投資等の概要】

該当事項なし。

2【主要な設備の状況】

スウェーデン法の下で、銀行は一般に銀行の建物及び銀行の社員に居住設備を提供するためのもの以外の不動産を期間の制限なく所有することが認められていない。2024年12月31日現在、当行グループはスウェーデンに10の不動産を有していた。これらは、一部に支店業務も含まれていたものの、主として本店オフィス、情報テクノロジー及び記録保管の目的で使用されていた。

3【設備の新設、除却等の計画】

該当事項なし。

第5【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

①【株式の総数】

A種株式

(2025年6月18日現在)

授權株数(株)	発行済株式総数(株)	未発行株式数(株)
6,000,000,000	1,944,777,165	4,055,222,835

B種株式

(2025年6月18日現在)

授權株数(株)	発行済株式総数(株)	未発行株式数(株)
150,000,000	35,251,329	114,748,671

②【発行済株式】

(2025年6月18日現在)

記名・無記名の別及び 額面・無額面の別	種類	発行数(株)	上場金融商品 取引所名又は 登録認可金融商品 取引業協会名	内容
無記名式 割当価額 ¹	A種株式	1,944,777,165	ナスダック ストック ホルム	A種株式1株につき、 1個の議決権が 付与される。
無記名式 割当価額 ¹	B種株式	35,251,329	ナスダック ストック ホルム	B種株式1株につき、 10分の1個の議決権 が付与される。
計	-	1,980,028,494	-	-

¹ 割当価額は、以下の算式に基づき計算される。
(株式資本残高／発行済株式数)

(2)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項なし。

(3) 【発行済株式総数及び資本金の推移】

(i) A種株式

(2025年6月18日現在)

年月日	発行済株式 総数増減数(株)	発行済株式 総数残高(株)	株式資本増減額 (スウェーデン・ クローネ)	株式資本残高 (スウェーデン・ クローネ)	摘要
2019年12月20日	25,032	1,944,777,165	38,799.60	3,014,404,605.75	転換権の 行使

(ii) B種株式

(2025年6月18日現在)

年月日	発行済株式 総数増減数(株)	発行済株式 総数残高(株)	株式資本増減額 (スウェーデン ・クローネ)	株式資本残高 (スウェーデン ・クローネ)	摘要
2015年5月19日	23,500,886	35,251,329	0	54,639,559.95	1株につき3株 の割合による 株式分割

(4) 【所有者別状況】

当行の株主数は、過去5年間で、120,000名をわずかに上回る程度から220,000名超に増加した。同期間に、当行の外国人持株比率は48%から38%に低下した。所有者の4分の3は、1,001株未満の所有者であった。株主の1.4%がそれぞれ20,001株超の株式を所有しており、かかる株主は合計で株式資本の88%を所有していた。

以下の表は、当行の株式の所有株式数別の内訳を示している。

(2024年12月31日現在)

株主毎の所有株式		所有株式			
株式数	株主数	A種株式数	B種株式数	株式資本割合(%)	議決権割合(%)
1-500株	137,698	15,028,109	4,617,265	1.0	0.8
501-1,000株	27,896	17,982,882	3,819,326	1.1	0.9
1,001-5,000株	39,863	83,137,999	10,308,844	4.7	4.3
5,001-20,000株	11,796	103,091,555	8,068,034	5.6	5.3
20,001株以上	3,016	1,725,536,620	8,437,860	87.6	88.6
合計	220,269	1,944,777,165	35,251,329	100.0	100.0

(5) 【大株主の状況】

以下の表において、保管銀行は通常は実際の株主ではなく、株主が複数の保管銀行を通じて所有している可能性がある。

(2024年12月31日現在)

名称	住所	A種株式数	資本合計に 対する割合 (%)	議決権合計に 対する割合 (%)
インドゥストリーヴァルデン・インベスト・ エイ・ビー・プブリクト	スウェーデン	228,200,000	11.5	11.7
ステート・ストリート・バンク・アンド・ トラスト・コー、W9*	米国	169,613,629	8.6	8.7
スティフテルセン・オクトゴーネン	スウェーデン	159,225,141	8.0	8.2
JPモルガン・チェース・バンク・エヌ・エイ、W9*	米国	98,775,418	5.0	5.1
LEランドバークフォレターゲン・ アクティエボラッグ	スウェーデン	62,000,000	3.1	3.2
ノーザン・トラスト・カンパニー、ロンドン支店*	英国	59,444,605	3.0	3.1
バンク・オブ・ニューヨーク・メロン、W9*	米国	55,745,064	2.8	2.9
バンク・オブ・ニューヨーク・メロン SA/NV、 W8IMY*	ベルギー	28,772,935	1.5	1.5
ブラウン・ブラザーズ・ハリマン&コー、W9*	米国	25,752,824	1.3	1.3
J.P.モルガン・エス・イー、ルクセンブルク支店、 W8IMY/NQI*	ルクセンブルク	21,965,435	1.1	1.1
A種株式合計		1,944,777,165	98.2	99.8

*を付した主体は、一又は複数の株主が当該主体を通じて当行の株式を所有しているものと想定される主体である。

名称	住所	B種株式数	資本合計に 対する割合 (%)	議決権合計に 対する割合 (%)
アヴァンザ・ペンション保険会社	スウェーデン	861,004	0.04	0.004
ステート・ストリート・バンク・アンド・ トラスト・コー、W9*	米国	498,488	0.03	0.003
バンク・オブ・ニューヨーク・メロン SA/NV、 W8IMY*	ベルギー	339,465	0.02	0.002
スティフト・エディット及びエリック・ フェーンストレームスの寄付金	スウェーデン	278,590	0.01	0.001
JPモルガン・チェース・バンク・ エヌ・エイ、W9*	米国	201,326	0.01	0.001
スウェドバンク・フォルシェクリン・エイ・ビー	スウェーデン	195,636	0.01	0.001
スカンディア保険会社 (プブリクト)	スウェーデン	173,821	0.01	0.001
ベリルンド・ヨーラン	スウェーデン	110,000	0.01	0.001
ノーザン・トラスト・カンパニー、ロンドン支店*	英国	94,616	0.00	0.000
ノルドネット・ペンションフォルシェクリン・エ イ・ビー	スウェーデン	91,348	0.00	0.000
B種株式合計		35,251,329	1.8	0.2

*を付した主体は、一又は複数の株主が当該主体を通じて当行の株式を所有しているものと想定される主体である。

2【配当政策】

配当政策

配当に関して当行の方針は、資本比率がSFSAにより伝達された資本要件を1パーセント・ポイント上回る水準より低くなるような配当水準にしてはならない、というものである。スウェーデンにおける慣例として、当行は、年に1回株主に対して配当を支払う。一株当たりの配当額は、当行の取締役会により提案され、当行の年次株主総会で承認される。

配当

2024年3月20日開催の年次株主総会において、株主により一株当たり6.50スウェーデン・クローネの普通配当及び一株当たり6.50スウェーデン・クローネの特別配当の支払いが決定された。配当総額は、25,740百万スウェーデン・クローネとなった。

2025年3月26日開催の年次株主総会において、株主により一株当たり7.50スウェーデン・クローネの普通配当及び一株当たり7.50スウェーデン・クローネの特別配当の支払いが決定された。配当総額は、29,700百万スウェーデン・クローネとなった。

3【コーポレート・ガバナンスの状況等】

(1)【コーポレート・ガバナンスの概要】

当行グループのコーポレート・ガバナンス

当行グループのコーポレート・ガバナンスは、明確で目的に適った組織構造を構築することを目指している。かかる組織構造は、健全かつ効果的な方法で、発生するリスクの効率的な監視及び管理を促進する外部及び内部の規則に則り業務が遂行されることを確保する。明確な責任の分担は、内部統制、リスク管理及びコンプライアンスに関する当行のニーズを満たすとともに、事業の面においては、可能な限り最善の方法で業務が遂行されることを可能にするための鍵となる。優れたガバナンスはすべての業務に通じるものでなければならず、したがって、それは当行グループの全従業員に影響を及ぼす。

ガバナンスの中心は、取締役会及び最高経営責任者が発する目標及び運営文書である。当行の企業文化、運営方式及び報酬制度も、事業を行う上で生じるあらゆるリスクを管理する能力と同様に、効果的なコーポレート・ガバナンスを確保するために重要である。

リスク管理の詳細については下記「第6-1-(1) 連結財務書類-注記G2」を参照のこと。

規則

スウェーデンの銀行業務は法律により規制されており、銀行業務はSFSAからの許認可がある場合にのみ実施することができる。当行の業務の規制は広範囲に及ぶ。

かかる規制の中で最も主要なものには、以下が含まれる。

- ・会社法
- ・銀行法
- ・信用機関及び投資会社の健全性要件に関する欧州議会・欧州理事会規制(EU)575/2013(CRR)
- ・市場阻害行為に関する欧州議会・欧州理事会規制(EU)596/2014
- ・スウェーデンの金融機関及び投資機関の特別監督に関する法律(2014:968)
- ・スウェーデン・マネーロンダリング及びテロリズムへの資金供与対策法(lag(2017:630))
- ・証券市場法
- ・ミューチュアル・ファンド及び保険事業に関する広範囲に及ぶ規制

さらに、SFSA及びその他の当局からの極めて重要な一般的助言だけでなく、多くの規制及びガイドラインも存在する。

当行グループの主な方針において、スウェーデン国外における業務は、受入国の規則がスウェーデン国内の規則よりも厳格であるか又はスウェーデンの規則からの逸脱が必要となる場合には、スウェーデン国内の規則と受入国の規則の両方に服する。

当行グループはコーポレート・ガバナンス・コードに逸脱することなく準拠している。

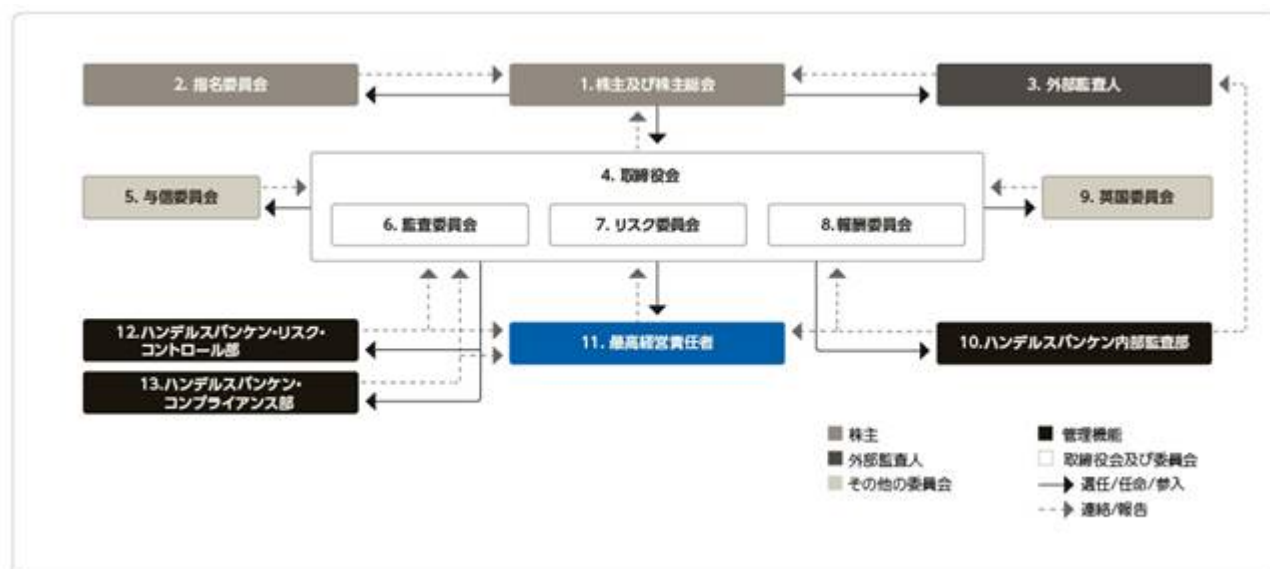
また当行グループは、内規も適用している。取締役会及び最高経営責任者が発行する運営文書には、最も重要かつ基本的な原則が記載されており、また事業活動に関する内部統制を確保するための要件を含む当行グループの事業活動の枠組が定められている。これらの運営文書は、事業活動の運営方法についてより詳細な指図及び指針を規定するその他の内部規定によって補完されている。

取締役会の方針には、以下が含まれる。

- ・ガバナンス及び運営文書に関する方針
- ・与信方針
- ・リスク管理に関する方針
- ・オペレーショナル・リスクに関する方針
- ・資本方針

- ・財務方針
- ・コミュニケーション方針
- ・サステナビリティに関する方針
- ・倫理基準に関する方針
- ・利益相反の取扱いに関する方針
- ・不正行為に対する方針
- ・報酬に関する方針
- ・適合性評価に関する方針
- ・グループ監査業務に関する方針
- ・非常に重要な事象の管理及び報告に関する方針
- ・外部監査人の活用に関する方針
- ・コンプライアンスに関する方針
- ・苦情処理に関する方針
- ・従業員による金融商品の取引に関する方針
- ・会計方針
- ・商品及びサービスに関する方針
- ・金融犯罪の防止対策に関する方針

コーポレート・ガバナンスの体制



1. 株主及び株主総会

株主は、当行の最高意思決定機関である株主総会において当行に関連する事項を決定する権限を行使する。年次株主総会は、毎年開催され、そこでは主に取締役会、取締役会会長及び監査人の任命が行われる。年次株主総会において、当行の株主は、当行の統治に特に重要な事項についての様々な決定を行う。株主の決定には、以下の事項が含まれる。

- ・損益計算書及び貸借対照表の承認
- ・利益処分
- ・過去の事業年度に対する取締役会及び最高経営責任者の責任の免除
- ・当行の取締役及び監査人の人数並びに取締役及び監査人の任命
- ・取締役及び監査人への報酬額の決定
- ・執行役員(下記「(2) 役員の状況－報酬の方針の概要」で定義する。)への報酬についての指針

2. 指名委員会

指名委員会の役割は、取締役会会長及びその他の取締役会の構成員の指名、並びに取締役会会長及びその他の取締役会の構成員の報酬に関する提案を準備し、年次株主総会に提出することである。スウェーデンコーポレート・ガバナンス・コードに規定されているように、指名委員会は監査人の指名及び監査人の報酬についての提案も行う。年次株主総会は、指名委員会がどのように任命されるかについて決定する。

指名委員会は、取締役会の多様性方針を考慮して業務を行っている。当該方針では、独立した意見及び批判的な質問を促進するため、取締役会は、メンバーの資格、経験及び経歴並びに均等なジェンダーバランスの観点から、適切な多様性及び幅広さによって特徴づけられることが望ましいと規定されている。指名委員会は、年次株主総会への提案を作成する際に、取締役及び最高経営責任者の適性評価に関する取締役会の方針のうち関連する部分について検討する。また指名委員会は、提案をまとめるにあたり、取締役会会長により行われた取締役会の評価も検討する。

2025年度の株主総会のために選出された指名委員会は、6回会合を開催した。

３．取締役会

取締役会は当行の組織に対して責任を有し、株主に代わって当行の業務処理を行う。取締役会は、継続的に当行の財政状態を査定し、会計記録、資金管理及び当行の財政状態のその他の側面が十分に統制されるように、当行が組織化されていることを確保しなければならない。取締役会は、これをどのように実施すべきかについての方針及び指針を設定し、取締役会のための手続規則を定め、また最高経営責任者のための指針も定める。

これらの運営文書には、取締役会全体、委員会、取締役会会長及び最高経営責任者間において、責任及び権限がどのように割り当てられているかについて記載している。取締役会は、最高経営責任者、エグゼクティブ・ヴァイス・プレジデント、最高リスク管理責任者、最高コンプライアンス責任者及び最高監査責任者を任命し、また取締役会はこれらの者の雇用条件も決定する。取締役会会長は取締役会の業務査定に責任を負い、査定結果を指名委員会に報告する。

４．与信委員会

取締役会は、取締役会がその他の部門に委任した決定限度額を超える与信案件について決定を行う与信委員会を設立する。特別な重要案件並びに取締役及び経営陣の与信は取締役会全体によって決定が行われる。

2024年度中、与信委員会は10回会合を開催した。

５．リスク委員会

取締役会のリスク委員会は、当行グループのリスク統制及びリスク管理の有効性を監視する。当委員会は、当行のリスク戦略及びリスク許容度等に関する取締役会の決定を準備し、ハンデルスバンケン・コンプライアンス部及びハンデルスバンケン・リスク・コントロール部からの報告書を審査する。また当委員会は、IRB手法に関連する当行のリスク評価及び推定プロセスの重要な部分に関する決定を含む意思決定を独立して行っている。

2024年度中、リスク委員会は9回会合を開催した。

６．報酬委員会

取締役会の報酬委員会は、当行の執行役員の雇用条件を、現行の市場相場と照らして審査する。また当委員会の役割には、執行役員の報酬に関するガイドラインについての年次株主総会への取締役会の提案を準備すること、これらのガイドラインの適用に関して監視及び評価を行うこと、並びにとりわけ執行役員及び最高監査責任者の報酬及びその他の雇用条件に対する取締役会の決定を準備することも含まれる。執行役員の報酬に関する指針は、下記「(2) 役員の状況－報酬の方針の概要」に記載されている。また当委員会は、当行の報酬方針及び報酬制度について、評価を行っている。

2024年度中、報酬委員会は8回会合を開催し、報酬委員会のすべての構成員がすべての会合に出席した。

７．英国委員会

取締役会の英国委員会は、ハンデルスバンケン・ピー・エル・シーにおける業務を監視している。

2024年度中、英国委員会は4回会合を開催した。

８．最高経営責任者

最高経営責任者は、当行グループの日常的な運営指揮をとるために取締役会により任命される。取締役会からの指示に加え、最高経営責任者は会社法並びに特に当行の会計、資金管理及び運営管理に関するその他多数の法律の規定を遵守することが義務付けられている。

9. ハンデルスバンケン・リスク・コントロール部

ハンデルスバンケン・リスク・コントロール部は、当行グループ内のすべての重要なリスクが関連部門により特定され、管理されていることを検証する責任及び、これらのリスクを分析し報告する責任を負っている。最高リスク管理責任者は、最高経営責任者に直属し、ハンデルスバンケン・リスク・コントロール部長を務める。

10. ハンデルスバンケン・コンプライアンス部

ハンデルスバンケン・コンプライアンス部は、コンプライアンスの監視及び管理、コンプライアンスを確保するために事業上講じられるべき措置に関する助言及び支援の提供、並びに重大な欠陥及びリスクの報告を行う責任を負っている。最高コンプライアンス責任者は、最高経営責任者に直属し、ハンデルスバンケン・コンプライアンス部長を務める。

保険契約の概要

業務の遂行に関連して、2種類の保険契約が設定されている。まず、専門業務賠償責任保険は、顧客に提供した当行グループの専門的なサービスに対して、顧客が当行グループ又は従業員に補償を請求した場合の損害を填補する。これらの請求は通常、スタッフ個人に対して直接ではなく、当行グループに対して行われるものであるため、免責水準が設定されている。

かかる保険契約を補完するため、当行グループは役員等賠償責任保険契約を締結しており、当行グループがかかる保険料の全額を負担している。被保険者は、当行グループのすべての取締役、監査役、執行役員及びエグゼクティブフェローに加え、当行グループを代理して行動した場合に個人的責任を負う可能性のあるその他の者である。当該契約は、これらの地位において行われた行為に起因する損失の補填及び紛争の費用を補償範囲に含む。当該契約は補償範囲が広く、現地の法律に基づき支払いが合法である場合には支払いが認められる。また当該契約は、犯罪捜査に伴う費用も補償範囲に含むが、従業員が有罪となった場合、保険会社は支払った補償金の返還を要求する権利を有する。補償の範囲が広いとはいえ、適用範囲にはいくつかの制約がある。

(2) 【役員の状況】

当行の運営に関する全体的な責任は、取締役会に委任されている。銀行法により、銀行は3名以上の構成員から成る取締役会を設置しなければならない。当行の定款の規定に従い、株主は年次株主総会において8名以上15名以下の取締役会の構成員全員を選出することができる。一定の規模のスウェーデン企業に影響のある特別立法に基づき、当行の従業員は、2名の取締役会の構成員を追加で任命する権利を有し、2名の常任構成員及び2名の代理人を取締役会の従業員代表に任命することによりこの権利を行使した。

取締役会は、現在11名の取締役で構成されている。9名は年次株主総会により選出され、2名の常任メンバーは従業員団体により選出された。取締役会は、通常暦年中に少なくとも9回会合を開催し、その他必要がある場合、主要な政策及び展開、多額の貸付提案並びにその他の関連事業を検討するため会合する。2024年度中、取締役会は、延長された2回の戦略会議を含む12回の会合を開催した。各取締役の出席状況は下表に示される。

当行のグループ最高経営責任者としての頭取は、取締役会の政策実行、当行グループの事業の主導に責任を負う。

取締役会の構成員等は、以下のとおりである。

男性の数：6名、女性の数：5名(女性の比率45%)

氏名 (生年)	当行における 役職 (取締役会への 選出年)	地位及び主要な活動	2024年度の報酬 ¹
パール・ボーマン (1961年)	会長 (2006年)	エイ・ビー・ヴォルヴォの会長。エイ・ビー・インドゥストリーヴァルデンの副会長。スカンスカ・エイ・ビーの取締役。エス・エイチ・ビー企業年金基金、ヤン・ヴァランデル及びトム・ヘディーリアス・ファウンデーション並びにトーレ・プロバルド・ファウンデーションの会長。	6,040,000 スウェーデン ・クローネ
フレデリック・ランドバーグ (1951年)	副会長 (2002年)	LEランドバーグフォレターゲン・エイ・ビーの社長兼最高経営責任者。ホルメン・エイ・ビー、ホフレッドストーダン・エイ・ビー及びエイ・ビー・インドゥストリーヴァルデンの会長。LEランドバーグフォレターゲン・エイ・ビー及びスカンスカ・エイ・ビーの取締役。	1,585,000 スウェーデン ・クローネ
ヘリアン・バルネコウ (1964年)	取締役 (2022年)	ミンドラー・エイ・ビー及びストーリーテル・エイ・ビーの会長。GNストア・ノード・エイ／エスの取締役。	1,270,000 スウェーデン ・クローネ
スティナ・バーグフォース (1972年)	取締役 (2021年)	テレ2・エイ・ビーの取締役。	1,270,000スウェーデン ・クローネ
ハンス・ベオーク (1951年)	取締役 (2018年)	スカンスカ・エイ・ビーの会長。	2,360,000 スウェーデン ・クローネ
シャスティン・ヘシウス (1958年)	取締役 (2016年)	ヘムソ・ファスティゲット・エイ・ビーの会長。ルメラ・エイ・ビーの取締役。	1,870,000 スウェーデン ・クローネ
アナス・イエルンホール (1970年)	取締役 (2025年)	ホルメン・エイ・ビーの最高経営責任者代理。LEランドバーグ・カピタルフォルバルトニング・エイ・ビー及びインドゥトレード・エイ・ビーの取締役。	0 スウェーデン ・クローネ
ルイス・リンド (1979年)	取締役 (2024年)	J2Lホールディング・エイ・ビー及びファスティゲット・エイ・ビー・LEランドバーグの会長。LEランドバーグフォレターゲン・エイ・ビー、ホフレッドストーダン・エイ・ビー及びホルメン・エイ・ビーの取締役。	1,270,000 スウェーデン ・クローネ
ウルフ・リーズ (1959年)	取締役 (2020年)	ヤン・ヴァランデル及びトム・ヘディーリアス・ファウンデーション並びにトーレ・プロバルド・ファウンデーションの取締役。	2,795,000 スウェーデン ・クローネ
アンナ・イェンベリ (1969年)	従業員代表 (2020年)	金融部門ユニオンのハンデルスバンケン・ユニオン・クラブの会長。エス・エイチ・ビー年金基金の取締役。	0 スウェーデン ・クローネ
レナ・レンストロム (1965年)	従業員代表 (2020年)	金融部門ユニオンのハンデルスバンケン・SEーユニオン・クラブの会長。	0 スウェーデン ・クローネ

¹ 2024年度の年次株主総会から2025年度の年次株主総会までの間の年間報酬に関連して、取締役提示された報酬は、年次株主総会で決議された。取締役への報酬の合計は、20,345,000スウェーデン・クローネであった。

氏名	経歴	会議への出席状況	2024年12月31日現在の本人及びその近親者の所有株式数
パール・ボーマン	2006-2015年：当行の頭取兼最高経営責任者。	与信委員会：10/10(議長)、監査委員会：9/9、報酬委員会：8/8(議長)、リスク委員会：9/9、英国委員会：4/4(議長)、取締役会：12/12(議長)	165,682株、そのうちA種株式130,000株を直接所有し、35,682株を間接所有 ¹ 。
フレデリック・ランドバーグ	1981年-：LEランドバーグフォレターゲン・エイ・ビーの頭取。1977年-：ランドバーグズに在職。	与信委員会：10/10、取締役会：12/12	A種株式82,275,000株
ヘリアン・バルネコウ	2018-2022年：マイクロソフト・スウェーデンの最高経営責任者。2014-2018年：テリア・スウェーデンの最高経営責任者及び様々な管理職を歴任。2009-2014年：EMCコーポレーション(英国及び米国)の様々なマーケット・リーダー職を歴任。2001-2009年：ソニー・エリクソン・モバイルコミュニケーションズ(米国、英国及びスウェーデン)の様々なマーケット・リーダー職等を歴任。1999-2001年：ノボノルディスク(デンマーク)のマーケット・リーダー。1995-1999年：エリクソンの様々な管理職を歴任。1993-1995年：マイクロソフト(マルタ)のマーケット・リーダー。1991-1993年：DLFスウェーデンのプロジェクト・マネージャー／コンサルタント。	リスク委員会：6/9 ² 、取締役会：12/12	A種株式1,000株
スティナ・バーグフォース	2013-2018年：ユナイテッド・スクリーンの共同設立者、最高経営責任者及びその他の役職。2008-2013年：グーグル及びユーチューブの地域ディレクター。2004-2007年：カラットの最高経営責任者及びその他の役職。2000-2004年：OMDワールドワイドのディレクター及びその他の役職。1999-1999年：TV3 スウェーデン及びモダン・タイムズ・グループの経理マネージャー。	与信委員会：10/10、取締役会：12/12	A種株式4,300株
ハンス・ベオーク	2001-2011年：スカンスカのエグゼクティブ・ヴァイス・プレジデント及び最高財務責任者。1998-2001年：オートリブの最高財務責任者。1997-1998年：自営業。1977-1997年：エセルテにおいて様々な役職を歴任。	与信委員会：10/10、監査委員会：9/9、報酬委員会：8/8、リスク委員会：9/9、取締役会：12/12	A種株式10,000株

シャスティン・ヘシウス	2004-2022年：AP3第3スウェーデン国民年金基金の最高経営責任者。2001-2004年：ストックホルム証券取引所の最高経営責任者。1999-2000年：スウェーデン国立銀行の中央銀行総裁代理。1998年：ダンスク銀行のアセット・マネジメントの最高経営責任者。1990-1997年：エイ・ビー・エヌ・アムロ銀行、アルフレッド・ベルグに在職。1989-1990年：フィナンスティグニニャンに在職。1986-1989年：SND0に在職。1985-1986年：スウェーデン国立銀行(スウェーデン中央銀行)に在職。1984-1985年：スウェーデン総務局に在職。	与信委員会：10/10、リスク委員会：9/9(議長)、取締役会：12/12	A種株式47,213株
アナス・イエレンホール	1994-1997年：シティバンクのクレジットアナリスト兼リレーションシップマネージャー。1997-2010年：ホルメン・エイ・ビーにおいて様々な役職を歴任。2014-2025年：ホルメン・エイ・ビーの最高経営責任者代理兼最高財務責任者。	—	A種株式2,600株
ルイス・リンド	2017-2024年：ファスティゲット・エイ・ビー・LEランドバークの社長兼最高経営責任者。2005-2017年：ファスティゲット・エイ・ビー・LEランドバークにおいて最高経営責任者補佐、エグゼクティブ・ヴァイス・プレジデント及び地域マネージャーなど様々な役職を歴任。2003-2005年：KPMGの監査人補佐。	与信委員会：8/10、取締役会：9/12 ³	A種株式3,051,000株
ウルフ・リーズ	当行において様々な役職を歴任。2016-2018年：シニア・アドバイザー。2007-2016年：当行の最高財務責任者。2004-2007年：ハンデルスバンケン・アセット・マネジメント部長。2004年：当行のエグゼクティブ・ヴァイス・プレジデント。1983年-：当行により雇用。経済学／経営学専攻卒業。	与信委員会：10/10、監査委員会：9/9(議長)、リスク委員会：9/9、英国委員会：4/4、取締役会：12/12	A種株式200,000株
アンナ・イェンベリ	ハンデルスバンケン・リヴの保険責任者及び当行グループのユニオンの役職を歴任。	取締役会：11/12	0株
レナ・レンストロム	当行の支店業務においてアドバイザー・サービスを担当。	取締役会：12/12	0株

¹ オクトゴーネン利益分配制度を通じた当行の株式の間接所有を指す。

² 2024年3月にリスク委員会のメンバーに就任。

³ 2024年3月に取締役に就任。

取締役会の従業員代表代理等は、以下のとおりである。

氏名 (生年)	当行における 役職 (取締役会への 選出年)	地位及び主要な活動	2024年度の報酬 ¹
ステファン・ヘンリクソン (1970年)	従業員代表代理 (2020年)	金融部門ユニオンのハンデルスバンケン・SE ーユニオン・クラブの取締役。	0 スウェーデン ・クローネ
ミーケル・アーンビエット (1969年)	従業員代表代理 (2023年)	当行のアカデミカーフォレニンゲン(学位を取 得した専門家の協会)の会長。	0 スウェーデン ・クローネ

¹ 2024年度の年次株主総会から2025年度の年次株主総会までの間の年間報酬に関連して、取締役提示された報酬は、年次株主総会で決議された。取締役への報酬の合計は、20,345,000スウェーデン・クローネであった。

氏名	経歴	会議への 出席状況	2024年12月31日現在の 本人及びその近親者の 所有株式数
ステファン・ヘンリクソン	当行の支店及び地域の本部において管理業務 及びアドバイザー・サービスを担当。	取締役会：12/12	38,784株、そのうち 38,784株を間接所有 ¹ 。
ミーケル・アーンビエット	マネーロンダリング防止部門、国際業務部門 及び取引部門内の専門家、システム所有者並 びにビジネス及びオペレーション開発の担当 者。	取締役会：12/12	29,527株、そのうち 29,527株を間接所有 ¹ 。

¹ オクトゴーネン利益分配制度を通じた当行の株式の間接所有を指す。

当行グループの経営陣の構成員は、以下のとおりである。

経営陣

パール・バックマン	最高与信責任者
カール・セダーシオルド ¹	最高財務責任者兼サステナビリティ責任者
ペニッラ・エルデストランド	最高コミュニケーション責任者
ミーケル・グリーン	頭取兼最高経営責任者
マリア・ヘディン	最高リスク責任者
ダン・リンドウォール	子会社及び当行グループ全体の業務の責任者
セシリア・ルンディン	最高人事責任者
アントン・ルーマレ・ケラー	最高情報責任者

¹ 2025年4月30日、モルテン・ビュールマン氏が新たに最高財務責任者に任命され、2025年9月1日までに当該職務を正式に開始することが発表された。モルテン・ビュールマン氏は、経営陣の構成員となる。カール・セダーシオルド氏は、モルテン・ビュールマン氏が正式に当該職務を開始するまで、引き続き最高財務責任者を務める。

報酬の方針の概要

取締役会は、当行及び当行グループの報酬の方針において、当行の報酬制度は、健全で持続可能な業務に基づいた当行の事業目的及び事業文化に合致したものでなければならないと定めている。また報酬の方針において、健全で持続可能な業務には固定報酬が適すると規定しており、したがって、基本原則として固定報酬が適用されている。変動報酬の適用には十分な注意が求められる。上記の方針を考慮すると、従業員に対する報酬総額は、当行及び当行グループが有能な人材を惹きつけ、雇用し、定着させ、育成することを可能とし、かつ、良好な経営継承を確保するため、市場条件に基づき、男女平等及びジェンダーニュートラルを遵守しなければならない。執行役員への報酬のガイドラインの基礎として、当行の報酬の方針及び上記の従業員への報酬の原則が考慮されている。

当該ガイドラインは、最高経営責任者、エグゼクティブ・ヴァイス・プレジデント及び経営陣のその他の構成員(以下「執行役員」という。)への報酬に適用される。また当該ガイドラインは、当行の取締役への就任の報酬に加えて、取締役へ支払われるすべての報酬に適用される。

- 報酬総額の合計は、市場条件に基づくものとする。
- 報酬は、固定額の現金給与、年金給付及び慣習的な給付の形で支払われる。
- 当行の従業員でない取締役を除く当行の執行役員は、当行の全従業員と同じ条件でオクトゴーネン利益分配制度の対象に含まれる。
- 年金給付は確定拠出制度であり、年間の固定額の現金給与の最大35%に相当し、団体協約に基づく年金制度に追加して支払われる場合がある。その他の給与手当は、1年当たり合計で年間の固定給の最大35%に相当する。
- 雇用契約は、追って通知があるまで、又は一定期間適用される。執行役員側の予告期間は6ヶ月、当行側の予告期間は最長で12ヶ月である。当行の執行役員に就任して5年超が経過し、当行が雇用契約を終了する場合、予告期間は最長で24ヶ月である。その他の退職手当は支払われない。団体協約又は労働法制により、異なる予告期間が適用される場合がある。

(3) 【監査の状況】

(i) 内部監査

監査委員会

取締役会の監査委員会は、重要な会計問題及びその他財務報告の質的内容に影響する可能性のある要因を検討しながら当行の財務報告を監視する。当委員会はまた、当行及び当行グループの内部統制、内部監査及び財務報告に関するリスク管理の有効性を監視するとともに外部監査人の公平性及び独立性を監視する。当委員会はまた、当行グループのサステナビリティの問題への取組みに係る報告書の提出を受け、かかる問題に関して報告を行う。また、当委員会は監査業務を査定し、監査人の指名に関して指名委員会へ提言を提出する。監査委員会はまた、当行の内部監査人及び外部監査人による報告書を受け取る。

2024年度中、監査委員会は9回会合を開催した。

ハンデルスバンケン内部監査部

ハンデルスバンケン内部監査部は、当行グループの事業及び財務報告の独立した公平な監査を行う。重要な業務はリスク管理、内部統制及びコーポレート・ガバナンスの手続を評価、検証することである。最高監査責任者は取締役会により任命される。かかる業務は、取締役会により定められた方針に基づき、内部監査人協会(IIA)により発表された国際的に認められる基準に従った、リスクベースの手法に基づいて実施される。計画された監査業務は毎年、取締役会が策定する監査計画に文書化される。ハンデルスバンケン内部監査部の結論、取るべき措置及びその状況は、定期的に監査委員会に報告され、毎年、取締役会全体に報告される。最高監査

責任者はまた、当行グループの独立した内部告発システムを通じて報告を受ける。ハンデルスバンケン内部監査部は、定期的に独立した外部の適正評価を受けている。また当行の外部監査人は毎年、ハンデルスバンケン内部監査部の業務の適正評価を実施している。

(ii) 会計監査

外部監査人は、年次株主総会から翌年次株主総会終了時までの任期で任命される。監査人は、株主に対して説明責任を有する。監査人は、監査を行い、コーポレート・ガバナンス・レポートを含む年次報告書並びに取締役会及び最高経営責任者の運営等の事項に関する監査報告書を提出する。さらに、監査人は、口頭及び書面において、取締役会の監査委員会に対し、その監査業務がいかに遂行されたかを報告する。監査人はまた、取締役会全体に対し、その監査の概略報告書も提出する。

(i) 2024年12月31日に終了した事業年度の監査法人の名称

プライスウォーターハウスクーパース・エイ・ビー(以下「PwC」という。)は、2024年3月20日付株主総会により当行及び当行グループの監査法人に任命され、2017年3月29日から2025年3月26日に開催された株主総会の終了時まで、会社の監査法人であった。参考情報として、エーリングス・プライスウォーターハウスクーパース・エイ・ビーは、2025年3月26日付株主総会により当行及び当行グループの監査法人に任命された。

デロイト・エイ・ビー(以下「デロイト」という。)は、2025年3月26日付株主総会により当行及び当行グループの監査法人に任命され、2023年3月22日以降、会社の監査法人である。

(ii) 2024年12月31日に終了した事業年度の監査業務に係る担当公認会計士の氏名及び役職

マグヌス・スヴェンソン・ヘンリソンは、2001年から公認会計士である。同氏は、当行及び当行グループにおいてPwCの担当監査人であり、監査チームの委員長である。マーリン・ルーニングは、2008年から公認会計士であり、当行及び当行グループにおいてデロイトの担当監査人である。

(iii) 監査業務に係る補助者の構成

公認会計士：11名

補助者：66名

(iv) 当該監査法人の選任理由

当行は、PwC及びデロイトをその独立性、専門性、品質管理の構造及び監査報酬等を考慮し、監査法人として採用している。当行は、監査法人が監査のための有能な組織を有しており、当行を適切に監査することができていると認識する。

(v) 最近2年間の事業年度における外国監査法人の推移

EYは、1998年から当行の監査人であった。EUの規制は監査人の10年間の任期後の交代を義務付けているが、経過規定によりEYは2023年まで再任されうることが認められていた。しかし監査委員会は、入札手続をとるべきであると判断した。その後、監査委員会はPwC及びデロイトを指名することを提案し、指名委員会は2023年1月1日に開始した事業年度の当行の監査人にPwC及びデロイトを任命することを年次株主総会に提案した。2023年の3月22日の年次株主総会はかかる提案のとおり決議した。EYは、監査報告書等の記載内容に関し、監査人の異動の決定又は異動に至った理由及び経緯について特段の意見はなかった。

(vi) 評価内容

当行の監査委員会は、PwC及びデロイトが、公平性及び独立性の観点から監査法人として適切であると評価し、また、これらの法人に関連してスウェーデン監査検査局により実施された監督業務の情報を取得し続けている。

2023年度及び2024年度の監査人及び監査法人に対する報酬は、以下のとおりである。

監査人及び監査法人に対する報酬 (当行グループ)	プライスウォーターハウス クーパーズ・エイ・ビー		デロイト・エイ・ビー	
	2024年	2023年	2024年	2023年
(単位：百万スウェーデン・クローネ)				
監査業務	-39	-40	-8	-8
当該監査業務以外の監査上の業務	-5	-5	-2	-2
税務アドバイス				
その他サービス	-3	-1		

監査人及び監査法人に対する報酬 (親会社)	プライスウォーターハウス クーパーズ・エイ・ビー		デロイト・エイ・ビー	
	2024年	2023年	2024年	2023年
(単位：百万スウェーデン・クローネ)				
監査業務	-10	-11	-7	-7
当該監査業務以外の監査上の業務	-1	-1	-2	-2
税務アドバイス				
その他サービス	-2	-1		

(4) 【役員の報酬等】

上記「(2) 役員の状況」を参照のこと。

(5) 【株式の保有状況】

該当事項なし。

第6【経理の状況】

- a. 本書記載の当行グループの邦文の連結財務書類及び当行グループの親会社の邦文の財務書類は、2024年12月31日に終了した事業年度の原文の財務書類を翻訳したものである。本書記載の原文の連結財務書類及び財務書類は、当行グループの監査済連結財務書類及び親会社の監査済個別財務書類で構成されている。当行グループの連結財務書類は、EUにより採択された国際財務報告基準(以下「IFRS」という。)並びに信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法(1995年、第1559号)に準拠して作成されている。親会社の個別財務書類は、信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法に準拠して作成されている。また、当行グループ及び親会社の財務書類の日本における開示については、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和38年大蔵省令第59号)第328条第1項の規定が適用されている。

なお、IFRS、信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法と日本の会計原則及び手続並びに表示方法の相違点については、下記「第6-4 IFRS、信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法と日本の会計原則及び会計慣行の主要な相違」を参照のこと。

- b. 当行グループと親会社の原文の連結財務書類及び財務書類は、スウェーデンにおける独立監査人であるプライスウォーターハウスクーパース・エイ・ビー(PricewaterhouseCoopers AB)及びデロイト・エイ・ビー(Deloitte AB)の監査を受けており、独立監査人の2025年2月26日付の監査報告書の原文及び日本語訳は本書に掲載されている。

なお、原文の財務書類は、上記のとおりプライスウォーターハウスクーパース・エイ・ビー及びデロイト・エイ・ビーの監査を受けており、これによって「財務諸表等の監査証明に関する内閣府令」(昭和32年大蔵省令第12号)第1条の2の規定に基づく監査証明に相当する証明を受けたとみなされるため、金融商品取引法第193条の2第1項第1号の規定に基づく日本の公認会計士又は監査法人による監査は受けていない。

- c. 日本円への換算及び下記「第6-2 主な資産・負債及び収支の内容」から「第6-4 IFRS、信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法と日本の会計原則及び会計慣行の主要な相違」までの事項は原文の財務書類には記載されておらず、当該事項における原文の財務書類への参照事項を除き、上記b.の監査の対象になっていない。

- d. 邦文の財務書類では、主要な数値についてのみ日本円換算が行われている。日本円への換算には、2025年5月30日(日本時間)現在の株式会社三菱UFJ銀行の対顧客電信売買相場の仲値である1スウェーデン・クローネ=15.05円のスウェーデン・クローネの対円為替レートが使用されている。日本円に換算された金額は、四捨五入のため合計欄の数値が総額と一致しない場合がある。また、本項において記載されているスウェーデン・クローネの日本円への換算額は読者の便宜のために表示されているものであり、スウェーデン・クローネの金額が上記のレートで日本円に換算されることを意味するものではない。

- e. なお、財務書類中の括弧内の数値は比較数値を示している。

- f. 本「第6 経理の状況」において、「親会社」はスヴェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクトを意味する。

- g. 本「第6 経理の状況」において、「クローネ」及び「スウェーデン・クローネ」はスウェーデン・クローネを意味する。

1 【財務書類】

(1) 連結財務書類

損益計算書(当行グループ)

	注記	2024年		2023年	
		(百万スウェーデン・クローネ)	(百万円)	(百万スウェーデン・クローネ)	(百万円)
利息収益	63	171,125	2,575,431	159,805	2,405,065
うち、実効金利法による利息収益及びヘッジ会計デリバティブに係る利息		150,587	2,266,334	133,602	2,010,710
利息費用	63	-124,284	-1,870,474	-112,227	-1,689,016
純利息収益		46,841	704,957	47,578	716,049
手数料及びコミッション収益	64	13,252	199,443	12,559	189,013
手数料及びコミッション費用	64	-1,526	-22,966	-1,421	-21,386
純手数料及びコミッション収益		11,726	176,476	11,139	167,642
金融取引による純損益	65	3,103	46,700	2,661	40,048
保険事業による損益		126	1,896	157	2,363
保険契約者に代わって保有する資産からの収益		297	4,470	336	5,057
保険事業による純損益	66	422	6,351	493	7,420
その他配当金収益		16	241	3	45
関連会社及びジョイント・ベンチャーの持分利益	620	27	406	51	768
その他収益	67	209	3,145	325	4,891
収益合計		62,345	938,292	62,249	936,847
人件費	68	-15,731	-236,752	-13,642	-205,312
その他費用	69	-7,474	-112,484	-7,796	-117,330
不動産及び器具備品並びに無形資産の減価償却費、償却費及び減損費用	625、 626	-2,004	-30,160	-1,743	-26,232
費用合計		-25,209	-379,395	-23,182	-348,889
信用損失及び規制関連費用控除前利益		37,136	558,897	39,067	587,958
正味信用損失	610	601	9,045	-141	-2,122
不動産及び器具備品並びに無形資産の処分損益	611	13	196	20	301
規制関連費用	612	-2,733	-41,132	-2,624	-39,491
営業利益		35,016	526,991	36,322	546,646
法人税等	635	-7,795	-117,315	-8,417	-126,676
継続事業からの当期利益		27,221	409,676	27,905	419,970
非継続事業からの当期利益(税引後)	614	234	3,522	1,209	18,195
当期利益		27,456	413,213	29,114	438,166
帰属先：					
スヴェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビーの株主		27,451	413,138	29,107	438,060
うち、継続事業		27,217	409,616	27,898	419,865

うち、非継続事業		234	3,522	1,209	18,195
非支配株主持分		5	75	8	120
事業合計から一株当たり利益、 スウェーデン・クローネ/円	613	13.86	208.59	14.70	221.24
希薄化後	613	13.86	208.59	14.70	221.24
継続事業から一株当たり利益、 スウェーデン・クローネ/円	613	13.75	206.94	14.09	212.05
希薄化後	613	13.75	206.94	14.09	212.05
非継続事業から一株当たり利益、 スウェーデン・クローネ/円	613	0.12	1.81	0.61	9.18
希薄化後	613	0.12	1.81	0.61	9.18

包括利益計算書（当行グループ）

	2024年		2023年	
	(百万スウェーデン・クローネ)	(百万円)	(百万スウェーデン・クローネ)	(百万円)
当期利益	27,456	413,213	29,114	438,166
その他包括利益				
損益計算書に組み替えられない項目				
確定給付年金制度	344	5,177	-2,226	-33,501
その他包括利益を通じて公正価値で測定される資本性金融商品	207	3,115	63	948
損益計算書に組み替えられない項目に係る税金	-77	-1,159	439	6,607
うち、確定給付年金制度	-36	-542	450	6,773
うち、その他包括利益を通じて公正価値で測定される資本性金融商品	-41	-617	-11	-166
損益計算書に組み替えられない項目合計	475	7,149	-1,724	-25,946
その後に損益計算書に組み替えられる可能性のある項目				
キャッシュフロー・ヘッジ	160	2,408	614	9,241
その他包括利益を通じて公正価値で測定される負債性金融商品	6	90	25	376
保険契約	66	993	-396	-5,960
当期為替換算差額	1,758	26,458	-1,078	-16,224
うち、在外営業活動体における純投資のヘッジ	-230	-3,462	31	467
その後に損益計算書に組み替えられる可能性のある項目に係る税金	-52	-783	113	1,701
うち、キャッシュフロー・ヘッジ	-33	-497	-127	-1,911
うち、その他包括利益を通じて公正価値で測定される負債性金融商品	-1	-15	-5	-75
うち、在外営業活動体における純投資のヘッジ	47	707	-6	-90
うち、為替換算差額	-65	-978	251	3,778
その後に損益計算書に組み替えられる可能性のある項目合計	1,937	29,152	-722	-10,866
その他包括利益合計	2,412	36,301	-2,447	-36,827
当期包括利益合計	29,868	449,513	26,667	401,338

帰属先：

スヴェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビーの株主

29,870 449,544 26,662 401,263

非支配株主持分

-2 -30 5 75

当期の損益計算書における分類変更は持分変動計算書に示されている。

2024年1月から12月におけるその他包括利益(税金控除後)は、2,412(-2,447)百万スウェーデン・クローネとなった。当年度中、確定給付年金制度(税金控除後)に、308(-1,776)百万スウェーデン・クローネのプラスの影響が生じた。スウェーデンの年金債務に係る割引率が、前年度末では3.5%であったのに対し3.6%となったが、年金債務は増加している。これは、債務の増加を伴う仮定の変更に起因している。ただし、年金資産の増減額がプラスであったため、当期の当該純損益もプラスとなっている。

国外事業の為替換算(税金控除後)には、当行グループが事業活動を行っている国のほとんどの通貨に対してスウェーデン・クローネが年度末から下落したことにより、1,740(-833)百万スウェーデン・クローネのプラスの影響が生じた。

貸借対照表(当行グループ)

		2024年		2023年	
	注記	(百万スウェーデン・クローネ)	(百万円)	(百万スウェーデン・クローネ)	(百万円)
資産					
現金及び中央銀行預け金		529,995	7,976,425	476,171	7,166,374
中央銀行へのその他の貸出金	G15	12,547	188,832	6,282	94,544
中央銀行への担保として適格な利付証券	G18	172,606	2,597,720	199,128	2,996,876
その他金融機関への貸出金	G16	18,922	284,776	19,294	290,375
一般顧客への貸出金	G17	2,297,878	34,583,064	2,291,808	34,491,710
ポートフォリオ・ヘッジにおける金利ヘッジ 対象の価値変動		-6,399	-96,305	-9,657	-145,338
債券及びその他の利付証券	G18	47,508	714,995	50,087	753,809
株式	G19	14,746	221,927	12,216	183,851
関連会社及びジョイント・ベンチャーに対する 投資	G20	860	12,943	657	9,888
顧客が価値変動リスクを負う資産	G21	287,984	4,334,159	244,893	3,685,640
デリバティブ商品	G22	47,069	708,388	30,110	453,156
無形資産	G25	8,426	126,811	8,567	128,933
不動産及び器具備品	G26	4,803	72,285	4,777	71,894
当期税金資産		100	1,505	203	3,055
繰延税金資産	G35	157	2,363	358	5,388
年金資産	G8	13,102	197,185	11,699	176,070
売却目的で保有する資産	G14	74,506	1,121,315	178,590	2,687,780
その他資産	G27	11,896	179,035	10,276	154,654
前払費用及び未収金	G28	2,468	37,143	2,331	35,082
資産合計	G41	3,539,173	53,264,554	3,537,792	53,243,770
負債及び資本					
金融機関からの預り金	G29	84,280	1,268,414	90,143	1,356,652
一般顧客からの預金及び借入金	G30	1,310,739	19,726,622	1,298,480	19,542,124
顧客が価値変動リスクを負う負債	G31	288,263	4,338,358	245,100	3,688,755
発行済証券	G32	1,550,027	23,327,906	1,523,481	22,928,389
デリバティブ商品	G22	15,956	240,138	34,238	515,282
ショートポジション	G33	1,007	15,155	2,364	35,578
保険負債	G34	7,808	117,510	8,407	126,525
当期税金負債		957	14,403	1,211	18,226
繰延税金負債	G35	3,744	56,347	3,969	59,733
引当金	G36	378	5,689	601	9,045
売却目的で保有する負債	G14	10,623	159,876	63,721	959,001
その他負債	G37	15,376	231,409	14,882	223,974
未払費用及び繰延収益	G38	2,935	44,172	2,990	45,000
劣後負債	G39	37,054	557,663	43,117	648,911
負債合計	G41	3,329,146	50,103,647	3,332,706	50,157,225
非支配株主持分		6	90	8	120
株式資本		3,069	46,188	3,069	46,188
資本剰余金		8,758	131,808	8,758	131,808

準備金	<i>G40</i>	18,659	280,818	16,239	244,397
利益剰余金		152,085	2,288,879	147,905	2,225,970
スヴェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビーの株主に帰属する当期利益		27,451	413,138	29,107	438,060
資本合計		210,027	3,160,906	205,085	3,086,529
負債及び資本合計		3,539,173	53,264,554	3,537,792	53,243,770

持分変動計算書（当行グループ）

2024年

その他準備金

百万スウェーデン・ク ローネ	株式資本	資本剰余金	確定給付年 金制度	キャッシュ フロー・ ヘッジ	その他包括 利益を通じ て公正価値 で測定	保険契約	国外事業の 為替換算 調整
2024年期首資本	3,069	8,758	11,963	181	197	396	3,502
当期利益							
その他包括利益			308	127	171	66	1,747
うち、資本の中での分 類変更					-3		-811
当期包括利益合計			308	127	171	66	1,747
利益剰余金への振替							
配当金 ¹⁾							
ハンデルスバンケンplcの 従業員に対する株式 報酬 ²⁾							
従業員に対する株式報酬 のヘッジ ²⁾							
非支配株主持分の変動							
2024年期末資本	3,069	8,758	12,271	308	369	462	5,249

2024年

百万スウェーデン・クローネ	当期利益を含 む利益剰余金	非支配株主 持分	合計
2024年期首資本	177,011	8	205,085
当期利益	27,451	5	27,456
その他包括利益		-7	2,412
うち、資本の中での分類 変更			-814
当期包括利益合計	27,451	-2	29,868
利益剰余金への振替	814		814
配当金 ¹⁾	-25,740		-25,740
ハンデルスバンケンplcの従業 員に対する株式報酬 ²⁾	54		54
従業員に対する株式報酬の ヘッジ ²⁾	-54		-54
非支配株主持分の変動			
2024年期末資本	179,535	6	210,027

持分変動計算書（当行グループ）（続き）

2023年

その他準備金

百万スウェーデン・ク ローネ	株式資本	資本剰余金	確定給付 年金制度	キャッシュ フロー・ ヘッジ	その他包括 利益を通じ て公正価値 で測定	保険契約	国外事業の 為替換算 調整
2023年期首資本	3,069	8,758	13,739	-307	126	793	4,332
当期利益							
その他包括利益			-1,776	488	71	-396	-831
うち、資本の中での分 類変更			49				-284
当期包括利益合計			-1,776	488	71	-396	-831
利益剰余金への振替							
配当金 ¹⁾							
ハンデルスバンケンplcの 従業員に対する株式 報酬 ²⁾							
従業員に対する株式報酬 のヘッジ ²⁾							
非支配株主持分の変動							
2023年期末資本	3,069	8,758	11,963	181	197	396	3,502

2023年

百万スウェーデン・クローネ	当期利益を含 む利益 剰余金	非支配株主 持分	合計
2023年期首資本	163,510	3	194,024
当期利益	29,107	8	29,114
その他包括利益		-3	-2,447
うち、資本の中での分類 変更			-235
当期包括利益合計	29,107	5	26,667
利益剰余金への振替	235		235
配当金 ¹⁾	-15,840		-15,840
ハンデルスバンケンplcの従業 員に対する株式報酬 ²⁾	79		79
従業員に対する株式報酬の ヘッジ ²⁾	-79		-79
非支配株主持分の変動			
2023年期末資本	177,011	8	205,085

1) 2024年に支払われた2023年度に係る配当金は、1株当たり13スウェーデン・クローネとなった。2023年に支払われた2022年度に係る配当金は、1株当たり8スウェーデン・クローネとなった。

2) 2020年度以降、ハンデルスバンケン・ビーエルシーの全従業員は株式報酬プログラム（以下、「SIP」という。）の対象となっている。

持分変動計算書（当行グループ）（続き）

2024年

その他準備金

百万円	株式資本	資本剰余金	確定給付 年金制度	キャッシュ フロー・ ヘッジ	その他包括 利益を通じ て公正価値 で測定	保険契約	国外事業の 為替換算 調整
2024年期首資本	46,188	131,808	180,043	2,724	2,965	5,960	52,705
当期利益							
その他包括利益			4,635	1,911	2,574	993	26,292
うち、資本の中での分 類変更					-45		-12,206
当期包括利益合計			4,635	1,911	2,574	993	26,292

利益剰余金への振替

配当金¹⁾

ハンデルスバンケンplcの
従業員に対する株式
報酬²⁾

従業員に対する株式報酬
のヘッジ²⁾

非支配株主持分の変動

2024年期末資本	46,188	131,808	184,679	4,635	5,553	6,953	78,997

2024年

百万円	当期利益を含 む利益剰余金	非支配株主 持分	合計
2024年期首資本	2,664,016	120	3,086,529
当期利益	413,138	75	413,213
その他包括利益		-105	36,301
うち、資本の中での分 類変更			-12,251
当期包括利益合計	413,138	-30	449,513
利益剰余金への振替	12,251		12,251
配当金 ¹⁾	-387,387		-387,387
ハンデルスバンケンplcの従業 員に対する株式報酬 ²⁾	813		813
従業員に対する株式報酬の ヘッジ ²⁾	-813		-813
非支配株主持分の変動			
2024年期末資本	2,702,002	90	3,160,906

持分変動計算書（当行グループ）（続き）

2023年

その他準備金

百万円	株式資本	資本剰余金	確定給付 年金制度	キャッシュ フロー・ ヘッジ	その他包括 利益を通じ て公正価値 で測定	保険契約	国外事業の 為替換算 調整
2023年期首資本	46,188	131,808	206,772	-4,620	1,896	11,935	65,197
当期利益							
その他包括利益			-26,729	7,344	1,069	-5,960	-12,507
うち、資本の中での分 類変更			737				-4,274
当期包括利益合計			-26,729	7,344	1,069	-5,960	-12,507
利益剰余金への振替							
配当金 ¹⁾							
ハンデルスバンケンplcの 従業員に対する株式 報酬 ²⁾							
従業員に対する株式報酬 のヘッジ ²⁾							
非支配株主持分の変動							
2023年期末資本	46,188	131,808	180,043	2,724	2,965	5,960	52,705

2023年

百万円	当期利益を含 む利益剰余金	非支配株主 持分	合計
2023年期首資本	2,460,826	45	2,920,061
当期利益	438,060	120	438,166
その他包括利益		-45	-36,827
うち、資本の中での分類 変更			-3,537
当期包括利益合計	438,060	75	401,338
利益剰余金への振替	3,537		3,537
配当金 ¹⁾	-238,392		-238,392
ハンデルスバンケンplcの従業 員に対する株式報酬 ²⁾	1,189		1,189
従業員に対する株式報酬の ヘッジ ²⁾	-1,189		-1,189
非支配株主持分の変動			
2023年期末資本	2,664,016	120	3,086,529

1) 2024年に支払われた2023年度に係る配当金は、1株当たり13スウェーデン・クローネとなった。2023年に支払われた2022年度に係る配当金は、1株当たり8スウェーデン・クローネとなった。

2) 2020年度以降、ハンデルスバンケン・ピーエルシーの全従業員は株式報酬プログラム（以下、「SIP」という。）の対象となっている。

キャッシュ・フロー計算書（当行グループ）

	2024年		2023年	
	(百万スウェーデン・クローネ)	(百万円)	(百万スウェーデン・クローネ)	(百万円)
営業活動				
営業利益	35,016	526,991	36,322	546,646
非継続事業からの税引前利益	307	4,620	1,394	20,980
うち、受取利息	178,825	2,691,316	162,813	2,450,336
うち、支払利息	-127,203	-1,914,405	-112,316	-1,690,356
うち、受取配当金	191	2,875	47	707
営業活動から投資活動への調整	1,767	26,593		
うち、事業及び子会社の売却	1,767	26,593		
営業利益及び非継続事業からの当期利益に含まれる非現金項目の調整				
信用損失	-576	-8,669	254	3,823
未実現評価差額	-89	-1,339	-1,095	-16,480
償却費及び減損	2,435	36,647	1,748	26,307
法人税の支払	-8,519	-128,211	-7,681	-115,599
営業活動による資産及び負債の変動				
中央銀行へのその他の貸出金	19,598	294,950	475	7,149
その他金融機関への貸出金	374	5,629	-9,882	-148,724
一般顧客への貸出金	25,303	380,810	27,892	419,775
利付証券及び株式	26,332	396,297	-80,826	-1,216,431
金融機関からの預り金	-6,596	-99,270	8,752	131,718
一般顧客からの預金及び借入金	-14,402	-216,750	-26,249	-395,047
発行済証券	26,545	399,502	48,680	732,634
デリバティブ商品の正味ポジション	-35,153	-529,053	11,559	173,963
ショートポジション	-1,260	-18,963	209	3,145
投資銀行業務の決済における債権及び債務	-2,027	-30,506	7,396	111,310
その他	-24,526	-369,116	4,178	62,879
営業活動からのキャッシュ・フロー	44,529	670,161	23,125	348,031
投資活動				
事業及び子会社の売却	17,147	258,062		
関連会社及びジョイント・ベンチャーに係る取得及び抛却	-175	-2,634	-53	-798
株式の売却	6	90		
不動産及び器具備品の取得	-949	-14,282	-832	-12,522
不動産及び器具備品の処分	398	5,990	326	4,906
無形資産の取得	-678	-10,204	-957	-14,403
投資活動からのキャッシュ・フロー	15,748	237,007	-1,517	-22,831
財務活動				
劣後負債の返済	-13,371	-201,234	-8,351	-125,683
劣後負債の発行	5,704	85,845	8,635	129,957
配当金の支払	-25,740	-387,387	-15,840	-238,392
財務活動からのキャッシュ・フロー	-33,407	-502,775	-15,556	-234,118
当期キャッシュ・フロー	26,870	404,394	6,052	91,083

期首現金及び現金同等物	476,181	7,166,524	475,882	7,162,024
営業活動からのキャッシュ・フロー	44,529	670,161	23,125	348,031
投資活動からのキャッシュ・フロー	15,748	237,007	-1,517	-22,831
財務活動からのキャッシュ・フロー	-33,407	-502,775	-15,556	-234,118
現金及び現金同等物の為替換算差額	26,957	405,703	-5,753	-86,583
期末現金及び現金同等物	530,009	7,976,635	476,181	7,166,524

キャッシュ・フロー計算書は間接法で作成されており、減価償却費/償却費や信用損失等、現金の受払いを伴わない取引について非継続事業からの営業利益及び当期利益が調整されていることを意味している。

上記のキャッシュ・フロー計算書にはフィンランドの非継続事業が含まれている（注記G14を参照のこと。）。

金融取引における負債の変動

	2024年		2023年	
	(百万スウェーデン・クローネ)	(百万円)	(百万スウェーデン・クローネ)	(百万円)
期首残高	43,117	648,911	42,404	638,180
キャッシュ・フロー	-7,667	-115,388	284	4,274
現金以外の変動（外国為替変動）	1,908	28,715	-770	-11,589
現金以外の変動（外国為替ヘッジ）	-16	-241	1,153	17,353
現金以外の変動（未払利息）	-287	-4,319	46	692
金融取引における負債の変動	37,054	557,663	43,117	648,911

事業及び子会社の売却

	2024年	
	(百万スウェーデン・クローネ)	(百万円)
売却価格		
売却価格総額	18,843	283,587
取得者の債権	-1,696	-25,525
受領額	17,147	258,062
売却した資産及び負債		
一般顧客への貸出金	34,119	513,491
その他資産	6	90
資産合計	34,124	513,566
一般顧客からの預金及び借入金	15,170	228,309
その他負債	40	602
負債合計	15,210	228,911
営業活動からのキャッシュ・フロー	-1,766	-26,578

売却代金は全額現金及び現金同等物で受領している。

[次へ](#)

連結財務書類注記（原文のページ番号）

注記G1	重要性がある会計方針	69
注記G2	リスク及び資本管理	80
注記G3	純利息収益	123
注記G4	純手数料及びコミッション収益	123
注記G5	金融取引による純損益	125
注記G6	保険事業による純損益	125
注記G7	その他収益	125
注記G8	人件費	126
注記G9	その他費用	132
注記G10	信用損失	132
注記G11	不動産及び器具備品並びに無形資産の処分損益	139
注記G12	規制関連費用	139
注記G13	一株当たり利益	139
注記G14	売却目的で保有する資産及び負債並びに非継続事業	140
注記G15	中央銀行へのその他貸出金	142
注記G16	その他金融機関への貸出金	143
注記G17	一般顧客への貸出金	143
注記G18	利付証券	144
注記G19	株式	144
注記G20	関連会社及びジョイント・ベンチャーに対する投資	145
注記G21	顧客が価値変動リスクを負う資産	145
注記G22	デリバティブ商品	146
注記G23	ヘッジ会計	147
注記G24	金融商品の相殺	152
注記G25	無形資産	153
注記G26	不動産及び器具備品	155
注記G27	その他資産	156
注記G28	前払費用及び未収収益	156
注記G29	金融機関からの預り金	156
注記G30	一般顧客からの預金及び借入金	157
注記G31	顧客が価値変動リスクを負う負債	157
注記G32	発行済証券	158
注記G33	ショートポジション	158

注記G34 保険負債	159
注記G35 税金	164
注記G36 引当金	166
注記G37 その他負債	166
注記G38 未払費用及び繰延収益	167
注記G39 劣後負債	167
注記G40 持分変動の内訳	168
注記G41 金融資産及び負債の分類	169
注記G42 金融商品の公正価値測定	171
注記G43 担保として差し入れた資産、受け入れた担保及び譲渡金融資産	174
注記G44 偶発債務	175
注記G45 リース	176
注記G46 セグメント報告	177
注記G47 地域別情報	179
注記G48 通貨別資産及び負債	180
注記G49 非連結の組成された事業体における持分	181
注記G50 関連当事者に関する開示	182
注記G51 重要な後発事象	182
注記G52 自己資本比率	183

注記G1 重要性がある会計方針**目次**

1. 準拠表明
2. 会計方針の変更
3. 未適用のIFRSの変更
4. 金融商品
5. 金融資産及び金融負債の公正価値測定の原則
6. 信用損失
7. ヘッジ会計
8. 保険事業
9. 売却目的で保有する資産及び非継続事業の会計処理
10. 資本
11. 収益
12. 従業員給付
13. 重要性がある評価及び見積り

1. 準拠表明**会計の基礎**

連結財務諸表は、EUにより採択された国際財務報告基準（以下、「IFRS」という。）及び同基準の解釈に準拠して作成されている。さらに、会計方針は、信用機関及び証券会社に係る年次報告法（1995年第1559号）、スウェーデン金融監督庁が制定した規定並びに信用機関及び証券会社における年次報告に関する一般指針（FFFS 2008年第25号）にも準拠している。企業グループの報告を規定するRFR第1号補足会計規則及びスウェーデンのサステナビリティ及び財務報告審議会による意見書も連結財務諸表に適用されている。表示通貨はスウェーデン・クローネ(SEK)であり、別途記載がある場合を除き、すべての数値は百万スウェーデン・クローネ単位に四捨五入されている。

親会社の会計方針は注記P1に示されている。

年次報告書の発行及び採択並びに会社情報

2024年1月1日から2024年12月31日までの期間のスウェンスカ・ハンデルスバンケン・アクチエボラッグの年次報告書及び連結財務諸表は、2025年2月20日に取締役会及び最高経営責任者により発行が承認され、2025年3月26日の年次株主総会（AGM）で提示され採択される予定である。

親会社であるハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクトの事務所所在地は、スウェーデン王国 SE-106 70ストックホルム クングストラッドゴードシュガータン 2である。ハンデルスバンケンは、スウェーデン、英国、ノルウェー及びオランダを拠点市場とし、金融サービス及び金融商品を提供している金融機関である。業務については業務報告書に詳述している。

2. 会計方針の変更

2024年1月1日から適用される会計規則の変更は、適用される運用規則に従い、ハンデルスバンケンの財務諸表、自己資本比率、大口エクスポージャー又はその他の状況のいずれにも影響はない。また、当年度に当グループが適用した会計方針及び計算方法は、2023年度の年次報告書及びサステナビリティ・レポートで適用されたものと一致している。

3. 未適用のIFRSの変更

IFRS第18号「財務諸表における表示及び開示」

IASBは2024年4月に、IAS第1号「財務諸表の表示」に代えて、IFRS第18号「財務諸表の表示及び開示」を新たな基準として公表した。EUがIFRS第18号を支持し、IASBにより提案された発効日が変更されない場合、本基準は2027年度から適用される。IFRS第18号は財務諸表における情報の表示と開示について新たな要件を導入しており、特に損益計算書の構成や経営者業績指標の開示に焦点を当てている。IFRS第18号は、新たな評価原則は必要としておらず、財務諸表における表示及び開示に焦点を当てているため、当該基準がハンデルスバンケンに財務上の影響を及ぼすとはみなされていない。当行は新基準による影響について分析を開始した。

「金融商品の分類及び測定の修正」(IFRS第9号及びIFRS第7号の改訂)

IASBは2024年5月に、IFRS第9号及びIFRS第7号における金融商品の分類及び測定に関する改訂を公表した。EUがIFRS本改訂を支持し、IASBにより提案された発効日が変更されない場合、当該基準への本改訂は2026年度から適用される。IFRS第9号への本改訂は、主に偶発的特性を含む金融資産の契約上のキャッシュ・フローが、元本及び利息の支払いのみから構成されているかに係る要件(SPPI要件)を満たすか否かの評価を明確化するものである。また本改訂は主に、ESG連動要素を持つローンについてSPPI要件を満たすか否かを評価するためのガイダンスを提供するものである。キャッシュ・フローの変動の前後において、SPPI要件を満たす契約上のキャッシュ・フローが生じる場合もあるが、偶発的事象の特性は、基本的な融資のリスク及びコストの変化に直接関連するものではない。一例として、借手の炭素排出削減量に基づき、契約条件に応じた金利を調整するESG連動要素を持つローンが挙げられる。そのような場合には、すべての潜在的シナリオにおける契約上のキャッシュ・フローが、契約上のキャッシュ・フローが同一であっても偶発的事象が存在しない金融資産と著しく異なる場合にのみ、SPPI要件が満たされる。さらに、契約上のキャッシュ・フローが、例えば株価指数や商品指数に連動するなど、基本的な融資のリスクやコストを構成しない変数に基づく場合や、当該条件が市場で一般的な場合であっても、借手の収益または利益に対する割合を表す場合には、SPPI要件を満たさないことを明確化している。

IFRS第7号の改訂には、基本的な融資のリスク及びコストの変動に直接関連しない偶発的事象の発生(又は非発生)に応じて契約上のキャッシュ・フローの金額を変更する可能性のある契約条件の影響について、定性的及び定量的な開示を行うことが含まれている。開示要件には、償却原価で測定する金融資産、その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産及び償却原価で測定する金融負債が含まれている。

さらに、IFRS第9号の改訂により、財政状態計算書における金融資産及び金融負債の当初認識又は金融資産及び金融負債の認識の中止日が明確化されている。また本改訂には、電子送金システムを通じて決済された金融負債について、当該債務が消滅する前、すなわち契約上の債務が履行される、取り消される又は失効する前に、財政状態計算書から認識を中止することができるという例外措置の選択も含まれている。ただし、規則に定められた一定の基準が満たされていることを条件としている。

当行はIFRS第9号及びIFRS第7号の改訂による影響の分析を開始した。現時点において当該改訂は、適用される運用規則に従い、ハンデルスバンケンの財務諸表、自己資本比率、大口エクスポージャー又はその他の状況のいずれにも重大な影響を及ぼすことはないと評価している。

会計規則に関するその他の将来の変更

適用される会計規則に関するその他の将来の変更は、適用される運用規則に従い、ハンデルスバンケンの財務諸表、自己資本比率、大口エクスポージャー及びその他の状況のいずれにも重大な影響を及ぼすとはみなされていない。

4. 金融商品

(IFRS第9号「金融商品」及びIAS第32号「金融商品：表示」)

認識及び認識中止

資本性金融商品並びに短期金融市場商品及び資本市場商品のスポット市場での取得及び売却は、取引日に認識される。同様のことがデリバティブにも適用される。その他の金融資産及び金融負債は通常、決済日に認識される。

金融資産は、その資産からのキャッシュ・フローに対する契約上の権利が失効する、又はその資産に関するすべてのリスク及び経済的便益が他の当事者に移転した際に貸借対照表から認識中止される。金融負債は、義務が履行される、終了する、又は取消された際に貸借対照表から認識中止される。

測定区分

金融資産は以下のいずれかの測定区分に分類される。

1. 償却原価
2. その他包括利益を通じて公正価値で測定
3. 純損益を通じて公正価値で測定
 - a. 強制
 - b. 公正価値オプション

金融資産を個々の測定区分に分類するにあたっては、当該資産の管理に関する企業の事業モデル及び当該資産の契約条件から始める。

金融負債は以下のいずれかの測定区分に分類される。

1. 償却原価
2. 純損益を通じて公正価値で測定
 - a. 強制
 - b. 公正価値オプション

原則として、金融負債は償却原価で計上される。例外は、デリバティブなどの、純損益を通じて公正価値で測定することが求められている金融負債、及び当初認識時に公正価値で測定するものとして取消不能で特定されている負債（公正価値オプション）である。

貸借対照表の同一科目で認識される金融資産及び負債は、異なる測定区分に分類されることがある。これについては注記G41を参照のこと。

当初認識時には、すべての金融資産及び金融負債が公正価値で認識される。純損益を通じて公正価値で測定される金融商品の取引費用は、取得日に損益計算書に認識される。その他の金融商品については、取引費用は取得原価に含まれる。

金融資産の事業モデルの評価

金融資産の管理に関する事業モデルの評価により、測定区分の分類が決められる。事業モデルを決定するにあたり、ハンデルスバンケンは当行の経営者による管理、報告、評価の方法に基づいて金融資産をポートフォ

リオに分類している。各ポートフォリオの事業モデルを決定する際には、確立した指針やポートフォリオの目的、それらの実務への適用方法、ポートフォリオのパフォーマンスに影響を及ぼすリスク、リスクの管理手法に加え、ポートフォリオの金融資産の売却に関する頻度、規模、理由及び時期などの要因を考慮している。

金融資産の契約条件の評価

契約上のキャッシュ・フローが元本及び利息の支払のみから構成されており、基本的な融資の取決めに整合しているかについての評価は、測定区分の分類にあたって重要である。この評価における「元本」とは、当初認識時の金融資産の公正価値であると定義される。「利息」とは貨幣の時間価値、信用リスク、その他の基本的な貸出リスク（流動性リスク等）、費用（管理費用等）、利益に対する対価であると定義される。金融資産に、契約上のキャッシュ・フローの時期や金額を変更し、貨幣の時間価値を修正し、レバレッジを発生させ、又は期限前償還及び期限延長の追加費用を発生させ得る契約上の条件が存在する場合、当該キャッシュ・フローは元本及び利息の支払のみではないものと評価される。

当行では法人顧客に対し、借手のサステナビリティ目標の達成度に応じて金利を調整することにより、借手が設定したサステナビリティ目標達成へのインセンティブとなるESG連動要素を持つローンを提供しており、契約書に定められた、借手によるサステナビリティ目標の達成度に基づく割合(主に1.5～5.0ベシス・ポイント)で金利の調整が行われる点が、ESG連動要素を持たないローンとは異なっている。サステナビリティに関する目標は、借入先ごとに設定されている。当行では、ESG連動要素を持つローンの評価を行っており、これらのローンの契約上のキャッシュ・フローは元本及び金利の支払のみで構成されているとみなされている。契約上のキャッシュ・フローは基本的な融資の取決めと整合していると考えられ、ESG連動要素を持つローンは償却原価で測定されている。

償却原価

以下の両方の条件を満たす場合、金融資産は償却原価で測定される。

- ・ 事業モデルの目的が契約上のキャッシュ・フローを回収することである
- ・ 契約上のキャッシュ・フローが元本及び利息の支払のみである

この区分で認識される金融資産は、貸出金及び利付証券から構成される。これらの資産は減損テストの対象となる。この測定区分で認識される金融負債は、主に金融機関からの預り金、一般顧客からの預金並びに借入金、及び既発行証券などの負債である。

償却原価は、その商品に関する将来のキャッシュ・フロー全額を取得時における実効金利で割引いた現在価値である。利息及び信用減損は、損益計算書の「純利息収益」及び「信用損失」の項目にそれぞれ計上される。期限前償還される貸出金の早期償還手数料、当行が発行した証券の買戻しによって生じたキャピタルゲイン/ロス及び外貨換算影響額は、損益計算書の「金融取引による純損益」に計上される。

その他包括利益を通じて公正価値で測定

次に示すいずれの条件も満たす場合、金融資産はその他包括利益を通じて公正価値で測定される。

- ・ 事業モデルの目的が契約上のキャッシュ・フローの回収と資産の売却の両方である。
- ・ 契約上のキャッシュ・フローが元本及び利息の支払のみである。

上記の条件を満たす当行の流動性ポートフォリオにおける利付証券は、この測定区分に認識される。これらの資産は減損テストの対象となる。利息収益は「純利息収益」に計上される。外貨換算影響額及び信用損失は

「金融取引による純損益」に計上される。未実現価値変動はその他包括利益で認識され、売却に伴い損益計算書の「金融取引による純損益」の項目に振り替えられる。

トレーディング目的保有ではない資本性金融商品は、当初認識時にその他包括利益を通じて公正価値で測定されるものへ、取消不能の分類を行うことも可能である。この評価原則は、当行に対する支援業務を行う企業の特定の株式保有に適用される。例えば、これらは清算機関に対する参加持分の場合もあれば、当行の国内市場におけるインフラ関連の協業に対する参加持分の場合もある。当初認識時後に発生する為替差損益等を含む実現及び未実現価値変動は、その他包括利益に計上される。実現価値変動は損益計算書ではなく、資本内で利益剰余金に振り替えられる。これらの保有から生じる配当収益のみが損益計算書に計上される。

純損益を通じて公正価値で測定（強制）

金融資産が償却原価で測定する条件もその他包括利益を通じて公正価値で測定される条件も満たしていない場合、強制的に純損益を通じて公正価値で測定される。

トレーディング目的保有の金融資産及び金融負債は、公正価値で管理され評価される金融資産と同様に、常に純損益を通じて公正価値で測定するものに区分される。

この測定区分は、主に上場株式、ミューチュアル・ファンド・ユニット、利付証券及びデリバティブで構成される。利息、配当、外貨換算影響額、並びに実現及び未実現評価差額は、「金融取引による純損益」に計上される。ヘッジ会計を通じたデリバティブの認識については、セクション7を参照のこと。

純損益を通じて公正価値で測定、公正価値オプション

指定を行わない場合に資産の測定から生じる測定又は認識の不整合（以下、「会計上のミスマッチ」という。）を解消又は大幅に低減する場合には、当初認識時に、金融資産を純損益を通じて公正価値で測定するものとして取消不能の指定をすることができる。

同様に、以下のいずれかの条件を満たす場合に、当初認識時に、金融負債を純損益を通じて公正価値で測定するものとして取消不能の指定をすることができる。

- ・ 指定を行わない場合に負債の測定から生じる測定又は認識の不整合（会計上のミスマッチ）を除去又は大幅に低減する場合
- ・ 金融負債のグループ又は金融資産と金融負債のグループが、文書化されたリスク管理戦略又は投資戦略に従って、公正価値ベースで管理され業績評価されており、当該商品に関する情報が、当行経営者に対して社内的に同じベースで提供されている場合

この評価原則は、経済的ヘッジによりヘッジされるユニットリンク保険契約による負債や流動性ポートフォリオの一部持分等の、互いに反対ポジションとなりポートフォリオベースで管理される資産と負債を測定する際の不整合を回避するために適用されている。

未実現及び実現価値変動は、「金融取引による純損益」に計上される。利息は「純利息収益」に計上される。

金融商品の分類変更

原則として、金融資産が当初認識後に分類変更されることはない。分類変更は、当行が金融資産のポートフォリオを管理するための事業モデルを変更する稀な場合に認められる。当初認識後の金融負債の分類変更は認められない。

金融保証及び貸出コミットメント

発行された金融保証は、信用保証等、契約条件に従った所定の支払を債務者が行わなかった場合に、負債性金融商品（貸出金又は利付証券）の保有者に生じた損失を払い戻す義務である。保証の公正価値は、発行時に受領したプレミアムと同額である。当初認識時に、この保証に対して受領したプレミアムは貸借対照表の「未払費用及び繰延収益」の項目に負債として計上される。その後この保証は、償却後プレミアム又は予想損失引当金のいずれか高い方で測定される。発行された金融保証に関するプレミアムは保証の有効期間にわたり、「純手数料及びコミッション収益」の項目で償却される。さらに、発行した保証に関連する保証金額の合計は、偶発債務としてオフバランス処理される（詳細については注記G44を参照のこと）。

貸出コミットメントはその貸出の実行までオフバランス項目として計上される（詳細については注記G44を参照のこと）。貸出コミットメントに対して受領した手数料は、そのコミットメントの期間にわたり純手数料及びコミッション収益として計上される。但し、そのコミットメントが実行される可能性が高い場合、受領した手数料はその貸出金の実効金利に含められる。金融保証及び取消不能の貸出コミットメントは減損テストの対象となる。

複合金融商品

複合金融商品は、デリバティブの構成要素である組込デリバティブとデリバティブでない主契約から構成されている。

複合金融商品の主契約が金融負債である場合、組込デリバティブは、以下すべての条件に該当するときに、主契約から分離しデリバティブとして計上しなければならない。

- ・ 組込デリバティブの経済的特徴及びリスクが、主契約の経済的特徴及びリスクに密接に関連していないこと
 - ・ 組込デリバティブと同一条件の独立の金融商品ならば、デリバティブの定義に該当すること
 - ・ 複合金融商品が純損益を通じて公正価値で測定されるものではないこと
- そのため、純損益を通じて公正価値で測定される金融負債に組み込まれているデリバティブは個別に認識されない。

主契約から分離する会計処理は、エクイティ・リンク債及びその他の仕組商品の発行の際等に組込デリバティブに適用される。

金融資産の組込デリバティブは個別に認識されない。契約上のキャッシュ・フローが元本と利息の支払のみであるかどうかを判定する際には、組込デリバティブを含む金融資産が全体とみなされる。

発行済み転換可能負債性金融商品の転換オプション部分に固有の価値は、区分して資本に計上される。資本部分の価値は、転換可能負債性金融商品全体の公正価値から負債部分の公正価値を差し引いたものとして発行時に決定される。資本部分の帳簿価額は、転換可能負債性金融商品の満期までの間に修正されることはない。負債部分は発行時に貸借対照表上公正価値で測定され、当初認識後、当初の実効金利による償却原価で計上される。

買戻取引

買戻契約又はレポ取引は、当事者が特定の証券を売却すること及びその証券を事前に決められた価格で買い戻すことを同時に合意する契約である。当行グループが契約期間中、当該証券の評価額の変動リスクにさらされていることから、レポ取引（買戻契約）で売却された証券は、取引期間にわたり貸借対照表に計上される。また、売却された金融商品は、オフバランスシート項目の担保資産として計上されている（注記G43を参照のこと）。受領した代金は、取引相手によって「金融機関からの預り金」又は「一般顧客からの預金及び借入金」と

して計上される。レポ取引で買入れた証券（売戻契約）は、これと対称的な方法で会計処理される。すなわち、これらは当該取引の契約期間にわたり貸借対照表に計上されない。支払った代金は、取引相手によって「中央銀行へのその他の貸出金」、「その他の金融機関への貸出金」又は「一般顧客への貸出金」として計上される。買戻契約に基づき売却された受入担保は、オフバランスシート項目のコミットメントとして計上される(注記G44を参照のこと)。

証券貸付

当行グループが引き続き証券の評価額の変動リスクにさらされているため、貸付証券は引き続き貸借対照表に計上され、同時にオフバランスシート項目の担保資産として計上される(注記G43を参照のこと)。借入証券は、売却される場合（空売りという）を除き、貸借対照表に計上されない。売却された場合、売却された商品の公正価値に相当する価値が負債に計上される。第三者に貸与されている借入証券は、オフバランスシート項目のコミットメントとして計上されている(注記G44を参照のこと)。

デリバティブ商品

デリバティブはすべて貸借対照表に公正価値で測定される。プラスの公正価値を有するデリバティブは、デリバティブ商品として資産計上される。マイナスの公正価値を有するデリバティブは、デリバティブ商品として負債計上される。デリバティブに係る実現及び未実現損益は、「金融取引による純損益」として損益計算書に計上される。ヘッジ会計によるデリバティブの認識についてはセクション7を参照のこと。

金融資産と金融負債の相殺

金融資産と金融負債は、当行が、営業活動や破産の状況下において、相殺できる契約上の権利を有しており、純額で決済を行うか、同時に資産を処分し負債を決済する意図がある場合に、貸借対照表上で相殺され純額で計上される。金融資産と金融負債の相殺に関する詳細については注記G24を参照のこと。

5. 金融資産及び金融負債の公正価値測定の原則

(IFRS第13号「公正価値測定」)

公正価値とは、独立の市場参加者間の秩序ある取引において、資産を売却することで受け取るであろう価格又は負債を移転することで支払うであろう価格と定義される。

活発な市場で取引されている金融商品の公正価値は、市場相場価格と同一である。活発な市場とは、相場価格を規制市場、決済機関、信頼性のある情報サービス又は同等のものから容易にかつ定期的に入手可能であり、価格情報が継続的な取引の発生により検証可能な市場である。最新の市場価格は、買呼値と売呼値の範囲内で、その状況において公正価値を最もよく表す価格である。当行がその市場リスクを正味エクスポージャーに基づき管理している金融商品グループの最新の市場価格は、その正味エクスポージャーが処分される場合に受け取るであろう価格又は支払うであろう価格と同一であると仮定されている。

金融商品の市場価格に関して信頼できる情報がない場合には、公正価値は評価モデルを使用して算定されている。使用する評価モデルは、基本的に市場金利や株価等の市場において観察可能な変数を用いて検証可能なインプット・データを基礎としている。必要な場合には、市場関係者が価格設定の際に考慮に入れることが見込まれるその他の変数の調整も行われている。評価に使用される仮定は、市場慣行に基づいており、継続的にリスク管理部門によって見直され、カウンターパーティによる評価と比較される。

利付証券

政府が発行する利付証券及びスウェーデンの抵当証券は最新の市場価格を使用して評価される。社債の評価には評価技法を使用し、同じ満期の市場利回りを信用リスク及び流動性リスクで調整したものに基づいて評価される。評価は最新の市場価格が反映されていることを確認するために定期的に検証される。検証は主に、複数の独立した価格提供機関から価格を入手し、同一又は類似商品における最近の取引との調整により実施される。

株式

活発な市場に上場している株式は市場価格で評価される。非上場株式や参加持分を評価する際には、その個々の商品に適切とみなされるモデルを選択する。非上場株式の保有は、主に当行への支援業務を行う企業の株式である。非上場株式はすべての重要な点からみて、その他包括利益を通じて公正価値で測定されるものとして分類される。このようなポートフォリオは、一般的にその事業の純資産価値に対する当行の持分によって評価されている。契約により株式の売却価格が定められている非上場株式については、事前に決定された売却価格で評価される。

デリバティブ

活発な市場で取引されているデリバティブは、市場価格で評価される。当行グループの金利スワップや多くの種類の定型的な通貨デリバティブを含むデリバティブ契約の大部分は、市場金利及びその他の市場価格を基礎とする評価モデルを使用して評価される。活発に取引されていない非定型的なデリバティブ契約の評価もまた、ボラティリティ等の市場に基づくインプット・データに関する合理的な仮定を基礎としている。

デリバティブをモデルで評価する際には、場合によっては取引価格と当初認識時に評価モデルで測定した価値との間に差額が存在することもある。両者の差額は使用した評価モデルにおいて、デリバティブの価値に影響する要素のすべてが完全に織り込まれていない場合に発生する。取引価格と評価モデルによって測定された価値との正の差額（取引日利得/損失）は、当行の利益率と、例えば資本コストや管理費を補填する報酬により構成される。取引日のプラスの未実現利益は、当初認識時には損益に認識されず、デリバティブの契約期間にわたって償却される。

顧客が価値変動リスクを負う資産及び負債

顧客が価値変動リスクを負う資産は、主にユニットリンク保険契約のミューチュアル・ファンド・ユニットである。これらのミューチュアル・ファンド・ユニットはファンドの最新の市場価値（NAV）を使用して評価される。各資産は顧客が価値変動リスクを負う負債に対応している。これら負債の評価は資産の評価を反映している。保険契約者/ユニットの保有者は資産に対する優先権を有しているため、その評価について信用リスク調整を行う必要はない。顧客が価値変動リスクを負う資産及び負債は基本的に、純損益を通じて公正価値で測定されるものに分類されている。

6. 信用損失

(IFRS第9号「金融商品」)

予想信用損失

IFRS第9号で規定される減損規則は、償却原価で測定される金融資産、その他包括利益を通じて公正価値で測定される金融資産、並びに金融保証及び取消不能の貸出コミットメントに適用され、予想信用損失の認識モデルに基づいている。このモデルは、引当金が、報告日において過大なコストや労力を掛けずに利用可能な合理的で裏付け可能な情報を考慮し、一定範囲の生じ得る結果を評価することにより算定される、偏りのない確率

加重金額を反映したものでなければならないと規定している。この評価は、過去、現在及び将来の要因を考慮したものである。

減損テストが行われる資産は、信用の毀損程度によって3つのステージに区分される。

- ・ ステージ1には、信用リスクが当初認識後著しく増大していない金融資産が含まれる。
- ・ ステージ2には、信用リスクが当初認識後著しく増大している資産であるが、報告時点で当該債権が信用減損しているという客観的な証拠がない金融資産が含まれる。
- ・ ステージ3には、当該債権が信用減損していることを示す客観的な状況が識別された金融資産が含まれる。

ステージ1では、デフォルトの結果12カ月以内に発生すると予想される損失に対応した引当金が認識される。ステージ2及び3では、デフォルトの結果、当該資産の残存期間全体のある時点で発生すると予想される損失に対応した引当金が認識される。

ステージ1及びステージ2の債権には、モデルベースの算定法を用いた、当行グループ全体の集中管理型のプロセスが実施される。このプロセスでは、すべての債権について、当初認識時（契約開始日）から信用リスクが著しく増大したか否かの評価が最初に行われる。信用リスクの著しい増大の内容の詳細については注記G2の「信用リスク」のセクションを参照のこと。各減損ステージの引当金は個別に算定される。ステージ3でモデル算定による引当金を積んだ同種の債権からなる少額のポートフォリオ以外のステージ3債権には、マニュアルの算定が行われる。各報告日ごとに、モデルベースの算定対象になるか、又はマニュアルの算定対象になるかについて、債権ごとに評価が行われる。

予想信用損失の算定は、主にリスク・パラメーターであるデフォルト確率（以下、「PD」という。）、デフォルト時エクスポージャー（以下、「EAD」という。）及びデフォルト時損失率（以下、「LGD」という。）の影響を受ける。予想信用損失は、債権の予想最終返済日までのPD、EAD及びLGDを算定することにより決定される。この3つのリスク・パラメーターは、残存確率又は信用エクスポージャーがデフォルトしていない、もしくは期限前返済されている確率を乗じて調整される。次に、予想信用損失推計額は、当初の実効金利を用いて報告日までの期間を割引され、合計して算定される。ステージ1の信用損失合計は、今後12カ月のデフォルト確率を用いて算定される。ステージ2とステージ3の信用損失は、資産の満期までの残存期間のデフォルト確率を用いて算定される。

モデルベースの算定

予想信用損失の算定には、各国別の失業率、主要行又は中央銀行の金利、国内総生産（GDP）、インフレ率、不動産価格といった関連するマクロ経済上のリスク要因を勘案した、少なくとも3つのマクロ経済シナリオ（基本（中心）シナリオ、上昇シナリオ、下降シナリオ）を用いている。さまざまなシナリオがリスク・パラメーターの調整に用いられる。すべてのマクロ経済シナリオに確率が当てはめられ、各シナリオの予想信用損失の確率加重平均として予想信用損失が算定される。

ステージ1、ステージ2債権の予想信用損失の算定に用いるモデルに関する追加情報のほか、PD、EAD、LGD、予想満期、信用リスクの著しい増大及びマクロ経済情報に関する概念の説明については注記G2の「信用リスク」セクションを参照のこと。予想信用損失の感応度分析については注記G10を参照のこと。

マニュアルの算定

ステージ3資産に対しては、個別にマニュアルの算定を用いた減損テストが行われる。この減損テストは、業務責任を有する各地の支店（顧客及び与信の所管部署）により定期的の実施されるほか、各報告日にも実施され、各地域及び本部の与信部門により判定される。

減損テストはデフォルトの定義に従い、カウンターパーティが契約上の義務を履行できなくなる可能性を示す客観的な状況が存在する際に実施される。このような客観的な状況には、支払遅延、不払又は支払いの可能性が低いことを示す兆候等がある。

減損テストは将来キャッシュ・フロー及び担保価値（保証を含む）の見積りを伴う。カウンターパーティの返済能力と担保価値の双方に基づき、通常、最低でも二つの予想キャッシュ・フローの将来予測的なシナリオを考慮する。これらのシナリオの結果は確率加重され、貸出の当初の実効金利で割り引かれる。個々のカウンターパーティの返済能力及び担保価値に影響を及ぼすとみられる内容により、用いられるシナリオではマクロ経済上の要因及び債権特有の要因を考慮する可能性がある。この評価では個々のカウンターパーティの特性を考慮に入れている。見積回収可能価額が帳簿価額を下回る場合に減損損失が認識される。

エキスパートベースの算定

モデルで考慮されなかったと考えられる要因の影響（ステージ1とステージ2債権の場合）又はマニュアルの算定で考慮されていない要因の影響（ステージ3債権の場合）を織り込むために、エキスパートベースの算定が信用損失に対して行われる。モデルベースの算定は、引当必要額全体に対する個別の要因の影響をできるだけ正確に見積もるという意向に基づくものである。しかし、個々の債権に係るすべての特性を一般的なモデルに織り込むことは極めて難しい。この理由から、全体の引当必要額への影響が大きい債権について、マニュアルによる分析が行われる。このマニュアルによる分析は、モデルベース又はマニュアルの算定をエキスパートベースの算定に置き換える必要があるか評価する際に、個々の与信に関するエキスパートの知識を生かすことを意図している。エキスパートベースの算定により、引当必要額が当初の算定を上回るか下回るかを判定する。

また、サブ・ポートフォリオ又は類似のポートフォリオに対するモデルベースの算定を調整するため、エキスパートベースの算定がより集約したレベルで実施される場合もある。これらの調整は関連債権に対し、按分して行われる。エキスパートベースの算定により、引当必要額が当初の算定を上回るか下回るかを判定する。

信用損失の認識と表示

- ・ 償却原価で測定される金融資産は、予想信用損失控除後の純額で貸借対照表に計上される。
- ・ オフバランスシート項目（金融保証及び取消不能の貸出コミットメント）は額面金額で認識される。これらの金融商品に対する予想信用損失引当金は貸借対照表上、引当金として計上される。
- ・ その他包括利益を通じて公正価値で測定される金融資産は、貸借対照表上公正価値で測定される。これらの金融商品に対する予想信用損失引当金は資本の公正価値評価差額準備金で認識されるため、当該商品の帳簿価額は減額されない。
- ・ 償却原価で測定される金融資産及びオフバランスシート項目に関する当期の信用損失（予想及び実績）は、損益計算書の「信用損失」の項目に計上される。「信用損失」の項目は前期の予想信用損失引当金戻入額控除後の当期の予想信用損失引当金繰入額、並びに当期の償却額及び回収額で構成されている。
- ・ その他包括利益を通じて公正価値で測定される金融資産に関する当期の信用損失（予想及び実績）は、損益計算書の「金融取引による純損益」に計上される。
- ・ 償却額は、実際の信用損失からステージ3（債権）に係る前期の予想信用損失引当金戻入額を控除したもので、金融資産全体又は一部にかかることがある。実質的に返済可能性がなくなった場合に償却が計上される。通常、償却後も借手及び保証人に対する債権は存続し、その後は原則として強制執行の対象と

なる。破産管財人により破産に関連した資産整理に関する最終報告書が提出された場合、債務整理計画が承認された場合又は債権全体が放棄された場合などの特定の状況においては、強制執行は行われない。金融資産のリストラクチャリング（再編）に関してコンセッション（譲歩）が認められた債権は、常に実際の信用損失として計上される。

- ・ 償却された金融資産に関する当行への支払は、「（償却債権）取立益」として収益計上される。

信用損失に関する詳細情報は注記G10に記載されている。

デフォルト又は信用減損した資産

当行のデフォルトの定義は、自己資本規制（CRR）で用いられる定義と同一であり、カウンターパーティが90日間超支払を遅延している、又はカウンターパーティが契約上の支払義務を履行できないという評価を下された、のいずれかである。かかる評価は、借手が返済を行えなくなる可能性のほうが高いとみなされていることを示している。この評価では、借手の返済能力に関するすべての利用可能な情報を根拠としている。不十分な流動性、支払の遅延や取消、不払の記録、又は返済能力の毀損に係る他の兆候などの支払不能の指標を考慮に入れている。他の前兆には、借手の破産、又は借手に対する当行の債権額の減少を伴う大幅なフォーベアランス（条件緩和）措置が認められることなどが考え得る。

デフォルト確率は各報告日前に算定され、ステージ1及びステージ2の金融資産の予想信用損失の算定とともに、当初認識後に信用リスクの著しい増大があったかどうかについての評価に組み込まれる。

信用減損した金融資産はステージ3のエクスポージャーであり、デフォルトしたエクスポージャーと定義されている。これは、会計上の評価が当行グループの信用リスク管理に用いられる評価と一致していることを意味している。

利息

ステージ1及びステージ2債権については、貸借対照表の項目に起因する利息収益の認識は総額ベースによる。これは、利息収益の全額が「純利息収益」として認識されることを意味する。

ステージ3債権について、利息収益は減損を考慮した純額で認識される。予想される支払までの期間が短くなることで割引効果が減少する金利効果により、過去に引き当てられた金額の戻入れが発生するが、このような金利効果は、実効金利法により利息収益に計上される。

債権の保全のために担保権が実行された不動産及び器具備品の評価

担保権が実行された不動産及び器具備品は当初認識時に公正価値で貸借対照表に計上される。担保権が実行された不動産及び器具備品のうち、近い将来に処分が予想されるもの（担保権が実行されたリース資産を含む）は、帳簿価額又は公正価値（売却費用控除後）のいずれか低い方で評価される。債権の保全のために譲り受けた非上場株式は、通常は純損益を通じて公正価値で計上される。

条件変更された金融資産

フォーベアランス（条件緩和措置）又は商業上の再交渉の結果、キャッシュ・フローを決定する条件及び規定が当初の契約から変更されている場合、貸出が条件変更されたとみなされる。フォーベアランス（条件緩和措置）は、リストラクチャリングや他の財務上の救済措置に伴う、貸出条件を変更することをいう。この変更は、財政難にある債務者からの返済の全額保全又は貸出残高の返済を最大化する目的で実施される。商業上の再交渉は、返済又は金利に関する市況の変化に伴う貸出のキャッシュ・フローの変更など、債務者の財政難とは関連のない貸出条件の変更をいう。

償却原価で測定するものに分類された金融資産によるキャッシュ・フローが条件変更されたものの、キャッシュ・フローが著しく変動していない場合、通常は、条件変更により当該金融資産が貸借対照表から認識中止されることはない。この場合、当該金融資産の変更後のキャッシュ・フローを基に帳簿価額総額が再計算され、調整額が損益計算書に計上される。

条件変更の実施にはさまざまな理由はあることから、条件変更と信用リスク評価との間に必ず関連性があるといったことはない。金融資産がフォーベアランス（条件緩和措置）の対象となり、引き続き貸借対照表に計上される場合、フォーベアランス（条件緩和措置）が認められた際の評価結果に基づき、当該金融資産はステージ2又はステージ3に分類される。この評価には、信用損失に対して引当金を積む必要があるか、又は（債権が）ステージ3に分類されることになるような他の状況があるかどうかの確認が含まれる。

キャッシュ・フローが著しく変化する方法で金融資産が条件変更される場合、条件変更された金融資産は貸借対照表から認識中止され、新たな債権に置き換えられる。このような場合、条件変更日は新債権の当初認識日となり、予想信用損失の計算及び当初認識時から信用リスクが著しく増大したかを評価する場合にはこの条件変更日が用いられる。

金利指標改革により実施された条件変更に関する会計処理の詳細については、セクション8の金利指標改革を参照のこと。

7. ヘッジ会計

(IAS第39号「金融商品：認識及び測定」)

ハンデルスバンケンは、IFRS第9号の移行規定に従い、IAS第39号に規定されているヘッジ会計規則を継続適用することを選択した。当行グループは、ヘッジ会計についてヘッジ目的に応じた異なる方法を採用している。デリバティブ（主に金利スワップ及びクロスカレンシー金利スワップ）がヘッジ手段として用いられている。在外営業活動体への純投資に関する為替リスクをヘッジする場合には、対象となる在外営業活動体の機能通貨による負債がヘッジ手段として用いられている。当行グループのヘッジ戦略の一つとして、ヘッジ手段の価値変動が、往々にして個別の構成要素に分割され複数のヘッジ関係に含まれている。したがって、単一の同じヘッジ手段が異なるリスクをヘッジすることができる。ヘッジ手段の分割は、ヘッジされるリスクを明確に特定することが可能なこと、その効果を信頼性をもって測定することが可能なこと、及びヘッジ手段の価値変動合計がいずれかのヘッジ関係に含まれている場合に限り行われる。

公正価値ヘッジは、市場価格が変動することにより、損益に生ずる望ましくない影響から当行グループを保護するために使用される。公正価値ヘッジは個々の資産・負債にも金融商品ポートフォリオにも適用されている。公正価値ヘッジのヘッジ関係にあるヘッジ対象リスクは、固定金利による貸出金及び借入金にかかる金利リスクである。これらのヘッジ関係におけるヘッジ手段は金利スワップである。公正価値ヘッジの場合、ヘッジ手段及びヘッジ対象リスクの両方が公正価値で認識され、価値変動は損益計算書の「金融取引による純損益」に直接計上される。ポートフォリオ・ヘッジが適用される場合、ヘッジ対象の価値は、「一般顧客への貸出金」に関連する別項目で貸借対照表に計上される。公正価値ヘッジが途中で中止された場合、ヘッジ対象に生じた価値変動計上額は満期までの期間にわたり「金融取引による純損益」で償却される。公正価値ヘッジが途中で中止され、ヘッジ対象が存在しなくなった場合、生じた価値変動は「金融取引による純損益」に直接戻し入れられる。

キャッシュフロー・ヘッジは変動金利による貸出金及び借入金の金利変動によるキャッシュ・フローの変動に対するエクスポージャーを管理するために採用される。このタイプの貸出金及び借入金の予想満期は、非常に短期である金利調整期間よりも、通常は長期となる。キャッシュフロー・ヘッジは、貸出金及び借入金の将来キャッシュ・フローにおける為替リスクのヘッジにも用いられる。グループ内の貨幣性項目から生じる為替リスクも、連結の際に全額相殺消去されない為替エクスポージャーをもたらず場合には、キャッシュフロー・

ヘッジの対象となる。キャッシュフロー・ヘッジにおけるヘッジ手段であるデリバティブは公正価値で測定される。そのデリバティブの価値変動が効果的に、すなわちヘッジ対象の将来キャッシュ・フローと連動する場合、そのデリバティブの価値変動はその他包括利益の構成要素、及び資本のヘッジ準備金に計上される。そのデリバティブの価値変動のうち非有効部分は、「金融取引による純損益」として損益計算書に計上される。キャッシュフロー・ヘッジが途中で終了する場合、過去にその他包括利益に認識されていたヘッジ手段に係る累積利益又は損失はヘッジされたキャッシュ・フローの発生が見込まれる期間にわたって「金融取引による純損益」で償却される。キャッシュフロー・ヘッジが途中で終了し、ヘッジされたキャッシュ・フローの発生が今後見込まれなくなった場合には、累積された価値変動はヘッジ準備金から「金融取引による純損益」へ振り替えられる。

在外営業活動体に対する純投資ヘッジは、海外事業の為替レートの変動から当行グループを保護するために採用されている。外貨建借入金ヘッジ手段として用いられている。これらのヘッジにおけるヘッジ対象は在外営業活動体の純資産の当初部分の帳簿価額に起因する外貨建エクスポージャーで構成されている。在外営業活動体に対する純投資をヘッジするために実施された外貨建借入金は、貸借対照表日の為替レートで当行グループ貸借対照表に計上される。このような借入金の為替差額の有効部分は「その他包括利益」の構成要素として計上され、かつ、資本の為替換算調整準備金に計上される。在外営業活動体に対する純投資ヘッジの非有効部分は損益計算書の「金融取引による純損益」に計上される。

詳細については、注記G23の「ヘッジ会計」を参照のこと。

8. 保険事業

分類

ハンデルスバンケンの保険契約には、リスク保険要素、貯蓄性保険要素又はその双方が含まれている場合がある。保険契約又は投資契約への分類は、経済的意義が異なることから、保険契約に含まれる個々の保険要素（貯蓄性保険要素/リスク保険要素）に基づいて決定される。従来型生命保険契約の貯蓄性保険要素、リスク保険契約、並びに複合従来型生命保険契約及びユニットリンク保険契約から分離されたリスク保険要素は、重大な保険リスクを移転することから保険契約として分類され、測定され、認識される。ユニットリンク保険契約及びポートフォリオ・ボンド保険契約の貯蓄性保険要素は投資契約に分類され、IFRS第9号に従い認識される。

保険契約の集約レベル

ハンデルスバンケンは、当行が被る保険リスクに基づいて保険契約ポートフォリオを特定している。従来型生命保険契約の貯蓄性保険要素については、すべての契約に収益性があるとみなされている。さらに、契約締結からかなりの時間が経過しており、この商品の新規契約は受け付けられていないことから、単一のポートフォリオとグループのみを特定している。リスク保険契約及びリスク保険要素については、各保険商品が個別にポートフォリオを構成している。すべての契約に収益性があるとみなされているため、ポートフォリオごとに単一のグループのみを特定している。これらのグループは、発行の時点が1年超離れた契約は同じグループに含めるべきでないとして、さらに分割されている。

保険契約の測定

ハンデルスバンケンは、従来型生命保険契約の貯蓄性保険要素に対する残存保険カバーに係る負債を測定する際に一般測定モデルを適用している。一般測定モデルを適用する理由は、これらの契約期間が1年よりもはるかに長期であることに加え、給付額が多額であることから、原資産のリターンに応じて変動する無条件の追加支出が発生しても、それが支払総額に占める割合は大きくないと予想されることによる。一般測定モデルで

は、残存カバーに係る負債は、将来キャッシュ・フローの予想現在価値、リスク調整及び契約上のサービス・マージンの合計で測定される。ハンデルスバンケンは不利な契約を特定していない。

発生保険金に係る負債は、将来キャッシュ・フローの予想現在価値とリスク調整の合計で測定される。ただし、決済予定日までの期間が12カ月以内の保険金は割引かれない。将来キャッシュ・フローの予想現在価値、リスク調整及び契約上のサービス・マージンに関する詳細については、注記G34を参照のこと。

ハンデルスバンケンは、リスク保険契約のほか、複合従来型生命保険契約及びユニットリンク保険契約から分離されたリスク保険要素における残存カバーに係る負債及び再保険契約の残存カバーに係る負債を測定する際に、保険料配分アプローチを適用している。保険料配分アプローチを適用する理由は、これらの契約期間が最長1年であることによる。残存カバーに係る負債に対しては割引を行わず、未稼得の受取保険料で測定する。受取保険料は、保険カバーが提供されるにつれて、収益として定額法で認識される。ハンデルスバンケンは不利な契約を特定していない。

保有保険契約及び再保険契約の認識

残存カバーに係る負債及び発生保険金に係る負債は、貸借対照表項目の「保険負債」に計上される。保有再保険契約に関連する資産及び負債は、それぞれ貸借対照表項目の「その他資産」及び「その他負債」に計上される。保険契約から生じる純損益は、純損益の「保険事業による純損益」という項目に合計額で表示される。

「保険事業による純損益」には、「保険事業による損益」と「保険契約者に代わって保有する資産からの収益」が含まれる。「保険事業による損益」の項目には、保険契約に起因する収益及び費用並びに営業費用が含まれる。「保険契約者に代わって保有する資産からの収益」の項目はIFRS第9号に従って認識されるが、当該利益は保険契約として認識される契約に係る資産に起因する収益を含むことから保険事業による純損益に含まれる。従来型生命保険契約の貯蓄性保険要素の測定に使用される割引率の変更による影響額は資本の「保険契約」の項目に累積され、「その他包括利益」に計上される。IFRS第17号への移行に伴い「その他包括利益」の金額はゼロとなる。

投資契約の認識及び測定

ユニットリンク保険契約及びポートフォリオ・ボンド保険契約の貯蓄性保険要素は投資契約で構成される。これらの契約及び関連投資資産は純損益を通じて公正価値で測定される。これらの項目は、顧客が価値変動リスクを負う場合、貸借対照表の「資産」及び「負債」にそれぞれ計上される。投資契約の保険料、資産関連手数料及びその他管理費用は、「手数料及びコミッション収益」として損益計算書に計上される。取得費用も損益計算書に直接計上される。資産及び負債の価値変動は「金融取引による純損益」に計上される。

9. 売却目的で保有する資産及び非継続事業の会計処理(IFRS第5号)

売却目的で保有する非流動資産及び非継続事業

非流動資産又は直接関連する負債を含めた資産グループ（処分グループ）は、帳簿価額が主に売却により回収され、その売却の可能性が高い場合に売却目的保有に分類される。資産が売却目的保有に分類された場合、特別な評価原則が適用される。それによると、主に売却目的で保有する資産及び処分グループは、金融資産及び負債項目を除き（前述の4.を参照のこと）、帳簿価額と売却費用控除後の公正価値のいずれか低い方で測定される。したがって、売却目的で保有する有形固定資産の減価償却も、無形固定資産の償却も行われない。減損損失及びその後の再評価は損益計算書に直接計上される。ただし、従前に計上された減損累計額を超過する利益は認識されない。売却目的で保有する資産及び負債は、売却されるまで当行グループの貸借対照表に別建てで計上される。当行グループの他の事業から明確に分離された重要性のある独立事業であって、上記の方針により売却された又は売却目的保有に分類されている事業は、非継続事業として認識される。非継続事業とし

て認識するにあたり、その事業からの収益は損益計算書において他の損益項目とは別建てで計上される。非継続事業からの損益は、非継続事業からの損益（税引後）、非継続事業に含まれる売却目的で保有する資産/処分グループ資産の売却費用控除後の公正価値評価から生じる損益（税引後）、及び非継続事業の処分からの実現損益で構成されている。売却目的で保有する資産及び負債並びに非継続事業に関する開示については、注記G14を参照のこと。

10. 資本

資本には、下記の構成要素が含まれている。

株式資本

ハンデルスバンケンの株式には、クラスAとクラスBの2つのクラスがある。クラスA株式はそれぞれ1票の議決権を有しており、クラスB株式は10分の1議決権を有している。いずれのクラスの株式も、同様の配当権利を有している。

資本剰余金

資本剰余金には、発行済転換可能負債性金融商品のオプション部分並びに株式の発行及び転換可能負債性金融商品の転換において発行済株式の割当価額を超過する金額が含まれている。

その他の剰余金

確定給付年金制度

確定給付年金制度の項目は、年金債務の数理計算上の差異に加え、割引率を適用して算定された収益を上回る又は下回る制度資産に係る運用収益より構成されている。

キャッシュフロー・ヘッジ

キャッシュフロー・ヘッジにおけるヘッジ手段で構成されるデリバティブ商品の未実現価値変動は、ヘッジが有効な範囲、つまり、ヘッジ対象に帰属する将来キャッシュ・フローに対応する範囲で「キャッシュフロー・ヘッジ」の項目(ヘッジ準備金)に計上されている。

その他包括利益を通じて公正価値で測定される金融商品

その他包括利益を通じて公正価値で測定するものに分類された金融資産の未実現価値変動は、「その他包括利益を通じて公正価値で測定される金融商品」の項目(公正価値評価差額準備金)に計上される。さらに、当該項目は、その他包括利益を通じて公正価値で測定するものに分類された負債性金融商品の予想信用損失引当金を含む。その他包括利益を通じて公正価値で測定するものに分類された負債性金融商品の実現価値変動は、「その他包括利益を通じて公正価値で測定される金融商品」の項目から損益計算書に振り替えられる。その他包括利益を通じて公正価値で測定するものに分類された資本性金融商品の実現価値変動は、「その他包括利益を通じて公正価値で測定される金融商品」の項目から利益剰余金に振り替えられる。

保険契約

従来型生命保険契約の貯蓄性保険要素を測定するにあたり、割引率の変動による影響は「保険契約」の項目に計上される。

為替換算調整準備金

「在外営業活動体の換算差額」の項目(為替換算調整準備金)は在外事業体の業績を連結財務諸表の表示通貨に換算することによって生じた未実現の外貨換算による影響で構成される。さらに、在外営業活動体への純投資に関するヘッジの有効部分及び「その他包括利益を通じて公正価値で評価するもの」に分類されている非貨幣性項目から生じる換算差額が当該項目に計上される。

当期利益を含む利益剰余金

利益剰余金には当期及び過年度の利益が含まれている。配当及び自己株式の再取得は「利益剰余金」の控除として計上される。

その他包括利益を通じて公正価値で測定するものに分類された資本性金融商品に起因する実現損益は、「その他包括利益を通じて公正価値で評価される金融商品」の項目から利益剰余金に振り替えられる。

非支配株主持分

非支配株主持分は、当行グループの純資産のうち、親会社の普通株式保有者に直接又は間接的に所有されていない部分で構成される。非支配株主持分は、資本における個別の構成要素として計上される。

11. 収益

純利息収益

利息収益及び利息費用は、損益計算書の「純利息収益」に計上される。但し、トレーディング勘定の取引活動全般が認識される「金融取引による純損益」に認識されるような、純損益を通じて公正価値で測定することが強制される金融商品から生じる利息を除く。

償却原価で測定される金融商品に係る利息収益及び利息費用は、実効金利法又は適切であると認められた場合は、実効金利法に基づく計算の合理的な見積りとなる方法を用いて算定され計上される。実効金利は、金融商品の実効金利に不可欠な部分とみなされる手数料（一般的に、リスクの対価として受領する手数料）を含む。実効金利は、契約上の将来キャッシュ・フローを金融資産又は金融負債の帳簿価額まで割り引く際に用いられる利率に相当する。

純利息収益にはまた、ヘッジ対象の金利が「純利息収益」に計上される、ヘッジ会計を通じて認識されるデリバティブ商品からの利息及び経済ヘッジのデリバティブからの利息も含まれる。

利息収益及び利息費用に加えて、純利息収益には預金保険料が含まれる。

純手数料及びコミッション収益

手数料及びコミッション収益は、サービスに対する支配が顧客に移転された時点となる、履行義務が充足される一時点で認識される。収益合計は各サービス間で配分され、収益内での認識はサービスが特定の時点で履行されたか、特定期間にわたって履行されたかで異なる。例えば、資産運用における管理報酬のような手数料及びコミッション収益は、通常、サービスが履行される割合で認識される。仲介手数料、カード手数料又は支払コミッションのような手数料及びコミッション収益は、通常、サービスが履行された時点、すなわち特定の時点で認識される。収益が払戻、ボーナス又は業績連動型の要素などの可変的な対価を含む場合、収益は金額の支払が行われない可能性がほとんどない場合に限り認識される。実効金利に含まれない貸出手数料は、手数料及びコミッション収益として認識される。「手数料及びコミッション費用」は取引ベースであり、収益が「手数料及びコミッション収益」として計上される取引に直接関連する。

金融取引による純損益

金融取引による純損益には、金融資産及び金融負債を純損益を通じて公正価値で測定する際や金融資産及び金融負債が処分又は決済された際（その他包括利益を通じて公正価値で測定される資本性金融商品を除く）に発生する、損益に影響するすべての項目が含まれる。

- ・ 償却原価で計上される金融商品に係る損益は、期限前償還される貸出金の早期償還手数料や当行が発行した証券の買戻しによって生じたキャピタルゲイン/ロスなど、償却原価で測定されるものとして分類される金融資産及び負債に係る実現損益から構成される。
- ・ その他包括利益を通じて公正価値で測定される金融商品に係る損益は、その他包括利益を通じて公正価値で測定するものに分類された利付証券の実現損益から構成される。実現損益は、処分／売却に伴いその他包括利益から「金融取引による純損益」の項目に振り替えられる。この項目には、これらの資産に関する信用損失（予想損失及び実損失）も含まれる。
- ・ 公正価値オプションの利用を選択した純損益を通じて公正価値で測定される金融商品に係る損益は、当初認識時に純損益を通じて公正価値で測定されるものとして分類された金融資産及び負債の実現及び未実現価値変動から構成される。
- ・ 純損益を通じて公正価値で測定されることが強制される金融商品に係る損益は、トレーディング目的保有、又は公正価値で管理・評価される金融資産及び金融負債に係る実現及び未実現価値変動、配当収益及び利息（ヘッジ対象の金利が「純利息収益」で計上されるデリバティブから生じた利息を除く）から構成される。
- ・ 公正価値ヘッジは、ヘッジ手段及び、公正価値ヘッジのヘッジ対象となる金融資産・負債のヘッジ対象リスク要素の実現・未実現の価値変動から構成される。キャッシュフロー・ヘッジの非有効部分は、ヘッジ対象に起因する将来キャッシュ・フローとは対応しないヘッジ手段の価値変動部分から成る。
- ・ 外貨建（機能通貨以外の）貨幣性項目及び公正価値で測定される外貨建非貨幣性項目の、貸借対照表日の実勢終値での換算から生じる損益は、損益計算書で認識される。よって、償却原価で測定される外貨建金融資産及び負債に係る、貸借対照表日の実勢終値での換算から生じる損益は「金融取引による純損益」に計上される。
- ・ 「保険契約者に代わって保有する資産の投資収益」は、「保険事業による純損益」に含まれるため「金融取引による純損益」から差し引かれる。

配当金

その他包括利益を通じて公正価値で測定される株式の配当金は、「その他配当金収益」として損益計算書に計上される。純損益を通じて公正価値で測定される株式の配当金は、損益計算書の「金融取引による純損益」に計上される。関連会社及びジョイント・ベンチャーからの配当金は、関連会社及びジョイント・ベンチャーに対する投資の帳簿価額から差し引かれる。

12. 従業員給付

(IAS第19号「従業員給付」)

人件費

人件費には給与、年金費用及び社会保障費、年金費用にかかる特別給与税を含むその他の形式の直接人件費、並びに給与関連のその他の形式の間接費が含まれている。解雇に関連する給付は、合意に達した時に負債として認識され、残存雇用期間にわたって償却される。

退職給付会計

当行の退職後給付は、確定拠出制度又は確定給付制度のいずれかに分類される年金債務で構成されている。確定拠出制度の場合、当行が別の事業体に固定額の保険料を支払い、従業員は積立金が支払われるまでの間の価値変動リスクを負う。本制度では、当行は保険料が支払われた後はそれ以上の義務を負わない。確定拠出制度に支払われる保険料は、従業員が当行に役務を提供することにより発生するに伴い人件費として損益計算書に計上される。

その他の年金債務は、確定給付制度に分類される。確定給付制度の未払給付金は給与及び雇用期間に基づいており、当行が年金債務の履行に係るすべての重要なリスクを負担することを意味する。年金債務及び関連費用の算出には予測単位積増方式が適用され、年金債務の現在価値が年金債務として認識されている。確定給付制度の大部分について、当行グループは支払債務に充当する目的で年金基金及び年金ファンド等に個別に制度資産を積み立てている。年金債務から制度資産の公正価値を控除した金額が、貸借対照表上に正味年金として計上されている。確定給付制度の年金費用は、損益計算書の「人件費」に計上され、当年度に発生した年金権利費用、年金債務に係る利息費用及び制度資産に係る利息収益により構成されている。当年度に発生した未払年金権利の計算は、見積最終給与に基づき、年金数理計算上の仮定の対象となっており、算定された年金額の最終合計のうちの当年度部分を指す。当年度の利息費用及び利息収益の算定には、年金債務の支払までの残存期間に相当する満期を有する社債の最新の金利（年度当初の金利）に使用されるものと同じ金利が適用される。その他包括利益には、実際の結果と仮定との差から生じた年金債務に係る数理計算上の損益のほか、制度資産の実際の収益と期待収益との差が計上されている。

当行グループの確定給付制度の費用及び債務の算定は、計上額に重要な影響を及ぼす可能性のあるいくつかの評価及び仮定に左右される。これらの仮定及び評価の詳細な記述はセクション14及び注記68に示されている。

13. 見積り及び重要性のある評価

一部のケースにおいては、（見積りへの適用に加え）計上額に重要性のある影響を及ぼす当行グループの会計方針の適用について経営陣による評価が必要とされる。計上値はまた、多くのケースにおいて将来に関する見積り及び仮定の影響を受ける。仮定や見積りにおける不確実性の要因には、資産及び負債の帳簿価額が調整されるリスクが常に含まれている。適用される評価、将来に関する仮定及び見積りは常に経営陣の最善かつ最良の評価を反映し、継続的に検査及び検証の対象となる。

財務諸表に重要性のある影響を及ぼした評価、将来に関する仮定及び見積りについては下記に記載されている。

連結財務諸表

組成された事業体とは、限定された明確な目的を達成するために形成された事業体であり、議決権または同様の権利が、その事業体を支配している企業を判定する上で決め手となる要因にはならないように組織化されている事業体である。ハンデルスバンケンの組成された事業体に対する持分は、ファンドの保有に限定されている。

当行が資産運用会社であり、かつユニットの50%以上持分を保有するファンドを連結対象としている。

当該ファンドに対する当行の持分は、貸借対照表の「株式」に含まれ、公正価値で計上されている。

当該ファンドの公正価値の残りの部分は、連結貸借対照表上の「顧客が価値変動リスクを負う資産」及び「顧客が価値変動リスクを負う負債」に計上されている。

20%から50%までの持分については、例えばファンドが広範な運用権限を有し、変動リターンの割合が高いため、当行が支配しているとみなされる状況にある特定の場合においては連結対象となる。ユニットリンク保険契約の持分については、当行グループが変動リターンに晒されているとは評価されていない。これらの持分

は、ファンドに対する支配の有無の評価から除外されている。ユニットリンク保険契約を通じたファンド・ユニットへの持分は、「顧客が価値変動リスクを負う資産」に計上され、これに対応するユニットリンク保険契約に係る負債は、「顧客が価値変動リスクを負う負債」に計上されている。非連結の組成された事業体における持分の詳細については、注記G49を参照のこと。

公正価値で計上される金融商品

公正価値で計上される金融商品をレベル1、レベル2、レベル3に区分するためには、評価時に使用した市場データの透明性の程度を評価する必要がある。活発な市場における最新の市場価格で測定される金融商品はレベル1に含まれる。基本的に市場において、観察可能なインプット・データを基礎とする評価モデルに基づき測定される金融商品はレベル2に含まれる。外部の市場データを用いて検証することのできないインプット・データが、その価値に重要な影響を及ぼす評価モデルに基づき測定される金融商品はレベル3に含まれる。したがって、活発な市場が存在しない金融商品を識別するための評価が行われた。さらに、適用する評価モデルの選択および評価モデルで使用するインプットの選択についても評価が行われた。

評価モデルで使用されるインプットは、基本的に市場において観察可能な株価や金利などを使用して検証できることが出発点である。評価モデルのインプットが外部の市場データを用いて重要な程度まで検証できない場合、経営陣は公正価値を算出するために独自の仮定及び見積りを適用する必要がある。しかしながら当行が保有するレベル3に区分される金融資産は、公正価値で測定される金融商品全体のごく一部に過ぎない。当行は、金融商品の公正価値を決定するための統制環境を確立しており、これにはリスク管理部門が行う評価モデル及び市場価格のレビューが含まれる。公正価値で計上される金融商品の帳簿価額は、注記G42「金融商品の公正価値測定」に記載されている。

金融商品の公正価値測定に関する重要な評価及び適用される仮定の詳細については注記G1のセクション5「金融資産及び金融負債の公正価値測定原則」および注記G42「金融商品の公正価値測定」を参照のこと。

保険契約の分類と保険負債の計算

IFRS第17号では、重大な保険リスクを移転するとみなされる場合には、法的な保険契約が基準の適用基礎となる。当行は、保険契約又は投資契約への分類について、経済的意義が異なることから、保険契約に含まれる個々の保険要素（貯蓄性保険要素/リスク保険要素）に基づいて決定されると評価している。貯蓄性保険要素とリスク保険要素を分離することにより、後者のみが重大な保険リスクを移転するため、最も正確な報告が可能となる。当行は、全ての複合ユニットリンク保険をIFRS第17号に従って認識しても、契約期間が短いため当行の財政状態または損益に与える影響はわずかであると評価している。これらの契約は長期的な貯蓄を指しているが、会計上の判断によれば、価格を継続的に調整できるため、契約期間は短期（最長1年）とされている。

保険負債の将来キャッシュ・フローの予想現在価値を計算する際には、将来に関する仮定が適用されるため、計算には不確実性が伴う。保険負債の帳簿価額は注記G34「保険負債」に記載されている。

保険負債の計算に適用される重要な評価、仮定及び見積りと、意思決定プロセスの詳細については、注記G34「保険負債」を参照のこと。

確定給付制度の年金数理計算

当行グループの確定給付年金に係る債務と費用との算定は、帳簿価額に重要な影響を及ぼすと経営陣がみなすいくつかの数理的、統計的及び財務的な仮定に基づいている。注記G8「人件費」には当期の債務の計算に使用された影響が最も著しい仮定のリストが含まれている。確定給付制度の割引率は四半期毎に、その他の仮定は年次又は重要な変更が発生した場合に評価している。

当行が算定に用いる割引率は、満期が異なる多数の優良な流動性の高い社債に基づいている。年金債務の見積平均残存期間（現在は20年）に相当する満期を有する社債について、割引率は市場金利に基づいて決定される。また、債券の基盤を安定させるため、満期が年金債務に対応している社債の選択が不十分な場合には、年金債務よりも満期が短い社債も割引率の決定の基礎として用いられる。ここではイールド・カーブに基づく割引率が設定されている。イールド・カーブは、スウェーデン・クローネのスワップ・カーブに対するスプレッドとして構築されている。自社発行のものを除く社債に基づいた当該スプレッドは、スワップ・カーブに反映される。このようにして、イールド・カーブはモデル化されており、20年の利回りはこのモデルから導き出すことができる。年金債務の帳簿価額は、注記G8「人件費」に記載されている。

注記G8「人件費」では、当行グループの年金債務のすべての主要な数理計算上の仮定に対する感応度分析を提供している。この分析は、これらの仮定に合理的に実現可能な変化によって年金債務がどのような影響を受けるかを示している。

信用損失

予想信用損失の算定は、重要性のある評価、将来に関する仮定及び見積りを伴う。予想信用損失の評価には、本質的にある程度不確実性が伴っている。高度な評価と見積りを伴う領域は、以下の個々の項目で記述している。

マクロ経済シナリオにおける将来予測的な情報

当行は特に自国市場に重点を置いたマクロ経済上の動向を継続的にモニターしている。こうしたモニタリングにより、当行はモデルベースの予想信用損失の算定に用いる将来予測的な情報の基礎となる、マクロ経済シナリオを策定している。契約上の支払を履行する当行顧客の能力は、マクロ経済上の動向に合わせて変動する。それゆえ、将来のマクロ経済上の動向は、当行が予想信用損失をカバーする上で必要な引当金の見通しに影響を及ぼす。予想信用損失の引当必要額の算定は、当行のマクロ経済調査部門による基本（中立）シナリオに基づいている。損失は将来の経済動向の好転よりも悪化から受ける可能性がある影響のほうが大きい。このため、当行は少なくとも二つの代替的なシナリオを用いて、予想信用損失の非線形的な側面を考慮している。これらの代替的なシナリオは、一つは基本（中立）シナリオを大幅に下回るシナリオ、もう一つは大幅に上回るシナリオによる、二つの考え得る動向を表したものである。最も重要なマクロ経済上のリスク要因は、経験に基づく評価を加味した過去10年間にわたる当行の損失実績に基づいて選択されている。その後これらのマクロ経済上のリスク要因が、遷移、デフォルト、損失率及びエクスポージャーを予測する当行の定量的な統計モデルで用いられる。マクロ経済上のリスク要因には、失業率、主要行又は中央銀行金利、国内総生産

(GDP)、インフレ率及び不動産価格が含まれる。返済能力が高い顧客向けに信用供与するという当行の事業モデルは、マクロ経済上の動向と引当必要額との関連性が必ずしも特に強いわけではないことを意味している。マクロ経済情報の詳細な内容については注記G2の「信用リスク」のセクションを参照のこと。

予想信用損失の算定には、マクロ経済シナリオによる将来予測的な情報を用いる。マクロ経済シナリオや適用される確率加重の変更は、信用リスクの大幅な増加の評価と予想信用損失の双方に影響を与える。予想信用損失引当金の帳簿価額は、注記G10「信用損失」に記載している。感応度分析の説明及び結果については、注記G10「信用損失」を参照のこと。

信用リスクの著しい増大

当行は当初認識後に、信用リスクの著しい増大があったかどうかについて、各報告期間末に債権単位での評価を行っている。信用リスクの著しい増大に関するより詳細な説明については注記G2の「信用リスク」のセクションを参照のこと。

モデルベースの算定

ステージ1及びステージ2のエクスポージャーの予想信用損失の算定の基礎となる定量モデルは、いくつかの仮定と評価を用いている。過去データのマクロ経済上のリスク要因とリスク・パラメーターの間の計量可能な関係が、将来の事象を表していることが一つの重要な前提である。用いられる定量モデルは、約10年間の過去データに基づいているが、過去の結果の入手可能性に一貫性がないことにより、この過去データの内容も商品や地域によりさまざまである。観測値はリスク要因によって独立して条件付けられるという仮定を適用し、定量モデルは経済モデルを利用して構築されている。これは、歪曲されずにリスク・パラメーターの予測が可能であることを意味している。さらに、マクロ経済上のリスク要因は個々のリスク・パラメーターに関する説明力に基づき、最も重要なマクロ経済上のリスク要因が選択されている。マクロ経済上のリスク要因の選択とモデルの仕様は、簡潔さ、実証能力及び安定性の間でバランスを取り決定される。現時点ではモデルに気候要因は含まれていないが、継続的に関連事項についての評価を実施している。気候関連リスク及びその他の特定の環境リスクは、与信プロセスで評価され、カウンターパーティ単位での内部格付に含まれている。カウンターパーティ単位の内部格付には、PD(デフォルト率)、LGD(デフォルト時損失率)及びEAD(デフォルト時エクスポージャー)などのリスク・パラメーターの将来予測的な確率の算定に影響を及ぼすリスク要因が含まれている。モデル及びモデル検証の詳細については、注記G2「信用リスク」を参照のこと。

マニュアル及びエキスパートベースの算定

ステージ3資産に対しては、マニュアルの算定を用いて、債権毎に減損テストが行われる。減損テストでは、将来キャッシュ・フロー、適用されるシナリオ、様々なシナリオが発生する確率などの要素について重要な評価を行い、担保価値を評価する。マニュアルの算定に関する詳細な説明は、上記セクション6の「マニュアルの算定」及び注記G2「信用リスク」を参照のこと。

マニュアルで評価されるステージ3債権と同様に、モデルで考慮されなかったと考えられる要因の影響を織り込むため、ステージ1及びステージ2債権に対するモデル評価結果にもエキスパートベースの算定が行われる。エキスパートベースの算定は、個別のローンやサブ・ポートフォリオに関するエキスパートの知識に基づいて行われる。エキスパートベースの算定に関する詳細な説明は、上記セクション6の「エキスパートベースの算定」を参照のこと。

その他の評価

サステナビリティ・リスク

本年次報告書の作成にあたっては、サステナビリティ・リスク(主に気候関連リスク及びその他の環境リスク)が財務諸表にどの程度影響を与えているか、また適用される見積りや仮定に関しても、重要な評価を実施しており、気候関連及びその他の環境リスクの影響を受ける可能性があるものは、実質的に予想信用損失であるとの評価に至っている(上記「信用損失」を参照のこと)。当行は、サステナビリティ・リスクが財務諸表の他の分野(主に金融商品の公正価値測定、引当金および偶発債務)に影響を与える可能性があるか否かの評価を継続的に実施している。これらの評価では、予想信用損失以外の分野におけるサステナビリティ・リスクを考慮する必要性は確認されなかった。当行では、サステナビリティ・リスクが2024年の財務諸表に与える影響は軽微であると総合的に評価している。

[次へ](#)

注記G2 リスク及び資本管理

ハンデルスバンケンのリスク許容度が低いことは、当行が事業を行ううえでの中心的な要素である。このリスク許容度が低いことは、分散化された事業モデル、安定した財務、アカウントビリティに加え、ハンデルスバンケンが顧客との長期的な関係を築くための基礎となっている。本注記の情報には、貸借対照表上「売却目的で保有する資産」及び「売却目的で保有する負債」にそれぞれ分類変更され、非継続事業となったフィンランドの処分グループが含まれている。注記G14を参照のこと。

強固なリスク管理

ハンデルスバンケンの資本及び流動性計画の目的は、通常の状態においてもストレス下においても、確実に継続企業として存在し続けることである。これにより、当行の資本及び流動性は良好であり、当行の短期及び長期の資金調達プログラムを通じて、継続して金融市場からの資金調達を可能にしている。また当行は高品質な流動性準備金を潤沢に有しており、金融市場が混乱する可能性に対して高水準の予防策が設けられている。当行の流動性準備金の一部であるハンデルスバンケン・トレジャリー部の流動性ポートフォリオは低リスクであり、主として中央銀行預け金、国債及びカバード・ボンドより構成されている。さらに、スタッドフィポテックにはカバード・ボンドが発行できる未使用枠が十分にあり、当行のすべての主要通貨について流動性準備金が維持されている。また、市場が閉鎖するような極端な状況においても、相当の期間にわたり業務を維持できる。当行の未使用の発行枠を含む流動性準備金の総額は、ストレス・シナリオにおいても3年超にわたり、当行に必要な流動性をカバーできる水準である。

当行の資本は引き続き堅固である。当年度の収益が安定し、信用損失が少ないことによるものである。

当行はマクロ経済、地政学的状況、市況動向及び気候変動の影響を含む特別なストレス・テストを実施し、流動性や資本が悪化した場合にも早期に対応できるようにしている。

国際政治上の安全保障環境により、社会の重要インフラに対する様々な攻撃のリスクが高まっている。当行のセキュリティ部門はその動向を注視し、様々なシナリオにおけるリスク評価を継続的に行っている。

リスク許容度

ハンデルスバンケンは、リスクを回避又は最小化し、経済情勢や市況にかかわらず顧客の安定したビジネス・パートナーとなるという全体的な戦略に基づいて、リスク許容度を低く設定している。リスク許容度の低さは、当行が適用するリスク管理の枠組みの基礎となっている。この枠組みは、当行グループにおける様々なレベルのガバナンス文書に制定された戦略、プロセス、限度額、管理及び報告手続から構成されている。当行の事業モデルでは、信用供与に伴い、支店業務における信用リスクを受け入れ管理することを中心とし、返済能力が高く財政状態が健全な顧客と長期的な関係を築くことに注力している。与信供与高の増加、料金の引上げ又は市場シェアの拡大を優先させて、質的要件を疎かにすることがあってはならない。

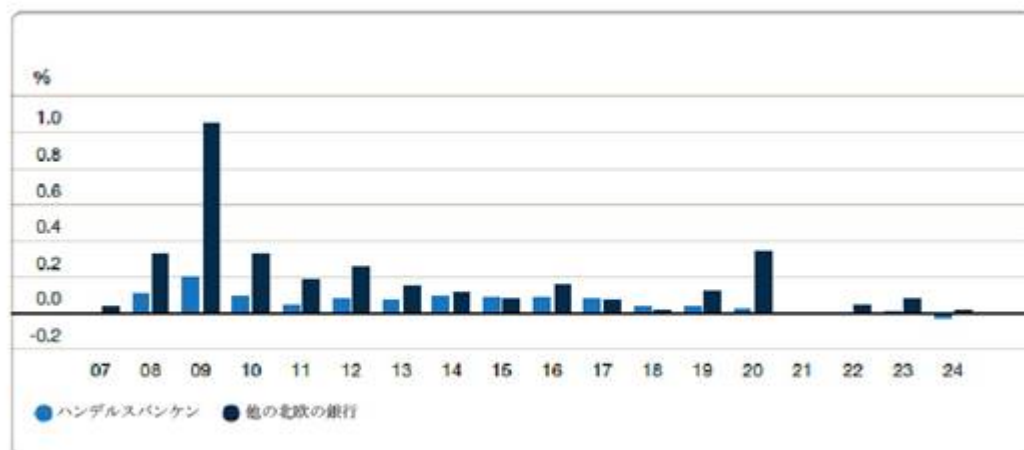
過去数十年間にわたり、ハンデルスバンケンの信用損失水準は、他の北欧銀行の平均を大幅に下回っている。当行は、どの与信も損失を生まないようにすることを常に目標としている。このアプローチは、支店における与信管理の軸となっている。市場リスク及び流動性リスクに対する当行のエクスポージャーをリスク許容度が低い範囲内に抑えるため、これらのリスクの発生は、当行の資金調達及び流動性管理並びにマーケット・メーカーとしての役割に関連して、顧客業務の一環として生じる場合に限られる。これらのリスクは、異なる通貨における金利期間の満期とキャッシュ・フローの一致、オープン・ポジションのヘッジ、及び高品質な流動性準備金の維持により限定される。

市場リスクに関する当行の許容度が低いことにより、当行の収益のうち、金融取引から生じる正味損益の割合は比較的低くなっている。

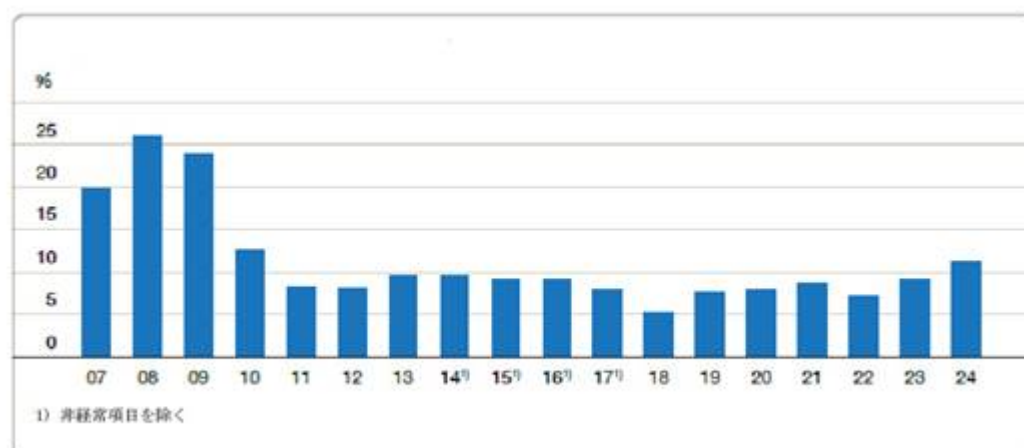
オペレーショナル・リスク及びコンプライアンス・リスクについても当行の許容度は低く、これらリスクの回避に努めている。

また、サステナビリティ・リスクに対するリスク許容度も低く、これらのリスクも当行の従来からのリスク領域と一体化管理されている。

貸付における信用損失の割合 2007－2024年



金融取引による純損益の利益に対する割合 2007年－2024年



ハンデルスバンケンのリスク

リスク	説明
信用リスク	信用リスクとは、当行のカウンターパーティが契約上の義務を履行できなくなることにより当行が経済的損失に直面するリスクである。 信用リスクには、通貨、債券、コモディティ及び株式市場における取引に関連するカウンターパーティ・リスク（カウンターパーティが債務を履行できないリスク）も含まれる。
市場リスク	市場リスクは、金融市場の価格及びボラティリティの変動によって生じる。市場リスクは、金利リスク、株価リスク、為替リスク及びコモディティ価格リスクに分類される。
流動性リスク	流動性リスクとは、支払期限が到来した際に、法外な費用又は損失を被らなければ、当行が支払い義務を履行することができないリスクである。
オペレーショナル・リスク	オペレーショナル・リスクとは、不適切な若しくは欠陥のある内部プロセス、人為的ミス、システムエラー、又は外部事象による損失リスクである。オペレーショナル・リスクの定義には、法的リスク、モデルリスク及び情報通信技術のリスク（ICTリスク）が含まれている。
コンプライアンス・リスク	コンプライアンス・リスクとは、当行に認可された業務に適用される内外の規則及び規制、一般に認められた市場慣行並びに関連基準を遵守しなかった結果、当行が被る可能性のある制裁、重大な財務上の損失、又は評判の失墜のリスクである。
報酬リスク	報酬リスクとは、報酬制度によって生じる損失又はその他の損害によるリスクである。
保険リスク	保険リスクとは、被保険者の余命又は健康状態によって変動する保険の結果のリスクである。
サステナビリティ・リスク	サステナビリティ・リスクとは、当行が環境、気候、人権・労働などの社会責任及びガバナンスに関連する要因による、財務上の損失や評判の失墜のリスクである。サステナビリティ・リスクは、上述の当行の従来のリスクと不可分なものであるほか、融資や投資など当行の事業を通じて発生する可能性がある。

リスク戦略

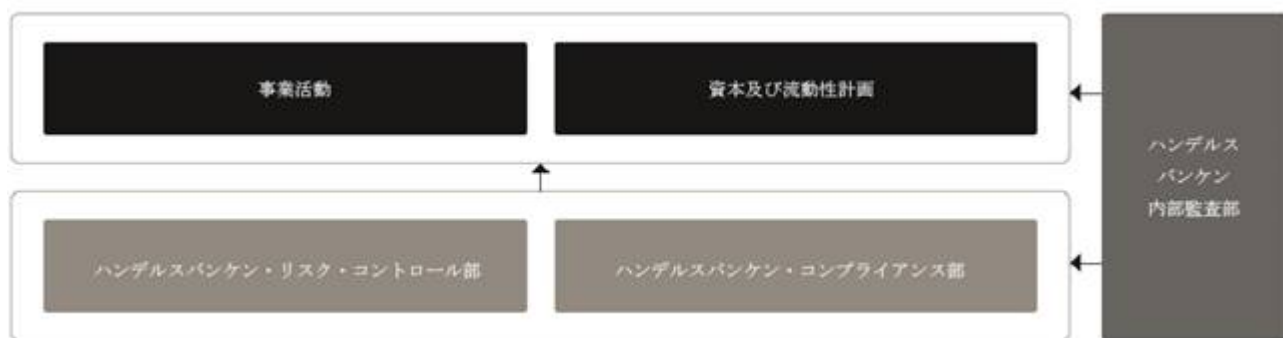
当行の業務は様々なリスクを伴うが、グループ全体で組織的にリスクの特定、測定、管理及び報告が行われている。ハンデルスバンケンのリスク制限アプローチによって、たとえ予想される取引時の経済価値が高額であったとしても、当行は高リスクの取引を慎重に回避する。

リスク戦略は、厳格なリスクカルチャーを通じて策定されているが、それは、長期的に持続可能であり、かつ当行グループのすべての分野に適用されている。そのリスクカルチャーは、当行業務のあらゆる側面で不可欠な部分であり、当行の全従業員に深く根付いているものである。当行は、事業活動において各部門がそれぞれの事業及びリスク管理の全責任を負うという明確な責任分担を特徴としている。結果として、高いリスク認識及び慎重な業務姿勢を促す強いインセンティブが働いている。但し、分散化された事業モデルは、与信プロセスの一元管理及び強力な内部統制と併用される。低いリスク許容度はまた、報酬の観点にも反映されている。報酬は基本的に固定とすることを原則としており、これはハンデルスバンケンの事業モデルの主な特徴である長期的な視点に貢献している。当行のリスク・プロファイルに重大な影響を及ぼす業務を担当する従業員に対しては、業績連動型変動報酬は支払われない。

貸付業務は地域密着型であり、緊密な顧客関係や地域に関する知識を活用して信用リスクを低水準に抑えることができている。さらに、当行グループは、金融市場において資金調達が不可能となるような財務上のストレス下における状況を含めた事業リスクに対して十分な資本を準備し、支払期限到来時の支払義務の履行が可能となるように流動資産を保有しておく必要がある。このように、ハンデルスバンケンは景気動向の影響を受けない事業モデルを目指している。

この長期に亘るリスク制限アプローチにより、当行は、景気動向及び市況にかかわらず、顧客にとって安定的かつ長期的なビジネス・パートナーになることができる。このアプローチによって、リスク管理が盤石なものになると同時に、事業や当行が事業を行っている市場が逼迫した場合でも、高水準のサービスを維持することができる。当行のリスクに対するアプローチと同じ原則が、当行が事業を行っているすべての国に適用されている。当行によるさまざまなリスク区分、資本及び流動性の管理方法に関する詳細については、注記中の該当箇所を参照のこと。

ハンデルスバンケンのリスク管理とリスク・コントロール



リスク体制

ハンデルスバンケンは、当行のリスクの管理、フォローアップ、及びコントロールに対して3つの防衛線の原則を適用している。事業活動と事業活動をサポートする部署は第一の防衛線を構築し、内外の規則に従って、事業が直面するリスクを管理し抑制する責任を有する。コントロール部署であるハンデルスバンケン・リスク・コントロール部及びハンデルスバンケン・コンプライアンス部は、第二の防衛線を構築し、当行グループのリスク、事業活動の遂行、及び適用される内外の規則や規制の遵守状況を監視・統制している。第三の防衛線はハンデルスバンケン内部監査部であり、リスク管理、コントロール部署の業務及びコーポレート・ガバナンスを含む、当行のすべての業務を点検している。当行におけるリスク管理の3つの防衛線の詳細は、ハンデルスバンケンのコーポレート・ガバナンス報告書の40-58ページ（訳注：ハンデルスバンケンの2024年の年次及びサステナビリティ報告書原文の項目名であり、本書には含まれていない。）を参照のこと。

ハンデルスバンケンの取締役会は当行のリスク管理に対する全般的な責任を有し、これに関する内部規則を策定している。取締役会は方針を定め、最高経営責任者はさまざまなリスクの管理及び報告手法を明記したガイドラインを策定している。取締役会は、与信委員会(最高経営責任者及びチーフ・クレジット・オフィサー(最高与信責任者)のほか取締役会メンバー数名から構成される)を設置し特定の与信案件の決裁を行うほか、英国委員会(取締役会会長、最高経営責任者のほか、最高財務責任者及び他の取締役会メンバーから構成される)を設置し、英国の業務に関するフォローアップを円滑に進めている。

また取締役会は、リスク委員会、監査委員会及び報酬委員会を設立し、これらの委員会は取締役会が決定する事項の準備を担っている。リスク委員会は、IRB手法に紐づけられた当行のリスク分類と推計プロセスの重要な部分に関する決定なども行っている。リスク委員会、監査委員会及び報酬委員会のメンバーは全員が取締役である。また、最高経営責任者はリスク・コンプライアンス委員会を設置し、リスク管理をフォローアップするとともに、リスク委員会や取締役会での議論に先立ち、当行の全体的なリスクについて掘り下げた議論を

行っている。これらの委員会及び下部委員会の業務についての詳細は、ハンデルスバンケンのコーポレート・ガバナンス報告書の40ページから58ページ（訳注：ハンデルスバンケンの2024年の年次及びサステナビリティ報告書原文の項目名であり、本書には含まれていない。）を参照のこと。さらに、当行には、最高財務責任者の資産負債委員会（以下、「ALCO」という。）、その傘下に流動性委員会、資本委員会、財務管理委員会及び評価委員会の各下部委員会が設置されている。

リスクと資本の状況に関する報告と監視

2024年度には、最高リスク責任者は当行グループのコンプライアンス・リスクを除いたリスク(下記参照)に関し、最高経営責任者、取締役会のリスク委員会及び取締役会に少なくとも四半期ごとに報告を行っている。この報告は最高経営責任者のリスク・コンプライアンス委員会に対しても行われている。当行グループのリスク報告書には、当行のリスク・プロファイルについての説明と分析、当行グループの重要なリスクに関する最高リスク責任者による評価と、報告と対応が必要な事業活動上の重大な不備の有無に関する評価が含まれている。また、当行グループのリスク報告書は将来予測的なリスク評価を含んでいるほか、ハンデルスバンケンが取締役会の決定したリスク戦略やリスク許容度を実行しているかについての評価ができるようにしなければならない。当行グループのリスク報告書は取締役会が決定したリスク管理方針に沿って作成されている。上述の当行グループのリスク報告に加え、ハンデルスバンケン・リスク・コントロール部及びハンデルスバンケン与信部は、カウンターパーティ・リスクを含む当行の信用リスクの状況及びIRB手法について、当行の経営幹部、最高経営責任者のリスク・コンプライアンス委員会、リスク委員会、取締役会及び関連子会社の取締役会に対し、継続的かつ年次の双方で報告を実施している。これらの報告は、残高の推移、高リスクの与信を含んでいる。また、報告には内部リスク格付プロセス及び当行のIRBモデルに関する評価並びにこれらのIRBモデルの検証結果も含む。

市場リスク及び流動性リスクの上限額に対するエクスポージャーは、ハンデルスバンケン・リスク・コントロール部が日次で取りまとめ、管理している。上限額を超過した場合には直ちに上限額に関する決定者に報告される。流動性リスクの概要は、最高財務責任者及び最高経営席には日次で、取締役会には定例取締役会で報告が行われる。ハンデルスバンケン・トレジャリー部長が議長を務める流動性委員会は、定例取締役会開催前、又は必要に応じて開催される。流動性委員会の会議では現在の流動性の状況やストレス・テストの結果、シナリオ分析のほか、当行グループの流動性の状況の評価に関連する他の情報に関して報告が行われる。

当行の資本の状況は、週次で最高財務責任者及び最高経営責任者に報告される。基準値を超過した際、又はハンデルスバンケン・キャピタル・マネジメント部長若しくは最高財務責任者が他の理由から適切であると考えられる場合、適切な対応案が最高経営責任者に提示される。中長期的な資本の状況は資本委員会が四半期ごとに取りまとめている。ハンデルスバンケン・キャピタル・マネジメント部は四半期ごと、又は当行に重大な変化が生じた際に、資本予測を全面的に更新している。

資本状況、市場リスク限度額に対するエクスポージャーや流動性の状況については、少なくとも四半期ごとに取締役会に報告が行われる。

オペレーショナル・リスクと発生したインシデントは、当行グループ全体の支店及びユニットからハンデルスバンケン・リスク・コントロール部に継続的に報告を行い、ハンデルスバンケン・リスク・コントロール部が監視を行う。次にハンデルスバンケン・リスク・コントロール部がオペレーショナル・リスクと発生したインシデントを、最高経営責任者、取締役会のリスク委員会及び取締役会に報告する。報酬制度のリスクは毎年評価され、取締役会の報酬委員会とリスク委員会に報告される。オペレーショナル・リスクの報告には、重大な事象、主要な損失、重要な未然防止策及び当行グループ・レベルで集計したリスク評価が含まれる。さらに、ハンデルスバンケン・リスク・コントロール部は、決定された対応策の実施状況についても監視を行う。

2024年度に、最高コンプライアンス責任者から最高経営責任者、取締役会のリスク委員会及び取締役会に対して、少なくとも四半期ごとにコンプライアンス・リスクに関する報告が行われた。これらの報告には金融犯罪に関連するコンプライアンス・リスクやデータ保護リスクが含まれている。報告書は最高経営責任者のリスク・コンプライアンス委員会にも提出されている。

取締役会による、リスクに関する宣言及びリスクステートメント

取締役会は以下のリスクに関する宣言及びリスクステートメントを決定した。

リスクに関する宣言:

ハンデルスバンケンは、当行の業務並びにリスク・プロファイル全般に関し、取締役会が決定した当行の事業目標、リスク許容度及びリスク戦略の点から、目的にかなった十分なリスク管理上の取決めを行っている。

リスクステートメント:

ハンデルスバンケンの事業目標は、拠点市場の競合行の平均を上回る収益性を上げることにある。この目標は、主に他行よりも顧客の満足度を高め、コストを引き下げることによって達成される。ハンデルスバンケンは地域における強固なつながりと、分散化された業務形態を有する銀行である。

当行の低いリスク許容度とは、当行の全体的なリスク・プロファイルを低くすることである。また当行グループは、短・長期的な財務上のストレス下を含め支払義務を履行できるよう、リスクに対し十分な資本を常に維持し、当局が課す要件を充足し、流動資産を保有しておく必要がある。また、当行の重要な業務に対する攻撃、混乱又は中断が発生した場合に備えて、適切な保護及び危機管理能力を有していなければならない。このリスク許容度とリスク戦略が、景気変動に左右されない事業モデルを持つというハンデルスバンケンの目標を裏打ちしている。

当行は現在も将来においても信用リスクを低水準に抑える意向である。当行の信用リスクに対する許容度は、深刻な景気後退局面においても、政府の支援なしに当行が与信供与力を十分に発揮できるであろうという期待に反映されている。

これは、地域における強固なつながりと緊密な顧客との関係を維持することにより達成される。与信残高又は利鞘の拡大を優先するあまり、信用の質を蔑ろにしてはならない。当行は、借手の返済能力が高いという要件を基準に顧客を選別している。その結果、当行の信用ポートフォリオは明らかに、損失発生確率が低いリスク・クラスに集中している。当行のこのような一貫したアプローチは、過去の当行の信用損失率が低いことに反映されている。2024年の一般顧客への貸出金に係る信用損失率は-0.02%(0.01%)であった。

当行がリスクに対して十分な資本を有し、良好な流動性を維持するよう確実にするため、取締役会は当行の資本及び流動性に対するリスク許容度を規定している。資本のリスク許容度を決定するにあたり、資本の尺度は法定要件と、単一の測定基準により当行グループのすべてのリスクを捉えた当行の経済資本(以下、「EC」という。)モデルに基づいてハンデルスバンケンが評価した所要自己資本により定められる。当行の流動性リスクに関するリスク許容度は、当行がストレス状況下でも一定期間事業を継続できるように、流動資産及び担保差入れ可能な資産を加えた流動性創出策により十分かつ多額の流動性準備金を持たなければならないという要件と、異なる期間内のキャッシュフロー純流入及び流出累計額に関する要件により決定される。

通常の状況下の普通株式等Tier1資本比率は、スウェーデン金融監督庁が通知した普通株式等Tier1比率を少なくとも1パーセンテージ・ポイント上回らなければならない。レバレッジ比率に関しては、スウェーデン金融監督庁が通知したレバレッジ比率を最低でも0.6パーセンテージ・ポイント上回らなければならない。

利用可能な財源(以下、「AFR」という。)とECとの比率は120%を上回らなければならない。

当行の評価による2024年度末現在のスウェーデン金融監督庁の普通株式等Tier1資本比率は、第二の柱に基づくスウェーデン金融監督庁の指針である0.5%を含め、14.9%(14.8%)であった。同様に、当行の評価によるレバレッジ比率は、第二の柱に基づくスウェーデン金融監督庁の指針である0.5%を含め、3.5%(3.5%)であった。

2024年度末現在の普通株式等Tier1資本比率は18.8%(18.8%)であり、AFR/EC比率は383%(366%)であった。流動性準備金を考慮し、家計及び企業からの定期預金以外の預金の一部が最初の1ヶ月以内に解約されることを仮定したうえで、当行は少なくとも1年間にわたりプラスの正味キャッシュ・フローを積み増さなければならない。

ハンデルスバンケンの流動性創出策を含む流動性準備金の総額は、こうしたストレス状況下でも3年を超える期間にわたり、流動性要件をカバーできる水準にある。当行のリスク・プロファイルは取締役会が策定したリスク許容度及びリスク戦略に準拠している。

信用リスク

信用リスクは、当行のカウンターパーティが契約上の義務を履行することができなくなるにより当行が経済的損失に直面するリスクである。

信用リスク戦略

ハンデルスバンケンの与信プロセスは、グループ全体に共通する一元化されたものであるが、個別の業務判断は分散して行われている。このような当行の与信プロセスは、現地に根ざした分権型の組織が高度な与信決定を確実に行うという理念に基づいている。当行は、支店が通常の顧客窓口となる形式の取引銀行であり、そうした顧客との取引を通じて、支店は各顧客に関する知識を深めるとともに、顧客の財政状態の実態を継続的に把握している。

ハンデルスバンケンは、マスマーケットを対象とした銀行ではなく、顧客の選別に注意を払っている。すなわち、当行は信用度の高い顧客を選別している。与信取引高の増加又は収益性の向上を優先して、質的要件を蔑ろにすることがあってはならない。当行はまた、複雑な顧客群又は複雑で不明瞭な取引の場合、若しくはESGリスクが高い場合には、融資に参画しない。

ハンデルスバンケンが特定顧客の信用リスクを評価する際は、借手の返済能力から評価しなければならない。この評価には、顧客の財政状態、顧客がさらされているリスク、顧客の財政状態の安定性に長期的に影響を及ぼす可能性のあるリスクの分析が含まれる。リスク分析には、気候関連リスクを含むESGリスク（物理的リスクと移行リスクの両方）が顧客に及ぼす影響に関する当行の評価が含まれる。返済能力の分析における最初の段階では、顧客がどのセクターに属するかを判断する。各顧客の分析に先立ち、当該セクター特有の課題やリスクを理解する必要がある。当行に良質な担保が差し入れられたからといって、返済能力の低さが受け入れられるものではない。但し、借手が返済義務を履行できない場合、当行の損失は担保によって大幅に削減される可能性がある。したがって、通常、与信は適切に担保されていなければならない。

また、支店現地のつながりや顧客との緊密な関係により、支店は即座に問題を識別し、その問題に対する措置を講じることが可能になる。このことは、多くの場合、当行がより中央集約化された不良債権管理を行うよりも迅速な措置を講じることが可能であることを意味している。支店はまた、与信決定に関する財務上の全責任を負っている。このため、返済困難に陥った顧客に発生する問題に対処し、信用損失は支店が負うことになる。現地の支店は、必要に応じてローカルの与信部門及び中央部門からの支援を受ける。当行の手法は、信用リスクに関連する取引を行うすべての従業員が、この種のリスクに対する堅実かつ系統立ったアプローチを取ることを確認している。当該アプローチは、当行の企業カルチャーの重要な一部を形成している。ここで説明している対処方法及びアプローチは、当行の信用損失の計上額が長期にわたって非常に低いことを示す重要な根拠となっている。

与信組織

ハンデルスバンケンの分散型の組織においては、顧客を担当する現地の支店が、全面的な与信責任を負っている。顧客及び与信責任は、支店長又は支店長が同業務を委任した支店の従業員にある。

ハンデルスバンケンの分散化された組織においては、与信の最終判断が支店、県域又は国レベル、取締役会の与信委員会、あるいは取締役会であっても、与信判断の根拠となる文書は与信を担当する支店が必ず作成す

る。与信判断の文書化には、借手に関する一般情報及び財務情報、返済能力の評価、貸出金及び与信条件の評価並びに担保の評価が含まれる。

各国の取締役会、当行取締役会の与信委員会及び当行の取締役会では、与信決定額とは無担保の与信の許容額を合わせた与信限度額の合計をいう。貸付総額が500万スウェーデン・クローネを超える借手については、与信限度枠の形で与信判断が行われる。個人への住宅用不動産担保付貸出金の場合、1200万スウェーデン・クローネを超える金額について限度額の要件が適用される。住宅用不動産の担保付きの住宅協同組合に対する貸出については、1200万スウェーデン・クローネを超える金額について限度額の要件が適用される。

承認された与信限度額は、通常は1年間にわたって有効である。ただし、特定の状況では、住宅協同組合に対する与信限度額は最長3年間適用可能となる。与信の継続は、新規貸出と同じ要件で手続が行われる。

支店長及び支店のほとんどの行員には、担当顧客に対する与信判断のために個別に決裁限度額が設定されている。

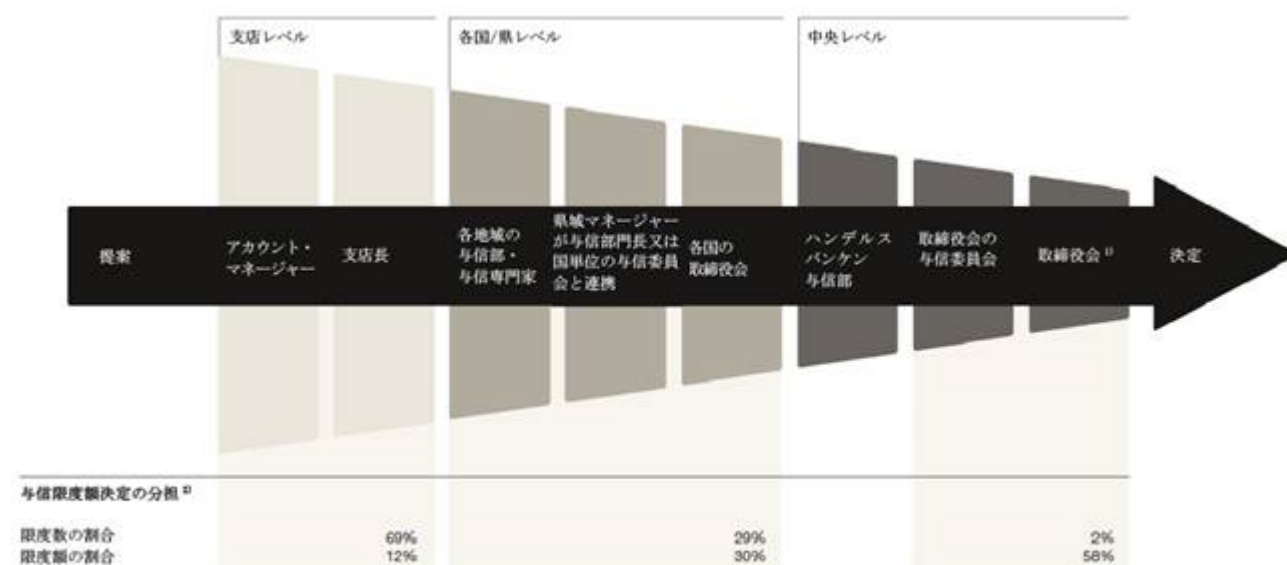
それらの与信限度額を上回る判断については、県域単位及び国単位並びに中央単位的意思決定機関に委ねられる。そうしたニーズに関する判断には、それぞれ与信に関する専門的知識が必要となる。それぞれの意思決定権者は、自らが意思決定権を有する水準に関して、また、自らに意思決定権がない場合にはより上位者の意思決定に委ねられる与信水準に関しても、与信限度額を拒否する権限を有している。与信の責任を負う意思決定プロセスに関与するすべての者は、意思決定権の水準にかかわらず、肯定的な与信限度額の決定を行うには意見を一致させなければならない。これらの者から僅かであっても疑念が提起された場合には、与信申請は却下される。大口与信案件はハンデルスバンケン与信部でレビューされ、取締役会又は取締役会の与信委員会で決定される。ただし、自動与信モデルにより行われた与信判断を除き、当該与信に責任を負う支店長の推薦がなければ、当行において与信申請が処理されることはない。

与信及び与信限度額の決定手続は下図「ハンデルスバンケンにおける与信プロセスと決定水準」に示されている。この図はまた、与信限度額の判断割合及び様々な決定階層における金額の割合を示している。

ハンデルスバンケンの分散化された組織においては、与信及び与信限度額の大部分の決定が個々の支店において行われているため、高度な与信判断を確実に行うためには適切なレビュープロセスがきわめて重要となる。支店長は、行員が下した判断が適切であるか調査し、ローカルの与信部門は、支店長が下した決定の妥当性について調査する。

このような品質レビューの目的は、当行の与信方針及び内部インストラクションの遵守を確認すること、またこれにより信用の質が維持され、与信及び与信限度額の決定には正しい与信判断及び健全なビジネス・アプローチがあることを示すことにある。同様の品質レビューは、当行のより高いレベルで行われた与信限度額決定に対しても行われている。県域マネージャーがローカルの与信部門長又は国単位の与信委員会との連携により付与した与信限度額、及び各国の取締役会が付与した与信限度額については、ハンデルスバンケン与信部によって調査が行われる。ハンデルスバンケン与信部ではまた、当行の取締役会又は取締役会が設けた与信委員会が決定した与信限度額についても調査を行う。また、ハンデルスバンケン与信部は、信用評価がグループ全体で一貫し、取締役会が決定した与信方針に則って貸付が行われるよう確実にしている。

ハンデルスバンケンの与信プロセスと決定水準



- 1) 特別目的の案件が一般目的の案件かどうかを判定したうえで、取締役及び一部の執行役員向けの与信を決定する。
2) 本部レベル及びハンデルスバンケン・ビーエルシーで決定されたソブリン及び銀行の限度額を除く。

Ecster

当行子会社であるEcster ABは、スウェーデン及びフィンランドにおいて、複数の販売会社及びコンシューマーファイナンス会社を通じて決済システムを提供していたが、同社は2023年2月より非継続となっている。2024年春以降、新規の与信や融資は行われておらず、融資残高はゼロとなっている。

信用エクスポージャー、地域別内訳、2024年

百万スウェーデン・ク ローネ	注記	スウェーデン	英国	ノルウェー	フィンランド	オランダ	その他諸国	合計
貸借対照表項目								
現金及び中央銀行預け金		63,478	125,771	4,160	14	203,650	132,936	530,009
中央銀行へのその他貸								
出金	G15	3,352		9,195				12,547
その他金融機関への貸								
出金	G16	17,552	372	49	3	396	551	18,923
一般顧客への貸出金	G17	1,616,388	246,788	320,698	75,362	104,604	8,246	2,372,086
中央銀行への担保として								
適格な利付証券	G18	172,606						172,606
債券及びその他利付証券	G18	47,508						47,508
デリバティブ商品	G22	47,042					27	47,069
合計		1,967,926	372,931	334,103	75,379	308,650	141,759	3,200,749
オフバランスシート項目								
偶発債務	G44	341,667	56,293	62,680	2,018	2,970	32,640	498,268
うち、保証等		25,955	6,949	4,666	985	78	17,121	55,754
うち、コミットメント		315,712	49,344	58,014	1,032	2,892	15,520	442,514
合計		341,667	56,293	62,680	2,018	2,970	32,640	498,268
貸借対照表項目及びオフ								
バランスシート項目		2,309,594	429,224	396,782	77,397	311,620	174,400	3,699,017

信用エクスポージャー、地域別内訳、2023年

百万スウェーデン・ク ローネ	注記	スウェーデン	英国	ノルウェー	フィンランド	オランダ	その他諸国	合計
貸借対照表項目								
現金及び中央銀行預け金		67,895	113,645	4,776	10	128,696	161,159	476,181
中央銀行へのその他貸								
出金	G15	3,464	1,131	1,687	25,863			32,145
その他金融機関への貸								
出金	G16	17,467	766	208	3	335	519	19,297
一般顧客への貸出金	G17	1,639,614	230,671	313,265	144,563	97,110	8,993	2,434,217
中央銀行への担保として								
適格な利付証券	G18	199,128						199,128
債券及びその他利付証券	G18	50,087						50,087
デリバティブ商品	G22	29,961					149	30,110
合計		2,007,615	346,214	319,937	170,438	226,141	170,820	3,241,165
オフバランスシート項目								
偶発債務	G44	321,298	47,077	61,722	23,911	3,094	28,883	485,985
うち、保証等		28,601	6,439	3,807	3,907	100	15,266	58,120
うち、コミットメント		292,697	40,638	57,915	20,004	2,995	13,616	427,865

合計	321,298	47,077	61,722	23,911	3,094	28,883	485,985
貸借対照表項目及びオフ							
バランスシート項目	2,328,914	393,291	381,658	194,349	229,235	199,703	3,727,150

上表には、貸借対照表上「売却目的で保有する資産」に分類変更されたフィンランドの処分グループが含まれている。注記G14を参照のこと。

地域別内訳とはエクスポージャーが計上されている国の内訳をいう。

減損テスト対象の一般顧客への貸出金、地域別内訳、2024年

百万スウェーデン・クローネ	総額			引当金			純額
	ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ1	ステージ2	ステージ3	
スウェーデン	1,570,355	43,122	3,633	-73	-135	-514	1,616,388
英国	231,215	12,856	2,968	-88	-95	-68	246,788
ノルウェー	312,409	7,536	956	-31	-55	-117	320,698
フィンランド	63,063	11,795	897	-16	-43	-334	75,362
オランダ	103,335	1,255	19	-1	-1	-3	104,604
その他諸国	8,213	16	52	0	0	-35	8,246
合計	2,288,590	76,580	8,525	-210	-328	-1,071	2,372,086

減損テスト対象の一般顧客への貸出金、地域別内訳、2023年

百万スウェーデン・クローネ	総額			引当金			純額
	ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ1	ステージ2	ステージ3	
スウェーデン	1,549,709	88,182	2,862	-143	-458	-538	1,639,614
英国	209,855	19,130	2,084	-162	-196	-40	230,671
ノルウェー	300,653	12,348	527	-73	-96	-94	313,265
フィンランド	131,957	11,636	1,522	-44	-66	-442	144,563
オランダ	91,603	5,505	9	-3	-1	-3	97,110
その他諸国	8,922	47	58	-1	0	-33	8,993
合計	2,292,700	136,848	7,064	-426	-819	-1,150	2,434,217

上表には、貸借対照表上「売却目的で保有する資産」に分類変更されたフィンランドの処分グループが含まれている。注記G14を参照のこと。

減損テスト対象の一般顧客への貸出金、セクター/業界別、2024年

	総額			引当金			純額
	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	
百万スウェーデン・クローネ							
個人	1,144,251	23,713	5,017	-52	-67	-588	1,172,274
うち、住宅抵当ローン	992,020	18,724	2,406	-15	-23	-58	1,013,054
うち、その他の貸出金(不動産抵当付)	129,982	3,957	1,437	-5	-5	-93	135,273
うち、その他の貸出金(個人)	22,249	1,032	1,174	-32	-39	-437	23,947
住宅共同組合	275,905	7,019	123	-1	-9	-8	283,029
うち、住宅抵当ローン	263,786	4,545	46	-1	-4	-7	268,365
不動産管理	690,119	37,156	2,565	-99	-113	-108	729,520
製造	29,983	1,634	45	-5	-6	-26	31,625
リテール	24,545	493	107	-8	-7	-69	25,061
ホテル及びレストラン	6,873	819	144	-4	-7	-23	7,802
海運	243	2	0	0	0	0	245
その他運輸及び通信	5,602	164	18	-2	-2	-15	5,765
建設	12,471	3,083	260	-16	-83	-143	15,572
電気、ガス及び水道	9,903	5	11	-1	0	-3	9,915
農業、狩猟及び林業	20,888	883	93	-4	-6	-11	21,843
その他サービス	13,943	892	44	-7	-7	-17	14,848
持株会社、投資会社、保険会社、ミューチャルファンド等	27,465	386	6	-5	-2	-4	27,846
ソブリン及び地方自治体	1,483	94		0	-1		1,576
うち、スウェーデン国債局	1,547						1,547
その他の法人向け貸付	24,916	237	92	-6	-18	-56	25,165
合計	2,288,590	76,580	8,525	-210	-328	-1,071	2,372,086

減損テスト対象の一般顧客への貸出金、セクター/業界別、2023年

百万スウェーデン・クローネ	総額			引当金			純額
	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	
個人	1,158,428	28,771	4,159	-143	-132	-589	1,190,494
うち、住宅抵当ローン	991,247	21,664	1,592	-38	-43	-44	1,014,378
うち、その他の貸出金(不動産抵当付)	139,030	5,631	1,310	-44	-40	-93	145,794
うち、その他の貸出金(個人)	28,151	1,476	1,257	-61	-49	-452	30,322
住宅共同組合	283,134	11,367	13	-4	-20	-9	294,481
うち、住宅抵当ローン	265,549	5,291	12	-1	-1	-8	270,842
不動産管理	648,688	81,834	1,984	-130	-249	-159	731,968
製造	19,210	4,150	72	-24	-105	-46	23,257
リテール	30,214	671	108	-13	-9	-62	30,909
ホテル及びレストラン	4,333	1,803	101	-4	-9	-6	6,218
海運	1,289	1	0	0	0		1,290
その他運輸及び通信	11,985	178	18	-5	-2	-15	12,159
建設	14,238	4,429	281	-56	-264	-93	18,535
電気、ガス及び水道	15,941	33	7	-2	0	-3	15,976
農業、狩猟及び林業	20,390	1,507	81	-7	-8	-3	21,960
その他サービス	20,965	818	143	-11	-9	-85	21,821
持株会社、投資会社、保険会社、ミューチャルファンド等	23,154	878	12	-6	-5	-3	24,030
ソブリン及び地方自治体	12,278	64		0	0		12,342
うち、スウェーデン国債局	6,748						6,748
その他の法人向け貸付	28,453	344	85	-21	-7	-77	28,777
合計	2,292,700	136,848	7,064	-426	-819	-1,150	2,434,217

上表には、貸借対照表上「売却目的で保有する資産」に分類変更されたフィンランドの処分グループが含まれている。注記G14を参照のこと。

信用ポートフォリオ

当行の信用ポートフォリオは、貸借対照表項目のカテゴリに基づいて、本セクションに表示されている。信用リスクに係る所要自己資本のセクションでは、自己資本比率規制(CRR)に基づく信用ポートフォリオについて説明している。

連結貸借対照表では、与信は一般顧客への貸出金又は金融機関への貸出金に分類され、オフバランスシート項目は商品種類別に分類される。「エクスポージャー」は、オンバランスシート及びオフバランスシート上の項目の合計を意味しており、一般顧客への貸出金が大宗を占めている。

ハンデルスバンケンは、長年他行と比べて低水準な信用損失を維持してきており、これが当行の収益目標の達成に貢献し、健全な財政状態が保たれている。減損の必要性を特定し限定するため、ハンデルスバンケンは定期的に信用ポートフォリオの質を評価している。信用供与にあたり、当行は既定の件数や特定セクターでの市場シェアといった目標の達成に努めるのではなく、顧客を選択する際に、与信顧客は優良でなければならないと考え、顧客を厳選している。与信残高の増大を達成しようとするあまり、品質に対する要求を蔑ろにしてはならない。これは取締役会で毎年承認される与信方針に明記されている。

過去数年間の高インフレと金利上昇を受けて、マクロ経済の状況はある程度正常化しており、ステージ1及びステージ2に分類されたエクスポージャーに対するモデルベースの引当金に反映されている。

当行は、気候シナリオに基づき、当行の4つの国内市場における信用ポートフォリオのスウェーデンの不動産エクスポージャーにおける洪水リスクを中心とした物理的な気候関連リスクを分析した。これらの分析により、当該リスクへのエクスポージャーは限定的であることが判明した。総じて、洪水リスクは他の国内市場よりも英国において高くなっている。詳細は、欧州サステナビリティ報告基準 2(ESRS 2) 影響・リスク・機会 1 (IRO-1) 気候変動(E1)を参照のこと。

また、建物のエネルギー効率化要件の導入が、当行の信用ポートフォリオに含まれるスウェーデン及びノルウェーの不動産会社並びにスウェーデンの家計にどのような影響を与えるかについて、シナリオ分析を行った。担保価値への影響の分析は、当該移行リスクに関連する信用損失のリスクが低いことを示している。詳細については、欧州サステナビリティ報告基準 2(ESRS 2) 影響・リスク・機会 1(IRO-1) 気候変動(E1)を参照のこと。

減損テスト対象の一般顧客への貸出金の地域別、セクター別内訳、2024年

百万スウェーデン・クローネ	スウェーデン	英国	ノルウェー	フィンランド	オランダ	その他諸国	合計
個人	922,364	69,358	140,493	1,539	33,772	4,748	1,172,274
うち、住宅抵当ローン	902,318		110,712	24			1,013,054
うち、その他の貸出金(不動産抵当付)	2,888	66,714	27,987	132	33,070	4,482	135,273
うち、その他の貸出金(個人)	17,158	2,644	1,794	1,383	702	266	23,947
住宅協同組合	221,688		29,186	32,155			283,029
うち、住宅抵当ローン	218,047		28,154	22,164			268,365
不動産管理	333,378	156,845	128,021	40,222	70,035	1,019	729,520
製造	25,313	2,923	2,579	35	1	774	31,625
リテール	16,537	2,577	4,815	102	8	1,022	25,061
ホテル及びレストラン	2,011	3,390	2,340		60	1	7,802
海運	228	12	5				245
その他運輸及び通信	4,549	568	250		353	45	5,765
建設	6,945	2,023	6,597	1	6		15,572
電気、ガス及び水道	6,137	322	3,226	115	115		9,915
農業、狩猟業及び林業	19,877	1,743	223	0			21,843
その他サービス	9,260	3,757	1,411	366	15	39	14,848
持株会社、投資会社、保険会社、ミューチュアルファンド等	24,167	2,847	593	36	202	1	27,846
ソブリン及び地方自治体	660		177	739			1,576
うち、スウェーデン国債局	1,547						1,547
その他の法人向け貸付	23,274	423	782	52	37	597	25,165
一般顧客への貸出金純額	1,616,388	246,788	320,698	75,362	104,604	8,246	2,372,086
うち、予想信用損失引当金合計(ステージ1-3)	-722	-250	-203	-393	-5	-35	-1,608

一般顧客への貸出金合計	1,617,110	247,038	320,901	75,755	104,609	8,282	2,373,695

減損テスト対象の一般顧客への貸出金の地域別、セクター別内訳、2023年

百万スウェーデン・クローネ	スウェー	フィン					合計
	デン	英国	ノルウェー	ランド	オランダ	その他諸国	
個人	928,455	67,678	119,527	39,633	29,800	5,401	1,190,494
うち、住宅抵当ローン	905,229		92,266	16,883			1,014,378
うち、その他の貸出金(不動産抵当付)	3,548	64,882	25,603	17,145	29,555	5,061	145,794
うち、その他の貸出金(個人)	19,678	2,796	1,658	5,605	245	340	30,322
住宅協同組合	220,222		28,339	45,920			294,481
うち、住宅抵当ローン	211,610		27,672	31,560			270,842
不動産管理	330,257	144,438	139,703	50,114	66,462	994	731,968
製造	16,511	1,457	2,634	1,036	1	1,618	23,257
リテール	23,205	2,213	4,397	335	2	757	30,909
ホテル及びレストラン	2,310	3,482	349	17	60		6,218
海運	1,162	13	4	111			1,290
その他運輸及び通信	9,497	428	1,215	557	461	1	12,159
建設	7,226	1,812	9,054	431	7	5	18,535
電気、ガス及び水道	9,946	303	3,619	1,997	111		15,976
農業、狩猟業及び林業	20,049	1,511	240	156		4	21,960
その他サービス	14,229	4,231	2,527	807	22	5	21,821
持株会社、投資会社、保険会社、ミューチュアルファン ド等	19,857	2,946	506	623	96	2	24,030
ソブリン及び地方自治体	10,238		222	1,882			12,342
うち、スウェーデン 国債局	6,748						6,748
その他の法人向け貸付	26,451	159	929	944	88	206	28,777
一般顧客への貸出金純額	1,639,614	230,671	313,265	144,563	97,110	8,993	2,434,217
うち、予想信用損失引当金 合計(ステージ1-3)	-1,139	-399	-264	-552	-7	-35	-2,395
一般顧客への貸出金合計	1,640,753	231,070	313,529	145,115	97,117	9,028	2,436,612

上表には、貸借対照表上「売却目的で保有する資産」に分類変更されたフィンランドの処分グループが含まれている。注記G14を参照のこと。

担保

与信には通常、十分な担保を確保することが当行の与信方針に定められている。当行に良質な担保が差し入れられたことが理由で、返済能力の低さが受け入れられるわけではない。但し、借手が返済義務を履行できない場合、当行の損失は担保によって大幅に削減される可能性がある。

信用リスクを限定するための当行の対策には、顧客からの差入担保が含まれる。当行が信用リスクを低減するための主な手段は、住宅用不動産や他の不動産などの不動産担保、資産に係る浮動担保（フローティングチャージ）、保証（保証者によるコミットメントを含む）の受入れやネットィング契約の利用である（詳細はカウンターパーティ・リスクのセクションを参照のこと）。

不動産ファイナンスに関しては、与信は不動産の形式により担保でカバーするという基本方針が適用されている。不動産を担保としたエクスポージャーについては、信用エクスポージャーを担保の市場価値で除すことにより借入金比率(LTV)が算定される。当行は不動産担保貸出の最大額に上限を設ける内部の進言及び外部規制に従っている。市場価値の見積額に基づいて、不動産担保の価値は少なくとも毎年見直されている。市場環境が大きく変化した場合には、より頻繁に見直しが行われる。通常、借手が深刻な返済困難に直面しない限り担保は利用されないため、担保価値の評価は、支払不能となったことによる、不利な状況での売却における予想担保価値に基づいて行われる。

企業に対する無担保の長期信用コミットメントにおいて、当行は、多くの場合、業績不振の際に当行が貸付の再交渉又は契約解除が可能となる特別な与信条件で顧客と契約を締結する。

特別な状況において、当行は債権の信用リスクをヘッジするためクレジット・デリバティブ又は金融保証を購入する場合があるが、これは当行の通常の貸出プロセスの一部ではない。

金融機関に対する貸出の少数部分は、リバース・レポにより構成されている。リバース・レポは、当行がリバース・レポに基づいて利付証券又は株式を特別な契約(証券が特定の日に特定の価格で売り手に再売却される契約)で購入する買戻取引である。ハンデルスバンケンは、リバース・レポを担保付貸出とみなしている。

信用リスクに対する所要自己資本の算定に用いられる担保のみが以下の表「信用エクスポージャー担保別」に記載されている。

信用エクスポージャー担保別、2024年

百万スウェーデン・ クローネ	注記	住宅用 不動産 ¹⁾	その他の 不動産	ソブリ ン、地方 自治体及 び県域自 治体 ²⁾	自己の債 務の担保 として差 し入れた 保証 ³⁾	金融 担保	資産 担保	その他の 担保	無担保	合計
貸借対照表項目										
現金及び中央銀行預け金				530,009						530,009
中央銀行へのその他の貸 出金	615			12,547						12,547
その他金融機関への 貸出金	616								18,923	18,923
一般顧客への貸出金	617	1,780,542	384,401	40,257	7,015	12,419	16,513	6,080	124,859	2,372,086
中央銀行への担保として 適格な利付証券	618			170,604					2,002	172,606
債券及びその他利付証券	618			3,784					43,724	47,508
デリバティブ商品	622	391	1,138	6,853	383	87			38,217	47,069
合計		1,780,933	385,539	764,054	7,398	12,506	16,513	6,080	227,725	3,200,749
オフバランスシート項目										
偶発債務	644	86,470	61,944	26,041	2,778	10,319	563	6,943	303,210	498,268
うち、保証等		262	556	2,401	188	777		596	50,974	55,754
うち、コミットメント		86,208	61,388	23,640	2,590	9,542	563	6,347	252,236	442,514
合計		86,470	61,944	26,041	2,778	10,319	563	6,943	303,210	498,268
貸借対照表項目及びオフ バランスシート項目										
合計		1,867,403	447,483	790,095	10,176	22,825	17,076	13,023	530,935	3,699,017

信用エクスポージャー担保別、2023年

百万スウェーデン・ クローネ	注記	住宅用 不動産 ¹⁾	その他の 不動産	ソプリ ン、地方 自治体及 び県域自 治体 ²⁾	自己の債 務の担保 として差 し入れた 保証 ³⁾	金融 担保	資産 担保	その他の 担保	無担保	合計
貸借対照表項目										
現金及び中央銀行預け金				476,181						476,181
中央銀行へのその他の貸 出金	G15			32,145						32,145
その他金融機関への 貸出金	G16								19,297	19,297
一般顧客への貸出金	G17	1,802,548	381,314	83,954	12,275	13,072	18,300	7,181	115,573	2,434,217
中央銀行への担保として 適格な利付証券	G18			197,348	543				1,237	199,128
債券及びその他利付証券	G18			3,838	239				46,010	50,087
デリバティブ商品	G22			442		43			29,625	30,110
合計		1,802,548	381,314	793,908	13,057	13,115	18,300	7,181	211,742	3,241,165
オフバランスシート項目										
偶発債務	G44	71,689	57,200	27,281	3,325	12,720	376	7,504	305,890	485,985
うち、保証等		525	1,061	2,239	228	918		795	52,354	58,120
うち、コミットメント		71,164	56,139	25,042	3,097	11,802	376	6,709	253,536	427,865
合計		71,689	57,200	27,281	3,325	12,720	376	7,504	305,890	485,985
貸借対照表項目及びオフ バランスシート項目										
合計		1,874,237	438,514	821,189	16,382	25,835	18,676	14,685	517,632	3,727,150

- 1) 住宅協同組合のアパートを含む。
2) 直接のソプリン・エクスポージャー及び政府保証をいう。
3) 政府保証を含まない。

上表には、貸借対照表上「売却目的で保有する資産」に分類変更されたフィンランドの処分グループが含まれている。注記G14を参照のこと。

減損テスト対象の貸借対照表項目及びオフバランスシート項目、担保別、2024年

		総額			引当金		
百万スウェーデン・クローネ	注記	ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ1	ステージ2	ステージ3
貸借対照表項目							
現金及び中央銀行預け金		530,003					
ソブリン、地方自治体及び県域自治体 ¹⁾		530,003					
中央銀行へのその他の貸出金	G15	12,547					
ソブリン、地方自治体及び県域自治体 ¹⁾		12,547					
その他金融機関への貸出金	G16	18,872	55		-1	-3	
ソブリン、地方自治体及び県域自治体 ¹⁾							
自己の債務の担保として差し入れた保証 ²⁾							
無担保		18,872	55		-1	-3	
一般顧客への貸出金	G17	2,288,590	76,580	8,525	-210	-328	-1,071
住宅用不動産 ³⁾		1,722,581	52,800	5,560	-76	-119	-204
その他の不動産		372,266	10,995	1,474	-59	-86	-189
ソブリン、地方自治体及び県域自治体 ¹⁾		33,223	7,026	24	-1	-15	0
自己の債務の担保として差し入れた保証 ²⁾		6,778	242		-2	-3	
金融担保		11,680	743	1	-2	-3	0
資産担保		15,734	774	68	-17	-30	-16
その他担保		5,423	634	167	-4	-23	-117
無担保		120,905	3,366	1,231	-49	-49	-545
中央銀行への担保として適格な利付証券	G18						
債券及びその他利付証券	G18	13,259			-2		
合計		2,863,270	76,635	8,525	-213	-331	-1,071
オフバランスシート項目							
偶発債務	G44	292,278	6,282	159	-39	-90	-26
うち、保証等		54,384	1,315	55	-6	-12	-26
住宅用不動産 ³⁾		233	23	6	0	0	-5
その他の不動産		539	15	2	0	0	-1
ソブリン、地方自治体及び県域自治体 ¹⁾		2,391	10		0	0	
自己の債務の担保として差し入れた保証 ²⁾		166	22		0	0	
金融担保		693	79	4	0	0	0
資産担保							
その他担保		509	73	13	0	-1	-6
無担保		49,853	1,093	30	-6	-11	-14
うち、コミットメント		237,894	4,967	104	-33	-78	0
住宅用不動産 ³⁾		85,291	882	34	-8	-2	0
その他の不動産		60,816	551	21	-3	-3	0
ソブリン、地方自治体及び県域自治体 ¹⁾		23,632	5	3	0	0	0
自己の債務の担保として差し入れた保証 ²⁾		2,555	35		0	-4	
金融担保		9,430	113		0	-1	
資産担保		554	9		0	0	
その他担保		5,721	604	22	-2	-18	0
無担保		49,895	2,768	24	-20	-50	0
合計		292,278	6,282	159	-39	-90	-26
貸借対照表項目及びオフバランスシート項目							
合計		3,155,548	82,917	8,684	-252	-421	-1,097

1) 直接のソブリン・エクスポージャー及び政府保証をいう。

2) 政府保証を含まない。

3) 住宅協同組合のアパートを含む。

減損テスト対象の貸借対照表項目及びオフバランスシート項目、担保別、2023年

		総額			引当金		
百万スウェーデン・クローネ	注記	ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ1	ステージ2	ステージ3
貸借対照表項目							
現金及び中央銀行預け金		476,162					
ソブリン、地方自治体及び県域自治体 ¹⁾		476,162					
中央銀行へのその他の貸出金	G15	32,145					
ソブリン、地方自治体及び県域自治体 ¹⁾		32,145					
その他金融機関への貸出金	G16	19,289	11		-1	-1	
ソブリン、地方自治体及び県域自治体 ¹⁾							
自己の債務の担保として差し入れた保証 ²⁾							
無担保		19,289	11		-1	-1	
一般顧客への貸出金	G17	2,292,700	136,848	7,064	-426	-819	-1,150
住宅用不動産 ³⁾		1,711,455	87,744	4,001	-155	-313	-184
その他の不動産		349,131	31,606	994	-109	-174	-134
ソブリン、地方自治体及び県域自治体 ¹⁾		78,564	5,040	365	-2	-13	0
自己の債務の担保として差し入れた保証 ²⁾		8,979	3,330	2	-5	-31	0
金融担保		12,252	829	2	-6	-5	0
資産担保		17,165	1,158	64	-27	-43	-17
その他担保		6,322	868	302	-15	-65	-231
無担保		108,832	6,273	1,334	-107	-175	-584
中央銀行への担保として適格な利付証券	G18						
債券及びその他利付証券	G18	12,709			-2		
合計		2,833,004	136,859	7,064	-429	-820	-1,150
オフバランスシート項目							
偶発債務	G44	284,693	11,262	164	-94	-203	-42
うち、保証等		56,464	1,596	60	-11	-40	-22
住宅用不動産 ³⁾		439	78	8	0	-3	-4
その他の不動産		998	62	1	0	-1	0
ソブリン、地方自治体及び県域自治体 ¹⁾		2,168	70	1	0	-1	0
自己の債務の担保として差し入れた保証 ²⁾		147	80		0	-1	
金融担保		802	113	3	0	-1	0
資産担保							
その他担保		699	88	7	0	-3	0
無担保		51,211	1,105	40	-11	-30	-18
うち、コミットメント		228,229	9,666	104	-83	-163	-20
住宅用不動産 ³⁾		69,911	1,207	46	-11	-6	-18
その他の不動産		54,519	1,613	8	-7	-12	0
ソブリン、地方自治体及び県域自治体 ¹⁾		24,955	86		0	0	
自己の債務の担保として差し入れた保証 ²⁾		2,296	800		-1	-6	
金融担保		11,612	186	3	0	-1	0
資産担保		353	21	2	0	-1	0
その他担保		5,860	841	8	-8	-49	-1
無担保		58,723	4,912	37	-56	-88	-1
合計		284,693	11,262	164	-94	-203	-42
貸借対照表項目及びオフバランスシート項目							
合計		3,117,697	148,121	7,228	-523	-1,023	-1,192

1) 直接のソブリン・エクスポージャー及び政府保証をいう。

2) 政府保証を含まない。

3) 住宅協同組合のアパートを含む。

上表には、貸借対照表上「売却目的で保有する資産」に分類変更された、フィンランドの処分グループが含まれている。注記G14を参照のこと。

信用リスクの集中

ハンデルスバンケンの支店は、健全な信用力を有する優良顧客と長期的な関係を築くことに大きな重点を置いている。支店は優良顧客を見出した場合、その顧客が属するセクターに対する当行全体のエクスポージャーの大きさに拘わらず、この顧客と取引を行うことができる。その結果、当行の取引は相対的に特定のセクターに集中する傾向がある。しかしながら、当行は信用ポートフォリオのパフォーマンスと質を監視し、様々な事業セクターや地域に対する集中を算定している。当行はまた、主要な個々のカウンターパーティに対するエクスポージャーを測定し監視している。当行はまた、信用リスク評価を補完するために、個々のカウンターパーティに対する最大信用エクスポージャーを制限する特別な限度額も適用している。リスクの増加が想定される特定のセクターやカウンターパーティに信用ポートフォリオが集中している場合には、この集中が監視される。集中リスクは、当行の信用リスクに対する経済資本の算定や自己資本充実度の内部評価で実施されるストレステストに加え、当行のリスク許容度に関するフォローアップの一環として特定される。信用ポートフォリオにおけるリスクの集中に関し、第二の柱に基づき、スウェーデン金融監督庁も別途、所要自己資本を計算している。これにより、ハンデルスバンケンは、リスクの集中も考慮した十分な資本を有していることを確認している。リスクの集中が過剰であると判断される場合には、当行は様々なリスク軽減策を用いる機会及び能力がある。

住宅ローン及び住宅協同組合への貸付に加え、ハンデルスバンケンは不動産管理部門に関してかなりの貸付業務を行っており、その金額は730(732)十億スウェーデン・クローネである。ここでの「不動産管理部門」とは、リスク評価上「不動産会社」として分類されているすべての会社を指す。他の業界で事業を行っている企業グループの不動産管理子会社が、当該企業グループの事業不動産を管理することは一般的に行われているが、そうした不動産会社もここでは不動産管理部門に属しているとみなされる。但し、カウンターパーティの返済能力は不動産管理以外の事業活動によって決定されるため、そうした場合に存在する信用リスクは、不動産関連のリスクのみではない。さらに、相当な不動産を保有している個人について、リスク評価では不動産会社として分類される。

減損テスト対象の一般顧客への貸出金、不動産管理、2024年

百万スウェーデン・クローネ	総額			引当金			純額
	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	
スウェーデンにおける貸出金							
国有不動産会社	11,200			0			11,200
地方自治体が所有する不動産会社	8,378	132		0	0		8,510
住宅用不動産会社	149,035	12,928	159	-7	-21	-20	162,074
うち、住宅抵当ローン	140,174	12,436	155	-6	-21	-17	152,721
その他の不動産管理	147,033	4,415	191	-5	-8	-32	151,594
うち、住宅抵当ローン	84,124	2,301	65	-2	-4	-10	86,474
合計	315,646	17,475	350	-12	-29	-52	333,378
スウェーデン国外における貸出金							
英国	147,258	8,151	1,567	-70	-58	-3	156,845
ノルウェー	124,504	3,073	500	-15	-8	-33	128,021
フィンランド	32,794	7,318	148	-1	-17	-20	40,222
オランダ	68,898	1,139		-1	-1		70,035
その他諸国	1,019			0			1,019
合計	374,473	19,681	2,215	-87	-84	-56	396,142
一般顧客への貸出金に占める不動産							
管理合計	690,119	37,156	2,565	-99	-113	-108	729,520

減損テスト対象の一般顧客への貸出金、不動産管理、2023年

百万スウェーデン・クローネ	総額			引当金			純額
	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	
スウェーデンにおける貸出金							
国有不動産会社	11,306			0			11,306
地方自治体が所有する不動産会社	7,311	515		0	0		7,826
住宅用不動産会社	129,563	30,200	64	-7	-68	-13	159,739
うち、住宅抵当ローン	121,606	28,574	56	-6	-64	-7	150,159
その他の不動産管理	131,093	20,222	164	-11	-30	-52	151,386
うち、住宅抵当ローン	72,794	10,836	63	-3	-17	-21	83,652
合計	279,273	50,937	228	-18	-98	-65	330,257
スウェーデン国外における貸出金							
英国	129,672	13,876	1,132	-87	-129	-26	144,438
ノルウェー	133,310	6,364	91	-22	-12	-28	139,703
フィンランド	44,389	5,249	522	-2	-9	-35	50,114
オランダ	61,056	5,408		-1	-1		66,462
その他諸国	988		11	0		-5	994
合計	369,415	30,897	1,756	-112	-151	-94	401,711
一般顧客への貸出金に占める不動産管理合計							
	648,688	81,834	1,984	-130	-249	-159	731,968

上表には、貸借対照表上「売却目的で保有する資産」に分類変更された、フィンランドの処分グループが含まれている。注記G14を参照のこと。

不動産貸出の大半は、借入金比率(LTV)低い不動産抵当貸付で構成されており、当行の信用損失リスクを軽減する。さらに、不動産貸出の大部分は、借手のキャッシュ・フローが堅調であり、信用力が非常に高い、国有の不動産会社、地方自治体所有の住宅会社及びその他の住宅関連会社向けである。したがって、不動産セクターへの貸出の大部分は、返済困難に陥る確率が非常に低い会社に対する貸出である。当行の不動産セクターに対するエクスポージャーは、下表に明記されている。

当行においてリスク区分が5(正常リスク)よりも低い格付の不動産関連のカウンターパーティ(不動産管理会社及び住宅協同組合)に対するエクスポージャーは非常に低いものになっている。スウェーデンにおける不動産貸出全体の94.6(93.8)%は、リスク区分が5以上の水準となっている。同様に、不動産貸出に占めるリスク区分が5以上のエクスポージャーは、ノルウェーでは98.6(97.9)%でありフィンランドでは96.2(97.3)%となっている。英国及びオランダに関する所要自己資本は、所定のリスク加重を用いる標準的手法を用いて計算されており、リスク区分は所要自己資本の算定とは関連していない。リスク区分が正常よりも低い水準にあるカウンターパーティのうち、大半がリスク区分6及び7に属しており、ごく一部がより高いリスク区分である8及び9に属している。ハンデルスバンケンのリスク区分に関する情報については、注記G2「信用リスクに関する所要自己資本の算定」セクションを参照のこと。

ハンデルスバンケンの不動産会社向け貸出は過去1年間で減少した。現地通貨ベースでは、スウェーデン、英国及びオランダで堅調に推移し、ノルウェー及びフィンランドのポートフォリオは減少した。ハンデルスバンケンは、返済能力、LTV及び担保の質に関して、すべての市場で同一の厳格な要件を適用している。

一般顧客への貸出金の内訳、不動産管理、担保の種類及び国別（総額）

百万スウェーデン・ クローネ	2024年					2023年				
	貸出金	国及び地 方自 治体 ¹⁾	住宅用 不動産	商業用 不動産 及び その他の 担保	無担保	貸出金	国及び地 方自 治体 ¹⁾	住宅用 不動産	商業用 不動産 及び その他の 担保	無担保
スウェーデン	333,471	20,219	182,053	124,229	6,972	330,438	19,667	182,787	118,746	9,238
英国	156,976	3	81,792	72,696	2,485	144,680	6	80,478	63,178	1,018
ノルウェー	128,077	23	18,454	102,125	7,475	139,765	24	19,345	111,245	9,151
フィンランド	40,260	28,962	5,204	6,071	23	50,160	30,360	7,598	11,683	519
オランダ	70,037		47,527	22,428	82	66,464		47,829	18,594	41
その他諸国	1,019		445	574		999		431	557	11
合計	729,840	49,207	335,475	328,123	17,037	732,506	50,057	338,468	324,003	19,978

1) 政府及び地方自治体、又は政府及び地方自治体が保証する不動産融資

上表には、貸借対照表上「売却目的で保有する資産」に分類変更されたフィンランドの処分グループが含まれている。注記G14を参照のこと。

一般顧客への貸出金の内訳、不動産管理、リスク区分及び国別、2024年

百万スウェーデン・クローネ	スウェーデン	英国	ノルウェー	フィンランド	オランダ	その他諸国	合計	%
リスク区分								
1	11,282		601	7,978			19,861	2.72
2	72,529		10,041	4,391			86,961	11.92
3	121,031		70,408	12,424			203,863	27.93
4	72,310		33,565	5,683			111,558	15.29
5	38,125		11,704	8,241			58,070	7.96
6	16,035		944	679			17,658	2.42
7	1,132		297	77			1,506	0.21
8	176		2	95			273	0.04
9	336		9	543			888	0.12
デフォルト	350		500	148			998	0.14
標準的手法 ¹⁾	165	156,976	6	1	70,037	1,019	228,204	31.27
合計	333,471	156,976	128,077	40,260	70,037	1,019	729,840	100

一般顧客への貸出金の内訳、不動産管理、リスク区分及び国別、2023年

百万スウェーデン・クローネ	スウェーデン	英国	ノルウェー	フィンランド	オランダ	その他諸国	合計	%
リスク区分								
1	10,967		637	11,895			23,499	3.21
2	71,060		16,990	5,590			93,640	12.78
3	108,232		71,103	14,488			193,823	26.46
4	78,149		39,482	11,985			129,616	17.69
5	41,524		8,554	4,760			54,838	7.49
6	16,619		2,571	510			19,700	2.69
7	3,137		299	176			3,612	0.49
8	129		2	145			276	0.04
9	390		9	20			419	0.06
デフォルト	228		91	522			841	0.11
標準的手法 ¹⁾	3	144,680	27	69	66,464	999	212,242	28.97
合計	330,438	144,680	139,765	50,160	66,464	999	732,506	100

1) 標準的手法は所定のリスク加重を用いているため、リスク区分には分類されていない。

上表には、貸借対照表上「売却目的で保有する資産」に分類変更された、フィンランドの処分グループが含まれている。注記G14を参照のこと。

一般顧客への貸出金の内訳、不動産管理、リスク区分、担保の種類及び無担保別、2024年

百万スウェーデン・クローネ	貸出金	担保				
		政府及び地方自治体からの				
		住宅用不動産	商業用不動産	保証 ¹⁾	その他の担保	無担保
リスク区分						
1	19,861	5,388	3,076	9,959	680	758
2	86,961	43,464	23,159	17,683	101	2,554
3	203,863	66,445	118,702	10,464	1,345	6,906
4	111,558	47,466	57,610	4,227	184	2,071
5	58,070	28,188	22,547	5,924	726	688
6	17,658	12,918	3,039	500	24	1,177
7	1,506	989	404		7	106
8	273	87	123	47	2	14
9	888	419	57	400	3	9
デフォルト	998	345	633		1	19
標準的手法 ¹⁾	228,204	129,766	95,382	3	318	2,735
合計	729,840	335,475	324,732	49,207	3,391	17,037

一般顧客への貸出金の内訳、不動産管理、リスク区分、担保の種類及び無担保別、2023年

百万スウェーデン・クローネ	貸出金	担保				
		政府及び地方自治体からの				
		住宅用不動産	商業用不動産	保証 ¹⁾	その他の担保	無担保
リスク区分						
1	23,499	6,349	4,293	11,704	369	784
2	93,640	43,522	29,089	18,782	140	2,107
3	193,823	68,451	107,695	8,984	464	8,229
4	129,616	49,143	67,137	7,120	811	5,405
5	54,838	27,943	21,952	2,577	662	1,704
6	19,700	11,414	7,424	376	13	473
7	3,612	2,230	1,257	54	8	63
8	276	87	68	118		3
9	419	350	51		5	13
デフォルト	841	228	240	336	3	34
標準的手法 ¹⁾	212,242	128,751	81,861	6	461	1,163
合計	732,506	338,468	321,067	50,057	2,936	19,978

1) 標準的手法は所定のリスク加重を用いているため、リスク区分には分類されていない。

上表には、貸借対照表上「売却目的で保有する資産」に分類変更された、フィンランドの処分グループが含まれている。注記G14を参照のこと。

信用リスクに関する所要自己資本の算定

リスク格付制度

信用リスクに対する所要自己資本は、欧州委員会委任規則575/2013（CRR）に従い標準的手法及びIRB手法に基づいて算定される。標準的手法では、信用リスクの所要自己資本の算定に用いるリスク加重が同規則に定められている。これに対し、IRB手法では金融機関が所要自己資本の算定に際して自行のIRBモデル(内部リスク格付制度)を使用することでリスク・パラメーターを見積もる。IRB手法を適用する際には、基礎的手法と先進的手法という二つの異なる手法がある。基礎的IRB手法では、デフォルト確率（以下、「PD」という。）は当行独自のIRBモデルを用いて算出され、デフォルト時損失率（以下「LGD」という）及び掛目（以下、「CCF」という。）の数値は規則で定められている。CCFはオフ・バランスシート・コミットメントのエクスポージャー額の計算に用いられる。先進的IRB手法では、PD、LGD、CCFはそれぞれ、当行独自のIRBモデルを用いて計算される。ハンデルスバンケンの内部リスク格付制度（IRB手法）は、当行の信用リスクの分類及び定量化に対応するためのいくつかの異なるシステム、手法、プロセス及び手順より構成されている。

顧客の信用評価を行う際、顧客には格付が割り当てられる。この格付と他のリスク格付基準とを併せ、エクスポージャーのIRB手法のリスク区分への割り当て方法を決定している。サステナビリティも法人の格付けプロセスにおいては考慮される。

格付には、財務逼迫リスク（A）と、こうした逼迫に対するカウンターパーティの経済的耐久力（B）という二つの側面があり、極めて低いリスクからきわめて高いリスクまでを5段階で評価している。

IRB手法の適用にあたって、この格付は各国政府、中央銀行、政府系機関及び地方自治体に対するエクスポージャー（ソブリン・エクスポージャー）同様、法人及び機関に対するエクスポージャーに関しても、内部リスク区分に変換されている(A+B-1)。ただし、政府系機関及び地方自治体では、リスク区分は(A+B)又は9のいずれか低い方に設定される。したがって、ソブリンと同格の地方自治体には、ソブリンよりも低いリスク区分が割り当てられる。これは、政府系機関や地方自治体のリスクがソブリン・エクスポージャーよりも高いことを考慮したものである。

リテール・エクスポージャーの格付は1から5までの5段階で構成され、法人エクスポージャーのようにリスク区分に直接転換されるわけではない。代わりに、異なるエクスポージャーが特定の要因に基づいて、いくつかのより小規模なグループに分類される。こうした要因には、与信の種類、カウンターパーティの返済履歴のほか、複数の借手の有無などが含まれる。平均的なデフォルト確率は各小規模なグループについて算定され、これに基づき、グループごとに10段階のリスク区分のいずれかに分類される。個人向けエクスポージャーと中小企業向けエクスポージャーには異なるモデルが使用されている（どちらもリテール・エクスポージャーのカテゴリーに分類されている）が、原則は同じである。

IRB手法に用いられるリスク区分は、このように1から10までの段階に分類される。

当行のエクスポージャーの大半はリスク区分1-4に属し、これは、信用ポートフォリオの平均的なリスク水準が正常リスクとして評価されるレベルよりも著しく低いことを意味している。リスク区分5は正常リスクに相当し、リスク区分10はカウンターパーティがデフォルトに陥っている状態である。

エクスポージャー区分

エクスポージャー区分は信用リスク算定に用いる手法により異なる。標準的手法で算定されるエクスポージャーは、17の異なるエクスポージャー区分に分類される。一方、IRB手法では7つのエクスポージャー区分が用いられる。

IRB手法による全体のエクスポージャー区分は、ソブリン・エクスポージャー、機関エクスポージャー、法人エクスポージャー、リテール・エクスポージャー、株式エクスポージャー及び証券化ポジションのエクスポー

ジャーからなる。さらに、有形固定資産などのカウンターパーティによる行為が一切必要とされない非信用債務資産がある。

政府、中央銀行、政府系機関及び地方自治体に対するエクスポージャーはソブリン・エクスポージャーに分類される。機関エクスポージャーは、銀行及びその他の金融機関並びに特定の投資会社に分類されるカウンターパーティに対するエクスポージャーをいう。

リテール・エクスポージャーには、個人及び中小企業の両方に対するエクスポージャーが含まれ、この場合の当行グループのエクスポージャー合計は5百万スウェーデン・クローネを超えないものとする（住宅抵当貸付を除く）。リテール・エクスポージャーは、不動産貸付エクスポージャーとその他のリテール・エクスポージャーの二つの小区分に分類される。

法人エクスポージャーは、当行グループのエクスポージャー合計が5百万スウェーデン・クローネ超（住宅資金融資を除く）の法人、売上が50百万スウェーデン・クローネ超の企業、当行グループのエクスポージャー合計が5百万スウェーデン・クローネ超の中小企業などの金融機関以外に対するエクスポージャーをいう。一般的な金融機関以外の企業とは別に、このエクスポージャー区分には保険会社、住宅共同組合のエクスポージャー及び「スペシャライズド・レンディング」形式によるエクスポージャーが含まれる。

株式エクスポージャーは、トレーディング勘定に含まれない当行の株式保有をいう。

標準的手法を用いる場合には、当行の資産は、国際開発銀行エクスポージャー、国際機関エクスポージャー、機関エクスポージャー、法人エクスポージャー、リテール・エクスポージャー、不動産担保付エクスポージャー、デフォルトエクスポージャー、その他及び株式エクスポージャーのエクスポージャー区分に分類される。

リスク区分別信用エクスポージャー、2024年

百万スウェーデン・ク ローネ	貸借対照表項目						オフバランスシート項目		
	その他金融		中央銀行へ				偶発債務	債務	合計
	一般顧客への 貸出金	機関への貸 出金	現金及び中央 銀行預け金	その他の 貸出金	デリバティブ 商品	利付証券			
リスク区分									
1	482,720	4,337	404,232	12,547	19,948	164,741	8,605	54,529	1,151,659
2	545,789	4,967			16,974	52,362	16,836	109,889	746,817
3	560,238	218			5,673	909	16,783	117,450	701,271
4	235,433	2			1,385		7,006	45,701	289,527
5	107,202	57			287		3,787	18,985	130,318
6	26,641				40		103	6,304	33,088
7	29,152				50		927	7,226	37,355
8	931						33	5,207	6,171
9	8,185						6	2,795	10,986
デフォルト	4,109						37	58	4,204
標準的手法 ¹⁾	371,686	9,342	125,771		2,712	2,102	1,631	74,370	587,614
合計	2,372,086	18,923	530,003	12,547	47,069	220,114	55,754	442,514	3,699,010

リスク区分別信用エクスポージャー、2023年

百万スウェーデン・ク ローネ	貸借対照表項目						オフバランスシート項目		
	その他金融		中央銀行へ				偶発債務	債務	合計
	一般顧客への 貸出金	機関への貸 出金	現金及び中央 銀行預け金	その他の 貸出金	デリバティブ 商品	利付証券			
リスク区分									
1	541,178	97	362,536	31,014	5,988	193,697	5,333	54,492	1,194,335
2	555,325	17,131			13,612	54,399	20,548	105,764	766,779
3	548,122	1,803			5,160	1,119	20,053	110,167	686,424
4	268,250	1			1,830		8,440	51,496	330,017
5	80,479	3			257		1,612	21,136	103,487
6	35,688	2			61		161	6,463	42,375
7	36,405				120		690	5,928	43,143
8	1,490						43	3,368	4,901
9	8,656						13	2,422	11,091
デフォルト	3,398						28	127	3,553
標準的手法 ¹⁾	355,226	260	113,645	1,131	3,082		1,199	66,502	541,045
合計	2,434,217	19,297	476,181	32,145	30,110	249,215	58,120	427,865	3,727,150

1) 標準的手法は所定のリスク加重を用いているため、リスク区分には分類されていない。

上表には、貸借対照表上「売却目的で保有する資産」に分類変更された、フィンランドの処分グループが含まれている。注記G14を参照のこと。

リスク分類方法

当行は、信用リスクを定量化するために、デフォルト確率（PD）、デフォルト時エクスポージャー（以下、「EAD」という。）、デフォルト時損失率（LGD）を算定している。借手が重要な支払を90日超延滞している場合、又は借手が当行に対する債務を履行する可能性が低いと当行がみなす場合に、デフォルト（債務不履行）が発生したと考えられる。PD値はパーセントで表され、例えば、PD値が0.5%である場合は、PD値が同一である200人のうちの1人の借手が、1年以内にデフォルトに陥ると予想されることを意味する。

カウンターパーティに対して用いられる事業評価テンプレートに基づき、法人エクスポージャーは4つのカウンターパーティ区分に、ソブリン・エクスポージャーは2つのカウンターパーティ区分に分類される。PDは、リスク区分及びカウンターパーティの分類別にそれぞれ算定される。基礎的IRB手法に従って所要自己資本を算定する必要があるエクスポージャーについては、LGDに規定値を適用する。ここで使用される可能性のある規定値は、各エクスポージャーに対して差し入れられた担保によって決定されている。

リテール・エクスポージャーにも同様に、リスク区分ごとに平均デフォルト率が算定されている。個人向けエクスポージャーと中小規模企業向けエクスポージャーには異なるモデルが使用されている（どちらもリテール・エクスポージャーのカテゴリーに分類されている）が、原則は同じである。

リテール・エクスポージャー並びに中規模企業、不動産会社及び住宅協同組合に対する法人エクスポージャーについては、自行の損失実績を用いてLGDを算定する。先進的IRB手法を使用して自己資本比率を算定する必要がある大企業に対するエクスポージャーについては、過去の損失及び外部の観察可能な指標に基づいてLGDが算定される。スウェーデンの不動産担保が付されているリテール・エクスポージャー並びに中規模企業、不動産会社及び住宅協同組合（法人）に対する不動産エクスポージャーについては、当該担保価値に対する借入金比率に応じて、異なるLGD値が適用される。その他のエクスポージャーについては、LGD値は担保の有無、担保価値、商品の種類及び類似する要因に基づいて決定される。

エクスポージャーの各区分に関しては、債務不履行に陥っていないカウンターパーティ又は契約のリスク区分ごとにそれぞれPDが算定されている。PDは、異なる種類のエクスポージャー別に過去のデフォルト確率に基づいて算定される。その後、平均デフォルト確率は、様々な保守的に加えるマージンを使用して調整される。

LGDを算定する際のリスク尺度は、経済的に不利な状況における損失率（「景気後退期を勘案したLGD」として知られている）を反映しなければならない。自行推計のLGDとCCFを用いるIRB手法で算定する法人エクスポージャーに関しては、LGDが景気後退を勘案して調整されるため、1991年から1996年にかけての景気後退期における当行の損失が考慮に入れられている。LGDは、多くの場合、当該不動産に係る借入金比率に基づき見積もられる。不動産価値及びその影響により借入金比率も通常景気循環とともに変動するため、所要自己資本もある程度の景気循環との相関関係を持つことになる。リテール・エクスポージャーに係るその他の担保については、観察されたLGDはPD及び商品の種類ごとの要因に応じて景気後退を勘案して調整される。

減損テスト対象の貸借対照表項目、リスク区分別、2024年

百万スウェーデン・クローネ	総額			引当金		
	ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ1	ステージ2	ステージ3
リスク区分						
1	821,158	1,815		-2	-2	
2	643,271	2,834		-9	-3	
3	556,715	6,345		-15	-6	
4	229,582	5,883		-24	-6	
5	91,880	15,748		-29	-55	
6	17,336	9,382		-13	-27	
7	17,930	11,326		-2	-52	
8	222	723		0	-14	
9	335	7,889		-1	-38	
デフォルト			4,842			-733
標準的手法 ¹⁾	484,841	14,690	3,683	-118	-128	-338
合計	2,863,270	76,635	8,525	-213	-331	-1,071

減損テスト対象の貸借対照表項目、リスク区分別、2023年

百万スウェーデン・クローネ	総額			引当金		
	ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ1	ステージ2	ステージ3
リスク区分						
1	885,295	1,982		-5	-3	
2	604,664	4,633		-19	-6	
3	546,591	8,169		-42	-14	
4	246,184	23,991		-78	-16	
5	61,640	32,578		-35	-151	
6	17,908	17,968		-23	-101	
7	24,235	12,481		-7	-184	
8	220	1,306		-1	-35	
9	303	8,428		-1	-73	
デフォルト			4,240			-839
標準的手法 ¹⁾	445,964	25,323	2,824	-218	-237	-311
合計	2,833,004	136,859	7,064	-429	-820	-1,150

1) 標準的手法は所定のリスク加重を用いているため、リスク区分には分類されていない。

上表には、貸借対照表上「売却目的で保有する資産」に分類変更された、フィンランドの処分グループが含まれている。注記G14を参照のこと。

デフォルト時エクスポージャー(EAD)が算定される場合、帳簿価額に対して一定の調整が行われる。例えば、顧客が将来において一定金額まで借入れを行うことを当行が顧客との間で合意しているリボルビング・クレジットである。このようなコミットメントは、十分な資本によってカバーされなければならない信用リスクに含まれる。一般的にこれは、付与された与信枠のうちの報告時点で未使用の部分が一定の掛目(CCF)を用いて調整されることを意味する。法人エクスポージャー及び機関エクスポージャーに関する特定の商品カテゴリーについて、掛目(CCF)は規制によって決定されるが、リテール・エクスポージャー並びに大企業、中規模企業、不動産会社及び住宅協同組合の特定の商品区分に関しては、当行は独自に算定した掛目(CCF)を用いている。どの

掛目(CCF)を使用するかは、主に参照される商品によって決まるが、利用水準も関連する可能性がある。IRB手法における株式エクスポージャーの所要自己資本は、簡便なリスク加重手法に従い算出されている。

リスク・パラメーター(PD、EAD、LGD)は、自己資本比率の計算だけでなく、個々の取引の資本コスト及び経済資本(EC)の算定にも用いられる。

過去データを用いてリスクの推計値を算出する当行のIRBモデルに関し、現時点では、当行はサステナビリティ・リスクをリスクドライバーとして取り入れるための十分な過去データを有していない。ただし、法人を対象としてPDリスク区分の基礎を成す内部格付を設定する際にはサステナビリティ・リスクも考慮されており、十分な過去データが入手可能になった時点で将来のIRBモデルにサステナビリティ・リスクをリスクドライバーとして含めることを目指し現在も作業を進めている。

信用リスクモデルの品質管理

当行はリスク格付システムを毎年レビューしている。このレビューでは、当行のリスク格付の根拠となる内部格付が、一貫して正確にかつ目的に適合した方法で用いられ（評価）、また使用されたモデルが満足のいく方法でリスクを測定している（検証）ことを確認する。

予想信用損失の算定

IFRS第9号で示された減損に関する規則は、償却原価で計上される金融資産、その他包括利益を通じて公正価値で計上される金融資産、並びに金融保証及び取消不能のコミットメントに適用されている。本セクションでは、ハンデルスバンケンの予想信用損失（ECL）引当金に関するモデルベースの算定に用いるプロセスと手法を説明している。

予想信用損失の推計は債権レベルで行われ、債権とカウンターパーティの特性が引当必要額の分類と定量化に決定的な影響を与える。推計はモデルベース、マニュアルによる算定のいずれかにより行われ、手法の選択は主に、債権が信用減損しているとみなされているか否かにより決定する。

予想信用損失の認識と測定に関する情報と定義については、注記G1及びセクション6「信用損失」を参照のこと。

減損テスト対象の一般顧客への貸出金、リスク区分別、2024年

百万スウェーデン・クローネ	総額			引当金		
	ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ1	ステージ2	ステージ3
リスク区分						
1	480,909	1,815		-2	-2	
2	542,966	2,833		-7	-3	
3	553,914	6,345		-15	-6	
4	229,581	5,882		-24	-6	
5	91,590	15,695		-28	-55	
6	17,296	9,382		-13	-24	
7	17,880	11,326		-2	-52	
8	222	723		0	-14	
9	335	7,889		-1	-38	
デフォルト			4,842			-733
標準的手法 ¹⁾	353,897	14,690	3,683	-118	-128	-338
合計	2,288,590	76,580	8,525	-210	-328	-1,071

減損テスト対象の一般顧客への貸出金、リスク区分別、2023年

百万スウェーデン・クローネ	総額			引当金		
	ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ1	ステージ2	ステージ3
リスク区分						
1	539,204	1,982		-5	-3	
2	550,714	4,633		-16	-6	
3	540,009	8,169		-42	-14	
4	244,353	23,991		-78	-16	
5	48,097	32,567		-35	-150	
6	17,844	17,968		-23	-101	
7	24,115	12,481		-7	-184	
8	220	1,306		-1	-35	
9	302	8,428		-1	-73	
デフォルト			4,237			-839
標準的手法 ¹⁾	327,842	25,323	2,827	-218	-237	-311
合計	2,292,700	136,848	7,064	-426	-819	-1,150

1) 標準的手法は所定のリスク加重を用いているため、リスク区分には分類されていない。

上表には、貸借対照表上「売却目的で保有する資産」に分類変更された、フィンランドの処分グループが含まれている。注記G14を参照のこと。

ステージ1及びステージ2債権に対するモデルベースの算定

モデルベースの予想信用損失の算定において、ハンデルスバンケンのグループ規模で本部が統括するプロセスは、ステージ1及びステージ2債権の引当必要額の定量化に対応する、多くの異なるプロセスと手法を組み込んでいる。

このモデルベースの算定は、過去と現在に加え将来予測的なデータを織り込んでいる。過去データは用いられるモデル構築とパラメーター設定の基礎となり、現在データは報告日現在の公表済の残高データ（算定要件

に含まれる通り)、将来予測的なデータは将来のリスク・パラメーター及びエクスポージャーの算定に用いられるマクロ経済シナリオである。

このモデルはIRBモデルと同じ過去のリスクデータを用いており、これは引当金の会計処理と自己資本比率の算定が同一の基礎的な損失実績に基づくことを示している。リスク格付制度が自己資本比率の算定に与える影響と同様に、(リスク格付が導出される) 内部格付は予想信用損失算定モデルの重要な一部分である。予想信用損失の算定は、主にデフォルト確率(PD)、デフォルト時エクスポージャー (EAD) 及び、デフォルト時損失率 (LGD) というリスク・パラメーターの影響を受ける。将来の予想信用損失は、EADの現在価値にPD及びLGDを乗じて算定される。リスク・パラメーターであるPD、EAD、LGDを用いる自己資本比率規制における信用損失の算定とは異なり、IFRS第9号に基づく予想信用損失の推計は現在の将来予測的な評価に基づいている。規制の目的はそれぞれ異なるため、算定モデルもリスク・パラメーターの設定手法や構築手法の点で異なっている。IFRS第9号及びIRB手法の主な相違点については、表「IFRS第9号とIRB手法の相違点」を参照のこと。

減損テスト対象のオフバランスシート項目、リスク区分別、2024年

百万スウェーデン・クローネ	総額			引当金		
	ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ1	ステージ2	ステージ3
リスク区分						
1	33,043	52		0	0	
2	58,035	204		-4	0	
3	47,901	266		-5	-1	
4	42,364	351		-7	-1	
5	16,483	1,329		-11	-29	
6	6,060	346		-2	-8	
7	5,686	2,466		-1	-21	
8	5,063	176		-2	-2	
9	2,647	153		-1	-4	
デフォルト			94			-26
標準的手法 ¹⁾	74,996	939	65	-6	-24	0
合計	292,278	6,282	159	-39	-90	-26

減損テスト対象のオフバランスシート項目、リスク区分別、2023年

百万スウェーデン・クローネ	総額			引当金		
	ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ1	ステージ2	ステージ3
リスク区分						
1	31,681	76		0	0	
2	64,466	152		-10	0	
3	66,056	468		-16	-1	
4	31,261	989		-23	-2	
5	8,668	5,754		-8	-73	
6	6,015	528		-3	-17	
7	5,199	1,379		-3	-58	
8	3,034	295		-1	-16	
9	2,149	199		-2	-12	
デフォルト			96			-41
標準的手法 ¹⁾	66,164	1,422	68	-28	-24	-1

合計	284,693	11,262	164	-94	-203	-42

1) 標準的手法は所定のリスク加重を用いているため、リスク区分には分類されていない。

上表には、貸借対照表上「売却目的で保有する資産」に分類変更された、フィンランドの処分グループが含まれている。注記G14を参照のこと。

マクロ経済関連情報

信用リスクの著しい増大と予想信用損失のモデルベースの評価は、モデルに個々のリスク・パラメーター（PD、EAD及びLGD）を適用して算定される。この算定が非線型的な側面を考慮するよう確実にするため、英国外のエクスポージャーについては、モデルには3つの将来予測なマクロ経済シナリオ（基本（中立）シナリオ、下降シナリオ、上昇シナリオ各1つ）が用いられる。英国のエクスポージャーについては、4つのシナリオ（基本シナリオ1つ、下降シナリオ2つ、上昇シナリオ1つ）が用いられている。各シナリオには各国別の失業率、国内総生産（GDP）、不動産価格、主要行又は中央銀行の基準金利、インフレ率をはじめとする重要なマクロ経済上のリスク要因が含まれる。重要なマクロ経済上のリスク要因は当行の過去データを評価して特定され、リスク・パラメーターとの関連性は同じ過去データを用いて見積もられる。適用されるリスク・パラメーターの調整にはさまざまなシナリオが用いられる。それぞれのマクロ経済シナリオには当行が決定する（発生）確率が当てられている。これらの確率は現在、基本シナリオが70%(70%)、上昇シナリオが15%(15%)及び下降シナリオが15%(15%)となっている。英国のエクスポージャーに関する加重は基本シナリオを60%(60%)、上昇シナリオを5%(5%)、下降シナリオを20%(20%)、深刻な下降シナリオを15%(15%)としている。予想信用損失は各シナリオの予想信用損失の確率加重平均として認識される。

マクロ経済シナリオは全て当行の経済調査部署により作成され、同部署が行内外の使用を問わず、ハンデルスバンケンが公表するすべての経済分析の責任を負う。これらのマクロ経済シナリオは、世界経済の予測に加え、スウェーデン、ノルウェー、フィンランド、英国、ユーロ圏諸国、米国の各地域固有の30年予測から構成される。なお、予想信用損失の算定においては、サステナビリティ・リスクに係る具体的なシナリオは設定していないものの、マクロ経済シナリオにおいては、気候変動リスクを中心としたサステナビリティ・リスクの影響が一部含まれている。マクロ経済シナリオの変更や用いられる確率加重の変更は、信用リスクの著しい増大の評価や予想信用損失の推計に大きな影響を与える。各シナリオは当行の経済調査部署により四半期ごとに更新され、ECL算定に用いる前に関連意思決定者に提出され承認を得る。

ポートフォリオの分類

モデルベースの評価には統計モデルが用いられる。これらの統計モデルはポートフォリオの異なる分類のために開発されたもので、各分類は類似したリスク・エクスポージャーから構成され、共通したリスク要因の組合せを基にリスク・パラメーターが見積もられる。リテール・エクスポージャーのポートフォリオは商品の種類に基づいて分類され、他のエクスポージャーはカウンターパーティの種類に基づいて分類される。この分類は統計分析と専門家による評価を基に行われている。リテール・エクスポージャーについては、ポートフォリオは以下の9つの区分、すなわち住宅不動産担保個人向けエクスポージャー、個人向け及び中小企業向けのクレジットカード・エクスポージャーを含むリボルビング・クレジット、個人向け及び中小企業向けのその他のエクスポージャー、個人向け及び中小企業向けのクレジットカード金融、個人向け及び中小企業向けの割賦販売金融に分類される。その他のエクスポージャーは、不動産会社、住宅協同組合、他の大手非金融会社、他の非金融会社、政府及び金融会社・銀行の6つの区分に分類されている。

個々のポートフォリオの区分内で、内部格付、返済履歴、国との関連、担保の種類、借入金比率などのリスク要因に基づき、債権は異なる状況に応じてさらに細分化される。これらの状態は過去の結果に係る統計分析に基づいて決定されている。デフォルト率（PD）、デフォルト時損失率（LGD）、デフォルト時エクスポー

ジャー（EAD）などのリスク・パラメーターの将来予測的な確率を算定するため、すべての状態について、統計モデルが状態間の遷移に用いられる。これらの状態に関する重要なリスク要因の一つにカウンターパーティの内部格付がある。これは与信の決定時に与えられ、最低でも毎年、カウンターパーティの返済能力に変化の兆候がある場合はいつでも更新される。気候関連リスク及び特定の他の環境リスクは与信プロセスで評価され、カウンターパーティ単位の内部格付に影響を及ぼす。これらの状態には、「非デフォルト」エクスポージャー、「デフォルト」エクスポージャー、及び「早期償還」エクスポージャーがある。リテール・エクスポージャーは9つの異なる状態に、他のエクスポージャーは12の状態に分類される。

信用リスクの著しい増大

信用リスクの著しい増大は、デフォルトリスクを反映したもので、当初認識時以降の債権の信用リスクの相対的变化により測定される。信用リスクの著しい増大を算定するために、ハンデルスバンケンでは予想信用損失の算定に用いるのと同じ、過去、現在及び将来予測的な情報を考慮に入れた原モデルを用いている。この評価では担保は考慮されない。各報告日において、グループ規模で本部が統括するモデルベースのプロセスでは、全ての債権に対し、当初認識時（契約開始日）以降、信用リスクが著しく増大したか否かの評価が最初に行われる。この評価によって、予想信用損失を報告日以降12ヶ月の期間（ステージ1）で認識するか、当該債権の残存期間（ステージ2）にわたって認識するかが決定される。したがって、どのような要因と閾値がステージ1からステージ2への振替のトリガーとして定められているかが、信用損失引当金の規模に影響を与える重要なポイントになる。ステージ2への振替を決定付ける信用リスクの著しい増大に関する当行の定義は、定性的及び定量的双方の要因に基づいて決められている。

主に信用リスクの変化を評価するために用いられる定量的指標は、当該商品の当初認識時と直近の報告日までの当該債権の残存期間におけるデフォルト確率（PD）の相対的変動である。金融商品の当初認識にあたりPDを確定するために非合理的な費用又は労力が必要とされた場合、当初認識以降のカウンターパーティ又は債権の内部格付若しくはリスク格付の変化が、信用リスクの著しい変化を評価するために用いられる。2018年1月1日以降に当初認識された債権について、デフォルトリスクに関する予測は3つのシナリオに基づく。2018年1月1日より前に認識された債権については、同じ分類が適用されるが、当初認識時に公表された当行の最新の経済分析に基づいたシナリオが用いられる。

債権に信用リスクの著しい増大が生じたとみられた結果、ステージ2へと振り替えるかを評価する際の最も重要な基準は、ハンデルスバンケンの定義では、報告日現在の残存デフォルト確率(PD)の推計値が、当初認識時に算定したデフォルト確率を2.5倍上回るかどうかである。この2.5倍という閾値は当行の過去データの統計分析に基づくもので、カウンターパーティが債務不履行となる残存リスクの増大を、当該債権の当初認識時に見積もられたリスクと比較したものである。また、債権の返済が30日超延滞している、又はカウンターパーティの信用格付が悪化した結果、コンセッション（譲歩）が与えられているなど信用リスクの著しい増大を引き起こしていると当行が評価する他の定性的な要因がある。

当初認識時以降に信用リスクの著しい増大が生じた場合、残存期間全体の予想信用損失に相当する引当金が計上され、当該債権はステージ2に振り替えられる。このモデルは対称的であり、すなわち、当該金融商品の信用リスクが減少し、その結果当初認識以降信用リスクの著しい増大が認められなくなった場合、当該金融資産はステージ1に戻されることを意味している。

リスク・パラメーターのモデルと予想期間

リスク・パラメーターであるPD、LGD及びEADは、統計モデルに基づき、債権ごとに将来のある時点で算定される。これらのモデルは、可能な限り、当行の損失実績データで識別可能な重要なリスク要因と関連リスクの結果との関係に基づいて策定されている。定量化されているリスク・パラメーターの大半は、約10年間にわた

る内部データに基づいている。当行が、デフォルトがほとんど生じないことなどにより、十分な情報を入手できない場合には、このデータは外部情報で補完される。過去の結果は、商品の種類、内部格付、顧客との取引期間、担保の種類、借入金比率、失業率、金利水準、GDP成長率などの債権特有、カウンターパーティ特有及び地域特有のリスク要因の共変動について分析が行われている。特定のリスク・パラメーターにとって重要であるとされるリスク要因は、モデルに含まれ、過去の相関関係が定量化されている。

IFRS第9号とIRB手法の相違点

リスク・パラメーター	IRB	IFRS第9号
デフォルト確率 (PD)	一つの景気循環における12ヶ月内の平均デフォルトリスク。統計上の安全余裕率と規制による下限を含む。	景気循環を踏まえ調整した(「PIT」)12ヶ月内のデフォルトリスク。「全期間PD」は当該債権の予想残存期間におけるデフォルトリスクをいう。
デフォルト時損失率 (LGD)	長期間及び景気後退期における、12ヶ月内のデフォルト時エクスポージャーに関する予想最大損失率。統計上の安全余裕率と規制による下限を含む。 法人エクスポージャーの損失の定量化は、12ヶ月内の回収額及び残存準備金(リテール・エクスポージャーについては24ヶ月)に基づいている。	景気循環を踏まえ調整したデフォルト時エクスポージャーの予想損失率。 LGDは将来予測的なマクロ経済シナリオを基に調整される。
デフォルト時エクスポージャー (EAD)	長期間及び景気後退期における、12ヶ月内のデフォルト時エクスポージャーの予想最大値。統計上の安全余裕率と規制による下限を含む。	景気循環を踏まえ調整した、12ヶ月内のデフォルト時エクスポージャーの予想額。 EADは契約条件及び将来予測的なマクロ経済シナリオに基づいて調整され、その後は12ヶ月ごとに更新される。
全期間	顧客による継続の選択肢を考慮に入れた、当該債権の契約上の満期。	予想される全期間。早期償還の可能性を考慮に入れた、当該債権の契約上の期限。
予想期間	12ヶ月	12ヶ月以内(ステージ1の債権)又は残存期間(ステージ2-3の債権)。
割引	予想損失額は報告日まで割り引かれない。回収率を算定する際、実際の回収額は平均資本コストを用いてデフォルト日まで割り引かれる。	予想損失額は、当該債権に係る報告日時点の契約上の金利を用いて割り引かれる。

デフォルト確率 (PD)

デフォルト確率(PD)は資産の残存期間のある時点で、顧客又は債権が債務不履行に陥る確率をいう。12ヶ月PDは、今後12ヶ月の間に債務不履行が生じる確率であり、全期間PDは当該資産の残存期間(最長30年まで)における債務不履行の発生確率である。将来PDは将来予測的なマクロ経済シナリオ並びに現在の債権及びカウンターパーティの情報を用いた、報告日における予測である。デフォルトリスクの予測は、シナリオの策定と時間の経過に伴う異なる状況間の遷移確率を考慮に入れている。このモデルは毎年の遷移及び債務不履行の確率を算定するもので、これにより遷移モデルでは、当該債権が債務不履行リスクにより、将来的に特定の状況に属する確率を表す。特定年度における債権の予想PDは、全ての考え得る状況とシナリオを包含した確率加重PDとして算定される。残存期間の予想PDは、毎年のデフォルト予想と当該債権の期限前返済が行われる確率に基づく。各シナリオのマクロ経済上のリスク要因予想に基づく景気予測の悪化、又は景気後退シナリオの実現可能性の増大により、通常、PDは上昇する。

デフォルト時エクスポージャー(EAD)

EADはデフォルト時の予想信用エクスポージャーをいう。報告日において、将来のデフォルト時エクスポージャーは、現在の返済計画や期限前返済の可能性に加え、クレジット・ファシリティ、金融保証やローン・コミットメントの引出可能性などに基づく予想である。EADは年次で予想され、将来のデフォルトに関連した損失額及び回収額から構成される。

予想残存期間

金融商品の予想残存期間は、予想残存期間に債務不履行に陥る可能性(PD)を考慮した信用リスクの著しい増大の評価と、当該資産の予想残存期間における予想信用損失の測定の一つの評価に関連している。予想残存期間のPDを算出する際には、当該債権の契約期間における予想年間PD値を当該債権がデフォルト前に早期償還されない確率で加重することにより、予想残存期間が考慮されている。

債権の早期償還確率は、統計分析と過去約10年間にわたる当行の内部実績データに基づき、EADモデルの構成要素に含まれている。債権、カウンターパーティ及びマクロ経済上のリスク要因による潜在的なリスク要因が統計分析で評価されている。重要と判断されるリスク要因は当該モデルに含まれている。

クレジットカードなどの満期のないリボルビング債権については、報告日から30年間を満期としている。また、固定金利期間が最長3ヶ月の住宅抵当ローンについても、報告日から30年間を満期としている。これらの満期については上記と同様の早期償還確率が適用されている。

デフォルト時損失率 (LGD)

デフォルト時損失率 (LGD) は、デフォルトに際して当行が被ると予想される財務上の損失を表す。LGDを算出する際に最も重要なリスク要因は、担保価値とその種類及びカウンターパーティの特性である。将来予測的なマクロ経済上のリスク要因は、担保価値及び借入金比率に与える影響を通じてLGDの算出に反映される。損失を定量化する場合、カウンターパーティが当行に財務上の損失を一切与えず立ち直る確率と、カウンターパーティが立ち直らない場合の回収率の二つに分別される。借入金比率が高ければ回収率は低下するという意味で、回収率は借入金比率の影響を受けている。不動産の担保価値、そして借入金比率及び回収率は不動産価格の動向の影響を受けることから、不動産価値の下落が見込まれる場合は借入金比率とデフォルト時損失率も高まる可能性がある。

IFRS第9号とIRB手法の相違点

ハンデルスバンケンのIFRS第9号のモデルは当行のIRBモデルと同じ過去データ、及び同じ全体的なモデルベースの手法に基づき、PD、LGD及びEADというリスク・パラメーターを用いるものである。規則の目的はそれぞれ異なっていることから、リスク・パラメーターの設定方法や構築方法に関しては算定モデルによって異なる。このため場合によっては、IFRS第9号の要件を満たす別のモデルが導入されている。IFRS第9号とIRB手法の主な相違点は上表「IFRS第9号とIRB手法の相違点」に示されている。

IFRS第9号モデルとモデルベースの算定の検証

これらに用いられるモデルとリスク・パラメーターは、ハンデルスバンケン・リスク・コントロール部により、確立された原則に従って、かつ、モデルの開発担当部署から独立して定期的に検証される。かかる検証は、モデルベースの算定がいくつかの集計レベルにおいて、予測と最新結果における予想外の乖離を生むことなく、正確な予測を行っていることの確認を目的としている。また、算定に用いられた入力値が高精度のものであり、モデルの設計が目的に適合していることも検証し、確認している。この検証結果はチーフ・クレジット・オフィサー（最高与信責任者）、最高リスク責任者、及び最高財務責任者に報告される。

2023年に実施された最新の検証の結果、当行の引当金に重要な影響を及ぼす重大な乖離は確認されなかった。

ステージ3債権に関するマニュアルによる算定

ステージ3資産に対しては、個別にマニュアルによる算定を用いた減損テストが行われる（ステージ3に分類され、モデル算定による引当金を積んだ同種の債権からなる少額のポートフォリオを除く）。この減損テストは、業務責任を有するローカルの支店（顧客及び与信の所管部署）により定期的に実施されるほか、各報告日にも実施され、各県域及び国レベルの与信委員会又はハンデルスバンケン与信部により判定される。

減損テストはデフォルトの定義に従い、カウンターパーティが契約上の義務を履行できなくなる可能性を示す客観的な状況が存在する際に実施される。このような客観的な状況には、支払遅延又は不払、若しくは支払の可能性が低いことの兆候等がある。

減損テストは将来キャッシュ・フロー及び担保価値（保証を含む）の見積りを伴う。顧客の返済能力と担保価値の双方に基づき、通常、二つ以上の予想キャッシュ・フローの将来予測的なシナリオを考慮する。これらのシナリオの結果は確率加重され、貸出の当初の実効金利で割り引かれる。個々のカウンターパーティの返済能力及び担保価値に影響を及ぼすとみられる内容により、用いられるシナリオではマクロ経済上の要因及び債権特有の要因を考慮する可能性がある。この評価では個々のカウンターパーティの特性を考慮に入れている。見積回収可能価額が帳簿価額を下回る場合に減損損失が認識される。

ガバナンスと内部統制

ステージ1及びステージ2債権の予想信用損失を算定する際に、ハンデルスバンケンでは内製した統計モデルを用いた、グループ規模で本部が総括するプロセスを用いる（モデルベースの算定）。ステージ3債権についてはマニュアルによる算定が行われる。以下は主にモデル算定による予想信用損失の引当金について述べたものである。このプロセスは多くの内部統制がカバーしており、それについても後述されている。また、このプロセスの様々な段階では異なる承認や採択が行われ、ガバナンス体制を構築しており、これについても後述されている。

報告における入力データの検証

各報告日において、予想信用損失の算定根拠となる情報の正確性及び網羅性がチェックされている。これは、配信元から取り込まれたデータの自動照合により行われている。さらに、システム上の残高を従前の報告日現在の計上残高と比較することにより、妥当性評価が行われている。最終的に用いられる残高が、次に総勘定元帳に計上された金額と照合される。

モデル

新しい定量的モデルがモデルシステム全体に含められる前に、バリデーション（妥当性検証）を行い、チーフ・クレジット・オフィサー（最高与信責任者）による使用承認を得なければならない。

予想信用損失の算定根拠となる定量的モデルには複数の仮定と評価が関わっている。マクロ経済上のリスク要因とリスク・パラメーターの過去データから測定できる関係が将来の事象を表しているという仮定や、債権の予想残存期間は過去の行動関連データに基づき得るという仮定などがその例である。これらの過去の関係や将来の事象が、気候関連リスクによる影響を受けるかどうかは、モデル化のプロセスにおいて評価されている。報告日現在、特にこのような気候関連要因はモデルに含まれていないが、この問題は継続的に評価対象となっている。さらに、個々のリスク・パラメーターに関するマクロ経済上のリスク要因の説明力に基づいて、最も重要なマクロ経済上のリスク要因が選択されている。マクロ経済リスク要因の選択とモデルの仕様は、簡潔さ、実証性、安定性をバランスよく実現するよう決定される。全ての仮定と裁量判断は最高与信責任者に報告され、承認を受ける。

モデルを用いたステージ1債権、ステージ2債権に対してエキスパート評価により引当金を変更する場合には、適用の前に最高財務責任者の承認及び最高与信責任者による決定が必要となる。

マクロ経済シナリオ

マクロ経済シナリオは、最高与信責任者の指示に基づき当行の経済調査部署により作成されている。この指示には、望ましいマクロ経済上のリスク要因、対象地域、シナリオ数とシナリオ別の確率加重値が含まれる。

各報告日の前に、最新のマクロ経済シナリオが最高与信責任者及び最高財務責任者に提出され、財務報告プロセスに用いるシナリオを承認する。

引当金の規模

ステージ1及びステージ2債権の引当金見積額合計には、最高財務責任者の承認及び最高与信責任者による決定が必要とされる。ステージ3債権の引当金見積額は業務責任を有する当行支店（顧客と与信の所管部署）により提出され、引当金の規模により県域及び国レベルの与信委員会又は本部の部署による承認を受ける。地域（ローカル）レベルで承認されたステージ3債権に係る引当金のうち、一部はその後、ハンデルスバンケン与信部によるレビュー又は品質管理の対象となる。さらに、ハンデルスバンケン・リスク・コントロール部は各報告日現在で、本部の承認を受けた信用引当金の一部について独立したレビューを提出している。

コントロール部署の役割

ハンデルスバンケン・リスク・コントロール部は検証の原則を決定し、モデルが確実に検証されるようにしている。本部が承認したステージ3債権に対する引当金の一部について、報告日ごとに独立したレビューが実施される。ハンデルスバンケン・リスク・コントロール部については43ページ及び49ページ（原文）に詳細が記載されている。ハンデルスバンケン内部監査部は、内部のガバナンスと統制に関する独立した調査を行い、当行グループの財務報告の信頼性を評価するという業務の一環として、予想信用損失の推計の検証を行っている。ハンデルスバンケン内部監査部については43ページ及び49ページ（原文）に詳細を示している。

カウンターパーティ・リスク

カウンターパーティ・リスクは、当行がカウンターパーティとの間でデリバティブ契約や有価証券の貸付契約を締結する場合に発生する。よってデリバティブに加え、自己資本比率規制は買戻取引及びエクイティ・ローンの双方をカウンターパーティ・リスクとして取り扱う。

自己資本比率及びECの双方を算定するに当たり、自己資本比率規制に明記されているエクスポージャー金額に基づいて、カウンターパーティ・エクスポージャーが考慮される。ハンデルスバンケンは、自己資本充実度の計算目的でデリバティブ契約に関するエクスポージャー金額を計算する際には、カウンターパーティ・リスクに対する標準的手法（以下、「SA-CCR」という。）を適用している。カウンターパーティ・リスクは、その契約の市場価値によってエクスポージャーの規模が決まる場合には信用リスクとみなされる。その契約の価値が正の値である場合、カウンターパーティのデフォルトは当行の潜在的損失を意味する。

カウンターパーティ・リスクの軽減

カウンターパーティ・リスクは、取引日から受渡しまでの間に発生し、カウンターパーティがその義務を履行できない場合、当行は解約手数料を請求される可能性がある。このリスクはすべてのデリバティブ取引、及び当行が事前に支払を確保していない有価証券取引に存在する。

カウンターパーティ・エクスポージャーの規模は、通常の与信プロセスにおいて与信限度額を設定することによって制限されている。当該エクスポージャーの規模は、原資産の価格変動により著しく変動する可能性がある。エクスポージャーの増加リスクに備えるため、与信限度額を設定する際に該当するエクスポージャーの価値に対して補完が行われる。当該エクスポージャーは日次で計算され、フォローアップされている。

デリバティブのカウンターパーティ・リスクは、クローズアウト・ネットティング契約を通じて軽減される。クローズアウト・ネットティング契約では、同一のカウンターパーティとのすべてのデリバティブ取引において、正の値と負の値が相殺される。ネットティング契約は、正味エクスポージャーに対して担保の取決めを設定する契約（クレジット・サポート・アネックス契約（CSA））で補完されており、信用リスクはさらに軽減されている。これらの取引に対する担保は主に現金であるが、国債も使用される。現金の割合が大きいため、担保におけるリスクの集中は限定的である。

ハンデルスバンケンの契約の大部分には、クローズアウト・ネットティングが含まれ、金融機関向けの大口エクスపోージャーの契約にはCSAも含まれている。

中央清算機関を通じて清算されるデリバティブについても、所要自己資本が生じる。中央清算機関とは、種々の取引において買手と売手の双方のカウンターパーティとしての役割を果たし、双方の義務を履行する責任を負っている清算機関である。中央清算機関を利用するすべての当事者は、すべての取引に対して担保を差し入れなければならない。中央清算機関で清算されるデリバティブに対するリスク加重は、多くの場合、他の種類のデリバティブよりも大幅に低い水準である。

市場リスク

市場リスクは、金融市場における価格及びボラティリティの変動によって生じる。市場リスクは、金利リスク、株価リスク、為替リスク及びコモディティ価格リスクに分類される。

当期の金融市場は、各国中央銀行によるインフレ対策や世界経済の回復ペースなど、様々なマクロ経済要因の影響を受けた。8月に日銀が政策金利の引き上げを決定したことを受け、世界の金融市場は大きく変動した。このボラティリティはその後すぐに落ち着きを見せたが、2024年の上期よりも高い水準で推移した。当期の世界経済は、ハードランディング又はソフトランディングの兆しにより、市場の変動性に時折高まりが見られた。秋には米国大統領選挙の結果に関心が集まった。地政学的な緊張感による不透明感も継続している。当行のリスク活用度はリスク許容度に見合った低いレベルに保たれ、事業への影響は限定的であった。ハンデルスバンケンの非トレーディング勘定に係る事業における市場リスクは、主に当行の資金調達並びに融資活動において発生する金利及び通貨ポジションの結果として生じる。市場リスクは、これらのポジションが完全に一致しない場合に発生する。市場リスクは、顧客に求められるポジションに加えて、ハンデルスバンケン・トレジャリー部の流動性ポートフォリオのような銀行業務の遂行に必要なポジションからも発生することがある。

トレーディング勘定における市場リスクは、債券、為替、株式又はコモディティ市場に対するエクスポージャーを伴う金融商品の顧客需要を満たすため、主にハンデルスバンケン・マーケットにおいて発生する。さらに、当行がマーケット・メーカーとしての役割を果たす場合にもまた、市場リスクが発生し得る。

上記に加えて、市場リスクはハンデルスバンケン・リヴの事業の一部としても発生する。ハンデルスバンケン・リヴにおける市場リスクは、本注記の別のセクションに記載されている。そのため、本セクションに記載されている市場リスクに関する情報は、ハンデルスバンケン・リヴを除くリスクについて言及している。

市場リスク戦略

ハンデルスバンケンは、市場リスクを厳しく制限している。基本的に、銀行業務における市場リスクは顧客の投資ニーズ及びリスク管理ニーズに限定している。市場リスクは、キャッシュ・フローと金利期間を一致させ、オープン・ポジションをヘッジし、リスクを制限するその他の措置を講じることにより制限する必要がある。

このように、ハンデルスバンケンの市場リスクはきわめて小さい。当行の市場リスク戦略により、当行の利益のうち金融取引による損益の占める割合が非常に少なくなっている。

組織構造

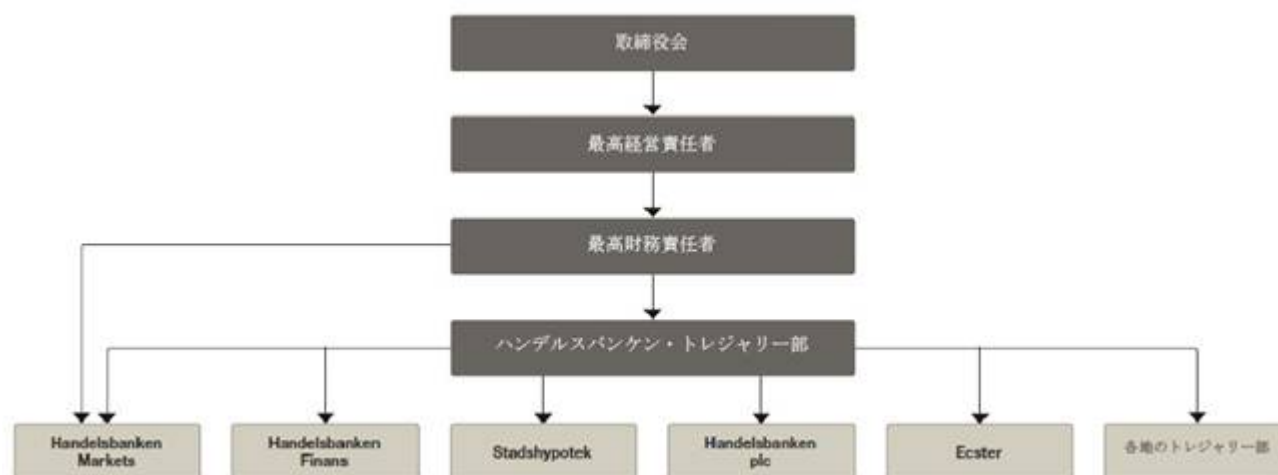
ハンデルスバンケンの取締役会は当行の市場リスク管理に対する全般的な責任を有し、これに関する方針文書を策定している。この方針は、最高経営責任者によるガイドライン及び最高財務責任者による指示によって具体化されている。この枠組み内で、それぞれの事業活動及び全てのリスク管理において各部門が責任を負っている。しかし、資金調達及び流動性管理に関連して発生するリスクは、CF0のもとハンデルスバンケン・トレ

ジャリー部に集約されており、ハンデルスバンケン・マーケットはトレーディング勘定のリスクの大半を管理している。コントロール部署は、事業活動が当行のリスク許容範囲内で行われていることを監視し、取締役会及び経営幹部にリスクについて報告している。

当行の限度額制度により、市場リスクに対するエクスポージャーの規模を制限している。市場リスクの測定方法及び限度額は、取締役会が決定している。最高財務責任者は、流動性及び資金調達の組織上の責任を負い、最高財務責任者の直属であるハンデルスバンケン・トレジャリー部長は当行グループの流動性及び資金調達の責任を負う。この責任には当行グループの銀行業務における流動性リスク、為替リスク及び金利リスクの管理が含まれる。金利リスク、為替リスク及び流動性リスクに対する限度額は、当行の最高経営責任者及び最高財務責任者からハンデルスバンケン・トレジャリー部長に割り振られる。その後、ハンデルスバンケン・トレジャリー部長は、これらを各業務ユニットへ割り振る。株価リスクとコモディティ・リスクの限度額は、最高財務責任者によって直接ハンデルスバンケン・マーケットに割り振られる。

当行の最高経営責任者及び最高財務責任者はまた、補完的リスク尺度、日中限度額を設定し、詳細にわたるガイドラインの策定を行う。補完的リスク尺度の限度額は、主に金融市場におけるボラティリティの変動に対する当行の感応度を低減し、特定のポートフォリオに対するリスク及び通貨ごとの流動性リスクの制限を目的としている。これらの手段はまた、満期の観点から生じるリスクを制限している。当行の最高財務責任者、最高経営責任者及び取締役会は、定期的に市場リスク及び限度額の活用状況に関する報告書を受領している。

市場リスク及び流動性リスクの決定水準



ハンデルスバンケンにおける市場リスク

市場リスクは、複数の異なる手法を利用して測定されている。用いられている感応度の測定は、あらかじめ定義された価格及びボラティリティの変動によって、どのような価値の変動が起きるかを示している。ポジションに関連したリスク尺度及び確率に基づくバリュー・アット・リスク・モデル（以下、「VaR」という。）も用いられている。

VaR

ハンデルスバンケン・マーケット及びハンデルスバンケン・トレジャリー部においてトレーディング勘定として分類されているポートフォリオについて、バリュー・アット・リスク（以下、「VaR」という。）が算定されている。VaRは確率に基づいた尺度で、一定の保有期間及び一定の信頼度において、対象市場の変動により超過することが予想できないリスク・ポジションから生じる損失をスウェーデン・クローネ建てで示すものである。VaRは過去のシミュレーションを用いて算定され、個別のリスク要因、リスク区分及びポートフォリオに関し保有期間を1日とした99%の信頼度にて決定される。これは、当行が取引日100日ごとに1日、VaRの結果を上回る損失が発生すると予想していることを意味する。このモデルは、様々なリスク区分を1つの方法で取り扱うことができるため、それぞれを比較することが可能になると同時に、市場リスクの合計を算定することができる。トレーディング勘定として分類されているポートフォリオの全体的なリスクは、年度末現在において5(12)百万スウェーデン・クローネであった。VaRは、定期的に当行の最高財務責任者、最高経営責任者及び取締役会に報告される。VaRモデルはこれまでに観測された結果を用いるものであることから、例えば極端で急激な市場変動の場合など、すべての潜在的な結果を捕捉しているわけではない。したがって、このリスク計算はストレス・テストで補完され、テストは、ポートフォリオに対して1994年以降の金融市場において発生した事象に基づくシナリオにより行われる。本ストレス・テストの結果は、年度末現在において61(52)百万スウェーデン・クローネであった。これらのストレス・テストの結果もまた、当行の最高財務責任者、最高経営責任者、及び取締役会に報告される。

トレーディング勘定、ハンデルスバンケン・マーケット及びトレジャリー部のVaR¹⁾

	合計		株式		債券		通貨		コモディティ	
	2024年	2023年	2024年	2023年	2024年	2023年	2024年	2023年	2024年	2023年
百万スウェーデン・クローネ										
平均	9	14	0	1	10	14	1	2	0	0
最高	15	22	2	5	16	23	3	7	0	0
最低	5	8	0	0	5	8	0	1	0	0
当年度末	5	12	0	0	5	13	1	1	0	0

1) トレーディング勘定に分類されているポートフォリオは特別なインストラクション及びガイドラインの対象となる。

トレーディング勘定のストレス・テストにおける最悪の結果 — ハンデルスバンケン・マーケット及びトレジャリー部

百万スウェーデン・クローネ	2024年	2023年
平均	61	51
最高	217	139
最低	16	15
当年度末	61	52

金利リスク

当行における金利リスクは、複数の方法で測定されている。一般的な金利リスクは日々測定され、すべての金利について、瞬時の1パーセンテージ・ポイントの上昇又は下落という平行移動が生じた場合の通貨別の公正価値の最も不利な変動の絶対値の合計として限度額が設定されている。年度末現在の当行の一般的な金利リスクの合計は、1,274(1,069)百万スウェーデン・クローネであった。満期のない預金の金利期間は内部手法を用いて設定される。このような預金の出発点は予想金利期間であり、過去の観察に基づき、安定的で金利変動に対する感応度が低いとみなされる部分により長期の金利期間が適用される。このリスク測定には、市場価値で測定される利付商品も市場価値で測定されない商品も含まれている。したがって、貸借対照表及び損益計算書に与える影響を評価する際にこのリスク測定を用いることは適切ではない。その代わりに、個々の業種に応じた補完的な措置や限度額が設けられている。

特定の金利リスクは、クレジットスプレッド（すなわち、現在のポートフォリオの金利と満期が同一である国債の利回りとの差額）の変動に対する感応度を用いて測定され、限度額が設定されている。このリスクは、ハンデルスバンケン・マーケット及びハンデルスバンケン・トレジャリー部の流動性ポートフォリオにおいて生じる。

このリスクは、異なる格付区別に測定及び限度額が設定され、すべてのクレジットスプレッドについて、クレジットスプレッドが1ベース・ポイント上下に移動した場合における市場価値の最も不利な変動値として計算される。この計算はカウンターパーティ別に実施され、その計算結果は絶対値の合計として集計される。当年度末における特定の金利リスク総額は、5(6)百万スウェーデン・クローネであった。

イールド・カーブのスティープ化、フラット化やベース・リスクのような、異なる金利カーブが仮想的に変化した場合のリスクの推移については、定期的に測定と見直しが行われている。

トレーディング勘定における金利リスク

トレーディング勘定は、トレーディング勘定に分類されているハンデルスバンケン・マーケットのポートフォリオ及びハンデルスバンケン・トレジャリー部の1つのポートフォリオから構成されている。当年度末現在

のトレーディング勘定の一般的な金利リスクは34(46)百万スウェーデン・クローネであり、特定の金利リスクは1(2)百万スウェーデン・クローネであった。例えば、金利オプションのリスクの一部である非線形金利リスクは、マトリクスであらかじめ定義されたストレス・シナリオを用いて測定され、限度額が設定されている。すなわち、このリスクは、基礎となる市場金利及びボラティリティの変動として測定されている。トレーディング勘定には、様々なストレス・シナリオによって補完されているVaR及びその他のリスク指標も用いられている。

非トレーディング勘定における金利リスク

金利リスクは、資金調達期間と金利期間の一部が異なることにより生じる。金利リスクは、主に金利スワップ契約によって管理されている。金利リスクはハンデルスバンケン・トレジャリー部の流動性ポートフォリオにも生じており、債券先物や金利スワップを通じて管理されている。当年度末現在の非トレーディング勘定における一般的な金利リスクは1,291(1,061)百万スウェーデン・クローネであり、特定の金利リスクは4(4)百万スウェーデン・クローネであった。金利の変動による損益計算書への影響を見積るために、純利息収益のリスクも測定されている。純利息収益のリスクは、市場金利が1パーセンテージ・ポイント上昇又は下落した場合の12ヶ月間にわたる純利息収益の最も不利な変動として測定されている。この影響は、貸借対照表の規模が一定であることを前提とした場合の金利期間の差異、並びにトレーディング勘定に含まれない資産、負債及びデリバティブの残高構成の差異を反映している。この計算においては、満期のない預金の金利期間は、内部手法を用いて設定される。同モデルは過去の観察に基づいており、安定的で金利変動に対する感応度が低い部分に限定して調整が行われる。年度末現在の純利息収益の影響は、2,141(3,808)百万スウェーデン・クローネであった¹⁾。

1) 2023年のリスクは、手法の変更により従来の報告金額と異なっている。

非トレーディング勘定における一般的な金利リスク（すべての金利が1パーセンテージ・ポイント平行移動した場合の最悪の結果としての公正価値の変動）

	2024年	2023年 ¹⁾
百万スウェーデン・クローネ		
スウェーデン・クローネ	670	392
ユーロ	124	285
ノルウェー・クローネ	94	12
米ドル	161	290
英ポンド	236	68
その他通貨	6	13
合計	1,291	1,061

1) 2024年より「その他通貨」にはデンマーク・クローネが含まれているため、2023年の「その他通貨」は従来の当該数値と比較して差異が生じている。

資産及び負債に関する金利期間、2024年

本表は、2024年12月31日現在の金利関連資産及び負債の金利期間を示したものである。

百万スウェーデン・クローネ	3ヶ月以内	3-6ヶ月	6-12ヶ月	1-5年	5年超	合計
現金及び中央銀行預け金	542,556					542,556
債券及びその他の利付証券	147,668	2,424	930	62,898	6,195	220,115
金融機関への貸出金	18,921	1	1			18,923
一般顧客への貸出金	1,638,434	104,460	146,645	426,091	56,456	2,372,086
その他資産	385,493					385,493
資産合計	2,733,071	106,886	147,575	488,989	62,651	3,539,173
金融機関からの預り金	53,893	28,596	1,110	659	270	84,528
一般顧客からの預金及び借入金	1,099,711	64,466	57,425	91,305	7,573	1,320,481
発行済証券	459,018	157,583	222,691	662,642	85,146	1,587,081
その他負債	547,083					547,083
負債合計	2,159,706	250,645	281,226	754,606	92,989	3,539,173
オフバランスシート項目	-380,326	3,823	26,343	355,666	35,859	41,366

資産及び負債に関する金利期間、2023年

百万スウェーデン・クローネ	3ヶ月以内	3-6ヶ月	6-12ヶ月	1-5年	5年超	合計
現金及び中央銀行預け金	508,326					508,326
債券及びその他の利付証券	182,277	1,011	1,609	58,374	5,944	249,215
金融機関への貸出金	19,297					19,297
一般顧客への貸出金	1,623,097	110,023	165,208	474,768	61,121	2,434,217
その他資産	326,737					326,737
資産合計	2,659,735	111,034	166,817	533,141	67,064	3,537,792
金融機関からの預り金	83,062	3,416	3,125	326	1,195	91,124
一般顧客からの預金及び借入金	1,072,730	65,816	38,907	172,535	49	1,350,037
発行済証券	439,292	182,444	224,314	615,376	105,173	1,566,599
その他負債	530,033					530,033
負債合計	2,125,116	251,676	266,346	788,237	106,416	3,537,792
オフバランスシート項目	-347,183	17,665	48,978	260,653	54,713	34,827

上表の資産及び負債には、貸借対照表上「売却目的で保有する資産」及び「売却目的で保有する負債」にそれぞれ分類変更された、フィンランドの処分グループが含まれている。注記G14を参照のこと。

株価リスク

当行の株価リスクは、主にハンデルスバンケン・マーケットでの顧客との取引及び当行の株式ポートフォリオにおいて生じている。

株価リスクの表では、株価が瞬時に $\pm 10\%$ 、ボラティリティが瞬時に $\pm 25\%$ 変動した場合の当行の株式ポートフォリオ合計における市場価値の変動を示している。当年度末現在、このリスクについて当行における最悪のケースは66(40)百万スウェーデン・クローネであった。株式の最大エクスポージャーは英国市場にて発生している。

トレーディング勘定に内在する株価リスク

ハンデルスバンケン・マーケットの株価リスクは、顧客主導の取引において生じる。ハンデルスバンケンは、有価証券、株式デリバティブ及び上場投資信託(ETF)のマーケット・メーカーとしてのコミットメントを有している。株価リスクは主にこれらのコミットメントから発生する。

当行は、マトリクスを用いてハンデルスバンケン・マーケットの株価リスクを制限及び測定している。この手法の利点は、非線形リスクを含む株価リスクを効果的に特定することである。他のリスク測定手法及びストレステスト・シナリオとあわせて、VaRが株価リスク測定の補完として使用される。当年度末現在、トレーディング勘定に内在する株価リスクに関する当行のVaRは、0(0)百万スウェーデン・クローネであった。

トレーディング勘定外の株価リスク

トレーディング勘定以外で当行グループが保有する株式は、主に当行の中核事業に関連する種々の当行全体の事業で構成されているレベル3株式を含む。これらの保有株式は、貸借対照表上「その他包括利益を通じて公正価値で測定するもの」に分類され、公正価値で測定されている。このような保有株式は、一般的にその事業の純資産価値に対する当行の持分、又は代替的に最新の取引における決済価格によって評価されており、株価リスクは低い。

株価リスク

株価の変動	ボラティリティの変動					
	2024年			2023年		
	-25%	0%	25%	-25%	0%	25%
百万スウェーデン・クローネ						
10%	70	69	67	55	58	60
-10%	-66	-64	-62	-40	-37	-35

トレーディング勘定以外の株式エクスポージャー

百万スウェーデン・クローネ	2024年	2023年
その他包括利益を通じて公正価値で測定されるものに分類される株式持分	804	601
うち、レベル1及び2	642	445
うち、レベル3	162	156
その他包括利益を通じて公正価値で測定されるものに分類される株式持分	804	601
うち、事業関連	271	256
うち、その他の持分	533	345
期首現在における公正価値評価差額準備金	273	221
新規購入分と期末保有分に関して当年度中に生じた未実現の市場価値の変動	170	52
当年度中の売却及び決済による実現額	-3	0

期末現在における公正価値評価差額準備金

440

273

Tier2資本に含まれるもの

0

0

為替リスク

当行は複数の外貨種による貸出を行っており、当行グループの勘定がスウェーデン・クローネで表示されているため、構造上の為替エクスポージャーが生じる。この構造上のリスクは、為替変動が自己資本比率と資本のどちらに影響を与えるかについてのトレードオフを考慮し、管理されている。取締役会は、構造上の為替ポジションが普通株式等Tier1資本比率のヘッジとなることが認められる、資本に与える最大影響額、為替相場の変動による普通株式等Tier1資本比率において許容されるポジションの最大値及び感応度の最大値を設定している。当行の資本に影響を与える他の為替リスクの変動については、65ページ（訳注：原文のページ番号である）の持分変動計算書（当行グループ）に記載されている。

当行の直接的な為替エクスポージャーは、国際為替市場における顧客主導の日中取引の結果として生じる。この取引は、ハンデルスバンケン・マーケットで行われる。当行の取締役会、最高経営責任者及び最高財務責任者は、この為替リスクに関してVaR限度額を設定している。

顧客の支払フローの一環として通常の銀行業務においても、ハンデルスバンケン・トレジャリー部の資金調達業務においても、ある程度度の為替エクスポージャーが生じている。当行の取締役会、最高経営責任者及び最高財務責任者は、これらのエクスポージャーに対して、ポジション限度額を割り当てている。当年度末現在、構造上の為替ポジションを含まない正味ポジション総額は、162(337)百万スウェーデン・クローネであった。この為替リスクは、個別通貨又は通貨グループの傾向に応じて変動するわけではない。これは、ポジションが非常に短期であり、顧客主導のフロー管理において生じているためである。非トレーディング勘定における為替リスク総額は、12(20)百万スウェーデン・クローネであるが、これはスウェーデン・クローネが瞬時に5%変動した場合に当行の報告されている損益に及ぼす影響として測定されたものである。

非トレーディング勘定における為替感応度（各通貨に対してスウェーデン・クローネが+/-5%変動した場合の最悪の結果）

百万スウェーデン・クローネ	2024年	2023年 ¹⁾
ユーロ	8	18
ノルウェー・クローネ	3	2
米ドル	0	2
英ポンド	3	2
その他通貨	3	4

1) 2023年のリスクは、手法の変更により従来の報告金額と異なっている。

コモディティ価格リスク

コモディティ取引は、ハンデルスバンケン・マーケットのみで行われている。コモディティ関連商品のエクスポージャーは、国際コモディティ市場における顧客取引の結果からのみ発生する。線形及び非線形コモディティ価格リスクは双方とも、すべてのコモディティについて当行がさらされているリスク合計の絶対値として測定されている。当年度末現在、コモディティ価格リスクは、1(0)百万スウェーデン・クローネで、対象コモディティの価格変動の上限を20%及びボラティリティの上限を35%とした場合の価格変動に係る最大損失として測定されている。当年度末現在、当行のコモディティ価格リスクのVaRは、0(0)百万スウェーデン・クローネであった。

その他の市場リスク

市場リスクは当行の年金制度においても発生する（年金リスク）。このリスクは、年金債務の現在価値に影響を与える割引率の変動とともに、当行の年金債務に対応するための年金資産の価値が変動するリスクにより構成される。

公正価値測定

業務部門は金融商品の適正な評価に関する責任を負い、その評価の妥当性はハンデルスバンケン・リスク・コントロール部によって検証される。この妥当性確認の責任には、評価の基準となる市場データを確認する責任や、その確認がリスクを引き受ける当事者からは独立して行われたものであることを確認する責任が含まれる。

市場データの情報源は事業活動とは切り離されたものである。市場データを事業活動から取得する場合、外部の情報源に対し文書化された統制が行われ、データの合理性が評価される。モデルに用いられる市場価格及び市場データは、少なくとも一ヶ月に一度は検証が行われるものとされるが、基本的には日次で検証が行われる。評価モデルは、モデルの開発部門とは別のハンデルスバンケン・リスク・コントロール部において検証が行われる。評価委員会は、ハンデルスバンケン・グループの評価事項を取り纏めることを目的とし、各評価が正確であり、現行の市場慣行に準拠していることを確かめる重要な役割を果たしている。

公正価値で測定される金融商品の評価は、IFRS第13号に従って行われる。公正価値で測定される資産及び負債に関する詳細並びに当行の評価技法に関する情報については、注記G42を参照のこと。

慎重な評価

CRRの評価規則に従い、ハンデルスバンケンは四半期ごとに、公正価値測定されるポジション評価の不確実性に関連した自己資本の調整を行っている。この調整の目的は、ポジションの売却又は手仕舞いが行われた場合の、当行の自己資本の最低価値を90%の精度で評価することであり、慎重な評価と最も可能性の高い値である帳簿価額との差として計算される。調整額は、市場データの不確実性、ポジションの集中、モデルリスクに対する評価等、様々な要因に基づいている。

資金調達及び流動性リスク

流動性リスクとは、支払期限が到来した際に、法外な費用又は損失を被らなければ、当行が支払義務を履行することができないリスクである。

資金調達戦略

ハンデルスバンケンの総計レベル及び個別通貨の双方における流動性リスクに対する許容度は低い。こうした活動により、ハンデルスバンケンは困難な状況においても、流動性への良好なアクセスが可能であり、業績の変動を低水準に抑え、顧客ニーズを満たすような資金調達能力の提供を目指している。これは、当行にとって重要な通貨のすべてにおいて、キャッシュ・フローの流入及び流出をうまくマッチングさせると共に質量において十分な流動性準備金を維持することによって達成される。したがって、当行は資金調達における経済的リスクを最小限に抑え、業務ユニットの安定した長期の資金調達を維持することができる。

当行は、預金と市場からの資金調達をバランスよく活用するよう努めている。また、当行は、資金調達プログラムとその利用に幅をもたせることを目指している。こうすることによって、当行は、金融市場における混乱が長引いたとしても、中核事業において、長期にわたる損失が生じないようにしている。

この作業の結果、安定資金を用いて調達された流動がない資産により、十分に調和のとれた貸借対照表が作成される。この流動性がない資産は、個人及び法人に対する与信より構成され、これらの与信業務は当行の中

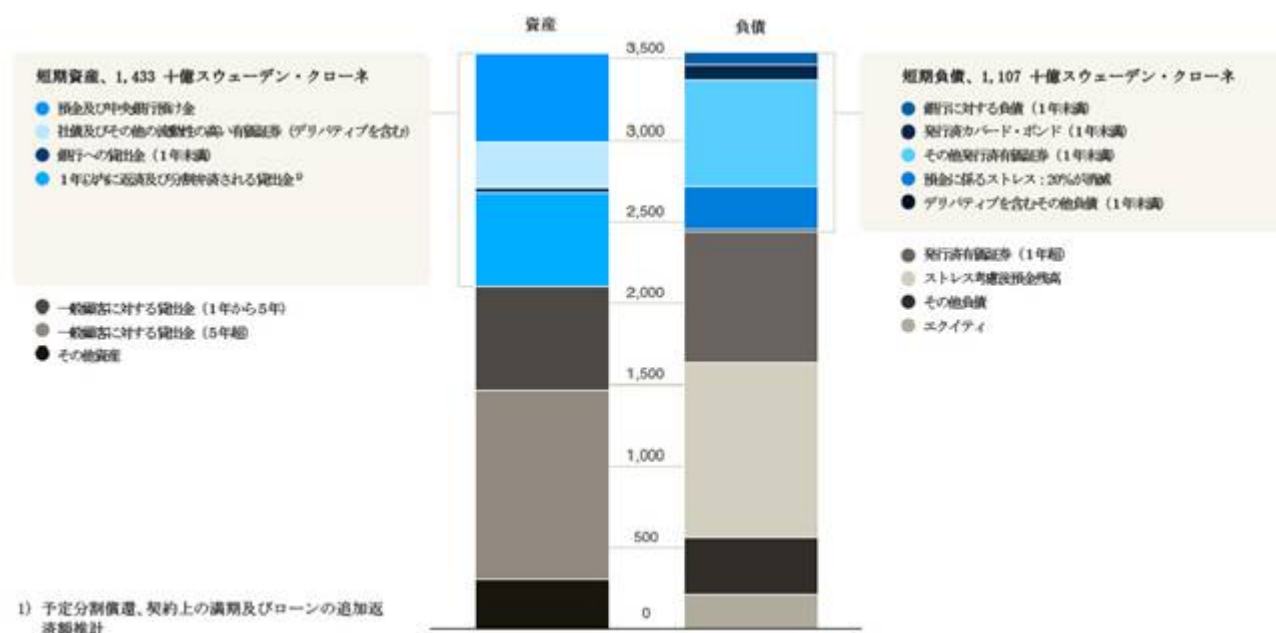
核事業を構成している。これら資産に関する長期安定資金は、スタッドフィポテックが発行したカバード・ボンド、ハンデルスバンケンが発行したシニア債、個人からの預金、法人からの一定額の預金、劣後債及び株より構成されている。

貸借対照表は、資産及び負債の一時点の記録である。当行が顧客及び投資家に対する債務を確実に履行するためには、資金調達及び流動性リスク管理に将来予測的な視点を取り入れることが重要である。したがって、金融市場において長期的なストレスにさらされている状況にあっても、企業及び家計という形態の実体経済の参加者及び彼らの与信ニーズに対する支援が可能な方法で財務基盤が構築されている。これは、短期資産が十分なマージンで短期負債をカバーしていることによって確実になっている。「満期分類別の貸借対照表の構成」の図では、預金の20%が1年以内に消滅し、市場で新規の資金調達を行う手段が一切なくなるというストレス・シナリオにおける貸借対照表を掲載している。このようなストレス下にもかかわらず、当年度末現在の短期資産は短期負債を大幅に上回ることが見込まれる。長期的な危機においては、中核事業は維持しつつも、財務基盤は縮小する可能性があり、短期資産残高は徐々に満期を迎える短期負債の償還に用いられる。より深刻な危機の状況下においても、当行グループの事業活動をさらに支援するための流動性を高める手段が用意されている。

市場はハンデルスバンケンに多大な信頼を寄せており、ハンデルスバンケンの信用リスクは低いと評価されている。当行が世界的に最も安定性が際立っている銀行の一つであることは、大手信用格付会社から当行よりも高い総合信用格付を付与されている民間銀行が世界でも他にないという事実で反映されている。また、高い信頼性は、当行が競合他社と比べ合理的な条件ですべての優良な資金調達市場へのアクセスを継続的に維持している事実にも表れている。

資金調達戦略における重要な要素は、様々な市場、通貨及び資金調達手段により異なる資金調達先から多様な資金調達を行うことである。これにより、個々の市場や資金調達先の重要性が低下する。長期の市場調達のほとんどは、スタッドフィポテックを通じたカバード・ボンドの発行によるものである。この資金調達は、スウェーデン・クローネ、ノルウェー・クローネ及びユーロで行われる。ハンデルスバンケンが国際的な資金調達のために発行する長期シニア債は地理的に分散されており、当期中に多くの米ドル及びユーロ建て債券を発行した。最も重要な資金調達先は、個人及び法人からの預金並びにカバード・ボンド及びシニア債である。短期資金調達は、主に、金融関連会社及び機関からの預り金並びにコマーシャル・ペーパー及び譲渡性預金の発行による。ハンデルスバンケン・トレジャリー部は、自らの裁量による市場からの資金調達に関して様々な資金調達プログラムを有している。債券、譲渡性預金及びコマーシャル・ペーパーは、これらのプログラムに基づき、当行のみならず、スタッドフィポテックやハンデルスバンケン・ピーエルシーの名義でも発行されている。当該資金調達プログラムにより、様々な通貨、投資家数、負債形態及び地域分布といった面で十分に多様化された資金調達手段が確保されている。

満期分類別の貸借対照表の構成、十億スウェーデン・クローネ



組織体制

ハンデルスバンケンは分権型の事業モデルを採用しているが、当行グループの資金調達及び流動性リスク管理業務はすべてハンデルスバンケン・トレジャリー部に集約されている。支店、県域、地域別又は国別の組織が流動性リスクを負うことは認められていない。資金調達及び流動性管理業務は、取締役会が策定した方針によって管理されている。取締役会はまた、リスク限度額も決定している。この方針は、最高財務責任者による指示によって具体化されている。この指示は、リスク限度額等のパラメーター、資金調達構成及び資金調達市場の混乱時におけるベンチマークを規定している。さらにすべての流動性リスク限度額は、ハンデルスバンケン・トレジャリー部を通じて、各事業部へと伝達されている。

ハンデルスバンケン・トレジャリー部はまた、異なる支払システムや決済システムでの保有が求められる担保資産を含む、当行の流動性準備金に対する責任を持ち、日中の流動性を監視し、当行が支払債務を履行するための十分な担保を支払システムに随時有していることを確認する。

決済システムにおける担保の規模は、通常の状態及びストレージ状況下で当行が債務履行に必要と考える水準に基づいて決定される。こうした状況が変化した場合には担保の規模及び流動性が調整され、危機の際には担保の再分配が行われ、流動性準備金も活用される。また各事業部は、デリバティブ・エクスポージャーに関して、中央清算機関及び相対取引のカウンターパーティから必要証拠金を確保している。当行は、予想される支払い及び決済の実行に備えて、積極的な流動性計画及びすべての通貨のモニタリングを通じて中央銀行及びノストロ勘定の流動性を確保している。

市場からの資金調達 — 構成

当年度において、ハンデルスバンケンは当行における最も重要な資金調達通貨において、市場から合計157 (227)十億スウェーデン・クローネの長期資金を調達した。市場からの長期的な資金調達の重要な構成要素は、カバード・ボンドの発行である。通貨別のカバード・ボンド発行残高の内訳は「通貨別カバード・ボンドによる市場からの資金調達」の表に示している。短期資金調達は、主に欧州及び米国において、譲渡性預金及びコマーシャル・ペーパーの発行によって行われている。この資金調達は、金融及び非金融大手企業による定期預金によって補完されている。資金調達業務に関連して、当行は引き続き以前と同様の投資家との面会、資金調達プログラムの更新、及び他の点においても世界中のすべての関連資金調達市場における債券発行条件を維持していた。これにより、年度を通じて資金調達業務を通常通り行うことが可能となった。

長期資金調達満期のプロフィール

2024年12月31日現在、当初満期が長期¹⁾の発行済証券

十億スウェーデン・クローネ	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年	2031年	> 2032年
カバード・ボンド	100	114	178	134	112	39	2	3
シニア債	31	44	49	37	9	0	1	0
非優先シニア債 (SNP)	0	20	6	11	11	11	9	10
劣後債	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	3	0	0	0	0	0	0	0

1) 長期の満期とは、満期が1年1ヶ月以上のものをいう。

2024年の通貨別短期資金調達

2024年12月31日現在の当初満期が短期²⁾の発行済証券に関する通貨別の内訳

十億スウェーデン・クローネ	%	金額
スウェーデン・クローネ		0
ユーロ	32	202
米ドル	62	383
その他	6	35

2) 短期の満期とは、満期が1年1ヶ月未満のものをいう。

2024年の通貨別長期資金調達

2024年12月31日現在の当初満期が長期³⁾の発行済証券に関する通貨別の内訳

十億スウェーデン・クローネ	%	金額
スウェーデン・クローネ	60	561
ユーロ	27	249
米ドル	8	74
その他	5	50

3) 長期の満期とは、満期が1年1ヶ月以上のものをいう。

2024年の金融商品別長期資金調達

2024年12月31日現在の当初満期が長期⁴⁾の発行済証券に関する金融商品別の内訳

十億スウェーデン・クローネ	%	金額
カバード・ボンド	73	683
シニア債	18	170
非優先シニア債	9	78
その他	0	3

4) 長期の満期とは、満期が1年1ヶ月以上のものをいう。

2024年の通貨別カバード・ボンドによる市場からの資金調達

2024年12月31日現在の通貨別発行済カバード・ボンドの内訳

十億スウェーデン・クローネ	%	金額
スウェーデン・クローネ	82	561
ユーロ	14	94
その他	4	28

担保資産及びカバー・プール

また、ハンデルスバンケンの流動性管理上、金融市場の混乱時に利用可能な担保を十分に確保することも重要である。追加担保の設定を可能にするために必要な条件の1つは、当行が当初から処分可能な担保を確保していることである。したがって、当行は、信用格付の非常に高いカバード・ボンド及び流動証券を発行する際に、担保として利用可能な抵当に入っていない十分な額の資産を確保している。

当行は、CSA契約のような、一定の要件によりカウンターパーティに担保を差し入れることを当行が強制される契約を締結することを制限しており、通常、かかる契約は信用機関との間においてのみ締結される。デリバティブ残高に関するCSA契約に基づき差し入れた現金担保は合計4,800(18,705)百万スウェーデン・クローネであった。当行の担保資産に関する詳細については、ハンデルスバンケンのファクトブックの担保資産の表を参照のこと。さらに、当行の流動性の確保に加え、このリスク制限アプローチにより、当行のシニアレンダーがカバード・ボンドに投資している貸手よりも優先順位が低くなる（いわゆる、地位劣後の問題）範囲を制限することができる。

無担保資金調達への投資家と担保付資金調達への投資家との間の劣後関係を評価する上では、担保負担がない資産の量及び信用の質が関連する評価要素となる。ハンデルスバンケンのリスク負担に関する厳格なアプローチにより、担保負担のない資産の質が高いことを意味している。ハンデルスバンケンではカバード・ボンドとシニア債をバランスよく利用したいと考えているため、担保負担のない住宅抵当ローンがかなりの額で存在している。

「担保負担がない資産/担保に供されていない資産」の表は、ハンデルスバンケンの担保負担のない資産の金額が、無担保資金調達残高の252(261)%に相当することを示している。

担保負担のある資産の大部分はスタッドフィポテックのカバー・プールであり、それらは発行済カバード・ボンドの担保として供された住宅抵当ローンより構成されている。当行はまた、当該プールに8%の任意のOC(超過担保、すなわち発行済債券をカバーするために必要な担保に加えた追加資産、法定要件の2%に追加した部分)を加えている。この追加資産は、住宅抵当ローンの価値が追加資産を要する水準まで下落した場合に、発行済債券の金額と見合うようにするために存在する。

追加資産が必要となるリスクを評価する場合、基本的にカバー・プールにおける住宅抵当ローンの借入金比率（LTV）がきわめて重要になる。不動産市場における価格が下落している場合、LTVが低ければ低いほど、当該プールにより多くの住宅抵当ローンが必要になるリスクは低減される。ハンデルスバンケンの出来高加重平均LTV（最大LTV）は、スウェーデンのカバー・プールでは54.3(54.0)%であり、ノルウェーのカバー・プールでは58.5(58.4)%であった。これはすなわち、当行は、住宅抵当ローンを当該プールに追加するまでもなく、該当する不動産価格の大幅な下落に対応することができることを示している。

当行がカバー・プール外で保有することを選択した資産は「担保負担がない資産/担保に供されていない資産」の表に示されており、当該資産は必要に応じてカバード・ボンドの発行に使用することができる。

担保負担がない資産/担保に供されていない資産

	2024年		2023年	
	NEA ¹⁾	無担保資金調達に対する累積カバー率、% ²⁾	NEA	無担保資金調達に対する累積カバー率、%
十億スウェーデン・クローネ				
現金及び中央銀行預け金	538	57	505	55
流動性ポートフォリオにおける流動性のある債券 ³⁾	239	82	258	83
個人向け貸出金(デリバティブを含む)	439		466	
うち、住宅抵当ローン	302	114	325	118
うち、不動産を担保とした貸出金	2	114	2	118
うち、その他個人向け貸付	135	128	139	133
法人向け貸出金（デリバティブを含む）	1,166		1,168	
うち、住宅抵当ローン	493	180	455	182
うち、住宅協同組合への貸出金（住宅抵当ローンを除く）	64	187	83	191
うち、不動産会社への貸出金（住宅ローンを除く）				
－リスク・クラス1～3	256	214	250	219
－リスク・クラス4～5	190	234	192	239
－うち、リスク・クラス5超	10	235	16	241
うち、その他の法人向け貸出金				
－リスク・クラス1～3	95	245	100	252
－リスク・クラス4～5	49	250	61	259
－リスク・クラス5超	9	251	11	260
金融機関への貸出金（デリバティブを含む）	3		5	
－リスク・クラス1～3	2	252	4	260
－リスク・クラス3超	1	252	1	260
その他の貸出金	0	252	5	261
その他資産	0	252	0	261
合計	2,385	252	2,407	261
裏付けとなる負債を伴わない担保権が設定されている資産 ⁴⁾	69		70	
裏付けとなる負債を伴う担保権が設定されている資産	1,085		1,062	
資産合計、当行グループ	3,539		3,538	

- 1) NEA：担保負担のない資産
- 2) 無担保による発行済短期及び長期資金調達並びに金融機関に対する債務
- 3) 中央銀行への担保として適格なもの
- 4) カバー・プールにおける超過担保額(OC)及び英国の破綻処理時の業務継続要件に対応する資産（2021年現在）

カバー・プール・データ

	スウェーデン		ノルウェー	
	2024年	2023年	2024年	2023年
百万スウェーデン・クローネ				
スタッドフィボテック貸付総額(一般顧客)	1,407,203	1,394,877	146,185	125,975
カバー・プールに関して利用可能な資産	1,298,858	1,281,717	137,562	117,137
カバー・プールで使用了た資産	671,531	692,099	78,979	73,414
代替資産(制限勘定の現金)	500	300	500	120
最大LTV加重平均、ASCBの定義による ¹⁾	54.32	54.02	58.55	58.43

LTVの内訳

0-10%	22.0	22.6	21.6	21.5
10-20%	20.0	19.9	19.4	19.4
20-30%	17.5	17.2	17.0	16.9
30-40%	14.7	14.4	14.4	14.3
40-50%	11.3	11.2	11.6	11.6
50-60%	7.8	7.9	8.5	8.7
60-70%	5.0	5.1	5.6	5.7
70-75%	1.6	1.7	1.9	1.9

貸出金額、加重平均、スウェーデン・クローネ	809,200	820,600	3,035,345	2,822,572
貸出期間、加重平均、月数 ²⁾	80.0	76.0	26.0	29.0

金利期間、内訳

変動金利、%	61.1	51.2	91.9	95.0
固定金利、%	38.9	48.8	8.1	5.0

1) スウェーデン・カバード・ボンド発行者協会 (Association of Swedish Covered Bond issuers)

2) 貸出金の実行日から計算されている。

流動性リスク

当行は業務の一環として、日次で大量のキャッシュ・フローの流入及び流出を取り扱っている。流動性管理におけるリスクを抑えるために、当行は流動性リスクの限度額と定性的目標を含む、堅固なリスク許容度の枠組みを有している。ハンデルスバンケン・リスク・コントロール部はリスクを計測し、リスクの利用状況について、日次で最高財務責任者と最高経営責任者に、定期的に取り締役会に報告する責任がある。

流動性計画は、個別の通貨に対するキャッシュ・フローの分析に基づいている。一般的に、流動性の高い通貨の方が、流動性の低い通貨よりもより大きなエクスポージャーが許容される。流動性がない資産は安定した長期資金で手当てし、ストレス状況下においても正の流動性ポジション（キャッシュ・フロー及び流動資産）が維持されなければならないというのが資金調達戦略である。

したがって、当行の流動性管理はストレス・テストに基づいており、ストレス・テストは全体レベルで実行され、当行にとって重要な通貨に対しては個別レベルでも行われる。ストレス・テストでは、様々なストレス・シナリオを想定し、様々な流動性創出策を講じることで、短期・長期ともに当行が十分な流動性を確保できるよう確実にしている。ストレス・テストは市場全体のストレスと特異なストレスの双方を、日次に適用し

て実施される。これらは住宅価格の大幅な下落を考慮したシナリオ分析によっても補完される。これらのストレス・テストでは、当行が金融市場での資金調達ができないと同時に、個人及び法人の預金の一部が1ヶ月以内に徐々に解約されることを仮定している。さらに、当行は個人及び法人への貸出金を満期時に継続することによりコア事業を継続し、顧客がコミットメント及び与信枠の一部を使用すると仮定する。

ストレス・テストでは、流動性準備金の現金資産が使用されること、有価証券を担保に市場での資金調達ができること、また最終手段として中央銀行から緊急の流動性供給を受けることができると仮定している。

さらに、当行はカバード・ボンドの未使用発行分の利用や、流動性を徐々に提供する他の流動性創出策の実施により、流動性の創出が可能である。未使用の担保の残高及び質は、危機的時に当行が必要とする流動性を提供できるものでなければならない。このような状況により、当行の流動性は3年を超えて高水準に保たれ、当行は深刻な長期のストレスに対しても十分に持ちこたえられることになる。



「金融資産及び負債の満期分析」の表は、契約上の支払債務(利息キャッシュ・フローを含む)の割引前キャッシュ・フローを支払期限別に示している。本表は、保有している債券及びその他の利付証券を、それらが担保として供される又は売却される場合に流動性が確保される期間別に示したものである。また、資産・負債・利息のフローが約定満期日までの期間別に示されている。金融保証、ローン・コミットメント及び未使用の当座借越契約はすべて30日以内の期間に計上されている。これらの契約残高総額は、必ずしも将来における資金調達が必要なことを表しているわけではない。デリバティブ商品は純額で表示されており、総額で表示されるキャッシュ・フローについては、表「デリバティブ」に表示されている。

流動性カバレッジ比率(以下「LCR」という。)は、当行の流動性バッファと30日間の厳しいストレス下における正味キャッシュ・フローとの比率を示しており、この要件は総計レベルのLCRに適用され、比率は100%を超えなければならない。また、スウェーデン金融監督庁は、第二の柱における監督審査及び評価プロセスの枠組みにおいて、各通貨のLCRを規定している。年度末現在、当行グループの総計レベルのLCRは207(210)%であり、これは、当行が資金調達市場の短期的な混乱に十分に持ちこたえられることを示している。

構造的流動性尺度である安定調達比率(NSFR)(利用可能な安定調達資金と安定調達需要の比率)の最低要件では、通常時及びストレス時の双方において、長期にわたり当行の資金調達ニーズをカバーできる十分に安定した資金調達能力を有することが要求されている。この最低要件は総計レベルに適用され、比率は100%を超えなければならない。2024年度末時点で、当行グループ・レベルのNSFRは124(120%)であった。

流動性リスクのプライシング

流動性リスク管理の重要な要素は、発生可能性のある流動性リスクを考慮した預金及び貸付の内部価格設定である。当行が長期の貸出を行う場合、追加的な長期資金調達が必要になる（通常は短期の資金調達より調達コストがより高くなる）。これは、当行の長期債券を購入した投資家は通常、満期までの期間に対してより高額な対価を要求するためである。このことは、当行の内部価格設定において考慮されており、当行の内部ユニットが、ハンデルスバンケン・トレジャリー部からの資金調達に対して支払うという形をとっている。内部価格設定は、適切なインセンティブを創出し、不健全なリスク負担を回避するために重要である。当行は、長い間、満期に基づく内部金利設定を行ってきた。契約によって生じた調達費用及び流動性リスクを考慮に入れ、契約単位で価格設定するシステムが確立されている。

流動性カバレッジ比率(LCR)－内訳

百万スウェーデン・クローネ	2024年	2023年
高品質な流動資産	772,623	758,587
現金流出	419,464	424,831
一般顧客及び小企業からの預金	59,319	55,996
資本市場からの無担保資金調達	278,914	255,923
資本市場からの有担保資金調達	2,452	4,266
他の現金流出	78,779	108,646
現金流入	45,871	63,449
正常なエクスポージャーからの流入	33,911	40,108
他の現金流入	11,960	23,341
流動性カバレッジ比率(LCR)、%	207	210

内訳はEU委員会委任立法(EU)2015/61で定義されているものと同じである。

安定調達比率(NSFR)－内訳

百万スウェーデン・クローネ	2024年	2023年
利用可能な安定調達資金	2,143,849	2,101,503
資本項目及び資本調達手段	219,139	208,436
一般顧客からの預金	708,715	709,447
資本市場からの調達資金	1,212,274	1,179,688
その他負債	3,722	3,931
所要安定調達額	1,734,333	1,758,065
高品質な流動資産合計	7,019	6,063
カバー・プール内の満期までの残存期間が一年以上の、処分制約がある資産	499,810	487,444
正常貸出金及び証券	1,136,619	1,178,603
その他資産	68,494	63,915
オフバランスシート項目	22,391	22,040
安定調達比率(NSFR)、%	124	120

「満期の指定なし」の欄の預金は要求払預金を意味する。この表には利息キャッシュ・フローが含まれているため、この表の貸借対照表項目の金額は当行グループの貸借対照表上の金額と一致していない。利息を除く外貨建てキャッシュ・フローを含めた満期表は、ファクトブック (handelsbanken.com/ir) に記載されている。

金融資産及び負債の満期分析、2024年

	30日以内	31日から 6ヶ月 以内	6ヶ月 から 12ヶ月	1年から 2年	2年から 5年	5年超	満期の 指定なし	合計
百万スウェーデン・クローネ								
現金及び中央銀行預け金	542,808							542,808
中央銀行への担保として適格な利付 証券 ¹⁾	172,606							172,606
債券及びその他の利付証券 ²⁾	47,508							47,508
金融機関への貸出金	16,704	163	161	588	793	865		19,274
うち、リバース・レボ	11,291							11,291
一般顧客への貸出金	76,230	327,674	238,805	299,417	462,128	1,293,888		2,698,142
うち、リバース・レボ	17,995							17,995
その他	20,056						365,437	385,493
うち、株式及び参加持分	14,746							14,746
うち、未決済取引に係る債権	5,310							5,310
資産合計	875,911	327,837	238,966	300,005	462,921	1,294,754	365,437	3,865,831
金融機関からの預り金	38,239	33,459	1,462	120	904	349	11,192	85,726
うち、レボ								
うち、中央銀行からの預り金		12,943					247	13,190
一般顧客からの預金及び借入金	88,382	163,368	8,871	2,064	1,203	179	1,059,731	1,323,798
うち、レボ								
発行済証券 ³⁾	91,156	383,727	303,623	194,999	578,061	78,764		1,630,331
うち、カバード・ボンド	377	13,204	100,840	126,656	449,922	45,219		736,218
うち、当初満期が1年末満の譲渡性 預金(CD)	41,693	172,414	56,211					270,318
うち、当初満期が1年末満のコマー シャル・ペーパー(CP)	48,020	158,976	142,232					349,227
うち、当初満期が1年超の譲渡性預 金(CD)及びコマーシャル・ペー パー(CP)		2,876	718					3,594
うち、非優先シニア債		918	729	20,937	31,425	32,600		86,609
うち、当初満期が1年超のシニア債 及びその他の証券	429	32,818	2,327	47,990	99,678	1,120		184,363
劣後負債		849	799	1,647	29,918	11,707		44,920
その他	4,039	219	329	626	1,258	572	540,040	547,083
うち、ショートポジション	1,007							1,007
うち、未決済取引に係る債務	2,865							2,865
負債合計	221,816	581,622	315,084	199,456	611,345	91,571	1,610,963	3,631,858

オフバランスシート項目

金融保証及び未使用のローン・コ ミットメント	442,514

デリバティブ、2024年

		31日から 6ヶ月 以内	6ヶ月 から 12ヶ月	1年から 2年	2年から 5年	5年超		合計
百万スウェーデン・クローネ	30日以内							
デリバティブに係る現金流入合計	234,647	488,324	107,772	155,359	253,407	82,081		1,321,590
デリバティブに係る現金流出合計	232,617	477,157	106,862	147,381	242,625	75,086		1,281,728
純額	2,030	11,167	910	7,978	10,782	6,995		39,862

金融資産及び負債の満期分析、2023年

	30日以内	31日から 6ヶ月 以内	6ヶ月 から 12ヶ月	1年から 2年	2年から 5年	5年超	満期の 指定なし	合計
百万スウェーデン・クローネ								
現金及び中央銀行預け金	508,710							508,710
中央銀行への担保として適格な利付 証券 ¹⁾	199,274							199,274
債券及びその他の利付証券 ²⁾	50,435							50,435
金融機関への貸出金	17,401	521	788	1,304	3,129	2,306		25,448
うち、リバース・レボ	9,623							9,623
一般顧客への貸出金	92,630	327,172	258,418	279,380	465,330	1,227,112		2,650,042
うち、リバース・レボ	17,404							17,404
その他	17,847						308,890	326,737
うち、株式及び参加持分	12,218							12,218
うち、未決済取引に係る債権	5,629							5,629
資産合計	886,297	327,693	259,207	280,683	468,458	1,229,417	308,890	3,760,646
金融機関からの預り金	39,546	35,766	1,783	703	381	1,001	13,115	92,295
うち、レボ								
うち、中央銀行からの預り金	11,741	20,288						32,029
一般顧客からの預金及び借入金	72,616	188,060	33,509	4,994	1,623	157	1,049,740	1,350,699
うち、レボ								
発行済証券 ³⁾	73,317	437,143	271,904	145,936	569,336	94,931		1,592,568
うち、カバード・ボンド	336	54,466	76,896	104,626	390,687	55,744		682,756
うち、当初満期が1年未満の譲渡性 預金(CD)	28,975	127,206	46,503					202,684
うち、当初満期が1年未満のコマー シャル・ペーパー(CP)	47,841	225,686	136,389					409,916
うち、当初満期が1年超の譲渡性預 金(CD)及びコマーシャル・ペー パー(CP)	99	19,024	14,117					33,240
うち、非優先シニア債		557	414	970	37,871	25,674		65,486
うち、当初満期が1年超のシニア債 及びその他の証券	109	27,489	2,886	35,008	121,494	11,500		198,487
劣後負債		14,022	565	1,353	20,192	14,367		50,499
その他	7,750	220	377	654	1,383	638	519,013	530,035
うち、ショートポジション	2,366							2,366
うち、未決済取引に係る債務	5,210							5,210
負債合計	193,229	675,212	308,139	153,640	592,916	111,093	1,581,867	3,616,096

オフバランスシート項目

金融保証及び未使用のローン・コ
ミットメント

427,865

デリバティブ、2023年

	30日以内	31日から 6ヶ月 以内	6ヶ月 から 12ヶ月	1年から 2年	2年から 5年	5年超	合計
百万スウェーデン・クローネ							
デリバティブに係る現金流入合計	130,988	462,290	124,514	93,751	265,217	89,804	1,166,564

デリバティブに係る現金流出合計	131,898	468,845	127,404	92,031	252,501	81,931	1,154,610
純額	-910	-6,555	-2,890	1,720	12,716	7,873	11,954

1) この金額（利息を除く）のうち、138,235(169,372)百万スウェーデン・クローネは残存期間が1年未満である。

2) この金額（利息を除く）のうち、6,865(3,334)百万スウェーデン・クローネは残存期間が1年未満である。

3) この金額（利息を除く）のうち、750,403(758,321)百万スウェーデン・クローネは残存期間が1年未満である。

上表の資産及び負債には、貸借対照表上「売却目的で保有する資産」及び「売却目的で保有する負債」にそれぞれ分類変更された、フィンランドの処分グループが含まれている。注記G14を参照のこと。

流動性準備金

ストレス状況下における中核事業を支援するための十分な流動性を確保するため、当行は取り扱っているすべての通貨で多額の流動性準備金を保有している。当該流動性準備金は、資金調達市場や外国為替市場とは関係なく、随時、当行に流動性を提供するものである。

当該流動性準備金は、複数の異なる部分より構成されている。現金、預金残高及びその他の中央銀行への貸出は、当行に緊急の流動性を提供可能な部分である。当該準備金はまた、国債、カバード・ボンド及びその他の信用の質が高い有価証券をはじめとする流動性の高い有価証券より構成され、これらは流動性が高く、中央銀行への担保として適格なものである。これはまた、当行に緊急の流動性を提供可能なものである。流動性準備金の残りの部分は、カバード・ボンドの未発行額及びその他の流動性創出策より構成される。

中央銀行に対する残高及び流動性準備金における有価証券残高(市場価値)、2024年

百万スウェーデン・クローネ	スウェーデン・クローネ	ユーロ	米ドル	その他	合計
レベル1資産	252,323	210,426	142,411	171,044	776,204
現金及び中央銀行預け金	62,533	204,795	132,563	138,239	538,130
ソブリン、中央銀行、国際開発金融機関及び国際機関 が発行又は保証する証券	154,706	5,516	9,848	3,115	173,185
地方債及びその他公的機関発行債	19				19
きわめて高品質なカバード・ボンド	35,066	115		29,690	64,871
レベル2資産	912	163		121	1,196
レベル2A資産	909			121	1,030
ソブリン、中央銀行、地方自治体及びその他公的機関 が発行又は保証する証券				95	95
高品質なカバード・ボンド	909			27	936
社債（格付が ³ AA-以上）					
レベル2B資産	2	163			165
資産担保証券					
高品質なカバード・ボンド					
社債（格付が ³ A+からBBB-）	2	163			165
株式（主要株式指数）					
流動資産合計	253,235	210,590	142,411	171,165	777,401

中央銀行に対する残高及び流動性準備金における有価証券残高(市場価値)、2023年

百万スウェーデン・クローネ	スウェーデン・クローネ				
	ユーロ	米ドル	その他	合計	
レベル1資産	282,713	162,484	165,828	151,125	762,150
現金及び中央銀行預け金	66,978	157,868	160,806	119,288	504,940
ソブリン、中央銀行、国際開発金融機関及び国際機関 が発行又は保証する証券	181,594	4,556	5,022	1,758	192,930
地方債及びその他公的機関発行債	209				209
きわめて高品質なカバード・ボンド	33,932	60		30,079	64,071
レベル2資産	207	280	502	120	1,109
レベル2A資産	207	221	502	120	1,050
ソブリン、中央銀行、地方自治体及びその他公的機関 が発行又は保証する証券				36	36
高品質なカバード・ボンド	207	221	502	84	1,014
社債（格付がAA-以上）					
レベル2B資産		60			60
資産担保証券					
高品質なカバード・ボンド					
社債（格付がA+からBBB-）		60			60
株式（主要株式指数）					
流動資産合計	282,920	162,764	166,330	151,245	763,259

オペレーショナル・リスク

オペレーショナル・リスクは、不適切な若しくは欠陥のある内部プロセス、人為的ミス、誤ったシステム、又は外部事象による損失リスクである。オペレーショナル・リスクの定義には、法的リスク、モデルリスク及び情報通信技術（以下、「ICT」という。）のリスクが含まれている。

取締役会は、オペレーショナル・リスクに対するハンデルスバンケン・グループのリスク許容度を策定している。オペレーショナル・リスクはあらゆる業務において避けることのできない要素ではあるが、ハンデルスバンケンのオペレーショナル・リスクに対するリスク許容度は低い。可能な限り、ハンデルスバンケンはいこれらのリスクを防ぐよう努める必要がある。オペレーショナル・リスクによる損失は少なくあるべきである。インシデントが発生した際、当行、当行の顧客又は金融システムに重大な悪影響を及ぼす可能性のあるオペレーショナル・リスクは、低水準まで軽減されなければならない。リスクが許容可能となるよう、リスク軽減策が取られなければならない。オペレーショナル・リスク事象からの損失は保険又は他の手段で対応され得る。事象発生の影響と蓋然性を1から5までの5段階で評価することによってリスク評価が行われている。事象発生の影響と蓋然性の評価に加え、影響を評価することにより、必要なリスク軽減策の対象範囲が決定される。アクションプランが策定されていない場合、又は作業に時間がかかりすぎる、又は計画通りに進捗していないとリスク・コントロール部が判断した場合、当該リスクは当行のリスク許容度をを超えていると考えられる。最高経営責任者がオペレーショナル・リスクの制限額を決定する。

2024年度の、25,000スウェーデン・クローネを超える、オペレーションによる潜在的及び実際の計上された損失は、回収分を含め、合計119(102)百万スウェーデン・クローネであった。

組織体制

オペレーショナル・リスクの特定、評価及び管理に関する責任は、ハンデルスバンケン・グループのすべての階層の管理者に課される責任に欠くことができないものである。当行の業務の分権型の手法とコスト意識によりオペレーショナル・リスクの良好な管理が推進され、日々の手続や事象における潜在的な損失のリスクに注意を払うことにつながっている。

オペレーショナル・リスクの管理は業務活動において実施され、その取組みはリスク・コントロール部によって管理される。特別に任命されたローカルのオペレーショナル・リスク・コーディネーター（以下、「ローカル・オペリスク・コーディネーター」という。）は、オペレーショナル・リスクを管理する上で管理者を支援するために設置されている。ローカル・オペリスク・コーディネーターは、オペレーショナル・リスク、インシデント管理、リスク指標、アクションプラン、限度額及び報告に関する業務運営を支援する責任を負っている。

ハンデルスバンケン・リスク・コントロール部は、業務部門がオペレーショナル・リスクを識別、評価、管理及び報告するために使用する様々な方法、プロセス及び手続を定期的に評価する責任を負っており、これには、決定されたアクションプランの実施状況を業務部門がモニタリングしているかについての検証も含まれる。またハンデルスバンケン・リスク・コントロール部は、新規又は大きく変更のある商品、サービス、市場、プロセス、ITシステムや、当行グループの業務又は組織体制の重要な変更に関する意思決定が行われる前にリスクが評価されていることを確かめる責任を負っている。さらにハンデルスバンケン・リスク・コントロール部は、グループ・レベルですべての重要なオペレーショナル・リスク及びその状況を特定、評価、分析し、経営陣及び取締役会に報告する責任を負っている。経営陣及び取締役会に提出されるリスク報告には、重大なインシデント及びリスク軽減策に関する情報も含まれる。

オペレーショナル・リスクの特定、評価及び管理の方法

業務部門は、部門内で日常的な業務活動に伴うリスクに当事者意識を持って主体的に取り組み、管理する責任を負っている。当行は以下を含む異なる区分に従い、オペレーショナル・リスクの動向を監視している。

- ・執行・受渡・プロセス管理
- ・事業活動の中断・システム障害
- ・顧客・商品及び取引慣行
- ・外部犯罪
- ・有形資産に対する損傷
- ・労務慣行・職場の安全
- ・内部不正

オペレーショナル・リスクを特定、評価及び管理するためのグループ共通の手法には、インシデントの報告、リスク指標及びオペレーショナル・リスクの自己点検がある。

インシデントの報告

25,000スウェーデン・クローネを超える直接的な金銭的損失をもたらしたオペレーショナル・リスクのインシデントに関する報告は必須である。オペレーショナル・リスクを表す他のインシデントも報告義務があり、リスクの事実が収集されなければならない。

リスク指標

リスク指標はオペレーショナル・リスクの増加を警告するために監視されている。リスク指標の閾値を超えた場合、講じるべきリスク管理手法を評価する際の根拠とするためリスク評価を実施する必要がある。特定のリスク指標については、最高経営責任者が閾値を決定している。

オペレーショナル・リスク関連の自己点検

グループ全体のオペレーショナル・リスク・プロセスは、事業体の責任領域における体系的なリスク・インベントリを支援し、特定されたオペレーショナル・リスクをグループ全体の評価尺度に従って評価し、リスク台帳に記録し、オペレーショナル・リスクを報告するために使用され、全てのユニットが定期的に本プロセスを実施している。リスク評価はイベントドリブン型とすることも可能であり、重大なインシデントや閾値違反、又は重大な外部事象が発生した場合に手続を実施する。



ORX

当行はORX（オペレーショナル・リスクデータ・エクスチェンジ・アソシエーション）のメンバーである。ORXの主要目的は、参加行がオペレーションからの損失につながるインシデントに関する匿名データの交換を行うことである。ORXはまた、オペレーショナル・リスクに関するデータの品質の標準化及び確保においても重要な機能を果たしている。オペレーショナル・リスクに関する手法については幅広い調査が行われており、ORXは重要な情報交換の場となっている。

ハンデルスバンケン・グループにおけるIT業務

当行の業務は、ITサービスが利用可能であること、及びそのセキュリティが確保されていることに依拠している。テクノロジーの発展と銀行サービスのデジタル化は、この領域の重要性が高まっていることを示している。ハンデルスバンケン・グループにおけるIT業務の全体的な目標及び戦略に関するガイドラインが最高経営責任者によって策定される。この領域のオペレーショナル・リスクは、当行の他の手続きと同様のものに加えて、対象となる領域における特定の種類のリスクを管理するための特別な手続に従って管理されている。特別な手続には、例えば以下のものが含まれる。

- ・本番稼働中のITシステムの監視
- ・ITシステム障害の管理
- ・新規又は変更後のITシステムの管理
- ・サイバー・リスクの管理
- ・セキュリティ・テストの実施
- ・ITシステムのリスク分析の実施
- ・IT及びセキュリティに関する外部委託契約等の外部業者との契約の評価
- ・ITシステムの継続性確保のための管理

25,000スウェーデン・クローネを超える損失の内訳（件数）、2020年－2024年

	%
執行・受渡・プロセス管理	55
事業活動の中断・システム障害	6
顧客・商品・実務	4
外部犯罪	34
有形資産への損害	0
労務慣行・職場の安全	1
内部不正	0

25,000スウェーデン・クローネを超える損失の内訳（金額）、2020年－2024年

	%
執行・受渡・プロセス管理	45
事業活動の中断・システム障害	6
顧客・商品・実務	25
外部犯罪	24
有形資産への損害	0
労務慣行・職場の安全	0
内部不正	0

セキュリティ及びデータ保護

ハンデルスバンケンのセキュリティ業務は、従業員と顧客の安全、セキュリティ及びプライバシーを守るほか、顧客及び当行の資産、当行グループの名声及び評判を守ることを目的としている。業務において、当行は顧客や顧客との関係に係る機密情報を継続的に処理している。ハンデルスバンケンの情報セキュリティ及びデータ保護の取り組みの全体的な目的は、可用性、正確性、機密性、追跡可能性を基盤とする情報の保護である。情報システム及び業務システムは業務要件に応じて利用可能な状態でなければならない。ハンデルスバンケンのセキュリティ及びデータ保護に関するガイドラインは当行グループの最高経営責任者によって策定されている。当行の全従業員が情報保護に関する規則の遵守義務を負っており、すべての管理者は各担当分野におけるセキュリティ及びデータ保護規則の遵守義務を負っている。当行は要件を満たす体系的なデータ保護及びセキュリティ業務の実践により、起こり得る脅威やリスクを阻止しており、IT環境や負の影響を及ぼし得る物理的環境における変更管理手続を策定している。管理体制に不備があった場合や誤って情報が流出した場合、当行の信用低下や財務上の損失等、被害は深刻なものとなり得る。組織的な取り組みの一環として、セキュリティの脅威やリスクに関する従業員及び顧客の意識向上を図るため、当行においてプレゼンテーション、研修プログラムや情報に関するイニシアティブなどを通じた体系的な取り組みが行われている。

セキュリティ及びデータ保護には、規則やインストラクションといった事務的な対応、技術的なセキュリティ対応、物理的保護、及び機密性の高い活動や機密情報の保護も含まれる。

セキュリティ及びデータ保護に関する取り組みは、ISO 27001のような国際規格に則った情報セキュリティ管理システムに基づいて行われている。ハンデルスバンケンの情報セキュリティ業務はISO 27001の認証を取得している。また、当行の情報セキュリティ管理システムは、ISO 27001に加え、世界の大企業の多数が会員となっている組織である情報セキュリティ推進団体（ISF）が策定したグッドプラクティス標準に基づいている。セキュリティ及びデータ保護に関する取り組みは組織的に行われ、当行ではこれにプロセスの観点から取り組んでおり、

中でもリスク分析が主体となっている。リスク分析ではISFの情報リスク分析手法（IRAM2）及びプライバシー影響評価（PIA）が用いられている。

ハンデルスバンケン・グループの物理的安全対策には、防火対策に加え、従業員への脅威、従業員の保護、出張時の安全、周辺保護に関するプロセスと手続、当行の賠償責任及び損害保険に対する保険カバー、並びに外部環境の監視と指示が含まれる。

物理的な安全性に関するグループ内での指示により、特に、火災時の避難についてのレビューが少なくとも毎年行われ、その後年次の就業環境調査を通じてフォローアップが行われる。

金融犯罪

当行は、自行の顧客や商品、サービスが金融犯罪に悪用されるリスクを最小限に抑えるよう努めている。金融犯罪には、マネーロンダリング、テロ資金供与、脱税、贈収賄、詐欺及び国際的制裁に対する違反が含まれる。この業務は、スウェーデン・マネーロンダリング及びテロリズムへの資金供与対策法に則ってグループ全体の金融犯罪防止への取組みに関して責任を負う当行の特命役員への報告義務を有する中央部門が管理している。金融犯罪を防ぐこれらの取組みの重要な第一歩となるのが、当行のリスク許容度の低さと、当行が事業を展開する各国の金融犯罪に対応する外部規制機関である。当行には当行グループ全体の責任を担う金融犯罪対策の専門部署があり、金融犯罪を監視するとともに、金融犯罪を防ぐ当行の取組みに対するアドバイザーの役割を果たしている。同部署のトップは、当行の本部部門の責任者が務めている。当行の金融犯罪防止のための取組みの詳細については、ハンデルスバンケンのコーポレート・ガバナンス・レポートの40－58ページを参照のこと。

変更管理

変更管理は新規又は大幅に変更された商品、サービス、市場、プロセス、ITシステム、若しくは当行グループの業務又は組織体制の重要な変更が行われる際に用いられる。プロセスの活動と主体は当行のインストラクションに定められ、変更管理の承認プロセスには、コントロール部署がいつ、どのように関与すべきかが記載されている。承認プロセスには、リスク分析が実施される要件も含まれ、これらは、例えば金融犯罪、気候環境、情報セキュリティ、データ品質などの領域を考慮したものとなっている。また、変更管理に関する意思決定は文書化されなければならない。

重要なプロセス

重要なプロセスとは、当行の重要な業務に対応する上できわめて重要なプロセスを言う。当行の重要プロセスは目的適合性について年次で、また重要な変更について見直され、リスク評価の対象とされるほか、必要に応じて改定される。

重要なプロセスの特定は、当行の事業継続計画の対象範囲、すなわち、混乱や業務停止といった事象が起きた場合に業務のどの部分を優先させるかを決定する際に欠かせないものである。

事業継続計画及び危機管理

当行の事業継続計画及び危機管理の目的は、予測不可能な状況が発生した場合、事業継続のために当行が万全な準備をしておくようにすることである。これは、事業の深刻な混乱の影響を低減するため、混乱の期間においても、許容できる水準で事業を継続できるような予備手段を講じておかなければならないことを意味している。最高経営責任者による事業継続及び危機管理の指針並びに追加的な指示では、どの業務とITシステムが重要で事業継続を必要とするかを確認する上で、毎年結果分析を行わなければならないと規定している。

事業継続計画は、混乱時及び通常業務への回復期における事業維持に関する計画を含む。重要なプロセスに関しては、事業継続計画の中に認められる最長の事業停止期間を含める必要がある。当行グループには本部危機管理チーム（Central Crisis Team）が存在し、さらに、一部の子会社やユニットにおいても危機管理チームが開設されることになっている。危機管理機能における手続は、特別な危機マニュアルに従って実施しなければならない。

事業継続計画及び危機マニュアルについては少なくとも毎年見直しを行わなければならない。事業継続計画は最低でも毎年テストを実施し、危機管理機能を持つことを求められる各ユニットは、危機管理訓練を実施しなければならない。この手続は毎年評価が行われ、本部の取締役会に報告される。当行の事業継続管理戦略も本部の取締役会に報告される。

ハンデルスバンケンは金融セクターの混乱と業務停止への対応力の強化を目的とした、スウェーデンの金融セクターの官民連携によるパートナーシップ組織(FSPOS)にも任意参加している。2024年度に、FSPOSによる訓練は行われなかった。

サプライヤー契約

当行は、当行グループ内での業務委託契約を含む、サプライヤー契約を管理するための指定されたプロセスを有している。出発点として、当行はサプライヤー契約やその管理を決定する前の評価において、当行の低いリスク許容度を考慮した、リスクベースの業務手法を適用している。最高経営責任者は、重要性の高い業務を外部委託契約する際の条件及び要件を定めた業務委託契約のガイドラインを公表している。本ガイドラインはハンデルスバンケン・グループ全体及び当行グループの子会社にも適用される。

風評リスク、コンダクトリスク及び研修

風評リスクとは当行の信頼低下によってもたらされる損失リスクを指す。風評リスクは倫理基準の欠陥、不適切な行動、情報の不足や新商品や改訂商品の設計ミス等が原因で発生する。ハンデルスバンケンは積極的なビジネス・インテリジェンスを通じ、必要に応じて関連する是正措置を実施し、高い倫理基準で業務を遂行することにより、業務の中の風評リスクを管理し、これを最小限に抑えている。2024年には当行グループの全従業員に対し、金融犯罪、一般データ保護規則（GDPR）、セキュリティ研修—サイバー・セキュリティの3つの研修が義務付けられている。さらに、当行の異なるユニットがローカルで採用しているその他の研修コースの受講も義務づけられている。

ハンデルスバンケンのリスク許容度の低さは従業員給付の面にも反映されている。当行では固定報酬が健全な業務に寄与していると考えており、それを基本原則としている。

コンプライアンス・リスク

コンプライアンス・リスクは、コンプライアンス違反に関連するリスクをいう。

コンプライアンスとは、当行に認可された業務に一括して適用される内外の規則及び規制、市場慣行並びに関連基準の遵守及び準拠をいう。コンプライアンス・リスクとは、当行がこれらの枠組みに従わなかった結果、当行が被る可能性のある制裁、重大な財務上の損失、評判の失墜のリスクである。ハンデルスバンケンのコンプライアンス・リスクに対する許容度は低い。業務において、これらのリスクを可能な限り防ぎ、特定されたリスクに迅速に対処するために必要な作業を優先しなければならない。コンプライアンス部署がそのリスク水準を重大又は重要であると評価し、適切なアクションプランがない、又は既存のアクションプランから著しく乖離していると判断した場合、リスクが許容度を超えているとみなされる。

組織体制

業務におけるコンプライアンスへの責任は、当行グループの全階層における管理責任の不可欠な部分として、各ユニット又は各部門が担っている。ファンクションマネージャー及びプロダクトマネージャーには、各担当分野における業務が、行内外の規則や規制に従って行われるよう確実にするための特別な責任がある。その中には、各担当分野が発出した当行グループ全体への指示遵守をフォローアップする責任を含む。ハンデルスバンケン法務部には、業務部門に対する法的支援を行い、他の部署に代わって規制に関する最終的な解釈を含む必要な法的評価を行う責任がある。また、本部及び地域レベルでの法的支援や法的評価を含む業務を調整する責任も担っている。ハンデルスバンケン・グループにおいて、管理職と従業員は、規制違反に伴うコンプライアンス・リスクに加え、内外の規則を通じて課された要件を正しく認識し、理解する必要があるほか、法的評価が必要な場合にはハンデルスバンケン法務部又は地域の法務部署から適宜支援を受けなければならない。

コンプライアンス部署は、当行に認可された業務に関連するコンプライアンス・リスクの特定、監視、統制及び報告に責任を負うコントロール部署である。最高コンプライアンス責任者が率いるコンプライアンス部署は、組織的には、ハンデルスバンケン・コンプライアンス部(通常はローカルのコンプライアンス・ユニットもここに含まれる)と一部の子会社にあるローカルのコンプライアンス・ユニットの2つに分けられる。ハンデルスバンケン・コンプライアンス部には、適用されるマネーロンダリング・テロ資金供与対策に関する規制に基づく管理・報告義務任命責任者、適用されるデータ保護及び個人データ処理に関する規制に基づくデータ保護責任者(以下、「DPO」という。)など、具体的に定められた役割も含まれている。

リスクベースの業務

コンプライアンス部署は、業務にリスクベースの手法を適用している。実際には、同部署がその活動を集中すべき領域を特定するための総合的なリスク評価を年次で実施していることを意味する。最高コンプライアンス責任者(CCO)は、当行グループ内の現在のリスク状況を四半期毎に最高経営責任者、リスク委員会及び取締役会に報告する。これには、任命責任者からの報告や、DPOからの報告も含まれる。

報酬制度におけるリスク

報酬リスクは、報酬制度によって生じる損失又はその他の損害のリスクである。

報酬制度

ハンデルスバンケンでは、従業員が新たな職階に就いた際、報酬は個別に現地水準で設定される。報酬はハンデルスバンケンに対する拘束力を持つ労働協約のほか、類似した現地の標準的な契約や協定を考慮に入れ、当行の給与決定モデル及び給与の決定要素に基づいて決定される。給与の決定要素とは、業務内容及び難易度、能力及びスキル、実績及び成果、指導力、市場の需給関係、並びに当行の企業カルチャーの代表者としての役割である。

これらの原則は何年もの間、適用されている。ここでは、あらゆる階層のマネージャーが定期的に給与プロセスに参加し、当行の給与方針に対する責任を持ち、各自の部門のスタッフ費用の増加に責任を持つことを意味している。

ハンデルスバンケンが適切に設計された報酬制度を確実に維持するため、報酬制度のリスクは、他の種類のリスクと同様の責任分担によるリスク管理を行う、個別のリスク区分として管理されている。ハンデルスバンケンの報酬リスクについての許容度は低く、報酬リスクを低水準に抑えるために積極的に活動している。実績型変動報酬は細心の注意を払った上で利用されなければならない、当行のリスク・プロファイルに重大な影響を及ぼす業務を担当する従業員には支給されない。

2024年には、業績連動型変動報酬に対して49(49)百万スウェーデン・クローネの引当金が計上された。

組織体制及び責任

当行の報酬制度の原則は、取締役会で決定される報酬方針に規定されている。より詳細にわたる指針及び導入指令は、最高経営責任者が決定している。ハンデルスバンケン・コンプライアンス部はこの領域に適用される規則を確実に遵守するため、これらのガバナンス文書をレビューしている。報酬リスクの特定及び管理責任は、その業務の責任者である各マネージャーにある。ハンデルスバンケン・リスク・コントロール部はリスクの観点から、報酬制度及びその適用状況が毎年評価されていることを確認している。また、この評価は、当報酬制度が当行のリスク、資本及び流動性の状況に与える影響の分析も含まなければならないとしている。

業績連動型変動報酬	2024年	2023年
業績連動型変動報酬稼得額 ¹⁾ 、百万スウェーデン・クローネ	49	49
給与及び報酬、百万スウェーデン・クローネ	11,375	10,168
業績連動型変動報酬を稼得し得る人数 ²⁾	137	132
平均従業員数	12,703	12,216
給与及び報酬合計に占める業績連動型変動報酬稼得額の割合、%	0.4	0.5
普通株式等Tier1資本に占める業績連動型変動報酬引当金の割合、%	0.03	0.03
平均従業員数に占める業績連動型変動報酬を稼得できる人数の割合、%	1.1	1.1

1) これらの金額は社会保障費を除いたものである。これらの金額は年次報告書の公表後に決定される。

2) 業績連動型変動報酬を割り当てられる人数は年次報告書の公表後に決定される。2023年に業績連動型変動報酬を稼得し得る132人のうち、110人が割当を受けた。

報酬制度におけるリスク

ハンデルスバンケンの報酬方針及び報酬制度におけるリスクは低く、当行の低いリスク許容度に沿ったもので、当行の長期的な利益を支えるものとみなされている。当該報酬制度による、当行の財務リスク、資本及び流動性の状況への影響は少ない。ハンデルスバンケン・グループの従業員に対する業績連動型変動報酬として引き当てられる合計額は、所与の年度の当行の普通株式等Tier1資本の0.4%を超えてはならない。変動報酬の計算データは、現在及び将来のリスク評価に基づいてリスク調整されたものである。業績連動型変動報酬の支払延期や割り当てられた繰延変動報酬の全額又は一部の減額に関する規則が存在する。

当行の報酬制度に関する詳細情報及び統計に関しては、コーポレート・ガバナンス・レポート及び年次報告書の注記G8を参照のこと。

保険事業におけるリスク

保険事業におけるリスクは、主として、市場リスク及び保険リスクより構成されている。

ハンデルスバンケンは、子会社のハンデルスバンケン・リヴを通じて生命保険事業を行っている。ハンデルスバンケン・リヴが扱う保険契約は、ユニットリンク保険契約、ポートフォリオ・ボンド保険契約、リスク保険契約（主に健康保険、保険料払込免除特約及び死亡保険）、そして従来型生命保険契約である。ハンデルスバンケン・リヴのリスク許容度は低く、当行のリスク管理原則に従っている。保険事業における主要リスクは市場リスクと保険リスクである。当行のリスク管理原則、リスク管理体制及びリスクの報告と監視については、注記中の該当箇所を参照のこと。

ハンデルスバンケン・リヴのリスク管理方針では、当行がさらされているリスクを示し、これらのリスクに関する取締役会の許容範囲を明確化し、リスク管理の原則及び社内規則を定めている。また、リスクの特定、計測、対応及び報告の原則についても制定している。ハンデルスバンケン・リヴの投資方針は、財務リスクへのエクスポージャーを制限し、保険契約者に対する義務及び法令上の要件に基づき、資産運用に関する全般的な指示を定めている。また、投資ガバナンス及び統制の実施方法、並びに資産の全体的なリスク水準の管理方法についても指示している。資産はリスクの識別、計測、分析及び報告ができるよう慎重に投資を行うものとする。保険事業のリスクは、ハンデルスバンケン・リヴの取締役会及び最高経営責任者、当行の取締役会及び最高経営責任者、並びにハンデルスバンケン・リスク・コントロール部に報告されている。

市場リスク

市場リスクとは、金利、株価、為替レートの変動などの、金融市場のリスク要因の変動が企業の運用資産や債務の価値の変動をもたらす複合的なリスクである。市場リスクは主に従来型の保険契約において発生するが、保険契約者が価値変動リスクを負っているものの、コミッションやフィーといった当行の報酬が、商品に含まれている運用資産に左右されるユニットリンク保険契約やポートフォリオ・ボンド保険契約からも間接的に発生する。

IFRS第17号に準拠して計上されている従来型生命保険契約及びリスク保険契約から生じる重要な市場リスクについては、注記G34を参照のこと。

信用リスク

信用リスクは、主に従来型生命保険契約で生じる。FRS第17号に準拠して計上されている従来型生命保険契約から生じる信用リスクについては、注記G34を参照のこと。

流動性リスク

流動性リスクは、主に従来型の生命保険契約において生じる。IFRS第17号に準拠して計上されている従来型生命保険契約から生じる流動性リスクについては、注記G34を参照のこと。

保険リスク

保険リスクとは、金融リスク以外であって、保険契約者からハンデルスバンケン・リヴに移転されるリスクをいう。保険リスクは、主に従来型生命保険契約及びリスク保険契約において生じる。IFRS第17号に準拠して計上されている従来型生命保険契約及びリスク保険契約で発生する重要な保険リスクについては、注記G34を参照のこと。

外部による自己資本比率規制

ハンデルスバンケン・リヴは、不測の事態が発生した場合でも保険会社が保険契約者に対する義務を履行するための十分な資本を確保するため、リスクベースの枠組みであるソルベンシーII規制を適用し、自己資本及び所要自己資本を設定している。ハンデルスバンケン・リヴは、保険ポートフォリオ全体に対して規制で定められた標準的な計算式を適用している。自己資本と所要自己資本の比率は常に十分な余裕をもって1を上回らなければならない。

2024年12月31日現在のソルベンシー規制上の所要自己資本額は12,849(11,559)百万スウェーデン・クローネ、自己資本は28,431(26,174)百万スウェーデン・クローネであり、ソルベンシー・マージン比率は2.21(2.26)であった。2024年12月31日現在の最低所要自己資本額は3,212(2,890)百万スウェーデン・クローネである。

ハンデルスバンケン・リヴは、リスクとソルベンシーの自己評価(ORSA)を少なくとも年1回実施し、所定のシナリオ及びストレステストに基づいて将来の所要自己資本を予測している。

サステナビリティ・リスク

サステナビリティ・リスクとは、環境・気候、人権・労働等の社会的責任及びガバナンス上の問題に起因する財務上の損失又は評判の失墜のリスクをいう。

サステナビリティに関するリスクは、(1)物理的気候変動、持続可能な経済への移行及び生物多様性を含む環境・気候、(2)人権、労働、男女共同参画及び個人データの情報セキュリティを含む社会的責任、(3)腐敗防止及び贈賄防止を含むガバナンス、といったサステナビリティに関連するリスク要因が、従来のリスク区分に与える影響から発生する。当行のサステナビリティ・リスクは、主に信用供与や投資など、当行の事業を通じて間接的に発生する。

サステナビリティ・リスク戦略

当行取締役会は、ハンデルスバンケンの長期的な価値創造と信用の維持のためには責任ある行動が不可欠であると、ハンデルスバンケンのサステナビリティに関する方針に定めている。

サステナビリティに関する考え方を事業全体に浸透させることで、当行グループは財務的健全さを保ち、環境的・社会的に持続可能であり、かつ持続可能な発展に資する事業活動を推進することができる。

サステナビリティ・リスクは、ハンデルスバンケンの全般的に低いリスク許容度に沿って管理され、サステナビリティ・リスクがリスク評価の不可欠な部分であるリスク区分に対するリスク許容度を遵守する。

取締役会の方針は、環境と気候変動、林業と農業、人権と労働、武器と防衛産業、タバコ産業、金融犯罪、サプライヤーの手配、税務管理、セキュリティとデータ保護に関連して、ハンデルスバンケン・グループがどのように行動すべきかをより詳細に規定しており、最高経営責任者によって発行された多くのガイドラインの基礎を形成している。

ハンデルスバンケンの主な業務は信用供与であり、サステナビリティの側面は当行の与信方針の重要な一部である。当該方針は、環境、気候、社会及びガバナンス要因に関連するサステナビリティ・リスクが、信用リスク評価に不可欠な要素であることを明確にするとともに、貸付には責任と高い倫理観が伴わなくてはならないとも述べている。

ハンデルスバンケンでは当行の商品、サービス及びアドバイザー・サービスを通じて、顧客が持続可能な選択を行うための環境を整備している。

様々な種類のサステナビリティ・リスク

ハンデルスバンケンでは、従来のすべてのリスク区分を評価する際に、サステナビリティ・リスクを考慮している。サステナビリティ・リスクが当行の業務や顧客にどのようなマイナスの影響を及ぼす可能性があるかについて、下記に説明している。当行は、サステナビリティ・リスクの影響が最も大きく及ぶ可能性があるのは信用リスクであると全体的には評価している。したがって、サステナビリティ・リスクについては、注記G2の「信用リスク」のみに記載し、その他のリスク区分での記載はしていない。

・信用リスク

サステナビリティに関連するリスクや事象は、その予防管理の程度によっては、顧客の財政状態及び与信に係る担保価値を低下させる可能性がある。物理的な気候リスクが不動産に損害をもたらす可能性があり、ま

た、新たな規制による移行リスクが調整コストをもたらす可能性がある。当行顧客の環境・社会・法的問題における不備により、信用リスクが高まる可能性がある。

・流動性リスク

当行資産に関連するサステナビリティ・リスク水準が高まった場合、当行の資金調達能力が損なわれたり、資金調達コストが上昇するリスクがある。急激な物理的気候リスク事象やその他のサステナビリティ要因に関連する事象が発生した場合、それに続く復旧過程で貸付が異常に増加する可能性があり、必然的に当行の必要資金も大幅に増加する可能性がある。

・市場リスク

サステナビリティに関する大きなリスクは、年金制度における株式・債券等の金融資産の価値のマイナスの変動につながる可能性がある。将来の不確実性による市場流動性の低下やボラティリティの上昇は、当行の市場リスク管理に影響を及ぼし得る。国レベルにおいても、その国が急激かつ長期的な気候事象によるどのような困難を想定し、また移行していく姿勢と能力の評価によって、金利や為替レートが影響を受ける可能性がある。

・風評リスクを含むオペレーショナル・リスク

個人データに関する情報セキュリティ上の不備や天候に起因する業務の混乱等により、事業運営上の損失が発生し得る。当行又は融資を受けている顧客において、サステナビリティに関する見通しが不十分な場合、評判の低下や顧客満足度の低下といったリスクが増大する可能性がある。仮に、もし当行が商品やサステナビリティ目標に関連して虚偽があるとの見方をされた場合などは、これに該当する。

・コンプライアンス・リスク

サステナビリティに関するコンプライアンスを遵守しないことにより、制裁措置を招いたり、当行の信用が失墜する可能性がある。

組織体制

当社グループのサステナビリティ活動に関する基本的な考え方・枠組みは、取締役会及び最高経営責任者が定めている。最高経営責任者は、ハンデルスバンケン・グループにおけるサステナビリティに関する機能的責任を、当行経営陣のメンバーである最高サステナビリティ・クライメート責任者(CS0)に委任している。最高サステナビリティ・クライメート責任者が率いるハンデルスバンケン・サステナビリティは、サステナビリティ活動を統括し、事業運営におけるサステナビリティの統合支援や、サステナビリティに関する重要なリスクを特定するための支援を行う、グループ横断的な専門機能である。

ハンデルスバンケンのサステナビリティ関連業務は分散化されており、当行の事業及び業務の意思決定が行われる場所で実施されている。したがって、関連するサステナビリティ・リスクを特定し、管理する責任は、ハンデルスバンケン・グループのすべてのレベルにおける経営責任の一部となっている。当行内の各ユニット間の調整は、ハンデルスバンケン・サステナビリティ委員会のようなフォーラムを通じて行われる。最高サステナビリティ・クライメート責任者が議長を務めるハンデルスバンケン・サステナビリティ委員会には、業務執行役員及び本部部門の役員が参加している。サステナビリティ委員会の活動範囲には、ビジネスチャンスやサステナビリティ・リスク、その他の潜在的な課題等を積極的に特定し、対処することが含まれている。

最高サステナビリティ・クライメート責任者は、当行のサステナビリティに関する全般的なパフォーマンスを四半期ごとにモニタリングし、最高経営責任者及び取締役会に報告する。また、サステナビリティに関する

リスクについては、少なくとも半期ごとに、最高経営責任者のリスク・コンプライアンス委員会においても報告されている。

ハンデルスバンケンにおけるサステナビリティ・リスクの管理

サステナビリティ・リスクは当行の分散型モデルに従って管理しており、サステナビリティ・リスクを特定し、確立されたリスク管理プロセスの枠組みの下でそれらを管理する主要な責任は、当行の業務運営の場において担っている。当行の変更プロセスにサステナビリティ・リスクを含めることにより、重大なサステナビリティ・リスクが当行に生じ、負の影響を及ぼすことを防止することができる。

融資においては、物理的な気候リスクや移行リスクを含むサステナビリティの側面が、当行の意思決定プロセス上、不可分な要素となっている。当該査定は、顧客のサステナビリティ活動及び顧客の業務又は与信の目的に関連するサステナビリティ・リスク(顧客の評判に関するリスクを含む)を評価するものである。当期は、サステナビリティ・リスクに関する情報の入手や評価に係る支援が導入された。与信の審査又は決定を行った者のいずれかが不確実又は疑義を呈する場合、与信は否認される。与信プロセスの説明については、83-84ページを参照のこと。

当行の貸付の多くは不動産担保融資である。物理的な気候リスクは、不動産への損害や価値の低下、修繕費及び保険料の増加、又は賃貸その他の事業に使用される不動産から生じる収入の減少等を生じさせる可能性がある。移行リスクについても同様で、投資が行われない場合には、エネルギー効率化対策に係る調整費用の発生や、不動産価値の低下を招く結果となり得る。当行は、資金やアドバイザー業務の提供等を通じて顧客を支援し、共に気候変動リスクに対応していくことが可能である。

気候リスクに対する当行の財務耐性は、シナリオ分析などにに基づき分析されており、その中には不動産担保エクスポージャーに対するストレス・テストも含まれている。物理的気候リスクについては、主に河川や海面上昇による洪水リスクへのエクスポージャーに係る調査が行われ、分析の結果、これらのリスクへのエクスポージャーは限定的であることが示された。総じて、英国における洪水リスクが他の国内市場よりも高くなっている。

移行リスクに関しては、欧州建築物エネルギー性能指令(EPBD)により建築物のエネルギー性能の向上に関する要件が定められていることから、当行顧客の信用リスクの変化を検証した。当該規制が担保価値に与える影響を分析した結果、信用損失のリスクは低いことが示された。

さらに、ストレス・テストではマクロ経済がネットゼロに移行した場合の、顧客の信用リスクへの影響を分析しており、信用損失も低水準の結果となっている。

シナリオ分析とその結果の詳細については、サステナビリティ報告書274-276ページの欧州サステナビリティ報告基準 2(ESRS 2) 影響・リスク・機会 1(IR0-1) 気候変動(E1) (訳注:ハンデルスバンケンの2024年の年次及びサステナビリティ報告書原文の中の項目名であり、本書には含まれていない)を参照のこと。サステナビリティ・リスクに関する詳細な情報は、第三の柱に関する報告書の“ESG Prudential Disclosure”(訳注:ハンデルスバンケンの2024年の年次及びサステナビリティ報告書原文の中の項目名であり、本書には含まれていない)の箇所にも含まれている。

経済資本

ハンデルスバンケンの経済資本(EC)算定モデルは、当行グループ全体のリスクに対する1つの尺度を提供しているほか、当該モデルは、高い可能性で予想外の損失又は価値の下落をカバーできる資本を示している。

ハンデルスバンケン・リスク・コントロール部は、当行グループの様々なリスクについて総合的に監視する責任を有している。当行の経済資本(EC)モデルはこの監視における手段であり、四半期ごとに取締役会に報

告される当行の所要自己資本評価の一部でもある。この評価の目的は、当行グループが、当行グループのすべてのリスクに関連して、十分な資本を常に保有しておくことを確実にすることである。当行グループの見解では、経済資本は、保険事業におけるリスク及び当行の年金債務におけるリスクも含んでいる。

経済資本は、1年間の対象期間にわたって、容認可能なリスク水準及び望ましい格付を反映した信頼水準で計算される。取締役会は、経済資本の算定を当行にとって極端に不利な事象を取り込み、99.97%の信頼水準で行われなければならないと決定している。ECは平均的な年（収益があり当行の資産価値が増加する年）における結果と99.97%の信頼水準での結果との差額である。

異なるリスク区分間への分散効果は、ECを算定する際に考慮されている。リスクの一部が相互に独立しているため、リスク全体に対する所要自己資本は、個別リスクに対する経済資本の合計を下回る。

負の結果を吸収できるバッファを形成している資本及びその他の財源は、利用可能な財源（以下、「AFR」という。）と呼ばれる。AFRは、オンバランスシート及びオフバランスシートのその他の財務的価値の他に、1年間の対象期間にわたって損失をカバーするために利用可能なハンデルスバンケンの資本である。

当行グループは、リスク及び資本の状況について株主の視点からも検討している。経済資本モデルは当行グループの全体的な見解を示すものであり、これにより株主から見たリスク及び資本の状態を最適化することができる。計算結果は新規取引又は構造上の変更が検討される場合に重要な役割を果たしている。

信用リスクは、当行グループのすべてのカウンターパーティ及びエクスポージャーに対する債務不履行のシミュレーション結果を用いて算定される。

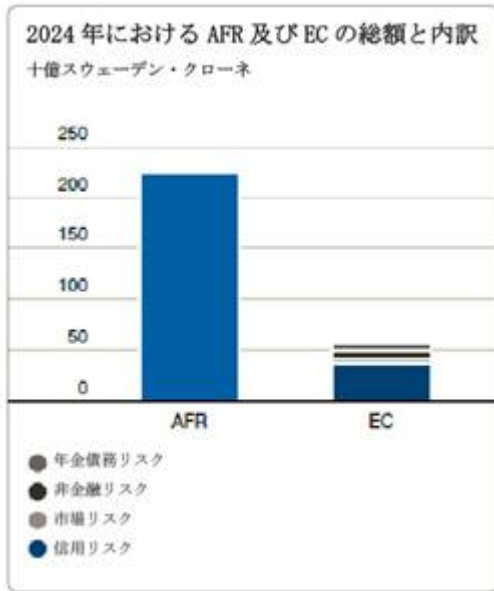
市場リスクは、トレーディング勘定に分類されている資産のリスク、非トレーディング勘定における金利リスク、保険事業における市場リスク及び非トレーディング勘定の所有株式におけるリスクより構成されている。

年金債務におけるリスクは、主として、当行の確定給付年金を引き受けるために存在する資産価値の減少リスク、及びこれらの年金債務の価値が金利の影響を受けるという事実により構成されている。年金債務のほとんどはスウェーデンにおけるものであり、年金基金及び職業年金組合により保険がかけられている。

他のリスクは、オペレーショナル・リスク、事業リスク、不動産リスク及び保険リスクである。事業リスクは、各事業分野における財務成績の予想外の変動に関連している。例えば、事業リスクは、需要又は競争環境が予想外に変化し、結果として取引高の低下及び利鞘の縮小につながったことにより生じる可能性がある。不動産リスクは、当行が所有している不動産価値の下落のリスクである。

当年度末において、ECは58.9(65.5)十億スウェーデン・クローネであり、このうち信用リスクが全リスクの重要な部分を占めていた。取締役会は、AFR/EC比率は120%以上とすると規定している。当年度末における比率は、383(366)%であり、当行がリスク全般に関して十分な資本を準備していることを示している。スウェーデン金融監督庁は、当行の資本評価全般について、同じ結論に至っている。

報告されたリスク及び資本状態は、リスクの算定に景気変動に対する保守主義的な余裕率が含まれているとはいえ、あくまでも断片的なものである。当行グループの自己資本比率の最終評価を実施するに当たっては、当行の資本計画の一環として実行されたストレス及びシナリオ分析も考慮されなければならない。



資本計画

ハンデルスバンケンの資本計画は、当行グループの適切な額の財源を常に利用可能な状態にすることを目的としている。

所要自己資本は、当行グループのリスク、予想される進展、規制、目標比率、ハンデルスバンケンの経済資本（EC）モデル及びストレス・テストの関数である。当行の所要自己資本は週次で最高財務責任者及び最高経営責任者に報告され、少なくとも四半期ごとに取締役会に報告される。

当行には、積極的な資本計画の一環として、当行が資本状況を改善する必要がある場合に講じることができる具体的な対策を盛り込んだ危機管理計画及び行動計画がある。危機管理計画及び行動計画の目的は、早い段階で潜在的な脅威を特定し、当行グループが必要に応じて迅速に行動する準備をするための警告システムを確保することにある。

長期資本計画は、少なくとも毎年策定され、当行グループの現在の資本状況、予想される資本効率及び様々なシナリオにおける結果についての包括的な概要を提示することを目的に策定されている。これらのシナリオは、予想される事象とは大きく異なるように作成されているため、当行グループの厳格なリスク許容度と調和している。資本計画にはまた、規制上の見解及び株主の見解の双方を考慮し、極端に不利な事業環境において十分な資本水準を維持する方法についての提案も含まれている。

資本計画は、短期及び中長期的な予測に分けられている。資本計画の一部は最大2年後までの短期予測より構成されており、主に現状の業績と所要自己資本の分析に重点を置いている。当該予測は、自己資本の規模及び構成を継続的に調整可能にするために必要である。

資本計画は、取引高、リスク及び業績の変動についての継続的な分析を通じて、また所要自己資本及び資本金額に影響を及ぼす可能性のある事象を監視することによって実行される。短期予測の対象には、当行グループの自己資本を構成するすべてのサブ・コンポーネントが含まれており、また、資本要件には、規制上の最低資本要件及びバッファに加え、第二の柱の要件、レバレッジ比率の要件及び自己資本・適格債務に関する最低要件（MREL）が含まれている。当該予測作業にはまた、短期的な視点から自己資本比率及び自己資本において予想される変動についての様々な感応度分析を行うことも含まれている。したがって、当行は、例えば市場操作を通じて、必要に応じて自己資本の規模及び構成を変更する準備を整えることができる。

短期分析の結果は、実施される資本運営の基礎となるものであり、週次で最高財務責任者及び最高経営責任者に報告されるほか、必要に応じて取締役会にも報告されている。この分析は、基本シナリオに基づき、現在の収益力が、様々な数量の変動や、資本運営に影響を及ぼすと見込まれる他の影響にどのように対応できるかについて、短期的な目線での判断ポイントを示している。週次の報告には、基本予測に影響を与え得る様々な市場要因に基づく感応度分析も含まれている。

中長期的な予測より構成される資本計画の部分では、法定自己資本比率要件を確実に遵守することを目的としており、当行グループの利用可能な財源（AFR）が、ECモデルに従って算出されたすべてのリスクに関する適切な余裕率を常にカバーすることを目的としている。

また、長期的な予測にはその期間にわたる当行の全体的な資本の推移、最低資本要件、連結資本バッファ要件、第二の柱の要件、レバレッジ比率の要件及びMRELの要件の評価が含まれる。その目的は業績を予測することであり、様々なシナリオにおける当行の耐性が十分な水準にあるか否か判断することである。計画期間は最低5年間で、当行グループの事業の業績傾向全般を考慮に入れている。

基本シナリオは、長期的な資本予測の基礎を形成している。当該シナリオは利益、取引高の増加、信用損失等財政上の仮定並びに株式市場、不動産市場及び債券市場に関する今後5年間の予想される業績より取得されている。基本シナリオは、その後、いくつかの景気循環及び危機シナリオにおける結果と比較される。ストレス・シナリオは、異なるマクロ経済変数が金融市場に与えた影響の関連性を過去に遡って分析することにより

策定され、ハンデルスバンケンに最も不利な影響をもたらすと予想されるシナリオを用いて選定される。地政学的リスク、金利上昇、消費の低迷、事業環境の冷え込みやスウェーデンの労働市場の低迷などが合わさったマクロ経済情勢について、当行の視点で分析している。

2024年度末現在の普通株式等Tier1比率は18.8%(18.8)%であった。同日現在のAFR/EC比率は、383(366)%であった。したがって、AFRは、内部所要自己資本（EC）評価額を上回る程の非常に十分な余裕をもって計上されている。

さらに、当行の強さは、ハンデルスバンケンの長期的な資本状況が財政上及び規制上の観点から非常に安定していることを示している、将来予測的な様々なストレス・シナリオの結果からも明らかである。

また資本計画では、規制動向の進展をモニタリングするとともに、新規要件による影響及び所要額を評価している。

規制資本に関する当行グループの目標

取締役会は、継続的に当行の資本構成に関する目標を設定している。規制資本の状況に関する所要自己資本評価の基礎は、当行の状況（長期及び短期の両方を含む）に関するストレス及びシナリオ分析である。使用するシナリオは、主に当行の内部的なリスク許容度並びに規制及びその他の公的機関による規定に由来する直接的な要件に基づいている。所要自己資本に関する内部評価に加えて、スウェーデン金融監督庁は、銀行による内部の算定数値にかかわらず、スウェーデンの銀行の目標数値が当局の算出した所要自己資本合計を下回ってはならないことを通知した。当行は、規制資本に関する目標数値を設定する際には、このことを考慮している。

取締役会の決定では、現行の規制の枠組みに基づく当行のガバナンスに最も適した測定数値である普通株式等Tier 1比率は、通常状況下では、スウェーデン金融監督庁が当行に通知した普通株式等Tier1比率よりも1から3パーセンテージ・ポイント上回っていなければならない。その他の自己資本の階層（Tier 1自己資本比率及び総資本比率）は、それぞれの自己資本の階層について同監督庁が当行に通知した比率よりも少なくとも1パーセンテージ・ポイント上回っていなければならない。レバレッジ比率は、スウェーデン金融監督庁が当行に通知したレバレッジ比率を最低でも0.6パーセンテージ・ポイント上回っていなければならない。さらに、当行は公的機関が課す他の資本要件をすべて満たす必要がある。さらに、取締役会は、「配当水準により、自己資本比率はスウェーデン金融監督庁が通知した要件よりも1パーセンテージ・ポイント高い水準を下回ってはならない」と決定している。

当行の評価では、スウェーデン金融監督庁の規定する第4四半期末現在における普通株式等Tier1資本比率は14.9%であった。

[次へ](#)

注記G3 純利息収益

百万スウェーデン・クローネ	2024年	2023年
利息収益		
金融機関及び中央銀行への貸出金	34,514	29,262
一般顧客への貸出金	104,409	91,518
中央銀行への担保として適格な利付証券	8,491	8,110
債券及びその他の利付証券	2,362	2,076
デリバティブ商品	23,545	32,227
その他利息収益	354	853
合計	173,675	164,046
金融取引による純損益に計上された利息収益の控除	-2,550	-4,242
利息収益合計	171,125	159,805
うち、実効金利法による利息収益及びヘッジ会計デリバティブに係る利息収益	150,587	133,602
利息費用		
金融機関及び中央銀行からの預り金	-3,362	-3,768
一般顧客からの預金及び借入金	-42,684	-35,195
発行済証券	-53,716	-45,983
デリバティブ商品	-25,760	-28,562
劣後負債	-1,611	-1,615
預金保証料	-236	-246
その他利息費用	-505	-513
合計	-127,874	-115,881
金融取引による純損益に計上された利息費用の控除	3,591	3,654
利息費用合計	-124,284	-112,227
うち、実効金利法による利息費用及びヘッジ会計デリバティブに係る利息費用	-115,886	-100,238
純利息収益	46,841	47,578

デリバティブ商品の行には、ヘッジ対象の資産及び負債に関連した純利息収益が含まれている。これは利息収益及び利息費用に正負双方の影響を及ぼす可能性がある。

注記G4 純手数料及びコミッション収益

百万スウェーデン・クローネ	2024年	2023年
仲介及びその他証券コミッション	449	420
ミューチュアル・ファンド	5,980	5,534
カストディ及びその他資産管理手数料	1,171	997
アドバイザーサービス	208	236

保険	776	673
決済	2,879	2,811
貸出金及び預金	1,017	1,156
保証	191	196
その他手数料及びコミッション収益	582	536
手数料及びコミッション収益合計	13,252	12,559
証券	-318	-243
決済	-1,077	-1,053
その他手数料及びコミッション費用	-131	-124
手数料及びコミッション費用合計	-1,526	-1,421
純手数料及びコミッション収益	11,726	11,139

セグメント別手数料及びコミッション収益、2024年

百万スウェーデン・クローネ	スウェーデン	英国	ノルウェー	オランダ	キャピタル・マーケット	その他	調整及び消去	合計
仲介及びその他証券コミッション	164	9	13	15	254	11	-17	449
ミューチュアル・ファンド	5,211	345	226	74		181	-57	5,980
カストディ及びその他の資産管理手数料	870	40	131	103	1	26		1,171
アドバイザリーサービス		50	1		179	8	-30	208
保険	756	1	19			1	-1	776
決済	2,262	332	283	1		1		2,879
貸出金及び預金	636	151	120	10	3	100	-3	1,017
保証	98	14	36	1		43	-1	191
その他手数料及びコミッション収益	559	4	4	1	314	2	-302	582
手数料及びコミッション収益合計	10,557	945	832	207	752	373	-413	13,252

セグメント別手数料及びコミッション収益、2023年

百万スウェーデン・クローネ	スウェーデン	英国	ノルウェー	オランダ	キャピタル・マーケット	その他	調整及び消去	合計
仲介及びその他証券コミッション	154	5	11	11	244	15	-20	420
ミューチュアル・ファンド	4,747	336	231	92		193	-65	5,534
カストディ及びその他の資産管理手数料	725	42	110	95		26	-1	997
アドバイザリーサービス		50	1		184	2	-1	236
保険	670		3			1	-1	673
決済	2,209	326	270	1		5		2,811
貸出金及び預金	726	143	114	9	2	165	-2	1,156
保証	100	13	40	1		41	1	196
その他手数料及びコミッション収益	521	4	4	1	292	1	-287	536
手数料及びコミッション収益合計	9,853	919	784	209	721	450	-376	12,559

手数料及びコミッション収益は顧客との契約から生じる収益である。仲介及びその他証券コミッション、アドバイザリーサービス、決済、貸出金及び預金から生じる収益は通常、サービスの提供時となる特定の時点で認識される。ミューチュアル・ファンド、カストディ及びその他の資産管理手数料、保険並びに保証から生じる収益は通常、サービスの提供時となるサービス提供期間にわたり定額法で認識される。

運用資産

	2024年	2023年
十億スウェーデン・クローネ		
ミューチュアル・ファンド（PPM及びユニットリンク保険を除く）	788	668
PPM	93	79
ユニットリンク保険	227	204
除外：外部ファンド	-1	-2
ミューチュアル・ファンド合計	1,107	949
仕組商品	3	3
ポートフォリオ・ボンド保険	62	52
除外：ハンデルスバンケンのミューチュアル・ファンド及び仕組商品	-35	-27
従来型保険	6	6
除外：ハンデルスバンケンのミューチュアル・ファンド及び仕組商品	-6	-6
裁量権を有する機関投資家向け資産（保険を除く）	398	349
除外：ハンデルスバンケンのミューチュアル・ファンド及び仕組商品	-343	-298
運用資産合計（保護預り証券勘定を除く）	1,192	1,028
保護預り証券勘定（ミューチュアル・ファンドを除く）	810	712
保護預り証券勘定（ハンデルスバンケンに関連する基金向けのミューチュアル・ファンドを除く）	36	35

注記G5 金融取引による純損益

	2024年	2023年
百万スウェーデン・クローネ		
償却原価で計上	605	668
うち、貸出金	169	95
うち、利付証券		0
うち、発行済証券	435	573
その他包括利益を通じて公正価値で計上	0	-1
うち、利付証券 — 予想信用損失	0	0
うち、利付証券 — その他包括利益からの分類変更	0	-1
純損益を通じて公正価値で計上、公正価値オプション	-112	670
うち、利付証券	-112	670
純損益を通じて公正価値で計上(強制)(外貨換算影響額を含む)	2,949	1,494
うち、保険契約者に代わって保有する資産	297	336
ヘッジ会計	-43	166
うち、公正価値ヘッジに係る純損益	-59	82
うち、キャッシュフロー・ヘッジの非有効部分	15	83
合計	3,399	2,997
控除：保険契約者に代わって保有する資産からの収益	-297	-336

金融取引による純損益	3,103	2,661

「純損益を通じて公正価値で測定、公正価値オプション」として計上された金融資産の、当初認識時からの信用リスクの変動による価値変動累計額は-5(113)百万スウェーデン・クローネであった。

注記G6 保険事業による純損益

百万スウェーデン・クローネ	2024年	2023年
保険収益	1,186	1,169
保険サービス費用 ¹⁾	-992	-958
保険サービスによる損益	194	211
再保険契約からの損益	-1	-10
保険金融収益及び費用	-67	-44
保険事業による損益	126	157
保険契約者に代わって保有する資産からの収益	297	336
保険事業による純損益	422	493

1) -13(-13)百万スウェーデン・クローネの新契約費は損益計算書に直接計上される。

注記G7 その他収益

百万スウェーデン・クローネ	2024年	2023年
賃料収入	16	14
その他営業収益 ¹⁾	193	311
合計	209	325

1) 過年度に帰属する付加価値税の還付が2024年度に計上されたことにより、その他営業収益に対し52百万スウェーデン・クローネの影響が生じた。2023年度には、カード決済処理事業の売却に伴う付加価値税の還付が計上されたことにより、その他営業収益に141百万スウェーデン・クローネの影響が生じた。その他営業収益の残りの部分には、各年度における様々な軽微な項目が含まれている。

注記G8 人件費

百万スウェーデン・クローネ	2024年	2023年
給与及び報酬	-10,744	-9,532
社会保障費	-2,599	-2,343
年金費用 ¹⁾	-1,701	-1,112
利益分配制度に対する準備金	-96	-83
その他人件費	-591	-572
合計	-15,731	-13,642

1) 年金費用の構成要素は、年金費用の表に示されている。

給与及び報酬

百万スウェーデン・クローネ	2024年	2023年
執行役員 ¹⁾	-141	-158
その他	-10,603	-9,374
合計	-10,744	-9,532

1) 親会社の執行役員及び取締役並びに子会社の最高経営責任者、副最高経営責任者及び取締役（平均で51名）。

フィンランドの非継続事業に係る人件費は、注記G14に表示されている。

男女別分布

%	2024年		2023年	
	男性	女性	男性	女性
執行役員（取締役を除く）	65	35	62	38
うち親会社	56	44	53	47
うち子会社	71	29	68	32
取締役	62	38	59	41
うち親会社	54	46	46	54
うち子会社	64	36	62	38

平均従業員数

	2024年			2023年		
	Total	男性	女性	Total	男性	女性
スウェーデン	7,462	3,639	3,823	7,285	3,530	3,755
英国	3,095	1,717	1,378	2,923	1,632	1,291
ノルウェー	1,056	557	499	888	460	428
オランダ	458	292	166	415	265	150
米国	53	30	23	53	30	23
ルクセンブルグ	53	29	24	51	27	24
ポーランド	14	3	11	16	4	12
その他諸国	33	14	19	52	23	29
合計	12,224	6,281	5,943	11,683	5,971	5,712

フィンランドの非継続事業に係る平均従業員数は、注記G14に表示されている。

百万ユーロを超える報酬¹⁾

人数	2024年	2023年
1.0-1.5百万ユーロ	5	1
1.5-2.0百万ユーロ	1	1
合計	6	2

1) 年金及びその他の給与手当を含む。

特定職員¹⁾に対する報酬²⁾、事業セグメント

	2024年		2023年	
	報酬	人数	報酬	人数
百万スウェーデン・クローネ				
スウェーデンにおける支店業務	441	288	440	295
英国における支店業務	413	187	391	192
ノルウェーにおける支店業務	120	53	111	55
オランダにおける支店業務	88	45	87	46
マーケット	69	17	104	24
その他	386	119	306	119
非継続事業 ³⁾	142	38	101	37
合計	1,659	747	1,540	768

1) 稼得された報酬は、年金及びその他給付を含め、全額費用として認識されている。

2) 当行のリスク・プロファイルに大きな影響を及ぼす職務を担う従業員（委員会委任規則(EU)923/2021）。報酬方針が他のEU規則又はスウェーデン金融監督庁が発表した他の規則の対象となる、変動報酬を受ける特定職員又は他の特別指定従業員が子会社にいる可能性がある。

3) フィンランドの非継続事業。

特定職員¹⁾に対する報酬²⁾

	2024年		2023年	
	経営幹部 ³⁾	その他の特定職員	経営幹部 ³⁾	その他の特定職員
固定報酬稼得額（百万スウェーデン・クローネ）	87	1,510	122	1,393
業績連動型変動報酬稼得額 （百万スウェーデン・クローネ）				
その他の変動報酬稼得額 （百万スウェーデン・クローネ）	0	62	0	25
合計	87	1,572	122	1,418
固定報酬のみの人数		25	1	23
固定報酬及び業績連動型報酬の双方の受給が可能な人数				
固定報酬及び変動報酬の双方の受給が可能な人数	10	712	15	729
合計人数	10	737	16	752

新規雇用に関連する費用として認識される変動報酬
保証額（百万スウェーデン・クローネ）

新規雇用に関連する費用として認識される契約上の
変動報酬保証額（百万スウェーデン・クローネ）

1) 稼得された報酬は、年金及びその他給付を含め、全額費用として認識されている。業績連動型変動報酬は、当行の変動報酬に関する方針に従って、稼得が決まった後の事業年度に個人単位で割り当てられ、支払われ、又は繰延べられる。職務内容から特定職員と認定された中で、2024年度において業績連動型変動報酬を稼得した従業員はいなかった。上記に加えて、2024年度において、報酬水準から特定職員と識別された従業員は1名であり、報酬額は4.9百万スウェーデン・クローネであった。2024年度に稼得された業績連動型変動報酬の支払いは、2025年春に行われる予定である。2023年度において報酬水準から特定職員と識別された従業員は1名であり、うち1名に

合計0.9百万スウェーデン・クローネの業績連動型変動報酬が付与され、そのうち0.4百万スウェーデン・クローネが2024年度に支払われている。すべての業績連動型変動報酬は現金又は金融商品で支払われ、当該金額から社会保障費は除かれている。繰延報酬の処分権は支払時に従業員に移転する。その他の変動報酬は、オクトゴーネン利益分配制度からの支給と解雇給付である。オクトゴーネン利益分配制度からの報酬の支給は12(21)百万スウェーデン・クローネであり、当該金額から社会保障費は除かれている。当年度の契約における解雇給付の総額は50(4)百万スウェーデン・クローネであり、個人に支払われた最高額は7.2(1.4)百万スウェーデン・クローネであった。当年度中に、特定職員13(6)名に対する解雇給付28(11)百万スウェーデン・クローネが支払われた。変動報酬保証額の支給はなかった。

- 2) 当行のリスク・プロファイルに大きな影響を及ぼす職務を担う従業員（委員会委任規則(EU)923/2021）。報酬方針が他のEU規則又はスウェーデン金融監督庁が発表した他の規則の対象となる、変動報酬を受ける特定職員又は他の特別指定従業員が子会社にいる可能性がある。
- 3) スウェーデン金融監督庁の規則（FFFS 2011年第1号）に基づく。

従業員給付

ハンデルスバンケン・グループのすべての従業員への報酬に関する方針についての詳細な情報は、コーポレート・ガバナンス・レポートの49ページから50ページ（訳注：ハンデルスバンケンの2024年の年次及びサステナビリティ報告書原文の項目名であり、当該項目は本書には含まれていない。）に記載されている。

スウェーデン金融監督庁規則FFFS 2011年第1号並びに欧州委員会委任規則575/2013及び923/2021に従い、銀行は、そのリスク・プロファイルに大きな影響を与える専門的な職務を行う従業員を特定する必要がある。ハンデルスバンケンはこのような職務を行う従業員748(769)名を特定し、「特定職員」に指定している。上述の規定の開示要件に準拠したハンデルスバンケン・グループのこれらの特定職員に対する報酬が、上表に記載されている。2024年に、ハンデルスバンケン・グループには、当行のリスク・プロファイルに大きな影響を及ぼす職務を負っている従業員のうち、業績連動型変動報酬を受給した従業員はいなかった。

2024年度には、ハンデルスバンケンがオクトゴーネン利益分配制度に96(83)百万スウェーデン・クローネを引き当てた。

オクトゴーネン利益分配制度

オクトゴーネン利益分配制度は、ハンデルスバンケン・グループの全従業員を対象としており、本制度は変動報酬に分類され、ハンデルスバンケンの企業目標の達成に連動する収益性指標と、当行の業績に関する取締役会の総合評価に基づいて決定される。支給は主として従業員に対する現金で行われるか、又は年金制度、貯蓄制度若しくはその両者の組み合わせで行われる。

株式報酬

ハンデルスバンケン・ピーエルシーの全従業員は、適用される英国法に基づき、株式報酬プログラム（「SIP」）の対象となっている。本制度の報酬は、親会社であるハンデルスバンケン・エイ・ビーの株式という形式で決済される。SIPでは、英国を拠点とする信託が会社の代わりに株式報酬プログラムを管理することが要求されているため、信託が設立されSIP受託人が管理している。信託は株式を取得し、従業員に割り当て、その後は従業員に代わって割り当てられた株式を保有している。従業員に割り当てられた株式は、従業員への課税を回避するため、SIPで年間以上にわたって権利確定するものとし、権利確定期間中に受け取る配当金は、従業員に発生する。

SIPへの割当条件と収益条件はオクトゴーネン利益分配制度と同じであることから、対象期間は前年度である。「ハンデルスバンケンにおける報酬原則」の項を参照のこと。ハンデルスバンケン・ピーエルシーの取締役会は、株式報酬プログラムへの最終的な配分を決定する。

2024年度には、54.7(78.6)百万スウェーデン・クローネの株式報酬が2023年度に係る費用として計上され、資本の増加として認識されている。当行の株式報酬費用は、その後変更することはできない。この支払は、信託がハンデルスバンケン・エイ・ビーの株式531,263(891,271)株を1株当たり平均市場価格100.3(91.8)スウェーデン・クローネで市場から買い入れることで決済され、株式は従業員に割り当てられた。当行グループにとっては、ハンデルスバンケン・エイ・ビーの株式の取得は株式報酬のヘッジに相当し、資本が減少した。持分変動計算書を参照のこと。

執行役員に対する報酬

ハンデルスバンケンの執行役員は、取締役、最高経営責任者、副最高経営責任者、最高リスク責任者、最高コンプライアンス責任者及びその他の経営幹部である。コーポレート・ガバナンス報告書の54ページから57ページも参照のこと（訳注：ハンデルスバンケンの2024年の年次及びサステナビリティ報告書原文の項目名であり、当該項目は本書には含まれていない。）。親会社の執行役員に対する報酬は、2024年年次株主総会で策定された報酬に関するガイドラインに従っている。51ページ（訳注：ハンデルスバンケンの2024年の年次及びサステナビリティ報告書原文の項目名であり、当該項目は本書には含まれていない。）も参照のこと。

ハンデルスバンケンの執行役員に対する報酬、年金債務、与信及び預り金は、これらのページに記載されている。また、子会社の最高経営責任者、副最高経営責任者及び取締役もこれに含まれる。

ハンデルスバンケン・グループの執行役員に対する報酬は固定給及び年金給付の形式のみで支給されるが、社用車等の慣習的な給付もある。取締役会の特別決議に基づき、当行は報酬の一部として住宅を提供することができる。当執行役員は、当行の全従業員と同じ条件でオクトゴーネン利益分配制度の対象となっている。業績連動型変動報酬の支給は行われない。当行の従業員である執行役員は、すべての従業員と同じ条件で給与を年金に転換する権利も有している。

当行の従業員でもなく当行の子会社の従業員でもない取締役は、年次株主総会の決議に従った報酬のみを受け取る。

当行又は当行の子会社の従業員である取締役は、雇用の事由により報酬及び年金給付を受け取る。取締役を務めることによって追加的に報酬も年金給付も支給されることはない。親会社の取締役に対する報酬については、コーポレート・ガバナンス報告書の54ページから57ページ（訳注：ハンデルスバンケンの2024年の年次及びサステナビリティ報告書原文の項目名であり、当該項目は本書には含まれていない。）に記載されている。

執行役員に関する以下の報酬情報において当行が記載した年金費用は、IAS第19号に準拠した確定給付年金に関する勤務費用、確定拠出年金に関して合意された保険料、及び給与から転換された年金保険料で構成される。

当行を代表して他の会社の取締役を務めたことによる外部報酬は、当行に支払われている。

最高経営責任者、副最高経営責任者、経営幹部に対する報酬

百万スウェーデン・ クローネ	固定報酬				変動報酬		年金費用、確定給付 制度及び 確定拠出制度		年金費用を含む 固定報酬及び 変動報酬		報酬合計に占める固 定報酬の 割合	
	基本給		手当		2024年	2023年	2024年	2023年	2024年	2023年	2024年	2023年
	2024年	2023年	2024年	2023年								
	最高経営責任者											
ミーケル・グリーン ¹⁾	14.0		0.1		0.0		4.9		19.0		100%	
カリナ・オーケストレーム ²⁾		14.5		0.6		0.0		5.1		20.2		100%
副最高経営責任者												
カール・セダーシオルド ³⁾	8.4	7.8	0.2	0.2	0.0	0.0	2.3	2.0	10.9	10.0	100%	100%
ペール・ベックマン ⁴⁾	9.6	7.5	0.3	0.3	0.0	0.0	3.4	2.3	13.3	10.1	100%	100%
経営幹部の他のメンバー ⁵⁾	34.5	61.4	2.2	4.9	0.1	0.3	7.8	14.1	44.6	80.7	100%	100%
平均人数：												
最高経営責任者、副最高経 営責任者及び経営幹部	10	15										
12月現在の人数：												
最高経営責任者、副最高経 営責任者及び経営幹部	9	15										

年金費用とは、IAS第19号に準拠し、確定給付年金制度に基づいて積み立てた年金、又は確定拠出年金制度に備えて支払った保険料をいう。積み立てられた確定給付年金は権利確定され、当行の年金基金又は当行の年金基金で確保される。退職年齢より前に退職する場合には、積み立てられた確定給付年金に係る払込済保険及び/又は稼得済みの確定拠出年金を受け取る。オクトゴーネン利益分配制度の形式による変動報酬の支給が2024年度に実施された。地方税及び社会保障費控除前の金額は、従業員一人当たり20,499 (34,194)スウェーデン・クローネであった。

- 1) 2024年1月1日に最高経営責任者に就任した。最高経営責任者に就任以降の確定拠出年金は給与の35%となっている。従前に稼得した確定給付年金は払込済保険契約に入れられている。
- 2) 2023年12月31日に最高経営責任者を退任した。最高経営責任者に就任以降の確定拠出年金は給与の35%となっている。従前に稼得した確定給付年金は払込済保険契約に入れられている。
- 3) 労働協約に基づく確定給付年金及び「30」の所得基準額を超える部分の給与の30%を上限とする確定拠出年金が組み合わされている。確定給付年金は65歳に達した時点で全額稼得される。
- 4) 確定拠出年金は2023年10月18日より給与の35%、それ以前は給与の30%となっている。従前に稼得した確定給付年金は全額権利が確定しており、払込済保険契約に入れられている。
- 5) 当行の他の執行役員は、労働協約に基づく確定給付年金又は確定拠出年金と併せて、労働協約に定められている所得上限を超える部分の給与の35%を上限とする確定拠出年金を受けている。確定給付年金は65歳に達した時点で満額が稼得される。基本給及び年金額は給与と控除前の金額である。経営幹部の他のメンバーのうち2名が1.6百万スウェーデン・クローネの給与を年金に切り替えている。

子会社の執行役員に対する報酬

子会社の取締役のうち当行の従業員でも当行の子会社の従業員でもない者21(20)名に対する報酬は、15.9(17.9)百万スウェーデン・クローネであった。

2024年に、子会社の最高経営責任者¹⁾及び副最高経営責任者である13(15)名は、年金への切り替え後で45.6(48.3)百万スウェーデン・クローネの固定給を受領した。その他給付は7.7(6.2)百万スウェーデン・クローネで、当行の年金費用は6.4(6.0)百万スウェーデン・クローネであった。年金への切り替え前の年金費用は4.9(4.6)百万スウェーデン・クローネであり、給与の10.4(9.2)%に相当した。オクトゴーネン利益分配制度の形式による変動報酬は0.2(0.4)百万スウェーデン・クローネであった。

子会社の最高経営責任者及び副最高経営責任者のうち、主要業務がハンデルスバンケンにおける他の役割である者には、報酬は支給されていない。

1) ハンデルスバンケン・ピーエルシーの最高経営責任者も2024年3月31日まで当行の経営幹部の一員であった。

執行役員に対する年金債務

2024年12月31日現在、最高経営責任者であるミケル・グリーン氏に対する年金債務²⁾は、最高経営責任者に就任する前に稼得し、払込済となっている64.5百万スウェーデン・クローネであった。2024年12月31日現在、副最高経営責任者であるペール・ベックマン氏に対する年金債務は、109.8(105.7)百万スウェーデン・クローネであり、副最高経営責任者であるカール・セダーシオルド氏に対する年金債務は、10.8(10.0)百万スウェーデン・クローネであった。その他の親会社の執行役員6(12)名に対する年金債務は、54.1(121.2)百万スウェーデン・クローネであった。

2024年12月31日現在、ハンデルスバンケン・グループの現在及び過去の執行役員に対する年金債務合計は、2,667(2,649)百万スウェーデン・クローネであった。そのうち2024年12月31日現在、親会社の現在及び過去の執行役員に対する年金債務合計は、2,466(2,458)百万スウェーデン・クローネであった。当行グループのこれらの債務の対象となる人数は82(87)名であり、そのうち66(65)名は年金受給者である。これに該当する親会社の人数は66(71)名であり、そのうち57(56)名は年金受給者である。

2) 年金債務とは、IAS第19号に従って、当行が将来の確定給付年金の支払いに備えて引き当てている金額である。その債務の規模は財務上及び人口統計上の仮定の変動に応じて毎年変わる可能性がある。

執行役員への与信及び執行役員からの預金

2024年12月31日現在、執行役員への与信額は、親会社で1.7(16.3)百万スウェーデン・クローネ、子会社で121.4(123.5)百万スウェーデン・クローネであった。親会社のこれらの人員からの預金額は、合計で537.7(474.2)百万スウェーデン・クローネであった。2024年のこれらの人員に対する与信に係る当行の利息収益は、親会社で合計0.0(0.1)百万スウェーデン・クローネ、子会社で合計4.0(3.3)百万スウェーデン・クローネであった。親会社のこれらの人員からの預金に対して支払った利息は、24.5(18.9)百万スウェーデン・クローネであった。

2024年12月31日現在、ハンデルスバンケン・グループの子会社の執行役員に対する与信額は、142.8(112.7)百万スウェーデン・クローネであった。

ハンデルスバンケン・グループに雇用されている執行役員への与信及び執行役員からの預金の契約条件は、ハンデルスバンケン・グループの他の全従業員と同じ方針に従ったものである。すべての与信は、与信評価の対象となる。

年金

正味年金債務

百万スウェーデン・クローネ	2024年	2023年
年金債務	31,683	31,097
制度資産の公正価値	44,785	42,796
正味年金	13,102	11,699

上表の年金債務及び制度資産に加えて、1989年から2004年までの期間においては、スヴェンスカ・ハンデルスバンケンPensionsstiftelse（年金基金）の特例付加年金(SKP)に対する引当金が計上された。この

引当金には、市場価値が6,666(7,355)百万スウェーデン・クローネである制度資産が含まれている。この特例付加年金によって、当行はその制度資産と同額の債務を負担することになっている。

この債務のうち、5,150(5,651)百万スウェーデン・クローネは条件付債務である。

年金費用

百万スウェーデン・クローネ	2024年	2023年
勤務費用 ¹⁾	-510	-398
過去勤務費用		1
年金債務に係る利息	-1,099	-1,111
制度資産に係る利息	1,535	1,678
年金費用、確定給付年金制度	-74	170
年金費用、確定拠出年金制度 ²⁾	-1,236	-957
社会保障費、確定拠出年金制度 ²⁾	-391	-325
年金費用合計	-1,701	-1,112

1) 見積勤務費用のほか、当行のリストラクチャリングに関連する非経常項目が含まれている。

2) フィンランドの非継続事業に係る年金費用は、注記G14に表示されている。

年金債務

百万スウェーデン・クローネ	2024年	2023年
期首残高	31,097	26,419
勤務費用	476	433
過去勤務費用		-1
年金債務に係る利息	1,099	1,111
給付金支払額	-1,335	-1,248
数理計算上の利益(-)/損失(+)	191	4,355
外貨換算影響額	155	28
期末残高¹⁾	31,683	31,097

1) 2024年12月31日現在の期末残高には、インフレの想定に基づくヘッジがスウェーデンの年金債務の計算に含まれている。2023年12月31日現在の期末残高に、2024年度に係る6.48%の決定されたヘッジを含めた影響により、2023年12月31日現在の年金債務は938百万スウェーデン・クローネ増加した。

制度資産

百万スウェーデン・クローネ	2024年	2023年
期首残高	42,796	39,294
制度資産に係る利息	1,535	1,678
雇用主の拠出による積立金	1,005	924
雇用主に対する報酬	-842	-786
従業員に直接支払われる積立金	-417	-399
数理計算上の利益(+)/損失(-)	535	2,129
外貨換算影響額	173	-44

期末残高

44,785

42,796

制度資産に係る収益

百万スウェーデン・クローネ	2024年	2023年
制度資産に係る利息	1,535	1,678
数理計算上の利益(+)/損失(-)	535	2,129
実際の収益	2,070	3,807

制度資産の配分

百万スウェーデン・クローネ	2024年	2023年
活発な市場における株式及びミューチュアル・ファンド・ユニット ¹⁾	36,271	32,860
活発な市場に上場していない株式	1	2,179
活発な市場に上場している利付証券	7,178	6,991
その他制度資産	1,335	766
合計	44,785	42,796

1) ミューチュアル・ファンド・ユニットは27,068(24,568)百万スウェーデン・クローネであり、そのうち債券ファンドは20,387(18,797)百万スウェーデン・クローネである。

各年度の貸借対照表日現在、スヴェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクトが発行した株式及び債券のいずれも制度資産には含まれていない。

数理計算上の利益(-)/損失(+)、年金債務

百万スウェーデン・クローネ	2024年	2023年
人口統計上の仮定の変更	98	6
財務上の仮定の変更	-698	2,842
実績に基づく調整	791	1,507
合計	191	4,355

将来キャッシュ・フロー

百万スウェーデン・クローネ	2024年実績	2024年予測
給付金支払額	-1,335	-1,218
雇用主の拠出による積立金	1,005	1,200

確定給付年金は、主としてスウェーデンの従業員に対して支払われる。正味年金債務の合計のうち、スウェーデンの制度は29,724(29,053)百万スウェーデン・クローネ、英国の制度（新規の積立を終了）は1,902(1,986)百万スウェーデン・クローネである。また、ノルウェーにも小規模の確定給付年金制度があるが、規模の面から重要性はないとみなされるため、詳細な開示は行っていない。

制度資産総額のうち、スウェーデンの制度資産は42,708(40,721)百万スウェーデン・クローネであり、2,077(2,075)百万スウェーデン・クローネが英国で廃止された年金制度によるものである。

スウェーデンでは、スウェーデン銀行雇用主協会（以下、「BA0」という。）とスウェーデン金融セクター組合/スウェーデン専門職連盟（以下、「Saco」という。）との年金契約に従って、65歳から退職年金が支給される。年金額は、所得基準額が7.5までは年収の10%、所得基準額が7.5から20の給与部分については65%、所得基準額が20から30の給与部分については32.5%である。所得基準額が30を上回る給与部分については、退職年金は支給されない。

2020年3月1日以降、すべての新入社員及びその時点で25歳未満の従業員は確定拠出年金制度の対象であるが、2020年3月1日より前に雇用された従業員はこの影響を受けず、引き続き確定給付年金制度の対象となっている。

年金制度は、外部で積立てが行われている。すなわち、制度資産は年金基金、信託会社又は類似の法人が保有している。信託会社（又は同等の機関）の活動は、当行グループと制度資産を運用している信託会社（又は同等の機関）との間の関係に適用される国内法及び実務慣行、並びに制度資産の投資方法に関する枠組みによって規制されている。スウェーデンでは、年金債務法及び企業年金制度に関する法律が主な国内法及び慣行として適用される。英国では年金及び課税に関する国内法令が適用される。

重要な仮定

	スウェーデン		英国	
	2024年	2023年	2024年	2023年
割引率 (%)	3.6	3.5	5.4	4.5
予想昇給率 (%)	3.5	3.5		
年金指標 (%)	2.0	2.0	3.0	3.0
所得基準額 (%)	3.0	3.0		
インフレ率 (%)	2.0	2.0	3.1	3.0
離職率 (%)	4.5	5.0		
退職時の年齢を基準にした平均余命 (年)	22.8	22.8	24.0	24.0
平均デュレーション (マコーリー) (年)	14.6	14.8	13.0	14.0

将来の昇給率やインフレ率等の仮定は長期予測トレンドに基づいており、そのような仮定には不確実性が伴う。用いられる仮定は長期的な経済見通しを反映し、内部的に整合がとれたものとなっている。スウェーデンの従業員の年金債務の算定は、スウェーデン保険庁が作成した統計を基に、市場で一般的に受け入れられている寿命の前提条件であるDUS23に基づいている。

感応度分析

	年金債務への影響 (百万スウェーデン・クローネ)				
	仮定の変化	年金債務の増加		年金債務の減少	
		2024年	2023年	2024年	2023年
割引率 (%)	0.5	2,480	2,480	-2,206	-2,202
予想昇給率 (%)	1.0	972	954	-824	-791
年金指標 (%)	0.5	1,574	1,552	-1,466	-1,444
退職時の年齢を基準にした平均余命 (年)	1.0	1,006	985	-1,010	-988

上表の感応度分析は、1つの仮定が変化し、それ以外の仮定がすべて一定であることを前提としている。実務上このような場合が起こる可能性は低く、一部の仮定の変化には相関関係がある可能性がある。年金債務の重要な数理計算上の仮定に対する感応度を計算する際には、貸借対照表に認識される年金債務を計算する際と同様の手法を適用している。その手法は、当行の会計方針（注記G1のセクション12を参照）に記載されている。2023年度の年次報告書と比較して、感応度分析を作成する際に用いた手法は変更されていない。

当行は、確定給付年金制度において、いくつかのリスクにさらされている。そのうち、最も重要なリスクは以下のとおりである。

資産のボラティリティ：年金債務は、社債利回りを参照して設定される割引率を用いて計算されている。制度資産の運用実績がこの利回りを下回る場合、制度資産には余剰価値があることから、債務超過に陥るリスクは低い。制度資産には、短期的にはボラティリティ及びリスクを伴うが、長期的には社債利回りを上回る程の実績が見込める株式及びエクイティ・ファンドが含まれている。年金債務は長期的な性質を有していることから、当行は、株式投資の比率を高くすることが当行の長期にわたる年金制度の効率的運用のために戦略上適切であると考えている。

社債利回りの変動：社債利回りが減少すると、その減少の一部は年金制度で保有する社債の価値の増加によって相殺されるものの、年金債務が増加することになる。

インフレ・リスク：年金債務はインフレ率と連動しており、インフレ率が上昇すると年金債務は増加することになる。制度資産の評価額はインフレ率による直接の重大な影響を受けることはない。すなわち、インフレ率が上昇すると、制度資産の赤字幅もおそらく拡大することになる。

平均余命：年金制度は、加入者の生涯にわたって給付を提供するためのものである。したがって、平均余命が延びると、年金債務は増加することになる。

資産負債マッチング (ALM)：制度資産の構成は、年金債務の構成及び予想される推移と整合している。ALMの全般的な目標は、中長期にわたって、少なくとも年金債務の推移に対応できる程の運用収益を生み出すことである。制度資産の一部を株式へ投資しているが、固定利付商品や現金及び現金同等物への投資も行われている。株式をかなりの割合で保有することが、年金制度の効果的な運用のために適切であると考えている。

拠出額に関する取決め：最低拠出額に関する規定は制度によって異なるが、この規定が団体契約又は内部方針に基づく場合、現地の規定に従って測定される年金債務は原則として全額カバーされる。拠出額の水準は、定期的に監視されている。当行は、現行の拠出率は妥当であると考えている。

[次へ](#)

注記G9 その他費用

百万スウェーデン・クローネ	2024年	2023年
不動産及び建物設備	-708	-686
IT関連費用	-3,374	-3,379
通信費	-263	-284
旅費及びマーケティング費用	-282	-299
購入したサービス	-2,052	-2,355
備品費	-146	-188
その他費用	-648	-605
合計	-7,474	-7,796

監査人及び監査法人に対する報酬¹⁾

百万スウェーデン・クローネ	プライスウォーターハウス コーパース・エイ・ビー		デロイト・エイ・ビー	
	2024年	2023年	2024年	2023年
監査業務	-39	-40	-8	-8
当該監査業務以外の監査上の業務	-5	-5	-2	-2
税務アドバイス				
その他サービス	-3	-1		

1) 上表の金額には付加価値税は含まれていない。

注記G10 信用損失

百万スウェーデン・クローネ	2024年	2023年
貸借対照表項目に係る予想信用損失		
ステージ3に分類された貸出金に対する当年度の引当金	-377	-328
ステージ3に分類された貸出金に対する引当金の、 過年度に他のステージに分類された貸出金に対する引当金の戻入	111	209
ステージ3に分類された貸出金に対する予想信用損失合計	-266	-119
ステージ2に分類された貸出金に対する当年度の引当金純額	485	-112
ステージ1に分類された貸出金に対する当年度の引当金純額	218	39
ステージ1及びステージ2に分類された貸出金に対する 当年度の予想信用損失合計	703	-72
貸借対照表項目に係る予想信用損失合計	438	-192
オフバランスシート項目に係る予想信用損失		
ステージ3に分類されたオフバランスシート項目に対する 当年度の引当金純額	1	8
ステージ2に分類されたオフバランスシート項目に対する 当年度の引当金純額	111	-39
ステージ1に分類されたオフバランスシート項目に対する 当年度の引当金純額	54	8
オフバランスシート項目に係る予想信用損失合計	166	-23
償却		
当年度の実際の信用損失 ¹⁾	-290	-260
ステージ3に分類された貸出金に対する従前の引当金の取崩	213	185
償却合計	-77	-75
回収	74	149
正味信用損失	601	-141
うち、一般顧客への貸出金	435	-120

1) 当年度の実際の信用損失のうち、114(99)百万スウェーデン・クローネが強制執行の対象となる。

百万スウェーデン・クローネ	2024年	2023年
1) ステージ3に分類された貸借対照表項目及びオフバランスシート項目に 係る予想信用損失	-264	-111
ステージ1及びステージ2に分類された貸出金に対するモデルベースの 引当金の変動額		
マクロ経済シナリオ及びリスク要因の更新	179	206
影響を受けた業種のエクスポージャーのステージ1からステージ2への振替 ¹⁾	9	2
ポートフォリオのデフォルトリスクの変動(格付の正味変動)	-60	-483

エクスポージャーの変動の影響(既存/新規/終了したエクスポージャー)	138	49
ステージ1及びステージ2に分類された貸出金に対する その他の予想信用損失	139	112
除外：非継続事業	8	-7
ステージ1及びステージ2に分類された貸出金に対するモデルベースの 信用損失	413	-121
エキスパートベースの引当金		
エキスパートベースの引当金	-149	-617
除外：非継続事業	0	13
継続事業におけるエキスパートベースの引当金	-149	-604
ステージ1及びステージ2に分類された貸出金に対する エキスパートベースの信用損失(前年度と比較した引当金の変動)	455	17
2) ステージ1及びステージ2に分類された貸借対照表項目及び オフバランスシート項目に係る予想信用損失	868	-104
3) 償却	-77	-75
4) 回収	74	149
正味信用損失(1+2+3+4)	601	-141

1) 信用リスクの著しい増大に関するエキスパートベースの評価

2024年においては、引当必要額が減少した。モデルが算定した引当金の減少には複数の要因が寄与しているものの、最も重要な要因は、将来予測的なマクロ経済リスク要因に関する価値の変動による影響と、エクスポージャーの減少である。しかしながら、これらは顧客層の格付がネガティブに移行していることにより、一部相殺されている。また、多数の軽微な要因が重なり、当年度の引当金所要額の減少につながっている。

当年度において、当行は、自行のリスクモデルでは十分に考慮されていないと考えられる不確実性要因に関連する信用リスクの上昇を踏まえて、エキスパートベースの引当金を適用した。これらの不確実性要因は主に、マクロ経済情勢及び需要状況が大きく変化する可能性に関連している。年度末時点で、上述の不確実性が信用リスクに与える影響を個々の企業レベルで見積もることが難しいことから、当行はリスク感応度がより高いセクターにエキスパートベースのストレスを適用する必要性を分析した。その結果、追加の引当必要額を継続事業では149(604)百万スウェーデン・クローネ、非継続事業を含めると149(617)百万スウェーデン・クローネとする決定に至った。

ステージ3に分類された契約の減損テストプロセスは変更されておらず、個別評価の手続は従来通りに行われている。

減損テストの対象となる貸借対照表項目及びオフバランスシート項目、2024年

	総額			引当金		
	ステージ1	ステージ2	ステージ3 ¹⁾	ステージ1	ステージ2	ステージ3
百万スウェーデン・クローネ						
貸借対照表項目						
現金及び中央銀行預け金	530,003					
中央銀行へのその他貸出金	12,547					
その他金融機関への貸出金	18,872	55		-1	-3	
一般顧客への貸出金	2,288,590	76,580	8,525	-210	-328	-1,071
債券及びその他の利付証券	13,259			-2		
合計	2,863,270	76,635	8,525	-213	-331	-1,071
オフバランスシート項目						
偶発債務	292,278	6,282	159	-39	-90	-26
うち、保証等	54,384	1,315	55	-6	-12	-26
うち、コミットメント	237,894	4,967	104	-33	-78	0
合計	292,278	6,282	159	-39	-90	-26

減損テストの対象となる貸借対照表項目及びオフバランスシート項目、2023年

	総額			引当金		
	ステージ1	ステージ2	ステージ3 ¹⁾	ステージ1	ステージ2	ステージ3
百万スウェーデン・クローネ						
貸借対照表項目						
現金及び中央銀行預け金	476,162					
中央銀行へのその他貸出金	32,145					
その他金融機関への貸出金	19,289	11		-1	-1	
一般顧客への貸出金	2,292,700	136,848	7,064	-426	-819	-1,150
債券及びその他の利付証券	12,709			-2		
合計	2,833,004	136,859	7,064	-430	-820	-1,150
オフバランスシート項目						
偶発債務	284,693	11,262	164	-94	-203	-42
うち、保証等	56,464	1,596	60	-11	-40	-22
うち、コミットメント	228,229	9,666	104	-83	-163	-20
合計	284,693	11,262	164	-94	-203	-42

1) 受け入れた担保により、引当金を計上しなかったステージ3貸出金の総額は6,016(4,781)百万スウェーデン・クローネであった。

本注記の情報には、貸借対照表上「売却目的で保有する資産」に分類変更され、非継続事業となったフィンランドの処分グループが含まれている。注記G14を参照のこと。

主要な数値、信用損失、%

一般顧客への貸出金	2024年	2023年
信用損失率、ACC	-0.02	0.01
信用損失引当率合計	0.07	0.10

ステージ1に分類された貸出金に対する信用損失引当率	0.01	0.02
ステージ2に分類された貸出金に対する信用損失引当率	0.43	0.60
ステージ3に分類された貸出金に対する信用損失引当率	12.56	16.28
ステージ3に分類された貸出金の割合	0.31	0.24

変動分析**減損テスト対象の貸借対照表項目に対する予想信用損失引当金の変動****2024年**

百万スウェーデン・クローネ	ステージ1	ステージ2	ステージ3	合計
期首現在引当金	-430	-820	-1,150	-2,400
認識中止した資産	63	114	125	303
償却	0	1	263	264
信用リスクの変動による再測定	-38	297	-68	191
推計手法の更新による変動				
外貨換算影響額等	-7	-15	-9	-32
購入又は組成した資産	-17	-8	-7	-33
ステージ1への振替	-27	63	1	37
ステージ2への振替	49	-150	4	-96
ステージ3への振替	192	188	-229	151
期末現在引当金	-213	-331	-1,071	-1,614

減損テスト対象の貸借対照表項目に対する予想信用損失引当金の変動**2023年**

百万スウェーデン・クローネ	ステージ1	ステージ2	ステージ3	合計
期首現在引当金	-480	-723	-1,257	-2,459
認識中止した資産	37	89	211	337
償却	0	1	213	214
信用リスクの変動による再測定	-219	140	-96	-175
推計手法の更新による変動	-32	-16		-48
外貨換算影響額等	2	2	1	5
購入又は組成した資産	-34	-33	-8	-75
ステージ1への振替	-40	56	1	17
ステージ2への振替	169	-503	6	-328
ステージ3への振替	167	166	-221	111
期末現在引当金	-430	-820	-1,150	-2,400

減損テスト対象の一般顧客への貸出金に対する予想信用損失引当金の変動

2024年

百万スウェーデン・クローネ	ステージ1	ステージ2	ステージ3	合計
期首現在引当金	-426	-819	-1,150	-2,395
認識中止した資産	63	114	125	302
償却	0	1	263	264
信用リスクの変動による再測定	-37	294	-68	189
推計手法の更新による変動				
外貨換算影響額等	-7	-15	-9	-32
購入又は組成した資産	-17	-8	-7	-32
ステージ1への振替	-27	63	1	37
ステージ2への振替	49	-145	4	-93
ステージ3への振替	192	188	-229	151
期末現在引当金	-210	-328	-1,071	-1,608

減損テスト対象の一般顧客への貸出金に対する予想信用損失引当金の変動

2023年

百万スウェーデン・クローネ	ステージ1	ステージ2	ステージ3	合計
期首現在引当金	-475	-722	-1,257	-2,454
認識中止した資産	36	89	211	337
償却	0	1	213	214
信用リスクの変動による再測定	-219	140	-96	-176
推計手法の更新による変動	-32	-16		-48
外貨換算影響額等	2	2	1	5
購入又は組成した資産	-34	-33	-8	-75
ステージ1への振替	-40	56	1	17
ステージ2への振替	169	-502	6	-326
ステージ3への振替	167	166	-221	111
期末現在引当金	-426	-819	-1,150	-2,395

上表の予想信用損失引当金には、貸借対照表上「売却目的で保有する資産」に分類変更された、フィンランドの処分グループが含まれている。

減損テスト対象のオフバランスシート項目に対する予想信用損失引当金の変動

2024年

百万スウェーデン・クローネ	ステージ1	ステージ2	ステージ3	合計
期首現在引当金	-94	-203	-42	-340
認識中止した資産	17	21		38
償却				
信用リスクの変動による再測定	43	107	17	167
推計手法の更新による変動				
外貨換算影響額等	1	-1		1
購入又は組成した資産	-10	-3		-13
ステージ1への振替	-2	7		5
ステージ2への振替	4	-25		-21
ステージ3への振替	2	6		8
期末現在引当金	-39	-90	-26	-155

減損テスト対象のオフバランスシート項目に対する予想信用損失引当金の変動

2023年

百万スウェーデン・クローネ	ステージ1	ステージ2	ステージ3	合計
期首現在引当金	-103	-169	-82	-353
認識中止した資産	17	28		44
償却				
信用リスクの変動による再測定	8	19	39	65
推計手法の更新による変動	-6	-6		-13
外貨換算影響額等	1	1		2
購入又は組成した資産	-13	-7		-20
ステージ1への振替	-8	9		2
ステージ2への振替	8	-82		-74
ステージ3への振替	3	4		7
期末現在引当金	-94	-203	-42	-340

この変動分析は、当該期間の各説明項目について、ステージ別の引当金に与える正味影響額を示したものである。認識中止及び償却の影響は期首残高に対して算定される。推計手法の変更及び外貨換算影響額等による再評価の影響は、ステージ間の振替前の純額ベースで算定される。購入又は生成された資産及びステージ間で振替られた金額は、他の説明項目の影響を加味して認識される。振替の各行は各ステージの引当金に与える影響を表している。

減損テスト対象の貸借対照表項目総額の変動

2024年

百万スウェーデン・クローネ	ステージ1	ステージ2	ステージ3	合計
期首現在の総額	2,833,004	136,859	7,064	2,976,927
認識中止した資産	-199,493	-17,154	-1,596	-218,243
償却	-22	-6	-318	-346
信用リスクの変動による再測定	-47,420	-2,860	-321	-50,600
外貨換算影響額等	41,365	2,008	135	43,508
購入又は組成した資産	193,925	3,187	72	197,184
ステージ1への振替	99,595	-99,432	-164	
ステージ2への振替	-55,756	56,648	-892	
ステージ3への振替	-1,929	-2,615	4,544	
期末現在の総額	2,863,270	76,635	8,525	2,948,430

減損テスト対象の貸借対照表項目総額の変動

2023年

百万スウェーデン・クローネ	ステージ1	ステージ2	ステージ3	合計
期首現在の総額	2,902,686	91,350	5,716	2,999,751
認識中止した資産	-502,323	-11,577	-1,035	-514,935
償却	-15	-4	-275	-294
信用リスクの変動による再測定	-6,008	-8,429	-558	-14,995
外貨換算影響額等	-13,018	-453	4	-13,467
購入又は組成した資産	513,644	7,138	84	520,866
ステージ1への振替	80,202	-80,136	-66	
ステージ2への振替	-140,432	140,793	-361	
ステージ3への振替	-1,731	-1,823	3,554	
期末現在の総額	2,833,004	136,859	7,064	2,976,927

減損テスト対象の一般顧客への貸出金総額の変動

2024年

百万スウェーデン・クローネ	ステージ1	ステージ2	ステージ3	合計
期首現在の総額	2,292,700	136,848	7,064	2,436,612
認識中止した資産	-194,324	-17,154	-1,596	-213,075
償却	-22	-6	-318	-346
信用リスクの変動による再測定	-37,281	-557	-321	-38,159
外貨換算影響額等	-7,484	2,008	135	-5,341
購入又は組成した資産	190,744	3,187	72	194,004
ステージ1への振替	99,590	-99,426	-164	
ステージ2への振替	-53,404	54,297	-892	
ステージ3への振替	-1,929	-2,615	4,544	
期末現在の総額	2,288,590	76,580	8,525	2,373,695

減損テスト対象の一般顧客への貸出金総額の変動

2023年

百万スウェーデン・クローネ	ステージ1	ステージ2	ステージ3	合計
期首現在の総額	2,374,713	91,349	5,716	2,471,778
認識中止した資産	-149,007	-11,317	-1,035	-161,359
償却	-15	-4	-275	-294
信用リスクの変動による再測定	-12,871	-9,463	-558	-22,892
外貨換算影響額等	-14,823	-394	4	-15,213
購入又は組成した資産	157,370	7,138	84	164,592
ステージ1への振替	79,336	-79,270	-66	
ステージ2への振替	-140,272	140,632	-361	
ステージ3への振替	-1,731	-1,823	3,554	
期末現在の総額	2,292,700	136,848	7,064	2,436,612

上表の貸借対照表項目には、貸借対照表上「売却目的で保有する資産」に分類変更されたフィンランドの処分グループが含まれている。

減損テスト対象のオフバランスシート項目総額の変動

2024年

百万スウェーデン・クローネ	ステージ1	ステージ2	ステージ3	合計
期首現在の総額	284,693	11,262	164	296,119
認識中止した資産	-43,837	-1,717	-24	-45,579
償却	-1	0	1	0
信用リスクの変動による再測定	37,596	-1,931	-62	35,602
外貨換算影響額等	-45,203	52	3	-45,148
購入又は組成した資産	57,369	355	0	57,724
ステージ1への振替	5,855	-5,851	-3	
ステージ2への振替	-4,164	4,174	-11	
ステージ3への振替	-29	-62	90	
期末現在の総額	292,278	6,282	159	298,719

減損テスト対象のオフバランスシート項目総額の変動

2023年

百万スウェーデン・クローネ	ステージ1	ステージ2	ステージ3	合計
期首現在の総額	314,586	12,533	274	327,393
認識中止した資産	-48,128	-3,188	-138	-51,453
償却				
信用リスクの変動による再測定	-24,479	2,095	-45	-22,428
外貨換算影響額等	-3,010	-59	-1	-3,070
購入又は組成した資産	43,406	2,270	2	45,678
ステージ1への振替	10,321	-10,319	-2	
ステージ2への振替	-7,962	7,971	-9	
ステージ3への振替	-41	-42	83	
期末現在の総額	284,693	11,262	164	296,119

引当金の分析同様、総額の変動分析は当該ステージの総額に対する各説明項目の影響を示している。ステージ間の振替及び「購入又は組成した資産」の項目は、期末現在における各ステージでの金額を表しており、他の項目は期首時点で用いられる各ステージでの影響を表している。

感応度分析

ECL算定におけるマクロ経済予測及び感応度分析

予想信用損失の算定には、マクロ経済シナリオによる将来予測的な情報を用いる。予想信用損失は3つのシナリオの予想見積りの確率加重平均値である。基本(中立)シナリオの予想確率加重は70(70)%としており、一方で景気の上昇シナリオの予想確率加重は15(15)%、下降シナリオの予想確率加重は15(15)%としている。4つ目の英国のエクスポージャーに対しては、2022年以降、より深刻な下降シナリオを適用している。英国の深刻な下降シナリオ/下降シナリオ/基本(中立)シナリオ/上昇シナリオの確率加重はそれぞれ15%/20%/60%/5% (15%/20%/60%/5%)である。これらは、2024年12月31日現在のステージ1及びステージ2に分類されたエクスポージャーの予想信用損失の算定根拠となっている。

マクロ経済上の リスク要因	下降シナリオ			基本（中立）シナリオ			上昇シナリオ		
	2025年	2026年	2027年	2025年	2026年	2027年	2025年	2026年	2027年
GDP成長率									
スウェーデン	-2.75	0.80	2.81	2.11	2.71	2.16	3.85	3.60	1.96
英国	-3.58	-0.47	2.35	1.42	1.53	1.70	3.02	2.33	1.50
英国、深刻な 下降シナリオ	-6.08	-2.47	2.70						
ノルウェー	-3.45	-0.34	2.25	1.55	1.66	1.60	3.15	2.46	1.40
フィンランド	-3.50	-0.40	2.05	1.50	1.60	1.40	3.10	2.40	1.20
EU諸国	-3.89	-0.58	2.15	1.11	1.42	1.50	2.71	2.22	1.30
米国	-2.83	0.01	2.45	2.17	2.01	1.80	3.77	2.81	1.60
失業率									
スウェーデン	10.02	10.32	10.54	8.32	7.92	7.54	7.62	6.92	6.84
英国	6.45	7.03	7.50	4.75	4.63	4.50	4.05	3.63	3.80
英国、深刻な 下降シナリオ	6.75	8.63	8.50						
ノルウェー	3.90	4.60	5.30	2.20	2.20	2.30	1.50	1.20	1.60
フィンランド	9.70	9.90	10.00	8.00	7.50	7.00	7.30	6.50	6.30
EU諸国	8.38	8.93	9.50	6.68	6.53	6.50	5.98	5.53	5.80
米国	6.08	6.90	7.30	4.38	4.50	4.30	3.68	3.50	3.60
政策金利									
スウェーデン	4.50	4.50	3.75	2.25	2.25	2.25	1.50	1.25	1.25
英国	6.00	6.00	4.75	3.75	3.75	3.25	3.00	2.75	2.25
英国、深刻な 下降シナリオ	0.50	0.50	0.50						
ノルウェー	5.75	5.25	4.00	3.50	3.00	2.50	2.75	2.00	1.50
フィンランド	4.25	4.25	3.50	2.00	2.00	2.00	1.25	1.00	1.00
EU諸国	4.25	4.25	3.50	2.00	2.00	2.00	1.25	1.00	1.00
米国	5.88	5.38	4.25	3.63	3.13	2.75	2.88	2.13	1.75
住宅価格の上昇率									
スウェーデン	-4.51	-4.44	4.14	3.24	3.25	3.53	7.06	7.40	4.99
英国	-4.90	-4.59	-1.41	0.30	1.02	1.61	4.48	5.29	5.28
英国、深刻な 下降シナリオ	-8.07	-8.41	-1.77						
ノルウェー	-0.59	0.55	5.58	9.59	8.14	4.90	11.57	9.50	3.93
フィンランド	-4.08	-1.48	1.99	1.47	2.07	2.77	5.18	3.54	3.20
EU諸国	0.70	3.92	5.05	3.20	3.42	3.40	3.91	3.52	2.60
商業不動産価格の 上昇率									
スウェーデン	-10.15	-3.37	4.19	1.45	3.88	4.51	8.42	10.22	6.28
英国	-11.89	-8.46	0.74	-1.02	-1.44	0.76	10.80	7.96	1.82
英国、深刻な 下降シナリオ	-15.91	-8.15	6.05						
ノルウェー	-15.53	-8.28	1.08	-1.93	-1.03	0.65	3.73	4.09	2.00
フィンランド	-10.56	-5.14	2.13	-1.24	0.62	2.29	3.96	5.60	3.68

EU諸国	-13.40	-6.38	2.60	-0.68	0.67	2.54	4.62	5.85	4.15

感応度分析、マクロ経済シナリオ

下表は、12月31日現在のステージ1及びステージ2に分類されるエクスポージャーに対する予想信用損失引当金の増減をパーセンテージで示したもので、この増減は下降及び上昇シナリオにそれぞれ100%の確率が適用される場合のものである。英国の深刻な下降シナリオに100%の確率を適用した場合の影響は合計に含まれていない。

	2024年		2023年	
	下降シナリオにおける 引当金の増加 (%)	上昇シナリオにおける 引当金の減少 (%)	下降シナリオにおける 引当金の増加 (%)	上昇シナリオにおける 引当金の減少 (%)
スウェーデン	32.98	-14.39	27.45	-15.70
英国	32.43	-30.87	21.13	-29.56
英国、深刻な下降シ ナリオ	37.19		29.99	
ノルウェー	37.79	-14.98	33.68	-18.20
フィンランド	15.66	-6.40	8.52	-5.06
オランダ	47.07	-18.81	36.85	-22.53
米国	77.81	-28.43	57.50	-36.86
その他諸国	25.02	-10.66	23.51	-12.04
合計	31.81	-19.08	23.58	-18.51

感応度分析、信用リスクの著しい増大

下表は、報告日と当初認識時に算定された残余信用リスクの比率に用いられる閾値が、2.5の閾値よりも0.5パーセンテージ・ポイント高く又は低く設定される場合、12月31日現在でステージ1及びステージ2のエクスポージャーに対する引当金が、それぞれどのような影響を受けるかを示したものである。閾値が0.5低下した場合にはステージ1からステージ2へ振り替えられる貸出金の件数が増加し、予想信用損失引当金も増加する。閾値が0.5上昇した場合にはこれと反対の影響が生じる。当行は信用リスクの著しい増大を評価するために定量的・定性的双方の指標を用いている。詳細な情報は注記G2の「信用リスク」の項目を参照のこと。

ステージ1及びステージ2に分類されたエクスポージャーに対する引当金総額の変動、%

閾値	2024年	2023年
2	4.35	3.50
2.5	0.00	0.00
3	-2.73	-1.93

PDの範囲別減損テスト対象の信用エクスポージャー

PDの範囲別貸借対照表項目

2024年

PD値 ¹⁾	総額、百万スウェーデン・クローネ		
	ステージ1	ステージ2	ステージ3
0.00～0.15未満	2,455,914	12,858	
0.15～0.25未満	231,936	6,235	
0.25～0.50未満	98,830	9,222	
0.50～0.75未満	11,920	1,754	
0.75～2.50未満	56,774	21,807	
2.50～10.00未満	7,683	21,950	
10.00～100未満	214	2,808	
100(デフォルト)			8,525
合計	2,863,270	76,635	8,525

PDの範囲別減損テスト対象の信用エクスポージャー

PDの範囲別貸借対照表項目

2023年

PD値 ¹⁾	総額、百万スウェーデン・クローネ		
	ステージ1	ステージ2	ステージ3
0.00～0.15未満	2,427,046	33,598	
0.15～0.25未満	60,030	6,941	
0.25～0.50未満	262,839	20,169	
0.50～0.75未満	26,082	13,431	
0.75～2.50未満	47,566	20,675	
2.50～10.00未満	8,842	35,625	
10.00～100未満	599	6,421	
100(デフォルト)			7,064
合計	2,833,004	136,859	7,064

PDの範囲別一般顧客への貸出金

2024年

PD値 ¹⁾	総額、百万スウェーデン・クローネ		
	ステージ1	ステージ2	ステージ3
0.00～0.15未満	1,962,994	12,849	
0.15～0.25未満	185,384	6,231	
0.25～0.50未満	78,994	9,216	
0.50～0.75未満	9,527	1,753	
0.75～2.50未満	45,379	21,791	
2.50～10.00未満	6,141	21,934	
10.00～100未満	171	2,806	
100(デフォルト)			8,525
合計	2,288,590	76,580	8,525

PDの範囲別一般顧客への貸出金

2023年

PD値 ¹⁾	総額、百万スウェーデン・クローネ		
	ステージ1	ステージ2	ステージ3
0.00～0.15未満	1,964,166	33,595	
0.15～0.25未満	48,581	6,940	
0.25～0.50未満	212,711	20,167	
0.50～0.75未満	21,108	13,430	
0.75～2.50未満	38,494	20,673	
2.50～10.00未満	7,156	35,622	
10.00～100未満	485	6,420	
100(デフォルト)			7,064
合計	2,292,700	136,848	7,064

PD値の範囲別オフバランスシート項目

2024年

PD値 ¹⁾	総額、百万スウェーデン・クローネ		
	ステージ1	ステージ2	ステージ3
0.00～0.15未満	195,904	541	
0.15～0.25未満	24,404	188	
0.25～0.50未満	39,409	676	
0.50～0.75未満	21,092	433	
0.75～2.50未満	10,699	1,413	
2.50～10.00未満	589	2,757	
10.00～100未満	181	274	
100(デフォルト)			159
合計	292,278	6,282	159

PD値の範囲別オフバランスシート項目

2023年

PD値 ¹⁾	総額、百万スウェーデン・クローネ		
	ステージ1	ステージ2	ステージ3
0.00～0.15未満	209,059	1,674	
0.15～0.25未満	15,570	166	
0.25～0.50未満	40,923	1,157	
0.50～0.75未満	7,365	3,623	
0.75～2.50未満	10,234	2,186	
2.50～10.00未満	1,437	1,933	
10.00～100未満	105	522	
100(デフォルト)			164
合計	284,693	11,262	164

1) 報告日現在の12ヶ月PD値を指す。

担保権が実行された資産

百万スウェーデン・クローネ	2024年	2023年
動産	2	2
帳簿価額	2	2

動産は主として担保権が実行されたリース資産より構成されている。債権保全を目的として担保権が実行された資産及び負債の評価原則については注記G1に記載されている。

注記G11 不動産及び器具備品並びに無形資産の処分損益

百万スウェーデン・クローネ	2024年	2023年
器具備品	13	20
合計	13	20

注記G12規制関連費用

百万スウェーデン・クローネ	2024年	2023年
リスク税	-1,655	-1,644
破綻処理手数料	-1,031	-980
イングランド銀行 賦課金	-47	
合計	-2,733	-2,624

リスク税は、当該課税年度の期首における信用機関の負債合計を基礎とした税務基準額の0.06%(0.06)となった。破綻処理手数料は、手数料基準額の0.05%(0.05)にリスク調整要因を加算した金額である。手数料基準額は、当該手数料年度の2年前の当該機関の負債に基づく。イングランド銀行の賦課金は、イングランド銀行の金融政策及び金融安定化業務に係る資金の調達を目的として2024年に導入された。本賦課金は、本賦課金の対象となる英国の機関における本銀行の適格負債総額の割合に基づいて決定される。

注記G13 一株当たり利益

	2024年	2023年
スウェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビーの株主に帰属する当期利益、百万スウェーデン・クローネ	27,451	29,107
期中に転換された株式の平均株式数(百万株)		
トレーディング勘定における自己株式の平均保有数(百万株)		
発行済株式の平均株式数(百万株)	1,980.0	1,980.0
希薄化効果のある株式の平均株式数(百万株)		
希薄化後発行済株式の平均株式数(百万株)	1,980.0	1,980.0
一株当たり利益(事業合計)、スウェーデン・クローネ	13.86	14.70
希薄化後	13.86	14.70
一株当たり利益(継続事業)、スウェーデン・クローネ	13.75	14.09
希薄化後	13.75	14.09
一株当たり利益(非継続事業)、スウェーデン・クローネ	0.12	0.61
希薄化後	0.12	0.61

希薄化後一株当たり利益は、発行済転換可能負債性金融商品の転換による影響を考慮に入れて測定される。これは、発行済株式の平均株式数に潜在的な転換可能普通株式数が加算され、当期利益が転換可能負債性金融商品(税引後)に係る当期利息費用に関して調整されることを示唆している。

注記G14 売却目的で保有する資産及び負債並びに非継続事業

当行のフィンランドの事業に係る資産及び負債はIFRS第5号に従い「売却目的で保有する資産及び負債」を構成し、2つの異なる処分グループに帰属している。2024年第3四半期に、第一処分グループのうち中小企業向け事業がOma Finland Abpに売却された。2024年第4四半期には、第一処分グループの残りの部分である資産運用及び投資サービスを含む個人顧客事業並びに生命保険事業がS-banken Abp及びFennia Liv(保険会社)に売却され、フィンランドに残る事業は第二処分グループのみとなっている。処分グループ及び非継続事業に含まれるフィンランドのユニットは、ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクトのフィンランド支店及びHandelsbanken Asuntoluottopankki(スタッドフィポテックABプブリクトのフィンランド支店)である。

売却目的で保有する資産及び負債

百万スウェーデン・クローネ	2024年	2023年
資産		
現金及び中央銀行預け金	14	10
中央銀行へのその他貸出金		25,863
その他金融機関への貸出金	1	3
一般顧客への貸出金	74,209	142,409
うち、個人	816	39,561
うち、法人	73,393	102,847
株式		2
顧客が価値変動リスクを負う資産		9,586
無形資産		123
不動産及び器具備品		467
その他	282	128
合計	74,506	178,590
負債		
金融機関からの預り金	247	980
一般顧客からの預金及び借入金	9,742	51,556
うち、個人	235	17,434
うち、法人	9,507	34,122
保険負債		3
顧客が価値変動リスクを負う負債		9,586
引当金	182	195
その他	451	1,401
合計	10,623	63,721

為替換算調整準備金には、売却目的で保有する資産及び負債の為替の換算に起因する累計749(1,022)百万スウェーデン・クローネが含まれており、持分変動計算書(当行グループ)に表示されている為替換算調整準備金に含まれている。なお、取得価額は売却企業に帰属するため、当該処分による為替換算調整準備金から損益計算書への振替は生じない。

残りの法人向け融資事業を中心に、売却手続きは進行中である。フィンランドは、従来、独立した事業セグメントから構成されていた。

非継続事業からの収益、費用及び利益

百万スウェーデン・クローネ	2024年	2023年
純利息収益	1,895	2,368
純手数料及びコミッション収益	376	406
金融取引による純損益	-8	29
保険事業による純損益	15	17
その他収益	5	9
収益合計	2,284	2,829
人件費	-790	-841
その他費用	-580	-464
不動産及び器具備品並びに無形資産の減価償却費、償却費及び減損費用		0
費用合計	-1,369	-1,306
正味信用損失	53	41
不動産及び器具備品並びに無形資産の処分損益	-1	-1
規制関連費用	-131	-97
フィンランドの税引前当期利益	835	1,467
法人税等 ¹⁾	-178	-200
フィンランドの税引後当期利益	657	1,267
非継続事業に帰属するその他費用 ²⁾	-11	-73
非継続事業に起因する減損 ³⁾	-446	
法人税等 ¹⁾	92	15
追加費用を含む非継続事業からの税引後当期利益	291	1,209
非継続事業を構成する処分グループの売却によるキャピタルゲイン		
キャピタルゲイン（税引前）	-71	
法人税等 ¹⁾	14	
キャピタルゲイン（税引後）	-57	
非継続事業からの税引後当期利益	234	1,209
上記の損益計算書上消去されている、継続事業との間の重要な内部取引 ⁴⁾		
収益	36	100
費用	-113	-101

1) 法人税等の金額には、当期税額-107(-649)百万スウェーデン・クローネが含まれる。

2) スウェーデンにおいて、非継続事業の売却にともない、事業の廃止に関連する要件に基づき一定の費用が発生している。これには、コンサルタント料や弁護士費用などが含まれる。

3) 各処分グループを公正価値、売却費用控除後、又は帳簿価額のうち最も低い金額で測定した結果、非流動資産に帰属する減損が生じている。

- 4) 継続事業及び非継続事業双方からの当期利益には、外部収益及び費用のみが含まれている。非継続事業は継続事業との重要な内部取引を有していることから、会計上除外されている。当行はフィンランドの非継続事業とトレジャリー部との間の純利息収益に関連する内部取引の消去を調整し、内部利息収益及び内部利息費用を、継続事業及び非継続事業に表示している。

非継続事業からの商品別手数料及びコミッション収益

	2024年	2023年
百万スウェーデン・クローネ		
仲介及びその他証券コミッション	4	9
ミューチュアル・ファンド	5	7
カストディ及びその他資産管理手数料	28	41
アドバイザーサービス		
保険	73	77
決済	264	213
貸出金及び預金	38	85
保証	13	19
その他手数料及びコミッション収益	7	11
手数料及びコミッション収益合計	433	463

非継続事業の人件費

	2024年	2023年
百万スウェーデン・クローネ		
給与及び報酬 ¹⁾	-631	-636
社会保障費	-15	-22
年金費用	-102	-104
その他人件費	-42	-79
合計	-790	-841

1) このうち、執行役員(子会社の頭取兼最高経営責任者及び取締役会)に対する給与及び報酬は2.2(5.5)百万スウェーデン・クローネであった。

非継続事業の平均従業員数

	2024年			2023年		
	合計	男性	女性	合計	男性	女性
フィンランド	479	220	259	533	249	284
合計	479	220	259	533	249	284

非継続事業からのキャッシュ・フロー

	2024年	2023年
百万スウェーデン・クローネ		
営業活動からのキャッシュ・フロー	17,592	4,611
投資活動からのキャッシュ・フロー	17,152	-8
非継続事業からの当期キャッシュ・フロー	34,744	4,604

注記G15 中央銀行へのその他貸出金

	2024年	2023年
百万スウェーデン・クローネ		
中央銀行へのその他貸出金（外貨建て）	12,547	6,282
予想信用損失引当金		
中央銀行へのその他貸出金合計	12,547	6,282

平均取引高

	2024年	2023年
百万スウェーデン・クローネ		
中央銀行へのその他貸出金（スウェーデン・クローネ建て）	0	
中央銀行へのその他貸出金（外貨建て）	8,167	6,196
合計	8,167	6,196

注記G16 その他金融機関への貸出金

	2024年	2023年
百万スウェーデン・クローネ		
貸出金（スウェーデン・クローネ建て）		
銀行	1,176	263
その他金融機関	757	-1
合計	1,934	261

貸出金（外貨建て）

銀行	14,952	16,910
その他金融機関	2,040	2,126
合計	16,992	19,035

予想信用損失引当金	-4	-2
その他金融機関への貸出金合計	18,922	19,294
うち、リバース・レポ	11,274	9,623
うち、担保として差し入れた現金	3,427	5,470

平均取引高

	2024年	2023年
百万スウェーデン・クローネ		
その他金融機関への貸出金（スウェーデン・クローネ建て）	1,764	1,212
その他金融機関への貸出金（外貨建て）	36,577	42,394
合計	38,342	43,607
うち、リバース・レポ	15,230	16,812

注記G17 一般顧客への貸出金

百万スウェーデン・クローネ	2024年	2023年
貸出金(スウェーデン・クローネ建て)		
個人	967,670	974,473
法人	599,142	599,233
国債局	1,547	6,748
合計	1,568,359	1,580,454
貸出金(外貨建て)		
個人	274,056	250,008
法人	456,826	463,345
合計	730,882	713,353
予想信用損失引当金	-1,363	-2,000
一般顧客への貸出金合計	2,297,878	2,291,808
うち、ファイナンス・リース	12,410	13,954
うち、リバース・レポ	17,977	17,404
うち、担保として差し入れた現金	1,751	13,395
平均取引高(国債局を除く)		
百万スウェーデン・クローネ	2024年	2023年
一般顧客への貸出金(スウェーデン・クローネ建て)	1,574,095	1,597,310
一般顧客への貸出金(外貨建て)	731,157	738,482
合計	2,305,252	2,335,792
うち、リバース・レポ	25,480	23,110

注記G18 利付証券

百万スウェーデン・クローネ	2024年			2023年		
	帳簿価額	公正価値	額面価額	帳簿価額	公正価値	額面価額
中央銀行への担保として適格な利付証券	172,606	172,606	168,407	199,128	199,128	197,474
債券及びその他の利付証券 ¹⁾	47,508	47,508	31,524	50,087	50,087	36,442
合計	220,114	220,114	199,931	249,215	249,215	233,916

1) 減損テストの対象となる債券及びその他の利付証券は、13,259(12,709)百万スウェーデン・クローネとなっており、これらはその他の包括利益を通じて公正価値で測定されている。資本の公正価値評価差額準備金に認識される予想信用損失引当金は、-2(-2)百万スウェーデン・クローネとなっている。

発行者別利付証券

百万スウェーデン・クローネ	2024年			2023年		
	帳簿価額	公正価値	額面価額	帳簿価額	公正価値	額面価額
政府	172,606	172,606	168,407	199,128	199,128	197,474
金融機関	10,428	10,428	6,662	9,733	9,733	7,856
住宅金融専門機関	31,653	31,653	20,728	34,378	34,378	24,446
その他	5,427	5,427	4,134	5,975	5,975	4,141
合計	220,115	220,115	199,931	249,215	249,215	233,916

平均取引高

百万スウェーデン・クローネ	2024年	2023年
中央銀行への担保として適格な利付証券	257,685	258,785
債券及びその他の利付証券	59,973	55,713
合計	317,658	314,497

注記G19 株式

百万スウェーデン・クローネ	2024年	2023年
純損益を通じて公正価値で測定、強制	13,942	11,615
その他包括利益を通じて公正価値で測定	804	601
株式合計	14,746	12,216

その他包括利益を通じて公正価値で測定される保有株式

百万スウェーデン・クローネ	2024年	2023年
Visa Inc	517	330
VIPPS A/S	58	60
その他の保有	229	211
合計	804	601

ハンデスルバンケンは、上記の株式保有について、トレーディング目的保有ではないことによりその他包括利益を通じて公正価値で測定するものに分類している。これらの株式に対する配当は合計で16(3)百万スウェーデン・クローネであり、その他の配当収益として損益計算書に計上されている。当年度中に当行

は、国際銀行間通信協会(SWIFT)の41のパーティシペーションを総額3(0)百万スウェーデン・クローネで処分した。

その他包括利益を通じて公正価値で測定される資本性金融商品に係る実現及び未実現損益に関しては、当行グループの持分変動計算書を参照のこと。

注記G20 関連会社及びジョイント・ベンチャーに対する投資

ハンデルスバンケンには、個別に重要な関連会社やジョイント・ベンチャーに対する投資はないが、決済サービス等の提供を通じ、当行グループの銀行業務にとって戦略的に重要と考えられるいくつかの企業がある。すべての投資は非上場である。

関連会社及びジョイント・ベンチャーに対する投資

百万スウェーデン・クローネ	2024年	2023年
期首現在帳簿価額	657	561
税引前当期利益に対する持分	33	89
法人税	-6	-37
株主の拠出	175	53
配当金		-8
期末現在帳簿価額	860	657

関連会社及びジョイント・ベンチャーからの収益

百万スウェーデン・クローネ	2024年	2023年
当年度利益	27	51
その他包括利益		
当年度包括利益合計	27	51

関連会社

	企業識別番号	所在地	株式数	議決権 %	帳簿価額 百万スウェーデン・ク ローネ	
					2024年	2023年
Bankomat AB	556817-9716	ストック ホルム	150	20.00	88	96
BGC Holding AB	556607-0933	ストック ホルム	25,542	25.54	454	428
Dyson Group plc ¹⁾	00163096	シェフィー ルド	74,333,672	24.01	3	8
Finansiell ID-teknik BID AB	556630-4928	ストック ホルム	12,735	28.30	106	25
Getswish AB	556913-7382	ストック ホルム	10,000	20.00	115	23
USE Intressenter AB	559161-9464	ストック ホルム	2,448	24.48	0	0
合計					767	581

1) 所有持分27%.

ジョイント・ベンチャー

	企業識別番号	所在地	株式数	議決権 %	帳簿価額 百万スウェーデン・ク ローネ	
					2024年	2023年
P27 Nordic Payment Platform AB	559198-9610	ストック ホルム	12,500	20.84	87	71
Tibern AB	559384-3542	ストック ホルム	4,000	14.29	6	5
合計					93	76

注記G21 顧客が価値変動リスクを負う資産

百万スウェーデン・クローネ	2024年	2023年
ユニットリンク保険資産	273,725	230,905
株式	13,484	13,067
その他の資産	774	921
合計	287,984	244,893

注記G22 デリバティブ商品

	想定元本/満期			想定元本		正の市場価値		負の市場価値	
百万スウェーデン・ クローネ	1年以内	1年超 5年以内	5年超	2024年	2023年	2024年	2023年	2024年	2023年
トレーディング目的で保有するデリバティブ									
金利関連契約									
オプション	6,844	18,668	9,544	35,056	35,186	166	262	238	393
FRA/先物	752,147	19,300		771,447	397,991	347	255	310	237
スワップ	391,243	1,139,066	359,632	1,889,941	1,724,316	28,593	35,286	29,273	34,844
通貨関連契約									
オプション	19,498	233	16	19,747	25,693	58	158	89	237
先物	64,075	5,523	55	69,653	62,370	1,058	1,196	619	1,146
スワップ	662,204	45,523	789	708,516	529,307	16,891	8,006	5,386	17,177
株式関連契約									
オプション	4,789	606	32	5,427	4,882	229	194	113	114
先物	281			281	215	2	5	2	2
スワップ	7,369	1,391		8,760	5,962	299	101	232	306
コモディティ関連契約									
オプション			19	19	17		6	19	23
先物	134	1		135	180	1	6	4	18
信用関連契約									
スワップ	275	3,836	60	4,171	3,069	164	193	147	82
合計	1,908,859	1,234,147	370,147	3,513,153	2,789,188	47,808	45,668	36,432	54,579
公正価値ヘッジのデリバティブ									
金利関連契約									
オプション					41		1		
スワップ	85,665	505,543	103,729	694,937	695,631	15,686	17,227	11,679	16,007
通貨関連契約									
スワップ		1,046		1,046	983	83	25		
合計	85,665	506,589	103,729	695,983	696,655	15,769	17,253	11,679	16,007
キャッシュフロー・ヘッジのデリバティブ									
金利関連契約									
スワップ	33,836	41,374	7,226	82,436	147,207	2,078	3,029	954	2,228
通貨関連契約									
スワップ	29,395	186,800	37,283	253,478	321,590	25,558	16,381	1,222	6,649
合計	63,231	228,174	44,509	335,914	468,797	27,636	19,410	2,176	8,877
デリバティブ商品合計	2,057,755	1,968,910	518,385	4,545,050	3,954,640	91,213	82,331	50,287	79,463
うち、取引所上場デリバティブ				133,129	70,400	155	148	274	419
うち、CCPで決済されるOTCデリバティブ				3,013,450	2,661,973	44,503	52,627	34,664	45,845

うち、CCPで決済され

ないOTCデリバ

ティブ

1,398,471 1,222,267 46,555 29,556 15,349 33,199

相殺された金額

-2,368,886 -2,310,691 -44,144 -52,221 -34,331 -45,225

純額

2,176,164 1,643,949 47,069 30,110 15,956 34,238

市場価値の通貨別内訳

スウェーデン・クローネ

-297,599 39,951 -3,889 371,486

米ドル

437,043 -25,673 103,653 -350,125

ユーロ

174,889 163,098 -6,713 -13,839

その他

-223,120 -95,045 -42,764 71,941

合計

91,213 82,331 50,287 79,463

この注記では、デリバティブ契約は総額で表示されている。相殺額は、当行が契約上のキャッシュ・フローを純額で決済する法的権利及び意思を有している契約(中央清算される契約を含む)の市場価値及び関連する想定元本の相殺で構成されている。これらの契約は、貸借対照表において、カウンターパーティ及び通貨別に純額で表示されている。

当行は、当初認識時に評価モデルを用いて測定された価値と、取引価格との正の差額(取引日利得/損失)をデリバティブの期間にわたり償却している。年度末において、これらの未認識の取引日利得は、500(472)百万スウェーデン・クローネであった。

注記G23 ヘッジ会計

当行グループのリスク管理及びヘッジ会計の一般的な目的は、金利及び為替レートの変動から乗じる貸出及び借入に帰属する将来キャッシュ・フロー及び公正価値の変動リスクから自らを守るためである。この目的を達成するために当行はデリバティブを使用している。当行グループのリスク管理戦略を財務報告に確実に反映するため、ヘッジ会計が用いられている。当行グループの市場リスク管理に関する情報は、注記G2を参照のこと。当行グループが用いるヘッジ戦略及び様々な種類のヘッジ会計については、リスク区分別に以下に述べられている。ヘッジ会計の会計方針の詳細については注記G1を参照のこと。

公正価値ヘッジ

固定金利貸出・借入における金利リスク

このヘッジ戦略の目的は、市場金利の変動から生じる固定金利貸出金と借入金の公正価値変動リスクを最小限に抑えることである。ヘッジ対象リスクは、観察可能な金利の構成要素となる各通貨の参照金利である。ヘッジ対象は、固定金利による一般顧客への貸出金と発行済固定利付証券である。ヘッジ手段は、固定金利を支払い変動金利を受け取る又は、固定金利を受け取り変動金利を支払う金利スワップである。

有効性の測定

ヘッジの有効性は、貸出金と借入金のヘッジ対象リスクの公正価値変動を、金利スワップの公正価値変動と比較することにより測定される。有効性は、漸進的及び遡及的双方の観点、つまり漸進的にはイールド・カーブとディスカウント・カーブのシフトにより、遡及的には回帰分析を実施することにより測定される。ヘッジ関係の有効性テストは、ヘッジ関係の開始時とそれ以降の四半期毎に行われる。

有効性の測定の適用基準

ヘッジ会計の適格となるためには、ヘッジ対象におけるヘッジ対象リスクの公正価値変動と実際のデリバティブとの比率が80-125パーセントの範囲内でなくてはならない。これを回帰分析により検証する場合、有効なヘッジ関係を確立するために以下の基準を満たす必要がある。

- ・カーブの勾配が $0.8 < b < 1.25$
- ・ R^2 が > 0.96

非有効性

非有効性は、ヘッジ関係の開始日から報告期間末日までの期間の、金利スワップの公正価値変動を、貸出金・借入金のヘッジ対象リスクの公正価値変動と比較することにより測定される。

これらのヘッジ関係の非有効性は主として金利スワップの変動金利より生じる公正価値変動が貸出金・借入金のヘッジ対象リスクの価値変動と一致しないことによる。

金利リスクに関する公正価値のポートフォリオ・ヘッジ

固定金利貸出金ポートフォリオの金利リスク

このヘッジ戦略の目的は、市場金利の変動から生じる固定金利貸出金ポートフォリオの公正価値変動リスクを最小限に抑えることである。ヘッジ対象リスクは、各通貨の参照金利の変動に関する固定金利貸出金ポートフォリオの一部の公正価値変動である。ヘッジ対象は、固定金利貸出金ポートフォリオに基づき決定された通貨建の金額である。貸出金ポートフォリオは金利固定期間に分けられる。ヘッジ額は、選択された金利固定期間において当行がヘッジを望む金利リスクに基づいて設定されている。ヘッジ手段は、

金利スワップ(変動金利受取、固定金利支払)により構成されており、各金利固定期間に1以上のヘッジ手段が設定されている。

有効性及び非有効性の測定の詳細については、上記の公正価値ヘッジの項に記載されている。

公正価値ヘッジにおけるヘッジ手段

百万スウェーデン・クローネ	2024年			2023年		
	1年以内	1年から5年	5年超	1年未満	1年から5年	5年超
金利リスク						
金利スワップ(変動金利支払・固定金利受取)						
想定元本	42,694	455,479	73,920	56,277	374,593	93,942
平均固定金利(%)	2.09	2.74	2.21	2.00	2.53	2.47
クロスカレンシー金利スワップ (変動金利支払・固定金利受取)						
想定元本		1,046			983	
平均固定金利%		3.69			3.69	
合計	42,694	456,525	73,920	56,277	375,576	93,942

公正価値ヘッジにおけるヘッジ手段及び非有効性

2024年

	ヘッジ手段の 想定元本	ヘッジ手段の帳簿価額		非有効性の算定 に用いられた 公正価値変動	損益計算書で 認識された 非有効性
		資産	負債		
百万スウェーデン・クローネ					
金利リスク					
金利スワップ(変動金利支払・固定金利受取)	572,093	8,882	11,422	4,664	-74
クロスカレンシー金利スワップ(変動金利支払・ 固定金利受取)	1,046	83		0	6
合計	573,139	8,965	11,422	4,664	-68

ポートフォリオの公正価値ヘッジ

金利リスク

金利スワップ(固定金利支払・変動金利受取)	122,844	6,803	258	-3,248	9
合計	122,844	6,803	258	-3,248	9

公正価値ヘッジにおけるヘッジ手段及び非有効性

2023年

	ヘッジ手段の 想定元本	ヘッジ手段の帳簿価額		非有効性の算定 に用いられた 公正価値変動	損益計算書で 認識された 非有効性
		資産	負債		
百万スウェーデン・クローネ					
金利リスク					
金利スワップ(変動金利支払・固定金利受取)	524,812	7,127	15,971	17,711	155
クロスカレンシー金利スワップ(変動金利支払・ 固定金利受取)	983	25		54	7
合計	525,795	7,152	15,971	17,765	162

ポートフォリオの公正価値ヘッジ

金利リスク

金利スワップ(固定金利支払・変動金利受取)	170,819	10,100	36	-7,034	-80
金利オプション(キャップ)	41	1		-5	0
合計	170,860	10,101	36	-7,039	-80

ヘッジ手段の帳簿価額は貸借対照表の「デリバティブ商品」に含まれている。

損益計算書で認識された非有効性は「金融取引による純損益」に含まれている。

公正価値ヘッジにおけるヘッジ対象

2024年

百万スウェーデン・クローネ	ヘッジ対象の帳簿価額		ヘッジ対象の帳簿価額に 含まれる 公正価値調整累計額		非有効性の 算定に 用いられた 公正価値変動
	資産	負債	資産	負債	
金利リスク					
発行済固定利付証券及び劣後負債		567,278		-6,595	-4,733
合計		567,278		-6,595	-4,733

ポートフォリオ公正価値ヘッジ¹⁾

金利リスク

一般顧客への固定金利貸出金	-6,399		-6,399		3,258
合計	-6,399		-6,399		3,258

公正価値ヘッジにおけるヘッジ対象

2023年

百万スウェーデン・クローネ	ヘッジ対象の帳簿価額		ヘッジ対象の帳簿価額に 含まれる 公正価値調整累計額		非有効性の 算定に 用いられた 公正価値変動
	資産	負債	資産	負債	
金利リスク					
発行済固定利付証券及び劣後負債		508,810		-11,412	-17,603
合計		508,810		-11,412	-17,603

ポートフォリオ公正価値ヘッジ¹⁾

金利リスク

一般顧客への固定金利貸出金	-9,657		-9,657		6,954
変動金利貸出金に係る金利 キャップ	-1		-1		5
合計	-9,658		-9,658		6,959

1) 2024年12月31日現在の原貸出金ポートフォリオの総額は、122,844(170,867)百万スウェーデン・クローネであった。

当年度も昨年度も、公正価値変動に対する調整が行われなくなったヘッジ対象に係る公正価値ヘッジ調整累計額は貸借対照表に計上されていない。

キャッシュフロー・ヘッジ

変動金利貸出・借入における金利リスク

このヘッジ戦略の目的は、変動金利の変動から生じる利息の受取・支払に係る不確実性を最小限にし、代わりにヘッジを締結した際に明らかになる固定金利による金額を受け取り、支払うことである。ヘッジ対象は、変動金利による一般顧客への貸出金及び発行済変動利付債券に関連する、将来流入及び流出する可能性の高い支払いから構成されている。ヘッジ対象のリスクは、各通貨の変動参照金利であり、金利の

観察可能な要素である。このヘッジ手段は金利スワップである。ここでは固定金利を受け取り変動金利を支払うか、固定金利を支払い変動金利を受け取る。

借入における為替リスク

このヘッジ戦略は、為替レートの変動から生じる将来の利払に関連する不確実性を最小限にし、代わりにヘッジを締結した際に明らかになる為替レートで機能通貨による利払を行うことを意図するものである。ヘッジ対象は機能通貨以外の通貨で発行された証券に起因する、可能性の高い将来の利払及び額面価額の返済である。ヘッジ対象リスクは借入通貨及び機能通貨間の為替レートの変動により発生するこれらの将来の支払いの変動リスクである。このヘッジ手段は通貨関連デリバティブである。

在外営業活動体への、又は在外営業活動体からの内部貸出における為替リスク

このヘッジ戦略の目的は、在外営業活動体への、又は在外営業活動体からの内部貸出における為替レートの変動に関連するボラティリティ・リスクを最小限にすることである。このヘッジ対象は当行グループのトレジャリー部と在外営業活動体の間で在外営業活動体の機能通貨で発行された内部貸出の額面価額から構成される。ヘッジ対象リスクは、内部貸出の通貨と親会社の機能通貨であるスウェーデン・クローネとの為替換算レート之差から生じる、利払いと元本返済に係るキャッシュ・フローが変動するリスクである。このヘッジ手段は為替デリバティブである。

有効性の測定

ヘッジ関係の有効性は、ヘッジ関係の開始時及びその後四半期毎にテストされる。ヘッジの有効性は、有効性は、漸進的及び遡及的双方の観点、つまり漸進的にはイールド・カーブとディスカウント・カーブのシフトにより、遡及的にはヘッジ対象リスク及びヘッジ手段の条件が十分に整合していない場合に、回帰分析によりテストされる。この文脈で「十分に整合している」とは、キャッシュ・フロー及び割引となる要因が常に同一であることである。有効性が測定される際、ヘッジ対象リスクは完全に有効な仮想デリバティブ(PEH)により表され、これはヘッジ対象の重要な条件と一致する。仮想デリバティブ(PEH)の公正価値はヘッジ関係の開始時にはゼロである。有効性の測定には、仮想デリバティブ(PEH)の公正価値の変動を実際のデリバティブの公正価値変動と比較することにより行われる。

有効性の測定の適用基準

ヘッジ会計に適格となるためには、仮想デリバティブ(PEH)で表されるヘッジ対象のヘッジ対象リスクの公正価値変動と、実際のデリバティブの比率が80-125パーセントの範囲内であればならない。これが回帰分析を通じて調査される場合、有効なヘッジ関係を確立するためには以下の基準を満たす必要がある。

- ・カーブの勾配が $0.8 < b < 1.25$
- ・ R^2 が > 0.96

非有効性

ヘッジの非有効性は、仮想デリバティブ(PEH)で表されるヘッジ対象のヘッジ対象リスクの公正価値変動を実際のデリバティブの公正価値変動と比較することで測定される。デリバティブの公正価値変動が仮想デリバティブ(PEH)の価値変動を絶対的に上回る場合、当該ヘッジは非有効と判定される。

これらのヘッジ関係の非有効性は、主としてヘッジ関係の開始日とデリバティブの取引日間の市場金利と為替レート之差によるものである。また非有効性は、ヘッジ対象リスクに含まれない、デリバティブの特定の金利の構成要素に起因する公正価値の変動からも生じる。

キャッシュフロー・ヘッジにおけるヘッジ手段

2024年

百万スウェーデン・クローネ	1年未満	1年以上5年以内	5年超
金利リスク			
金利スワップ(固定金利支払・変動金利受取)			
想定元本	8,338	12,627	6,078
平均固定金利(%)	0.47	0.72	0.77
金利スワップ(変動金利支払・固定金利受取)			
想定元本	25,498	28,746	1,148
平均固定金利(%)	2.13	1.35	1.54
為替リスク			
為替デリバティブ、ユーロ/スウェーデン・クローネ			
想定元本	10,865	43,747	1,089
平均為替レート、ユーロ/スウェーデン・クローネ	0.0975	0.0913	0.0970
為替デリバティブ、ユーロ/ノルウェー・クローネ			
想定元本	2,758	75,390	31,183
平均為替レート、ユーロ/ノルウェー・クローネ	0.1008	0.0953	0.0932
為替デリバティブ、米ドル/英ポンド			
想定元本		1,076	
平均為替レート、米ドル/英ポンド		1.3157	
為替デリバティブ、米ドル/ノルウェー・クローネ			
想定元本	8,923	36,864	
平均為替レート、米ドル/ノルウェー・クローネ	0.1064	0.1027	
為替デリバティブ、米ドル/スウェーデン・クローネ			
想定元本	3,646	11,551	5,011
平均為替レート、米ドル/スウェーデン・クローネ	0.1016	0.1003	0.1105
為替デリバティブ、豪ドル/ユーロ			
想定元本	2,872	10,353	
平均為替レート、豪ドル/ユーロ	1.5287	1.5451	
為替デリバティブ、他の通貨ペア			
想定元本	331	7,820	
合計	63,231	228,174	44,509

キャッシュフロー・ヘッジにおけるヘッジ手段

2023年

百万スウェーデン・クローネ	1年未満	1年以上5年以内	5年超
金利リスク			
金利スワップ(固定金利支払・変動金利受取)			
想定元本	13,568	17,253	8,645
平均固定金利(%)	0.38	0.64	0.67
金利スワップ(変動金利支払・固定金利受取)			
想定元本	53,260	53,368	1,113
平均固定金利(%)	1.89	1.73	1.54
為替リスク			
為替デリバティブ、ユーロ/スウェーデン・クローネ			
想定元本	16,075	42,777	12,048
平均為替レート、ユーロ/スウェーデン・クローネ	0.0971	0.0926	0.0928
為替デリバティブ、ユーロ/ノルウェー・クローネ			
想定元本	5,146	57,144	29,127
平均為替レート、ユーロ/ノルウェー・クローネ	0.1049	0.0962	0.0834
為替デリバティブ、米ドル/英ポンド			
想定元本		989	
平均為替レート、米ドル/英ポンド		1.3157	
為替デリバティブ、米ドル/ノルウェー・クローネ			
想定元本	2,066	40,077	
平均為替レート、米ドル/ノルウェー・クローネ	0.0509	0.0958	
為替デリバティブ、米ドル/スウェーデン・クローネ			
想定元本	75,356	14,514	4,775
平均為替レート、米ドル/スウェーデン・クローネ	0.0880	0.0782	0.1105
為替デリバティブ、豪ドル/ユーロ			
想定元本		13,016	
平均為替レート、豪ドル/ユーロ		1.5415	
為替デリバティブ、他の通貨ペア			
想定元本	384	8,096	
合計	165,855	247,234	55,708

キャッシュフロー・ヘッジにおけるヘッジ手段と非有効性

2024年

	ヘッジ手段の 想定元本	ヘッジ手段の帳簿価額		非有効性の 算定に 用いられた 公正価値 変動	その他包括 利益で認識 されたヘッ ジ手段の 価値変動	損益計算書で 認識された 非有効性	ヘッジ準備 金から損益 計算書への 振替
		資産	負債				
百万スウェーデン・クローネ							
金利リスク							
金利スワップ(固定金利支払・変動金利 受取)	27,043	1,785		-708	-702	-6	
金利スワップ(変動金利支払・固定金利 受取)	55,392	293	954	1,496	1,496		154
為替リスク¹⁾							
為替デリバティブ、 ユーロ/スウェーデン・クローネ	55,701	3,061	114	-143	-144	1	1
為替デリバティブ、 ユーロ/ノルウェー・クローネ	109,331	11,893	39	-498	-521	23	10
為替デリバティブ、米ドル/英ポンド	1,076	50		6	6		
為替デリバティブ、 米ドル/ノルウェー・クローネ	45,787	7,249		80	79	1	
為替デリバティブ、 米ドル/スウェーデン・クローネ	20,208	2,829		94	96	-2	
為替デリバティブ、他の通貨ペア	21,376	476	1,069	22	24	-2	9
合計	335,914	27,636	2,176	349	334	15	174

キャッシュフロー・ヘッジにおけるヘッジ手段と非有効性

2023年

	ヘッジ手段の 想定元本	ヘッジ手段の帳簿価額		非有効性の 算定に 用いられた 公正価値 変動	その他包括 利益で認識 されたヘッ ジ手段の 価値変動	損益計算書で 認識された 非有効性	ヘッジ準備 金から損益 計算書への 振替
		資産	負債				
百万スウェーデン・クローネ							
金利リスク							
金利スワップ(固定金利支払・変動金利 受取)	39,466	2,600	1	-1,928	-2,014	86	
金利スワップ(変動金利支払・固定金利 受取)	107,741	429	2,227	3,499	3,499		226
為替リスク¹⁾							
為替デリバティブ、 ユーロ/スウェーデン・クローネ	70,900	3,011	310	-158	-157	-1	
為替デリバティブ、 ユーロ/ノルウェー・クローネ	91,417	8,286	608	-370	-372	2	
為替デリバティブ、 英ポンド/スウェーデン・クローネ				2	2		
為替デリバティブ、米ドル/英ポンド	989	30		7	7		
為替デリバティブ、 米ドル/ノルウェー・クローネ	42,143	3,133	1,048	-22	-19	-3	
為替デリバティブ、 米ドル/スウェーデン・クローネ	94,645	1,322	3,951	-103	-103	0	
為替デリバティブ、豪ドル/米ドル				7	7		
為替デリバティブ、他の通貨ペア	21,496	599	732	15	16	-1	27
合計	468,797	19,410	8,877	949	866	83	252

1) ヘッジ会計目的で分析を行う場合、親会社の機能通貨であるスウェーデン・クローネへの換算にあたって、ヘッジ関係におけるデリバティブのレグの想定金額のインピュテーション(補完)が考慮される。このデリバティブのレグのインピュテーション(補完)は上記の想定元本額には含まれていない。

ヘッジ手段の帳簿価額は貸借対照表の「デリバティブ商品」に含まれている。

損益計算書で認識された非有効性は「金融取引による純損益」に含まれている。

損益計算書への振替は「金融取引による純損益」に含まれ、期限前に終了したキャッシュフロー・ヘッジである。

キャッシュフロー・ヘッジにおけるヘッジ対象

2024年

百万スウェーデン・クローネ	非有効性の算定に 用いられた価値変動	ヘッジ準備金	ヘッジ会計が適用されな くなったヘッジ関係から のヘッジ準備金残余额
金利リスク			
発行済変動利付証券	702	1,647	
変動金利による一般顧客への貸出金	-1,496	-699	618
為替リスク			
ユーロ建て発行済証券及び劣後負債並びに英ポ ンド及びノルウェー・クローネ建て内部貸出	665	-1,094	
米ドル建て発行済証券及び劣後負債並びにユー ロ、英ポンド及びノルウェー・クローネ建て 内部貸出	-181	488	58
他通貨建て発行済証券及び内部貸出	-24	46	-2
合計	-334	388	674

キャッシュフロー・ヘッジにおけるヘッジ対象

2023年

百万スウェーデン・クローネ	非有効性の算定に 用いられた価値変動	ヘッジ準備金	ヘッジ会計が適用されな くなったヘッジ関係から のヘッジ準備金残余额
金利リスク			
発行済変動利付証券	2,014	2,351	
変動金利による一般顧客への貸出金	-3,499	-2,043	771
為替リスク			
ユーロ建て発行済証券及び劣後負債並びに英ポ ンド及びノルウェー・クローネ建て内部貸出	529	-432	
米ドル建て発行済証券及び劣後負債並びにユー ロ、英ポンド及びノルウェー・クローネ建て 内部貸出	115	317	68
他通貨建て発行済証券及び内部貸出	-25	35	-2
合計	-866	228	837

注記G24 金融商品の相殺

2024年

百万スウェーデン・クローネ

相殺、強制力のあるマスター・ネットティング契約及び類似した契約の対象となる金融資産

	デリバティブ	買戻契約及び証券貸付	合計
総額	91,213	33,499	124,712
相殺される金額	-44,144	-3,735	-47,879
貸借対照表計上額	47,069	29,764	76,833

貸借対照表上で相殺されない関連金額

金融商品、ネットティング契約	-4,787		-4,787
担保として受け入れた金融資産	-37,378	-29,721	-67,099
貸借対照表上で相殺されない金額合計	-42,165	-29,721	-71,886
純額	4,904	43	4,947

相殺、強制力のあるマスター・ネットティング契約及び類似した契約の対象となる金融負債

総額	50,287	3,736	54,023
相殺される金額	-34,331	-3,735	-38,066
貸借対照表計上額	15,956	1	15,957

貸借対照表上で相殺されない関連金額

金融商品、ネットティング契約	-4,787		-4,787
担保として差し入れた金融資産	-3,554	-1	-3,555
貸借対照表上で相殺されない金額合計	-8,341	-1	-8,342
純額	7,615		7,615

2023年

百万スウェーデン・クローネ

相殺、強制力のあるマスター・ネットティング契約及び類似した契約の対象となる金融資産

	デリバティブ	買戻契約及び証券貸付	合計
総額	82,331	32,141	114,472
相殺される金額	-52,221	-4,628	-56,849
貸借対照表計上額	30,110	27,513	57,623

貸借対照表上で相殺されない関連金額

金融商品、ネットティング契約	-7,781		-7,781
担保として受け入れた金融資産	-18,880	-27,513	-46,393
貸借対照表上で相殺されない金額合計	-26,661	-27,513	-54,174
純額	3,449		3,449

相殺、強制力のあるマスター・ネットティング契約及び類似した契約の対象となる金融負債

総額	79,463	4,631	84,094
相殺される金額	-45,225	-4,628	-49,853
貸借対照表計上額	34,238	3	34,241

貸借対照表上で相殺されない関連金額

金融商品、ネットィング契約	-7,781		-7,781
担保として差し入れた金融資産	-17,305	-3	-17,308
貸借対照表上で相殺されない金額合計	<u>-25,086</u>	<u>-3</u>	<u>-25,089</u>
純額	9,152		9,152

デリバティブ商品は、2つ以上の契約の決済における当行の予測キャッシュ・フローを反映している場合に、貸借対照表上で相殺される。中央清算機関との買戻契約及び売戻契約は、2つ以上の契約の決済における当行の予測キャッシュ・フローを反映している場合に、貸借対照表上で相殺される。この相殺は、当行が合意したキャッシュ・フローを純額で決済する契約上の権利及び意図の両方を有している場合に行われる。デリバティブ資産について相殺された金額には、貸借対照表項目の一般顧客からの預金及び借入金による現金担保11,617(11,268)百万スウェーデン・クローネの相殺が含まれている。デリバティブ負債について相殺された金額には、貸借対照表項目の一般顧客への貸出金による現金担保1,804(4,272)百万スウェーデン・クローネの相殺が含まれている。

デリバティブの残存カウンターパーティ・リスクは、ネッティング契約を通じて(すなわち、倒産時に同一のカウンターパーティとのすべてのデリバティブ取引における正の価値と負の価値を相殺することによって)軽減されている。ハンデルスバンケンは、カウンターパーティとなるすべての銀行との間でネッティング契約を締結することを方針としている。ネッティング契約は、正味エクスポージャーに対する担保を設定することで補完されている。使用される担保は主に現金であるが、国債も使用される。買戻契約並びに有価証券借入及び貸付契約に関する担保には、通常、現金又は他の有価証券が利用される。

注記G25 無形資産

2024年	商標及び		内部開発			
百万スウェーデン・クローネ	のれん	その他の権利	顧客契約	ソフトウェア	その他	合計
期首現在取得原価	4,356	3	718	6,453	168	11,697
無形資産の取得原価の増加				680		680
処分及び除却				-302		-302
外貨換算影響額	4		36	37		77
期末現在取得原価	4,360	3	754	6,867	168	12,152
期首現在償却累計額及び減損額			-309	-2,691	-131	-3,132
処分及び除却				302		302
当年度の償却			-37	-786	-33	-856
当年度の減損				-3		-3
外貨換算影響額			-17	-21		-38
期末現在償却累計額及び減損額	0	0	-363	-3,199	-164	-3,727
帳簿価額	4,360	3	391	3,668	3	8,426

2024年度には、2,994(3,238)百万スウェーデン・クローネの開発費が費用として計上された。

2023年	商標及び		内部開発			
百万スウェーデン・クローネ	のれん	その他の権利	顧客契約	ソフトウェア	その他	合計
期首現在取得原価	4,397	3	714	6,000	164	11,278
無形資産の取得原価の増加				958	3	961
処分及び除却				-496		-496
外貨換算影響額	-41		4	-9		-46
期末現在取得原価	4,356	3	718	6,453	168	11,697
期首現在償却累計額及び減損額			-271	-2,507	-99	-2,877
処分及び除却				496		496
当年度の償却			-37	-681	-33	-751
当年度の減損				-1		-1
外貨換算影響額			-1	2		1
期末現在償却累計額及び減損額	0	0	-309	-2,691	-131	-3,132
帳簿価額	4,356	3	409	3,762	37	8,567

百万スウェーデン・クローネ	のれん		耐用年数を確定できない無形資産	
	2024年	2023年	2024年	2023年

ハンデルスバンケン・スウェーデン	3,341	3,331	3	
ハンデルスバンケン・英国	198	183		
ハンデルスバンケン・ノルウェー	639	655		
ハンデルスバンケン・オランダ	183	177		
ハンデルスバンケン・キャピタル・マーケッツ		10		3
合計	4,360	4,356	3	3

耐用年数を確定できない無形資産

耐用年数を確定できない無形資産は、減損損失控除後の取得原価で計上される。当行グループの耐用年数を確定できない無形資産は、主にのれんである。これらの資産は年次報告書作成時に年次で、又は資産に減損の兆候がある場合にはその都度、減損テストが実施される。減損テストは、その資産の回収可能価額（すなわち、使用価値と売却費用控除後の公正価値のいずれか高い方）を算定することにより実施される。回収可能価額が帳簿価額を超過する限り減損損失を認識する必要はない。減損損失は損益計算書に直接計上される。

のれんに関する減損テスト

認識済みののれんは、企業結合により生じたものであり、主にハンデルスバンケンの拠点市場における従来の銀行業務に由来している。のれんの減損テストでは、取得日において、取得から便益が見込まれる資金生成単位に配分されている。資金生成単位とは、他の資産からのキャッシュ・インフローとはおおむね独立したキャッシュ・インフローを生成させる資産グループの最小単位である。当行では、資金生成単位は事業セグメントであり、のれんは事業セグメント単位でモニタリングしている。事業セグメント単位によるのれんについては、上表を参照のこと。減損テストを実施する際に、のれんが割り当てられている単位の使用価値は、見積将来キャッシュ・フロー及び最終価値を割り引くことによって算定されている。使用される最終価値は、各資金生成単位の純資産価額の予測である。過去に認識されたのれんの減損は戻入れない。

最初の5年間の見積将来キャッシュ・フローは、リスク加重取引高、収益、費用及び信用損失についての予測に基づいている。この予測は主として、将来の収益及び費用の推移、経済情勢及び予想される金利の仮定についての内部評価に基づくものである。最初の5年間経過後、長期成長率の仮定に基づいて予測が行われる。見積キャッシュ・フローは、過去のGDP成長実績及びスウェーデン中央銀行の長期インフレ目標に基づいている。当年度の減損テストは、2(2)%の長期成長率の仮定に基づいている。合計予想期間は20年間であり、これは、当行が拠点市場で長期的に事業を展開するという意図から正当化されている。見積将来キャッシュ・フローは、リスク・フリー金利及び市場の平均収益要件を加味したリスク調整に基づく金利により割り引かれている。年次減損テストでは、税引後の割引率は6.5(8.2)%であった。税引前の割引率は9.2(11.9)%であった。すべての事業セグメントに対して同一の割引率を使用している。

のれんの年次減損テストにおける回収可能額と帳簿価額との差額は、満足できるものとみなされている。算定されたのれんの使用価値は、予想キャッシュ・フロー及び割引率に対して重要ないくつかの異なる仮定からの影響を受けやすい。計算において最も重要な仮定は、金利、景気循環、将来収益及び費用推移に関する仮定である。重要な仮定に合理的に起こり得る変化が生じて、のれんの帳簿価額に影響はない。

耐用年数を確定可能な無形資産

見積耐用年数の設定が可能な無形資産は償却され、その資産の耐用年数にわたって定額法で償却される。すなわち、現行では、顧客契約は20年間にわたって償却されており、内部開発ソフトウェアは通常5年間にわたって償却されている。特定のインフラ整備プロジェクトでは、その耐用年数は5年超と評価される。こうした種類の投資の償却期間は最長で15年である。償却の対象となる商標は、5年間にわたって償却されている。償却期間は新規取得時において個別に検証されるが、耐用年数が変化した可能性があることを示す兆候がある場合にも継続的に検証が行われる。耐用年数が確定可能な無形資産は、資産の減損が示唆される場合に減損について検証が行われる。減損テストは耐用年数を確定できない無形資産と同様の原則、すなわち資産の回収可能価額を算定することにより実施される。

注記G26 不動産及び器具備品**不動産及び器具備品**

百万スウェーデン・クローネ	2024年	2023年
不動産	3,864	3,960
器具備品	937	815
債権の保全のために担保権が実行された不動産	2	2
合計	4,803	4,777

不動産

百万スウェーデン・クローネ	2024年	2023年
期首現在取得原価	1,844	1,753
新規建設及び改築	90	91
処分及び除却	-25	
外貨換算影響額	1	0
期末現在取得原価	1,910	1,844
期首現在減価償却累計額及び減損額	-588	-551
当年度の予定減価償却	-38	-37
当年度の減損	-38	
処分及び除却	25	
外貨換算影響額	0	0
期末現在減価償却累計額及び減損額	-639	-588
帳簿価額	1,271	1,256
帳簿価額、使用権資産	2,593	2,704
帳簿価額合計	3,864	3,960

器具備品

百万スウェーデン・クローネ	2024年	2023年
期首現在取得原価	2,098	1,996
当年度の取得原価の増加	475	425
処分及び除却	-296	-326
当年度の減損	-37	
外貨換算影響額	65	3
期末現在取得原価	2,305	2,098
期首現在減価償却累計額及び減損額	-1,313	-1,300
当年度の予定減価償却	-359	-324
処分及び除却	291	315
当年度の減損	28	

外貨換算影響額	-44	-4
期末現在減価償却累計額及び減損額	-1,397	-1,313
帳簿価額	908	785
帳簿価額、使用権資産	29	30
帳簿価額	937	815

当行グループの有形固定資産は、不動産(自社利用不動産)及び器具備品並びに使用権資産で構成される。これらの資産は減価償却累計額及び減損損失控除後の取得原価で計上される。減価償却は、資産の見積耐用年数に基づき定額法で行われている。見積耐用年数は毎年見直されている。2024年度において耐用年数に重大な変更はなかった。器具備品の耐用年数は2年から10年と見積もられている。不動産については、サブコンポーネントごとに個別に減価償却が行われている。建造物の耐用年数は100年、残りのサブコンポーネントの耐用年数は10年から35年である。主に賃貸物件である使用権資産の耐用年数は、リース期間と同一である。対応するリース負債に関する情報は、注記 G45「リース」に表示されている。不動産及び器具備品の減損テストは、資産の価値に下落の兆候がある場合に実施される。貸借対照表日現在、不動産及び器具備品に減損の兆候はなかった。

注記G27 その他資産

百万スウェーデン・クローネ	2024年	2023年
投資銀行業務の決済に係る債権	5,310	5,610
再保険資産	21	27
その他	6,565	4,640
合計	11,896	10,276

注記G28 前払費用及び未収収益

百万スウェーデン・クローネ	2024年	2023年
未収収益	1,397	1,218
前払費用	1,071	1,114
合計	2,468	2,331

注記G29 金融機関からの預り金

百万スウェーデン・クローネ	2024年	2023年
預り金 (スウェーデン・クローネ建て)		
銀行	13,573	7,222
その他金融機関	7,552	8,444
合計	21,125	15,666

預り金 (外貨建て)

銀行	62,965	73,389
その他金融機関	190	1,088

合計	63,155	74,477
金融機関からの預り金合計	84,280	90,143
うち、レポ		0
うち、担保として受け入れた現金	32,374	20,078

平均取引高

百万スウェーデン・クローネ	2024年	2023年
金融機関からの預り金（スウェーデン・クローネ建て）	18,658	22,050
金融機関からの預り金（外貨建て）	126,481	143,309
合計	145,140	165,359
うち、レポ	173	177

注記G30 一般顧客からの預金及び借入金

百万スウェーデン・クローネ	2024年	2023年
預金(スウェーデン・クローネ建て)		
個人	366,270	361,462
法人	281,519	275,307
国債局	1	1
合計	647,789	636,769
預金(外貨建て)		
個人	121,999	100,321
法人	291,665	279,549
合計	413,665	379,871
一般顧客からの預金合計	1,061,454	1,016,640
一般顧客からの借入金		
借入金(スウェーデン・クローネ建て)	160,748	176,875
借入金(外貨建て)	88,537	104,966
一般顧客からの借入金合計	249,285	281,841
一般顧客からの預金及び借入金合計	1,310,739	1,298,480
うち、レポ	1	2
うち、担保として受け入れた現金	3,941	5,137
うち、保険事業	107	115

平均取引高

百万スウェーデン・クローネ	2024年	2023年
一般顧客からの預金		
一般顧客からの預金(スウェーデン・クローネ建て)	615,463	676,110
一般顧客からの預金(外貨建て)	396,857	411,677
合計	1,012,320	1,087,787
一般顧客からの借入金		
一般顧客からの借入金(スウェーデン・クローネ建て)	209,103	175,907
一般顧客からの借入金(スウェーデン・クローネ建て)、保険事業	115	116
一般顧客からの借入金(外貨建て)	261,891	222,857
合計	471,109	398,880
うち、レポ	7,042	8,978

注記G31 顧客が価値変動リスクを負う負債

百万スウェーデン・クローネ	2024年	2023年
ユニットリンク保険負債	226,268	192,952

ポートフォリオ・ボンド保険負債	61,977	51,989
その他のファンド負債	17	159
合計	288,263	245,100

注記G32 発行済証券

	2024年		2023年	
	帳簿価額	額面価格	帳簿価額	額面価格
百万スウェーデン・クローネ				
コマーシャル・ペーパー				
コマーシャル・ペーパー				
（スウェーデン・クローネ建て）	536	509	1,099	1,055
うち、純損益を通じて公正価値で計上 （強制）	536	509	1,099	1,055
コマーシャル・ペーパー（外貨建て）	620,794	351,863	606,147	418,067
うち、償却原価で計上	620,717	351,790	605,740	417,676
うち、公正価値ヘッジに含まれるもの	0	0	15,500	15,745
うち、純損益を通じて公正価値で計上 （強制）	77	73	407	391
合計	621,331	352,372	607,246	419,122
債券				
債券（スウェーデン・クローネ建て）	559,652	563,444	568,496	572,069
うち、償却原価で計上	559,652	563,444	568,496	572,069
うち、公正価値ヘッジに含まれるもの	270,721	267,918	216,156	218,968
債券（外貨建て）	369,044	370,857	347,739	353,432
うち、償却原価で計上	369,044	370,857	347,739	353,432
うち、公正価値ヘッジに含まれるもの	261,351	266,598	243,902	253,894
合計	928,696	934,301	916,235	925,501
発行済証券合計	1,550,027	1,286,673	1,523,481	1,344,623

	2024年	2023年
百万スウェーデン・クローネ		
期首現在発行済証券	1,523,481	1,474,801
発行済	1,060,981	1,251,086
買戻	-54,766	-72,561
満期が到来したもの	-1,035,785	-1,124,075
外貨換算影響額等	56,115	-5,771
期末現在発行済証券	1,550,027	1,523,481

平均残高

	2024年	2023年
百万スウェーデン・クローネ		
発行済証券（スウェーデン・クローネ建て）	572,209	528,045
発行済証券（外貨建て）	1,030,025	1,013,598
合計	1,602,234	1,541,643

注記G33 ショートポジション

百万スウェーデン・クローネ	2024年	2023年
公正価値で計上されるショートポジション		
株式	621	520
利付証券	386	1,844
合計	1,007	2,364

平均残高

百万スウェーデン・クローネ	2024年	2023年
ショートポジション(スウェーデン・クローネ建て)	15,433	15,301
ショートポジション(外貨建て)	220	209
合計	15,653	15,510

注記G34 保険負債

保険負債、2024年

百万スウェーデン・クローネ	残存カバーに 係る負債 (GMM)	発生保険金に 係る負債 (GMM)	残存カバーに 係る負債 (PAA)	発生保険金に 係る負債 - 将 来キャッ シュ・フロー の現在価値 (PAA)	発生保険金に 係る負債 リスク調整 (PAA)	合計
期首残高	8,129	0	8	260	9	8,407
保険収益 — GMM	-610					-610
うち、予想保険サービス 費用	-557					-557
うち、契約上のサービス・ マージンの償却	-35					-35
うち、リスク調整の償却	-19					-19
保険収益 — PAA	1		-576			-575
保険サービス費用		550		428	1	979
保険サービスによる損益	-610	550	-576	428	1	-207
純損益を通じて計上した金融 収益及び金融費用	62			4		66
その他包括利益を通じて計上 した金融収益及び金融費用	-66					-66
キャッシュ・フロー - 支払保 険料	14		574			588
キャッシュ・フロー - 支払		-550		-430		-980
外貨換算影響額				0		0
期末残高	7,530	0	6	262	10	7,808

保険負債、2023年

	残存カパーに 係る負債	発生保険金に 係る負債	残存カパーに 係る負債	発生保険金に 係る負債 - 將 来キャッ シュ・フロー の現在価値	発生保険金に 係る負債 リスク調整	合計
百万スウェーデン・クローネ	(GMM)	(GMM)	(PAA)	(PAA)	(PAA)	
期首残高	8,269	0	9	259	8	8,546
保険収益 — GMM	-588					-588
うち、予想保険サービス 費用	-530					-530
うち、契約上のサービス・ マージンの償却	-39					-39
うち、リスク調整の償却	-20					-20
保険収益 — PAA	1		-581			-580
保険サービス費用		528		418	1	947
保険サービスによる損益	-588	528	-581	418	1	-221
純損益を通じて計上した金融 収益及び金融費用	37			6	0	43
その他包括利益を通じて計上 した金融収益及び金融費用	396					396
キャッシュ・フロー - 支払保 険料	15		580			595
キャッシュ・フロー - 支払		-528		-423		-951
外貨換算影響額				-1		-1
期末残高	8,129	0	8	260	9	8,407

保険負債(GMM) — 構成要素別、2024年

百万スウェーデン・クローネ	将来キャッ シュ・フローの 現在価値	リスク調整	契約上の サービス・ マージン	合計
期首残高	7,138	351	641	8,129
将来のサービスに関する変動	62	-5	-57	0
当期のサービスに関する変動	-5	-20	-35	-60
過去のサービスに関する変動				
保険サービスによる損益	57	-25	-92	-60
純損益及びその他包括利益を通じて計上し た金融収益及び金融費用	-12	3	5	-4
キャッシュ・フロー	-536			-536
期末残高	6,646	329	554	7,530

保険負債(GMM) — 構成要素別、2023年

百万スウェーデン・クローネ	将来キャッ シュ・フローの 現在価値	リスク調整	契約上の サービス・ マージン	合計
期首残高	7,192	385	693	8,269
将来のサービスに関する変動	43	-27	-16	0
当期のサービスに関する変動	-1	-20	-39	-60
過去のサービスに関する変動				
保険サービスによる損益	42	-47	-55	-60
純損益及びその他包括利益を通じて計上し た金融収益及び金融費用	417	13	3	433
キャッシュ・フロー	-513			-513
期末残高	7,138	351	641	8,129

割引に用いられるイールド・カーブ

期間	ロックインされた イールド・カーブ(%)		現在のイールド・カーブ(%)	
	2024年	2023年	2024年	2023年
1年	0.89	0.75	2.25	3.02
2年	0.95	0.82	2.27	2.78
5年	0.92	0.88	2.41	2.25
10年	1.61	1.37	2.65	2.24
20年	2.57	2.43	2.94	2.76

死亡率

コホート	65歳以降の平均余命（年）	
	女性	男性
1940年	23.9	22.2
1950年	24.6	21.8
1960年	25.3	23.3
1970年	25.8	24.0
1980年	26.2	24.4

契約上のサービス・マージン

年	契約上のサービス・マージンの予想残存率 (%)	
	2024年	2023年
2023年		100
2024年	100	94
2025年	94	88
2030年	67	63
2040年	29	27
2050年	10	9

当行の保険事業は、ハンデルスバンケン・リヴが行っている。貸借対照表項目の「保険負債」は、保険契約者からハンデルスバンケン・リヴに重大な保険リスクを移転する保険契約で構成され、従来型生命保険契約とスウェーデンの小規模企業や個人が締結する健康保険、保険料払込免除特約及び死亡保険の形態のリスク保険で構成されている。リスクの集中は確認されていない。デンマークの保険事業は2022年に、ノルウェーの保険事業は2023年に売却されている。フィンランドの保険事業は2024年に売却された。フィンランドに帰属する保険負債は上記に含まれておらず、貸借対照表上「売却目的で保有する負債」に分類変更されている。注記G14を参照のこと。

保険負債は、残存カバーに係る負債と発生保険金に係る負債の合計である。保険料配分アプローチ(PAA)に従って認識されるリスク保険及びリスク保険要素の場合、残存カバーに係る負債は未稼得受取保険料で測定される。一般測定モデル(GMM)に従って認識される従来型生命保険契約の貯蓄性保険要素の場合、残存カバーに係る負債には、将来のサービス義務に係るキャッシュ・フローと、契約上のサービス・マージンのうちまだ収益として認識されていない部分が含まれる。発生保険金に係る負債には、過去のサービス義務に係るキャッシュ・フローが含まれる。義務に係るキャッシュ・フローは、将来キャッシュ・フローの期待現在価値とリスク調整で構成される。以下のセクションでは、負債の構成要素、すなわち将来キャッシュ・フローの期待現在価値、リスク調整及び契約上のサービス・マージンについて説明している。保険契約の分類及び測定の詳細については、注記 G1のセクション8を参照のこと。

将来キャッシュ・フローの期待現在価値

締結した保険契約に起因する将来キャッシュ・フローの期待現在価値は、様々な結果及び割引の可能性を考慮して算定される。将来キャッシュ・フローには、保険契約の履行に起因する保険料、保険金、保険

金請求処理及び管理費が含まれる。算定は、各保険契約に関する仮定及び情報を用いて、キャッシュ・フローを予測して行われる。

将来キャッシュ・フローの期待現在価値を算出する際の仮定

将来キャッシュ・フローの期待現在価値を算出する際に仮定が適用されるが、その算出には不確実性が伴っている。関連する場合、残存カバーに係る負債及び未稼得受取保険料にも同一の仮定が適用される。適用される仮定は、内部過去データ、業界統計及び市況に基づいている。ハンデルスバンケン・リヴは、さまざまな仮定の変更に対する保険負債の感応度と、想定結果と比較した実際の結果との違いを継続的に分析している。仮定は、確立されたプロセスに基づいて作成されており、ハンデルスバンケン・リヴの保険数理部門(第一の防衛線)が継続的に、また必要に応じて、仮定の変更に関する分析を行い、変更を提案する責任を負う。保険数理部門(第二の防衛線)は、その提案を確認して意見を付す。仮定の変更に関する決定はハンデルスバンケン・リヴの最高経営責任者が行い、当行の評価委員会に報告される。最も重要な2つの仮定は、将来の死亡率及び将来キャッシュ・フローの割引に使用されるイールド・カーブである。その他の重要な仮定には、将来の管理費に関する仮定及び譲渡や返戻などの解約・失効に係る仮定が含まれる。

死亡率に関する仮定

将来の死亡率に関する仮定は、業界統計及び内部過去データに基づいている。この仮定は、年齢別及びコホート別の1年間の死亡率で表されていることから表形式で表示するには膨大であり、代わりに65歳以上の予想平均余命という形で死亡率の仮定を示している。

イールド・カーブに関する仮定

将来キャッシュ・フローを割引くために使用される現在のイールド・カーブは、信用リスク調整後の、最長10年物の金利スワップレートの観察可能な市場価格に基づいている。10年超の満期のイールド・カーブは、スミス・ウィルソン法を用いて長期のフォワード・レートに収斂させて決定される。現在の長期のフォワード・レートは3.30(3.45)%と見積もられている。収斂までの期間は10(10)年と想定されている。金融市場シナリオは、市場整合的で裁定取引がないという仮定に基づいており、割引に使用される関連するリスク・フリー金利と整合的である。保険負債の割引に使用された現在のイールド・カーブ及びロックインされたイールド・カーブ(移行日に決定されたイールド・カーブ)は表で示されている。

リスク調整

リスク調整は、非金融リスクに対して、締結した保険契約から生じる将来キャッシュ・フローの不確実性を引き受けるために当行が要求する報酬に相当する。ハンデルスバンケン・リヴの高いソルベンシーを確保するために、この報酬は、ハンデルスバンケン・リヴがソルベンシー2規制に基づき維持することが求められるリスク・マージンとして決定されている。したがって、リスク調整は、資本コスト率の6(6)%を使用して将来の資本コストを予測し、現在価値に割り引く資本コスト・アプローチを用いて計算される。2024年度のリスク調整は340(361)百万スウェーデン・クローネであった。将来キャッシュ・フローの期待現在価値が正規分布に従うと仮定すると、これは、現在のイールド・カーブを使用して評価した1年間の信頼水準約99.86(99.90)%に相当する。損益計算書では、リスク調整は、保険サービスによる損益と金融収益/費用に分けられて計上される。

契約上のサービス・マージン

契約上のサービス・マージンとは、将来に保険カバーが提供される際に当行が認識する前受利益である。IFRS第17号への移行に際して、従来型生命保険契約の貯蓄性保険要素には、公正価値と将来キャッシュ・フローの期待現在価値及びリスク調整の合計との差額である、契約上のサービス・マージンが生じている。従来型生命保険契約を新たに締結することはできないため、IFRS第17号への移行後は新規契約に係る契約上のサービス・マージンは発生しない。ハンデルスバンケンは、リターン関連サービスと保険カバーの提供に関連するサービスの両方が時間の経過とともに直線的に行われると評価している。したがって、保険カバー要素は、契約上のサービス・マージンが時間の経過とともに比例して償却されるパターンに従うように選択されている。表は、契約上のサービス・マージンの予想償却率を示している。

当年度の重要な変更及び事象

従来の生命保険契約における譲渡及び解約に関する仮定について当年度に見直しを行った結果、当該仮定に変更は生じていない。

感応度分析、2024年

百万スウェーデン・クローネ		保険事業による純						保険契約者に代			
		損益に対する		その他包括利益に		資本に対する影響		保険負債に対する		わって保有する資	
		影響額		対する影響額		額合計		影響額		産に対する影響額	
リスク変数	シナリオ	仮定の 増加	仮定の 減少	仮定の 増加	仮定の 減少	仮定の 増加	仮定の 減少	仮定の 増加	仮定の 減少	仮定の 増加	仮定の 減少
死亡リスク ¹⁾	予想死亡率の +/-10%の変動	7	-8	-2	0	5	-8	-5	8		
障害・疾病回復 リスク	障害・疾病回復 率の+/-10%の 変動	11	-13			11	-13	-11	13		
解約・失効 リスク	解約・失効率の +/-1パーセン テージ・ポイ ントの変動	2	-3	-6	6	-3	3	3	-3		
管理費用 リスク	管理費用の+/- 10%の変動	-2	2	2	-2	0	0	0	0		
一般的な金利 リスク	関連金利の+/-1 パーセンテー ジ・ポイント の平行シフト	-90	89	443	-606	352	-517	-452	616	-99	100
特定金利リスク (スプレッド・リ スク)	スプレッド・リ スクを有する 保有資産の価 値の+/-1%の 変動	34	-34	-4	3	31	-31	4	-3	35	-35
株価リスク	株価の+/-10%の 変動	61	-61	-3	2	58	-59	4	-3	62	-62

為替リスク	対スウェーデン・クロネ										
	のその他の通貨の+/-10%の変動	89	-89	-8	5	81	-84	9	-6	90	-90

感応度分析、2023年

百万スウェーデン・クローネ		保険事業による純						保険契約者に代			
リスク変数	シナリオ	損益に対する 影響額		その他包括利益に 対する影響額		資本に対する影響 額合計		保険負債に対する 影響額		わって保有する資 産に対する影響額	
		仮定の 増加	仮定の 減少	仮定の 増加	仮定の 減少	仮定の 増加	仮定の 減少	仮定の 増加	仮定の 減少	仮定の 増加	仮定の 減少
死亡リスク ¹⁾	予想死亡率の +/-10%の変動	7	-8	-1	-1	6	-9	-6	9		
障害・疾病回復 リスク	障害・疾病回復 率の+/-10%の 変動	10	-12			10	-12	-10	12		
解約・失効 リスク	解約・失効率の +/-1パーセン テージ・ポイ ントの変動	3	-3	-5	6	-3	2	3	-2		
管理費用 リスク	管理費用の+/- 10%の変動	-2	2	1	-1	-1	1	1	-1		
一般的な金利 リスク	関連金利の+/-1 パーセンテー ジ・ポイント の平行シフト	-103	101	521	-687	419	-585	-530	697	-112	112
特定金利リスク (スプレッド・リ スク)	スプレッド・リ スクを有する 保有資産の価 値の+/-1%の 変動	35	-35	-3	3	32	-32	3	-3	35	-35
株価リスク	株価の+/-10%の 変動	82	-83	-2	2	81	-81	3	-3	84	-84
為替リスク	対スウェーデ ン・クローネ のその他の通 貨の+/-10%の 変動	48	-48	-2	2	46	-46	3	-3	49	-49

1) この感応度分析には、PAAを適用して測定された保険契約の残存カバに係る負債（未稼得の受取保険料で測定される）を除く保険負債全体が含まれている。その結果、将来保険料が不十分であると判断された場合に保険料が増額される以外には、リスク変数の変動がこの負債に直ちに影響を与えることはない。

従来型生命保険及びリスク保険のポートフォリオにおけるリスクと感応度が、合理的に可能性の高い重要なリスク変数の変動が保険事業による純損益、その他包括利益、資本、保険負債及び保険契約者に代わって保有する保険資産に及ぼす影響して、上表で定量化されている。感応度分析は、1つのリスク変数が変動し、その他のリスク変数是不変であるという前提に基づいている。実際には、一部のリスク変数の変動は相関している可能性があるため、1つのリスク変数しか変動しないという可能性は低い。重要なリスク変数に対する感応度を計測する際には、計上される保険負債に使用されるものと同一の方法が適用されている。感応度分析は、両年度において同一の方法を適用して作成されている。

保険契約者に代わって保有する従来型生命保険の資産

百万スウェーデン・クローネ	2024年	2023年
株式ファンド ¹⁾	619	532
債券ファンド ¹⁾	4,979	5,326
プライベート・エクイティ ¹⁾	16	18
現金及び現金同等物	49	36
合計	5,663	5,912

1) 「株式」として認識されている。注記G19を参照のこと。

デュレーション

百万スウェーデン・クローネ	債券ファンド		従来型生命保険 将来キャッシュ・フローの現在価値	
	2024年	2023年	2024年	2023年
0－1年	3,233	2,754	518	565
1－5年	1,446	2,171	1,796	1,929
5－10年	195	281	1,701	1,805
10年超	105	120	2,630	2,840
合計	4,979	5,326	6,646	7,138

保険契約におけるリスク

当行は、保険契約を通じて主に市場リスク、信用リスク、流動性リスク及び保険リスクにさらされており、最も重要なリスクは以下の通りである。

市場リスク

市場リスクとは、金利、株価、為替レートなどの金融市場のリスク要因の変動が運用資産や債務の価値の変動をもたらす複合的なリスクである。

金利リスク

一般的な金利リスクは、投資資産と保険負債のデュレーションが異なることにより、従来型生命保険で生じる。負債のデュレーションは長期であるため、割引率の変動に対する金利感応度は大きい。運用資産のデュレーションは短期であるため、市場金利の変動に対する金利感応度は限定的である。ハンデルスバンケン・リヴは、従来型生命保険の構造をふまえて、運用資産のデュレーションを短くしている。

特定の金利リスク(スプレッド・リスク)は、債券ファンドの保有における従来型生命保険運用において、信用スプレッドの変動、すなわち、現在の保有資産の利回りと同じ満期の国債の利回りが異なることにより生じる。

運用資産は、(強制的に)純損益を通じて公正価値で認識され測定される。注記G5及び注記G6を参照のこと。従来型生命保険の損益勘定におけるボラティリティを回避するため、割引率の変動による影響額はロックインされたイールド・カーブで割り引かれた負債と現在のイールド・カーブで割り引かれた負債の差額として、「その他包括利益」で認識される。

株価リスク

株価リスクは、主に株式ファンドへの投資により、従来型生命保険の運用で生じる。従来型生命保険契約では、実際のリターンが保証されたリターンの水準を上回った場合に、保険契約者に対し、保証給付額に加え追加の給付額を受領する機会を設けている。これは、ハンデルスバンケンが主に株価リスクの下振れリスクにさらされていることを意味する。年度末現在の従来型生命保険の運用ポートフォリオにおける株価リスク・エクスポージャーは、635(550)百万スウェーデン・クローネであった。

為替リスク

為替リスクは、主にユーロ建て及び米ドル建ての原資産を有するミューチュアル・ファンドへの投資の結果として、主に従来型生命保険の運用で生じる。このエクスポージャーは、必要に応じて為替デリバティブを用いることで限定される。年度末現在、ユーロ建ての正味エクスポージャーは417(301)百万スウェーデン・クローネであり、米ドル建ての正味エクスポージャーは457(173)百万スウェーデン・クローネである。

信用リスク

信用リスクは、債券ファンドの保有に対する従来型生命保険の運用において生じる。ミューチュアル・ファンドの原資産は、格付けはBBB-(投資適格)又は同等以上の格付けのものしか認められていないことから、このリスクは限定的である。

流動性リスク

流動性リスクは、主に従来型生命保険では、保険契約者に保険資本を他の保険会社に移転する機会が与えられていることにより生じる。このリスクは、将来の支払に関する日常的なモニタリングによって管理され、運用資産の大半が、非常に流動性の高いUCITSファンドに投資されていることで制限されている。

保険リスク

保険リスクとは、金融リスク以外であって、保険契約者からハンデルスバンケン・リヴに移転されるリスクをいう。最も重要な保険リスクは以下の通りである。

死亡リスク

死亡リスクとは、死亡率の変動により保険契約価値の損失や低下が生じるリスクである。死亡リスクは主に死亡保険で生じ、死亡率が上昇すると保険契約債務が増加する。

長寿リスク

長寿リスクとは、死亡率の変動により保険契約価値の損失や低下が生じるリスクである。長寿リスクは保険契約者が終身保証の給付を受ける従来型生命保険契約で生じ、死亡率が低下すると保険契約債務が増加する。

障害・疾病回復リスク

障害・疾病回復リスクとは、罹患及び回復の水準の変動により保険契約価値の損失や低下が生じるリスクである。障害・疾病回復リスクは主に医療保険で生じ、障害・疾病回復率が低下すると保険契約債務が増加する。

解約・失効リスク

解約・失効リスクとは、譲渡及び解約の頻度の変化により保険契約価値の損失や低下が生じるリスクである。解約・失効リスクは主に、ポートフォリオ全体に譲渡権が存在する従来型生命保険契約で生じる。

管理費リスク

管理費リスクとは、保険契約管理費の変動により保険契約価値の損失や低下が生じるリスクである。管理費リスクは、主に従来型生命保険契約において生じ、管理費が増加すると保険契約債務が増加する。

リスクの管理と制限

ハンデルスバンケン・リヴのリスク許容度は低く、当行のリスク管理原則に従っている。リスクは主に、予期せぬ不利な事象が発生した場合でもハンデルスバンケン・リヴが保険契約者への義務を果たせるように、十分な資本水準を維持することで管理されている。詳細については、注記 G2 の「保険事業におけるリスク」に関するセクションを参照のこと。

ハンデルスバンケン・リヴの投資方針では、金融リスク・エクスポージャーを制限し、保険契約者に対する義務と法定要件を考慮した、資産運用に関する全体的な指示を定めている。また、投資のガバナンスや統制の方法や資産の総リスク水準の管理方法についても指示を定めている。リスクを特定し、測定し、分析し報告することが可能となるよう、資産の慎重な投資が行われている。

ハンデルスバンケンは、さまざまな方法で保険リスク・エクスポージャーを制限している。必要に応じて、死亡保険や医療保険への加入前に、被保険者の健康状態に基づく医療リスク評価を実施している。保険料は、適切かつ慎重なマージンを含め、保険事故が発生した場合に想定される費用に関する仮定に基づいて設定され、定期的な見直しを行い、想定費用を賄うために十分であることを確認している。損益計算書のボラティリティを避けるため、最大の死亡保険契約及び医療保険契約は、設定された保有限度額に従って再保険されている。再保険資産については注記G27、再保険負債については注記G37を参照のこと。

注記G35 税金**損益計算書に計上された税金費用**

百万スウェーデン・クローネ	2024年	2023年
当期税金費用	-7,814	-8,452
繰延税金	53	118
過年度に関する税金の調整	-34	-83
税金費用合計(継続事業)	-7,795	-8,417
税金費用合計(非継続事業)	-72	-185

当行グループの税金費用及びスウェーデンの税率に基づく税金費用との差額

百万スウェーデン・クローネ	2024年	2023年
税引前利益	35,016	36,322
スウェーデンの税率に基づく税引前利益に対する税金	-7,213	-7,482
当行グループが認識する税金	-7,795	-8,417
差額	-582	-935
差異の詳細項目		
非課税収益/損金不算入費用	-23	-16
劣後負債に係る損金不算入費用	-515	-583
保険事業に対する税率との相違	316	297
非課税のキャピタルゲイン及び受取配当	0	9
他国の税率との相違	-487	-565
過年度の税金	-34	-83
その他	161	6
合計	-582	-935

繰延税金資産、2024年

百万スウェーデン・ クローネ	期首残高	損益計算書 に計上	その他包括 利益に計上	外貨換算 影響額	相殺	期末残高
ヘッジ手段	546		-191			355
不動産及び器具備品	0	0				0
年金	347	92				439
その他	401	-95				306
相殺	-936				-7	-943
合計	358	-3	-191	0	-7	157

繰延税金負債、2024年

百万スウェーデン・ クローネ	期首残高	損益計算書 に計上	その他包括 利益に計上	外貨換算 影響額	相殺	期末残高
一般顧客への貸出金 ¹⁾	1,878	-211				1,667
ヘッジ手段	448	-69	-204	64		239
無形資産	65	2				67
不動産及び器具備品	91	27				118
年金	2,212	215	36	15		2,478
その他	211	-86		-7		118
相殺	-936				-7	-943
合計	3,969	-122	-168	72	-7	3,744

1) うち、リース資産は1,622(1,845)百万スウェーデン・クローネである。

繰延税金資産、2023年

百万スウェーデン・ クローネ	期首残高	損益計算書 に計上	その他包括 利益に計上	外貨換算 影響額	相殺	期末残高
ヘッジ手段	996		-450			546
不動産及び器具備品	19	-19				0
年金	370	-23				347
その他	204	189		8		401
相殺					-936	-936
合計	1,589	130	-450	8	-936	358

繰延税金負債、2023年

百万スウェーデン・ クローネ	期首残高	損益計算書 に計上	その他包括 利益に計上	外貨換算 影響額	相殺	期末残高
一般顧客への貸出金 ¹⁾	2,207	-329				1,878
ヘッジ手段	764		-316			448
無形資産	78	-13				65
不動産及び器具備品	95	-4				91
年金	2,466	231	-449	-36		2,212

その他	4	207				211
相殺					-936	-936
合計	5,614	92	-765	-36	-936	3,969

1) うち、リース資産は1,845(2,207)百万スウェーデン・クローネである。

第二の柱に関する開示

第二の柱のルールが当行に与える影響については、初期評価が実施され、今後も継続的に見直しが行われる予定である。ハンデルスバンケンはIAS第12号の免除規定を適用していることから、当行グループは、第二の柱による法人税関連の繰延税金資産と繰延税金負債について認識も開示もしていない。

米国を除くハンデルスバンケンが事業を展開しているすべての国では、EUの第二の柱指令が採択され、各国で国内法制化された又はその予定である。ハンデルスバンケンは低税率国では事業を行っておらず、事業を行っているすべての国の課税率は20%を超えている。ハンデルスバンケンは、事業を行っている全ての国・地域において実効税率が15%を超えていると推定しており、財務諸表上、第二の柱の法令に従って認識されている税金はない。

ハンデルスバンケンは、本規制がハンデルスバンケンの財務諸表に重要な影響を与えることはないと評価している。

未認識の繰延税金資産及び欠損金

繰越欠損金及びその他の将来損金算入可能な一時差異に係る繰延税金資産は、予見可能な将来に利用できる可能性が高い場合に限り認識される。未認識の繰延税金資産124(113)百万スウェーデン・クローネは、スタッドフィポテック・エイ・ビーが各地で利用可能である。

[次へ](#)

注記G36 引当金

引当金、2024年	オフバランス シート項目に係 る予想信用損失 引当金 ¹⁾	リストラクチャ リングに係る引 当金 ²⁾	その他引当金 ³⁾	合計
百万スウェーデン・クローネ				
期首現在引当金	299	43	258	601
当期の引当金繰入			159	159
取崩		-17	-24	-41
戻入			-177	-177
予想信用損失の変動（純額）	-165			-165
期末現在引当金	135	27	216	378

引当金、2023年	オフバランス シート 項目に 係る予想信用損 失引当金 ¹⁾	リストラクチャ リングに係る引 当金 ²⁾	その他引当金 ³⁾	合計
百万スウェーデン・クローネ				
期首現在引当金	280	87	225	591
当期の引当金繰入			121	121
取崩		-44	-8	-52
戻入			-80	-80
予想信用損失の変動（純額）	20			20
期末現在引当金	299	43	258	601

1) 詳細は注記G10及びG44を参照のこと。

2) リストラクチャリングに係る引当金は当行のリストラクチャリングに関連する費用である。

3) 当行に対する債権の決済に将来必要になることが予想される金額は、その他引当金として表示されている。

注記G37 その他負債

百万スウェーデン・クローネ	2024年	2023年
投資銀行業務の決済に係る負債	2,865	5,192
リース負債	2,751	2,857
再保険負債	128	126
その他	9,632	6,708
合計	15,376	14,882

注記G38 未払費用及び繰延収益

百万スウェーデン・クローネ	2024年	2023年
未払費用	2,055	1,902
繰延収益	880	1,087
合計	2,935	2,990

注記G39 劣後負債**劣後負債の変動**

百万スウェーデン・クローネ	2024年	2023年
期首現在劣後負債	43,117	42,404
発行済	5,673	8,753
満期が到来したもの	-13,369	-8,326
外貨換算影響額等	1,633	286
期末現在劣後負債	37,054	43,117

平均残高

百万スウェーデン・クローネ	2024年	2023年
劣後負債(外貨建て)	35,603	42,200

劣後負債、内訳

発行年	満期	当初満期日	最初の償還 可能日	通貨	各通貨別の 当初額 面金額	転換/ 非転換	金利、%	残高
2020年	永久 ^{1),2)}		2027年 3月1日	米ドル	500	転換 ³⁾	4.375	5,229
2020年	永久 ^{1),2)}		2031年 3月1日	米ドル	500	転換 ³⁾	4.750	4,584
2022年	期限付 ⁴⁾	2033年 6月1日	2028年 6月1日	ユーロ	500	非転換	3.250	5,748
2022年	期限付 ⁴⁾	2032年 8月23日	2027年 8月23日	英ポンド	500	非転換	4.625	6,722
2023年	期限付 ⁴⁾	2034年 8月16日	2029年 8月16日	ユーロ	750	非転換	5.000	9,053
2024年	期限付 ⁴⁾	2036年 11月4日	2031年 11月4日	ユーロ	500	非転換	3.625	5,718
劣後負債合計								37,054

1) 普通株式を除くすべての金融商品に劣後し、次に上位にあるのが期限付劣後債務である。

2) 最初の償還日以降、金利決定日毎に償還することができる。

3) スヴェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビーの普通株式等Tier1比率が5.125%を下回った場合、又は連結ベースの普通株式等Tier1比率が8.0%を下回った場合には、当該債務はスヴェンスカ・ハンデルスバンケンの普通株式に転換される。

4) すべての上位債務に劣後する。

注記G40 持分変動の内訳**ヘッジ準備金の変動**

百万スウェーデン・クローネ	2024年	2023年
期首ヘッジ準備金	181	-307
公正価値変動の有効部分		
金利リスク	794	1,486
為替リスク	-460	-619
損益計算書への振替額 ¹⁾	-174	-252
法人税	-33	-127
期末ヘッジ準備金	308	181

公正価値評価差額準備金の変動

百万スウェーデン・クローネ	2024年	2023年
期首公正価値評価差額準備金	197	126
未実現評価差額－資本性金融商品	167	51
実現評価差額－資本性金融商品	3	0
未実現評価差額－負債性金融商品	5	19
予想信用損失引当金の変動－負債性金融商品	0	0
利益剰余金への振替額－資本性金融商品 ²⁾	-3	0
損益計算書への振替額－負債性金融商品 ³⁾	0	0
期末公正価値評価差額準備金	369	197

為替換算調整準備金の変動、国外事業

百万スウェーデン・クローネ	2024年	2023年
期首為替換算調整準備金(国外事業)	3,502	4,332
支店における為替換算差額の変動	266	-855
子会社における為替換算差額の変動	2,539	297
損益計算書への振替額 ⁴⁾	-248	9
利益剰余金への振替額 ⁵⁾	-811	-284
期末為替換算調整準備金(国外事業)	5,249	3,502

1) 本項目に係る税金 35(52)百万スウェーデン・クローネは、損益計算書に振り替えられている。

2) 本項目に係る税金 -(-)百万スウェーデン・クローネは、利益剰余金に振り替えられている。

3) 本項目に係る税金 0(0)百万スウェーデン・クローネは、損益計算書に振り替えられている。

4) 本項目に係る税金 -70(-2)百万スウェーデン・クローネは、損益計算書に振り替えられている。

5) 本項目に係る税金 8(19)百万スウェーデン・クローネは、利益剰余金に振り替えられている。

注記G41 金融資産及び負債の分類

2024年	純損益を通じて公正価値で計上				償却原価	帳簿価額 合計	公正価値
	強制	公正価値 オプション	ヘッジ手段 として特定 されたデリ バティブ	その他包括 利益を通じ て公正価値 で測定			
百万スウェーデン・クローネ							
資産							
現金及び中央銀行預け金					530,009	530,009	530,009
中央銀行へのその他の貸出金					12,547	12,547	12,547
中央銀行への担保として適格な利付証券	4,862	167,745				172,607	172,606
その他金融機関への貸出金					18,923	18,923	18,632
一般顧客への貸出金					2,372,086	2,372,086	2,365,414
ポートフォリオ・ヘッジにおける 金利ヘッジ対象の価値変動					-6,399	-6,399	
債券及びその他の利付証券	10,329	23,920		13,259		47,508	47,508
株式	13,942			804		14,746	14,746
顧客が価値変動リスクを負う資産	287,984					287,984	287,984
デリバティブ商品	21,340		25,729			47,069	47,069
その他資産	13				11,903	11,916	11,916
合計	338,470	191,665	25,729	14,063	2,939,069	3,508,995	3,508,431
関連会社及びジョイント・ベンチャー に対する投資						860	
非金融資産						29,317	
資産合計						3,539,173	
負債							
金融機関からの預り金					84,527	84,527	84,592
一般顧客からの預金及び借入金					1,320,481	1,320,481	1,320,543
顧客が価値変動リスクを負う負債		288,263				288,263	288,263
発行済証券	614				1,549,413	1,550,027	1,545,408
デリバティブ商品	14,583		1,373			15,956	15,956
ショートポジション	1,007					1,007	1,007
その他負債	12				15,687	15,700	15,700
劣後負債					37,054	37,054	38,263
合計	16,216	288,263	1,373		3,007,162	3,313,015	3,309,732
非金融負債						16,131	
負債合計						3,329,146	
2023年	純損益を通じて公正価値で計上				償却原価	帳簿価額 合計	公正価値
	強制	公正価値 オプション	ヘッジ手段 として特定 されたデリ バティブ	その他包括 利益を通じ て公正価値 で測定			
百万スウェーデン・クローネ							
資産							
現金及び中央銀行預け金					476,181	476,181	476,181
中央銀行へのその他の貸出金					32,145	32,145	32,145

中央銀行への担保として適格な利付証券	3,534	195,594			199,128	199,128
その他金融機関への貸出金				19,298	19,298	19,272
一般顧客への貸出金				2,434,217	2,434,217	2,415,484
ポートフォリオ・ヘッジにおける 金利ヘッジ対象の価値変動				-9,657	-9,657	
債券及びその他の利付証券	13,550	23,827	12,709		50,087	50,087
株式	11,617		601		12,218	12,218
顧客が価値変動リスクを負う資産	254,401			78	254,479	254,479
デリバティブ商品	13,618		16,492		30,110	30,110
その他資産	27			10,282	10,309	10,309
合計	296,747	219,421	16,492	13,310	2,962,544	3,508,514
関連会社及びジョイント・ベンチャー に対する投資					657	
非金融資産					28,620	
資産合計					3,537,792	
負債						
金融機関からの預り金				91,124	91,124	91,287
一般顧客からの預金及び借入金				1,350,036	1,350,036	1,349,338
顧客が価値変動リスクを負う負債		254,609		78	254,687	254,687
発行済証券	1,506			1,521,975	1,523,481	1,497,333
デリバティブ商品	27,399		6,840		34,238	34,238
ショートポジション	2,364				2,364	2,364
その他負債	27			15,712	15,739	15,739
劣後負債				43,117	43,117	43,227
合計	31,296	254,609	6,840	3,022,042	3,314,787	3,288,213
非金融負債					17,919	
負債合計					3,332,706	

上表の資産及び負債には、貸借対照表上「売却目的で保有する資産」及び「売却目的で保有する負債」にそれぞれ分類変更された、フィンランドの処分グループが含まれている。注記G14を参照のこと。

注記G42 金融商品の公正価値測定

公正価値で計上される金融商品、2024年

百万スウェーデン・クローネ	レベル1	レベル2	レベル3	合計
資産				
中央銀行への担保として適格な利付証券				
純損益を通じて公正価値で測定（強制）	4,778	84		4,862
純損益を通じて公正価値で測定 （公正価値オプション）	167,745			167,745
その他包括利益を通じて公正価値で測定				
債券及びその他の利付証券				
純損益を通じて公正価値で測定（強制）	9,610	719		10,329
純損益を通じて公正価値で測定 （公正価値オプション）	23,920			23,920
その他包括利益を通じて公正価値で測定	11,752	1,507		13,259
株式				
純損益を通じて公正価値で測定（強制）	13,340	586	16	13,942
その他包括利益を通じて公正価値で測定	548	94	161	803
顧客が価値変動リスクを負う資産	285,122	2,845	17	287,984
デリバティブ商品	52	47,017		47,069
合計	516,867	52,852	194	569,913
負債				
顧客が価値変動リスクを負う負債	285,400	2,845	17	288,263
発行済証券		614		614
デリバティブ商品	39	15,916		15,955
ショートポジション	992	15		1,007
合計	286,431	19,390	17	305,839

公正価値で計上される金融商品、2023年

百万スウェーデン・クローネ	レベル1	レベル2	レベル3	合計
資産				
中央銀行への担保として適格な利付証券				
純損益を通じて公正価値で測定（強制）	3,498	36		3,534
純損益を通じて公正価値で測定 （公正価値オプション）	195,594			195,594
その他包括利益を通じて公正価値で測定				
債券及びその他の利付証券				
純損益を通じて公正価値で測定（強制）	13,245	305		13,550
純損益を通じて公正価値で測定 （公正価値オプション）	23,827			23,827
その他包括利益を通じて公正価値で測定	11,158	1,551		12,709
株式				
純損益を通じて公正価値で測定（強制）	11,096	503	18	11,617
その他包括利益を通じて公正価値で測定	310	135	156	601
顧客が価値変動リスクを負う資産	251,504	2,820	77	254,401
デリバティブ商品	92	30,016	2	30,110
合計	510,325	35,366	253	545,944
負債				
顧客が価値変動リスクを負う負債	251,712	2,820	77	254,609
発行済証券		1,506		1,506
デリバティブ商品	47	34,189	2	34,238
ショートポジション	2,364			2,364
合計	254,123	38,515	79	292,717

上表の金融商品には、貸借対照表上「売却目的で保有する資産」及び「売却目的で保有する負債」にそれぞれ分類変更された、フィンランドの処分グループが含まれている。注記G14を参照のこと。

レベル3の保有金融商品の変動、2024年

百万スウェーデン・クローネ	株式	デリバティブ 資産	デリバティブ 負債	顧客が価値変 動リスクを負 う資産	顧客が価値変 動リスクを負 う負債
期首現在帳簿価額	174	2	-2	77	-77
取得	1				
買戻/売却	-5				
満期を迎えたもの					
未実現評価差額(損益計算書に計上)	-6	-2	2	-60	60
未実現評価差額(その他包括利益に計上)	13				
レベル1又は2からの振替					
レベル1又は2への振替					
期末現在帳簿価額	177			17	-17

レベル3の保有金融商品の変動、2023年

百万スウェーデン・クローネ	株式	デリバティブ 資産	デリバティブ 負債	顧客が価値変 動リスクを負 う資産	顧客が価値変 動リスクを負 う負債
期首現在帳簿価額	173	39	-39	525	-525
取得					
買戻/売却	-1				
満期を迎えたもの					
未実現評価差額(損益計算書に計上)	2	0	0	-448	448
未実現評価差額(その他包括利益に計上)					
レベル1又は2からの振替		-37	37		
レベル1又は2への振替					
期末現在帳簿価額	174	2	-2	77	-77

上表の金融商品には、貸借対照表上「売却目的で保有する資産」及び「売却目的で保有する負債」にそれぞれ分類変更された、フィンランドの処分グループが含まれている。注記G14を参照のこと。

観察不能なインプットの変動により、レベル3の保有金融商品の測定値が大幅に上昇することも低下することもないとみなされることから、感応度分析は表示されていない。

評価ヒエラルキー

上表の公正価値で計上される金融商品は、適用された評価方法及び評価時に使用した市場データの透明性の程度に応じて区分されている。その区分は、上表においてレベル1から3で示されている。直接的かつ流動性が高い市場価格で評価される金融商品は、レベル1に区分されている。これらの金融商品は、主に活発に取引されている国債及びその他の利付証券、上場株式及び資産に対応する短期ポジションで構成されている。レベル1にはまた、ミューチュアル・ファンドにおける大部分の株式、ユニットリンク保険契約及び類似契約に関連するその他の資産並びにその資産に対応する負債が含まれている。実質的に市場データを基礎とする評価モデルを使用して評価される金融商品は、レベル2に区分されている。レベル2には、主に利付証券、金利及び外国為替デリバティブが含まれている。外部の市場情報を用いて検証することので

きないインプット・データが、その価値に重要な影響を及ぼす金融商品は、レベル3に区分される。レベル3には、非上場の株式、プライベート・エクイティ・ファンドに対する特定の保有及び特定のデリバティブが含まれる。

その区分は、貸借対照表日現在で適用された評価方法に基づいて行われている。特定の金融商品の区分が過年度の貸借対照表日（2023年12月31日）以降に変更された場合には、当該金融商品は上表のレベル間で振り替えられている。当年度中に、重要なレベル間の振替はなかった。当年度のレベル3の保有の変動は、下表に別途表示されている。

レベル3の保有商品は主に非上場株式で構成されている。当行グループが保有している非上場株式は、主に当行に対して業務支援を行っている会社に対する当行の参加持分で構成されている。例えば、これらは清算機関に対する参加持分の場合もあれば、ハンデルスバンケンの拠点市場におけるインフラ関連の協業に対する参加持分の場合もある。それらの持分は、一般に当該会社における純資産価値に占める当行の持分、あるいは当該会社に関する最終取引価格で評価される。非上場株式はすべての重要な点から見て、その他包括利益を通じて公正価値で測定されるものに分類されている。したがって、これらのポートフォリオの価値変動は、その他包括利益に計上されている。

プライベート・エクイティ・ファンドに対する特定の保有はレベル3に分類されている。これらは主に、同一業種の比較可能な上場企業の相対的評価を基礎とする評価モデルを使用して評価されている。比較に使用される業績の測定は、当該投資との比較のために利用される会社との比較を歪める要因について調整された後、収益乗数（例：株価収益率及びEV/EBITA）に基づいて評価される。これらのポートフォリオの大部分は、当行グループの保険事業における投資資産に関するものである。

当行が発行した仕組債の一部におけるデリバティブ部分及び関連するヘッジ目的デリバティブもまた、レベル3に分類されている。これらのデリバティブでは、社内の見積りが公正価値の算定に大きな影響を与える。レベル3のヘッジ目的デリバティブは、当行のカウンターパーティとの間で市場価値が日次で検証され確認されるクレジット・サポート・アネックス契約（CSA）に基づいて取引される。

損益計算書に計上された当年度のレベル3における金融商品の実現評価差額は、1(1)百万スウェーデン・クローネである。

償却原価で計上される金融商品の公正価値、2024年

百万スウェーデン・クローネ	レベル1	レベル2	レベル3	合計
資産				
現金及び中央銀行預け金	530,009			530,009
中央銀行へのその他の貸出金	12,547			12,547
その他金融機関への貸出金	4,305	13,966	362	18,633
一般顧客への貸出金	27,977	1,137	2,336,300	2,365,414
顧客が価値変動リスクを負う資産				
合計	574,838	15,103	2,336,662	2,926,603
負債				
金融機関からの預り金	39,764	44,828		84,592
一般顧客からの預金及び借入金	1,312,915	7,628		1,320,543
顧客が価値変動リスクを負う負債				
発行済証券	917,859	626,936		1,544,795
劣後負債		38,263		38,263
合計	2,270,538	717,655		2,988,193

償却原価で計上される金融商品の公正価値、2023年

百万スウェーデン・クローネ	レベル1	レベル2	レベル3	合計
資産				
現金及び中央銀行預け金	476,181			476,181
中央銀行へのその他の貸出金	32,145			32,145
その他金融機関への貸出金	5,876	13,038	358	19,272
一般顧客への貸出金	41,120	828	2,373,537	2,415,485
顧客が価値変動リスクを負う資産	78			78
合計	555,400	13,866	2,373,895	2,943,161
負債				
金融機関からの預り金	31,858	59,430		91,287
一般顧客からの預金及び借入金	1,341,888	7,449		1,349,338
顧客が価値変動リスクを負う負債	78			78
発行済証券	857,720	638,107		1,495,827
劣後負債		43,227		43,227
合計	2,231,544	748,213		2,979,757

上表の金融商品には、貸借対照表上「売却目的で保有する資産」及び「売却目的で保有する負債」にそれぞれ分類変更された、フィンランドの処分グループが含まれている。注記G14を参照のこと。

取引価格と評価モデルを用いて算出された価値との差額

注記G1の会計方針に記載されているとおり、デリバティブ評価にモデルを適用する場合、当初認識時の評価と取引価格との間の重要な正の差額（取引日利得/損失）がデリバティブの契約期間にわたって償却されている。取引価格と評価モデルによって測定された価値との正の差額から生じた未実現額（取引日利得/損失）は、当行の利鞘のほか、資本コストや管理費用などの対価から構成されている。この原則を適用した結果、当年度において164(113)百万スウェーデン・クローネが金融取引による純損益に認識された。当年度末現在、未認識の取引日利得、500(472)百万スウェーデン・クローネであった。

償却原価で計上される金融商品の公正価値に関する情報についての原則

償却原価で計上される金融商品の公正価値に関する情報は、注記G41及び下表に記載されている。これらの金融商品は、基本的に貸出金、預金及び借入金で構成されている。決済手段及び短期の債権債務の帳簿価額は、これらの項目の公正価値の妥当な推定値とみなされている。満期日又は次回の金利更改日が30日以内に到来する債権債務は、短期項目と定義されている。

固定金利の貸出金の評価は、市場で想定される信用リスク及び流動性リスクに関するプレミアムを調整した最新の市場金利を基礎としている。このプレミアムは、測定時における新規貸出の平均マージンに等しいと仮定されている。利付証券は、入手可能な最新の市場価格で評価されている。市場価格に関する情報が入手不能な資金調達及び利付証券は、類似金融商品の価格又は金利等の市場データを基礎とする評価モデルを使用して評価されている。

下表における償却原価で計上される金融商品の公正価値情報で使用された評価は、上述の評価ヒエラルキーで区分されている。決済手段及び預金は現金同等物とみなされており、レベル1に区分されている。レベル1には、最新の市場価格がある利付証券（資産及び負債）も含まれている。信用及び流動性プレミアムに関する仮定が公正価値情報に重大な影響を及ぼす貸出金は、レベル3に区分されている。その他の金融商品はレベル2に区分されている。

注記G43 担保として差し入れた資産、受け入れた担保及び譲渡金融資産

自己の債務の担保として差し入れた資産

百万スウェーデン・クローネ

	2024年	2023年
現金	14,590	27,456
国債及び債券	2,401	5,691
一般顧客への貸出金	750,510	765,513
株式	5,806	5,869
顧客が価値変動リスクを負う資産	289,253	256,168
その他	1,336	1,820
合計	1,063,896	1,062,518
うち、当行の裁量で取り下げ可能な担保として差し入れた資産	15	18

その他の担保として差し入れた資産

百万スウェーデン・クローネ

	2024年	2023年
現金	256	1,370
国債及び債券	87,535	63,619
株式	2,546	4,411
合計	90,336	69,399

うち、当行の裁量で取り下げ可能な担保として差し入れた資産	77,729	52,061

その他の担保として差し入れた資産は、貸借対照表に計上されていない債務に対して差し入れた担保のことである。

貸借対照表上に計上されている譲渡金融資産

	2024年		2023年	
	帳簿価額	関連する負債 の帳簿価額	帳簿価額	関連する負債 の帳簿価額
百万スウェーデン・クローネ				
株式、証券貸付	2,674	106 1)	4,237	112 1)
国債及び債券、買戻契約	1,077	0	4,464	2
顧客が価値変動リスクを負う資産	17	17	159	159
合計	3,768	124	8,860	273

1) 現金で受領した担保

担保として差し入れた資産

担保として差し入れた資産は貸借対照表上、資産として計上される。担保として差し入れた利付証券は、主に支払制度、トレーディング及び決済のための担保として中央銀行及びその他金融機関へ差し入れられた有価証券、並びに拘束力のある買戻契約（レポ）に基づいて売却された有価証券で構成されている。担保として差し入れた株式は、主に貸付有価証券及び保険事業における株式より構成される。

担保として差し入れた一般顧客への貸出金は、主にスタッドフィポテックが発行したカバード・ボンド保有者のために登記された担保より構成されている。当該担保は、主に一世帯向け住宅、セカンド・ハウス、多世帯住居又は住宅共同組合アパートメントの住宅ローンで融資された貸出金より構成されており、不動産価値に対する融資比率は、市場価値の75%以内となっている。会社が破綻した際には、カバード・ボンド法及び優先権法に従ってカバード・ボンドの所有者が担保として差し入れた資産の優先権をもつ。破産決定時に担保として差し入れたすべての資産が当該優先権法の条件を満たす場合、これらは、破産財団のその他資産及び負債とは別個に保持される。その後、当該ボンドの保有者は、引き続きボンドの契約条件に基づいた支払を満期まで受け取ることになる。

顧客が価値変動リスクを負う資産は、主にハンデルスバンケン・リヴの保険契約者が優先権を有するユニットリンク保険契約のユニットより構成される。

受け入れた担保

受け入れた担保は貸借対照表に計上されない。売戻契約及びエクイティ・ローンに関して、担保は、第三者に売却又は再担保として差し入れ可能な有価証券の形態で受け入れている。売戻契約及びエクイティ・ローン契約に基づいて受け入れた担保の公正価値は、事業年度末現在44,246(43,196)百万スウェーデン・クローネであり、第三者に売却又は再担保として差し入れられた担保の価値は7,858(12,528)百万スウェーデン・クローネであった。貸出金に関して受け入れた担保及びその他の受け入れた担保に関する情報については、注記G2に示されている。

貸借対照表上に計上されている譲渡金融資産

譲渡金融資産は貸借対照表上資産として認識されているものの、将来キャッシュ・フローに関する権利が直接又は間接的に外部のカウンターパーティに譲渡されている。貸借対照表上に認識されている譲渡金融資産の大部分は、利付証券より構成されており、拘束力のある買戻契約に基づいて売却したもの又は貸付有価証券である。通常、拘束力のある買戻契約又はエクイティ・ローンの条件は、当行と各カウンターパーティとの間の基本契約において規定されている。

拘束力のある買戻契約は、将来の予め設定した時期に固定価格で有価証券を買い戻すことを前提として有価証券を売却することを意味している。したがって、有価証券の売り手は、契約期間中、価値変動リス

クにさらされることとなる。買戻契約に基づいて売却された有価証券は、契約期間を通じて、貸借対照表上に市場価格で計上される。受領した代価は、カウンターパーティに対する負債として計上される。買戻契約の標準的な条件に従って、売却された有価証券の所有権はすべて売り手から買い手に譲渡される。これは、買い手が購入した有価証券の売却、再担保又は処分の権利を有していることを意味している。

エクイティ・ローンの標準的な契約に従って、貸付有価証券の価値変動に対するエクスポージャーは、貸手にある。したがって、貸付有価証券は、貸付期間を通じて貸借対照表に計上される。貸付有価証券の担保は、通常、現金又はその他の有価証券の形態をとっている。受け入れた現金担保は、貸借対照表上に負債として計上される。買戻契約と同様に、エクイティ・ローンで用いられる標準契約により、借り手は貸付期間中に借り入れた有価証券を売却、再担保又は処分する権利を有することになる。

有価証券トレーディング、決済等の目的で担保として差し入れた国債、債券及び株式は、その権利がカウンターパーティに譲渡される場合、その他譲渡金融資産として計上されている。譲渡金融資産にはまた、顧客が価値変動リスクを負う特定の資産も含まれている。これらの資産は、当行が正式な所有権を有しているものの、資産に関連するリスクも将来キャッシュ・フローに関する権利も第三者に譲渡された金融商品ポートフォリオから構成されている。これらの資産の評価は、対応する負債項目の評価を反映している。

注記G44 偶発債務

百万スウェーデン・クローネ	2024年	2023年
保証等		
保証、貸出金	8,135	8,184
保証、その他	45,697	47,557
取消不能信用状	665	203
その他	1,256	2,177
合計	55,754	58,120
うち、減損テスト対象となるもの	55,754	58,120
コミットメント		
ローン・コミットメント	333,969	317,926
当座貸越枠の未使用部分	100,717	96,359
その他	7,828	13,580
合計	442,514	427,865
うち、減損テスト対象となるもの	242,965	237,999
偶発債務合計	498,268	485,985
引当金として計上される予想信用損失引当金（注記G36参照）	155	340

保証等

保証等は、主に様々な種類の保証で構成されている。信用保証は、他の信用機関及び年金機関の債務を保証するために顧客に提供される。その他の保証は、主として入札保証金、前払金に関する保証、保証期間中の保証及び輸出関連の保証等の商業保証である。保証等には、未使用の取消不能輸入信用状及び確認輸出信用状も含まれる。これらの取引は当行のサービスに含まれるもので、当行の顧客を支援するために提供されている。この表には保証額が示されている。

請求

当行グループ内の会社は、多くの民事裁判において一般法による請求を受けている。当行のポーランド事業はスイス・フラン建及びユーロ建のモーゲージ・ポートフォリオを保有しており、年度末時点での残高は総額約1億スイス・フランとなっている。外貨での様々な信用条件の適用にすることがポーランドの法律上未確定であり、当該法律の動向によっては当行のポーランド事業における特定の契約条件が適用不可となり、一部の顧客に対して賠償の支払いが生じる可能性がある。当行への潜在的な財務上の影響や、諸般の結果の見込みを見積もることが現時点では実務上不可能であるため、偶発債務に関する開示は行っていない。

その他の裁判は、基本的に当行グループに有利に解決されると見込まれている。係争金額は当行グループの財政状態にも損益にも重要な影響を及ぼさないと評価されており、偶発債務に関する開示は行っていない。

注記G45 リース**貸手としてのハンデルスバンケン****ファイナンス・リース**

百万スウェーデン・クローネ	2024年	2023年
投資純額からの金融収益	611	593
変動リース料	539	519

満期別及び投資純額別、割引前リース債権の内訳

百万スウェーデン・クローネ	2024年	2023年
1年以内	2,876	2,725
1年から2年	2,542	3,480
2年から3年	2,984	2,805
3年から4年	2,455	1,861
4年から5年	1,120	2,076
5年超	2,508	3,303
割引前リース債権合計	14,485	16,250
前受金融収益	-957	-1,292
投資純額	13,528	14,958

当行グループが貸手であるすべてのリースは、ファイナンス・リースとして定義されている。この種類のリース契約は、貸借対照表上、当初は投資純額に相当する額が貸出金として計上される。前年度からの変動は、リース・ポートフォリオの売却によるリース残高の減少である。リース資産は主に車両及び機械から構成される。すべてのリースは残存価値が保証されている。当年度末において、当行グループのリース・エクスポージャーのうち、個別の帳簿価額が1十億スウェーデン・クローネを超えるものは1件であった。

借手としてのハンデルスバンケン

損益計算書項目

百万スウェーデン・クローネ	2024年	2023年
リース負債の利息費用	-74	-67
合計¹⁾	-74	-67
使用権資産の減価償却費及び減損損失		
不動産	-702	-628
器具備品	-14	-14
合計²⁾	-716	-642
短期リース費用	-35	-38
低額リース費用	-52	-41
リース負債の算定に含まれていない変動リース料	-175	-167
合計³⁾	-262	-246
リース費用合計	-1,052	-955

貸借対照表項目

百万スウェーデン・クローネ	2024年	2023年
使用権資産⁴⁾		
不動産	2,593	2,704
器具備品	29	30
合計	2,622	2,734
新規使用権資産⁵⁾	392	350
リース負債⁶⁾	2,751	2,857
リースのキャッシュ・アウトフロー総額	-1,034	-980

1) 損益計算書項目の利息費用に含まれている。

2) 損益計算書項目の不動産及び器具備品並びに無形資産の減価償却費、償却費及び減損損失に含まれており、うち -12(39)百万スウェーデン・クローネが減損損失である。

3) 損益計算書項目のその他費用に含まれている。

4) 使用権資産は貸借対照表項目の不動産及び器具備品に含まれている。

5) 当年度の新規リース契約は使用権資産に含まれている。

6) リース負債は貸借対照表項目のその他負債に含まれている。

リース負債に係る満期までの期間

百万スウェーデン・クローネ	2024年	2023年
6カ月以内	377	369
6カ月から1年	320	353
1年から2年	607	610
2年から5年	1,201	1,265
5年超	474	500
合計	2,979	3,097

当行のリース契約は主に建物設備の賃借契約によるものである。このような契約を除き、その他のリース契約は主に多機能プリンター、PC及びその他の事務所設備である。

建物設備の賃借契約期間の大半は3年から10年である。当行の建物設備の賃借契約の中には契約期間延長に関するオプションが含まれているものがあり、特定の時点までに契約が解消されない限り、当該契約は特定期間延長される。また、当行が契約期間満了前に契約を解消できるオプションを含む建物設備の賃借契約もある。リース期間を決定するにあたり、契約期間の延長又は契約期間満了前の契約解消のオプションは、これらのオプションが行使される可能性が高い場合に限りリース期間に含められる。

当行は期間が12カ月以内のリース契約及び原資産が低額なリース契約を締結している。これらのリース契約はIFRS第16号「リース」の免除規定に従い費用として認識されるため、リース負債にも使用权資産にも含まれない。

注記G46 セグメント報告

セグメント報告、2024年

百万スウェーデン・クローネ	スウェーデン	英国	ノルウェー	オランダ	マーケット	その他	調整及び消去	合計
純利息収益	29,003	10,729	5,162	1,967	-17	-3		46,841
純手数料及びコミッション								
収益	9,066	869	695	188	621	288		11,726
金融取引による純損益	959	225	80	18	1,220	602		3,103
保険事業による純損益	423		-1					422
関連会社及びジョイント・ベンチャーの持分利益						27		27
その他の収益	84	15	21	3	3	99		225
収益合計	39,535	11,837	5,957	2,176	1,826	1,015		62,345
人件費	-5,073	-3,579	-1,307	-611	-985	-4,428	252	-15,731
その他費用	-1,173	-841	-517	-145	-509	-4,290		-7,474
内部購入及び売却されたサービス	-4,899	-1,445	-809	-322	72	7,404		
不動産及び器具備品並びに無形資産の減価償却費、償却費及び減損	-773	-378	-106	-58	-145	-520	-24	-2,004
費用合計	-11,918	-6,242	-2,739	-1,136	-1,567	-1,834	228	-25,209
信用損失及び規制関連費用控除前利益	27,617	5,595	3,217	1,040	259	-819	228	37,136
正味信用損失	377	139	72	2	0	12		601
不動産及び器具備品並びに無形資産の処分損益	8	0	5		0	0		13
規制関連費用	-2,033	-47	-411	-132	-25	-86		-2,733
営業利益	25,969	5,686	2,883	910	234	-893	228	35,016
利益配分	371	49	61	0	-423	-58		
利益配分後の営業利益	26,339	5,736	2,943	910	-189	-951	228	35,016
内部収益 ¹⁾	5,009	4,045	-10,458	-152	-156	1,712		
C/I比率、%	29.9	52.5	45.5	52.2	111.7			40.4
信用損失実績率、%	-0.02	-0.06	-0.02	0.00	0.00			-0.02
一般顧客への貸出金	1,589,948	246,790	320,705	104,604	15,335	20,496		2,297,878
一般顧客からの預金及び借入金	848,854	289,072	97,713	44,743	711	29,671	-25	1,310,739
割当済資本	123,381	27,866	22,684	5,690	1,831	5,915	22,660	210,027
割当済資本に係る利益率、%	17.3	17.1	10.4	13.0	-9.1			14.5
平均従業員数	4,764	2,842	993	425	470	2,729		12,224

1) 収益総額に含まれている内部収益は、他の事業セグメント及び「その他」との取引によって生じた収益より構成されている。利息収益及び利息費用は、収益として純額で計上されていることから、内部収益には、セグメント及び「その他」との間の内部資金調達費用が純額で含まれることを意味する。

「その他」には、フィンランドの処分グループに帰属する割当済資本を含む。

事業セグメントは、IFRS第8号「事業セグメント」に準拠して認識されている。これは、セグメント情報がコーポレート・ガバナンスの一環として内部的に採用される方法と類似した方法で表示されていることを意味する。ハンデルスバンケンの事業は、スウェーデン、英国、ノルウェー、オランダ及びマーケットのセグメントに区分して表示されている。ハンデルスバンケンの支店業務は、融資、決済、ファイナンス・アドバイザーサービス、預金及び年金に特化したサービスを提供している。マーケットを除いた国別セグメントには、支店業務並びに資産運用及び保険事業が含まれる。各国では独立した収益部門として業務が行われ、各国の支店長が業務を統括する。スウェーデン及び英国では、各国の支店長が統括する支店業務は、県域自治体及び地域別にそれぞれ編成されている。マーケット・セグメントは、有価証券売買及び投資アドバイザーサービスを含む、ハンデルスバンケンの投資銀行である。

セグメントに関する利益／損失は、内部利益の配分前と配分後の両方について報告されている。内部利益の配分において、当行と顧客との取引によって生じた利益は、取引の実施セグメントにかかわらず、すべてその顧客を担当するユニットに配分される。ただし、内部サービスに関する収益及び費用は、別個の項目である「内部購入及び売却されたサービス」に純額で報告される。セグメント間取引は、主として原価基準で報告される。その他並びに調整及び消去の欄は、特定のセグメントに属さない項目又は当行グループ・レベルで消去されている項目を示している。その他には、専らトレジャリー及び中央事業支援部門が含まれるが、拠点市場以外の当行の国際事業やオクトゴーネン利益分配制度への引当に起因する取引も含まれている。調整及び消去の欄には、人件費に対する調整が含まれている。人件費に対する調整は、IAS第19号「従業員給付」に従って計算される当行グループの年金費用と現地で算定された年金費用を含んでいる。

内部収益は、主に内部利息及びコミッションより構成されている。セグメントの損益計算書には、内部サービスの提供に対する支払といった内部項目も含まれている。内部付替えは、主に原価法に従っている。

支店業務においては、資産は主に一般顧客への貸出金より構成され、負債は一般顧客からの預金並びに内部借入より構成されている。「その他」の欄に含まれている資産は、主に様々なセグメントへの内部貸付であるが、「その他」の欄に含まれている負債は、主に外部借入である。各セグメントに関する割当済資本は、内部の財務管理モデルによる資本割当と同様のものである。

セグメント報告、2023年

百万スウェーデン・クローネ	スウェーデン	英国	ノルウェー	オランダ	マーケット	その他	調整及び 消去	合計
純利息収益	30,222	11,010	4,624	1,941	-50	-170		47,578
純手数料及びコミッション								
収益	8,460	845	659	198	592	385		11,139
金融取引による純損益	1,185	253	79	17	1,091	37		2,661
保険事業による純損益	494		0					493
関連会社及びジョイント・ベンチャーの持分利益						51		51
その他の収益	214	13	5	1	1	94		328
収益合計	40,575	12,121	5,366	2,157	1,634	397		62,249
人件費	-4,783	-3,149	-1,103	-537	-954	-3,519	403	-13,642
その他費用	-1,353	-907	-493	-136	-461	-4,446		-7,796
内部購入及び売却されたサービス	-4,738	-1,414	-708	-277	17	7,120		
不動産及び器具備品並びに無形資産の減価償却費、償却費及び減損	-665	-310	-97	-59	-131	-457	-24	-1,743
費用合計	-11,538	-5,780	-2,401	-1,009	-1,530	-1,303	379	-23,182
信用損失及び規制関連費用控除前								
利益	29,037	6,340	2,965	1,148	104	-906	379	39,067
正味信用損失	-142	-51	37	13		3		-141
不動産及び器具備品並びに無形資産の処分損益	14	-1	6			0		20
規制関連費用	-1,919		-393	-113	-20	-179		-2,624
営業利益	26,990	6,289	2,615	1,048	83	-1,082	379	36,322
利益配分	406	52	47	0	-421	-83		
利益配分後の営業利益	27,395	6,340	2,662	1,048	-338	-1,165	379	36,322
内部収益 ¹⁾	5,767	2,999	-8,567	-98	667	-768		
C/I比率、%	28.2	47.5	44.4	46.8	126.1			37.2
信用損失実績率、%	0.01	0.03	-0.01	-0.01				0.01
一般顧客への貸出金	1,600,862	230,692	313,267	97,110	12,467	38,553	-1,142	2,291,808
一般顧客からの預金及び借入金	854,313	260,595	90,206	35,945	26,243	31,204	-25	1,298,480
割当済資本	123,899	25,856	23,339	5,177	1,686	6,904	18,224	205,085
割当済資本に係る利益率、%	18.2	21.2	9.4	16.9	-17.6			15.3
平均従業員数	4,695	2,707	828	388	479	2,587		11,683

1) 収益総額に含まれている内部収益は、他の事業セグメント及び「その他」との取引によって生じた収益より構成されている。利息収益及び利息費用は、収益として純額で計上されていることから、内部収益には、セグメント及び「その他」との間の内部資金調達費用が純額で含まれることを意味する。

「その他」には、フィンランドの処分グループに帰属する割当済資本を含む。

より効率的かつ事業を重点とする組織の構築を目的として、2024年第2四半期に組織再編を実施し、従来「その他」に含まれていた旧中央人事部門、金融部門、通信部門及び金融犯罪防止部門、並びに従来はハンデルスバンケン・マーケット・セグメントに含まれていた事業支援部門の一部は、ハンデルスバンケン・スウェーデンに移管されている。ルクセンブルグ及びニューヨークにおける事業、すなわち拠点市場以外における事業は、ハンデルスバンケン・マーケットから「その他」に移管されている。加えて、従来「その他」として報告されていたハンデルスバンケンIT部門の一部は、ハンデルスバンケン・マーケットに移管されている。この組織再編に伴い、セグメント情報の比較数値は修正再表示されている。

商品分野別の収益

百万スウェーデン・クローネ	2024年	2023年
個人からの預金及び個人への貸出金	20,935	21,554
法人からの預金及び法人への貸出金	27,139	27,956
決済事業、純額	1,802	1,758
資産運用	7,151	6,531
年金及び保険	901	830
投資銀行	3,226	1,907
その他の事業	1,192	1,714
合計	62,345	62,249

注記G47 地域別情報

地域別情報、2024年

百万スウェーデン・クローネ	収益	営業利益	法人税等	うち、 当期税金	非継続事業 からの当期 利益（税 引後）	資産	非流動資産	うち、 不動産及び 器具備品
スウェーデン	40,307	23,330	-4,478	-4,648		3,148,069	5,447	2,805
英国	12,710	6,748	-1,882	-1,877		425,253	1,692	999
ノルウェー	5,837	2,968	-844	-871		381,499	1,125	560
オランダ	2,296	1,072	-397	-398		310,052	260	199
米国	664	515	-87	-84		389,127	81	81
ルクセンブルグ	300	134	-31	-31		13,319	4	4
デンマーク	39	28	-10	-10		6	0	0
ポーランド	-23	-91	0			209		0
フィンランド					234	100,630	-6	-43
のれん及びその他の の剰余金						4,452	4,452	24
内部消去	216	310	-66	6		-1,233,444	174	174
合計	62,345	35,016	-7,795	-7,913	234	3,539,173	13,228	4,803

地域別情報、2023年

百万スウェーデン・クローネ	収益	営業利益	法人税等	うち、 当期税金	非継続事業 からの当期 利益（税 引後）	資産	非流動資産	うち、 不動産及び 器具備品
スウェーデン	39,928	24,034	-5,256	-5,127		3,127,776	6,226	3,111
英国	13,260	7,577	-2,085	-2,064		414,494	1,561	908
ノルウェー	5,360	2,898	-685	-807		362,139	910	540
オランダ	2,368	1,321	-341	-341		230,677	256	222
米国	673	540	-80	-144		374,811	85	85
ルクセンブルグ	320	179	-38	-38		14,930	10	10
フランス	2	-5	2	2				
ポーランド	-75	-172				315	1	1
デンマーク	9	-4	78	78		857		
フィンランド					1,209	181,766	409	343
のれん及びその他の の剰余金						4,477	4,477	24
内部消去	405	-47	-12	-30		-1,174,452	-590	-467
合計	62,249	36,322	-8,417	-8,472	1,209	3,537,792	13,344	4,777

地域別情報に表示されている収益、営業利益及び非継続事業からの当期利益（税引後）並びに資産は、各国における内部・外部収益、費用及び資産より構成されている。地域別収益及び費用配分は取引実施国

に基づいているため、報告されたセグメント情報と比較することはできない。法人税等には当期税金及び繰延税金が含まれる。子会社及び関連会社の本拠地については注記P17に、国別平均従業員数については注記G8に、追加の地域別情報が記載されている。フィンランドは「売却目的で保有する資産」及び「売却目的で保有する負債」並びに非継続事業として認識されているため、詳細は注記G14を参照のこと。

注記G48 通貨別資産及び負債

2024年 百万スウェーデン・クローネ	スウェーデン・クローネ	ユーロ	ノルウェー・クローネ	英ポンド	米ドル	その他の通貨	合計
資産							
現金及び中央銀行預け金	63,478	203,777	4,160	125,771	132,799	23	530,009
中央銀行へのその他の貸出金		3,352	9,195				12,547
その他金融機関への貸出金	1,930	3,047	10,924	617	2,218	188	18,923
一般顧客への貸出金	1,567,637	219,855	325,257	249,285	7,583	2,469	2,372,086
うち、法人	598,763	155,273	185,593	179,980	7,423	1,565	1,128,597
うち、個人	967,327	64,582	139,665	69,305	160	904	1,241,943
中央銀行への担保として適格な利付証券	152,122	8,971	74		11,440		172,606
債券及びその他の利付証券	34,053	555	12,900		0		47,508
その他項目(通貨別内訳なし)	385,493						385,493
資産合計	2,204,712	439,557	362,511	375,673	154,039	2,681	3,539,173
負債							
金融機関からの預り金	21,125	34,762	27,340	485	337	479	84,528
一般顧客からの預金及び借入金	808,538	100,333	103,939	282,784	21,170	3,718	1,320,481
うち、法人	330,706	85,798	58,033	206,315	17,598	2,896	701,346
うち、個人	477,832	14,535	45,906	76,469	3,572	822	619,136
発行済証券	560,189	447,647	28,294	35,214	456,621	22,062	1,550,027
劣後負債		20,519		6,722	9,814		37,054
その他項目(通貨別内訳なし、資本含む)	547,083						547,083
負債及び資本合計	1,936,934	603,261	159,573	325,205	487,942	26,258	3,539,173
通貨別その他資産及び負債、正味		163,620	-202,929	-50,508	333,936	23,579	
正味外貨ポジション		-84	8	-40	34	1	-80
2023年 百万スウェーデン・クローネ	スウェーデン・クローネ	ユーロ	ノルウェー・クローネ	英ポンド	米ドル	その他の通貨	合計
資産							
現金及び中央銀行預け金	67,895	128,820	4,776	113,645	160,935	109	476,181
中央銀行へのその他の貸出金		29,326	1,687	1,131			32,145
その他金融機関への貸出金	259	5,772	9,671	873	2,299	423	19,297
一般顧客への貸出金	1,579,316	287,783	319,815	234,892	9,330	3,081	2,434,217
うち、法人	598,485	185,869	201,140	167,456	9,171	2,016	1,164,137
うち、個人	974,083	101,914	118,675	67,436	159	1,065	1,263,332
中央銀行への担保として適格な利付証券	181,752	7,561	36		9,778	1	199,128
債券及びその他の利付証券	36,868	486	12,223		509		50,087
その他項目(通貨別内訳なし)	326,737						326,737
資産合計	2,192,827	459,749	348,209	350,541	182,852	3,614	3,537,792
負債							
金融機関からの預り金	15,666	50,097	18,093	346	6,835	87	91,124
一般顧客からの預金及び借入金	814,008	140,586	110,296	257,177	24,238	3,732	1,350,037

うち、法人	335,161	110,747	75,871	190,553	20,797	2,801	735,931
うち、個人	478,848	29,839	34,424	66,624	3,441	931	614,106
発行済証券	569,595	407,148	27,016	37,930	459,581	22,211	1,523,481
劣後負債	0	22,740		6,258	14,120		43,117
その他項目(通貨別内訳なし、資本含む)	530,033						530,033
負債及び資本合計	1,929,302	620,570	155,404	301,711	504,774	26,030	3,537,792
通貨別その他資産及び負債、正味		160,527	-192,764	-48,850	321,918	22,493	
正味外貨ポジション		-294	41	-20	-4	77	-200

注記G2に、為替リスクに関する当行の見解が記載されている。

上表の資産及び負債には、貸借対照表上「売却目的で保有する資産」及び「売却目的で保有する負債」にそれぞれ分類変更されたフィンランドの処分グループが含まれている。G14を参照のこと。

注記G49 非連結の組成された事業体における持分

	保有ファンド	
	2024年	2023年
百万スウェーデン・クローネ		
資産 ¹⁾		
持分	6,365	5,928
顧客が価値変動リスクを負う資産	273,071	240,092
非連結の組成された事業体における持分合計	279,436	246,020

1) うち、- (9,586)百万スウェーデン・クローネはフィンランドの処分グループに含まれており、「売却目的で保有する資産」に分類変更されている。G14を参照のこと。

組成された事業体とは、議決権が管理業務にしか関連せず関連活動が契約上の取決めによって制限される場合など、議決権又は同様の権利が、その事業体を支配している企業を判定する上で決め手となる要因にはならないように組織化されている事業体である。非連結の組成された事業体におけるハンデルスバンケンの持分は限定されており、ファンドの持分で構成されている。

ユニットリンク保険契約に基づくミューチュアル・ファンド・ユニットの保有

ファンドは、主にハンデルスバンケン・リヴにおけるユニットリンク保険契約を通じて所有されている。保険契約者は、保険契約の内容に従って貯蓄の運用方法を選択し、ミューチュアル・ファンド・ユニットの価値の変動リスクを負担する。ハンデルスバンケンがユニットリンク保険で運用するファンドについては、当行が顧客に代わり11(10)ファンドで50%以上の当該ユニットを保有している。これらのファンドの総資産は211,517(159,625)百万スウェーデン・クローネであり、そのうち132,626(102,152) 百万スウェーデン・クローネはハンデルスバンケンが顧客のために保有している。顧客とのユニットリンク保険契約に基づく当行グループのミューチュアル・ファンド・ユニットに対する保有は、変動リターンに晒されているものではないと評価しており、これらの保有は、ファンドに対する支配の有無の判断から除外されている。結果として、ユニットリンク保険契約を通じたファンド・ユニットへの投資は連結されることはないことから、非連結の組成された事業体に該当する。当該保有は「顧客が価値変動リスクを負う資産」として認識され、これに対応する保険契約者への負債は貸借対照表の「顧客が価値変動リスクを負う負債」として認識されている。当行グループがユニットリンク保険契約を通じて保有するミューチュアル・ファンド・ユニットの総額は、上表の「顧客が価値変動リスクを負う資産」の項目に表示されている。

ミューチュアル・ファンド・ユニットに関するその他の保有

ハンデルスバンケンは、ハンデルスバンケン・リヴの従来型の保険契約に含まれる投資資産から成るファンド・ユニットを保有しており、また、マーケット・メーカーとしての立場からもファンド・ユニットを保有している。当行が資産運用会社であり、かつ当行が50%を超えるユニットを保有するファンドは連結される。20%から50%までの保有については、広範な運用権限を有し、変動リターンの割合が高いなど、当行の支配状況が示されている場合は連結される。当該ファンドに対する当行の持分は、貸借対照表の「持分」の項目に公正価値で認識される。当該ファンドの公正価値の残りの部分は連結され、貸借対照表の「顧客が価値変動リスクを負う資産」及び「顧客が価値変動リスクを負う負債」の項目に認識される。2024年12月31日及び2023年12月31日現在において、連結対象基準に該当するミューチュアル・ファンド・ユニットの保有はなかった。このように、当行グループが従来型の保険契約に基づき保有するミューチュアル・ファンド・ユニット、及びマーケット・メーカーとしての役割から保有するミューチュアル・

ファンド・ユニットに関しては、非連結の組成された事業体における持分に該当し、上表の「持分」の項目に表示されている。

非連結の組成された事業体における持分の損失に対する最大エクスポージャーは、その持分の現在の帳簿価額である。これらの事業体の資産合計は、関連リスクを理解する上では重要とみなされないため、表示されていない。

[次へ](#)

注記G50 関連当事者に関する開示**関連当事者に対する債権及び債務**

	関連会社及び ジョイント・ベンチャー		その他関連当事者	
	2024年	2023年	2024年	2023年
百万スウェーデン・クローネ				
一般顧客への貸出金	434	334		
その他資産	23	30	8	13
合計	457	364	8	13
一般顧客からの預金及び借入金	919	311	1,214	1,159
合計	919	311	1,214	1,159

関連当事者－収益及び費用

	関連会社及び ジョイント・ベンチャー		その他関連当事者	
	2024年	2023年	2024年	2023年
百万スウェーデン・クローネ				
利息収益	19	22		
利息費用	-10	-3	-163	-149
手数料及びコミッション収益	1	1		
手数料及びコミッション費用	-202	-223		
その他収益			19	18
その他費用	-205	-177	-179	-182
合計	-397	-380	-323	-313

上記の数値は全事業を対象としている。

注記G20には、関連会社及びジョイント・ベンチャーのリスト及び関連会社に対する資本拠出に関する情報が記載されている。関連会社及びジョイント・ベンチャーの業務は、当行の業務に関連する様々なサービスより構成される。スヴェンスカ・ハンデルスバンケンPensionsstiftelse（年金基金）、スヴェンスカ・ハンデルスバンケンPersonalstiftelse（従業員基金）及びPensionskassan SHB Tjänstepensionsförening（年金ファン）の各社は、その他関連当事者グループを構成している。これらの会社は通常の銀行業務及び会計業務に関して、スヴェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビーを利用している。

親会社のスウェーデン子会社は、年金ファンドに対し、確定給付年金に関連する年金保険料73(81)百万スウェーデン・クローネを支払った。子会社従業員に対する年金ファンドの債務は親会社によって保証されているため、年金ファンドが債務を支払えない場合には、親会社はその債務を引き受けて支払義務を負う。この年金ファンドの債務は、7,494(7,000)百万スウェーデン・クローネであった。スヴェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビーは、スヴェンスカ・ハンデルスバンケンPensionsstiftelseに対し、年金費用の762(720)百万スウェーデン・クローネを請求し、スヴェンスカ・ハンデルスバンケンPersonalstiftelseからは、従業員のための給付費用として28(44)百万スウェーデン・クローネが請求された。

執行役員への貸出金及び条件並びに執行役員に対するその他の報酬に関する情報については、注記G8に記載されている。

注記G51 重要な後発事象

貸借対照表日後に重要な後発事象はなかった。

注記G52 自己資本比率

資本方針

当行は、当行グループの業務に伴うリスクに対応し、法律で定められた最低要件を上回る堅実な資本水準を維持することを目的としている。健全な資本水準は、金融逼迫状態並びに買収及び取引高の大幅な増加等その他の事象に対処するために必要となる。

自己資本規制

自己資本比率規制である規制(EU)575/2013（以下、「CRR」という。）及び指令2013/36/EU（以下、「CRD IV」という。）に従って、当行は、少なくとも信用リスク、市場リスク及びオペレーショナル・リスクに関するリスク加重エクスポージャー合計金額の個別要件に対応した普通株式等Tier 1資本、Tier 1資本及び自己資本合計を保有しなければならない。当行は、最低要件に従って資本を保有することに加え、スウェーデンにおいて、資本保全バッファ、カウンターシクリカル・バッファ、システミック・リスク・バッファ及びその他の金融システム上重要な金融機関バッファの合計より構成される結合バッファ要件に準拠する普通株式等Tier 1資本も保有しなければならない。また、当行は、第二の柱に基づく最低所要自己資本を定めている。この第二の柱の要件は、スウェーデン金融監督庁が決定した個別の要件であり、過小評価されているリスク、または規制上の最低要件及び結合バッファ要件の対象とならないリスクのカバーを目的としたものである。スウェーデン金融監督庁が決定した第二の柱には、これらの要件に関するガイダンスもあり、所与の所要自己資本に加え、当行の最低バッファ要件に関する当局の見解が示されている。また、同行は自己資本比率の内部評価を行わなければならない。ハンデルスバンケンの資本方針では、自己資本比率の内部評価に関するガイドラインを規定している。当行はまた、金融コングロマリット(特別監督)法(2006年:第531号)に従って、金融コングロマリットレベルでの所要自己資本にも準拠しなければならない(後掲する「金融コングロマリットに関する自己資本比率」を参照のこと)。さらに、破綻整理機構（スウェーデンでは、国債局）により、当行に対し、自己資本及び適格債務の最低要件（MREL）が設定されている。2024年において当行は、当行の規制上の最低水準及びバッファ水準のすべてを十分な余裕をもって満たしていた。当行の自己資本及び所要自己資本に関するより詳細な情報については、注記G2「リスク及び資本管理」並びに当行の「リスク及び資本—第三の柱に関する情報」から入手可能である(handelsbanken.com/irを参照のこと)。当出版物はハンデルスバンケンのすべての自己資本及び適格債務に適用される条件の詳細な情報も掲載している。留意事項として、本年次報告書の情報は2024年12月31日現在で作成されており、新たな銀行自己資本比率規制及び銀行規制パッケージによる規制改正の発効は2025年1月1日である。

連結ベースの情報

規制上の連結（以下、「連結ベース」という。）は、親会社並びに当該連結財務諸表の表EU L13「連結ベースに含まれる会社 - 連結範囲の相違の概要（企業別）」に示されている子会社及び関連会社より構成されている。連結財務諸表に含まれているものの連結ベースから除外されている会社についても、表EU L13「連結ベースに含まれる会社 - 連結範囲の相違の概要（企業別）」に示されている。連結財務諸表と同様、規制上の連結ベースにおいて関連会社は持分法を用いて連結されている。規制対象のすべての子会社は連結ベースに含まれている。ハンデルスバンケンにおいて、実際の自己資本が所定の自己資本を満たしていない子会社は存在しない。

連結ベースの自己資本に関する情報

自己資本は、Tier 1資本及びTier 2資本により構成される。Tier 1資本は、普通株式等Tier 1資本及びその他Tier 1資本で構成されている。普通株式等Tier 1資本は、主に、連結に含まれる企業の株式資本、利益剰余

金及びその他準備金により構成されている。その他Tier 1資本はその他Tier 1資本調達手段により構成されている。Tier 2資本は、主に劣後ローンにより構成されている。その後、自己資本からの一定の控除が行われる。当該控除は、普通株式等Tier 1資本から行われる。当行のリスク管理においては、リスクの観点から当行グループ及び規制上の連結の双方が一つの単位とみなされることが重要である。当行グループにおいて効果的なリスク管理を行うために、当行グループの様々な会社間で資本の再配分が必要になる可能性がある。通常、ハンデルスバンケンは、法律で許容されている範囲（例えば、自己資本比率規制及び会社法における制限等）で当行グループ会社間において資本の再配分を行うことができる。当行は、自己資本からの資金の迅速な振替又は親会社と子会社の間の債務の返済に関して、他の重要な障害も法的な障害もないとみている。

Tier 1資本

Tier 1資本は、主に普通株式等Tier 1資本及びその他Tier 1資本で構成されている。

普通株式等Tier 1資本

普通株式等Tier 1資本は、主に、規制上の連結に含まれる企業の株式資本、利益剰余金及びその他準備金で構成されている。当行グループの保険会社は連結されないため（表EU LI3を参照のこと。）、保険会社の利益剰余金は普通株式等Tier 1資本に含まれていない。普通株式等Tier 1資本から除外される項目は、主として、のれん及びその他無形資産、並びに普通株式等Tier 1資本の10%を超える当行グループの保険会社への資本抛出又は繰延税金資産である。資本抛出及び繰延税金資産の合計額は普通株式等Tier 1資本の15%を超えてはならない。当行グループの保険会社への資本抛出及び繰延税金資産は閾値を超えていないため、これらの資本抛出及び繰延税金資産は、普通株式等Tier 1資本から減額されない。キャッシュフロー・ヘッジの資本への影響に関しては、中立的調整が行われる。また、価格調整の計算が義務付けられるが、公正価値で計上される金融商品についても必要に応じて慎重に評価される。内部格付に基づくモデルの使用を許可されている金融機関は、IRB手法に基づく予想信用損失が、計上された信用損失引当金を超えた場合、その差額を控除しなければならない。また、年金資産について純額で認識した余剰価値についても控除しなければならない。但し、当該控除は、ハンデルスバンケンの年金基金から年金費用を補填する当行の権利に相当する金額を減額することができる。さらに、マーケット・メーカーとして許可された自社株の保有についても、控除しなければならない。当該控除は許可される範囲で最も高い市場価格に相当するものでなければならない。最後に、証券化に対する投資額についても控除が行われ、デリバティブ商品における自己の信用リスクの変動による影響についても調整が行われ、また、不良債権のカバーが不十分な場合にも控除が行われる。

その他Tier 1資本

その他Tier 1資本は、その他Tier 1資本に関する要件を満たす資本調達手段で構成されている。この資本は永久債であり、最低でも5年後に、監督当局の許可を得た場合のみ償還可能なものに限られる。また、普通株式等Tier 1資本が所定の水準に達した場合に、普通株式等Tier 1資本を創出するために額面価値を減額するか、株式に転換すること、また無条件に利払いを停止することが可能でなければならない。

当行のその他Tier 1資本調達手段の合計額は、11.0十億スウェーデン・クローネであり、2020年に発行され、これらはCRR要件を満たしている。分配可能な資金がない場合は、その他Tier 1資本調達手段のクーポンの支払は一時停止されなければならない。

Tier 2資本

Tier 2資本は、償還期限まで5年以上の期間を有する劣後ローンにより構成されている。

所要自己資本

信用リスク

信用リスクに関する所要自己資本は、CRRに従い、標準的手法及びIRB手法に基づいて計算される。IRB手法には、自行推計のPDは用いるが自行推計によるLGD及び掛目（以下、「CCF」という。）を用いないIRB手法(基礎的手法)と、自行推計のPD、LGD及びCCFを用いるIRB手法(先進的手法)の二つの異なる手法がある。

ハンデルスバンケンは、金融機関向けエクスポージャー、ソブリン・エクスポージャー並びに特定の商品及び担保の種類に対する法人エクスポージャーに加え、子会社であるスタッドフィポテックAB及びHandelsbanken Finans ABの特定のエクスポージャーに対し、基礎的IRB手法を使用している。

先進的IRB手法は、大企業、中規模企業、不動産企業及び住宅共同組合に対する大部分のエクスポージャーに加え、スタッドフィポテックAB及びHandelsbanken Finans ABのエクスポージャーの大部分に対して適用されている。また、スウェーデン、ノルウェー及びフィンランドのリテール・エクスポージャーのほか、子会社であるスタッドフィポテックAB及びHandelsbanken Finans ABのリテール・エクスポージャーにも同様に適用されている。IRB手法による株式エクスポージャーの所要自己資本は、簡便なリスク加重手法に基づいて算出されている。

ハンデルスバンケンの子会社であるハンデルスバンケン・ピーエルシーのすべてのエクスポージャーに関する信用リスクは、標準的手法を用いて単体及び連結レベルで算定されている。

当年度末現在、IRB手法は信用リスクに対するリスク加重エクスポージャー額合計の75(74)%に適用された。残りの信用リスク・エクスポージャーの所要自己資本は標準的手法を用いて算定されている。

当年度において、IRB手法の使用が認められたエクスポージャーの平均リスク加重は上昇して 11.9(9.7)%となった。第一の柱に基づくスウェーデンとノルウェーの住宅ローンに係るリスク加重フロアを含む、平均リスク加重は19.1(17.7)%となっている。

信用の質は良好である。ハンデルスバンケンの法人エクスポージャーのうち、96.9(96.9)%は返済能力が正常又は正常より良い(すなわち、当行の10段階のリスク格付けで1から5の間の格付け)と査定された顧客向けである。

市場リスク

市場リスクに関する所要自己資本は、連結ベースで計算される。但し、金利リスク及び株価リスクに関する所要自己資本は、トレーディング勘定ポジションについてのみ計算されている。市場リスクに関する所要自己資本の計算では、標準的手法が用いられる。

オペレーショナル・リスク

ハンデルスバンケンは、オペレーショナル・リスクに係る所要自己資本の計算に標準的手法を使用している。所要自己資本は、標準的手法に従って、規則で定められた係数を直近3事業年度の平均営業収益に乗じて計算される。異なる事業セグメントにおいては、異なる係数が適用される。

2024年度末現在、連結ベースのオペレーショナル・リスクに係る所要自己資本合計は6,841(6,017)百万スウェーデン・クローネであった。

金融コングロマリットに関する自己資本比率

金融コングロマリットの一部である金融機関及び保険会社は、金融コングロマリットの所要自己資本に関して適切な自己資本を有していなければならない。金融コングロマリットの自己資本及び所要自己資本は、引去合算法（指令2002/87/EC、付属文書1、手法2）に従って算出されている。金融コングロマリットの自己資本合計は、金融コングロマリットの所要自己資本を上回っている。

適格債務の最低要件 (MREL)

銀行再建・破綻処理指令(BRRD)(2014/59/EU)が、破綻処理法(2015:1016)としてスウェーデンで国内法制化された。これらの規制には銀行危機への対応措置が定められており、当局は、既定の枠組み内に基づき銀行の全体又は一部を、清算又は破綻させずに再編・売却することが可能となる。この対応措置に加え、本規制では危機に直面した銀行の資本増強を図るために、一部の負債性金融商品の評価減を認めている。

本規制により、減損が可能な債務に関する最低要件(MREL)が2018年1月1日から導入された。この最低要件は、スウェーデン国家債務局及びスウェーデン金融監督庁により策定された当行の破綻処理計画に定められている。本要件は、損失吸収額及び資本増強額から構成される。

MRELは、リスク加重エクスポージャーに対する比率とエクスポージャー総額である非リスク加重エクスポージャー(レバレッジ比率)に対する比率の2つの比率で表される。結合バッファー要件は普通株式等Tier 1資本(MRELに使用される普通株式等Tier 1資本を含まない)で満たさなければならず、強制劣後要件も導入される。劣後要件に対応する形で、2018年12月に新しいクラスの負債性金融商品がスウェーデンの法律に追加された。このクラスは、既存のシニア負債性金融商品に劣後するが、破綻処理手続の一部として自己資本に優先する。ハンデルスバンケンはこのクラスの劣後負債性金融商品を2019年から発行している。新しい要件は2024年1月1日から段階的に本格導入された。

2025年のハンデルスバンケンのMREL最低要件は、連結レベルでリスク加重エクスポージャーに対する比率は26.8%、非リスク加重エクスポージャーに対する比率は6.0%であり、劣後要件に関してはそれぞれ19.7%と6.0%である。ハンデルスバンケンはMREL最低要件をすべて満たしている。

[次へ](#)

EU LI3 連結範囲の相違の概要（企業別）

下表は、期末現在の連結対象企業の連結範囲の概要を示している。

2024年	企業識別番号	所有持分 (%)	会計上の 連結方法	規制上の連結方法					業態
				全部連結	比例連結	持分法	連結も除外も されていない	除外	
スヴェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ ビー・プブリクト	502007-7862	該当なし	親会社	該当なし					金融機関
Handelsbanken Finans AB (publ)	556053-0841	100	全部連結	x					金融機関
スタッドフィポテック・エイ・ビー・プブリクト	556459-6715	100	全部連結	x					金融機関
Svenska Intecknings Garanti AB Sigab (休眠会社)	556432-7285	100	全部連結	x					非金融会社
Handelsbanken Fonder AB	556418-8851	100	全部連結	x					その他金融会社
AB Handel och Industri	556013-5336	100	全部連結	x					非金融会社
Ecster AB (publ)	556993-2311	100	全部連結	x					金融機関
Handelsbanken plc	11305395	100	全部連結	x					金融機関
Handelsbanken Wealth and Asset Management Limited	04132340	100	全部連結	x					その他金融会社
Handelsbanken Nominees Limited (休眠会社)	2299877	100	全部連結	x					非金融会社
Handelsbanken Second Nominees Limited (休眠x会社)	3193458	100	全部連結	x					非金融会社
Handelsbanken ACD Limited	4332528	100	全部連結	x					非金融会社
Svenska Property Nominees Limited (休眠会社)	2308524	100	全部連結	x					非金融会社
Optimix Vermogensbeheer N.V.	33194359	100	全部連結	x					その他金融会社
Add Value Fund Management B.V.	19196768	80	全部連結	x					その他金融会社
Optimix Beheer en Belegging B.V. (休眠会社)	33186584	100	全部連結	x					非金融会社
Handelsbanken Markets Securities, Inc.	11-3257438	100	全部連結	x					その他金融会社
Handelsbanken Rahoitus Oy	0112308-8	100	全部連結	x					その他金融会社
Handelsbanken Fastigheter AB	556873-0021	100	全部連結	x					非金融会社
Rådstuplass 4 AS	910508423	100	全部連結	x					非金融会社
Handelsbanken Ventures AB	556993-9357	100	全部連結	x					非金融会社

Bidtruster AB	556993-9084	100	全部連結	x		非金融会社
Bankomat AB	556817-9716	20	持分法		x	非金融会社
BGC Holding AB	556607-0933	25.54	持分法		x	非金融会社
Finansiell ID-teknik BID AB	556630-4928	28.3	持分法		x	非金融会社
USE Intressenter AB	559161-9464	24.48	持分法		x	非金融会社
Getswish AB	556913-7382	20	持分法		x	非金融会社
P27 Nordic Payments Platform AB	559198-9610	20.84	持分法		x	非金融会社
Invidem AB	559210-0779	16.7	持分法		x	非金融会社
Tibern AB	559384-3542	14.3	持分法		x	非金融会社
ハンデルスバンケン・リヴ・フォルセクリングス・ エイ・ビー(Handelsbanken Fastigheter ABを除く 当行グループ)	516401-8284	100	全部連結		x	保険会社
Svenska Re S.A.	RCS Lux B-32053	100	全部連結		x	保険会社
Handelsbanken Skadeförsäkrings AB	516401-6767	100	全部連結		x	保険会社
SHB Liv Försäkringsaktiebolag	2478149-7	100	全部連結		x	保険会社
Svenska RKA International Insurance Services AB(休眠会社)	556324-2964	100	全部連結		x	保険会社
Dyson Group plc	00163096	27	持分法		x	非金融会社
Dyson Industries Ltd	1187031	100			x	非金融会社
Beepart Ltd	177682	100			x	非金融会社
Pickford Holland & Company Ltd	128414	100			x	非金融会社
EFN Ekonomikanalen AB	556930-1608	100	全部連結		x	非金融会社

注：以下の企業は連結されていない。ハンデルスバンケン・リヴ・フォルセクリングス・エイ・ビー、SHB Liv Försäkringsaktiebolag、Svenska RKA International Insurance Services AB、Handelsbanken Skadeförsäkrings AB、EFN Ekonomikanalen AB、Svenska Re S.A.、Dyson Group plc、Dyson Industries Ltd、Beepart Ltd、Pickford Holland & Company Ltd.

[次へ](#)

EU LI2 規制上のエクスポージャー額と財務諸表上の簿価との主な差額の内訳

下表は、規制上の連結範囲に含まれる帳簿価額と規制上考慮されるエクスポージャーとの差額を示したものである。

規制上のエクスポージャー額と財務諸表上の簿価との主な 差額の内訳2024年		対象項目				
		合計	信用リスクの 枠組み	証券化の 枠組み	CCRの枠組み	市場リスクの 枠組み
百万スウェーデン・クローネ						
1	規制上の連結による資産の帳簿価額（表EU LI1）	3,279,370	3,085,357	117,764	337	75,912
2	規制上の連結による負債の帳簿価額（表EU LI1）	16,837				16,837
3	規制上の連結範囲による純額合計	3,262,533	3,085,357	117,764	337	59,075
4	オフバランスシートの金額	480,832	480,832			
5	バリュエーションによる差額					
6	ネットィングルールの相違による差額(2行目に含まれているものを 除く)	-41,351		-4,787		-36,564
7	引当金の考慮による差額	1,155	1,155			
8	信用リスク削減手法(CRM)による差額	-24,954	42,145	-67,099		
9	掛目による差額	-296,793	-296,793			
10	リスク移転を伴う証券化による差額					
11	その他の差額	-12,827		-12,827		
12	規制上考慮されるエクスポージャー額	3,368,595	3,312,696	33,051	337	22,511

EU INS2 金融コングロマリットの自己資本及び自己資本比率に関する情報

百万スウェーデン・クローネ		2024年	2023年
1	金融コングロマリットの補完的自己資本（金額）	12,482	11,559
2	金融コングロマリットの自己資本比率(%)	127.0	128.7

EU KM1 - 主要指標

主要指標、2024年		2024年	2023年
利用可能な自己資本（金額）			
1	普通株式等Tier 1(CET1)資本	155,345	157,576
2	Tier 1資本	166,296	172,603
3	資本合計	193,191	200,081
リスク加重エクスポージャー額			
4	リスク加重エクスポージャー合計額	825,457	836,790
自己資本比率(リスク加重エクスポージャー額に対する割合)			
5	普通株式等Tier 1資本比率(%)	18.8	18.8
6	Tier 1資本比率(%)	20.2	20.6
7	総自己資本比率(%)	23.4	23.9
過大レバレッジリスク以外のリスクに対処するための追加所要自己資本 (リスク加重エクスポージャー額に対する割合)			
EU7a	過大レバレッジリスク以外のリスクに対処するための追加所要自己資本(%)	1.8	2.0
EU7b	うち、CET1 資本の割合(パーセンテージ・ポイント)	1.2	1.3
EU7c	うち、Tier 1資本の割合(パーセンテージ・ポイント)	1.4	1.5
EU7d	SREPに基づく総所要自己資本比率(%)	9.8	10.0
結合バッファー要件(リスク加重エクスポージャー額に対する割合)			
8	資本保全バッファー(%)	2.5	2.5
EU8a	加盟国単位で特定されたマクロ・プルーデンスのリスク又はシステミック・リスクに対する保全バッファー(%)		
9	金融機関固有のカウンターシクリカル資本バッファー(%)	2.0	1.9
EU9a	システミック・リスク・バッファー(%)	3.2	3.2
10	グローバルにシステム上重要な金融機関バッファー(%)		
EU10a	その他の金融システム上重要な金融機関バッファー(%)	1.0	1.0
11	結合バッファー要件(%)	8.7	8.6

EU11a	総所要自己資本比率(%)	18.5	18.6
12	SREPに基づく総所要自己資本充足後の利用可能なCET 1 (%)	13.1	13.1
レバレッジ比率			
13	総エクスポージャーの額	3,368,806	3,390,498
14	レバレッジ比率(%)	4.9	5.1
過大レバレッジに対処するための追加所要自己資本（エクスポージャー合計額に対する割合）			
EU14a	過大レバレッジリスクに対処するための追加所要自己資本(%)		
EU14b	うち、 <i>CET 1</i> 資本の割合(パーセンテージ・ポイント)		
EU14c	SREPに基づくレバレッジ比率要件合計(%)	3.0	3.0
EU14d	レバレッジ比率バッファー要件(%)		
EU14e	レバレッジ比率要件合計(%)	3.0	3.0
流動性カバレッジ比率			
15	高品質な流動資産(HQLA)合計(加重平均)	962,211	895,982
EU16a	資金流出額(加重後合計)	603,635	617,192
EU16b	資金流入額(加重後合計)	75,835	88,942
16	純資金流出額合計(調整額)	527,801	528,250
17	流動性カバレッジ比率(%)	183.4	172
安定調達比率			
18	利用可能な安定調達資金合計	2,143,849	2,101,503
19	所要安定調達額合計	1,734,333	1,758,065
20	NSFR(%)	123.6	120

EU 0V1ーリスク加重エクスポージャー合計額の概要

下表は、2024年度末及び前年度末における信用リスク、カウンターパーティリスク、市場リスク及びオペレーショナル・リスクのリスク加重エクスポージャー額（RWA）を表したものである。信用リスクは、標準的手法、基礎的IRB手法、先進的IRB手法により算出される。市場リスク及びオペレーショナル・リスクは標準的手法により算出される。

		リスク加重エクスポージャー合計額（TREA）		最低所要自己資本 合計
百万スウェーデン・クローネ		2024年	2023年	2024年
1	信用リスク（カウンターパーティ信用リスク(CCR)を除く）	706,444	726,276	56,516
2	うち、標準的手法	196,867	183,549	15,749
3	うち、基礎的IRB手法(F-IRB)	51,667	53,702	4,133
4	うち、スロットティング方式			
EU4a	うち、簡便なリスク加重手法に基づく株式	2,922	2,240	234
5	うち、先進的IRB手法(A-IRB)	234,160	278,625	18,734
5a	うち、リスク加重フロア	220,828	208,160	17,666
6	カウンターパーティ信用リスク	10,985	11,827	879
7	うち、標準的手法	8,194	8,507	656
8	うち、内部モデル方式(IMM)			
EU8a	うち、CCPに対するエクスポージャー	266	268	21
EU8b	うち、信用評価調整 - CVA	2,127	2,463	170
9	うち、他のCCR	398	589	32
10	該当なし			
11	該当なし			
12	該当なし			
13	該当なし			
14	該当なし			
15	決済リスク			
16	非トレーディング勘定の証券化エクスポージャー（上限適用後）			
17	うち、SEC-IRBA手法			
18	うち、SEC-ERBA手法(IAAを含む)			
19	うち、SEC-SA手法			
EU19a	うち、1,250%/控除			
20	ポジション、外国為替、コモディティ・リスク（市場リスク）	22,511	23,471	1,801
21	うち、標準的手法	22,511	23,471	1,801
22	うち、IMA			
23	オペレーショナル・リスク	85,517	75,216	6,841
EU23a	うち、基礎的指標手法			
EU23b	うち、標準的手法	85,517	75,216	6,841
EU23c	うち、先進的計測手法			
24	控除の基準値未満の額（リスクウェイトは250%）			
25	該当なし			
26	該当なし			
27	該当なし			
28	該当なし			
29	合計	825,457	836,790	66,037

標準的手法に基づいた市場リスク

下表は、2024年度末現在の標準的手法に基づいた市場リスクに係る所要自己資本を示したものである。

標準的手法に基づいた市場リスク	所要自己資本	
	2024年	2023年
百万スウェーデン・クローネ		
アウトライト商品		
金利リスク（一般的なリスク及び特定のリスク）	277	243
株価リスク（一般的なリスク及び特定のリスク）	1	3
為替リスク	1,514	1,615
コモディティ・リスク	0	0
オプション		
簡易法		
デルタプラス法		
シナリオ・アプローチ	9	16
証券化（特定のリスク）		
市場リスクに係る所要自己資本合計	1,801	1,878

適格債務の最低要件（MREL）

MRELは、リスク加重エクスポージャー額と非リスク加重エクスポージャー額に対する、自己資本及び適格債務の割合としてそれぞれ表される（SFS2015:1016）。当行の基準は、スウェーデン国債局により毎年決定され、最終的な基準は、2022年1月1日から2024年1月1日までの経過期間中に直線的かつ段階的に導入された。

適格債務の最低要件（MREL）

%	2024年	2023年
リスク加重エクスポージャーに対するMRELの最低要件	27.1	23.8
利用可能自己資本及び適格債務	40.9	39.6
非リスク加重エクスポージャーに対するMRELの最低要件	6.0	5.5
利用可能自己資本及び適格債務	12.1	11.9

劣後適格債務の最低要件（MREL）

%	2024年	2023年
リスク加重エクスポージャーに対する劣後部分の最低要件	20.0	16.8
利用可能自己資本及び劣後適格債務	24.0	22.0
非リスク加重エクスポージャーに対する劣後部分の最低要件	6.0	5.5
利用可能自己資本及び劣後適格債務	8.0	7.6

[次へ](#)

(2) 個別財務書類

損益計算書（親会社）

	注記	2024年		2023年	
		(百万スウェーデン・クローネ)	(百万円)	(百万スウェーデン・クローネ)	(百万円)
利息収益	P3	125,879	1,894,479	121,993	1,835,995
リース収益	P3	1,650	24,833	1,739	26,172
利息費用	P3	-102,112	-1,536,786	-97,786	-1,471,679
受取配当金	P4	21,673	326,179	15,957	240,153
手数料及びコミッション収益	P5	6,208	93,430	5,955	89,623
手数料及びコミッション費用	P5	-1,437	-21,627	-1,382	-20,799
金融取引による純損益	P6	2,880	43,344	1,745	26,262
その他営業収益	P7	3,953	59,493	4,230	63,662
営業収益合計		58,693	883,330	52,452	789,403
一般管理費用					
人件費	P8	-12,865	-193,618	-11,456	-172,413
その他管理費用	P9	-7,745	-116,562	-7,453	-112,168
不動産及び器具備品並びに無形資産の減価償却費、償却費及び減損費用	P21、P22	-2,258	-33,983	-2,334	-35,127
信用損失控除前費用合計		-22,867	-344,148	-21,243	-319,707
信用損失及び規制関連費用控除前利益		35,825	539,166	31,208	469,680
正味信用損失	P10	446	6,712	58	873
非流動金融資産の減損損失		-2,163	-32,553	-1,524	-22,936
規制関連費用	P11	-1,655	-24,908	-1,633	-24,577
営業利益		32,454	488,433	28,110	423,056
繰入	P12	336	5,057		
税引前利益		32,790	493,490	28,110	423,056
法人税等	P29	-5,131	-77,222	-5,747	-86,492
当期利益		27,659	416,268	22,363	336,563

包括利益計算書（親会社）

	2024年		2023年	
	(百万スウェーデン・クローネ)	(百万円)	(百万スウェーデン・クローネ)	(百万円)
当期利益	27,659	416,268	22,363	336,563
その他包括利益				
損益計算書に組み替えられない項目				
その他包括利益を通じて公正価値で測定される資本性金融商品	198	2,980	63	948
損益計算書に組み替えられない項目に係る税金	-39	-587	-11	-166
うち、その他包括利益を通じて公正価値で測定される資本性金融商品	-39	-587	-11	-166
損益計算書に組み替えられない項目合計	159	2,393	52	783
その後に損益計算書に組み替えられる可能性のある項目				
キャッシュフロー・ヘッジ	-767	-11,543	-1,571	-23,644
その他包括利益を通じて公正価値で測定される負債性金融商品	6	90	25	376
当期為替換算差額	-219	-3,296	-1,289	-19,399
うち、在外営業活動体における純資産のヘッジ	0	0	5	75
その後に損益計算書に組み替えられる可能性のある項目に係る税金	88	1,324	522	7,856
うち、キャッシュフロー・ヘッジ	158	2,378	324	4,876
うち、その他包括利益を通じて公正価値で測定される負債性金融商品	-1	-15	-5	-75
うち、在外営業活動体における純資産のヘッジ	0	0	-1	-15
うち、為替換算差額	-69	-1,038	204	3,070
その後に損益計算書に組み替えられる可能性のある項目合計	-892	-13,425	-2,313	-34,811
その他包括利益合計	-733	-11,032	-2,262	-34,043
当期包括利益合計	26,926	405,236	20,100	302,505

当期の損益計算書における分類変更は持分変動計算書に示されている。

貸借対照表（親会社）

	注記	2024年		2023年	
		(百万スウェーデン・クローネ)	(百万円)	(百万スウェーデン・クローネ)	(百万円)
資産					
現金及び中央銀行預け金		404,238	6,083,782	362,536	5,456,167
中央銀行への担保として適格な利付証券	P15	172,606	2,597,720	199,128	2,996,876
金融機関への貸出金	P13	996,917	15,003,601	1,007,992	15,170,280
一般顧客への貸出金	P14	524,171	7,888,774	600,997	9,045,005
ポートフォリオヘッジにおける金利ヘッジ対象の価値変動		-6,399	-96,305	-9,657	-145,338
債券及びその他の利付証券	P15	53,569	806,213	50,791	764,405
株式	P16	8,952	134,728	6,170	92,859
子会社株式及び関連会社並びにジョイント・ベンチャーに対する投資	P17	67,591	1,017,245	68,986	1,038,239
顧客が価値変動リスクを負う資産		2,087	31,409	1,948	29,317
デリバティブ商品	P18	52,686	792,924	39,019	587,236
無形資産	P21	3,023	45,496	3,211	48,326
不動産、器具備品及びリース資産	P22	5,875	88,419	6,673	100,429
当期税金資産					
繰延税金資産	P29	159	2,393	374	5,629
その他資産	P23	18,097	272,360	20,789	312,874
前払費用及び未収金	P24	1,481	22,289	1,386	20,859
資産合計	P36	2,305,053	34,691,048	2,360,344	35,523,177
負債及び資本					
金融機関からの預り金	P25	169,394	2,549,380	176,143	2,650,952
一般顧客からの預金及び借入金	P26	1,050,028	15,802,921	1,109,471	16,697,539
顧客が価値変動リスクを負う負債		2,087	31,409	1,948	29,317
発行済証券等	P27	840,866	12,655,033	806,167	12,132,813
デリバティブ商品	P18	30,312	456,196	46,269	696,348
ショートポジション	P28	1,007	15,155	2,364	35,578
当期税金負債		244	3,672	831	12,507
繰延税金負債	P29	55	828	336	5,057
引当金	P30	423	6,366	624	9,391
その他負債	P31	10,792	162,420	11,374	171,179
未払費用及び繰延収益	P32	2,070	31,154	2,399	36,105
劣後負債	P33	37,054	557,663	43,117	648,911
負債合計	P36	2,144,333	32,272,212	2,201,046	33,125,742
非課税剰余金	P34	531	7,992	867	13,048

株式資本		3,069	46,188	3,069	46,188
資本剰余金		8,758	131,808	8,758	131,808
その他積立金	P35	8,164	122,868	9,063	136,398
利益剰余金		112,540	1,693,727	115,178	1,733,429
当期利益		27,659	416,268	22,363	336,563
資本合計		<u>160,189</u>	<u>2,410,844</u>	<u>158,431</u>	<u>2,384,387</u>
負債及び資本合計		<u>2,305,053</u>	<u>34,691,048</u>	<u>2,360,344</u>	<u>35,523,177</u>

持分変動計算書（親会社）

	制限資本			非制限資本					合計
	株式資本	法定準備金	内部開発ソフトウェア積立金	資本剰余金	ヘッジ準備金 ¹⁾	公正価値評価差額準備金 ¹⁾	為替換算調整準備金 ¹⁾	利益剰余金(当期利益を含む)	
(百万スウェーデン・クローネ)									
2024年期首資本	3,069	2,682	3,140	8,758	2,284	197	761	137,541	158,431
当期利益								27,659	27,659
その他包括利益					-609	164	-288		-733
うち、資本の中で の分類変更						-3	-570		-573
当期包括利益合計					-609	164	-288	27,659	26,926
利益剰余金への振替								573	573
配当金								-25,740	-25,740
内部開発ソフトウェア積立金			-155					155	
2024年期末資本	3,069	2,682	2,984	8,758	1,675	361	473	140,187	160,189

	制限資本			非制限資本					合計
	株式資本	法定準備金	内部開発ソフトウェア積立金	資本剰余金	ヘッジ準備金 ¹⁾	公正価値評価差額準備金 ¹⁾	為替換算調整準備金 ¹⁾	利益剰余金(当期利益を含む)	
(百万スウェーデン・クローネ)									
2023年期首資本	3,069	2,682	3,010	8,758	3,531	126	1,847	130,864	153,887
当期利益								22,363	22,363
その他包括利益					-1,247	71	-1,086		-2,262
うち、資本の中で の分類変更							-284		-284
当期包括利益合計					-1,247	71	-1,086	22,363	20,100
利益剰余金への振替								284	284
配当金								-15,840	-15,840
内部開発ソフトウェア積立金			129					-129	
2023年期末資本	3,069	2,682	3,140	8,758	2,284	197	761	137,541	158,431

1) 公正価値ファンドに含まれている。

持分変動計算書（親会社）（続き）

(百万円)	制限資本			非制限資本					合計
	株式資本	法定準備金	内部開発ソフトウェア積立金	資本剰余金	ヘッジ準備金 ¹⁾	公正価値評価差額準備金 ¹⁾	為替換算調整準備金 ¹⁾	利益剰余金(当期利益を含む)	
2024年期首資本	46,188	40,364	47,257	131,808	34,374	2,965	11,453	2,069,992	2,384,387
当期利益								416,268	416,268
その他包括利益					-9,165	2,468	-4,334		-11,032
うち、資本の中で の分類変更						-45	-8,579		-8,624
当期包括利益合計					-9,165	2,468	-4,334	416,268	405,236
利益剰余金への 振替								8,624	8,624
配当金								-387,387	-387,387
内部開発ソフトウェア積立金			-2,333					2,333	
2024年期末資本	46,188	40,364	44,909	131,808	25,209	5,433	7,119	2,109,814	2,410,844

(百万円)	制限資本			非制限資本					合計
	株式資本	法定準備金	内部開発ソフトウェア積立金	資本剰余金	ヘッジ準備金 ¹⁾	公正価値評価差額準備金 ¹⁾	為替換算調整準備金 ¹⁾	利益剰余金(当期利益を含む)	
2023年期首資本	46,188	40,364	45,301	131,808	53,142	1,896	27,797	1,969,503	2,315,999
当期利益								336,563	336,563
その他包括利益					-18,767	1,069	-16,344		-34,043
うち、資本の中で の分類変更							-4,274		-4,274
当期包括利益合計					-18,767	1,069	-16,344	336,563	302,505
利益剰余金への 振替								4,274	4,274
配当金								-238,392	-238,392
内部開発ソフトウェア積立金			1,941					-1,941	
2023年期末資本	46,188	40,364	47,257	131,808	34,374	2,965	11,453	2,069,992	2,384,387

1) 公正価値ファンドに含まれている。

キャッシュ・フロー計算書（親会社）

	2024年		2023年	
	(百万スウェーデン・クローネ)	(百万円)	(百万スウェーデン・クローネ)	(百万円)
営業活動				
営業利益	32,454	488,433	28,110	423,056
うち、受取利息	125,803	1,893,335	117,862	1,773,823
うち、支払利息	-102,528	-1,543,046	-94,660	-1,424,633
うち、受取配当金	21,673	326,179	15,957	240,153
営業活動から投資活動への調整	2,602	39,160	-335	-5,042
うち、子会社の清算			-335	-5,042
うち、事業及び子会社の売却	2,602	39,160		
営業利益における非現金項目の調整				
信用損失	-427	-6,426	-4	-60
未実現評価差額	-128	-1,926	-588	-8,849
償却費及び減損	4,079	61,389	3,856	58,033
グループ利益分配	-8,945	-134,622	-11,340	-170,667
法人税の支払	-5,627	-84,686	-5,188	-78,079
営業活動による資産及び負債の変動				
金融機関への貸出金	11,074	166,664	17,672	265,964
一般顧客への貸出金	54,020	813,001	29,748	447,707
利付証券及び株式	20,556	309,368	-80,961	-1,218,463
金融機関からの預り金	-6,749	-101,572	6,526	98,216
一般顧客からの預金及び借入金	-44,290	-666,565	-27,800	-418,390
発行済証券	34,699	522,220	154	2,318
デリバティブの正味ポジション	-29,536	-444,517	22,834	343,652
ショートポジション	-1,260	-18,963	209	3,145
投資銀行業務の決済に係る債権及び債務	216	3,251	7,077	106,509
その他	-17,289	-260,199	5,413	81,466
営業活動からのキャッシュ・フロー	45,449	684,007	-4,615	-69,456
投資活動				
事業及び子会社の売却	2,167	32,613		
子会社の清算			336	5,057
関連会社及びジョイント・ベンチャーに係る取得及び拠出	-175	-2,634	-53	-798
株式の売却	6	90		
不動産及び器具備品の取得	-4,365	-65,693	-5,219	-78,546
不動産及び器具備品の処分	3,534	53,187	3,263	49,108
無形資産の取得	-459	-6,908	-682	-10,264

投資活動からのキャッシュ・フロー	707	10,640	-2,355	-35,443
財務活動				
劣後負債の返済	-13,371	-201,234	-8,351	-125,683
劣後負債の発行	5,704	85,845	8,635	129,957
配当金の支払	-25,740	-387,387	-15,840	-238,392
当行グループ会社からの受取配当金	11,338	170,637	16,249	244,547
財務活動からのキャッシュ・フロー	-22,069	-332,138	692	10,415
当期キャッシュ・フロー	24,087	362,509	-6,278	-94,484
期首現金及び現金同等物	362,536	5,456,167	376,010	5,658,951
営業活動からのキャッシュ・フロー	45,449	684,007	-4,615	-69,456
投資活動からのキャッシュ・フロー	707	10,640	-2,355	-35,443
財務活動からのキャッシュ・フロー	-22,069	-332,138	692	10,415
現金及び現金同等物の為替換算差額	17,615	265,106	-7,196	-108,300
期末現金及び現金同等物	404,238	6,083,782	362,536	5,456,167

キャッシュ・フロー計算書は間接法で作成されており、減価償却費/償却費や信用損失等、現金の受払いを伴わない取引について営業利益が調整されていることを意味している。

現金及び現金同等物とは、現金及び中央銀行預け金と定義される。

金融取引における負債の変動

	2024年		2023年	
	(百万スウェーデン・クローネ)	(百万円)	(百万スウェーデン・クローネ)	(百万円)
期首残高	43,117	648,911	42,404	638,180
キャッシュ・フロー	-7,667	-115,388	284	4,274
現金以外の変動（外国為替変動）	1,908	28,715	-770	-11,589
現金以外の変動（為替ヘッジ）	-16	-241	1,153	17,353
現金以外の変動（未払利息）	-287	-4,319	46	692
金融取引における負債合計	37,054	557,663	43,117	648,911

事業及び子会社の売却

	2024年	
	(百万スウェーデン・クローネ)	(百万円)
売却価格		
売却価格総額	4,638	69,802
取得者の債権	-2,471	-37,189
受領額	2,167	32,613

売却した資産及び負債

一般顧客向け貸出金	19,957	300,353
その他資産	5	75
資産合計	19,963	300,443
一般顧客への貸出金	15,170	228,309
その他負債	23	346
負債合計	15,193	228,655
営業活動からのキャッシュ・フロー	-2,602	-39,160

売却代金は全額現金及び現金同等物で受領している。

5年間の概要（親会社）

損益計算書

百万スウェーデン・クローネ	2024年	2023年	2022年	2021年	2020年
純利息収益	25,416	25,946	18,230	13,502	13,456
受取配当金	21,673	15,957	16,953	17,611	15,937
純手数料及びコミッション収益	4,771	4,573	5,167	5,230	5,692
金融取引による純損益	2,880	1,745	820	1,808	1,869
その他営業収益	3,953	4,230	4,841	3,576	2,790
営業収益合計	58,693	52,452	46,011	41,727	39,744
一般管理費用					
人件費	-12,865	-11,456	-11,990	-10,242	-11,689
その他管理費用	-7,745	-7,453	-7,415	-6,002	-5,684
不動産及び器具備品並びに無形資産の減価償却 費、償却費及び減損費用	-2,258	-2,334	-2,459	-2,803	-2,672
信用損失控除前費用合計	-22,867	-21,243	-21,864	-19,047	-20,045
信用損失及び規制関連費用控除前利益	35,825	31,208	24,148	22,680	19,699
正味信用損失	446	58	-41	-55	-477
金融固定資産の減損損失	-2,163	-1,524	-2,305	-1,180	-79
規制関連費用	-1,655	-1,633	-1,331	-366	-385
営業利益	32,454	28,110	20,471	21,079	18,758
繰入	336		-160	227	743
税引前利益	32,790	28,110	20,311	21,306	19,501
法人税等	-5,131	-5,747	-4,856	-4,618	-4,275
当期利益	27,659	22,363	15,455	16,688	15,226
当期配当金	29,700 ¹⁾	25,740	15,840	9,900	16,666

1) 取締役会の処分案によるものである。

包括利益計算書

百万スウェーデン・クローネ	2024年	2023年	2022年	2021年	2020年
当期利益	27,659	22,363	15,455	16,688	15,226
その他包括利益					
損益計算書に組み替えられない項目					
その他包括利益を通じて公正価値で測定される 資本性金融商品	198	63	41	62	-583
損益計算書に組み替えられない項目に係る税金	-39	-11	-19	-3	11
うち、その他包括利益を通じて公正価値で測定される資本性金融商品	-39	-11	-19	-3	11
損益計算書に組み替えられない項目合計	159	52	22	59	-572
その後に損益計算書に組み替えられる可能性のある項目					
キャッシュフロー・ヘッジ	-767	-1,571	3,411	246	-1,677
その他包括利益を通じて公正価値で測定される 負債性金融商品	6	25	-61	6	7
当期為替換算差額	-219	-1,289	1,326	1,034	-2,184
うち、在外営業活動体における純資産の ヘッジ	0	5	-83	-63	-256
その後に損益計算書に組み替えられる可能性の ある項目に係る税金	88	522	-1,251	-39	420
うち、キャッシュフロー・ヘッジ	158	324	-703	-51	365
うち、その他包括利益を通じて公正価値で測定される負債性金融商品	-1	-5	6	-1	-1
うち、在外営業活動体における純資産の ヘッジ	0	-1	17	13	56
うち、為替換算差額	-69	204	-572		
その後に損益計算書に組み替えられる可能性のある項目合計	-892	-2,313	3,425	1,247	-3,434
その他包括利益合計	-733	-2,262	3,447	1,306	-4,006
当期包括利益合計	26,926	20,100	18,902	17,994	11,220

貸借対照表

百万スウェーデン・クローネ	2024年	2023年	2022年	2021年	2020年
資産					
一般顧客への貸出金	517,772	591,340	621,110	609,948	566,158
金融機関への貸出金	996,917	1,007,992	1,025,664	986,897	953,650
利付証券	226,175	249,919	166,117	134,861	145,648
その他資産	564,189	511,092	549,998	498,428	459,407
資産合計	2,305,053	2,360,344	2,362,889	2,230,134	2,124,863

負債及び資本

一般顧客からの預金及び借入金	1,050,028	1,109,471	1,137,272	1,173,172	1,021,130
金融機関からの預り金	169,394	176,143	169,617	153,490	193,054
発行済証券	840,866	806,167	806,013	679,808	657,520
劣後負債	37,054	43,117	42,404	32,257	41,082
その他負債	46,990	66,147	52,829	46,481	68,305
非課税剰余金	531	867	867	706	933
資本	160,189	158,431	153,887	144,220	142,839
負債及び資本合計	2,305,053	2,360,344	2,362,889	2,230,134	2,124,863

主要指標

%	2024年	2023年	2022年	2021年	2020年
CRRによる普通株式等Tier1比率	31.4	29.8	29.4	30.2	31.7
CRRによるTier1比率	34.2	33.4	32.9	33.4	34.6
CRRによる総自己資本比率	41.0	39.9	37.2	37.4	38.8
総資産利益率	1.13	0.90	0.63	0.72	0.65

代替的な業績指標の定義については376ページ（訳注：原文のページ番号である。）を参照のこと。また、これらの指標の計算については、handelsbanken.com/irから入手可能な「ファクト・ブック」を参照のこと。

[次へ](#)

親会社の個別財務書類注記（原文のページ番号）

注記P1	重要性がある会計方針	199
注記P2	リスク及び資本管理	201
注記P3	純利息収益	206
注記P4	受取配当金	206
注記P5	純手数料及びコミッション収益	207
注記P6	金融取引による純損益	207
注記P7	その他営業収益	207
注記P8	人件費	208
注記P9	その他管理費用	209
注記P10	信用損失	210
注記P11	規制関連費用	215
注記P12	繰入	215
注記P13	金融機関への貸出金	215
注記P14	一般顧客への貸出金	216
注記P15	利付証券	216
注記P16	株式	217
注記P17	子会社株式並びに関連会社及びジョイント・ベンチャーに対する投資	217
注記P18	デリバティブ商品	219
注記P19	ヘッジ会計	220
注記P20	金融商品の相殺	223
注記P21	無形資産	224
注記P22	不動産、器具備品及びリース資産	224
注記P23	その他資産	226
注記P24	前払費用及び未収金	226
注記P25	金融機関からの預り金	226
注記P26	一般顧客からの預金及び借入金	227
注記P27	発行済証券	228
注記P28	ショートポジション	228
注記P29	税金	229
注記P30	引当金	230
注記P31	その他負債	230
注記P32	未払費用及び繰延収益	231
注記P33	劣後負債	231

注記P34 非課税剰余金	232
注記P35 持分変動の内訳	232
注記P36 金融資産及び負債の分類	233
注記P37 金融商品の公正価値測定	235
注記P38 担保として差し入れた資産、受け入れた担保及び譲渡金融資産	237
注記P39 偶発債務	238
注記P40 年金債務	238
注記P41 通貨別資産及び負債	240
注記P42 関連当事者に関する開示	241
注記P43 利益処分案	242
注記P44 株式情報	242
注記P45 重要な後発事象	242
注記P46 売却目的で保有する資産及び負債	243
注記P47 自己資本比率	245

注記P1 重要性がある会計方針**準拠表明**

親会社の年次報告書はスウェーデンの信用機関及び証券会社に係る年次報告法（1995年第1559号）、スウェーデン金融監督庁が制定した規定並びに信用機関及び証券会社における年次報告に関する一般指針（FFFS 2008年第25号）に準拠して作成されている。親会社はまたスウェーデンのサステナビリティ及び財務報告審議会によるRFR第2号「事業体に関する会計処理」の勧告と意見書を適用している。スウェーデン金融監督庁の一般的な指針に準拠して、親会社は法定IFRSを採用している。これはEUが採用する国際財務報告基準及びこれら基準の解釈が、国内法及び指令並びに会計と税との間の関連性の枠組みの範囲内で可能な限り適用されていることを意味する。

親会社及び当行グループの会計方針における関連性

親会社の会計方針は、概ね当行グループの会計方針と一致している。以下は当行グループの会計方針と異なっている親会社の会計方針に限定して報告するものである。その他については注記G1の中の会計方針を参照のこと。

表示

親会社は損益計算書及び貸借対照表について信用機関及び証券会社に係る年次報告法並びにスウェーデン金融監督庁の規定に準拠した表示モデルを採用している。これは当行グループの表示モデルと比較して、主に以下の相違があることを意味する。

- ・ 要求払い可能な中央銀行に対する債権は、親会社の貸借対照表において金融機関への貸出金として報告されている。これらは当行グループにおいて中央銀行へのその他の貸出金として報告されている。
- ・ 仲介及び株式取引費用は親会社においてコミッション費用として報告されている。
- ・ 受取配当金は親会社の損益計算書において個別の科目で報告されている。
- ・ 親会社における不動産、器具備品及び無形固定資産を処分する際の損益は、その他収益又は費用に報告されている。
- ・ 非課税剰余金は親会社において個別の貸借対照表項目として計上されている。これらは当行グループにおいて持分資本と税金負債に分割されている。

売却目的で保有する資産及び非継続事業

耐用年数が確定している非流動資産は、スウェーデン年次報告法に基づき、売却目的保有に分類されるまでの期間、その耐用年数にわたって減価償却/償却される。非継続事業からの税引後純利益は親会社の損益計算書において個別に認識されない。また売却目的で保有する資産も売却目的で保有する負債も貸借対照表上個別に表示されない。売却目的で保有する資産及び負債並びに非継続事業に関する開示については、注記P46を参照のこと。

子会社株式並びに関連会社及びジョイント・ベンチャーへの投資

子会社株式並びに関連会社及びジョイント・ベンチャーへの投資は取得原価で測定される。すべての保有について減損の要否を評価するため、各貸借対照表日に減損のテストが実施される。価値が下落している場合、連結された価値まで調整する様に減損が認識される。減損費用は、損益計算書上の金融資産の減損損失として分類される。子会社、関連会社及びジョイント・ベンチャーの株式に対する配当金は収益として損益計算書の受取配当金に計上される。

ヘッジ会計

公正価値ヘッジは、在外子会社の株式に起因する為替リスクに適用される。ヘッジ対象は、各在外子会社の株式への投資額のうち、当初の額面価額である。ヘッジ手段は、投資資金を調達する親会社の借入金である。ヘッジ手段の損益は、子会社への投資のうちヘッジ対象を構成する部分の為替リスクの変動とともに、損益計算書に計上される。

金融保証

保証コミットメントの形式による子会社、関連会社及びジョイント・ベンチャーのための金融保証は、親会社に履行義務が存在し、当該履行義務を清算するための支払いが求められる可能性が高い場合、親会社の貸借対照表に引当金として計上される。

配当金

受取配当金項目は、子会社、関連会社及びジョイント・ベンチャーからの配当金並びにグループ利益分配の受領を含む、親会社が受領したすべての配当金で構成されている。

配当予想は、親会社に配当金額を決定する権利があり、財務報告の公表前に決定されている場合に限り認識される。

退職給付会計

親会社は確定給付制度の会計に関するIAS第19号の規定を適用していない。その代わり、親会社の年金費用は、年金債務保護法の規定及びスウェーデン金融監督庁の規定に準拠した年金数理計算を基に計算される。これは主に、割引率の設定方法及び将来債務の計算に将来の昇給が考慮されていないことに関して差異があることを意味する。正味年金費用認識額は、年金基金からの拠出控除後の年金支給額、年金保険料及び年金基金への分配額の合計として算定される。当期の正味年金費用は、親会社の損益計算書において人件費として報告される。

制度資産の価値が見積り年金債務を超過したことによる超過額は親会社の貸借対照表において資産として認識されない。不足額は負債として認識される。

法人税等

親会社において、非課税剰余金は貸借対照表において個別項目として認識される。非課税剰余金の一部は、繰延税金負債に計上され、残りは資本に計上されている。

注記P2 リスク及び資本管理

ハンデルスバンケン・グループのリスク管理については注記G2に記載されている。親会社のリスクに関する具体的な情報については以下に示されている。

信用エクスポージャー地域別内訳、2024年

百万スウェーデン・クローネ	注記	スウェーデン	ノルウェー	フィンランド	オランダ	その他諸国	合計
貸借対照表項目							
現金及び中央銀行預け金		63,478	4,160	14	203,650	132,936	404,238
金融機関への貸出金	P13	941,967	9,279	45,175	27	470	996,917
一般顧客への貸出金	P14	192,541	174,513	44,267	104,604	8,246	524,171
中央銀行への担保として適格な 利付証券	P15	172,606					172,606
債券及びその他の利付証券	P15	53,569					53,569
デリバティブ商品	P18	52,659				27	52,686
合計		1,476,820	187,952	89,456	308,281	141,678	2,204,187
オフバランスシート項目							
偶発債務	P39	640,350	66,668	5,555	2,970	32,640	748,183
うち、保証等		36,986	9,758	4,408	78	17,121	68,352
うち、コミットメント		603,364	56,910	1,147	2,892	15,520	679,832
合計		640,350	66,668	5,555	2,970	32,640	748,183
貸借対照表項目及びオフバラン スシート項目合計		2,117,170	254,620	95,011	311,250	174,319	2,952,370

信用エクスポージャー地域別内訳、2023年

百万スウェーデン・クローネ	注記	スウェーデン	ノルウェー	フィンランド	オランダ	その他諸国	合計
貸借対照表項目							
現金及び中央銀行預け金		67,895	4,776	10	128,696	161,159	362,536
金融機関への貸出金	P13	916,839	3,889	86,818	24	422	1,007,992
一般顧客への貸出金	P14	224,971	187,290	82,633	97,110	8,993	600,997
中央銀行への担保として適格な 利付証券	P15	199,128					199,128
債券及びその他の利付証券	P15	50,791					50,791
デリバティブ商品	P18	38,870				149	39,019
合計		1,498,494	195,956	169,460	225,830	170,724	2,260,463
オフバランスシート項目							
偶発債務	P39	600,656	65,326	25,629	3,094	28,883	723,588
うち、保証等		38,592	7,412	7,406	100	15,266	68,775
うち、コミットメント		562,065	57,915	18,223	2,995	13,616	654,813
合計		600,656	65,326	25,629	3,094	28,883	723,588

貸借対照表項目及びオフバラン

スシート項目合計	2,099,150	261,282	195,089	228,924	199,606	2,984,051

地域別内訳とはエクスポージャーが計上されている国の内訳をいう。

一般顧客への貸出金セクター別内訳、2024年

百万スウェーデン・クローネ	総額			引当金			純額
	ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ1	ステージ2	ステージ3	
個人	82,332	1,722	844	-5	-9	-280	84,604
住宅協同組合	12,119	2,473	77	-1	-5	-1	14,662
不動産管理	286,035	13,418	720	-19	-29	-78	300,047
製造	25,974	1,517	33	-4	-3	-22	27,495
リテール	20,766	354	77	-6	-6	-67	21,118
ホテル及びレストラン	3,593	97	25	-1	-1	-22	3,691
海運	222	1	0	0	0	0	223
その他運輸及び通信	3,344	109	17	-1	-1	-15	3,453
建設	9,783	1,911	184	-18	-47	-110	11,703
電気、ガス及び水道	6,712	4	11	0	0	-3	6,724
農業、狩猟業及び林業	3,039	78	69	-1	-1	-9	3,175
その他サービス	7,238	428	30	-3	-3	-16	7,674
持株会社、投資会社、保険会社、 ミューチュアル・ファンド等	18,399	83	5	-3	-1	-3	18,480
ソブリン及び地方自治体	8,509	86		0	-1		8,594
その他法人貸付	12,348	158	63	-1	0	-40	12,528
合計	500,413	22,439	2,155	-63	-107	-666	524,171

一般顧客への貸出金セクター別内訳、2023年

百万スウェーデン・クローネ	総額			引当金			純額
	ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ1	ステージ2	ステージ3	
個人	94,920	3,819	1,129	-11	-26	-301	99,530
住宅協同組合	17,585	6,076	2	-3	-19	-1	23,640
不動産管理	292,358	26,999	727	-33	-38	-104	319,909
製造	15,773	3,568	65	-17	-83	-50	19,256
リテール	26,721	558	77	-10	-7	-62	27,277
ホテル及びレストラン	1,647	340	13	-2	-3	-5	1,990
海運	1,264	1	0	0	0	0	1,265
その他運輸及び通信	5,435	132	17	-4	-2	-15	5,563
建設	12,966	3,508	232	-47	-203	-94	16,362
電気、ガス及び水道	12,191	20	3	-2	0	-3	12,209
農業、狩猟業及び林業	3,148	278	7	-2	-3	-3	3,425
その他サービス	13,338	280	112	-6	-4	-84	13,636
持株会社、投資会社、保険会社、 ミューチュアル・ファンド等	18,232	747	10	-5	-3	-3	18,978

ソブリン及び地方自治体	9,219	46		0	0		9,265
その他法人貸付	28,436	236	82	-1	-1	-61	28,691
合計	553,233	46,608	2,476	-143	-392	-786	600,997

信用エクスポージャー、担保別内訳、2024年

百万スウェーデン・ クローネ	注記	住宅用 不動産 ¹⁾	その他の 不動産	ソブリ ン、地方 自治体及 び県域自 治体 ²⁾	自己の債 務の担保 として差 し入れた 保証 ³⁾	金融担保	資産担保	その他の 担保	無担保 ⁴⁾	合計
貸借対照表項目										
現金及び中央銀行預 け金				404,238						404,238
金融機関への貸出金	PI3			220,340					776,577	996,917
一般顧客への貸出金	PI4	150,723	206,065	64,421	4,685	11,802	4,450	5,967	76,058	524,171
中央銀行への担保と して適格な利付 証券	PI5			170,604					2,002	172,606
債券及びその他の利 付証券	PI5			9,845					43,724	53,569
デリバティブ商品	PI8			1,662		19			51,005	52,686
合計		150,723	206,065	871,110	4,685	11,821	4,450	5,967	949,366	2,204,187
オフバランスシート 項目										
偶発債務	P39	81,415	51,074	28,156	5,070	10,274	1,651	6,939	563,605	748,183
うち、保証等		4,591	1,034	5,856	2,482	782	1,360	596	51,651	68,352
うち、コミット メント		76,824	50,040	22,300	2,588	9,492	291	6,343	511,954	679,832
合計		81,415	51,074	28,156	5,070	10,274	1,651	6,939	563,605	748,184
貸借対照表項目及び オフバランスシー ト項目合計		232,138	257,139	899,266	9,755	22,095	6,101	12,906	1,512,971	2,952,370

信用エクスポージャー、担保別内訳、2023年

百万スウェーデン・ クローネ	注記	住宅用 不動産 ¹⁾	その他の 不動産	ソブリ ン、地方 自治体及 び県域自 治体 ²⁾	自己の債 務の担保 として差 し入れた 保証 ³⁾	金融担保	資産担保	その他の 担保	無担保 ⁴⁾	合計
貸借対照表項目										
現金及び中央銀行預 け金				362,536						362,536
金融機関への貸出金	PI3			146,096					861,896	1,007,992
一般顧客への貸出金	PI4	174,762	218,542	68,222	9,705	12,470	4,564	7,034	105,697	600,997
中央銀行への担保と して適格な利付 証券	PI5			197,348	543				1,237	199,128
債券及びその他の利 付証券	PI5			4,542	239				46,010	50,791
デリバティブ商品	PI8			442		43			38,534	39,019
合計		174,762	218,542	779,186	10,487	12,513	4,564	7,034	1,053,374	2,260,463
オフバランスシート 項目										
偶発債務	P39	68,295	47,250	30,099	5,659	12,705	1,529	7,510	550,541	723,588
うち、保証等		4,345	1,187	6,298	2,563	941	1,445	802	51,194	68,775

うち、コミットメント	63,950	46,063	23,801	3,096	11,764	84	6,708	499,347	654,813
合計	68,295	47,250	30,099	5,659	12,705	1,529	7,510	550,541	723,588
貸借対照表項目及び オフバランスシ ート項目合計									
	243,057	265,792	809,285	16,146	25,218	6,093	14,544	1,603,915	2,984,051

- 1) 住宅協同組合のアパートを含む。
- 2) 直接のソブリン・地方自治体エクスポージャー及び政府保証をいう。
- 3) 政府保証は含まない。
- 4) この列は親会社によるグループ子会社への内部貸出及びコミットメントを含む。貸借対照表項目では、この内部貸出は971,615 (969,085)百万スウェーデン・クローネ、オフバランスシート項目は295,867 (272,990)百万スウェーデン・クローネであった。

市場リスク**市場リスク**

百万スウェーデン・クローネ	2024年	2023年 ²⁾
金利リスク	1,303	1,015
為替リスク ¹⁾	11	21
株価リスク	66	40
コモディティ価格リスク	1	0

1) スウェーデン・クローネが $\pm 5\%$ 変動した場合の最悪の結果

2) 2023年の為替リスクは、手法の変更により従来との報告金額と異なっている。

流動性リスク

金融資産及び負債の満期分析、2024年

百万スウェーデン・ クローネ	30日以内	31日から 6ヶ月	6ヶ月から 12ヶ月	1年から 2年	2年から 5年	5年超	満期の 指定なし	合計
現金及び中央銀行預け金	416,820							416,820
中央銀行への担保として適 格な利付証券 ¹⁾	172,606							172,606
債券及びその他の利付 証券 ²⁾	53,569							53,569
金融機関への貸出金	121,107	192,692	101,814	159,244	272,893	218,597		1,066,347
うち、リバース・レポ	12,681							12,681
一般顧客への貸出金	60,252	112,400	77,324	88,920	113,920	216,082		668,898
うち、リバース・レポ	17,995							17,995
その他	12,011						141,541	153,552
うち、株式及び参加 持分	8,952							8,952
うち、未決済取引に係 る債権	3,059							3,059
資産合計	836,364	305,093	179,138	248,163	386,813	434,679	141,541	2,531,791
金融機関からの預り金	57,520	60,930	14,544	9,512	2,782	284	26,955	172,527
うち、レポ								
うち、中央銀行からの 預り金		12,943					247	13,190
一般顧客からの預金及び借 入金	59,735	117,791	5,663	2,047	1,180	80	865,759	1,052,255
うち、レポ								
発行済証券 ³⁾	87,467	347,492	199,811	69,342	131,914	33,924		869,950
うち、カバード・ ボンド								
うち、当初満期が1年未 満の譲渡性預金(CDs)	38,703	150,653	53,589					242,946
うち、当初満期が1年未 満のコマーシャル・ ペーパー(CPs)	48,020	158,976	142,232					349,227
うち、当初満期が1年超 の譲渡性預金(CDs)及 びコマーシャル・ ペーパー(CPs)		2,876	684					3,560
うち、非優先シニア債		918	729	20,937	31,425	32,600		86,609
うち、当初満期が1年超 のシニア債及びその 他の証券	429	32,818	2,327	47,990	99,678	1,120		184,363
劣後負債		849	799	1,647	29,918	11,707		44,920
その他	3,854						203,856	207,710
うち、ショートポジ ション	1,007							1,007
うち、未決済取引に係 る債務	2,847							2,847
負債合計	208,576	527,062	220,818	82,548	165,795	45,995	1,096,570	2,347,363

オフバランスシート項目

金融保証及び未使用のローン・コミットメント	679,832

デリバティブ、2024年

百万スウェーデン・クローネ	30日以内	31日から 6ヶ月	6ヶ月から 12ヶ月	1年から 2年	2年から 5年	5年超		合計
デリバティブに係る現金流入合計	235,249	494,452	123,672	182,922	317,801	95,749		1,449,845
デリバティブに係る現金流出合計	232,889	482,784	123,544	177,014	310,440	90,447		1,417,118
純額	2,360	11,668	128	5,908	7,361	5,302		32,727

金融資産及び負債の満期分析、2023年

百万スウェーデン・ クローネ	30日以内	31日から 6ヶ月	6ヶ月から 12ヶ月	1年から 2年	2年から 5年	5年超	満期の 指定なし	合計
現金及び中央銀行預け金	393,647							393,647
中央銀行への担保として適 格な利付証券 ¹⁾	199,274							199,274
債券及びその他の利付 証券 ²⁾	51,139							51,139
金融機関への貸出金	133,126	146,061	109,699	180,809	289,090	200,645		1,059,430
うち、リバース・レポ	12,814							12,814
一般顧客への貸出金	84,139	120,676	101,812	86,585	130,577	135,960		659,749
うち、リバース・レポ	17,404							17,404
その他	11,687						127,213	138,900
うち、株式及び参加 持分	6,170							6,170
うち、未決済取引に係 る債権	5,517							5,517
資産合計	873,011	266,737	211,511	267,394	419,668	336,605	127,213	2,502,138
金融機関からの預り金	61,503	61,039	15,566	18,034	1,100	845	23,169	181,256
うち、レポ								
うち、中央銀行からの 預り金	11,741	20,288					0	32,030
一般顧客からの預金及び借 入金	49,223	154,131	34,483	5,224	1,813	49	872,513	1,117,435
うち、レポ								
発行済証券 ³⁾	67,987	355,316	188,573	34,198	150,702	35,090		831,866
うち、カバード・ ボンド								
うち、当初満期が1年未 満の譲渡性預金(CDs)	22,677	97,987	43,918					164,582
うち、当初満期が1年未 満のコマーシャル・ ペーパー(CPs)	45,106	212,756	128,562					386,423
うち、当初満期が1年超 の譲渡性預金(CDs)及 びコマーシャル・ ペーパー(CPs)	99	17,960	12,857					30,916
うち、非優先シニア債		557	414	970	35,826	24,236		62,003
うち、当初満期が1年超 のシニア債及びその 他の証券	105	26,056	2,823	33,228	114,876	10,855		187,942
劣後負債		14,022	565	1,353	20,192	14,367		50,499
その他	7,456						217,991	225,447
うち、ショートポジ ション	2,366							2,366
うち、未決済取引に係 る債務	5,090							5,090
負債合計	186,169	584,507	239,187	58,809	173,808	50,352	1,113,673	2,406,504

オフバランスシート項目

金融保証及び未使用のロー

ン・コミットメント 654,813

デリバティブ、2023年

百万スウェーデン・ クローネ	30日以内	31日から 6ヶ月	6ヶ月から 12ヶ月	1年から 2年	2年から 5年	5年超	合計
デリバティブに係る現金流 入合計	131,607	475,360	139,129	113,350	325,912	115,717	1,301,075
デリバティブに係る現金流 出合計	132,193	478,909	142,440	111,676	317,825	109,313	1,292,356
純額	-586	-3,549	-3,311	1,674	8,087	6,404	8,719

1) この金額（利息を除く）のうち、138,235(169,372)百万スウェーデン・クローネは、残存満期が1年未満である。

2) この金額（利息を除く）のうち、6,865(3,334)百万スウェーデン・クローネは、残存満期が1年未満である。

3) この金額（利息を除く）のうち、621,170(600,589)百万スウェーデン・クローネは、残存満期が1年未満である。

「満期の指定なし」の欄の預金は、要求払預金を意味する。

この表には利息キャッシュ・フローが含まれているため、この表の貸借対照表項目の金額は親会社の貸借対照表上の金額と一致していない。

注記P3 純利息収益

百万スウェーデン・クローネ	2024年	2023年
利息収益		
金融機関及び中央銀行への貸出金	63,520	53,689
一般顧客への貸出金	30,160	29,289
中央銀行への担保として適格な利付証券	8,491	8,110
債券及びその他の利付証券	2,362	2,076
デリバティブ商品	23,545	32,227
その他利息収益	350	843
合計	128,428	126,235
金融取引による純損益に計上された利息収益の控除	-2,550	-4,242
利息収益合計	125,879	121,993
うち、実効金利法による利息収益及びヘッジ会計デリバティブに係る利息収益	105,951	96,383
リース収益	1,650	1,739
利息費用		
金融機関及び中央銀行からの預り金	-7,030	-7,233
一般顧客からの預金及び借入金	-39,102	-34,262
発行済証券	-37,968	-34,978
デリバティブ商品	-19,019	-22,409
劣後負債	-1,611	-1,618
預金保証料	-245	-256
その他利息費用	-728	-683
合計	-105,703	-101,440
金融取引による純損益に計上された利息費用の控除	3,591	3,654
利息費用合計	-102,112	-97,786
うち、実効金利法による利息費用及びヘッジ会計デリバティブに係る利息費用	-93,705	-85,787
純利息収益	25,416	25,946
ファイナンス・リースの予定減価償却費 ¹⁾	-1,330	-1,471
純利息収益合計（ファイナンス・リースの予定減価償却費を含む）	24,085	24,475

1) 不動産及び器具備品並びに無形資産の減価償却費、償却費及び減損費用に計上している。

デリバティブ商品の行には、ヘッジ対象の資産及び負債に関連した純利息収益が含まれている。これらは利息収益及び費用に正負双方の影響を及ぼす可能性がある。

注記P4 受取配当金

百万スウェーデン・クローネ	2024年	2023年
配当金	184	41
関連会社からの配当金		8
グループ会社からの配当金 ¹⁾	12,544	4,568
グループ利益分配受領額	8,945	11,340
合計	21,673	15,957

1) うち、1,261(1,142)百万スウェーデン・クローネは、スタッドフィポテックが資本性金融商品に分類したTier1資本ローンに係る配当である。

注記P5 純手数料及びコミッション収益

百万スウェーデン・クローネ	2024年	2023年
仲介及びその他証券コミッション	436	421
ミューチュアル・ファンド	125	109
カストディ及びその他資産管理手数料	1,060	905
アドバイザーサービス	152	180
決済	2,813	2,686
貸出金及び預金	785	846
保証	191	202
その他手数料及びコミッション収益	646	606
手数料及びコミッション収益合計	6,208	5,955
証券	-227	-227
決済	-1,074	-1,042
その他手数料及びコミッション費用	-136	-113
手数料及びコミッション費用合計	-1,437	-1,382
純手数料及びコミッション収益	4,771	4,573

手数料及びコミッション収益は顧客との契約から生じる収益である。仲介及びその他証券コミッション、アドバイザーサービス、決済、貸出金及び預金から生じる収益は通常、サービスの提供時となる特定の時点で認識される。ミューチュアル・ファンド、カストディ及びその他の資産管理手数料、保険及び保証から生じる収益は通常、サービスの提供時となるサービス提供期間にわたり定額法で認識される。

注記P6 金融取引による純損益

百万スウェーデン・クローネ	2024年	2023年
償却原価で計上される金融商品	30	-66
うち、貸出金	30	-66
うち、利付証券		0
その他包括利益を通じて公正価値で計上	0	-1
うち、利付証券 - 予想信用損失	0	0

うち、利付証券 - その他包括利益からの分類変更	0	-1
純損益を通じて公正価値で計上、公正価値オプション	-112	670
うち、利付証券	-112	670
純損益を通じて公正価値で計上(強制)(外貨換算影響額を含む)	3,013	1,065
ヘッジ会計	-51	77
うち、公正価値ヘッジに係る純損益	-56	-7
うち、キャッシュフロー・ヘッジの非有効部分	5	84
合計	2,880	1,745

注記P7 その他営業収益

百万スウェーデン・クローネ	2024年	2023年
賃料収入	8	7
その他営業収益 ¹⁾	3,945	4,223
合計	3,953	4,230

- 1) 2024年度に、スウェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビーがフィンランドにおける中小企業向け事業をOma Sparbank Abpに売却したことにより、その他営業収益に96百万スウェーデン・クローネの影響が生じた。さらに、過年度に帰属する付加価値税の還付が2024年度に計上されたことにより、その他営業収益に52百万スウェーデン・クローネの影響が生じた。2023年度にHandelsbanken fondbolagsförvaltning ABが清算されたことにより、2023年度のその他営業収益に335百万スウェーデン・クローネの影響が生じた。2023年度にはまた、カード決済処理事業の売却に伴う付加価値税の還付により、その他営業収益に141百万スウェーデン・クローネの影響が生じた。本項目には各年度中に親会社の子会社に販売したサービスの対価が含まれる。

注記P8 人件費

百万スウェーデン・クローネ	2024年	2023年
給与及び報酬	-7,940	-7,115
社会保障費	-2,113	-1,914
年金費用 ¹⁾	-2,267	-1,824
利益分配制度に対する準備金	-96	-83
その他人件費	-449	-520
合計	-12,865	-11,456

1) 年金費用に関する情報については、注記P40に示されている。

給与及び報酬

百万スウェーデン・クローネ	2024年	2023年
執行役員 ¹⁾ 、19(24)名	-85	-109
その他	-7,855	-7,006
合計	-7,940	-7,115

1) 取締役を含む執行役員

男女別分布

%	2024年		2023年	
	男性	女性	男性	女性
取締役	54	46	46	54
取締役を除く執行役員	56	44	53	47

平均従業員数

	2024年			2023年		
	合計	男性	女性	合計	男性	女性
スウェーデン	7,132	3,468	3,664	6,899	3,330	3,569
ノルウェー	1,056	557	499	888	460	428
フィンランド	472	217	255	525	246	279
オランダ	422	262	160	380	237	143
米国	50	29	21	50	29	21
ルクセンブルグ	53	29	24	51	27	24
ポーランド	14	3	11	16	4	12
その他諸国	2	0	2	4	1	3
合計	9,201	4,565	4,636	8,813	4,334	4,479

親会社の執行役員に対する報酬の原則に関する情報については、注記G8に示されている。

注記P9 その他管理費用

百万スウェーデン・クローネ	2024年	2023年
不動産及び建物設備	-1,359	-1,311
IT関連費用	-3,435	-3,383
通信費	-209	-215
旅費及びマーケティング費用	-222	-209
購入したサービス	-1,628	-1,776
備品費	-126	-157
その他費用 ¹⁾	-766	-402
合計	-7,745	-7,453

うち、オペレーティング・リースに係る費用

固定リース料及び指標に基づくリース料	-1,107	-1,048
変動リース料	-109	-100
合計	-1,216	-1,148

1) 2024年度に、スヴェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビーがフィンランドにおける個人顧客向け事業及び生命保険事業をS-Banken Abpに売却したことにより、その他費用に-227百万スウェーデン・クローネの影響が生じた。

オペレーティング・リースは主として、事務所及び事務所設備の賃借に関する標準的な契約によるものである。事務所賃借料には、通常、インフレ率と固定資産税に関連した変動リース料が含まれている。

解約不能オペレーティング・リース契約における将来のリース料、支払期限別

百万スウェーデン・クローネ	2024年	2023年
1年以内	-871	-961
1年から5年	-2,656	-2,873
5年超	-2,868	-3,188
合計	-6,395	-7,022

監査人及び監査法人に対する報酬¹⁾

百万スウェーデン・クローネ	プライスウォーター ハウスコーパス・エイ・ビー		デロイト・エイ・ビー	
	2024年	2023年	2024年	2023年
監査業務	-10	-11	-7	-7
当該監査業務以外の監査上の業務	-1	-1	-2	-2
税務アドバイス				
その他サービス	-2	-1		

1) 上表の金額に付加価値税は含まれていない。

注記P10 信用損失

百万スウェーデン・クローネ	2024年	2023年
貸借対照表項目に係る予想信用損失		

ステージ3に分類された貸出金に対する当年度の引当金	-215	-278
ステージ3に分類された貸出金に対する引当金の過年度からの戻入	141	237
ステージ3に分類された貸出金に対する予想信用損失合計	-74	-41
ステージ2に分類された貸出金に対する当年度の引当金純額	272	23
ステージ1に分類された貸出金に対する当年度の引当金純額	82	63
ステージ1及び2に分類された貸出金に対する予想信用損失合計	354	86
貸借対照表項目に係る予想信用損失合計	280	45
オフバランスシート項目に係る予想信用損失		
ステージ3に分類されたオフバランスシート項目に対する当年度の引当金純額	16	39
ステージ2に分類されたオフバランスシート項目に対する当年度の引当金純額	114	-47
ステージ1に分類されたオフバランスシート項目に対する当年度の引当金純額	34	-4
オフバランスシート項目に係る予想信用損失合計	164	-13
償却		
当年度の実際の信用損失 ¹⁾	-173	-184
ステージ3に分類された貸出金に対する従前の引当金の取崩	156	155
償却合計	-17	-29
回収	19	55
信用損失（純額）	446	58
うち、一般顧客への貸出金	284	71

1) 当年度の実際の信用損失のうち、33(44)百万スウェーデン・クローネが強制執行の対象となる。

減損テスト対象の貸借対照表項目及びオフバランスシート項目、2024年

	総額			引当金		
			ステージ			
百万スウェーデン・クローネ	ステージ1	ステージ2	3 ¹⁾	ステージ1	ステージ2	ステージ3
貸借対照表項目						
現金及び中央銀行預け金	404,231					
中央銀行への担保として適格な利付証券						
金融機関への貸出金	996,521	55		-1	-3	
一般顧客への貸出金	500,413	22,439	2,155	-63	-106	-666
債券及びその他の利付証券	13,259			-2		
合計	1,914,424	22,494	2,155	-66	-109	-666
オフバランスシート項目						
偶発債務	573,979	5,736	115	-34	-67	-26
うち、保証等	66,761	1,525	66	-6	-9	-25
うち、コミットメント	507,218	4,211	49	-28	-58	-1
合計	573,979	5,736	115	-34	-67	-26

減損テスト対象の貸借対照表項目及びオフバランスシート項目、2023年

	総額			引当金		
			ステージ			
百万スウェーデン・クローネ	ステージ1	ステージ2	3 ¹⁾	ステージ1	ステージ2	ステージ3
貸借対照表項目						
現金及び中央銀行預け金	362,516					
中央銀行への担保として適格な利付証券						
金融機関への貸出金	1,008,104	11		-1	-1	
一般顧客への貸出金	553,233	46,608	2,476	-143	-392	-786
債券及びその他の利付証券	12,709			-2		
合計	1,936,562	46,619	2,476	-146	-393	-786
オフバランスシート項目						
偶発債務	547,062	10,415	122	-69	-181	-42
うち、保証等	66,910	1,794	71	-11	-41	-22
うち、コミットメント	480,152	8,621	51	-58	-140	-20
合計	547,062	10,415	122	-69	-181	-42

1) 受け入れた担保により、引当金を計上しなかったステージ3貸出金の総額は1,038(1,142)百万スウェーデン・クローネであった。

主要指標、信用損失、一般顧客への貸出金

%	2024年	2023年
信用損失率、ACC	-0.05	-0.01
総引当率	0.16	0.22
ステージ1に分類された貸出金に対する引当率	0.01	0.03
ステージ2に分類された貸出金に対する引当率	0.47	0.84
ステージ3に分類された貸出金に対する引当率	30.90	31.74
ステージ3に分類された貸出金の割合	0.28	0.28

変動分析

減損テスト対象の貸借対照表項目に対する予想信用損失引当金の変動

	2024年				2023年			
	ステージ1	ステージ2	ステージ3	合計	ステージ1	ステージ2	ステージ3	合計
百万スウェーデン・ クローネ								
期首現在引当金	-146	-393	-786	-1,326	-211	-401	-934	-1,546
認識中止した資産	35	52	97	183	14	60	190	264
償却	0	0	156	156	0	0	155	155
信用リスクの変動によ る再測定	-26	242	-35	181	7	92	-86	13
推計手法の更新による 変動					11	16		27
外貨換算影響額等	4	0	-5	-1	5	5	2	12
購入又は組成した資産	-6	-2	-6	-15	-14	-14	0	-29
ステージ1への振替	-6	13	0	7	-18	14		-4
ステージ2への振替	13	-50	3	-34	42	-205	5	-158
ステージ3への振替	67	29	-90	6	18	40	-117	-59
期末現在引当金	-66	-109	-666	-841	-146	-393	-786	-1,326

減損テスト対象の一般顧客への貸出金に対する予想信用損失引当金の変動

	2024年				2023年			
	ステージ1	ステージ2	ステージ3	合計	ステージ1	ステージ2	ステージ3	合計
百万スウェーデン・ クローネ								
期首現在引当金	-143	-392	-786	-1,321	-207	-400	-934	-1,542
認識中止した資産	35	52	97	183	14	60	190	264
償却	0	0	156	156	0	0	155	155
信用リスクの変動によ る再測定	-26	239	-35	178	6	91	-86	12
推計手法の更新による 変動					11	16		27
外貨換算影響額等	4	0	-5	-1	5	5	2	12
購入又は組成した資産	-6	-2	-6	-15	-14	-14	0	-29
ステージ1への振替	-6	13	0	7	-18	14		-4
ステージ2への振替	13	-46	3	-30	42	-204	5	-157
ステージ3への振替	67	29	-90	6	18	40	-117	-59
期末現在引当金	-63	-106	-666	-836	-143	-392	-786	-1,321

減損テスト対象のオフバランスシート項目に対する予想信用損失引当金の変動

	2024年				2023年			
	ステージ1	ステージ2	ステージ3	合計	ステージ1	ステージ2	ステージ3	合計
百万スウェーデン・ クローネ								

期首現在引当金	-69	-181	-42	-292	-66	-136	-82	-283
認識中止した資産	11	16		27	9	23		32
償却	0	0	0	0				
信用リスクの変動による再測定	28	106	16	151	1	8	39	48
推計手法の更新による変動					-5	-7		-12
外貨換算影響額等	2	0		2	1	1		3
購入又は組成した資産	-9	-1		-10	-10	-5		-16
ステージ1への振替	-2	6		4	-6	6		0
ステージ2への振替	4	-18		-14	6	-73		-67
ステージ3への振替	1	4		5	1	2		3
期末現在引当金	-34	-67	-26	-127	-69	-181	-42	-292

この変動分析は、当該期間の各説明項目について、ステージ別の引当金に与える正味影響額を示したものである。認識中止及び償却の影響は期首残高で算定される。推計手法の変更及び外貨換算影響額等による再評価の影響は、ステージ間の振替前に純額ベースで算定される。購入又は組成した資産及びステージ間で振り替えられた金額は、他の説明項目の影響考慮後に認識される。振替の各行は各ステージの引当金に与える影響を表す。

減損テスト対象の貸借対照表項目総額の変動

百万スウェーデン・ クローネ	2024年				2023年			
	ステージ1	ステージ2	ステージ3	合計	ステージ1	ステージ2	ステージ3	合計
期首現在の総額	1,936,562	46,619	2,476	1,985,658	2,017,811	30,717	2,613	2,051,142
認識中止した資産	-63,903	-8,034	-487	-72,425	-408,159	-4,927	-352	-413,437
償却	-3	-3	-166	-172	-2	-1	-180	-183
信用リスクの変動による再測定	-26,449	-8,228	-170	-34,846	-25,648	-6,079	-263	-31,990
外貨換算影響額等	18,622	164	19	18,805	-11,605	-679	-6	-12,290
購入又は組成した資産	41,098	924	31	42,053	389,363	3,027	27	392,416
ステージ1への振替	29,940	-29,930	-9		18,644	-18,636	-8	
ステージ2への振替	-20,888	21,331	-444		-43,588	43,693	-105	
ステージ3への振替	-556	-349	905		-254	-497	751	
期末現在の総額	1,914,424	22,494	2,155	1,939,073	1,936,562	46,619	2,476	1,985,658

減損テスト対象の一般顧客への貸出金総額の変動

百万スウェーデン・ クローネ	2024年				2023年			
	ステージ1	ステージ2	ステージ3	合計	ステージ1	ステージ2	ステージ3	合計
期首現在の総額	553,233	46,608	2,476	602,318	605,933	30,716	2,613	639,263

認識中止した資産	-58,856	-8,034	-487	-67,378	-55,518	-4,667	-352	-60,536
償却	-3	-3	-166	-172	-2	-1	-180	-183
信用リスクの変動によ る再測定	-22,121	-5,925	-170	-28,216	6,937	-7,112	-263	-438
外貨換算影響額等	-20,713	164	19	-20,530	-11,350	-620	-6	-11,977
購入又は組成した資産	38,031	924	31	38,986	33,136	3,027	27	36,190
ステージ1への振替	29,935	-29,925	-9		17,780	-17,773	-8	
ステージ2への振替	-18,536	18,980	-444		-43,429	43,534	-105	
ステージ3への振替	-556	-349	905		-254	-497	751	
期末現在の総額	500,413	22,439	2,155	525,007	553,233	46,608	2,476	602,318

減損テスト対象のオフバランスシート項目総額の変動

百万スウェーデン・ クローネ	2024年				2023年			
	ステージ1	ステージ2	ステージ3	合計	ステージ1	ステージ2	ステージ3	合計
期首現在の総額	547,062	10,415	122	557,599	561,940	10,002	245	572,187
認識中止した資産	-39,772	-1,467	-16	-41,255	-37,475	-2,684	-129	-40,289
償却	0	0	-1	-2	0	0	-1	-1
信用リスクの変動によ る再測定	57,586	-1,816	-49	55,721	-17,252	3,524	-31	-13,759
外貨換算影響額等	-46,434	-33	1	-46,466	-3,253	-88	-1	-3,342
購入又は組成した資産	53,930	303	0	54,233	40,638	2,163	1	42,802
ステージ1への振替	5,373	-5,372	-1		9,892	-9,891	0	
ステージ2への振替	-3,743	3,747	-4		-7,397	7,404	-7	
ステージ3への振替	-22	-41	63		-30	-16	46	
期末現在の総額	573,979	5,736	115	579,830	547,062	10,415	122	557,599

引当金の分析同様、総額の変動分析は当該ステージの総額に対する各説明項目の影響を示している。ステージ間の振替及び「購入又は組成した資産」の項目は、期末現在の各ステージの金額を表しており、他の項目は期首時点で用いられる各ステージへの影響を表している。

[次へ](#)

感応度分析

ECL算定におけるマクロ経済予測及び感応度分析

予想信用損失の算定には、マクロ経済シナリオによる将来予測的な情報を用いている。予想信用損失は3つのシナリオにおける見積り予想の確率加重平均値である。基本(中立)シナリオの予想確率加重は70(70)%としており、一方で景気の上昇シナリオの予想確率加重は15(15)%、下降シナリオの予想確率加重は15(15)%としている。これらのシナリオ及び確率加重は、2024年12月31日現在のステージ1及びステージ2に分類されたエクスポージャーの予想信用損失の算定根拠となっている。

マクロ経済上のリスク要因

	下降シナリオ			基本(中立)シナリオ			上昇シナリオ		
	2025年	2026年	2027年	2025年	2026年	2027年	2025年	2026年	2027年
GDP成長率									
スウェーデン	-2.75	0.80	2.81	2.11	2.71	2.16	3.85	3.60	1.96
ノルウェー	-3.45	-0.34	2.25	1.55	1.66	1.60	3.15	2.46	1.40
フィンランド	-3.50	-0.40	2.05	1.50	1.60	1.40	3.10	2.40	1.20
EU諸国	-3.89	-0.58	2.15	1.11	1.42	1.50	2.71	2.22	1.30
米国	-2.83	0.01	2.45	2.17	2.01	1.80	3.77	2.81	1.60
失業率									
スウェーデン	10.02	10.32	10.54	8.32	7.92	7.54	7.62	6.92	6.84
ノルウェー	3.90	4.60	5.30	2.20	2.20	2.30	1.50	1.20	1.60
フィンランド	9.70	9.90	10.00	8.00	7.50	7.00	7.30	6.50	6.30
EU諸国	8.38	8.93	9.50	6.68	6.53	6.50	5.98	5.53	5.80
米国	6.08	6.90	7.30	4.38	4.50	4.30	3.68	3.50	3.60
政策金利									
スウェーデン	4.50	4.50	3.75	2.25	2.25	2.25	1.50	1.25	1.25
ノルウェー	5.75	5.25	4.00	3.50	3.00	2.50	2.75	2.00	1.50
フィンランド	4.25	4.25	3.50	2.00	2.00	2.00	1.25	1.00	1.00
EU諸国	4.25	4.25	3.50	2.00	2.00	2.00	1.25	1.00	1.00
米国	5.88	5.38	4.25	3.63	3.13	2.75	2.88	2.13	1.75
住宅価格の上昇率									
スウェーデン	-4.51	-4.44	4.14	3.24	3.25	3.53	7.06	7.40	4.99
ノルウェー	-0.59	0.55	5.58	9.59	8.14	4.90	11.57	9.50	3.93
フィンランド	-4.08	-1.48	1.99	1.47	2.07	2.77	5.18	3.54	3.20
EU諸国	0.70	3.92	5.05	3.20	3.42	3.40	3.91	3.52	2.60
商業不動産価格の上昇率									

スウェーデン	-10.15	-3.37	4.19	1.45	3.88	4.51	8.42	10.22	6.28
ノルウェー	-15.53	-8.28	1.08	-1.93	-1.03	0.65	3.73	4.09	2.00
フィンランド	-10.56	-5.14	2.13	-1.24	0.62	2.29	3.96	5.60	3.68
EU諸国	-13.40	-6.38	2.60	-0.68	0.67	2.54	4.62	5.85	4.15

[次へ](#)

感応度分析、マクロ経済シナリオ

下表は、2024年12月31日現在のステージ1及びステージ2に分類されたエクスポージャーに対する予想信用損失引当金の増減をパーセンテージで示したもので、この増減は下降及び上昇シナリオにそれぞれ100%の確率が適用される場合のものである。

	2024年		2023年	
	下降シナリオにおける引当金の増加	上昇シナリオにおける引当金の減少	下降シナリオにおける引当金の増加	上昇シナリオにおける引当金の減少
%				
スウェーデン	34.36	-13.92	32.00	-18.85
ノルウェー	38.99	-15.32	34.77	-18.92
フィンランド	23.84	-8.85	17.11	-9.88
オランダ	47.07	-18.81	36.85	-22.53
米国	77.81	-28.43	57.50	-36.86
その他諸国	25.02	-10.66	23.51	-12.04
合計	35.11	-13.91	30.81	-17.78

感応度分析、信用リスクの著しい増大

下表は、報告日と当初認識時に算定された残余信用リスクの比率に用いられる閾値が、2.5の閾値よりも0.5低く又は高く設定される場合、12月31日現在でステージ1及びステージ2のエクスポージャーに対する引当金がかかるような影響を受けるかを示したものである。閾値が0.5低下した場合にはステージ1からステージ2へ振り替えられる貸出金の件数が増加し、予想信用損失引当金も増加する。閾値が0.5上昇した場合にはこれと反対の影響が生じる。当行は信用リスクの著しい増大を評価するために定量的・定性的双方の指標を用いている。

ステージ1及び2に分類されたエクスポージャーに対する引当金総額の変動、%

閾値	2024年	2023年
2	3.70	1.85
2.5	0.00	0.00
3	-1.23	-1.66

PDの範囲別減損テスト対象の信用エクスポージャー

PDの範囲別貸借対照表項目

PD値 ¹⁾	2024年			2023年		
	総額（百万スウェーデン・クローネ）			総額（百万スウェーデン・クローネ）		
	ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ1	ステージ2	ステージ3
0.00～0.15未満	1,736,862	4,800		1,744,372	11,553	
0.15～0.25未満	63,081	827		48,221	3,315	
0.25～0.50未満	65,393	5,591		74,720	7,488	
0.50～0.75未満	12,519	515		25,901	6,757	
0.75～2.50未満	34,226	3,943		39,106	4,142	
2.50～10.00未満	2,265	5,490		3,928	10,047	
10.00～100未満	79	1,328		314	3,316	
100（デフォルト）			2,155			2,476
合計	1,914,424	22,494	2,155	1,936,562	46,619	2,476

PDの範囲別一般顧客への貸出金

PD値 ¹⁾	2024年			2023年		
	総額（百万スウェーデン・クローネ）			総額（百万スウェーデン・クローネ）		
	ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ1	ステージ2	ステージ3
0.00～0.15未満	454,000	4,788		498,329	11,550	
0.15～0.25未満	16,489	825		13,776	3,315	
0.25～0.50未満	17,093	5,578		21,346	7,486	
0.50～0.75未満	3,272	513		7,399	6,756	
0.75～2.50未満	8,946	3,933		11,172	4,141	
2.50～10.00未満	592	5,477		1,122	10,045	
10.00～100未満	21	1,325		90	3,316	
100（デフォルト）			2,155			2,476
合計	500,413	22,439	2,155	553,233	46,608	2,476

PDの範囲別オフバランスシート項目

PD値 ¹⁾	2024年			2023年		
	総額（百万スウェーデン・クローネ）			総額（百万スウェーデン・クローネ）		
	ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ1	ステージ2	ステージ3
0.00～0.15未満	390,514	511		411,184	1,666	
0.15～0.25未満	47,418	173		29,689	152	
0.25～0.50未満	76,469	645		77,603	1,095	
0.50～0.75未満	41,147	309		10,839	3,526	
0.75～2.50未満	16,918	1,041		15,960	1,625	
2.50～10.00未満	1,129	2,785		1,726	1,852	

10.00～100未満	385	272		60	500	
100（デフォルト）			115			122
合計	573,979	5,736	115	547,062	10,415	122

1) 報告日現在の12カ月PD値を指す。

担保権が実行された資産

百万スウェーデン・クローネ	2024年	2023年
動産	2	2
帳簿価額	2	2

注記P11 規制関連費用

百万スウェーデン・クローネ	2024年	2023年
リスク税	-1,240	-1,257
破綻処理手数料	-415	-375
合計	-1,655	-1,633

リスク税は、当該課税年度の期首における信用機関の負債合計を基礎とした税基準額の0.06%(0.06)となった。

破綻処理手数料は、手数料基準額の0.05%(0.05)にリスク調整要因を加算した金額である。手数料基準額は、当該手数料年度の2年前の当該機関の負債に基づく。

注記P12 繰入

百万スウェーデン・クローネ	2024年	2023年
機械装置、器具備品及びリース資産の加速減価償却の変動	336	
合計	336	

2023年度中に繰入に変動は生じていない。

注記P13 金融機関への貸出金

百万スウェーデン・クローネ	2024年	2023年
貸出金（スウェーデン・クローネ建て）		
銀行	1,126	238
その他金融機関 ¹⁾	766,772	740,628
合計	767,898	740,866
貸出金（外貨建て）		
銀行	26,656	46,719
その他金融機関	202,367	220,409
合計	229,023	267,128
予想信用損失引当金	-4	-2
金融機関への貸出金合計	996,917	1,007,992
うち、リバース・レポ	12,665	12,815
うち、担保として差し入れた現金	3,377	5,430
うち、劣後分	73,749	77,146
平均取引高		
百万スウェーデン・クローネ	2024年	2023年
金融機関への貸出金（スウェーデン・クローネ建て）	464,990	497,218
金融機関への貸出金（外貨建て）	546,171	549,519
合計	1,011,160	1,046,737
うち、リバース・レポ	18,767	18,717

1) うち、18,045(22,079)百万スウェーデン・クローネは、スタッドフィボテックが資本性金融商品に分類したTier 1資本ローンである。

注記P14 一般顧客への貸出金

百万スウェーデン・クローネ	2024年	2023年
貸出金（スウェーデン・クローネ建て）		
個人	18,721	19,870
法人	127,799	143,285
国債局	1,547	6,748
合計	148,067	169,903
貸出金（外貨建て）		
個人	93,460	110,270
法人	283,480	322,144
合計	376,940	432,414
予想信用損失引当金	-836	-1,321
一般顧客への貸出金合計	524,171	600,997
うち、リバース・レボ	17,977	17,404
うち、担保として差し入れた現金	1,751	13,395
うち、劣後ローン	0	1,142

平均取引高（国債局を除く）

百万スウェーデン・クローネ	2024年	2023年
一般顧客への貸出金（スウェーデン・クローネ建て）	167,905	193,609
一般顧客への貸出金（外貨建て）	420,454	453,155
合計	588,359	646,764
うち、リバース・レボ	25,480	23,110

注記P15 利付証券

	2024年			2023年		
百万スウェーデン・クローネ	帳簿価額	公正価値	額面価格	帳簿価額	公正価値	額面価格
中央銀行への担保として適格な利付証券	172,606	172,606	168,407	199,128	199,128	197,474
債券及びその他の利付証券 ¹⁾	53,569	53,569	37,550	50,791	50,791	37,151
合計	226,175	226,175	205,957	249,919	249,919	234,625

1) 減損テストの対象となる債券及びその他の利付証券は、13,259(12,709)百万スウェーデン・クローネとなっており、これらはその他の包括利益を通じて公正価値で測定されている。資本の公正価値評価差額準備金に認識される予想信用損失引当金は、-2(-2)百万スウェーデン・クローネとなっている。

発行者別利付証券

	2024年			2023年		
百万スウェーデン・クローネ	帳簿価額	公正価値	額面価格	帳簿価額	公正価値	額面価格

政府	172,606	172,606	168,407	199,128	199,128	197,474
金融機関	10,428	10,428	6,662	9,733	9,733	7,856
住宅金融専門機関	37,713	37,713	26,754	35,083	35,083	25,155
その他	5,427	5,427	4,134	5,975	5,975	4,141
合計	226,175	226,175	205,957	249,919	249,919	234,625

平均取引高

	2024年	2023年
百万スウェーデン・クローネ		
中央銀行への担保として適格な利付証券	257,685	258,785
債券及びその他の利付証券	59,973	55,713
合計	317,658	314,498

注記P16 株式

	2024年	2023年
百万スウェーデン・クローネ		
純損益を通じて公正価値で測定、強制	8,258	5,669
その他包括利益を通じて公正価値で測定	694	501
株式合計	8,952	6,170

その他包括利益を通じて公正価値で測定された保有株式

	2024年	2023年
百万スウェーデン・クローネ		
Visa Inc	517	330
VIPPS A/S	58	60
その他の保有株式	119	111
合計	694	501

ハンデルスバンケンは、上記の保有株式について、トレーディング目的保有ではないことによりその他包括利益を通じて公正価値で測定するものに分類している。これらの株式に係る配当は合計で16(3)百万スウェーデン・クローネであり、その他の配当収益として損益計算書に計上されている。当年度中に当行は、国際銀行間通信協会(SWIFT)の41のパーティシペーションを総額3(0)百万スウェーデン・クローネで処分した。

その他包括利益を通じて公正価値で測定される資本性金融商品に係る実現及び未実現損益に関しては、親会社の持分変動計算書を参照のこと。

注記P17 子会社株式並びに関連会社及びジョイント・ベンチャーに対する投資

子会社株式並びに関連会社及びジョイント・ベンチャーに対する投資

	2024年	2023年
百万スウェーデン・クローネ		
当行グループ会社（非上場）	67,101	68,674
関連会社（非上場）	369	215
ジョイント・ベンチャー（非上場）	120	97
合計	67,591	68,986

当行グループ会社

	企業識別番号	所在地	株式数	所有持分 (%)	帳簿価額 百万スウェーデン・ クローネ	
					2024年	2023年
Handelsbanken Finans AB ¹⁾	556053-0841	ストックホルム	1,550,000	100	6,396	6,942
Stadshypotek AB ¹⁾	556459-6715	ストックホルム	162,000	100	26,870	26,870
Handelsbanken Fonder AB	556418-8851	ストックホルム	15,000	100	2	2
Handelsbanken Liv Försäkrings AB	516401-8284	ストックホルム	100,000	100	6,189	6,189
SHB Liv Försäkringsaktiebolag	2478149-7	ヘルシンキ		100		
Handelsbanken Fastigheter AB	556873-0021	ストックホルム		100		
Ecster AB	556993-2311	ストックホルム	50,000	100	1,750	1,750
Handelsbanken plc ¹⁾	11305395	ロンドン	5,050,401	100	25,029	24,520
Handelsbanken Wealth & Asset Management Limited	04132340	ロンドン	1,319,206	100		
Optimix Vermogensbeheer N.V.	33194359	アムステルダム	10,209	100	734	712
Add Value Fund Management BV	19196768	アムステルダム		80		
その他の子会社						
EFN Ekonomikanalen AB	556930-1608	ストックホルム	100	100	0	0
AB Handel och Industri	556013-5336	ストックホルム	100,000	100	12	12
Handelsbanken Markets Securities, Inc.	11-3257438	ニューヨーク	1,000	100	43	39
Handelsbanken Rahoitus Oy	0112308-8	ヘルシンキ	37,026,871	100		1,561
Handelsbanken Skadeförsäkrings AB	516401-6767	ストックホルム	1,500	100	31	31
Rådstuplass 4 AS	910508423	ベルゲン	40,000	100	0	0
Svenska Re S.A.	RCS Lux B-32053	ルクセンブルグ	20,000	100	35	35
Handelsbanken Ventures AB	556993-9357	ストックホルム	50	100	10	11
合計					67,101	68,674

1) 金融機関

当行グループ会社のリストには、直接所有子会社及びこれらの会社の大規模な子会社が含まれている。

関連会社

	企業識別番号	所在地	株式数	所有持分 (%)	帳簿価額 百万スウェーデン・ クローネ	
					2024年	2023年
Bankomat AB	556817-9716	ストックホルム	150	20.00	67	67
BGC Holding AB	556607-0933	ストックホルム	25,542	25.54	81	81
Dyson Group plc	00163096	シェフィールド	74,733,672	27.00	24	22
Finansiell ID-teknik BID AB	556630-4928	ストックホルム	12,735	28.30	86	24
Getswish AB	556913-7382	ストックホルム	10,000	20.00	111	21
USE Intressenter AB	559161-9464	ストックホルム	2,448	24.48	0	0
合計					369	215

ジョイント・ベンチャー

	企業識別番号	所在地	株式数	議決権(%)	帳簿価額 百万スウェーデン・ クローネ	
					2024年	2023年
P27 Nordic Payment Platform AB	559198-9610	ストックホルム	12,500	20.84	115	92
Tibern AB	559384-3542	ストックホルム	4,000	14.29	5	5
合計					120	97

注記P18 デリバティブ商品

	想定元本/満期			想定元本		正の市場価値		負の市場価値	
百万スウェーデン・ク ローネ	1年以内	1年超 5年以内	5年超	2024年	2023年	2024年	2023年	2024年	2023年
トレーディング目的で 保有するデリバ ティブ									
金利関連契約									
オプション	6,844	18,668	9,544	35,056	35,267	166	263	238	394
FRA/先物	752,147	19,300		771,447	397,991	347	255	310	237
スワップ	461,098	1,752,432	429,678	2,643,208	2,421,363	40,477	49,415	41,208	48,983
通貨関連契約									
オプション	19,498	233	16	19,747	25,693	58	158	89	237
先物	64,075	5,523	55	69,653	62,370	1,058	1,196	619	1,146
スワップ	683,933	177,741	26,308	887,982	716,068	24,930	14,827	13,424	23,997
株式関連契約									
オプション	4,789	606	32	5,427	4,882	229	194	113	114
先物	281			281	215	2	5	2	2
スワップ	7,369	1,391		8,760	5,962	299	101	232	306
コモディティ関連契約									
オプション			19	19	17		5	19	22
先物	134	1		135	180	1	6	4	18
信用関連契約									
スワップ	275	3,836	60	4,171	3,069	164	193	147	82
合計	2,000,443	1,979,731	465,712	4,445,886	3,673,076	67,732	66,618	56,404	75,538
公正価値ヘッジのデリ バティブ									
金利関連契約									
スワップ	63,665	226,507	69,854	360,026	414,502	9,424	11,911	6,970	9,393
通貨関連契約									
スワップ		1,046		1,046	983	83	25		
合計	63,665	227,553	69,854	361,072	415,485	9,507	11,937	6,970	9,393
キャッシュフロー・ ヘッジのデリバ ティブ									
金利関連契約									
スワップ	20,908	13,727	6,078	40,713	79,813	2,072	2,961	46	78
通貨関連契約									
スワップ	18,530	120,692	24,524	163,746	228,210	17,519	9,724	1,222	6,486
合計	39,438	134,419	30,602	204,459	308,023	19,591	12,685	1,269	6,563
デリバティブ商品合計	2,103,546	2,341,703	566,168	5,011,417	4,396,584	96,830	91,240	64,643	91,494
うち、取引所上場 デリバティブ				133,128	70,400	155	148	274	419
うち、CCPで決済さ れるOTCデリバ ティブ				3,013,450	2,172,236	44,503	52,627	34,664	45,845

うち、CCPで決済されないOTCデリバティブ	1,864,839	2,153,948	52,172	38,465	29,705	45,230
相殺された金額	-2,368,886	-2,310,691	-44,144	-52,221	-34,331	-45,225
純額	2,642,531	2,085,893	52,686	39,019	30,312	46,269

市場価値の通貨別内訳

スウェーデン・クローネ	-295,713	54,626	-40,467	333,073
米ドル	437,043	-25,673	104,150	-350,125
ユーロ	178,621	157,332	93,770	73,140
その他	-223,121	-95,045	-92,810	35,406
合計	96,830	91,240	64,643	91,494

この注記では、デリバティブ契約は総額で表示されている。相殺額は、当行が契約上のキャッシュ・フローを純額で決済する法的権利及び意思を有している契約（中央清算される契約を含む）の市場価値及び関連する想定元本の相殺で構成されている。これらの契約は、貸借対照表上、カウンターパーティ及び通貨別に純額で表示されている。

当行は、当初認識時に評価モデルを用いて測定された価値と、取引価格との正の差額（取引日利益/(損失)）をデリバティブの期間にわたり償却している。年度末現在、これらの未認識の取引日利益は、500(472)百万スウェーデン・クローネであった。

注記P19 ヘッジ会計

公正価値ヘッジにおけるヘッジ手段

百万スウェーデン・クローネ	2024年			2023年		
	1年以内	1年から5年	5年超	1年以内	1年から5年	5年超
金利リスク						
金利スワップ （変動金利支払・固定金利受取）						
想定元本	20,694	176,443	40,045	44,464	156,862	42,357
平均固定金利(%)	2.45	3.01	2.89	2.21	2.84	2.61
クロス・カレンシー金利スワップ （変動金利支払・固定金利受取）						
想定元本		1,046			983	
平均固定金利(%)		3.69			3.69	
合計	20,694	177,489	40,045	44,464	157,845	42,357

公正価値ヘッジにおけるヘッジ手段及び非有効性、2024年

百万スウェーデン・クローネ	ヘッジ手段の 想定元本	ヘッジ手段の帳簿価額		非有効性の算定 に用いられた 公正価値変動	損益計算書で 認識された 非有効性
		資産	負債		
金利リスク					
金利スワップ （変動金利支払・固定金利受取）	237,182	2,621	6,712	2,993	-71

クロス・カレンシー金利スワップ

(変動金利支払・固定金利

受取)

	1,046	83		0	6
合計	238,228	2,704	6,712	2,993	-65

ポートフォリオ公正価値ヘッジ

金利リスク

金利スワップ

(固定金利支払・変動金利

受取)

	122,844	6,803	258	-3,248	9
合計	122,844	6,803	258	-3,248	9

公正価値ヘッジにおけるヘッジ手段及び非有効性、2023年

百万スウェーデン・クローネ	ヘッジ手段の 想定元本	ヘッジ手段の帳簿価額		非有効性の算定 に用いられた 公正価値変動	損益計算書で 認識された 非有効性
		資産	負債		
金利リスク					
金利スワップ					
(変動金利支払・固定金利受 取)	243,683	1,811	9,357	7,932	66
クロス・カレンシー金利スワップ					
(変動金利支払・固定金利 受取)	983	25		54	7
合計	244,666	1,836	9,357	7,986	73

ポートフォリオ公正価値ヘッジ

金利リスク

金利スワップ

(固定金利支払・変動金利

受取)

	170,819	10,100	36	-7,034	-80
合計	170,819	10,100	36	-7,034	-80

ヘッジ手段の帳簿価額は貸借対照表の「デリバティブ商品」に含まれている。損益計算書で認識された非有効性は「金融取引による純損益」に含まれている。

公正価値ヘッジにおけるヘッジ対象、2024年

百万スウェーデン・クローネ	ヘッジ対象の帳簿価額		ヘッジ対象の帳簿価額に 含まれる公正価値調整累計額		非有効性の算定に 用いられた価値 変動
	資産	負債	資産	負債	
金利リスク ¹⁾					
発行済固定利付証券及び劣後 負債		231,475		-5,727	-3,059
合計		231,475		-5,727	-3,059

ポートフォリオ公正価値

ヘッジ¹⁾

金利リスク

一般顧客への固定金利貸出金	-6,399		-6,399		3,257
合計	-6,399		-6,399		3,257

公正価値ヘッジにおけるヘッジ対象、2023年

百万スウェーデン・クローネ	ヘッジ対象の帳簿価額		ヘッジ対象の帳簿価額に 含まれる公正価値調整累計額		非有効性の算定に 用いられた価値 変動
	資産	負債	資産	負債	
金利リスク¹⁾					
発行済固定利付証券及び劣後 負債		233,072		-8,786	-7,913
合計		233,072		-8,786	-7,913
ポートフォリオ公正価値 ヘッジ¹⁾					
金利リスク					
一般顧客への固定金利貸出金	-9,657		-9,657		6,954
合計	-9,657		-9,657		6,954

1) 2024年12月31日現在の原貸出金ポートフォリオの総額は、122,844(170,819)百万スウェーデン・クローネであった。

当年度も前年度も、公正価値変動に対する調整が行われなくなったヘッジ対象に係る公正価値ヘッジ調整累計額は貸借対照表に計上されていない。

キャッシュフロー・ヘッジにおけるヘッジ手段

	2024年			2023年		
	1年以内	1年超 5年以内	5年超	1年以内	1年超 5年以内	5年超
百万スウェーデン・クローネ						
金利リスク						
金利スワップ（固定金利支払・変動金利受取）						
想定元本	7,588	12,627	6,078	13,568	16,503	8,645
平均固定金利(%)	0.35	0.72	0.77	0.38	0.60	0.67
金利スワップ（変動金利支払・固定金利受取）						
想定元本	13,321	1,099		26,765	14,332	
平均固定金利(%)	3.58	3.98		2.61	3.61	
為替リスク						
為替デリバティブ、ユーロ/ノルウェー・クローネ						
想定元本	2,758	45,538	19,512		35,857	17,514
平均為替レート、ユーロ/ノルウェー・クローネ	0.1008	0.0958	0.0896		0.0954	0.0728
為替デリバティブ、米ドル/英ポンド						
想定元本		1,076			989	
平均為替レート、米ドル/英ポンド		1.3157			1.3157	
為替デリバティブ、米ドル/ノルウェー・クローネ						
想定元本	8,923	36,864		2,066	40,077	
平均為替レート、米ドル/ノルウェー・クローネ	0.1065	0.1027		0.0509	0.0958	
為替デリバティブ、米ドル/スウェーデン・クローネ						
想定元本	3,646	11,551	5,011	75,356	14,513	4,776
平均為替レート、米ドル/スウェーデン・クローネ	0.1017	0.1003	0.1105	0.0880	0.0782	0.1105
為替デリバティブ、豪ドル/ユーロ						
想定元本	2,872	10,353			13,016	
平均為替レート、豪ドル/ユーロ	1.5287	1.5451			1.5415	
為替デリバティブ、他の通貨ペア						
想定元本	331	15,310		8,574	15,473	
合計	39,439	134,418	30,601	126,329	150,760	30,934

キャッシュフロー・ヘッジにおけるヘッジ手段と非有効性、2024年

	ヘッジ手段の 想定元本	ヘッジ手段の帳簿価額		非有効性の 算定に用いら れた公正価値 変動	その他包括利 益で認識され たヘッジ手段 の価値変動	損益計算書 で認識され た非有効性	ヘッジ準備金 から損益計算 書への振替額
		資産	負債				
百万スウェーデン・クローネ							
金利リスク							
金利スワップ							
（固定金利支払・変動金利受取）	26,293	1,779		-695	-689	-6	
金利スワップ							
（変動金利支払・固定金利受取）	14,420	293	46	97	97		70
為替リスク ¹⁾							
為替デリバティブ、							
ユーロ/ノルウェー・クローネ	67,808	6,888	39	-280	-293	13	
為替デリバティブ、							
ユーロ/スウェーデン・クローネ	7,490	27	114	-8	-8	0	

為替デリバティブ、米ドル/英ポンド	1,076	50		6	6		
為替デリバティブ、 米ドル/ノルウェー・クローネ	45,787	7,249		81	79	2	
為替デリバティブ、 米ドル/スウェーデン・クローネ	20,208	2,829		95	97	-2	
為替デリバティブ、他の通貨ペア	21,376	476	1,069	22	24	-2	9
合計	204,458	19,591	1,268	-682	-687	5	79

キャッシュフロー・ヘッジにおけるヘッジ手段と非有効性、2023年

百万スウェーデン・クローネ	ヘッジ手段の 想定元本	ヘッジ手段の帳簿価額		非有効性の 算定に用いら れた公正価値 変動	その他包括利 益で認識され たヘッジ手段 の価値変動	損益計算書 で認識され た非有効性	ヘッジ準備金 から損益計算 書への振替額
		資産	負債				
金利リスク							
金利スワップ							
（固定金利支払・変動金利受取）	38,716	2,580	1	-1,831	-1,917	86	
金利スワップ							
（変動金利支払・固定金利受取）	41,097	381	77	751	751		80
為替リスク ¹⁾							
為替デリバティブ、							
ユーロ/ノルウェー・クローネ	53,371	4,335	445	-194	-196	2	
為替デリバティブ、							
ユーロ/スウェーデン・クローネ	15,566	305	310	-12	-12	0	
為替デリバティブ、米ドル/英ポンド	989	30		8	8		
為替デリバティブ、							
米ドル/ノルウェー・クローネ	42,143	3,133	1,048	-22	-20	-2	
為替デリバティブ、							
米ドル/スウェーデン・クローネ	94,645	1,322	3,951	-103	-103	0	
為替デリバティブ、豪ドル/米ドル				7	7		-1
為替デリバティブ、他の通貨ペア	21,496	599	732	15	17	-2	27
合計	308,023	12,685	6,563	-1,381	-1,465	84	106

1) ヘッジ会計目的で分析を行う場合、親会社の機能通貨であるスウェーデン・クローネへの換算にあたって、ヘッジ関係におけるデリバティブのレグの想定金額のインピュテーション(補完)が考慮される。このデリバティブのレグのインピュテーション(補完)は上記の想定元本額には含まれていない。

ヘッジ手段の帳簿価額は貸借対照表上の「デリバティブ商品」に含まれている。

損益計算書で認識された非有効性は「金融取引による純損益」に含まれている。

損益計算書への振替額は「金融取引による純損益」に含まれ、期限前に終了したキャッシュフロー・ヘッジである。

キャッシュフロー・ヘッジにおけるヘッジ対象

百万スウェーデン・クローネ	2024年			2023年		
	非有効性の算 定に用いら れた公正価値 変動	ヘッジ準備金	ヘッジ会計が適 用されなくな ったヘッジ関係か らのヘッジ準備 金残余额	非有効性の算定 に用いられた 公正価値変動	ヘッジ準備金	ヘッジ会計が適 用されなくな ったヘッジ関係か らのヘッジ準備 金残余额
金利リスク						
発行済変動利付証券	689	1,641		1,917	2,333	
変動金利による一般顧客への 貸出金	-97	329	297	-751	298	366

為替リスク

ユーロ建て発行済証券及び劣後負
債並びに英ポンド及びノル
ウェー・クローネ建て内部貸出

301

-395

208

-107

米ドル建て発行済証券及び劣後負

債並びにユーロ、英ポンド及び

ノルウェー・クローネ建て内部

貸出	-182	488	58	115	317	68

豪ドル建て発行済証券

-2	-2	-7	-2	-2

他通貨建て発行済証券及び内部

貸出	-24	48	-17	37

合計	687	2,109	353	1,465	2,876	432

注記P20 金融商品の相殺**2024年**

百万スウェーデン・クローネ

デリバティブ

買戻契約及び
証券貸付

合計

相殺、強制力のあるマスター・ネットティング契約及び

類似した契約の対象となる金融資産

総額	96,830	34,890	131,720

相殺金額	-44,144	-3,735	-47,879

貸借対照表計上額	52,686	31,155	83,841

貸借対照表上で相殺されない関連金額

金融商品、ネットティング契約	-4,787	-4,787

担保として受領した金融資産	-37,378	-31,112	-68,490

貸借対照表上で相殺されない金額合計	-42,165	-31,112	-73,277

純額	10,521	43	10,564

相殺、強制力のあるマスター・ネットティング契約及び

類似した契約の対象となる金融負債

総額	64,643	3,736	68,379

相殺金額	-34,331	-3,735	-38,066

貸借対照表計上額	30,312	1	30,313

貸借対照表上で相殺されない関連金額

金融商品、ネットティング契約	-4,787	-4,787

担保として差し入れた金融資産	-3,554	-1	-3,555

貸借対照表上で相殺されない金額合計	-8,341	-1	-8,342

純額	21,971	0	21,971

2023年

百万スウェーデン・クローネ

相殺、強制力のあるマスター・ネットティング契約及び
類似した契約の対象となる金融資産

	デリバティブ	買戻契約及び 証券貸付	合計
総額	91,240	35,332	126,572
相殺金額	-52,221	-4,628	-56,849
貸借対照表計上額	39,019	30,704	69,723

貸借対照表上で相殺されない関連金額

金融商品、ネットティング契約	-7,781		-7,781
担保として受領した金融資産	-18,880	-30,704	-49,584
貸借対照表上で相殺されない金額合計	-26,661	-30,704	-57,365
純額	12,358	0	12,358

相殺、強制力のあるマスター・ネットティング契約及び
類似した契約の対象となる金融負債

総額	91,494	4,631	96,125
相殺金額	-45,225	-4,628	-49,853
貸借対照表計上額	46,269	3	46,272

貸借対照表上で相殺されない関連金額

金融商品、ネットティング契約	-7,781		-7,781
担保として差し入れた金融資産	-17,305	-3	-17,308
貸借対照表上で相殺されない金額合計	-25,086	-3	-25,089
純額	21,183	0	21,183

デリバティブ商品は、2つ以上のデリバティブの決済における当行の予想キャッシュ・フローを反映している場合に、貸借対照表上で相殺される。この相殺は、当行が合意したキャッシュ・フローを純額で決済する契約上の権利及び意図の両方を有している場合に行われる。デリバティブの残存カウンターパーティ・リスクは、ネットティング契約を通じて(すなわち、倒産時に同一のカウンターパーティとのすべてのデリバティブ取引における正の価値と負の価値を相殺することによって)軽減される。ハンデルスバンケンは、カウンターパーティとなるすべての銀行との間でネットティング契約を締結することを方針としている。ネットティング契約は、正味エクスポージャーに対する担保を設定することで補完されている。使用される担保は主に現金であるが、国債も使用される。買戻契約並びに有価証券借入及び貸付契約に関する担保には、通常、現金又は他の有価証券が利用される。

デリバティブ資産の相殺額には、貸借対照表項目の「預金及び一般顧客からの借入金」から派生した11,617(11,268)百万スウェーデン・クローネの現金担保の相殺が含まれる。

デリバティブ負債の相殺額には、貸借対照表項目「一般顧客への貸出金」から派生した1,804(4,272)百万スウェーデン・クローネの現金担保の相殺が含まれる。

注記P21無形資産

2024年 百万スウェーデン・クローネ	内部開発 ソフトウェア	その他	合計
期首現在取得原価	5,478	164	5,643
無形資産の取得原価の増加	413	45	458
処分及び除却	-345		-345
外貨換算影響額	-7	0	-7
期末現在取得原価	5,538	210	5,749
期首現在償却累計額及び減損額	-2,300	-131	-2,433
処分及び除却	345		345
当年度の予定償却	-597	-40	-637
当年度の減損	0		0
外貨換算影響額	-2	0	-2
期末現在償却累計額及び減損額	-2,554	-171	-2,726
帳簿価額	2,984	39	3,023

当年度には、2,553(2,883)百万スウェーデン・クローネの開発費が費用として計上された。

2023年 百万スウェーデン・クローネ	取得資産	内部開発 ソフトウェア	その他	合計
期首現在取得原価	531	5,361	164	6,056
無形資産の取得原価の増加		684		684
処分及び除却	-531	-554		-554
外貨換算影響額		-12		-12
期末現在取得原価	0	5,478	164	6,174
期首現在償却累計額及び減損額	-531	-2,283	-99	-2,913
処分及び除却	531	554		554
当年度の予定償却		-575	-33	-608
当年度の減損				0
外貨換算影響額		3		3
期末現在償却累計額及び減損額	0	-2,300	-131	-2,964
帳簿価額	0	3,178	33	3,211

親会社において、のれん及び耐用年数が確定できないその他の無形資産の取得は、前述の「信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法」の規定に準拠して償却される。経験上、買収により取得した顧客関係は非常に長期にわたることから、買収におけるのれんの耐用年数も長期となる。償却期間は20年に設定されている。

注記P22 不動産、器具備品及びリース資産**不動産、器具備品及びリース資産**

百万スウェーデン・クローネ	2024年	2023年
不動産	30	26
器具備品	616	544
リース資産	5,227	6,101
債権の保全のために担保権が実行された不動産	2	2
合計	5,875	6,673

不動産

百万スウェーデン・クローネ	2024年	2023年
期首現在取得原価	57	54
新規建設及び改築	6	3
期末現在取得原価	63	57
期首現在減価償却累計額及び減損額	-31	-29
当年度の予定減価償却	-2	-2
期末現在減価償却累計額及び減損額	-33	-31
帳簿価額	30	26

器具備品

百万スウェーデン・クローネ	2024年	2023年
期首現在取得原価	1,383	1,338
当年度の取得原価の増加	371	332
処分及び除却	-328	-277
外貨換算影響額	5	-10
期末現在取得原価	1,431	1,383
期首現在減価償却累計額及び減損額	-839	-861
当年度の予定減価償却	-288	-253
処分及び除却	315	270
外貨換算影響額	-3	5
期末現在減価償却累計額及び減損額	-815	-839
帳簿価額	616	544

リース資産

百万スウェーデン・クローネ	2024年	2023年
期首現在取得原価	10,055	10,548
当年度の取得原価の増加	1,864	2,669

処分及び除却	-3,206	-2,986
外貨換算影響額等	-38	-176
期末現在取得原価	8,675	10,055
期首現在減価償却累計額及び減損額	-3,954	-4,520
当年度の予定減価償却	-1,332	-1,471
当年度中の減損	11	24
処分及び除却	1,807	1,940
外貨換算影響額	20	73
期末現在減価償却累計額及び減損額	-3,448	-3,954
帳簿価額	5,227	6,101

期日別の将来リース料の内訳

百万スウェーデン・クローネ	1年以内	1年から5年	5年超	合計
2024年				
将来のリース支払額の内訳	1,222	4,015	467	5,704
2023年				
将来のリース支払額の内訳	1,696	4,158	409	6,263

リース資産は主に車両及び機械から構成される。リース資産はリース契約期間中にわたり年金法に従い減価償却される。当年度の収益として認識されるリース料は317(268)百万スウェーデン・クローネであり、このうちリース収益の変動部分は302(268)百万スウェーデン・クローネである。

親会社の有形固定資産は、不動産(自己所有)、器具備品及びリース資産で構成される。これらの資産は、取得原価から減価償却累計額及び減損額を控除した金額で計上している。減価償却は、当該資産の見積耐用年数に基づいて行われる。不動産及び器具備品については、定額法が適用されている。2024年には、耐用年数の重要な変更はなかった。見積耐用年数については、毎年見直しを行っている。器具備品の耐用年数は2-10年とされている。見積耐用年数が異なる構成要素から成る不動産は、償却方法の異なる区分に分割され、別個に償却される。建造物の耐用年数は100年、その他の部分に係る耐用年数は10年から35年とされている。親会社は、ファイナンス・リースをオペレーティング・リースとして認識している。車両及び機械装置を主な構成要素とするリース資産については、年金法に従って契約期間にわたり減価償却される。不動産及び器具備品の減損テストは、資産価値の減少の兆候がある場合に実施される。貸借対照表日において、不動産及び器具備品について減損の兆候は見られなかった。

注記P23 その他資産

百万スウェーデン・クローネ	2024年	2023年
投資銀行業務の決済に係る債権	3,059	5,517
その他	15,038	15,272
合計	18,097	20,789

注記P24 前払費用及び未収金

百万スウェーデン・クローネ	2024年	2023年

未収収益	608	538
前払費用	873	849
合計	1,481	1,386

注記P25 金融機関からの預り金

百万スウェーデン・クローネ	2024年	2023年
預り金（スウェーデン・クローネ建て）		
銀行	13,573	7,222
その他金融機関	18,289	19,320
合計	31,862	26,542

預り金（外貨建て）

銀行	62,928	73,142
その他金融機関	74,605	76,459
合計	137,533	149,601
金融機関からの預り金合計	169,394	176,143
うち、レポ		0
うち、担保として受け入れた現金	32,374	20,078

平均取引高

百万スウェーデン・クローネ	2024年	2023年
金融機関からの預り金（スウェーデン・クローネ建て）	21,411	27,383
金融機関からの預り金（外貨建て）	202,335	233,225
合計	223,746	260,608
うち、レポ	173	177

[次へ](#)

注記P26 一般顧客からの預金及び借入金

百万スウェーデン・クローネ	2024年	2023年
預金（スウェーデン・クローネ建て）		
個人	366,230	361,646
法人	298,938	291,500
国債局	1	1
合計	665,169	653,146
預金（外貨建て）		
個人	58,748	60,310
法人	134,534	155,898
合計	193,283	216,207
一般顧客からの預金合計	858,451	869,353
借入金（スウェーデン・クローネ建て）	160,641	176,759
借入金（外貨建て）	30,936	63,360
一般顧客からの借入金合計	191,577	240,119
一般顧客からの預金及び借入金合計	1,050,028	1,109,471
うち、レボ	1	2
うち、担保として受け入れた現金	3,708	4,924

平均取引高

百万スウェーデン・クローネ	2024年	2023年
一般顧客からの預金		
一般顧客からの預金（スウェーデン・クローネ建て）	631,708	691,097
一般顧客からの預金（外貨建て）	211,316	235,155
合計	843,024	926,252
一般顧客からの借入金		
一般顧客からの借入金（スウェーデン・クローネ建て）	209,103	175,907
一般顧客からの借入金（外貨建て）	210,737	191,818
合計	419,840	367,725
うち、レボ	7,042	8,978

注記P27 発行済証券

	2024年		2023年	
	帳簿価額	額面金額	帳簿価額	額面金額
百万スウェーデン・クローネ				
コマーシャル・ペーパー				
コマーシャル・ペーパー				
（スウェーデン・クローネ建て）	536	509	1,099	1,055
うち、純損益を通じて公正価値で計上	536	509	1,099	1,055
コマーシャル・ペーパー（外貨建て）	591,217	351,863	578,821	391,189
うち、償却原価で計上	591,140	351,790	578,414	390,799
うち、公正価値ヘッジに含まれるもの	0	0	15,500	15,745
うち、純損益を通じて公正価値で計上	77	73	407	391
合計	591,753	352,372	579,920	392,244
債券				
債券（スウェーデン・クローネ建て）	2,951	2,834	2,668	2,622
うち、償却原価で計上	2,951	2,834	2,668	2,622
債券（外貨建て）	246,162	248,676	223,578	229,835
うち、償却原価で計上	246,162	248,676	223,578	229,835
うち、公正価値ヘッジに含まれるもの	196,755	199,455	185,172	191,582
合計	249,113	251,511	226,247	232,457
発行済証券合計	840,866	603,883	806,167	624,701

	2024年	2023年
百万スウェーデン・クローネ		
期首現在発行済証券	806,167	806,013
発行済	873,882	1,004,310
買戻	-4,101	-2,103
満期が到来したもの	-881,213	-985,938
外貨換算影響額等	46,131	-16,115
期末現在発行済証券	840,866	806,167

平均残高

	2024年	2023年
百万スウェーデン・クローネ		
発行済証券（スウェーデン・クローネ建て）	-2,996	-8,378
発行済証券（外貨建て）	872,771	860,275
合計	869,775	851,897

注記P28 ショートポジション

	2024年	2023年
百万スウェーデン・クローネ		
公正価値で計上されるショートポジション		
株式	621	520
利付証券	386	1,844
合計	1,007	2,364

平均残高

	2024年	2023年
百万スウェーデン・クローネ		
ショートポジション（スウェーデン・クローネ建て）	15,433	15,301
ショートポジション（外貨建て）	220	209
合計	15,653	15,510

注記P29 税金**損益計算書に計上された税金費用**

	2024年	2023年
百万スウェーデン・クローネ		
当期税金費用	-4,961	-6,004
繰延税金	-158	270
過年度に関する税金の調整	-12	-13
合計	-5,131	-5,747

損益計算書に計上された税金費用

	2024年	2023年
百万スウェーデン・クローネ		
税引前利益	32,789	28,110
スウェーデンの税率に基づく税引前利益に対する税金	-6,755	-5,791
税金計上額	-5,131	-5,747
差異	1,624	44
差異の詳細項目		
非課税収益/損金不算入費用	-36	2
劣後負債利息の損金不算入額	-515	-583
非課税のキャピタルゲイン及び受取配当	2,584	941
子会社株式の減損	-446	-314
その他	37	-2
合計	1,624	44

繰延税金資産、2024年

百万スウェーデン・クローネ	期首残高	損益計算書 に計上	その他包括 利益に計上	相殺	期末残高
年金	291	113			404
その他	422	-239			183
相殺	-339			-89	-428
合計	374	-126		-89	159

繰延税金負債、2024年

百万スウェーデン・クローネ	期首残高	損益計算書 に計上	その他包括 利益に計上	相殺	期末残高
不動産及び器具備品	9	1	0		10
ヘッジ手段	593		-159		434
その他	73	-35			38
相殺	-339			-89	-428
合計	336	-35	-159	-89	54

繰延税金資産、2023年

百万スウェーデン・クローネ	期首残高	損益計算書 に計上	その他包括 利益に計上	相殺	期末残高
年金	304	-13			291
その他	313	109			422
相殺				-339	-339
合計	617	96		-339	374

繰延税金負債、2023年

百万スウェーデン・クローネ	期首残高	損益計算書 に計上	その他包括 利益に計上	相殺	期末残高
不動産及び器具備品	11	-2			9
ヘッジ手段	915		-322		593
その他	267	-204	10		73
相殺				-339	-339
合計	1,193	-206	-312	-339	336

未認識の繰延税金資産及び欠損金

繰越欠損金及びその他の将来減算一時差異に係る繰延税金資産は、予見可能な将来に利用できる可能性が高い場合に限り認識される。

国外支店における繰越欠損金の税務上適用可能な年数は5年に限定されており、その金額は50百万スウェーデン・クローネ(SEK)である。なお、当該繰越欠損金については本店所在地国においても課税されているため、その価値はゼロである。

注記P30 引当金**引当金、2024年**

百万スウェーデン・クローネ	オフバランスシート 項目に対する 予想信用損失			合計
	引当金 ¹⁾	リストラクチャリ ングに係る引当金 ²⁾	その他引当金 ³⁾	
期首現在引当金	292	22	310	624
当期の引当金繰入			154	154
取崩		-5	-156	-161
戻入			-29	-29
予想信用損失の変動（純額）	-165			-165
期末現在引当金	127	17	279	423

引当金、2023年

百万スウェーデン・クローネ	オフバランスシート 項目に対する 予想信用損失			合計
	引当金 ¹⁾	リストラクチャリ ングに係る引当金 ²⁾	その他引当金 ³⁾	
期首現在引当金	283	158	204	646
当期の引当金繰入			191	191
取崩		-136	-57	-193
戻入			-28	-28
予想信用損失の変動（純額）	9			9
期末現在引当金	292	22	310	624

1) 詳細は、注記P10及びP39を参照のこと。

2) リストラクチャリングに係る引当金は当行のリストラクチャリングに関連する費用である。

3) 当行に対する債権の決済に将来必要になることが予想される金額は、その他引当金として表示されている。

注記P31 その他負債

百万スウェーデン・クローネ	2024年	2023年
投資銀行業務の決済に係る負債	2,847	5,090
その他	7,945	6,285
合計	10,792	11,374

注記P32 未払費用及び繰延収益

百万スウェーデン・クローネ	2024年	2023年
未払費用	1,477	1,444
繰延収益	593	955
合計	2,070	2,399

注記P33 劣後負債**劣後負債の変動**

百万スウェーデン・クローネ	2024年	2023年
期首現在劣後負債	43,117	42,404
発行済	5,673	8,753
満期が到来したもの	-13,369	-8,326
外貨換算影響額等	1,633	286
期末現在劣後負債	37,054	43,117

平均残高

百万スウェーデン・クローネ	2024年	2023年
劣後負債（外貨建て）	35,603	42,200

劣後負債、内訳

発行年	満期	当初満期日	最初の償還 可能日	通貨	各通貨別の 当初額面 金額	転換/ 非転換	金利、%	残高
2020年	永久 ^{1),2)}		2027年 3月1日	米ドル	500	転換 ³⁾	4.375	5,229
2020年	永久 ^{1),2)}		2031年 3月1日	米ドル	500	転換 ³⁾	4.750	4,584
2022年	期限付 ⁴⁾	2033年 6月1日	2028年 6月1日	ユーロ	500	非転換	3.250	5,748
2022年	期限付 ⁴⁾	2032年 8月23日	2027年 8月23日	英ポンド	500	非転換	4.625	6,722
2023年	期限付 ⁴⁾	2034年 8月16日	2029年 8月16日	ユーロ	750	非転換	5.000	9,053
2024年	期限付 ⁴⁾	2036年 11月4日	2031年 11月4日	ユーロ	500	非転換	3.625	5,718
合計								37,054

1) 普通株式を除くすべての金融商品に劣後し、次に上位にあるのが期限付劣後債務である。

2) 最初の償還日以降、金利決定日毎に償還することができる。

3) スヴェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビーの普通株式等Tier 1比率が5.125%を下回った場合、又は連結ベースの普通株式等Tier1比率が8.0%を下回った場合には、当該債務はスヴェンスカ・ハンデルスバンケンの普通株式に転換される。

4) すべての上位債務に劣後する。

注記P34 非課税剰余金

百万スウェーデン・クローネ	2024年	2023年
器具備品及びリース資産の加速減価償却累計額	531	867
合計	531	867

注記P35 持分変動の内訳**ヘッジ準備金の変動**

百万スウェーデン・クローネ	2024年	2023年
期首ヘッジ準備金	2,284	3,531

キャッシュフロー・ヘッジ**公正価値変動の有効部分**

金利リスク	-592	-1,165
為替リスク	-96	-299
損益計算書への振替額 ¹⁾	-79	-106
法人税	158	324
期末ヘッジ準備金	1,675	2,284

公正価値評価差額準備金の変動

百万スウェーデン・クローネ	2024年	2023年
期首公正価値評価差額準備金	197	126
未実現評価差額－資本性金融商品	159	51
実現評価差額－資本性金融商品	3	0
未実現評価差額－負債性金融商品	5	19
予想信用損失引当金の変動－負債性金融商品	0	0
損益計算書への振替額－資本性金融商品 ²⁾	-3	0
損益計算書への振替額－負債性金融商品 ³⁾	0	0
期末公正価値評価差額準備金	361	197

為替換算調整準備金の変動

百万スウェーデン・クローネ	2024年	2023年
期首為替換算調整準備金	761	1,847
為替換算差額の変動	282	-811
損益計算書への振替額 ⁴⁾	0	9
利益準備金への振替額 ⁵⁾	-570	-284
期末為替換算調整準備金	473	761

1) 本項目に係る税金16(22)百万スウェーデン・クローネは、損益計算書に振り替えられている。

2) 本項目に係る税金 -(0)百万スウェーデン・クローネは、利益剰余金に振り替えられている。

3) 本項目に係る税金0(0)百万スウェーデン・クローネは、損益計算書に振り替えられている。

- 4) 本項目に係る税金0(-2)百万スウェーデン・クローネは、損益計算書に振り替えられている。
- 5) 本項目に係る税金8(19)百万スウェーデン・クローネは、利益剰余金に振り替えられている。

注記P36 金融資産及び負債の分類

2024年	純損益を通じて公正価値で計上						
	強制	公正価値 オプション	ヘッジ手段 として 特定された デリバティブ	その他包括 利益を通じ て公正価値 で測定	償却原価	帳簿価額 合計	公正価値
百万スウェーデン・ク ローネ							
資産							
現金及び中央銀行 預け金					404,237	404,237	404,237
中央銀行への担保とし て適格な利付証券	4,862	167,745				172,606	172,606
金融機関への貸出金	18,045				978,872	996,917	996,629
一般顧客への貸出金					524,171	524,171	520,796
ポートフォリオ・ヘッ ジにおける金利ヘッ ジ対象の価値変動					-6,399	-6,399	
債券及びその他の利付 証券	16,389	23,920		13,259		53,569	53,569
株式	8,258			694		8,952	8,952
顧客が価値変動リスク を負う資産	2,087					2,087	2,087
デリバティブ商品	34,946		17,740			52,686	52,686
その他資産	13				18,084	18,097	18,097
合計	84,599	191,665	17,740	13,954	1,918,965	2,226,924	2,229,660
子会社株式並びに関連 会社及びジョイン ト・ベンチャーに対 する投資						67,591	
非金融資産						10,539	
資産合計						2,305,053	
負債							
金融機関からの預り金					169,394	169,394	169,459
一般顧客からの預金及 び借入金					1,050,029	1,050,028	1,049,999
顧客が価値変動リスク を負う負債		2,087				2,087	2,087
発行済証券	614				840,253	840,866	841,682
デリバティブ商品	29,088		1,225			30,312	30,312
ショートポジション	1,007					1,007	1,007
その他負債	12				10,780	10,792	10,790
劣後負債					37,054	37,054	38,263
合計	30,721	2,087	1,225		2,107,510	2,141,540	2,143,599
非金融負債						2,792	
負債合計						2,144,332	

2023年	純損益を通じて公正価値で計上				償却原価	帳簿価額 合計	公正価値
	強制	公正価値 オプション	ヘッジ手段 として 特定された デリバティブ	その他包括 利益を通じ て公正価値 で測定			
百万スウェーデン・ク ローネ							
資産							
現金及び中央銀行 預け金					362,536	362,536	362,536
中央銀行への担保とし て適格な利付証券	3,534	195,594				199,128	199,128
金融機関への貸出金	22,079				985,913	1,007,992	1,007,967
一般顧客への貸出金					600,997	600,997	600,369
ポートフォリオ・ヘッ ジにおける金利ヘッ ジ対象の価値変動					-9,657	-9,657	
債券及びその他の利付 証券	14,255	23,827		12,709		50,791	50,791
株式	5,669			501		6,170	6,170
顧客が価値変動リスク を負う資産	1,871				78	1,948	1,948
デリバティブ商品	29,183		9,836			39,019	39,019
その他資産	27				20,762	20,789	20,789
合計	76,618	219,421	9,836	13,210	1,960,629	2,279,713	2,288,717
子会社株式並びに関連 会社及びジョイン ト・ベンチャーに対 する投資						68,986	
非金融資産						11,645	
資産合計						2,360,344	
負債							
金融機関からの預り金					176,143	176,143	176,307
一般顧客からの預金及 び借入金					1,109,471	1,109,471	1,109,002
顧客が価値変動リスク を負う負債		1,871			78	1,948	1,948
発行済証券	1,506				804,661	806,167	806,692
デリバティブ商品	39,781		6,489			46,269	46,269
ショートポジション	2,364					2,364	2,364
その他負債	27				11,347	11,374	11,374
劣後負債					43,117	43,117	43,227
合計	43,678	1,871	6,489		2,144,817	2,196,853	2,197,183
非金融負債						4,193	
負債合計						2,201,046	

注記P37 金融商品の公正価値測定**公正価値で計上される金融商品、2024年**

百万スウェーデン・クローネ	レベル1	レベル2	レベル3	合計
資産				
中央銀行への担保として適格な利付証券				
純損益を通じて公正価値で測定（強制）	4,778	84		4,862
純損益を通じて公正価値で測定（公正価値オプション）	167,745			167,745
その他包括利益を通じて公正価値で測定				
金融機関への貸出金		18,045		18,045
債券及びその他の利付証券				
純損益を通じて公正価値で測定（強制）	15,671	719		16,389
純損益を通じて公正価値で測定（公正価値オプション）	23,920			23,920
その他包括利益を通じて公正価値で測定	11,752	1,507		13,259
株式				
純損益を通じて公正価値で測定（強制）	7,671	586		8,258
その他包括利益を通じて公正価値で測定	439	94	161	694
顧客が価値変動リスクを負う資産	2,069		17	2,087
デリバティブ商品	52	52,634		52,686
合計	234,097	73,669	179	307,945
負債				
顧客が価値変動リスクを負う負債	2,069		17	2,087
発行済証券		614		614
デリバティブ商品	39	30,272		30,312
ショートポジション	992	15		1,007
合計	3,101	30,901	17	34,020

公正価値で計上される金融商品、2023年

百万スウェーデン・クローネ	レベル1	レベル2	レベル3	合計
資産				
中央銀行への担保として適格な利付証券				
純損益を通じて公正価値で測定（強制）	3,498	36		3,534
純損益を通じて公正価値で測定（公正価値オプション）	195,594			195,594
その他包括利益を通じて公正価値で測定				
金融機関への貸出金		22,079		22,079
債券及びその他の利付証券				
純損益を通じて公正価値で測定（強制）	13,950	305		14,255
純損益を通じて公正価値で測定（公正価値オプション）	23,827			23,827
その他包括利益を通じて公正価値で測定	11,158	1,551		12,709
株式				
純損益を通じて公正価値で測定（強制）	5,166	503		5,669
その他包括利益を通じて公正価値で測定	210	135	156	501
顧客が価値変動リスクを負う資産	1,794		77	1,871
デリバティブ商品	92	38,925	2	39,019
合計	255,289	63,534	235	319,058
負債				
顧客が価値変動リスクを負う負債	1,794		77	1,871
発行済証券		1,506		1,506
デリバティブ商品	47	46,221	2	46,269
ショートポジション	2,364			2,364
合計	4,205	47,727	79	52,010

適用される原則は注記G42に記載されている。

レベル3の保有金融商品の変動、2024年

百万スウェーデン・クローネ	株式	デリバティブ 資産	デリバティブ 負債	顧客が価値 変動リスクを 負う資産	顧客が価値 変動リスクを 負う負債
期首現在帳簿価額	156	2	-2	77	-77
取得					
買戻/売却	-5				
満期が到来したもの					
未実現評価差額（損益計算書に 計上）	-3	-2	2	-60	60
未実現評価差額(その他包括利益 に計上)	13				
レベル1又は2からの振替					
レベル1又は2への振替					
期末現在帳簿価額	161	0	0	17	-17

レベル3の保有金融商品の変動、2023年

百万スウェーデン・クローネ	株式	デリバティブ 資産	デリバティブ 負債	顧客が価値 変動リスクを 負う資産	顧客が価値 変動リスクを 負う負債
期首現在帳簿価額	152	39	-39	525	-525
取得					
買戻/売却					
満期が到来したもの					
未実現評価差額（損益計算書に 計上）	4	0	0	-448	448
未実現評価差額(その他包括利益 に計上)					
レベル1又は2からの振替					
レベル1又は2への振替		-37	37		
期末現在帳簿価額	156	2	-2	77	-77

観察不能なインプットの変動により、レベル3の保有金融商品の測定値が大幅に上昇することも低下することもないとみなされることから、感応度分析は表示されていない。

償却原価で計上される金融商品の公正価値、2024年

百万スウェーデン・クローネ	レベル1	レベル2	レベル3	合計
資産				
現金及び中央銀行預け金	404,237			404,237
金融機関への貸出金	16,802	961,420	362	978,584
一般顧客への貸出金	27,977	1,137	491,681	520,795
顧客が価値変動リスクを負う資産				
合計	449,016	962,557	492,043	1,903,616
負債				
金融機関からの預り金	39,763	129,695		169,458
一般顧客からの預金及び借入金	1,042,371	7,628		1,049,999
顧客が価値変動リスクを負う負債				
発行済証券	243,710	597,359		841,069
劣後負債		38,263		38,263
合計	1,325,844	772,945		2,098,789

償却原価で計上される金融商品の公正価値、2023年

百万スウェーデン・クローネ	レベル1	レベル2	レベル3	合計
資産				
現金及び中央銀行預け金	362,536			362,536
金融機関への貸出金	36,854	948,676	358	985,888
一般顧客への貸出金	42,262	828	557,279	600,369
顧客が価値変動リスクを負う資産	78			78
合計	441,730	949,504	557,637	1,948,871
負債				
金融機関からの預り金	31,857	144,449		176,307
一般顧客からの預金及び借入金	1,101,553	7,449		1,109,002
顧客が価値変動リスクを負う負債	78			78
発行済証券	194,404	610,782		805,186
劣後負債		43,227		43,227
合計	1,327,892	805,907		2,133,800

注記P38 担保として差し入れた資産、受け入れた担保及び譲渡金融資産**自己の負債の担保として差し入れた資産**

百万スウェーデン・クローネ	2024年	2023年
現金	6,961	20,707
国債及び債券	2,401	5,691
株式	129	143
顧客が価値変動リスクを負う資産	17	
その他	779	737
合計	10,287	27,278
うち、当行の裁量で取り下げ可能な担保資産	15	18

その他担保資産

百万スウェーデン・クローネ	2024年	2023年
現金	256	239
国債及び債券	87,535	63,619
株式	2,546	4,411
その他	508	399
合計	90,845	68,667
うち、当行の裁量で取り下げ可能な担保資産	77,724	52,056

その他担保資産は、貸借対照表に計上されていない債務に対して差し入れた担保のことである。

受け入れた担保

売戻契約及び証券貸付に関して、当行グループは、第三者に売却又は再担保として差し入れ可能な資産を受け入れている。この種類の受け入れた資産の公正価値は、当年度末現在において、45,637(46,389)百万スウェーデン・クローネで、第三者に売却又は再担保として差し入れられた資産の価値は、9,250(15,721)百万スウェーデン・クローネであった。

貸借対照表に計上されている譲渡金融資産

百万スウェーデン・クローネ	2024年		2023年	
	帳簿価額	関連する負債の 帳簿価額	帳簿価額	関連する負債 の帳簿価額
株式、証券貸付	2,674	106 ¹⁾	4,237	112 ¹⁾
国債及び債券、買戻契約	1,077	0	4,464	2
顧客が価値変動リスクを負う資産	17	17	159	159
合計	3,768	123	8,860	273

1) 現金で受領した担保

注記P39 偶発債務

百万スウェーデン・クローネ	2024年	2023年
保証等		

保証、貸出金	15,898	15,688
保証、その他	51,333	52,885
取消不能信用状	665	203
その他	455	
合計	68,351	68,775
うち、減損テスト対象となるもの	68,352	68,775

コミットメント

ローン・コミットメント	291,399	284,120
当座貸越枠の未使用部分	97,846	96,781
その他 ¹⁾	290,587	273,912
合計	679,832	654,813
うち、減損テストの対象となるもの	511,478	488,824
偶発債務合計	748,183	723,588

引当金として計上される予想信用損失引当金（注記P30参照）	127	292

1) 「その他」には、子会社に対する流動性の内部保証282,918(260,581)百万スウェーデン・クローネが含まれている。

保証等

保証等は、主に様々な種類の保証で構成されている。信用保証は、他の信用機関及び年金機関の債務を保証するために顧客に提供される。その他の保証は、主として入札保証金、前払金に関する保証、保証期間中の保証及び輸出関連の保証等の商業保証である。保証等には、未使用の取消不能輸入信用状及び確認輸出信用状も含まれる。これらの取引は当行のサービスに含まれるもので、当行の顧客を支援するために提供されている。この表には保証額が示されている。

請求

当行グループ内の会社は、多くの民事裁判において一般法による請求を受けている。当行のポーランド事業はスイス・フラン建及びユーロ建のモーゲージ・ポートフォリオを保有しており、年度末時点での残高は総額約1億スウェーデン・クローネとなっている。外貨での様々な信用条件の適用にすることがポーランドの法律上未確定であり、当該法律の動向によっては当行のポーランド事業における特定の契約条件が適用不可となり、一部の顧客に対して賠償の支払いが生じる可能性がある。当行への潜在的な財務上の影響や、諸般の結果の見込みを見積もることが現時点では実務上不可能であるため、偶発債務に関する開示は行っていない。

その他の裁判は、基本的に当行グループに有利に解決されると見込まれている。係争金額は当行グループの財政状態にも損益にも重要な影響を及ぼさないと評価されており、偶発債務に関する開示は行っていない。

注記P40 年金債務

百万スウェーデン・クローネ	2024年	2023年
制度資産の公正価値	34,475	33,580
年金債務	30,028	29,377
正味年金¹⁾	4,447	4,203

1) 正味年金がマイナスの場合にPensionskassan SHB Tjänstepensionsföreningの剰余金を親会社の年金債務の補填に使用可能であること、及び債務の一部が条件付債務であることから、赤字分は貸借対照表に負債として計上されていない。当行の年金基金(Pensionskassan SHB, Tjänstepensionsförening)における年金債務は、7,494(7,000)百万スウェーデン・クローネであり、年金資産の市場価値は16,718(16,323)百万スウェーデン・クローネである。したがってPensionskassan SHB, Tjänstepensionsföreningにおける剰余金は、9,224(9,324)百万スウェーデン・クローネである。

制度資産は、スヴェンスカ・ハンデルスバンケンPensionsstiftelseのほか、国外の年金債務に関する制度資産は類似する法人が保有している。年金債務は、スウェーデン金融監督庁の規定に従って算定されている。スウェーデンの年金債務は年金債務保護法に従って算定され、国外の年金債務は現地の規則に従って算定される。

スヴェンスカ・ハンデルスバンケンPensionsstiftelseの制度資産の公正価値のうち、6,666(7,355)百万スウェーデン・クローネは、1989年から2004年にかけて特例付加年金（以下、「SKP」という。）に対して計上された引当金である。当該債務には、制度資産の公正価値と同額のSKPに関する債務が含まれている。

この債務のうち、5,150(5,650)百万スウェーデン・クローネは条件付債務である。

年金費用

百万スウェーデン・クローネ	2024年	2023年
年金支払額	-1,813	-1,600
年金保険料	-840	-667
社会保障費	-376	-276
年金信託からの報酬	762	720
年金費用合計	-2,267	-1,823

確定給付年金制度の翌年度の支払予定額は、1,200百万スウェーデン・クローネである。年金保険料費用には、BTPK制度（確定拠出年金制度）への保険料141(147)百万スウェーデン・クローネが含まれている。

制度資産

百万スウェーデン・クローネ	2024年	2023年
期首残高	33,580	31,667
運用収益	1,657	2,633
年金基金からの補償	-762	-720
期末残高	34,475	33,580

制度資産の収益率	5%	8%

年金債務

百万スウェーデン・クローネ	2024年	2023年

期首残高	29,377	31,616
管理手数料	784	792
利息	649	367
指数化 ¹⁾	1,293	2,361
早期退職	32	230
年金支払額	-1,778	-1,633
仮定の変更 ²⁾	-97	-4,671
条件付債務の価値変動	432	622
元本価値のその他の変動	-664	-307
期末残高	30,028	29,377

1) 2023年1月1日時点において10.84%であった指数が、2024年1月1日時点では6.48%に引き下げられたことにより、年金のヘッジ効果が減少している。

2) 仮定の変更に係る減少は、2024年における変更前の割引率に比較して2023年の割引率が高かったことが主な要因となっている。

制度資産の配分

百万スウェーデン・クローネ	2024年	2023年
株式及びミューチュアル・ファンド・ユニット ¹⁾	32,937	31,919
利付証券	1,409	1,499
その他制度資産 ²⁾	129	162
合計	34,475	33,580

1) ミューチュアル・ファンド・ユニットは主に債券ファンドに投資されており、金額は20,898(20,270)百万スウェーデン・クローネに上る。

2) その他制度資産には現金及び現金同等物と年金基金からの未払報酬に関する負債が含まれている。

2020年3月1日以降、すべての新入社員及び25歳未満の従業員は確定拠出年金制度の対象である。

2020年3月1日より前に雇用された従業員はこの影響を受けず、引き続きスウェーデン銀行雇用主協会（以下、「BAO」という。）とスウェーデン金融セクター組合/スウェーデン専門職連盟（以下、「Saco」という。）との年金契約に含まれる確定給付年金制度の対象となっている。65歳から支給される退職年金の額は、所得基準額7.5までは年収の10%、所得基準額が7.5から20の給与部分については65%、所得基準額が20から30の給与部分については32.5%である。所得基準額が30を上回る給与部分については、退職年金は支給されない。

スウェーデンの年金債務の価値は、年金債務保護法の規定に準拠した年金数理計算に基づいて、貸借対照表日現在で計算される。スウェーデンにおいて最も重要な算定上の仮定は死亡率及び割引率である。割引率は、税金及び一般管理費用控除後で1.8(1.8)%である。

国外の年金債務は現地の会計処理上の規定に則って算定されている。

注記P41 通貨別資産及び負債

2024年 百万スウェーデン・クローネ	スウェー デン・ クローネ	ユーロ	ノルウェー・ クローネ	英ポンド	米ドル	その他の 通貨	合計
資産							
現金及び中央銀行預け金	63,478	203,777	4,160	0	132,799	23	404,238
金融機関への貸出金	767,895	54,290	103,585	67,840	3,090	218	996,917
一般顧客への貸出金	147,696	184,436	178,195	4,556	6,889	2,399	524,171
うち、法人	127,518	121,090	149,366	4,555	6,730	1,498	410,757
うち、個人	18,631	63,346	28,829	1	160	901	111,867
中央銀行への担保として適格 な利付証券	152,122	8,971	74		11,440		172,606
債券及びその他の利付証券	40,114	555	12,900		0		53,569
その他項目（通貨別内訳 なし）	153,552						153,552
資産合計	1,324,855	452,029	298,915	72,396	154,218	2,640	2,305,053
負債							
金融機関からの預り金	31,862	54,230	36,262	41,027	5,331	682	169,394
一般顧客からの預金及び 借入金	825,810	97,993	103,480	2,829	16,438	3,478	1,050,028
うち、法人	348,126	84,749	57,649	2,263	14,282	2,771	509,840
うち、個人	477,684	13,244	45,831	566	2,156	707	540,188
発行済証券	3,487	353,013	47	5,637	456,621	22,062	840,866
劣後負債		20,519		6,722	9,814		37,054
その他項目（通貨別内訳な し、資本含む）	207,710						207,710
負債及び資本合計	1,068,869	525,754	139,789	56,215	488,204	26,222	2,305,053
通貨別その他資産及び負債、 純額		73,752	-159,117	-16,205	334,007	23,582	
正味外貨ポジション		27	8	-23	21	1	33

注記G2に、為替リスクに関する当行の見解が記載されている。

2023年 百万スウェーデン・クローネ	スウェー デン・ クローネ	ユーロ	ノルウェー・ クローネ	英ポンド	米ドル	その他の 通貨	合計
資産							
現金及び中央銀行預け金	67,895	128,820	4,776	0	160,935	109	362,536
金融機関への貸出金	740,864	98,670	77,867	87,385	2,859	347	1,007,992
一般顧客への貸出金	169,249	222,221	192,392	5,383	8,753	2,999	600,997
うち、法人	142,718	139,758	166,117	5,331	8,594	1,945	464,463
うち、個人	19,783	82,463	26,275	52	159	1,053	129,785
中央銀行への担保として適格 な利付証券	181,752	7,561	36		9,778	1	199,128
債券及びその他の利付証券	37,572	486	12,223		509		50,791
その他項目（通貨別内訳 なし）	138,900						138,900
資産合計	1,336,232	457,758	287,294	92,768	182,835	3,456	2,360,344

負債

金融機関からの預り金	26,542	54,242	25,438	58,238	11,103	580	176,143
一般顧客からの預金及び 借入金	829,905	140,722	110,182	5,153	20,062	3,449	1,109,471
うち、法人	351,212	112,056	75,816	4,535	17,668	2,677	563,964
うち、個人	478,693	28,666	34,366	618	2,394	771	545,508
発行済証券	3,767	310,003	0	10,604	459,581	22,211	806,167
劣後負債	0	22,740		6,258	14,120		43,117
その他項目（通貨別内訳な し、資本含む）	225,445						225,445
負債及び資本合計	1,085,659	527,707	135,619	80,253	504,865	26,240	2,360,344

通貨別その他資産及び負債、 純額		69,794	-151,632	-12,536	322,019	22,856	
正味外貨ポジション		-155	43	-21	-11	72	-72

注記P42 関連当事者に関する開示**関連当事者に対する債権及び債務**

	子会社		関連会社及び ジョイント・ベンチャー		その他関連当事者	
	2024年	2023年	2024年	2023年	2024年	2023年
百万スウェーデン・クローネ						
金融機関への貸出金	965,998	959,034				
一般顧客への貸出金		1,142	434	334		
デリバティブ	5,617	8,909				
その他資産	9,020	13,361	23	30	8	13
合計	980,635	982,446	457	364	8	13
金融機関からの預り金	84,975	85,791				
一般顧客からの預金及び借入金	18,726	20,145	919	311	1,214	1,159
デリバティブ	14,356	12,060				
その他負債	98	83				
合計	118,155	118,079	919	311	1,214	1,159
偶発債務	295,867	272,990			7,494	7,000
デリバティブ、想定元本	461,984	438,479				

関連当事者 — 収益及び費用

	子会社		関連会社及び ジョイント・ベンチャー		その他関連当事者	
	2024年	2023年	2024年	2023年	2024年	2023年
百万スウェーデン・クローネ						
利息収益	34,559	28,525	19	22		
利息費用	-4,842	-5,129	-10	-3	-163	-149
手数料及びコミッション収益			1	1		

手数料及びコミッション費用			-202	-223		
その他収益	3,673	3,566			19	18
その他費用	-410	-452	-205	-177		
合計	32,980	26,510	-397	-380	-144	-131

注記P17には、子会社及び関連会社に関する情報が記載されている。関連会社及びジョイント・ベンチャーの業務は、金融市場関連の様々なサービスより構成される。スウェンスカ・ハンデルスバンケン Pensionsstiftelse（年金基金）、スウェンスカ・ハンデルスバンケン Personalstiftelse（従業員基金）及び Pensionskassan SHB, Tjänstepensionsförening（年金ファンド）の各社は、その他関連当事者グループを構成している。これらの会社は通常の銀行業務及び会計業務に関して、スウェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビーを利用している。当行グループ及び関連会社に対する株主の拠出に関する情報は、注記P17に開示されている。

子会社従業員に対する年金ファンドの債務は親会社によって保証されているため、年金ファンドが債務を支払えない場合には、親会社がその債務を引き受けて支払義務を負う。この年金ファンドの債務は、7,494 (7,000)百万スウェーデン・クローネであった。スウェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビーは、スウェンスカ・ハンデルスバンケン Pensionsstiftelseに対し、年金費用の762(720)百万スウェーデン・クローネを請求し、スウェンスカ・ハンデルスバンケン Personalstiftelseからは、従業員のための給付費用として28(44)百万スウェーデン・クローネが請求された。

執行役員への貸出金及び条件並びに執行役員に対するその他の報酬に関する情報については、注記G8に記載されている。

注記P43 利益処分案

取締役会は、一株当たり15.00スウェーデン・クローネ、うち普通株式に対しては7.50スウェーデン・クローネ(2023年度は一株当たり13.00スウェーデン・クローネ、うち普通株式に対しては6.50スウェーデン・クローネ)の配当金を提案している。取締役会の利益処分案は、58ページ（訳注：原文のページ番号である。）に記載されている。

注記P44 株式情報

株式のクラス

2024年12月31日	株式数	資本の割合 %	議決権の割合 %	株式資本	1株当たりの 価値
クラスA	1,944,777,165	98.22	99.82	3,014,404,606	1.55
クラスB	35,251,329	1.78	0.18	54,639,560	1.55
	1,980,028,494	100.00	100.00	3,069,044,166	

注記P45 重要な後発事象

貸借対照表日後に重要な後発事象はなかった。

注記P46 売却目的で保有する資産及び負債

当行のフィンランドにおける事業に係る資産及び負債は、IFRS第5号に従い「売却目的で保有する資産及び負債」を構成し、2つの異なる処分グループに帰属している。2024年度第3四半期に、フィンランドの中小企業向け事業を含む1つ目の処分グループの一部がOma Sparbank Abpに売却された。1つ目の処分グループの残りの事業部分である個人顧客を対象とした資産運用及び投資サービス事業並びに生命保険事業は、2024年度第4四半期にS-banken Abp及び保険会社であるFennia Liv.に売却された。フィンランドにおける事業のうち、1つ目の処分グループを除いた部分が2つ目の処分グループに該当する。処分グループ及び非継続事業に含まれるフィンランドのユニットは、ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクトのフィンランド支店及びHandelsbanken Asuntoluottopankki(スタッドフィポテックABプブリクトのフィンランド支店)である。

売却目的で保有する資産及び負債

百万スウェーデン・クローネ	2024年	2023年
資産		
現金及び中央銀行預け金	14	10
中央銀行へのその他貸出金		25,863
その他金融機関への貸出金	1	3
一般顧客への貸出金	44,267	82,633
うち、個人	792	22,325
うち、法人	43,475	60,307
無形資産	37	66
不動産及び器具備品	6	18
その他	2,645	135
合計	46,969	108,727
負債		
金融機関からの預り金	247	980
一般顧客からの預金及び借入金	9,742	51,556
うち、個人	236	17,434
うち、法人	9,507	34,122
顧客が価値変動リスクを負う負債		
引当金	182	187
その他	268	968
合計	10,440	53,692

為替換算調整準備金には、フィンランドで売却目的で保有する資産及び負債の為替換算に係る累計額443(832)百万スウェーデン・クローネが含まれる。「持分変動計算書(当行グループ)」を参照のこと。

売却費用控除後の公正価値と帳簿価額のうち低い金額で測定した結果、各処分グループに減損は生じていなかった。

非継続事業**非継続事業からの収益、費用及び利益****フィンランド**

百万スウェーデン・クローネ	2024年	2023年
純利息収益	3,169	3,504
純手数料及びコミッション収益	306	324
金融取引による純損益	15	29
保険事業による純損益		
その他収益	4	9
収益合計	3,493	3,866
人件費	-779	-830
その他費用	-623	-510
不動産及び器具備品並びに無形資産の減価償却費、償却費及び減損費用	-39	-35
費用合計	-1,440	-1,375
正味信用損失	54	44
不動産及び器具備品並びに無形資産の処分損益	-1	-1
規制関連費用	-102	-70
フィンランド事業からの税引前当期利益	2,004	2,464
法人税等	-79	-81
フィンランド事業からの税引後当期利益	1,925	2,384
非継続事業に起因するその他費用 ¹⁾	-11	-73
法人税等	2	15
追加的費用を含む非継続事業からの税引後当期利益	1,916	2,326
非継続事業を構成する処分グループの売却に係るキャピタルゲイン（税引前）	-131	
法人税等	26	
キャピタルゲイン（税引後）	-105	
非継続事業からの税引後当期利益	1,811	2,326

上記の損益計算書上消去されている、継続事業との間の重要な内部取引²⁾

収益	-12	0
費用	-117	-115

1) スウェーデンにおいて、非継続事業の売却にともない、事業の廃止に関連する要件に基づく一定の費用が生じている。これには、コンサルタント料や弁護士費用などが含まれる。

2) 継続事業及び非継続事業双方からの当期純利益には、外部収益及び費用のみが含まれている。非継続事業は継続事業との重要な内部取引を有していることから、会計上除外されている。フィンランドの非継続事業とグループ・トレジャリー部間の純利息収益に関連する

内部取引の消去について調整を行っているため、内部利息収益及び内部利息費用は継続事業及び非継続事業に含められて表示されている。

非継続事業からのキャッシュ・フロー

百万スウェーデン・クローネ	2024年	2023年
営業活動からのキャッシュ・フロー	-2,168	3
投資活動からのキャッシュ・フロー	2,172	-8
非継続事業からの当期キャッシュ・フロー	4	-4

注記P47 自己資本比率

EU KM1 — 主要指標

主要指標		2024年	2023年
利用可能な自己資本（金額）			
1	普通株式等Tier1 資本	123,977	125,618
2	Tier1 資本	134,928	140,644
3	資本合計	161,824	168,123
リスク加重エクスポージャー額			
4	リスク加重エクスポージャー合計額	394,451	421,681
自己資本比率（リスク加重エクスポージャー額に対する割合）			
5	普通株式等Tier1 資本比率(%)	31.4	29.8
6	Tier1 資本比率(%)	34.2	33.4
7	総自己資本比率(%)	41.0	39.9
過大レバレッジリスク以外のリスクに対処するための追加所要自己資本（リスク加重エクスポージャー額に対する割合）			
EU7a	過大レバレッジリスク以外のリスクに対処するための追加所要自己資本(%)	1.2	1.2
EU7b	うち、CET1 資本の割合(パーセンテージ・ポイント)	0.7	0.7
EU7c	うち、Tier1 資本の割合(パーセンテージ・ポイント)	0.9	0.9
EU7d	SREPに基づく所要自己資本合計(%)	9.2	9.2
結合バッファー要件（リスク加重エクスポージャー額に対する割合）			
8	資本保全バッファー(%)	2.5	2.5
EU8a	加盟国単位で特定されたマクロ・プルーデンスのリスク又はシステムミック・リスクに対する保全バッファー(%)		
9	金融機関固有のカウンターシクリカル資本バッファー(%)	2.0	1.9
EU9a	システムミック・リスク・バッファー(%)		
10	グローバルにシステム上重要な金融機関バッファー(%)		
EU10a	その他の金融システム上重要な金融機関バッファー(%)		
11	結合バッファー要件(%)	4.5	4.4
EU11a	所要自己資本合計(%)	13.7	13.6
12	SREPに基づく所要自己資本合計充足後の利用可能なCET1 (%)	26.2	24.6
レバレッジ比率			
13	総エクスポージャーの額	1,544,065	1,609,855
14	レバレッジ比率(%)	8.7	8.7
過大レバレッジリスクに対処するための追加所要自己資本（エクスポージャー合計額に対する割合）			
EU14a	過大レバレッジリスクに対処するための追加所要自己資本(%)		
EU14b	うち、CET1 資本の割合(パーセンテージ・ポイント)		
EU14c	SREPに基づくレバレッジ比率要件(%)	3.0	3.0
EU14d	レバレッジ比率バッファー要件(%)		
EU14e	レバレッジ比率要件合計(%)	3.0	3.0
流動性カバレッジ比率			
15	高品質な流動資産(HQLA) 合計(加重平均)	842,356	790,916
EU16a	資金流出額(加重平均)	578,624	595,524
EU16b	資金流入額(加重平均)	154,650	174,788
16	純資金流出額(調整額)	423,974	420,736

17	流動性カバレッジ比率(%)	201.6	192
	安定調達比率		
18	利用可能な安定調達資金	1,306,165	1,320,193
19	所要安定調達額	1,159,673	1,211,510
20	NSFR(%)	112.6	109

EU 0V1 ― リスク加重エクスポージャー合計額の概要

下表は、2024年度末及び前年度末における信用リスク、カウンターパーティ・リスク、市場リスク及びオペレーショナル・リスクのリスク加重エクスポージャー額（RWA）を表したものである。信用リスクは、標準的手法、基礎的IRB手法、先進的IRB手法により算出される。市場リスク及びオペレーショナル・リスクは標準的手法により算出される。

		リスク加重エクスポージャー合計額 (TREA)		最低所要自己資本 合計
百万スウェーデン・クローネ		2024年	2023年	2024年
1	信用リスク（カウンターパーティ信用リスク(CCR)を除く）	327,669	359,282	26,214
2	うち、標準的手法	145,115	148,672	11,609
3	うち、基礎的IRB手法(F-IRB)	45,550	47,163	3,644
4	うち、スロットティング方式			
EU4a	うち、簡便なリスク加重手法に基づく株式	2,905	2,182	232
5	うち、先進的IRB手法(A-IRB)	106,076	139,864	8,486
5a	うち、リスク加重フロア	28,023	21,401	2,243
6	カウンターパーティ信用リスク(CCR)	10,980	11,827	878
7	うち、標準的手法	8,189	8,507	655
8	うち、内部モデル方式(IMM)			
EU8a	うち、CCPに対するエクスポージャー	266	268	21
EU8b	うち、信用評価調整 - CVA	2,127	2,463	170
9	うち、他のCCR	398	589	32
10	該当なし			
11	該当なし			
12	該当なし			
13	該当なし			
14	該当なし			
15	決済リスク			
16	非トレーディング勘定の証券化エクスポージャー （上限適用後）			
17	うち、SEC-IRBA手法			
18	うち、SEC-ERBA手法（IAAを含む）			
19	うち、SEC-SA手法			
EU19a	うち、1,250%/控除			
20	ポジション、外国為替及びコモディティ・リスク （市場リスク）	9,224	11,003	738
21	うち、標準的手法	9,224	11,003	738
22	うち、IMA			
23	オペレーショナル・リスク	46,577	39,569	3,726
EU23a	うち、基礎的指標手法			
EU23b	うち、標準的手法	46,577	39,569	3,726
EU23c	うち、先進的計測手法			
24	控除の基準値未満の額（リスクウェイトは250%）			
25	該当なし			
26	該当なし			

27	該当なし			
28	該当なし			
29	合計	394,451	421,681	31,556

標準的手法に基づいた市場リスク

下表は、2024年度末現在の標準的手法に基づいた市場リスクに係る所要自己資本を示したものである。

	所要自己資本	
	2024年	2023年
百万スウェーデン・クローネ		
アウトライト商品		
金利リスク（一般的なリスク及び特定のリスク）	277	243
株価リスク（一般的なリスク及び特定のリスク）	1	3
為替リスク	451	618
コモディティ・リスク	0	0
オプション		
簡便法		
デルタプラス法		
シナリオ・アプローチ	9	16
証券化（特定のリスク）		
市場リスクに係る所要自己資本合計	738	880

取締役会及び最高経営責任者の署名

我々は、本連結財務諸表が、EUにより採択された国際財務報告基準「IFRS」に準拠して作成されていること、親会社の年次財務諸表が信用機関における年次報告法、スウェーデン金融監督庁が制定した規定及び一般指針（FFFS 2008年第25号）、並びに RFR第2号「事業体に関する会計処理」に準拠して作成されていること、年次財務諸表及び連結財務諸表が当行グループ及び当行の財政状態及び業績を公正に表示していること、法定経営報告書が当行及び当行グループの事業、財政状態及び業績を公正に表示していること、並びに当行及び当行グループの企業がさらされている重要なリスク及び不確実性について記載していることをここに宣言する。

ストックホルム、2025年2月20日

パール・ボーマン

取締役会長

フレデリック・ランドバーク

副会長

ジョン・フレデリック・バクサース

取締役

ヘリアン・バルネコウ

取締役

スティナ・バークフォース

取締役

ハンス・ベオーク

取締役

シャスティン・ヘシウス

取締役

アンナ・イェンベリ

取締役

ルイス・リンド

取締役

レナ・レンストロム

取締役

ウルフ・リーズ

取締役

ミーケル・グリーン

最高経営責任者

[次へ](#)



3.1

Inledning
 Förvaltningsberättelse
 Finansiella rapporter
 Koncernen
 Hållbarhet
 Övrigt

Resultaträkning, koncernen

mkr	Not	2024	2023
Ränta-intäkter	K3	171 125	159 805
varav ränta-intäkter enligt effektivräntemetoden samt räntor på derivat i säkringsredovisning		150 587	133 002
Räntekostnader	K3	-124 284	-112 227
Räntenetto		46 841	47 578
Provisionsintäkter	K4	13 252	12 559
Provisionskostnader	K4	-1 520	-1 421
Provisionsnetto		11 728	11 139
Nettoreultat av finansiella transaktioner	K5	3 103	2 601
Försäkringsresultat		120	157
Avkastning på tillgångar som innehås för försäkringsstagarnas räkning		297	336
Föreläringens netto	K6	422	408
Övriga utdelningsintäkter		10	3
Andelar i intresseföretag och joint ventures resultat	K20	27	51
Övriga intäkter	K7	209	325
Summa intäkter		62 346	62 240
Personalkostnader	K8	-15 731	-13 642
Övriga kostnader	K9	-7 474	-7 795
Av- och nedskrivningar av materiella och immateriella tillgångar	K25, K26	-2 004	-1 743
Summa kostnader		-25 209	-23 182
Resultat före kreditförluster och statliga avgifter		37 136	39 057
Kreditförluster, netto	K10	601	-141
Vinsten/förlusten vid avyttring av materiella och immateriella tillgångar	K11	13	20
Statliga avgifter	K12	-2 733	-2 624
Röreliseresultat		36 016	36 322
Skatter	K35	-7 795	-8 417
Ärets resultat från kvarvarande verksamhet		27 221	27 905
Ärets resultat hänförligt till utvecklad verksamhet, efter skatt	K14	234	1 209
Ärets resultat		27 456	29 114
varav tillhör			
Aktieägare i Svenska Handelsbanken AB		27 451	29 107
varav hänförligt till kvarvarande verksamhet		27 217	27 898
varav hänförligt till utvecklad verksamhet		234	1 209
Innehav utan bestämmande inflytande		5	8
Resultat per aktie, total verksamhet, kr	K13	13,80	14,70
efter utspädning	K13	13,80	14,70
Resultat per aktie, kvarvarande verksamhet, kr	K13	13,75	14,09
efter utspädning	K13	13,75	14,09
Resultat per aktie, utvecklad verksamhet, kr	K13	0,12	0,01
efter utspädning	K13	0,12	0,01



3.1

Totalresultat,
koncernen

mkr	2024	2023
Årets resultat	27 450	20 114
Övrigt totalresultat		
Poster som inte kommer att omklassificeras till resultaträkningen		
Förmånsbestämda pensionsplaner	344	-2 220
Eget kapitalinstrument värderade till verkligt värde via övrigt totalresultat	207	63
Skatt på poster som inte kommer att omklassificeras till resultaträkningen	-77	439
varav förmånsbestämda pensioner	-35	450
varav eget kapitalinstrument värderade till verkligt värde via övrigt totalresultat	-41	-11
Summa poster som inte kommer att omklassificeras till resultaträkningen	478	-1 724
Poster som kan komma att omklassificeras till resultaträkningen		
Kassafördelsåtknningar	160	614
Skuldinstrument värderade till verkligt värde via övrigt totalresultat	0	25
Försäkringsavtal	66	-306
Årets omräkningsdifferens	1 758	-1 078
varav säkring av nettodrivestoring i utlandsverksamhet	-230	31
Skatt på poster som kan komma att omklassificeras till resultaträkningen	-52	113
varav kassafördelsåtknningar	-33	-127
varav skuldinstrument värderade till verkligt värde via övrigt totalresultat	-1	-5
varav säkring av nettodrivestoring i utlandsverksamhet	47	-6
varav omräkningsdifferens	-65	251
Summa poster som kan komma att omklassificeras till resultaträkningen	1 637	-722
Summa övrigt totalresultat	2 412	-2 447
Årets totalresultat	29 868	26 667
varav tillhör		
Aktieägare i Svenska Handelsbanken AB	29 870	26 662
Innehav utan bestämmande inflytande	-2	5

Årets omklassificeringar till resultaträkningen framgår av Förändring i eget kapital.
För perioden januari–december 2024 uppgick övrigt totalresultat till 2 412 mkr (-2 447) efter skatt. Förmånsbestämda pensionsplaner har påverkat positivt under perioden med 308 mkr (-1 779) efter skatt. Pensionsförpliktelserna har ökat trots att diskonteringsrentan, avseende det svenska pensionsåtagandet, uppgår till 3,6% jämfört med 3,5% vid förra års slutet. Ökningen beror på ändrade antaganden som ökat förpliktelserna. Förvaltningsstillgångarnas värdeförändring är dock positiv varför nettot är positivt för året.
Omräkningen av den utländska verksamheten hade en positiv effekt uppgående till 1 740 mkr (-633) efter skatt vilket är en följd av att den svenska kronan försvagats sedan årsskiftet mot de flesta valutor i de länder koncernen har verksamhet i.



3.1

Infledning

Förvaltningsberättelse

Finansiella rapporter
Koncernen

Hållbarhet

Övrigt

Balansräkning,
koncernen

mkr	Not	2024	2023
Tillgångar			
Kassa och tillgodoavanden hos centralbanker		529 905	476 171
Övrig utlåning till centralbanker	K15	12 547	6 282
Balansräkbara statskuldförbindelser m.m.	K18	172 600	199 128
Utlåning till övriga kreditinstitut	K16	18 922	19 294
Utlåning till allmänheten	K17	2 297 878	2 291 808
Värdaförändring på räntesäkrad post i portföljsäkring		-6 399	-9 657
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	K18	47 508	50 087
Aktier och andelar	K19	14 740	12 216
Andelar i intresseföretag och joint ventures	K20	800	657
Tillgångar där kunden står värdaförändringsrisken	K21	287 984	244 893
Derivatinstrument	K22	47 069	30 110
Immateriella tillgångar	K25	8 420	8 587
Fastigheter och inventarier	K26	4 803	4 777
Aktuella skattefordringar		100	203
Uppskjutna skattefordringar	K35	157	358
Pensionstillgångar	K8	13 102	11 699
Tillgångar som innehas för försäljning	K14	74 506	178 500
Övriga tillgångar	K27	11 890	10 276
Förutbetalda kostnader och upplupna intäkter	K28	2 408	2 331
Summa tillgångar	K41	3 839 173	3 837 792
Skulder och eget kapital			
Skulder till kreditinstitut	K29	84 280	90 143
In- och upplåning från allmänheten	K30	1 310 739	1 298 480
Skulder där kunden står värdaförändringsrisken	K31	288 263	245 100
Emitterade värdepapper	K32	1 550 027	1 523 481
Derivatinstrument	K22	15 950	34 238
Korta positioner	K33	1 007	2 364
Försäkringskulder	K34	7 808	8 407
Aktuella skatteskulder		957	1 211
Uppskjutna skatteskulder	K35	3 744	3 969
Avsättningar	K36	378	601
Skulder som innehas för försäljning	K14	10 623	63 721
Övriga skulder	K37	15 376	14 882
Upplupna kostnader och förutbetalda intäkter	K38	2 995	2 990
Efterstälda skulder	K39	37 054	43 117
Summa skulder	K41	3 329 146	3 332 706
Innehav utan bestämmande inflytande		6	8
Aktiekapital		3 000	3 009
Överkursfond		8 758	8 758
Reserver	K40	18 659	16 239
Balanserad vinst		152 085	147 905
Årets resultat, tillhörande aktieägare i Svenska Handelsbanken AB		27 451	29 107
Summa eget kapital		210 027	206 085
Summa skulder och eget kapital		3 839 173	3 837 792



3.1

Förändring i eget kapital, koncernen

2024	Övriga reserver								
	Aktie- kapital	Överkurs- fond	Förmins- bestämda pensions- planer	Kassa- flödes- skillnader	Verkligt värde via övrigt totalresultat	Försäkrings- avtal	Omräkning utländsk verksamhet	Balanserade vinstermedel inlåg års- resultat	Innehav utan bestämmande inflytande
Ingående eget kapital 2024	3 060	8 768	11 063	181	197	308	3 502	177 011	8
Årets resultat								27 451	5
Övrigt totalresultat			308	127	171	66	1 747		-7
varav omklassificering inom eget kapital					-3		-811		
Årets totalresultat			308	127	171	66	1 747	27 451	-2
Omklassificerat till balanserat resultat								814	814
Utdelning ¹⁾								-25 740	-25 740
Aktieslutarad ersättning till anställda i Handelsbanken plc ²⁾								54	54
Säkring av aktieslutarad ersättning ²⁾								-54	-54
Förändring i innehav utan bestämmande inflytande									
Utgående eget kapital 2024	3 060	8 768	12 271	308	368	462	5 249	179 536	8

2023	Övriga reserver								
	Aktie- kapital	Överkurs- fond	Förmins- bestämda pensions- planer	Kassa- flödes- skillnader	Verkligt värde via övrigt totalresultat	Försäkrings- avtal	Omräkning utländsk verksamhet	Balanserade vinstermedel inlåg års- resultat	Innehav utan bestämmande inflytande
Ingående eget kapital 2023	3 060	8 768	13 730	-307	128	763	4 332	163 510	3
Årets resultat								29 107	8
Övrigt totalresultat			-1 770	488	71	-306	-831		-3
varav omklassificering inom eget kapital			40				-284		
Årets totalresultat			-1 776	488	71	-306	-831	29 107	5
Omklassificerat till balanserat resultat								235	235
Utdelning ¹⁾								-15 840	-15 840
Aktieslutarad ersättning till anställda i Handelsbanken plc ²⁾								79	79
Säkring av aktieslutarad ersättning ²⁾								-79	-79
Förändring i innehav utan bestämmande inflytande									
Utgående eget kapital 2023	3 060	8 768	11 063	181	197	308	3 502	177 011	8

1) Utdelning utbetalad 2024 avseende 2023 uppgick till 13 kr per aktie. Utdelning utbetalad 2023 avseende 2022 uppgick till 8 kr per aktie.

2) Från och med intjänandsåret 2020 omfattas samtliga anställda i Handelsbanken plc av ett program för aktieslutarad ersättning (Share Incentive Plan ("SIP")).



3.1

Inledning

Förvaltningsberättelse

Finansiella rapporter
Koncernen

Hållbarhet

Övrigt

Kassaflödesanalys,
koncernen

mkr	2024	2023
Löpande verksamhet		
Rörelseresultat	35 010	30 322
Resultat hänförligt till avvecklad verksamhet, före skatt	307	1 304
varav inbetalda räntor	178 825	102 813
varav utbetalda räntor	-127 203	-112 316
varav inbetalda utdelningar	101	47
Justering från löpande verksamhet till investeringsverksamhet	1 707	
varav till Avyttring av verksamhet och dotterbolag	1 707	
Justering för ej kassaflödespåverkande poster i rörelseresultat och resultat hänförligt till avvecklad verksamhet		
Kreditförluster	-570	254
Orealiserade värdeförändringar	-89	-1 005
Av- och nedskrivningar	2 435	1 748
Betalda inkomstskatter	-8 510	-7 081
Förändring i den löpande verksamhetens tillgångar och skulder		
Övrig utlåning till centralbanker	10 508	475
Utlåning till övriga kreditinstitut	374	-0 882
Utlåning till allmänheten	25 303	27 802
Räntebärande värdepapper och aktier	20 332	-30 820
Skulder till kreditinstitut	-0 500	8 752
In- och upplåning från allmänheten	-14 402	-20 249
Emitterade värdepapper	20 545	48 080
Derivatinstrument, nettopositioner	-35 153	11 559
Korta positioner	-1 200	209
Fondlikvidfordringar och fondlikvidskulder	-2 027	7 306
Övrigt	-24 520	4 178
Kassaflöde från löpande verksamhet	44 020	23 125
Investeringsverksamhet		
Avyttring av verksamhet och dotterbolag	17 147	
Förvärv av och tillskott till intraselförtag och joint ventures	-175	-53
Förvärling av aktier och andelar	0	
Förvärv av materiella anläggningstillgångar	-940	-832
Avyttring av materiella anläggningstillgångar	308	320
Förvärv av immateriella anläggningstillgångar	-678	-957
Kassaflöde från investeringsverksamhet	15 748	-1 017
Finansieringsverksamhet		
Amortering efterställda skulder	-13 371	-8 351
Emission efterställda skulder	5 704	8 035
Utbetalad utdelning	-25 740	-15 840
Kassaflöde från finansieringsverksamhet	-33 407	-15 006
Ärets kassaflöde	26 361	6 002
Likvida medel vid årets början	470 181	475 882
Kassaflöde från löpande verksamhet	44 520	23 125
Kassaflöde från investeringsverksamhet	15 748	-1 517
Kassaflöde från finansieringsverksamhet	-33 407	-15 556
Kursdifferens i likvida medel	20 957	-5 753
Likvida medel vid årets slut	530 000	478 181

Kassaflödesanalysen har upprättats i enlighet med den indirekta metoden, vilket innebär att rörelseresultat och resultat hänförligt till avvecklad verksamhet har justerats för transaktioner som inte medfört in- eller utbetalningar, t ex avskrivningar och kreditförluster.

Kassaflödesanalysen i tabellen ovan inkluderar avvecklad verksamhet i Finland, se not K14.



3.1

Kassaflödesanalys, koncernen, forts.

Förändring av skulder i finansieringsverksamheten

mkr	2024	2023
Ingående balans	43 117	42 404
Kassaflöde	-7 007	284
Ej kassaflödespåverkande förändringar, valutakursförändringar	1 908	-770
Ej kassaflödespåverkande förändringar, valutakursåtköringar	-10	1 153
Ej kassaflödespåverkande förändringar, upplupna räntor	-287	40
Summa skulder i finansieringsverksamheten	37 064	43 117

Avyttring av verksamhet och dotterbolag

mkr	2024
Köpskilling	
Total köpskilling	18 843
Fordran köpare	-1 600
Erhållen likvid	17 147
Tillgångar och skulder som avyttrats	
Utläning till allmänheten	34 110
Andra tillgångar	0
Summa tillgångar	34 124
In- och uppläning från allmänheten	15 170
Andra skulder	40
Summa skulder	15 210
Kassaflöde från löpande verksamhet	-1 768
Köpskillingen erhöles i sin helhet i likvida medel.	



3.1

Inledning

Förvaltningsberättelse

Finansiella rapporter
Koncernen

Hållbarhet

Övrigt

Noter, koncernen

K1	Väsentliga redovisningsprinciper	69	K28	Förutbetalda kostnader och upplupna intäkter	156
K2	Risk- och kapitalhantering	80	K29	Skulder till kreditinstitut	156
K3	Räntenetto	123	K30	In- och upplåning från allmänheten	157
K4	Provisionsnetto	123	K31	Skulder där kunden står värdeförändringsrisken	157
K5	Nettoresultat av finansiella transaktioner	125	K32	Emitterade värdepapper	158
K6	Försäkringsnetto	125	K33	Korta positioner	158
K7	Övriga intäkter	125	K34	Försäkringsskulder	159
K8	Personalkostnader	126	K35	Skatter	164
K9	Övriga kostnader	132	K36	Avsättningar	166
K10	Kreditförluster	132	K37	Övriga skulder	166
K11	Vinster/förluster vid avyttring av materiella och immateriella tillgångar	139	K38	Upplupna kostnader och förutbetalda intäkter	167
K12	Statliga avgifter	139	K39	Efterställda skulder	167
K13	Resultat per aktie	139	K40	Specifikation av förändringar i eget kapital	168
K14	Tillgångar och skulder som innehas för försäljning samt avvecklad verksamhet	140	K41	Klassificering av finansiella tillgångar och skulder	169
K15	Övrig utlåning till centralbanker	142	K42	Värdering av finansiella instrument till verkligt värde	171
K16	Utlåning till övriga kreditinstitut	143	K43	Ställda och mottagna säkerheter samt överförda finansiella tillgångar	174
K17	Utlåning till allmänheten	143	K44	Eventualförpliktelser	175
K18	Räntebärande värdepapper	144	K45	Leasing	176
K19	Aktier och andelar	144	K46	Segmentinformation	177
K20	Andelar i intresseföretag och joint ventures	145	K47	Geografisk information	179
K21	Tillgångar där kunden står värdeförändringsrisken	145	K48	Tillgångar och skulder i valuta	180
K22	Derivatinstrument	146	K49	Innehav i icke-konsoliderade strukturerade företag	181
K23	Säkringsredovisning	147	K50	Upplysningar om närstående	182
K24	Kvittningsinstrument av finansiella instrument	152	K51	Händelser efter balansdagen	182
K25	Immateriella tillgångar	153	K52	Kapitaltäckning	183
K26	Fastigheter och inventarier	155			
K27	Övriga tillgångar	156			

K1 Väsentliga redovisningsprinciper

Innehåll

1. Lag- och föreskriftsenlighet
2. Förändrade redovisningsprinciper
3. Förändringar i IFRS som ännu inte tillämpats
4. Finansiella instrument
5. Principer för värdering av finansiella tillgångar och skulder till verkligt värde
6. Kreditförluster
7. Säkringsredovisning
8. Försäkringsverksamhet
9. Tillgångar som innehåller för försäljning samt redovisning av avvecklad verksamhet
10. Eget kapital
11. Intäkter
12. Ersättningskostnader till anställda
13. Väsentliga bedömningar och uppskattningar

1. Lag- och föreskriftsenlighet

Grunder för redovisningen

Koncernredovisningen är upprättad i enlighet med de internationella Redovisningsstandarder (IFRS ®) och tolkningar av dessa standarder som antagits av EU. Därutöver tillämpas de tillägg som följer av lagen 1995:1559 om årsredovisning i kreditinstitut och värdepappersbolag (ÅRL) och av Finansinspektionens föreskrifter och allmänna råd FFFS 2008:25 om årsredovisning i kreditinstitut och värdepappersbolag. I koncernredovisningen tillämpas även RFR 1 Kompletterande redovisningsregler för koncerner och uttalanden från Rådet för hållbarhets- och finansiell rapportering. Redovisningen presenteras i svenska kronor och alla värden är avrundade till miljoner kronor (mkr) om inget annat anges. Moderbolagets redovisningsprinciper framgår av not M1.

Avgivande, fastställelse av årsredovisningen samt företagsinformation
Svenska Handelsbanken Aktiebolag års- och koncernredovisning avseende perioden 2024-01-01–2024-12-31 godkändes för utfärdande av styrelsen och verkställande direktören den 20 februari 2025 och blir föremål för fastställelse på årsstämman den 26 mars 2025.

Moderbolaget Svenska Handelsbanken AB (publ) har sitt säte i Stockholm med adress Kungsträdgårdsgatan 2, 106 70 Stockholm, Sverige. Handelsbanken är ett kreditinstitut som erbjuder finansiella tjänster och produkter på hemmamarknaderna Sverige, Storbritannien, Norge och Nederländerna. Verksamheten beskrivs ytterligare i Förvaltningsberättelsen.

2. Förändrade redovisningsprinciper

De förändringar i redovisningsreglerna som började gälla den 1 januari 2024 har inte haft någon påverkan på Handelsbankens finansiella rapporter, kapitaltäckning, stora exponeringar eller andra förhållanden enligt tillämpliga rörelseregler.

De redovisningsprinciper och beräkningsmetoder som tillämpats av koncernen under räkenskapsåret överensstämmer med de principer som tillämpades i Års- och hållbarhetsredovisningen för 2023.

3. Förändringar i IFRS som ännu inte tillämpats

Presentation och upplysningar i finansiella rapporter (IFRS 18)

I april 2024 publicerade IASB den nya standarden IFRS 18 Presentation och upplysningar i finansiella rapporter som ersätter IAS 1 Utformning av finansiella rapporter. Under förutsättning att IFRS 18 antas av EU, och den tidpunkt för ikraftträdande som IASB föreslagit inte ändras, kommer standarden att tillämpas från och med räkenskapsåret 2027. IFRS 18 medför nya krav på utformningen av och upplysningarna i finansiella rapporter, med särskilt fokus på struktur i resultaträkningen och upplysningarna kring ledningens resultatmått.

Standarden förväntas inte medföra några finansiella effekter för Handelsbanken eftersom IFRS 18 inte medför nya värderingsprinciper utan fokuserar på presentation och upplysningar i de finansiella rapporterna. Banken har påbörjat ett arbete med att analysera effekterna av den nya standarden.

Ändringar i klassificering och värdering av finansiella instrument (IFRS 9 och IFRS 7)

I maj 2024 publicerade IASB ändringar avseende klassificering och värdering av finansiella instrument i IFRS 9 och IFRS 7. Under förutsättning att ändringarna antas av EU, och den tidpunkt för ikraftträdande som IASB föreslagit inte ändras, kommer ändringarna i standarderna att tillämpas från och med räkenskapsåret 2026. Ändringarna i IFRS 9 innebär främst förtydliganden vid bedömning av om avtalsenliga kassaflöden i finansiella tillgångar, som inkluderar villkor som är beroende av framtida händelser, uppfyller kriterierna för enbart kapitalbelopp och ränta (SPPI-kriterierna). Ändringarna ger i huvudsak vägledning vid bedömning av om SPPI-kriterierna är uppfyllda för en hållbarhetslänkad utlåning. I vissa fall ger en oförutsägbar händelse upphov till avtalsenliga kassaflöden som uppfyller SPPI-kriterierna, såväl före som efter förändringen av kassaflödena, men karaktären på den oförutsägbara händelsen är inte direkt relaterad till grundläggande utlåningsrisker och kostnader. Ett exempel är en hållbarhetslänkad utlåning där räntan enligt avtalsvillkoren justeras utifrån låntagarens minskning av koldioxidutsläpp. I ett sådant fall är SPPI-kriterierna uppfyllda endast om de avtalsenliga kassaflödena i samtliga möjliga scenarier inte väsentligen skiljer sig från en finansiell tillgång med identiska avtalsenliga kassaflöden, men utan en sådan oförutsägbar händelse. Det förtydligas vidare att avtalsenliga kassaflöden inte uppfyller SPPI-kriterierna om de är indexerade utifrån en variabel som inte utgör grundläggande utlåningsrisker och kostnader, till exempel följer ett aktieindex eller råvaruprisindex, eller om de representerar en andel i låntagarens intäkter eller vinst, även om sådana villkor skulle vara vanligt förekommande på marknaden.

Ändringarna i IFRS 7 innebär bland annat att kvalitativa och kvantitativa upplysningar ska lämnas om effekten av avtalsvillkor som kan förändra beloppet för de avtalsenliga kassaflödena beroende på om en oförutsägbar händelse, som inte är direkt relaterad till förändringar i grundläggande utlåningsrisker och kostnader, inträffar eller inte inträffar. Upplysningskraven omfattar finansiella tillgångar som redovisas till upplupet anskaffningsvärde eller till verkligt värde över övrigt totalresultat samt finansiella skulder värderade till upplupet anskaffningsvärde.



3.1

Inledning

Förvaltningsberättelse

Finansiella rapporter
Koncernen

Hållbarhet

Övrigt

K1 forts.

Ändringarna i IFRS 9 förtydligar även tidpunkten för den initiala redovisningen av finansiella tillgångar och skulder samt tidpunkten för borttagande av finansiella tillgångar och skulder från rapporten över finansiell ställning. Ändringarna inkluderar även ett valfritt undantag som innebär att finansiella skulder som regleras via ett elektroniskt betalningssystem kan tas bort från rapporten över finansiell ställning innan förpliktelsen är utsläckt, dvs innan förpliktelsen enligt avtalet fullgörs, annulleras eller upphör, under förutsättning att vissa i regelverket angivna kriterier är uppfyllda.

Banken har påbörjat ett arbete med att analysera effekterna av förändringarna i IFRS 9 och IFRS 7. I nuläget är bedömningen att förändringarna inte kommer få någon väsentlig inverkan på Handelsbankens finansiella rapporter, kapitaltäckning, stora exponeringar eller andra förhållanden enligt tillämpliga rörelse-regler.

Övriga kommande förändringar i redovisningsregulverk

Övriga kommande förändringar i redovisningsregulverken som är utfärdade för tillämpning bedöms inte få någon väsentlig inverkan på Handelsbankens finansiella rapporter, kapitaltäckning, stora exponeringar eller andra förhållanden enligt tillämpliga rörelse-regler.

4. Finansiella instrument (IFRS 9 Finansiella instrument, IAS 32 Finansiella instrument: klassificering)

Redovisning och bortbokning

Köp och försäljning av aktier samt penning- och kapitalmarknadsinstrument på avistamarknaden redovisas på affärsdagen. Motsvarande gäller för derivat. Övriga finansiella tillgångar och skulder redovisas normalt på likviddagen.

Finansiella tillgångar tas bort från balansräkningen när de avtalsenliga rättigheterna till de kassaflödena som hänför till tillgången upphör eller när samtliga risker och fördelar förknippade med tillgången överförs till någon annan. En finansiell skuld tas bort från balansräkningen när förpliktelsen fullgjorts, upphör eller annulleras.

Värderingskategorier

Finansiella tillgångar delas in i någon av följande värderingskategorier:

1. upplupet anskaffningsvärde
2. verkligt värde via övrigt totalresultat
3. verkligt värde via resultaträkningen
 - a) obligatoriskt
 - b) verkligt värdeoptionen.

Utgångspunkten för att klassificera finansiella tillgångar i respektive värderingskategori är företagets affärsmodell för förvaltning av tillgångarna och tillgångens avtalsenliga villkor.

Finansiella skulder delas in i någon av följande värderingskategorier:

1. upplupet anskaffningsvärde
2. verkligt värde via resultaträkningen
 - a) obligatoriskt
 - b) verkligt värdeoptionen.

Finansiella skulder ska som huvudregel redovisas till upplupet anskaffningsvärde. Undantaget är finansiella skulder som obligatoriskt ska värderas till verkligt värde via resultaträkningen, exempelvis derivat, samt skulder som vid första redovisningstillfället oåterkalleligen identifierats att värderas till verkligt värde (verkligt värdeoptionen).

Finansiella tillgångar respektive skulder som redovisas på samma rad i balansräkningen kan klassificeras i olika värderingskategorier, se not K41.

Vid första redovisningstillfället redovisas alla finansiella tillgångar och skulder till verkligt värde. För finansiella instrument som värderas till verkligt värde via resultaträkningen förs transaktionskostnader direkt till resultaträkningen vid anskaffningstillfället. För övriga finansiella instrument räknas transaktionskostnader in i anskaffningsvärdet.

Bedömning av affärsmodell för finansiella tillgångar

Bedömning av affärsmodellen för förvaltningen av finansiella tillgångar är avgörande för uppdelningen i värderingskategorier. För att fastställa affärsmodell har Handelsbanken delat in de finansiella tillgångarna i portföljer utifrån hur de styrs, rapporteras och utvärderas av bankens ledning. När affärsmodell bestäms för respektive portfölj beaktas faktorer såsom angivna riktlinjer och mål med en portfölj och hur dessa genomförs i verksamheten, de risker som påverkar portföljens resultat och hur dessa risker hanteras samt frekvens, volym, orsak och tidpunkt för försäljningar.

Bedömning av finansiella tillgångars avtalsenliga villkor

Bedömningen av om avtalsenliga kassaflödena enbart är betalningar av kapitalbelopp och ränta, och därmed förenliga med ett grundläggande lånearrangemang, har betydelse för uppdelningen i värderingskategorier. Vid denna bedömning definieras kapitalbeloppet som den finansiella tillgångens verkliga värde vid första redovisningstillfället. Ränta definieras som ersättning för pengars tidvärde, kreditrisk, andra grundläggande utlåningsrisker (till exempel likviditetsrisk) och kostnader (till exempel administrativa kostnader) samt vinstmarginal. Om den finansiella tillgången har

avtalsvillkor som kan ändra tidpunkten eller beloppen i de avtalsenliga kassaflödena, modifierar ersättningen för pengars tidvärde, medför hävstångseffekt eller extra kostnader vid förskottsbetalning och förlängning bedöms kassaflödena inte enbart bestå av kapitalbelopp och ränta.

Banken erbjuder företagskunderna hållbarhetslänkade låneavtal, vilka innehåller incitament för låntagaren att uppnå förbättringar inom förbestämda hållbarhetsmål genom en justering av räntan utifrån låntagarens uppfyllelse av hållbarhetsmålen. Den skillnad som föreligger jämfört med en icke hållbarhetslänkad utlåning är att räntan justeras med en i avtalet fastställd procentsats (mellan i huvudsak 1,5–5,0 räntepunkter) utifrån låntagarens uppfyllelse av dennes hållbarhetsmål. De hållbarhetsrelaterade målen är således specifika för respektive låntagare. Banken har utvärderat de hållbarhetslänkade låneavtalen och de avtalsenliga kassaflödena bedöms endast utgöras av betalningar av kapitalbelopp och ränta på utestående kapitalbelopp. De avtalsenliga kassaflödena bedöms därmed vara förenliga med ett grundläggande lånearrangemang och de hållbarhetslänkade låneavtalen redovisas till upplupet anskaffningsvärde.

Upplupet anskaffningsvärde

En finansiell tillgång ska värderas till upplupet anskaffningsvärde om båda följande villkor är uppfyllda:

- Syftet med affärsmodellen är att erhålla avtalsenliga kassaflöden.
- De avtalsenliga kassaflödena är enbart betalningar av kapitalbelopp och ränta.

Finansiella tillgångar i värderingskategorin består av utlåning och innehav i räntebärande värdepapper. Dessa tillgångar är föremål för nedskrivningsprövning. Finansiella skulder i värderingskategorin består i huvudsak av skulder till kreditinstitut, in- och upplåning från allmänheten samt emitterade värdepapper.

Upplupet anskaffningsvärde utgörs av det diskonterade nuvärdet av alla framtida betalningar hänförliga till instrumentet där diskonteringsräntan utgörs av instrumentets effektivränta vid anskaffningstillfället. Räntor och kreditförluster redovisas i posterna Räntenetto respektive Kreditförluster. Ränteskillnadsersättning för förtidsinlöst utlåning, realisationsresultat som genereras vid återköp av egna emitterade värdepapper samt valutakurseffekter redovisas i posten Nettoresultat av finansiella transaktioner.



3.1

K1 forts.

Verkligt värde via övrigt totalresultat

En finansiell tillgång ska värderas till verkligt värde via övrigt totalresultat om båda följande villkor är uppfyllda:

- Syftet med affärsmodellen är både att erhålla avtalsenliga kassaflöden och att sälja tillgången.
- De avtalsenliga kassaflödena är enbart betalningar av kapitalbelopp och ränta.

I värderingskategorin redovisas räntebärande värdepapper i bankens likviditetsportfölj som uppfyller ovanstående villkor. Dessa tillgångar är föremål för nedskrivningsprövning. Ränta- och kreditförluster redovisas i posten Nettoresultat av finansiella transaktioner. Orealiserade värdeförändringar redovisas i övrigt totalresultat och omklassificeras till resultaträkningen vid försäljning i posten Nettoresultat av finansiella transaktioner.

Vid första redovisningstillfället är det tillåtet att oåterkalleligen klassificera egetkapitalinstrument som inte innehåller handelsärende till verkligt värde via övrigt totalresultat. Denna värderingsprincip tillämpas för vissa aktieinnehav i företag som utför stödjande verksamhet för banken, exempelvis andelar i clearingorganisationer och infrastruktursamarbeten på bankens hemmamarknader. Efterföljande värdeförändringar, såväl realiserade som realiserade inklusive valutakursresultat, redovisas i övrigt totalresultat. Realiserade värdeförändringar omklassificeras inom eget kapital till balanserade vinstmedel, det vill säga inte till resultaträkningen. Endast utdelningsintäkter från dessa innehav redovisas i resultaträkningen.

Verkligt värde via

resultaträkningen, obligatoriskt

Om en finansiell tillgång inte uppfyller villkoren för värdering till upplupet anskaffningsvärde eller till verkligt värde via övrigt totalresultat, ska den värderas till verkligt värde via resultaträkningen. Finansiella tillgångar och skulder som innehåller för handel klassificeras alltid till verkligt värde via resultaträkningen, liksom finansiella tillgångar som förvaltas och utvärderas baserat på verkliga värden.

Denna värderingskategorin består i huvudsak av noterade aktier, fondandelar, räntebärande värdepapper samt derivat. Räntor, utdelningar, valutakurseffekter samt realiserade och realiserade värdeförändringar redovisas i posten Nettoresultat av finansiella transaktioner. För redovisning av derivat i säkringsredovisning, se punkt 7.

Verkligt värde via resultaträkningen, verkligt värdeoptionen

Vid första redovisningstillfället finns en möjlighet att oåterkalleligen identifiera en finansiell tillgång såsom värderad till verkligt värde via resultaträkningen, om detta eliminerar eller i betydande utsträckning minskar inkonsekvenser i värdering eller redovisning som annars skulle uppkomma vid värdering av tillgången.

Motvarande möjlighet finns att vid första redovisningstillfället oåterkalleligen identifiera en finansiell skuld såsom värderad till verkligt värde via resultaträkningen, om något av följande villkor är uppfyllt:

- Det eliminerar eller i betydande utsträckning minskar inkonsekvenser i värdering eller redovisning som annars skulle uppkomma vid värdering av skulden.
- En grupp av finansiella skulder, eller en grupp av både finansiella tillgångar och finansiella skulder, förvaltas och utvärderas baserat på verkligt värde i enlighet med en dokumenterad riskhanterings- eller investeringsstrategi. Intern information om dessa instrument tillhandahålls bankens ledning baserat på verkliga värden.

Denna värderingsprincip tillämpas för att undvika inkonsekvens vid värderingen av tillgångar och skulder som utgör motpositioner till varandra och förväntas på portföljbasis, till exempel skulder till följd av fondförsäkringsavtal och vissa innehav i likviditetsportföljen som säkras med ekonomiska säkringar. Orealiserade och realiserade värdeförändringar redovisas i posten Nettoresultat av finansiella transaktioner. Ränta redovisas i räntenettot.

Omklassificeringar av finansiella instrument

Finansiella tillgångar omklassificeras i regel inte efter det första redovisningstillfället. Omklassificering är tillåten om banken i sällsynta fall skulle byta affärsmodell för förvaltningen av en portfölj av finansiella tillgångar. Omklassificering av finansiella skulder är inte tillåtet efter det första redovisningstillfället.

Finansiella garantier och lånelöften

Utställda finansiella garantier innebär ett åtagande att ersätta innehavaren av ett skuldinstrument (lån och räntebärande värdepapper) för förluster denne ådrar sig på grund av att en angiven låntagare inte fullgör betalning vid förfall enligt avtalsvillkoren, exempelvis en kreditgaranti. Det verkliga värdet på en utställd garanti motsvaras vid utfärdandet av den mottagna premien. Vid första redovisningstillfället redovisas den mottagna premien för garantin som en skuld i balansposten Upplupna kostnader och förutbetalda intäkter. Därefter värderas garantin till det högre av den periodiserade premien och reserven för den förväntade förlusten. Premier för utställda finansiella garantier

periodiseras i provisionsnettot över garantins löptid. Därutöver redovisas det totala garanterade beloppet hänförligt till utställda garantier som en anavarsförbindelse utanför balansräkningen, se not K44.

Lånelöften redovisas som ett åtagande utanför balansräkningen fram till lånets likviddag, se not K44. Erhållna avgifter för lånelöften periodiseras i provisionsnettot över åtagandets löptid, såvida det inte är mycket sannolikt att löftet kommer att infrias då avgiften ingår i lånets effektivränta. Finansiella garantier och oåterkalleliga lånelöften är föremål för nedskrivningsprövning.

Sammansatta finansiella instrument

Ett sammansatt finansiellt instrument består av en derivatkomponent, ett så kallat inbäddat derivat, och ett värdekontrakt som inte är ett derivat. Om värdekontraktet i ett sammansatt finansiellt instrument är en finansiell skuld ska ett inbäddat derivat skiljas från värdekontraktet och redovisas som ett derivat om samtliga nedanstående villkor är uppfyllt:

- Det inbäddade derivatets ekonomiska egenskaper och risker är inte nära förknippade med värdekontraktets ekonomiska egenskaper och risker.
- Ett separat instrument med samma villkor som det inbäddade derivatet skulle uppfylla definitionen på ett derivat.
- Det sammansatta finansiella instrumentet värderas inte till verkligt värde via resultaträkningen. Följaktligen avskiljs inte derivat inbäddade i finansiella skulder värderade till verkligt värde via resultaträkningen.

Exempelvis särredovisas det inbäddade derivatet i emitterade aktieindexobligationer och andra strukturerade produkter.

Inbäddade derivat i finansiella tillgångar särredovisas ej. Finansiella tillgångar med inbäddade derivat beaktas i sin helhet vid bedömningen av om avtalsenliga kassaflöden endast är betalningar av kapitalbelopp och ränta.

Värdet av konverteringsrätten i emitterade konvertibla skuldebrev särredovisas som eget kapital. Värdet av konverteringsrätten fastställs vid emissionsstillfället som skillnaden mellan det verkliga värdet på det konvertibla skuldebrevet som helhet minskat med det verkliga värdet på skuldkomponenten. Konverteringsrättens redovisade värde justeras inte under skuldebrevets löptid. Skuldkomponenten värderas och redovisas till verkligt värde i balansräkningen vid emissionsstillfället. Under löptiden redovisas skuldkomponenten till upplupet anskaffningsvärde baserat på ursprunglig effektivränta.



3.1

Inledning

Förvaltningsberättelse

Finansiella rapporter
Koncernen

Hållbarhet

Övrigt

K1 forts.

Aterköpstransaktioner

Med återköpsavtal, eller repotransaktioner, avses avtal där parterna samtidigt har kommit överens om försäljning och återköp av ett visst värdepapper till ett i förväg bestämt pris. Värdepapper som säljs i en repotransaktion (återköpsavtal) kvarstår i balansräkningen under transaktionens löptid eftersom koncernen under transaktionens löptid är exponerad emot värdepapprets värdeförändringsrisk. Det sålda värdepappret redovisas därutöver utanför balansräkningen som ställd säkerhet, se not K43. Erhållen likvid redovisas beroende på motpart som Skuld till kreditinstitut eller In- och upplåning från allmänheten. Värdepapper som köps i en repotransaktion (omvända återköpsavtal) redovisas på motsvarande sätt, det vill säga värdepappret redovisas inte i balansräkningen under transaktionens löptid. Den erlagda likviden redovisas beroende på motpart som Övrig utlåning till centralbanker, Utlåning till övriga kreditinstitut eller Utlåning till allmänheten. Mottagna penner som sålts vidare under återköpsavtal redovisas som åtagande utanför balansräkningen, se not K44.

Värdepapperslån

Värdepapper som lånats ut kvarstår i balansräkningen då koncernen fortsatt är exponerad mot värdepapprets värdeförändringsrisk och redovisas därutöver utanför balansräkningen som Ställd säkerhet, se not K43. Inlånade värdepapper tas inte upp i balansräkningen, såvida de inte säljs (så kallad blanking). Om de säljs redovisas ett värde motsvarande det avyttrade värdepapprets verkliga värde som skuld. Inlånade värdepapper som vidareutlånts redovisas som åtagande utanför balansräkning, se not K44.

Derivatinstrument

Samtliga derivat redovisas i balansräkningen och värderas till verkligt värde. Derivat med positiva verkliga värden redovisas på tillgångssidan i posten Derivatinstrument. Derivat med negativa verkliga värden redovisas på skuldsidan i posten Derivatinstrument. Realiserade och orealiserade vinster och förluster på derivat redovisas i resultaträkningen i posten Nettoresultat av finansiella transaktioner. För redovisning av derivat i säkringsredovisning, se punkt 7.

Kvittning av finansiella tillgångar och skulder
Finansiella tillgångar och skulder kvittas och redovisas netto i balansräkningen om banken har avtalsmässig rätt till kvittning, i den löpande verksamheten och i händelse av konkurs, och om avsikten är att reglera posterna med ett nettobelopp eller att samtidigt realisera tillgången och reglera skulden. Ytterligare upplysningar om kvittning av finansiella tillgångar och skulder lämnas i not K24.

5. Principer för värdering av finansiella tillgångar och skulder till verkligt värde (IFRS 13 Värdering till verkligt värde)

Verkligt värde definieras som priset till vilken en tillgång skulle kunna säljas eller en skuld överföras i en normal transaktion mellan oberoende marknadsaktörer.

För finansiella instrument som handlas på en aktiv marknad likställs verkligt värde med det aktuella marknadspriset. Som aktiv betraktas en sådan marknad där noterade priser med lätthet och regelbundenhet finns tillgängliga på en reglerad marknad, handelsplats, tillförlitlig nyhetstjänst eller motsvarande, och där prisuppgifterna lätt kan verifieras genom regelbundet förekommande transaktioner. Det aktuella marknadspriset motsvaras av den kurs mellan köp- och säljkursen som under omständigheterna ger mest korrekt bild av det verkliga värdet. För grupper av finansiella instrument som förvaltas på basis av bankens nettoexponering för marknadsrisk likställs det aktuella marknadspriset med det pris som skulle erhållas eller betalas vid en avyttring av nettopositionen.

När tillförlitliga uppgifter om marknadspris saknas för finansiella instrument, bestäms verkligt värde med hjälp av värderingsmodeller. De värderingsmodeller som används bygger på indata som i allt väsentligt kan verifieras med marknadsobservationer, exempelvis marknaderäntor och aktiekurser. Vid behov görs en justering för andra variabler som en marknadsaktör förväntas ta i beaktande vid prissättningen. De antaganden som används vid värdering baseras på marknadspraxis och kontrolleras löpande av riskkontrollfunktionen samt mot motparters värdering.

Räntebärande värdepapper

Räntebärande värdepapper utgivna av stater och svenska bostadsobligationer värderas med hjälp av aktuella marknadspriser. Företagsobligationer värderas med värderingstekniker som baseras på marknadsräntor för motsvarande löptid med justering för kredit- och likviditetsrisk. Värderingen kontrolleras regelbundet för att säkerställa att den avspeglar gällande marknadspris. Kontrollerna utförs främst genom inhämtning av prisnoteringar från flera oberoende prissättare och genom avstämning mot nyligen genomförda transaktioner i samma eller likvärdiga instrument.

Aktier och andelar

Aktier noterade på en aktiv marknad värderas till marknadspris. Vid värdering av onoterade aktier och andelar styrs valet av värderingsmodell av vad som bedöms lämpligt för det enskilda instrumentet. Innehav av onoterade aktier består i huvudsak av aktier i företag som

utför stödjande verksamhet åt banken. Onoterade aktier är i allt väsentligt klassificerade till verkligt värde via övrigt totalresultat. Sådana innehav värderas i regel till bankens andel av substansvärdet i bolaget. För onoterade aktier för vilka bolagsavtalet reglerar det pris till vilket aktierna kan avyttras, värderas innehaven till det i förväg bestämda avyttringspriset.

Derivat

Derivat som handlas på en aktiv marknad värderas till marknadspris. Merparten av koncernens derivatkontrakt, däribland ränteswappar och olika typer av linjära valutaderivat, värderas med värderingsmodeller som bygger på marknaderäntor och andra marknadspriser. Värderingen av icke-linjära derivatkontrakt som inte handlas aktivt bygger även på en rimlig skattning av marknadsbaserade indata, exempelvis volatilitet.

Vid modellvärdering av derivat förekommer i vissa fall differenser mellan transaktionspriset och det värde som räknats fram med hjälp av en värderingsmodell vid det första redovisningstillfället. Sådana skillnader orsakas av att den tillämpade värderingsmodellen inte fullt ut fångar upp alla komponenter som påverkar derivatets värde. Orealiserade resultat på grund av positiva skillnader mellan transaktionspris och det värde som räknas fram med hjälp av en värderingsmodell (så kallade dag 1-resultat) utgörs av bankens vinstmarginal och ersättning för att täcka exempelvis kapital- och administrativa kostnader. Orealiserade positiva dag 1-resultat förs inte till resultatet vid det första redovisningstillfället, utan periodiseras över derivatets löptid.

Tillgångar och skulder där

kunden står värdeförändringsrisken
Tillgångar där kunden står värdeförändringsrisken består i huvudsak av fondandelar i fondförsäkringsavtal. Sådana fondandelar värderas till fondens aktuella marknadsvärde (NAV). Tillgångarna motsvaras av skulder för vilka kunden står värdeförändringsrisken. Värderingen av dessa skulder speglar värderingen av tillgångarna. Med hänsyn till att försäkringstagarna och fondandelsägarna har förmånsrätt i tillgångsmassan, saknas skäl för att justera värderingen för kreditrisk. Tillgångar och skulder där kunden står värdeförändringsrisken har i allt väsentligt kategoriserats som värderade till verkligt värde via resultaträkningen.



3.1

K1 forts.

6. Kreditförluster (IFRS 9 Finansiella instrument)

Förväntade kreditförluster

Reglerna om nedskrivning i IFRS 9 omfattar finansiella tillgångar värderade till upplupet anskaffningsvärde, finansiella tillgångar värderade till verkligt värde via övrigt totalresultat samt finansiella garantier och oåterkallliga lånelöften, och baseras på en modell för redovisning av förväntade kreditförluster. Enligt denna ska reserven spegla ett sannolikhetsvägt belopp som bestäms genom att utvärdera en rad sannolika utfall med hänsyn tagen till all rimlig och verifierbar information som är tillgänglig på rapporteringsdagen utan orimlig kostnad eller ansträngning. I bedömningen beaktas historiska, nuvarande och framtidsbaserade faktorer. De tillgångar vars nedskrivningsbehov ska provas delas in i följande tre steg, beroende på graden av kreditförsämring:

- Steg 1 omfattar finansiella tillgångar utan betydande ökning av kreditrisk sedan första redovisningstillfället.
- Steg 2 omfattar finansiella tillgångar med betydande ökning av kreditrisk sedan första redovisningstillfället, men där det vid rapporteringstillfället saknas objektiva belägg för att fordran är kreditförsämrad.
- Steg 3 omfattar finansiella tillgångar för vilka objektiva omständigheter har identifierats för att fordran är kreditförsämrad.

För Steg 1 ska reserveringar som motsvarar förväntade förluster orsakade av fallissemang som förväntas inträffa inom tolv månader redovisas. I Steg 2 och Steg 3 ska reserveringar som motsvarar den förväntade förlust som förväntas inträffa vid fallissemang någon gång under tillgångens hela återstående löptid redovisas.

För avtal i Steg 1 och Steg 2 finns en koncerngemensam central process med modellbaserad beräkning. Processen inleds med att det för samtliga avtal bedöms om det skett en betydande ökning av kreditrisken sedan första redovisningstillfället (avtalets ingående). För utförligare beskrivning av betydande ökning av kreditrisk, se not K2 avsnitt Kreditrisker. Reserverna i de olika nedskrivningsstegen beräknas på individuell basis. För avtal i Steg 3 sker manuell beräkning med undantag för en mindre portfölj av homogena fordringar som har modellberäknad reservering i Steg 3. Vid varje rapporteringstillfälle avgörs på avtalsnivå om ett avtal ska bli föremål för en modellbaserad beräkning eller en manuell beräkning.

Beräkningarna av förväntade kreditförluster påverkas i första hand av riskparametrarna sannolikhet för fallissemang (PD), exponering vid fallissemang (EAD) och förlustandel vid

fallissemang (LGD). Förväntade kreditförluster bestäms genom att beräkna PD, EAD och LGD fram till avtalets förväntade slutförfalldag. Dessa tre riskparametrar multipliceras och justeras med överlevnads sannolikheten alternativt sannolikheten för att kreditexponeringen inte har fallerat eller blivit återbetald i förtid. De beräknade förväntade kreditförlusterna diskonteras sedan tillbaka till rapporteringsdagen med den ursprungliga effektivräntan och summeras. Summan av kreditförluster för Steg 1 beräknas med sannolikheten för fallissemang under de kommande 12 månaderna. För Steg 2 och Steg 3 beräknas kreditförluster med sannolikheten för fallissemang under tillgångens återstående löptid.

Modellbaserad beräkning

Beräkningen av de förväntade kreditförlusterna tar hänsyn till minst tre makroekonomiska scenarier (ett neutralt, ett positivt och ett negativt scenario) med relevanta makroekonomiska riskfaktorer såsom arbetslöshet, styrf/centralbanksräntor, BNP, inflation och fastighetspriser, uppdelade per land. De olika scenarierna används för att justera riskparametrarna. Varje makroekonomiskt scenario tilldelas en sannolikhet, och de förväntade kreditförlusterna erhålls som ett sannolikhetsvägt genomsnitt av de förväntade kreditförlusterna för varje scenario.

För utförligare information om modellerna för att beräkna förväntade kreditförluster för avtal i Steg 1 och Steg 2 och för fördelning av begrepp såsom PD, EAD och LGD, förväntad löptid, betydande ökning av kreditrisk och makroekonomisk information, se not K2 avsnitt Kreditrisk. För känslighetsanalys för förväntade kreditförluster, se not K10.

Manuell beräkning

Tillgångar i Steg 3 provas för nedskrivning på individuell basis och beräkningen är manuell. Denna prövning genomförs löpande och vid varje rapporteringstillfälle av affärsansvarigt bankkontor (kund- och kreditansvarig enhet) och beslutas av lokal eller central kreditavdelning.

Nedskrivningsprövning utförs då det finns objektiva omständigheter som tyder på att motparten inte kommer att kunna fullfölja sina kontraktssenliga åtaganden i enlighet med definitionen på fallissemang. Sådana objektiva omständigheter kan exempelvis vara försenad betalning, utebliven betalning eller indikation på osannolik betalning.

I nedskrivningsprövningen uppehålls de framtida kassaflödena och säkerhetens värde (inklusive garantier). Hänsyn tas normalt till minst två möjliga framtidsbaserade scenarier för förväntade kassaflöden baserade på både motpartens återbetalningsförmåga och säkerheternas värde. Utfallet av dessa scenarier sannolikhetsvikts och diskonteras med for-

drans ursprungliga effektivränta. De scenarier som används kan innehålla såväl makroekonomiska som avtalspecifika faktorer, utifrån vad som bedöms ha påverkan på den enskilda motpartens återbetalningsförmåga och säkerheternas värdeutveckling. Vid bedömningen tas hänsyn till den enskilda motpartens specifika egenskaper. Nedskrivning görs om det beräknade återvinningavärdet understiger bokfört värde.

Expertbaserad beräkning

Expertbaserad beräkning görs för kreditförluster för att införliva uppskattad effekt från faktorer som inte bedömts ha fångats av modellen (Steg 1 och Steg 2) eller som inte har tagits hänsyn till manuellt (Steg 3). De modellbaserade beräkningarna är konstruerade med ambitionen att göra en så precis skattning som möjligt av de enskilda bidragen till reserveringsbehovet. Det är dock mycket svårt att med generella modeller fånga alla de säregenskaper som karaktäriserar ett enskilt avtal. Därför görs en manuell analys av de avtal som ger de största bidragen till reserveringsbehovet. Den manuella analysen syftar till att, baserat på expertkunskap om de enskilda krediterna, bedöma om den modellbaserade eller manuella beräkningen ska ersättas med en expertbedömd beräkning. En expertbedömd beräkning kan medföra både högre och lägre reserveringsbehov än den ursprungliga beräkningen.

Expertbaserad beräkning kan även utföras på en mer aggregerad nivå för att justera de modellbaserade beräkningarna för en delportfölj eller motsvarande. Dessa justeringar fördelas proportionellt över de ingående avtalen. En expertbedömd beräkning kan medföra både högre och lägre reserveringsbehov än den ursprungliga beräkningen.

Redovisning och

presentation av kreditförluster

- Finansiella tillgångar värderade till upplupet anskaffningsvärde redovisas i balansräkningen till sitt nettobelopp, efter avdrag för förväntade kreditförluster.
- Poster utanför balansräkningen (finansiella garantier och oåterkallliga lånelöften) redovisas till sitt nominella belopp. Reserveringar för förväntade kreditförluster avseende dessa instrument redovisas som en avsättning i balansräkningen.
- Finansiella tillgångar värderade till verkligt värde via övrigt totalresultat är redovisade till verkligt värde i balansräkningen. Reserveringar för förväntade kreditförluster avseende dessa instrument redovisas i verkligt värdereserven i eget kapital och minskar således inte redovisat värde på instrumentet.



3.1

Inledning

Förvaltningsberättelse

Finansiella rapporter
Koncernen

Hållbarhet

Övrigt

K1 forts.

- För finansiella tillgångar värderade till upplupet anskaffningsvärde och för poster utanför balansräkningen redovisas periodens kreditförluster (förväntade och konstaterade) i resultaträkningen på raden Kreditförluster. Raden Kreditförluster utgörs av periodens reserveringar för förväntade kreditförluster med avdrag för återföringar av tidigare utförda reserveringar, periodens bortskrivningar och periodens återvinningar.
- För finansiella tillgångar värderade till verkligt värde via övrigt totalresultat redovisas periodens kreditförluster (förväntade och konstaterade) i resultaträkningen på raden Nettoresultat av finansiella transaktioner.
- Bortskrivningar utgörs av konstaterade kreditförluster med avdrag för återföringar av tidigare gjorda reserveringar för förväntade kreditförluster i Steg 3 och kan avse hela eller delar av en finansiell tillgång. Bortskrivning sker när det inte bedöms finnas någon realistisk möjlighet till återbetalning. Efter bortskrivningen kvarstår normalt kraven mot låntagare och eventuella borgensmän, vilka som regel drivs vidare genom efterbevakning. Efterbevakning vidtas inte i vissa situationer, exempelvis i de fall konkursförvaltare lämnat slutlig redovisning av utdelning i konkurs, när ett ackordsförslag antagits eller när en fordran eftergivits i sin helhet. Fordringar som efterges i samband med omstrukturering av finansiella tillgångar redovisas alltid som konstaterade kreditförluster.
- Betalningar som tillkommer banken för bortskrivna finansiella tillgångar intäktsredovisas som återvinningar.

Ytterligare information om kreditförluster lämnas i not K10.

Fallissemang/Kreditförsämrad tillgång
Bankens definition av fallissemang överensstämmer med kapitaltäckningsförordningens (CRR) definition, vilken innebär att motparten antingen är mer än 90 dagar sen med en betalning eller att det gjorts en bedömning att motparten inte kommer att kunna betala kontraktens enligt. En sådan bedömning innebär att det ses som mer sannolikt att kredittagaren inte kommer att kunna betala än det motsatta. Bedömningen av detta görs utifrån all tillgänglig information om kredittagarens betalningsförmåga. Hänsyn tas till obeståndssignaler som bristande likviditet, försenade och inställda betalningar, betalningsanmärkningar eller andra tecken på bristande betalningsförmåga. Andra signaler kan vara att kredittagaren försätts i konkurs eller att beslut tas om en betydande anståndsåtgärd som innebär att värdet på bankens fordran mot kredittagaren minskar. Sannolikheten för fallissemang beräknas inför varje rapporteringstillfälle och ingår vid bedömningen av om det skett en betydande ökning av kreditrisken sedan första redovisningstillfället och vid beräkningen av förväntad

kreditförlust för finansiella tillgångar i Steg 1 och Steg 2.

Kreditförsämrad finansiell tillgång, vilket är exponering i Steg 3, definieras som exponering i fallissemang. Det medför att bedömningen för redovisningssyften är i linje med den som används i koncernens kreditrisihantering.

Ränta

Redovisning av ränteintäkter hänförliga till poster i balansräkningen som ingår i Steg 1 och Steg 2 bygger på bruttoredovisning, vilket innebär att ränteintäkter redovisas till sitt fulla belopp i räntenettet. Ränteintäkter avseende motsvarande poster i Steg 3 redovisas netto, det vill säga efter beaktande av nedskrivningen. Ränteeffekter som uppstår till följd av diskonterings effekter då perioden fram till förväntad inbetalning minskar, resulterar i en upplösning av tidigare reserverade belopp och redovisas som ränteintäkt i enlighet med effektivräntemetoden.

Värdering av egendom som

övertagits för skyddande av fordran

Vid första redovisningstillfället redovisas övertagen egendom till verkligt värde i balansräkningen. Övertagen egendom (inklusive övertagna leasingobjekt) som förväntas avyttras inom en snar framtid, tas vid efterföljande värdering upp till det lägsta av redovisat värde och verkligt värde med avdrag för kostnader för försäljning. Onoterade aktieinnehav som övertas för skyddande av fordran redovisas normalt till verkligt värde via resultaträkningen.

Modifierade finansiella tillgångar

Ett lån anses vara modifierat när de villkor och bestämmelser som styr kassaflöden ändras jämfört med det ursprungliga avtalet till följd av åtgärder i form av anståndsåtgärder eller affärsmässiga omförhandlingar. Anståndsåtgärder är villkorsändringar i samband med omstruktureringar eller andra finansiella lätt-nadsåtgärder. Dessa villkorsändringar utförs för att säkerställa full återbetalning eller för att maximera återbetalningen av det utestående lånebeloppet för låntagare som har, eller står inför, finansiella svårigheter. Affärsmässiga omförhandlingar är villkorsändringar som inte är relaterade till en låntagares finansiella svårigheter, till exempel ändringar i kassaflödet för ett lån på grund av förändringar i marknadsförhållanden för amorteringar eller ränta.

Om kassaflöden från en finansiell tillgång klassificerad till upplupet anskaffningsvärde har modifierats, men tillgångens kassaflöden inte blir väsentligt annorlunda, resulterar normalt inte modifieringen i att den finansiella tillgången tas bort från balansräkningen. I det fallet omräknas redovisat bruttovärde utifrån den finansiella tillgångens förändrade kassaflöden, och justeringsbeloppet redovisas i resultaträkningen.

Eftersom modifieringar utförs av olika anledningar finns inget ovillkorligt samband mellan modifieringar och bedömd kreditrisk. När en finansiell tillgång beviljats anståndsåtgärd och kvarstår i balansräkningen klassificeras den till Steg 2 eller Steg 3, baserat på utfallet av den bedömning som utförs i samband med anståndsåtgärden. Bedömningen omfattar kontroll av om det finns behov av reservering för kreditförlust eller annan omständighet som innebär klassificering till Steg 3.

Om en finansiell tillgång modifieras på ett sätt som medför väsentligt förändrade kassaflöden tas den modifierade finansiella tillgången bort från balansräkningen och ersätts med ett nytt avtal. I dessa fall utgör datumet för modifieringen första redovisningstillfället för det nya avtalet och detta datum används vidare vid beräkning av förväntade kreditförluster samt vid bedömning av huruvida det föreligger en betydande ökning av kreditrisk sedan första redovisningstillfället.

7. Säkringsredovisning (IAS 39 Finansiella instrument: redovisning och värdering)

Handelsbanken har valt att fortsätta tillämpa säkringsredovisningsreglerna i IAS 39, i enlighet med övergångsbestämmelserna i IFRS 9. Koncernen tillämpar olika metoder för säkringsredovisning beroende på syftet med säkringen. Som säkringsinstrument används derivat, i huvudsak ränte- och valutaränteswappar. Vid säkringar av valutakursrisker kopplade till nettoinvesteringar i utländska enheter används skulder i respektive utländsk enhets funktionella valuta som säkringsinstrument. Som en del av koncernens säkringsstrategier delas värdet på säkringsinstrument i vissa fall upp och ingår i fler än en säkringsrelation. Ett och samma säkringsinstrument kan därmed säkra olika risker. Sådan uppdelning görs endast om de säkrade riskerna tydligt kan identifieras, om effektiviteten kan mätas tillförlitligt och om den totala värdeförändringen på instrumentet ingår i någon säkringsrelation.

Säkringar av verkligt värde tillämpas i syfte att skydda koncernen mot icke önskvärda resultat effekter på grund av exponeringar för förändringar i marknadspriser. Säkringar av verkligt värde tillämpas för enskilda tillgångar och skulder samt för portföljer av finansiella instrument. Säkrade risker i säkringsrelationer till verkligt värde består av ränterisk i ut- och upplåning till fast ränta. Säkringsinstrumenten i dessa säkringsrelationer består av ränteswappar. Vid säkring av verkligt värde värderas såväl säkringsinstrumentet som den säkrade risken till verkligt värde. Värdeförändringarna redovisas direkt i resultaträkningen i posten Nettoresultat av finansiella transaktioner. När portföljsäkring tillämpas redovisas värdet på



3.1

K1 forts.

den säkrade posten på en separat rad i balansräkningen i anslutning till Utlåning till allmänheten. Då säkringar av verkligt värde avslutas i förtid periodiseras den upparbetade värdeförändringen på den säkrade posten i Nettoresultat av finansiella transaktioner under återstående löptid. Avslutas säkringar av verkligt värde i förtid, och den säkrade posten inte längre kvarstår, återförs den upparbetade värdeförändringen direkt i Nettoresultat av finansiella transaktioner.

Kassaflödessäkring används för att hantera exponeringar för variationer i kassaflöden hänförliga till förändringar i rörlig ränta på ut- och upplåning. Den förväntade löptiden för sådan ut- och upplåning är i regel betydligt längre än rättsbindningstiden som är kort. Kassaflödessäkring används även för att säkra valutakursrisken i framtida kassaflöden hänförliga till ut- och upplåning. Även valutakursrisker hänförliga till koncerninterna monetära poster kan omfattas av denna typ av säkring. I den mån de ger upphov till valutaexponeringar som inte elimineras vid upprättande av koncernredovisningen. Derivat som är säkringsinstrument i kassaflödessäkringar värderas till verkligt värde. I den mån derivatets värdeförändring är effektiv, det vill säga motsvaras av framtida kassaflöden hänförliga till den säkrade posten, redovisas den som en komponent i övrigt totalresultat och i säkringsreserven i eget kapital. Ineffektiva delar av derivatets värdeförändring redovisas i resultaträkningen i posten Nettoresultat av finansiella transaktioner. Då kassaflödessäkringar avslutas i förtid periodiseras den ackumulerade värdeförändringen, som tidigare redovisats i övrigt totalresultat, i Nettoresultat av finansiella transaktioner under den period de säkrade kassaflödena förväntas inträffa. Avslutas kassaflödessäkringar i förtid, och de säkrade kassaflödena inte längre förväntas inträffa, omklassificeras den ackumulerade värdeförändringen i säkringsreserven till Nettoresultat av finansiella transaktioner.

Säkringar av nettoinvesteringar i utlandsverksamheter tillämpas för att skydda koncernen mot valutakursdifferenser till följd av verksamhet i utlandet. Som säkringsinstrument används lån i utländsk valuta. Den säkrade posten i dessa säkringar utgörs av exponeringen i utländsk valuta hänförlig till det redovisade värdet avseende den första delen av nettotillgångarna i en utlandsverksamhet. Lån i utländsk valuta som säkrar nettoinvesteringar i utlandsverksamhet redovisas i koncernen till valutakursen på balansdagen. Den effektiva delen av valutakursdifferenser på sådana lån redovisas som en komponent i övrigt totalresultat och i omräkningsreserven i eget kapital. Ineffektiva delar av säkringar av nettoinvesteringar i utlandsverksamhet redovisas i resultaträkningen i posten Nettoresultat av finansiella transaktioner.

För ytterligare information se not K23 Säkringsredovisning.

8. Försäkringsverksamhet

Klassificering

Handelsbankens försäkringsavtal kan innehålla riskförsäkringsmoment, sparförsäkringsmoment eller båda. Klassificering som försäkringsavtal eller investeringsavtal görs utifrån de enskilda försäkringsmomenten (sparförsäkringsmoment/riskförsäkringsmoment) i avtalen eftersom de har olika ekonomisk innebörd. Traditionella livförsäkringsavtals sparförsäkringsmoment, riskförsäkringar samt riskförsäkringsmoment som separerats ut ur sammansatta traditionella livförsäkringsavtal och fondförsäkringsavtal överför betydande försäkringsrisk och klassificeras, värderas och redovisas som försäkringsavtal. Sparförsäkringsmomentet i fondförsäkringsavtal och depåförsäkringsavtal klassificeras som investeringsavtal och redovisas enligt IFRS 9.

Försäkringsavtalens aggregeringsnivå Handelsbanken har identifierat portföljer med försäkringsavtal med utgångspunkt från de försäkringsrisker de exponerar banken för. För traditionella livförsäkringsavtals sparförsäkringsmoment har samtliga avtal bedömts lönsamma. Vidare är avtalen tecknade långt tillbaka i tiden och produkten är stängd för nyteckning varför bara en portfölj och grupp har identifierats. För riskförsäkringar och riskförsäkringsmoment utgör respektive försäkringsprodukt en portfölj. Då samtliga avtal har bedömts lönsamma har bara en grupp per portfölj identifierats. Ytterligare uppdelning av dessa grupper har gjorts baserat på att avtal som tecknats med mer än ett års mellanrum inte ska ingå i samma grupp.

Värdering av försäkringsavtal

Handelsbanken tillämpar den generella modellen vid värderingen av skulden för återstående försäkringskydd för traditionella livförsäkringsavtals sparförsäkringsmoment. Skälet till att den generella modellen tillämpas är att dessa avtal har en avtalsgräns som är väsentligt längre än ett år samt att de höga förmånerna i avtalen leder till att de icke villkorade utbetalningar av tilläggsbelopp, som är de som varierar med avkastningen på underliggande tillgångar, inte förväntas utgöra en betydande andel av de totala utbetalningarna. I den generella modellen värderas skulden för återstående försäkringskydd som summan av det förväntade nuvärdet av framtida kassaflöden, en riskjustering och en avtalsenlig marginal. Handelsbanken har inte identifierat några förlustavtal.

För skulden för inträffade skador värderas skulden som summan av det förväntade nuvärdet av framtida kassaflöden och en riskjustering. Skulder med en förväntad avvecklingstid som är kortare än tolv månader diskonteras dock inte. För utförligare beskrivning

av förväntade nuvärdet av framtida kassaflöden, riskjustering och avtalsenlig marginal, se not K34.

Handelsbanken tillämpar premiefördelningsmetoden vid värderingen av skulden för återstående försäkringskydd för riskförsäkringar och för riskförsäkringsmoment som separerats ut ur sammansatta traditionella livförsäkringsavtal och fondförsäkringsavtal samt för återförsäkringsavtal. Skälet till att premiefördelningsmetoden tillämpas är att dessa avtal har en avtalsgräns på maximalt ett år. Skulden för återstående försäkringskydd diskonteras inte utan värderas till erhållna, men ännu ej intjänade premier. Erhållna premier redovisas som intäkt linjärt över tid i takt med att försäkringskyddet tillhandahålls. Handelsbanken har inte identifierat några förlustavtal.

Redovisning av försäkringsavtal och innehavda återförsäkringsavtal I balansräkningen redovisas skulden för återstående försäkringskydd samt skulden för inträffade skador i posten Försäkringskulder. Tillgångar och skulder avseende innehavda återförsäkringsavtal redovisas i posterna Övriga tillgångar respektive Övriga skulder. I resultaträkningen presenteras nettoresultatet från försäkringsavtal samlat på raden Försäkringsnetto. I Försäkringsnettot ingår posterna Försäkringsresultat och Avkastning på tillgångar som innehas för försäkringstagarnas räkning. Raden Försäkringsresultat innehåller intäkter och kostnader hänförliga till försäkringsavtal, även rörelsekostnader. Raden Avkastning på tillgångar som innehas för försäkringstagarnas räkning redovisas enligt IFRS 9, men ingår i försäkringsnettot eftersom tillgångarna är hänförliga till sådana avtal som redovisas som försäkringsavtal. I övrigt totalresultat redovisas effekterna av ändrad diskonteringsränta vid värderingen av sparförsäkringsmomentet i traditionell livförsäkring, vilken ackumuleras i posten Försäkringsavtal inom eget kapital. Vid övergången till IFRS 17 uppgick beloppet i övrigt totalresultat till noll.

Redovisning och värdering

av investeringsavtal Sparförsäkringsmomentet i fondförsäkringsavtal och depåförsäkringsavtal utgör investeringsavtal. Dessa avtal samt tillhörande placeringstillgångar värderas till verkligt värde via resultaträkningen. I balansräkningen redovisas dessa poster som Tillgångar respektive Skulder där kunden står värdeförändringsrisken. I resultaträkningen redovisas premieavgifter, kapitalavgifter samt övriga administrativa avgifter från investeringsavtal i posten Provisionsintäkter. Även anskaffningskostnader redovisas direkt i resultaträkningen. Värdeförändringar på tillgångar och skulder redovisas i posten Nettoresultat av finansiella transaktioner.



3.1

Inledning

Förvaltningsberättelse

Finansiella rapporter
Koncernen

Hållbarhet

Övrigt

K1 forts.

9. Tillgångar som innehas för försäljning samt redovisning av avvecklad verksamhet (IFRS 5)

Anläggningstillgångar som innehas för försäljning och avvecklade verksamheter Anläggningstillgångar eller en grupp av tillgångar, ibland tillsammans med därtill hänförliga skulder, (avyttringsgrupp) klassificeras som att de innehas för försäljning när det redovisade värdet i huvudsak kommer att återvinnas genom försäljning och när försäljning är mycket sannolik. Om klassificeringen sker som tillgång som innehas för försäljning tillämpas särskilda värderingsprinciper. Dessa innebär i huvudsak att, med undantag för bland annat finansiella tillgångar och skulder (se punkt 4), tillgångar som innehas för försäljning och avyttringsgrupper värderas till det lägsta av det redovisade värdet och verkligt värde med avdrag för försäljningskostnader. Därmed görs inte några avskrivningar på materiella eller immateriella tillgångar som innehas för försäljning. Eventuella nedskrivningar och efterföljande omvärderingar redovisas direkt i resultaträkningen. En vinst redovisas dock inte till den del som den överstiger tidigare redovisade ackumulerade nedskrivningar. Tillgångar och skulder som innehas för försäljning särredovisas i koncernens balansräkning fram till försäljningstidpunkten.

Som avvecklad verksamhet redovisas självständig verksamhet av väsentlig karaktär som är klart avskiljbar från koncernens övriga verksamhet och som antingen har avyttrats eller klassificerats som att den innehas för försäljning med tillämpning av de principer som beskrivits ovan. Redovisning som avvecklad verksamhet innebär att verksamhetens resultat särredovisas på egen rad i resultaträkningen skilt från övriga resultatposter. Resultatet från avvecklad verksamhet består av resultatet efter skatt av avvecklade verksamheter, det resultat efter skatt som uppstår vid värdering till verkligt värde med avdrag för försäljningskostnader av de tillgångar som innehas för försäljning/avyttringsgrupper som ingår i avvecklade verksamheter, samt realiserat resultat från avyttring av avvecklade verksamheter. För upplysningar om tillgångar respektive skulder som innehas för försäljning samt avvecklad verksamhet se not K14.

10. Eget kapital

Eget kapital består av de komponenter som beskrivs i det följande.

Aktiekapital

Handelsbankens aktie finns i aktieslag A respektive B. A-aktien berättigar innehavare till en röst och B-aktien till en tiondelröst. De båda aktieslagen har samma rätt till utdelning.

Överkursfond

Överkursfonden består dels av optionskomponenten av emitterade konvertibla skuldebrev och dels av det belopp som vid emission av aktier och vid konvertering av konvertibla skuldebrev överstiger de emitterade aktiernas kvotvärde.

Övriga reserver

Förmånsbestämda pensionsplaner

I posten Förmånsbestämda pensionsplaner redovisas aktuariella vinster och förluster på pensionsförpliktsen samt avkastning på förvaltningsstillgångarna som överstiger eller understiger diskonteringsräntan.

Kassaflödessäkkringar

I posten Kassaflödessäkkringar (Säkringsreserven) redovisas orealiserade värdeförändringar på derivatinstrument som utgör säkringsinstrument i kassaflödessäkkringar till den del säkringen är effektiv, det vill säga motsvaras av framtida kassaflöden hänförliga till den säkrade posten.

Verkligt värde via övrigt totalresultat

I posten Verkligt värde via övrigt totalresultat (Verkligt värdereserven) redovisas orealiserade värdeförändringar på finansiella tillgångar klassificerade till verkligt värde via övrigt totalresultat. Vidare består posten av reserveringar för förväntade kreditförluster på skuldinstrument klassificerade till verkligt värde via övrigt totalresultat. Realiserade värdeförändringar på skuldinstrument klassificerade till verkligt värde via övrigt totalresultat omklassificeras från posten verkligt värde via övrigt totalresultat till resultaträkningen. Realiserade värdeförändringar på egetkapitalinstrument klassificerade till verkligt värde via övrigt totalresultat omklassificeras från posten verkligt värde via övrigt totalresultat till balanserade vinstmedel.

Försäkringsavtal

I posten Försäkringsavtal redovisas effekter av ändrad diskonteringsränta vid värderingen av sparförsäkringsmomentet i traditionell livförsäkring.

Omräkning utländsk verksamhet

I posten Omräkning utländsk valuta (Omräkningsreserven) redovisas orealiserade valutakurseffekter som uppstår till följd av omräkning av utländska enheter till koncernens rapporteringsvaluta. Därutöver redovisas effektiva delar för säkringar av nettoinvesteringar i utlandsverksamhet i posten samt omräkningsdifferenser hänförliga till icke-monetära poster som klassificeras till verkligt värde via övrigt totalresultat.

Balanserade vinstmedel

Inklusive årets resultat

Balanserade vinstmedel består av intjänat resultat från innevarande och tidigare räkenskapsår. Utdelning och återköp av egna aktier redovisas som avdrag från balanserade vinstmedel.

Realiserade resultat hänförliga till egetkapitalinstrument klassificerade till verkligt värde via övrigt totalresultat omklassificeras från posten verkligt värde via övrigt totalresultat till balanserade vinstmedel.

Innehav utan bestämmande inflytande

Innehav utan bestämmande inflytande utgörs av den andel av koncernens nettotillgångar som inte direkt eller indirekt ägs av moderföretagets stamaktieägare. Innehav utan bestämmande inflytande redovisas som en separat andel av eget kapital.

11. Intäkter

Räntenetto

Ränteintäkter och räntekostnader redovisas i räntenettot i resultaträkningen, med undantag för räntor hänförliga till finansiella instrument som obligatoriskt värderas till verkligt värde via resultaträkningen vilka redovisas i Nettoresultat av finansiella transaktioner där den samlade aktiviteten i handelslagret redovisas.

Ränteintäkter och räntekostnader för finansiella instrument som värderas till upplupet anskaffningsvärde beräknas och redovisas med tillämpning av effektivräntemetoden eller, om så anses lämpligt, med tillämpning av en metod som resulterar i ett belopp som utgör en rimlig uppskattning av vad en beräkning grundad på effektivräntemetoden skulle ge. Effektivräntan innefattar avgifter som anses vara en integrerad del av effektivräntan för ett finansiellt instrument (vanligen avgifter som kompenserar för risk). Effektivräntan motsvarar den ränta som används för att diskontera avtalsenliga framtida kassaflöden till redovisat värde på den finansiella tillgången eller skulden.



3.1

K1 forts.

I räntenettot redovisas även räntor från derivat som ingår i säkringsredovisning och räntor från derivat i ekonomiska säkringar, eftersom dessa säkrar poster vars ränteflöden redovisas i räntenettot.

Utöver ränteintäkter och räntekostnader ingår avgift för statlig insättningsgaranti i räntenettot.

Provisionsnetto

Provisionsintäkter redovisas vid den tidpunkt när prestationsåtagandet är uppfyllt, vilket är när kontrollen av tjänsten är överförd till kunden. Den totala intäkten fördelas för varje tjänst, och intäktsfördelningen beror på om tjänsterna är uppfyllda vid en viss specifik tidpunkt eller över tid. Provisionsintäkter i form av exempelvis förvaltningsavgifter inom kapitalförvaltningen redovisas normalt över tid i takt med att dessa tjänster utförs. Provisionsintäkter i form av exempelvis courtage, kortavgifter och betalningsprovisioner redovisas generellt när tjänsten utförts, det vill säga vid en viss specifik tidpunkt. När intäkten inkluderar en rörlig ersättning, till exempel rabatt, återbäring eller prestationsbaserade delar, redovisas intäkten först när det är högst troligt att ingen återbetalning av beloppet kommer att ske. Utlämningsavgifter som inte ingår i effektivräntan redovisas som provisionsintäkter. Provisionskostnader är transaktionsberoende och är direkt relaterade till transaktioner vars intäkter redovisats som Provisionsintäkter.

Nettoreultat av finansiella transaktioner

I posten Nettoreultat av finansiella transaktioner redovisas den resultatpåverkan som uppstår vid värdering av finansiella tillgångar och skulder till verkligt värde via resultaträkningen och vid realisation av finansiella tillgångar och skulder (med undantag för egetkapitalinstrument klassificerade till verkligt värde via övrigt totalresultat).

- Resultat från finansiella instrument till upplupet anskaffningsvärde består av realiserade vinster och förluster på finansiella tillgångar och skulder klassificerade till upplupet anskaffningsvärde, såsom till exempel ränteskillnadsersättning för förtidslöst utlåning och realisationsresultat som genereras vid återköp av egna emitterade värdepapper.
- Resultat från finansiella instrument till verkligt värde via övrigt totalresultat består av realiserade vinster och förluster på räntebärande värdepapper klassificerade till verkligt värde via övrigt totalresultat. Realiserade vinster och förluster omklassificeras från övrigt totalresultat till Nettoreultat av finansiella transaktioner i samband med avyttring/försäljning. Vidare består posten av kreditförluster (förväntade och konstaterade) på dessa tillgångar.

- Resultat från finansiella instrument till verkligt värde via resultaträkningen, verkligt värdeoptionen, består av realiserade och realiserade värdeförändringar på finansiella tillgångar och skulder som vid första redovisningstillfället identifierats som värderade till verkligt värde via resultaträkningen.
- Resultat från finansiella instrument till verkligt värde via resultaträkningen, obligatoriskt, består av realiserade och realiserade värdeförändringar samt utdelningsintäkter och räntor (med undantag för räntor som hänförs från derivat som säkrar poster vars ränteflöde redovisas i räntenettot) på finansiella tillgångar och skulder som innehas för handel eller som förvaltas och utvärderas på basis av verkliga värden.
- Säkring av verkligt värde består av realiserade och realiserade värdeförändringar på säkringsinstrument respektive säkrad riskkomponent i finansiella tillgångar och skulder som är säkrade poster i säkringar till verkligt värde. Ineffektivitet i kassaflödessäkringar består av de värdeförändringar på säkringsinstrumentet som inte motsvaras av framtida kassaflöden hänförliga till den säkrade posten.
- Vinster och förluster som uppkommer till följd av omräkning av monetära poster i utländsk valuta (det vill säga annan valuta än den funktionella valutan), samt icke-monetära poster i utländsk valuta som värderas till verkligt värde, till gällande stängningskurs per balansdagen. Resultatet vid omräkning till balansdagens stängningskurs av finansiella tillgångar och skulder i utländsk valuta som värderas till upplupet anskaffningsvärde redovisas således i Nettoreultatet av finansiella transaktioner.
- Avkastning på tillgångar som innehas för försäkringstagarnas räknning avgår från Nettoreultat av finansiella transaktioner eftersom den ingår i Försäkringsnettot.

Utdelning

Utdelningar på aktier som klassificerats till verkligt värde via övrigt totalresultat redovisas i resultaträkningen i posten Övriga utdelningsintäkter. Utdelningar på aktier som klassificerats till verkligt värde via resultaträkningen redovisas i posten Nettoreultat av finansiella transaktioner. Eventuella utdelningar från intresseföretag och joint ventures minskar det redovisade värdet på andelar i intresseföretag och joint ventures.

12. Ersättningar till anställda (IAS 19 Ersättningar till anställda)

Personalkostnader

Som personalkostnader redovisas löner, pensionskostnader och andra former av direkta personalkostnader inklusive social avgifter, särskild löneskatt på pensionskostnader och andra former av lönebikostnader. Eventuella ersättningar i samband med avslutad anställning skuldförs vid avtalets ingång och periodiseras över återstående tjänstgöringstid.

Redovisning av pensioner

Ersättningar till anställda efter anställningens upphörande utgörs i banken av pensionsförpliktelser som klassificeras som antingen premiebestämda planer eller förmånsbestämda planer. För de premiebestämda planerna betalar banken fastställda premier till en utomstående juridisk enhet och värdeförändringsrisken fram till dess att medlen utbetalas faller på den anställda. För dessa planer har banken inga ytterligare förpliktelser efter att premier betalats. Premier för premiebestämda planer redovisas i resultaträkningen som personalkostnad i den takt de intjänas genom att de anställda utför tjänster åt banken.

Övriga pensionsförpliktelser klassificeras som förmånsbestämda planer. Vid förmånsbestämd pensionslösning utgår en pension baserad på lön och anställningstid, vilket innebär att banken bär alla väsentliga risker för fullgörandet av pensionsförpliktelser. För beräkningen av pensionsförpliktelser och kostnader hänförliga till dessa tillämpas Projected Unit Credit Method och nuvärdet av pensionsåtagandet redovisas som pensionsförpliktelse. För majoriteten av de förmånsbestämda pensionsplanerna har koncernen avsatt förvalningstillgångar i pensionsstiftelser och pensionskassa eller motsvarande för att täcka förpliktelser. Som pensionsnetto i balansräkningen redovisas pensionsförpliktelserna minskade med förvalningstillgångarnas verkliga värde. I resultaträkningen redovisas pensionskostnaden för förmånsbestämda planer som personalkostnad vilken utgörs av kostnad för under året intjänad pensionsrätt, räntekostnad på pensionsförpliktelserna samt ränteintäkt på förvalningstillgångarna. Beräkningen av pensioner intjänade under året utgår från en beräknad slutlön och är föremål för aktuariella antaganden och avser årets andel av den beräknade slutliga totala pensionsutbetalningen. För beräkning av årets räntekostnad och ränteintäkt används samma räntesats, aktuell företagsobligationsränta (räntan vid årets början) för en löptid motsvarande återstående tid till utbetalning av pensionskulden. I övrigt totalresultat redovisas



3.1

Inledning

Förvaltningsberättelse

Finansiella rapporter
Koncernen

Hållbarhet

Övrigt

K1 forts.

aktuariella vinster och förluster på pensionsförpliktelser som uppstår på grund av att verkligt utfall avviker från gjorda antaganden samt skillnaden mellan verklig avkastning och beräknad räntesintäkt på förvaltningstillgångarna.

Beräkningen av kostnader och åtaganden med anledning av koncernens förmånsbestämda planer är förenad med ett flertal bedömningar och antaganden som kan ha en betydande inverkan på redovisade belopp. En utförligare beskrivning av dessa antaganden och bedömningar lämnas i punkt 13 och i not K8.

13. Väsentliga bedömningar och uppskattningar

Tillämpningen av koncernens redovisningsprinciper innebär i vissa fall att företagsledningen måste göra bedömningar (utöver de som gäller uppskattningar) som får en väsentlig inverkan på redovisade belopp. Redovisade belopp påverkas dessutom i ett antal fall av antaganden om framtiden och uppskattningar. Antaganden och källor till osäkerhet i uppskattningar innebär alltid en risk för en justering av det redovisade värdet för tillgångar och skulder. De bedömningar, antaganden om framtiden och uppskattningar som görs speglar alltid företagsledningens bästa och mest rimliga uppfattning och är kontinuerligt föremål för granskning och validering.

Nedan följer en beskrivning av de bedömningar, antaganden om framtiden och uppskattningar som har haft en väsentlig inverkan på de finansiella rapporterna.

Koncernredovisning

Ett strukturerat företag är ett företag som bildats för att uppnå ett begränsat och väldefinierat syfte, där rösträtten inte är den avgörande faktorn för att avgöra om bestämmande inflytande föreligger. Handelsbankens innehav i strukturerade företag är begränsade till innehav i fonder.

Fonder för vilka banken är kapitalförvaltare och där banken äger mer än 50% av andelarna konsolideras. Bankens innehav i fonden redovisas till verkligt värde på raden Aktier och andelar i balansräkningen. Resterande andel av fondens verkliga värde konsolideras och redovisas på raderna Tillgångar respektive Skulder där kunden står värdeförändringsrisken i balansräkningen. Ägande mellan 20 och 50% konsolideras i vissa fall om omständigheterna gör gällande att banken har ett bestämmande inflytande, exempelvis genom att fonden har ett brett förvaltningsmandat och genererar en hög andel variabel avkastning.

Innehav till följd av fondförsäkringsavtal bedöms inte medföra att koncernen är exponerad emot variabel avkastning. Dessa inne-

hav exkluderas i bedömningen av om det föreligger bestämmande inflytande över fonden. Andelar i fonder till följd av fondförsäkringsavtal redovisas som Tillgångar där kunden står värdeförändringsrisken medan korresponderande skuld för fondförsäkringsavtalen redovisas som Skulder där kunden står värdeförändringsrisken.

För ytterligare information om innehav i icke-konsoliderade strukturerade företag, se not K49.

Finansiella instrument

Värderade till verkligt värde

Vid kategorisering i nivå 1, nivå 2 eller nivå 3 av finansiella instrument värderade till verkligt värde erfordras bedömningar med avseende på graden av transparens gällande marknadsdata som använts vid värderingen. Finansiella instrument som värderas till aktuellt marknadspris på en aktiv marknad ingår i nivå 1. Finansiella instrument som värderas utifrån värderingsmodeller som bygger på indata som inte går att verifiera med externa marknadsdata ingår i nivå 3. Bedömningar har således utförts i syfte att identifiera för vilka finansiella instrument det saknas en aktiv marknad. Vidare har bedömningar gjorts vid val av vilka värderingsmodeller som ska tillämpas samt med avseende på vilken indata som ska användas i värderingsmodellerna.

Utgångspunkten är att indata som används i värderingsmodellerna i allt väsentligt kan verifieras med marknadsobservationer, exempelvis noterade priser på aktier och räntor. I de fall indata i en värderingsmodell i väsentlig utsträckning inte kan verifieras med externa marknadsdata är det erforderligt för företagsledningen att tillämpa egna antaganden och uppskattningar vid beräkning av det verkliga värdet. Bankens innehav i finansiella tillgångar klassificerade i nivå 3 utgör dock endast en ringa andel av totala finansiella tillgångar som värderas till verkligt värde. Banken har en etablerad kontrollmiljö för att fastställa verkliga värden på finansiella instrument som bland annat inkluderar att en översyn av värderingsmodeller och marknadspriser utförs av riskkontrollfunktionen. Redovisade värden avseende finansiella instrument värderade till verkligt värde framgår av not K42 Värdering av finansiella instrument till verkligt värde.

För mer information om väsentliga bedömningar vid värdering av finansiella instrument till verkligt värde samt tillämpade antaganden, se not K1 avsnitt 5 Principer för värdering av finansiella tillgångar och skulder till verkligt värde samt not K42 Värdering av finansiella instrument till verkligt värde.

Klassificering av försäkringsavtal

och beräkning av försäkringssskuld

Enligt IFRS 17 är utgångspunkten för tillämpningen av standarden det juridiska försäkringsavtalet och om detta anses överföra betydande försäkringsrisk. Banken har bedömt att klassificering som försäkringsavtal eller investeringsavtal ska utföras utifrån de enskilda försäkringsmomenten (sparförsäkringsmoment/risikförsäkringsmoment) i avtalen eftersom de har olika ekonomisk innebörd. En separation av spar- och risikoförsäkringsmoment ger den mest korrekta redovisningen, då enbart den sistnämnda överför betydande försäkringsrisk. Bankens bedömning är att det skulle få en marginell effekt på bankens finansiella ställning eller resultat om samtliga sammansatta försäkringsavtal redovisats enligt IFRS 17, till följd av avtalens korta avtalsgränser. Avtalen avser långfristigt sparande men har enligt den redovisningsmässiga bedömningen korta avtalsgränser (upp till ett år) då de löpande kan prisjusteras.

Vid beräkning av det förväntade nuvärdet av framtida kassaflöden för försäkringssskuden används antaganden om framtiden, vilka medför att beräkningen är förknippad med osäkerhet. Redovisade värden avseende försäkringssskulder framgår av not K34 Försäkringssskulder.

För mer information om väsentliga bedömningar samt de antaganden och uppskattningar som tillämpats vid beräkningen av försäkringssskulder, samt dess beslutsprocess, se not K34 Försäkringssskulder.

Aktuariell beräkning av

förmånsbestämda pensionsplaner

Beräkningen av koncernens kostnader och förpliktelser för förmånsbestämda pensioner bygger på ett flertal aktuariella, demografiska och finansiella antaganden som företagsledningen bedömt har betydande inverkan på redovisade belopp. En förteckning över de mest väsentliga antagandena som använts vid beräkningen av årets avsättning framgår av not K6 Personal-kostnader. Diskonteringsräntan för förmånsbestämda pensioner bedöms kvartalsvis och andra antaganden bedöms årligen eller när en väsentlig ändring har skett.

Diskonteringsräntan som banken använder vid beräkningen baseras på ett antal förstklassiga likvida företagsobligationer med olika löptider. För företagsobligationer med löptider som överensstämmer med den uppskattade genomsnittliga löptiden för pensionsförpliktelser, vilken för närvarande uppgår till 20 år, fastställs diskonteringsräntan utifrån marknadsräntor. I syfte att skapa en stabil bas av obligationer, när det inte finns ett tillräckligt stort urval av företagsobligationer med löptid motsvarande pensionsskuldens, används även företagsobligationer med kortare löptid än pensionsskulden som bas vid fastställandet av diskonteringsräntan. För dessa fastställs dis-



3.1

K1 forts.

konteringsräntan med utgångspunkt från en räntekurva. Räntekurvan är byggd som en spread över den svenska swapkurvan. Spreaden, som är baserad på företagsobligationer exklusive egna emissioner, appliceras på swapkurvan. På detta sätt modelleras en räntekurva, utifrån vilken en 20-årig ränta kan härledas. Redovisade värden avseende pensionsförpliktelser framgår av not K8 Personal-kostnader.

En känslighetsanalys av koncernens pensionsförpliktelse för varje betydande aktuariellt antagande, som visar hur förpliktelsen skulle ha påverkats av rimligt möjliga förändringar i dessa antaganden, framgår av not K8 Personal-kostnader.

Kreditförluster

Väsentliga bedömningar, antaganden om framtiden och uppskattningar har utförts vid beräkning av förväntade kreditförluster. Värderingen av förväntade kreditförluster är till sin natur förknippad med viss osäkerhet. Områden med hög grad av bedömningar och uppskattningar beskrivs nedan under respektive rubrik.

Framåtblickande information i makroekonomiska scenarier

Handelsbanken övervakar löpande den makroekonomiska utvecklingen med särskilt fokus på hemmamarknaderna. Denna bevakning sker bland annat för att ta fram de makroekonomiska scenarier som ligger till grund för den framåtblickande information som används i den modellbaserade beräkningen av förväntade kreditförluster. Förmågan hos bankens kunder att uppfylla sina kontraktssliga betalningar varierar med den makroekonomiska utvecklingen. Det innebär att den framtida makroekonomiska utvecklingen har en påverkan på bankens syn på reserveringsbehov för förväntade förluster. Beräkningen av reserveringsbehovet för förväntade kreditförluster utgår från det neutrala scenariot enligt bankens enhet för makroanalys.

Eftersom förlusterna kan påverkas mer av en framtida försämring av den ekonomiska utvecklingen än av en motsvarande förbättring, använder banken minst två alternativa scenarier för att fånga icke-linjära aspekter på de förväntade kreditförlusterna. Dessa alternativa scenarier motsvarar tänkbara, men väsentligt sämre respektive bättre, utveckling än det neutrala scenariot. Baserat på bankens förlusthistorik under det senaste decenniet kompletterat med erfarenhetsbedömningar har de mest väsentliga makroekonomiska riskfaktorerna valts ut. Dessa makroekonomiska riskfaktorer ingår sedan i bankens kvantitativa statistiska modeller för prognoser av migrationer, fallissemang, förlustandelen och exponering. De makroekonomiska riskfaktorerna inkluderar arbetslöshet, styr-/centralbanks-

räntor, BNP, inflation och fastighetspriser. Bankens affärsmodell, att ge krediter till kunder med stark återbetalningsförmåga, gör att sambanden mellan den makroekonomiska utvecklingen och reserveringsbehovet inte alltid är framträdande. För en utförligare beskrivning av makroekonomisk information, se not K2 avsnitt Kreditrisker.

Beräkningen av förväntade kreditförluster tillämpar framåtblickande information i form av makroscenarier. En förändring i de makroekonomiska scenarierna, eller i de vikter som tillämpas, påverkar både bedömningen av betydande ökning av kreditrisk och uppskattningen av den förväntade kreditförlusten. Redovisade värden avseende reserver för förväntade kreditförluster framgår av not K10 Kreditförluster. För en beskrivning samt utfallet av känslighetsanalyser, se not K10 Kreditförluster.

Betydande ökning av kreditrisk

Banken gör en bedömning på avtalsnivå vid varje rapportperiods slut av om en betydande ökning av kreditrisken har skett sedan det första redovisningstillfället. För en utförligare beskrivning av betydande ökning av kreditrisk, se not K2 avsnitt Kreditrisker.

Modellbaserad beräkning

De kvantitativa modeller som ligger till grund för beräkningen av förväntade kreditförluster för avtal i Steg 1 och Steg 2 utgår från flera antaganden och bedömningar. Ett viktigt antagande är att de relationer som kan mätas mellan makroekonomiska riskfaktorer och riskparametrar på historiska data är representativa för framtida händelser. De kvantitativa modeller som tillämpas baseras på cirka 10 års historik, men historiken varierar med produkt och region beroende på tillgång till historiska utfall. De kvantitativa modellerna är konstruerade med hjälp av ekonomiska modeller under antagande att observationerna är oberoende betingat av de valda riskfaktorerna. Det innebär att riskparametrarna kan förutses utan snedvridande effekter. Vidare görs ett urval av de mest väsentliga makroekonomiska riskfaktorerna baserat på de enskilda makroekonomiska riskfaktorernas förklaringsförmåga på de enskilda riskparametrarna. När makroekonomiska riskfaktorer väljs ut och modellen specificeras görs en avvägning mellan enkelhet, förklaringsförmåga och stabilitet. I nuläget har inga klimatrelaterade makroekonomiska riskfaktorer inkluderats i modellerna, men frågeställningen bedöms fortgående. Klimatrelaterade och vissa andra miljörelaterade risker bedöms i kreditprocessen och inkluderas i den interna ratingen på motparts nivå, vilken utgör en riskfaktor som påverkar beräkningen av framåtblickande sannolikheter för riskparametrarna PD, LGD och EAD. För en utförligare beskrivning av modeller och validering av modeller, se not K2 avsnitt Kreditrisker.

Manuell och expertbaserad beräkning

Tillgångar i steg 3 prövas för nedskrivning på avtalsnivå och beräkningen är manuell. Vid nedskrivningsprövningen utförs väsentliga bedömningar bland annat med avseende på framtida kassaflödena, vilka scenarier som ska tillämpas, sannolikheten för att de olika scenarierna ska inträffa och för att bedöma säkerheternas värde. För en utförligare beskrivning av manuell beräkning, se punkt 6 rubrik Manuell beräkning samt not K2 avsnitt Kreditrisker.

Expertbaserad beräkning görs på modellutfall för avtal i Steg 1 och Steg 2, för att införliva uppskattad effekt från faktorer som inte bedömts ha fångats av modellen samt för manuellt bedömda i Steg 3. Expertbaserade beräkningar utförs utifrån expertkunskap om enskilda krediter och/eller delportföljer, vilket innefattar att väsentliga bedömningar utförs. För en utförligare beskrivning av expertbaserad beräkning, se punkt 6 rubrik Expertbaserad beräkning.

Övriga bedömningar

Hållbarhetsrisker

Vid upprättandet av årsredovisningen har väsentliga bedömningar utförts med avseende på i vilken omfattning hållbarhetsrisker, främst klimatrelaterade och vissa andra miljörelaterade risker, har påverkat de finansiella rapporterna samt de uppskattningar och antaganden som tillämpats. Bedömningen är att det i allt väsentligt är förväntade kreditförluster som potentiellt påverkas av klimat- och andra miljörelaterade risker (se ovan Kreditförluster). Banken utför fortgående bedömningar av om det skulle kunna föreligga någon potentiell påverkan avseende hållbarhetsrisker på andra områden i de finansiella rapporterna, vilka främst utgörs av värdering av finansiella instrument till verkligt värde samt avsättningar och eventuella förpliktelser. Vid bedömningen har något behov av att beakta hållbarhetsrisker för andra områden än förväntade kreditförluster inte identifierats. Sammantaget är bankens bedömning att hållbarhetsrisker inte har haft någon väsentlig påverkan på de finansiella rapporterna för 2024.



3.1

Inledning

Förvaltningsberättelse

Finansiella rapporter
Koncernen

Hållbarhet

Övrigt

K2 Risk- och kapitalhantering

Handelsbankens låga risktolerans är en central del i bankens affärsidé. Den låga risktoleransen tillsammans med ett decentraliserat arbetssätt, stabila finanser och hållbart ansvarstagande är grunden i Handelsbankens långsiktiga kundrelationer.

Informationen i denna not inkluderar avyttringsgrupperna i Finland som i balansräkningen omklassificerats till Tillgångar som innehas för försäljning respektive Skulder som innehas för försäljning samt utgör avvecklad verksamhet, se not K14.

Motståndskraftig riskhantering

Handelsbanken har en kapital- och likviditetsplanering som syftar till att säkerställa bankens fortsnövad under såväl normala tider som under stressade förhållanden. Det resulterar i en stark kapital- och likviditetsituation med kontinuerlig tillgång till de finansiella marknaderna via bankens kort- och långfristiga finansieringsprogram.

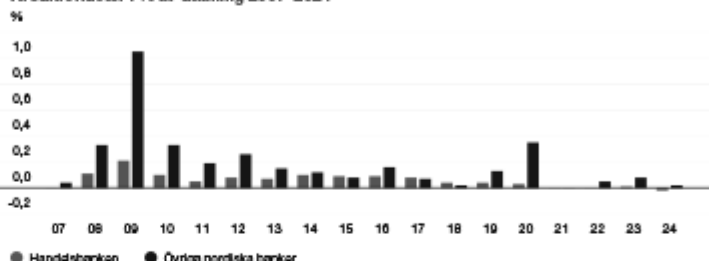
Banken har en stor likviditetsreserv av hög kvalitet, vilket ger en god motståndskraft mot eventuella störningar på de finansiella marknaderna. Handelsbankens Treasurys likviditetsportfölj, som är en del av bankens likviditetsreserv, har en låg riskprofil och består i huvudsak av tillgodohavanden i centralbanker, statsobligationer och säkerställda obligationer. Därutöver finns ett mycket omfattande outnyttjat emissionsutrymme avseende säkerställda obligationer i Stadshypotek. Likviditetsreserver hålls i alla för banken väsentliga valutor. En bibehållen verksamhet kan därmed upprätthållas under en betydande tid även i en extrem situation med stängda marknader. Den totala likviditetsreserven inklusive det outnyttjade emissionsutrymmet täcker bankens likviditetsbehov i ett stressat scenario i mer än tre år.

Bankens kapitalstatus är fortsatt stark. Under året har en god intjänning och låga kreditförluster bidragit till detta.

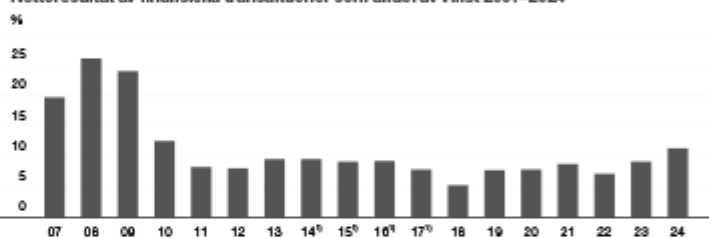
Banken utför särskilda stresstester, som bland annat tar hänsyn till det makroekonomiska och geopolitiska läget, rådande marknadssituation och påverkan från klimatförändringar för att tidigt kunna agera om likviditets- eller kapitalstatusen skulle försämrats.

Det geopolitiska säkerhetsläget har ökat risken för olika typer av attacker mot kritisk infrastruktur i samhället. Bankens säkerhetsavdelning följer händelseutvecklingen och riskbedömer löpande olika scenarier.

Kreditförluster i % av utlåning 2007–2024



Nettoresultat av finansiella transaktioner som andel av vinst 2007–2024



1) Exklusive poster av icke återkommande karaktär.

Risktolerans

Handelsbanken har en låg risktolerans som vilar på en övergripande strategi att undvika eller minimera risk och därigenom vara en stabil affärspartner till kunderna oavsett konjunktur eller marknadssituation. Den låga risktoleransen utgör grunden för det ramverk för riskhantering som tillämpas i banken. Ramverket består av de strategier, processer, limiter, kontroller och rapporteringsrutiner som kommer till uttryck genom styrdokument på olika nivåer inom koncernen.

Bankens affärsmodell fokuserar på att ta och hantera kreditrisker i kontorsrörelsen där målet är att etablera långsiktiga relationer med kunder som har god återbetalningsförmåga och stark finansiell ställning. Kvalitetskravet får aldrig åsidosättas till förmån för högre kreditvolym, högre pris eller marknadsandelar. Handelsbankens kreditförlustnivå har under de senaste decennierna varit väsentligt lägre än genomsnittet hos övriga nordiska banker.

Bankens utgångspunkt är att ingen kredit ska medföra en förlust. Detta förhållningssätt är helt styrande för kontorens kreditgivning och uppföljning av krediter.

För att hålla bankens exponering mot marknads- och likviditetsrisker inom den låga risktoleransen ska sådana risker endast förekomma som ett naturligt led i kundaffärer, i samband med bankens finansiering och likviditetshantering och i dess roll som marknadsгарant. Riskerna begränsas genom att räntebindningstider och kassaflöden i olika valutor matchas, öppna positioner säkras och genom en betryggande likviditetsreserv av hög kvalitet.

En konsekvens av bankens låga tolerans för marknadsrisk är att en jämförelsevis låg andel av bankens resultat kommer från nettoresultat av finansiella transaktioner.

I linje med den låga risktoleransen strävar banken efter att så långt som möjligt förebygga operativa risker och regelefterlevnadsrisker.

Även risktoleransen för hållbarhetsrisker är låg och riskerna hanteras som en integrerad del av bankens traditionella riskområden.

3.1

K2 forts.

Risker i Handelsbanken	
Risk	Beskrivning
Kreditrisk	Risken att banken drabbas av ekonomisk förlust som följd av att bankens motparter inte kan fullfölja sina kontraktssenliga förpliktelser. Kreditrisk inkluderar även motparters risk i samband med affärer för valuta-, ränta-, råvara- och aktiemarknaderna, dvs risk att motparten inte kan fullfölja sitt åtagande.
Marknadsrisk	Riskerna härrör från pris- och volatilitetsförändringar på de finansiella marknaderna. Marknadsriskerna delas in i ränterisker, aktiekursrisker, valutakursrisker och råvaruprisrisker.
Likviditetsrisk	Risken för att banken inte kan fullgöra sina betalningsförpliktelser när dessa förfaller, utan att drabbas av oacceptabla kostnader eller förluster.
Operativ risk	Risken för förluster till följd av icke ändamålsenliga eller misslyckade interna processer, mänskliga fel, felaktiga system eller externa händelser. Definitionen inkluderar legal risk, modellrisk och risk inom informations- och kommunikationsteknik (IKT-risk).
Regelbrottsrisk	Risk som är förknippad med att banken inte följer externa och interna regelverk, accepterad marknadspraxis och relevanta standarder som är tillämpliga på bankens tillståndsgivna verksamhet, och de följder som detta i sin tur kan leda till i form av sanktioner, väsentlig finansiell förlust eller förlust av anseende för banken.
Ersättningsrisk	Risken för förlust eller annan skada som uppkommer till följd av ersättningssystemet.
Försäkringsrisk	Risken i en försäkrings utbetalning, som beror på den försäkrades livslängd eller hälsa.
Hållbarhetsrisk	Risken för ekonomiska förluster eller skadat anseende på grund av faktorer relaterade till miljö och klimat, socialt ansvar inklusive mänskliga rättigheter och arbetsvillkor samt bolagsstyrningsfrågor. Hållbarhetsrisker är en integrerad del av bankens traditionella riskområden ovan och kan uppkomma både i den egna verksamheten och genom bankens affär som kreditgivning och investeringar.

Riskstrategi

I bankens verksamhet uppkommer olika risker som identifieras, mätas, hanteras och rapporteras på ett systematiskt sätt inom koncernens alla delar. Handelsbankens restriktiva förhållningssätt till risk innebär att banken medvetet undviker att delta i affärer med hög risk även om den förväntade ersättningen för tillfället kan vara hög.

Riskstrategin bygger på en stark riskkultur som är uthållig över tid och som gäller på alla områden i koncernen. Riskkulturen genom-syrar hela bankens arbete och är väl förankrad hos alla medarbetare. Banken präglas av en tydlig ansvarsfördelning där varje del av affärs-verksamheten bär det fulla ansvaret för sina

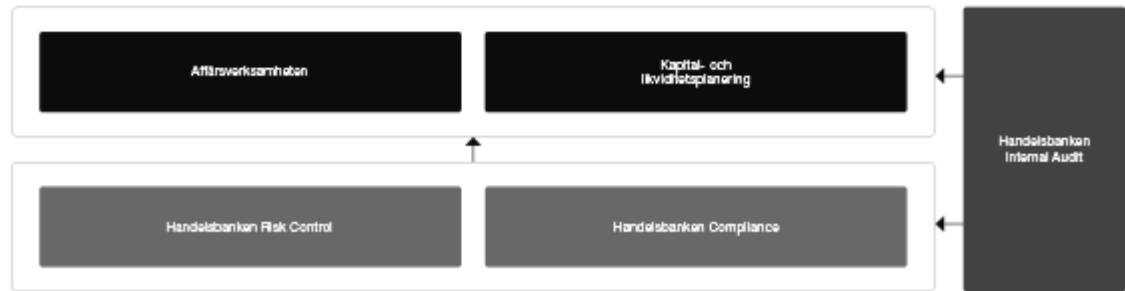
affärer och för att riskerna hanteras. Ett resultat av detta är en hög riskmedvetenhet och försik-tighet i affärsverksamheten. Den decentralise-rade affärsmodellen är dock kombinerad med både en centraliserad kreditprocess och starka interna kontroller. Den låga risktoleransen av-speglas också i synen på ersättning. Huvud-principen är fast ersättning eftersom detta bi-drar till den långsiktighet som är en central del av Handelsbankens affärsmodell. Inte heller medarbetare som i sin yrkesutövning har en väsentlig inverkan på bankens riskprofil erbjuder prestationsbaserad rörlig ersättning.

Kreditgivningen har stark lokal förankring, där den nära kundrelationen och lokala känne-domen verkar för låga kreditrisker. Därutöver ska koncernen vara välkapitaliserad i förhål-lande till verksamhetens risker och hålla likvida tillgångar för att klara sina betalningsförpliktel-

ser när dessa förfaller, även i en situation av finansiell stress där upplåning på de finansiella marknaderna inte är möjlig. Handelsbanken eftersträvar på så sätt en affärsmodell som är oberoende av förändringar i konjunkturen.

Det restriktiva förhållningssättet till risk över tid innebär att banken är en stabil och uthållig affärspartner till kunderna oavsett konjunktur och marknadssituation. Det bidrar både till god riskhantering och till att en hög servicenivå kan upprätthållas även när verksamheten och de marknader som banken verkar på utsätts för påfrestningar. Samma principer för bankens inställning till risk gäller i alla länder där banken är verksam. För en närmare beskrivning av bankens hantering av olika riskområden, kapitel och likviditet, se respektive enskilt avsnitt i denna not.

Handelsbankens riskhantering och riskkontroll





3.1

Inledning

Förvaltningsberättelse

Finansiella rapporter
Koncernen

Hållbarhet

Övrigt

K2 forts.

Riskorganisation

Handelsbanken tillämpar principen med tre försvarslinjer för hantering, uppföljning och kontroll av bankens risker. Affärsverksamheten och de enheter som stödjer affärsverksamheten utgör den första försvarslinjen och ansvarar för att hantera och begränsa riskerna i verksamheten i enlighet med externa och interna regler. Kontrollfunktionerna Handelsbanken Risk Control och Handelsbanken Compliance utgör den andra försvarslinjen och övervakar och kontrollerar koncernens risker, verksamhetens arbete och hur gällande regler efterlevs. Tredje försvarslinjen utgörs av Handelsbanken Internal Audit som granskar bankens hela verksamhet inklusive riskhantering, kontrollfunktionernas arbete och bolagsstyrningen. För ytterligare beskrivning av bankens tre försvarslinjer för riskhantering hänvisas till Handelsbankens Bolagsstyrningsrapport, sidorna 40–58.

Handelsbankens styrelse har det övergripande ansvaret för bankens riskhantering och fastställer interna regler för detta. Styrelsen fastställer policyer och VD fastställer riktlinjer, vilka beskriver hur olika risker ska hanteras och rapporteras. Styrelsen har inrättat en kreditkommitté (bestående av VD och Chief Credit Officer samt ett antal styrelseledamöter) som beslutar i vissa kreditärenden samt en UK-kommitté (bestående av styrelsens ordförande, VD, CFO och ytterligare en styrelseledamot) för uppföljning av verksamheten i Storbritannien.

Styrelsen har även inrättat risk-, revisions- och ersättningsutskott som bland annat är beredande i frågor som ska beslutas av styrelsen. Riskutskottet fattar även beslut avseende exempelvis de betydande delarna av bankens riskklassificerings- och estimeringsprocesser kopplade till internmetoden. Risk-, revisions- och ersättningsutskotten består endast av styrelseledamöter. Därtill har VD inrättat en Risk- och Compliancekommitté för uppföljning av riskhantering inom olika områden samt fördjupade diskussioner kring bankens övergripande risksituation inför behandlingen av vissa frågor i riskutskottet och styrelsen. För en mer detaljerad beskrivning av kommittéerna och utskottens arbete hänvisas till Handelsbankens Bolagsstyrningsrapport på sidorna 40–58. Därutöver har banken ytterligare kommittéer såsom CFO:s Asset and Liability Committee (ALCO) med tillhörande underkommittéer för likviditet, kapital, ekonomistyrning och värdering.

Rapportering och uppföljning av risk- och kapitalsituationen

Koncernens risker, förutom regellefterlevnadsriskerna (se nedan), har under 2024 rapporterats av CRO minst kvartalsvis till VD, riskutskottet och styrelsen. Rapporterna har även föredragits i VD:s Risk- och Compliancekommitté. Koncernriskrapporterna beskriver och analyserar bankens riskprofil och innehåller CRO:s bedömning av koncernens väsentliga risker och en bedömning av om det finns väsentliga brister i verksamheten att rapportera och åtgärda. Koncernriskrapporterna omfattar även framtidsblickande riskbedömningar och ska möjliggöra en bedömning av om Handelsbanken uppfyller den risktolerans och den riskstrategi som styrelsen fastställt. Koncernriskrapporterna utformas i enlighet med styrelsens Policy för riskkontroll. Utöver nämnda koncernriskrapporter lämnar Handelsbanken Risk Control och Handelsbanken Credit löpande och årlis rapporter avseende bankens kreditrisksituation (inklusive motpartsrisiker) och internmetod (IRK) till verkställande ledningen, VD:s Risk- och Compliancekommitté, riskutskottet och styrelsen samt till styrelserna i relevanta dotterbolag. Denna rapportering omfattar bland annat volymutveckling och krediter med förhöjd risk. Rapporteringen inkluderar utvärderingar av de interna riskklassificeringsprocesserna, utvärderingar av bankens IRK-modeller samt observationer från valideringen av bankens IRK-modeller.

Limitutnyttjandet för marknads- och likviditetsrisker sammanställs och kontrolleras dagligen av Handelsbanken Risk Control. Limitöverträdelser rapporteras omgående till den som har beslutat om limiterna. Likviditetsrisken sammanställs och rapporteras dagligen till CFO och VD samt till styrelsen vid varje ordinarie styrelsemöte. Likviditetskommittén med Head of Handelsbanken Treasury som ordförande sammanträder inför varje ordinarie styrelsemöte och i övrigt vid behov. Där föredras den aktuella likviditetsituationen, resultat av stresstester, scenarionalyser och annan information som är relevant för bedömningen av koncernens likviditetsituation.

Bankens kapitalsituation rapporteras veckovis till CFO och VD. I händelse av att något gränsvärde passeras eller om Head of Handelsbanken Capital Management eller CFO av annan anledning bedömer det som lämpligt, ska förslag till lämpliga åtgärder presenteras för VD. Utifrån ett medel- och långsiktigt perspektiv sammanfattas kapitalsituationen kvartalsvis i kapitalkommittén. Handelsbanken Capital Management gör en fullständig uppdatering av kapitalprognosen kvartalsvis eller vid signifikanta förändringar i banken.

Kapitalsituationen, utnyttjandet av marknadsrisklimit samt likviditetsituationen rapporteras till styrelsen åtminstone kvartalsvis.

Operativa risker och inträffade incidenter rapporteras löpande från kontor och avdelningar i hela koncernen till Handelsbanken Risk Control som bevakar dem. Handelsbanken Risk Control rapporterar i sin tur operativa risker och inträffade incidenter till VD, styrelsens riskutskott och till styrelsen. Årligen utvärderas risker i ersättningsystemet och rapportering sker till styrelsens ersättnings- och riskutskott. Rapporteringen av operativa risker inkluderar information om väsentliga händelser, större förluster, viktiga proaktiva åtgärder och en aggregerad riskbedömning på koncernnivå. Utöver detta följer Handelsbanken Risk Control upp att beslutade åtgärder genomförs.

Regelefterlevnadsrisker har under 2024 rapporterats av Chief Compliance Officer minst kvartalsvis till VD, styrelsens riskutskott och styrelsen. Rapporteringen har inkluderat regellefterlevnadsrisker kopplade till finansiell kriminalitet, liksom dataskyddrisker. Rapporterna har även föredragits i VD:s Risk- och Compliancekommitté.

3.1

K2 forts.

Styrelsens riskdeklaration och riskförklaring

Styrelsen har beslutat om följande riskdeklaration och riskförklaring.

Riskdeklaration:

Handelsbanken har tillfredsställande arrangemang för riskhantering vilka är ändamålsenliga i förhållande till bankens affärs mål, den risktolerans och riskstrategi som styrelsen beslutat om för verksamheten och bankens övergripande riskprofil.

Riskförklaring:

Handelsbankens affärs mål är att ha högre lönsamhet än genomsnittet för jämförbara konkurrenter på hemmamarknaderna. Målet ska främst nås genom nöjdare kunder och lägre kostnader än konkurrenterna. Handelsbanken är en bank med stark lokal förankring och ett decentraliserat arbetssätt.

Bankens låga risktolerans innebär att den övergripande riskprofilen ska vara låg. Koncernen ska vara väl kapitaliserad i förhållande till riskerna, uppfylla de krav som myndigheter ställer och hålla likvida tillgångar för att klara sina betalningsförpliktelser, även i situationer av finansiell stress på kort och lång sikt. Banken ska också ha ett ändamålsenligt skydd och en förmåga att hantera incidenter i händelse av angrepp, störning eller avbrott mot bankens kritiska verksamhet. Risktoleransen och riskstrategin understödjer Handelsbankens strävan att ha en affärsmodell som är oberoende av förändringar i konjunkturcykeln.

Banken har och ska ha låga kreditrisker. Handelsbankens tolerans för kreditrisker återspeglas i en förväntan om att banken

ska ha en god kapacitet för kreditgivning även i en allvarig lågkonjunktur utan hjälp av statligt stöd. Detta uppnås bland annat genom den starka lokala förankringen och de nära kundrelationerna. Krediternas kvalitet får aldrig åsidosättas för att nå högre volym eller högre marginal. Banken är selektiv i sitt kundurval med krav på att kredittagare har en god återbetalningsförmåga. Till följd av detta har kreditportföljen en tydlig koncentration till riskdass där sannolikheten för förlust är låg. Det konsekventa tillvägagångssättet återspeglas i bankens över tid låga kreditförlustnivåer, vilka för år 2024 uppgick till -0,02% (0,01) i relation till utlåningen till allmänheten.

För att säkerställa att banken är väl kapitaliserad i förhållande till riskerna och har en god likviditetssituation, fastställer styrelsen bankens risktolerans för kapitalisering och likviditet. När risktoleransen för kapitalisering beslutas, ställs kapitalmålet dels i relation till de lagstadgade kraven, dels i relation till Handelsbankens bedömda kapitalbehov utifrån bankens modell för ekonomiskt kapital (Economic Capital, EC), som i ett samlat mått fångar koncernens risker. Risktoleransen för bankens likviditetsrisk beslutas, dels genom krav på att banken under stressade förhållanden ska ha tillräcklig likviditetsreserv i form av likvida och pantsättningsbara tillgångar inklusive likviditetsskapande åtgärder för att under fastställda tidsperioder kunna fortsätta sin rörelse, dels genom krav på det ackumulerade nettot mellan in- och utgående kassaflöden i olika tidsintervall.

Kärnprimärkapitalrelationen ska under normala förhållanden överstiga det av Finansinspektionen kommunicerade samlade kärnprimärkapitalbehovet med minst 1 procentenhet. Bruttosoliditeten ska överstiga det av Finansinspektionen kommunicerade samlade kapitalbehovet med minst 0,8 procentenheter.

Kvoten mellan AFR (Available Financial Resources) och EC ska överstiga 120%.

Bankens bedömning av Finansinspektionens kärnprimärkapitalkrav vid utgången av 2024 var 14,9% (14,8), inklusive Finansinspektionens vägledning inom ramen för Pelare 2 på 0,5%, och bankens bedömning av bruttosoliditetskravet var 3,5% (3,5) inklusive Finansinspektionens vägledning inom ramen för Pelare 2 på 0,5%.

Vid utgången av 2024 uppgick bankens kärnprimärkapitalrelation till 18,8% (18,6) och kvoten mellan AFR och EC till 383% (396). Banken ska ha ackumulerade positiva nettokassaflöden under minst ett år med beaktande av likviditetsreserven och under antagandet att delar av den icke tidsbundna inlåningen från hushåll och företag försvinner under första månaden. Handelsbankens samlade likviditetsreserv inklusive likviditetsskapande åtgärder innebär att likviditetsbehovet täcks i mer än tre år under dessa stressade förhållanden.

Bankens riskprofil är i enlighet med den risktolerans och riskstrategi som fastställts av styrelsen.

Kreditrisk

Kreditrisk definieras som risken att banken drabbas av ekonomisk förlust som följd av att bankens motparter inte kan fullfölja sina kontraktssenliga förpliktelser.

Kreditriskstrategi

Handelsbankens kreditprocess är centraliserad och gemensam för hela koncernen, men de enskilda affärsbesluten är decentraliserade. Kreditprocessen grundar sig i övertygelsen att en decentraliserad organisation med lokal förankring ger hög kvalitet i kreditbesluten. Banken är en relationsbank där kontoren håller

löpande kontakt med kunden, vilket ger en djup kunskap om varje enskild kund och en kontinuerligt uppdaterad bild av kundens ekonomiska situation.

Handelsbanken är inte en massmarknadsbank utan är selektiv i kundurvalet, vilket innebär att kunderna ska ha en hög kreditkvalitet. Kvalitetskravet åsidosätts aldrig till förmån för högre kreditvolym eller för att erhålla högre avkastning. Banken undviker även att delta i finansiering där det förekommer komplicerade kundkonstellationer, komplexa och svårförståeliga affärsupplägg eller höga ESG-risker.

När banken bedömer kreditrisken hos en viss kund bedöms i första hand kredittagarens återbetalningsförmåga. I bedömningen analyseras dels kundens finansiella ställning samt dels de risker som kunden är utsatt för och som kan komma att påverka stabiliteten i kundens finansiella ställning över tid. En del av riskanalysen består i att banken bedömer hur

kunden påverkas av ESG-risker, inklusive klimatrisker, såväl fysiska som omställningsrisker. Ett av de första stegen i bedömning av återbetalningsförmågan är att analysera vilken bransch kunden tillhör. Vi behöver förstå vilka utmaningar och risker som branschen står inför innan vi börjar att analysera vår enskilda kund. En svag återbetalningsförmåga kan aldrig kompenseras med att banken erbjuder goda säkerheter. Säkerheter kan dock reducera bankens förlust väsentligt om kredittagaren inte kan fullfölja sina förpliktelser. Krediter ska därför normalt vara betryggande säkerställda.

Kontorets lokala förankring och nära relation med kunden innebär att kontoret snabbt kan identifiera och agera vid eventuella problem. Detta medför att banken i många fall kan agera snabbare än vad som hade varit möjligt vid en mer centraliserad hantering av problemkrediter. Kontoret har också det fulla ekonomiska ansvaret för kreditgivningen. Kontoret hanterar

3.1

Inledning

Förvaltningsberättelse

Finansiella rapporter
Koncernen

Hållbarhet

Övrigt

K2 forts.

sålledes de problem som uppstår när en kund brister i betalningsförmåga och kontoret bär eventuella kreditförluster. Vid behov får det lokala kontoret stöd från lokal kreditavdelning och från centrala avdelningar. Bankens arbets-sätt leder till att alla som gör affärer förknippade med kreditrisk tillägnar sig ett väl etablerat syn-sätt för denna typ av risk. Detta synsätt utgör en viktig del av bankens kultur. De beskrivna arbets- och synsätten är viktiga anledningar till att banken över en lång tid redovisat mycket låga kreditförluster.

Kreditorganisationen

I Handelsbankens decentraliserade organisation bär varje kundansvarigt kontor det fulla kreditansvaret. Kund- och kreditansvar ligger på kontorschefen eller de medarbetare som kontorschefen utser på det lokala kontoret.

I Handelsbankens decentraliserade organisation ingår också att underlaget för kreditbeslut alltid utarbetas av det kreditansvariga kontoret oavsett om det slutgiltiga beslutet fattas på kontoret, på läns- eller landsnivå, i styrelsens kreditkommitté eller av styrelsen. Underlaget för kreditbeslut innehåller bland annat allmän och ekonomisk information om kredittagaren, en bedömning av dennes återbetalningsförmåga, krediter och kreditvillkor samt värdering av säkerheter.

För landstyrelse, styrelsens kreditkommitté och styrelsen avser beslutet kreditlimitens totalbelopp och eventuellt utrymme för blanko-

krediter. För kredittagare vars sammanlagda krediter överstiger 5 mkr fattas kreditbeslutet i form av kreditlimit. Vid krediter till privatperso-nar mot säkerhet i bostad inträder limitplikten för belopp över 12 mkr. Krediter till bostads-rättsföreningar mot säkerhet i bostadsfastighet blir limitpliktiga för belopp över 12 mkr.

Beviljade kreditlimiten gäller i normalfallet ett år. Under vissa förutsättningar kan kreditlimiten till bostadsrättsföreningar gälla maximalt tre år. Vid förlängning av kreditlimiten är kravet på beslutsordning detsamma som för en ny kreditlimit.

Kontorschefer och de flesta medarbetare på kontor har personliga beslutandelimiten som gör det möjligt för dem att besluta om krediter till de kunder som de ansvarar för.

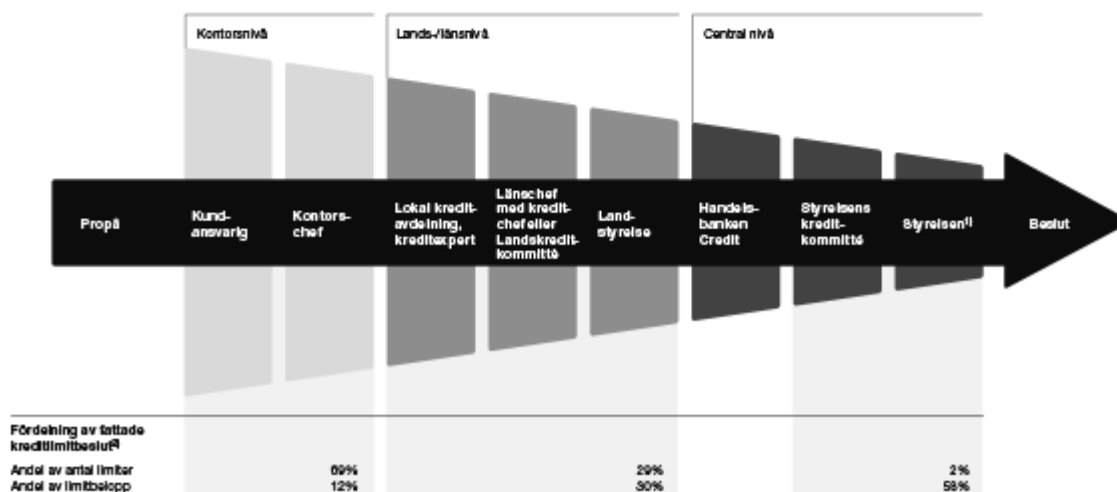
Vid beslut om större kreditlimiten finns även beslutsinstanser på läns- och landsnivå samt central nivå. Varje högre beslutandenivå tillför ytterligare kreditkompetens. På varje beslutandenivå finns rätt att avstyra kreditlimiten inom såväl den egna beslutandenivån som kredit-limiten som annars skulle beslutats på högre beslutandenivåer. Samtliga kreditbeviljare i hela beslutsprocessen, oavsett nivå, måste vara eniga för att ett positivt kreditlimitbeslut ska komma till stånd. Finns minsta tvksamhet hos någon kreditbeviljare avslås kreditansökan. De största krediterna har beretts av Handels-banken Credit och beslutas av styrelsen eller den kreditkommitté som styrelsen inrättat. Utan tillstyrkan av kreditansvarig kontorschef kan dock ingen kreditansökan processas vidare i banken, förutom de kreditbeslut som fattas genom maskinella modeller.

Beslutsgången när det gäller krediter och kredit-limiten illustreras av figur Kreditprocessen och beslutandenivåer i Handelsbanken. I figuren visas även procentuell andel av antal kredit-limitbeslut och beslutade belopp fördelade på olika beslutandenivåer.

I Handelsbankens decentraliserade organi-sation, där en stor andel av antalet kredit- och kreditlimitbeslut fattas på de enskilda konto-ren, är det viktigt att det finns en väl funge-rande eftergranskningsprocess som säker-ställer att besluten håller en hög kvalitet. Kontorschefen kvalitetsgranskar medarbetar-nas beslut och lokala kreditavdelningen kvali-tetsgranskar beslut fattade av kontorschefer.

Syftet med kvalitetsgranskningen är att säkerställa att bankens kreditpolicy och interna instruktioner efterlevs, att kreditkvaliteten upp-rätthålls och att kredit- och kreditlimitbeslut vitnar om gott kreditomdöme och sund affärs-mässighet. En motsvarande granskning av kvaliteten utförs även av kreditlimitbeslut som fattas av högre beslutandenivåer i banken. Kreditlimiten som beviljas av länschef tillsam-mans med kreditchef eller landskreditkommit-téer och landstyrelser granskas av Handels-banken Credit, som även bereder och granskar kreditlimiten som beslutas av styrelsen eller den kreditkommitté som styrelsen inrättat. Handelsbanken Credit säkerställer också att kreditbedömningarna i hela koncernen sker på ett enhetligt sätt och att kreditgivning utförs i enlighet med den kreditpolicy som styrelsen har fastställt.

Kreditprocessen och beslutandenivåer i Handelsbanken



1) Beslutar endast om ändrad bedöma vara av särskilt eller allmänt intresse samt krediter till styrelseledamöter och vissa ledande befattningshavare.

2) Exklusive stat- och bankkrediter som beslutas på central nivå, samt Handelsbanken plc.

三

3.1

K2 forts.

Kreditkorporeringar, geografisk fördelning 2024

mkr	Not	Sverige	Stor- britannien	Norge	Finland	Neder- länderna	Övriga länder	Summa
Poster i balansräkningen								
Kassa och tillgodocharanden hos centralbanker		63 478	125 771	4 100	14	203 650	132 036	530 009
Övrig utlåning till centralbanker	K15	3 352		0 105				12 547
Utlåning till övriga kreditinstitut	K16	17 552	372	49	3	395	551	18 923
Utlåning till allmänheten	K17	1 616 388	246 788	320 608	75 362	104 504	8 246	2 372 086
Bolåningsbara statskuldförbindelser m.m.	K18	172 606						172 606
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	K19	47 508						47 508
Derivatinstrument	K22	47 042					27	47 069
Summa		1 967 928	372 931	334 103	75 379	308 650	141 760	3 200 740
Poster utanför balansräkningen								
Eventuallförluster	K44	341 667	56 293	62 660	2 018	2 970	32 640	498 268
varav ansvärförbindelser		25 955	6 940	4 056	985	78	17 121	55 754
varav åtaganden		315 712	49 344	58 604	1 032	2 892	15 520	442 514
Summa		341 667	56 293	62 660	2 018	2 970	32 640	498 268
Summa poster i och utanför balansräkningen		2 309 594	429 224	396 762	77 397	311 620	174 400	3 699 017

Kreditkorporeringar, geografisk fördelning 2023

mkr	Not	Sverige	Stor- britannien	Norge	Finland	Neder- länderna	Övriga länder	Summa
Poster i balansräkningen								
Kassa och tillgodocharanden hos centralbanker		67 805	113 045	4 776	10	128 506	161 150	476 181
Övrig utlåning till centralbanker	K15	3 464	1 131	1 667	25 863			32 145
Utlåning till övriga kreditinstitut	K16	17 467	760	208	3	335	510	19 297
Utlåning till allmänheten	K17	1 639 614	230 671	313 265	144 563	97 110	8 093	2 434 217
Bolåningsbara statskuldförbindelser m.m.	K18	199 128						199 128
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	K19	50 067						50 067
Derivatinstrument	K22	29 961					149	30 110
Summa		2 007 615	348 214	319 937	170 438	226 141	179 820	3 241 165
Poster utanför balansräkningen								
Eventuallförluster	K44	321 298	47 077	61 722	23 911	3 004	28 883	485 985
varav ansvärförbindelser		28 601	6 439	3 807	3 907	100	15 266	58 120
varav åtaganden		292 697	40 638	57 915	20 004	2 904	13 616	427 865
Summa		321 298	47 077	61 722	23 911	3 004	28 883	485 985
Summa poster i och utanför balansräkningen		2 328 914	395 291	381 659	194 349	229 235	199 703	3 727 150

Tabellen ovan inkluderar avyttringsgrupperna i Finland som i balansräkningen omklassificerats till Tillgångar som innehas för försäljning, se not K14.
Med geografisk fördelning avses det land där exponeringarna är redovisade.

Utlåning till allmänheten som är föremål för nedskrivningsprövning, geografisk fördelning 2024

mkr	Brutto			Reserver			Netto
	Steg 1	Steg 2	Steg 3	Steg 1	Steg 2	Steg 3	
Sverige	1 570 355	43 122	3 633	-73	-135	-514	1 616 388
Storbritannien	231 215	12 856	2 968	-88	-95	-68	246 788
Norge	312 400	7 536	950	-31	-55	-117	320 608
Finland	63 063	11 795	897	-16	-43	-334	75 362
Nederländerna	103 335	1 255	19	-1	-1	-3	104 504
Övriga länder	8 213	16	52	0	0	-35	8 246
Summa	2 288 560	78 680	8 525	-210	-328	-1 071	2 372 086

Utlåning till allmänheten som är föremål för nedskrivningsprövning, geografisk fördelning 2023

mkr	Brutto			Reserver			Netto
	Steg 1	Steg 2	Steg 3	Steg 1	Steg 2	Steg 3	
Sverige	1 549 700	88 182	2 862	-143	-458	-538	1 639 614
Storbritannien	209 855	19 130	2 084	-162	-190	-40	230 671
Norge	300 653	12 348	527	-73	-90	-94	313 265
Finland	131 957	11 695	1 522	-44	-60	-442	144 563
Nederländerna	91 603	5 505	9	-3	-1	-3	97 110
Övriga länder	8 922	47	58	-1	0	-33	8 993
Summa	2 292 700	138 848	7 084	-426	-819	-1 160	2 434 217

Tabellen ovan inkluderar avyttringsgrupperna i Finland som i balansräkningen omklassificerats till Tillgångar som innehas för försäljning, se not K14.

3.1

Inledning

Förvaltningsberättelse

Finansiella rapporter
Koncernen

Hållbarhet

Övrigt

K2 forts.

Ecster

Dotterbolaget Ecster AB har erbjudit betalösningar via utvalda säljföretag samt konsumentfinansiering i Sverige och Finland. Bolagets verksamhet är under avveckling sedan februari 2023. Ingen ny kreditgivning eller nyutlåning sker sedan våren 2024 och kreditstocken är sedan dess en ren "runoff"-portfölj.

Kreditportföljen

Bankens kreditportfölj presenteras i detta avsnitt med utgångspunkt från sammanställda balansräkningsposter. I avsnittet Kapitalkrav för kreditrisker presenteras kreditportföljen med utgångspunkt från CRR.

Med utgångspunkt från koncernbalansräkningen kategoriseras krediter i utlåning till allmänhet respektive utlåning till kreditinstitut

samt poster utanför balansräkningen fördelade på produkttyp. När begreppet exponering används avses summan av poster i och utanför balansräkningen. Utlåning till allmänheten är den dominerande posten. Se tabell Kreditexponeringar, geografisk fördelning.

Handelsbanken eftersträvar att dess historiskt låga kreditförlustnivå i förhållande till andra banker ska bestå och därmed bidra till Handelsbankens lönsamhetsmål samt till att bibehålla en god finansiell ställning. Handelsbanken granskar kontinuerligt kreditportföljens

Utlåning till allmänheten som är föremål för nedskrivningsprövning, fördelad per sektor och bransch 2024

mkr	Brutto			Reserver			Netto
	Stag 1	Stag 2	Stag 3	Stag 1	Stag 2	Stag 3	
Privatpersoner	1 144 251	23 713	5 017	-52	-67	-588	1 172 274
varav hypotekslån	902 020	18 734	2 405	-15	-23	-58	1 013 054
varav övriga lån säkerställda i bostad	129 082	3 957	1 437	-5	-5	-93	135 273
varav övriga lån till privatpersoner	22 240	1 032	1 174	-32	-30	-437	23 947
Bostadsrättsföreningar	275 905	7 019	123	-1	-9	-8	283 029
varav hypotekslån	263 789	4 545	45	-1	-4	-7	268 305
Fastighetsförvaltning	690 119	37 156	2 565	-99	-113	-108	720 520
Tillverkningsindustri	29 093	1 634	45	-5	-6	-26	31 025
Handel	24 545	493	107	-8	-7	-69	25 061
Hotell- och restaurangverksamhet	6 873	819	144	-4	-7	-23	7 802
Person- och godstransport till sjöss	243	2	0	0	0	0	245
Övrig transport och kommunikation	5 002	104	18	-2	-2	-15	5 705
Byggnadsverksamhet	12 471	3 063	260	-16	-83	-143	15 572
Elektricitet, gas och vatten	9 903	5	11	-1	0	-3	9 915
Jordbruk, jakt och skogsbruk	20 888	883	93	-4	-6	-11	21 843
Övrig serviceverksamhet	13 943	302	44	-7	-7	-17	14 848
Holding-, investment- och försäkringsbolag, fonderm m	27 485	385	6	-5	-2	-4	27 845
Stat och kommun	1 483	94		0	-1		1 576
varav Riksgälden	1 547						1 547
Övrig företagsutlåning	24 916	237	92	-6	-18	-56	25 165
Summa	2 288 600	78 680	8 525	-210	-328	-1 071	2 372 086

Utlåning till allmänheten som är föremål för nedskrivningsprövning, fördelad per sektor och bransch 2023

mkr	Brutto			Reserver			Netto
	Stag 1	Stag 2	Stag 3	Stag 1	Stag 2	Stag 3	
Privatpersoner	1 158 428	28 771	4 159	-143	-132	-589	1 190 494
varav hypotekslån	901 247	21 054	1 592	-38	-43	-44	1 014 378
varav övriga lån säkerställda i bostad	139 030	5 631	1 310	-44	-40	-93	145 794
varav övriga lån till privatpersoner	28 151	1 475	1 257	-61	-49	-452	30 322
Bostadsrättsföreningar	283 134	11 307	13	-4	-20	-9	294 481
varav hypotekslån	265 549	5 291	12	-1	-1	-8	270 841
Fastighetsförvaltning	648 088	81 834	1 984	-130	-240	-159	731 908
Tillverkningsindustri	19 210	4 150	72	-24	-105	-46	23 257
Handel	30 214	671	108	-13	-9	-62	30 909
Hotell- och restaurangverksamhet	4 333	1 803	101	-4	-9	-6	6 218
Person- och godstransport till sjöss	1 289	1	0	0	0	0	1 290
Övrig transport och kommunikation	11 985	178	18	-5	-2	-15	12 159
Byggnadsverksamhet	14 238	4 429	281	-50	-204	-93	18 535
Elektricitet, gas och vatten	15 941	33	7	-2	0	-3	15 976
Jordbruk, jakt och skogsbruk	20 390	1 507	81	-7	-8	-3	21 900
Övrig serviceverksamhet	20 965	818	143	-11	-9	-85	21 821
Holding-, investment- och försäkringsbolag, fonderm m	23 154	878	12	-6	-5	-3	24 080
Stat och kommun	12 278	64		0	0		12 342
varav Riksgälden	6 748						6 748
Övrig företagsutlåning	28 453	344	85	-21	-7	-77	28 777
Summa	2 292 700	138 848	7 084	-426	-819	-1 180	2 434 217

Tabellen ovan inkluderar avyttringsgrupperna i Finland som i balansräkningen omklassificerats till Tillgångar som innehas för försäljning, se not K14.



3.1

K2 forts.

kvalitet i syfte att identifiera och begränsa nedskrivningsbehov. Banken strävar vid kreditgivningen aldrig efter att uppnå bestämda volymer eller marknadsandelar inom olika branscher eller dylikt, utan banken ska vara selektiv i kundurvalet och kreditkunderna ska vara av hög kvalitet. Kvalitetskravet får aldrig åsidosättas för att nå hög kreditvolym. Det här framgår av bankens kreditpolicy som årligen fastställs av styrelsen.

De makroekonomiska förutsättningarna har efter tidigare års höga inflation och stigande räntor i viss mån normaliserats, vilket återspeglas i de modellbaserade reserveringarna i steg 1 och steg 2.

Banken har utifrån klimatscenarier gjort analyser av fysiska klimatrisker, med fokus på översvämningrisker, i kreditportföljens fastighetsexponeringar i bankens fyra hemmamarknader. Dessa har indikerat en begränsad exponering för dessa risker. Det kan noteras en

generell högre risk för översvämning i UK än i övriga hemmamarknader. Se vidare avsnitt ESRS 2 IRO-1 E1.

Scenarioanalyser har gjorts av hur införande av energieffektiviseringskrav på byggnader kan påverka fastighetsbolag i bankens kreditportfölj i Sverige och Norge, samt svenska hushåll. Dessa analyserar påverkan på säkerhetens värde och visar på låg risk för kreditförluster med anledning av dessa omställningsrisker. Se vidare avsnitt ESRS 2 IRO-1 E1.

Utlåning till allmänheten som är föremål för nedskrivningsprövning, geografisk fördelning per sektor och bransch 2024

mkr	Sverige	Storbritannien	Norge	Finland	Nederländerna	Övriga länder	Summa
Privatpersoner	922 364	60 358	140 493	1 539	33 772	4 748	1 172 274
varav hypotekslån	902 318		110 712	34			1 013 054
varav övriga lån säkerställda i bostad	2 888	66 714	27 987	132	33 070	4 482	135 273
varav övriga lån privatpersoner	17 158	2 644	1 794	1 389	702	260	23 947
Bostadsrättsföreningar	221 088		29 180	32 155			283 023
varav hypotekslån	218 047		28 154	22 154			268 355
Fastighetsförvaltning	333 378	150 845	128 021	40 222	70 085	1 019	720 520
Tillverkningsindustri	25 313	2 923	2 579	35	1	774	31 625
Handel	16 537	2 577	4 815	102	8	1 022	25 061
Hotell- och restaurangverksamhet	2 011	3 390	2 340		60	1	7 802
Person- och godstransport till sjöss	228	12	5				245
Övrig transport och kommunikation	4 549	508	250		353	45	5 705
Byggnadsverksamhet	6 945	2 023	6 597	1	6		15 572
Elektricitet, gas och vatten	6 137	322	3 226	115	115		9 915
Jordbruk, jakt och skogsbruk	19 877	1 743	223	0			21 843
Övrig serviceverksamhet	9 290	3 757	1 411	305	15	39	14 848
Holding-, investment-, försäkringsbolag, fonder m m	24 167	2 847	593	36	202	1	27 846
Stat och kommun	660		177	739			1 576
varav Fikagården	1 547						1 547
Övrig företagsutlåning	23 274	423	782	52	37	597	25 105
Netto utlåning till allmänheten	1 616 388	248 788	320 698	7 562	104 604	8 246	2 372 086
varav total reservering för förväntade kreditförluster (Steg 1-3)	-722	-250	-208	-309	-5	-35	-1 608
Brutto utlåning till allmänheten	1 617 110	247 038	320 901	7 575	104 609	8 282	2 373 695

Utlåning till allmänheten som är föremål för nedskrivningsprövning, geografisk fördelning per sektor och bransch 2023

mkr	Sverige	Storbritannien	Norge	Finland	Nederländerna	Övriga länder	Summa
Privatpersoner	928 455	67 678	119 527	39 633	29 800	5 401	1 190 494
varav hypotekslån	905 229		92 266	16 889			1 014 378
varav övriga lån säkerställda i bostad	3 548	64 882	25 609	17 145	29 555	5 051	145 794
varav övriga lån privatpersoner	19 678	2 795	1 658	5 605	245	340	30 322
Bostadsrättsföreningar	220 222		28 339	45 920			294 481
varav hypotekslån	211 610		27 672	31 590			270 812
Fastighetsförvaltning	330 257	144 438	139 703	50 114	66 462	994	731 968
Tillverkningsindustri	16 511	1 457	2 634	1 036	1	1 018	23 257
Handel	23 205	2 213	4 397	335	2	757	30 909
Hotell- och restaurangverksamhet	2 310	3 482	349	17	60		6 218
Person- och godstransport till sjöss	1 162	13	4	111			1 290
Övrig transport och kommunikation	9 497	428	1 215	557	401	1	12 159
Byggnadsverksamhet	7 226	1 812	9 054	431	7	5	18 535
Elektricitet, gas och vatten	9 946	303	3 619	1 097	111		15 076
Jordbruk, jakt och skogsbruk	20 049	1 511	240	199		4	21 906
Övrig serviceverksamhet	14 229	4 231	2 527	807	22	5	21 821
Holding-, investment-, försäkringsbolag, fonder m m	19 857	2 946	506	623	98	2	24 039
Stat och kommun	10 238		222	1 862			12 342
varav Fikagården	6 748						6 748
Övrig företagsutlåning	26 451	159	929	944	88	206	28 777
Netto utlåning till allmänheten	1 639 614	230 671	313 285	144 663	97 110	8 993	2 434 217
varav total reservering för förväntade kreditförluster (Steg 1-3)	-1 139	-399	-204	-552	-7	-35	-2 395
Brutto utlåning till allmänheten	1 640 753	231 070	313 529	145 115	97 117	9 028	2 436 612

Tabellen ovan inkluderar avyttringsgrupperna i Finland som i balansräkningen omklassificerats till Tillgångar som innehåller för försäljning, se not K14.

3.1

Inledning

Förvaltningsberättelse

Finansiella rapporter
Koncernen

Hållbarhet

Övrigt

K2 forts.

Säkerheter

I bankens kreditpolicy framgår att krediter normalt ska vara betryggande säkerställda. En svag återbetalningsförmåga kan aldrig kompenseras med att banken erbjuder goda säkerheter. Säkerheter kan dock reducera bankens förlust väsentligt om kredittagaren inte kan fullfölja sina förpliktelser.

Banken begränsar kreditrisken genom att bland annat ta in säkerheter från kunderna. De främsta sätten att reducera kreditrisk i banken är pantsättning av fast egendom såsom bostadsfastigheter och övriga fastigheter, företagshypotek, garantier (inklusive borgen) och användning av nettningsavtal (se vidare Motpartsrisiker).

Grundprincipen vid fastighetsfinansiering är att krediter ska vara säkerställda med pant i fastigheter. För exponeringar med fastigheter som säkerhet beräknas en belåningsgrad,

Loan To Value (LTV), genom att dividera kredit-exponeringen med säkerhetens värde. Bankens följer interna rekommendationer och externa regelverk som bland annat begränsar hur mycket som är möjligt att låna med fastighet som säkerhet. Fastigheternas värde kontrolleras minst årligen och baseras på ett uppskattat marknadsvärde. Om marknadsvillkoren förändrats avsevärt sker kontroll oftare. Då det som regel blir aktuellt att ta säkerheter i anspråk först sedan kredittagaren drabbats av allvariga betalningssvårigheter inriktas värderingen av säkerheter på det värde säkerheterna förväntas ha vid en försäljning under ogynnsamma omständigheter i samband med en obeståndssituation.

Vid långfristiga kreditåtaganden utan säkerhet till företag avtalar banken ofta med kunden om särskilda kreditvillkor som ger rätt till om-

förhandling eller uppsägning vid ogynnsam utveckling.

Under speciella omständigheter kan banken köpa kreditderivat eller finansiella garantier som kreditriskskydd för fordringar. Detta förekommer dock inte inom bankens ordinarie kreditgivning.

En mindre del av utlåningen till kreditinstitut är omvända repor. En omvänd repa är en återköpstransaktion som innebär att banken repa in (köper) räntebärande värdepapper eller aktier med särskild överenskommelse att värdepappret ska säljas tillbaka till ett visst pris vid en viss tidpunkt. Omvända repor betraktas av banken som säkerställd utlåning.

Säkerheterna specificerade i tabell Kredit-exponeringar, fördelad per säkerhet, är endast sådana som används i kapitalkravsberäkningen för kreditrisker.

Kreditexponeringar, fördelad per säkerhet 2024

mkr	Not	Bostadsfastigheter ¹⁾	Övriga fastigheter	Stat, kommun och landsting ²⁾	Borgen ³⁾	Finansiella säkerheter	Objekt säkerheter	Övriga säkerheter	Blanko	Summa
Poster i balansräkningen										
Kassa och tillgodohavanden hos centralbanker				530 009						530 009
Övrig utlåning till centralbanker	K 15			12 547						12 547
Utlåning till övriga kreditinstitut	K 16								18 923	18 923
Utlåning till allmänheten	K 17	1 780 542	384 401	40 257	7 015	12 419	16 513	6 080	124 859	2 372 086
Belåningsbara statskuldförbindelser m.m.	K 18			170 004					2 002	172 006
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	K 18			3 784					43 724	47 508
Derivatinstrument	K 22	301	1 138	6 853	383	87			38 217	47 009
Summa		1 780 933	385 539	764 054	7 398	12 506	16 513	6 080	227 725	3 200 740
Poster utanför balansräkningen										
Eventuallförpliktelser	K 44	86 470	61 944	26 041	2 778	10 319	583	6 943	303 210	498 288
varav ansvarsförbindelser		262	595	2 401	188	777		506	50 974	55 754
varav åtaganden		86 208	61 389	23 640	2 590	9 542	583	6 347	252 236	442 514
Summa		86 470	61 944	26 041	2 778	10 319	583	6 943	303 210	498 288
Summa poster i och utanför balansräkningen		1 867 403	447 483	790 095	10 176	22 825	17 076	13 023	530 935	3 699 017

Kreditexponeringar, fördelad per säkerhet 2023

mkr	Not	Bostadsfastigheter ¹⁾	Övriga fastigheter	Stat, kommun och landsting ²⁾	Borgen ³⁾	Finansiella säkerheter	Objekt säkerheter	Övriga säkerheter	Blanko	Summa
Poster i balansräkningen										
Kassa och tillgodohavanden hos centralbanker				476 181						476 181
Övrig utlåning till centralbanker	K 15			32 145						32 145
Utlåning till övriga kreditinstitut	K 16								10 297	10 297
Utlåning till allmänheten	K 17	1 802 548	381 314	83 954	12 275	13 072	18 300	7 181	115 573	2 434 217
Belåningsbara statskuldförbindelser m.m.	K 18			107 348	543				1 237	109 128
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	K 18			3 838	239				46 010	50 087
Derivatinstrument	K 22			442		43			20 025	30 110
Summa		1 802 548	381 314	768 908	13 057	13 115	18 300	7 181	211 742	3 241 185
Poster utanför balansräkningen										
Eventuallförpliktelser	K 44	71 689	57 200	27 281	3 325	12 720	376	7 504	305 890	485 985
varav ansvarsförbindelser		525	1 001	2 239	228	918		795	52 354	58 120
varav åtaganden		71 164	56 139	25 042	3 097	11 802	376	6 709	253 536	427 805
Summa		71 689	57 200	27 281	3 325	12 720	376	7 504	306 890	486 985
Summa poster i och utanför balansräkningen		1 874 237	438 514	821 189	16 382	25 835	18 676	14 685	517 632	3 727 180

1) Inklusive bostadsrätter.

2) Avser direkta stats- och kommunexponeringar samt statsgarantier.

3) Inkluderar ej statsgarantier.

Tabellen ovan inkluderar avyttringsgrupperna i Finland som i balansräkningen omklassificerats till Tillgångar som innehas för försäljning, se not K14.



3.1

K2 forts.

Poster i och utanför balansräkningen som är föremål för nedskrivningsprövning, fördelad per säkerhet 2024

mkr	Not	Brutto			Reserver		
		Stag 1	Stag 2	Stag 3	Stag 1	Stag 2	Stag 3
Poster i balansräkningen							
Kassa och tillgodohavanden hos centralbanker		530 003					
Stat, kommun och landsting ¹⁾		530 003					
Övrig utlåning till centralbanker	K15	12 547					
Stat, kommun och landsting ¹⁾		12 547					
Utlåning till övriga kreditinstitut	K16	18 872	55		-1	-3	
Stat, kommun och landsting ¹⁾							
Borgen ²⁾							
Blanko		18 872	55		-1	-3	
Utlåning till allmänheten	K17	2 288 590	76 580	8 625	-210	-328	-1 071
Bostadsfastigheter ³⁾		1 722 581	52 800	5 500	-76	-119	-204
Övriga fastigheter		372 205	10 995	1 474	-59	-85	-189
Stat, kommun och landsting ¹⁾		33 223	7 026	24	-1	-15	0
Borgen ²⁾		6 778	242		-2	-3	
Finansiella säkerheter		11 580	743	1	-2	-3	0
Objekt		15 734	774	68	-17	-30	-16
Övriga säkerheter		5 423	634	167	-4	-23	-117
Blanko		120 905	3 350	1 231	-49	-49	-545
Bekräftade statsskuldförbindelser m m	K18						
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	K18	13 299			-2		
Summa		2 863 270	76 635	8 625	-213	-331	-1 071
Poster utanför balansräkningen							
Eventuallånpfästelser	K44	292 278	6 282	1 69	-39	-90	-28
varav ansvarsförbindelser		54 384	1 315	55	-5	-12	-25
Bostadsfastigheter ³⁾		233	23	6	0	0	-5
Övriga fastigheter		539	15	2	0	0	-1
Stat, kommun och landsting ¹⁾		2 391	10		0	0	
Borgen ²⁾		105	22		0	0	
Finansiella säkerheter		593	79	4	0	0	0
Objekt							
Övriga säkerheter		509	73	13	0	-1	-5
Blanko		49 853	1 093	30	-6	-11	-14
varav älsiganden		237 694	4 967	1 04	-33	-78	0
Bostadsfastigheter ³⁾		85 201	982	34	-8	-2	0
Övriga fastigheter		60 816	551	21	-3	-3	0
Stat, kommun och landsting ¹⁾		23 632	5	3	0	0	0
Borgen ²⁾		2 555	35		0	-4	
Finansiella säkerheter		9 430	113		0	-1	
Objekt		554	9		0	0	
Övriga säkerheter		5 721	604	22	-2	-18	0
Blanko		49 895	2 766	24	-20	-50	0
Summa		292 278	6 282	1 69	-39	-90	-28
Summa poster i och utanför balansräkningen		3 155 548	82 917	8 684	-252	-421	-1 097

1) Avser direkta stats- och kommunaxponeringar samt statsgarantier.
2) Inkluderar ej statsgarantier.
3) Inklusive bostadsrätter.



3.1

Inledning

Förvaltningsberättelse

Finansiella rapporter
Koncernen

Hållbarhet

Övrigt

K2 forts.

Poster i och utanför balansräkningen som är föremål för nedskrivningsprövning, fördelad per säkerhet 2023

mkr	Not	Brutto			Reserver		
		Stag 1	Stag 2	Stag 3	Stag 1	Stag 2	Stag 3
Poster i balansräkningen							
Kassa och tillgodohavanden hos centralbanker		478 182					
Stat, kommun och landsting ¹⁾		470 102					
Övrig utlåning till centralbanker	K15	32 145					
Stat, kommun och landsting ¹⁾		32 145					
Utlåning till övriga kreditinstitut	K16	10 280	11		-1	-1	
Stat, kommun och landsting ¹⁾							
Borgen ²⁾							
Blanko		10 280	11		-1	-1	
Utlåning till allmänheten	K17	2 202 700	136 848	7 064	-426	-810	-1 100
Bostadsfastigheter ³⁾		1 711 455	87 744	4 001	-155	-313	-184
Övriga fastigheter		340 131	31 000	994	-100	-174	-134
Stat, kommun och landsting ¹⁾		78 504	5 040	305	-2	-13	0
Borgen ²⁾		8 979	3 330	2	-5	-31	0
Finansiella säkerheter		12 252	820	2	-6	-5	0
Objekt		17 105	1 158	64	-27	-43	-17
Övriga säkerheter		0 322	966	302	-15	-65	-231
Blanko		106 832	6 273	1 334	-107	-175	-584
Bekräftade statsskuldförbindelser m m	K18						
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	K18	12 700			-2		
Summa		2 833 004	136 850	7 064	-429	-820	-1 100
Poster utanför balansräkningen							
Eventuallånpåbud	K14	284 603	11 282	164	-94	-203	-42
varav ansvarsförbindelser		55 454	1 526	60	-11	-40	-22
Bostadsfastigheter ³⁾		439	78	8	0	-3	-4
Övriga fastigheter		908	62	1	0	-1	0
Stat, kommun och landsting ¹⁾		2 108	70	1	0	-1	0
Borgen ²⁾		147	80	0	0	-1	0
Finansiella säkerheter		802	113	3	0	-1	0
Objekt							
Övriga säkerheter		699	88	7	0	-3	0
Blanko		51 211	1 105	40	-11	-30	-18
varav äganden		228 220	9 005	104	-89	-163	-20
Bostadsfastigheter ³⁾		60 911	1 207	46	-11	-6	-18
Övriga fastigheter		54 519	1 613	8	-7	-12	0
Stat, kommun och landsting ¹⁾		24 955	86	0	0	0	0
Borgen ²⁾		2 205	900		-1	-6	
Finansiella säkerheter		11 612	186	3	0	-1	0
Objekt		353	21	2	0	-1	0
Övriga säkerheter		5 800	841	8	-8	-49	-1
Blanko		58 723	4 912	37	-50	-88	-1
Summa		284 603	11 282	164	-94	-203	-42
Summa poster i och utanför balansräkningen		3 117 607	148 121	7 228	-523	-1 023	-1 102

1) Avser direkta stats- och kommunaxponeringar samt statsgarantier.

2) Inkluderar ej statsgarantier.

3) Inklusive bostadsrätter.

Tabellen ovan inkluderar avyttringsgrupperna i Finland som i balansräkningen omklassificerats till Tillgångar som innehas för försäljning, se not K14.



3.1

K2 forts.

Kreditriskkoncentrationer

Handelsbankens kontor är starkt fokuserade på att etablera långsiktiga relationer med kunder som har hög kreditvärdighet. Om ett kontor identifierar en bra kund ska kontoret kunna göra affärer med kunden oavsett om banken som helhet har en stor exponering mot den bransch som kunden representerar. Som en konsekvens av det har banken relativt stora koncentrationer i enskilda sektorer. Banken följer dock kreditportföljens utveckling och kvalitet och beräknar koncentrationer mot olika typer av branscher och geografiska områden. Banken mäter och följer också exponeringar mot större enskilda motparter. Särskilda limiter tillämpas för att begränsa den maximala kreditexponeringen mot enskilda motparter som ett komplement till kreditriskbedömningen. Om en koncentration i kreditportföljen avseende sektor eller motpart kan antas utgöra en förhöjd risk,

följs denna koncentration upp. Koncentrationsrisker fångas upp i bankens beräkning av ekonomiskt kapital för kreditrisker och i de stress-tester som görs i den interna kapitalutvärderingen och som en del av uppföljningen av bankens risktolerans. Finansinspektionen beräknar också ett särskilt kapitalkravspåslag i Pelare 2 för koncentrationsrisker i kreditportföljen. Därigenom säkerställs att banken är väl kapitaliserad med hänsyn också till koncentrationsrisker. Om koncentrationsriskerna skulle bedömas vara för stora har banken både möjlighet och förmåga att vidta olika riskreducerande åtgärder.

Handelsbanken har, utöver bolån och utlåning till bostadsrättsföreningar, en betydande utlåning till fastighetsförvaltning om 730 mdkr (732). Med fastighetsförvaltning avses här alla företag som riskklassificeras som fastighetsbolag. Det är vanligt förekommande att kon-

cerner verksamma i andra branscher har dotterbolag som förvaltar de fastigheter som koncernen bedriver verksamhet i, och även sådana fastighetsbolag anses här tillhöra fastighetsförvaltning. Den underliggande kreditrisken i sådana fall är dock inte enbart fastighetsrelaterad eftersom motpartens återbetalningsförmåga bestäms av annan verksamhet än fastighetsförvaltningen. Därutöver riskklassificeras privatpersoner med större fastighetsinnehav som fastighetsbolag.

En mycket stor del av fastighetsutlåningen är säkerställd i fastigheter med låg belåningsgrad vilket minskar bankens risk för kreditförluster. En stor del av fastighetsutlåningen sker dessutom till statliga fastighetsbolag, kommunala bostadsbolag och annan bostadsrelaterad verksamhet där låntagarna genomgående har starka och stabila kassaflöden och därigenom mycket hög kreditvärdighet. En stor del

Utlåning till allmänheten som är föremål för nedskrivningsprövning, Fastighetsförvaltning 2024

mkr	Brutto			Reserver			Netto
	Stag 1	Stag 2	Stag 3	Stag 1	Stag 2	Stag 3	
Utlåning i Sverige							
Stadligt ägda fastighetsbolag	11 200			0			11 200
Kommunalt ägda fastighetsbolag	8 378	132		0	0		8 510
Bostadsfastighetsbolag	149 035	12 928	150	-7	-21	-20	162 074
varav hypotekslån	140 174	12 435	155	-8	-21	-17	152 721
Övrig fastighetsförvaltning	147 033	4 415	191	-5	-8	-32	151 594
varav hypotekslån	84 124	2 301	65	-2	-4	-10	86 474
Summa	316 646	17 475	380	-12	-29	-52	333 378
Utlåning utanför Sverige							
Storbritannien	147 258	8 151	1 557	-70	-58	-3	156 845
Norge	124 504	3 073	500	-15	-8	-33	128 021
Finland	32 794	7 318	148	-1	-17	-20	40 222
Nederländerna	68 898	1 139		-1	-1		70 035
Övriga länder	1 019			0			1 019
Summa	374 473	19 681	2 215	-87	-84	-56	398 142
Summa fastighetsförvaltning inom utlåning till allmänheten	690 119	37 156	2 585	-99	-113	-108	729 520

Utlåning till allmänheten som är föremål för nedskrivningsprövning, Fastighetsförvaltning 2023

mkr	Brutto			Reserver			Netto
	Stag 1	Stag 2	Stag 3	Stag 1	Stag 2	Stag 3	
Utlåning i Sverige							
Stadligt ägda fastighetsbolag	11 306			0			11 306
Kommunalt ägda fastighetsbolag	7 311	515		0	0		7 826
Bostadsfastighetsbolag	129 593	30 200	64	-7	-68	-13	159 739
varav hypotekslån	121 600	28 574	55	-8	-64	-7	150 159
Övrig fastighetsförvaltning	131 093	20 222	164	-11	-30	-52	151 385
varav hypotekslån	72 794	10 835	63	-9	-17	-21	83 652
Summa	279 273	60 937	228	-18	-98	-65	330 257
Utlåning utanför Sverige							
Storbritannien	129 072	13 876	1 132	-87	-129	-26	144 438
Norge	133 310	6 304	91	-22	-12	-28	139 703
Finland	44 389	5 249	522	-2	-9	-35	50 114
Nederländerna	61 050	5 408		-1	-1		66 402
Övriga länder	988		11	0		-5	994
Summa	369 415	30 837	1 756	-112	-161	-94	401 711
Summa fastighetsförvaltning inom utlåning till allmänheten	648 688	81 934	1 984	-130	-240	-159	731 968

Tabellen ovan inkluderar slyttningsgrupperna i Finland som i balansräkningen omklassificerats till Tillgångar som innehåller försäkring, se not K14.



3.1

Inledning
 Förvaltningsberättelse
 Finansiella rapporter
 Koncernen
 Hållbarhet
 Övrigt

K2 forts.

av utlåningen till fastighetssektorn är således till bolag med mycket låg sannolikhet för finansiella svårigheter. Bankens exponering mot fastighetssektorn finns specificerad i tabeller nedan.

Andelen exponeringar hänförliga till fastighetsmotparter (fastighetsbolag och bostadsrättsföreningar) som har en sämre rating än bankens riskklass 5 (normal risk) är låg, 94,6% (93,8) av total fastighetsutlåning i Sverige återfinns i riskklass 5 eller bättre. Motsvarande

uppgift avseende fastighetsutlåningen i Norge uppgår till 98,6% (97,9), och i Finland 98,2% (97,3). Storbritanniens och Nederländernas kapitalkrav beräknas med schablonmetoden som har föreskrivna riskvikter, vilket innebär att riskklasserna inte är relevanta för kapitalkravsberäkningen. Av de motparter som återfinns i sämre riskklasser än normalt återfinns huvuddelen i riskklasserna 6–7 och endast små volymer i de högre riskklasserna 8–9. För information om Handelsbankens riskklassificering,

se not K2 avsnitt Beräkning av kapitalkrav för kreditrisker.

Handelsbankens utlåning till fastighetsbolag har under det senaste året minskat. I lokal valuta har portföljen i Sverige, Storbritannien och Nederländerna vuxit, medan portföljerna i Norge och Finland har minskat. Handelsbanken har samma strikta krav på återbetalningsförmåga, belåningsgrader och säkerhetskvalitet på samtliga marknader.

Utlåning till allmänheten, Fastighetsförvaltning, typ av säkerhet och land (Bruttio)

mkr	2024					2023				
	Utlåning	Stat och kommun ¹⁾	Bostadsfastigheter	Kommersiella fastigheter och övriga säkerheter	Blanko	Utlåning	Stat och kommun ¹⁾	Bostadsfastigheter	Kommersiella fastigheter och övriga säkerheter	Blanko
Sverige	333 471	20 219	182 053	124 220	0 972	330 438	19 007	182 787	118 740	0 238
Storbritannien	150 976	3	81 702	72 090	2 485	144 680	6	80 478	63 178	1 018
Norge	128 077	23	18 454	102 125	7 475	139 765	24	19 345	111 245	0 151
Finland	40 260	28 952	5 204	6 071	23	50 160	30 300	7 598	11 083	519
Nederländerna	70 037		47 527	22 428	82	65 454		47 820	18 594	41
Övriga länder	1 019		445	574		999		431	557	11
Summa	729 840	49 207	336 475	328 123	17 037	732 506	50 057	338 468	324 003	19 978

1) Bolag ägda av stat och kommun/fastighetsutlåning garanterad av stat och kommun.
Tabellen ovan inkluderar avyttringsgrupperna i Finland som i balansräkningen omklassificerats till Tillgångar som innehås för försäljning, se not K14.

Utlåning till allmänheten, Fastighetsförvaltning, riskklass och land 2024

mkr	Sverige	Storbritannien	Norge	Finland	Nederländerna	Övriga länder	Summa	%
Riskklass								
1	11 282		601	7 978			19 861	2,72
2	72 529		10 041	4 301			86 901	11,92
3	121 031		70 408	12 424			203 863	27,93
4	72 310		33 505	5 063			111 558	15,29
5	38 125		11 704	8 241			58 070	7,96
6	16 035		944	679			17 658	2,42
7	1 132		297	77			1 506	0,21
8	176		2	95			273	0,04
9	336		9	543			888	0,12
Fallissemang	350		500	148			998	0,14
Schablonmetoden ¹⁾	165	150 976	6	1	70 037	1 019	228 204	31,27
Summa	333 471	156 976	128 077	40 280	70 037	1 019	729 840	100

Utlåning till allmänheten, Fastighetsförvaltning, riskklass och land 2023

mkr	Sverige	Storbritannien	Norge	Finland	Nederländerna	Övriga länder	Summa	%
Riskklass								
1	10 907		637	11 805			23 409	3,21
2	71 060		16 090	5 590			93 640	12,78
3	108 232		71 103	14 488			193 823	26,46
4	78 149		39 482	11 965			129 616	17,69
5	41 524		8 554	4 700			54 838	7,49
6	16 619		2 571	510			19 700	2,69
7	3 137		299	176			3 612	0,49
8	129		2	145			276	0,04
9	390		9	20			419	0,06
Fallissemang	228		91	522			841	0,11
Schablonmetoden ¹⁾	3	144 680	27	69	65 454	999	212 242	28,97
Summa	330 438	144 680	139 765	50 160	65 454	999	732 506	100

1) Schablonmetoden har föreskrivna riskvikter, riskklasserna är därför ej relevanta.
Tabellen ovan inkluderar avyttringsgrupperna i Finland som i balansräkningen omklassificerats till Tillgångar som innehås för försäljning, se not K14.



3.1

K2 forts.

Utlåning till allmänheten, FastighetsKvalitet, riskklass och säkerhet 2024

		Utlåning		Säkerhet		
mkr		Bostads- fastigheter	Kommersiella fastigheter	Stat och kommun ¹⁾	Övriga säkerheter	Blanko
Riskklass						
1	19 851	5 388	3 076	9 959	680	758
2	86 001	43 464	23 150	17 683	101	2 554
3	203 603	95 445	118 702	10 464	1 345	6 905
4	111 558	47 466	57 610	4 227	184	2 071
5	58 070	28 188	22 547	5 624	726	688
6	17 058	12 018	3 030	500	24	1 177
7	1 506	930	404		7	105
8	273	87	123	47	2	14
9	668	419	57	400	3	9
Fällisemang	998	345	633		1	19
Schablonmetoden ¹⁾	228 204	129 766	95 382	3	318	2 735
Summa	729 840	335 476	324 732	49 207	3 391	17 037

Utlåning till allmänheten, FastighetsKvalitet, riskklass och säkerhet 2023

mkr	Utlåning	Säkerhet				Blanko
	Bostadsfastigheter	Kommersiella fastigheter	Stat och kommun ¹⁾	Övriga säkerheter		
Riskklass						
1	23 490	6 340	4 293	11 704	360	784
2	93 040	43 522	29 089	18 782	140	2 107
3	193 623	98 451	107 695	8 984	464	8 229
4	129 016	49 143	67 137	7 120	611	5 405
5	54 638	27 043	21 952	2 577	662	1 704
6	19 700	11 414	7 424	376	13	473
7	3 012	2 230	1 257	54	8	63
8	276	87	66	118		3
9	419	350	51		5	13
Fällisemang	841	228	240	336	3	34
Schablonmetoden ¹⁾	212 242	128 751	61 661	6	461	1 163
Summa	732 606	338 468	321 067	50 667	2 936	19 678

1) Schablonmetoden har föreskrivna riskvikter, riskklasserna är därför ej relevanta.
Tabellen ovan inkluderar avyttringsgrupperna i Finland som i balansräkningen omklassificerats till Tillgångar som innehåller försäljning, se not K14.

Beräkning av kapitalkrav för kreditrisker

Risikklassificeringssystem
Kapitalkravet för kreditrisk beräknas enligt schablonmetoden och intermetoden i enlighet med förordning (EU) nr 575/2013 (CRR). Schablonmetoden innebär att riskvikterna vid beräkningen av kapitalkrav för kreditrisk är föreskrivna i regelverket. Intermetoden innebär att institut vid beräkningen av kapitalkrav för kreditrisk skattar riskparametrar genom användning av egna IRK-modeller (IRK, interna risikklassificeringssystem). Vid tillämpningen av intermetoden finns två olika metoder: den grundläggande intermetoden och den avancerade intermetoden. I den grundläggande intermetoden beräknas sannolikhet för fallissemang (PD) med bankens egna IRK-modeller medan förlustandel vid fallissemang (LGD) och konverteringsfaktor (KF) är givna av regelverket. KF används vid beräkning av exponeringsbelopp för åtaganden utanför balansräkningen.

I den avancerade intermetoden beräknas utöver sannolikhet för fallissemang (PD) även LGD och KF med bankens egna IRK-modeller. Handelsbankens interna risikklassificeringssystem (IRK), eller med andra ord intermetoden, består av ett antal olika system, metoder, processer och rutiner som stödjer Handelsbankens klassificering och kvantifiering av kreditrisk.
Vid kreditbedömningen av kunder åsätts kunderna en rating. Den ratingen styr, tillsammans med andra risikklassificeringskriterier, hur exponeringar hänförs till intermetodens indelning i riskklasser. Vad avser hållbarhet beaktas den i ratingprocessen för företag.
Ratingens två dimensioner är ratingen för finansiella påfrestningar (A) och motpartens finansiella motståndskraft vid sådana påfrestningar (B). Dessa graderas i en femgradig skala från mycket låg risk till mycket hög risk.
Ratingen omvandlas till en intern riskklass vid tillämpning av intermetoden (A+B-1) för företags- och institutsexponeringar samt för exponeringar mot stater och centralbanker (statsexponeringar). För myndigheter och

kommuner sätts dock riskklassen som det minsta av (A+B) eller 9. En kommun med samma rating som en stat får alltså en riskklass sämre än staten. Detta för att ta hänsyn till att risken för myndigheter och kommuner är högre än för statsexponeringar.
Ratingen för hushållsexponeringar sätts bara i en dimension, enligt en femgradig skala, och omvandlas inte direkt till en riskklass som för företagsexponeringar, utan de olika exponeringarna sorteras i ett antal mindre grupper, beroende på vissa faktorer. Exempel på sådana faktorer är vilken typ av kredit det gäller, motpartens betalningsskötsel och om det finns en eller flera låntagare. För var och en av de mindre grupperna beräknas en genomsnittlig fallissemangsandel, och baserat på denna sorteras grupperna in i någon av de tio riskklasserna. Olika modeller används för exponeringar mot privatpersoner respektive mot små företag (som också räknas till kategorin hushållsexponeringar), men principen är densamma.



3.1

Inledning

Förvaltningsberättelse

Finansiella rapporter
Koncernen

Hållbarhet

Övrigt

K2 forts.

Intermetodens riskklasser är således olika skalar mellan 1 och 10.

En klar majoritet av bankens exponeringar ligger i riskklass 1–4, vilket betyder att den genomsnittliga risknivån i kreditportföljen är väsentligt lägre än den nivå som bedöms vara normal risk. Riskklass 5 motsvarar normal risk och riskklass 10 avser fallerade motparter.

Exponeringsklasser

Antalet exponeringsklasser är avhängigt vilken metod som används vid beräkning av kreditrisk. Exponeringar som ska beräknas enligt schablonmetoden kan hänföras till 17 olika exponeringsklasser medan det för intermetoden finns sju exponeringsklasser.

Den övergripande indelningen i exponeringsklasser enligt intermetoden är stats-, instituts-, företags-, hushålls- och aktieexponeringar samt positioner i värdepappersse-

ringar. Härtill kommer så kallade motpartslösa exponeringar, det vill säga tillgångar där det inte krävs någon prestation från motparten, exempelvis materiella anläggningstillgångar.

Till statsexponeringar hänförs exponeringar mot stater, centralbanker, statliga myndigheter och kommuner. Till institutsexponeringar hänförs exponeringar mot motparter som är definierade såsom banker och övriga kreditinstitut samt vissa värdepappersbolag.

Hushållsexponeringar innefattar dels exponeringar mot privatpersoner, dels exponeringar mot enskilda näringsidkare och företag där den totala exponeringen inom koncernen uppgår till högst 5 mkr (exklusive bostadskrediter). Hushållsexponeringar delas upp i två undergrupper: fastighetskrediter och övriga hushållsexponeringar.

Till företagsexponeringar hänförs exponeringar mot icke-finansiella företag bestående av juridiska personer som har en total expose-

ring inom koncernen som överstiger 5 mkr (exklusive bostadsfinansiering) eller där företags omsättning överstiger 50 mkr samt enskilda näringsidkare med en total exponering inom koncernen som överstiger 5 mkr.

Förutom vanliga icke-finansiella företag ingår i exponeringsklassen även försäkringsbolag, bostadsrättsföreningar samt exponering i form av så kallad specialfinansiering.

Till aktieexponeringar hänförs bankens innehav i aktier som inte utgör en del av handelslagret.

Vid indelningen i exponeringsklasser enligt schablonmetoden hänförs bankens volymer till någon av exponeringsklasserna multilaterala utvecklingsbanker, internationella organisationer, institut, företag, hushåll, exponering med säkerheter i fastigheter, fallerade exponeringar, övriga poster samt aktier.

Kreditexponeringar per riskklass 2024

mkr	Poster i balansräkningen						Poster utanför balansräkningen		Summa
	Utlåning till allmänheten	Utlåning till övriga kreditinstitut	Kassa och tillgodo-havanden hos centralbanker	Övrig utlåning till centralbanker	Derivat instrument	Ränta-bärande värdepapper	Ansvars-förbindelser	Åtaganden	
Riskklass									
1	482 720	4 337	404 232	12 547	19 948	104 741	8 805	54 529	1 151 059
2	545 789	4 907			16 974	52 362	16 836	109 889	748 817
3	500 238	218			5 673	009	16 783	117 450	701 271
4	235 433	2			1 385		7 008	45 701	289 527
5	107 202	57			287		3 787	18 985	130 318
6	26 641				40		103	6 304	33 088
7	29 152				50		927	7 226	37 355
8	931						33	5 207	6 171
9	8 185						0	2 795	10 980
Fallsisemang	4 109						37	58	4 204
Schablonmetoden ¹⁾	371 086	9 342	125 771		2 712	2 102	1 681	74 370	587 014
Summa	2 372 086	18 623	530 003	12 547	47 069	220 114	55 754	442 514	3 690 010

Kreditexponeringar per riskklass 2023

mkr	Poster i balansräkningen						Poster utanför balansräkningen		Summa
	Utlåning till allmänheten	Utlåning till övriga kreditinstitut	Kassa och tillgodo-havanden hos centralbanker	Övrig utlåning till centralbanker	Derivat instrument	Ränta-bärande värdepapper	Ansvars-förbindelser	Åtaganden	
Riskklass									
1	541 178	97	362 536	31 014	5 988	193 697	5 333	54 492	1 194 335
2	555 325	17 131			13 612	54 399	20 548	105 764	766 779
3	548 122	1 803			5 160	1 119	20 053	110 167	686 424
4	268 250	1			1 830		8 440	51 496	330 017
5	80 479	3			257		1 612	21 136	103 487
6	35 088	2			61		161	6 463	42 375
7	36 405				120		690	5 928	43 143
8	1 490						43	3 368	4 901
9	8 050						13	2 422	11 061
Fallsisemang	3 398						28	127	3 553
Schablonmetoden ¹⁾	355 226	200	113 045	1 131	3 082		1 199	66 502	541 045
Summa	2 434 217	19 297	476 181	32 145	30 110	249 215	58 120	427 868	3 727 180

1) Schablonmetoden har föreskrivna riskvikter, riskklasserna är därför ej relevanta.

Tabellen ovan inkluderar slytfrågningsgrupperna i Finland som i balansräkningen omklassificerats till tillgångar som innehåller försäkring, se not K14.



3.1

K2 forts.

Metoder för riskklassificeringen

För att kvantifiera bankens kreditrisker beräknas sannolikhet för fallissemang (PD), exponering vid fallissemang (EAD) och förlustandel vid fallissemang (LGD). Fallissemang inträffar när kredittagaren är mer än 90 dagar försenad med en väsentlig betalning eller när banken bedömer att det är osannolikt att kredittagaren kommer att fullfölja sina åtaganden mot banken. PD-värdet uttrycks som ett procenttal, där exempelvis ett PD-värde på 0,5% innebär att en kredittagare av 200 med samma PD-värde väntas falla inom ett år.

Företagsexponeringarna delas in i fyra motpartstyper och statsexponeringar i två motpartstyper baserat på den affärsbedömningsmall som används för motparten. PD beräknas individuellt för varje riskklass och motpartstyp. För exponeringar som kapitaltäckts enligt den grundläggande intermetoden tillämpas föreskrivna värden för LGD. Vilket föreskrivet värde som får användas styrs av vilken säkerhet som finns för respektive exponering.

Även för hushållsexponeringar beräknas en genomsnittlig fallissemangsandel för var och

en av riskklasserna. Olika modeller används för exponeringar mot privatpersoner respektive mot småföretag (som också räknas till kategorin hushållsexponeringar), men principen är densamma.

För hushållsexponeringar och för exponeringar mot företag som exempelvis medelstora företag, fastighetsbolag och bostadsrättsföreningar fastställs LGD från bankens egen förlusthistorik. För exponeringar mot stora företag som kapitaltäckts med den avancerade intermetoden fastställs LGD baserat på historiska förluster och externa observationer. För hushållsexponeringar med fastighetssäkerhet i Sverige och för fastighetsexponeringar mot medelstora företag, fastighetsbolag och bostadsrättsföreningar (företag) tillämpas olika LGD-värden beroende på säkerhetens belåningsgrad. För övriga exponeringar styrs LGD-värdet av faktorer som kan bero på förekomst av, och värde på, säkerhet, produkttyp eller liknande.

För varje exponeringsklass beräknas PD för var och en av de riskklasser som avser icke-fallerade motparter eller avtal. PD grundar sig

på beräkningar av hur stor andelen fallissemang varit historiskt för olika typer av exponeringar. Den genomsnittliga fallissemangsandelen justeras därefter med olika marginaler, till exempel av försiktighetsskäl.

Vid fastställande av LGD beaktas att riskmättet ska återspegla förlustandelen under ekonomiskt ogynnsamma förhållanden, vilket benämns Nedgångs-LGD. För företagsexponeringar inom intermetoden med egna skattningar av LGD och KF nedgångsjusteras LGD med beaktande av bankens observerade förluster under krisåren 1991–1996. I många fall baseras LGD på fastighetens belåningsgrad. Eftersom fastigheternas värde och därmed även belåningsgraden vanligtvis varierar med konjunkturen innebär detta att även kapitalkravet kommer att uppvisa ett visst konjunkturberoende. För övriga säkerheter avseende hushållsexponeringar nedgångsjusteras observerat LGD med en faktor som beror på PD och produkttyp.

Poster i balansräkningen som är föremål för nederkrivningsprövning, fördelat per riskklass 2024

mkr	Brutto			Reserver		
	Steg 1	Steg 2	Steg 3	Steg 1	Steg 2	Steg 3
Riskklass						
1	621 158	1 615		-2	-2	
2	643 271	2 834		-9	-3	
3	550 715	6 345		-15	-6	
4	220 582	5 983		-24	-6	
5	61 880	15 748		-20	-55	
6	17 395	9 382		-13	-27	
7	17 990	11 326		-2	-52	
8	222	723		0	-14	
9	335	7 669		-1	-38	
Fallissemang			4 842			-733
Schablonmetoden ¹⁾	484 841	14 590	3 083	-118	-128	-338
Summa	2 663 270	76 635	8 625	-213	-331	-1 071

Poster i balansräkningen som är föremål för nederkrivningsprövning, fördelat per riskklass 2023

mkr	Brutto			Reserver		
	Steg 1	Steg 2	Steg 3	Steg 1	Steg 2	Steg 3
Riskklass						
1	695 205	1 982		-5	-3	
2	604 664	4 633		-19	-6	
3	540 501	8 159		-42	-14	
4	246 184	23 991		-78	-16	
5	61 640	32 578		-35	-151	
6	17 908	17 968		-23	-101	
7	24 235	12 481		-7	-184	
8	220	1 306		-1	-35	
9	303	8 428		-1	-73	
Fallissemang			4 240			-839
Schablonmetoden ¹⁾	445 964	25 323	2 824	-218	-237	-311
Summa	2 633 004	136 899	7 064	-429	-620	-1 160

¹⁾ Schablonmetoden har föreskrivna riskvikter, riskklasserna är därför ej relevanta.

Tabellen ovan inkluderar avyttringsgrupperna i Finland som i balansräkningen omklassificerats till tillgångar som innehas för försäljning, se not K14.



3.1

Inledning

Förvaltningsberättelse

Finansiella rapporter
Koncernen

Hållbarhet

Övrigt

K2 forts.

När exponeringsbeloppet ska beräknas sker vissa justeringar av den bokförda exponeringen. Exempel på detta är revolverande krediter, där banken avtalar med kunden om att denne får låna upp till ett visst belopp i framtiden. Denna typ av åtaganden är en kreditrisk som också ska kapitaltäckas. Normalt betyder det att den beviljade krediten justeras med en viss konverteringsfaktor för den del av krediten som inte är utnyttjad vid rapporteringstillfället. När det gäller vissa produktklasser för företagsexponeringar och för instituts-exponeringar är konverteringsfaktorerna bestämda av regelverket, men för hushålls-exponeringar och vissa produktklasser för stora företag, medelstora företag, fastighets-bolag och bostadsrättsföreningar använder banken egenberäknade konverteringsfaktorer. Vilken konverteringsfaktor som används styrs framför allt av vilken produkt som avses, men även utnyttjandegrad kan spela in.

Kapitalkravet för aktieexponeringar i intern-metoden beräknas enligt den förenklade risk-viktmetoden.

Riskparametrarna (PD, EAD, LGD) används förutom vid kapitalkravsberäkningen även för beräkning av kostnaden för kapital i varje enskild affär och vid beräkning av ekonomiskt kapital (Economic Capital, EC).

Vad avser bankens IRK modeller, som använder historisk data för att generera skattningar av risk, saknar banken i nuläget tillräckligt med historisk data för att inkludera hållbarhetsrisker som riskdrivare. Hållbarhetsrisker beaktas dock för företag vid åsättande av den interna rating som ligger till grund för PD-riskklass. Arbete pågår där ambitionen är att inkludera hållbarhetsrisker som riskdrivare i framtida IRK modeller när tillräcklig historisk data finns tillgängligt.

Kvalitetssäkring av kreditriskmodellen
Banken utför årligen en översyn av riskklassificeringssystemen. Översynen tar sikte dels på att den interna ratingen som ligger till grund för bankens riskklassificering tillämpas på ett konsistent, korrekt och ändamålsenligt sätt (utvärdering), dels på att de modeller som används kvantifierar risk på ett tillfredsställande sätt (validering).

Beräkning av förväntade kreditförluster

Reglerna om nedskrivning i IFRS 9 omfattar finansiella tillgångar värderade till upplupet anskaffningsvärde, finansiella tillgångar värderade till verkligt värde via övrigt totalresultat samt finansiella garantier och oåterkallliga löften. I detta avsnitt redogörs huvudsakligen för de processer och metoder som tillämpas i Handelsbankens modellbaserade beräkningar av reserver för förväntade kreditförluster.

Bedömningar av förväntade kreditförluster utförs på avtalsnivå där avtalets och motpartens egenskaper styr klassificering och kvantifiering av reserveringsbehovet. Bedömningen baseras antingen på en modellberäkning eller en manuell beräkning där val av metod främst beror på om avtalet anses vara kreditförsämrat.

För redovisning och värdering av förväntade kreditförluster samt definitioner, se not K1 avsnitt 6 Kreditförluster.

Utläning till allmänheten som är föremål för nedskrivningsprövning, fördelat per riskklass 2024

mkr	Brutto			Reserver		
	Stag 1	Stag 2	Stag 3	Stag 1	Stag 2	Stag 3
Riskklass						
1	480 909	1 615		-2	-2	
2	542 906	2 633		-7	-3	
3	553 914	6 345		-15	-6	
4	229 581	5 682		-24	-6	
5	91 500	15 095		-28	-55	
6	17 295	9 382		-13	-24	
7	17 880	11 326		-2	-52	
8	222	723		0	-14	
9	335	7 689		-1	-38	
Fallssemang			4 842			-733
Schablonmetoden ¹⁾	353 807	14 090	3 083	-118	-128	-336
Summa	2 288 590	76 580	8 625	-210	-328	-1 071

Utläning till allmänheten som är föremål för nedskrivningsprövning, fördelat per riskklass 2023

mkr	Brutto			Reserver		
	Stag 1	Stag 2	Stag 3	Stag 1	Stag 2	Stag 3
Riskklass						
1	539 204	1 982		-5	-3	
2	550 714	4 633		-16	-6	
3	540 009	8 169		-42	-14	
4	244 353	23 991		-78	-16	
5	48 007	32 567		-35	-150	
6	17 844	17 968		-23	-101	
7	24 115	12 481		-7	-184	
8	220	1 300		-1	-35	
9	302	8 428		-1	-73	
Fallssemang			4 237			-839
Schablonmetoden ¹⁾	327 842	25 323	2 827	-218	-237	-311
Summa	2 292 700	136 848	7 064	-426	-819	-1 160

¹⁾ Schablonmetoden har föreskrivna riskvikter, riskklasserna är därför ej relevanta.

Tabellen ovan inkluderar avyttringsgrupperna i Finland som i balansräkningen omklassificerats till Tillgångar som innehas för försäljning, se not K14.



3.1

K2 forts.

Modellbaserade beräkningar

för avtal i Steg 1 och Steg 2

Handelsbankens koncerngemensamma centrala process för modellbaserade beräkningar av förväntade kreditförluster består av ett antal olika processer och metoder som stödjer kvantifiering av reserveringsbehovet i Steg 1 och Steg 2.

I de modellbaserade beräkningarna tas hänsyn till historisk, aktuell och framtidsbaserad data. Historisk data ligger till grund för modell och parameterkonstruktion, aktuell data är rapporteringstillfallets aktuella balanser (som omfattas av beräkningskraven) och framtidsbaserad data är de makroekonomiska scenarierna som tillämpas för att beräkna framtida riskparametrar och exponeringar.

Modellerna baseras på samma historiska riskdata som i IRK-modellerna och således utgår redovisningen och kapitalkravsberäkningarna från samma grundläggande förlusthistorik. I likhet med hur riskklassificeringssystemet påverkar kapitaltäckningsberäk-

ningarna så utgör den interna ratingen (från vilken riskklassificeringen härleds) en väsentlig del i modellerna för beräkning av förväntade kreditförluster. Beräkningarna påverkas i första hand av riskparametrarna sannolikhet för fallissemang (PD), exponering vid fallissemang (EAD) och förlustandel vid fallissemang (LGD). Den förväntade kreditförlusten i en framtida period erhålls genom att multiplicera nuvärdet av exponeringen vid fallissemang (EAD) med sannolikheten för fallissemang (PD) och med förlustandel vid fallissemang (LGD). Till skillnad från kapitaltäckningsregelverkets kreditförlustberäkning, som även den använder riskparametrarna PD, EAD och LGD, utgår kreditförlustskattningen i IFRS 9 från framtidsbaserad aktuell bedömning. Då regelverken har olika syften skiljer sig beräkningsmodellerna åt både vad gäller riskparametersättning och konstruktion. För presentation av huvudsakliga skillnader mellan IFRS 9 och IRK, se tabell Skillnader mellan IFRS 9 och IRK.

Makroekonomisk information

Beräkningarna avseende modellbaserad bedömning av betydande ökning av kreditrisk och förväntade kreditförluster utförs med modeller för de respektive riskparametrarna (PD, EAD och LGD). För att säkerställa att beräkningarna tar hänsyn till icke-linjära aspekter används för exponeringar utanför Storbritannien tre framtidsbaserade makroekonomiska scenarier (ett neutralt, ett negativt och ett positivt) i modellerna. För exponeringar i Storbritannien används fyra scenarier (ett neutralt, två negativa och ett positivt). Respektive scenario inkluderar väsentliga makroekonomiska riskfaktorer som arbetslöshet, BNP, fastighetspriser, styr-/centralbankräntor och inflation, uppdelade per land. De väsentliga makroekonomiska riskfaktorerna har identifierats från bankens historik och relationen till riskparametrarna är skattade på samma historiska material. De olika scenarierna används för att justera de aktuella riskparametrarna. Varje makroekonomiskt scenario representerar

Poster utanför balansräkningen som är föremål för nedsättningsprövning, fördelat per riskklass 2024

mkr	Brutto			Reserver		
	Steg 1	Steg 2	Steg 3	Steg 1	Steg 2	Steg 3
Riskklass						
1	33 043	52		0	0	
2	58 035	204		-4	0	
3	47 901	266		-5	-1	
4	42 304	351		-7	-1	
5	10 483	1 329		-11	-29	
6	0 000	340		-2	-8	
7	5 685	2 460		-1	-21	
8	5 063	170		-2	-2	
9	2 647	153		-1	-4	
Fallissemang			94			-26
Schablonmetoden ¹⁾	74 905	939	65	-6	-24	0
Summa	292 278	6 282	169	-39	-90	-26

Poster utanför balansräkningen som är föremål för nedsättningsprövning, fördelat per riskklass 2023

mkr	Brutto			Reserver		
	Steg 1	Steg 2	Steg 3	Steg 1	Steg 2	Steg 3
Riskklass						
1	31 681	70		0	0	
2	64 405	152		-10	0	
3	60 056	468		-10	-1	
4	31 201	989		-23	-2	
5	8 668	5 754		-8	-73	
6	0 015	528		-3	-17	
7	5 199	1 379		-3	-58	
8	3 034	295		-1	-16	
9	2 149	190		-2	-12	
Fallissemang			95			-41
Schablonmetoden ¹⁾	66 104	1 422	95	-28	-24	-1
Summa	284 693	11 282	184	-94	-203	-42

¹⁾ Schablonmetoden har föreskrivna riskvikter, riskklasserna är därför ej relevanta.

Tabellen ovan inkluderar sättningsgrupperna i Finland som i balansräkningen omklassificerats till Tillgångar som innehåller försäkring, se not K14.



3.1

Inledning

Förvaltningsberättelse

Finansiella rapporter
Koncernen

Hållbarhet

Övrigt

K2 forts.

en av banken beslutad sannolikhet. Dessa sannolikhetsfördelningar är i nuläget 70% (70) för det neutrala scenariot och 15% (15) för det positiva samt 15% (15) för det negativa scenariot. För exponeringar i Storbritannien är vikterna 80% (80) för det neutrala scenariot, 5% (5) för det positiva och 20% (20) för det negativa scenariot samt 15% (15) för det kraftigare negativa scenariot. Som förväntade kreditförluster redovisas ett sannolikhetsvägt genomsnitt av de förväntade kreditförlusterna för respektive scenario.

Alla makrosценарии tas fram av bankens enhet för ekonomisk analys som ansvarar för all ekonomisk analys som levereras av Handelsbanken, både för internt och externt bruk. Dessa makroekonomiska сценарии avser regionspecifika 30-åriga prognoser för Sverige, Norge, Finland, Storbritannien, Euro-området, USA och världen. Banken applicerar inga specifika сценарии relaterat till hållbarhetsrisker i beräkningarna av förväntade kreditförluster men effekten av denna typ av risker, primärt klimatrelaterade risker, är delvis inkluderade i de applicerade makroekonomiska сценарииerna. En förändring i de makroekonomiska сценарииerna, eller i de vikter som tillämpas, påverkar både bedömningen av betydande ökning av kreditrisk och uppskattningen av den förväntade kreditförlusten. Scenarierna uppdateras kvartalsvis av bankens enhet för ekonomisk analys och presenteras för beslutsfattarna innan de tillämpas i beräkningarna av förväntade kreditförluster.

Portföljsegmentering

I den modellbaserade bedömningen används statistiska modeller. Dessa är framtagna för olika segment i portföljen där respektive segment avser riskmässigt likartade exponeringar och riskparametrarna kan skattas baserat på en gemensam uppsättning riskfaktorer. För hushållsexponeringar är portföljsegmenteringen baserad på produkttyp och för övriga exponeringar är den baserad på motpartstyp. Segmenten har identifierats genom statistisk analys och expertbedömningar. För hushållsexponeringar finns följande nio portföljsegment; exponeringar med säkerhet i bostadsfastighet för privatpersoner, revolverande krediter inklusive kreditkortsexponeringar för privatpersoner respektive små företag, övriga exponeringar för privatpersoner respektive små företag, kortkrediter avseende säljfinansiering för privatpersoner respektive små företag, samt avbetalningslån avseende säljfinansiering för privatpersoner respektive små företag. För övriga exponeringar finns följande sex segment; fastighetsbolag, bostadsrättsföreningar, övriga stora icke-finansiella företag, övriga icke-finansiella företag, stater samt finansiella företag och banker.

Inom respektive portföljsegment klassificeras avtalen ytterligare till så kallade tillståndsklasser baserat på riskfaktorer som intern rating, betalningshistorik, landtillhörighet, säkerhetstyp och belåningsgrad. Tillståndsklasserna är framtagna baserat på statistisk analys av historiska utfall. För varje tillståndsklass används statistiska modeller för migration mellan tillstånden för att beräkna framåtblickande sannolikheter för riskparametrarna PD, LGD och EAD. En viktig riskfaktor för tillståndsklasserna är motpartens interna rating som sätts vid kreditbeslutstillfället och uppdateras minst årligen eller om det finns tecken på att motpartens återbetalningsförmåga har ändrats. Klimatrelaterade och vissa andra miljörelaterade risker bedöms i kreditprocessen och påverkar den interna ratingen på motparts nivå. Det finns tillståndsklasser för icke-fallerade, fallerade och förädlade exponeringar. Exponeringar mot hushåll klassas i nio tillståndsklasser och övriga exponeringar i tolv tillståndsklasser.

Betydande ökning av kreditrisk

Betydande ökning av kreditrisk avspeglar risken för fallissemang och är ett mått som mäter avtalets relativa förändring av kreditrisk sedan första redovisningstillfället. För beräkning av betydande ökning av kreditrisk används inom Handelsbanken samma underliggande modeller som vid beräkning av förväntade kreditförluster och hänsyn tas till historisk, nuvarande och framåtblickande information. I bedömningen beaktas inte säkerheter. Vid varje rapporteringstillfälle inleds den koncerngemensamma centrala modellbaserade processen med att samtliga avtal bedöms med avseende på om det skett en betydande ökning av kreditrisken sedan första redovisningstillfället (avtalets ingående). Denna bedömning avgör sedan huruvida avtalet får en förväntad kreditförlust beräknad på tolv månaders horisont (Steg 1) eller för avtalets hela återstående löptid (Steg 2). En viktig del som påverkar kreditförlustreservens storlek är således vilka faktorer och trösklar som definieras som utlösande för överföring av tillgångar från Steg 1 till Steg 2. Bankens definition av betydande ökning av kreditrisk som är avgörande för att förflytta avtalen till Steg 2 grundar sig på såväl kvalitativa som kvantitativa faktorer.

Den kvantitativa indikator som i första hand används för att bedöma förändring i kreditrisken är den relativa förändringen mellan instrumentets första redovisningstillfälle och aktuell rapporteringstidpunkt i sannolikheten för fallissemang (PD) under avtalets återstående löptid.

I de fall det har krävts orimlig kostnad och ansträngning för att kunna fastslå PD vid ett instruments första redovisningstillfälle, har förändringar i motpartens eller avtalets interna rating eller riskklassificering sedan första redovisningstillfället använts för att bedöma betydande ökning av kreditrisken. För avtal som redovisas för första gången den 1 januari 2018 eller senare baseras prognoserna av fallissemangrisken på tre сценарии. För avtal som redovisats före den 1 januari 2018 tillämpas samma kriterier men baseras på ett scenario som utgår från bankens senast publicerade ekonomiska analys vid tidpunkten för det första redovisningstillfället.

Det huvudsakliga kriteriet för att ett avtal bedöms ha fått en betydande ökning av kreditrisk och förflyttas till Steg 2 enligt Handelsbankens definition är att den beräknade återstående fallissemangrisken (PD) vid rapporteringstillfället är större än 2,5 gånger motsvarande fallissemangrisk vid första redovisningstillfället. Gränsvärdet om 2,5 är baserat på statistisk analys av bankens historiska data och jämför ökningen i den återstående risken att motparten fallerar relativt motsvarande förväntade risk vid avtalets första redovisningstillfälle. Därutöver finns det andra kvalitativa faktorer som banken bedömt medför en betydande ökning av kreditrisk, till exempel att motparten har betalningar som är mer än 30 dagar försenade eller att motparten har erhållit eftergifter till följd av försämrad kreditvärdighet.

Om det föreligger en betydande ökning av kreditrisken sedan första redovisningstillfället redovisas en reserv motsvarande förväntade kreditförluster för hela tillgångens återstående löptid och det finansiella instrumentet flyttas till Steg 2. Modellen är symmetrisk, vilket innebär att om det finansiella instrumentets kreditrisk minskar och det därmed inte längre föreligger en betydande försämring i kreditrisk sedan första redovisningstillfället flyttas den finansiella tillgången tillbaka till Steg 1.

Modeller för riskparametrar

och förväntad löptid

Riskparametrarna PD, LGD och EAD beräknas för varje avtal och framtida tidpunkt, baserat på statistiska modeller. Dessa modeller bygger så långt som möjligt på de relationer mellan de väsentliga riskfaktorer och relevanta riskutfall som kan identifieras i bankens egen förlusthistorik. De flesta riskparametrar som kvantifieras baseras på cirka tio års intern data. I de fall banken saknar tillräckligt med information, till exempel på grund av få fallissemang, sker komplettering med hjälp av extern information. De historiska utfallen analyseras med avseende på samvariation med avtals-, motparts- och regionspecifika riskfaktorer, som till exem-



3.1

K2 forts.

Skillnader mellan IFRS 9 och IRK

Riskparameter	IRK	IFRS 9
PD, Sannolikhet för fallissemang	Genomsnittlig risk för fallissemang inom tolv månader över en konjunktursykel, inklusive statistiska säkerhetsmarginaler och regelverksgövl.	Konjunkturberoende (kortfristig, "point in time") risk för fallissemang inom tolv månader. "Livstids-PD" avser risken för fallissemang under avtalets förväntade återstående löptid.
LGD, Förlustandel vid fallissemang	Medvärdet av förväntad förlustandel på exponering vid fallissemang inom tolv månader på lång sikt och vid en konjunktumedgång, inklusive statistiska säkerhetsmarginaler och regelverksgövl. Kvantifiering av förlust för företagsexponeringar baseras på återvinningar inom tolv månader samt kvarstående reserver (24 månader för hushållsexponeringar).	Konjunkturberoende förväntad förlustandel på exponering vid fallissemang. LGD justeras baserat på framtidsblickande makroekonomiska scenarier.
EAD, Exponering vid fallissemang	Medvärdet av förväntad exponering vid fallissemang inom tolv månader på lång sikt och vid en konjunktumedgång, inklusive statistiska säkerhetsmarginaler och regelverksgövl.	Konjunkturberoende förväntad exponering vid fallissemang inom tolv månader. EAD justeras efter avtalsvillkor och framtidsblickande makroekonomiska scenarier och uppdateras för varje kommande tolv månadersperiod.
Löptid	Avtalets kontraktuella löptid med beaktande av kundens option på förlängning.	Den förväntade löptiden. Avtalets kontraktuella löptid med beaktande av sannolikhet för förtidslösen.
Prognoshorisont	Tolv månader.	Upp till tolv månader för avtal i steg 1 respektive återstående löptid för avtal i steg 2-3.
Diskontering	Prognostiserade förluster diskonteras inte till rapporteringstidpunkten. Vid kvantifiering av återvinningsgrad diskonteras observerade återvinningar till fallissemangstidpunkten med den genomsnittliga kostnaden för eget kapital.	Prognostiserade förluster diskonteras till rapporteringstidpunkten med avtalets kontraktuella ränta vid rapporteringstillfället.

pel produkttyp, intern rating, ålder som kund, säkerhetstyp, belåningsgrad, arbetslöshet räntnivåer och BNP-tillväxt. De riskfaktorer som identifieras som väsentliga för en viss riskparameter inkluderas i modellen och det historiska sambandet kvantifieras.

Sannolikhet för fallissemang (PD)

PD motsvarar sannolikheten för att en kund eller ett avtal kommer att hamna i fallissemang vid en given tidpunkt under den tillgångens återstående löptid. PD för tolv månader motsvarar sannolikheten för fallissemang under de kommande tolv månaderna. PD för återstående löptid motsvarar sannolikheten för fallissemang under tillgångens återstående löptid (maximalt 30 år). Vid rapporteringstillfället prognostiseras framtida PD baserat på framtidsblickande makroscenarier och aktuell avtals- och motpartinformation. Den prognostiserade fallissemangsriskerna tar hänsyn till utvecklingen av scenarier och sannolikheten för migration mellan olika tillståndsklasser över tid. Modellerna beräknar årsvisa migrations- och fallissemangssannolikheter där migrationsmodellen ger sannolikheten att avtalet befinner sig i en given tillståndsklass med en given fallissemangsrisk framåt i tiden. Avtalets förväntade PD för ett givet år beräknas av sannolikhetsvägda PD över alla tänkbara tillståndsklasser och scenarier. Förväntat PD för återstående löptid baseras på de årsvisa förväntade fallissemangsprognoserna och sannolikheten för att avtalet förtidslöses. En försämring av en ekonomisk framtidsutsikt baserad på prognostiserade makroekonomiska riskfaktorer för varje scenario, eller en

ökning i att sannolikheten för att det negativa scenariot ska inträffa, resulterar normalt sett i ett högre PD.

Exponering vid fallissemang (EAD)

EAD avser förväntad kreditexponering vid fallissemangstidpunkten. Vid rapporteringstillfället prognostiseras framtida exponeringar vid fallissemang baserat på nuvarande amorteringsplaner, sannolikhet för förtidslösen och förväntat utnyttjande av exempelvis kreditutrymmen, finansiella garantier och lånelöften. EAD prognostiseras på årsbasis och utgör det belopp på vilket förluster och återvinningar sker vid framtida fallissemang.

Förväntad löptid

Ett instruments förväntade löptid är relevant för både bedömningen av betydande ökning av kreditrisk, vilken tar hänsyn till förändringar i PD under förväntad återstående löptid, såväl som för värderingen av förväntade kreditförluster för tillgångens förväntade återstående löptid. Den förväntade löptiden beaktas i beräkningen av återstående PD genom att väga de prognostiserade årsvisa PD-värdena under avtalets kontraktuella löptid med sannolikheten att avtalet inte förtidslöses innan fallissemang inträffar.

Sannolikheten för förtidslösen av avtalet baseras på en statistisk analys och på bankens interna historik cirka tio år bakåt och ingår som en komponent i modellen för EAD. I analysen har potentiella riskfaktorer i form av avtals-, motparts- och makroekonomiska riskfaktorer analyserats. De riskfaktorer som identifieras som väsentliga inkluderas i modellen.

För revolverande krediter utan förfallodag, till exempel kreditkort, tillämpas en 30-årig löptid från rapporteringstillfället. Även för bolån med ränteomsättningsperiod på högst tre månader tillämpas en 30-årig löptid från rapporteringstillfället. Utgående från detta appliceras sannolikhet för förtidslösen enligt ovan.

Förlustandel vid fallissemang (LGD)

LGD speglar den ekonomiska förlustandel som banken förväntar sig vid ett fallissemang. De viktigaste riskfaktorema vid beräkning av LGD är säkerhetsvärdet, säkerhetstypen och motpartens egenskaper. Framtidsblickande makroekonomiska riskfaktorer återspeglas i LGD-beräkningarna genom deras inverkan på säkerhetsvärdet och belåningsgraden. Kvantifieringen av förlusten delas in i en sannolikhet för att motparten tillfrisknar utan att orsaka banken några ekonomiska förluster, och en återvinningsgrad då motparten inte tillfrisknar. Återvinningsgraden påverkas av belåningsgraden på så sätt att högre belåningsgrader är associerade med lägre återvinningsgrader. Säkerhetsvärdet för fastigheter, och därmed belåningsgraden och återvinningsgraden, påverkas av prisutvecklingen på fastigheten så att ett förväntat framtida prisfall på fastigheter driver upp belåningsgraden och den förväntade förlustandelen vid fallissemang.

Skillnader mellan IFRS 9 och IRK

Handelsbankens IFRS 9-modeller bygger på samma historiska data och samma övergripande modellansats som bankens IRK-modeller där riskparametrarna PD, LGD och EAD modelleras. Då regelverken har olika syften



3.1

Inledning

Förvaltningsberättelse

Finansiella rapporter
Koncernen

Hållbarhet

Övrigt

K2 forts.

skiljer sig beräkningsmodellerna åt både vad gäller riskparametersättning och konstruktion och i vissa fall används separata modeller för att uppfylla kraven enligt IFRS 9. De huvudsakliga skillnaderna mellan IFRS 9 och IRK presenteras i tabellen Skillnader mellan IFRS9 och IRK.

Validering av IFRS 9 modeller och modellbaserade beräkningar

Återkommande validering av modellerna och av dess ingående riskparametrar utförs enligt fastställda principer av Handelsbanken Risk Control, oberoende från enheter som ansvarar för utveckling av modellerna. Valideringen syftar till att säkerställa att de modellbaserade beräkningarna på flera aggregeringsnivåer uppvisar god prognosförmåga, utan oväntade avvikelser mellan prognoser och senast tillgängliga utfall. Dessutom verifieras att indata som används i beräkningarna är av god kvalitet, samt att modellernas utformning är lämplig för ändamålet. Resultatet av valideringen rapporteras till Chief Credit Officer, CFO och CFO. Inga betydande avvikelser med signifikant effekt på bankens reserveringar identifierades i den senaste valideringen, som utfördes under 2023.

Manuell beräkning för avtal i steg 3

Tillgångar i Steg 3 provas för nedskrivning på individuell nivå och beräkningen är manuell (med undantag för mindre portfölj av homogena fordringar som har modellberäknad reservering i Steg 3). Denna prövning genomförs löpande och vid varje rapporteringstillfälle av affärsansvarigt bankkontor (kund- och kreditansvarig enhet) och beslutas på länsnivå och av landskreditkommitté eller Handelsbanken Credit.

Nedskrivningsprövning utförs när det finns objektiva omständigheter som tyder på att motparten inte kommer att kunna fullfölja sina kontraktssenliga åtaganden i enlighet med definitionen på fallissemang. Sådana objektiva omständigheter kan exempelvis vara försenad eller utebliven betalning, eller identifierad indikation för osannolikhet för betalning.

I nedskrivningsprövningen uppskattas de framtida kassaflödena och säkerhetens värde (inklusive garantier). Hänsyn tas till normalt minst två möjliga framåtblickande scenarier med förväntade kassaflöden baserade både på motpartens återbetalningsförmåga och på säkerheternas värde. Utfallet av dessa scenarier sannolikhetsvikts och diskonteras med fordrans ursprungliga effektivränta. De scenarier som används kan innehålla såväl makroekonomiska som avtalspecifika faktorer, utifrån vad som bedöms ha påverkan på den individuella motpartens återbetalningsförmåga och säkerheternas värdeutveckling. Vid bedömningen tas hänsyn till den enskilda motpartens specifika egenskaper. Nedskrivning görs om det beräknade återvinningsvärdet understiger bokfört värde.

Governance och intern kontroll

För att beräkna förväntade kreditförluster för avtal i Steg 1 och Steg 2 använder sig Handelsbanken av en koncerngemensam central process med internt utvecklade statistiska modeller (modellbaserad beräkning). För avtal i Steg 3 sker manuell beräkning. Beskrivningen nedan avser i huvudsak de modellberäknade reserverna för förväntade kreditförluster. Denna process omgärdas av en samling interna kontroller, vilka beskrivs nedan. I processens steg sker också olika godkännanden/fastställanden, vilket skapar en struktur för governance, och även den beskrivs nedan.

Kontroll av indata vid rapportering

Vid varje rapporteringstillfälle kontrolleras att den information som utgör grunden för beräkningarna av förväntade kreditförluster är korrekt och komplett. Detta sker genom maskinella avstämningar av inläst data från levererande källor. Vidare görs en rimlighetsbedömning där systembalanser jämförs med föregående rapporteringstillfälles balanser. De balanser som används stäms slutligen av mot huvudboksvolymerna.

Modeller

Innan en ny kvantitativ modell tas in i det övergripande modelsystemet genomgår den validering och godkänns för användning av Chief Credit Officer.

I de kvantitativa modeller som ligger till grund för beräkningen av förväntade kreditförluster ingår flera antaganden och bedöm-

ningar. Exempel på antaganden är att de relationer som kan mätas mellan makroekonomiska riskfaktorer och riskparametrar på historiska data är representativa för framtida händelser, samt att avtals förväntade löptid kan baseras på historiskt data om beteenden. Huruvida dessa historiska samband och deras representativitet i framtiden påverkas av klimatrelaterade risker bedöms i arbetet med modellerna. Till dags dato har inga sådana klimatrelaterade faktorer inkluderats specifikt i modellerna men frågeställningen bedöms fortfarande. Ett urval av de mest väsentliga makroekonomiska riskfaktorerna görs baserat på de enskilda makroekonomiska riskfaktorernas förklaringsförmåga på de enskilda riskparametrarna. När makroekonomiska riskfaktorerna väljs ut och modellen specificeras görs en avvägning mellan enkelhet, förklaringsförmåga och stabilitet. Samtliga antaganden och avvägningar är presenterade för och beslutade av Chief Credit Officer.

Eventuella expertbedömda förändringar på reserven avseende modellberäknade avtal i Steg 1 och Steg 2 tillstyrks av CFO och beslutas av Chief Credit Officer innan de tillämpas.

Makroekonomiska scenarier

De makroekonomiska scenarierna tas fram av bankens enhet för ekonomisk analys baserat på en instruktion från Chief Credit Officer. I denna instruktion framgår önskade makroekonomiska riskfaktorer, geografiska områden som ska ingå samt antal scenarier och sannolikhetsfördelningen mellan dessa.

Inför varje rapportering presenteras aktuella makroekonomiska scenarier för Chief Credit Officer och CFO, vilka godkänner scenarierna för användning i rapporteringsprocessen.

Reserveringsbeloppens storlek

De totala beräknade reserverna i Steg 1 och Steg 2 tillstyrks av CFO och beslutas av Chief Credit Officer. Beräknade reserver i Steg 3 föreslås av affärsansvarigt bankkontor (kund- och kreditansvarig enhet) och beslutas på länsnivå och av landskreditkommitté eller central enhet beroende på reservens storlek. Av kreditreserver i Steg 3 som beslutas lokalt eftergranskas/kvalitetsgranskas ett urval av Handelsbanken Credit. Därutöver utför Handelsbanken Risk Control vid varje rapporteringstillfälle en oberoende granskning av ett urval av de kreditreserver i Steg 3 som beslutas centralt.

3.1

K2 forts.

Kontrollfunktionernas roll

Handelsbanken Risk Control fastställer principer för validering och säkerställer att validering av modeller utförs. Vid varje rapporteringstillfälle genomförs en oberoende granskning av ett urval av de kreditreserver i Steg 3 som beslutas centralt. Handelsbanken Risk Control beskrivs närmare på sidorna 43 och 49. Handelsbanken Internal Audit granskar beräkningen av förväntade kreditförluster som ett led i deras uppdrag att självständigt och oberoende granska den interna styrningen och kontrollen samt utvärdera tillförlitligheten i koncernens finansiella rapportering. Handelsbanken Internal Audit beskrivs närmare på sidorna 43 och 49.

Motpartsrisker

Motpartsrisker uppkommer när banken har ingått derivatkontrakt eller kontrakt för lån av värdepapper med en motpart. Kapitäläckningsreglerna behandlar således förutom derivat också repor och aktielån som motpartsrisker.

Vid beräkningen av såväl kapitalkrav som ekonomiskt kapital (Economic Capital, EC) beaktas motpartsexponeringarna utifrån de exponeringsbelopp som kapitäläckningsreglerna ställer upp. Handelsbanken tillämpar schablonmetoden för motpartsrisk (SA-CCR) vid beräkning av exponeringsbelopp på derivatkontrakt för kapitäläckningsändamål. Motpartsrisken är att betrakta som en kreditrisk, där exponeringens storlek styrs av marknadsvärdet på kontraktet. I det fall det finns ett positivt värde på kontraktet betyder ett fallissemang hos motparten en potentiell förlust för banken.

Reducering av motpartsrisk

Motpartsrisk förekommer från affärsdag fram till leverans och innebär att banken kan drabbas av en avvecklingskostnad om motparten inte kan fullfölja sitt åtagande. Denna risk finns i alla derivattransaktioner och i värdepappersaffärer där banken inte på förhand har säkrat betalning.

Storleken på motpartsexponeringarna begränsas genom kreditlimering i den ordinarie kreditprocessen. Exponeringarnas storlek kan variera kraftigt med anledning av prisförändringar på den underliggande tillgången. För att beakta risken att exponeringen kan öka, görs vid kreditlimeringen tillägg till värdet på den aktuella exponeringen. Exponeringarna beräknas och följs upp dagligen.

Motpartsrisken i derivat reduceras genom avtal om så kallad close-out netting, det vill säga kvittning av positiva och negativa värden i alla derivattransaktioner med en och samma motpart. Nettningsavtalen kompletteras med avtal om ställande av säkerheter för nettoexponeringen (Credit Support Annex, CSA), vilket ytterligare reducerar kreditrisken. I huvudsak används kontanter som säkerhet för dessa transaktioner, men även statspapper förekommer. Till följd av den höga andelen kontanter är koncentrationsriskerna i säkerhetsmassan begränsade.

Majoriteten av Handelsbankens avtal innehåller close-out netting och avtalen med de största exponeringarna, vilket är till finansiella institut, innehåller även CSA.

Även derivat som clearas via så kallade centrala motparter ger upphov till kapitalkrav. Centrala motparter är clearinghus som går in som motpart till både köpare och säljare i olika transaktioner och som därmed övertar ansvaret för att fullfölja parternas förpliktelser. Alla som använder en central motpart måste lämna säkerheter för alla transaktioner. I de flesta fall är riskvikten för centralt clearade derivat betydligt lägre än för andra typer av derivat.

K2 forts.

Marknadsrisk

Riskerna härrör från pris- och volatilitetsförändringar på de finansiella marknaderna. Marknadsriskerna delas in i ränterisker, aktiekursrisker, valutakursrisker och råvaruprisrisker.

De finansiella marknaderna har under året präglats av ett antal makroekonomiska faktorer såsom centralbankernas inflationsbekämpning och återhämtningstakten i världsekonomin. I augusti utlöste den japanska centralbankens beslut att höja policyräntan betydande volatilitet på de globala marknaderna. Volatiliteten stabiliserades kort därefter men på en högre nivå än under första halvan av 2024. Indikationer på världsekonominns hård- eller mjuklandning har tidvis orsakat högre volatilitet i marknaden. Under hösten stod utfallet av det amerikanska presidentvalet i fokus. Även det spända geopolitiska läget har bidragit till fortsatt osäkerhet. Bankens riskutnyttjande har hållits lågt under året i linje med risktoleransen och påverkan på verksamheten har således varit begränsad.

I Handelsbankens verksamhet uppstår marknadsrisker i bankboken primärt till följd av ränte- och valutapositioner, som uppstår i bankens in- och utlåningsverksamhet. I de fall dessa positioner inte kan matchas perfekt uppstår marknadsrisk. Utöver kunddrivna positioner kan marknadsrisker därtill ha sitt ursprung från positioner som krävs för bedrivande av bankverksamhet, exempelvis Handelsbanken Treasurys likviditetsportfölj.

Marknadsrisker i handelslagret uppstår primärt inom Handelsbanken Markets för att

möta kunders efterfrågan på finansiella instrument med exponering mot ränte-, valuta-, aktie- eller råvarumarknaderna. Utöver detta kan marknadsrisker även uppstå till följd av bankens market maker-funktion.

I tillägg till ovan uppstår även marknadsrisker som en del av Handelsbanken Livs verksamhet. Marknadsriskerna i Handelsbanken Liv behandlas i ett särskilt avsnitt i denna not. De upplysningar som lämnas i detta avsnitt avser således riskerna exklusive Handelsbanken Liv.

Marknadsriskstrategi

Handelsbanken har en restriktiv syn på marknadsrisker. Marknadsrisker i bankens affärsverksamhet tas i all väsentlighet endast som ett led i att lösa kunders placerings- och riskhanteringsbehov. Marknadsrisker ska begränsas genom att matcha kassaafföden och räntebindingstider, säkra öppna positioner och vidta andra riskbegränsande åtgärder.

Marknadsriskerna i Handelsbanken är mot denna bakgrund mycket låga. En konsekvens av de låga marknadsriskerna är att en låg andel av bankens resultat kommer från nettoresultat av finansiella transaktioner.

Organisation

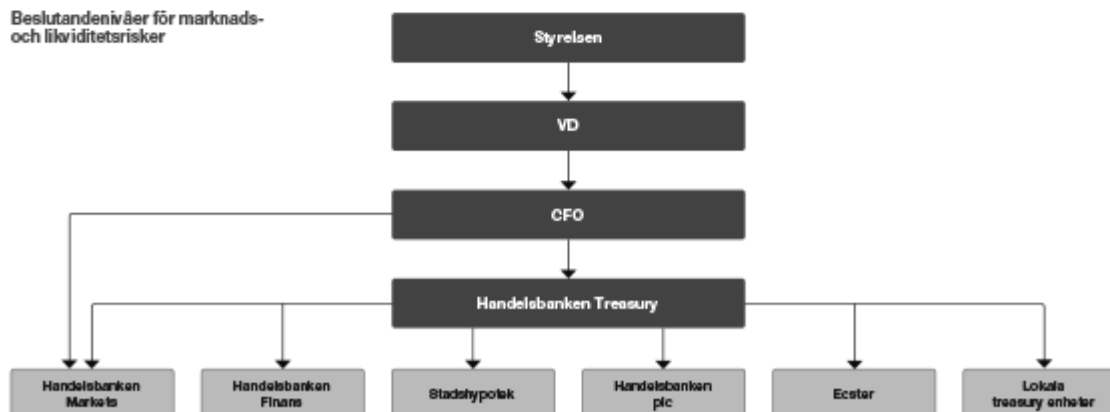
Handelsbankens styrelse har det övergripande ansvaret för bankens hantering av marknadsrisker och fastställer policydokument för detta. Dessa policyer konkretiseras i riktlinjer av VD och instruktioner från CFO. Inom dessa ramar bär varje del av affärsverksamheten ansvaret

för sina affärer och för att samtliga risker hanteras. Riskerna som uppstår i samband med finansiering och likviditetshandling är dock centraliserad till Handelsbanken Treasury under CFO och Handelsbanken Markets hanterar större delen av riskerna i handelslagret. Kontrollfunktionerna övervakar att verksamheten bedrivs inom bankens risktolerans och rapporterar riskerna till styrelse och verkställande ledning.

Bankens limitssystem begränsar hur stor exponeringen mot marknadsrisker får vara. Mätmetoder och limiter fastställs av styrelsen. CFO har det funktionella ansvaret för likviditet och finansiering; under CFO har Head of Handelsbanken Treasury ansvaret för koncernens likviditet och finansiering. Ansvaret omfattar att hantera koncernens ränte-, valutakurs- och likviditetsrisker i bankverksamheten. Limiterna för ränte-, valutakurs- och likviditetsrisk fördelas av VD och CFO till Head of Handelsbanken Treasury, som i sin tur fördelar dessa till de affärsdrivande enheterna. Limiter för aktiekursrisk och råvaruprisrisk fördelas av CFO till Handelsbanken Markets.

VD och CFO beslutar även om kompletterande riskmått, intradagslimiter och närmare riktlinjer. De kompletterande limitmåttan syftar till att minska bankens känslighet för volatilitetsförändringar på de finansiella marknaderna samt begränsa riskerna i specifika innehav och likviditetsrisken per valuta. Vidare begränsar de kompletterande limitmåttan riskerna ur ett löptidsperspektiv. Marknadsriskerna och utnyttjande av limiter rapporteras löpande till styrelsen, VD och CFO.

Beslutandenivåer för marknads- och likviditetsrisker





3.1

K2 forts.

Marknadsrisker i Handelsbanken

Marknadsriskerna mäts med flera olika metoder. De känslighetsmått som används visar vilka värdeförändringar som uppstår av fördefinierade förändringar i priser och volatiliteter. Vidare används även positionsrelaterade riskmått och sannolikhetsbaserade Value at Risk-modeller (VaR).

VaR
För de handelslagerklassificerade portföljerna inom Handelsbanken Markets och Treasury beräknas Value at Risk (VaR). VaR är ett sannolikhetsbaserat mått och uttrycker i kronor de förluster från riskpositioner som inte förväntas överstigas på grund av rörelser i underliggande marknader över en specificerad innehavsperiod och en given konfidensnivå. VaR beräknas med historisk simulering och mäts för enskilda riskfaktorer, riskslag och på portföljnivå med 99% konfidensnivå och en innehavsperiod på en dag. Detta innebär att banken, i förväntan, kommer att göra en förlust som överstiger VaR-utfallet för en av 100 handelsdagar. Modellen medför att olika riskslag kan behandlas på ett

enhetligt sätt, vilket möjliggör en jämförelse mellan riskslag och att dessa kan aggregeras till en total marknadsrisk. Den samlade risken i handelslagerklassificerade portföljer var vid årsskiftet 5 mkr (12). VaR redovisas löpande till styrelsen, VD och CFO. VaR-modellen använder historiskt observerade utfall och fångar därmed inte alla potentiella utfall, till exempel vid extrema, snabba marknadsrörelser. Beräkningarna kompletteras därför med stresstester där portföljerna testas mot scenarier som grundar sig på händelser på de finansiella marknaderna sedan 1994, utfallet för dessa stresstester uppgick vid årsskiftet till 61 mkr (52). Även resultaten av dessa stresstester redovisas löpande till styrelsen, VD och CFO.

Value at Risk för handelslagret – Handelsbanken Markets och Treasury¹⁾

mkr	Totalt		Aktier		Räntor		Valuta		Räntor	
	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023
Gennomsnitt	9	14	0	1	10	14	1	2	0	0
Maximum	15	22	2	5	16	23	3	7	0	0
Minimum	5	8	0	0	5	9	0	1	0	0
Årsskiftet	5	12	0	0	5	13	1	1	0	0

1) Handelslagerklassificerade portföljer omgründas av särskilda instruktioner och riktlinjer.

Värsta utfall i stresstest av handelslagret – Handelsbanken Markets och Treasury

mkr	2024	2023
Gennomsnitt	61	51
Maximum	217	139
Minimum	16	15
Årsskiftet	61	52

Ränterisk

Ränterisken mäts på flera sätt inom banken. Generell ränterisk mäts dagligen och limiteras som absolutsumman av de minst gynnsamma förändringarna i verkligt värde per valuta vid momentana parallellskift uppåt eller nedåt på en procentenhet för samtliga räntor. Vid årsskiftet uppgick bankens totala generella ränterisk till 1 274 mkr (1 069). Räntebindningstid för inlåning som saknar kontraktuell löptid fastställs enligt intern metod. Utgångspunkten för sådan inlåning är den uppskattade räntebindningstiden, där längre räntebindningstid tillämpas för den del som på underlag av observationer kan anses vara såväl stabil som icke räntekänslig. Riskmättet omfattar såväl marknadsvärderade som icke marknadsvärderade räntebärande poster och är därför inte lämpligt för att bedöma resultat effekter på balans- och resultaträkningen. Kompletterande mått och

limiter fångar istället detta för respektive affärstyp.

Specifik ränterisk mäts och limiteras med känsligheten för förändringar i kreditspreadar, det vill säga skillnaden mellan det aktuella innehavets ränta och räntan på en statsobligation med motsvarande löptid. Denna risk uppkommer inom Handelsbanken Markets och i Treasurys likviditetsportfölj. Risken mäts och limiteras utifrån olika ratingkategorier och beräknas som den minst gynnsamma marknadsvärdeförändringen vid en baspunkts förändring uppåt eller nedåt av samtliga kreditspreadar. Detta görs för varje enskild motpart och utfallen absolutsummeras. Total specifik ränterisk uppgick vid årsskiftet till 5 mkr (6).

Hur riskerna utvecklas vid hypotetiska förändringar av olika räntekurvor, så som kurvvriddning- och basisrisk, mäts och följs upp löpande.

Ränterisk i handelslagret

Handelslagret utgörs av Handelsbanken Markets och en handelslagerklassificerad portfölj hos Handelsbanken Treasury. Vid årsskiftet uppgick den generella ränterisken i handelslagret till 34 mkr (46) och den specifika ränterisken till 1 mkr (2). Den icke-linjära ränterisken, exempelvis en del av risken i räntaoptioner, mäts och limiteras med fördefinierade stressscenarier som uttrycks i matriser. Det innebär att risken mäts som förändringar i underliggande marknadsräntor och volatiliteter. För handelslagret mäts risken även med VaR och andra riskmått som kompletteras med olika stressscenarier.



3.1

Inledning

Förvaltningsberättelse

Finansiella rapporter
Koncernen

Hållbarhet

Övrigt

K2 forts.

Ränterisk i övrig verksamhet

Ränterisken uppstår som ett resultat av att utlåningen delvis löper med annan räntebindningstid än finansieringen. Ränterisk hanteras till stor del genom ränteswappar. Ränterisk uppstår även i Handelsbanken Treasurys likviditetsportfölj och hanteras genom obligations-terminer och ränteswappar. Vid årsskiftet uppgick den generella ränterisken i övrig verksamhet till 1 291 mkr (1 061) och den specifika ränterisken till 4 mkr (4).

För att uppskatta effekten av ränteförändringar på resultaträkningen mäts även räntenettorisken. Räntenettorisken mäts som den minst gynnsamma förändringen av räntenettet över en tolv månadersperiod vid en förändring av marknadsräntorna med plus eller minus en procentenhet. Denna effekt speglar de skillnader som finns i räntebindningstider och volymsammansättning mellan tillgångar, skulder och derivat utanför handelslagret med antagandet att balansräkningens storlek är konstant. I beräk-

ningen fastställs räntebindningstid för inlåning som saknar kontraktuell löptid enligt intern metod. Detta görs på basis av historiska observationer och endast den del som är såväl stabil som inte räntekänslig justeras. Räntenettorisken uppgick vid årsskiftet till 2 141 mkr (3 808)¹⁾.

1) Risken för 2023 skiljer sig från tidigare rapporterat värde på grund av en metodförändring.

Generell ränterisk i övrig verksamhet (förändring i verkligt värde vid värsta utfallet av parallellt utfall av samtliga räntor med en procentenhet)

mkr	2024	2023 ¹⁾
SEK	870	392
EUR	124	285
NOK	94	12
USD	161	290
GBP	230	68
Övriga valutor	0	13
Summa	1 291	1 061

1) Från och med 2024 ingår DKK under Övriga valutor. Av denna anledning skiljer sig siffran för Övriga valutor 2023.

Räntebindningstider för tillgångar och skulder 2024

Tabellen visar räntebindningstiden för räntesättrade tillgångar och skulder per 2024-12-31.

mkr	Upp till 3 månader	3-6 mån	6-12 mån	1-5 år	Över 5 år	Summa
Kassa och tillgodehavanden i centralbanker	542 556					542 556
Obligationer och andra räntesättrade värdepapper	147 608	2 424	930	62 898	6 195	220 115
Utlåning till kreditinstitut	18 921	1	1			18 923
Utlåning till allmänheten	1 638 434	104 400	146 645	426 091	56 450	2 372 065
Övriga tillgångar	385 493					385 493
Summa tillgångar	2 733 071	106 888	147 676	488 989	62 681	3 639 173
Skulder till kreditinstitut	53 893	28 506	1 110	659	270	84 528
In- och upplåning från allmänheten	1 090 711	64 406	57 425	91 305	7 573	1 320 481
Emitterade värdepapper	450 018	157 583	222 091	662 042	85 140	1 587 061
Övriga skulder	547 083					547 083
Summa skulder	2 150 706	250 645	281 226	764 606	92 989	3 639 173
Poster utanför balansräkningen	-380 326	3 823	26 343	355 060	35 850	41 305

Räntebindningstider för tillgångar och skulder 2023

mkr	Upp till 3 månader	3-6 mån	6-12 mån	1-5 år	Över 5 år	Summa
Kassa och tillgodehavanden i centralbanker	508 326					508 326
Obligationer och andra räntesättrade värdepapper	182 277	1 011	1 009	58 374	5 944	249 215
Utlåning till kreditinstitut	19 297					19 297
Utlåning till allmänheten	1 623 007	110 023	105 208	474 758	61 121	2 434 217
Övriga tillgångar	326 737					326 737
Summa tillgångar	2 659 735	111 034	166 817	533 141	67 064	3 637 792
Skulder till kreditinstitut	83 062	3 416	3 125	326	1 195	91 124
In- och upplåning från allmänheten	1 072 730	65 816	38 907	172 535	49	1 350 037
Emitterade värdepapper	439 292	182 444	224 314	615 370	105 173	1 596 599
Övriga skulder	530 033					530 033
Summa skulder	2 125 116	251 676	266 346	788 237	106 416	3 637 792
Poster utanför balansräkningen	-347 183	17 005	48 978	200 053	54 713	34 827

Tillgångar och skulder i tabellen ovan inkluderar avyttringsgrupperna i Finland som i balansräkningen omklassificerats till Tillgångar som innehas för försäljning respektive Skulder som innehas för försäljning, se not K14.

3.1

K2 forts.

Aktiekursrisk

Bankens aktiekursrisk uppstår främst i Handelsbanken Markets genom kundhandel och i bankens egna aktieinnehav.

Risken mätts som marknadsvärdeförändringen i bankens totala aktiepositioner vid momentan förändring i aktiepriser och volatiliteter med $\pm 10\%$ respektive $\pm 25\%$. Vid årsskiftet uppgick det värsta utfallet av denna risk till 66 mkr (40). Den största exponeringen i aktier kommer från den brittiska marknaden.

Aktiekursrisk i handelslaget

Aktiekursrisken i Handelsbanken Markets uppkommer vid kundgenererade affärer. Handelsbanken har market maker-åtaganden i värdepapper, aktiederivat och börshandlade fonder. Aktiekursrisk uppkommer primärt genom dessa åtaganden.

Banken limiterar och mäter aktiekursrisken i Handelsbanken Markeds med matriser. Fördelen med metoden är att den fångar upp aktiekursrisken inklusive den icke-linjära risken på ett ändamålsenligt sätt. Såväl VaR som andra riskmått och stressscenarier används som komplement i mätningen av aktiekursrisken. Vid ärskriftet uppgick VaR för aktiekursrisk i handelslagret till 0 mkr (0).

Aktiekursrisk utanför handelslagret

Koncernens aktieinnehav utänför handelslaget utgörs bland annat av Nivå 3-aktier som i huvudsak består av olika typer av bankgemensam verksamhet med anknytning till bankens affär. Innehaven är klassificerade som verkligt värde via övrigt totalresultat och värderas till verkligt värde i balansräkningen. Värderingen sker som regel till bankens andel av substansvärdet i bolaget, alternativt till det pris den senaste transaktionen genomfördes. Aktiekursriken är låg.

Aktüerler

Förändring i aktiekurs	Förändring i volatilitet					
	2024			2023		
	-25%	0%	25%	-25%	0%	25%
10%	70	69	67	55	58	60
-10%	-66	-64	-62	-40	-37	-35

Aktieexponeringar utanför handelsområdet

mkr	2024	2023
Innehav klassificerade som verkligt värde via övrigt totalsresultat	804	601
varav Nivå 1 och 2	642	445
varav Nivå 3	162	156
Innehav klassificerade som verkligt värde via övrigt totalsresultat	804	601
varav näringsbetingade	271	256
varav övrigt innehav	533	345
Verkligt värdeserov vid årets ingång	273	221
Orealiserad marknadsvärdeförändring under året för kvarvarande samt nya innehav	170	52
Realiserat till följd av försäljningar och avvecklingar under perioden	-3	0
Verkligt värdeserov vid årets utgång	440	273
Inskriptat i supplementärt kapital	0	0



3.1

Inledning

Förvaltningsberättelse

Finansiella rapporter
Koncernen

Hållbarhet

Övrigt

K2 forts.

Valutakursrisk

Då banken har utlåning i flera olika valutor, uppkommer en valutaexponering av strukturell natur då koncernens räkenskaper är uttryckta i svenska kronor. Denna strukturella risk hanteras genom en avvägning mellan att antingen reducera valutakursförändringars påverkan på kapitalrelationerna eller eget kapital. Styrelsen har fastställt den maximala påverkan på eget kapital som den strukturella valutapositionen får ge upphov till i säkringen av kärnprimärkapitalrelationen, samt begränsat maximal tillåten position och känslighet i kärnprimärkapitalrelationen till följd av valutakursrörelser.

De övriga valutakursförändringar som påverkar bankens egna kapital framgår av tabellen Förändring i eget kapital Koncernen på sidan 65.

Bankens direkta valutaexponering uppstår till följd av kunddriven intradaghandel på de internationella valutamarknaderna. Handeln bedrivs inom Handelsbanken Markets. För denna valutakursrisk har styrelsen, VD och CFO fastställt VaR-limiter.

En viss valutaexponering uppstår även i den vanliga bankverksamheten som ett led i hantering av kundflöden och inom finansieringsverksamheten i Handelsbanken Treasury. För dessa risker har styrelsen, VD och CFO fast-

ställt positionslimiter. Vid årsskiftet uppgick den aggregerade nettositionen till 162 mkr (337), exklusive strukturella valutapositioner. Denna valutakursrisk är inte beroende av trendutvecklingen av en enskild valuta eller grupp av valutor, då positionerna är mycket korta och uppkommer i hanteringen av kunddrivna flöden. Den samlade valutakursrisken i övrig verksamhet var 12 mkr (20), mått som en påverkan på bankens redovisade resultat vid en momentan förändring av den svenska kronan med 5%.

Valutakänslighet i övrig verksamhet (Värsta utfall 4-5% förändring av SEK mot respektive valuta)

mkr	2024	2023 ¹⁾
EUR	8	18
NOK	3	2
USD	0	2
GBP	3	2
Övriga valutor	3	4

1) Risken för 2023 skiljer sig från tidigare rapporterat värde på grund av en metodförändring.

Råvaruprisrisk

Handeln med råvaror bedrivs uteslutande inom Handelsbanken Markets. Exponering i råvarurelaterade instrument uppkommer endast till följd av kunddriven handel på de internationella råvarumarknaderna. Råvaruprisrisk, såväl linjär som icke-linjär, mäts som absolutsumman av risken för alla råvaror där banken har exponering. Råvaruprisrisken var vid årsskiftet 1 mkr (0), mått som den maximala förlusten vid prisförändringar upp till 20% i underliggande råvaror och volatilitetsförändringar upp till 35%. Vid årsskiftet uppgick VaR för råvaruprisrisk till 0 mkr (0).

Övriga marknadsrisker

Marknadsrisk uppkommer även inom bankens pensionssystem (pensionsrisk). Risken består av risken för värdeförändringar på pensions-tillgångarna som tryggar bankens pensions-åtaganden, samt av förändringar i diskonteringsräntor som påverkar nuvärdet av pensionsåtaganden.

Värdering till verkligt värde

Affärsverksamheten ansvarar för att värderingen av finansiella instrument är korrekt och Handelsbanken Risk Control ansvarar för att värderingarna valideras. Valideringsansvaret innebär att tillse kontroll av marknadsdata som används till värderingen och se till att denna kontroll sker oberoende av risktagarna.

Källor för marknadsdata är oberoende från affärsverksamheten. I de fall där marknadsdata erhållits från affärsverksamheten sker dokumenterade kontroller av rimlighet och mot externa källor. Verifiering av marknadspriser och marknadsdata till modeller ska ske åtminstone varje månad men sker i all väsentlighet även dagligen. Värderingsmodeller valideras av Handelsbanken Risk Control som är oberoende av den som utvecklat modellen. Värderingskommittén, vars syfte är att samordna värderingsfrågor i Handelsbankenkoncernen, fyller en viktig funktion för att säkerställa, och verka för, att värderingen är korrekt och följer gällande marknadspraxis.

Värderingen av finansiella instrument som värderas till verkligt värde sker enligt IFRS 13. Se not K42 för närmare information om de tillgångar och skulder som värderas till verkligt värde samt för ytterligare information om bankens värderingsprocess.

Försiktig värdering

I enlighet med värderingsreglerna i kapitaltäckningsregelverket, gör Handelsbanken kvartalsvis en justering av kapitalbasen avseende osäkerheten i värderingen av positioner värderade till verkligt värde. Justeringen syftar till att bedöma vad kapitalbasen minst är värd för banken med 90% säkerhet vid en försäljning eller stängning av positionerna. Justeringen beräknas som skillnaden mellan en försiktig värdering och det redovisade värdet som är det mest sannolika värdet. Justeringen baseras på bedömningar om bland annat osäkerhet i marknadsdata, koncentrerade positioner och modellrisker.



3.1

K2 forts.

Finansiering och likviditetsrisk

Risken för att banken inte kan fullgöra sina betalningsförpliktelser när dessa förfaller, utan att drabbas av oacceptabla kostnader eller förluster.

Finansieringsstrategi

Handelsbanken har låg tolerans för likviditetsrisker, såväl totalt sett såsom i enskilda valutor. Ambitionen är att ha god tillgång till likviditet, låg resultatvariation och stor kapacitet att även i svåra tider kunna tillgodose kundernas finansieringsbehov. Det sker genom att upprätthålla god matchning av ingående och utgående kassaflöden över tid i alla för banken väsentliga valutor och genom att upprätthålla stora likviditetsreserver av god kvalitet. Banken minimerar på det sättet de ekonomiska riskerna i finansieringen och kan därmed upprätthålla stabil och långsiktig finansiering till de affärsdrivande enheterna.

Banken eftersträvar en balanserad användning av inlånings- och marknadsfinansiering. Vidare eftersträvas en bredd i finansieringsprogrammen och deras användning. Därigenom säkerställs att banken kan bedriva sin kärnverksamhet intakt under en lång period även

om de finansiella marknaderna skulle ha omfattande störningar.

Resultatet av detta arbete är en väl matchad balansräkning där illikvida tillgångar finansieras med stabil finansiering. De illikvida tillgångarna utgörs av krediter till hushåll och företag. Dessa krediter utgör bankens kärnverksamhet. Den långsiktiga stabila finansieringen av dessa tillgångar utgörs av säkerställda obligationer emitterade av Stadshypotek, seniora obligationer emitterade av Handelsbanken, inlåning från hushåll och viss inlåning från företag, efterställda skulder och eget kapital.

En balansräkning är en ögonblicksbild av tillgångar och skulder. För att säkerställa bankens åtaganden gentemot kunder och investerare är det viktigt med ett framåtblickande perspektiv i finansierings- och likviditetsriskhanteringen. Balansräkningen är därför strukturerad så att den reala ekonomins aktörer i form av företag och hushåll och deras behov av krediter kan understödjas även under en långvarig stress på de finansiella marknaderna. De kortfristiga skulderna täcks med god marginal av de kortfristiga tillgångarna. I figur Balansräkningens sammansättning ur ett löptidsperspektiv beskrivs balansräkningen i ett stressat scenario där 20% av inlåningen antas försvinna inom ett år och all tillgång till ny marknadsfinansiering försvinner. Trots stressen beräknas korta tillgångar vid årets slut väsentligt överstiga korta skulder. Effekten av en långvarig kris skulle bli en krympt balansräkning med bibehållen kärnverksamhet där

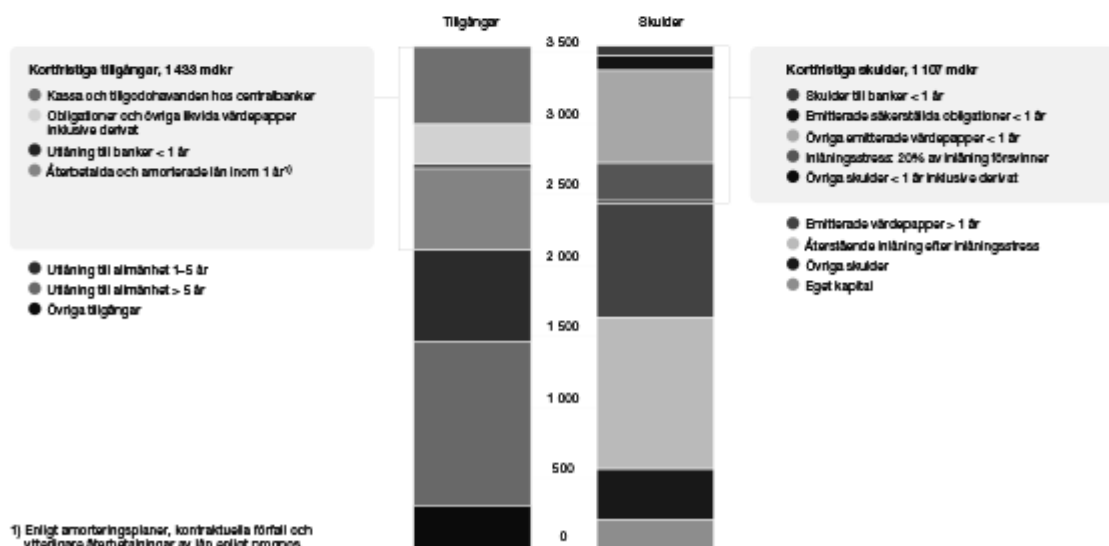
volymen korta tillgångar successivt används för att återbeta förfallande korta skulder.

Skulle en kris bli än mer allvarig finns det likviditetsskapande åtgärder förberedda för att stödja verksamheten ytterligare.

Marknadens förtroende för Handelsbanken är högt och marknaden bedömer att Handelsbankens kreditrisk är låg. Banken särskiljer sig som en av världens stabilaste banker, vilket återspeglas i att ingen annan privatägd bank i världen har en högre sammanvägd kreditrating från de ledande ratinginstituten. Det höga förtroendet återspeglas även av att banken har haft fortsatt tillgång till samtliga av banken önskade finansieringsmarknader till rimliga villkor jämfört med bankens konkurrenter.

Ett viktigt inslag i finansieringsstrategin är att ha en god spridning mellan olika typer av finansieringskällor i olika marknader, valutor och typer av upplåningsinstrument. På så vis reduceras betydelsen av enskilda marknader eller finansieringskällor. Merparten av den långfristiga marknadsfinansieringen utgörs av emissioner av säkerställda obligationer genom Stadshypotek. Denna finansiering görs i såväl svenska som norska kronor som i euro. Banken har en geografiskt väldiversifierad långfristig senior utlandsfinansiering och har under året emitterat betydande volymer av obligationer i amerikanska dollar och euro. De viktigaste finansieringskällorna är inlåning från hushåll och företag samt säkerställda och seniora obligationer. Den korta finansieringen utgörs primärt av inlåning från finansiella företag och

Balansräkningens sammansättning ur ett löptidsperspektiv, mdkr





3.1

Inledning

Förvaltningsberättelse

Finansiella rapporter
Koncernen

Hållbarhet

Övrigt

K2 forts.

institutioner samt emissioner av bankcertifikat (CP) och inlåningsbevis (CD). Handelsbanken Treasury förfogar över ett antal olika finansieringsprogram för marknadsfinansiering. Under dessa program emitteras obligationer, inlåningsbevis och bankcertifikat såväl i bankens namn som för Stadshypotek och Handelsbanken plc. Finansieringsprogrammen säkerställer en väl diversifierad tillgång till finansiering med avseende på olika valutor, antal investerare, skuldtyper och geografisk spridning.

Organisation

Handelsbanken har en decentraliserad affärsmodell, men all finansiering och likviditetshandtering i koncernen är centraliserad till Handelsbanken Treasury. Inget kontor, län, distrikt eller landsorganisation tillåts ta likviditetsrisk. Finansierings- och likviditetshandteringen styrs av policyer fastställda av styrelsen som också beslutar om limiten. Dessa policyer konkretiseras i instruktioner från CFO. Instruktionerna fastställer bland annat limiten, finansieringens sammansättning och riktvärden i samband

med störningar på finansieringsmarknaderna. Vidare kanaliseras alla likviditetslimiten ut i verksamheten via Handelsbanken Treasury.

Handelsbanken Treasury ansvarar också för bankens likviditetsreserv, inklusive de panter som måste hållas i olika betalnings- och clearingssystem och övervakar likviditetsflödena under dagen för att säkerställa att banken har tillräckligt med säkerheter i betalningssystemen för att fullfölja bankens betalningsförpliktelser.

Storleken på panter i clearingssystemen sätts utifrån den omfattning som banken bedömer behövs för bankens åtagande både vid normala och vid stressade förhållanden. Vid förändringar av dessa förhållanden justeras storleken av panter och likviditet, och vid kris-situationer kan också panter omfördelas och likviditetsreserven utnyttjas. Verksamheten säkerställer också marginalkrav från centrala och bilaterala motparter avseende derivat-exponeringar. Banken säkerställer likviditeten på bankens centralbanks- och nostrokonton för förväntade betalnings- och avvecklings-åtaganden genom aktiv likviditetsplanering och övervakning i samtliga valutor.

Marknadsfinansiering – sammansättning

Handelsbanken har under året emitterat totalt 157 mdkr (227) i långfristig marknadsfinansiering fördelat över bankens viktigaste finansieringsvalutor. En viktig komponent i den långfristiga marknadsfinansieringen är emissioner av säkerställda obligationer. Valutafördelningen över den utestående stocken visas i tabell Marknadsfinansiering säkerställda obligationer per valuta. Kortfristig upplåning sker företrädesvis genom emissioner av bankcertifikat och inlåningsbevis i Europa och USA. Denna upplåning kompletteras av tidsbestämd inlåning från stora företag, finansiella såväl som icke-finansiella. I anslutning till finansieringsverksamheten har banken fortsatt att möta investerare i samma omfattning som tidigare, uppdaterat upplåningsprogram och även i övrigt bibehållit förutsättningarna för en obligationsupplåning på relevanta globala upplåningsmarknader. Detta har möjliggjort att finansieringsverksamheten kunnat genomföras som normalt under året.

Långfristig marknadsfinansiering – förtällostruktur

Avser emitterade värdepapper per 2024-12-31 med en långfristig/ursprunglig löptid

mdkr	2026	2026	2027	2028	2029	2030	2031	>2032
Säkerställda obligationer	100	114	178	134	112	39	2	3
Seniora obligationer	31	44	49	37	9	0	1	0
Seniora icke-prioriterade obligationer (SNP)	0	20	0	11	11	11	9	10
Efterställda skulder	0	0	0	0	0	0	0	0
Övriga	3	0	0	0	0	0	0	0

1) Långfristig löptid motsvarar en löptid lika med eller överstigande ett år och en månad.

Kortfristig marknadsfinansiering per valuta 2024

Avser fördelningen av valutor 2024-12-31 för emitterade värdepapper med en kortfristig/ursprunglig löptid.

mdkr	Procent	Belopp
SEK	0	0
EUR	32	202
USD	62	383
Övriga	6	35

2) Kortfristig löptid motsvarar en löptid understigande ett år och en månad.

Långfristig marknadsfinansiering per valuta 2024

Avser fördelningen av valutor 2024-12-31 för emitterade värdepapper med en långfristig/ursprunglig löptid.

mdkr	Procent	Belopp
SEK	60	561
EUR	27	249
USD	8	74
Övriga	5	50

3) Långfristig löptid motsvarar en löptid lika med eller överstigande ett år och en månad.

Långfristig marknadsfinansiering per instrument 2024

Avser fördelningen av instrument 2024-12-31 för emitterade värdepapper med en långfristig/ursprunglig löptid.

mdkr	Procent	Belopp
Säkerställda obligationer	73	683
Seniora obligationer	18	170
Seniora icke-prioriterade obligationer	9	78
Övriga	0	3

4) Långfristig löptid motsvarar en löptid lika med eller överstigande ett år och en månad.

Marknadsfinansiering säkerställda obligationer

per valuta 2024

Avser fördelningen av valutor 2024-12-31 för emitterade säkerställda obligationer.

mdkr	Procent	Belopp
SEK	82	501
EUR	14	94
Övriga	4	28



3.1

K2 forts.

Pantsatta tillgångar och säkerhetspooler

Ytterligare ett viktigt led i Handelsbankens likviditetshantering är att hålla betydande volymer av outnyttjade säkerheter som kan användas vid störningar på finansmarknaderna. En förutsättning för att kunna ställa mer säkerheter är att banken förfogar över outnyttjade säkerheter i utgångsläget. Banken upprätthåller därför betydande volymer av icke-pantsatta tillgångar som skulle kunna användas som säkerhet vid emission av säkerställda obligationer och likvida värdepapper med mycket hög kreditvärdighet.

Banken är restriktiv med att ingå avtal, till exempel CSA-avtal, som stipulerar att banken under vissa kriterier kan tvingas att ställa säkerheter till en motpart. Sådana avtal ingås generellt enbart med kreditinstitut. Ställda kontantsäkerheter enligt CSA-avtal för utestående derivat uppgick till 4 800 mkr (18 705). För mer information om bankens intecknade tillgångar, se tabell Assets pledged i Handelsbankens Fact Book. Utöver att säkerställa

bankens likviditet bidrar det restriktiva arbetssättet till att begränsa i vilken utsträckning bankens seniora långivare blir efterställda de långivare som investerar i säkerställda obligationer, så kallad subordinering.

För att bedöma graden av subordinering mellan investerare av icke-säkerställd finansiering och säkerställd finansiering är det volymen och kreditkvaliteten på de icke-pantsatta tillgångarna som är relevant. Handelsbankens restriktiva syn på risktagande gör att de icke-pantsatta tillgångarna har en hög kvalitet. Eftersom Handelsbanken vill ha en balanserad användning av säkerställda och seniora obligationer finns en betydande volym hypotekslån som inte är pantsatta.

Tabell Tillgångar som ej är intecknade/pantsatta visar att volymen icke-pantsatta tillgångar för Handelsbanken utgör 252% (261) av den utestående volymen icke-säkerställd upplåning.

Den helt dominerande delen av de pantsatta tillgångarna utgörs av Stadshypoteks cover pooler, vilka består av hypotekslån som ställs som säkerhet för utestående säkerställda obligationer. Dessutom har banken ett frivilligt så kallat OC (over-collateralisation), det vill säga

extra tillgångar utöver de som behövs för att täcka de emitterade obligationerna och utöver de 2% som lagstiftningen kräver, på 8% som ingår i poolen. Dessa extra tillgångar finns i poolen i händelse av att värdet på hypotekslånen skulle sjunka till en sådan nivå att ytterligare tillgångar behövs för att matcha volymen utestående obligationer.

Vid en bedömning av risken för att ytterligare tillgångar blir nödvändiga att skjuta till, är belåningsgraden på hypotekslånen i cover poolen central. Ju lägre belåningsgrad, desto mindre risk för att ytterligare hypotekslån krävs i poolen vid prisfall på fastighetsmarknaden. Handelsbankens genomsnittliga volymviktade belåningsgrad, LTV-max, uppgick i den svenska poolen till 54,3% (54,0) och i den norska poolen till 58,5% (58,4). Detta visar att banken klarar betydande prisfall på underliggande fastighetstillgångar innan ytterligare hypotekslån måste tillföras poolerna. De tillgångar som banken valt att hålla utanför cover poolerna återfinns i tabell Tillgångar som ej är intecknade/pantsatta och kan användas för emissioner av säkerställda obligationer om så skulle vara nödvändigt.

Tillgångar som ej är intecknade/pantsatta

mkr	2024		2023	
	IPT (NEA) ¹⁾ Ackumulerad andel av icke säkerställd upplåning, % ²⁾		IPT (NEA) Ackumulerad andel av icke säkerställd upplåning, %	
Kontanter samt behållning hos centralbanken	538	57	506	85
Likvida obligationer i likviditetsportföljen ³⁾	239	82	268	83
Utlåning till hushåll inkl derivat	439		488	
varav hypotekslån	302	114	325	118
varav utlåning med säkerhet i fastighet	2	114	2	118
varav övrig hushållsutlåning	135	129	130	133
Utlåning till företag inkl derivat	1 188		1 188	
varav hypotekslån	499	180	455	182
varav utlåning till bostadsrättsföreningar och i hypotekslån	64	187	83	191
varav utlåning till fastighetsbolag och i hypotekslån				
- riskklass 1-3	256	214	250	219
- riskklass 4-5	120	234	192	239
- varav riskklass > 5	10	235	16	241
varav övrig företagsutlåning				
- riskklass 1-3	96	245	100	252
- riskklass 4-5	49	250	61	259
- riskklass > 5	9	251	11	260
Utlåning till kreditinstitut inkl derivat	3		5	
- riskklass 1-3	2	252	4	260
- riskklass > 3	1	252	1	260
Övrig utlåning	0	262	5	261
Övriga tillgångar	0	262	0	261
Summa	2 385	262	2 407	261
Pantsatta tillgångar utan underliggande skuld ⁴⁾	89		70	
Pantsatta tillgångar med underliggande skuld	1 085		1 062	
Summa tillgångar, koncernen	3 539		3 538	

1) IPT: icke-intecknade/pantsatta tillgångar. NEA: Non encumbered assets.
2) Emitterad kort och lång icke-säkerställd upplåning samt skulder till kreditinstitut.
3) Avser i centralbank pantsättningsbart värde.
4) Överpantsättning i Cover pool (OC) och medel avsatta för Operational Continuity in Resolution krav i UK (from 2021).



3.1

Inledning
 Fövaltningsberättelse
 Finansiella rapporter
Koncernen
 Hållbarhet
 Övrigt

K2 forts.

Cover pool-data

mkr	Sverige		Norge	
	2024	2023	2024	2023
Stadshypotek summa utlåning, allmänheten	1 407 208	1 394 877	140 185	125 075
Tillgängliga tillgångar för cover pool	1 298 858	1 281 717	137 502	117 137
Inanspråktaga tillgångar i cover pool	671 531	692 090	78 979	73 414
Fyllnadsåtkomster, spärrat konto	500	300	500	120
Max-belåningsgrad %, vägt genomnitt enligt ABCB:s definition ¹⁾	54,32	54,02	58,55	58,43
Belåningsgrad, fördelning				
0-10%	22,0	22,0	21,0	21,5
10-20%	20,0	19,0	19,4	19,4
20-30%	17,5	17,2	17,0	16,9
30-40%	14,7	14,4	14,4	14,3
40-50%	11,3	11,2	11,0	11,0
50-60%	7,8	7,9	8,5	8,7
60-70%	5,0	5,1	5,0	5,7
70-75%	1,0	1,7	1,0	1,9
Lånestorlek, vägt genomnitt, kronor	809 200	820 600	3 035 345	2 822 572
Lånelivslängd, vägt genomnitt, antal månader ²⁾	80,0	76,0	26,0	29,0
Räntebindningstider, fördelning				
Förlig ränta, %	61,1	51,2	91,0	95,0
Bunden ränta, %	38,9	48,8	8,1	5,0

1) Association of Swedish Covered Bond Issuers.
 2) Beräknat från lånets beviljandesturn.

Likviditetsrisk

Banken hanterar en stor mängd in- och utgående kassaflöden i sin verksamhet. För att begränsa risken i likviditetshanteringen har banken ett robust risktoleransramverk med både limiter och kvalitativt uttryckta mål för likviditetsrisk. Handelsbanken Risk Control ansvarar för riskmätningen och rapporterar riskutnyttjandet dagligen till VD och CFO samt löpande till styrelsen.

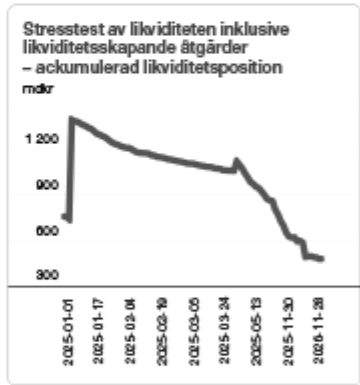
Likviditetsplaneringen bygger på en analys av kassaflöden för respektive valuta. Generellt gäller att exponeringen tillåts vara större i valutor med hög likviditet än i valutor där likviditeten är låg. Finansieringsstrategin bygger på att illikvida tillgångar finansieras stabilt och långsiktigt och att en positiv likviditetsposition (kassaflöden tillsammans med likvida tillgångar) ska upprätthållas även under stressade förhållanden.

Styrningen av bankens likviditetssituation baseras därför på stresstester vilka utförs på såväl aggregerad nivå som enskilt i de för banken väsentliga valutorna. Stresstesterna säkerställer att banken har tillräcklig likviditet i både det korta och långa perspektivet givet olika stressade scenarier och likviditetsska-

pande åtgärder. Stresstesterna utförs med såväl marknadsvid som idiosynkratisk stress på en daglig basis. De kompletteras även med scenarionalyser som tar kraftiga bostadsprisfall i beaktande. I stresstesterna antas att banken inte har tillgång till marknadsfinansiering samtidigt som delar av inlåningen från hushåll och företag successivt försvinner under den första månaden. Vidare antas att banken fortsätter att bedriva sin kärnverksamhet genom att utlåningen till hushåll och företag förlängs vid förfall och att kunderna delvis nyttjar utställda löften och kreditfaciliteter.

Stresstesterna utgår från att likviditetsreservens kassatillgångar används och att värdepapper omedelbart kan ge likviditet genom belåning, i första hand via marknaden och som sista utväg i centralbanker.

Därutöver kan banken skapa likviditet genom att nyttja emissionsutrymme av säkerställda obligationer samt aktivera övriga likviditetsskapande åtgärder för att successivt ge likviditet till banken. Volymen och kvaliteten på outnyttjade säkerheter ska vara sådan att de vid en krisituation kan ge banken den likviditet som är nödvändig. Under dessa förutsättningar är banken likvid i mer än tre år. Banken har således en stor motståndskraft mot omfattande och långvarig stress.



I tabellerna Förfalloanalys för finansiella tillgångar och skulder redovisas icke diskonterade kassaflöden för de kontrakterade betalningsåtaganden inklusive ränteflöden som ska erläggas senast inom de angivna tidsintervallen. I tabellen redovisas innehav i obligationer och andra räntebärande värdepapper i det tidsintervall i vilket de kan omsättas till likviditet vid en eventuell belåning eller försäljning. Vidare redovisas tillgångar, skulder och ränteflöden som förfaller i de tidsintervall som mot-



3.1

K2 forts.

svarar kontraktserliga förfalldatum. Finansiella garantier, lånelöften och outnyttjade räkningskrediter redovisas i sin helhet i tidsintervallet upp till 30 dagar. Totalt utestående belopp för dessa åtaganden representerar inte nödvändigtvis framtida finansieringsbehov. För derivatinstrument redovisas kassaflöden netto, med tillägg av bruttoflöden, i den separata tabellen Derivat.

Likviditetstäckningskvoten LCR (Liquidity Coverage Ratio) uttrycker kvoten mellan bankens likviditetsbuffert och nettokassaflöden i ett mycket stressat scenario under en 30-dagarsperiod. Kravet gäller på aggregerad nivå och kvoten ska uppgå till minst 100%. Finansinspektionen ställer även krav på LCR i enskilda valutor inom ramen för översyn och utvärderingsprocessen i Pelare 2. Vid årskiftet uppgick koncernens aggregerade LCR till 207% (210), vilket visar att banken har stor motståndskraft mot kortsiktiga störningar på finansieringsmarknaden.

Minimikravet för det strukturella likviditetsmåttet NSFR (Net Stable Funding Ratio), relationen mellan tillgänglig stabil finansiering och

behovet av stabil finansiering, innebär att banken ska ha tillräcklig stabil finansiering för att täcka sina finansieringsbehov över en längre tidsperiod, under både normala och stressade förhållanden. Minimikravet gäller på aggregerad nivå och kvoten ska uppgå till minst 100%. Vid utgången av 2024 uppgick NSFR till 124% (120) på koncernnivå.

Prissättning av likviditetsrisk

En viktig del av likviditetsriskhanteringen är att inlåning och utlåning internt prissätts med hänsyn till de likviditetsrisker de ger upphov till. När banken tillhandahåller ett lån med lång löptid skapas ett behov av att införskaffa ytterligare långfristig finansiering, vilket normalt är dyrare än kortfristig finansiering. Detta är till följd av att investeraren som köper bankens långfristiga obligationer normalt kräver en högre kompensation för löptiden. Detta beaktas i bankens interna prissättning vilket sker genom det pris som interna enheter i banken

får betala för den finansiering de erhåller från Handelsbanken Treasury. Den interna prissättningen är viktig för att skapa rätt incitament och undvika att ett osunt risktagande uppstår. Banken har under lång tid arbetat med löptidbaserade internräntor som säkerställer att priset på kontraktsnivå tar höjd för den finansieringskostnad och likviditetsrisk avtalet gett upphov till.

Liquidity coverage ratio (LCR) – delkomponenter

mkr	2024	2023
Högkvalitativa likviditetstillgångar	772 623	758 587
Kassaflöden	419 484	424 831
Inlåning från allmänheten och småföretag	50 310	55 905
Osäkrad kapitalmarknadsfinansiering	278 914	255 923
Säkrad kapitalmarknadsfinansiering	2 452	4 205
Övriga kassaflöden	78 770	108 540
Kassainflöden	45 671	83 440
Inflöden från fullt presterande exponeringar	33 911	40 108
Övriga kassainflöden	11 900	23 341
Liquidity coverage ratio (LCR), %	207	210

Delkomponenterna definieras i enlighet med Kommissionens delegerade förordning (EU) 2015/61.

Net stable funding ratio (NSFR) – delkomponenter

mkr	2024	2023
Tillgänglig stabil finansiering	2 143 840	2 101 503
Kapitalposter och kapitalinstrument	210 130	208 435
Inlåning från allmänheten	708 715	706 447
Kapitalmarknadsfinansiering	1 212 274	1 170 588
Övriga skulder	3 722	3 931
Behov av stabil finansiering	1 734 333	1 788 065
Summa av högkvalitativa likvida tillgångar	7 010	6 063
Tillgångar som är intecknade för en återstående löptid på ett år eller mer i en säkerhetsmassa	490 810	487 444
Icke nödlidande lån och värdepapper	1 136 610	1 178 603
Övriga tillgångar	68 404	63 915
Poster utanför balansräkningen	22 301	22 040
Net stable funding ratio (NSFR), %	124	120



3.1

Inledning

Förvaltningsberättelse

Finansiella rapporter
Koncernen

Hållbarhet

Övrigt

K2 forts.

För inlåningsvolymerna avser kolumn "Ospecifierad löptid" inlåning som är betalbar på anfordran. Tabellen innehåller räntelådan vilket innebär att balansraderna inte är avstämningsbara mot koncernens balansräkning. Löptidstabeller utan räntelådan inklusive löptidstabeller i valuta återfinns i Fact Book på handelsbanken.com/inv.

Förtälningskälla för finansiella tillgångar och skulder 2024

mkr	Upp till 30 dagar	31 dagar– 6 månader	6–12 månader	1–2 år	2–5 år	Över 5 år	Ospecifierad löptid	Summa
Kassa och tillgodohavanden i centralbanker	542 808							542 808
Betalningsbara statsskuldförbindelser ⁽¹⁾	172 606							172 606
Obligationer och andra räntebärande värdepapper ⁽¹⁾	47 508							47 508
Utlåning till kreditinstitut	16 704	163	161	588	7 03	865		19 274
varav omvända repor	11 291							11 291
Utlåning till allmänheten	76 230	327 674	238 805	299 417	462 128	1 293 888		2 698 142
varav omvända repor	17 905							17 905
Övrigt	20 066						365 437	385 493
varav aktier och andelar	14 746							14 746
varav fordringar på fondförflydd	5 310							5 310
Summa tillgångar	876 911	327 837	238 966	300 006	462 921	1 294 754	365 437	3 868 831
Skulder till kreditinstitut	38 239	33 459	1 462	120	904	349	11 192	85 726
varav repor								
varav inlåning från centralbanker		12 943					247	13 190
In- och upplåning från allmänheten	88 382	163 368	8 871	2 064	1 203	179	1 059 731	1 323 798
varav repor								
Emitterade värdepapper ⁽¹⁾	91 156	383 727	303 623	194 999	578 061	78 764		1 630 331
varav säkerställda obligationer	377	13 204	100 640	1 26 655	44 9 022	45 21 9		736 21 8
varav bankcertifikat (CDs) med ursprunglig löptid underliggande ett år	41 693	172 414	55 21 1					270 31 8
varav företagscertifikat (CPs) med ursprunglig löptid underliggande ett år	48 020	158 976	142 232					349 227
varav bankcertifikat (CDs) och företagscertifikat (CPs) med ursprunglig löptid överliggande ett år		2 876	71 8					3 594
varav Senior Non-primed-obligationer		918	729	20 637	31 4 25	32 600		86 609
varav seniore obligationer och övriga värdepapper med ursprunglig löptid över ett år	429	32 818	2 327	47 990	99 678	1 120		184 363
Efterställda skulder		849	799	1 647	29 918	11 707		44 920
Övrigt	4 039	219	329	626	1 258	572	540 040	547 083
varav korta positioner	1 007							1 007
varav fondförflyddskulder	2 865							2 865
Summa skulder	221 816	681 622	316 084	199 486	611 345	91 671	1 610 963	3 631 808
Poster utanför balansräkningen								
Finansiella garantier och ej utnyttjade lånelåften	442 514							

Derivat 2024

mkr	Upp till 30 dagar	31 dagar– 6 månader	6–12 månader	1–2 år	2–5 år	Över 5 år	Summa
Summa derivat intäkter	234 647	488 324	107 772	155 359	253 407	82 081	1 321 590
Summa derivat utgifter	232 617	477 157	106 862	147 381	242 625	75 086	1 281 728
Netto	2 030	11 167	910	7 978	107 82	6 995	36 862



3.1

K2 forts.

Förtalisanalyse för finansiella tillgångar och skulder 2023

mkr	Upp till 30 dagar	31 dagar– 6 månader	6–12 månader	1–2 år	2–5 år	Över 5 år	Ospekulerad löptid	Summa
Kassa och tillgodohavanden i centralbanker	508 710							508 710
Betalningsbara statskuldförbindelser ¹⁾	190 274							190 274
Obligationer och andra röntebärande värdepapper ²⁾	50 435							50 435
Utlåning till kreditinstitut	17 401	521	788	1 304	3 129	2 308		25 448
varav omvända repor	9 023							9 023
Utlåning till allmänheten	92 630	327 172	258 418	279 380	405 330	1 227 112		2 050 042
varav omvända repor	17 404							17 404
Övrigt	17 847						308 890	326 737
varav aktier och andelar	12 218							12 218
varav fordringar på fondfonder	5 629							5 629
Summa tillgångar	886 297	327 693	259 207	280 683	408 458	1 229 417	308 890	3 780 846
Skulder till kreditinstitut	30 546	35 700	1 783	703	381	1 001	13 115	92 205
varav repor								
varav inlåning från centralbanker	11 741	20 288						32 029
In- och upplåning från allmänheten	72 616	188 060	33 509	4 994	1 023	157	1 049 740	1 350 009
varav repor								
Emitterade värdepapper ³⁾	73 317	437 143	271 904	145 936	569 336	94 981		1 592 598
varav säkerställda obligationer	335	54 406	78 895	104 626	390 687	55 744		682 755
varav bankcertifikat (CD:s) med ursprunglig löptid understigande ett år	28 675	127 206	46 503					202 684
varav företagscertifikat (CP:s) med ursprunglig löptid understigande ett år	47 841	225 086	136 389					409 316
varav bankcertifikat (CD:s) och företagscertifikat (CP:s) med ursprunglig löptid överstigande ett år	90	19 034	14 117					33 340
varav Senior Non-primed-obligationer		557	414	970	37 871	25 674		65 485
varav seniors obligationer och övriga värdepapper med ursprunglig löptid över ett år	109	27 489	2 885	35 008	121 494	11 500		198 487
Efterställda skulder		14 022	505	1 353	20 192	14 367		50 409
Övrigt	7 750	220	377	654	1 383	638	519 013	530 035
varav korta positioner	2 305							2 305
varav fondfonder/skulder	5 210							5 210
Summa skulder	103 229	676 212	308 139	183 640	592 916	111 063	1 581 867	3 816 006
Poster utanför balansräkningen								
Finansiella garantier och ej utnyttjade lånelåsten	427 805							

Derivat 2023

mkr	Upp till 30 dagar	31 dagar– 6 månader	6–12 månader	1–2 år	2–5 år	Över 5 år	Summa
Summa derivat införde	130 988	402 290	124 514	93 751	205 217	89 804	1 166 564
Summa derivat utförde	131 808	408 845	127 404	92 031	252 501	81 981	1 154 610
Netto	-910	-6 555	-2 890	1 720	12 716	7 823	11 954

1) Av beloppet (eksklusiva räntor) har 138 235 mkr (109 372) en återstående löptid som understiger ett år.

2) Av beloppet (eksklusiva räntor) har 6 665 mkr (3 334) en återstående löptid som understiger ett år.

3) Av beloppet (eksklusiva räntor) har 750 403 mkr (758 321) en återstående löptid som understiger ett år.

Tillgångar och skulder i tabellen ovan inkluderar avyttringsgrupperna i Finland som i balansräkningen omklassificerats till Tillgångar som innehas för försäljning respektive Skulder som innehas för försäljning, se not K14.



3.1

Införning

Förvaltningsberättelse

Finansiella rapporter
Koncernen

Hållbarhet

Övrigt

K2 forts.

Likviditetsreserven

För att säkerställa att banken har tillräckligt med likviditet för att stödja kärnverksamheten även under stressade finansiella förhållanden håller banken betydande likviditetsreserver i alla för banken relevanta valutor. Likviditets-

reserven som är oberoende av finansierings- och valutaväxlingsmarknaderna kan vid var tid ge likviditet till banken.

Likviditetsreserven består av flera olika delar. Kassa, tillgodohavanden och övrig utlåning till centralbanker är delar som omedelbart kan ge likviditet till banken. Vidare består reserven av likvida värdepapper som statsobligationer, säkerställda obligationer och

andra värdepapper av mycket god kreditkvalitet som är likvida och belåningsbara i centralbanker. Även dessa kan ge banken likviditet omedelbart. Resterande delar av likviditetsreserven består av outnyttjat emissionsutrymme av säkerställda obligationer och övriga likviditetssekaperande åtgärder.

Tillgodohavanden i centralbanker samt värdepappersinnehav i likviditetsreserven – marknadsvärde 2024

mkr	SEK	EUR	USD	Övrigt	Summa
Tillgångar nivå 1	262 323	210 426	142 411	171 044	776 204
Kassa samt centralbankreserver	62 533	204 795	132 503	138 239	538 130
Värdepapper emitterade eller garanterade av stater, centralbanker, multilaterala utvecklingsbanker och internationella organisationer	154 706	5 516	9 848	3 115	173 185
Värdepapper emitterade av kommuner och enheter inom den offentliga sektorn	19				19
Säkerställda obligationer med extremt hög kvalitet	35 060	115		29 690	64 871
Tillgångar nivå 2	912	163		121	1 196
Tillgångar nivå 3A	900			121	1 020
Värdepapper emitterade eller garanterade av stater, centralbanker, kommuner och enheter inom den offentliga sektorn				95	95
Säkerställda obligationer med hög kvalitet	900			27	926
Förstagavärdepapper (följsta rating AA-)					
Tillgångar nivå 2B	2	163			165
Värdepapper med bakomliggande tillgångar					
Säkerställda obligationer med hög kvalitet					
Förstagavärdepapper (rating A+ till BBB-)	2	163			165
Aktier (större aktieindex)					
Summa likvida tillgångar	263 235	210 590	142 411	171 165	777 401

Tillgodohavanden i centralbanker samt värdepappersinnehav i likviditetsreserven – marknadsvärde 2023

mkr	SEK	EUR	USD	Övrigt	Summa
Tillgångar nivå 1	262 713	162 484	165 828	151 125	762 150
Kassa samt centralbankreserver	65 078	157 968	160 806	119 288	504 940
Värdepapper emitterade eller garanterade av stater, centralbanker, multilaterala utvecklingsbanker och internationella organisationer	181 594	4 556	5 022	1 758	192 930
Värdepapper emitterade av kommuner och enheter inom den offentliga sektorn	209				209
Säkerställda obligationer med extremt hög kvalitet	33 032	60		30 079	64 071
Tillgångar nivå 2	207	289	502	120	1 108
Tillgångar nivå 3A	207	221	502	120	1 050
Värdepapper emitterade eller garanterade av stater, centralbanker, kommuner och enheter inom den offentliga sektorn				36	36
Säkerställda obligationer med hög kvalitet	207	221	502	84	1 014
Förstagavärdepapper (följsta rating AA-)					
Tillgångar nivå 2B		60			60
Värdepapper med bakomliggande tillgångar					
Säkerställda obligationer med hög kvalitet					
Förstagavärdepapper (rating A+ till BBB-)		60			60
Aktier (större aktieindex)					
Summa likvida tillgångar	262 920	162 764	166 330	151 245	763 259

3.1

K2 forts.

Operativ risk

Operativ risk är risken för förluster till följd av icke ändamålsenliga eller misslyckade interna processer, mänskliga fel, felaktiga system eller externa händelser. Definitionen inkluderar legal risk, modellrisk och risk inom informations- och kommunikationsteknik (IKT-risk).

Styrelsen fastställer Handelsbankenkoncernens risktolerans för operativa risker. Handelsbanken har låg tolerans för operativa risker, samtidigt som operativ risk oundvikligen förekommer i all verksamhet. Handelsbanken ska så långt som möjligt sträva efter att förebygga dessa risker. De operativa förlusterna ska vara låga. En operativ risk som skulle leda till allvarliga konsekvenser för banken, bankens kunder eller det finansiella systemet i händelse av incident, måste sänkas till en lägre risknivå. Riskbegränsande åtgärder ska vidtas så att risken blir acceptabel. Förluster till följd av en operativ riskhändelse kan täckas av försäkringar eller andra lösningar. Riskbedömningar utförs genom att bedöma konsekvens och sannolikhet att händelser inträffar på en skala graderad från 1 till 5. Den bedömda konsekvensen tillsammans med den bedömda sannolikheten att händelsen inträffar avgör vilka risksänkande åtgärder som krävs. Risken är utanför bankens risktolerans om det saknas åtgärdsplan eller om riskkontrollen bedömer att åtgärderna tar för lång tid eller inte fortloper enligt fastlagd tidplan. Verkställande direktören beslutar om limiter för operativa risker.

Handelsbankens redovisade operativa förluster, som omfattar förväntade och erkända förluster, som överstiger 25 000 kronor samt eventuella återvinningar, uppgick under 2024 till 119 mkr (102).

Organisation

Ansvar för att identifiera, bedöma och hantera operativa risker är en integrerad del i chefsansvaret på alla nivåer i Handelsbankenkoncernen. Bankens decentraliserade arbetsätt och kostnadsmedvetenhet främjar en god hantering av operativa risker, vilket leder till en vaksamhet mot potentiella förlustrisker i dagliga rutiner och händelser.

Operativa risker hanteras i affärsverksamheten och hanteringen kontrolleras av riskkontrollen. Till chefernas hjälp med hanteringen av operativa risker finns särskilt utsedda lokala koordinatörer för operativ risk (lokala OpRisk-koordinatörer). De lokala OpRisk-koordinatörerna ansvarar för att stödja affärsverksamheten i deras arbete med operativa risker, incidenthantering, riskindikatorer, åtgärdsplaner, limiter och rapportering.

Handelsbanken Riskkontroll ansvarar för att regelbundet utvärdera verksamhetens olika metoder, processer och rutiner för att identifiera, bedöma, hantera och rapportera operativa risker samt kontrollera att de följer upp att beslutade åtgärder genomförs. Handelsbanken Riskkontroll ansvarar också för att tillse att risker utvärderas innan beslut fattas om nya eller väsentligt förändrade produkter, tjänster, marknader, processer och IT-system samt vid större förändringar i koncernens verksamhet och organisation. Handelsbanken Riskkontroll ansvarar vidare för att på koncernnivå identifiera, bedöma, analysera och rapportera alla väsentliga operativa risker och deras utveckling till ledning och styrelse. Riskrapporteringen till ledning och styrelse innehåller även information om väsentliga incidenter och riskbegränsande åtgärder.

Metoder för att identifiera, bedöma och hantera operativa risker

Affärsverksamheten äger och ansvarar för att hantera risker förknippade med den dagliga operativa verksamheten i enheten. Banken övervakar utvecklingen av operativ risk utifrån bland annat följande kategorier av operativ risk:

- brister i handläggning och processer
- avbrott/störning i verksamhet/system
- kunder, produkter och affärspraxis
- extern brottslighet
- skada på materiella tillgångar
- anställningsförhållanden och arbetsmiljö
- interna bedrägerier.

De koncerngemensamma metoderna för att identifiera, bedöma och hantera operativa risker är incidentrapportering, riskindikatorer och självutvärdering av operativa risker.

Incidentrapportering

Rapportering av incidenter med förlust överstigande 25 000 kronor är obligatoriskt. Andra incidenter som visar på operativa risker ska också rapporteras och riskfakta ska samlas in.

Riskindikatorer

Riskindikatorer tillämpas för att varna om ökad operativ risk. Om ett gränsvärde för en riskindikator överskrider ska en riskanalys genomföras som underlag för bedömning av eventuella riskhanterande åtgärder. För vissa riskindikatorer fastställs gränsvärde av VD.

Självutvärdering av operativa risker

Den koncernövergripande processen för operativ risk ger stöd för en systematisk riskinventering inom enheternas ansvarsområden och används för att bedöma identifierade operativa risker enligt en koncerngemensam bedömningsskala, dokumentera i ett riskregister och rapportera operativa risker. Processen utförs



3.1

inledning

Förvaltningsberättelse

Finansiella rapporter
Koncernen

Hållbarhet

Övrigt

K2 forts.

regelbundet på alla enheter. Riskbedömningen kan även vara händelsedriven och utförs vid allvarliga incidenter, överskridande av gränsvärde eller limit eller vid allvarlig extern händelse.

ORX

Banken är medlem i ORX (Operational Risk-data eXchange Association). ORX främsta syfte är att deltagande banker utbyter anonymiserade data om incidenter som inneburit operativa förluster. ORX har också en viktig funktion att standardisera och kvalitetssäkra data om operativa risker. Det sker betydande forskningsarbete om metoder inom ämnet operativ risk, och ORX utgör ett viktigt forum för erfarenhetsutbyte.

IT-verksamhet i Handelsbankenkoncernen

Tillgänglighet och säkerhet i bankens IT-tjänster är en förutsättning för bankens verksamhet. Den tekniska utvecklingen och digitaliseringen av banktjänster innebär att området ökar i betydelse. VD fastställer riktlinjer avseende övergripande mål och strategi för IT-verksamhet i Handelsbankenkoncernen. Operativa risker inom detta område hanteras enligt samma rutiner som i övriga delar av banken, med tillägg av särskilda rutiner för att hantera specifika typer av risker inom området, till exempel:

- övervakning av IT-system i produktion
- hantering av IT-incidenter
- hantering av nya eller förändrade IT-system
- hantering av cyberrisker
- genomförande av säkerhetstester
- genomförande av riskanalyser av IT-system
- granskning av uppdragsavtal och övriga leverantörsavtal med avseende på IT och säkerhet
- kontinuitetshantering av IT-system.

Fördelning av antal förluster över 25 tkr, 2020-2024	
	%
Bristar i handläggning och processer	55
Avbrott/störning i verksamhet/system	6
Kunder, produkter och affärspraxis	4
Extern brottslighet	34
Skada på materiella tillgångar	0
Anställningsförhållanden och arbetsmiljö	1
Interna bedrägerier	0

Fördelning av förlustbelopp över 25 tkr, 2020-2024	
	%
Bristar i handläggning och processer	45
Avbrott/störning i verksamhet/system	6
Kunder, produkter och affärspraxis	25
Extern brottslighet	24
Skada på materiella tillgångar	0
Anställningsförhållanden och arbetsmiljö	0
Interna bedrägerier	0

Säkerhet och dataskydd

Säkerhetsarbetet i Handelsbanken syftar bland annat till att värna om trygghet, säkerhet och integritet för såväl medarbetare som kunder samt att skydda kundernas och bankens tillgångar och koncernens goda namn och rykte. Känslig information om kunder och kundrelationer hanteras löpande i en banks verksamhet. Handelsbankens arbete med informationssäkerhet och dataskydd har som övergripande mål att skydda informationen utifrån tillgänglighet, riktighet, konfidentialitet och spårbarhet. Information och affärssystem ska finnas tillgängliga utifrån verksamhetens affärskrav. VD fastställer riktlinjer för säkerhet och dataskydd i Handelsbanken. Samtliga medarbetare i banken har ansvar att följa regler för skydd av information och varje chef ansvarar för att regler avseende säkerhet och dataskydd efterlevs inom sitt ansvarsområde. Banken har ett systematiskt dataskydd- och säkerhetsarbete som svarar upp mot krav samt eventuella hot och risker och i detta finns rutiner för att hantera förändringar i IT och den fysiska miljön som kan ha en negativ påverkan. Om det skulle uppstå brister i hanteringen, eller om informationen felaktigt skulle läckas, kan det leda till allvarliga konsekvenser, som försämrat förtroende för banken eller ekonomiska förluster. Inom ramen för det systematiska arbetet pågår ett strukturerat arbete med att öka medvetenheten hos våra medarbetare och kunder om hot och risker inom säkerhet, till exempel genom föreläsningar, utbildningar och informationsinsatser. Säkerhet och dataskydd omfattar administrativa lösningar som regler och instruktioner, tekniska säkerhetslösningar, fysiskt skydd samt skydd av säkerhetskänslig verksamhet och säkerhetsskyddsklassificerade uppgifter.

Arbetet med säkerhet och dataskydd bedrivs utifrån ett ledningssystem för informationssäkerhet i enlighet med internationella standarder som exempelvis ISO 27001. Handelsbankens arbete med informationssäkerhet är certifierat enligt ISO 27001.

Bankens ledningssystem för informationssäkerhet bygger på ISO 27001 tillsammans med Standard of Good Practice utarbetad av Information Security Forum (ISF), som är en organisation där flera av världens största företag ingår som medlemmar, som kontrollbibliotek. Arbetet med dataskydd, informations- och IT-säkerhet bedrivs systematiskt och banken arbetar med detta utifrån ett processperspektiv, där analysen har en central roll. Riskanalyserna genomförs enligt olika metodiker från ISF:s Information Risk Analysis Methodology (IRAM2), samt Privacy Impact Analysis (PIA).

Handelsbankenkoncernens fysiska säkerhet innefattar brandskydd, process och rutin avseende hot mot och skydd av anställda, rese-säkerhet, skalskydd, bankens försäkringskydd avseende ansvars- och egendomsförsäkring samt omvärldsbevakning och instruktioner.

Instruktioner inom koncernen för att hantera risker relaterade till området fysisk säkerhet innebär bland annat krav på att utrymningsgenomgång genomförs minst årligen och följs upp via den årliga arbetsmiljöundersökningen.

Finansiell kriminalitet

Banken arbetar kontinuerligt för att minimera risken för att bankens kunder, produkter eller tjänster utryttjas som ett led i finansiell kriminalitet. Finansiell kriminalitet innefattar penningtvätt, finansiering av terrorism, skattebrott, korruption, bedrägerier och brott mot internationella sanktioner. Arbetet hanteras av en central avdelning som rapporterar till bankens

3.1

K2 forts.

särskilt utsedde befattningshavare med koncernövergripande ansvar för arbetet med att motverka finansiell kriminalitet i enlighet med lagen om penningtvätt och finansiering av terrorism. Utgångspunkter för detta arbete mot finansiell kriminalitet är bland annat bankens låga risktolerans samt de externa regelverk som reglerar finansiell kriminalitet i de länder där banken är verksam. Banken har även en särskild central complianceavdelning för finansiell kriminalitet, även den med koncernövergripande ansvar, som övervakar och är rådgivande i bankens arbete att motverka finansiell kriminalitet. Avdelningen leds av bankens centrala funktionsansvariga. För ytterligare information om bankens arbete att motverka finansiell kriminalitet hänvisas till Handelsbankens Bolagsstyrningsrapport på sidorna 40–58.

Förändringshantering

Hantering av förändringar innefattar nya eller väsentligt förändrade produkter, tjänster, marknader, processer och IT-system samt större förändringar i koncernens verksamhet och organisation. I bankens instruktioner och godkännandeprocess för förändringshantering beskrivs de aktiviteter och aktörer som ingår i processen, samt hur och när kontrollfunktionerna ska involveras. Processen omfattar även krav på att riskanalys ska genomföras och exempelvis beakta områden så som finansiell kriminalitet, miljö och klimat, informations-säkerhet och datakvalitet. Beslut relaterat till förändringen ska även dokumenteras.

Väsentliga processer

Med väsentliga processer avses de processer som är väsentliga för att stödja bankens kritiska verksamhet. De genomgår årligen och vid väsentliga förändringar en översyn av aktualitet, uppdateras vid behov samt riskanalyseras. Identifieringen av de väsentliga processerna är grundläggande för omfattningen av bankens kontinuitetsplanering, det vill säga vilka delar av verksamheten som ska prioriteras vid störningar och avbrott.

Kontinuitetsplanering och krishantering

Syftet med bankens kontinuitetsplanering och krishantering är att tillse att banken har en god beredskap för fortsatt verksamhet även i en oförutsägbart situation. Det innebär att förberedande åtgärder behöver vidtas för att lindra verkningarna av en allvarlig störning i affärsverksamheten så att den kan fungera på en godtagbar nivå under den tid en störning pågår. Av VD:s riktlinjer för kontinuitetsplanering och krishantering samt av kompletterande instruktioner framgår att det varje år ska utföras konsekvensanalyser för att slå fast vilka verksamheter och IT-system som är så kritiska att de behöver upprätta kontinuitetsplaner.

I kontinuitetsplanerna ingår att både planera för hur verksamheten ska upprätthållas medan störningen pågår och hur verksamheten ska kunna återgå till normala rutiner. När det gäller väsentliga processer ska planerna innehålla den längst tillåtna tiden för avbrott. Det finns en central krisstab för hela koncernen. Därutöver ska krisstaberna finnas i vissa dotterbolag och enheter. Arbetet i krisstaberna ska bedrivas enligt särskilda krishandböcker.

Kontinuitetsplaner och krishandböcker ska revideras minst årligen. Planerna ska testas minst varje år och krisövningar hålls av de enheter som har skyldighet att utse krisstaberna. Arbetet utvärderas årligen och rapporteras till styrelsen, som även får information om bankens strategi för kontinuitetsplaneringen.

Handelsbanken deltar även i FSPOS (Finansiella sektorns privat-offentliga samverkan) frivilliga arbete för att stärka sektorns förmåga att hantera störningar och avbrott. Under 2024 genomfördes ingen övning inom ramen för FSPOS.

Leverantörsavtal

Banken har en särskild process för hantering av leverantörsavtal, inklusive uppdragsavtal, inom koncernen. Utgångspunkten är att banken ska tillämpa ett riskbaserat arbetssätt, med beaktande av bankens låga risktolerans, i såväl bedömning inför beslut om leverantörsavtal som i administrationen av dem. VD har utfärdat riktlinjer som anger förutsättningar och krav för bland annat uppdragsavtal avseende verksamhet av väsentlig betydelse. Riktlinjerna gäller i hela Handelsbankenkoncernen och omfattar även dotterbolagen i koncernen.

Anseenderisk, uppföranderisk och utbildning

Anseenderisk är risken för förluster till följd av att förtroendet för banken skadas. Detta kan ske exempelvis på grund av bristande etik, olämpligt agerande, bristfällig information eller ogenomtänkt utveckling av nya eller ändrade produkter. Handelsbanken hanterar och minimerar anseenderisken i sin verksamhet genom aktiv omvärldsbevakning med därtill relevanta åtgärder vid behov, samt genom att bedriva verksamheten enligt hög etisk standard. Under 2024 har tre utbildningar varit obligatoriska för samtliga medarbetare i koncernen: Finansiell kriminalitet, Dataskyddsförordningen (GDPR) och Säkerhetsutbildning – Cybersäkerhet. Därutöver finns andra lokalt anpassade obligatoriska utbildningar inom bankens olika enheter.

Handelsbankens låga risktolerans avspeglas även i synen på ersättning till anställda. Banken anser att fast ersättning bidrar till en sund verksamhet och fast ersättning tillämpas därför som huvudregel.

Regelefterlevnadsrisk

Regelefterlevnadsriskerna är risker förknippade med bristande regel efterlevnad.

Med regelefterlevnad (även benämnt compliance) avses iakttagande och efterlevnad av externa och interna regelverk, accepterad marknadspraxis och relevanta standarder som tillsammans är tillämpliga på bankens tillståndspliktiga verksamhet. Regelefterlevnadsrisk är risk förknippad med att banken inte följer angivna regelverk och de följder som detta i sin tur kan leda till i form av sanktioner, väsentlig finansiell förlust eller förlust av anseende för banken. Handelsbanken har låg tolerans för regelefterlevnadsrisker och ska så långt möjligt förebygga sådana risker och prioritera det arbete som behöver utföras för att skyndsamt åtgärda identifierade risker. En regelefterlevnadsrisk är utanför risktoleransen om funktionen för regelefterlevnad bedöms att risknivån är hög eller kritisk och det saknas en adekvat åtgärdsplan, eller om det sker väsentliga avvikelser från åtgärdsplanen.



3.1

Infledning

Förvaltningsberättelse

Finansiella rapporter
Koncernen

Hållbarhet

Övrigt

K2 forts.

Organisation

Ansvaret för reglefterlevnad i verksamheten är en integrerad del i chefsansvaret på alla nivåer i koncernen och vilar på respektive enhet och avdelning. Även funktionsansvariga och produktansvariga har ett särskilt ansvar att se till att arbetet inom respektive ansvarsområde bedrivs i enlighet med interna och externa regler inom hela koncernen, inklusive ett ansvar att följa upp efterlevnaden av de koncernövergripande instruktioner som de utfärdar inom sina områden. Handelsbanken Legal ansvarar för att det finns juriststöd i verksamheten och för erforderliga juridiska bedömningar, inklusive slutgiltiga regelverkstolkningar, åt andra enheter samt för att samordna arbetet kring juriststöd och juridiska bedömningar på central och lokal nivå. I Handelsbankenkoncernen ska chefer och medarbetare ha en god kännedom om och förståelse för de krav som externa och interna regler ställer och de risker som är förknippade med bristande reglefterlevnad, inklusive söka stöd från Handelsbanken Legal eller lokal juristenhet för erforderliga juridiska bedömningar.

Funktionen för reglefterlevnad är den kontrollfunktion som ansvarar för att identifiera, övervaka, kontrollera och rapportera reglefterlevnadsrisker såvitt avser bankens tillståndspliktiga verksamhet. Funktionen leds av en Chief Compliance Officer och är organiserad i dels Handelsbanken Compliance, där även lokala enheter för reglefterlevnad som huvudregel ingår, dels lokala enheter i vissa dotterbolag. I Handelsbanken Compliance ingår dessutom särskilt utpekade roller såsom centralt funktionsansvarig (CFA) enligt tillämpliga regler om penningtvätt och finansiering av terrorism och dataskyddombudet (DPO) enligt tillämpliga regler om dataskydd och hantering av personuppgifter.

Prestationsbaserad rörlig ersättning

	2024	2023
Avsättning prestationsbaserade rörliga ersättningar ¹⁾ , mkr	49	49
Löner och arvoden, mkr	11 375	10 108
Antal personer som har möjlighet att tjäna in prestationsbaserad rörlig ersättning ²⁾	137	132
Medelantal anställda	12 703	12 216
Avsättning prestationsbaserad rörlig ersättning som andel av totala löner och arvoden, %	0,4	0,5
Avsättning prestationsbaserad rörlig ersättning som andel av kapitalmarknadskapital, %	0,03	0,03
Antal personer som har möjlighet att tjäna in prestationsbaserad rörlig ersättning som andel av medelantal anställda, %	1,1	1,1

1) Beloppen redovisas exklusive socialavgifter. Beloppen fastställs efter publicering av årsredovisningen.
2) Antal personer som tilldelas prestationsbaserad rörlig ersättning fastställs efter publicering av årsredovisningen.
Av de 132 personer som hade möjlighet att tjäna in prestationsbaserad rörlig ersättning 2023, fick 110 personer tilldelning.

Riskbaserat arbete

Reglefterlevnadsfunktionens arbete bedrivs riskbaserat. Det sker i praktiken genom att funktionen årligen gör en övergripande riskbedömning med syfte att identifiera inom vilka områden funktionen ska fokusera sina aktiviteter. Chief Compliance Officer rapporterar kvartalsvis den aktuella risksituationen i koncernen till den verkställande direktören, riskutskottet och styrelsen. Här ingår också CFA:s och DPO:s rapportering.

Risk i ersättningssystemet

Ersättningsrisk utgörs av risken för förlust eller annan skada som uppkommer till följd av ersättningssystemet.

Ersättningssystemet

Ersättningar i Handelsbanken fastställs individuellt för varje medarbetare vid tillträde i ny befattning och i lokala lönesamtal. Ersättningen ska, med beaktande av för Handelsbanken bindande kollektiva avtal eller motsvarande lokala standardiserade avtal eller överenskommelser, baseras på bankens modell för lönesättning och de där angivna lönegrundande faktorerna: arbetets art och svårighetsgrad, kompetens, prestationsförmåga och uppnådda arbetsresultat, ledarskap, marknaden samt uppgiften som bäras

av bankens kultur. Denna ordning har tillämpats under många år och innebär att chefer på alla nivåer regelbundet deltar i löneprocesser och tar ansvar för bankens lönepolitik och den egna enhetens personalkostnadsutveckling.

För att säkerställa att Handelsbanken har ett väl utformat ersättningssystem hanteras risker i ersättningssystemet som ett separat riskslag för vilket hanteringen följer samma ansvarsfördelning som för andra typer av risker. Handelsbanken har låg tolerans för ersättningsrisker och eftersträvar aktivt att hålla dessa risker på en låg nivå. Prestationsbaserad rörlig ersättning tillämpas med stor försiktighet och erbjuds inte till medarbetare som i sin yrkesutövning har en väsentlig inverkan på bankens riskprofil.

Under 2024 har avsättning för prestationsbaserad rörlig ersättning gjorts med 49 mkr (49).

Organisation och ansvar

Principerna för bankens ersättningssystem fastställs i ersättningspolicyn som beslutas av styrelsen. Mer detaljerade riktlinjer och tillämpningsföreskrifter beslutas av verkställande direktören. Handelsbanken Compliance granskar att dessa styrdokument överensstämmer med regelverk på området. Ansvar för att identifiera och hantera ersättningsrisker vilar på varje ansvarig chef i verksamheten. Handelsbanken Risk Control tillser att ersättningssystemet och dess tillämpning årligen utvärderas ur ett riskperspektiv. Utvärderingen ska också innehålla en analys av ersättningssystemets påverkan på bankens risk-, kapital- och likviditetssituation.



3.1

K2 forts.

Risker i ersättningssystemet

Bedömningen är att Handelsbankens ersättningspolicy och ersättningssystem genererar låga risker, harmoniserar med bankens låga risktolerans samt stöder bankens långsiktiga intressen. Ersättningssystemets påverkan på bankens finansiella risk-, kapital- och likviditetssituation är låg. Totalt avsatt belopp för prestationsbaserad rörlig ersättning under ett år till anställda i Handelsbankenkoncernen får inte överstiga 0,4% av Handelsbankenkoncernens kärnprimärkapital. Underlaget för beräkning av prestationsbaserad rörlig ersättning riskjusteras utifrån bedömning av nuvarande och framtida risker. Det finns regler för uppskjutande av utbetalning av rörlig ersättning och för att helt eller delvis nedsätta tilldelad uppskjuten rörlig ersättning.

För mer detaljerad information och statistik om bankens ersättningssystem, se bolagsstyrningsrapport och not K8 i årsredovisningen.

Risk i försäkringsrörelsen

Risken i försäkringsrörelsen består främst av marknadsrisker och försäkringsrisker.

Handelsbanken bedriver livförsäkringsverksamhet i dotterbolaget Handelsbanken Liv. Handelsbanken Livs avtal består av fond- och depåförsäkringsavtal, riskförsäkringar i form av främst sjukförsäkring, premiebefrielseförsäkring och dödsfallsförsäkring samt traditionella livförsäkringsavtal.

Handelsbanken Liv har låg risktolerans och följer bankens principer för hantering av risk. Risker i försäkringsrörelsen består huvudsakligen av marknadsrisker och försäkringsrisker. För en beskrivning av bankens riskhantering, riskorganisation samt rapportering och uppföljning av risk, se inledning av denna not samt respektive enskilt riskavsnitt i denna not.

Handelsbanken Livs riskpolicy beskriver de risker bolaget är exponerat för, definierar styrelsens tolerans för dessa risker samt principer och regler för hur riskhantering ska ske. Principer för att identifiera, värdera, åtgärda och rapportera risker regleras också i policyn. Handelsbanken Livs placeringspolicy begränsar exponeringen mot finansiella risker och ger övergripande anvisningar om tillgångarnas förvaltning givet åtagandena till försäkringstagarna och lagstadgade krav. Vidare ger den anvisningar om hur styrning och kontroll av

placeringarna ska utföras samt hur den totala risknivån i tillgångarna ska hanteras. Tillgångarna ska placeras på ett aktsamt sätt så att risker kan identifieras, mätas, analyseras och rapporteras.

Försäkringsrörelsens risker rapporteras till Handelsbanken Livs styrelse och VD, bankens styrelse och VD samt Handelsbanken Risk Control.

Marknadsrisk

Marknadsrisk avser den samlade risken att förändringar i riskfaktorer inom finansiella marknader, till exempel förändringar i räntor, aktiepriser och valutakurser, resulterar i värdeförändringar på bolagets placeringstillgångar och/eller dess åtaganden. Marknadsrisk uppstår främst i traditionell livförsäkring samt indirekt från fond- och depåförsäkringsavtal där försäkringstagarna står värdeförändringsrisken men där bankens provisionsintäkter påverkas av värdet på de förvaldade tillgångarna.

För en beskrivning av väsentliga marknadsrisker som uppstår i traditionell livförsäkring och riskförsäkring som redovisas enligt IFRS 17, se not K34.

Kreditrisk

Kreditrisk uppstår främst i traditionell livförsäkring. För beskrivning av kreditrisker som uppstår i traditionell livförsäkring som redovisas enligt IFRS 17, se not K34.

Likviditetsrisk

Likviditetsrisk uppstår främst i traditionell livförsäkring. För beskrivning av likviditetsrisker som uppstår i traditionell livförsäkring som redovisas enligt IFRS 17, se not K34.

Försäkringsrisk

Med försäkringsrisk avses risk, annan än finansiell risk, som överförs från den försäkrade till Handelsbanken Liv. Försäkringsrisker uppstår främst i traditionell livförsäkring och riskförsäkringar. För en beskrivning av väsentliga försäkringsrisker som uppstår i traditionell livförsäkring och riskförsäkring som redovisas enligt IFRS 17, se not K34.

Externa kapitalkrav

Handelsbanken Liv tillämpar Solvens 2-regelverket, som är ett riskbaserat regelverk, för fastställande av kapitalbas och kapitalkrav i syfte att säkerställa att försäkringsbolaget har tillräckligt kapital för fullföljande av sina åtaganden mot dess försäkringstagare även under oförutsedda negativa händelser. Handelsbanken Liv tillämpar den av regelverket föreskrivna standardformeln för hela dess försäkringsbestånd. Kvoten mellan kapitalbas och kapitalkrav ska vid var gällande tid med god marginal överskrida 1. Per den 31 december 2024 uppgick solvenskapitalkravet till 12 849 mkr (11 559) och kapitalbasen till 28 431 mkr (26 174), vilket resulterade i en solvenskvot om 2,21 (2,26). Per den 31 december 2024 uppgick minimikapitalkravet till 3 212 mkr (2 890). Minst en gång per år gör Handelsbanken Liv en egen risk- och solvensbedömning (ORSA) för att prognostisera det framtida kapitalbehovet utifrån givna scenarier och stresstester.

Hållbarhetsrisker

Risken för ekonomiska förluster eller skadat anseende på grund av faktorer relaterade till miljö och klimat, socialt ansvar inklusive mänskliga rättigheter och arbetsvillkor samt bolagsstyrningsfrågor.

Hållbarhetsrisker uppkommer genom påverkan på de traditionella riskslagen från hållbarhetsrelaterade riskfaktorer som (1) miljö och klimat inklusive fysisk klimatförändring, omställning till en hållbar ekonomi och biologisk mångfald, (2) socialt ansvar inklusive mänskliga rättigheter, arbetsvillkor, jämställdhet och informationssäkerhet för persondata samt (3) bolagsstyrning inklusive bekämpning av korruption och mutor. Bankens hållbarhetsrisker uppkommer huvudsakligen indirekt genom bankens affärer som kreditgivning och investeringar.

Hållbarhetsriskstrategi

I Handelsbankens policy för hållbarhet fastslår styrelsen att ett ansvarsfullt agerande är en grundförutsättning för långsiktigt värdeskapande i Handelsbanken och för att bibehålla förtroendet för banken. Genom att integrera hållbarhetsperspektivet i hela verksamheten säkerställs att koncernen bedriver en verk-



3.1

Inledning

Förvaltningsberättelse

Finansiella rapporter
Koncernen

Hållbarhet

Övrigt

K2 forts.

samhet som är finansiellt sund, miljömässigt och socialt hållbar och som bidrar till en hållbar utveckling. Hållbarhetsrisker ska hanteras i linje med Handelsbankens allmänt låga risktolerans och följa risktoleransen för de riskslag där hållbarhetsrisker är en integrerad del av riskbedömningen.

Styrelsens policy ligger till grund för ett antal riktlinjer utfärdade av den verkställande direktören som närmare reglerar hur Handelsbanken-koncernen ska agera i relation till miljö- och klimatförändring, skog och lantbruk, mänskliga rättigheter och arbetsförhållanden, vapen- och försvarsindustrin, tobaksindustrin, finansiell kriminalitet, leverantörsavtal, hantering av skatt samt säkerhet och dataskydd.

Handelsbankens huvudsakliga verksamhet är kreditgivning och hållbarhetsaspekter är en viktig del i bankens kreditpolicy. Där fastslås att hållbarhetsrisker från miljö- och klimatmässiga, sociala och styrningsrelaterade faktorer ska vara en integrerad del av bedömningen av kreditrisken. Av kreditpolicyen framgår också att kreditgivningen ska vara ansvarsfull och motsvara högt ställda krav på god etik.

Handelsbanken ska möjliggöra och skapa förutsättningar för våra kunder att göra hållbara val genom bankens produkter, tjänster och rådgivning.

Organisation

Styrelsen och den verkställande direktören anger de grundläggande principerna och ramarna för koncernens hållbarhetsarbete. Det funktionella ansvaret för hållbarhet i Handelsbankenkoncernen har den verkställande direktören delegerat till bankens Chief Sustainability and Climate Officer (CSO) som ingår i bankens verkställande ledning. CSO leder en koncernövergripande specialistfunktion, Handelsbanken Sustainability, som samordnar hållbarhetsarbetet och stödjer verksamheten i att integrera hållbarhet i sin verksamhet samt i att identifiera väsentliga hållbarhetsrisker.

Handelsbankens hållbarhetsarbete sker decentraliserat där affärs- och verksamhetsbeslut fattas. Ansvaret för att identifiera och hantera relevanta hållbarhetsrisker är därför en integrerad del i chefsansvaret på alla nivåer i Handelsbankenkoncernen. Koordinering av bankens enheter sker bland annat genom Handelsbankens hållbarhetsråd där bankens CSO är ordförande och där beslutsfattare från affärsverksamheten och centrala avdelningar deltar. Inom ramen för hållbarhetsrådets arbete identifieras och adresseras affärsmöjligheter samt hållbarhetsrisker och andra potentiella problemställningar proaktivt.

Olika typer av hållbarhetsrisker
Handelsbanken beaktar hållbarhetsrisker vid bedömningen av samtliga traditionella riskslag. Nedan följer en exemplifierande beskrivning av hur hållbarhetsrisker potentiellt skulle kunna påverka bankens verksamhet och kunder negativt. Sammantaget är bankens bedömning att hållbarhetsrisker har störst potentiell påverkan inom kreditrisker. Därför beskrivs hållbarhetsrisker i K2-noten endast under avsnittet om kreditrisker och inte under avsnitten för övriga riskslag.

• Kreditrisk

Hållbarhetsrelaterade risker och händelser kan, beroende på i vilken utsträckning de kan hanteras preventivt, resultera i att kundens finansiella ställning samt värdet på kreditens säkerhet försvagas. Fysiska klimatrisker kan orsaka skador på materiell egendom och omställningsrisk från nya regleringar kan medföra anpassningskostnader. Även brister hos bankens kunder i miljömässiga, sociala och legala avseenden kan föranleda ökade kreditrisker.

• Likviditetsrisk

En ökad grad av hållbarhetsrelaterade risker för bankens tillgångsmassa kan riskera försämra bankens finansieringsmöjlighet eller öka kostnaden för finansieringen. Återställanden efter akuta fysiska klimatriskhändelser eller andra typer av händelser kopplade till hållbarhetsfaktorer skulle

kunna leda till osedvanligt stark utlånings-tillväxt och därmed ökat finansieringsbehov för banken.

• Marknadsrisk

Större hållbarhetsrelaterade risker kan leda till en negativ värdeförändring på finansiella tillgångar som exempelvis aktier och obligationer i pensionssystemet. Bankens hantering av marknadsrisker kan påverkas av försämrad marknadslikviditet och ökad volatilitet på grund av osäkerhet om framtiden. På nationell nivå kan ränteläget och valutakursen påverkas av hur landet förväntas drabbas av exempelvis akuta och kroniska klimathändelser och bedömningen av landets vilja och förmåga att ställa om.

• Operativa risker inklusive anseenderisk

Operativa förluster kan uppkomma med anledning av händelser till följd av exempelvis bristande informations säkerhet för persondata eller väderrelaterade störningar i verksamheten. Risken för försämrat anseende och försämrad kundnöjdhet kan öka om banken eller de kunder som finansieras brister ur ett hållbarhetsperspektiv. Ett sådant fall skulle kunna vara om banken upplevs göra sig skyldig till grönvåld i produkter och hållbarhetsmål.

• Regelefterlevnadsrisk

Bristande regelefterlevnad på hållbarhetsområdet kan leda till sanktioner eller förlust av anseende för banken.

Bankens CSO följer upp och rapporterar kvartalsvis till verkställande direktören och styrelsen om bankens övergripande hållbarhetsarbete. Minst halvårsvis avrapporteras koncernens risker inom hållbarhetsområdet även i den verkställande direktörens risk- och compliancekommitté.

Hantering av hållbarhetsrisker i Handelsbanken

Arbetet med att hantera hållbarhetsrisker följer bankens decentraliserade modell och det är bankens affärsverksamheter som bär det huvudsakliga ansvaret för att identifiera hållbarhetsrisker och att dessa hanteras inom ramen för etablerade riskhanteringsprocesser. Genom att inkludera hållbarhetsrisker i bankens förändringsprocess kan väsentliga hållbarhetsrisker förhindras och tillkomma och påverka banken negativt.

Vid kreditgivning är hållbarhetsaspekter, inklusive fysiska klimatrisker och omställningsrisker, en integrerad del i bankens underlag och beslutsprocess. I bedömningen ska kundens hållbarhetsarbete och de hållbarhetsrisker som kan tänkas vara förknippade med kundens verksamhet eller kreditens ändamål utvärderas, inklusive risken förknippad med kundens anseende. Under året har ytterligare stöd för informationsinhämtning och bedömning av hållbarhetsrisker introducerats. Föreligger osäkerhet eller tveksamhet hos någon av de som bereder eller beslutar om krediten avslås krediten, se sidorna 83–84 för en beskrivning av kreditprocessen.

En stor del av Handelsbankens utlåning är säkerställd med fastigheter. Fysisk klimatrisk kan orsaka skador och minska värdet på fastigheter, öka kostnaderna för reparationer och försäkringar eller minska inkomsten som genereras från fastigheter som används för uthyrning eller annan verksamhet. På liknande sätt



3.1

K2 forts.

kan omställningsrisk medföra anpassningskostnader för energieffektivisering eller minska fastighetens värde om investeringen uteblir. Genom att stödja kunderna med bland annat finansiering och rådgivning kan banken arbeta tillsammans med kunderna för att hantera klimatriskerna.

Bankens finansiella motståndskraft mot klimatrisker analyseras bland annat genom scenarioanalyser inklusive stresstester för exponeringar som är säkerställda med fastigheter. För fysiska klimatrisker har exponeringen mot främst översvämningssrisk från vattendrag och stigande havsnivåer undersökts. Analysen indikerar en begränsad exponering mot dessa risker. Det kan noteras en generellt högre risk för översvämning i Storbritannien än i övriga hemmamärknader. För omställningsrisk har den förändrade kreditrisken för bankens kunder undersökts med anledning av att EU-direktivet Energy Performance of Buildings Directive (EPBD) ställer krav på energieffektivisering av fastigheter. Analysen av regelverkets potentiella påverkan på säkerheternas värden visar på låg risk för kreditförluster. Vidare analyserar stresstester hur omställningen till en makroekonomi med nettonollutsläpp påverkar kreditrisken för bankens kunder. Även denna analys indikerar låga kreditförluster. För en utförligare beskrivning av scenarioanalyserna och deras resultat, se avsnitt ESRS 2 IRO-1 E1 på sidan 274–276 i hållbarhetsredovisningen. Ytterligare information om hållbarhetsrisker finns även i avsnittet ESG Prudential disclosures i bankens Pelare 3 rapport.

Ekonomiskt kapital

Handelsbankens modell för beräkning av ekonomiskt kapital fångar i ett mått koncernens samlade risker och anger det kapital som med en mycket hög sannolikhet ska täcka oväntade förluster eller värdeminskningar.

Handelsbanken Risk Control har ansvaret för att bedriva en heltäckande bevakning av koncernens olika risker. Ett instrument i den bevakningen är bankens modell för ekonomiskt kapital (Economic Capital, EC). EC-modellen utgör även del i bankens bedömning av internt kapitalbehov som rapporteras kvartalsvis till styrelsen. Denna bedömning syftar till att säkerställa att koncernen vid varje tidpunkt har tillräckligt med kapital i förhållande till koncernens samtliga risker. Koncernperspektivet innebär att det ekonomiska kapitalet även innefattar risker i försäkringsrörelsen och risker i bankens pensionsåtaganden.

Beräkningen av EC görs med ett års tidshorisont och en konfidensnivå som speglar en acceptabel risknivå och önskad rating. Styrelsen har beslutat att beräkningen av ekonomiskt kapital ska göras på 99,97% konfidensnivå, vilket fångar en för banken extremt ogynnsam händelse. EC utgör skillnaden mellan utfallet under ett genomsnittligt år – med positivt resultat och god värdeutveckling av bankens tillgångar – och utfallet vid 99,97% konfidensnivå.

I sammanräkningen av EC beaktas diversifieringseffekter mellan de olika riskslagen. Kapitalbehovet för samtliga risker är således lägre än summan av det ekonomiska kapitalet för varje individuell risk för sig, eftersom riskerna delvis är oberoende av varandra.

Det kapital och de andra finansiella resurser som utgör en buffert som kan absorbera negativa utfall benämns tillgängliga finansiella resurser (Available Financial Resources, AFR). AFR är Handelsbankens eget kapital med tillägg av andra finansiella värden i och utanför balansräkningen som är tillgängliga för att täcka förluster med ett års tidshorisont.

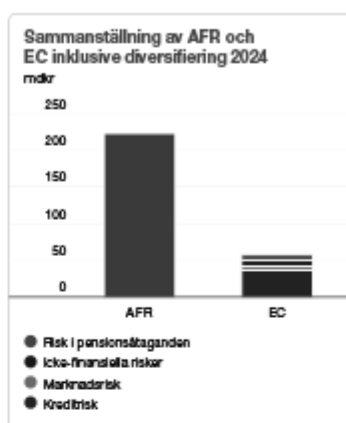
Koncernen arbetar med ett aktieägarperspektiv på risk- och kapitalsituationen. Genom modellen för ekonomiskt kapital erhålls en samlad bild av koncernen som ger förutsättningar för att optimera risk- och kapitalsituationen utifrån aktieägarens perspektiv. Utfallet från beräkningarna spelar en viktig roll i den interna styrningen av banken och när nya affärer eller strukturförändringar övervägs.

Kreditrisken är beräknad med hjälp av en simulering av utfall avseende fallissemang för koncernens samtliga motparter och exponeringar.

Marknadsriskerna består av risken i handelslagerklassificerade tillgångar, ränterisk i övrig verksamhet, marknadsrisker i försäkringsrörelsen och av risken i aktieinnehav i övrig verksamhet.

Risken i pensionsåtagandena består i huvudsak av risken för att de tillgångar som finns inom ramen för trygghandet av bankens förmånsbestämda pensioner ska minska samt att värdet på dessa åtaganden är räntekänsligt. Huvuddelen av pensionsutfästelserna finns i Sverige och tryggas där i en pensionsstiftelse och i en tjänstepensionsförening.

De övriga riskerna består av operativ risk, affärsrisk, fastighetsrisk och försäkringsrisk. Affärsrisken är relaterad till oväntade resultatförändringar inom respektive affärsområde. Dessa kan exempelvis uppstå på grund av att efterfrågan eller konkurrensen förändras på ett oväntat sätt, med minskade volymer och pressade marginaler som följd. Fastighetsrisken fångar risken att de fastigheter som banken äger faller i värde.



EC uppgick vid årsskiftet till 58,9 mdkr (65,5), där kreditriskerna står för huvuddelen av den totala risken. Den av styrelsen fastställda målsättningen är att kvoten mellan AFR och EC ska överstiga 120%. Kvoten var vid årsskiftet 383% (366), vilket visar att banken är väl kapitaliserad i förhållande till sina totala risker. Finansinspektionen har inom ramen för sin samlade kapitalbedömning av banken kommit till samma slutsats.

Den redovisade risk- och kapitalsituationen är en ögonblicksbild, även om det i riskberäkningarna ingår försiktighetsmarginaler för variationer i konjunkturen. För en slutlig bedömning av koncernens kapitalbehov måste också hänsyn tas till den stress- och scenarioanalys som genomförs inom ramen för bankens kapitalplanering.



3.1

Inledning

Förvaltningsberättelse

Finansiella rapporter
Koncernen

Hållbarhet

Övrigt

K2 forts.

Kapitalplanering

Handelsbankens kapitalplanering syftar till att säkerställa att koncernen vid varje tidpunkt har rätt mängd tillgängliga finansiella resurser.

Kapitalbehovet är en funktion av koncernens risker, förväntade utveckling, regelverk och måttal. Handelsbankens modell för ekonomiskt kapital (Economic Capital, EC) samt stress-tester. Bankens kapitalbehov rapporteras veckovis till CFO och VD och minst kvartalsvis till styrelsen.

Som en del av den proaktiva kapitalplaneringen finns en beredskaps- och handlingsplan med konkreta åtgärder som kan vidtas om banken behöver förbättra sin kapitalposition. Syftet med beredskaps- och handlingsplaneringen är att säkerställa att det finns ett varningssystem som upptäcker potentiella hot i ett tidigt skede och att koncernen är förberedd att skyndsamt kunna genomföra åtgärder, om så måste ske.

Minst årligen upprättas en långsiktig kapitalplan som syftar till att ge en övergripande bild av koncernens nuvarande kapitalposition, en prognos över den förväntade kapitalutvecklingen och utfallet i olika scenarier. Dessa scenarier är utformade så att de väsentligt avviker från den förväntade utvecklingen och harmoniserar således med koncernens låga risktolerans. Kapitalplanen innehåller också förslag på hur kapitalpositionen ska kunna behållas på en tillfredsställande nivå i ett starkt negativt omvärldsscenario, utifrån både ett reglerings- och ett aktieägarperspektiv.

Kapitalplaneringen är uppdelad i ett kortsiktigt och ett medellångt till långsiktigt prognosarbete. Den del av kapitalplaneringen som utgörs av kortsiktiga prognoser på upp till två år är främst inriktad på att bedöma rådande resultatutveckling och utveckling av kapitalkravet. Prognosarbetet är nödvändigt för att löpande kunna anpassa kapitalbasens storlek och sammansättning.

Kapitalplanering görs genom en löpande analys av volym-, risk- och resultatutveckling samt genom bevakning av händelser som kan påverka kapitalbehov och kapitalmängd. Det kortsiktiga prognosarbetet omfattar alla delkomponenter som utgör koncernens kapitalbas, och kapitalbehovet inkluderar, förutom regleringsmässiga minimikrav och buffertar, även kapitalkravet enligt regelverkets Pelare 2 samt bruttosoliditetskravet och minimikravet på kapitalbas och kvalificerade skulder (MREL). I detta arbete ingår också att i ett kortsiktigt

perspektiv utföra olika känslighetsanalyser av den förväntade utvecklingen av kapitalkravet och kapitalbasen för att vid behov vara beredd att påverka kapitalbasens storlek och sammansättning genom till exempel marknadsoperationer.

Resultatet av den kortsiktiga analysen utgör grunden för de eventuella kapitaloperationer som genomförs, och resultatet rapporteras veckovis till CFO och VD och vid behov till styrelsen. Analysen utgår från ett försiktigt grundscenario med beslutspunkter i närtid om hur den befintliga intjäningsförmågan klarar av att bära olika volymförändringar och andra effekter som väntas påverka kapitalpositionen. Den veckovisa rapporteringen innehåller även känslighetsanalyser utifrån olika marknadsfaktorer som kan komma att påverka grundprognosen.

Den del av kapitalplaneringen som utgörs av medellånga till långsiktiga prognoser syftar till att säkerställa dels att de lagstadgade kapitalkraven uppfylls, dels att koncernens tillgängliga finansiella resurser (Available Financial Resources, AFR) vid varje tidpunkt med marginal täcker alla risker beräknade enligt modellen för EC.

Även den långsiktiga prognosen innehåller en bedömning av utvecklingen av bankens samlade kapitalbehov över perioden: minimikraven, de kombinerade buffertkraven, Pelare 2-kravet, bruttosoliditetskravet samt MREL-kravet. Syftet är att prognostisera den förväntade utvecklingen och bedöma huruvida bankens motståndskraft är tillfredsställande i olika scenarier. Planeringsperioden är minst fem år och beaktar utvecklingen i hela koncernen.

Basen för den långsiktiga kapitalprognosen är ett grundscenario som ges av den förväntade utvecklingen under de kommande fem åren beträffande resultat, volymtillväxt, finansiella antaganden, som exempelvis kreditförluster, samt utveckling på aktie-, fastighets- och räntemarknaden. Grundscenariot ställs sedan mot utfallen i ett antal konjunktur- och kris scenarier. Stressscenarierna har fastställts efter analys av de historiska sambanden mellan olika makroekonomiska variablers påverkan på de finansiella marknaderna och har valts utifrån de scenarier som kan förväntas påverka Handelsbanken mest negativt. Rådande makroekonomiska miljö som är en kombination av geopolitiska risker, ett förhöjt ränteläge, en svag konsumtion, ett svalt företagsklimat och en försvagad svensk arbetsmarknad är faktorer som är inkluderade i bankens prognos och analyseras ur bankens perspektiv.

Kärsprimärkapitalrelationen uppgick vid utgången av 2024 till 18,8% (18,8). Kvoten mellan AFR och EC uppgick till 383% (385)

vid samma tidpunkt. Således överstiger AFR det bedömda interna kapitalbehovet (EC) med mycket god marginal.

Bankens starka position framhåvs ytterligare av resultatet av de olika framåtblickande stressscenarier som utförs, vilket visar på att Handelsbankens långsiktiga kapitalisering är mycket stabil ur ett ekonomiskt och legalt perspektiv.

Kapitalplaneringen följer även den regleringsmässiga utvecklingen och bedömer effekten och behoven till följd av nya tillkommande krav.

Koncernens måttal för regleringsmässigt kapital

Målen för bankens kapitalisering fastställs löpande av styrelsen. En hörsten i den interna kapitalbehovsbedömningen är den regleringsmässiga kapitalpositionen i stress- och scenarionalyser av bankens situation både i det långa och i det korta perspektivet. De scenarier som används grundas i första hand på bankens interna risktolerans samt på krav som kommer direkt av regelverket eller andra myndighetskrav. Utöver den interna bedömningen av kapitalbehovet har Finansinspektionen kommunicerat att svenska bankers måttal, oaktat bankernas interna beräkningar, inte får understiga det av Finansinspektionen framerade samlade bedömda kapitalbehovet. Banken har beaktat detta vid fastställandet av måttalen för den regleringsmässiga kapitaliseringen.

Styrelsen har beslutat att kärnprimärkapitalrelationen, som är det mest relevanta måttet för styrningen av banken enligt nuvarande regler, under normala förhållanden ska uppgå till mellan 1 och 3 procentenheter över det av Finansinspektionen kommunicerade samlade kärnprimärkapitalkravet. Övriga kapitaldelar (primärkapitalrelation och total kapitalrelation) ska minst uppgå till 1 procentenhet högre värde än det samlade kapitalbehovet som Finansinspektionen har kommunicerat för dessa delar. Bruttosoliditetsgraden ska uppgå till minst 0,6 procentenheter över Finansinspektionens kapitalkrav. Vidare ska banken uppfylla samtliga övriga kapitalkrav från myndigheter. I tillägg har styrelsen beslutat att "utdelningsnivån ska inte leda till att kapitalrelationerna underskrider en nivå om en procentenhet över Finansinspektionens kommunicerade krav".

Banken bedömer att Finansinspektionens kärnprimärkapitalkrav vid utgången av det fjärde kvartalet uppgick till 14,9%.



3.1

K3 Räntenetto

mk	2024	2023
Räntetäckningar		
Utlåning till kreditinstitut och centralbanker	34 514	20 282
Utlåning till allmänheten	104 400	91 518
Betalningsbara statskuldförbindelser m.m.	8 401	8 110
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	2 382	2 076
Derivatinstrument	23 545	32 227
Övriga räntetäckningar	354	853
Summa	173 696	164 046
Avräknade räntetäckningar redovisade i nettoresultat av finansiella transaktioner	-2 550	-4 242
Summa räntetäckningar	171 126	159 806
varav räntetäckningar enligt effektivräntemetoden samt räntor på derivat i säkringarredovisning	150 587	133 602
Räntekostnader		
Skulder till kreditinstitut och centralbanker	-3 382	-3 708
In- och upplåning från allmänheten	-42 084	-35 105
Emitterade värdepapper	-53 710	-45 983
Derivatinstrument	-25 700	-28 502
Efterställda skulder	-1 011	-1 015
Avgift inställningsgaranti	-230	-246
Övriga räntekostnader	-505	-513
Summa	-127 674	-116 881
Avräknade räntekostnader redovisade i nettoresultat av finansiella transaktioner	3 501	3 054
Summa räntekostnader	-124 284	-112 227
varav räntekostnader enligt effektivräntemetoden samt räntor på derivat i säkringarredovisning	-115 885	-100 238
Räntenetto	46 841	47 578

På raderna Derivatinstrument ingår räntenetto som är hänförligt till tillgångar och skulder som säkras. Dessa kan ha både positiv och negativ inverkan på räntetäckningar och räntekostnader.

K4 Provisionsnetto

mk	2024	2023
Courtag och övriga värdepappersprovisioner	440	420
Fonder	5 980	5 534
Depå och övrig kapitalförvaltning	1 171	907
Rädgivning	208	236
Försäkringar	776	673
Betalningar	2 870	2 811
Ut- och inlåning	1 017	1 156
Garantier	101	105
Övriga provisionsintäkter	582	536
Summa provisionsintäkter	13 262	12 560
Värdepapper	-318	-243
Betalningar	-1 077	-1 053
Övriga provisionskostnader	-131	-124
Summa provisionskostnader	-1 526	-1 421
Provisionsnetto	11 726	11 139



3.1

Inledning

Förvaltningsberättelse

Finansiella rapporter
Koncernen

Hållbarhet

Övrigt

K4 forts.

Provisionsintäkter per segment 2024

mkr	Sverige	Stor- britannien	Norge	Neder- länderna	Capital Markets	Övrigt	Justeringar och elimineringar	Totalt
Courtage och övriga värdepappersprovisioner	164	9	13	15	254	11	-17	449
Fonder	5 211	345	220	74		181	-57	5 980
Depå och övrig kapitalförvaltning	870	40	131	103	1	20		1 171
Rådgivning		50	1		179	8	-30	208
Försäkringar	750	1	19			1	-1	776
Betalningar	2 262	382	283	1		1		2 879
Ut- och inlåning	630	151	120	10	3	100	-3	1 017
Garantier	98	14	30	1		43	-1	191
Övriga provisionsintäkter	550	4	4	1	314	2	-302	582
Summa provisionsintäkter	10 657	945	832	207	782	373	-413	13 252

Provisionsintäkter per segment 2023

mkr	Sverige	Stor- britannien	Norge	Neder- länderna	Capital Markets	Övrigt	Justeringar och elimineringar	Totalt
Courtage och övriga värdepappersprovisioner	154	5	11	11	244	15	-20	420
Fonder	4 747	335	231	92		193	-65	5 534
Depå och övrig kapitalförvaltning	725	42	110	95		20	-1	997
Rådgivning		50	1		184	2	-1	236
Försäkringar	670		3			1	-1	673
Betalningar	2 309	320	270	1		5		2 811
Ut- och inlåning	720	143	114	9	2	165	-2	1 150
Garantier	100	13	40	1		41	1	195
Övriga provisionsintäkter	521	4	4	1	292	1	-287	535
Summa provisionsintäkter	9 853	919	784	209	721	450	-376	12 650

Provisionsintäkter avser intäkter från avtal med kunder. Intäkter från Courtage och övriga värdepappersprovisioner, Rådgivning, Betalningar samt Ut- och inlåning redovisas huvudsakligen när tjänsterna utförs, därför till säsong vid en viss tidpunkt. Intäkter från Fonder, Depå och övrig kapitalförvaltning, Försäkringar och Garantier redovisas huvudsakligen i takt med att dessa tjänster utförs, därför till säsong över tid.

Förvaltad kapital

mkr	2024	2023
Fonder, exkl PPM och fondförsäkring	788	608
PPM	93	79
Fondförsäkring	227	204
avgår externa fonder	-1	-2
Summa fonder	1 107	949
Strukturerade produkter	3	3
Depåförsäkring	62	52
avgår bankens fonder och strukturerade produkter	-35	-27
Traditionell försäkring	6	6
avgår bankens fonder och strukturerade produkter	-6	-6
Discretionärt och institutionellt kapital, exkl försäkring	308	349
avgår bankens fonder och strukturerade produkter	-343	-298
Summa förvaltad kapital, exkl värdepapper i depå	1 192	1 028
Värdepapper i depå, exkl fonder	810	712
Värdepapper i depå, exkl fonder, avseende Handelsbankens närstående stiftelser m m	30	35



3.1

K5 Nettoresultat av finansiella transaktioner

mkr	2024	2023
Upplupet anskaffningsvärde	605	608
varav lån	169	95
varav räntebärande värdepapper		0
varav emitterade värdepapper	435	513
Verkligt värde via övrigt totalresultat	0	-1
varav räntebärande värdepapper – förväntade kreditförluster	0	0
varav räntebärande värdepapper – omklassificerat från övrigt totalresultat	0	-1
Verkligt värde via resultaträkningen, verkligt värdeoptionen	-112	670
varav räntebärande värdepapper	-112	670
Verkligt värde via resultaträkningen, obligatoriskt iakttagelseeffekt	2 940	1 494
varav tillgångar som innehas för försäkringstagarnas räkning	297	336
Säkringsredovisning	-43	166
varav nettoresultat säkringar av verkligt värde	-59	82
varav ineffektivitet i kassafördämlingar	15	83
Summa	3 309	2 667
Avskrivning på tillgångar som innehas för försäkringstagarnas räkning	-297	-336
Nettoresultat av finansiella transaktioner	3 103	2 661

Den ackumulerade värdet förändring som beror på förändringar av kreditrisk från det första redovisningsstilleståndet för finansiella tillgångar som klassificerats till verkligt värde över resultaträkningen, verkligt värdeoptionen, uppgår till -5 mkr (113).

K6 Försäkringsnetto

mkr	2024	2023
Försäkringsintäkter	1 188	1 169
Kostnader för försäkringstjänster ¹⁾	-992	-958
Resultat från försäkringstjänster	194	211
Resultat från innehavda återförsäkringsavtal	-1	-10
Finansiella intäkter och kostnader från försäkringsavtal	-67	-44
Försäkringsresultat	126	157
Avskrivning på tillgångar som innehas för försäkringstagarnas räkning	297	336
Försäkringsnetto	422	493

1) Anskaffningskostnader redovisas direkt i resultaträkningen och uppgår till -13 mkr (-13).

K7 Övriga intäkter

mkr	2024	2023
Hyrinntäkter	10	14
Andra rörelseintäkter ¹⁾	193	311
Summa	203	325

1) Under 2024 intäktsfördes återbetalning av moms hänförlig till tidigare år, vilket påverkar andra rörelseintäkter med 52 mkr. Under 2023 intäktsfördes återbetalning av moms hänförlig till försäljningen av kontinösa verksamheter, vilket påverkade andra rörelseintäkter med 141 mkr. I övrigt består andra rörelseintäkter av olika mindre poster respektive år.



3.1

Inledning

Förvaltningsberättelse

Finansiella rapporter
Koncernen

Hållbarhet

Övrigt

K8 Personalkostnader

mkr	2024	2023
Löner och avoden	-10 744	-9 532
Socialavgifter	-2 500	-2 343
Pensionskostnader ¹⁾	-1 701	-1 112
Avsättning till resultatandelssystem	-00	-83
Andra personalkostnader	-501	-572
Summa	-15 731	-13 642

1) Komponenterna i redovisade pensionskostnader framgår av tabellen Pensionskostnader.

Löner och avoden

mkr	2024	2023
Ledande befattningshavare ¹⁾	-141	-158
Övriga	-10 603	-9 374
Summa	-10 744	-9 532

1) Ledande befattningshavare i moderbolaget samt vd:ar, vice vd:ar och styrelser i dotterbolag (i genomsnitt 51 personer).

Personalkostnader hänförliga till avvecklad verksamhet i Finland framgår av not K14.

Könsfördelning

%	2024		2023	
	Män	Kvinnor	Män	Kvinnor
Ledande befattningshavare och styrelser	65	35	62	38
varav i moderbolaget	55	44	53	47
varav i dotterbolag	71	29	68	32
Styrelser	62	38	59	41
varav i moderbolaget	54	46	46	54
varav i dotterbolag	64	36	62	38

Medelantal anställda

	2024			2023		
	Totalt	Män	Kvinnor	Totalt	Män	Kvinnor
Sverige	7 462	3 630	3 833	7 285	3 530	3 755
Storbritannien	3 095	1 717	1 378	2 929	1 632	1 297
Norge	1 050	557	493	888	460	428
Nederländerna	458	292	166	415	205	190
USA	53	30	23	53	30	23
Luxemburg	53	29	24	51	27	24
Polen	14	3	11	10	4	12
Övriga länder	33	14	19	52	23	29
Summa	12 224	6 281	5 943	11 683	5 671	6 012

Medelantal anställda hänförliga till avvecklad verksamhet i Finland framgår av not K14.

Erdttninger¹⁾ över en miljon EUR

Antal personer	2024	2023
Lönsteg 1,0–1,5 m euro	5	1
Lönsteg 1,5–2,0 m euro	1	1
Summa	6	2

1) Inklusive intjänad pension och andra löneförmåner.



3.1

KB forts.

Ersättningar¹⁾ till risktagare²⁾, segment

mkr	2024		2023	
	Ersättning	Antal personer	Ersättning	Antal personer
Handelsbanken Sverige	441	288	440	295
Handelsbanken Storbritannien	413	187	391	182
Handelsbanken Norge	120	53	111	55
Handelsbanken Nederländerna	88	45	87	40
Handelsbanken Markats	69	17	104	24
Övrigt	386	119	300	119
Avvecklad verksamhet ³⁾	142	38	101	37
Summa	1 659	747	1 540	788

1) Intjänade ersättningar inklusive pension och andra förmåner har kostnadsförts i sin helhet.
2) Anställda vars arbetsuppgifter i tjänsten väsentligt kan påverka bankens riskprofil enligt kommissionens delegerade förordning (EU) 923/2021. Risktagare eller annan särskilt reglerad personal med rörlig ersättning kan finnas i dotterbolag vars ersättningspolicy följer annan EU-förordning eller av Finansinspektionen publicerad föreskrift.
3) Avvecklad verksamhet i Finland.

Ersättningar¹⁾ till risktagare²⁾

	2024		2023	
	Verkställande ledning ³⁾	Övriga risktagare	Verkställande ledning ³⁾	Övriga risktagare
Intjänade fasta ersättningar, mkr	87	1 510	122	1 383
Intjänade prestationsbaserade rörliga ersättningar, mkr				
Intjänade övriga rörliga ersättningar, mkr	0	62	0	25
Summa	87	1 572	122	1 418
Antal personer som enbart fått fast ersättning		25	1	23
Antal personer som har möjlighet att få både fast och prestationsbaserad ersättning				
Antal personer med både fast och rörlig ersättning	10	712	15	729
Summa antal personer	10	737	16	782
Garanterade kostnadsförda rörliga ersättningar i samband med nyanställning, mkr				
Uttäta garanterade rörliga ersättningar i samband med nyanställning, mkr				

1) Intjänade ersättningar inklusive pension och andra förmåner har kostnadsförts i sin helhet. Prestationsbaserade rörliga ersättningar bildas på individuell nivå under räkenskapsåret efter intjänningen och betalas ut eller skjuts upp i enlighet med bankens policy för rörliga ersättningar. Under 2024 har inga anställda, identifierade som risktagare på grund av sina arbetsuppgifter, tjänat in prestationsbaserad rörlig ersättning. Utöver ovan har för 2024 en anställd identifierats som risktagare på grund av sin ersättningsnivå, med en ersättning uppgående till 4,9 mkr. Eventuell bildning av prestationsbaserad rörlig ersättning avseende intjänandeår 2024 kommer ske under våren 2025. För 2023 identifierades en anställd som risktagare på grund av sin ersättningsnivå, och har tilldelats prestationsbaserad rörlig ersättning om totalt 0,9 mkr varav 0,4 mkr har utbetalats 2024. All prestationsbaserad rörlig ersättning betalas ut kontant eller i finansialia instrument. Beloppen redovisas exklusive socialavgifter. Förtoganderätten över uppskjutna ersättningar övergår till den anställda vid utbetalningsstillestånd. Övrig rörlig ersättning avser utbetalning av resultatandelssystemet Oktogonen och uttäta av gångsvederlag. Utbetalning av resultatandelssystemet Oktogonen uppgår till 12 mkr (21). Beloppet är exklusive socialavgifter. Totalt uttäta avgångsvederlag under året uppgår till 50 mkr (4) varav det enskilt högsta uppgår till 7,2 mkr (1,4). Under året har avgångsvederlag till 13 (6) risktagare betalats ut med 28 mkr (1). Garanterad rörlig ersättning förekommer inte.
2) Anställda vars arbetsuppgifter i tjänsten väsentligt kan påverka bankens riskprofil enligt kommissionens delegerade förordning (EU) 923/2021. Risktagare eller annan särskilt reglerad personal med rörlig ersättning kan finnas i dotterbolag vars ersättningspolicy följer annan EU-förordning eller av Finansinspektionen publicerad föreskrift.
3) Enligt Finansinspektionens föreskrifter FFFS 2011:1.

Ersättningar till anställda

Information om ersättningsprinciper till samtliga anställda i Handelsbankenkoncernen beskrivs närmare i bolagsstyrningsrapporten på sidan 49–50.
Enligt Finansinspektionens föreskrift FFFS 2011:1 och enligt kommissionens delegerade förordning (EU) 575/2013 samt (EU) 923/2021 ska banker identifiera anställda vars arbetsuppgifter har en väsentlig inverkan på bankens riskprofil. Handelsbanken har identifierat 748 (769) medarbetare med sådana arbetsuppgifter och benämner dem risktagare. I tabellerna ovan redogörs för Handelsbankenkoncernens ersättningar till dessa risktagare enligt upplysningskrav i ovan nämnda regelverk. Under 2024 har Handelsbankenkoncernen inga anställda, vars arbetsuppgifter har en väsentlig inverkan på bankens riskprofil, som har tjänat in prestationsbaserad rörlig ersättning.

Handelsbanken har för räkenskapsåret 2024 gjort en avsättning till resultatandelssystemet Oktogonen om 96 mkr (83).

Resultatandelssystemet Oktogonen
Resultatandelssystemet Oktogonen omfattar samtliga anställda i Handelsbankenkoncernen. Avsättningen klassificeras som rörlig ersättning och baseras på att lönsamhetsmått kopplade till Handelsbankens företagsmål är uppfyllda och styrelsens samlade bedömning avseende bankens utveckling. Utbetalning sker i huvudsak kontant till medarbetaren alternativt till ett pensionssparande, sparplan eller som en kombination.

Aktierelaterade ersättningar
Samtliga anställda i Handelsbanken plc omfattas av ett program för aktierelaterad ersättning Share Incentive Plan (SIP), vilken följer lagstiftningen i Storbritannien. Ersättningen regleras med aktier i moderbolaget Handelsbanken AB. En SIP erfordrar att en brittisk stiftelse används

för att hantera programmet för den aktierelaterade ersättningen för företagets räkning. En stiftelse har därför etablerats och stiftelsen administreras av en förvaltare. Stiftelsen förvärvar och allokerar aktier till de anställda samt innehar de tilldelade aktierna för de anställdas räkning. De anställda måste behålla sina tilldelade aktier i stiftelsen i minst fem år, annars kan det uppstå skattemässiga konsekvenser för de anställda. Utdelning som erhålls under perioden som aktierna kvarstår i stiftelsen tillfaller de anställda.
Förutsättningarna för avsättning till SIP och intjänandevillkoren är desamma som för avsättning till resultatandelssystemet Oktogonen. Intjänandeperioden är således föregående räkenskapsår. Se avsnitt Ersättningsprinciper i Handelsbanken. Styrelsen i Handelsbanken plc fattar beslut om den slutliga avsättningen till incitamentsprogrammet SIP.
Under verksamhetsåret 2024 har aktierelaterade ersättningar om 54,7 mkr (78,6) kostnadsförts avseende intjänandeåret 2023, vilka



3.1

Införning

Förvaltningsberättelse

Finansiella rapporter
Koncernen

Hållbarhet

Övrigt

K8 forts.

Ersättning till verkställande direktör, vice verkställande direktör och verkställande ledning

mkr	Fast ersättning				Rörlig ersättning		Pensionskostnader Förmåns- och premie- bestämda planer		Fast och rörlig ersättning inklusive pensionskostnader		Andel fast ersättning/ total ersättning	
	Grundlön		Förmåner		2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023
	2024	2023	2024	2023								
Verkställande direktör												
Michael Green ¹⁾	14,0		0,1		0,0		4,9		19,0		100%	
Carina Åkerström ²⁾		14,5		0,0		0,0		5,1		20,2		100%
Vice verkställande direktör												
Carl Cederschiöld ³⁾	8,4	7,8	0,2	0,2	0,0	0,0	2,3	2,0	10,9	10,0	100%	100%
Per Beckman ⁴⁾	9,6	7,5	0,3	0,3	0,0	0,0	3,4	2,3	13,3	10,1	100%	100%
Övrig verkställande ledning ⁵⁾	34,5	61,4	2,2	4,0	0,1	0,3	7,8	14,1	44,6	80,7	100%	100%
Gemensnittligt antal personer, vd, v.d, verkställande ledning	10	15										
Antal personer per december, vd, v.d, verkställande ledning	9	15										

Pensionskostnaden avser pensionsintäktning i förmånsbestämda pensionsplaner i enlighet med IAS19 alternativt betald premie för premiebestämda pensionsplaner. Intjänad förmånsbestämd pension är cantastbar och tryggs i bankens pensionsförsäkring eller försäkras i bankens pensionskassa. Vid avgång ur tjänst före pensionsålder erhålls förtjänad förmåns- och/eller premiebestämd pension. Utbetalning av rörlig ersättning i form av resultatandelsystemet Oktogonen har gjorts 2024. Före lokal skatt och socialavgifter uppgick beloppet till 20 400 kronor (34 104) per anställd.

- 1) Tillträdde som verkställande direktör 2024-01-01. Premiebestämd pension om 35% av lönen under tiden som verkställande direktör. Tidigare intjänad förmånsbestämd pension är lagd i förtjänst.
2) Avgick som verkställande direktör 2023-12-31. Premiebestämd pension om 35% av lönen under tiden som verkställande direktör. Tidigare intjänad förmånsbestämd pension är lagd i förtjänst.
3) Förmånsbestämd pension enligt kollektivavtal i kombination med en premiebestämd pension som uppgår till 90% av lönen över 90 inkomstbasbelopp. Den förmånsbestämda pensionen är fullt intjänad vid 65 år.
4) Premiebestämd pension om 35% av lönen från och med 18 oktober 2023, dessförinnan 30%. Tidigare intjänad förmånsbestämd pension är fullt intjänad och lagd i förtjänst.
5) Övriga ledande befattningshavare, anställda i banken, erhåller en förmånsbestämd eller en premiebestämd pension enligt kollektivavtal i kombination med en premiebestämd pension som uppgår till som mest 35% av lönen överstigande lönbak i kollektivavtal. Den förmånsbestämda pensionen är fullt intjänad vid 65 år. Belopp för grundlön och pension anges före eventuell löneavdrag. Bland övrig verkställande ledning har två anställda växlat 1,6 mkr från lön till pension.

redovisats som en ökning av det egna kapitalet. Bankens kostnad för den aktierelaterade ersättningen kan därefter inte förändras. Ersättningarna har reglerats genom att stiftelsen förvärvat 531 263 aktier (891 271) i Handelsbanken AB på marknaden till ett genomsnittligt marknadspris om 100,3 kr per aktie (91,8), vilka tilldelats de anställda. I koncernen utgör dessa förvärv säkringar av aktierelaterad ersättning, vilka har minskat det egna kapitalet. Se Förändring i eget kapital.

Ersättningar till ledande befattningshavare

Ledande befattningshavare i Handelsbanken är ledamöter i styrelsen, verkställande direktören, vice verkställande direktör samt övriga medlemmar i verkställande ledningen, se även bolagsstyrningsrapporten sidorna 54-57. Ersättningar till ledande befattningshavare i moderbolaget följer av årsstämman 2024 fastställda ersättningsriktlinjer, se även sidan 51. Upplysningar om ersättningar, pensionsförpliktelser samt om krediter till och inlåning från ledande befattningshavare i Handelsbanken lämnas på dessa sidor. Det gäller även för dot-

terbolagens verkställande direktörer, vice verkställande direktörer och styrelseledamöter.

Ersättning till ledande befattningshavare i Handelsbankenkonglomeratet utgår endast i form av fast lön och ersättning till pension samt sedvanliga förmåner som till exempel tjänstebil. Som en del av ersättningen kan banken även tillhandahålla en tjänstebostad efter särskilt styrelsebeslut. De ledande befattningshavarna omfattas, på samma villkor som alla anställda i banken, av resultatandelsystemet Oktogonen. Prestationsbaserad rörlig ersättning förekommer inte. Ledande befattningshavare som är anställd i banken har rätt att växla lön till pension på samma villkor som gäller för alla medarbetare.

Styrelseledamöter som inte är anställda i banken eller i bankens dotterbolag har endast erhållit arvode enligt årsstämmans beslut.

Styrelseledamöter som är anställda i banken eller bankens dotterbolag erhåller ersättning och pensionsförmåner med anledning av sin anställning. Inga ytterligare ersättningar eller pensionsförmåner utgår på grund av styrelseuppdraget. Information om arvode till styrelseledamöter i moderbolaget finns på sidorna 54-57 i bolagsstyrningsrapporten.

Den pensionskostnad som banken anger i nedanstående ersättningsuppgifter för ledande befattningshavare utgörs av service

cost enligt IAS19 avseende förmånsbestämda pensioner, avtalad premie för premiebestämda pensioner och eventuell pensionspremie som växlats från lön.

Arvoden från externa styrelseuppdrag för bankens räkning har levererats in till banken.

Ersättningar till ledande befattningshavare i dotterbolag

Arvode till styrelseledamöter i dotterbolag, 21 personer (20), vilka inte är anställda i banken eller dess dotterbolag uppgår till 15,9 mkr (17,9).

Verkställande direktörer¹⁾ och vice verkställande direktörer i dotterbolag, 13 personer (15), har år 2024 erhållit fasta löner efter växling till pension om 45,6 mkr (48,3). Övriga löneförmåner utgör 7,7 mkr (6,2) och pensionskostnaden uppgick till 6,4 mkr (6,0). Före växling till pension uppgick pensionskostnaden till 4,9 mkr (4,6), vilket motsvarar 10,4% (9,2) av lönen. Rörlig ersättning i form av resultatandelsystemet Oktogonen uppgick till 0,2 mkr (0,4).

Ersättning utges inte till verkställande direktörer och vice verkställande direktörer i dotterbolag vilka har en annan huvudsaklig arbetsuppgift i Handelsbanken.

1) Verkställande direktören i Handelsbanken plc ingick även i koncernledningen till och med 31 mars 2024.



3.1

K8 forts.

Pensionsförpliktelser till ledande befattningshavare

Pensionsförpliktelser¹⁾ för verkställande direktören, Michael Green, intjänad före tillträdet som verkställande direktör och nu lagd i så kallat fribrev uppgick till 64,5 mkr per den 31 december 2024. Pensionsförpliktelserna för vice verkställande direktören, Per Beckman, uppgick till 109,8 mkr (105,7) per den 31 december 2024, för vice verkställande direktören Carl Cederschiöld uppgick pensionsförpliktelserna till 10,8 mkr (10,0) per den 31 december 2024 och för övriga ledande befattningshavare i moderbolaget, 6 personer (12), till 54,1 mkr (121,2). Pensionsförpliktelserna i Handelsbanken-koncernen för samtliga nuvarande och tidigare ledande befattningshavare uppgick till 2 667 mkr (2 649) per den 31 december 2024 varav pensionsförpliktelserna för samtliga nuvarande och tidigare ledande befattningshavare i

moderbolaget uppgick till 2 466 mkr (2 458) per den 31 december 2024. Antal personer som omfattas av dessa förpliktelser är i koncernen 82 (87), varav 66 är pensionärer (65). Motsvarande antal för moderbolaget är 66 (71), varav 57 är pensionärer (56).

Krediter till och inlåning från ledande befattningshavare

Krediter till ledande befattningshavare i moderbolaget uppgick per den 31 december 2024 till 1,7 mkr (16,3) i moderbolaget och till 121,4 mkr (123,5) i dotterbolagen. Inlåning till moderbolaget från dessa personer uppgick till 537,7 mkr (474,2). Bankens ränteintäkter från dessa personer för krediter i moderbolaget uppgick för 2024 till 0,0 mkr (0,1) och i dotterbolagen till 4,0 mkr (3,3). Erlagd ränta till dessa personer för inlåning i moderbolaget uppgick till 24,5 mkr (18,9).

Krediter till ledande befattningshavare i dotterbolagen uppgick per den 31 december 2024 i Handelsbankenkoncernen till 142,8 mkr (112,7). Villkor för krediter och inlåning för ledande befattningshavare som är anställda i Handelsbankenkoncernen är i enlighet med samma principer som för alla andra medarbetare i koncernen. Alla krediter beviljas efter kreditprövning.

1) Pensionsförpliktelser avser belopp som banken enligt IAS19 reserverar för utbetalning av framtida förmånsbestämda pensioner. Storlek på förpliktelserna beror på finansiella och demografiska antaganden vilka kan ändras mellan åren.

Pensioner

Pensionsförpliktelser, netto

mkr	2024	2023
Pensionsförpliktelser	31 683	31 007
Förvalningstillgångarnas verkligavärde	44 785	42 706
Pensionsnetto	13 102	11 699

Utöver pensionsförpliktelserna och förvalningstillgångarna i tabellen ovan finns inom Svenska Handelsbankens Pensionsstiftelse avsättningar som gjorts under åren 1989-2004 till en särskild kompletterande pension (SKP). I den ingår förvalningstillgångarnas marknadsvärde uppgår till 6 050 mkr (7 855). SKP:n medför en utfästelse för banken uppgående till samma belopp som förvalningstillgångarna.

En del av denna utfästelse, 5 150 mkr (5 051), är villkorad.

Pensionskostnader

mkr	2024	2023
Pensioner intjänade under året ¹⁾	-510	-308
Pensioner intjänade under tidigare år		1
Ränta på pensionsförpliktelserna	-1 000	-1 111
Ränta på förvalningstillgångar	1 535	1 678
Pensionskostnader, förmånsbestämda planer	-74	170
Pensionskostnader, premiebestämda planer ²⁾	-1 236	-957
Socialavgifter, premiebestämda planer ¹⁾	-301	-325
Summa pensionskostnader	-1 701	-1 112

1) Utöver beräknad service cost ingår engångsposter hänförliga till bankens omställningsarbete.

2) Pensionskostnader hänförliga till avvecklad verksamhet i Finland framgår av not 14.



3.1

Inledning
 Förvaltningsberättelse
 Finansiella rapporter
 Hållbarhet
 Övrigt

KB forts.

Pensionsförpliktelser		
mkr	2024	2023
Ingående balans	31 007	26 419
Pensioner intjänade under året	470	433
Pensioner intjänade under tidigare år		-1
Ränta på pensionsförpliktelserna	1 009	1 111
Betalda förmåner	-1 335	-1 248
Aktuariella vinster (-)/förluster (+)	101	4 355
Valutaeffekt	155	28
Utgående balans ¹⁾	31 683	31 007

1) I utgående balans per den 31 december 2024 har värdesättning enligt inflationsantagande medräknats för den svenska pensionsförpliktsen. I utgående balans per den 31 december 2023 har 2024 års värdesättning om 0,48% medräknats för den svenska pensionsförpliktsen. Effekten av att inkludera beslutad värdesättning ökade pensionskulden med 938 mkr per den 31 december 2023.

Förvaltningstillgångar		
mkr	2024	2023
Ingående balans	42 700	30 204
Ränta på förvaltningstillgångar	1 535	1 678
Tillskjutna medel från arbetsgivaren	1 005	924
Erstatning till arbetsgivaren	-842	-780
Utbetalda medel direkt till anställd	-417	-309
Aktuariella vinster (+)/förluster (-)	535	2 129
Valutaeffekt	173	-44
Utgående balans	44 786	42 706

Avkastning på förvaltningstillgångar		
mkr	2024	2023
Ränta på förvaltningstillgångar	1 535	1 678
Aktuariella vinster (+)/förluster (-)	535	2 129
Virklig avkastning	2 070	3 807

Fördelning av förvaltningstillgångar		
mkr	2024	2023
Noterade aktier och fondandelar ¹⁾	30 271	32 800
Icke-noterade aktier och andelar	1	2 179
Noterade räntebärande värdepapper	7 178	6 901
Övriga förvaltningstillgångar	1 335	705
Summa	44 786	42 706

1) Fondandelarna uppgår till 27 058 mkr (24 568) varav räntefonder 20 387 mkr (18 797). I förvaltningstillgångarna ingår varken aktier eller obligationer utgivna av Svenska Handelsbanken AB (publ) på balansdagen.

Aktuariella vinster (-)/förluster (+), pensionsförpliktelser		
mkr	2024	2023
Ändringar i demografiska antaganden	98	6
Ändringar i finansiella antaganden	-608	2 842
Erfarerhetsbaserade justeringar	701	1 507
Summa	191	4 355



3.1

KB forts.

Framtida kassaflöden		
mkr	Utfall 2024	Prognos 2025
Betalda förmåner	-1 385	-1 218
Tillskjutna medel från arbetsgivaren	1 005	1 200

Förmånsbestämd pension intjänas huvudsakligen av anställda i Sverige. Av den totala pensionsförpliktsen avser 29 724 mkr (29 053) den svenska planen och 1 902 mkr (1 980) den för nyintjäning stängda planen i Storbritannien. Därutöver finns förmånsbestämda planer av mindre omfattning kvar i Norge. Dessa är med hänsyn till sin storlek oväsentliga och redogörs därför inte för närmare.

Av de totala förvaltningsutgiftsgångarna avser 42 708 mkr (40 721) den svenska planen och 2 077 mkr (2 075) den stängda planen i Storbritannien.

I Sverige utgår ålderspension från och med 65 års ålder enligt pensionsavtal mellan SAO och Finansförbundet/SACO-förbunden med 10% av årlönen, upp till 7,5 inkomstbasbelopp. På lönelast i inkomstbasbeloppintervall 7,5-20 utgår ålderspension med 65% och i inkomstbasbeloppintervall 20-30 med 32,5% av årlönen. På lönelast överstigande 30 inkomstbasbelopp utgår ingen ålderspension.

Från och med den 1 mars 2020, tjänar alla nyanställda och anställda som då var yngre än 25 år in pension i en premiebestämd pensionsplan. Anställda före den 1 mars 2020 påverkas inte utan är fortsatt medlemmar i den förmånsbestämda pensionsplanen.

Pensionsplanerna är också fonderade, där förvaltningsutgiftsgångarna innehas av pensionskassa, stiftelser eller liknande juridiska personer. Dessa verksamheter regleras av nationella bestämmelser och praxis, vilka även reglerar förhållandet mellan koncernen och förvaltaren (jakter motsvarande) av förvaltningsutgifter, samt sätter rammar för hur förvaltningsutgifter får placeras. I Sverige är det främst byggnadslagen och lagen om tjänstepensionsföretag som är tillämplig. I Storbritannien tillämpas nationell lagstiftning avseende pension och skatt.

Väsentliga antaganden	Sverige		Storbritannien	
	2024	2023	2024	2023
Diskonteringsränta, %	3,0	3,5	5,4	4,5
Förväntad löneökning, %	3,5	3,5		
Pensionsuppräknings, %	2,0	2,0	3,0	3,0
Inkomstbasbelopp, %	3,0	3,0		
Inflation, %	2,0	2,0	3,1	3,0
Personalomsättning, %	4,5	5,0		
Förväntad återstående livslängd vid pension, år	22,8	22,8	24,0	24,0
Gemsamt livslängd (Macaulay), år	14,0	14,8	13,0	14,0

Antaganden om framtida löneökningar, inflation m fl bygger på den förväntade långsiktiga utvecklingen och är förenade med osäkerhet i uppskattningarna. Antaganden är satta för att på lång sikt återspegla de ekonomiska utbakterna samt för att vara snävt sammankopplade. Beräkningen av pensionsförpliktsen för anställda i Sverige bygger på DUS23 som är på marknaden vedertagna antaganden om livslängd baserade på statistik framtagen av Svensk Försäkring.

Känslighetsanalys	Påverkan på pensionsförpliktsen, mkr				
	Ändring i antagande	Ökad pensionsförpliktelse		Minskad pensionsförpliktelse	
		2024	2023	2024	2023
Diskonteringsränta, %	0,5	2 480	2 480	-2 200	-2 202
Förväntad löneökning, %	1,0	972	954	-824	-791
Pensionsuppräknings, %	0,5	1 574	1 552	-1 400	-1 444
Förväntad återstående livslängd vid pension, år	1,0	1 000	985	-1 010	-988

Känslighetsanalysen ovan baseras på ett antagande förändras och övriga antaganden är konstanta. I praktiken är det osannolikt att dessa inifrån och förändringar i vissa antaganden kan vara korrelerade. Vid beräkningen av känsligheten i pensionsförpliktsen för förändringar i väsentliga antaganden, har samma metod använts för att beräkna pensionsförpliktsen som den som använts för den redovisade pensionsförpliktsen. Metoden beskrivs närmare i bankens redovisningsprinciper (se not K1, avsnitt 12). Jämfört med årsredovisningen 2023 har det inte skett några förändringar i de metoder som använts vid upprättandet av känslighetsanalysen.

Genom sina förmånsbestämda pensionsplaner är banken exponerad för ett antal risker. De viktigaste riskerna beskrivs nedan:

Tillgångsvolatilitet: Pensionsförpliktsen beräknas med hjälp av en diskonteringsränta som baseras på företagsobligationer. Om förvaltningsutgifter genererar sämre avkastning än diskonteringsräntan är risken för att underskott uppstår låg eftersom förvaltningsutgångarna har ett övervärde. I förvaltningsutgångarna ingår aktier och aktiefonder, vilka förväntas ge högre avkastning än företagsobligationer på lång sikt, samtidigt som de ger högre volatilitet och risk på kort sikt. Med anledning av pensionsförpliktsens långsiktiga karaktär anser banken att en betydande andel aktier är lämplig för att hantera planerna effektivt.

Förändringar i obligationeräntan: Om företagsobligationsräntorna sjunker så kommer pensionsförpliktsen att öka. Detta kommer dock delvis att kompenseras genom att värdet av de obligationer som ingår i förvaltningsutgångarna kommer att öka.

Inflationerisk: Pensionsförpliktsen är kopplade till inflationen. Högre inflation kommer att leda till att pensionsförpliktsen ökar. Värderingen av förvaltningsutgångarna påverkas inte direkt av inflationen i någon väsentlig utsträckning. Om inflationen ökar så kommer det sannolikt att leda till ett ökat underskott i pensionsplanerna.

Förväntad livslängd: Byttat med pensionsplanerna är att generera pension som sträcker sig över de anställdas livstid. Detta innebär att om den förväntade livslängden ökar så kommer pensionsförpliktsen att öka.

Matchning av tillgångar och skulder: Placering av tillgångar utgår från utfästelsans sammansättning och förväntade utveckling. Den övergripande målsättningen är att placeringsutgångarnas avkastning på modellering och lång sikt minst ska motsvara pensionsförpliktsens utveckling. En andel av tillgångarna har investerats i aktier, men investeringar har även gjorts i räntebärande instrument och likvida medel. En betydande andel aktier anses lämplig för att hantera planerna effektivt.

Fondering: Lågsta fonderingskrav skiljer sig åt mellan planer, men där sådana krav är baserade på kollektivavtal eller internt fastställt policy så är fonderingskravet normalt att pensionsförpliktsen värderad till lokala krav ska täckas fullt ut. Fonderingsnivån övervakas löpande. Banken anser att den nuvarande avgiftsnivån är lämplig.



3.1

Inledning

Förvaltningsberättelse

Finansiella rapporter
Koncernen

Hållbarhet

Övrigt

K9 Övriga kostnader

mkr	2024	2023
Fastigheter och lokaler	-708	-686
IT-relaterade kostnader	-3 374	-3 379
Kommunikation	-263	-284
Färor och marknadsföring	-282	-299
Köpta tjänster	-2 052	-2 355
Materialanskaffning	-140	-188
Andra kostnader	-648	-605
Summa	-7 474	-7 708

Eredittning till revisorer och revisionsbolag¹⁾

mkr	PricewaterhouseCoopers AB		Deloitte AB	
	2024	2023	2024	2023
Revisionsuppdraget	-39	-40	-8	-8
Revisionsverksamhet utöver revisionsuppdraget	-5	-5	-2	-2
Skattstödgivning				
Övriga tjänster	-3	-1		

1) Beloppen i tabellen är exklusive moms.

K10 Kreditförluster

mkr	2024	2023
Förväntade kreditförluster på poster i balansräkningen		
Årets reservering Steg 3	-377	-328
Steg 3 reservering tidigare år som återförts	111	209
Summa förväntade kreditförluster i Steg 3	-266	-119
Årets nettoreservering Steg 2	485	-112
Årets nettoreservering Steg 1	218	39
Summa förväntade kreditförluster i Steg 1 och Steg 2	703	-72
Summa förväntade kreditförluster på poster i balansräkningen	438	-102
Förväntade kreditförluster på poster utanför balansräkningen		
Årets nettoreservering Steg 3	1	8
Årets nettoreservering Steg 2	111	-39
Årets nettoreservering Steg 1	54	8
Summa förväntade kreditförluster på poster utanför balansräkningen	166	-23
Bortskrivningar		
Årets konstaterade kreditförluster ¹⁾	-290	-200
Utbryttad andel av tidigare reserverat i Steg 3	213	185
Summa bortskrivningar	-77	-15
Återvinningar	74	149
Kreditförluster, netto	601	-141
varav utlåning till allmänheten	435	-120

1) Av årets konstaterade kreditförluster omfattas 114 mkr (99) av efterbevakning.



3.1

K10 forts.

mkr	2024	2023
1) Förväntade kreditförluster i Stag 3 i och utanför balansräkningen	-264	-111
Förändring i modellbaserad reservering för Stag 1 och Stag 2:		
Uppdatering av makroekonomiska scenarier och riskfaktorer	179	205
Plytt av exponeringar i utsatta branscher från Stag 1 till Stag 2 ¹⁾	9	2
Förändring i fallissemangsrisk i ingående portfölj (netto ratingförändringar)	-60	-483
Effekt av exponeringsförändring (balansföra, nya och avslutade exponeringar)	138	49
Övrigt i Stag 1 och Stag 2	139	112
Avgår avvecklad verksamhet	8	-7
Modellbaserade kreditförluster i Stag 1 och Stag 2	413	-121
Expertbaserad reservering		
Expertbaserad reservering	-140	-517
Avgår till avvecklad verksamhet	0	13
Expertbaserad reservering i kvarvarande verksamhet	-140	-504
Expertbaserade kreditförluster Stag 1 och Stag 2 (Förändring i reservering jämfört med föregående år)	455	17
2) Förväntade kreditförluster i Stag 1 och Stag 2 i och utanför balansräkningen	868	-104
3) Bortskrivningar	-77	-75
4) Återvinningar	74	140
Kreditförluster, netto (1+2+3+4)	601	-141

1) Expertbaserad bedömning av signifikant ökning av kreditrisk.

Reserveringsbehovet har minskat under 2024. Ett flertal faktorer har bidragit till minskningen av modellberäknad reserv, där de viktigaste är effekten av förändringen i värdena på de framåtblickande makroekonomiska riskfaktorerna samt minskade exponeringar. Detta motverkas i viss mån av negativ ratingmigration i kundstocken. Utöver detta har ett antal mindre faktorer sammantaget bidragit till minskningen av reserveringsbehovet under året.

Banken har under året tillämpat en expertbaserad reservering baserad på ökade kreditrisker kopplade till osäkerheter som ej bedöms fullt ut fångas av bankens riskmodeller. Dessa osäkerhetsfaktorer är främst kopplade till makroekonomiska förutsättningar och potentiell betydande förändring i efterfrågebilden. Med anledning av utmaningarna att vid utgången av året uppskatta hur ovan nämnda osäkerhetsfaktorer påverkar kreditrisken på individuell

företagsnivå har banken analyserat behovet av en expertbaserad stress på branscher med risk för extra känslighet och kommit fram till ett tillkommande reserveringsbehov om 149 mkr (604) i kvarvarande verksamhet och 149 mkr (517) inklusive avvecklad verksamhet. Processen för nedskrivningsprövning för avtal i Stag 3 har inte ändrats utan följer sedvanlig rutin med individuell bedömning.



3.1

Inledning
 Förvaltningsberättelse
 Finansiella rapporter
 Koncernen
 Hållbarhet
 Övrigt

K10 forts.

Poster i och utanför balansräkningen som är föremål för nedskrivningsprövning 2024

mkr	Brutto			Reserver		
	Stag 1	Stag 2	Stag 3 ¹⁾	Stag 1	Stag 2	Stag 3
Poster i balansräkningen						
Kassa och tillgodohavanden hos centralbanker	530 003					
Övrig utlåning till centralbanker	12 547					
Utlåning till övriga kreditinstitut	18 872	55		-1	-3	
Utlåning till allmänheten	2 288 590	76 580	8 525	-210	-328	-1 071
Obligationer och andra röntabärande värdepapper	13 250			-2		
Summa	2 863 270	76 635	8 525	-213	-331	-1 071
Poster utanför balansräkningen						
Eventualförpliktelser	202 278	6 282	150	-30	-90	-26
varav ansvarsförbindelser	54 384	1 315	55	-6	-12	-26
varav åtaganden	237 894	4 967	104	-33	-78	0
Summa	202 278	6 282	150	-30	-90	-26

Poster i och utanför balansräkningen som är föremål för nedskrivningsprövning 2023

mkr	Brutto			Reserver		
	Stag 1	Stag 2	Stag 3 ¹⁾	Stag 1	Stag 2	Stag 3
Poster i balansräkningen						
Kassa och tillgodohavanden hos centralbanker	476 162					
Övrig utlåning till centralbanker	32 145					
Utlåning till övriga kreditinstitut	19 280	11		-1	-1	
Utlåning till allmänheten	2 292 700	136 848	7 064	-420	-810	-1 150
Obligationer och andra röntabärande värdepapper	12 700			-2		
Summa	2 833 004	136 859	7 064	-430	-820	-1 160
Poster utanför balansräkningen						
Eventualförpliktelser	284 693	11 262	164	-94	-203	-42
varav ansvarsförbindelser	56 404	1 590	60	-11	-40	-22
varav åtaganden	228 220	9 666	104	-83	-163	-20
Summa	284 693	11 262	164	-94	-203	-42

1) Bruttovolyt i Stag 3 där ingen reservering gjorts på grund av säkerheter uppgår till 6 016 mkr (4 781).
 Informationen i denna not inkluderar avyttringsgrupperna i Finland som i balansräkningen omklassificerats till Tillgångar som innehås för försäljning samt utgör avvecklad verksamhet, se not K14.

Nyckeltal kreditförluster, %

Utlåning till allmänheten	2024	2023
Kreditförlustnivå, ack	-0,02	0,01
Total reserveringsgrad	0,07	0,10
Reserveringsgrad Stag 1	0,01	0,02
Reserveringsgrad Stag 2	0,43	0,00
Reserveringsgrad Stag 3	12,50	16,28
Andel utlåning i Stag 3	0,31	0,24



3.1

K10 forts.

Förändringsanalyser
Förändring av reserv för förväntade kreditförluster, poster i balansräkningen som är föremål för nedskrivningsprövning

mkr	2024				2023			
	Steg 1	Steg 2	Steg 3	Summa	Steg 1	Steg 2	Steg 3	Summa
Reserv vid årets ingång	-430	-820	-1 150	-2 400	-480	-723	-1 257	-2 459
Bortbokningar	63	114	125	302	37	89	211	337
Bortskrivningar	0	1	203	204	0	1	213	214
Omvärdering till följd av förändring i kreditrisk	-38	297	-68	191	-219	140	-95	-175
Förändringar i modell/riskparametrar					-32	-10		-48
Valutaeffekt m m	-7	-15	-9	-32	2	2	1	5
Nyutgåva eller förvärvade tillgångar	-17	-8	-7	-32	-34	-33	-8	-75
Förflyttning till Steg 1	-27	63	1	37	-40	50	1	17
Förflyttning till Steg 2	49	-150	4	-96	109	-503	6	-328
Förflyttning till Steg 3	102	188	-229	151	167	166	-221	111
Reserv vid årets utgång	-213	-331	-1 071	-1 614	-430	-820	-1 180	-2 400

Förändring av reserv för förväntade kreditförluster, utlåning till allmänheten som är föremål för nedskrivningsprövning

mkr	2024				2023			
	Steg 1	Steg 2	Steg 3	Summa	Steg 1	Steg 2	Steg 3	Summa
Reserv vid årets ingång	-426	-819	-1 150	-2 395	-475	-722	-1 257	-2 454
Bortbokningar	63	114	125	302	36	89	211	337
Bortskrivningar	0	1	203	204	0	1	213	214
Omvärdering till följd av förändring i kreditrisk	-37	294	-68	189	-219	140	-95	-175
Förändringar i modell/riskparametrar					-32	-10		-48
Valutaeffekt m m	-7	-15	-9	-32	2	2	1	5
Nyutgåva eller förvärvade tillgångar	-17	-8	-7	-32	-34	-33	-8	-75
Förflyttning till Steg 1	-27	63	1	37	-40	50	1	17
Förflyttning till Steg 2	49	-145	4	-93	109	-502	6	-328
Förflyttning till Steg 3	102	188	-229	151	167	166	-221	111
Reserv vid årets utgång	-210	-328	-1 071	-1 608	-426	-819	-1 180	-2 395

Reserver för förväntade kreditförluster i tabellerna ovan inkluderar avyttringsgrupperna i Finland som i balansräkningen omklassificerats till Tillgångar som innehåller förståjning.

Förändring av reserv för förväntade kreditförluster, poster utanför balansräkningen som är föremål för nedskrivningsprövning

mkr	2024				2023			
	Steg 1	Steg 2	Steg 3	Summa	Steg 1	Steg 2	Steg 3	Summa
Reserv vid årets ingång	-94	-203	-42	-340	-103	-169	-82	-353
Bortbokningar	17	21		38	17	28		44
Bortskrivningar								
Omvärdering till följd av förändring i kreditrisk	43	107	17	167	8	19	39	65
Förändringar i modell/riskparametrar					-6	-6		-13
Valutaeffekt m m	1	-1		1	1	1		2
Nyutgåva eller förvärvade tillgångar	-10	-3		-13	-13	-7		-20
Förflyttning till Steg 1	-2	7		5	-8	9		2
Förflyttning till Steg 2	4	-25		-21	8	-82		-74
Förflyttning till Steg 3	2	6		8	3	4		7
Reserv vid årets utgång	-39	-90	-26	-155	-94	-203	-42	-340

Förändringsanalysen visar nettoeffekten på reserven i angivet steg per förklaringspost under perioden. Effekten av bortbokningar och bortskrivningar beräknas på ingående balans. Effekten av omvärdering till följd av förändringar i modell/riskparametrar samt valutaeffekt m m beräknas innan eventuell förflyttning av nettobeloppet mellan steg. Nyutgåva eller förvärvade tillgångar och förflyttade belopp mellan stegen redovisas efter att effekten av övriga förklaringsposter beaktats. Förflyttningarna anger effekten på reserven i angivet steg.



3.1

Inledning

Förvaltningsberättelse

Finansiella rapporter
Koncernen

Hållbarhet

Övrigt

K10 forts.

Förändring av bruttovolymer, poster i balansräkningen som är föremål för nedskrivningsprövning

mkr	2024				2023			
	Steg 1	Steg 2	Steg 3	Summa	Steg 1	Steg 2	Steg 3	Summa
Volym vid årets ingång	2 833 004	136 850	7 064	2 976 927	2 902 060	91 350	5 716	2 999 126
Bortbokningar	-190 493	-17 154	-1 506	-218 243	-502 323	-11 577	-1 035	-514 935
Bortskrivningar	-22	-0	-318	-340	-15	-4	-275	-294
Omvärdering till följd av förändring i kreditrisk	-47 430	-2 860	-321	-50 611	-0 008	-8 420	-558	-14 986
Valutasäkring m m	41 365	2 008	135	43 508	-13 018	-453	4	-13 467
Nyutgivna eller förvärvade tillgångar	193 925	3 187	72	197 184	513 044	7 138	84	520 266
Förflyttning till Steg 1	90 595	-99 432	-104		80 202	-80 136	-66	
Förflyttning till Steg 2	-55 756	56 048	-802		-140 432	140 793	-361	
Förflyttning till Steg 3	-1 929	-2 015	4 544		-1 731	-1 823	3 554	
Volym vid årets utgång	2 983 270	76 636	8 826	2 948 430	2 833 004	136 850	7 064	2 976 927

Förändring av bruttovolymer, utlåning till allmänheten som är föremål för nedskrivningsprövning

mkr	2024				2023			
	Steg 1	Steg 2	Steg 3	Summa	Steg 1	Steg 2	Steg 3	Summa
Volym vid årets ingång	2 292 700	136 848	7 064	2 436 612	2 374 713	91 340	5 716	2 471 778
Bortbokningar	-194 324	-17 154	-1 506	-213 075	-149 007	-11 317	-1 035	-161 359
Bortskrivningar	-22	-0	-318	-340	-15	-4	-275	-294
Omvärdering till följd av förändring i kreditrisk	-37 281	-557	-321	-38 159	-12 871	-9 403	-558	-22 832
Valutasäkring m m	-7 484	2 008	135	-5 341	-14 823	-304	4	-15 213
Nyutgivna eller förvärvade tillgångar	190 744	3 187	72	194 004	157 370	7 138	84	164 592
Förflyttning till Steg 1	90 590	-99 426	-104		79 396	-79 270	-66	
Förflyttning till Steg 2	-53 404	54 297	-802		-140 272	140 632	-361	
Förflyttning till Steg 3	-1 929	-2 015	4 544		-1 731	-1 823	3 554	
Volym vid årets utgång	2 288 690	76 690	8 826	2 373 696	2 292 700	136 848	7 064	2 436 612

Poster i balansräkningen i tabellerna ovan inkluderar avyttringsgrupperna i Finland som i balansräkningen omklassificerats till Tillgångar som innehas för försäljning.

Förändring av bruttovolymer, poster utanför balansräkningen som är föremål för nedskrivningsprövning

mkr	2024				2023			
	Steg 1	Steg 2	Steg 3	Summa	Steg 1	Steg 2	Steg 3	Summa
Volym vid årets ingång	284 603	11 262	164	295 119	314 586	12 533	274	327 393
Bortbokningar	-43 837	-1 717	-24	-45 579	-48 128	-3 188	-138	-51 453
Bortskrivningar	-1	0	1	0				
Omvärdering till följd av förändring i kreditrisk	37 596	-1 931	-62	35 603	-24 479	2 095	-45	-22 429
Valutasäkring m m	-45 203	52	3	-45 148	-3 010	-59	-1	-3 070
Nyutgivna eller förvärvade tillgångar	57 369	355	0	57 724	43 406	2 270	2	45 678
Förflyttning till Steg 1	5 855	-5 651	-3		10 321	-10 310	-2	
Förflyttning till Steg 2	-4 164	4 174	-11		-7 002	7 071	-9	
Förflyttning till Steg 3	-29	-62	90		-41	-42	83	
Volym vid årets utgång	292 278	6 282	169	298 719	284 603	11 262	164	295 119

Förändringsanalysen avseende bruttovolymer visar, i likhet med analysen av reserv, effekten av valda förklaringsposter på volymerna i angivet steg. Posterna för förflyttning mellan stegen och "Nyutgivna eller förvärvade tillgångar" anger beloppen i angivet steg vid periodens utgång. Övriga poster anger effekten i det steg som var gällande vid periodens ingång.

3.1

K10 forts.

Känslighetsanalys

Makroekonomisk prognos i ECL-beräkningarna och känslighetsanalys

Macroekonomisk prognos 2024 – beräkningsmetoder och källangivelser

Beräkningen av förväntade kreditförluster tillämpar framställningskande information i form av makroskärnscenarier. Den förväntade kreditförlusten är ett sannolikhetsvägt genomsnitt av de beräknade prognoserna över tre scenarier. Prognosen för det neutrala scenariet vägs med 70% (70), medan en uppgång i ekonomin vägs med 15% (15) och en nedgång i ekonomin med 15% (15). För exponeringar i Storbritannien har även ett fjärde, kraftigare negativt scenario applicerats från och med 2022. Sannolikhetsvägningen för kraftigt negativt/negativt/neutralt/positivt scenario för Storbritannien är 15%/20%/40%/45% (15/20/40/45). Dessa har legat till grund för beräkningen av förväntade kreditförluster i Steg 1 och Steg 2 per den 31 december 2024.

Makroøkonomiske risikofaktorer	Negativt scenario			Neutralt scenario			Positivt scenario		
	2025	2026	2027	2025	2026	2027	2025	2026	2027
BNP-tilvækst									
Sverige	-2,75	0,80	2,81	2,11	2,71	2,16	3,85	3,00	1,98
Storfortællingen	-3,58	-0,47	2,85	1,42	1,53	1,70	3,02	2,33	1,50
Storfortællingen, kraftigt negativt scenario	-6,08	-2,47	2,70						
Norge	-3,45	-0,34	2,25	1,55	1,05	1,60	3,15	2,45	1,40
Finland	-3,50	-0,40	2,05	1,50	1,00	1,40	3,10	2,40	1,20
Euro-området	-3,89	-0,58	2,15	1,11	1,42	1,50	2,71	2,22	1,30
USA	-2,83	0,01	2,45	2,17	2,01	1,80	3,77	2,81	1,60
Arbejdsløshed									
Sverige	10,02	10,32	10,54	8,32	7,82	7,54	7,52	6,92	6,84
Storfortællingen	6,45	7,03	7,50	4,75	4,63	4,50	4,05	3,63	3,80
Storfortællingen, kraftigt negativt scenario	6,75	8,63	8,50						
Norge	3,00	4,00	5,30	2,20	2,20	2,30	1,50	1,20	1,00
Finland	9,70	9,60	10,00	8,00	7,50	7,00	7,30	6,50	6,30
Euro-området	8,38	8,88	9,50	6,08	6,53	6,50	5,98	5,53	5,80
USA	6,08	6,90	7,30	4,38	4,50	4,30	3,68	3,50	3,60
Styrmønter									
Sverige	4,50	4,50	3,75	2,25	2,25	2,25	1,50	1,25	1,25
Storfortællingen	6,00	6,00	4,75	3,75	3,75	3,25	3,00	2,75	2,25
Storfortællingen, kraftigt negativt scenario	0,50	0,50	0,50						
Norge	5,75	5,25	4,00	3,50	3,00	2,50	2,75	2,00	1,50
Finland	4,25	4,25	3,50	2,00	2,00	2,00	1,25	1,00	1,00
Euro-området	4,25	4,25	3,50	2,00	2,00	2,00	1,25	1,00	1,00
USA	5,88	5,38	4,25	3,63	3,13	2,75	2,88	2,13	1,75
Fæstighedsprisindekling, boetatsfæstigheder									
Sverige	-4,51	-4,44	4,14	3,24	3,25	3,53	7,06	7,40	4,99
Storfortællingen	-4,90	-4,59	-1,41	0,30	1,02	1,61	4,48	5,29	5,28
Storfortællingen, kraftigt negativt scenario	-8,07	-8,41	-1,77						
Norge	-0,59	0,55	5,58	9,59	8,14	4,90	11,57	9,50	3,93
Finland	-4,08	-1,48	1,99	1,47	2,07	2,77	5,18	3,54	3,20
Euro-området	0,70	3,62	5,05	3,20	3,42	3,40	3,91	3,52	2,80
Fæstighedsprisindekling, kommercielle fæstigheder									
Sverige	-10,15	-3,37	4,19	1,45	3,88	4,51	8,42	10,22	6,28
Storfortællingen	-11,89	-8,46	0,74	-1,02	-1,44	0,76	10,80	7,95	1,82
Storfortællingen, kraftigt negativt scenario	-15,01	-8,15	0,05						
Norge	-15,53	-8,28	1,08	-1,93	-1,03	0,65	3,73	4,09	2,00
Finland	-10,50	-5,14	2,13	-1,24	0,62	2,29	3,96	5,00	3,08
Euro-området	-13,40	-6,28	2,60	-0,98	0,07	2,24	4,62	5,85	4,16

Klinikkategorierna makroskopiskt

Tabelnen visar procentuell ökning respektive minskning av reserven för förväntade kreditförluster i Steg 1 och Steg 2 per den 31 december om det negativa respektive positiva scenariot tilldelats sannolikheterna om 100%. Effekten av att sätta sannolikheten av det kraftigt negativa scenariot för Störstörnsbanken till 100% är inte inkluderat i totalen.

	2024		2023	
%	Procentuell ökning av reserv vid negativt scenario	Procentuell minskning av reserv vid positivt scenario	Procentuell ökning av reserv vid negativt scenario	Procentuell minskning av reserv vid positivt scenario
Sverige	32,98	-14,39	27,45	-15,70
Storfortsattalen	32,49	-30,87	21,13	-29,99
Storfortsattalen, kraftigt negativt scenario	37,10		29,99	
Norge	37,79	-14,96	33,08	-18,20
Finland	15,66	-0,40	8,52	-5,06
Nederländerna	47,07	-18,81	36,85	-22,53
USA	77,81	-28,43	57,50	-36,86
Övriga länder	25,02	-10,66	23,51	-12,04
Totalt	31,81	-19,08	23,68	-18,51



3.1

Inledning

Förvaltningsberättelse

Finansiella rapporter
Koncernen

Hållbarhet

Övrigt

K10 forts.

Känslighetsanalys betydande ökning av kreditrisk
Tabellen nedan visar hur reserven för förväntade kreditförluster i Steg 1 och Steg 2 per den 31 december påverkas om det gränsvärde som tillämpas för kvoten mellan återstående kreditrisk beräknat vid rapportering och första redovisningsstillfället var satt till 0,5 enheter (lägre respektive högre än det tillämpade gränsvärdet 2,5. En minskning av gränsvärdet med 0,5 enheter skulle öka antalet lån som överförs från Steg 1 till Steg 2 och också öka reserven för förväntade kreditförluster. En ökning av gränsvärdet med 0,5 enheter skulle ha motsatt effekt. Banken använder både kvantitativa och kvalitativa indikatorer för att bedöma betydande ökning av kreditrisk. För utförligare information, se not K2 avsnitt Kreditrisk.

Förändring av den totala reserven för Steg 1 och Steg 2, %

Tröskelvärde	2024	2023
2	4,35	3,50
2,5	0,00	0,00
3	-2,73	-1,03

Kreditexponeringar som är föremål för nedskrivningsprövning per pd-intervall
Poster i balansräkningen fördelat på pd-intervaller

pd-värde ¹⁾	2024			2023		
	Bruttovolymer, mkr			Bruttovolymer, mkr		
	Steg 1	Steg 2	Steg 3	Steg 1	Steg 2	Steg 3
0,00 till <0,15	2 455 914	12 858		2 427 046	33 508	
0,15 till <0,25	231 936	6 235		60 030	6 941	
0,25 till <0,50	98 630	9 222		262 839	20 169	
0,50 till <0,75	11 020	1 754		26 062	13 431	
0,75 till <2,50	56 774	21 807		47 566	20 675	
2,50 till <10,00	7 068	21 950		8 642	35 625	
10,00 till <100	214	2 808		599	6 421	
100 (tallssamman)			8 525			7 064
Summa	2 863 270	76 636	8 525	2 833 004	136 869	7 064

Utlåning till allmänheten fördelat på pd-intervaller

pd-värde ¹⁾	2024			2023		
	Bruttovolymer, mkr			Bruttovolymer, mkr		
	Steg 1	Steg 2	Steg 3	Steg 1	Steg 2	Steg 3
0,00 till <0,15	1 962 994	12 849		1 954 166	33 595	
0,15 till <0,25	165 384	6 231		48 581	6 940	
0,25 till <0,50	78 994	9 216		212 711	20 167	
0,50 till <0,75	9 527	1 753		21 108	13 430	
0,75 till <2,50	45 379	21 791		38 494	20 673	
2,50 till <10,00	6 141	21 934		7 156	35 622	
10,00 till <100	171	2 806		485	6 420	
100 (tallssamman)			8 525			7 064
Summa	2 288 690	76 690	8 525	2 262 700	136 848	7 064

Poster utanför balansräkningen fördelat på pd-intervaller

pd-värde ¹⁾	2024			2023		
	Bruttovolymer, mkr			Bruttovolymer, mkr		
	Steg 1	Steg 2	Steg 3	Steg 1	Steg 2	Steg 3
0,00 till <0,15	195 904	541		209 059	1 674	
0,15 till <0,25	24 404	188		15 570	166	
0,25 till <0,50	39 409	676		40 623	1 157	
0,50 till <0,75	21 062	433		7 365	3 623	
0,75 till <2,50	10 690	1 413		10 234	2 186	
2,50 till <10,00	589	2 757		1 437	1 933	
10,00 till <100	161	274		105	522	
100 (tallssamman)			159			164
Summa	292 278	6 282	159	284 693	11 262	164

1) Avser tolv månaders pd-värde vid rapporteringstillfället.

Tillgångar övertagna förskyddande av fordran

mkr	2024	2023
Lös egendom	2	2
Redovisat värde	2	2

Lös egendom består i alltväsentligt av återtagna leasingobjekt. Värderingsprinciper för tillgångar och skulder som övertagits för skyddande av fordran beskrivs i not K1.



3.1

K11 Vinster/förluster vid avyttring
av materiella och immateriella tillgångar

mkr	2024	2023
Inventarier	13	20
Summa	13	20

K12 Statliga avgifter

mkr	2024	2023
Riskskatt	-1 655	-1 644
Resolutionsavgift	-1 081	-980
Bank of England Levy	-47	
Summa	-2 733	-2 624

Riskskatten uppgår till 0,05% (0,05) av beskattningsunderlaget som baseras på summan av kreditinstitutiets skuldervid ingången av beskattningsåret. Resolutionsavgiften uppgår till 0,05% (0,05) av avgiftsunderlaget med tillägg för en riskjusteringsfaktor. Avgiftsunderlaget baseras på institutets skulder två år före avgiftsåret. Bank of England Levy infördes 2024 för att finansiera Bank of Englands kostnader för penningpolitik och finansiell stabilitet. Avgiften baseras på bankens proportionella andel av totala kvalificerade skulder bland avgiftspliktiga brittiska institutioner.

K13 Resultat per aktie

	2024	2023
Årets resultat tillhörande aktieägarna i Svenska Handelsbanken AB, mkr	27 451	29 107
Genomsnittligt antal under året konverterade aktier, miljoner		
Genomsnittligt innehav av egna aktier i handelslagar, miljoner		
Genomsnittligt antal utestående aktier, miljoner	1 980,0	1 980,0
Genomsnittlig utspädningseffekt antal aktier, miljoner		
Genomsnittligt antal utestående aktier efter utspädning, miljoner	1 980,0	1 980,0
Resultat per aktie, total verksamhet, kr	13,88	14,70
efter utspädning	13,88	14,70
Resultat per aktie, kvarvarande verksamhet, kr	13,76	14,09
efter utspädning	13,75	14,09
Resultat per aktie, utvecklade verksamhet, kr	0,12	0,61
efter utspädning	0,12	0,61

Resultat per aktie efter utspädning beräknas genom att ta hänsyn till effekterna av en konvertering av utestående konvertibla skuldebrev. Det innebär att genomsnittligt antal aktier justeras med potentiella stamaktier och att årets resultat justeras med årets räntekostnad på utestående konvertibla skuldebrev efter skatt.



3.1

Inledning

Förvaltningsberättelse

Finansiella rapporter
Koncernen

Hållbarhet

Övrigt

K14 Tillgångar och skulder som innehas för försäljning samt avvecklad verksamhet

Tillgångar och skulder i bankens verksamhet i Finland utgör tillgångar och skulder som innehas för försäljning i enlighet med IFRS 5, vilka är hänförliga till två olika avyttringsgrupper. Under det tredje kvartalet 2024 genomfördes en delavyttring av den första avyttringsgruppen till Oma Sparbank Abp, vilken utgörs av den finska verksamheten som avser små och

medelstora företag. Under det sista kvartalet 2024 avyttrades den resterande delen av den första avyttringsgruppen, vilken omfattar privatkunder inklusive kapitalförvaltning och placeringstjänsterna samt livförsäkringsrörelsen, till S-banken Abp respektive försäkringsaktiebolaget Fennia Liv. Den verksamhet som därefter kvarstår i Finland utgör den andra

avyttringsgruppen. Följande enheter i Finland ingår i den andra avyttringsgruppen och i den avvecklade verksamheten: Handelsbanken AB (publ) filial i Finland och Handelsbanken Asuntoluottopankki Stadshypotek AB (publ) filial i Finland.

Tillgångar och skulders som innehas för försäljning

mkä	2024	2023
Tillgångar		
Kassa och tillgodsavanden hos centralbanker	14	10
Övrig utlåning till centralbanker		25 803
Utlåning till övriga kreditinstitut	1	3
Utlåning till allmänheten	74 209	142 409
varav hushåll	81 6	39 501
varav företag	73 393	102 947
Aktier och andelar		2
Tillgångar där kunden står värdetförändringsrisken		9 586
Immateriella tillgångar		123
Fastigheter och inventarer		407
Övrigt	282	128
Summa	74 806	178 890
Skulder		
Skulder till kreditinstitut	247	980
In- och upplåning från allmänheten	9 742	51 556
varav hushåll	235	17 434
varav företag	9 507	34 122
Försäkringskulder		3
Skulder där kunden står värdetförändringsrisken		9 586
Avstättningar	182	195
Övrigt	451	1 401
Summa	10 623	63 721

I omräkningsreserven ingår ett belopp uppgående till ackumulerat 749 mkä (1 022) hänförligt till omräkning av tillgångar och skulder som innehas till försäljning, vilken ingår i omräkningsreserven som presenteras i Förändring eget kapital Koncernen. Köpskillingen kvarstår i säljande enheter och avyttringarna förändrar därmed inte någon omklassificering av omräkningsreserven till resultaträkningen.

Försäljningsprocessen fortgår med infriktion på resterande verksamhet avseende utlåning till företag. Finland har tidigare utgjort eget rörelsesegment.



3.1

K14 forts.

Intäkter, kostnader och resultat avvecklad verksamhet

mkr	2024	2023
Räntanetto	1 805	2 308
Provisionsnetto	370	405
Nettoreultat av finansiella transaktioner	-8	29
Försäkringsnetto	15	17
Övriga intäkter	5	9
Summa intäkter	2 284	2 829
Personalkostnader	-790	-841
Övriga kostnader	-580	-464
Av- och nedskrivningar av materiella och immateriella tillgångar		0
Summa kostnader	-1 369	-1 305
Kreditförluster, netto	53	41
Vinstar/förluster vid avyttring av materiella och immateriella tillgångar	-1	-1
Statliga avgifter	-131	-97
Årets resultat hänförligt till Finland före skatt	835	1 467
Skatter ¹⁾	-178	-200
Årets resultat hänförligt till Finland efter skatt	657	1 267
Övriga kostnader hänförliga till avvecklad verksamhet ²⁾	-11	-73
Nedskrivningar hänförliga till avvecklad verksamhet ³⁾	-440	
Skatter ⁴⁾	92	15
Årets resultat hänförligt till avvecklad verksamhet inklusive tillkommande kostnader efter skatt	291	1 209
Realisationsresultat vid försäljning av avyttringsgrupper som utgör avvecklad verksamhet		
Realisationsresultat före skatt	-71	
Skatter ⁴⁾	14	
Realisationsresultat efter skatt	-57	
Årets resultat hänförligt till avvecklad verksamhet efter skatt	234	1 209
Väsentliga interna transaktioner med kvarvarande verksamhet, vilka är eliminerade och inte ingår i ovanstående resultatposter ⁴⁾		
Intäkter	30	100
Kostnader	-113	-101

1) I skatteraderna ingår faktisk skatt uppgående till -107 mkr (-64%).

2) Det tillkommer vissa kostnader i Sverige till följd av att den avvecklade verksamheten ska avyttras, vilka hänförs till avvecklad verksamhet. Exempelvis konsult- och juristkostnader.

3) Värdering av respektive avyttringsgrupp till det lägsta av verkligt värde efter avdrag för försäljningskostnader och redovisat värde har föranlett en nedskrivning, vilken är hänförlig till anläggningstillgångar.

4) Endast externa intäkter och kostnader ingår i resultatet från såväl kvarvarande som avvecklad verksamhet. Den avvecklade verksamheten har väsentliga interna transaktioner med kvarvarande verksamhet, vilka således är eliminerade i redovisningen. Eliminering av interna transaktioner hänförliga till räntanetto mellan avvecklad verksamhet i Finland och Treasury justeras och därmed presenteras interna ränta-intäkter och interna ränta-kostnader i kvarvarande respektive avvecklad verksamhet.

Provisionsintäkter per produkt avvecklad verksamhet

mkr	2024	2023
Courtage och övriga värdepappersprovisioner	4	9
Fonder	5	7
Depå och övrig kapitalförvaltning	28	41
Rådgivning		
Försäkringar	73	77
Betalningar	204	213
Ut- och inlåning	38	85
Garantier	13	19
Övriga provisionsintäkter	7	11
Summa provisionsintäkter	433	463



3.1

inledning

Förvaltningsberättelse

Finansiella rapporter
Koncernen

Hållbarhet

Övrigt

K14 forts.

Personalkostnader avvecklad verksamhet

mkr	2024	2023
Löner och avoden ¹⁾	-531	-535
Socialavgifter	-15	-22
Pensionskostnader	-102	-104
Andra personalkostnader	-42	-79
Summa	-790	-841

1) Varav 2,2 mkr (5,5) till ledande befattningshavare (yrkstilläande direktör och styrelse i dotterbolag).

Medelantal anställda avvecklad verksamhet

	2024			2023		
	Totalt	Mån	Kvinnor	Totalt	Mån	Kvinnor
Finland	479	220	259	533	249	284
Summa	479	220	259	533	249	284

Kassaflödesanalys avvecklad verksamhet

mkr	2024	2023
Kassaflöde från löpande verksamhet	17 502	4 611
Kassaflöde från investeringsverksamhet	17 152	-8
Ärets kassaflöde från avvecklad verksamhet	34 744	4 604

K15 Övrig utlåning till centralbanker

mkr	2024	2023
Övrig utlåning till centralbanker i utländsk valuta	12 547	6 282
Reservering för förväntade kreditförluster		
Summa övrig utlåning till centralbanker	12 547	6 282

Medelvolymer

mkr	2024	2023
Övrig utlåning till centralbanker i svenska kronor	0	
Övrig utlåning till centralbanker i utländsk valuta	8 167	6 195
Summa	8 167	6 195



3.1

K16 Utlåning till övriga kreditinstitut

mkr	2024	2023
Utlåning i svenska kronor		
Banker	1 170	263
Övriga kreditinstitut	757	-1
Summa	1 924	261
Utlåning i utländsk valuta		
Banker	14 952	16 910
Övriga kreditinstitut	2 040	2 125
Summa	16 992	19 035
Reservering för förväntade kreditförluster	-4	-2
Summa utlåning till övriga kreditinstitut	18 922	19 294
varav omvärlärapor	11 274	9 623
varav ställde kontantförhållar	3 427	5 470
Medelvolymer		
mkr	2024	2023
Utlåning till övriga kreditinstitut i svenska kronor	1 704	1 212
Utlåning till övriga kreditinstitut i utländsk valuta	36 577	42 394
Summa	38 342	43 607
varav omvärlärapor	15 230	16 612

K17 Utlåning till allmänheten

mkr	2024	2023
Utlåning i svenska kronor		
Hushåll	957 570	974 473
Företag	590 142	590 233
Riksgälden	1 547	6 748
Summa	1 548 359	1 560 454
Utlåning i utländsk valuta		
Hushåll	274 050	250 008
Företag	456 826	463 345
Summa	730 882	713 353
Reservering för förväntade kreditförluster	-1 363	-2 000
Summa utlåning till allmänheten	2 267 878	2 261 806
varav finansför leasing	12 410	13 654
varav omvärlärapor	17 977	17 404
varav ställde kontantförhållar	1 751	13 395
Medelvolymer, exkl Riksgälden		
mkr	2024	2023
Utlåning till allmänheten i svenska kronor	1 574 005	1 597 310
Utlåning till allmänheten i utländsk valuta	731 157	738 482
Summa	2 305 262	2 336 792
varav omvärlärapor	25 480	23 110



3.1

Inledning

Förvaltningsberättelse

Finansiella rapporter
Koncernen

Hållbarhet

Övrigt

K18 Räntebärande värdepapper

	2024			2023		
	Redovisat värde	Verkligt värde	Nominellt värde	Redovisat värde	Verkligt värde	Nominellt värde
Belåningsbara statskultförbindelser m.m.	172 000	172 000	108 407	199 128	199 128	197 474
Obligationer och andra räntebärande värdepapper ¹⁾	47 508	47 508	31 524	50 087	50 087	38 442
Summa	220 114	220 114	109 931	249 215	249 215	233 916

1) Obligationer och andra räntebärande värdepapper som är föremål för nedskrivningsprövning uppgår till 13 259 mkr (12 700). Dessa är värderade till verkligt värde via övrigt totalresultat. Reservering för förväntade kreditförluster redovisad i reserv verkligt värde i eget kapital uppgår till -2 mkr (-2).

Räntebärande värdepapper fördelade på emittent

	2024			2023		
	Redovisat värde	Verkligt värde	Nominellt värde	Redovisat värde	Verkligt värde	Nominellt värde
Stat	172 000	172 000	108 407	199 128	199 128	197 474
Kreditinstitut	10 428	10 428	6 662	9 733	9 733	7 859
Bostadsinstitut	31 653	31 653	20 728	34 378	34 378	24 446
Övrigt	5 427	5 427	4 134	5 975	5 975	4 141
Summa	220 115	220 115	109 931	249 215	249 215	233 916

Medelvolymer

	2024	2023
Belåningsbara statskultförbindelser m.m.	257 685	258 785
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	50 973	55 713
Summa	317 658	314 497

K19 Aktier och andelar

	2024	2023
Verkligt värde via resultaträkningen, obligatoriskt	13 942	11 015
Verkligt värde via övrigt totalresultat	804	601
Summa aktier och andelar	14 746	12 216

Innehav klassificerade till verkligt värde via övrigt totalresultat

	2024	2023
Visa Inc	517	330
WPPS A/S	58	00
Övriga innehav	229	211
Summa	804	601

Handelsbanken klassificerar ovanstående aktieinnehav till verkligt värde via övrigt totalresultat då dessa inte innehas i handelssyfte. Utdelningarna på dessa aktier uppgår till till 16 mkr (8) och redovisas i resultaträkningen som Övriga utdelningsinkäster. Under året har banken avyttrat 41 st andelar i SWIFT till ett värde av 3 mkr (0) mkr.

För information om realiserat och realiserat resultat för eget kapitalinstrument värderade till verkligt värde via övrigt totalresultat se Förändring av eget kapital Koncernen.



3.1

K20 Andelar i intresseföretag och joint ventures

Handelsbanken har inga enskilda väsentliga innehav i intresseföretag eller joint ventures. Det finns vissa företag som anses strategiska för bankverksamheten i koncernen då de utför stödjande verksamheter, såsom exempelvis betalningstjänster. Samtliga innehav är enoterade.

Andelar i intresseföretag och joint ventures

mkr	2024	2023
Redovisat värde vid årets början	657	501
Andel av årets resultat, före skatt	33	89
Skatt	-0	-37
Aktieägarfiskott	175	53
Utdelning		-8
Redovisat värde vid årets slut	860	657

Resultat från intresseföretag och joint ventures

mkr	2024	2023
Årets resultat	27	51
Övrigt totalresultat		
Årets totalresultat	27	51

Intresseföretag

	Organisationsnummer	Säte	Antal aktier	Röstandel, %	Redovisat värde, mkr	
					2024	2023
Bankomat AB	550617-0716	Stockholm	150	20,00	88	96
BGC Holding AB	550007-0033	Stockholm	25 542	25,54	454	428
Dyson Group plc ¹⁾	00103006	Sharnfield	74 733 672	24,01	3	8
Finansiel ID-teknik BID AB	550630-4028	Stockholm	12 735	28,30	100	25
Gatavish AB	550013-7382	Stockholm	10 000	20,00	115	23
USE Intressecenter AB	550161-0404	Stockholm	2 448	24,48	0	0
Summa					767	561

1) Ägarandel 27%.

Joint ventures

	Organisationsnummer	Säte	Antal aktier	Röstandel, %	Redovisat värde, mkr	
					2024	2023
P27 Nordic Payments Platform AB	550198-9010	Stockholm	12 500	20,84	87	71
Tibem AB	550984-3542	Stockholm	4 000	14,29	6	5
Summa					93	76

K21 Tillgångar där kunden står värdeförändringsrisken

mkr	2024	2023
Fondförsäkringsstillgångar	273 725	230 905
Aktier	13 484	13 067
Övriga tillgångar	774	921
Summa	287 984	244 893



3.1

Inledning

Förvaltningsberättelse

Finansiella rapporter
Koncernen

Hållbarhet

Övrigt

K22 Derivatinstrument

mkr	Nominellt belopp/löptid			Nominellt belopp		Positiva marknadsvärden		Negativa marknadsvärden	
	upp till 1 år	mer än 1 år upp till 5 år	mer än 5 år	2024	2023	2024	2023	2024	2023
Derivat för handel									
Räntorelaterade kontrakt									
Optioner	6 844	18 008	9 544	35 056	35 180	100	202	238	303
FXA/terminer	752 147	10 300		771 447	307 001	347	255	310	237
Swappar	301 243	1 130 000	359 032	1 830 941	1 724 310	28 503	35 280	29 273	34 844
Valutarelaterade kontrakt									
Optioner	19 498	233	10	19 747	25 003	58	158	89	237
Terminar	64 075	5 523	55	69 653	62 370	1 058	1 100	619	1 140
Swappar	662 204	45 523	780	708 516	529 307	10 801	8 000	5 380	17 177
Aktierelaterade kontrakt									
Optioner	4 789	605	32	5 427	4 882	229	104	113	114
Terminar	281			281	215	2	5	2	2
Swappar	7 359	1 301		8 700	5 902	209	101	232	305
Rävarurelaterade kontrakt									
Optioner			19	19	17		0	19	23
Terminar	134	1		135	180	1	0	4	18
Kreditrelaterade kontrakt									
Swappar	275	3 835	60	4 171	3 050	104	103	147	82
Summa	1 908 859	1 234 147	370 147	3 513 183	2 789 188	47 808	45 688	36 432	54 579
Derivat för marknadsvärdesäkkringar									
Räntorelaterade kontrakt									
Optioner					41		1		
Swappar	85 665	505 543	103 729	694 937	605 631	15 686	17 227	11 679	16 007
Valutarelaterade kontrakt									
Swappar		1 040		1 040	983	83	25		
Summa	85 665	506 583	103 729	696 983	606 655	15 769	17 253	11 679	16 007
Derivat för kassaflödessekkringar									
Räntorelaterade kontrakt									
Swappar	33 836	41 374	7 226	82 436	147 207	2 078	3 029	954	2 228
Valutarelaterade kontrakt									
Swappar	29 395	180 800	37 283	253 478	321 500	25 558	10 381	1 222	0 640
Summa	63 231	228 174	44 509	335 914	468 707	27 636	10 410	2 176	8 877
Summa derivatinstrument	2 057 755	1 968 910	518 385	4 545 060	3 954 640	91 213	82 331	50 287	79 483
Varav börshandlade derivat				133 129	70 400	155	148	274	419
Varav OTC-derivat cleared via CCP				3 013 450	2 001 973	44 503	52 627	34 054	45 845
Varav OTC-derivat ej cleared via CCP				1 398 471	1 222 267	46 555	29 556	15 349	33 199
Kvittade belopp totalt				-2 308 886	-2 310 001	-44 144	-52 221	-34 331	-45 225
Nettobelopp				2 176 184	1 643 640	47 069	30 110	15 956	34 258
Valutfördelning av marknadsvärden									
SEK						-207 509	39 951	-3 889	371 486
USD						437 043	-25 673	103 053	-350 125
EUR						174 889	163 008	-6 713	-13 839
Övriga						-223 120	-95 045	-42 754	71 941
Summa						91 213	82 331	50 287	79 483

I noten presenteras derivatkontrakt brutto. Kvittade belopp består av det kvittade marknadsvärdet och tillhörande nominella belopp på kontrakt för vilka det finns en legal rätt och avsikt att reglera avtalade kassaflöden netto (därinbland cleared kontrakt). Dessa kontrakt nettopredovisas i balansräkningen per motpart och valuta.

Positiva skillnader mellan det värde som räknats fram med en värderingsmodell vid det första redovisningsstillfället och transaktionspriset (dag 1-resultat) periodiseras över derivats löptid. Vid årsavslut uppgick sådana ännu ej resultatförda dag 1-resultat till 500 mkr (47%).

3.1

K23 Säkringsredovisning

Koncernens övergripande mål för riskhantering och sättningsredovisning är att säkra risken för variationer i verkliga värden respektive framtida kassaflöden hänförliga till ut- och upplåning med avseende på förändringar i räntor och valutakurser. För att uppnå detta använder koncernen derivat. Sättningsredovisning tillämpas för att koncernens riskhanteringsstrategi ska avspeglas i de finansiella rapporterna. För information om koncernens hantering av marknadsrisker, se not K2. Nedan beskrivs koncernens sättningsstrategier samt de olika typer av sättningsredovisning som tillämpas uppdelat per riskkategori. För en beskrivning av redovisningsprinciperna för sättningsredovisning, se not K1.

Säkring av verkligt värde

Ränterisk i ut- och upplåning till fast ränta

Syftet med denna sänkingsstrategi är att minska risken för förändringar i verkligt värde avseende ut- och uppläning till fast ränta, till följd av förändringar i marknadsräntor. Den säkrade risken definieras som referensräntan i respektive valuta, vilken utgör en observerbar komponent i räntan. De säkrade posterna utgörs av utlåning till allmänheten till fast ränta och emitterade värdepapper till fast ränta. Sänkingsinstrumenten utgörs av ränteswapper, i vilka fast ränta betalas och rörlig ränta erhålls.

respektive ränteswappar i vilka fast ränta erhålls och rörlig ränta betalas.

Effektivitetsmätning

Säkringsarnas effektivitet mäts genom att jämföra förändringen i verkligt värde avseende den säkrade risken i ut- och uppläppning med ränteswapparnas värdeförändring. Effektivitetsmätningen utförs såväl prospektivt som retrospektivt. Prospektivt genom att skifta ränte- och diskonteringskurvor och retrospektivt tillämpas regressionsanalys. Effektiviteten testas vid ingången av säkringsrelationen samt löpande kvartalsvis.

Kriterier vid effektivitetsmätning

För att kvalificera för säkringsredovisning ska kvoten mellan förändringen i verkligt värde avseende den säkrade risken i den säkrade posten och derivatet vara inom intervallet 80–125%. I de fall detta kontrolleras genom regressionsanalys ska följande kriterier vara uppfyllda för att bestämma ett effektivt säkringsförhållande:

- Linjens lutning ska vara inom intervallet $0,8 < b < 1,25$ och
- R^2 ska vara $> 0,96$.

Ineffektivitet

Ineffektivitet beräknas genom att jämföra förändringen i verkligt värde för ränteswappen med verkligt värde för den säkrade risken i ut- respektive upplåning från ingången av säkringen till periodens utgång.

Den huvudsakliga förklaringen till ineffektivitet i dessa säkringsrelationer är förändringar i verkligt värde med avseende på den rörliga räntan i ränteswappen, vilken ej motsvaras av en värdeförändring avseende den säkrade risken i ut- eller upplåningen.

Portföljsäkring av verkligt värde med avseende på ränterisk

Ränterisk i utlåningsportföljer till fast ränta
Säkringsstrategin syftar till att minska risken
för förändringar i verkligt värde avseende utlå-
ningsportföljer till fast ränta, till följd av föränd-
ringar i marknadsräntor. Den säkrade risken
definieras som förändringar i verkligt värde
avseende en del av en utlåningsportfölj till fast
ränta, med avseende på förändringar i en
referensränta i respektive valuta. Den säkrade
posten utgörs av ett belopp i valuta som är
bestämt utifrån en utlåningsportfölj till fast
ränta. Utlåningsportföljen delas in i ränteom-
sättningsperioder. Det säkrade beloppet fast-
ställs baserat på den ränterisk som banken
önskar säkra i de utvalda ränteomsättnings-
perioderna. Säkringsinstrumenten utgörs av
ränteswappar, i vilka rörlig ränta erhålls och fast
ränta betalas. Ett eller flera försäkringsinstrument
definieras i respektive ränteomsättningsperiod.

För en beskrivning av effektivitetsmätning och ineffektivitet hänvisas till avsnittet om Säkring av verkligt värde ovan.

Säkringsinstrument i säkring av verkligt värde

mkr	2024			2023		
	Upp till 1 år	1-5 år	Över 5 år	Upp till 1 år	1-5 år	Över 5 år
Ränterisk						
Ränteswapper betalar rörlig ränta och erhåller fast ränta						
Nominellt belopp	42 604	455 470	73 920	56 277	374 599	93 942
Genomsnittlig fast ränta %	2,09	2,74	2,21	2,00	2,59	2,47
Valutaränteswapper betalar rörlig ränta och erhåller fast ränta						
Nominellt belopp		1 040			983	
Genomsnittlig fast ränta %		3,59			3,59	
Summa	42 604	456 625	73 920	56 277	375 676	93 942



3.1

Inledning
 Förvaltningsberättelse
 Finansiella rapporter
 Koncernen
 Hållbarhet
 Övrigt

K23 forts.

Säkringsinstrument samt ineffektivitet i säkring av verkligt värde 2024

mkr	Nominellt belopp säkringsinstrument	Redovisat värde säkringsinstrument		Förändring i verkligt värde som använts för att beräkna ineffektivitet	Ineffektivitet som redovisas i resultaträkningen
		Tillgångar	Skulder		
Ränterisk:					
Räntaswapper betalar rörlig ränta och erhåller fast ränta	572 069	8 882	11 422	4 664	-74
Valutaswapper betalar rörlig ränta och erhåller fast ränta	1 040	83		0	6
Summa	573 139	8 965	11 422	4 664	-68
Portföljsäkring av verkligt värde					
Ränterisk:					
Räntaswapper betalar fast ränta och erhåller rörlig ränta	122 844	6 803	258	-3 248	9
Summa	122 844	6 803	258	-3 248	9

Säkringsinstrument samt ineffektivitet i säkring av verkligt värde 2023

mkr	Nominellt belopp säkringsinstrument	Redovisat värde säkringsinstrument		Förändring i verkligt värde som använts för att beräkna ineffektivitet	Ineffektivitet som redovisas i resultaträkningen
		Tillgångar	Skulder		
Ränterisk:					
Räntaswapper betalar rörlig ränta och erhåller fast ränta	524 812	7 127	15 971	17 711	155
Valutaswapper betalar rörlig ränta och erhåller fast ränta	983	25		54	7
Summa	525 796	7 152	15 971	17 765	162
Portföljsäkring av verkligt värde					
Ränterisk:					
Räntaswapper betalar fast ränta och erhåller rörlig ränta	170 810	10 100	36	-7 034	-80
Räntesoptioner (cap)	41	1		-5	0
Summa	170 850	10 101	36	-7 039	-80

Redovisat värde avseende säkringsinstrument ingår i posten Derivatinstrument i balansräkningen.
Ineffektivitet som redovisas i resultaträkningen ingår i posten Nettoresultat av finansiella transaktioner.

Säkrade poster i säkring av verkligt värde 2024

mkr	Redovisat värde säkrad post		Ackumulerad justering till verkligt värde som ingår i det redovisade värdet för den säkrade posten		Förändring i verkligt värde som använts för att beräkna ineffektivitet
	Tillgångar	Skulder	Tillgångar	Skulder	
Ränterisk:					
Emitterade värdepapper och offstanställda skulder till fast ränta		567 278		-6 595	-4 733
Summa		567 278		-6 595	-4 733
Portföljsäkring av verkligt värde¹⁾					
Ränterisk:					
Utlåning till elimineringen till fast ränta	-6 300		-6 300		3 258
Summa	-6 300		-6 300		3 258

Säkrade poster i säkring av verkligt värde 2023

mkr	Redovisat värde säkrad post		Ackumulerad justering till verkligt värde som ingår i det redovisade värdet för den säkrade posten		Förändring i verkligt värde som använts för att beräkna ineffektivitet
	Tillgångar	Skulder	Tillgångar	Skulder	
Ränterisk:					
Emitterade värdepapper och offstanställda skulder till fast ränta		508 810		-11 412	-17 603
Summa		508 810		-11 412	-17 603
Portföljsäkring av verkligt värde¹⁾					
Ränterisk:					
Utlåning till elimineringen till fast ränta	-9 657		-9 657		6 954
Ränterisk i utlåning till rörlig ränta	-1		-1		5
Summa	-9 658		-9 658		6 959

¹⁾ Den underliggande utlåningsportföljens nominella volym uppgick per 2024-12-31 till 122 844 mkr (170 867).
Det finns inget upplupet belopp för justeringar av säkring av verkligt värde som kvarstår i balansräkningen för säkrade poster som inte längre justeras för förändringar i verkligt värde varken i år eller föregående år.

3.1

K23 forts.

Kassafflödessäkring

Ränterisk i ut- och upplåning till rörlig ränta
Syftet med denna säkringsstrategi är att minska osäkerheten i framtida in- och utbetalningar av räntor till följd av förändringar i rörliga räntor, och istället erhålla respektive betala en fast ränta som är känd vid ingången av säkringen. Den säkrade posten utgörs av mycket sannolika framtida in- och utbetalningar avseende ränterörlig utlåning till allmänheten respektive emitterade värdepapper med rörlig ränta. Den säkrade risken definieras som en rörlig referensränta i respektive valuta, vilken utgör en observerbar komponent i räntan. Säkringsinstrumenten utgörs av ränteswappar, i vilka fast ränta erhålls och rörlig ränta betalas respektive fast ränta betalas och rörlig ränta erhålls.

Valutakursrisk i upplåning

Säkringsstrategin syftar till att minska osäkerheten i framtida räntebetalningar till följd av förändringar i valutakurser och istället betala en ränta i den funktionella valutan, som är känd vid tidpunkten för ingången av säkringen. Den säkrade posten utgörs av mycket sannolika framtida räntebetalningar och återbetalningar av nominella belopp hänförliga till emitterade värdepapper i en annan valuta än den funktionella valutan. Den säkrade risken utgörs av risken för förändringar i dessa framtida betalningar till följd av förändringar i valutakurser mellan upplåningsvalutan och den funktionella valutan. Säkringsinstrumenten utgörs av valutarelaterade derivat.

Valutakursrisk i internlån till eller från utlandsverksamhet

Intentionen med denna säkringsstrategi är att minska risken för volatilitet hänförlig till valutakursrörelser avseende ett internlån, till eller från en utlandsverksamhet. Den säkrade posten utgörs av det nominella beloppet avseende ett internlån mellan koncernens finansavdelning och en utländsk verksamhet, utgiven i den funktionella valutan för den utländska verksamheten. Den säkrade risken utgörs av risken för förändringar i kassafflöden hänförliga till räntebetalningar samt återbetalningar av nominellt belopp, till följd av skillnader i valutakurser mellan internlånets valuta och moderbolagets funktionella valuta, svenska kronor. Säkringsinstrumenten utgörs av valutarelaterade derivat.

Effektivitetsmätning

Effektiviteten testas vid ingången av säkringsrelationen samt löpande kvartalsvis. Säkringsnas effektivitet testas såväl prospektivt som retrospektivt. Prospektivt genom att skifta ränte- och diskonteringskurvor. Retrospektivt, i de fall villkoren avseende den säkrade risken och säkringsinstrumentet inte överensstämmer fullständigt, genom regressionsanalys. Med fullständigt menas att kassafflöden och diskonteringsfaktorer i var tid är identiska. Vid mätning av effektivitet representeras den säkrade risken av ett så kallat hypotetiskt derivat (PEH), vilket ska matcha de kritiska villkoren i den säkrade posten. Det verkliga värdet avseende det hypotetiska derivatet (PEH) är noll vid ingången av säkringsrelationen. Vid effektivitetsmätning jämförs förändringen i verkligt värde avseende det hypotetiska derivatet (PEH) med derivatets förändring i verkligt värde.

Kriterier vid effektivitetsmätning

För att kvalificera för säkringsredovisning ska kvoten mellan förändringen i verkligt värde avseende den säkrade risken i den säkrade posten, vilken representeras av det hypotetiska derivatet (PEH), och derivatet vara inom intervallet 80–125%. I de fall detta kontrolleras genom regressionsanalys ska följande kriterier vara uppfyllda för att bestämma ett effektivt säkringsförhållande:

- Linjens lutning ska vara inom intervallet $0,8 < b < 1,25$ och
- R^2 ska vara $> 0,96$.

Ineffektivitet

Ineffektiviteten beräknas genom att jämföra förändringen i verkligt värde avseende den säkrade risken i den säkrade posten, vilken representeras av det hypotetiska derivatet (PEH), med derivatets förändring i verkligt värde. Ineffektivitet föreligger om derivatets förändring i verkligt värde överstiger värdeförändringen för det hypotetiska derivatet (PEH) i absoluta belopp.

De huvudsakliga förklaringarna till ineffektivitet i dessa säkringsrelationer är skillnader i marknaderräntor och valutakurser mellan tidpunkten för ingången av säkringsrelationen och affärstidpunkten för derivatet. Ineffektiviteten förklaras också av förändringar i verkligt värde hänförligt till vissa räntekomponenter i derivatet som inte ingår i den säkrade risken.



3.1

Inledning

Förvaltningsberättelse

Finansiella rapporter
Koncernen

Hållbarhet

Övrigt

K23 forts.

Säkringelinstrument i kassaflödesräkning

mkr	2024			2023		
	Upp till 1 år	1-5 år	Över 5 år	Upp till 1 år	1-5 år	Över 5 år
Ränterisk						
Ränteswapper betalar fast ränta och erhåller rörlig ränta						
Nominellt belopp	8 338	12 027	6 078	13 508	17 253	8 045
Genomsnittlig fast ränta %	0,47	0,72	0,77	0,38	0,64	0,67
Ränteswapper betalar rörlig ränta och erhåller fast ränta						
Nominellt belopp	25 498	28 740	1 148	53 200	53 308	1 113
Genomsnittlig fast ränta %	2,13	1,35	1,54	1,89	1,73	1,54
Valutarisk						
Valutarelaterade derivat EUR/SEK						
Nominellt belopp	10 805	43 747	1 089	16 075	42 777	12 048
Genomsnittlig valutakurs EUR/SEK	0,0975	0,0913	0,0970	0,0971	0,0926	0,0928
Valutarelaterade derivat EUR/NOK						
Nominellt belopp	2 758	75 390	31 183	5 140	57 144	20 127
Genomsnittlig valutakurs EUR/NOK	0,1008	0,0953	0,0932	0,1049	0,0902	0,0834
Valutarelaterade derivat USD/GBP						
Nominellt belopp		1 070			989	
Genomsnittlig valutakurs USD/GBP		1,3157			1,3157	
Valutarelaterade derivat USD/NOK						
Nominellt belopp	8 023	36 864		2 000	40 077	
Genomsnittlig valutakurs USD/NOK	0,1054	0,1027		0,0509	0,0958	
Valutarelaterade derivat USD/SEK						
Nominellt belopp	3 040	11 551	5 011	75 350	14 514	4 775
Genomsnittlig valutakurs USD/SEK	0,1016	0,1008	0,1105	0,0880	0,0782	0,1105
Valutarelaterade derivat AUD/EUR						
Nominellt belopp	2 872	10 353			13 010	
Genomsnittlig valutakurs AUD/EUR	1,5287	1,5451			1,5415	
Valutarelaterade derivat övriga valutor						
Nominellt belopp	331	7 820		384	8 000	
Summa	83 231	228 174	44 500	165 865	247 234	86 708

Säkringelinstrument samt ineffektivitet i kassaflödesräkning 2024

mkr	Nominellt belopp säkrings- instrument	Redovisat värde säkringelinstrument		Förändring i verkligt värde som avräknas för rätt beräkna ineffektivitet	Värdeförändring avseende säkrings- instrumenten som redovisas i övrigt totalresultat	Ineffektivitet som redovisas i resultaträkningen	Omklassificerat från säkrings- reserven till resultaträkningen
		Tillgångar	Skulder				
Ränterisk							
Ränteswapper betalar fast ränta och erhåller rörlig ränta	27 043	1 785		-708	-702	-0	
Ränteswapper betalar rörlig ränta och erhåller fast ränta	55 302	298	954	1 490	1 490		154
Valutarisk¹⁾							
Valutarelaterade derivat EUR/SEK	55 701	3 051	114	-143	-144	1	1
Valutarelaterade derivat EUR/NOK	100 331	11 899	39	-498	-521	23	10
Valutarelaterade derivat USD/GBP	1 075	50		0	0		
Valutarelaterade derivat USD/NOK	45 787	7 240		80	79	1	
Valutarelaterade derivat USD/SEK	20 208	2 829		94	90	-2	
Valutarelaterade derivat övriga valutor	21 375	470	1 009	22	24	-2	9
Summa	336 014	27 836	2 176	349	334	16	174



3.1

K23 forts.

Säkringsinstrument samt ineffektivitet i kassaförsäkring 2023

mkr	Nominellt belopp säkrings- instrument	Redovisat värde säkringsinstrument		Förändring i verkligt värde som använts för att beräkna ineffektivitet	Värdeförändring avseende säkrings- instrumenten som redovisas i övrigt totalresultat	Ineffektivitet som redovisas i resultaträkningen	Omklassificerat från säkrings- reserven till resultaträkningen
		Tillgångar	Skulder				
Ränterisk							
Räntaswapper betalar fast ränta och erhåller rörlig ränta	39 466	2 000	1	-1 028	-2 014	80	
Räntaswapper betalar rörlig ränta och erhåller fast ränta	107 741	429	2 227	3 499	3 499		226
Valutakursrisk¹⁾							
Valutansäkrade derivat EUR/SEK	70 900	3 011	310	-158	-157	-1	
Valutansäkrade derivat EUR/NOK	91 417	8 280	608	-370	-372	2	
Valutansäkrade derivat GBP/SEK				2	2		
Valutansäkrade derivat USD/GBP	969	30		7	7		
Valutansäkrade derivat USD/NOK	42 143	3 133	1 048	-22	-19	-3	
Valutansäkrade derivat USD/SEK	94 045	1 322	3 951	-103	-103	0	
Valutansäkrade derivat AUD/USD				7	7		
Valutansäkrade derivat övriga valutor	21 496	599	732	15	16	-1	27
Summa	488 797	19 410	8 877	949	866	83	292

1) Vid analys utifrån ett säkringsredovisningsyfte beaktas omvandlingen till moderbolagets funktionella valuta, svenska kronor, genom att nominella derivatbelopp imputeras i säkringsrelationerna. De imputerade derivatbeloppen är inte inkluderade i de nominella volymerna i tabellerna ovan.

Redovisat värde avseende säkringsinstrument ingår i posten Derivatinstrument i balansräkningen.

Ineffektivitet som redovisas i resultaträkningen ingår i posten Nettoresultat av finansiella transaktioner.

Omklassificerat till resultaträkningen ingår i posten Nettoresultat av finansiella transaktioner och avser kassaförsäkring som är avslutad i förtid.

Säkrade poster i kassaförsäkring

mkr	2024			2023		
	Förändring i värde som använts för att beräkna ineffektivitet	Säkrings- reserv	Belopp som kvarstår i säkringsreserven från säkrings- förhållanden där säkringsredovisning inte längre tillämpas	Förändring i värde som använts för att beräkna ineffektivitet	Säkrings- reserv	Belopp som kvarstår i säkringsreserven från säkrings- förhållanden där säkringsredovisning inte längre tillämpas
Ränterisk						
Emitterade värdepapper till rörlig ränta	702	1 647		2 014	2 351	
Utlåning till stämmanheten till rörlig ränta	-1 490	-609	618	-3 499	-2 043	771
Valutakursrisk						
Emitterade värdepapper och efterställda skulder EUR samt inlånen GBP och NOK	665	-1 004		529	-432	
Emitterade värdepapper och efterställda skulder USD samt inlånen EUR, GBP och NOK	-181	488	58	115	317	68
Emitterade värdepapper samt inlånen övriga valutor	-24	46	-2	-25	35	-2
Summa	-334	388	674	-866	228	837



3.1

Inledning

Förvaltningsberättelse

Finansiella rapporter
Koncernen

Hållbarhet

Övrigt

K24 Kvittning av finansiella instrument

2024			
mkr	Darhet	Återköpsavtal samt utlåning av värdepapper	Totalt
Finansiella tillgångar som är föremål för kvittning, nettningsavtal eller liknande avtal			
Bruttobelopp	91 213	33 400	124 712
Kvittade belopp	-44 144	-3 735	-47 879
Redovisat värde i balansräkningen	47 069	29 764	76 833
Relaterade belopp som inte kvittas i balansräkningen			
Finansiella instrument, nettningsavtal	-4 787		-4 787
Mottagna finansiella säkerheter	-37 378	-29 721	-67 099
Summa av belopp som inte har kvittats i balansräkningen	-42 165	-29 721	-71 886
Nettobelopp	4 904	43	4 947
Finansiella skulder som är föremål för kvittning, nettningsavtal eller liknande avtal			
Bruttobelopp	50 287	3 730	54 023
Kvittade belopp	-34 331	-3 735	-38 066
Redovisat värde i balansräkningen	15 956	1	15 957
Relaterade belopp som inte kvittas i balansräkningen			
Finansiella instrument, nettningsavtal	-4 787		-4 787
Ställda finansiella säkerheter	-3 554	-1	-3 555
Summa av belopp som inte har kvittats i balansräkningen	-8 341	-1	-8 342
Nettobelopp	7 615		7 615

2023			
mkr	Darhet	Återköpsavtal samt utlåning av värdepapper	Totalt
Finansiella tillgångar som är föremål för kvittning, nettningsavtal eller liknande avtal			
Bruttobelopp	82 381	32 141	114 472
Kvittade belopp	-52 221	-4 628	-56 849
Redovisat värde i balansräkningen	30 110	27 513	57 623
Relaterade belopp som inte kvittas i balansräkningen			
Finansiella instrument, nettningsavtal	-7 781		-7 781
Mottagna finansiella säkerheter	-18 880	-27 513	-46 393
Summa av belopp som inte har kvittats i balansräkningen	-26 661	-27 513	-54 174
Nettobelopp	3 449		3 449
Finansiella skulder som är föremål för kvittning, nettningsavtal eller liknande avtal			
Bruttobelopp	79 463	4 631	84 094
Kvittade belopp	-45 225	-4 628	-49 853
Redovisat värde i balansräkningen	34 238	3	34 241
Relaterade belopp som inte kvittas i balansräkningen			
Finansiella instrument, nettningsavtal	-7 781		-7 781
Ställda finansiella säkerheter	-17 305	-3	-17 308
Summa av belopp som inte har kvittats i balansräkningen	-25 086	-3	-25 089
Nettobelopp	9 152		9 152

Derivatinstrument kvittas i balansräkningen när det återspeglar bankens förväntade kassaflöden vid regleringen av två eller flera avtal. Återköpsavtal och omvända återköpsavtal mot centrala clearingmotparter kvittas i balansräkningen när det återspeglar bankens förväntade kassaflöden vid regleringen av två eller flera avtal. Det inträffar när banken har både en avtalsmässig rätt och avsikt att reglera avtalade kassaflöden netto. I det kvittade beloppet för derivattillgångar ingår kvittade kontant-

säkerheter om 11 617 mkr (11 268) vilka härrör från balansräkningsposten In- och upplåning från allmänheten. I det kvittade beloppet för derivatsskulder ingår kvittade kontantsäkerheter om 1 804 mkr (4 272) vilka härrör från balansräkningsposten Utlåning till allmänheten. Den kvarvarande motpartsrisken i derivat reduceras genom avtal om nettningsinställelse, det vill säga nettningsinställelse av positiva och negativa värden i alla derivattransaktioner med en och samma motpart i en

konkursituation. Banken har som policy att teckna nettningsavtal med alla bankmotparter. Nettningsavtalen kompletteras med avtal om ställande av säkerheter för nettoexponeringen. I huvudsak används kontanter som säkerhet, men även statspapper förekommer. Säkerheter för återköpsavtal samt in- och utlåning av värdepapper utgår i regel i form av kontanter eller andra värdepapper.



3.1

K25 Immateriella tillgångar

2024 mkr	Goodwill	Varumärken och andra rättigheter	Kund- kontrakt	Internt utvecklad programvara	Övrigt	Totalt
Anekaftningavärde vid ingången av året	4 350	3	718	6 453	168	11 697
Anekaftningavärde på tillkommande immateriella tillgångar				680		680
Avyttringar och utrangeringar				-302		-302
Valutaeffekt	4		30	37		77
Anekaftningavärde vid utgången av året	4 360	3	784	6 867	168	12 162
Akkumulerade av- och nedskrivningar vid ingången av året			-300	-2 601	-131	-3 132
Avyttringar och utrangeringar				302		302
Årets avskrivningar			-37	-786	-33	-856
Årets nedskrivningar				-3		-3
Valutaeffekt			-17	-21		-38
Akkumulerade av- och nedskrivningar vid utgången av året	0	0	-383	-3 109	-164	-3 727
Redovisat värde	4 360	3	391	3 688	3	8 426

Under året har utvecklingskostnader uppgående till 2 064 mkr (3 238) kostnadsförts.

2023 mkr	Goodwill	Varumärken och andra rättigheter	Kund- kontrakt	Internt utvecklad programvara	Övrigt	Totalt
Anekaftningavärde vid ingången av året	4 367	3	714	6 000	164	11 278
Anekaftningavärde på tillkommande immateriella tillgångar				958	3	961
Avyttringar och utrangeringar				-498		-498
Valutaeffekt	-41		4	-9		-46
Anekaftningavärde vid utgången av året	4 366	3	718	6 453	168	11 697
Akkumulerade av- och nedskrivningar vid ingången av året			-271	-2 507	-99	-2 877
Avyttringar och utrangeringar				498		498
Årets avskrivningar			-37	-661	-33	-751
Årets nedskrivningar				-1		-1
Valutaeffekt			-1	2		1
Akkumulerade av- och nedskrivningar vid utgången av året	0	0	-300	-2 601	-131	-3 132
Redovisat värde	4 366	3	400	3 762	37	8 567

mkr	Goodwill		Immateriella tillgångar med obestämbar nyttjandeperiod	
	2024	2023	2024	2023
Handelsbanken Sverige	3 341	3 331	3	
Handelsbanken Storbritannien	196	183		
Handelsbanken Norge	630	655		
Handelsbanken Nederländerna	183	177		
Handelsbanken Capital Markets		10		3
Summa	4 360	4 366	3	3



3.1

Inledning

Förvaltningsberättelse

Finansiella rapporter
Koncernen

Hållbarhet

Övrigt

K25 forts.

Immateriella tillgångar med obestämbar nyttjandeperiod

Immateriella tillgångar med obestämbar nyttjandeperiod redovisas till anskaffningsvärdet med avdrag för eventuella nedskrivningar. Koncernens immateriella tillgångar med obestämbar nyttjandeperiod utgörs främst av goodwill. Nedskrivningsprövning sker årligen i samband med bokslutet eller när det finns en indikation på att tillgången kan ha minskat i värde. Nedskrivningsprövning görs genom en beräkning av tillgångens återvinningsvärde, det vill säga det högsta av nyttjandevärdet och det verkliga värdet med avdrag för försäljningskostnader. Så länge återvinningsvärdet överstiger redovisat värde är nedskrivning inte befogad. Nedskrivningar redovisas direkt i resultaträkningen.

Nedskrivningsprövning av goodwill

Redovisat goodwill har uppstått vid rörelseförvärv och hämrör till övervägande del från traditionell bankverksamhet på Handelsbankens hemmamarknader. I syfte att pröva goodwill för nedskrivning allokaterades den vid förvärvstidpunkten till den kassagenererande enhet eller enheter som förväntas dra fördel av förvärvet. En kassagenererande enhet är den minsta identifierbara grupp av tillgångar som ger upphov till kassaflöden som i allt väsentligt är oberoende av andra tillgångar. I banken är de kassagenererande enheterna rörelsesegment och goodwill följs upp på rörelsesegmentnivå, se tabell där goodwill är fördelad på rörelsesegment. Vid nedskrivningsprövningen

beräknas nyttjandevärdet för respektive kassagenererande enhet genom diskontering av förväntade framtida kassaflöden samt slutvärde. Som slutvärde används det prognostiserade subetanavärdet för respektive kassagenererande enhet. Tidigare gjorda nedskrivningar av goodwill återförs inte.

De förväntade framtida kassaflödena för de första fem åren bygger på prognoser för riskvägda volymer, intäkter, kostnader samt kreditförluster. Prognoseerna baseras främst på en intern bedömning av antaganden om den framtida intäkte- och kostnadsutvecklingen, konjunkturutvecklingen och förväntad ränteutveckling. Efter den första femårsperioden görs en prognos baserad på ett antagande om långsiktig tillväxttakt. Antagandet om kassaflödestillväxt baseras på historisk real BNP-utveckling samt Riksbankens långsiktiga inflationsmål. Årets nedskrivningsprövning bygger på ett antagande om en långsiktig tillväxttakt på 2% (2). Den totala prognosperioden är 20 år vilket motiveras av att banken har för avsikt att bedriva verksamhet på hemmamarknaderna långsiktigt. De förväntade framtida kassaflödena har diskonterats med en ränta som baseras på riskfri ränta samt riskjustering motsvarande marknadens genomsnittliga avkastningskrav. Diskonteringsräntan uppgick vid årets nedskrivningsprövning till 6,5% (8,2) efter skatt. Motsvarande ränta före skatt uppgick till 9,2% (11,9). Samma diskonteringsränta har använts för samtliga rörelsesegment.

Vid årets nedskrivningsprövning bedömdes skillnaden mellan återvinningsvärde och bokfört värde på goodwill vara betryggande. Det beräknade nyttjandevärdet på goodwill är känsligt för ett antal antaganden som har

betydelse för förväntade kassaflöden samt diskonteringsräntan. De antaganden som har störst betydelse för beräkningen är antaganden om ränte- och konjunkturutveckling samt antaganden om framtida intäkte- och kostnadsutveckling. Ingen rimlig möjlig förändring av väsentliga antaganden skulle påverka det redovisade värdet på goodwill.

Immateriella tillgångar med bestämbar nyttjandeperiod

Immateriella tillgångar för vilka det går att fastställa en bedömd nyttjandeperiod är föremål för avskrivning. Avskrivningen sker linjärt över nyttjandeperioden. För närvarande innebär det att kundrelationer skrivs av på 20 år och att internt utvecklad programvara vanligen skrivs av på fem år. I vissa infrastrukturprojekt bedöms nyttjandeperioden vara längre än fem år. För sådana investeringar är avskrivningstiden upp till 15 år. Varumärken som är föremål för avskrivning skrivs av på fem år. Avskrivningstiden prövas individuellt, dels vid nyanskaffning, dels fortlöpande vid indikation på att nyttjandeperioden kan ha ändrats. Immateriella tillgångar med bestämbar nyttjandeperiod prövas för nedskrivning när det finns indikation på att tillgången kan ha minskat i värde. Nedskrivningsprövning görs enligt samma principer som för immateriella tillgångar med obestämbar nyttjandeperiod, det vill säga genom en beräkning av tillgångens återvinningsvärde.



3.1

K26 Fastigheter och inventarier

Fastigheter och inventarier		
mlr	2024	2023
Fastigheter	3 864	3 960
Inventarier	937	815
Egendom övertagen för skyddande av fordran	2	2
Summa	4 803	4 777
Fastigheter		
mlr	2024	2023
Anskaffningsvärde vid ingången av året	1 844	1 753
Ny- och ombyggnation	90	91
Avyttringar och utrangeringar	-25	
Valutaeffekt	1	0
Anskaffningsvärde vid utgången av året	1 910	1 844
Akkumulerade av- och nedskrivningar vid ingången av året	-588	-551
Årets avskrivningar enligt plan	-38	-37
Årets nedskrivningar	-38	
Avyttringar och utrangeringar	25	
Valutaeffekt	0	0
Akkumulerade av- och nedskrivningar vid utgången av året	-639	-588
Redovisat värde	1 271	1 256
Redovisat värde nyttjanderätter	2 593	2 704
Summa redovisat värde	3 864	3 960
Inventarier		
mlr	2024	2023
Anskaffningsvärde vid ingången av året	2 008	1 906
Anskaffningsvärde på tillkommande under året	475	425
Avyttringar och utrangeringar	-290	-326
Årets nedskrivning	-37	
Valutaeffekt	65	3
Anskaffningsvärde vid utgången av året	2 306	2 008
Akkumulerade av- och nedskrivningar vid ingången av året	-1 313	-1 300
Årets avskrivningar enligt plan	-359	-324
Avyttringar och utrangeringar	291	315
Årets nedskrivning	28	
Valutaeffekt	-44	-4
Akkumulerade av- och nedskrivningar vid utgången av året	-1 307	-1 313
Redovisat värde	908	795
Redovisat värde nyttjanderätter	29	30
Summa redovisat värde	937	815

Koncernens materiella anläggningstillgångar består av fastigheter (företagsfastigheter) och inventarier samt nyttjanderätter. Dessa värderas till anskaffningsvärde med avdrag för ackumulerade av- och nedskrivningar. Avskrivningarna sker utifrån tillgångarnas bedömda nyttjandeperioder och en linjär avskrivningsplan tillämpas. De bedömda nyttjandeperioderna prövas årligen. Någon väsentlig förändring av nyttjandeperioderna har inte skett under 2024. Inventariernas nyttjandeperiod bedöms vara mellan 2–10 år. För fastigheter tillämpas separata avskrivningsplaner för olika delkomponenter. För stomma bedöms nyttjandeperioden vara 100 år och resterande delkomponenter bedöms ha nyttjandeperioder mellan 10 och 35 år. Nyttjanderättarna som främst består av hyrdalokaler bedöms vara densamma som leasingavtalets löptid. Information om korresponderande leasingkuld redovisas i not K45 Leasing. Nedskrivningsprövning av materiella anläggningstillgångar sker när det finns indikation på att tillgången kan ha minskat i värde. Någon indikation på nedskrivningsbehov per balansdagen fanns inte för materiella anläggningstillgångar.



3.1

Inledning

Förvaltningsberättelse

Finansiella rapporter
Koncernen

Hållbarhet

Övrigt

K27 Övriga tillgångar

mkr	2024	2023
Fondinvesteringar	5 310	5 010
Återförskingstillsättningar	21	27
Övrigt	6 505	4 040
Summa	11 836	10 276

K28 Förutbetalda kostnader och upplupna intäkter

mkr	2024	2023
Upplupna intäkter	1 307	1 218
Förutbetalda kostnader	1 071	1 114
Summa	2 488	2 331

K29 Skulder till kreditinstitut

mkr	2024	2023
Skulder i svenska kronor		
Banker	13 573	7 222
Övriga kreditinstitut	7 552	8 444
Summa	21 125	15 666
Skulder i utländsk valuta		
Banker	62 905	73 389
Övriga kreditinstitut	100	1 088
Summa	63 105	74 477
Summa skulder till kreditinstitut	84 230	90 143
varav repor		0
varav erhållna kontantsäkerheter	32 374	20 078
Medelolymer		
mkr	2024	2023
Skulder till kreditinstitut i svenska kronor	18 058	22 050
Skulder till kreditinstitut i utländsk valuta	126 481	143 309
Summa	146 140	166 300
varav repor	173	177



3.1

K30 In- och upplåning från allmänheten

mkr	2024	2023
Inlåning i svenska kronor		
Hushåll	366 270	361 462
Företag	281 519	275 307
Riksgälden	1	1
Summa	647 790	636 769
Inlåning i utländsk valuta		
Hushåll	121 900	100 321
Företag	291 605	279 549
Summa	413 685	379 871
Summa inlåning från allmänheten	1 061 454	1 016 640
Upplåning från allmänheten		
Upplåning i svenska kronor	160 748	170 875
Upplåning i utländsk valuta	88 537	104 905
Summa upplåning från allmänheten	249 285	281 841
Summa in- och upplåning från allmänheten	1 310 739	1 298 480
varav repor	1	2
varav erhållna kontantsäkerheter	3 941	5 137
varav inom försäkringsdröjsan	107	115
Medelvolymer		
mkr	2024	2023
Inlåning från allmänheten		
Inlåning från allmänheten i svenska kronor	615 403	676 110
Inlåning från allmänheten i utländsk valuta	390 857	411 677
Summa	1 012 320	1 087 787
Upplåning från allmänheten		
Upplåning i svenska kronor	200 103	175 907
Upplåning i svenska kronor, försäkringsdröjsan	115	116
Upplåning i utländsk valuta	261 601	222 857
Summa	471 100	398 880
varav repor	7 042	8 678

K31 Skulder där kunden står värdeförändringsrisken

mkr	2024	2023
Fondförsäkringskulder	220 208	192 952
Depåförsäkringskulder	61 977	51 989
Övriga fondskulder	17	159
Summa	288 203	245 100



3.1

Inledning

Förvaltningsberättelse

Finansiella rapporter
Koncernen

Hållbarhet

Övrigt

K32 Emitterade värdepapper

mkr	2024		2023	
	Redovisat värde	Nominalt belopp	Redovisat värde	Nominalt belopp
Certifikat				
Certifikat i svenska kronor	536	509	1 099	1 055
varav varligt värde obligatoriskt	536	509	1 099	1 055
Certifikat i utländsk valuta	620 794	351 863	606 147	418 067
varav upplupet anskaffningsvärde	620 717	351 790	605 740	417 676
varav ingår i säkring av varligt värde	0	0	15 500	15 745
varav varligt värde obligatoriskt	77	73	407	391
Summa	621 331	352 372	607 246	419 122
Obligationsskuld				
Obligationsskuld i svenska kronor	559 652	563 444	568 406	572 009
varav upplupet anskaffningsvärde	559 652	563 444	568 406	572 009
varav ingår i säkring av varligt värde	270 721	267 918	216 156	218 668
Obligationsskuld i utländsk valuta	369 044	370 857	347 739	353 432
varav upplupet anskaffningsvärde	369 044	370 857	347 739	353 432
varav ingår i säkring av varligt värde	261 351	260 598	243 902	253 694
Summa	928 696	934 301	916 235	925 501
Summa emitterade värdepapper	1 550 027	1 286 673	1 523 481	1 344 623

mkr	2024	2023
Emitterade värdepapper vid årets ingång	1 523 481	1 474 801
Emitterade	1 050 961	1 251 086
Återköpta	-54 766	-72 561
Förfallna	-1 035 785	-1 124 075
Valutasäkringar m.m.	50 115	-5 771
Emitterade värdepapper vid årets utgång	1 550 027	1 523 481

Medelvolymer		
mkr	2024	2023
Emitterade värdepapper i svenska kronor	572 209	528 045
Emitterade värdepapper i utländsk valuta	1 030 025	1 013 598
Summa	1 602 234	1 541 643

K33 Korta positioner

mkr	2024	2023
Korta positioner värderade till verkligt värde		
Aktier	621	520
Räntebärande värdepapper	386	1 844
Summa	1 007	2 364

Medelvolymer		
mkr	2024	2023
Korta positioner i svenska kronor	15 433	15 301
Korta positioner i utländsk valuta	220	209
Summa	15 653	15 510



3.1

K34 Försäkringsskulder

Försäkringsskulder 2024

mkr	Skuld för återstående försäkrings-skydd (GMM)	Skuld för inträffade skador (GMM)	Skuld för återstående försäkrings-skydd (FAA)	Skuld för inträffade skador – Nuvärde av framtida kassaflöde (FAA)	Skuld för inträffade skador Riskjustering (FAA)	Totalt
Ingående balans	8 129	0	8	260	9	8 407
Försäkringsintäkter – GMM	-610					-610
varav förväntade kostnader för försäkringstjänster	-557					-557
varav avskrivning av avtalsenlig marginal	-35					-35
varav avskrivning av riskjustering	-19					-19
Försäkringsintäkter – FAA	1		-576			-575
Kostnader för försäkringstjänster		550		428	1	979
Resultat från försäkringstjänster	-610	550	-578	428	1	-207
Finansiella intäkter och kostnader via resultaträkningen	62			4		66
Finansiella intäkter och kostnader via övrigt totalresultat	-66					-66
Kassaflöden – inbetalda premier	14		574			588
Kassaflöden – utbetalningar		-550		-430		-980
Valutaeffekt				0		0
Utgående balans	7 539	0	8	262	10	7 809

Försäkringsskulder 2023

mkr	Skuld för återstående försäkrings-skydd (GMM)	Skuld för inträffade skador (GMM)	Skuld för återstående försäkrings-skydd (FAA)	Skuld för inträffade skador – Nuvärde av framtida kassaflöde (FAA)	Skuld för inträffade skador Riskjustering (FAA)	Totalt
Ingående balans	8 269	0	9	259	8	8 546
Försäkringsintäkter – GMM	-588					-588
varav förväntade kostnader för försäkringstjänster	-530					-530
varav avskrivning av avtalsenlig marginal	-39					-39
varav avskrivning av riskjustering	-20					-20
Försäkringsintäkter – FAA	1		-581			-580
Kostnader för försäkringstjänster		528		418	1	947
Resultat från försäkringstjänster	-588	528	-581	418	1	-221
Finansiella intäkter och kostnader via resultaträkningen	37			0	0	43
Finansiella intäkter och kostnader via övrigt totalresultat	-360					-366
Kassaflöden – inbetalda premier	15		580			595
Kassaflöden – utbetalningar		-528		-423		-951
Valutaeffekt				-1		-1
Utgående balans	8 129	0	8	260	9	8 407



3.1

Infledning

Förvaltningsberättelse

Finansiella rapporter
Koncernen

Hållbarhet

Övrigt

K34 forts.

Förskningskrediter GMM – per komponent 2024

mkr	Nuvärde av framtidiga kassaflöde	Risikjustering	Avtalsenlig marginal	Totalt
Ingående balans	7 138	361	641	8 129
Förändringar relaterade till framtida tjänster	62	-5	-57	0
Förändringar relaterade till tjänster innevarande period	-5	-20	-35	-60
Förändringar relaterade till tidigare tjänster				
Resultat från försäljningstjänster	57	-26	-62	-60
Finansiella intäkter och kostnader via resultaträkningen och övrigt totalresultat	-12	3	5	-4
Kassaflöden	-536			-536
Utgående balans	6 646	329	554	7 530

Förskningskrediter GMM – per komponent 2023

mkr	Nuvärde av framtidiga kassaflöde	Risikjustering	Avtalsenlig marginal	Totalt
Ingående balans	7 102	385	603	8 290
Förändringar relaterade till framtida tjänster	43	-27	-16	0
Förändringar relaterade till tjänster innevarande period	-1	-20	-39	-60
Förändringar relaterade till tidigare tjänster				
Resultat från försäljningstjänster	42	-47	-56	-60
Finansiella intäkter och kostnader via resultaträkningen och övrigt totalresultat	417	13	3	433
Kassaflöden	-513			-513
Utgående balans	7 138	361	641	8 129

Avkastningskurvor som används för diskontering

Löptid	Infört avkastningskurva, %		Aktuell avkastningskurva, %	
	2024	2023	2024	2023
1 år	0,89	0,75	2,25	3,02
2 år	0,95	0,82	2,27	2,78
5 år	0,92	0,88	2,41	2,25
10 år	1,01	1,37	2,65	2,24
20 år	2,57	2,43	2,94	2,76

Dödlighetstabell

Kohort	Återstående livslängd i år, från 65 års ålder	
	Kvinna	Man
1940	23,0	22,2
1950	24,0	21,8
1960	25,3	23,3
1970	25,8	24,0
1980	26,2	24,4

Avtalsenlig marginal

Tidpunkt	Andel av avtalsenlig marginal som förväntas återstå, %	
	2024	2023
2023		100
2024	100	94
2025	94	88
2030	67	63
2040	29	27
2050	10	9

3.1

K34 forts.

Bankens försäkringsrörelse bedrivs av Handelsbanken Liv. Balansposten försäkringsskulder består av försäkringsavtal som överför betydande försäkringsrisk från försäkringstagarna till Handelsbanken Liv och utgörs av traditionella livförsäkringsavtal samt riskförsäkringar i form av främst sjukförsäkring, premiebefrielseförsäkring och dödsfallsförsäkring tecknade av mindre företag och privatpersoner i Sverige. Några riskkoncentrationer utöver att samtliga försäkringar är tecknade i Sverige har inte identifierats. Försäkringsverksamheten i Danmark och Norge avyttrades 2022 respektive 2023. Försäkringsverksamheten i Finland avyttrades under 2024. Ingående försäkringsskulder hänförliga till Finland ingår inte ovan utan har i balansräkningen omklassificerats till Skulder som innehas för försäljning, se not K14. Försäkringsskulden utgörs av summan av skulden för återstående försäkringskydd och skulden för inträffade skador. För riskförsäkringar och riskförsäkringsmoment som redovisas enligt Premiefördelningsmetoden (PAA) värderas skulden för återstående försäkringskydd till erhållna, men ännu ej intjänade premier. För traditionella livförsäkringsavtals spar-försäkringsmoment som redovisas enligt den generella modellen (GMM) innehåller skulden för återstående försäkringskydd kassaflöden för åtaganden som avser framtida tjänster samt den del av den avtalsenliga marginalen som ännu inte intäktförts. Skulden för inträffade skador innehåller kassaflöden för åtaganden som avser tidigare tjänster. Kassaflöden för åtaganden utgörs av det förväntade nuvärdet av framtida kassaflöden samt en riskjustering. Det övergripande syftet med nedanstående avsnitt är att beskriva skuldens beståndsdelar; det förväntade nuvärdet av framtida kassaflöden, riskjustering och avtalsenlig marginal. För mer information om klassificering och värdering av försäkringsavtal, se not K1 avsnitt 8.

Förväntade nuvärdet av framtida kassaflöden

Det förväntade nuvärdet av framtida kassaflöden hänförliga till ingångna försäkringsavtal beräknas med hänsyn tagen till olika utfalls sannolikhet och diskontering. Framtida kassaflöden innefattar premier, skadeersättningar samt skadeanspråks- och administrationskostnader hänförliga till fullföljande av försäkringsavtal. Beräkningen görs genom att kassaflöden projiceras med hjälp av relevanta antaganden och information om respektive försäkringsavtal.

Antaganden vid beräkning av det förväntade nuvärdet av framtida kassaflöden

Vid beräkning av det förväntade nuvärdet av framtida kassaflöden används antaganden vilket medför att beräkningen är förknippad med osäkerhet. För skulden för återstående försäkringskydd och för skulden för inträffade skador tillämpas samma antaganden där det är relevant. Tillämpade antaganden är baserade på intern historik, branschstatistik och marknadsläget. Handelsbanken Liv analyserar löpande hur känslig försäkringsskulden är för förändring i olika antaganden och hur den faktiska utvecklingen skiljer sig från den antagna. Framtagandet av antaganden följer en beslutad process där Handelsbanken Livs aktuari-avdelning (första försvarslinjen) ansvarar för att löpande eller vid behov se över och ta fram förslag på ändring av antaganden. Aktuariefunktionen (andra försvarslinjen) granskar och yttrar sig om förslaget. Beslut om ändring av antaganden fattas därefter av Handelsbanken Livs vd. Beslut om ändrade antaganden rapporteras till bankens värderingskommitté. De två mest väsentliga antagandena är framtida dödlighet och den avkastningskurva som används för att diskontera framtida kassaflöden. Ytterligare väsentliga antaganden är bland annat antaganden om framtida administrationskostnader och antaganden om annullation som till exempel flytt och återköp.

Antagande om dödlighet

Antaganden om framtida dödlighet är baserade på branschstatistik och intern historik. Antagandet anges som ettåriga dödsfallssannolikheter per ålder och årskohort och är därmed för omfattande för att kunna presenteras i en tabell. I tabell visas istället dödlighets-antagandet i form av förväntad återstående livslängd från 65 års ålder.

Antagande om avkastningskurva

Den aktuella avkastningskurvan som används för att diskontera framtida kassaflöden är baserad på observerbara marknadspriser för ränteswapper upp till tio år justerade för kreditrisk. Avkastningskurvan för löptider längre än tio år fastställs genom konvergens med den så kallade Smith-Wilsonmetodiken mot en långsiktig terminsränta. Aktuell långsiktig terminsränta uppskattats till 3,30% (3,45). Konvergenstiden har uppskattats till tio år (tio). De finansiella marknadsscenarierna är marknads-konsistenta, baseras på antagande om arbitragefrihet och är förenliga med de relevanta riskfria räntesatser som används för diskontering. Den aktuella avkastningskurvan och den inlåsta avkastningskurvan (dvs den avkastningskurva som fastställdes vid övergångstillfället) som har använts vid diskontering av försäkringsskulden listas i tabell.

Riskjustering

Riskjustering motsvarar den kompensation banken kräver för att ta på sig osäkerheten i framtida kassaflöden till följd av ingångna försäkringsavtal avseende icke-finansiell risk. För att säkerställa god solvens i Handelsbanken Liv har denna kompensation fastställts som den riskmarginal som Handelsbanken Liv föreskrivs att hålla i enlighet med Solvens 2-regelverket. Riskjusteringen beräknas således med en kapitalkostnadsmetod där framtida kapitalkostnader projiceras med en kapitalkostnadsränta på 6% (6) och sedan diskonteras kapitalkostnaderna till ett nuvärde. Riskjusteringen uppgick 2024 till 340 mkr (361). Utifrån ett antagande om att det förväntade nuvärdet av framtida kassaflöden följer en normalfördelning motsvarar detta en konfidenznivå på ett års sikt motsvarande cirka 99,86% (99,90), värderad med aktuell avkastningskurva. I resultat-räkningen redovisas riskjusteringen uppdelat på resultat från försäkringstjänster respektive finansiella intäkter och kostnader.

Avtalsenlig marginal

Med avtalsenlig marginal avses den ej intjänade vinst som banken kommer att redovisa när försäkringskydd tillhandahålls i framtiden. Vid övergången till IFRS 17 uppstod en avtalsenlig marginal för spar-försäkringsmoment i traditionella livförsäkringsavtal vilken utgjordes av skillnaden mellan det verkliga värdet och summan av det förväntade nuvärdet av framtida kassaflöden och riskjusteringen. Traditionella livförsäkringsavtal nytecknas inte och därmed uppstår inte någon ytterligare avtalsenlig marginal till följd av nya avtal efter övergången till IFRS 17. Handelsbanken har bedömt att både de avkastningsrelaterade tjänsterna och tjänsterna kopplade till tillhandahållande av försäkringskydd utförs linjärt över tid. Försäkringskyddsenheter har därför valts på ett sådant sätt att upplösningen av den avtalsenliga marginalen ska efterlikna en linjär upplösning. I tabell visas förväntad upplösningstakt av den avtalsenliga marginalen.

Väsentliga förändringar och händelser under året

Under året har antagandet om flytt och återköp för traditionella livförsäkring setts över, men inte resulterat i några förändrade antaganden.



3.1

Inledning

Förvaltningsberättelse

Finansiella rapporter
Koncernen

Hållbarhet

Övrigt

K34 forts.

Känslighetsanalys 2024

Riskvariabler Scenario		Påverkan på försäkringsresultat		Påverkan på övrigt totalresultat		Total påverkan på eget kapital		Påverkan på försäkringskulden		Påverkan på tillgångar som innehas för försäkringstagarnas räkning	
		Ökat antagande	Minskat antagande	Ökat antagande	Minskat antagande	Ökat antagande	Minskat antagande	Ökat antagande	Minskat antagande	Ökat antagande	Minskat antagande
Dödlighetsrisk ¹⁾	+/- 10% förändring i förväntad dödlighet	7	-8	-2	0	5	-8	-5	8		
Avvecklingsrisk	+/- 10% förändring i avvecklingstakt	11	-13			11	-13	-11	13		
Annulationsrisk	+/- 1 procentenhets förändring i annulationsstakt	2	-3	-6	6	-3	3	3	-3		
Administrationskostnadsrisk	+/- 10% förändring i kostnad för administration	-2	2	2	-2	0	0	0	0		
Generell ränterisk	+/- 1 procentenhets parallellskift av relevanta räntor	-90	80	443	-606	352	-517	-452	616	-99	100
Specifik ränterisk (spreadrisk)	+/- 1% förändring av värdet på innehav med spreadrisk	34	-34	-4	3	31	-31	4	-3	35	-35
Aktiekursrisk	+/- 10% förändring av värdet på aktier	61	-61	-3	2	58	-59	4	-3	62	-62
Valutakursrisk	+/- 10% förändring av andra valutor mot SEK	89	-89	-8	5	81	-84	9	-6	90	-90

Känslighetsanalys 2023

Riskvariabler Scenario		Påverkan på försäkringsresultat		Påverkan på övrigt totalresultat		Total påverkan på eget kapital		Påverkan på försäkringskulden		Påverkan på tillgångar som innehas för försäkringstagarnas räkning	
		Ökat antagande	Minskat antagande	Ökat antagande	Minskat antagande	Ökat antagande	Minskat antagande	Ökat antagande	Minskat antagande	Ökat antagande	Minskat antagande
Dödlighetsrisk ¹⁾	+/- 10% förändring i förväntad dödlighet	7	-8	-1	-1	6	-9	-6	9		
Avvecklingsrisk	+/- 10% förändring i avvecklingstakt	10	-12			10	-12	-10	12		
Annulationsrisk	+/- 1 procentenhets förändring i annulationsstakt	3	-3	-5	6	-3	2	3	-2		
Administrationskostnadsrisk	+/- 10% förändring i kostnad för administration	-2	2	1	-1	-1	1	1	-1		
Generell ränterisk	+/- 1 procentenhets parallellskift av relevanta räntor	-103	101	521	-687	419	-585	-530	667	-112	112
Specifik ränterisk (spreadrisk)	+/- 1% förändring av värdet på innehav med spreadrisk	35	-35	-3	3	32	-32	3	-3	35	-35
Aktiekursrisk	+/- 10% förändring av värdet på aktier	62	-63	-2	2	61	-61	3	-3	64	-64
Valutakursrisk	+/- 10% förändring av andra valutor mot SEK	48	-48	-2	2	46	-46	3	-3	49	-49

1) I känslighetsanalysen ovan ingår hela försäkringskulden förutom skulden för återstående försäkringskydd för försäkringsavtal värderad med PAA-metoden eftersom denna är värderad till enhetliga, men ännu ej intjänade premier. En förändrad riskvariabel skulle därmed inte få någon omedelbar påverkan på denna skuld annat än att premien framåt hade höjts ifall den bedömts vara otillräcklig.

Risken och känsligheten i beståndet med traditionell livförsäkring och riskförsäkring har kvantifierats i ovanstående tabell som den effektivt rimligt möjliga förändringar av väsentliga riskvariabler skulle få på försäkringsresultat, övrigt totalresultat, eget kapital, försäkringskulden och tillgångar som innehas för försäkringstagarnas räkning. Känslighetsanalysen har baserats på att en riskvariabel förändras och övriga riskvariabler är konstanta. I praktiken är det osannolikt att endast en riskvariabel förändras eftersom förändringar i vissa riskvariabler kan vara korrelerade. Vid beräkningen av känsligheten för förändringar i väsentliga riskvariabler, har samma metod använts som för den redovisade försäkringskulden. Känslighetsanalysen har upprättats med samma metod både åren.

Tillgångar i traditionell livförsäkring som innehas för försäkringstagarnas räkning

mlr	2024	2023
Aktiefonder ¹⁾	519	532
Räntefonder ¹⁾	4 979	5 326
Private Equity ¹⁾	16	18
Liquida medel	49	36
Summa	6 663	6 912

1) Redovisas som Aktier och andelar, se not K19.



3.1

K34 forts.

Duration	Räntefonder		Traditionell livförsäkring Nuvärde av framtida kassaflöden	
	2024	2023	2024	2023
mkr				
0-1 år	3 233	2 754	518	505
1-5 år	1 446	2 171	1 706	1 929
5-10 år	195	281	1 701	1 805
>10 år	105	120	2 630	2 840
Summa	4 979	5 326	6 556	7 139

Risker i försäkringsavtal

Genom försäkringsavtal är banken främst exponerad för marknadsrisk, kreditrisk, likviditetsrisk och försäkringsrisk. De mest väsentliga riskerna beskrivs nedan.

Marknadsrisk

Marknadsrisk avser den samlade risken att förändringar i riskfaktorer inom finansiella marknader, till exempel förändringar i räntor, aktiekurser och valutakurser, resulterar i värdeförändringar på placeringstillgångar och/eller åtaganden.

Ränterisk

Generell ränterisk uppstår i traditionell livförsäkring till följd av skillnad i duration mellan placeringstillgångarna och försäkringsskuden. Durationen på skuden är lång, varför räntekänsligheten vid en förändring av diskonteringsräntan är betydande. Durationen på placeringstillgångarna är kort, varför räntekänsligheten vid en förändring av marknadsräntan är begränsad. Handelsbanken Liv har valt kort duration på placeringstillgångarna till följd av traditionell livförsäkrings utformning.

Specifik ränterisk (spreadrisk) uppstår inom traditionell livförvaltning i innehav i räntefonder vid förändring av kreditspreadar, det vill säga skillnaden mellan det aktuella innehavets ränta och räntan på en statsobligation med motsvarande löptid.

Placeringstillgångarna redovisas och värderas till verkligt värde via resultatet, obligatoriskt se not K5 och not K6. För att undvika volatilitet i resultaträkningen för traditionell livförsäkring redovisas effekter av ändrad diskonteringsränta i Övrigt totalresultat, vilka består av skillnaden mellan skuden diskonterad med inläst avkastningskurva och skuden diskonterad med aktuell avkastningskurva.

Aktiekursrisk

Aktiekursrisk uppstår inom traditionell livförvaltning till följd av placeringar i främst aktiefonder. Traditionella livförsäkringsavtal ger en möjlighet för försäkringstagaren att erhålla ytterligare förmån, utöver garanterad, om den faktiska avkastningen överstiger nivån på den garanterade. Detta medför att Handelsbanken främst är exponerad för nersidan av aktiekursrisken. Vid årsskiftet var exponeringen mot aktiekursrisk i beståndet med traditionell livförvaltning 635 mkr (550).

Valutakursrisk

Valutakursrisk uppstår inom traditionell livförvaltning främst till följd av placeringar i fonder med underliggande tillgångar i främst euro och amerikanska dollar. Exponeringen begränsas vid behov genom valutaderivat. Vid årsskiftet var nettoexponeringen i euro 417 mkr (301) och amerikanska dollar 457 mkr (173).

Kreditrisk

Kreditrisk uppstår inom traditionell livförvaltning i innehav i räntefonder. Risken är begränsad eftersom underliggande innehav i fonderna får ha som lägst kreditbetyg BBB- (investment grade) eller motsvarande.

Likviditetsrisk

Likviditetsrisker uppstår främst till följd av att traditionell livförsäkring ger försäkringstagaren en möjlighet att flytta sitt försäkringskapital till en annan försäkringsgivare. Risken hanteras genom en daglig uppföljning av kommande utbetalningar samt begränsas genom att placeringstillgångarna i stor utsträckning placeras i värdepappersfonder med mycket god likviditet.

Försäkringsrisk

Med försäkringsrisk avses risk, annan än finansiell risk, som överförs från den försäkrade till Handelsbanken Liv. De mest väsentliga försäkringsriskerna beskrivs nedan.

Dödsfallsrisk

Risken för förlust eller negativ förändring av försäkringsåtagandena till följd av förändrad dödlighet. Dödsfallsrisk uppstår främst i dödsfallsförsäkringar. Ökad dödlighet leder till att värdet av försäkringsåtagandena ökar.

Livsfallsrisk

Risken för förlust eller negativ förändring av försäkringsåtagandena till följd av förändrad dödlighet. Livsfallsrisk uppstår i traditionella livförsäkringsavtal där försäkringstagaren erhåller en garanterad förmån som kan vara livsvarig. Minskad dödlighet leder till att värdet av försäkringsåtagandena ökar.

Avvecklingsrisk

Risken för förlust eller negativ förändring av försäkringsåtagandena till följd av förändrad takt för tillfrisknande. Avvecklingsrisk uppstår främst i sjukförsäkringar. Minskad avveckling leder till att värdet av försäkringsåtagandena ökar.

Annullationsrisk

Risken för förlust eller negativ förändring av försäkringsåtagandena till följd av förändringar i flytt- och återköpsfrekvens. Annullationsrisk uppstår främst i traditionella livförsäkringsavtal, där hela beståndet har flytträtt.

Administrationskostnadsrisk

Risken för förlust eller negativ förändring av försäkringsåtagandena till följd av förändrade kostnader för administration av försäkringsavtal. Administrationskostnadsrisk uppstår främst i traditionella livförsäkringsavtal. Ökade administrationskostnader leder till att värdet av försäkringsåtagandena ökar.



3.1

Inledning
 Förvaltningsberättelse
 Finansiella rapporter
Koncernen
 Hållbarhet
 Övrigt

K34 forts.

Hantering och begränsning av risker
 Handelsbanken Liv har låg risktolerans och följer bankens principer för hantering av risk. Riskerna hanteras primärt genom att Handelsbanken Liv håller tillräckligt med kapital för att kunna fullfölja åtagandena mot försäkrings- tagarna även under oförutsedda negativa händelser. För ytterligare information se not K2 avsnitt Risker i försäkringsrörelsen.
 Handelsbanken Livs placeringspolicy begränsar exponeringen mot finansiella risker och ger övergripande anvisningar om tillgång-

arnas förvaltning givet åtagandena till försäk- ringstagarna och lagstadgade krav. Vidare ger den anvisningar om hur styrning och kontroll av placeringarna ska utföras samt hur den totala risknivån i tillgångarna ska hanteras. Tillgångarna ska placeras på ett aktsamt sätt så att risker kan identifieras, mätas, analyseras och rapporteras.
 Handelsbanken begränsar sin exponering mot försäkringsrisker på flera sätt. Medicinsk riskbedömning utifrån den försäkrades hälso- tillstånd görs i vissa fall innan dödsfalle- och

sjukförsäkringar beviljas. Premiesättningen grundar sig på antaganden om hur stora kost- naderna för inträffade försäkringshändelser förväntas bli, med tillbörliga försiktighetsmargi- naler, och ses över löpande för att säkerställa dess tillräcklighet för att täcka förväntade kostnader. För att undvika volatilitet i resultat- räkningen återförsäkras de största dödsfalle- försäkringarna och sjukförsäkringarna enligt fastställda limiter för självbehåll, se not K27 för återförsäkringstillgångar och not K37 för åter- försäkringskulder.

K35 Skatter

Redovisade skattekostnader i resultaträkningen

mkr	2024	2023
Aktuell skatt	-7 814	-8 452
Uppskjuten skatt	53	118
Skatt hänförlig till tidigare år	-34	-83
Summa skattekostnader kvarvarande verksamhet	-7 795	-8 417
Summa skattekostnader avvecklad verksamhet	-72	-185

Skilnad mellan koncernens skattekostnad och skattekostnad enligt svensk gällande skattelags

mkr	2024	2023
Resultat före skatt	35 016	38 322
Skatt på resultat före skatt med svensk skattelags	-7 213	-7 482
Bokförd skatt i koncernen	-7 705	-8 417
Skilnad	-682	-935
Skilnaden förklaras av skatteeffekt avseende följande poster:		
Ej skattepliktiga intäkter/ej avdragsbara kostnader	-23	-16
Ej avdragsbara kostnad på efterställda skulder	-515	-583
Annan skattebas i försäkringsrörelse	316	297
Ej skattepliktiga resvinster och utdelningar	0	0
Annan skattebas i utlandet	-487	-505
Skatt tidigare år	-34	-83
Övrigt	161	0
Summa	-682	-935



3.1

K35 forts.

Uppskjutna skattefordringar 2024

	Ingående balans	Redovisat överresultat-räkningen	Redovisat i övrigt totalresultat	Valutaeffekt	Kvittning	Utgående balans
mkr						
Säkringsinstrument	540		-191			355
Fastigheter och inventarier	0	0				0
Pensioner	347	92				439
Övrigt	401	-95				306
Kvittning	-930				-7	-943
Summa	358	-3	-191	0	-7	157

Uppskjutna skattekulder 2024

	Ingående balans	Redovisat överresultat-räkningen	Redovisat i övrigt totalresultat	Valutaeffekt	Kvittning	Utgående balans
mkr						
Utlåning till allmänheten ¹⁾	1 878	-211				1 667
Säkringsinstrument	448	-60	-204	64		239
Immateriella tillgångar	65	2				67
Fastigheter och inventarier	91	27				118
Pensioner	2 212	215	36	15		2 478
Övrigt	211	-80		-7		118
Kvittning	-930				-7	-943
Summa	3 969	-122	-168	72	-7	3 744

1) Varav leasing 1 622 mkr (1 845).

Uppskjutna skattefordringar 2023

	Ingående balans	Redovisat överresultat-räkningen	Redovisat i övrigt totalresultat	Valutaeffekt	Kvittning	Utgående balans
mkr						
Säkringsinstrument	900		-450			540
Fastigheter och inventarier	19	-19				0
Pensioner	370	-23				347
Övrigt	204	180		8		401
Kvittning					-930	-930
Summa	1 589	130	-450	8	-930	308

Uppskjutna skattekulder 2023

	Ingående balans	Redovisat överresultat-räkningen	Redovisat i övrigt totalresultat	Valutaeffekt	Kvittning	Utgående balans
mkr						
Utlåning till allmänheten ¹⁾	2 207	-329				1 878
Säkringsinstrument	764		-310			448
Immateriella tillgångar	78	-13				65
Fastigheter och inventarier	95	-4				91
Pensioner	2 400	231	-449	-30		2 212
Övrigt	4	207				211
Kvittning					-930	-930
Summa	5 614	92	-769	-38	-930	3 969

1) Varav leasing 1 845 mkr (2 207).

Upplysning Pelare 2

En initial bedömning av Pelare 2-reglernas effekt på banken har genomförts och kommer löpande utvärderas. Handelsbanken tillämpar undantaget i IAS 12, vilket innebär att koncernen varken redovisar eller lämnar upplysningar om uppskjutna skattefordringar och -skulder relaterade till inkomstskatter till följd av Pelare 2.

Alla länder där Handelsbanken bedriver verksamhet, med undantag för USA, har antagit EU-direktiv till Pelare 2 och nationell lagstiftning har eller kommer implementeras. Handelsbanken är inte verksam i lågbeskattade länder och samtliga länder där verksamhet bedrivs har en skattesats som överstiger 20%. Handelsbanken har uppskattat att de effektiva skattesatserna överstiger 15% i alla jurisdiktioner där den är verksam, varmed ingen skatt redovisats i räkenskapsarna relaterad till lagstiftningen enligt andra pelaren.

Handelsbankens bedömning är att reglerna inte kommer att få någon väsentlig inverkan på Handelsbankens finansiella rapporter.

Ej redovisade uppskjutna skattefordringar och underskott

Uppskjutna skattefordran på underskottsavdrag och andra framtida avdragsgilla temporära skillnader redovisas enbart om det är sannolikt att den kan nyttjas inom en överskådlig framtid.

Ej redovisade uppskjutna skattefordringar finns lokalt i Stadshypotek AB och uppgår till 124 mkr (113).



3.1

Infledning

Förvaltningsberättelse

Finansiella rapporter
Koncernen

Hållbarhet

Övrigt

K36 Avsättningar

Avsättningar 2024

mkr	Avsättningar för förväntade kreditförluster på poster utanför balansräkningen ¹⁾	Omstrukturierungs-reserv ²⁾	Övriga avsättningar ³⁾	Summa
Avsättningar vid årets ingång	299	43	258	601
Avsatt under året			159	159
Anspråktaget		-17	-24	-41
Återfört			-177	-177
Nettoförändring av förväntade kreditförluster	-105			-105
Avsättningar vid årets utgång	194	27	216	437

Avsättningar 2023

mkr	Avsättningar för förväntade kreditförluster på poster utanför balansräkningen ¹⁾	Omstrukturierungs-reserv ²⁾	Övriga avsättningar ³⁾	Summa
Avsättningar vid årets ingång	280	87	225	592
Avsatt under året			121	121
Anspråktaget		-44	-8	-52
Återfört			-80	-80
Nettoförändring av förväntade kreditförluster	20			20
Avsättningar vid årets utgång	300	43	268	611

1) Förtydligande information, se not K10 och K44.
2) Avsättningen för omstruktureringsskostnader avser kostnader relaterade till bankens omställning.
3) Under Övriga avsättningar redovisas de belopp som avsatts för reglering av de anspråk som rikadats mot banken.

K37 Övriga skulder

mkr	2024	2023
Fondinvestskulder	2 865	5 192
Leasingkulld	2 751	2 857
Återförskotningskulder	128	128
Övrigt	9 632	6 708
Summa	15 376	14 885



3.1

K38 Upplupna kostnader och förutbetalda intäkter

mkr	2024	2023
Upplupna kostnader	2 065	1 902
Förutbetalda intäkter	980	1 087
Summa	2 065	2 000

K39 Efterställda skulder

Förändring av efterställda skulder

mkr	2024	2023
Efterställda skulder vid årets ingång	43 117	42 404
Emitterade	5 673	8 753
Förbetalda	-13 309	-8 326
Valutaeffekter m m	1 633	285
Efterställda skulder vid årets utgång	37 064	43 117

Medelvolymer

mkr	2024	2023
Efterställda skulder i utländsk valuta	36 603	42 200

Specifikation, efterställda skulder

Emissionsår	Förfall	Ursprunglig förfallodag	Första möjliga datum för inlösen	Valuta	Ursprungligt nominellt belopp i respektive valuta	Konvertibelt/ Ej konvertibelt	Räntesats, %	Utbärande belopp
2020	Ejg ^{1) 2)}		2027-03-01	USD	500	Konvertibelt ³⁾	4,375	5 229
2020	Ejg ^{1) 2)}		2031-03-01	USD	500	Konvertibelt ³⁾	4,750	4 584
2022	Tidsbunden ⁴⁾	2033-06-01	2028-06-01	EUR	500	Ej konvertibelt	3,250	5 748
2022	Tidsbunden ⁴⁾	2032-06-23	2027-06-23	GBP	500	Ej konvertibelt	4,025	0 722
2023	Tidsbunden ⁴⁾	2034-06-10	2029-06-10	EUR	750	Ej konvertibelt	5,000	0 053
2024	Tidsbunden ⁴⁾	2036-11-04	2031-11-04	EUR	500	Ej konvertibelt	3,025	5 718
Summa efterställda skulder								37 064

1) Efterställt samtliga instrument utom aktier, närmast högre är tidsbundna efterställda skulder.

2) Inlösenbart vid varje påföljande räntesättningsdag efter första inlösendatum.

3) Skuldsen konverteras till stamaktier i Svenska Handelsbanken AB om Svenska Handelsbanken AB:s kärnprimärkapitalrelation understiger 5,125% eller om den konsoliderade situationens kärnprimärkapitalrelation understiger 8,0%.

4) Efterställt samtliga seniora skulder.



3.1

Inledning

Förvaltningsberättelse

Finansiella rapporter
Koncernen

Hållbarhet

Övrigt

K40 Specifikation av förändringar i eget kapital

Förändring av reserv kassafördessökningar

mkr	2024	2023
Reserv kassafördessökningar vid årets ingång	181	-307
Effektiv del av förändringen i verkligt värde		
Ränterisk	704	1 486
Valutarisk	-400	-619
Omklassificerat till resultaträkningen ¹⁾	-174	-252
Skatt	-33	-127
Reserv kassafördessökningar vid årets utgång	308	181

Förändring av reserv verkligt värde

mkr	2024	2023
Reserv verkligt värde vid årets ingång	107	126
Orealiserade vinstförändringar – eget kapitalinstrument	107	51
Realiserade vinstförändringar – eget kapitalinstrument	3	0
Orealiserade vinstförändringar – skuldinstrument	5	19
Förändring av reserv för förväntade kreditförluster – skuldinstrument	0	0
Omklassificerat till balanserade vinstermedel – eget kapitalinstrument ²⁾	-3	0
Omklassificerat till resultaträkningen – skuldinstrument ⁴⁾	0	0
Reserv verkligt värde vid årets utgång	360	197

Förändring av reserv omräkning utländsk verksamhet

mkr	2024	2023
Reserv omräkning utländsk verksamhet vid årets ingång	3 502	4 332
Förändring av omräkningsdifferens hänförlig till filialer	200	-855
Förändring av omräkningsdifferens hänförlig till dotterbolag	2 530	207
Omklassificerat till resultaträkningen ⁴⁾	-248	9
Omklassificerat till balanserade vinstermedel ⁵⁾	-811	-284
Reserv omräkning utländsk verksamhet vid årets utgång	5 240	3 502

1) Skatt som omklassificerats till resultaträkningen hänförlig till denna post 35 mkr (52).
2) Skatt som omklassificerats till balanserade vinstermedel hänförlig till denna post - mkr (-).
3) Skatt som omklassificerats till resultaträkningen hänförlig till denna post 0 mkr (0).
4) Skatt som omklassificerats till resultaträkningen hänförlig till denna post -70 mkr (-2).
5) Skatt som omklassificerats till balanserade vinstermedel hänförlig till denna post 8 mkr (10).

3.1

K41 Klassificering av finansiella tillgångar och skulder

2024	Verkligt värde via resultaträkningen				Verkligt värde via övrigt totalresultat	Upphopet anskaffningsvärde	Summa redovisat värde	Verkligt värde
	Obligatoriskt	Verkligt värdeoptionen	Derivat identifierat som likingelinstrument					
Tillgångar								
Kassa och tillgodehavanden hos centralbanker						530 000	530 000	530 000
Övrig utlåning till centralbanker						12 547	12 547	12 547
Betalningsbara statsskuldförbindelser m m	4 802	167 745					172 007	172 005
Utlåning till övriga kreditinstitut						18 923	18 923	18 932
Utlåning till allmänheten						2 372 086	2 372 086	2 365 414
Värdeförändring på räntesäkrad post i portföljsäkring						-6 399	-6 399	
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	10 320	23 920			13 250		47 508	47 508
Aktier och andelar	13 942				804		14 746	14 746
Tillgångar där kunden står värdeförändringsrisken	287 984						287 984	287 984
Derivatinstrument	21 340		25 729				47 069	47 069
Övriga tillgångar	13					11 903	11 916	11 916
Summa	338 470	191 665	25 729		14 063	2 030 069	3 608 065	3 608 431
Aktier och andelar i intressföretag och joint ventures							860	
Icke finansiella tillgångar							29 317	
Summa tillgångar							3 638 173	
Skulder								
Skulder till kreditinstitut						84 527	84 527	84 502
In- och upplåning från allmänheten						1 320 481	1 320 481	1 320 543
Skulder där kunden står värdeförändringsrisken		288 263					288 263	288 263
Emitterade värdepapper	614					1 540 413	1 550 027	1 545 408
Derivatinstrument	14 583		1 373				15 956	15 965
Korta positioner	1 007						1 007	1 007
Övriga skulder	12					15 687	15 700	15 700
Efterställda skulder						37 054	37 054	38 263
Summa	16 216	288 263	1 373			3 007 162	3 313 015	3 306 732
Icke finansiella skulder							16 131	
Summa skulder							3 329 146	



3.1

Inledning

Förvaltningsberättelse

Finansiella rapporter
Koncernen

Hållbarhet

Övrigt

K41 forts.

2023	Verkligt värde via resultaträkningen				Upphopet anskaffnings- värde	Summa redovisat värde	Verkligt värde
mkr	Obligatoriskt	Verkligt värde- optionen	Derivat identifierat som säkringsinstrument	Verkligt värde via övrigt totalresultat			
Tillgångar							
Kassa och tillgodohavanden hos centralbanker					476 181	476 181	476 181
Övrig utlåning till centralbanker					32 145	32 145	32 145
Bolningsbara statskuldförbindelser m m	3 534	195 594				199 128	199 128
Utlåning till övriga kreditinstitut					19 298	19 298	19 272
Utlåning till allmänheten					2 434 217	2 434 217	2 415 484
Värdeförändring på räntesäkrad post i portföljsäkring					-9 657	-9 657	
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	13 550	23 827		12 700		50 087	50 087
Aktier och andelar	11 017			601		12 218	12 218
Tillgångar där kunden står värdeförändringsrisken	254 401				78	254 479	254 479
Derivatinstrument	13 018		16 402			30 110	30 110
Övriga tillgångar	27				10 282	10 309	10 309
Summa	298 747	219 421	16 402	13 310	2 982 544	3 808 514	3 499 412
Aktier och andelar i intresseföretag och joint ventures						657	
Icke finansiella tillgångar						28 620	
Summa tillgångar						3 837 792	
Skulder							
Skulder till kreditinstitut					91 124	91 124	91 287
In- och upplåning från allmänheten					1 350 036	1 350 036	1 340 338
Skulder där kunden står värdeförändringsrisken		254 609			78	254 687	254 687
Emitterade värdepapper	1 500				1 521 975	1 523 481	1 497 333
Derivatinstrument	27 399		6 840			34 238	34 238
Korta positioner	2 364					2 364	2 364
Övriga skulder	27				15 712	15 739	15 739
Efterbildade skulder					43 117	43 117	43 227
Summa	31 298	254 609	6 840		3 022 042	3 314 787	3 289 213
Icke finansiella skulder						17 019	
Summa skulder						3 332 706	

Tillgångar och skulder i tabellen ovan inkluderar avyttringsgrupperna i Finland som i balansräkningen omklassificerats till Tillgångar som innehas för försäljning respektive Skulder som innehas för försäljning, se not K14.



3.1

K42 Värdering av finansiella instrument till verkligt värde

Finansiella instrument värderade till verkligt värde 2024				
mkr	Nivå 1	Nivå 2	Nivå 3	Totalt
Tillgångar				
Balanserade statskuldförbindelser m.m.				
Verkligt värde via resultaträkningen, obligatoriskt	4 778	84		4 862
Verkligt värde via resultaträkningen, verkligt värdeoptionen	167 745			167 745
Verkligt värde via övrigt totalresultat				
Obligationer och andra räntebärande värdepapper				
Verkligt värde via resultaträkningen, obligatoriskt	9 610	719		10 329
Verkligt värde via resultaträkningen, verkligt värdeoptionen	23 920			23 920
Verkligt värde via övrigt totalresultat	11 752	1 507		13 259
Aktier och andelar				
Verkligt värde via resultaträkningen, obligatoriskt	13 340	580	10	13 942
Verkligt värde via övrigt totalresultat	548	94	101	803
Tillgångar där kunden står värdeförändringsrisken	285 122	2 845	17	287 984
Derivatinstrument	52	47 017		47 069
Summa	616 987	52 852	104	669 943
Skulder				
Skulder där kunden står värdeförändringsrisken	285 400	2 845	17	288 263
Emitterade värdepapper		614		614
Derivatinstrument	39	15 916		15 955
Korta positioner	992	15		1 007
Summa	286 431	19 390	17	305 838

Finansiella instrument värderade till verkligt värde 2023				
mkr	Nivå 1	Nivå 2	Nivå 3	Totalt
Tillgångar				
Balanserade statskuldförbindelser m.m.				
Verkligt värde via resultaträkningen, obligatoriskt	3 498	30		3 534
Verkligt värde via resultaträkningen, verkligt värdeoptionen	195 594			195 594
Verkligt värde via övrigt totalresultat				
Obligationer och andra räntebärande värdepapper				
Verkligt värde via resultaträkningen, obligatoriskt	13 245	305		13 550
Verkligt värde via resultaträkningen, verkligt värdeoptionen	23 827			23 827
Verkligt värde via övrigt totalresultat	11 158	1 551		12 709
Aktier och andelar				
Verkligt värde via resultaträkningen, obligatoriskt	11 090	503	18	11 611
Verkligt värde via övrigt totalresultat	310	135	150	601
Tillgångar där kunden står värdeförändringsrisken	251 504	2 820	77	254 401
Derivatinstrument	92	30 016	2	30 110
Summa	610 325	35 366	253	645 944
Skulder				
Skulder där kunden står värdeförändringsrisken	251 712	2 820	77	254 609
Emitterade värdepapper		1 500		1 500
Derivatinstrument	47	34 189	2	34 238
Korta positioner	2 364			2 364
Summa	254 123	38 515	79	292 717

Finansiella instrument i tabellen ovan inkluderar avyttringsgrupperna i Finland som i balansräkningen omklassificerats till Tillgångar som innehas för försäljning respektive Skulder som innehas för försäljning, se not K14.



3.1

Inledning
 Förvaltningsberättelse
 Finansiella rapporter
 Koncernen
 Hållbarhet
 Övrigt

K42 forts.

Förändring av innehav i finansiella instrument i nivå 3 2024

mkr	Aktier och andelar	Derivat- tillgångar	Derivat- skulder	Tillgångar där kunden står värdeföränd- ringsrisken	Skulder där kunden står värdeföränd- ringsrisken
Redovisat värde vid årets ingång	174	2	-2	77	-77
Nyanskaffningar	1				
Återköp/avyttat	-5				
Förhållat					
Realiserad värdeförändring i resultaträkningen	-6	-2	2	-60	60
Realiserad värdeförändring i övrigt totalresultat	13				
Förflyttning från nivå 1 eller 2					
Förflyttning till nivå 1 eller 2					
Redovisat värde vid årets utgång	177			17	-17

Förändring av innehav i finansiella instrument i nivå 3 2023

mkr	Aktier och andelar	Derivat- tillgångar	Derivat- skulder	Tillgångar där kunden står värdeföränd- ringsrisken	Skulder där kunden står värdeföränd- ringsrisken
Redovisat värde vid årets ingång	173	30	-30	525	-525
Nyanskaffningar					
Återköp/avyttat	-1				
Förhållat					
Realiserad värdeförändring i resultaträkningen	2	0	0	-448	448
Realiserad värdeförändring i övrigt totalresultat					
Förflyttning från nivå 1 eller 2		-37	37		
Förflyttning till nivå 1 eller 2					
Redovisat värde vid årets utgång	174	2	-2	77	-77

Finansiella instrument i tabellen ovan inkluderar avyttringsgrupperna i Finland som i balansräkningen omklassificerats till Tillgångar som innehåller för försäljning respektive Skulder som innehåller för försäljning, se not K14.

En förändring i icke observerbara indata bedöms ej föranleda betydande högre eller lägre värdering av innehaven i nivå 3 varför någon känslighetsanalys ej jämnas.

Värderingshierarkin

Finansiella instrument värderade till verkligt värde har i tabellerna kategoriserats med avseende på hur de värderats och graden av transparens kring marknadsdata som använts vid värderingen. Kategoriseringen framgår som nivå 1–3 i tabellerna. Finansiella instrument som värderas till ett direkt och likvärt marknadspris kategoriseras som nivå 1. Dessa finansiella instrument består främst av statspapper och andra räntebärande värdepapper som handlas aktivt, noterade aktier samt korta positioner i motsvarande tillgångar. I nivå 1 ingår även merparten av de fondandelar och andra tillgångar som är kopplade till fondförsäkringskontrakt och liknande avtal samt motsvarande skulder. Finansiella instrument som värderas med värderingsmodeller som i allt väsentligt bygger på marknadsdata kategoriseras som nivå 2. I nivå 2 ingår främst räntebärande värdepapper samt ränte- och valuta-relaterade derivat. Finansiella instrument vars värdering i väsentlig utsträckning påverkas av indata som inte går att verifiera med externa

marknadsuppgifter kategoriseras som nivå 3. I nivå 3 ingår onoterade aktier, vissa innehav i riskkapitalfonder samt vissa derivat.

Som grund för indelningen ligger den värderingsmetod som använts på balansdagen. Om kategorin för ett specifikt instrument har förändrats i jämförelse med föregående balansdag (2023-12-31) har instrumentet flyttats mellan nivåerna i tabellen. Det föreligger inga väsentliga förflyttningar mellan nivåerna under året. Årets förändringar av innehav i nivå 3 redovisas i en separat tabell, se nedan.

Innehav i nivå 3 består främst av onoterade aktier. Koncernens innehav av onoterade aktier består till övervägande del av andelar i företag som utför stödjande verksamhet för banken. Det kan exempelvis röra sig om andelar i clearingorganisationer och infrastruktursamarbeten på Handelsbankens hemmamarknader. Sådana innehav värderas i regel till bankens andel av substansvärdet i bolaget, alternativt till det pris till vilket den senaste transaktionen genomfördes. Onoterade aktier är i allt väsentligt klassificerade till verkligt värde via övrigt totalresultat. Värdeförändringar på dessa innehav redovisas därmed i övrigt totalresultat.

Vissa innehav i riskkapitalfonder kategoriseras som nivå 3. De värderas med värderingsmodeller som huvudsakligen bygger på relativvärdering av jämförbara noterade företag i samma bransch. Det resultatmått som jämförelsen bygger på justeras för faktorer som stör jämförelsen mellan investeringen och jämförelsebolaget. Därefter beräknas värdet på basis av vinstmultiplar, exempelvis P/E-tal och EV/EBITA. Merparten av dessa innehav utgör placerings-tillgångar i koncernens försäkringsförelse.

Vidare kategoriseras derivatkomponenten i vissa av bankens emitterade strukturerade obligationer och dess tillhörande säkrande derivat i nivå 3. För dessa derivat har interna antaganden väsentlig påverkan för beräkningen av det verkliga värdet. Säkrande derivat i nivå 3 är handlade under CSA-avtal, där marknadsvärdena stäms av och säkerställs på daglig basis med bankens motparter.

Årets realiserade värdeförändringar på finansiella instrument i nivå 3 som redovisas i resultaträkningen uppgår till 1 mkr (1).

3.1

K42 forts.

Verkligt värde på finansiella instrument redovisade till upplupet anskaffningsvärde 2024

nr	Nivå 1	Nivå 2	Nivå 3	Totalt
Tillgångar				
Kassa och tillgodehavanden hos centralbanker	530 000			530 000
Övrig utlåning till centralbanker	12 547			12 547
Utlåning till övriga kreditinstitut	4 305	13 900	362	18 633
Utlåning till allmänheten	27 977	1 137	2 336 300	2 365 414
Tillgångar där kunden står värdetförändringsrisken				
Summa	674 838	15 103	2 336 662	2 026 603
Skulder				
Skulder till kreditinstitut	39 704	44 828		84 532
In- och upplåning från allmänheten	1 312 915	7 628		1 320 543
Skulder där kunden står värdetförändringsrisken				
Emitterade värdepapper	917 859	626 930		1 544 795
Efterbildade skulder		38 263		38 263
Summa	2 270 538	717 655		2 988 193

Verkligt värde på finansiella instrument redovisade till upplupet anskaffningsvärde 2023

mkr	Nivå 1	Nivå 2	Nivå 3	Totalt
Tillgångar				
Kassa och tillgodsvaruandén hos centralbanker	476 181			476 181
Övrig utlåning till centralbanker	32 145			32 145
Utlåning till övriga kreditinstitut	5 870	13 038	358	19 272
Utlåning till allmänheten	41 120	928	2 373 537	2 415 485
Tillgångar där kunden står värdepåförändringsrisken	78			78
Summa	555 400	13 966	2 373 895	2 943 161
Skulder				
Skulder till kreditinstitut	31 858	59 430		91 287
In- och upplåtning från allmänheten	1 341 888	7 449		1 349 338
Skulder där kunden står värdepåförändringsrisken	78			78
Emitterade värdepapper	857 720	638 107		1 495 827
Efterbildade skulder		43 227		43 227
Summa	2 231 544	748 213		2 979 757

Finansiella instrument i tabellen ovan inkluderar avyttringsgrupperna i Finland som i balansräkningen omklassificerats till Tillgångar som innehålls för försäljning respektive Skulder som innehålls för försäljning, se not K14.

Skilnader mellan transaktionspris och det värde som räknas fram med hjälp av en värderingsmodell

Som framgår av redovisningsprinciperna i not K1 periodiseras väsentliga positiva skillnader mellan det värde som räknats fram vid det första redovisningsinfästet och transaktionspriset (så kallat dag 1-resultat) vid modellvärdering av derivat. Realiserade resultat på grund av positiva skillnader mellan transaktionspris och det värde som räknas fram med hjälp av en värderingsmodell (så kallade dag 1-resultat) utgörs av bankens vinstmarginal och ersättning för att täcka exempelvis kapital- och administrativa kostnader. Principen innebär att en periodiserings effekt om 184 mil (113) redovisats i nettoreultatet av finansiella transaktioner under året. Vid utgången av året uppgick samlagda ånnu ej resultatförda dag 1-resultat till 500 mil (472).

Principer för upplysningar om verkligt värde på finansiella instrument som redovisas till upplupet anskaffningsvärde

Upplysningar om verkligt värde på finansiella instrument samt redovisas till upplupit anskaffningsvärde lämnas i not K4 och i tabellen nedan. Dessa instrument består i allt väsentligt av utlåning samt in- och upplåning. För betalningsmedel samt kortfristiga fordringar och skulder har det redovisade värdet bedömts vara en gotttagbar estimering av det verkliga värdet. Fordringar och skulder med förfallodag alternativt tidpunkt för nästkommande räntesättning som infaller inom 30 dagar, har definierats som kortfristiga.

Värderingen av utlåning till fast ränta baseras på aktuell marknadsränta med justering för antagande om marknadsmässig kredit- och likviditetsriskpremie. Premien har antagits vara lika med genomsnittlig marginal för nyutlåning

vid mättdpunkten. Räntebärande värdepapper har värderats till aktuellt marknadspris i den mån ett sådant funnits tillgängligt. Uppläpning samt räntebärande värdepapper för vilka marknadsprisinformation inte funnits har värderats med en värderingsmodell som bygger på marknadsdata i form av priser eller räntor för liknande instrument.

I tabellen har den värdering som ligger till grund för uppgifterna om verkligt värde på finansiella instrument som redovisas till upplupet anskaffningsvärde kategoriserats i den värderingshierarki som beskrivits ovan. Betalningsmedel samt inlåning har tillkästs till konterant och kategoriserats som nivå 1. I nivå 1 redovisas även räntebärande värdepapper (tillgångar och skulder) för vilka det finns ett aktuellt marknadspris. Uttåning för vilken antagandet om kredit- och likviditetspremie väsentligt påverkat upplysningen om verkligt värde har kategoriserats som nivå 3. Övriga instrument är kategoriserade som nivå 2.



3.1

Inledning

Förvaltningsberättelse

Finansiella rapporter
Koncernen

Hållbarhet

Övrigt

K43 Ställda och mottagna säkerheter samt överförda finansiella tillgångar

För egna skulder ställda säkerheter

mkr	2024	2023
Kontanter	14 500	27 450
Statspapper och obligationer	2 401	5 001
Utlåning till allmänheten	750 510	705 513
Aktier	5 800	5 800
Tillgångar där kunden står värdeförändringsrisken	280 253	250 108
Övrigt	1 330	1 820
Summa	1 053 804	1 052 518
varav pantar som fritt kan återkallas av banken	15	18

Övriga ställda säkerheter

mkr	2024	2023
Kontanter	250	1 370
Statspapper och obligationer	87 535	68 619
Aktier	2 540	4 411
Summa	90 325	80 399
varav pantar som fritt kan återkallas av banken	77 729	52 061

Med Övriga ställda säkerheter avses säkerheter som ställs för förpliktelser som ej redovisas i balansräkningen.

Överförda finansiella tillgångar redovisade i balansräkningen

mkr	2024		2023	
	Redovisat värde	Redovisat värde motsvarande skuld	Redovisat värde	Redovisat värde motsvarande skuld
Aktier, värdepappersutlåning	2 674	100 ¹⁾	4 237	112 ¹⁾
Statspapper och obligationer, repor	1 077	0	4 404	2
Tillgångar där kunden står värdeförändringsrisken	17	17	159	159
Summa	3 768	124	8 800	273

1) Mottagen kontantsäkerhet.

Ställda säkerheter

Ställda säkerheter är redovisade som tillgångar i balansräkningen. Ställda säkerheter i form av räntebärande värdepapper består i huvudsak av värdepapper som ställts som säkerhet i centralbanker och andra kreditinstitut, för betalningssystem, värdepappershandel och clearing samt värdepapper som sålts under bindande återköpsavtal (repor). Ställda säkerheter i form av aktier består av utlånade aktier och aktier i försäkringsrörelsen.

Utlåning till allmänheten som ställts som säkerhet utgörs till största delen av den registrerade säkerhetsmassan till förmån för innehavare av säkerställda obligationer emitterade av Stadshypotek. Säkerhetsmassan består av

hypotekslån som lämnats mot pant i huvudsakligen småhus, fritidshus, flerbostadshus och bostadsrätter med belåningsgrad inom 75% av marknadsvärdet. I händelse av bolagets obestånd har innehavarna av de säkerställda obligationerna förmånsrätt enligt lagen om säkerställda obligationer och förmånsrättslagen i de pantförskrivna tillgångarna. Om tillgångarna i säkerhetsmassan vid tiden för ett konkursbeslut uppfyller de villkor som uppställts i lagen, ska de hållas åtskilda från konkursboets övriga tillgångar och skulder. Innehavarna av obligationerna erhåller då fortsatt kontraktsevenliga betalningar enligt obligationsvillkoren fram till förfall.

Tillgångar där kunden står värdeförändringsrisken består i huvudsak av fondandelar under fondförsäkringsavtal i Handelsbanken Liv i vilka försäkringstagarna har förmånsrätt.

Mottagna säkerheter

Mottagna säkerheter redovisas inte i balansräkningen. Vid omvända återköpsavtal och aktielån mottas värdepapper som kan säljas eller pantsättas vidare till tredje part. Det verkliga värdet av mottagna värdepapper under omvända återköpsavtal och avtal om aktielån uppgick till 44 246 mkr (43 196) vid räkenskapsårets slut, varav säkerheter till ett värde av 7 858 mkr (12 528) sålts eller pantsatts vidare. Information om mottagna pantar för utlåning och andra mottagna säkerheter framgår av not K2.

3.1

K43 forts.

Överförda finansiella tillgångar redovisade i balansräkningen

Överförda finansiella tillgångar är redovisade som tillgångar i balansräkningen, men för dessa har rätten till framtida kassaflöden direkt eller indirekt överförts till en extern motpart. Merparten av de överförda finansiella tillgångar som redovisas i balansräkningen består av räntebärande värdepapper som sålts under bindande återköpsavtal samt utlåna- nade aktier. I normalfallet regleras villkoren för bindande återköp och aktielån i ramavtal som ingåtts mellan banken och respektive motpart.

Bindande återköpsavtal innebär försäljning av ett värdepapper med förbindelse om återköp till ett fastställt pris vid en förutbestämd

framtida tidpunkt. Säljaren av värdepappret är därmed fortsatt exponerad för risken för värdeförändringar under avtalets löptid. Sålunda värdepapper under återköpsavtal kvarstår till marknadsvärde i balansräkningen under avtalets löptid. Mottagen köpeskilling redovisas som skuld till motparten. Enligt standardvillkoren i återköpsavtal övergår äganderätten till det sålda värdepappret helt från säljare till köpare, vilket innebär att köparen har rätt att vidare-sälja, återpanta såväl eller på annat sätt förfoga över de köpta värdepappren.

Enligt standardavtalen för aktiälån kvarstår exponeringen för värdeförändring i den utlånade aktien hos långivaren. Utlånade aktier kvarstår därmed i balansräkningen under lånets löptid. Säkerheter för utlånade aktier utgår i regel i form av kontanter eller andra värdepapper. Mottagen kontantssäkerhet redovisas som skuld i balansräkningen. På samma

sätt som för återköpsavtal innebär det standardavtal som används för aktiellän att låntagaren under lånets löptid har rätt att vidareförsälja, återpanta eller på annat sätt förfoga över de lånade aktierna.

Som övriga överförda finansiella tillgångar redovisas statspapper, obligationer och aktier som ställts som säkerhet för värdepappershandel, clearing med mera och där förfoganderätten över värdepapret övergått till mottagaren. Som överförda finansiella tillgångar redovisas även vissa tillgångar där kunden står värdepappersförändringsrisken. Dessa tillgångar består av portföljer av finansiella instrument till vilka banken har formell äganderätt, men där de risker som är förknippade med tillgångarna liksom rätten till framtida kassaflöden överförs till en tredje part. Värderingen av dessa tillgångar speglar värderingen av den motsvarande skuldposten.

K44 Eventualförpliktelser

mkf	2024	2023
Ansvärsförbindelser		
Garantiförbindelser, kreditor	8 135	8 184
Garantiförbindelser, övriga	45 697	47 557
Ottokalkyliga rembursar	605	203
Övrigt	1 258	2 177
Summa	55 754	58 120
varav föremål för nedskrivningsprövning	55 754	58 120
Åtaganden		
Kreditförlust	338 969	317 925
Outnyttjad del av beviljade räkningsskreditor	100 717	96 359
Övrigt	7 828	13 580
Summa	442 614	427 865
varav föremål för nedskrivningsprövning	242 965	237 999
Summa eventuella förpliktelser	468 268	485 985
Reservering för förväntade kreditförluster redovisad som avsättning, se not K36.	155	340

Anzahl Verbindungen

Ansvärsförbindelser består i huvudsak av olika typer av garantiförbindelser. Kreditgarantier ges till kunder för att garantera åtaganden i andra kredit- och pensionsinstitut. Övriga garantier utgörs främst av kommersiella garantier såsom anbudsgarantier, garantier avseende försäkringsbetalningar, garantier under ansvärsiden och exportrelaterade garantier. Ansvärsförbindelser omfattar också utnyttjade bilförsäkringar, importrembourser och bekräftade exportrembourser. Dessa transaktioner ingår i bankens tjänster och är till stöd för bankens kunder. I tabellen anges garantierna nominella belopp.

Tv Inter

Bolag inom koncernen är föremål för krav i ett antal tvistemål som drivs i allmän domstol. Bankens polskavverksamhet har en portfölj av bolån som är utrustad på schweizerterran respektive euro vilken uppgick till ca 100 mil vid årets utgång. Det föreligger en osäkerhet i polsk rätt avseende tillämpningen av olika kreditvillkor som involverar utländsk valuta. Nämda rättsutveckling kan leda till att vissa antavärfvillkor i bankens polska verksamhet inte kan tillämpas såsom avsett och att vissa kunder ska ersättas. Det är i nuläget inte praktiskt möjligt att uppskatta de eventuella finansiella effekterna på banken eller sammankösten för olika utgåva och därav lämnas ingen upplysning om eventuella förlusttals.

Bedömningen är att de övriga tvistestämorna i ett väsentligt kommer att utgöra till koncernens fördel. Tvistestämorna bedöms inte kunna få en väsentlig inverkan på koncernens ställning eller resultat och därav lämnas ingen upplysning om eventuella förfallor.



3.1

Inledning
 Förvaltningsberättelse
 Finansiella rapporter
 Koncernen
 Hållbarhet
 Övrigt

K45 Leasing

Handelsbanken som leasegivare		
Finansiella leasingavtal		
mkr	2024	2023
Finansiella intäkter från nettoinvesteringen	611	593
Variabla leasingavgifter	530	519
Fördelning av odiskonterade leasingfordringar på förfallotidpunkter samt nettoinvestering		
mkr	2024	2023
Upp till 1 år	2 870	2 725
1 år till 2 år	2 542	3 480
2 år till 3 år	2 984	2 905
3 år till 4 år	2 455	1 801
4 år till 5 år	1 120	2 076
Över 5 år	2 508	3 303
Summa odiskonterade leasingfordringar	14 486	18 290
Ej intjänade finansiella intäkter	-957	-1 202
Nettoinvestering	13 528	14 088
Samtliga avtal där koncernen är leasegivare har definierats som finansiella leasingavtal. Sådana leasingavtal redovisas som utlåning i balansräkningen, inlämt till ett belopp som motsvarar nettoinvesteringen. Fördelningen mellan åren beror på minskade leasingvolymar, avseende avveckling av leasingportfölj. Leasingobjekten består huvudsakligen av fordon och maskiner. Samtliga leasingavtal har garanterade restvärden. Vid utgången av året fanns i koncernen ett leasingengagemang som hade ett redovisat värde överstigande 1 mrdkr.		
Handelsbanken som leasetagare		
Poster i resultaträkningen		
mkr	2024	2023
Räntekostnader leasingkulder	-74	-67
Summa ¹⁾	-74	-67
Av- och nedskrivning nyttjanderätter		
Fastigheter	-702	-628
Inventarier	-14	-14
Summa ²⁾	-716	-642
Kostnader för korttidsleasing	-35	-38
Kostnader för leasingavtal i vilka den underliggande tillgången är av lågt värde	-52	-41
Variabla leasingavgifter som inte ingår i beräkningen av leasingkulder	-175	-167
Summa ³⁾	-262	-246
Totala kostnader för leasingavtal	-1 052	-955
Poster i balansräkningen		
mkr	2024	2023
Nyttjanderätter ⁴⁾		
Fastigheter	2 503	2 704
Inventarier	20	30
Summa	2 622	2 734
Tillkommande nyttjanderätter ⁵⁾	302	350
Leasingkulder ⁶⁾	2 751	2 857
Totala kassaflöden för leasingavtal	-1 034	-980
1) Ingår i resultatposten Räntekostnader. 2) Ingår i resultatposten Av- och nedskrivningar av materiella och immateriella tillgångar, varav -12 mkr (3%) avser nedskrivning. 3) Ingår i resultatposten Övriga kostnader. 4) Nyttjanderätter ingår i balansposten Fastigheter och Inventarier. 5) Under året nya leasingkontrakt som ingår i nyttjanderätter. 6) Leasingkulder ingår i balansposten Övriga skulder.		

3.1

K45 forts.

Återstående löpår avseende leasingkulder

år	2024	2023
Upp till 6 månader	377	369
6 månader till 1 år	320	353
1 år till 2 år	607	610
2 år till 5 år	1 201	1 265
Över 5 år	474	500
Summa	2 979	3 067

Bankens leasingavtal utgörs huvudsakligen av hyreskontrakt avseende lokaler. Därutöver omfattar leasingavtalen främst multifunktions skrivare, persondatorer och diverse övriga kontorsinventarier.

Huvuddelen av hyreskontrakten avseende lokaler har en avtalstid mellan tre till tio år. Vissa av bankens hyreskontrakt för lokaler innehåller en möjlighet till förlängning av avtalstiden, vilken innebär att hyreskontraktet förlängs för en angiven period om kontraktet inte sägs upp vid en specifik tidpunkt. Det förekommer även hyreskontrakt avseende lokaler som innehåller en möjlighet för banken att säga upp hyreskontraktet i förlid. Vid fastställande av leasingperiodens längd för hyreskontrakt inkluderas möjligheter att förlänga ett leasingkontrakt, eller avsluta ett leasingkontrakt i förlid, endast vid mycket hög grad av sannolikhet att dessa kommer att utnyttjas.

Banken har ingått leasingavtal som är kortare än tolv månader och leasingavtal i vilka den underliggande tillgången är av lågt värde, vilka kostnadsförs i enlighet med undantaget i IFRS 16 Leasingavtal, och därmed inte inbär i leasingkulder och nyttjanderätter.

K46 Segmentinformation

Segment Information 2024

	Sverige	Stor- britannien	Norge	Neder- länderna	Markets	Övrigt	Justeringar och ömskiftningar	Totalt
mlr								
Ränter netto	29 008	10 729	5 162	1 957	-17	-3		46 841
Provisionsnetto	9 050	809	605	188	621	288		11 725
Nettoreultat av finansiella transaktioner	959	225	80	18	1 220	602		3 103
Försäkringsnetto	428		-1					422
Andelar i intressatföretag och joint ventures resultat						27		27
Övriga intäkter	84	15	21	3	3	99		225
Summa intäkter	39 836	11 837	5 067	2 178	1 826	1 015		62 345
Personalkostnader	-5 073	-3 579	-1 307	-611	-985	-4 428	252	-15 731
Övriga kostnader	-1 179	-841	-517	-145	-509	-4 290		-7 474
Intämt köpta och sålda tjänster	-4 890	-1 445	-809	-322	72	7 404		
Av- och nedskrivningar av materiella och immateriella tillgångar	-773	-378	-106	-58	-145	-520	-24	-2 004
Summa kostnader	-11 918	-6 242	-2 739	-1 136	-1 567	-1 894	228	-25 209
Resultat före kreditförluster och statliga avgifter	27 817	5 595	3 217	1 040	260	-819	228	37 136
Kreditförluster, netto	377	139	72	2	0	12		601
Vinstar/förluster vid avyttring av materiella och immateriella tillgångar	8	0	5		0	0		13
Statliga avgifter	-2 033	-47	-411	-132	-25	-80		-2 733
Röreliseresultat	25 069	5 688	2 883	910	234	-893	228	36 016
Resultatutdelning	371	49	61	0	-423	-58		
Röreliseresultat efter resultatutdelning	26 339	5 736	2 943	910	-189	-951	228	36 016
Interna intäkter ⁰	5 000	4 045	-10 458	-152	-156	1 712		
K/I-bal, %	20,0	52,5	45,5	52,2	111,7			40,4
Kreditförlustnivå, %	-0,02	-0,05	-0,02	0,00	0,00			-0,02
Utbetning till aktieinnehavare	1 589 948	240 700	320 705	104 004	15 335	20 490		2 297 878
In- och upplösning från aktieinnehavare	848 854	289 072	97 713	44 743	711	29 671	-25	1 310 739
Alokerat kapital	123 381	27 895	22 684	5 090	1 831	5 915	22 050	210 027
Räntabilitet på alokerat kapital, %	17,3	17,1	10,4	13,0	-0,1			14,5
Medelantal anställda	4 764	2 842	903	425	470	2 729		12 223

1) Internafintäkter som ingår i Summa intäkter består av intäkter från transaktioner med andra rörelsesegment och Övrigt. Eftersom ränta-intäkter och räntakostnader redovisas netto som en intäkt innebär det att interna intäkter bland annat innehåller nettot av intern finansieringskostnad mellan segmenten och Övrigt.

I kolumnen Övrigt ingår allokat kapital hänförligt till avtrycksskatten i Finland.



3.1

Inledning

Förvaltningsberättelse

Finansiella rapporter
Koncernen

Hållbarhet

Övrigt

K46 forts.

Rörelsesegmenten redovisas i enlighet med IFRS 8 Rörelsesegment, vilket innebär att segmentinformationen presenteras på motsvarande sätt som tillämpas internt i styrningscykeln. Handelsbankens verksamhet presenteras uppdelat på segmenten Sverige, Storbritannien, Norge, Nederländerna samt Markets. Kontorsrörelsen i Handelsbanken tillhandahåller ett fokuserat erbjudande inom finansiering, betalning, finansiella rådgivningstjänster samt sparande och pension. I landsegmenten ingår förutom kontorsrörelsen även kapitalförvaltnings- och försäkringsverksamheten. Varje land följs upp som en fristående resultatenheter och styrs av en landchef. I Sverige och Storbritannien är kontorsrörelsen under landchefen organiserad i lån respektive distrikt. Segmentet Markets är bankens investmentsbank, vilket bland annat inbegriper värdepappershandel och investeringsrådgivning. Segmentens resultat visas före och efter intern

resultatutdelning. Den interna resultatutdelningen innebär att kundansvarig enhet tilldelas allt resultat som härrör från dess kunders transaktioner med banken, oavsett inom vilket segment transaktionen är genomförd. Dessutom redovisas intäkter och kostnader för internt utförda tjänster netto på raden Internt köpta och sålda tjänster. Transaktioner mellan segmenten redovisas huvudsakligen enligt självkostnadsprincipen. I kolumnerna Övrigt samt Justeringar och elimineringar visas poster som inte hör till något specifikt segment eller elimineras på koncernnivå. I kolumnen Övrigt ingår till övervägande del finansförvaltning och centrala affärstödande enheter. Vidare ingår bankens internationella verksamhet utanför hemmamarknaderna och transaktioner hänförliga till reserveringen för resultatandelsystemet Oktogonen. I kolumnen Justeringar och elimineringar redovisas bland annat justeringar för personalkostnader. I jus-

teringar för personalkostnader ingår skillnaden mellan koncernens pensionskostnader beräknade enligt IAS 19 Ersättningar till anställda och lokalt beräknade pensionskostnader.

Interna intäkter består främst av interna räntor och provisioner. I segmentens resultaträkningar ingår dessutom interna poster i form av ersättningar för interna tjänster. Interndebitering sker huvudsakligen enligt självkostnadsprincipen. I kontorsrörelsen består tillgångarna till största delen av utlåning till allmänheten och skulderna av inlåning från allmänheten samt intern upplåning. Tillgångarna i kolumnen Övrigt består till övervägande del av internutlåning till de olika segmenten, medan skulderna framförallt består av extern upplåning. Det allokerade kapitalet för segmenten överensstämmer med kapitalfördelningen enligt den interna styrmekanismen.

Segmentinformation 2023

mkr	Sverige	Storbritannien	Norge	Nederländerna	Markets	Övrigt	Justeringar och elimineringar	Totalt
Räntanetto	30 222	11 010	4 624	1 041	-50	-170		47 578
Provisionsnetto	8 460	845	650	198	502	385		11 139
Nettoreultat av finansiella transaktioner	1 185	253	79	17	1 001	37		2 601
Försäkringsnetto	404		0					403
Andelar i intressaförbuds och joint ventures resultat						51		51
Övriga intäkter	214	13	5	1	1	94		328
Summa intäkter	40 576	12 121	5 368	2 157	1 634	307		62 240
Personalkostnader	-4 783	-3 149	-1 103	-537	-954	-3 519	403	-13 542
Övriga kostnader	-1 353	-907	-493	-136	-461	-4 446		-7 795
Internt köpta och sålda tjänster	-4 738	-1 414	-708	-277	17	7 120		
Av- och nedskrivningar av materiella och immateriella tillgångar	-605	-310	-97	-59	-131	-457	-24	-1 743
Summa kostnader	-11 638	-5 780	-2 401	-1 000	-1 530	-1 303	379	-23 182
Resultat före kreditförluster och statliga avgifter	29 037	6 340	2 965	1 148	104	-906	379	39 067
Kreditförluster, netto	-142	-51	37	13		3		-141
Vinsten/förlusten vid avyttring av materiella och immateriella tillgångar	14	-1	0			0		20
Statliga avgifter	-1 010		-303	-113	-20	-179		-2 624
Rörelseresultat	28 000	6 289	2 615	1 048	83	-1 082	379	36 322
Resultatutdelning	406	52	47	0	-421	-83		
Rörelseresultat efter resultatutdelning	27 306	6 340	2 662	1 048	-338	-1 166	379	36 322
Interna intäkter ¹⁾	5 767	2 009	-3 507	-98	667	-768		
KVL-bal, %	28,2	47,5	44,4	46,8	126,1			37,2
Kreditförlustnivå, %	0,01	0,03	-0,01	-0,01				0,01
Utlåning till allmänheten	1 600 662	230 092	313 267	97 110	12 467	38 553	-1 142	2 291 808
In- och upplåning från allmänheten	854 313	290 505	90 206	35 945	26 243	31 204	-25	1 298 480
Allokerat kapital	123 600	25 856	23 339	5 177	1 066	6 904	18 224	205 085
Räntabilitet på allicerat kapital, %	18,2	21,2	9,4	16,9	-17,6			15,3
Medelantal anställda	4 695	2 707	928	388	479	2 587		11 683

1) Interna intäkter som ingår i Summa intäkter består av intäkter från transaktioner med andra rörelsesegment och Övrigt. Eftersom räntaintäkter och räntekostnader redovisas netto som en intäkt innebär det att interna intäkter bland annat innehåller nettot av intern finansieringskostnad mellan segmenten och Övrigt.

I kolumnen Övrigt ingår allicerat kapital hänförligt till avyttringsgrupperna i Finland.

Under andra kvartalet 2024 genomfördes en omorganisation för att skapa en ännu mer effektiv och affärsnära organisation. Delar av centrala personal-, ekonomi- och informationsavdelningarna och enheten för att förhindra finansiell kriminalitet, som tidigare ingick i Övrigt, samt delar av affärstöd som tidigare ingick i Handelsbanken Markets, har överförts till Handelsbanken Sverige. Verksamheterna i Luxemburg och New York, som vill säga verksamheterna utanför hemmamarknaderna, har överförts från Handelsbanken Markets till Övrigt. Utöver detta har delar av Handelsbankens IT-avdelning, som tidigare redovisats i Övrigt, överförts till Handelsbanken Markets. Jämförelseffterna i segmentredovisningen är omräknade med anledning av omorganisationen.



3.1

K46 forts.

Intäkter per produktområde		
mkr	2024	2023
In- och utlåning privat	20 985	21 554
In- och utlåning företag	27 139	27 959
Betalningar netto	1 802	1 758
Kapitalförvaltning fonder	7 151	8 531
Pension och Försäkring	901	830
Investeringsbankstjänster	3 226	1 907
Övrigt	1 192	1 714
Summa	62 345	62 240

K47 Geografisk information

Geografisk information 2024								
mkr	Intäkter	Rörelseresultat	Skatt	varav avskedd skatt	Årets resultat hänförligt till utvecklad verksamhet eller skatt	Tillgångar	Anläggnings- tillgångar	varav materiella anläggnings- tillgångar
Sverige	40 307	23 330	-4 478	-4 048		3 148 099	5 447	2 805
Storbritannien	12 710	8 748	-1 882	-1 877		425 253	1 092	909
Norge	5 837	2 008	-844	-871		381 499	1 125	500
Nederländerna	2 296	1 072	-397	-398		310 052	260	199
USA	664	515	-87	-84		389 127	81	81
Luxemburg	300	134	-31	-31		13 319	4	4
Danmark	39	28	-10	-10		6	0	0
Polen	-23	-91	0			209		0
Finland					234	100 630	-6	-43
Goodwill och övriga koncernövervärden						4 452	4 452	24
Elimineringar	216	310	-60	6		-1 233 444	174	174
Summa	62 345	35 016	-7 796	-7 913	234	3 839 173	13 228	4 603

Geografisk information 2023								
mkr	Intäkter	Rörelseresultat	Skatt	varav avskedd skatt	Årets resultat hänförligt till utvecklad verksamhet eller skatt	Tillgångar	Anläggnings- tillgångar	varav materiella anläggnings- tillgångar
Sverige	39 928	24 034	-5 250	-5 127		3 127 776	6 220	3 111
Storbritannien	13 260	7 577	-2 085	-2 064		414 494	1 501	908
Norge	5 360	2 898	-885	-807		362 139	910	540
Nederländerna	2 368	1 321	-341	-341		230 677	250	222
USA	673	540	-80	-144		374 811	85	85
Luxemburg	320	179	-38	-38		14 930	10	10
Frankrike	2	-5	2	2				
Polen	-75	-172				315	1	1
Danmark	9	-4	78	78		857		
Finland					1 209	181 766	409	343
Goodwill och övriga koncernövervärden						4 477	4 477	24
Elimineringar	405	-47	-12	-30		-1 174 452	-590	-467
Summa	62 240	36 322	-8 417	-8 472	1 209	3 837 792	13 344	4 777

Intäkter, rörelseresultat, årets resultat hänförligt till utvecklad verksamhet eller skatt samt tillgångar som presenteras i den geografiska informationen består av interna och externa intäkter, kostnader och tillgångar i respektive land. Den geografiska fördelningen av intäkter och kostnader är baserad på det land där transaktionen är genomförd och är inte jämförbar med redovisningen av segmentinformationen. Med skatt avses aktuell och uppskjuten skatt. Ytterligare geografisk information lämnas i not M17 avseende koncernföretag och deras söte samt i not K8 avseende medelantal anställda per land. Då Finland redovisas som Tillgångar och skulder som innehas för försäljning samt utvecklad verksamhet framgår mer detaljerad information för Finland i not K14.



3.1

Inledning
 Förvaltningsberättelse
 Finansiella rapporter
 Hållbarhet
 Övrigt

K48 Tillgångar och skulder i valuta

2024 mkr	SEK	EUR	NOK	GBP	USD	Övriga valutor	Totalt
Tillgångar							
Kassa och tillgodohavande hos centralbanker	63 478	208 777	4 160	125 771	132 709	23	530 009
Övrig utlåning till centralbanker		3 352	9 195				12 547
Utlåning till övriga kreditinstitut	1 930	3 047	10 024	617	2 218	188	18 923
Utlåning till allmänheten	1 507 637	210 855	325 257	249 285	7 583	2 490	2 372 085
varav företag	506 769	155 273	185 593	179 980	7 423	1 505	1 128 597
varav hushåll	957 327	64 582	139 665	69 305	160	904	1 241 943
Bolningsbara statskuldförbindelser m.m.	152 122	8 971	74		11 440		172 605
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	34 053	555	12 000		0		47 508
Övriga ej valutafördelade poster	385 493						385 493
Summa tillgångar	2 204 712	430 667	382 511	375 673	154 039	2 681	3 830 173
Skulder							
Skulder till kreditinstitut	21 125	34 762	27 340	485	337	479	84 528
In- och upplåning från allmänheten	808 538	100 333	103 939	282 784	21 170	3 718	1 320 481
varav företag	330 705	85 798	58 033	205 315	17 508	2 890	701 345
varav hushåll	477 832	14 535	45 906	76 469	3 572	822	619 135
Emitterade värdepapper	500 189	447 647	28 294	95 214	450 621	22 052	1 550 027
Efterställda skulder		20 519		6 722	9 814		37 054
Övriga ej valutafördelade poster, inkl. eget kapital	547 083						547 083
Summa skulder och eget kapital	1 936 934	603 281	169 573	325 206	487 942	26 258	3 830 173
Valutafördelade övriga tillgångar och skulder (netto)		168 620	-202 929	-50 508	333 936	23 579	
Nettoposition i valuta		-84	8	-40	34	1	-80

2023 mkr	SEK	EUR	NOK	GBP	USD	Övriga valutor	Totalt
Tillgångar							
Kassa och tillgodohavande hos centralbanker	67 895	128 820	4 770	113 645	160 935	109	476 181
Övrig utlåning till centralbanker		29 326	1 687	1 131			32 145
Utlåning till övriga kreditinstitut	259	5 772	9 671	873	2 299	423	19 297
Utlåning till allmänheten	1 579 310	287 783	319 815	234 802	9 330	3 081	2 434 217
varav företag	506 485	165 899	201 140	167 458	9 171	2 016	1 164 137
varav hushåll	974 063	101 964	118 675	67 435	159	1 065	1 263 332
Bolningsbara statskuldförbindelser m.m.	181 752	7 501	36		9 778	1	199 128
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	36 868	486	12 223		509		50 087
Övriga ej valutafördelade poster	326 737						326 737
Summa tillgångar	2 192 827	459 749	348 209	350 541	182 882	3 614	3 837 792
Skulder							
Skulder till kreditinstitut	15 666	50 097	18 093	346	6 835	87	91 124
In- och upplåning från allmänheten	814 006	140 586	110 290	257 177	24 238	3 732	1 350 037
varav företag	335 161	110 747	75 871	190 553	20 797	2 801	735 931
varav hushåll	478 848	29 839	34 418	66 624	3 441	931	614 105
Emitterade värdepapper	509 595	407 148	27 016	37 980	459 581	22 211	1 523 481
Efterställda skulder	0	22 740		6 258	14 120		43 117
Övriga ej valutafördelade poster, inkl. eget kapital	530 033						530 033
Summa skulder och eget kapital	1 929 302	620 570	165 404	301 711	504 774	26 039	3 837 792
Valutafördelade övriga tillgångar och skulder (netto)		160 527	-192 764	-48 850	321 918	22 493	
Nettoposition i valuta		-294	41	-20	-4	77	-200

Bankens syn på valutarkitaget framgår av not K2.
 Tillgångar och skulder i tabellen ovan inkluderar avyttringsgrupperna i Finland som i balansräkningen omklassificerats till Tillgångar som innehas för försäljning respektive Skulder som innehas för försäljning, se not K14.

K49 Innehav i icke-konsoliderade strukturerade företag

mkr	Innehav i fonder	
	2024	2023
Tillgångar1		
Aktier och andelar	6 365	5 928
Tillgångar där kunden står värdeförändringsrisken	273 071	240 092
Summa innehav i strukturerade företag som inte konsolideras	279 436	246 020

1) Varav - mkr (jämför i avtryckningsgrupperna i Finland som har omklassificerats till Tillgångar som Innehav för försäkring, se not K14.

Ett strukturerat företag är ett företag som har utformats så att röster eller liknande rättigheter inte är den dominerande faktorn vid avgörandet av vem som har det bestämmande inflytandet i företaget, exempelvis när rösträtten endast avser administrativa uppgifter och relevanta aktiviteter regleras genom avtal. Handelsbankens innehav i icke-konsoliderade strukturerade företag är begränsade och utgörs av fondandelar.

Innehav i fondandelar genom fondförsäkringsavtal

Fondandelar ägs främst genom fondförsäkringsavtal hos Handelsbanken Liv. Försäkringsstagaren väljer hur sparandet ska placeras, inom ramen för de villkor som föreligger i försäkringsavtalet, och har risken för fondandelarnas värdeförändring. Av Handelsbanken förvaltade fonder inom fondförsäkring står banken för sina kunders räkning som ägare till 50% eller mer av andelarna i 11 (10) fonder. Den totala fondförmögenheten i dessa fonder uppgår till 211 517 mkr (159 625) där Handelsbanken för sina kunders räkning innehar 132 626 mkr (102 152). Bedömningen är att koncernens innehav i fondandelar till följd av fondförsäkringsavtal med kunder inte medför att koncernen är exponerad mot rörlig avkastning. Dessa innehav exkluderas således i bedömningen av om det föreligger bestämmande inflytande över en fond. Fondandelar som ägs genom fondförsäkringsavtal konsolideras således inte och utgör därmed icke-konsoliderade strukturerade företag. Innehaven redovisas som Tillgångar där kunden står värdeförändringsrisken och korresponderande skuld till

försäkringstagarna redovisas i balansposten Skulder där kunden står värdeförändringsrisken. Koncernens totala innehav i fondandelar som ägs genom fondförsäkringsavtal presenteras på raden Tillgångar där kunden står värdeförändringsrisken i tabellen ovan.

Andra innehav i fondandelar

Koncernen äger vidare fondandelar som utgör placeringstillgångar i traditionell livförsäkring inom Handelsbanken Liv samt i egenskap av marknadsmaker. Fonder för vilka banken är kapitalförvaltare och där banken äger mer än 50% av andelarna konsolideras. Ägande mellan 20 och 50% konsolideras i vissa fall om omständigheterna gör gällande att banken har ett bestämmande inflytande, exempelvis genom att fonden har ett brett förvaltningsmandat och genererar en hög andel variabel avkastning. Bankens innehav i fonden redovisas till verkligt värde på raden Aktier och andelar i balansräkningen. Resterande andel av fondens verkliga värde konsolideras och redovisas i balansposterna Tillgångar respektive Skulder där kunden står värdeförändringsrisken. Det förelåg inga innehav i fondandelar som uppfyllde kriterierna för konsolidering per 2024-12-31 respektive 2023-12-31. Koncernens innehav i fondandelar inom traditionell livförsäkring samt i egenskap av marknadsmaker utgjorde således icke-konsoliderade strukturerade företag och presenteras på raden Aktier och andelar i tabellen ovan.

Den maximala exponeringen för förlust hänförlig till innehaven i icke-konsoliderade strukturerade företag är det redovisade värdet på innehaven. De totala tillgångarna för dessa företag anses inte som meningsfull information för att förstå de relaterade riskerna och har därför inte presenterats.



3.1

Inledning

Förvaltningsberättelse

Finansiella rapporter
Koncernen

Hållbarhet

Övrigt

K50 Upplysningar om närstående

Fordringar på och skulder till närstående

mkr	Intresseföretag och joint ventures		Övriga närstående	
	2024	2023	2024	2023
Utlåning till allmänheten	434	384		
Övriga tillgångar	23	30	8	13
Summa	457	384	8	13
In- och upplåning från allmänheten	919	311	1 214	1 159
Summa	919	311	1 214	1 160

Närstående – intäkter och kostnader

mkr	Intresseföretag och joint ventures		Övriga närstående	
	2024	2023	2024	2023
Ränta-intäkter	19	22		
Ränta-kostnader	-10	-3	-163	-149
Provision-intäkter	1	1		
Provision-kostnader	-202	-223		
Övriga intäkter			19	18
Övriga kostnader	-205	-177	-179	-182
Summa	-397	-380	-323	-313

Siffrorna ovan omfattar total verksamhet.

Specifikation över intresseföretagen och joint ventures samt information om aktieägarintäkt till intresseföretag finns i not K20. Intresseföretagens och joint ventures verksamhet består i att utföra olika typer av tjänster som har anknytning till bankens verksamhet. I gruppen Övriga närstående ingår följande företag: Svenska Handelsbankens Pensionsstiftelse, Svenska Handelsbankens Personalstiftelse och Pensionskassan SHB Tjänstepensionsförening (Pensionskassan). Företagen anlitar Svenska Handelsbanken AB för sedvanliga bank- och redovisningstjänster.

Moderbolagets svenska dotterbolag har betalat pensionspremier avseende förmånsbestämda pensioner till Pensionskassan uppgående till 73 mkr (61). Pensionskassans utfästelser till anställda i dotterbolag garanteras av moderbolaget, det vill säga om Pensionskassan inte skulle kunna betala sina åtaganden så är moderbolaget skyldigt att ta över och betala åtagandet. Pensionskassans förpliktelser uppgår till 7 494 mkr (7 000). Svenska Handelsbanken AB har begärt ersättning av Svenska Handelsbankens Pensionsstiftelse uppgående till 702 mkr (720) avseende pensionskostnader samt av Svenska Handelsbankens Personalstiftelse uppgående till 28 mkr (44) för personalförändringsåtgärder.

Information om krediter till ledande befattningshavare samt om ledande befattningshavares villkor och ersättningar i övrigt framgår av not K8.

K51 Händelser efter balansdagen

Inga väsentliga händelser har inträffat efter balansdagen.

K52 Kapitaltäckning

Kapitalpolicy

Banken har som mål att upprätthålla en betryggande kapitalnivå som svarar mot de risker som koncernens verksamhet innebär och som överstiger de minimikrav som lagen föreskriver. En god kapitalnivå behövs för att kunna hantera situationer med finansiell påfrestning, men även andra händelser såsom förvärv och kraftig volymtillväxt.

Kapitalkravsregler

Enligt kapiteltäckningsreglema, förordning (EU) nr 575/2013 (CRR) och direktiv 2013/36/EU (CRD IV), ska banken ha kärnprimärkapital, primärkapital och en total kapitalbas som minst motsvarar kraven i förhållande till det totala riskvägda exponeringsbeloppet för kreditrisker, marknadsrisker och operativa risker. Utöver att hålla kapital enligt minimikravet ska banken hålla kärnprimärkapital för att uppfylla det kombinerade buffertkravet som i Sverige utgörs av summan av en kapitalkonserveringsbuffert, en cyklicitetsbuffert, en systemriskbuffert samt en buffert för övriga systemviktiga institut. Banken har även ett minimikapitalkrav i pelare 2. Pelare 2-kravet är ett individuellt krav beslutat av Finansinspektionen och ska täcka risker som inte fullt ut fångas av regelverkets minimi- och kombinerade buffertkrav. Till dessa krav tillkommer även en vägledning i pelare 2 beslutat av Finansinspektionen, vilket är myndighetens syn på vilken lägsta buffert banken åläggs hålla i tillägg till det beslutade kapitalbehovet. Banken ska dessutom göra en intern kapitalutvärdering. Handelsbankens kapitalpolicy anger riktlinjerna för den interna kapitalutvärderingen. Banken omfattas även av ett kapitalkrav på nivån finansiellt konglomerat enligt lagen (2006:531) om särskild tillsyn över finansiella konglomerat, se nedan Kapitältäckning för det finansiella konglomeratet. Vidare ska resolutionsmyndigheten, som i Sverige är Riksgäldskontoret, fastställa ett minimikrav på nedskrivningsbara skulder (MREL) för banken, se nedan Minimikravet för nedskrivningsbara skulder. Banken har under 2024, med god marginal, uppfyllt samtliga av de lagstadgade minimi- och buffertnivåerna. Detaljerad information om bankens kapitalbas och kapitalkrav finns i not K2, Risk- och kapitalhantering, samt i Handelsbankens publikation Risk and Capital – Information according to Pillar 3,

se handelsbanken.com/irsv. I denna publikation återfinns även fullständig information kring villkoren avseende Handelsbankens samtliga kapitalbas- och kvalificerade skuldinstrument. Notera att informationen i denna årsredovisning är framtagna per 31 december 2024 och att per den 1 januari 2025 inträder regelverksändringar i form av nya CRR regler samt det s.k. "bankpaketet".

Beskrivning av konsoliderad situation

Den regleringsmässiga konsolideringen (konsoliderad situation) består av moderbolaget samt dotter- och intresseföretag som också ingår i koncernens redovisning, se tabell EU L3 Översikt över skillnader mellan olika konsolideringar (enhet per enhet). De bolag som ingår i koncernredovisningen men som inte ingår i den konsoliderade situationen framgår också av tabell EU L3. Precis som i koncernredovisningen konsolideras intresseföretag enligt kapitalandelsmetoden i den regleringsmässigt konsoliderade situationen. Samtliga dotterbolag som omfattas av regelverket ingår i konsoliderad situation. Handelsbanken har inga dotterbolag där den faktiska kapitalbasen underskrider föreskriven kapitalbas.

Beskrivning av kapitalbasen för konsoliderad situation

Kapitalbasen består av primärt respektive supplementärt kapital. Det primära kapitalet delas in i kärnprimärkapital samt övrigt primärkapital. Kärnprimärkapitalet utgörs i huvudsak av aktiekapital, upparbetade vinstmedel samt övriga reserver i de bolag som ingår i konsolideringen. Övrigt primärkapital utgörs av utgivna primärkapitaltillskott. Det supplementära kapitalet består huvudsakligen av förlagslån. Från kapitalbasen görs därefter vissa avdrag. Avdragen görs huvudsakligen från kärnprimärkapitalet. För bankens riskhantering är det viktigt att såväl koncernen som den regleringsmässiga konsolideringen riskmässigt kan ses som en enhet. För att risker ska kunna hanteras effektivt i koncernen kan kapital behöva omfördelas mellan de olika företagen i koncernen. Banken har generellt sett möjlighet att omfördela kapital mellan koncernens bolag, inom ramen för de begränsningar som följer av lagstiftning, till exempel kapitältäckningskrav

och bolagsrättsliga begränsningar. Banken ser i övrigt inga materiella eller rättsliga hinder för en snabb överföring av medel ur kapitalbasen eller återbetalning av skulder mellan moderbolaget och dess dotterföretag.

Primärkapital

Primärkapitalet utgörs av kärnprimärkapital respektive övrigt primärkapital.

Kärnprimärkapital

Kärnprimärkapitalet utgörs till största delen av aktiekapital, upparbetade vinstmedel samt övriga reserver i de bolag som ingår i den regleringsmässiga konsolideringen. I och med att koncernens försäkringsbolag inte ingår i konsolideringen, se tabell EU L3, ingår inte upparbetade vinstmedel i dessa bolag i kärnprimärkapitalet. De poster som ska exkluderas från kärnprimärkapitalet är främst goodwill och andra immateriella tillgångar samt kapitaltillskott till försäkringsbolag i koncernen eller vissa uppskjutna skattefordringar som överstiger 10% av kärnprimärkapitalet. Summan av kapitaltillskott och uppskjutna skattefordringar får heller inte överstiga 15% av kärnprimärkapitalet. Eftersom varken kapitaltillskotten till försäkringsbolagen i koncernen eller de uppskjutna skattefordringarna överstiger tröskelvärden, belastar dessa inte kärnprimärkapitalet. Neutralitetsjustering görs för påverkan som kassafördessäkringar har haft på eget kapital. Dessutom ska en prisjustering beräknas och vid behov görs för försiktig värdering av instrument som värderas till verkligt värde. Institut som har tillstånd att använda interna riskklassificeringsmodeller ska göra ett avdrag för skillnaden mellan förväntad kreditförlust enligt intermetoden och gjorda reserveringar för sannolika kreditförluster i det fall de förväntade kreditförlusterna överstiger gjorda reserveringar. Avdrag ska även göras för nettovärdet av redovisade övertiden i pensions-tillgångar. Avdraget får emellertid minskas med ett belopp som motsvarar bankens rätt till ersättning för pensionskostnader från Handelsbankens Pensionsstiftelse. Vidare görs ett avdrag för tillstånd att inneha egna aktier i egenskap av marknadsgarant. Avdraget ska motsvara det högsta marknadsvärdet tillståndet omfattar. Slutligen görs ett avdrag för investeringar i värdepapperiseringar, en justering för effekten av förändringar i egen kreditrisk i derivat samt ett avdrag för otillräcklig täckning för nödlidande exponeringar.



3.1

Inledning

Förvaltningsberättelse

Finansiella rapporter
Koncernen

Hållbarhet

Övrigt

K52 forts.

Övrigt primärkapital

Övrigt primärkapital utgörs av instrument som uppfyller kraven för primärkapitaltillskott. Bland annat ska tillskotten ha evig löptid och kunna förtidsinlösas tidigast efter fem år och först efter att tillstånd utfärdats av tillsynsmyndigheten. Det nominella värdet ska kunna skrivas ned eller konverteras till aktier för att skapa kärprimärkapital vid en förutbestämd nivå på kärprimärkapitalet, och räntebetalningarna ska ovillkorligen kunna ställas in.

Bankens samtliga primärkapitaltillskott uppgår till 11,0 mdkr, emitterades under 2020 och uppfyller kraven enligt CRR. I det fall utdelningsbara medel saknas måste kupongutbetalningar ställas in för primärkapitaltillskott.

Supplementärkapital

Det supplementära kapitalet utgörs av förlagslån med en löptid om minst fem år.

Kapitalkrav

Kreditrisk

Kapitalkravet för kreditrisk beräknas enligt schablonmetoden och intermetoden enligt CRR. För intermetoden finns två olika metoder: intermetoden med egen skattning av PD men utan egna skattningar av LGD och KF (den grundläggande intermetoden) och intermetoden med egna skattningar av PD, LGD och KF (den avancerade intermetoden).

Handelsbanken tillämpar den grundläggande intermetoden för exponeringar mot institut, statsexponeringar, vissa produkt- och säkerhetstyper avseende företagsexponeringar samt för vissa exponeringar i dotterbolagen Stadshypotek AB och Handelsbanken Finans AB.

Den avancerade intermetoden tillämpas för merparten av exponeringarna mot stora företag, medelstora företag, fastighetsbolag och bostadsrättsföreningar samt i Stadshypotek AB och Handelsbanken Finans AB. Detsamma gäller för hushållsexponeringar i Sverige, Norge och Finland samt i dotterbolagen Stadshypotek och Handelsbanken Finans. Kapitalkravet för aktieexponeringar i intermetoden beräknas enligt förenklad riskviktsmetod.

Kreditrisken för samtliga exponeringar i Handelsbankens dotterbolag Handelsbanken plc beräknas på solo- och konsoliderad nivå i enlighet med schablonmetoden.

Intermetoden omfattade vid årsskiftet 75% (74) av det totala riskvägda exponeringsbeloppet för kreditrisk. För resterande kreditrisk-exponeringar beräknas kapitalkravet enligt schablonmetoden.

Den genomsnittliga riskvikten för exponeringar godkända för intermetoden ökade under året och uppgick till 11,9% (9,7). Den genomsnittliga riskvikten inklusive riskvikts-golven enligt Pelars 1 för bolån i Sverige och Norge samt för företagsexponeringar med pant i fastigheter i Norge blir 19,1% (17,7).

Kreditkvaliteten är god. Av Handelsbankens företagsexponeringar var 96,9% (96,9) kunder med en bedömd återbetalningsförmåga som var normal, eller bättre än normal, det vill säga hade en riskklassificering mellan 1 och 5 i bankens tiogradiga skala för riskklassificering.

Marknadsrisker

Kapitalkravet för marknadsrisker beräknas för bankens konsoliderade situation. Kapitalkravet för ränterisker och aktiekursrisker beräknas dock endast för positioner i handelslagret. Vid beräkning av kapitalkravet för marknadsrisker tillämpas schablonmetoden.

Operativ risk

Handelsbanken använder schablonmetoden för att beräkna kapitalkravet för operativa risker. Kapitalkravet enligt schablonmetoden beräknas genom att en i regelverket bestämd faktor multipliceras med den genomsnittliga rörelseintäkten under de tre senaste verksamhetsåren. Olika faktorer tillämpas för olika affärssegment.

Det totala kapitalkravet för operativa risker för konsoliderad situation uppgick vid utgången av 2024 till 6 841 mkr (6 017).

Kapitaltäckning för det finansiella konglomeratet

Institut och försäkringsföretag som ingår i ett finansiellt konglomerat ska ha en kapitalbas som är tillräckligt stor med hänsyn till kapitalkravet för det finansiella konglomeratet. Kapitalkrasen och kapitalkravet för det finansiella konglomeratet har beräknats i enlighet med avräknings- och totalmetoden (metod 2, bilaga 1, direktiv 2002/87/EG). Det finansiella konglomeratets sammanlagda kapitalbas överstiger det finansiella konglomeratets kapitalkrav.

Minimikravet på kapitalbas och kvalificerade skulder (MREL)

Krishanteringsdirektivet (EU) nr 2014/59 (BRRD) infördes i Sverige genom lagen (2015:1016) om resolution. Regelverket innehåller sätt att hantera banker i kris och möjliggör för myndigheter att, inom dessa ramar, ta kontroll över, omstrukturera och sälja av hela eller delar av en bank. Detta utan att likvidera eller försätta banken i konkurs. Som tillägg till ovan åtgärder i kris, innebär regelverket en möjlighet att skriva ned vissa skuldinstrument för att återkapitalisera en krisutsatt bank.

Som en del av detta regelverk infördes ett minimikrav på kapitalbas och kvalificerade skulder (MREL) från och med den 1 januari 2018. Kravet beslutas i bankens resolutionsplan som upprättas av Riksgälden i samarbete med Finansinspektionen. Kravet består av ett förlustabsorberingsbelopp och ett återkapitaliseringsbelopp.

MREL ska uttryckas som en riskvägd kvot samt en bruttosoliditetskvot. Det kombinerade buffertkravet ska uppfyllas med kärprimärkapital (utöver det kärprimärkapital som används till MREL) och ett obligatoriskt efterställningskrav införs. För att uppfylla kravet på efterställning har en ny typ av skuldinstrument införts i svensk lagstiftning från december 2018. Dessa efterställs nuvarande seniora skuldinstrument, men rankas högre än kapitalbasinstrument vid ett resolutionsförfarande. Handelsbanken har emitterat denna typ av efterställda skuldinstrument sedan 2019. De nya kraven var fullt infasade den 1 januari 2024.

För 2025, uppgår Handelsbankens totala MREL-krav avseende riskvägt belopp till 26,8% och avseende bruttosoliditet till 6,0% på konsoliderad nivå. På motsvarande sätt uppgår efterställningskravet till 19,7% respektive 6,0%. Handelsbanken uppfyller samtliga MREL krav.



3.1

K52 forts.

EU LB – Översikt över stiftnader mellan olika konsolideringar (enhet per enhet)
Tabellen visar konsolideringsgrund för företag som omfattas av den konsoliderade situationen vid årets slut.

2024	Organisations-nummer	Ägarandel %	Metod för konsolidering enligt redovisningsregler	Metod för konsolidering enligt tillägsregler				Beskrivning av enheten
				Fullständig konsolidering	Proportionell konsolidering	Kapitalandelsmetoden	Varken konsoliderad eller avdragen	
Svenska Handelsbanken AB (publ)	502007-7862	Ej tillämpligt	Moderbolag	N/A				Kreditinstitut
Handelsbanken Finans AB (publ)	550553-0841	100	Fullständig konsolidering	X				Kreditinstitut
Stadshypotek AB (publ)	550450-0715	100	Fullständig konsolidering	X				Kreditinstitut
Svenska Intecknings Garanti AB Sigab (inaktiv)	550432-7285	100	Fullständig konsolidering	X				Icke-finansiella företag
Handelsbanken Fonder AB	550418-8851	100	Fullständig konsolidering	X				Övriga finansiella företag
AB Handel och Industri	550013-5330	100	Fullständig konsolidering	X				Icke-finansiella företag
Ecstar AB (publ)	550993-2311	100	Fullständig konsolidering	X				Kreditinstitut
Handelsbanken plc	11305395	100	Fullständig konsolidering	X				Kreditinstitut
Handelsbanken Wealth and Asset Management Limited	04132340	100	Fullständig konsolidering	X				Övriga finansiella företag
Handelsbanken Nominees Limited (inaktiv)	2209877	100	Fullständig konsolidering	X				Icke-finansiella företag
Handelsbanken Second Nominees Limited (inaktiv)	3103458	100	Fullständig konsolidering	X				Icke-finansiella företag
Handelsbanken ACD Limited	4332528	100	Fullständig konsolidering	X				Icke-finansiella företag
Svenska Property Nominees Limited (inaktiv)	2308524	100	Fullständig konsolidering	X				Icke-finansiella företag
Optimix Vermogensbeheer N.V.	33194350	100	Fullständig konsolidering	X				Övriga finansiella företag
Add Value Fund Management B.V.	19196768	80	Fullständig konsolidering	X				Övriga finansiella företag
Optimix Beheer en Belegging B.V. (inaktiv)	33189584	100	Fullständig konsolidering	X				Icke-finansiella företag
Handelsbanken Markets Securities, Inc.	11-3257438	100	Fullständig konsolidering	X				Övriga finansiella företag
Handelsbanken Rahotus Oy	0112308-8	100	Fullständig konsolidering	X				Övriga finansiella företag
Handelsbanken Fastigheter AB	550873-0021	100	Fullständig konsolidering	X				Icke-finansiella företag
Rådshuset 4 AB	910506423	100	Fullständig konsolidering	X				Icke-finansiella företag
Handelsbanken Ventures AB	550993-0357	100	Fullständig konsolidering	X				Icke-finansiella företag
Bidtrustor AB	550993-0084	100	Fullständig konsolidering	X				Icke-finansiella företag
Bankomat AB	550817-0710	20	Kapitalandelsmetoden			X		Icke-finansiella företag
BGC Holding AB	550907-0933	25,54	Kapitalandelsmetoden			X		Icke-finansiella företag
Finansiell ID-teknik BID AB	550930-4928	28,3	Kapitalandelsmetoden			X		Icke-finansiella företag
UBE Intressenter AB	550161-9464	24,48	Kapitalandelsmetoden			X		Icke-finansiella företag
Gatawisk AB	550913-7382	20	Kapitalandelsmetoden			X		Icke-finansiella företag
P27 Nordic Payments Platform AB	550196-0510	20,84	Kapitalandelsmetoden			X		Icke-finansiella företag
Invidem AB	550210-0779	16,7	Kapitalandelsmetoden			X		Icke-finansiella företag
Tibom AB	550384-3542	14,3	Kapitalandelsmetoden			X		Icke-finansiella företag
Handelsbanken Liv Försäkring AB (koncern- och Handelsbanken Fastigheter AB)	510401-8284	100	Fullständig konsolidering					X Försäkringsenhet
Svenska Re S.A.	RCB Lux B-32053	100	Fullständig konsolidering					X Försäkringsenhet
Handelsbanken Skadeförsäkrings AB	510401-0757	100	Fullständig konsolidering					X Försäkringsenhet
SHB Liv Försäkringsaktieföretag	2478149-7	100	Fullständig konsolidering				X	Försäkringsenhet
Svenska FKA International Insurance Services AB (inaktiv)	550324-2904	100	Fullständig konsolidering				X	Försäkringsenhet



3.1

Inledning

Företningsberättelse

Finansiella rapporter
Koncernen

Hållbarhet

Övrigt

K52 forts.

2024	Organisationsnummer	Ägarandel %	Metod för konsolidering enligt redovisningsregler	Metod för konsolidering enligt tillägsregler				Beskrivning av enheten
				Fullständig konsolidering	Proportionell konsolidering	Kapitalandelsmetoden	Varken konsoliderad eller avdragen	
Dyson Group plc	00163096	27	Kapitalandelsmetoden				X	Icke-finansiella företag
Dyson Industries Ltd	1187091	100					X	Icke-finansiella företag
Bespart Ltd	177682	100					X	Icke-finansiella företag
Pickford Holland & Company Ltd	128414	100					X	Icke-finansiella företag
EFN Ekonomikanalen AB	550930-1608	100	Fullständig konsolidering				X	Icke-finansiella företag

Notera: Dessa bolag är utanför konsoliderad situation: Handelsbanken Liv Försäkrings AB, BHB Liv Försäkringsaktieföretag, Svenska RICA International Insurance Services AB, Handelsbanken Skadeförsäkrings AB, EFN Ekonomikanalen AB, Svenska Re S.A. Dyson Group plc, Dyson Industries Ltd, Bespart Ltd och Pickford Holland & Company Ltd.

EU L12 – Huvudsakliga källor till skillnader mellan exponeringsbelopp enligt tillägskrav och bokförda värden i finansiella rapporter
Tabellen visar skillnaden mellan bokförda värden enligt konsolideringen enligt tillägskrav och exponeringsbelopp som beaktas för tillägsändamål.

2024	mkr	Poster som är föremål för				
		Summa	Kreditriskramen	Värdepappersböringsramen	Motparts-kreditriskramen	Marknadsriskramen
1	Belopp för tillgångars bokförda värde enligt konsolideringen enligt tillägskrav (enligt mall L11)	3 279 370	3 086 367	117 784	337	75 912
2	Belopp för skuldens bokförda värde enligt konsolideringen enligt tillägskrav (enligt mall L11)	16 837				16 837
3	Totalt nettobelopp enligt konsolideringen enligt tillägskrav	3 262 533	3 086 367	117 784	337	59 075
4	Belopp utanför balansenökningen	480 832	480 832			
5	Skillnader i värderingar					
6	Skillnader på grund av olika nettningsregler, utöver de som redan är inbegripna på rad 2	-41 351		-4 787		-36 564
7	Skillnader på grund av beaktande av avsättningar	1 155	1 155			
8	Skillnader på grund av användning av kreditriskreducerande metoder	-24 054	42 145	-57 009		
9	Skillnader på grund av kreditkonverteringsfaktorer	-296 793	-296 793			
10	Skillnader på grund av värdepappersförsäring med risköverföring					
11	Andra skillnader	-12 827		-12 827		
12	Exponeringsbelopp som beaktas för tillägsändamål	3 368 606	3 312 606	33 061	337	22 511



3.1

K52 forts.

EU INS2 – Information från finansiella konglomerat om kapitalbas och kapitaltäckningskvot			
mkr		2024	2023
1	Det finansiella konglomeratets extra kapitalbaskrav (belopp)	12 482	11 559
2	Det finansiella konglomeratets kapitaltäckningskvot (i %)	127,0	128,7
EU KM1 – Mått för nyckeltal			
Nyckeltal 2024		2024	2023
Tillgänglig kapitalbas (belopp)			
1	Kärnprimärkapital	155 345	157 576
2	Primärkapital	160 290	172 603
3	Totalt kapital	193 101	200 081
Relevägda exponeringsbelopp			
4	Totalt relevägt exponeringsbelopp	825 457	836 700
Kapitalrelationer (som en procentandel av det relevägda exponeringsbeloppet)			
5	Kärnprimärkapitalrelation (i %)	18,8	18,8
6	Primärkapitalrelation (i %)	20,2	20,6
7	Total kapitalrelation (i %)	23,4	23,9
Ytterligare kapitalbaskrav för att hantera andra risker än risken för alltför låg bruttosoliditet (som en procentandel av det relevägda exponeringsbeloppet)			
EU 7a	Ytterligare kapitalbaskrav för att hantera andra risker än risken för alltför låg bruttosoliditet (i %)	1,8	2,0
EU 7b	varav: ska utgöras av kärnprimärkapital (i procentenheter)	1,2	1,3
EU 7c	varav: ska utgöras av primärkapital (i procentenheter)	1,4	1,5
EU 7d	Totala kapitalbaskrav för översyns- och utvärderingsprocessen (i %)	9,8	10,0
Kombinerat buffertkrav och samlat kapitalkrav (som en procentandel av det relevägda exponeringsbeloppet)			
8	Kapitalkonservationsbuffert (i %)	2,5	2,5
EU 8a	Konservationsbuffert på grund av makrotillsynsrisiker eller systemriskor identifierade på medlemsstatnivå (i %)		
9	Institutspecifik koncyklisk kapitalbuffert (i %)	2,0	1,9
EU 9a	Systemriskbuffert (i %)	3,2	3,2
10	Buffert för globalt systemviktigt institut (i %)		
EU 10a	Buffert för andra systemviktiga institut (i %)	1,0	1,0
11	Kombinerat buffertkrav (i %)	8,7	8,6
EU 11a	Samlat kapitalkrav (i %)	18,5	18,6
12	Tillgängligt kärnprimärkapital efter uppfyllande av de totala kapitalbaskraven för översyns- och utvärderingsprocessen (i %)	13,1	13,1
Bruttosoliditetsgrad			
13	Totalt exponeringsmått	3 358 806	3 390 408
14	Bruttosoliditetsgrad (i %)	4,9	5,1
Ytterligare kapitalbaskrav för att hantera risken för alltför låg bruttosoliditet (som en procentandel av det totala exponeringsmåtten)			
EU 14a	Ytterligare kapitalbaskrav för att hantera risken för alltför låg bruttosoliditet (i %)		
EU 14b	varav: ska utgöras av kärnprimärkapital (i procentenheter)		
EU 14c	Totala krav avseende bruttosoliditetsgrad för översyns- och utvärderingsprocessen (i %)	3,0	3,0
EU 14d	Krav på bruttosoliditetsbuffert (i %)		
EU 14e	Samlat bruttosoliditetskrav (i %)	3,0	3,0
Likviditetstäckningskvot			
15	Totala högkvalitativa likvida tillgångar / riktat värde – genomsnitt	652 211	695 962
EU 16a	Likviditetsutflöden – totalt viktat	603 635	617 192
EU 16b	Likviditetsinflöden – totalt viktat	75 835	88 942
16	Totala nettolikviditetsutflöden (justerat värde)	527 801	528 250
17	Likviditetstäckningskvot (i %)	183,4	172
Stabil nettofinansieringskvot			
18	Total tillgänglig stabil finansiering	2 143 840	2 101 503
19	Totalt behov av stabil finansiering	1 734 333	1 758 005
20	Stabil nettofinansieringskvot (i %)	123,6	120



3.1

Inledning

Förvaltningsberättelse

Finansiella rapporter
Koncernen

Hållbarhet

Övrigt

K52 forts.

EU OV1 – Översikt över totala riskvägda exponeringsbelopp

Tabellen visar riskvägda exponeringsbelopp (REA) för kreditrisk, motpartsrisk, marknadsrisk och operativ risk per utgången av 2024 och föregående år. Kreditrisk är beräknad enligt schablonmetoden, den grundläggande internmetoden och den avancerade internmetoden. Marknadsrisk och operativ risk är beräknade enligt schablonmetoden.

		Totala riskvägda exponeringsbelopp		Totala kapitalbaskrav
mkr		2024	2023	2024
1	Kreditrisk (exkl motparts kreditrisk)	706 444	726 276	66 616
2	varav schablonmetoden	190 807	183 549	15 749
3	varav den grundläggande internmetoden (F-IRB)	51 007	53 702	4 133
4	varav avancerad beräkningsmetoden			
EU 4a	varav enligt den enkla riskvägda metoden	2 622	2 240	234
5	varav den avancerade internmetoden (A-IRB)	234 160	278 025	18 734
5a	varav riskviktsgolv	220 828	208 100	17 005
6	Motparts kreditrisk	10 085	11 827	870
7	varav schablonmetoden	8 194	8 507	656
8	varav metoden med interna modeller			
EU 8a	varav exponeringar mot en central motpart	205	209	21
EU 8b	varav kreditvärderingsjustering	2 127	2 463	170
9	varav andra motparts kreditrisker	399	589	32
10	Ej tillämpligt			
11	Ej tillämpligt			
12	Ej tillämpligt			
13	Ej tillämpligt			
14	Ej tillämpligt			
15	Avvecklingsrisk			
16	Värdepappersförloppsexponeringar utanför handelslagret (efter tillämpning av taket)			
17	varav intern kreditvärderingsmetod för värdepappersförlopp			
18	varav extern kreditvärderingsmetod för värdepappersförlopp (inbegripet internbedömningsmetoden)			
19	varav schablonmetoden för värdepappersförlopp			
EU 19a	varav 250 %/avdrag			
20	Positionerisk, valutakursrisk och ränterisk (marknadsrisk)	22 511	23 471	1 801
21	varav schablonmetoden	22 511	23 471	1 801
22	varav metoden för interna modeller			
23	Operativ risk	85 517	75 216	6 841
EU 23a	varav basmetoden			
EU 23b	varav schablonmetoden	85 517	75 216	6 841
EU 23c	varav internmättningsmetoden			
24	Belopp under bräsklarna för avdrag (föremål för riskviktning på 250%)			
25	Ej tillämpligt			
26	Ej tillämpligt			
27	Ej tillämpligt			
28	Ej tillämpligt			
29	Summa	825 457	836 790	86 037



3.1

K52 forts.

Tabellen visar kapitalkrav för marknadriskar enligt schablonmetoden per utgången av 2024.

Marknadsrisk som behandlas enligt schablonmetoden	Kapitalkrav	
	2024	2023
mkr		
Direkta produkter		
Ränterisk (allmän och specifik)	277	243
Aktierisk (allmän och specifik)	1	3
Valutarisk	1 514	1 615
Ränterisk	0	0
Optioner		
Föranklad metod		
Delta-plus-metod		
Scenariometod	0	16
Värdepappersisättning (specifik risk)		
Summa kapitalkrav för marknadsrisk	1 801	1 878

Krav på kapitalbas och kvalificerade skulder (MREL)
MREL kravet uttryckts som en andel av kapitalbas och kvalificerade skulder i förhållande till riskexponeringsbeloppet respektive bruttosoliditet (BFS 2015:1016). Bankens krav bestäms en gång per år av Riksgälden och skuldtäckningskrav har fastsatts in linjärt under en övergångsperiod från 1 januari 2022 till 1 januari 2024.

Krav på kapitalbas och kvalificerade skulder (MREL)		
%	2024	2023
Riskenligt MREL krav	27,1	23,8
Tillgänglig kapitalbas och kvalificerade skulder	40,0	39,6
Icke-riskenligt MREL krav	6,0	5,5
Tillgänglig kapitalbas och kvalificerade skulder	12,1	11,0

Krav på kapitalbas och efterställda kvalificerade skulder (MREL)		
%	2024	2023
Riskenligt efterställningskrav	20,0	16,8
Tillgänglig kapitalbas och efterställda kvalificerade skulder	24,0	22,0
Icke-riskenligt efterställningskrav	6,0	5,5
Tillgänglig kapitalbas och efterställda kvalificerade skulder	8,0	7,6



3.2

Inledning

Förvaltningsberättelse

Finansiella rapporter
Moderbolaget

Hållbarhet

Övrigt

Resultaträkning,
moderbolaget

mkr	Not	2024	2023
Räntaer	M3	125 870	121 903
Leasingintäkter	M3	1 050	1 739
Räntekostnader	M3	-102 112	-97 786
Erdämla utdelningar	M4	21 673	15 957
Provisioner	M5	6 208	5 955
Provisionkostnader	M5	-1 437	-1 382
Nettoreultat av finansiella transaktioner	M6	2 880	1 745
Övriga rörelseintäkter	M7	3 953	4 230
Summa rörelseintäkter		58 693	52 462
Allmänna administrationskostnader			
Personalkostnader	M8	-12 865	-11 456
Övriga administrationskostnader	M9	-7 745	-7 453
Av- och nedskrivningar av materiella och immateriella anläggningstillgångar	M21, M22	-2 258	-2 334
Summa kostnader före kreditförluster		-22 867	-21 243
Resultat före kreditförluster och statliga avgifter		35 826	31 208
Kreditförluster, netto	M10	446	58
Nedskrivning av finansiella anläggningstillgångar		-2 163	-1 524
Statliga avgifter	M11	-1 655	-1 533
Rörelseresultat		32 454	28 110
Bokslutsdispositioner	M12	336	
Resultat före skatter		32 790	28 110
Skatter	M20	-5 131	-5 747
Årets resultat		27 659	22 363



3.2

Totalresultat,
moderbolaget

mkr	2024	2023
Årets resultat	27 650	22 363
Övrigt totalresultat		
Poster som inte kommer att omklassificeras till resultaträkningen		
Eget kapitalinstrument värderade till verkligt värde via övrigt totalresultat	108	63
Skatt på poster som inte kommer att omklassificeras till resultaträkningen	-30	-11
varav eget kapitalinstrument värderade till verkligt värde via övrigt totalresultat	-30	-11
Summa poster som inte kommer att omklassificeras till resultaträkningen	169	62
Poster som kan komma att omklassificeras till resultaträkningen		
Kassafördelsåtknåringar	-767	-1 571
Skuldinstrument värderade till verkligt värde via övrigt totalresultat	0	25
Årets omräkningsdifferens	-210	-1 289
varav säkring av nettotillgångar i utländsk verksamhet	0	5
Skatt på poster som kan komma att omklassificeras till resultaträkningen	88	522
varav kassafördelsåtknåringar	158	324
varav skuldinstrument värderade till verkligt värde via övrigt totalresultat	-1	-5
varav säkring av nettotillgångar i utländsk verksamhet	0	-1
varav skatt på omräkningsdifferens	-69	204
Summa poster som kan komma att omklassificeras till resultaträkningen	-802	-2 313
Summa övrigt totalresultat	-733	-2 282
Årets totalresultat	26 926	20 100

Årets omklassificeringar till resultaträkningen framgår av Förändring i eget kapital.



3.2

Inledning

Förvaltningsberättelse

Finansiella rapporter
Moderbolaget

Hållbarhet

Övrigt

Balansräkning,
moderbolaget

mkr	Not	2024	2023
Tillgångar			
Kassa och tillgodoavanden hos centralbanker		404 238	362 536
Bolåningsbara statskultförbindelser m m	M15	172 000	190 128
Utlåning till kreditinstitut	M13	990 917	1 007 902
Utlåning till allmänheten	M14	524 171	600 907
Värdoförändring på räntesäkrad post i portföljsäkring		-6 300	-0 657
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	M15	53 500	50 791
Aktier och andelar	M16	8 962	0 170
Aktier och andelar i koncern- och intresseförslag samt joint ventures	M17	67 501	68 986
Tillgångar där kunden står värdoförändringsrisken		2 087	1 948
Derivatinstrument	M18	52 680	30 010
Immateriella tillgångar	M21	3 023	3 211
Fastigheter, inventarier och leasingobjekt	M22	5 875	6 673
Aktuella skattefordringar			
Uppskjutna skattefordringar	M20	150	374
Övriga tillgångar	M23	18 007	20 789
Förutbetalda kostnader och upplupna intäkter	M24	1 481	1 386
Summa tillgångar	M30	2 306 063	2 360 344
Skulder och eget kapital			
Skulder till kreditinstitut	M25	160 304	176 143
In- och upplåning från allmänheten	M26	1 050 028	1 100 471
Skulder där kunden står värdoförändringsrisken		2 087	1 948
Emitterade värdepapper m m	M27	840 800	806 107
Derivatinstrument	M18	30 312	46 209
Korta positioner	M28	1 007	2 364
Aktuella skatteskulder		244	831
Uppskjutna skatteskulder	M20	55	336
Avsättningar	M30	423	624
Övriga skulder	M31	10 792	11 374
Upplupna kostnader och förutbetalda intäkter	M32	2 070	2 309
Efterställda skulder	M33	37 054	43 117
Summa skulder	M30	2 144 333	2 201 046
Obevakade reserver	M34	831	867
Aktiekapital		3 000	3 000
Överkursfond		8 758	8 758
Andra fonder	M35	8 164	0 003
Balanserad vinst		112 540	115 178
Årets resultat		27 659	22 303
Summa eget kapital		160 180	168 431
Summa skulder och eget kapital		2 306 063	2 360 344



3.2

Förändring i eget kapital,
moderbolaget

mkr	Bundet eget kapital			Fritt eget kapital					Totalt
	Aktiekapital	Reservfond	Fond för inlämt utvecklad programvara	Överkurs- fond	Sämrings- reserv ¹⁾	Verkligt värde- reserv ¹⁾	Omräknings- reserv ¹⁾	Balanserade vinstmoder inkl. ärets resultat	
Ingående eget kapital 2024	3 069	2 682	3 140	8 758	2 284	197	761	137 541	158 431
Ärets resultat								27 059	27 059
Övrigt totalresultat					-609	104	-288		-793
varav omklassificering inom eget kapital						-3	-570		-573
Ärets totalresultat					-609	104	-288	27 059	26 905
Omklassificerat till balanserat resultat								573	573
Utdelning								-25 740	-25 740
Fond för inlämt utvecklad programvara			-155					155	
Utgående eget kapital 2024	3 069	2 682	2 984	8 758	1 675	301	473	140 187	160 189

mkr	Bundet eget kapital			Fritt eget kapital					Totalt
	Aktiekapital	Reservfond	Fond för inlämt utvecklad programvara	Överkurs- fond	Sämrings- reserv ¹⁾	Verkligt värde- reserv ¹⁾	Omräknings- reserv ¹⁾	Balanserade vinstmoder inkl. ärets resultat	
Ingående eget kapital 2023	3 069	2 682	3 010	8 758	3 831	126	1 847	130 864	153 887
Ärets resultat								22 363	22 363
Övrigt totalresultat					-1 247	71	-1 086		-2 262
varav omklassificering inom eget kapital							-284		-284
Ärets totalresultat					-1 247	71	-1 086	22 363	20 100
Omklassificerat till balanserat resultat								284	284
Utdelning								-15 840	-15 840
Fond för inlämt utvecklad programvara			129					-129	
Utgående eget kapital 2023	3 069	2 682	3 140	8 758	2 284	197	761	137 541	158 431

1) Ingår i fond för verkligt värde.



3.2

Inledning

Förvaltningsberättelse

Finansiella rapporter
Moderbolaget

Hållbarhet

Övrigt

Kassaflödesanalys,
moderbolaget

mkr	2024	2023
Löpande verksamhet		
Rörelseresultat	32 454	28 110
varav inbetalda räntor	125 803	117 602
varav utbetalda räntor	-102 528	-94 000
varav inbetalda utdelningar	21 673	15 957
Justering från löpande verksamhet till investeringsverksamhet	2 002	-335
varav till Liquidation av dotterbolag		-335
varav till Avyttring av verksamhet och dotterbolag	2 002	
Justering för ej kassaflödespåverkande poster i rörelseresultatet		
Kreditförluster	-427	-4
Realiserade värdeförändringar	-128	-588
Av- och nedskrivningar	4 070	3 850
Koncernbidrag att erhålla	-8 945	-11 340
Betalda inkomstskatter	-5 027	-5 188
Förändring i den löpande verksamhetens tillgångar och skulder		
Utlåning till kreditinstitut	11 074	17 672
Utlåning till allmänheten	54 020	20 748
Räntebärande värdepapper och aktier	20 550	-30 901
Skulder till kreditinstitut	-6 740	6 526
In- och upplåning från allmänheten	-44 290	-27 800
Emitterade värdepapper	34 600	154
Derivatinstrument, nettopositioner	-20 530	22 834
Korta positioner	-1 200	209
Fondlikvidförändringar och fondlikvidskulder	216	7 077
Övrigt	-17 289	5 413
Kassaflöde från löpande verksamhet	45 440	-4 615
Investeringsverksamhet		
Avyttring av verksamhet och dotterbolag	2 107	
Liquidation av dotterbolag		330
Förvärf av och tillskott till intresseföretag och joint ventures	-175	-53
Förskaffning av aktier och andelar	0	
Förvärf av materiella anläggningstillgångar	-4 305	-5 210
Avyttring av materiella anläggningstillgångar	3 534	3 203
Förvärf av immateriella anläggningstillgångar	-450	-682
Kassaflöde från investeringsverksamhet	707	-2 385
Finansieringsverksamhet		
Amortering återställda skulder	-13 371	-8 351
Emission återställda skulder	5 704	8 035
Utbetald utdelning	-25 740	-15 840
Utdelningar från koncernföretag	11 338	10 249
Kassaflöde från finansieringsverksamhet	-22 060	602
Ärets kassaflöde	24 087	-6 278
Likvida medel vid årets början	362 530	378 010
Kassaflöde från löpande verksamhet	45 440	-4 615
Kassaflöde från investeringsverksamhet	707	-2 355
Kassaflöde från finansieringsverksamhet	-22 060	602
Kursdifferens i likvida medel	17 615	-7 106
Likvida medel vid årets slut	404 238	362 530

Kassaflödesanalysen har upprättats i enlighet med den indirekta metoden, vilket innebär att rörelseresultatet har justerats för transaktioner som inte medfört in- eller utbetalningar, till exempel avskrivningar och kreditförluster.

Likvida medel definieras som kassa och tillgodehavanden hos centralbanker.



3.2

Kassaflödesanalys, moderbolaget, forts.

Förändring av skulder i finansieringsverksamheten

mkr	2024	2023
Ingående balans	43 117	42 404
Kassaflöde	-7 007	284
Ej kassaflödespåverkande förändringar, valutakursförändringar	1 908	-770
Ej kassaflödespåverkande förändringar, valutakursåtköringar	-10	1 153
Ej kassaflödespåverkande förändringar, upplupna räntor	-287	40
Summa skulder i finansieringsverksamheten	37 064	43 117

Avyttring av verksamhet och dotterbolag

mkr	2024
Köpskilling	
Total köpskilling	4 038
Fordran köpare	-2 471
Likvid	2 167
Tillgångar och skulder som avyttrats	
Utlåning till sällskapet	10 957
Andra tillgångar	5
Summa tillgångar	10 963
In- och upplåning från sällskapet	15 170
Andra skulder	23
Summa skulder	15 193
Kassaflöde från löpande verksamhet	-2 602

Köpskillingen erhöles i sin helhet i likvida medel.



3.2

Inledning

Förvaltningsberättelse

Finansiella rapporter
Moderbolaget

Hållbarhet

Övrigt

5-årsöversikt,
moderbolaget

Resultaträkning

mkr	2024	2023	2022	2021	2020
Räntanetto	25 410	25 940	18 230	13 502	13 455
Erhållna utdelningar	21 073	15 957	10 953	17 011	15 937
Provisionsnetto	4 771	4 573	5 107	5 230	5 002
Nettoreultat av finansiella transaktioner	2 880	1 745	820	1 808	1 809
Övriga rörelseintäkter	3 053	4 230	4 841	3 570	2 700
Summa rörelseintäkter	68 683	62 452	48 011	41 727	38 744
Allmänna administrationskostnader					
Personalkostnader	-12 895	-11 450	-11 990	-10 242	-11 089
Övriga administrationskostnader	-7 745	-7 453	-7 415	-8 002	-5 084
Av- och nedskrivningar av materiella och immateriella anläggningstillgångar	-2 258	-2 334	-2 459	-2 803	-2 072
Summa kostnader före kreditförluster	-22 887	-21 243	-21 864	-19 047	-20 045
Resultat före kreditförluster och statliga avgifter	35 826	31 208	24 148	22 680	19 699
Kreditförluster, netto	440	58	-41	-55	-477
Nedskrivning av finansiella anläggningstillgångar	-2 108	-1 524	-2 305	-1 180	-79
Statliga avgifter	-1 055	-1 033	-1 391	-300	-385
Rörelseresultat	32 454	28 110	20 471	21 079	18 708
Bokslutsdispositioner	330		-100	227	743
Resultat före skatt	32 790	28 110	20 311	21 306	19 501
Skatter	-5 131	-5 747	-4 850	-4 018	-4 275
Årets resultat	27 659	22 363	15 455	16 688	15 226
Utdelning för året	20 700 ¹⁾	25 740	15 840	9 900	10 000

1) Enligt styrelsens förslag.

Totalresultat

mkr	2024	2023	2022	2021	2020
Årets resultat	27 659	22 363	15 455	16 688	15 226
Övrigt totalresultat					
Poster som inte kommer att omklassificeras till resultaträkningen					
Eget kapitalinstrument värderade till verkligt värde via övrigt totalresultat	198	63	41	02	-583
Skatt på poster som inte kommer att omklassificeras till resultaträkningen	-30	-11	-10	-3	11
Varav eget kapitalinstrument värderade till verkligt värde via övrigt totalresultat	-39	-11	-10	-3	11
Summa poster som inte kommer att omklassificeras till resultaträkningen	150	52	22	50	-572
Poster som kan komma att omklassificeras till resultaträkningen					
Kassafödersäkringar	-767	-1 571	3 411	240	-1 077
Skuldinstrument värderade till verkligt värde via övrigt totalresultat	0	25	-01	0	7
Årets omräkningsdifferens	-210	-1 289	1 320	1 084	-2 184
Varav skilling av nettotillgångar i utländsk verksamhet	0	5	-83	-03	-258
Skatt på poster som kan komma att omklassificeras till resultaträkningen	88	522	-1 251	-39	420
Varav kassafödersäkringar	158	334	-703	-57	305
Varav skuldinstrument värderade till verkligt värde via övrigt totalresultat	-1	-5	0	-1	-1
Varav skilling av nettotillgångar i utländsk verksamhet	0	-1	17	13	50
Varav omräkningsdifferens	-09	204	-572		
Summa poster som kan komma att omklassificeras till resultaträkningen	-802	-2 313	3 426	1 247	-3 434
Summa övrigt totalresultat	-733	-2 282	3 447	1 308	-4 006
Årets totalresultat	26 926	20 100	18 902	17 994	11 220



3.2

5-årsöversikt, moderbolaget, forts.

Balansräkning

mkr	2024	2023	2022	2021	2020
Tillgångar					
Utlåning till allmänheten	517 772	501 340	621 110	600 948	566 158
Utlåning till kreditinstitut	996 917	1 007 992	1 025 664	986 897	953 650
Räntebärande värdepapper	226 175	249 919	166 117	134 801	145 648
Övriga tillgångar	504 180	511 092	549 908	498 428	459 407
Summa tillgångar	2 305 063	2 369 344	2 362 889	2 230 134	2 124 863
Skulder och eget kapital					
In- och upplåning från allmänheten	1 050 028	1 109 471	1 137 272	1 173 172	1 021 130
Skulder till kreditinstitut	109 394	176 143	169 617	153 400	198 054
Emitterade värdepapper	840 956	806 167	906 013	679 808	657 520
Efterställda skulder	37 054	43 117	42 404	32 257	41 082
Övriga skulder	46 990	66 147	52 829	46 481	68 305
Obeskattade reserver	531	867	867	708	993
Eget kapital	100 180	158 431	153 887	144 220	142 839
Summa skulder och eget kapital	2 305 063	2 369 344	2 362 889	2 230 134	2 124 863

Nyckeltal

%	2024	2023	2022	2021	2020
Kärnprimärkapitalrelation, enligt CRR	31,4	29,8	29,4	30,2	31,7
Primärkapitalrelation, enligt CRR	34,2	33,4	32,9	33,4	34,6
Total kapitalrelation, enligt CRR	41,0	39,9	37,2	37,4	38,8
Räntabilitet på totalt kapital	1,13	0,90	0,63	0,72	0,65

För definitioner av alternativa nyckeltal hänvisas till sidan 376 och för beräkning av dessa nyckeltal hänvisas till Faktaboken som finns tillgänglig på handelsbanken.com/rov.



3.2

Inledning

Förvaltningsberättelse

Finansiella rapporter
Moderbolaget

Hållbarhet

Övrigt

Noter, moderbolaget

M1	Väsentliga redovisningsprinciper	199	M26	In- och upplåning från allmänheten	227
M2	Risk- och kapitalhantering	201	M27	Emitterade värdepapper	228
M3	Räntenetto	206	M28	Korta positioner	228
M4	Erhållna utdelningar	206	M29	Skatter	229
M5	Provisionsnetto	207	M30	Avsättningar	230
M6	Nettoresultat av finansiella transaktioner	207	M31	Övriga skulder	230
M7	Övriga rörelseintäkter	207	M32	Upplupna kostnader och förutbetalda intäkter	231
M8	Personalkostnader	208	M33	Efterställda skulder	231
M9	Övriga administrationskostnader	209	M34	Obeskattade reserver	232
M10	Kreditförluster	210	M35	Specifikation av förändringar i eget kapital	232
M11	Statliga avgifter	215	M36	Klassificering av finansiella tillgångar och skulder	233
M12	Bokslutsdispositioner	215	M37	Värdering av finansiella instrument till verkligt värde	235
M13	Utlåning till kreditinstitut	215	M38	Ställda och mottagna säkerheter samt överförda finansiella tillgångar	237
M14	Utlåning till allmänheten	216	M39	Eventualförpliktelser	238
M15	Räntebärande värdepapper	216	M40	Pensionsförpliktelser	238
M16	Aktier och andelar	217	M41	Tillgångar och skulder i valuta	240
M17	Aktier och andelar i koncern- och intresseföretag samt joint ventures	217	M42	Upplysningar om närstående	241
M18	Derivatinstrument	219	M43	Förslag till vinstdisposition	242
M19	Säkringsredovisning	220	M44	Aktieinformation	242
M20	Kvittning av finansiella instrument	223	M45	Händelser efter balansdagen	242
M21	Immateriella tillgångar	224	M46	Upplysningar om tillgångar och skulder som innehas för försäljning	243
M22	Fastigheter, inventarier och leasingobjekt	224	M47	Kapitaltäckning	245
M23	Övriga tillgångar	226			
M24	Förutbetalda kostnader och upplupna intäkter	226			
M25	Skulder till kreditinstitut	226			

M1 Väsentliga redovisningsprinciper

Lag- och föreskriftsenlighet

Moderbolagets årsredovisning är upprättad i enlighet med lagen 1995:1559 om årsredovisning i kreditinstitut och värdepappersbolag (ÅRKL) och Finansinspektionens föreskrifter och allmänna råd FFFS 2008:25 om årsredovisning i kreditinstitut och värdepappersbolag. Moderbolaget tillämpar också RFR 2 Redovisning för juridiska personer och uttalanden från Rådet för hållbarhets- och finansiell rapportering. I enlighet med Finansinspektionens allmänna råd tillämpar moderbolaget så kallad lagbegränsad IFRS. Det innebär att de internationella redovisningsstandarder och tolkningar av dessa standarder som har antagits av EU har tillämpats i den utsträckning som det är möjligt inom ramen för nationella lagar och föreskrifter samt sambandet mellan redovisning och beskattning.

Sambandet mellan moderbolagets och koncernens redovisningsprinciper

Moderbolagets redovisningsprinciper överensstämmer i stora delar med koncernens. I det följande redogörs endast för de områden där moderbolagets principer skiljer sig från koncernens. I allt övrigt hänvisas till redovisningsprinciperna för koncernen i not K1.

Presentation

Moderbolaget tillämpar de uppställningsformer för resultat- och balansräkning som följer av ÅRKL och Finansinspektionens föreskrifter. Det innebär främst följande skillnader i förhållande till den uppställning som tillämpas av koncernen:

- Fordringar på centralbanker som är direkt disponibla på anmodan redovisas i moderbolagets balansräkning som utlåning till kreditinstitut. I koncernens balansräkning redovisas de i posten Övrig utlåning till centralbanker.
- Broker- och börskostnader redovisas i moderbolaget som Provisionskostnader.
- Erhållna utdelningar redovisas på särskild rad i moderbolagets resultaträkning.
- Resultat vid avyttring av materiella och immateriella anläggningstillgångar redovisas i moderbolaget som övrig intäkt eller kostnad.
- Obeskattade reserver redovisas i moderbolaget i en egen balanspost. I koncernen delas de upp i egen kapitalandel respektive skatteskuld.

Tillgångar som innehas för försäljning och utvecklade verksamhet

Anläggningstillgångar med begränsad nyttjandeperiod skrivs av över nyttjandeperioden i enlighet med Årsredovisningslagen under tiden dessa är klassificerade som att de innehas för försäljning. Någon särredovisning av nettoresultat efter skatt från utvecklade verksamhet sker inte i moderbolagets resultaträkning. I balansräkningen görs inte heller någon särskild uppdelning av tillgångar respektive skulder som innehas för försäljning. För upplysningar om tillgångar respektive skulder som innehas för försäljning samt utvecklade verksamhet se not M46.

Aktier och andelar i dotter- och intresseföretag samt joint ventures

Aktier och andelar i dotterföretag och intresseföretag samt joint ventures värderas till anskaffningsvärde. Varje balansdag provas alla innehav för att bedöma om de behöver skrivas ner. I de fall värdet har minskat sker nedskrivning till koncernmässigt värde. Eventuella nedskrivningskostnader klassificeras i resultaträkningen som Nedskrivning av finansiella tillgångar. Utdelningar på aktier i dotter- och intresseföretag samt joint ventures redovisas som intäkt i resultaträkningen i posten Erhållna utdelningar.

Säkringsredovisning

Verkligt värde säkring tillämpas med avseende på valutakursrisken hänförlig till aktier i utländska dotterföretag. Den säkrade posten utgörs av den första delen av det nominella beloppet avseende investeringen i aktier i respektive utländska dotterföretag. Säkringsinstrumenten utgörs av upplåning i moderbolaget som finansierar investeringen. Vinsten eller förlusten på säkringsinstrumentet redovisas i resultaträkningen tillsammans med förändringen av valutakursrisken på den delen av investeringen i dotterföretaget som utgör säkrad post.

Finansiella garantier

Finansiella garantier i form av borgensförbindelser till förmån för dotter- och intresseföretag samt joint ventures redovisas i moderbolaget som en avsättning i balansräkningen. I den utsträckning moderbolaget har ett befintligt åtagande och betalning sannolikt krävs för att reglera åtagandet.



3.2

Inledning

Förvaltningsberättelse

Finansiella rapporter
Moderbolaget

Hållbarhet

Övrigt

M1 forts.

Utdelningar

I posten Erhållna utdelningar redovisas alla erhållna utdelningar i moderbolaget, inklusive utdelningar från dotterföretag, intresseföretag och joint ventures, samt erhållna koncernbidrag. Anticiperad utdelning redovisas endast om moderbolaget har beslutanderätt över utdelningens storlek och beslutet har fattats innan publiceringen av de finansiella rapporterna.

Redovisning av pensioner

Moderbolaget tillämpar inte bestämmelserna i IAS 19 om redovisning av förmånsbestämda pensionsplaner. Istället sker beräkning av kalkylmässig pensionskostnad i moderbolaget enligt Tryggandelagens bestämmelser och Finansinspektionens föreskrifter. Det innebär framförallt skillnader i fråga om hur diskonteringsräntan fastställs och att beräkningen av framtida förpliktelse inte tar hänsyn till antaganden om framtida löneökningar. Redovisad nettokostnad för pensioner beräknas som summan av utbetalda pensioner, pensionspremier samt avsättning till pensionsstiftelse, med avräkning för eventuell gottgörelse från pensionsstiftelse. Årets nettokostnad för pensioner redovisas som Personalkostnad i moderbolagets resultaträkning.

Överskjutande belopp till följd av att förvaltningstillgångarnas värde överstiger beräknade pensionsförpliktelser redovisas inte som en tillgång i moderbolagets balansräkning. Under skott redovisas som en skuld.

Skatter

I moderbolaget redovisas obeskattade reserver som en egen post i balansräkningen. Obeskattade reserver består av en komponent som utgör uppskjuten skatteskuld och en komponent som utgör eget kapital.



3.2

M2 Risk- och kapitalhantering

Handelsbankenkongcerns riskhantering beskrivs i not K2. Specifika upplyningar över moderbolagets riskar presenteras nedan.

Kreditexponeringar, geografisk fördelning 2024

mkr	Not	Sverige	Norge	Finland	Neder- länderna	Övriga länder	Summa
Poster i balansräkningen							
Kassa och tillgodohavanden hos centralbanker		63 478	4 160	14	203 650	132 936	404 238
Utlåning till kreditinstitut	M3	941 907	9 279	45 175	27	470	996 917
Utlåning till allmänheten	M4	192 541	174 513	44 267	104 604	8 246	524 171
Balansräkbara statskuldförbindelser m m	M5	172 606					172 606
Obligationer och andra rättsligt bindande värdepapper	M5	53 569					53 569
Derivatinstrument	M8	52 659				27	52 686
Summa		1 478 820	187 952	89 466	308 281	141 678	2 204 187
Poster utanför balansräkningen							
Eventuallförpliktelser	M30	640 350	66 668	5 555	2 970	32 640	748 183
varav ansvarsförbindelser		36 966	9 758	4 408	78	17 121	68 352
varav åtaganden		603 384	56 910	1 147	2 892	15 520	679 832
Summa		640 350	66 668	5 555	2 970	32 640	748 183
Summa poster i och utanför balansräkningen		2 117 170	254 620	95 011	311 250	174 319	2 982 370

Kreditexponeringar, geografisk fördelning 2023

mkr	Not	Sverige	Norge	Finland	Neder- länderna	Övriga länder	Summa
Poster i balansräkningen							
Kassa och tillgodohavanden hos centralbanker		67 895	4 776	10	128 690	161 159	362 530
Utlåning till kreditinstitut	M3	910 839	3 889	86 818	24	422	1 007 992
Utlåning till allmänheten	M4	224 971	187 290	82 633	97 110	8 993	693 997
Balansräkbara statskuldförbindelser m m	M5	199 128					199 128
Obligationer och andra rättsligt bindande värdepapper	M5	50 791					50 791
Derivatinstrument	M8	38 870				149	39 019
Summa		1 408 494	195 955	169 460	225 830	179 724	2 289 463
Poster utanför balansräkningen							
Eventuallförpliktelser	M30	600 656	65 320	25 629	3 094	28 883	723 588
varav ansvarsförbindelser		38 592	7 412	7 406	100	15 266	68 775
varav åtaganden		562 065	57 915	18 223	2 995	13 616	654 813
Summa		600 656	65 328	25 629	3 094	28 883	723 588
Summa poster i och utanför balansräkningen		2 009 150	261 282	195 089	228 924	198 606	2 984 051

Vid geografisk fördelning avses det land där exponeringarna är redovisade.



3.2

Inledning

Förvaltningsberättelse

Finansiella rapporter
Moderbolaget

Hållbarhet

Övrigt

M2 forts.

Utlåning till allmänheten, fördelad per sektor och bransch 2024

mkr	Brutto			Reserver			Netto
	Stag 1	Stag 2	Stag 3	Stag 1	Stag 2	Stag 3	
Privatpersoner	82 332	1 722	844	-5	-9	-280	84 504
Bostadsrättsföreningar	12 119	2 473	77	-1	-5	-1	14 662
Fastighetsförvaltning	285 035	13 418	720	-19	-29	-78	300 047
Tillverkningsindustri	25 074	1 517	33	-4	-3	-22	27 495
Handel	20 766	354	77	-6	-6	-67	21 118
Hotell- och restaurangverksamhet	3 593	97	25	-1	-1	-22	3 691
Person- och godstransport till sjöss	222	1	0	0	0	0	223
Övrig transport och kommunikation	3 344	109	17	-1	-1	-15	3 453
Byggnadsverksamhet	9 783	1 911	184	-18	-47	-110	11 703
Elektricitet, gas och vatten	6 712	4	11	0	0	-3	6 724
Jordbruk, jakt och skogsbruk	3 039	78	69	-1	-1	-9	3 175
Övrig serviceverksamhet	7 238	428	30	-3	-3	-16	7 654
Holding-, investment- och försäkringsbolag, fonderm m	18 399	83	5	-3	-1	-3	18 480
Stat och kommun	8 509	85	0	0	-1	0	8 594
Övrig företagsutlåning	12 348	158	63	-1	0	-40	12 528
Summa	600 413	22 439	2 155	-83	-107	-688	624 171

Utlåning till allmänheten, fördelad per sektor och bransch 2023

mkr	Brutto			Reserver			Netto
	Stag 1	Stag 2	Stag 3	Stag 1	Stag 2	Stag 3	
Privatpersoner	94 020	3 819	1 129	-11	-26	-301	96 530
Bostadsrättsföreningar	17 585	6 076	2	-3	-19	-1	23 640
Fastighetsförvaltning	292 358	20 909	727	-33	-38	-104	319 909
Tillverkningsindustri	15 773	3 508	65	-17	-83	-50	19 259
Handel	20 721	558	77	-10	-7	-62	21 277
Hotell- och restaurangverksamhet	1 047	340	13	-2	-3	-5	1 900
Person- och godstransport till sjöss	1 264	1	0	0	0	0	1 265
Övrig transport och kommunikation	5 435	132	17	-4	-2	-15	5 593
Byggnadsverksamhet	12 960	3 508	232	-47	-203	-94	16 362
Elektricitet, gas och vatten	12 191	20	3	-2	0	-3	12 209
Jordbruk, jakt och skogsbruk	3 148	278	7	-2	-3	-3	3 425
Övrig serviceverksamhet	13 338	280	112	-6	-4	-84	13 636
Holding-, investment- och försäkringsbolag, fonderm m	18 232	747	10	-5	-3	-3	18 978
Stat och kommun	9 219	46	0	0	0	0	9 265
Övrig företagsutlåning	28 436	236	82	-1	-1	-61	28 691
Summa	603 233	48 608	2 478	-143	-392	-788	606 907

3.2

M2 forts.

Kreditexponeringar, fördelad per säkerhet 2024

mkr	Not	Boetads- fastigheter ¹⁾	Övriga fastigheter	Stat, kommun och landsting ²⁾	Borgen ³⁾	Finansiella säkerheter	Objekt	Övriga säkerheter	Blanko ⁴⁾	Summa
Poster i balansräkningen										
Kassa och tillgodoavanden hos centralbanker				404 238						404 238
Utlåning till kreditinstitut	M13			220 340					776 577	996 917
Utlåning till allmänheten	M14	150 723	206 066	64 421	4 685	11 802	4 450	5 067	76 058	524 171
Befäringssbara statssekulärförbindelser m.m.	M15			170 604					2 002	172 606
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	M16			9 845					43 724	53 569
Derivatinstrument	M18			1 602		10			51 005	52 606
Summa		150 723	206 066	871 110	4 685	11 821	4 450	5 067	949 366	2 204 187
Poster utanför balansräkningen										
Eventuella förpliktelser	M30	81 415	51 074	28 196	5 070	10 274	1 051	6 939	563 605	748 183
varav ansvarsförbindelser		4 591	1 034	5 656	2 482	782	1 360	506	51 051	68 352
varav åtaganden		76 824	50 040	22 300	2 588	9 492	201	6 343	511 954	679 832
Summa		81 415	51 074	28 196	5 070	10 274	1 051	6 939	563 605	748 184
Summa poster i och utanför balansräkningen		232 138	257 139	899 296	9 755	22 095	6 101	12 006	1 512 971	2 952 371

Kreditexponeringar, fördelad per säkerhet 2023

mkr	Not	Boetads- fastigheter ¹⁾	Övriga fastigheter	Stat, kommun och landsting ²⁾	Borgen ²⁾	Finansiella säkerheter	Objekt	Övriga säkerheter	Blanko ³⁾	Summa
Poster i balansräkningen										
Kassa och tillgodohavanden hos centralbanker				362 536						362 536
Utlåning till kreditinstitut	M13			146 006					891 899	1 037 902
Utlåning till allmänheten	M14	174 762	218 542	68 222	9 705	12 470	4 564	7 034	105 607	630 967
Betalningsbara statsskuldförbindelser m m	M15			197 348	543				1 237	199 128
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	M15			4 542	239				40 010	50 791
Derivatinstrument	M16			442		43			38 534	39 019
Summa		174 762	218 542	770 186	10 487	12 513	4 564	7 034	1 053 374	2 260 463
Poster utanför balansräkningen										
Eventuallförpliktelser	M39	68 295	47 250	30 009	5 659	12 705	1 529	7 510	550 541	723 588
varav ansvarsförbindelser		4 345	1 187	6 298	2 563	941	1 445	802	51 194	68 775
varav tillaganden		63 950	46 063	23 801	3 095	11 764	84	6 708	499 347	654 813
Summa		68 295	47 250	30 009	6 659	12 705	1 529	7 510	550 541	723 588
Summa poster i och utanför balansräkningen		243 057	265 792	800 285	16 146	25 218	6 093	14 544	1 603 915	2 984 051

f) Inklusiva bostadsrätter.

2) Avser direkta stats- och kommunexponeringar samt statsgarantier.

3) Includerare e) stategarantier.

4) I denna kolumn ingår moderbolagets interna utlåning och åtaganden till koncernens dotterbolag. För poster i balansräkningen uppgår den interna utlåning till 971 015 mkr (950 085) och för poster utanför balansräkningen uppgår den till 295 867 mkr (272 940).

Marknadsrisk
Marknadsrisker

mlr	2024	2023 ²
Rámtarték	1 303	1 015
Válratákarutak ³	11	21
Aktákarutak	66	40
Rávaruprták	1	0

1) Värsta utfall av +/-5% förändring av SEK.

2) Resultatet för Valutakursrisk 2023 skiljer sig från tidigare rapporterat resultat på grund av en metodförändring.



3.2

Inledning

Förvaltningsberättelse

Finansiella rapporter
Moderbolaget

Hållbarhet

Övrigt

M2 forts.

Likviditetsrisk
Förfalloanalys för finansiella tillgångar och skulder 2024

mkr	Upp till 30 dagar	31 dagar– 6 månader	6–12 månader	1–2 år	2–5 år	Över 5 år	Ospecifierad löptid	Summa
Kassa och tillgodohavanden i centralbanker	416 820							416 820
Bolningsbara statskuldförbindelser ¹⁾	172 605							172 605
Obligationer och andra rättsstämmande värdepapper ²⁾	53 509							53 509
Utlåning till kreditinstitut	121 107	102 092	101 814	159 244	272 893	218 597		1 066 347
varav omvända repor	12 081							12 081
Utlåning till allmänheten	60 252	112 400	77 324	68 920	113 920	216 082		658 898
varav omvända repor	17 995							17 995
Övrigt	12 011						141 541	153 552
varav aktier och andelar	8 952							8 952
varav fordringar på fondfonder	3 059							3 059
Summa tillgångar	836 364	305 093	179 138	248 163	386 813	434 679	141 541	2 031 701
Skulder till kreditinstitut	57 520	60 030	14 544	9 512	2 782	284	26 955	172 527
varav repor								
varav inlåning från centralbanker		12 943					247	13 190
In- och upplåning från allmänheten	50 735	117 791	5 063	2 047	1 180	80	805 759	1 052 255
varav repor								
Emitterade värdepapper ³⁾	87 407	347 492	199 811	69 342	131 014	33 924		860 950
varav säkerställda obligationer								
varav bankcertifikat (CDs) med ursprunglig löptid								
underliggande ett år	38 703	150 653	53 589					242 945
varav företagscertifikat (CPs) med ursprunglig löptid								
underliggande ett år	48 020	158 976	142 282					349 227
varav bankcertifikat (CDs) och företagscertifikat (CPs)								
med ursprunglig löptid överstigande ett år		2 876	694					3 569
varav Senior Non-preferred-obligationer		918	729	20 937	31 425	32 600		86 009
varav seniors obligationer och övriga värdepapper								
med ursprunglig löptid över ett år	429	32 818	2 327	47 990	99 678	1 120		184 363
Efterställda skulder		849	709	1 547	29 918	11 707		44 920
Övrigt	3 854						203 856	207 710
varav korta positioner	1 007							1 007
varav fondfonder	2 847							2 847
Summa skulder	208 576	627 062	220 818	82 548	165 795	45 996	1 006 670	2 347 368
Poster utanför balansräkningen								
Finansiella garantier och ej utnyttjade lånelåften	679 832							

Derivat 2024

mkr	Upp till 30 dagar	31 dagar– 6 månader	6–12 månader	1–2 år	2–5 år	Över 5 år	Summa
Summa derivat inlöste	235 249	494 452	123 672	182 922	317 801	95 749	1 449 845
Summa derivat utföste	232 889	482 784	123 544	177 014	310 440	90 447	1 417 118
Netto	2 360	11 668	128	5 908	7 361	5 302	32 727



3.2

M2 forts.

Förtecknande för finansiella tillgångar och skulder 2023

mkr	Upp till 30 dagar	31 dagar– 6 månader	6–12 månader	1–2 år	2–5 år	Över 5 år	Ospecifierad löptid	Summa
Kassa och tillgodohavanden i centralbanker	393 647							393 647
Betalningsbara statsskuldförbindelser ¹⁾	190 274							190 274
Obligationer och andra räntebärande värdepapper ²⁾	51 139							51 139
Utlåning till kreditinstitut varav omvända repor	133 125 12 814	146 051	100 509	160 809	289 090	200 645		1 050 430 12 814
Utlåning till allmänheten varav omvända repor	84 139 17 404	120 070	101 812	85 585	130 577	135 900		650 749 17 404
Övrigt varav aktier och andelar varav fordringar på fondfonder	11 687 0 170 5 517						127 213	138 900 0 170 5 517
Summa tillgångar	873 011	286 737	211 511	267 394	419 668	336 605	127 213	2 002 138
Skulder till kreditinstitut varav repor varav inlåning från centralbanker	61 503 11 741	61 030 20 288	15 505	18 034	1 100	845	0	181 256 32 030
In- och upplåning från allmänheten varav repor	40 223	154 131	34 483	5 224	1 813	40	872 513	1 117 435
Emitterade värdepapper ³⁾ varav säkerställda obligationer varav bankcertifikat (CDs) med ursprunglig löptid understigande ett år	67 987 22 677	355 310 97 987	188 573 49 918	34 196	150 702	35 000		831 805 164 582
varav företagscertifikat (CPs) med ursprunglig löptid understigande ett år	45 105	212 750	128 562					386 423
varav bankcertifikat (CDs) och företagscertifikat (CPs) med ursprunglig löptid överstigande ett år	99	17 960	12 657					30 616
varav Senior Non-Preferred-obligationer varav seniora obligationer och övriga värdepapper med ursprunglig löptid över ett år	105	20 050	2 823	970	35 820	24 235		62 003 187 942
Efterställda skulder Övrigt varav korta positioner varav fondfonder/skulder	7 456 2 305 5 090	14 022	505	1 353	20 192	14 367	217 991	50 499 225 447 5 090
Summa skulder	186 160	684 607	230 187	68 800	173 808	60 362	1 113 673	2 406 504
Poster utanför balansräkningen Finansiella garantier och ej utnyttjade lånelåften	654 813							

Derivat 2023

mkr	Upp till 30 dagar	31 dagar– 6 månader	6–12 månader	1–2 år	2–5 år	Över 5 år	Summa
Summa derivat inlöfte	131 607	475 360	130 129	113 350	325 912	115 717	1 301 075
Summa derivat utförlöfte	132 193	478 900	142 440	111 676	317 825	109 313	1 292 356
Netto	-586	-3 540	-3 311	1 674	8 087	6 404	8 719

1) Av beloppet (inklusive räntor) har 188 235 mkr (1 093 772) en återstående löptid som understiger ett år.

2) Av beloppet (inklusive räntor) har 6 895 mkr (3 334) en återstående löptid som understiger ett år.

3) Av beloppet (inklusive räntor) har 621 170 mkr (600 580) en återstående löptid som understiger ett år.

För inlåningsvolym avser kolumn "Ospecifierad löptid" inlåning som är betalbar på anfordran.

Tabellen innehåller ränteflödesvilkor innebär att balansraderna inte är avstämningsbara mot moderbolagets balansräkning.



3.2

Införning

Förvaltningsberättelse

Finansiella rapporter
Moderbolaget

Hållbarhet

Övrigt

M3 Räntenetto

mkr	2024	2023
Räntetäckningar		
Utlåning till kreditinstitut och centralbanker	68 520	53 669
Utlåning till allmänheten	30 160	20 289
Betalningsbara statskuldförbindelser m.m.	8 401	8 110
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	2 362	2 076
Derivatinstrument	23 545	32 227
Övriga räntetäckningar	350	843
Summa	128 428	128 235
Avgår räntetäckningar redovisade i nettoresultat av finansiella transaktioner	-2 550	-4 242
Summa räntetäckningar	125 879	121 993
varav räntetäckningar enligt effektivräntemetoden samt räntor på derivat i sämringarredovisning	105 951	96 383
Leasingintäkter	1 600	1 730
Räntekostnader		
Skulder till kreditinstitut och centralbanker	-7 030	-7 233
In- och upplåning från allmänheten	-30 102	-34 262
Emitterade värdepapper	-37 908	-34 978
Derivatinstrument	-10 019	-22 409
Efterställda skulder	-1 611	-1 618
Avgift inställningsgaranti	-245	-256
Övriga räntekostnader	-728	-683
Summa	-106 703	-101 440
Avgår räntekostnader redovisade i nettoresultat av finansiella transaktioner	3 501	3 654
Summa räntekostnader	-102 112	-97 786
varav räntekostnader enligt effektivräntemetoden samt räntor på derivat i sämringarredovisning	-93 705	-85 787
Räntenetto	25 416	25 946
Avskrivningar enligt plan för finansiella leasingavtal ¹⁾	-1 330	-1 471
Samtat räntenetto inklusive avskrivningar enligt plan för finansiella leasingavtal	24 085	24 475

1) Redovisas i posten Av- och nedskrivningar av materiella och immateriella anläggningstillgångar.
På raderna Derivatinstrument ingår räntenetto som är hänförligt till tillgångar och skulder som stökras. Dessa kan ha både positiv och negativ inverkan på räntetäckningar och räntekostnader.

M4 Erhållna utdelningar

mkr	2024	2023
Utdelningar på aktier och andelar	184	41
Utdelningar från intresseföretag		8
Utdelningar från koncernföretag ¹⁾	12 544	4 508
Erhållna koncernbidrag	8 945	11 340
Summa	21 673	16 897

1) Varav 1 261 mkr (1 142) avser utdelning på källprimärkapitalen som Stadshypotek har klassificerat som eget kapitalinstrument.



3.2

M5 Provisionsnetto

mkr	2024	2023
Courtage och övriga värdepappersprovisioner	430	421
Fonder	125	109
Depå och övrig kapitalförvaltning	1 060	905
Rådgivning	152	180
Betalningar	2 813	2 686
Ut- och inlåning	785	840
Garantier	101	202
Övriga provisionsintäkter	640	605
Summa provisionsintäkter	6 206	6 960
Värdepapper	-227	-227
Betalningar	-1 074	-1 042
Övriga provisionskostnader	-130	-113
Summa provisionskostnader	-1 437	-1 382
Provisionsnetto	4 771	4 578

Provisionsintäkter avser intäkter från avtal med kunder. Intäkter från Courtage och övriga värdepappersprovisioner, Rådgivning, Betalningar samt Ut- och inlåning redovisas huvudsakligen när tjänsterna utförs, därvid sågavid en viss tidpunkt. Intäkter från Fonder, Depå och övrig kapitalförvaltning, Försäkringar och Garantier redovisas huvudsakligen i takt med att dessa tjänster utförs, det vill säga i löpande tid.

M6 Nettoresultat av finansiella transaktioner

mkr	2024	2023
Uppskulat anskaffningsvärde	30	-66
varav lån	30	-66
varav räntebärande värdepapper		0
Verkligt värde via övrigt totalresultat	0	-1
varav räntebärande värdepapper – förväntade kreditförluster	0	0
varav räntebärande värdepapper – omklassificerat från övrigt totalresultat	0	-1
Verkligt värde via resultaträkningen, verkligt värde optionen	-112	670
varav räntebärande värdepapper	-112	670
Verkligt värde via resultaträkningen, obligatoriskt inriktad valutakursaffekt	3 013	1 065
Bäkningsredovisning	-51	77
varav nettoresultat skänningar av verkligt värde	-56	-7
varav ineffektivitet i kassaförändringar	5	84
Summa	2 880	1 745

M7 Övriga rörelseintäkter

mkr	2024	2023
Hyrerintäkter	8	7
Andra rörelseintäkter ¹⁾	3 945	4 223
Summa	3 953	4 230

1) Under 2024 sålde Svenska Handelsbanken AB verksamheten i Finland som omfattar små och medelstora företag till Oma Sparbank Abp, vilket påverkade andra rörelseintäkter med 90 mkr. Vidare intäktsfördes återbetalning av moms hänförlig till tidigare år under 2024, vilket påverkade andra rörelseintäkter med 52 mkr. Under 2023 överlät Svenska Handelsbanken fondbolagsförvaltning AB, vilket påverkade andra rörelseintäkter med 335 mkr under 2023. Vidare intäktsfördes återbetalning av moms hänförlig till försäljningen av kortförsäkringsverksamheten under 2023, vilket påverkade andra rörelseintäkter med 141 mkr. I posten ingår även ersättning för tjänster som moderbolaget ställt till dotterbolag respektive år.



3.2

Inledning

Förvaltningsberättelse

Finansiella rapporter
Möderbolaget

Hållbarhet

Övrigt

M8 Personalkostnader

mkr	2024	2023
Löner och avvoden	-7 940	-7 115
Socialavgifter	-2 113	-1 914
Pensionskostnader ¹⁾	-2 207	-1 824
Avsättning till resultatandelssystem	-00	-83
Andra personalkostnader	-440	-520
Summa	-12 865	-11 406

1) Uppgift om pensionskostnaderna visas i not M40.

Löner och avvoden

mkr	2024	2023
Ledande befattningshavare ¹⁾ , 19 personer (24)	-85	-109
Övriga	-7 855	-7 006
Summa	-7 940	-7 115

1) Ledande befattningshavare inklusive styrelse.

Könsfördelning

%	2024		2023	
	Män	Kvinnor	Män	Kvinnor
Styrelse	54	40	40	54
Ledande befattningshavare och styrelse	50	44	53	47

Medelantal anställda

	2024			2023		
	Totalt	Män	Kvinnor	Totalt	Män	Kvinnor
Sverige	7 132	3 458	3 674	6 809	3 330	3 509
Norge	1 050	557	490	888	400	428
Finland	472	217	255	525	240	279
Nederländerna	422	202	160	380	237	143
USA	50	29	21	50	29	21
Luxemburg	53	29	24	51	27	24
Polen	14	3	11	10	4	12
Övriga länder	2	0	2	4	1	3
Summa	9 201	4 065	4 636	8 813	4 394	4 470

Information om principer avseende ersättningar till ledande befattningshavare i moderbolaget finns i not K8.

3.2

M9 Övriga administrationskostnader

mkr	2024	2023
Fastigheter och lokaler	-1 359	-1 311
IT-relaterade kostnader	-3 435	-3 383
Kommunikation	-209	-215
Resor och marknadsföring	-222	-209
Köpta tjänster	-1 628	-1 776
Materialanskaffning	-120	-157
Andra kostnader ¹⁾	-706	-402
Summa	-7 748	-7 463
<i>Varav kostnader avseende operationell leasing</i>		
<i>Fastalagsgiftar och lagsgiftar som följer att index</i>	<i>-1 107</i>	<i>-1 048</i>
<i>Variable lagsgiftar</i>	<i>-109</i>	<i>-100</i>
Summa	-1 216	-1 148

1) Under 2024 sålde Svenska Handelsbanken AB verksamheten i Finland som omfattar privatkunder till S-Banken Abp, vilket påverkade andra kostnader med -227 mkr.

Operational leasing är främst hänförlig till verksamhetens normala antal avseende kontorslokaler och kontorsutrustning. Hyreskostnader avseende lokaler har normalt en variabel avgift knuten till inflation och fastskatteskatt.

Avtalade, ej uppsägbars, framtida operationella leasingavgifter fördelade på förfallodpunkter

mkz	2024	2023
Inom 1 år	-871	-901
Mellan 1 och 5 år	-2 050	-2 873
Senare än 5 år	-2 806	-3 188
Summa	-6 306	-7 022

Ersättning till revisorer och revisionsbolag¹⁾

	PricewaterhouseCoopers AB		Deloitte AB	
mkr	2024	2023	2024	2023
Revisionsuppdraget	-10	-11	-7	-7
Revisionsverksamhet utöver revisionsuppdraget	-1	-1	-2	-2
Skatttjänstgivning				
Övriga tjänster	-2	-1		

1) Beløppen i tabellen är eksklusive moms.



3.2

Inledning

Förvaltningsberättelse

Finansiella rapporter
Moderbolaget

Hållbarhet

Övrigt

M10 Kreditförluster

mkr	2024	2023
Förväntade kreditförluster på poster i balansräkningen		
Årets reservering Stag 3	-215	-278
Stag 3 reservering tidigare år som återförts	141	237
Summa förväntade kreditförluster i Stag 3	-74	-41
Årets nettoreservering Stag 2	272	23
Årets nettoreservering Stag 1	82	63
Summa förväntade kreditförluster i Stag 1 och Stag 2	354	86
Summa förväntade kreditförluster på poster i balansräkningen	280	45
Förväntade kreditförluster på poster utanför balansräkningen		
Årets nettoreservering Stag 3	10	39
Årets nettoreservering Stag 2	114	-47
Årets nettoreservering Stag 1	34	-4
Summa förväntade kreditförluster på poster utanför balansräkningen	164	-13
Bortskrivningar		
Årets konstaterade kreditförluster ¹⁾	-173	-184
Utryttad andel av tidigare reserverat i Stag 3	150	155
Summa bortskrivningar	-17	-29
Återvinningar	19	55
Kreditförluster, netto	448	88
varav utlåning till allmänheten	284	71

1) Av årets konstaterade kreditförluster omfattas 33 mkr (44) av efterbavskning.

Poster i och utanför balansräkningen som är föremål för nedskrivningsprövning 2024

mkr	Brutto			Reserver		
	Stag 1	Stag 2	Stag 3 ¹⁾	Stag 1	Stag 2	Stag 3
Poster i balansräkningen						
Kassa och tillgodohavanden hos centralbanker	404 231					
Balansrägsbara statskuldförbindelser m m						
Utlåning till kreditinstitut	995 521	55		-1	-3	
Utlåning till allmänheten	500 413	22 439	2 155	-63	-106	-665
Obligationer och andra rättsförbindande värdepapper	13 259			-2		
Summa	1 914 424	22 494	2 155	-66	-109	-665
Poster utanför balansräkningen						
Eventuallförluster	573 979	5 736	115	-34	-67	-25
varav ansvarsförbindelser	66 701	1 525	65	-6	-9	-25
varav åtaganden	507 278	4 211	49	-28	-58	-1
Summa	673 979	6 736	115	-34	-67	-25

Poster i och utanför balansräkningen som är föremål för nedskrivningsprövning 2023

mkr	Brutto			Reserver		
	Stag 1	Stag 2	Stag 3 ¹⁾	Stag 1	Stag 2	Stag 3
Poster i balansräkningen						
Kassa och tillgodohavanden hos centralbanker	362 516					
Balansrägsbara statskuldförbindelser m m						
Utlåning till kreditinstitut	1 008 104	11		-1	-1	
Utlåning till allmänheten	553 238	46 008	2 476	-143	-302	-785
Obligationer och andra rättsförbindande värdepapper	12 709			-2		
Summa	1 938 662	46 619	2 476	-146	-303	-785
Poster utanför balansräkningen						
Eventuallförluster	547 062	10 415	122	-69	-181	-42
varav ansvarsförbindelser	66 910	1 794	71	-11	-41	-22
varav åtaganden	480 152	8 621	51	-58	-140	-20
Summa	647 062	10 415	122	-69	-181	-42

1) Bruttovoly m i Stag 3 där ingen reservering gjorts på grund av säkerheter uppgår till 1 038 mkr (1 142).



3.2

M10 forts.

Nyckeltal kreditförluster, utlåning till allmänheten

%	2024	2023
Kreditförlustnivå ack	-0,05	-0,01
Total reserveringsgrad	0,16	0,22
Reserveringsgrad Steg 1	0,01	0,03
Reserveringsgrad Steg 2	0,47	0,84
Reserveringsgrad Steg 3	30,90	31,74
Andel utlåning i Steg 3	0,28	0,28

Förändringsanalyser

Förändring av reserv för förväntade kreditförluster, poster i balansräkningen som är föremål för nedskrivningsprövning

mkr	2024				2023			
	Steg 1	Steg 2	Steg 3	Summa	Steg 1	Steg 2	Steg 3	Summa
Reserv vid årets ingång	-146	-368	-786	-1 320	-211	-401	-934	-1 546
Bortbokningar	35	52	97	183	14	60	190	264
Bortskrivningar	0	0	156	156	0	0	155	155
Omvärdering till följd av förändring i kreditrisk	-26	242	-35	181	7	92	-86	13
Förändringar i modell/riskparametrar					11	16		27
Valutaeffekt mm	4	0	-5	-1	5	5	2	12
Nyutgivna eller förvärvade tillgångar	-6	-2	-6	-15	-14	-14	0	-29
Förflyttning till Steg 1	-6	13	0	7	-18	14		-4
Förflyttning till Steg 2	13	-50	3	-34	42	-205	5	-158
Förflyttning till Steg 3	67	29	-90	6	18	40	-117	-59
Reserv vid årets utgång	-68	-100	-888	-941	-148	-303	-788	-1 321

Förändring av reserv för förväntade kreditförluster, utlåning till allmänheten som är föremål för nedskrivningsprövning

mkr	2024				2023			
	Steg 1	Steg 2	Steg 3	Summa	Steg 1	Steg 2	Steg 3	Summa
Reserv vid årets ingång	-143	-392	-786	-1 321	-207	-400	-934	-1 542
Bortbokningar	35	52	97	183	14	60	190	264
Bortskrivningar	0	0	156	156	0	0	155	155
Omvärdering till följd av förändring i kreditrisk	-26	239	-35	178	6	91	-86	12
Förändringar i modell/riskparametrar					11	16		27
Valutaeffekt mm	4	0	-5	-1	5	5	2	12
Nyutgivna eller förvärvade tillgångar	-6	-2	-6	-15	-14	-14	0	-29
Förflyttning till Steg 1	-6	13	0	7	-18	14		-4
Förflyttning till Steg 2	13	-46	3	-30	42	-204	5	-157
Förflyttning till Steg 3	67	29	-90	6	18	40	-117	-59
Reserv vid årets utgång	-63	-106	-888	-936	-143	-302	-788	-1 321

Förändring av reserv för förväntade kreditförluster, poster utanför balansräkningen som är föremål för nedskrivningsprövning

mkr	2024				2023			
	Steg 1	Steg 2	Steg 3	Summa	Steg 1	Steg 2	Steg 3	Summa
Reserv vid årets ingång	-69	-181	-42	-292	-66	-136	-82	-283
Bortbokningar	11	16		27	9	23		32
Bortskrivningar	0	0	0	0				
Omvärdering till följd av förändring i kreditrisk	28	100	16	151	1	8	39	48
Förändringar i modell/riskparametrar					-5	-7		-12
Valutaeffekt mm	2	0		2	1	1		3
Nyutgivna eller förvärvade tillgångar	-9	-1		-10	-10	-5		-16
Förflyttning till Steg 1	-2	6		4	-6	6		0
Förflyttning till Steg 2	4	-18		-14	6	-73		-67
Förflyttning till Steg 3	1	4		5	1	2		3
Reserv vid årets utgång	-34	-67	-26	-127	-69	-181	-42	-292

Förändringsanalysen visar nettoeffekten på reserven i angivet steg per förklaringspost under perioden. Effekten av bortbokningar och bortskrivningar beräknas på ingående balans. Effekten av omvärdering till följd av förändringar i modell/riskparametrar samt valutaeffekt med mera beräknas innan eventuell förflyttning av nettobeloppet mellan steg. Nyutgivna eller förvärvade tillgångar och förflyttade belopp mellan stegen redovisas efter att effekten av övriga förklaringsposter beaktats. Förflyttningarna anger effekten på reserven i angivet steg.



3.2

Inledning

Förvaltningsberättelse

Finansiella rapporter
Moderbolaget

Hållbarhet

Övrigt

M10 forts.

Förändring av bruttovolymer, poster i balansräkningen som är föremål för nedskrivningsprövning

mkr	2024				2023			
	Steg 1	Steg 2	Steg 3	Summa	Steg 1	Steg 2	Steg 3	Summa
Volym vid årets ingång	1 030 502	40 010	2 470	1 085 058	2 017 811	30 717	2 013	2 051 142
Bortbokningar	-63 903	-9 034	-487	-72 425	-408 159	-4 927	-352	-413 437
Bortskrivningar	-3	-3	-105	-172	-2	-1	-180	-183
Omvärdering till följd av förändring i kreditrisk	-20 440	-8 228	-170	-34 840	-25 048	-6 070	-263	-31 900
Valutasäkring m m	18 622	164	19	18 805	-11 605	-670	-6	-12 290
Nyutgivna eller förvärvade tillgångar	41 008	924	31	42 053	380 303	3 027	27	392 416
Förflyttning till Steg 1	20 940	-29 930	-9		18 044	-18 636	-8	
Förflyttning till Steg 2	-20 888	21 331	-444		-43 588	43 693	-105	
Förflyttning till Steg 3	-550	-340	905		-254	-407	751	
Volym vid årets utgång	1 014 424	22 404	2 105	1 039 073	1 936 562	46 619	2 476	1 985 668

Förändring av bruttovolymer, utlåning till allmänheten som är föremål för nedskrivningsprövning

mkr	2024				2023			
	Steg 1	Steg 2	Steg 3	Summa	Steg 1	Steg 2	Steg 3	Summa
Volym vid årets ingång	553 233	40 008	2 470	602 318	605 933	30 710	2 013	639 203
Bortbokningar	-58 850	-9 034	-487	-67 378	-55 518	-4 667	-352	-60 536
Bortskrivningar	-3	-3	-105	-172	-2	-1	-180	-183
Omvärdering till följd av förändring i kreditrisk	-22 121	-5 025	-170	-28 216	6 037	-7 112	-263	-438
Valutasäkring m m	-20 713	164	19	-20 530	-11 350	-620	-6	-11 977
Nyutgivna eller förvärvade tillgångar	38 031	924	31	38 986	33 136	3 027	27	36 190
Förflyttning till Steg 1	20 935	-29 925	-9		17 780	-17 773	-8	
Förflyttning till Steg 2	-18 536	18 980	-444		-43 429	43 534	-105	
Förflyttning till Steg 3	-550	-340	905		-254	-407	751	
Volym vid årets utgång	600 413	22 430	2 105	625 007	563 233	46 608	2 476	602 318

Förändring av bruttovolymer, poster utanför balansräkningen som är föremål för nedskrivningsprövning

mkr	2024				2023			
	Steg 1	Steg 2	Steg 3	Summa	Steg 1	Steg 2	Steg 3	Summa
Volym vid årets ingång	547 062	10 415	122	557 599	561 040	10 002	245	572 187
Bortbokningar	-30 772	-1 467	-16	-41 255	-37 475	-2 684	-129	-40 289
Bortskrivningar	0	0	-1	-2	0	0	-1	-1
Omvärdering till följd av förändring i kreditrisk	57 580	-1 810	-49	55 721	-17 252	3 524	-31	-13 759
Valutasäkring m m	-46 434	-33	1	-46 466	-3 253	-88	-1	-3 342
Nyutgivna eller förvärvade tillgångar	53 930	308	0	54 233	40 638	2 163	1	42 802
Förflyttning till Steg 1	5 373	-5 372	-1		9 802	-9 801	0	
Förflyttning till Steg 2	-3 743	3 747	-4		-7 397	7 404	-7	
Förflyttning till Steg 3	-22	-41	63		-30	-10	46	
Volym vid årets utgång	673 970	5 736	115	679 830	547 062	10 415	122	557 599

Förändringsanalysen avseende bruttovolymer visar, i likhet med analysen av reserv, effekten av valda förklaringsposter på volymerna i angivet steg. Posterna för förflyttning mellan stegen och "Nyutgivna eller förvärvade tillgångar" anger beloppen i angivet steg vid periodens utgång. Övriga poster anger effekten i det steg som var gällande vid periodens ingång.

3.2

M10 forts.

Känslighetssanalys

Makroekonomisk prognos i ECL-beräkningarna och känslighetsanalys

Beräkningen av förväntade kreditförluster tillämpar statistisk skadeförväntade information i form av makrosceenarier. Den förväntade kreditförlusten är ett sannolikhetsvägt genomsnitt av de beräknade prognoserna över tre scenarier. Prognosen i det neutrala scenariet vägs med 70% (70), medan en uppgång i ekonomin vägs med 15% (15) och en nedgång i ekonomin med 15% (15). Dessa har lagts till grund för beräkningen av förväntade kreditförluster i Stag 1 och Stag 2 per den 31 december 2024.

Makroekonomiska riskfaktorer

	Negativt scenario			Neutralt scenario			Positivt scenario		
	2025	2026	2027	2025	2026	2027	2025	2026	2027
BNP-tillväxt									
Sverige	-2,75	0,80	2,81	2,11	2,71	2,16	3,85	3,00	1,98
Norge	-3,45	-0,24	2,25	1,55	1,06	1,60	3,15	2,46	1,40
Finland	-3,50	-0,40	2,05	1,50	1,60	1,40	3,10	2,40	1,20
Euro-området	-3,89	-0,58	2,15	1,11	1,42	1,50	2,71	2,22	1,30
USA	-2,83	0,01	2,45	2,17	2,01	1,80	3,77	2,81	1,00
Arbetslöshet									
Sverige	10,02	10,32	10,54	8,32	7,82	7,54	7,62	6,92	6,84
Norge	8,00	4,80	5,30	2,20	2,20	2,30	1,50	1,20	1,00
Finland	9,70	9,90	10,00	8,00	7,50	7,00	7,30	6,50	6,30
Euro-området	8,38	8,93	9,50	6,08	6,53	6,50	5,98	5,53	5,80
USA	6,08	6,90	7,30	4,38	4,50	4,30	3,08	3,50	3,00
Styrmåta									
Sverige	4,50	4,50	3,75	2,25	2,25	2,25	1,50	1,25	1,25
Norge	5,75	5,25	4,00	3,50	3,00	2,50	2,75	2,00	1,50
Finland	4,25	4,25	3,50	2,00	2,00	2,00	1,25	1,00	1,00
Euro-området	4,25	4,25	3,50	2,00	2,00	2,00	1,25	1,00	1,00
USA	5,88	5,28	4,25	3,63	3,13	2,75	2,88	2,13	1,75
Fästighetsprisutveckling, bostadsfastigheter									
Sverige	-4,51	-4,44	4,14	3,24	3,25	3,53	7,06	7,40	4,99
Norge	-0,59	0,55	5,58	9,59	8,14	4,90	11,57	9,50	3,93
Finland	-4,08	-1,48	1,99	1,47	2,07	2,77	5,18	3,54	3,20
Euro-området	0,70	3,92	5,05	3,20	3,42	3,40	3,91	3,52	2,90
Fästighetsprisutveckling, kommersiella fastigheter									
Sverige	-10,15	-3,37	4,19	1,45	3,88	4,51	8,42	10,22	6,28
Norge	-15,53	-8,28	1,08	-1,93	-1,03	0,65	3,73	4,09	2,00
Finland	-10,50	-5,14	2,13	-1,24	0,02	2,29	3,96	5,00	3,08
Euro-området	-13,40	-6,38	2,60	-0,08	0,07	2,54	4,62	5,85	4,10

Klinikkategorierna makroskopiskt

Tabellen nedan visar procentuall ökning/minskning av reserven för förväntade kreditförluster i Steg 1 och Steg 2 per den 31 december om det negativa respektive positiva scenariot tilldelats sannolikheter om 100%.

	2024		2023	
	Procentuell ökning av reserv vid negativt scenario	Procentuell minskning av reserv vid positivt scenario	Procentuell ökning av reserv vid negativt scenario	Procentuell minskning av reserv vid positivt scenario
%				
Sverige	34,95	-13,92	32,00	-18,85
Norge	38,09	-15,32	34,77	-18,92
Finnland	23,84	-9,85	17,11	-9,88
Nederländerna	47,07	-18,81	30,85	-22,53
USA	77,81	-28,43	57,50	-30,96
Övriga länder	25,02	-10,66	23,51	-12,04
Totalt	35,11	-13,91	30,81	-17,78



3.2

Inledning

Förvaltningsberättelse

Finansiella rapporter
Moderbolaget

Hållbarhet

Övrigt

M10 forts.

Känslighetsanalys betydande ökning av kreditrisk
Tabellen nedan visar hur reserven för förväntade kreditförluster i Steg 1 och Steg 2 per den 31 december påverkas om det gränsvärde som tillämpas för kvoten mellan återstående kreditrisk beräknat vid rapportering och första redovisningsstillfället var satt till 0,5 enheter (lägre respektive högre än det tillämpade gränsvärdet 2,5. En minskning av gränsvärdet med 0,5 enheter skulle öka antalet lån som överförs från Steg 1 till Steg 2 och också öka reserven för förväntade kreditförluster. En ökning av gränsvärdet med 0,5 enheter skulle ha motsatt effekt. Banken använder både kvantitativa och kvalitativa indikatorer för att bedöma betydande ökning av kreditrisk.

Förändring av den totala reserven för Steg 1 och Steg 2, %

Gränsvärde	2024	2023
2	3,70	1,85
2,5	0,00	0,00
3	-1,23	-1,06

Kreditexponeringar som är föremål för nedskrivningsprövning per pd-intervall
Poster i balansräkningen fördelat på pd-intervaller

pd-värde ¹⁾	2024			2023		
	Bruttovolymer, mkr			Bruttovolymer, mkr		
	Steg 1	Steg 2	Steg 3	Steg 1	Steg 2	Steg 3
0,00 till <0,15	1 736 862	4 800		1 744 372	11 553	
0,15 till <0,25	63 081	827		43 221	3 315	
0,25 till <0,50	65 393	5 591		74 720	7 486	
0,50 till <0,75	12 519	515		25 901	6 757	
0,75 till <2,50	34 226	3 043		39 106	4 142	
2,50 till <10,00	2 205	5 490		3 628	10 047	
10,00 till <100	79	1 328		314	3 316	
100 (tallssamman)			2 155			2 476
Summa	1 914 424	22 494	2 155	1 936 062	46 619	2 476

Utlåning till allmänheten fördelat på pd-intervaller

pd-värde ¹⁾	2024			2023		
	Bruttovolymer, mkr			Bruttovolymer, mkr		
	Steg 1	Steg 2	Steg 3	Steg 1	Steg 2	Steg 3
0,00 till <0,15	454 000	4 788		493 320	11 550	
0,15 till <0,25	16 489	825		13 776	3 315	
0,25 till <0,50	17 093	5 578		21 346	7 486	
0,50 till <0,75	3 272	513		7 399	6 756	
0,75 till <2,50	8 940	3 033		11 172	4 141	
2,50 till <10,00	592	5 477		1 122	10 045	
10,00 till <100	21	1 325		90	3 316	
100 (tallssamman)			2 155			2 476
Summa	500 413	22 439	2 155	553 233	46 608	2 476

Poster utanför balansräkningen fördelat på pd-intervaller

pd-värde ¹⁾	2024			2023		
	Bruttovolymer, mkr			Bruttovolymer, mkr		
	Steg 1	Steg 2	Steg 3	Steg 1	Steg 2	Steg 3
0,00 till <0,15	390 514	511		411 184	1 666	
0,15 till <0,25	47 418	173		29 089	152	
0,25 till <0,50	76 409	645		77 603	1 005	
0,50 till <0,75	41 147	309		10 839	3 526	
0,75 till <2,50	16 918	1 041		15 960	1 625	
2,50 till <10,00	1 129	2 785		1 726	1 852	
10,00 till <100	385	272		60	500	
100 (tallssamman)			115			122
Summa	573 979	5 736	115	547 062	10 415	122

1) Avser tolv månaders pd-värde vid rapporteringstillfället.

Tillgångar överlagna förskyddande av fordran

mkr	2024	2023
Lös egendom	2	2
Redovisat värde	2	2



3.2

M11 Statliga avgifter

mkr	2024	2023
Rätskatt	-1 240	-1 257
Resolutionsavgift	-415	-375
Summa	-1 655	-1 632

Rätskatten uppgår till 0,05% (0,05) av beskattningsunderlaget som baseras på summan av kreditinstituten skulder vid ingången av beskattningsåret.

Resolutionsavgiften uppgår till 0,05% (0,05) av avgiftsunderlaget med tillägg för en riskjusteringsfaktor. Avgiftsunderlaget baseras på institutets skulder två år före avgiftsåret.

M12 Bokslutsdispositioner

mkr	2024	2023
Förändring av överavskrivning inventarier och leasingobjekt	336	
Summa	336	

Ingen förändring avseende bokslutsdispositioner gjordes under 2023.

M13 Utlåning till kreditinstitut

mkr	2024	2023
Utlåning i svenska kronor		
Banker	1 120	238
Övriga kreditinstitut ¹⁾	766 772	740 626
Summa	767 892	740 864
Utlåning i utländsk valuta		
Banker	20 650	40 719
Övriga kreditinstitut	202 367	220 409
Summa	223 017	261 128
Reservering för förväntade kreditförluster	-4	-2
Summa utlåning till kreditinstitut	990 917	1 001 992
varav omvända repor	12 005	12 815
varav ställde kontantinsatser	3 377	5 430
varav offretställe	73 749	77 145

Medelvolymer

mkr	2024	2023
Utlåning till kreditinstitut i svenska kronor	454 900	437 218
Utlåning till kreditinstitut i utländsk valuta	546 171	549 519
Summa	1 001 071	986 737
varav omvända repor	18 767	18 717

1) Varav 18 045 mkr (22 079) avser källprimärkapitalin som Stadshypotek har klassificerat som eget kapitalinstrument.



3.2

Inledning
 Förvaltningsberättelse
 Finansiella rapporter
 Modersbolaget
 Hållbarhet
 Övrigt

M14 Utlåning till allmänheten

mkr	2024	2023
Utlåning i svenska kronor		
Hushåll	18 721	19 870
Företag	127 700	143 285
Riksgälden	1 547	0 748
Summa	148 067	164 003
Utlåning i utländsk valuta		
Hushåll	98 400	110 270
Företag	283 480	322 144
Summa	376 040	432 414
Reservering för förväntade kreditförluster	-898	-1 321
Summa utlåning till allmänheten	824 171	800 007
varav omväxlingsrapor	17 977	17 404
varav ställde kontantinskränningar	1 751	13 395
varav offentliggjorda	0	1 142
Medelvolymer, exkl Riksgälden		
mkr	2024	2023
Utlåning till allmänheten i svenska kronor	167 905	198 609
Utlåning till allmänheten i utländsk valuta	420 454	453 155
Summa	888 360	846 764
varav omväxlingsrapor	25 480	23 110

M15 Räntebärande värdepapper

mkr	2024			2023		
	Redovisat värde	Verkligt värde	Nominellt värde	Redovisat värde	Verkligt värde	Nominellt värde
Bolningsbara statskultförbindelser m m	172 605	172 606	168 407	199 128	199 128	197 474
Obligationer och andra räntebärande värdepapper ¹⁾	53 509	53 509	37 550	50 791	50 791	37 151
Summa	226 175	226 175	205 957	249 919	249 919	234 625
¹⁾ Obligationer och andra räntebärande värdepapper som är föremål för nedskrivningsprövning uppgår till 13 250 mkr (12 700). Dessa är värderade till verkligt värde via övrigt totalresultat. Reservering för förväntade kreditförluster redovisad i reserv verkligt värde i eget kapital uppgår till -2 mkr (-2).						
Räntebärande värdepapper fördelade på emittent						
mkr	2024			2023		
	Redovisat värde	Verkligt värde	Nominellt värde	Redovisat värde	Verkligt värde	Nominellt värde
Stat	172 605	172 606	168 407	199 128	199 128	197 474
Kreditinstitut	10 428	10 428	0 002	9 733	9 733	7 856
Bostadsinstitut	37 713	37 713	26 754	35 083	35 083	25 155
Övrigt	5 427	5 427	4 134	5 075	5 075	4 141
Summa	226 175	226 175	205 957	249 919	249 919	234 625
Medelvolymer						
mkr	2024		2023			
Bolningsbara statskultförbindelser m m	257 085		258 785			
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	50 973		55 713			
Summa	317 658		314 498			

3.2

M16 Aktier och andelar

mlr	2024	2023
Verkligt värde via resultaträkningen, obligatoriskt	8 258	5 602
Verkligt värde via övrigt totalresultat	604	501
Summa aktier och andelar	8 862	6 103

Innehov klassificerade till verkligt värde via övrigt totalresultat

mkz	2024	2023
Visa Inc	517	390
WPPG A/S	58	00
Övriga innehav	110	111
Summa	684	501

Handelsbanken klassificerar ovanstående aktieinnehav till verkligt värde. Va övrigt totalresultat då dessa inte innehåller i handelsaffärer. Utdelningarna på dessa aktier uppgår till 16 mkr (3) och redovisas i resultaträkningen som Övriga utdelningsinkäster. Under året har banken avträtt 41 st andelar i BWFT till ett värde av 3 mkr (0) mkr.

För information om ordalagert och realiserat resultat för eget kapitalinstrument värderade tillverklingsvärde via brytt totalresultat se Förändring av eget kapital Moderbolag

M17 Aktier och andelar i koncern- och intresseföretag samt joint ventures

Aktier och andelar i koncern- och intresseföretag samt joint ventures

mlr	2024	2023
Koncernförslag, icke-noterade	67 101	68 674
Intressaförslag, icke-noterade	369	215
Joint ventures, icke-noterade	120	97
Summa	67 590	68 986



3.2

Inledning

Förvaltningsberättelse

Finansiella rapporter
Moderbolaget

Hållbarhet

Övrigt

M17 forts.

Koncernföretag

	Organisations-nummer	Säte	Antal aktier	Ägarandel, %	Redovisat värde, mkr	
					2024	2023
Handelsbanken Finans AB ¹⁾	550053-0841	Stockholm	1 550 000	100	0 300	0 942
Stadshypotek AB ¹⁾	550450-0715	Stockholm	102 000	100	20 870	20 870
Handelsbanken Fonder AB	550418-8851	Stockholm	15 000	100	2	2
Handelsbanken Liv Försäkrings AB	510401-8284	Stockholm	100 000	100	0 180	0 180
SHB Liv Försäkringsaktiebolag	2476140-7	Helsingfors		100		
Handelsbanken Fastigheter AB	550679-0021	Stockholm		100		
Eceter AB	550993-2311	Stockholm	50 000	100	1 750	1 750
Handelsbanken plc ¹⁾	11305395	London	5 050 401	100	25 020	24 520
Handelsbanken Wealth & Asset Management Limited	04132340	London	1 319 200	100		
Optimix Vermogensbeheer N.V.	33104350	Amsterdam	10 200	100	734	712
Add Value Fund Management BV	10105708	Amsterdam		80		
Övriga dotterbolag						
ERN Ekonomikanalen AB	550930-1008	Stockholm	100	100	0	0
AB Handel och Industri	550013-5330	Stockholm	100 000	100	12	12
Handelsbanken Markets Securities, Inc.	11-3257438	New York	1 000	100	43	39
Handelsbanken Rahotus Oy	0112308-8	Helsingfors	37 020 871	100		1 501
Handelsbanken Skadeförsäkrings AB	510401-0707	Stockholm	1 500	100	31	31
Rådskapsklass 4 AB	010508433	Bergen	40 000	100	0	0
Svenska Re S.A.	RCS Lux B-32053	Luxemburg	20 000	100	35	35
Handelsbanken Ventures AB	550993-0957	Stockholm	50	100	10	11
Summa					67 101	68 674

1) Kreditinstitut.

Förteckningen över koncernföretag omfattar direktägda dotterbolag samt stötte dotterbolag till dessa.

Intressatföretag

	Organisations-nummer	Säte	Antal aktier	Ägarandel, %	Redovisat värde, mkr	
					2024	2023
Bankomat AB	550617-0710	Stockholm	150	20,00	07	07
BGC Holding AB	550007-0933	Stockholm	25 542	25,54	81	81
Dyson Group plc	00103096	Shaftesbury	74 733 672	27,00	24	22
Finansiell ID-teknik BID AB	550030-4028	Stockholm	12 735	28,30	80	24
Gatawishi AB	550013-7382	Stockholm	10 000	20,00	111	21
USE Intressenter AB	550101-0454	Stockholm	2 448	24,48	0	0
Summa					360	215

Joint ventures

	Organisations-nummer	Säte	Antal aktier	Röstandel, %	Redovisat värde, mkr	
					2024	2023
P27 Nordic Payment Platform AB	550106-0010	Stockholm	12 500	20,84	115	92
Tibem AB	550384-3542	Stockholm	4 000	14,29	5	5
Summa					120	97



3.2

M18 Derivatinstrument

mkr	Nominellt belopp/löptid			Nominellt belopp		Positiva marknadsvärden		Negativa marknadsvärden	
	upp till 1 år	mer än 1 år upp till 5 år	mer än 5 år	2024	2023	2024	2023	2024	2023
Derivat för handel									
Ränterelaterade kontrakt									
Optioner	6 844	18 608	9 544	35 056	35 267	106	263	238	304
FXA/terminer	752 147	10 300		771 447	397 991	347	255	310	237
Swappar	461 098	1 752 432	429 678	2 643 208	2 421 983	40 477	49 415	41 208	48 983
Valutarelaterade kontrakt									
Optioner	19 498	233	10	19 747	25 693	58	158	89	237
Terminar	64 075	5 523	55	69 653	62 370	1 058	1 106	619	1 146
Swappar	683 933	177 741	26 308	887 982	716 068	24 930	14 827	13 424	23 907
Aktierelaterade kontrakt									
Optioner	4 789	606	32	5 427	4 882	229	104	113	114
Terminar	281			281	215	2	5	2	2
Swappar	7 359	1 391		8 700	5 962	299	101	232	305
Rävarurelaterade kontrakt									
Optioner			19	19	17		5	19	22
Terminar	134	1		135	180	1	6	4	18
Kreditrelaterade kontrakt									
Swappar	275	3 836	60	4 171	3 059	104	193	147	82
Summa	2 000 443	1 979 731	465 712	4 446 886	3 673 076	67 732	66 618	66 404	76 538
Derivat för marknadsvärdesräkningar									
Ränterelaterade kontrakt									
Swappar	63 665	220 507	69 854	360 026	414 502	9 434	11 911	6 970	9 393
Valutarelaterade kontrakt									
Swappar		1 046		1 046	983	83	25		
Summa	63 665	221 553	69 854	361 072	415 485	9 507	11 937	6 970	9 393
Derivat för kassaflödesräkningar									
Ränterelaterade kontrakt									
Swappar	20 908	13 727	6 078	40 713	79 813	2 072	2 961	46	78
Valutarelaterade kontrakt									
Swappar	18 530	120 692	24 524	163 746	228 210	17 519	9 724	1 222	6 486
Summa	39 438	134 419	30 602	204 459	308 023	19 591	12 685	1 268	6 563
Summa derivatinstrument	2 103 546	2 341 703	566 168	5 011 417	4 396 584	96 830	91 240	64 643	91 494
varav börshandlade derivat				133 128	70 400	155	148	274	419
varav OTC-derivat clearade via CCP				3 013 450	2 172 236	44 503	52 627	34 664	45 645
varav OTC-derivat ej clearade via CCP				1 864 839	2 153 948	52 172	38 465	29 705	45 230
Kvittade belopp				-2 366 886	-2 310 691	-44 144	-52 221	-34 331	-45 225
Nettobelopp				2 644 531	2 085 893	52 686	39 019	30 312	46 269
Valutfördelning av marknadsvärden									
SEK						-295 713	54 628	-40 467	333 073
USD						437 043	-25 673	104 150	-350 125
EUR						178 621	157 382	93 770	73 140
Övriga						-223 121	-95 045	-92 810	35 406
Summa						96 830	91 240	64 643	91 494

I noten presenteras derivatkontrakt brutto. Kvittade belopp består av det kvittade marknadsvärdet och tillhörande nominella belopp på kontrakt för vilka det finns en legal rätt och avsikt att reglera avtalade kassaflöden netto (jämförand clearade kontrakt). Dessa kontrakt nettonedvisas i balansräkningen per motpart och valuta.

Positiva skillnader mellan det värde som räknats fram med en värderingsmodell vid det första redovisningsstillfället och transaktionspriset (dag 1-resultat) periodiseras över derivatets löptid. Vid årsavslutet uppgick sådana ännu ej resultatförda dag 1-resultat till 500 mkr (472).

M19 Säkringsredovisning

Säkringsinstrument i säkring av verkligt värde						
mkr	2024			2023		
	Upp till 1 år	1–5 år	Över 5 år	Upp till 1 år	1–5 år	Över 5 år
Ränterisk						
Ränteswappar betalar rörlig ränta och erhåller fast ränta						
Nominellt belopp	20 094	176 443	40 045	44 464	156 862	42 357
Genomsnittlig fast ränta %	2,45	3,01	2,89	2,21	2,84	2,61
Valutaränteswappar betalar rörlig ränta och erhåller fast ränta						
Nominellt belopp		1 040			963	
Genomsnittlig fast ränta %		3,09			3,09	
Summa	20 094	177 483	40 045	44 464	157 845	42 357

Säkringsinstrument samt ineffektivitet i säkring av verkligt värde 2024					
mkr	Nominellt belopp säkringsinstrument	Redovisat värde säkringsinstrument		Förändring i verkligt värde som används för att beräkna ineffektivitet	Ineffektivitet som redovisas i resultaträkningen
		Tillgångar	Skulder		
Ränterisk					
Ränteswappar betalar rörlig ränta och erhåller fast ränta	237 182	2 621	6 712	2 093	-71
Valutaränteswappar betalar rörlig ränta och erhåller fast ränta	1 040	83		0	6
Summa	238 228	2 704	6 712	2 093	-65
Portföljsäkring av verkligt värde					
Ränterisk					
Ränteswappar betalar fast ränta och erhåller rörlig ränta	122 844	6 803	258	-3 348	9
Summa	122 844	6 803	258	-3 348	9

Säkringsinstrument samt ineffektivitet i säkring av verkligt värde 2023					
mkr	Nominellt belopp säkringsinstrument	Redovisat värde säkringsinstrument		Förändring i verkligt värde som används för att beräkna ineffektivitet	Ineffektivitet som redovisas i resultaträkningen
		Tillgångar	Skulder		
Ränterisk					
Ränteswappar betalar rörlig ränta och erhåller fast ränta	243 683	1 811	9 357	7 932	66
Valutaränteswappar betalar rörlig ränta och erhåller fast ränta	963	25		54	7
Summa	244 646	1 836	9 357	7 986	73
Portföljsäkring av verkligt värde					
Ränterisk					
Ränteswappar betalar fast ränta och erhåller rörlig ränta	170 819	10 100	36	-7 034	-80
Summa	170 819	10 100	36	-7 034	-80

Redovisat värde avseende säkringsinstrument ingår i posten Derivatinstrument i balansräkningen. Ineffektivitet som redovisas i resultaträkningen ingår i posten Nettoresultat av finansiella transaktioner.



3.2

M19 forts.

Säkrade poster i säkring av verkligt värde 2024

mkr	Redovisat värde säkrad post		Ackumulerad justering till verkligt värde som ingår i det redovisade värdet för den säkrade posten		Förändring i värde som använts för att beräkna ineffektivitet
	Tillgångar	Skulder	Tillgångar	Skulder	
Ränterisk ¹⁾					
Emitterade värdepapper och efterställda skulder till fast ränta		231 475		- 5 727	-3 059
Summa		231 475		- 5 727	-3 059
Portföljsäkring av verkligt värde ¹⁾					
Ränterisk					
Utlåning till allmänheten till fast ränta	-6 300		-6 300		3 257
Summa	-6 300		-6 300		3 257

Säkrade poster i säkring av verkligt värde 2023

mkr	Redovisat värde säkrad post		Ackumulerad justering till verkligt värde som ingår i det redovisade värdet för den säkrade posten		Förändring i värde som använts för att beräkna ineffektivitet
	Tillgångar	Skulder	Tillgångar	Skulder	
Ränterisk ¹⁾					
Emitterade värdepapper och efterställda skulder till fast ränta		233 072		- 8 786	-7 913
Summa		233 072		- 8 786	-7 913
Portföljsäkring av verkligt värde ¹⁾					
Ränterisk					
Utlåning till allmänheten till fast ränta	-9 657		-9 657		6 954
Summa	-9 657		-9 657		6 954

1) Den underliggande utlåningsportföljens nominella volym uppgick per 2024-12-31 till 122 844 mkr (170 619 mkr).
Det finns inget upplupet belopp för justeringar av säkring av verkligt värde som kvarstår i balansräkningen för säkrade poster som inte längre justeras för förändringar i verkligt värde varken i år eller föregående år.

Säkringinstrument i kassaflödessäkring

mkr	2024			2023		
	Upp till 1 år	1–5 år	Över 5 år	Upp till 1 år	1–5 år	Över 5 år
Ränterisk						
Ränteswappar betalar fast ränta och erhåller rörlig ränta						
Nominellt belopp	7 588	12 627	6 078	13 508	16 503	8 645
Genomsnittlig fast ränta %	0,35	0,72	0,77	0,38	0,60	0,67
Ränteswappar betalar rörlig ränta och erhåller fast ränta						
Nominellt belopp	13 321	1 090		20 765	14 332	
Genomsnittlig fast ränta %	3,58	3,98		2,61	3,61	
Valutakursrisk						
Valutarelaterade derivat EUR/NOK						
Nominellt belopp	2 758	45 538	19 512		35 857	17 514
Genomsnittlig valutakurs EUR/NOK	0,1008	0,0958	0,0895		0,0954	0,0728
Valutarelaterade derivat USD/GBP						
Nominellt belopp		1 076			989	
Genomsnittlig valutakurs USD/GBP		1,3157			1,3157	
Valutarelaterade derivat USD/NOK						
Nominellt belopp	8 923	39 884		2 060	40 077	
Genomsnittlig valutakurs USD/NOK	0,1005	0,1027		0,0509	0,0958	
Valutarelaterade derivat USD/SEK						
Nominellt belopp	3 646	11 551	5 011	75 356	14 513	4 776
Genomsnittlig valutakurs USD/SEK	0,1017	0,1003	0,1105	0,0880	0,0782	0,1105
Valutarelaterade derivat AUD/EUR						
Nominellt belopp	2 872	10 353			13 016	
Genomsnittlig valutakurs AUD/EUR	1,5287	1,5451			1,5415	
Valutarelaterade derivat övriga valutor						
Nominellt belopp	331	15 310		8 574	15 473	
Summa	30 430	134 418	30 601	126 320	160 780	30 694



3.2

Inledning

Förvaltningsberättelse

Finansiella rapporter
Moderbolaget

Hållbarhet

Övrigt

M19 forts.

Säkringelinstrument samt ineffektivitet i kassafödersäkring 2024

mkr	Nominellt belopp säkrings- instrument	Redovisat värde säkringelinstrument		Förändring i verkligt värde som avränta för rätt beräkna ineffektivitet	Värdeförändring avseende säkrings- instrumenten som redovisas i övrigt totalresultat	Ineffektivitet som redovisas i resultaträkningen	Omklassificerat från säkrings- reserven till resultaträkningen
		Tillgångar	Skulder				
Ränterisk:							
Ränteswapper betalar fast ränta och erhåller rörlig ränta	20 293	1 779		- 695	- 689	- 0	
Ränteswapper betalar rörlig ränta och erhåller fast ränta	14 420	298	46	97	97		70
Valutakursrisk ¹⁾							
Valutansatserade derivat EUR/NOK	67 808	6 688	39	- 280	- 293	13	
Valutansatserade derivat EUR/SEK	7 490	27	114	- 8	- 8	0	
Valutansatserade derivat USD/GBP	1 076	50		0	0		
Valutansatserade derivat USD/NOK	45 787	7 249		81	79	2	
Valutansatserade derivat USD/SEK	20 208	2 829		95	97	- 2	
Valutansatserade derivat övriga valutor	21 376	476	1 009	22	24	- 2	9
Summa	204 488	19 691	1 268	- 682	- 687	6	79

Säkringelinstrument samt ineffektivitet i kassafödersäkring 2023

mkr	Nominellt belopp säkrings- instrument	Redovisat värde säkringelinstrument		Förändring i verkligt värde som avränta för rätt beräkna ineffektivitet	Värdeförändring avseende säkrings- instrumenten som redovisas i övrigt totalresultat	Ineffektivitet som redovisas i resultaträkningen	Omklassificerat från säkrings- reserven till resultaträkningen
		Tillgångar	Skulder				
Ränterisk:							
Ränteswapper betalar fast ränta och erhåller rörlig ränta	38 716	2 580	1	- 1 831	- 1 917	86	
Ränteswapper betalar rörlig ränta och erhåller fast ränta	41 097	381	77	751	751		80
Valutakursrisk ¹⁾							
Valutansatserade derivat EUR/NOK	59 371	4 335	445	- 194	- 196	2	
Valutansatserade derivat EUR/SEK	15 506	305	310	- 12	- 12	0	
Valutansatserade derivat USD/GBP	969	30		8	8		
Valutansatserade derivat USD/NOK	42 143	3 133	1 048	- 22	- 20	- 2	
Valutansatserade derivat USD/SEK	94 645	1 322	3 951	- 103	- 103	0	
Valutansatserade derivat AUD/USD				7	7		- 1
Valutansatserade derivat övriga valutor	21 496	599	732	15	17	- 2	27
Summa	308 023	12 685	6 683	- 1 381	- 1 466	84	106

1) Vid analys utifrån ett säkringsredovisningssyfte beaktas omvandlingen till moderbolagets funktionella valuta, svenska kronor, genom att nominella derivatbelopp imputeras i säkringsrelationerna. De imputerade derivatbeloppen är inte inkluderade i de nominella volymerna i tabellerna ovan.

Redovisat värde avseende säkringelinstrument ingår i posten Derivatinstrument i balansräkningen.

Ineffektivitet som redovisas i resultaträkningen ingår i posten Nettoresultat av finansiella transaktioner.

Omklassificering till resultaträkningen ingår i posten Nettoresultat av finansiella transaktioner och avser kassafödersäkring som avslutats i förtid.

Säkrade poster i kassafödersäkring

mkr	2024			2023		
	Förändring i värde som avränta för att beräkna ineffektivitet	Säkrings- reserv	Belopp som kvarstår i säkringsreserven från säkringsförhållanden där säkrings- redovisning inte långre tillämpas	Förändring i värde som avränta för att beräkna ineffektivitet	Säkrings- reserv	Belopp som kvarstår i säkringsreserven från säkringsförhållanden där säkrings- redovisning inte långre tillämpas
Ränterisk:						
Emitterade värdepapper till rörlig ränta	689	1 041		1 917	2 333	
Utlåning till allmänheten till rörlig ränta	- 97	329	297	- 751	298	305
Valutakursrisk:						
Emitterade värdepapper och efterstälda skulder EUR samt interimär GBP och NOK	301	- 395		208	- 107	
Emitterade värdepapper och efterstälda skulder USD samt interimär EUR, GBP och NOK	- 182	488	58	115	317	68
Emitterade värdepapper AUD		- 2	- 2	- 7	- 2	- 2
Emitterade värdepapper och interimär övriga valutor	- 24	48		- 17	37	
Summa	687	2 109	363	1 466	2 876	432

3.2

M20 Kvittning av finansiella instrument

2024 mkr	Derivat	Återköpsavtal samt utlåning av värdepapper	Totalt
Finansiella anläggningstillgångar som är föremål för kvittning, nettningsavtal eller liknande avtal			
Bruttobelopp	90 830	34 890	131 720
Kvittade belopp	-44 144	-3 735	-47 879
Redovisat värde i balansräkningen	62 686	31 155	83 841
Relaterade belopp som inte kvittas i balansräkningen			
Finansiella instrument, nettningsavtal	-4 787		-4 787
Mottagna finansiella säkerheter	-37 878	-31 112	-68 990
Summa av belopp som inte har kvittats i balansräkningen	-42 165	-31 112	-73 277
Nettobelopp	10 621	43	10 664
Finansiella skulder som är föremål för kvittning, nettningsavtal eller liknande avtal			
Bruttobelopp	64 043	3 739	68 379
Kvittade belopp	-34 331	-3 735	-38 066
Redovisat värde i balansräkningen	30 312	1	30 313
Relaterade belopp som inte kvittas i balansräkningen			
Finansiella instrument, nettningsavtal	-4 787		-4 787
Ställda finansiella säkerheter	-3 554	-1	-3 555
Summa av belopp som inte har kvittats i balansräkningen	-8 341	-1	-8 342
Nettobelopp	21 971	0	21 971

2023 mkr	Derivat	Abskopsavtal samt utlåning av värdepapper	Totalt
Finansiella anläggningstillgångar som är föremål för kvittning, nettningsavtal eller liknande avtal			
Bruttobelopp	91 240	35 332	126 572
Kvittade belopp	-52 221	-4 028	-56 249
Rudovisat värde i balansräkningen	39 019	30 704	69 723
Relaterade belopp som inte kvittas i balansräkningen			
Finansiella instrument, nettningsavtal	-7 781		-7 781
Mottagna finansiella säkerheter	-18 880	-30 704	-49 584
Summa av belopp som inte har kvittats i balansräkningen	-26 661	-30 704	-57 365
Nettobelopp	12 358	0	12 358
Finansiella skulder som är föremål för kvittning, nettningsavtal eller liknande avtal			
Bruttobelopp	91 494	4 031	95 525
Kvittade belopp	-45 225	-4 028	-49 253
Rudovisat värde i balansräkningen	46 269	3	46 272
Relaterade belopp som inte kvittas i balansräkningen			
Finansiella instrument, nettningsavtal	-7 781		-7 781
Ställda finansiella säkerheter	-17 305	-3	-17 308
Summa av belopp som inte har kvittats i balansräkningen	-25 086	-3	-25 089
Nettobelopp	21 183	0	21 183

Derivatinstrument kallas i balansräkningen när det återspeglar bankens förväntade kassaflöden vid regleringen av två eller flera derivat. Det inträffar när banken både har en avtalsmässig rätt och åsikt att reglera avtalade kassaflöden netto. Den kvarvarande motpartsrisk i derivat reduceras genom avtal om netting vid betalningsinställelse, det vill säga netting av positiva och negativa värden i alla derivattransaktioner med en och samma motpart i en konklusionssituation. Banken har som policy att teckna nettingavtal med alla bankmotparter. Nettingavtalen kompletteras med avtal om ställande av säkerhet för nettoexponeringen. I huvudsak används konstanter som säkerhet, men även statspapper förekommer. Säkerhet för återköpsavtal samt in- och utfällna av värdepappersutlåter i real i form av konstanter eller andra värdepapper.

I det kvittade beloppet för drivstoffutgifter ingår kvittade kontantsäskenheter om 11 617 mkr (11 268) vilka härrör från balansräkningsposten in- och uppläring från allmänheten. I det kvittade beloppet för drivstoffskulder ingår kvittade kontantsäskenheter om 1 804 mkr (4 272) vilka härrör från balansräkningsposten Utlåning till allmänheten.



3.2

Inledning

Förvaltningsberättelse

Finansiella rapporter
Moderbolaget

Hållbarhet

Övrigt

M21 Immateriella tillgångar

2024 mkr	Internt utvecklad programvara	Övrigt	Totalt
Anskaffningsvärde vid ingången av året	5 478	104	5 643
Anskaffningsvärde på tillkommande immateriella tillgångar	413	45	458
Avyttringar och utrangeringar	-345		-345
Valutaeffekt	-7	0	-7
Anskaffningsvärde vid utgången av året	5 538	210	5 749
Akkumulerade av- och nedskrivningar vid ingången av året	-2 300	-131	-2 433
Avyttringar och utrangeringar	345		345
Årets avskrivningar enligt plan	-507	-40	-637
Årets nedskrivningar	0		0
Valutaeffekt	-2	0	-2
Akkumulerade av- och nedskrivningar vid utgången av året	-2 664	-171	-2 726
Redovisat värde	2 864	39	3 023

Under året har utvecklingskostnader uppgående till 2 553 mkr (2 883) kostnadsförts.

2023 mkr	Inkräms- goodwill	Internt utvecklad programvara	Övrigt	Totalt
Anskaffningsvärde vid ingången av året	531	5 361	164	6 056
Anskaffningsvärde på tillkommande immateriella tillgångar		684		684
Avyttringar och utrangeringar	-531	-554		-554
Valutaeffekt		-12		-12
Anskaffningsvärde vid utgången av året	0	5 478	164	6 174
Akkumulerade av- och nedskrivningar vid ingången av året	-531	-2 283	-99	-2 913
Avyttringar och utrangeringar	531	554		554
Årets avskrivningar enligt plan		-575	-33	-608
Årets nedskrivningar				0
Valutaeffekt		3		3
Akkumulerade av- och nedskrivningar vid utgången av året	0	-2 300	-131	-2 664
Redovisat värde	0	3 178	33	3 211

I moderbolaget görs avskrivningar på inkremsgoodwill och andra immateriella tillgångar med obestämbar nyttjandeperiod i enlighet med bestämmelserna i ÅRKL. De kundrelationer som förvären gett upphov till, och därmed nyttjandeperioden för inkremsgoodwill, är omfattningsmässigt mycket långa. Avskrivningstiden är satt till 20 år.

M22 Fastigheter, inventarier och leasingobjekt

Fastigheter, inventarier och leasingobjekt		
mkr	2024	2023
Fastigheter	30	26
Inventarier	610	544
Leasingobjekt	5 227	6 101
Egendom övertagen för skyddande av fordran	2	2
Summa	5 897	6 673



3.2

M22 forts.

Fastigheter				
mkr				
	2024	2023		
Anskaffningsvärde vid ingången av året	57	54		
Ny- och ombyggnation	6	3		
Anskaffningsvärde vid utgången av året	63	67		
Akkumulerade av- och nedskrivningar vid ingången av året	-31	-29		
Årets avskrivningar enligt plan	-2	-2		
Akkumulerade av- och nedskrivningar vid utgången av året	-33	-31		
Redovisat värde	30	26		
Inventarier				
mkr				
	2024	2023		
Anskaffningsvärde vid ingången av året	1 383	1 338		
Anskaffningsvärde på tillkommande under året	371	332		
Avyttringar och utrangeringar	-328	-277		
Valutaeffekt	5	-10		
Anskaffningsvärde vid utgången av året	1 431	1 383		
Akkumulerade av- och nedskrivningar vid ingången av året	-830	-801		
Årets avskrivningar enligt plan	-288	-253		
Avyttringar och utrangeringar	315	270		
Valutaeffekt	-3	5		
Akkumulerade av- och nedskrivningar vid utgången av året	-815	-830		
Redovisat värde	616	544		
Leasingobjekt				
mkr				
	2024	2023		
Anskaffningsvärde vid ingången av året	10 065	10 548		
Anskaffningsvärde på tillkommande under året	1 864	2 069		
Avyttringar och utrangeringar	-3 206	-2 985		
Valutaeffekt mm	-38	-176		
Anskaffningsvärde vid utgången av året	8 676	10 065		
Akkumulerade av- och nedskrivningar vid ingången av året	-3 954	-4 520		
Årets avskrivningar enligt plan	-1 382	-1 471		
Årets nedskrivningar	11	24		
Avyttringar och utrangeringar	1 807	1 940		
Valutaeffekt	20	73		
Akkumulerade av- och nedskrivningar vid utgången av året	-3 448	-3 954		
Redovisat värde	5 227	6 101		
Fördelning av framtida leasingavgifter på förfallotidpunkter				
mkr				
	Inom 1 år	Mellan 1 och 5 år	Senare än 5 år	Summa
2024				
Fördelning av framtida leasingavgifter	1 222	4 015	467	5 704
2023				
Fördelning av framtida leasingavgifter	1 090	4 158	400	6 203
Leasingobjekten består huvudsakligen av fordon och maskiner. Leasingobjekten skrivs av under leasingavtalets löptid enligt annuitetsmetoden. Summan av räkningsårsrets inlämnade leasingavgifter uppgår till 317 mkr (268) varav den variabla delen av leasingintäkter uppgår 302 mkr (268).				
Moderbolagets materiella anläggningstillgångar består av fastigheter (förärfastigheter), inventarier och leasingobjekt. Dessa värderas till anskaffningsvärde med avdrag för ackumulerade av- och nedskrivningar. Avskrivningarna sker utifrån tillgångarnas bedömda nyttjandeperioder. För fastigheter och inventarier tillämpas en linjär avskrivningsplan. Någon väsentlig förändring av nyttjandeperioderna har inte skett under 2024. De bedömda nyttjandeperioderna provas årligen. Inventariernas nyttjandeperiod bedöms vara mellan 2-10 år. För fastigheter tillämpas separata avskrivningsplaner för olika delkomponenter. För stomme bedöms nyttjandeperioden vara 100 år och resterande delkomponenter bedöms ha nyttjandeperioder mellan 10 och 35 år. Moderbolaget redovisar finansiella leasingavtal som operationella leasingavtal. Leasingobjekten som huvudsakligen består av fordon och maskiner skrivs av under leasingavtalets löptid enligt annuitetsmetoden. Nedskrivningsprövning av materiella anläggningstillgångar sker när det finns indikation på att tillgången kan ha minskat i värde. Någon indikation för nedskrivningsbehov per balansdagen fanns inte för materiella anläggningstillgångar.				



3.2

Inledning

Förvaltningsberättelse

Finansiella rapporter
Moderbolaget

Hållbarhet

Övrigt

M23 Övriga tillgångar

mkr	2024	2023
Fondlikvidfordringar	3 059	5 517
Övrigt	15 038	15 272
Summa	18 097	20 789

M24 Förutbetalda kostnader och upplupna intäkter

mkr	2024	2023
Upplupna intäkter	608	538
Förutbetalda kostnader	873	849
Summa	1 481	1 386

M25 Skulder till kreditinstitut

mkr	2024	2023
Skulder i svenska kronor		
Banker	19 573	7 222
Övriga kreditinstitut	18 289	19 320
Summa	37 862	26 542
Skulder i utländsk valuta		
Banker	62 928	73 142
Övriga kreditinstitut	74 605	76 459
Summa	137 533	149 601
Summa skulder till kreditinstitut	175 394	176 143
varav repor		0
varav erhållna kontantsäkerheter	32 374	20 078
Modervolymer		
mkr	2024	2023
Skulder till kreditinstitut i svenska kronor	21 411	27 383
Skulder till kreditinstitut i utländsk valuta	202 335	233 225
Summa	223 746	260 608
varav repor	173	177

3.2

M26 In- och upplåning från allmänheten

mk	2024	2023
Inlåning i svenska kronor		
Hushåll	366 230	361 646
Företag	298 938	291 500
Riksgälden	1	1
Summa	665 169	653 146
Inlåning i utländsk valuta		
Hushåll	58 748	60 310
Företag	134 534	155 898
Summa	193 283	216 207
Summa inlåning från allmänheten	858 451	869 353
Upplåning i svenska kronor	160 641	176 759
Upplåning i utländsk valuta	30 930	63 300
Summa upplåning från allmänheten	191 571	240 119
Summa in- och upplåning från allmänheten	1 050 028	1 109 471
varav repor	1	2
varav andelarna kontantaktiver	3 709	4 624

Medetrol[®]

mkz	2024	2023
Inlåning från allmänheten		
Inlåning från allmänheten i svenska kronor	631 708	691 007
Inlåning från allmänheten i utländsk valuta	211 310	235 155
Summa	843 024	926 262
Upplåning från allmänheten		
Upplåning från allmänheten i svenska kronor	200 103	175 907
Upplåning från allmänheten i utländsk valuta	210 737	191 818
Summa	410 840	367 725
varav repor	7 042	8 978



3.2

Inledning

Förvaltningsberättelse

Finansiella rapporter
Möderbolaget

Hållbarhet

Övrigt

M27 Emitterade värdepapper

mkr	2024		2023	
	Redovisat värde	Nominellt belopp	Redovisat värde	Nominellt belopp
Certifikat				
Certifikat i svenska kronor	536	509	1 000	1 055
varav varårigt värde obligatoriskt	536	509	1 000	1 055
Certifikat i utländsk valuta	501 217	351 863	578 821	391 189
varav upplupet anskaffningsvärde	501 140	351 790	578 414	390 799
varav ingår i säkring av varårigt värde	0	0	15 500	15 745
varav varårigt värde obligatoriskt	77	73	407	391
Summa	501 753	352 372	579 820	392 244
Obligationsskuld				
Obligationsskuld i svenska kronor	2 951	2 834	2 068	2 622
varav upplupet anskaffningsvärde	2 951	2 834	2 068	2 622
Obligationsskuld i utländsk valuta	246 162	248 676	223 578	229 835
varav upplupet anskaffningsvärde	246 162	248 676	223 578	229 835
varav ingår i säkring av varårigt värde	1 00 755	1 00 455	1 85 172	1 91 582
Summa	249 113	251 511	225 247	232 457
Summa emitterade värdepapper	840 866	603 883	806 167	624 701
mkr			2024	2023
Emitterade värdepapper vid årets ingång			806 167	806 013
Emitterade			873 882	1 004 310
Återköpta			-4 101	-2 103
Förfallna			-881 213	-985 938
Valutasäffelser m.m.			46 131	-10 115
Emitterade värdepapper vid årets utgång			840 866	806 167
Medräkningar				
mkr			2024	2023
Emitterade värdepapper i svenska kronor			-2 900	-8 378
Emitterade värdepapper i utländsk valuta			872 771	890 275
Summa			869 771	881 897

M28 Korta positioner

mkr	2024	2023
Korta positioner värderade till verkligt värde		
Aktier	621	520
Räntebärande värdepapper	386	1 844
Summa	1 007	2 364
Medräkningar		
mkr	2024	2023
Korta positioner i svenska kronor	15 433	15 301
Korta positioner i utländsk valuta	220	209
Summa	15 653	15 510



3.2

M29 Skatter

Redovisade skattekostnader i resultaträkningen		
mkr	2024	2023
Aktuell skatt	-4 901	-8 004
Uppskjuten skatt	-158	270
Skatt hänförlig till tidigare år	-12	-13
Summa	-5 131	-8 747

Redovisade skattekostnader i resultaträkningen		
mkr	2024	2023
Resultat före skatt	32 789	28 110
Skatt på resultat före skatt med svensk skattesats	-8 755	-5 701
Bokförd skatt	-5 131	-8 747
Skillnad	1 624	44
Skillnaden förklaras av skatteeffekt avseende följande poster		
Ej skattskyldiga intäkter/ej avdragsgilla kostnader	-30	2
Ej avdragsgill ränta på efterställda skulder	-515	-583
Ej skattskyldiga reavinstar och utdelningar	2 584	941
Nedskrivning av aktier i dotterbolag	-440	-314
Övrigt	37	-2
Summa	1 624	44

Uppskjutna skattefordringar 2024					
mkr	Ingående balans	Redovisat över resultaträkningen	Redovisat i övrigt totalresultat	Kvittning	Utgående balans
Pensioner	291	113			404
Övrigt	422	-230			193
Kvittning	-330			-80	-428
Summa	374	-128		-80	166

Uppskjutna skattekulder 2024					
mkr	Ingående balans	Redovisat över resultaträkningen	Redovisat i övrigt totalresultat	Kvittning	Utgående balans
Fastigheter och inventarier	0	1	0		10
Säkringsinstrument	593		-150		434
Övrigt	73	-35			38
Kvittning	-330			-80	-428
Summa	336	-35	-150	-80	64

Uppskjutna skattefordringar 2023					
mkr	Ingående balans	Redovisat över resultaträkningen	Redovisat i övrigt totalresultat	Kvittning	Utgående balans
Pensioner	304	-13			291
Övrigt	313	100			422
Kvittning				-330	-330
Summa	617	86		-330	374



3.2

Infledning

Förvaltningsberättelse

Finansiella rapporter
Moderbolaget

Hållbarhet

Övrigt

M29 forts.

Uppskjutna skatteskulder 2023

mkr	Ingående balans	Redovisat över resultaträkningen	Redovisat i övrigt totalresultat	Kvittning	Utgående balans
Fastigheter och inventarier	11	-2			9
Säkringsinstrument	915		-322		593
Övrigt	267	-204	10		73
Kvittning				-339	-339
Summa	1 193	-206	-312	-339	336

Ej redovisade uppskjutna skattefordringar och underskott
Uppskjutna skattefordran på underskottsavdrag och andra framtida avdragsgilla temporära skillnader redovisas enbart om det är sannolikt att de kan nyttjas inom en överskådlig framtid.
Skatt på underskottsavdrag i utländska filialer har en begränsad livstid på 5 år och uppgår till 50 MSEK, underskottet saknar värde då underskottet även beskattats i huvudkoncernlandet.

M30 Avsättningar

Avsättningar 2024

mkr	Avsättning för förväntade kreditförluster på poster utanför balansräkningen ¹⁾	Omstrukturierungs- reserv ²⁾	Övriga avsättningar ³⁾	Summa
Avsättningar vid årets ingång	292	22	310	624
Avsatt under året			154	154
Inanspråktagat		-5	-150	-161
Återfört			-29	-29
Nettoförändring av förväntade kreditförluster	-165			-165
Avsättningar vid årets utgång	127	17	279	423

Avsättningar 2023

mkr	Avsättning för förväntade kreditförluster på poster utanför balansräkningen ¹⁾	Omstrukturierungs- reserv ²⁾	Övriga avsättningar ³⁾	Summa
Avsättningar vid årets ingång	283	158	204	645
Avsatt under året			191	191
Inanspråktagat		-130	-57	-193
Återfört			-28	-28
Nettoförändring av förväntade kreditförluster	9			9
Avsättningar vid årets utgång	292	22	310	624

1) Förtydligare information, se not M10 och M30.
2) Avsättningen för omstrukturierungs-kostnader avser kostnader relaterade till bankens omställning.
3) Under Övriga avsättningar redovisas de belopp som avsatts för reglering av de anspråk som rikts mot banken.

M31 Övriga skulder

mkr	2024	2023
Fondlikvidskulder	2 847	5 000
Övrigt	7 945	6 285
Summa	10 792	11 374



3.2

M32 Upplupna kostnader och förutbetalda intäkter

mkr	2024	2023
Upplupna kostnader	1 477	1 444
Förutbetalda intäkter	503	955
Summa	2 070	2 399

M33 Efterställda skulder

Förändring av efterställda skulder

mkr	2024	2023
Efterställda skulder vid årets ingång	43 117	42 404
Emitterade	5 073	8 753
Förfallna	-13 300	-8 325
Valutaeffekter m m	1 033	285
Efterställda skulder vid årets utgång	37 064	43 117

Medelvolymer

mkr	2024	2023
Efterställda skulder i utländsk valuta	35 003	42 200

Specifikation, efterställda skulder

Emissionsår	Förfall	Ursprunglig förfallodag	Första möjliga datum för inlösen	Valuta	Ursprungligt nominellt belopp i respektive valuta	Konvertibelt/ Ej konvertibelt	Räntesats, %	Utslående belopp
2020	Brigt ^{1,2}		2027-03-01	USD	500	Konvertibelt ³	4,375	5 229
2020	Brigt ^{1,2}		2031-03-01	USD	500	Konvertibelt ³	4,750	4 584
2022	Tidsbunden ⁴	2033-05-01	2028-05-01	EUR	500	Ej konvertibelt	3,250	5 748
2022	Tidsbunden ⁴	2032-08-23	2027-08-23	GBP	500	Ej konvertibelt	4,025	0 722
2023	Tidsbunden ⁴	2034-08-16	2029-08-16	EUR	750	Ej konvertibelt	5,000	9 053
2024	Tidsbunden ⁴	2035-11-04	2031-11-04	EUR	500	Ej konvertibelt	3,025	5 718
Summa								37 064

1) Efterställt samtliga instrument utom aktier, närmast högre är tidsbundna efterställda skulder.

2) Inlösenbart vid varje påföljande räntemåttkningsdag efter första inlösendatum.

3) Skulderna konverteras till stamaktier i Svenska Handelsbanken AB om Svenska Handelsbanken AB:s kärnprimärkapitalrelation understiger 5,125% eller om den konsoliderade situationens kärnprimärkapitalrelation understiger 8,0%.

4) Efterställt samtliga seniorska skulder.



3.2

Inledning

Förvaltningsberättelse

Finansiella rapporter
Moderbolaget

Hållbarhet

Övrigt

M34 Obeskattade reserver

mkr	2024	2023
Akkumulerade överavskrivningar inventarier och leasingobjekt	531	867
Summa	531	867

M35 Specifikation av förändringar i eget kapital

Förändring av säkringsreserv		
mkr	2024	2023
Säkringsreserv vid årets ingång	2 284	3 531
Klassificeringsåterföring		
Effektiv del av förändringen i verkligt värde		
Ränterisk	-502	-1 105
Valutarisk	-00	-209
Omklassificerat till resultatåterföringen ¹⁾	-70	-105
Skatt	158	324
Säkringsreserv vid årets utgång	1 670	2 284
Förändring av verkligt värdesreserv		
mkr	2024	2023
Verkligt värdesreserv vid årets ingång	107	125
Orealiserade värdeförändringar – eget kapitalinstrument	150	51
Realiserade värdeförändringar – eget kapitalinstrument	3	0
Orealiserade värdeförändringar – skuldinstrument	5	19
Förändring av reserv för förväntade kreditförluster – skuldinstrument	0	0
Omklassificerat till balanserade vinstmedel – eget kapitalinstrument ²⁾	-3	0
Omklassificerat till resultatåterföringen – skuldinstrument ³⁾	0	0
Verkligt värdesreserv vid årets utgång	361	197
Förändring av omräkningsreserv		
mkr	2024	2023
Omräkningsreserv vid årets ingång	761	1 847
Förändring av omräkningsdifferens	282	-811
Omklassificerat till resultatåterföringen ⁴⁾	0	9
Omklassificerat till balanserade vinstmedel ⁵⁾	-570	-284
Omräkningsreserv vid årets utgång	473	761

1) Skatt som omklassificerats till resultatåterföringen hänförlig till denna post 10 mkr (22).
2) Skatt som omklassificerats till balanserade vinstmedel hänförlig till denna post - mkr (0).
3) Skatt som omklassificerats till resultatåterföringen hänförlig till denna post 0 mkr (0).
4) Skatt som omklassificerats till resultatåterföringen hänförlig till denna post 0 mkr (-2).
5) Skatt som omklassificerats till balanserade vinstmedel hänförlig till denna post 8 mkr (19).



3.2

M36 Klassificering av finansiella tillgångar och skulder

2024	Verkligt värde via resultaträkningen						
	Obligatoriskt	Verkligt värdeoptionen	Derivat identifierat som stäkningsinstrument	Verkligt värde via övrigt totalresultat	Upplupet anskaffningsvärde	Summa redovisat värde	Verkligt värde
Tillgångar							
Kassa och tillgodohavanden hos centralbanker					404 237	404 237	404 237
Betalningsbara statsskuldförbindelser m.m.	4 802	107 745				172 506	172 505
Utlåning till kreditinstitut	18 045				978 872	996 917	996 929
Utlåning till allmänheten					524 171	524 171	520 705
Värdepappersförändring på räntesäkrat post i portföljstäckning					-8 399	-8 399	
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	10 389	23 920		13 259		53 568	53 569
Aktier och andelar	8 258			504		8 952	8 952
Tillgångar där kunden står värdepappersförändringsrisken	2 087					2 087	2 087
Derivatinstrument	34 945		17 740			52 685	52 685
Övriga tillgångar	13				18 084	18 097	18 097
Summa	84 599	101 665	17 740	13 964	1 918 985	2 226 924	2 229 680
Aktier och andelar i koncern- och intresseföretag samt joint ventures						67 591	
Icke finansiella tillgångar						10 539	
Summa tillgångar						2 305 053	
Skulder							
Skulder till kreditinstitut					169 394	169 394	169 459
In- och upplåning från allmänheten					1 050 029	1 050 028	1 049 999
Skulder där kunden står värdepappersförändringsrisken		2 087				2 087	2 087
Emitterade värdepapper	614				840 253	840 866	841 682
Derivatinstrument	20 088		1 225			30 312	30 312
Korta positioner	1 007					1 007	1 007
Övriga skulder	12				10 780	10 792	10 790
Efterställda skulder					37 054	37 054	38 203
Summa	30 721	2 087	1 225		2 107 510	2 141 540	2 143 599
Icke finansiella skulder						2 762	
Summa skulder						2 144 302	



3.2

Inledning

Förvaltningsberättelse

Finansiella rapporter
Moderbolaget

Hållbarhet

Övrigt

M36 forts.

2023	Verkligt värde via resultaträkningen						
mkr	Obligatoriskt	Verkligt värdeoptionen	Derivat identifierat som värdepappersinstrument	Verkligt värde via övrigt totalresultat	Upplupet anskaffningsvärde	Summa redovisat värde	Verkligt värde
Tillgångar							
Kassa och tillgodohavanden hos centralbanker					302 530	302 530	302 530
Bolåningsbara statssektorförbindelser m m	3 534	105 504				109 128	109 128
Utlåning till kreditinstitut	22 079				985 913	1 007 992	1 007 997
Utlåning till allmänheten					600 997	600 997	600 309
Värdeförändring på räntesäkrat post i portföljsäkring					-9 057	-9 057	
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	14 255	23 827		12 709		50 791	50 791
Aktier och andelar	5 009			501		5 170	5 170
Tillgångar där kunden står värdeförändringsrisken	1 871				78	1 948	1 948
Derivatinstrument	20 183		9 836			39 019	39 019
Övriga tillgångar	27				20 762	20 789	20 789
Summa	76 618	219 421	9 836	13 210	1 980 629	2 279 713	2 288 717
Aktier och andelar i koncern- och intresseföretag samt joint ventures						68 980	
Icke finansiella tillgångar						11 645	
Summa tillgångar						2 360 344	
Skulder							
Skulder till kreditinstitut					176 143	176 143	176 307
In- och upplåning från allmänheten					1 109 471	1 109 471	1 109 002
Skulder där kunden står värdeförändringsrisken		1 871			78	1 948	1 948
Emitterade värdepapper	1 506				804 051	805 167	806 002
Derivatinstrument	39 781		6 489			46 269	46 269
Korta positioner	2 304					2 304	2 304
Övriga skulder	27				11 347	11 374	11 374
Efterställda skulder					43 117	43 117	43 227
Summa	43 678	1 871	6 489		2 144 817	2 196 803	2 197 183
Icke finansiella skulder						4 193	
Summa skulder						2 201 046	



3.2

M37 Värdering av finansiella instrument till verkligt värde

Finansiella instrument värderade till verkligt värde 2024

mkr	Nivå 1	Nivå 2	Nivå 3	Totalt
Tillgångar				
Balanserade statskuldförbindelser m.m.				
Verkligt värde via resultatåtkomsten, obligatoriskt	4 778	84		4 862
Verkligt värde via resultatåtkomsten, verkligt värdeoptionen	167 745			167 745
Verkligt värde via övrigt totalresultat				
Utlåning till kreditinstitut		18 045		18 045
Obligationer och andra räntebärande värdepapper				
Verkligt värde via resultatåtkomsten, obligatoriskt	15 671	710		16 381
Verkligt värde via resultatåtkomsten, verkligt värdeoptionen	23 920			23 920
Verkligt värde via övrigt totalresultat	11 752	1 507		13 259
Aktier och andelar				
Verkligt värde via resultatåtkomsten, obligatoriskt	7 671	586		8 257
Verkligt värde via övrigt totalresultat	439	94	161	694
Tillgångar där kunden står värdeförändringsrisken	2 060		17	2 077
Derivatinstrument	52	52 684		52 736
Summa	234 067	73 689	179	307 935
Skulder				
Skulder där kunden står värdeförändringsrisken	2 060		17	2 077
Emitterade värdepapper		614		614
Derivatinstrument	39	30 272		30 311
Korta positioner	992	15		1 007
Summa	3 101	30 901	17	34 019

Finansiella instrument värderade till verkligt värde 2023

mkr	Nivå 1	Nivå 2	Nivå 3	Totalt
Tillgångar				
Balanserade statskuldförbindelser m.m.				
Verkligt värde via resultatåtkomsten, obligatoriskt	3 498	30		3 528
Verkligt värde via resultatåtkomsten, verkligt värdeoptionen	195 594			195 594
Verkligt värde via övrigt totalresultat				
Utlåning till kreditinstitut		22 079		22 079
Obligationer och andra räntebärande värdepapper				
Verkligt värde via resultatåtkomsten, obligatoriskt	13 950	305		14 255
Verkligt värde via resultatåtkomsten, verkligt värdeoptionen	23 827			23 827
Verkligt värde via övrigt totalresultat	11 158	1 551		12 709
Aktier och andelar				
Verkligt värde via resultatåtkomsten, obligatoriskt	5 160	503		5 663
Verkligt värde via övrigt totalresultat	210	135	150	505
Tillgångar där kunden står värdeförändringsrisken	1 794		77	1 871
Derivatinstrument	92	38 925	2	39 019
Summa	265 289	63 834	236	319 009
Skulder				
Skulder där kunden står värdeförändringsrisken	1 794		77	1 871
Emitterade värdepapper		1 506		1 506
Derivatinstrument	47	46 221	2	46 270
Korta positioner	2 364			2 364
Summa	4 205	47 727	79	52 011

Redogörelse för tillämpade principer återfinns i not K42.



3.2

Inledning

Förvaltningsberättelse

Finansiella rapporter
Moderbolaget

Hållbarhet

Övrigt

M37 forts.

Förändring av innehav i finansiella instrument i nivå 3 2024

mkr	Aktier och andelar	Derivat- tillgångar	Derivat- skulder	Tillgångar där kunden står värdeföränd- ringsrisken	Skulder där kunden står värdeföränd- ringsrisken
Redovisat värde vid direta ingång	186	2	-2	77	-77
Nyanskaffningar					
Återköp/avyttat	-5				
Förskott					
Orealiserad värdeförändring i resultaträkningen	-3	-2	2	-60	60
Orealiserad värdeförändring i övrigt totalresultat	13				
Förflyttning från nivå 1 eller 2					
Förflyttning till nivå 1 eller 2					
Redovisat värde vid direta utgång	181	0	0	17	-17

Förändring av innehav i finansiella instrument i nivå 3 2023

mkr	Aktier och andelar	Derivat- tillgångar	Derivat- skulder	Tillgångar där kunden står värdeföränd- ringsrisken	Skulder där kunden står värdeföränd- ringsrisken
Redovisat värde vid direta ingång	182	30	-30	826	-826
Nyanskaffningar					
Återköp/avyttat					
Förskott					
Orealiserad värdeförändring i resultaträkningen	4	0	0	-448	448
Orealiserad värdeförändring i övrigt totalresultat					
Förflyttning från nivå 1 eller 2					
Förflyttning till nivå 1 eller 2		-37	37		
Redovisat värde vid direta utgång	186	2	-2	77	-77

En förändring i lösa observerbara indata bedöms ej förankra betydande högre eller lägre värdering av innehaven i nivå 3 varför någon känslighetsanalys ej följnas.

Verkligt värde på finansiella instrument redovisade till upplupet anskaffningsvärde 2024

mkr	Nivå 1	Nivå 2	Nivå 3	Totalt
Tillgångar				
Kassa och tillgodohavanden hos centralbanker	404 237			404 237
Utlåning till kreditinstitut	16 802	951 420	362	978 584
Utlåning till allmänheten	27 977	1 137	491 681	520 795
Tillgångar där kunden står värdeförändringsrisken				
Summa	449 016	952 557	492 043	1 903 616
Skulder				
Skulder till kreditinstitut	39 763	129 605		169 458
In- och upplåning från allmänheten	1 042 371	7 628		1 049 999
Skulder där kunden står värdeförändringsrisken				
Emitterade värdepapper	243 710	597 350		841 060
Efterställda skulder		38 263		38 263
Summa	1 325 844	772 045		2 098 789

Verkligt värde på finansiella instrument redovisade till upplupet anskaffningsvärde 2023

mkr	Nivå 1	Nivå 2	Nivå 3	Totalt
Tillgångar				
Kassa och tillgodohavanden hos centralbanker	362 536			362 536
Utlåning till kreditinstitut	36 854	948 070	358	985 888
Utlåning till allmänheten	42 262	828	557 279	600 369
Tillgångar där kunden står värdeförändringsrisken				
Summa	441 730	949 894	857 637	1 048 871
Skulder				
Skulder till kreditinstitut	31 857	144 440		176 307
In- och upplåning från allmänheten	1 101 553	7 440		1 109 002
Skulder där kunden står värdeförändringsrisken				
Emitterade värdepapper	78			78
Efterställda skulder	104 404	610 782		805 186
Summa	1 327 892	805 607		2 133 800



3.2

M38 Ställda och mottagna säkerheter
samt överförda finansiella tillgångar

För egna skulder ställda säkerheter		
mkr	2024	2023
Kontanter	6 961	20 707
Statspapper och obligationer	2 401	5 601
Aktier	129	143
Tillgångar där kunden står värdeförändringsrisken	17	
Övrigt	779	737
Summa	10 287	27 278
varav pantar som fritt kan återkallas av banken	15	18
Övriga ställda säkerheter		
mkr	2024	2023
Kontanter	256	239
Statspapper och obligationer	87 535	68 619
Aktier	2 546	4 411
Övrigt	508	309
Summa	90 845	88 667
varav pantar som fritt kan återkallas av banken	77 724	52 056

Med Övriga ställda säkerheter avses säkerheter som ställs för förpliktelser som ej redovisas i balansräkningen.

Mottagna säkerheter
Som en del av inlågnina omvända återköpsavtal och värdepapperslån har koncernen accepterat säkerheter som kan säljas eller pantsättas vidare till tredje part. Det verkliga värdet av sådana accepterade säkerheter uppgick till 45 637 mkr (46 369) vid räkenskapsårets slut, varav säkerheter till ett värde av 9 250 mkr (15 721) var sålda eller pantsatta till tredje part.

Överförda finansiella tillgångar redovisade i balansräkningen				
mkr	2024		2023	
	Redovisat värde	Redovisat värde motsvarande skuld	Redovisat värde	Redovisat värde motsvarande skuld
Aktier, värdepappersutlåning	2 674	100 ¹⁾	4 237	112 ¹⁾
Statspapper och obligationer, repor	1 077	0	4 464	2
Tillgångar där kunden står värdeförändringsrisken	17	17	159	159
Summa	3 768	123	8 860	273

1) Mottagen kontantsäkerhet



3.2

Införning

Förvaltningsberättelse

Finansiella rapporter
Moderbolaget

Hållbarhet

Övrigt

M39 Eventualförpliktelser

mkr	2024	2023
Ansvarsförbindelser		
Garantförbindelser, krediter	15 898	15 088
Garantförbindelser, övriga	51 333	52 885
Ottorkalkyliga rembursar	605	203
Övrigt	455	
Summa	68 391	68 776
varav föremål för nedskrivningsprövning	68 352	68 775
Åtaganden		
Kreditförför	291 390	284 120
Outnyttjad del av beviljade räkningkrediter	97 840	90 781
Övrigt ¹⁾	290 587	273 912
Summa	679 817	654 813
varav föremål för nedskrivningsprövning	571 478	488 624
Summa eventualförpliktelser	748 183	723 589
Reservering för förväntade kreditförluster redovisad som avsättning, se not M30.	127	202

1) I raden Övrigt ingår interna likviditetsgarantier till dotterbolag på 282 918 mkr (200 581).

Ansvarsförbindelser
Ansvarsförbindelserna består i huvudsak av olika typer av garantiförbindelser. Kreditgarantier ges till kunder för att garantera åtaganden i andra kredit- och pensionsinstitut. Övriga garantier utförs främst av kommersiella garantier såsom anbudsgarantier, garantier avseende försörjningsbetalningar, garantier under ansvarstiden och exportrelaterade garantier. Ansvarsförbindelser omfattar också outnyttjade ottorkalkyliga importrembursar och bekräftade exportrembursar. Dessa transaktioner ingår i bankens tjänster och är till stöd för bankens kunder. I tabellen anges garantiernas nominella belopp.

Tvister
Handelsbanken är föremål för krav i ett antal tvistemål som drivs i allmän domstol. Bankens polska verksamhet har en portfölj av bolån som är utställda i schweizert franc respektive euro, vilken uppgick till ca 100 mkr vid årets utgång. Det föreligger en osäkerhet i polsk rätt avseende tillämpningen av olika kreditvillkor som involverar utländsk valuta. Nämnda rättsutveckling kan leda till att vissa avtalavvikelser i bankens polska verksamhet inte kan tillämpas såsom avsett och att vissa kunder ska ersättas. Det är i nuläget inte praktiskt möjligt att uppskatta de eventuella finansiella effekterna på banken eller sannolikheten för olika utfall och därav lämnas ingen upplysning om eventualförpliktelse.

Bedömningen är att de övriga tvistemålen i all väsentligt kommer att utfalla till bankens fördel. Tvistebeloppet bedöms inte kunna få en väsentlig inverkan på bankens ställning eller resultat och därav lämnas ingen upplysning om eventualförpliktelse.

M40 Pensionsförpliktelser

mkr	2024	2023
Förvaltningsstillsättningarnas verkliga värde	34 475	33 580
Pensionsförpliktelser	30 028	29 377
Pensionsnetto¹⁾	4 447	4 203

1) Vid negativt Pensionsnetto redovisas inte underskott som en skuld i balansräkningen eftersom överskottet i Pensionskassan SHB Tjänstepensionsförening kan nyttjas för att täcka moderbolagets pensionsförpliktelser, samt att delar av utfästelsen är villkorad. I Pensionskassan SHB Tjänstepensionsförening uppgår pensionsförpliktelserna till 7 404 mkr (7 000) och marknadsvärdet av tillgångarna till 16 718 mkr (16 323). Överskottet i Pensionskassan SHB Tjänstepensionsförening uppgår således till 9 224 mkr (9 324).

Förvaltningsstillsättningarna innehåller av Svenska Handelsbankens Pensionsstiftelse och liknande juridiska personer avseende utländska utfästelser. Pensionsförpliktelser har beräknats enligt Finansinspektionens föreskrifter, vilket innebär att skuld i Sverige är beräknad enligt byggsandelagen, och motsvarande utländska pensionsförpliktelser har beräknats utifrån lokal reglering.

Av det verkliga värdet på förvaltningsstillsättningarna i Svenska Handelsbankens Pensionsstiftelse avser 6 666 mkr (7 355) avsättningar som gjorts under åren 1989-2004 till en särskild kompletterande pension (SKP). I förpliktelserna ingår utfästelse avseende SKP med samma belopp som förvaltningsstillsättningarnas verkliga värde.

En del av denna utfästelse, 5 150 mkr (5 650), är villkorad.

Pensionskostnader		
mkr	2024	2023
Utbetalda pensioner	-1 813	-1 600
Pensionspremier	-840	-667
Socialavgifter	-376	-276
Ersättning från pensionsstiftelse	762	720
Summa pensionskostnader	-2 267	-1 823

Nästa års förväntade utbetalda pensioner avseende förmånsbestämda pensionsplaner uppgår till 1 200 mkr. Kostnaderna för pensionspremier innehåller premier för BTPK (premiäbestämd pension) med 141 mkr (147).

3.2

M40 forts.

Förvaltningsåtgärder

mk	2024	2023
Ingående balans	33 580	31 607
Avkastning	1 657	2 633
Ersättning från pensionsstiftelse	-762	-720
Utgående balans	34 475	33 699
Procentuell avkastning på förvaltningsstiftelser	5%	8%

Pensionsförpliktelser

mkz	2004	2003
Ingående balans	29 377	31 616
Teknisk avgift	784	792
Ränta	640	367
Värdestärkning ¹⁾	1 293	2 361
Förtida pensionering	32	230
Utbetalda pensioner	-1 778	-1 633
Ändrade antaganden ²⁾	-97	-4 674
Värdeförändring villkorad förpliktelse	432	622
Annan förändring av kapitalvärdet	-564	-307
Utgående balans	30 028	29 377

1) Effekten av värdepappersförlust av pensioner har sjunkit eftersom indexeringen sänkts från 10,84% per den 1 januari 2023 till 6,48% per den 1 januari 2024.

Fördelning av förvaltningstillgångar

mlr	2024	2023
Aktier och fondandelar ¹⁾	32 937	31 916
Räntebärande värdepapper	1 409	1 409
Övriga förvaltningsstiftelser ²⁾	120	102
Summa	34 475	33 596

1) Fondandelarna är till största del placerade i räntefonder och uppgår till 20 898 mkr (20 270).

2) I övriga förvaltningsåtgångar ingår både likvida medel och en skuld avseende ännu ej utbetald gottgörelse.

I Sverige gäller från och med den 1 mars 2020 att alla nyanställda och anställda då yngre än 25 år tillhör i en premiebestämd pensionsplan.

Anslädda före den 1 mars 2020 påverkas inte utan omfattas fortsatt av den förmånsbestämda pensionsoptionen som följer pensionsavtalet mellan BAO och Finansförbundet/SACO-förbundet. Ålderspension från och med 65 års ålder utgår med 10% av årslönen upp till 7,5 inkomstbaserade utgår. På löneled 1 i intervall 7,5–20 inkomstbaserade utgår ålderspension med 65% och i intervall 20–30 inkomstbaserade med 32,5% av årslönen. På löneled 4 (övertidslön 30 inkomstbaserade utgår ingen ålderspension.

Avseende den svenska pensionsförplikatsen beräknas värdet av pensionsförplikatserna per balansdag enligt Trygghedslagens försäkringstekniska regler. De mest väsentliga beräkningsantagandena är följande och diskonteförhållanden. Diskonteförhållanden är 1,8% (1,8) efter avdrag för skatt och omkostnader.

Utländska pensionsförmåner är berättigade enligt lokala redovisningskrav.



3.2

Inledning

Förvaltningsberättelse

Finansiella rapporter
Moderbolaget

Hållbarhet

Övrigt

M41 Tillgångar och skulder i valuta

2024 mkr	SEK	EUR	NOK	GBP	USD	Övriga valutor	Totalt
Tillgångar							
Kassa och tillgodoshavande hos centralbanker	63 478	208 777	4 160	0	132 709	23	404 238
Utlåning till kreditinstitut	707 895	54 200	103 585	67 840	3 090	218	996 917
Utlåning till allmänheten	147 090	184 435	178 195	4 550	6 889	2 399	524 171
varav företag	127 519	121 090	149 300	4 555	6 730	1 498	410 757
varav hushåll	19 631	63 345	28 829	1	160	901	111 807
Bolåningsbara statskultförbindelser m.m.	152 122	8 971	74		11 440		172 605
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	40 114	555	12 900		0		53 509
Övriga ej valutafördelade poster	153 552						153 552
Summa tillgångar	1 324 856	452 029	298 915	72 398	164 218	2 640	2 306 063
Skulder							
Skulder till kreditinstitut	31 802	54 230	36 262	41 027	5 331	682	169 394
In- och upplåning från allmänheten	825 810	97 993	103 480	2 829	10 438	3 478	1 050 028
varav företag	348 126	64 749	57 649	2 263	14 282	2 771	509 840
varav hushåll	477 684	13 244	45 831	505	2 156	707	540 188
Emitterade värdepapper	3 487	353 013	47	5 637	450 621	22 052	840 805
Efterställda skulder		20 519		6 722	9 814		37 054
Övriga ej valutafördelade poster, inkl. eget kapital	207 710						207 710
Summa skulder och eget kapital	1 068 860	625 764	139 789	56 215	488 204	26 222	2 369 063
Valutafördelade övriga tillgångar och skulder (netto)		78 752	-159 117	-16 205	384 007	23 582	
Nettoposition i valuta		27	8	-23	21	1	33

Bankens syn på valutarsäktagande framgår av not K2.

2023 mkr	SEK	EUR	NOK	GBP	USD	Övriga valutor	Totalt
Tillgångar							
Kassa och tillgodoshavande hos centralbanker	67 895	128 820	4 770	0	160 935	109	392 530
Utlåning till kreditinstitut	740 864	98 670	77 867	87 385	2 859	347	1 007 902
Utlåning till allmänheten	169 249	222 221	192 392	5 383	8 753	2 999	600 997
varav företag	142 719	139 759	165 117	5 331	8 594	1 945	464 463
varav hushåll	19 789	82 463	26 275	52	159	1 053	129 785
Bolåningsbara statskultförbindelser m.m.	181 752	7 501	30		9 778	1	199 128
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	37 572	465	12 223		509		50 791
Övriga ej valutafördelade poster	138 900						138 900
Summa tillgångar	1 336 232	457 708	287 294	92 768	182 835	3 456	2 360 344
Skulder							
Skulder till kreditinstitut	26 542	54 242	25 438	58 238	11 103	580	176 143
In- och upplåning från allmänheten	829 905	140 722	110 182	5 153	20 082	3 449	1 109 471
varav företag	351 212	112 056	75 816	4 535	17 668	2 677	593 964
varav hushåll	478 699	28 666	34 366	618	2 394	771	545 508
Emitterade värdepapper	3 767	310 003	0	10 604	459 581	22 211	806 167
Efterställda skulder	0	22 740		6 258	14 120		43 117
Övriga ej valutafördelade poster, inkl. eget kapital	225 445						225 445
Summa skulder och eget kapital	1 085 659	627 707	135 619	80 253	604 885	26 240	2 360 344
Valutafördelade övriga tillgångar och skulder (netto)		69 794	-151 632	-12 530	322 019	22 856	
Nettoposition i valuta		-155	43	-21	-11	72	-72



3.2

M42 Upplýsingar om nærstáende

Fordringer på og skulder til nærstående						
mkr	Dotterbolag		Intrasseforetag og joint ventures		Øvrige nærstående	
	2024	2023	2024	2023	2024	2023
Utlåning til kreditinstitut	905 998	959 034				
Utlåning til alminneligheten		1 142	434	394		
Derivat	5 617	8 909				
Øvrige tilganger	9 020	13 361	23	30	8	13
Summa	980 636	982 446	457	384	8	13
Skulder til kreditinstitut	84 975	85 791				
In- og opplåning från alminneligheten	18 726	20 145	919	311	1 214	1 159
Derivat	14 350	12 060				
Øvrige skulder	98	83				
Summa	118 150	118 079	919	311	1 214	1 169
Eventuallforpliktelse	295 867	272 990			7 494	7 000
Derivat, nominelle verdien	401 984	438 470				

Nærstående – inntekter og kostnader						
mkr	Dotterbolag		Intrasseforetag og joint ventures		Øvrige nærstående	
	2024	2023	2024	2023	2024	2023
Ränteinntekter	34 559	28 525	19	22		
Räntekostnader	-4 842	-5 129	-10	-3	-163	-149
Provisjoninntekter			1	1		
Provisjonskostnader			-202	-223		
Øvrige inntekter	3 673	3 590			19	18
Øvrige kostnader	-410	-452	-205	-177		
Summa	32 980	26 510	-397	-380	-144	-131

Spesifikasjon over dotterbolagene, intrasseforetagene og joint ventures finns i not M17. Intrasseforetagene og joint ventures virksomhet består av å utføre ulike typer av tjenester i anknøpning til de finansielle markedene. I gruppen øvrige nærstående inngår følgende foretak: Svenska Handelsbankens Pensjonstiftelse, Svenska Handelsbankens Personaltiftelse och Pensjonskassen SHB Tjänstepensionsförsäkring (Pensjonskassen). Foretaken anfører Svenska Handelsbanken AB för sedvanliga bank- och redovisningstjänster. Upplýsingar om aktiedeltagelse til konsern- og intrasseforetak finnes i not M17.

Pensjonskassens utbetalinger til ansatte i dotterbolag garanteres av moderbolaget, det vil si at om Pensjonskassen ikke skulle kunne betale sine uttagenden så er moderbolaget skyldig å ta over og betale uttagendet. Pensjonskassens forpliktelser oppgår til 7 494 mkr (7 000). Svenska Handelsbanken AB har begjært erstatning av Svenska Handelsbankens Pensjonstiftelse oppgående til 762 mkr (720) avsende pensjonskostnader samt av Svenska Handelsbankens Personaltiftelse oppgående til 28 mkr (14) for personalfremjende tiltak.

Information om kreditt til ledende betjenningshavere samt om ledende betjenningshavernes vilkår og erstatninger i øvrigt framgår av not K8.



3.2

Infledning

Förvaltningsberättelse

Finansiella rapporter
Moderbolaget

Hållbarhet

Övrigt

M43 Förslag till vinstdisposition

Styrelsen föreslår en utdelning om 15 kronor varav 7,50 kronor i ordinarie utdelning (13 kronor för 2023, varav 6,50 kronor i ordinarie utdelning). Styrelsens förslag till vinstdisposition finns på sidan 58.

M44 Aktieinformation

Aktieöversikt					
31 december 2024	Antal	% av kapital	% av röster	Aktiekapital	Kreditvärde
Serie A	1 044 777 105	98,22	99,82	3 014 404 000	1,55
Serie B	35 251 320	1,78	0,18	54 030 500	1,55
	1 080 028 424	100,00	100,00	3 068 434 500	

M45 Händelser efter balansdagen

Inga väsentliga händelser har inträffat efter balansdagen.



3.2

M46 Upplysningar om tillgångar och skulder som innehas för försäljning

Tillgångar och skulder i bankens verksamhet i Finland utgör tillgångar och skulder som innehas för försäljning i enlighet med IFRS 5, vilka är hänförliga till två olika avyttringsgrupper. Under det tredje kvartalet 2024 genomfördes en delavyttring av den första avyttringsgruppen till Oma Sparbank Abp, vilken utgörs av den

finska verksamheten som avser små och medelstora företag. Under det sista kvartalet 2024 avyttrades den resterande delen av den första avyttringsgruppen, vilken omfattar privatkunder inklusive kapitalförvaltning och placerings tjänsterna samt livförsäkringsrörelsen, till S-banken Abp respektive försäkringsaktiebolaget Fennia

Liv. Den verksamhet som därefter kvarstår i Finland utgör den andra avyttringsgruppen. Följande enheter i Finland ingår i den andra avyttringsgruppen och i den avvecklade verksamheten: Handelsbanken AB (publ) filial i Finland och Handelsbanken Asuntoluottopankki, Stadshypotek AB (publ) filial i Finland.

Tillgångar och skulder som innehas för försäljning

mkr	2024	2023
Tillgångar		
Kassa och tillgodohavanden hos centralbanker	14	10
Övrig utlåning till centralbanker		25 803
Utlåning till övriga kreditinstitut	1	3
Utlåning till allmänheten	44 207	82 093
varav hushåll	702	22 325
varav företag	43 475	60 307
Immateriella tillgångar	37	66
Fastigheter och inventarier	0	18
Övrigt	2 045	135
Summa	46 060	108 727
Skulder		
Skulder till kreditinstitut	247	960
In- och upplåning från allmänheten	0 742	51 556
varav hushåll	236	17 434
varav företag	0 507	34 122
Skulder där kunden står värdeförändringsrisken		
Avsättningar	182	187
Övrigt	206	908
Summa	10 440	53 662

I omräkningsreserven ingår ett belopp uppgående till ackumulerat 443 mkr (632) hänförligt till omräkning av tillgångar och skulder som innehas till försäljning, se Förändring i eget kapital Koncernen. Värdering av respektive avyttringsgrupp till det lägsta av verkligt värde, efter avdrag för försäljningskostnader, och redovisat värde har ej föranlett någon nedskrivning.



3.2

Inledning

Förvaltningsberättelse

Finansiella rapporter
Moderbolaget

Hållbarhet

Övrigt

M46 forts.

Arvecklad verksamhet

Intäkter, kostnader och resultat arvecklad verksamhet
Finland

mkr	2024	2023
Räntanetto	3 160	3 504
Provisionsnetto	300	324
Nettoreultat av finansiella transaktioner	15	29
Försäkringsnetto		
Övriga intäkter	4	9
Summa intäkter	3 403	3 866
Personalkostnader	-779	-830
Övriga kostnader	-623	-510
Av- och nedskrivningar av materiella och immateriella tillgångar	-39	-35
Summa kostnader	-1 440	-1 375
Kreditförluster, netto	54	44
Vinsten/förlusten vid avyttring av materiella och immateriella tillgångar	-1	-1
Statliga avgifter	-102	-70
Ärets resultat hänförligt till Finland före skatt	2 004	2 464
Skatter	-79	-81
Ärets resultat hänförligt till Finland efter skatt	1 925	2 384
Övriga kostnader hänförliga till arvecklad verksamhet ¹⁾	-11	-73
Skatter	2	15
Ärets resultat hänförligt till arvecklad verksamhet inklusive tillkommande kostnader efter skatt	1 916	2 326
Realisationsresultat vid försäljning av avyttringsgrupper som utgör arvecklad verksamhet före skatt	-131	
Skatter	26	
Realisationsresultat efter skatt	-105	
Ärets resultat hänförligt till arvecklad verksamhet efter skatt	1 811	2 326
Väsentliga interna transaktioner med kvarvarande verksamhet, vilka är eliminerade och inte ingår i ovanstående resultatposter ²⁾		
Intäkter	-12	0
Kostnader	-117	-115

1) Det tillkommer vissa kostnader i Sverige till följd av att den arvecklade verksamheten ska avyttras, vilka hänförs till arvecklad verksamhet. Exempelvis konsult- och juristkostnader.

2) Endast externa intäkter och kostnader ingår i resultatet från såväl kvarvarande som arvecklad verksamhet. Den arvecklade verksamheten har väsentliga interna transaktioner med kvarvarande verksamhet, vilka således är eliminerade i redovisningen. Eliminering av interna transaktioner hänförliga till räntanettet mellan arvecklad verksamhet i Finland och Treasury Justeras och därmed presenteras interna ränta-intäkter och interna ränta-kostnader i kvarvarande respektive arvecklad verksamhet.

Kassaflödesanalys arvecklad verksamhet

mkr	2024	2023
Kassaflöde från löpande verksamhet	-2 168	3
Kassaflöde från investeringsverksamhet	2 172	-8
Ärets kassaflöde från arvecklad verksamhet	4	-4

3.2

M47 Kapitaltäckning

EU KM1 – Mål för nyckeltal			
Nyckeltal		2024	2023
	Tillgänglig kapitalbas (belopp)		
1	Kärrprimärkapital	123 977	125 018
2	Primärkapital	134 928	140 844
3	Totalt kapital	161 824	168 123
	Riskenligda exponeringsbelopp		
4	Totalt riskenligt exponeringsbelopp	394 451	421 061
	Kapitalrelationer (som en procentandel av det riskenligda exponeringsbeloppet)		
5	Kärrprimärkapitalrelation (%)	31,4	29,8
6	Primärkapitalrelation (%)	34,2	33,4
7	Total kapitalrelation (%)	41,0	39,9
	Ytterligare kapitalbaskrav för att hantera andra risker än risken för alltför låg bruttosollditet (som en procentandel av det riskenligda exponeringsbeloppet)		
EU 7a	Ytterligare kapitalbaskrav för att hantera andra risker än risken för alltför låg bruttosollditet (%)	1,2	1,2
EU 7b	varav ska utgöras av kärrprimärkapital (%)	0,7	0,7
EU 7c	varav ska utgöras av primärkapital (%)	0,9	0,9
EU 7d	Totala kapitalbaskrav för överyns- och utvärderingsprocessen (%)	9,2	9,2
	Kombinerat buffertkrav och samlat kapitalkrav (som en procentandel av det riskenligda exponeringsbeloppet)		
8	Kapitalkonserveringsbuffert (%)	2,5	2,5
EU 8a	Konserveringsbuffert på grund av makrofinansialiser eller systemrisk identifierade på medlemsstatnivå (%)		
9	Institutspecifik kontraktyllisk kapitalbuffert (%)	2,0	1,9
EU 9a	Systemriskbuffert (%)		
10	Buffert för globalt systemviktigt institut (%)		
EU 10a	Buffert för andra systemviktiga institut (%)		
11	Kombinerat buffertkrav (%)	4,5	4,4
EU 11a	Samlat kapitalkrav (%)	13,7	13,6
12	Tillgängligt ärrprimärkapital efter uppfyllande av de totala kapitalbaskraven för överyns- och utvärderingsprocessen (%)	26,2	24,6
	Bruttosollditetsgrad		
13	Totalt exponeringsmått	1 544 065	1 600 855
14	Bruttosollditetsgrad (%)	8,7	8,7
	Ytterligare kapitalbaskrav för att hantera risken för alltför låg bruttosollditet (som en procentandel av det totala exponeringsmålet)		
EU 14a	Ytterligare kapitalbaskrav för att hantera risken för alltför låg bruttosollditet (%)		
EU 14b	varav ska utgöras av kärrprimärkapital (%)		
EU 14c	Totala krav avseende bruttosollditetsgrad för överyns- och utvärderingsprocessen (%)	3,0	3,0
EU 14d	Krav på bruttosollditetsbuffert (%)		
EU 14e	Samlat bruttosollditetskrav (%)	3,0	3,0
	Likviditetslikviditetskvot		
15	Totala högkvalitativa likvida tillgångar (viktat värde – genomsnitt)	842 356	790 916
EU 15a	Likviditetslikviditets – totalt viktat	578 024	595 524
EU 15b	Likviditetslikviditets – totalt viktat	154 050	174 788
16	Totala nettolikviditetslikviditets (justerat värde)	423 974	420 736
17	Likviditetslikviditetskvot (%)	201,6	192
	Stabil nettofinansieringskvot		
18	Total tillgänglig stabil finansiering	1 306 165	1 320 193
19	Totalt behov av stabil finansiering	1 159 673	1 211 510
20	Stabil nettofinansieringskvot (%)	112,6	109



3.2

Inledning

Förvaltningsberättelse

Finansiella rapporter
Moderbolaget

Hållbarhet

Övrigt

M47 forts.

EU OV1 – Översikt över totala riskvägda exponeringsbelopp
Tabellen visar riskvägda exponeringsbelopp (REA) för kreditrisk, motpartsrisk, marknadsrisk och operativ risk per utgången av 2023 och föregående år. Kreditrisk är beräknad enligt schablonmetoden, den grundläggande internmetoden och den avancerade internmetoden. Marknadsrisk och operativ risk är beräknade enligt schablonmetoden.

		Totala riskvägda exponeringsbelopp		Totala kapitalkrav
mkr		2024	2023	2024
1	Kreditrisk (exkl motparts kreditrisk)	327 689	350 282	26 214
2	varav schablonmetoden	145 115	148 672	11 009
3	varav den grundläggande internmetoden (F-IRB)	45 550	47 169	3 644
4	varav avancerad beräkningsmetoden			
EU 4a	varav enligt den enkla riskvägda metoden	2 905	2 182	232
5	varav den avancerade internmetoden (A-IRB)	106 076	139 864	8 495
5a	varav riskviktsgolv	28 029	21 401	2 243
6	Motparts kreditrisk	10 080	11 827	878
7	varav schablonmetoden	8 189	8 507	655
8	varav metoden med interna modeller			
EU 8a	varav exponeringar mot en central motpart	208	209	21
EU 8b	varav kreditvärderingsjustering	2 127	2 469	170
9	varav andra motparts kreditrisker	399	589	32
10	Ej tillämpligt			
11	Ej tillämpligt			
12	Ej tillämpligt			
13	Ej tillämpligt			
14	Ej tillämpligt			
15	Avvecklingsrisk			
16	Värdepappersföringsexponeringar utanför handelslagret (efter tillämpning av taket)			
17	varav intern kreditvärderingsmetod för värdepappersföring			
18	varav extern kreditvärderingsmetod för värdepappersföring (inbegripet internbedömningsmetoden)			
19	varav schablonmetoden för värdepappersföring			
EU 19a	varav i 250%-avdrag			
20	Positionerisk, valutakursrisk och råvarurisk (marknadsrisk)	9 224	11 003	738
21	varav schablonmetoden	9 224	11 003	738
22	varav metoden för interna modeller			
23	Operativ risk	46 577	39 569	3 726
EU 23a	varav basmetoden			
EU 23b	varav schablonmetoden	46 577	39 569	3 726
EU 23c	varav internmättningsmetoden			
24	Belopp under bräsklarna för avdrag (föremål för riskviktnings på 250%)			
25	Ej tillämpligt			
26	Ej tillämpligt			
27	Ej tillämpligt			
28	Ej tillämpligt			
29	Summa	394 461	421 681	31 596

Marknadsrisk som behandlas enligt schablonmetoden
Tabellen visar kapitalkrav för marknadsriskar enligt schablonmetoden per utgången av 2024.

		Kapitalkrav	
mkr		2024	2023
Direkta produkter			
Ränterisk (allmän och specifik)		277	243
Aktiekursrisk (allmän och specifik)		1	3
Valutakursrisk		451	618
Råvarurisk		0	0
Optioner			
Föranklad metod			
Delta-plus-metod			
Scenariometod		9	16
Värdepappersföring (specifik risk)			
Summa kapitalkrav för marknadsrisk		738	880



3.3

Styrelsens och VD:s underskrifter

Härmed försäkras att koncernredovisningen har upprättats i enlighet med International Financial Reporting Standards (IFRS), så som de antagits av EU, att moderbolagets årsredovisning har upprättats i enlighet med Lag om Årsredovisning i kreditinstitut och värdepappersbolag (ÅRL), Finansinspektionens föreskrifter och allmänna råd (FFFS 2008:25) samt RFR 2 Redovisning för juridiska personer, att års- och koncernredovisningen ger en rättvisande bild av koncernens och moderbolagets ställning och resultat samt att förvaltningsberättelsen ger en rättvisande översikt över utvecklingen av moderbolagets och koncernens verksamhet, ställning och resultat samt beskriver väsentliga risker och osäkerhetsfaktorer som moderbolaget och de övriga företag som ingår i koncernen står inför.

STOCKHOLM DEN 20 FEBRUARI 2025

Pär Boman
styrelseordförandeFredrik Lundberg
vice ordförandeJon Fredrik Baksas
styrelseledamotHélène Bamekow
styrelseledamotStina Bergfors
styrelseledamotHans Blörck
styrelseledamotKerstin Hessius
styrelseledamotAnna Hjelmberg
styrelseledamotLouise Lindh
styrelseledamotLena Renström
styrelseledamotUlf Riese
styrelseledamotMichael Green
verkställande direktör

2【主な資産・負債及び収支の内容】

上記「第6-1-(1) 連結財務書類」及び「第6-1-(2) 個別財務書類」の注記を参照のこと。

3【その他】

(1)訴訟及び規制手続

該当事項なし。

(2)後発事象

該当事項なし。

4【IFRS、信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法と日本の会計原則及び会計慣行の主要な相違】

当行グループの連結財務書類は欧州委員会により承認されている国際財務報告基準(以下「IFRS」という。)及び国際財務報告委員会解釈指針委員会による基準の解釈指針に準拠して作成されている。さらに、信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法(1995年第1559号)及びSFSAが発行した規定及び一般指針であるFFFS2008年第25号、信用機関及び証券会社における年次報告にも従っている。連結財務書類には企業グループの報告を規定するRFR第1号補足会計規則、並びにスウェーデン財務報告審議会による意見書も適用されている。

親会社の財務書類は、スウェーデンの信用機関及び証券会社に係る年次報告法(1995年第1559号)、SFSAが発行した規定及び一般指針であるFFFS2008年第25号、信用機関及び証券会社における年次報告、スウェーデン財務報告審議会の勧告RFR第2号「事業体に関する会計処理」及びスウェーデン財務報告審議会による意見書に準拠して作成されている。SFSAの推奨に準拠して、親会社は法定IFRSを採用している。これはEUが採用する国際財務報告基準及びこれらの基準の解釈が、国内法及び指令並びに会計と税との間の関連性の枠組みの範囲内で可能な限り採用されていることを意味する。

以下の記述は、当行グループが適用する会計基準のうち重要と考えられるものと日本の会計原則の差異を概説したものである。当行グループは、連結財務書類並びに親会社の個別財務書類及び関連注記に関して、日本の会計原則との間の比較表を作成しておらず、その差異を定量化していない。したがって、以下の記述が日本の会計原則との差異を網羅している保証はない。

(1) 連結

IFRS並びに信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法

IFRSでは、親会社に直接又は間接的に支配されている企業(子会社)はすべて連結される。親会社は企業への投資から生じるリターンの変動性にさらされているか、又はそのリターンに対する権利を有しており、かつ、その企業に対するパワーによりそのリターンに影響を及ぼすことができる場合に、その企業を直接支配しているとみなされるため連結する。

親会社は、類似の状況における同様の取引及び他の事象に関し、統一された会計方針を用いて、連結財務諸表を作成しなければならない。

日本の会計原則

日本の会計原則でも、親会社は支配しているすべての会社を連結することが求められている。一定の特
別目的会社については、一定の要件を満たす場合に子会社に該当しないものと推定され、連結することが
求められない。

親会社及び子会社が連結財務書類を作成するために採用する会計原則は、原則として統一されなければ
ならない。「連結財務書類作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」によれば、在外子
会社の所在地国の会計原則に準拠して作成された財務書類は原則として親会社の会計方針(日本の会計原
則)に修正する必要があるが、在外子会社の財務書類がIFRS又は米国会計基準に準拠して作成されている
場合は、のれんの償却、退職給付会計における数理計算上の差異の会計処理、研究開発費の会計処理、投
資不動産の時価評価及び固定資産の再評価の会計処理、資本性金融商品の公正価値の事後的な変動をそ
他の包括利益に表示する選択をしている場合の組替調整等の一定の項目の修正を除き、これを連結決算手
続上利用できることと規定されている。

(2) 企業結合及びのれん

IFRS並びに信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法

IFRSでは、企業結合は取得法で会計処理されている。のれんは当初取得原価で計上され、その後は減損
損失累計額を控除後の取得原価で計上される。のれんについては年一回、及び減損の兆候がある場合には
いつでも減損テストが実施される。

IAS第38号によると、のれん及び耐用年数を確定できない無形固定資産は連結財務書類において償却さ
れない。親会社において、耐用年数を確定出来ないその他の無形固定資産の取得は年次報告法の規定に準
拠して償却される。通常、買収により取得したのれんは20年で償却される。

日本の会計原則

日本の会計原則では、企業結合は原則としてパーチェス法により会計処理される。また、のれんは20年
以内の期間にわたり定額法その他の合理的方法により定期的に償却され、減損の兆候が認められた場合に
減損テストの対象となる。

(3) 非金融資産の減損

IFRS並びに信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法

IFRSでは、確定可能な耐用年数を有する無形資産は、資産に減損の兆候がある場合に減損について検証
が行われる。不動産及び器具備品の減損テストは、資産価値の減少の兆候がある場合に実施される。その
ような兆候が存在する場合、当該資産の回収可能価額が見積られ、必要な場合に減損損失が損益に認識さ
れる。減損損失は、IAS第36号の要件を満たす場合には損益に戻入ることができるが、戻入れ後に増加
する資産額は、減損処理前の価格を超えてはならない。

日本の会計原則

日本の会計原則では、減損の兆候が認められ、かつ割引前で見積り将来キャッシュ・フロー総額(20年
以内の合理的な期間に基づく)が帳簿価額を下回ると見積られる場合において、回収可能価額と帳簿価額
の差額につき減損損失を計上する。減損損失の戻入は認められない。

(4) 退職後給付

IFRS

確定給付型制度において年金債務は数理的手法に基づき測定されるが、ここでは予測単位積増方式を用
いて、給付が割り引かれている。制度資産は、公正価値で測定されている。当該制度資産が年金債務を超
える場合は資産(超過額)として、不足する場合は負債(不足額)として、それぞれ貸借対照表に計上されて

いる。制度資産からの期待収益は、正味確定給付債務(資産)の算定に使用される割引率を適用することで計算される。数理計算上の損益は、リサイクリングされず、その発生年度においてその他包括利益に計上される。

信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法

親会社は確定給付制度の会計に関するIAS第19号の規定を適用していない。その代わり、年金費用は年金債務保護法の規定及びSFSAの規定に準拠して親会社の年金数理計算を基に計算される。これは主に割引率の設定方法、親会社の年金債務の計算における将来債務の計算に将来の昇給が考慮されないこと、年金数理差損益は発生時に全額が認識されること(改訂IAS第19号と類似しているが、旧IAS第19号とは異なる。)に関して差異があることを意味する。認識された正味年金費用は、支払給付金及び年金拠出金から年金基金支給額を控除したものとされる。当期の正味年金費用は、親会社の損益計算書において人件費として報告される。

制度資産の価値が見積もり年金債務を超過したことによる超過額は親会社の財務書類において資産として認識されない。不足額は負債として認識される。

日本の会計原則

日本の会計原則でも、確定給付型年金制度は、退職給付債務から年金資産の額を控除した額が貸借対照表に計上される。数理計算上の差異は、各期の発生額について平均残存勤務期間以内の一定の年数で按分した額を每期費用処理(その他包括利益からリサイクリング)することとされており、また、発生時に費用処理する方法も認められている。

利息費用は退職給付債務に割引率を乗じて算定され、制度資産からの期待収益は、期首の年金資産の額に長期期待運用収益率を乗じて計算される。

(5) 非継続事業及び売却目的で保有する非流動資産

IFRS

売却目的に分類された非流動資産又は処分予定の資産及び負債は、貸借対照表(財政状態計算書)上、他の資産及び負債と区分して表示しなければならない。これらの資産及び負債を相殺して単一の金額として表示してはならない。また、売却目的保有として分類した非流動資産(又は処分予定の資産)に関連してその他包括利益で認識された収益又は費用の累計額を区分して表示しなければならない。(IFRS第5号)

日本の会計原則

資産又は負債を売却目的保有あるいは処分予定の資産及び負債へ分類する基準、並びに非継続事業の区分表示に関する基準はない。

(6) 保険契約

IFRS並びに信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法

IFRS第17号「保険契約」は、以下のものに適用しなければならない。

- (a) 当該企業が発行する保険契約(再保険契約を含む)
- (b) 当該企業が保有する再保険契約
- (c) 当該企業が発行する裁量権付有配当投資契約(企業が保険契約も発行する場合)

IFRS第17号における「保険契約」とは、「一方の当事者(発行者)が、他方の当事者(保険契約者)から、特定の不確実な将来事象(保険事故)が保険契約者に不利益を与えた場合に保険契約者に補償を行うことを同意することにより、重大な保険リスクを引き受ける契約」と定義されている。

日本の会計原則

日本においては、IFRS第17号のような「保険契約」の定義はないが、保険業者が「保険契約」として当局の許認可を受けた契約は「保険契約」とされている。

(7) 保険契約における測定

IFRS

IFRS第17号では、一般測定モデル、保険料配分アプローチ及び変動手数料アプローチの3つの測定アプローチに基づいた単一の評価原則を導入している。なお、当行グループは、以下(a)又は(b)を適用している。

(a) 一般測定モデル

IFRS第17号では、保険契約の評価に関する一般的なアプローチを定めており、当初認識時に、保険契約グループを下記の合計額で測定しなければならない。

(i) 履行キャッシュ・フロー（以下で構成される）

- ・ 将来キャッシュ・フローの見積り
- ・ 貨幣の時間価値及び将来キャッシュ・フローに係る金融リスク（当該金融リスクが将来キャッシュ・フローの見積りに反映されていない範囲で）を反映するための調整
- ・ 非金融リスクに係るリスク調整

(ii) 契約上のサービス・マージン

(b) 保険料配分アプローチ

グループの契約開始時において、下記のいずれかの場合に該当する場合に、かつ、その場合にのみ、保険契約グループの測定を単純化することができる。

- (i) そうした単純化による当該グループの残存カバーに係る負債の測定が、一般アプローチにおける要求事項を適用した場合の測定と重要性がある差異がないと企業が合理的に予想している場合、又は

- (ii) 当該グループの中の各契約のカバー期間が1年以内である場合

(c) 変動手数料アプローチ

一般測定モデルに一定の調整を加えたアプローチであり、直接連動有配当保険契約に関して適用される。

日本の会計原則

日本の会計原則では、このようなアプローチでの概念を扱った基準はなく、保険契約は保険業法に基づき、保険料及び責任準備金の算出方法書に記載された方法に従って計算し、積み立てられている。

(8) グループ利益分配

信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法

スウェーデンにおいては、連結税務申告は認められていない。

子会社から受領したグループ利益分配は、すべて親会社の損益計算書において受取配当金として報告される。このグループ利益分配は、親会社の貸借対照表において子会社持分の価値の増加として報告される。

日本の会計原則

日本の会計原則では、税金費用の最適化目的で行うグループ利益分配についての基準はない。

(9) 金融商品

金融商品の分類及び測定

IFRS

(金融資産)

IFRS9 では、金融資産の管理に関する企業の事業モデル及び、金融資産の契約条件により、元本及び元本残高に対する利息の支払のみであるキャッシュ・フローが所定の日に生じるという特性（以下「SPPI要件」という。）に基づき、原則として下記（a）～（c）のいずれかの事後測定が行われる金融資産に分類される。（IFRS第9号「金融商品」）

(a) 償却原価測定

契約上のキャッシュ・フローを回収するために金融資産を保有することを目的とする事業モデルの中で保有し、かつSPPI要件を満たす金融資産

(b) その他の包括利益（以下「OCI」という。）を通じて公正価値測定（以下「FVOCI」という。）

契約上のキャッシュ・フローの回収と売却の両方を目的とする事業モデルの中で保有し、かつSPPI要件を満たす金融資産

(c) 純損益を通じて公正価値で測定（以下「FVPL」という。）

上記以外の金融資産

上記の原則的分類に対し、下記の二つの例外が認められている。

・ 公正価値オプション

会計上のミスマッチを除去又は大幅に低減することとなる場合には、当初認識時に金融資産をFVPL 測定するという取り消しできない指定が可能

・ OCIオプション

資本性金融商品に対する投資について、当初認識時に公正価値の事後の変動をOCI に表示するという取り消しできない選択を行うことが可能。ただし、投資の売却時において、累積されたOCI を当期の損益に計上すること（以下「リサイクリング」という。）は認められない。

(金融負債)

純損益を通じて公正価値で測定する金融負債、一定の金融保証契約、公正価値オプションの指定を行った金融負債等の例外を除き、償却原価により事後測定する金融負債に分類される。

日本の会計原則

日本の会計原則では、企業会計基準第10号「金融商品に関する会計基準」に従い、金融資産および金融負債は以下のように測定される。

- ・ 売買目的有価証券は、時価で測定し、時価の変動は損益認識される。
- ・ 個別財務書類においては、子会社株式および関連会社株式は、取得原価で計上される。
- ・ 満期保有目的の債券は取得原価または償却原価で測定される。
- ・ 売買目的有価証券、満期保有目的の債券、子会社株式および関連会社株式以外の有価証券（「其他有価証券（IAS第39号における売却可能有価証券に類似）」）は、時価で測定し、時価の変動額は、純資産に計上され、売却、減損あるいは回収時に損益計算書へ計上される。
- ・ 市場価格のない株式等は取得原価をもって計上する。
- ・ 貸付金および債権は取得原価または償却原価で測定される。
- ・ 金融負債は債務額で測定される。ただし社債については償却原価法で評価される。
- ・ IFRSで認められる公正価値オプションに関する会計基準はない。

金融資産の減損

IFRS

IFRS9では、償却原価測定及びFVOCI 測定の金融資産、リース債権、IFRS 第15号「顧客との契約から生じる収益」の範囲に含まれる取引から生じた契約資産、ローン・コミットメント、金融保証契約に係る予想信用損失に対して損失評価引当金を認識する（IFRS第9号「金融資産」）。各報告日において、金融商品に係る信用リスクが当初認識以降に著しく増大している場合には、当該金融商品に係る損失評価引当金を全期間の予想信用損失の金額で、金融商品に係る信用リスクが当初認識以降に著しく増大していない場合には、当該金融商品に係る損失評価引当金を12か月の予想信用損失の金額で測定する。

金融商品に係る信用リスクが当初認識以降に著しく増大しているかどうかを判定するにあたっては、予想信用損失の金額の変動ではなく、当該金融商品の予想存続期間にわたる債務不履行発生リスクの変動を用いて行う。

予想信用損失を測定する際に考慮すべき最長の期間は、企業が信用リスクに晒される最長の契約期間（延長オプションの行使による期間を含む。）を使う。

金融商品の予想信用損失は、下記を反映する方法で見積もる。

- ・ 一定範囲の生じ得る結果を評価することにより算定される偏りのない確率加重金額
- ・ 貨幣の時間価値
- ・ 過去の事象、現在の状況及び将来の経済状況の予測についての、報告日において過大なコストや労力を掛けずに利用可能な合理的で裏付け可能な情報

日本の会計原則

日本では企業会計基準第10号に従い、債権の貸倒見積高は、債務者の財政状態及び経営成績等に応じ、「一般債権」、「貸倒懸念債権」、「破産更生債権等」に区分し、それぞれに応じて定められた方法により算定する。

売買目的以外の有価証券のうち時価があるものについて、時価が著しく下落した場合に、回復する見込みがあると認められる場合を除き、減損損失が認識され、当該資産の帳簿価額は時価まで減額される。減損損失の額は当期純利益に認識される。

その他有価証券について減損損失の認識を行う場合、純資産に認識された累積未実現損失は、純資産から除かれ、当期純利益に認識される。減損損失の戻入は認められない。

ヘッジ

IFRS並びに信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法

一定の条件が満たされた場合は、下記の種類のヘッジ関係に係るヘッジ会計が認められている。

- ・ 公正価値ヘッジ(すなわち、特定のリスクに起因し、損益に影響を与える可能性がある、認識済みの資産又は負債の公正価値の変動に対するエクスポージャーのヘッジ) — ヘッジ会計上、ヘッジ手段の損益は損益計算書に計上されている。また、ヘッジされたリスクに起因するヘッジ対象の損益はヘッジ対象の帳簿価額により調整され、これもまた損益計算書に計上されている。
- ・ キャッシュフロー・ヘッジ(すなわち、認識済み資産又は負債に係る特定のリスク又は発生の可能性の高い予定取引に起因し、損益に影響を与える可能性がある、キャッシュ・フローの変動可能性に対するエクスポージャーのヘッジ) — ヘッジ会計上、ヘッジ手段の損益のうち有効なヘッジと判断される部分はその他包括利益に計上され、非有効部分は損益計算書に計上される。
- ・ 在外営業活動体に対する純投資のヘッジ — ヘッジ会計上、ヘッジ手段の損益のうち有効なヘッジと判断される部分はその他包括利益に計上され、非有効部分は損益に計上されている。

IFRSでは、類似の資産、負債、発生可能性の非常に高い予定取引又は在外営業活動体に対する純投資のポートフォリオをヘッジ対象とすることができる。このため、IAS第39号は類似した項目のみを1つのポートフォリオにグループ化することを認めている。次の両方に該当する場合、項目は類似していると考えられる。a)ヘッジされるリスクを共有していること、b)ヘッジされるリスクに起因する個々の項目の公正価値の変動は、ヘッジされるリスクに起因するポートフォリオの公正価値の全体の変動におおむね比例すると見込まれること。

日本の会計原則

日本の会計原則では、デリバティブ金融商品について、会計基準により定められたヘッジ会計の要件を満たす場合には、原則として、「繰延ヘッジ会計」(ヘッジ手段の損益を貸借対照表の「純資産の部」に計上し、ヘッジ対象が損益計上されるのと同じ会計期間に損益に計上する。)が適用されるが、その他有価証券については、「時価ヘッジ会計」(ヘッジ手段の損益を発生時に計上するとともに、同一の会計期間にヘッジ対象の損益も計上する。)を適用できる。

日本の会計原則では、リスク要因(金利リスク、為替リスク等)が共通しており、かつ、リスクに対する反応が同一グループ内の個々の資産又は負債との間でほぼ同様である場合に、ポートフォリオに対するヘッジ指定ができる。

金融資産の認識の中止

IFRS並びに信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法

金融資産からのキャッシュ・フローに対する契約上の権利が消滅し、又は金融資産が譲渡され、かつ、その譲渡が認識の中止の要件を満たす場合、金融資産の認識は中止される。

譲渡においては、報告企業は、資産のキャッシュ・フローを受取る契約上の権利を移転すること、又は資産のキャッシュ・フローの権利を留保するが、そのキャッシュ・フローを第三者に支払う契約上の義務を引受けることのいずれかを要求される。譲渡に際して、会社は、譲渡した資産の所有に係るリスクと経済価値がどの程度留保されているかを評価する。実質的にすべてのリスクと経済価値が留保されている場合は、その資産は引続き貸借対照表(財政状態計算書)で認識される。実質的にすべてのリスクと経済価値が移転された場合は、当該資産の認識は中止される。

実質的にすべてのリスクと経済価値が留保も移転もされない場合は、会社はその資産の支配を引続き留保しているかどうかについて評価をする。支配を留保していない場合は、当該資産の認識は中止される。一方、会社が支配を留保している場合、継続関与の程度に応じて、引続きその資産を認識する。

日本の会計原則

日本の会計原則では、「金融商品に係る会計基準」により、金融資産は金融資産の契約上の権利を行使したとき、権利を喪失したとき、又は権利に対する支配が他に移転したときに認識が中止される。金融資産の契約上の権利に対する支配が他に移転するのは、(a)譲渡された金融資産に対する譲渡人の契約上の権利が譲渡人及びその債権者から法的に隔離され、(b)譲受人が譲渡された金融資産の契約上の権利を直接又は間接に享受でき、(c)譲渡人が譲渡した金融資産を当該金融資産の満期前に買戻す又は償還する権利及び義務を有していない場合である。

(10) リース

IFRS並びに信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法

IFRSでは、IFRS第16号「リース」に従い、借手はリースをファイナンス・リース取引とオペレーティング・リース取引に区分せず、単一の借手会計処理モデルを適用する。すべてのリース契約（短期リース契約及び原資産が少額であるリース契約を除く）につき、借手の貸借対照表に資産（使用権資産）および負債が認識される。また当該資産の減価償却費ならびにリース債務に係る支払利息は損益計算書に認識される。

日本の会計原則

企業会計基準第13号に従い、借手はリースをファイナンス・リース取引とオペレーティング・リース取引に区分する。借手のファイナンス・リース取引は、通常の売買取引に係る方法に準じて、リース物件とこれに係る債務をリース資産及びリース債務として貸借対照表に計上する。ただし、リース契約1件当たりのリース料総額が300万円以下のリース取引や、リース期間が1年以内のリース取引などは、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行うことができる。

オペレーティング・リース取引とは、ファイナンス・リース取引以外のリース取引をいう。オペレーティング・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じて会計処理を行う。

第7【外国為替相場の推移】

1【最近5年間の事業年度別為替相場の推移】

(1スウェーデン・クローネ当たり、単位：円)

事業年度	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
決算月日	12月31日	12月31日	12月31日	12月31日	12月31日
最高	12.63	13.39	13.69	14.31	15.39
最低	10.58	12.34	11.55	12.34	13.61
平均	11.63	12.81	12.99	13.25	14.35
期末	12.63	12.74	12.68	14.23	14.39

出典：株式会社三菱UFJ銀行「1990年以降の為替相場」

(http://www.murc-kawasesouba.jp/fx/past_3month.php)において公表されている対顧客電信売買相場の仲値

2【最近6月間の月別最高・最低為替相場】

(1スウェーデン・クローネ当たり、単位：円)

月別	2024年12月	2025年1月	2025年2月	2025年3月	2025年4月	2025年5月
最高	14.39	14.32	14.24	15.10	14.98	15.16
最低	13.61	13.93	13.83	14.02	14.44	14.79
平均	14.00	14.13	14.06	14.70	14.75	14.98

出典：株式会社三菱UFJ銀行「1990年以降の為替相場」

(http://www.murc-kawasesouba.jp/fx/past_3month.php)において公表されている対顧客電信売買相場の仲値

3【最近日の為替相場】

1スウェーデン・クローネ＝15.10円（2025年6月20日）

出典：株式会社三菱UFJ銀行「1990年以降の為替相場」

(http://www.murc-kawasesouba.jp/fx/past_3month.php)において公表されている対顧客電信売買相場の仲値

第8【本邦における提出会社の株式事務等の概要】

該当事項なし。

第9【提出会社の参考情報】

1【提出会社の親会社等の情報】

該当事項なし。

2【その他の参考情報】

2024年1月1日以降、本書の提出日までの間に、提出された書類及び提出日は以下のとおりである。

- (1) 有価証券報告書及びその添付書類
2024年6月26日 関東財務局長に提出
- (2) 半期報告書及びその添付書類
2024年9月27日 関東財務局長に提出

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

第1【保証会社情報】

該当事項なし。

第2【保証会社以外の会社の情報】

該当事項なし。

第3【指数等の情報】

該当事項なし。

(翻訳)

監査報告書

注：これはスウェーデン語で公表された報告書の非公式の翻訳であり、原報告書と本翻訳の間に齟齬がある場合には、スウェーデン語版が優先されるものとする。

スヴェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクト（企業識別番号502007-7862号）

定時株主総会御中

年次財務諸表及び連結財務諸表に関する報告

監査意見

私たちは、15ページ（訳注：原文のページ番号である。以下同様。）のサステナビリティ・レポート及び40-57ページのコーポレート・ガバナンス報告書を除く、スヴェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクトの2024年度の年次財務諸表及び連結財務諸表の監査を行った。当社の年次財務諸表及び連結財務諸表は本書の10-247ページに含まれている。

私たちの意見では、年次財務諸表は信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法に準拠して作成されており、また、親会社の2024年12月31日現在の財政状態並びに同日に終了した事業年度の経営成績及びキャッシュ・フローの状況は、同法に準拠し、すべての重要な点において適正に表示されているものと認める。連結財務諸表は、信用機関及び証券会社に係る年次報告法に準拠して作成されており、また、当行グループの2024年12月31日現在の財政状態並びに同日に終了した事業年度の財務成績及びキャッシュ・フローの状況は、同法及びEUが採択したIFRS会計基準に準拠し、すべての重要な点において適正に表示されているものと認める。

私たちの意見は、40-57ページのコーポレート・ガバナンス報告書及び15ページのサステナビリティ・レポートは対象としていない。法定経営報告書は年次財務諸表及び連結財務諸表の他の部分と整合している。

したがって、私たちは、定時株主総会に対し親会社及び当行グループの損益計算書及び貸借対照表の採択を勧告する。

年次財務諸表及び連結財務諸表に関する本報告書の中の私たちの意見は、監査規則（537/2014）第11条に準拠して親会社の監査委員会に提出されている追加の報告書の内容と整合している。

監査意見の基礎

私たちは、国際監査基準（以下、「ISA」という。）及びスウェーデンにおいて一般に公正妥当と認められる監査基準に準拠して監査を行った。本基準における私たちの責任は「監査人の責任」項目で詳述されている。私たちは、スウェーデンの会計士に係る職業倫理に準拠して親会社及び当行グループから独立しており、これらの規定で定められている私たちの倫理的責任を果たした。これには、私たちの知る限りにおいて、監査先企業又は該当する場合、その親会社若しくはEUの中で支配下にある企業に対し、監査規則（537/2014）第5条1項に規定されている禁止業務は行われていないことが含まれている。

私たちは、私たちの意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査上の主要な検討事項

監査上の主要な検討事項とは、私たちの職業的専門家としての判断において、当年度の年次財務諸表及び連結財務諸表で最も重要な事項である。これらの事項は、年次財務諸表及び連結財務諸表全体に対する監査及び監査意見の形成において対応したものであるが、私たちはこれらの事項に対し個別に意見を表明しない。各事項に対し、監査上どのように対応したかについて記載されている。

私たちは、これらの事項に関するものを含め、私たちの報告書の中の財務諸表の監査対象部分に対し、監査人の責任のセクションにおいて記載されている責任を果たした。従って、私たちの監査には財務諸表及び連結財務諸表の重要な虚偽表示リスクの評価に対応するために策定された手続の実施が含まれている。私たちの監査手続の結果は、後述する事項に対応するために実施した手続を含め、添付の財務諸表に対する監査意見の基礎を提供している。

予想信用損失引当金

本項目に関する詳細情報及び説明は、年次財務諸表及び連結財務諸表に示されている。信用リスクエクスポージャー及び信用リスク管理方法については102ページの注記G2で説明されている。当行グループが計上した予想信用損失については注記G10に記載されている。親会社に関する情報は注記P2及びP10に記載されている。関連する当行グループの会計方針は、注記G1のセクション6及びセクション13で説明されている。注記P1には、貸出及び予想信用損失引当金に関する親会社の会計原則が当行グループの会計原則と一致していることが記載されている。

監査上の主要な検討事項

2024年12月31日現在の一般顧客への貸出金は2,297,878百万スウェーデン・クローネ（親会社は524,171百万スウェーデン・クローネ）であり、これは資産合計の65%（親会社は23%）である。オフバランスシート・コミットメントを含めた全体的な信用リスクエクスポージャーの金額は3,699,017百万スウェーデン・クローネ（親会社は2,952,370百万スウェーデン・クローネ）であった。

一般顧客への貸出金に対する予想信用損失引当金の金額は1,609百万スウェーデン・クローネ（親会社は836百万スウェーデン・クローネ）であり、そのうちの538百万スウェーデン・クローネ（親会社は169百万スウェーデン・クローネ）はモデルベース及びエキスパートベースの算定に基づいており（ステージ1及び2）、1,071百万スウェーデン・クローネ（親会社は666百万スウェーデン・クローネ）はマニュアルの算定（ステージ3）によるものであった。モデルでは会計処理されない要因を勘案するために、当行はステージ1及び2に関するモデルベースの算定結果に対しエキスパートベースの調整を加えている。

予想信用損失引当金は、一定範囲の生じ得る結果を評価することにより算定され、また過去の事象、現在の状況及び将来の経済状況に基づいた偏りのない確率加重された金額を反映する方法で測定される。引当を行うに当たり、当行には、信用リスクの著しい増大を特定するための要件に関する見積りと仮定を行うこと及び予想信用損失を算定する方法を構築することが求められている。算定の複雑さに加え、当行には計上金額に重要な影響を及ぼす見積りと仮定が求められることから、予想信用損失引当金の評価は監査上の主要な検討事項であると考えられる。

監査における本項目への対応

私たちは、倒産確率、デフォルト時損失率、デフォルト時エクスポージャー、予想信用損失に加え、信用リスクの著しい増大に関する当行の評価がIFRS第9号に従っているかどうかを評価した。

私たちは、与信判断、与信レビュー、格付区分を含む与信プロセスのほか、デフォルトとみなされる与信の識別及び判定におけるキーコントロールのデザインについて理解しテストを実施した。私たちはまた、モデルデータのインプットに係る統制及び、関連システムに係るシステムアクセス管理を含むIT全般統制のテストを実施した。

さらに私たちは、試査により当行の当初の信用格付と最新の信用格付を検討した。私たちは、モデルにおいて使用される対応システムで処理されているデータが網羅的かつ正確であるかどうかをテストした。

私たちは、仮定とパラメーターを含むモデルの検証と評価を行ったほか、モデルの機能を確認した。また実施されたモデル検証結果を検討し評価し、使用されたマクロ経済データの妥当性を検討した。私たちはエキスパートベースによる引当を含め、当行が行ったマニュアルベースの修正の妥当性を検討した。監査の過程において私たちは、内部のモデル専門家の支援を受けて監査手続を実施した。

私たちはまた、予想信用損失に関する財務報告における開示が適切であるかについて検討した。

市場価格が入手できない金融商品の評価

本項目に関する詳細情報及び説明は、年次財務諸表及び連結財務諸表に示されている。公正価値で測定される金融商品について、当行グループについては注記G42、親会社については注記P37で説明されている。関連する当行グループの会計原則は、72ページの注記G1のセクション5で説明されている。注記P1には、公正価値で測定される金融商品に関する親会社の会計原則が当行グループの会計原則と一致していることが記載されている。

監査上の主要な検討事項

当行は市場価格が入手不能な金融商品を有しており、この場合、公正価値は市場データに基づく評価モデルを利用して決定されている。これらの金融商品はIFRSの公正価値評価ヒエラルキーのレベル2に区分される。またスヴェンスカ・ハンデルスバンケンは、評価モデルを使用して公正価値測定が決定され、その評価が外部の市場データによる裏付け不能なインプットデータに影響される金融商品を一部保有している。これらの金融商品はIFRSの公正価値評価ヒエラルキーのレベル3に区分されている。

当行グループは52,852百万スウェーデン・クローネ（親会社は73,669百万スウェーデン・クローネ）のレベル2の金融資産及び19,390百万スウェーデン・クローネ（親会社は30,901百万スウェーデン・クローネ）のレベル2の金融負債を保有している。レベル3の金融資産及び負債の金額は、それぞれ194百万スウェーデン・クローネ（親会社は179百万スウェーデン・クローネ）及び17百万スウェーデン・クローネ（親会社は17百万スウェーデン・クローネ）である。

レベル2の金融商品の多くが、金利スワップ及びさまざまな種類の線形通貨デリバティブをはじめとしたデリバティブや、ファンド株式、利付金融商品である。これらの金融商品は、市場金利及びその他の市場価格に基づく評価モデルを使用して評価される。レベル3の金融商品は、主にジョイント・ベンチャーの非上場株式及び保険事業における投資で構成される。算定の複雑さに加え、計上金額に重要な影響を及ぼす当行の評価が必要とされることから、市場価格が入手できない金融商品の評価は監査上の主要な検討事項であると考えられる。

監査における本項目への対応

私たちは、公正価値ヒエラルキーの分類も含め、市場価格が入手できない金融商品に対する当行の評価方法がIFRS第13号に準拠しているかどうかを評価した。

私たちは、当行のモデルベースの計算で使用された手法と仮定の評価と承認、データ品質管理及び内部評価モデルの変更管理を含めた、評価プロセスにおけるキーコントロールをテストした。私たちはまた、関連システムの権限管理を含むIT全般統制をテストした。

さらに私たちは、市場価格が入手できない金融商品の評価に用いられた手法と仮定を検証した。私たちは、評価モデルを評価ガイダンスや標準的な業界慣行と比較した。私たちは、用いられた仮定を適切なベンチマークや価格情報源と比較し著しい乖離について調査したほか、サンプルベースでの独自の評価により計算の正確性を確認した。私たちは、一部の監査手続については内部の評価専門家の支援を受けて実施した。私たちはまた、金融商品の公正価値に関する財務諸表の開示が適切であるかどうか評価した。

年次財務諸表及び連結財務諸表以外のその他の情報

この報告書には、年次財務諸表及び連結財務諸表以外のその他の情報（原文の1-9ページ及び254-382ページに記載されている。）も含まれている。2024年度に係る報酬報告書も同様にその他の情報に該当する。取締役会及び最高経営責任者はその他の情報について責任を負っている。

年次財務諸表及び連結財務諸表に対する私たちの意見は、当該情報を対象としていない。また、私たちは当該その他の情報に関していかなる形式の保証の結論も表明しない。

年次財務諸表及び連結財務諸表監査に関連する私たちの責任は、上記で特定された情報を通読しその情報と年次財務諸表及び連結財務諸表との間に重要な不整合があるか否かを検討することである。この手続により、私たちは監査の過程で得た知識から、この情報に重要な虚偽表示があると考えられるか否かについても評価した。

当該情報に関する私たちの手続に基づいて、当該その他の情報に重要な虚偽表示があると結論づけられた場合、私たちはその事実の報告が求められる。この件について私たちからの報告事項はない。

取締役会及び最高経営責任者の責任

取締役会及び最高経営責任者は、信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法に準拠して適正に表示された年次財務諸表の作成、及びEUに採択されたIFRS会計基準に準拠して適正かつ正確に表示された連結財務諸表を作成する責任がある。取締役会及び最高経営責任者はまた、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない年次財務諸表及び連結財務諸表の作成に必要と考える内部統制に対する責任がある。

年次財務諸表及び連結財務諸表の作成において、取締役会及び最高経営責任者は、当社及び当行グループが継続企業として存続する能力を評価する責任がある。該当する場合には、継続企業に関する事項を開示し、継続企業を前提とした会計を適用する。ただし、継続企業を前提とした会計は、取締役会及び最高経営責任者が当社の清算、事業を終了する意思がある場合、または現実的にそれ以外の代替手段がない場合には適用されない。監査委員会は、取締役会の責任及び全般的な業務に影響を及ぼさず、特に当社の財務報告プロセスを監視する。

監査人の責任

私たちの目的は、全体としての年次財務諸表及び連結財務諸表に、不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかに関する合理的な保証を得て、私たちの意見を含めた監査報告書を発行することにある。合理的な保証は高い水準の保証であるが、国際監査基準（以下、「ISA」という。）及びスウェーデンにおける一般に公正妥当と認められる監査基準に準拠した監査が、存在するすべての重要な虚偽表示を常に発見することを確認するものではない。虚偽表示は、不正又は誤謬から発生する可能性があり、個別に又は集約して、年次財務諸表及び連結財務諸表利用者の経済的意思決定に影響することが合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。ISAに準拠した監査の過程を通じて、私たちは職業的専門家としての判断を行使し、職業的専門家としての懐疑心を保持する他、以下を実施した。

- ・不正又は誤謬による年次財務諸表及び連結財務諸表の重要な虚偽表示リスクの識別及び評価、これらリスクに対応した監査手続の立案及び実施、並びに私たちの監査意見の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手した。不正には、共謀、文書の偽造、取引等の記録からの意図的な除外、虚偽の陳述、又は内部統制の無効化を伴うため、不正による重要な虚偽表示リスクを発見できないリスクは、誤謬による重要な虚偽表示を発見できないリスクよりも高くなる。
- ・状況に応じた適切な監査手続を立案するために、私たちの監査に関連する当社の内部統制を理解する。ただし、これは、当社の内部統制の有効性に対する意見を表明するためではない。
- ・適用されている会計方針の適切性、並びに取締役会及び最高経営責任者によって行われた会計上の見積り及び関連する開示の妥当性を評価した。
- ・取締役会及び最高経営責任者が、継続企業を前提とした会計に基づく年次財務諸表及び連結財務諸表を作成することの適切性について結論を得た。私たちは、入手した監査証拠に基づいて当社及び当社グループの事業継続能力に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関する重要な不確実性が認められるかどうかについて結論に達した。重要な不確実性が認められる場合、私たちは、監査報告書において年次財務諸表及び連結財務諸表関連の開示に注意喚起することが求められる。また、その開示が不適切である場合は、年次財務諸表及び連結財務諸表に対して除外事項付意見を表明する。私たちの結論は監査報告書の日付までに入手した以下の監査証拠に基づいている。しかしながら、将来の事象又は状況により当社及び当社グループは継続企業として存続できなくなる場合がある。
- ・年次財務諸表及び連結財務諸表全体の表示、構成及び内容について評価した。ここには年次財務諸表及び連結財務諸表が基礎となる取引及び事象を適正に表示しているか否かの評価が含まれる。
- ・連結財務諸表に対する意見表明のための、当行グループ内の企業活動及び事業活動の財務情報に関する十分かつ適切な監査証拠を入手した。私たちはグループ監査を指示、監督及び実施する責任がある。私たちは監査意見について単独で責任を負う。

私たちは、その他の事項とともに、監査の範囲及び時期に関する監査計画について取締役会に報告しなければならない。私たちはまた、私たちが識別した内部統制の重要な不備を含む重要な監査上の発見事項について報告しなければならない。

また私たちは、取締役会に対して私たちが独立性に関する倫理規定に準拠している旨の宣誓書を提供しなければならないほか、取締役会に対して、私たちの独立性に影響することが合理的と考えられる関係及びその他の事項のすべてを報告し、また、該当する場合には関連するセーフガードを通知しなければならない。

私たちは、取締役会に報告された事項の中で、最も重要と評価された重要な虚偽表示リスクを含む、年次財務諸表及び連結財務諸表監査において最も重要と考える事項を決定した。したがって、これが監査上の主要な

検討事項となる。私たちは、これらの事項について法規制により公表が禁止されている場合を除き、これらの事項を監査報告書において説明している。

他の法令上の要件及び規制上の要件に関する報告

会社の業務及び会社の利益処分案の監査に関する監査人の監査

監査意見

私たちは、年次財務諸表及び連結財務諸表の監査に加えて、2024年度のスヴェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクトの取締役会及び最高経営責任者の業務及び当社の利益処分案も監査した。

私たちは、定時株主総会に対して、法定経営報告書に記載されている提案に従った利益処分、及び当事業年度について取締役会のメンバー及び最高経営責任者の責任解除を勧告する。

監査意見の基礎

私たちはスウェーデンにおいて一般に公正妥当と認められる監査基準に準拠して監査を実施した。本基準における私たちの責任は、「監査人の責任」項目に詳述されている。私たちは、スウェーデンの会計士に係る職業倫理に準拠して親会社及び当行グループから独立しており、これらの規定で定められている私たちの倫理的責任を果たした。私たちは、私たちの意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

取締役会及び最高経営責任者の責任

取締役会は、当社の利益処分案について責任がある。この責任には、配当案において、当社及び当行グループの事業内容、範囲及びリスクが、親会社及び当行グループの資本規模、連結要件、流動性及び全般的な財政状態に及ぼす要件に照らして、配当が正当なものであるか否かの評価が含まれている。

取締役会は当社の組織及び業務経営について責任がある。この責任には、特に当社及び当行グループの財政状態の継続評価に加え、当社の経理、資産管理及び財政状況が適切な方法で管理されるよう組織を整備することが含まれる。

最高経営責任者は、「取締役会ガイドライン及びインストラクション」に従って継続的に業務運営を行うほか、法令に準拠して当社の会計処理を行い、確実に資産の管理を行うために必要な措置を講じなければならない。

監査人の責任

業務監査に関する私たちの目的、責任解除に関する私たちの意見は、取締役会のメンバー又は最高経営責任者の誰かが、重要な点において、以下のいずれかに該当するか否かについて合理的な保証を得るために監査証拠を入手することである。

- ・当社に不利益をもたらし得る行為若しくは不作為を行った又は
- ・何らかの方法により、会社法、銀行及び金融業法、信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法又は定款に違反する行為を行った

当社の利益処分案の監査及び監査意見に関する私たちの目的は、利益処分案が会社法に準拠しているか否かについて合理的な保証を得るために評価することにある。

合理的な保証は高い水準の保証であるが、スウェーデンにおいて一般に公正妥当と認められる監査基準に準拠した監査が、当社に不利益をもたらし得る行為若しくは不作為があること、及び利益処分案が会社法に準拠していないことを常に発見することを確約するものではない。

スウェーデンにおいて一般に公正妥当と認められる監査基準に準拠した監査の過程を通じて、私たちは職業的専門家としての判断を行使し、職業的懐疑心を保持する。業務及び当社の利益処分案の調査は主に財務諸表の監査に基づいている。追加の監査手続は、リスク及び重要性を主眼に、職業的専門家としての判断に基づいて実施された。これは、事業への影響が高く、逸脱及び違反が会社の状況にとって重大となる行為、領域、及び関連性の検査に私たちが注力したことを意味する。私たちは、行使された意思決定、営業判断に用いられた裏付け、実施された行動及び責任解除に関する私たちの意見に影響する他の状況について検証しテストを実施

した。取締役会による当社の利益処分案に対する意見の基礎として、私たちは、本処分案が会社法に準拠していたかどうかを評価するために取締役会の陳述書及び選択された裏付証拠を検証した。

ESEFレポートに対する監査人の検証

意見

私たちは、年次財務諸表及び連結財務諸表の監査に加えて、スウェーデン証券市場法(2007:528)第16章セクション4(a)に従い、取締役会及び最高経営責任者により、2023年度のスヴェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクトの年次財務諸表及び連結財務諸表が、欧州単一電子報告(Esefレポート)を可能にするフォーマットで作成されていることを検証した。

私たちの検証及び意見は法定要件にのみ関連している。私たちの意見では、Esefレポートは、すべての重要な点において、単一電子報告が可能なフォーマットで作成されている。

意見の基礎

私たちは、FARの勧告RevR18「ESEFレポートの検証」に準拠して検証を行った。本勧告に基づく私たちの責任は、監査人の責任のセクションに詳述されている。私たちは、スウェーデンの会計士の職業倫理に従い、スヴェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクトから独立しているほか、これらの要件に従って私たちの倫理的責任を果たしている。

私たちは、意見表明の基礎となる十分かつ適切な証拠を入手したと判断している。

取締役会及び最高経営責任者の責任

取締役会及び最高経営責任者は、スウェーデン証券市場法(2007:528)第16章セクション4(a)に準拠したESEFレポートの作成、及び、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のないESEFレポートを作成するため取締役会及び最高経営責任者が必要であると考える内部統制に対する責任がある。

監査人の責任

私たちの責任は、実施した手続に基づいて、ESEFレポートがすべての重要な点においてスウェーデン証券市場法(2007:528)第16章セクション4(a)の要求事項を満たすフォーマットで作成されているかどうかに関する合理的な保証を得ることである。

RevR18は、ESEFレポートがこれらの要求事項を満たすフォーマットで作成されていることを合理的に保証するための手続を計画し実施することを要求している。

合理的な保証は高い水準の保証であるが、RevR18及びスウェーデンにおける一般に公正妥当と認められる監査基準に準拠して実施された業務が、存在しているすべての重要な虚偽表示を常に発見することを確認するものではない。虚偽表示は、不正又は誤謬から発生する可能性があり、個別に又は集約して、ESEFレポートに基づいて行われる利用者の経済的意思決定に影響することが合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

私たちは、職業倫理上の要求事項、専門的職業基準並びに法令及び規制上の要求事項の遵守に関する方針・手続書を含む品質管理システムを設計し導入し維持するよう求めている、品質管理に関する国際基準第1号を適用している。

本検証には、様々な手続を通じて、年次財務諸表及び連結財務諸表の単一電子報告が可能なフォーマットでESEFレポートが作成されていることの証拠を入手することが含まれる。選択される手続は、報告書における不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクに係る評価を含む、監査人による判断に依拠している。このリスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、私たちは、内部統制のうち取締役会及び最高経営責任者によるESEFレポートの作成に関連する要素を検討する。ただし、これは、当該内部統制の有効性に対する意見を表明するためではない。また、本検証には、取締役会及び最高経営責任者が設定した仮定の適切性及び合理性に関する評価も含まれる。

この手続には主に、Esefレポートが有効な XHTML フォーマットで作成されているかどうかの検証及び、Esefレポートと監査済年次財務諸表及び連結財務諸表との調整作業が含まれる。

またこの手続には、Esefレポートの中の損益計算書、財政状態計算書、持分変動計算書及びキャッシュ・フロー計算書並びに注記が、Esefの規制に従い iXBRL でタグ付けされているかどうかの評価も含まれる。

コーポレート・ガバナンス報告書に関する監査人の検討

取締役会は、40-57ページのコーポレート・ガバナンス報告書をスウェーデン年次報告法に従って作成することに責任を負っている。私たちの検討は、FARの勧告RevU16「コーポレート・ガバナンスに関する監査人の検討」に従って実施されている。つまり、コーポレート・ガバナンス報告書に対する私たちの検討は、国際監査基準及びスウェーデンで一般に認められた監査基準に従って実施される監査とは着目点が異なり、その範囲も大幅に限定されている。私たちは、この検討が私たちの意見を表明するための十分な根拠を提供していると考えている。コーポレート・ガバナンス報告書が作成されている。スウェーデン年次報告法第6章第6節第2項2-6号及び同法第7章第31節第2項に基づく開示は、年次財務諸表及び連結財務諸表の他の部分と整合しており、信用機関及び証券会社に係る年次報告法に準拠している。

法定サステナビリティ・レポートに関する監査人の意見

取締役会は、15ページの法定サステナビリティ・レポートについて同レポートがスウェーデン年次報告法の2024年7月1日より前に適用された旧版に準拠して作成されたことについて責任を負う。

私たちは、FARの監査基準RevR12「法定サステナビリティ・レポートに関する監査人の意見」に準拠して検証を実施した。これは、法定サステナビリティ・レポートに関する私たちの検討が、国際監査基準及びスウェーデンにおいて一般に公正妥当と認められる監査基準に準拠して実施される監査とは着目点が異なり、範囲が遥かに狭いことを意味する。私たちは、この検討で私たちの意見表明に十分な基礎を入手したと判断している。

法定サステナビリティ・レポートが作成されている。

ストックホルム、Torsgatan 21, 11397 に所在するプライス・ウォーターハウス・クーパース・エイ・ビーは、2024年3月20日に開催された年次株主総会において、スヴェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクトの監査人に指名され、2017年3月29日より同社の監査人を務めている。

ストックホルム、Rehmsgatan 11, 11357 に所在するデロイト・エイ・ビーは、2024年3月20日に開催された定時株主総会において、スヴェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクトの監査人に指名され、2023年3月22日より同社の監査人を務めている。

ストックホルム、2025年2月26日

プライス・ウォーターハウス・クーパース・
エイ・ビー

マグナス・スヴェンソン・ヘンリーソン
公認会計士

デロイト・エイ・ビー

マリン・ルーニング
公認会計士

[次へ](#)

Revisionsberättelse

Till bolagsstämman i Svenska Handelsbanken AB (publ), org.nr 502007-7862

Rapport om årsredovisningen och koncernredovisningen

Uttalanden

Vi har utfört en revision av årsredovisningen och koncernredovisningen för Svenska Handelsbanken AB (publ) för år 2024 med undan- tag för hållbarhetsrapporten på sidan 15 och bolagsstyrningsrapporten på sidorna 40—57. Bolagets årsredovisning och koncernredovis- ning ingår på sidorna 10—247 i detta dokument.

Enligt vår uppfattning har årsredovisningen upprättats i enlighet med lagen om årsredovis- ning i kreditinstitut och värdepappersbolag och ger en i alla väsentliga avseenden rätt- visande bild av moderbolagets finansiella ställ- ning per den 31 december 2024 och av dess finansiella resultat och kassaflöde för året enligt lagen om årsredovisning i kreditinstitut och värdepappersbolag. Koncernredovis- ningen har upprättats i enlighet med lagen om årsredovisning i kreditinstitut och värdepap- persbolag och ger en i alla väsentliga avseen- den rättvisande bild av koncernens finansiella ställning per den 31 december 2024 och av dess finansiella resultat och kassaflöde för året enligt IFRS Redovisningsstandarder såsom de antagits av EU, och lagen om årsredovisning i kreditinstitut och värdepappersbolag. Våra uttalanden omfattar inte bolagsstyrningsrap- porten på sidorna 40—57 och hållbarhetsrap- porten på sidan 15.

Förvaltningsberättelsen är förenlig med års- redovisningens och koncernredovisningens övriga delar. Vi tillstyrker därför att bolags- stämman fastställer resultaträkningen och balansräkningen för moderbolaget och koncernen.

Våra uttalanden i denna rapport om årsredo- visningen och koncernredovisningen är för- enliga med innehållet i den kompletterande rapport som har överlämnats till moderbola- gets revisionsutskott i enlighet med Revisors- förordningens (537/2014) artikel 11.

Grund för uttalanden

Vi har utfört revisionen enligt International Standards on Auditing (ISA) och god revisions- sed i Sverige. Vårt ansvar enligt dessa standarder beskrivs närmare i avsnittet Revi- sorns ansvar. Vi är oberoende i förhållande till moderbolaget och koncernen enligt god revi- sorssed i Sverige och har i övrigt fullgjort vårt yrkesetiska ansvar enligt dessa krav. Detta innefattar att, baserat på vår bästa kunskap och övertygelse, inga förbjudna tjänster som avses i revisorsförordningens (537/2014) artikel 5.1 har tillhandahållits det granskade bolaget eller, i förekommande fall, dess moderföretag eller dess kontrollerade företag inom EU.

Vi anser att de revisionsbevis vi har inhämtat är tillräckliga och ändamålsenliga som grund för våra uttalanden.

Särskilt betydelsefulla områden

Särskilt betydelsefulla områden för revisionen är de områden som enligt vår professionella bedömning var de mest betydelsefulla för revi- sionen av årsredovisningen och koncernredo- visningen för den aktuella perioden. Dessa områden behandlas inom ramen för revisionen av, och i vårt ställningstagande till, årsredovis- ningen och koncernredovisningen som helhet, men vi gör inga separata uttalanden om dessa områden. Beskrivningen nedan av hur revisio- nen genomfördes inom dessa områden ska läsas i detta sammanhang.

Vi har fullgjort de skyldigheter som beskrivs i avsnittet Revisorns ansvar i vår rapport om årsredovisningen också inom dessa områden. Därmed genomfördes revisionsåtgärder som utformats för att beakta vår bedömning av risk för väsentliga felaktigheter i årsredovisningen och koncernredovisningen. Utfallet av vår granskning och de granskningsåtgärder som genomförts för att behandla de områden som framgår nedan utgör grunden för vår revisions- berättelse.

Särskilt betydelsefullt område	Hur vår revision beaktade det särskilt betydelsefulla området
Reservering för förväntade kreditförluster	
Detaljerade upplysningar och beskrivning av området lämnas i årsredovisningen och koncernredovisningen. Kreditriskexponeringar och dess hantering beskrivs i not K2. Koncernens redovisade förväntade kreditförluster specificeras i not K10. Upplysningar avseende moderbolaget finns i not M2 och M10. För området relevanta redovisningsprinciper för koncernen beskrivs i not K1, avsnitt 6 och avsnitt 13. Av not M1 framgår att moderbolagets redovisningsprinciper avseende kreditgivning och reserveringar för förväntade kreditförluster överens- stämmer med koncernens redovisningsprinciper.	

Per den 31 december 2024 uppgår utlåning till allmänheten till 2 297 878 mkr (524 171) i koncernen (moderbolaget) vilket motsvarar 65% (23%) av totala tillgångar. Den totala kredit- riskexponeringen, inklusive åtaganden utanför balansräkningen, uppgår till 3 699 017 mkr (2 952 370). Reservering för förväntade kreditförluster för utlåning till allmänheten uppgår till 1 609 mkr (836) varav 538 mkr (169) baseras på modell- och expertbaserade beräkningar (Steg 1 och 2) och 1 071 mkr (666) på manuella beräkningar (Steg 3). Banken utför expertbaserade justeringar för modellberäknade reserver i Steg 1 och 2 för att beakta effekter från faktorer som inte bedöms fångas upp av modellen. Förlustreserven ska värderas på ett sätt som återspeglar ett objektivt och sannolikhetsvägt belopp som bestäms genom att utvärdera ett intervall av möjliga utfall och baseras på tidigare händelser, nuvarande förhållanden och prognoser för framtida ekonomiska förutsättningar. Reserveringen kräver att Banken gör bedömningar och antaganden av exempelvis kriterier för att identifiera en väsentlig ökning i kreditrisk och metoder för att beräkna förväntade kreditförluster. Givet komplexiteten vid beräkningen och att det kräver att Banken gör bedömningar och antaganden med väsentlig påverkan på redovisade belopp har värdering av reserven för förväntade kreditförluster ansetts vara ett särskilt betydelsefullt område.	Vi har utvärderat huruvida Bankens bedömning av sannolikhet för fallissemang, förlust vid fallissemang, exponering vid fallissemang och förväntad kreditförlust samt väsentlig ökning av kreditrisk är i enlighet med IFRS 9. Vi har erhållit förståelse för och testat utformningen av nyckelkontroller i kreditprocessen inklusive kreditbeslut, kreditgranskning, ratingklassificering samt identifiering och fastställande av krediter som bedöms vara i fallissemang. Vi har även testat kontroller avseende inläsning av modelldata och generella IT-kontroller inklusive behörighetshantering. Vidare har vi granskat bankens initiala och aktuella kreditrating för ett stickprov av krediter. Vi har testat att data från underliggande system som används i modellen är fullständig och korrekt. Vi har granskat och bedömt modellen som används inklusive antagande och parameter samt kontrollerat modellens funktionalitet. Vi har granskat och rimligheten i den makro- ekonomiska data som används. Vi har även bedömt rimligheten i de manuella justeringar, inklusive add-ons, som utförts av Banken. I vår revision har vi använt våra interna modell- specialister för att bistå oss i de granskningsåtgärder vi utfört. Vi har även granskat att lämnade upplysningar i de finansiella rapporterna angående reservering för förväntade kreditförluster är ändamålsenliga.

Särskilt betydelsefullt område	Hur vår revision beaktade det särskilt betydelsefulla området
Värdering av finansiella instrument där marknadspriser saknas	
Detaljerade upplysningar och beskrivning av området lämnas i årsredovisningen och koncernredovisningen. Finansiella instrument värderade till verkligt värde beskrivs i not K42 för koncernen och M37 för moderbolaget. För området relevanta redovisningsprinciper för koncernen beskrivs i not K1, avsnitt 5 på sid 72. Av not M1 framgår att moderbolagets redovisnings- principer avseende finansiella instrument värderade till verkligt värde överensstämmer med koncernens redovisningsprinciper.	
Banken har finansiella instrument där aktuella marknadspriser saknas varför verkligt värde bestäms utifrån värderingsmodeller som bygger på marknadsdata. Dessa finansiella instrument kategoriseras i nivå 2 enligt IFRS värderingshierarki. Svenska Handelsbanken har även i viss omfattning finansiella instrument vars värdering till verkligt värde bestäms utifrån värderingsmodeller där värdet påverkas av indata som inte går att verifiera med externa marknads- uppgifter. Dessa finansiella instrument kategoriseras i nivå 3 enligt IFRS värderingshierarki. Koncernen (moderbolaget) har finansiella tillgångar och finansiella skulder i nivå 2 om 52 852 mkr (73 669) respektive 19 390 mkr (30 901). Finansiella tillgångar och skulder i nivå 3 uppgår till 194 mkr (179) respektive 17 mkr (17). Finansiella instrument i nivå 2 utgörs främst av derivatkontrakt, däribland ränteswappar och olika typer av linjära valutaderivat, fondandelar, samt räntebärande instrument. Dessa instrument värderas med värderingsmodeller som bygger på marknadsräntor och andra marknads- priser. Finansiella instrument i nivå 3 utgörs främst av onoterade aktier i gemensamägda bolag och placeringstillgångar i försäkringsrörelsen. Givet komplexiteten vid beräkningar och att det kräver att Banken gör bedömningar med väsentlig påverkan på redovisade belopp har värdering av finansiella instrument där marknadspriser saknas bedömts vara ett särskilt betydelsefullt område.	Vi har utvärderat huruvida Bankens metod för värdering av finansiella instrument där marknadspriser saknas inklusive klassificering i värderingshierarki är i enlighet med IFRS 13. Vi har testat nyckelkontroller i värderingsprocessen, innefattande bankens fastställande och godkännande av antaganden och metoder som använts i modellbaserade beräkningar, kontroller av datakvalitet samt förändringshantering avseende interna värderingsmodeller. Vi har även testat generella IT-kontroller inklusive behörighetshantering. Vidare har vi bedömt de metoder och antaganden som används vid värdering av finansiella instrument där marknadsvärden saknas. Vi har jämfört värderingsmodellerna mot värderingsriktlinjer och branschpraxis. Vi har jämfört använda antaganden med lämpliga referensvärden och priskällor och undersökt betydande avvikelser. Vi har kontrollerat rimligheten i beräkningarna genom att stickprovvis utföra egna oberoende värderingar. I revisionen har vi använt våra interna värderingsspecialister för att bistå oss i utvalda granskings- åtgärder. Vi har även granskat att lämnade upplysningar i de finansiella rapporterna angående värdering av finansiella instrument till verkligt värde är ändamålsenliga.

Annan information än årsredovisningen och koncernredovisningen

Detta dokument innehåller även annan information än årsredovisningen och koncernredovisningen och återfinns på sidorna 1—9 och 254—382. Även ersättningsrapporten för räkenskapsåret 2024 utgör annan information. Det är styrelsen och verkställande direktören som har ansvaret för denna andra information.

Vårt uttalande avseende årsredovisningen och koncernredovisningen omfattar inte denna information och vi gör inget uttalande med bestyrkande avseende denna andra information.

I samband med vår revision av årsredovisningen och koncernredovisningen är det vårt ansvar att läsa den information som identifieras ovan och överväga om informationen i väsentlig utsträckning är oförenlig med årsredovisningen och koncernredovisningen. Vid denna genomgång beaktar vi även den kunskap vi i övrigt inhämtat under revisionen samt bedömer om informationen i övrigt verkar innehålla väsentliga felaktigheter.

Om vi, baserat på det arbete som har utförts avseende denna information, drar slutsatsen att den andra informationen innehåller en väsentlig felaktighet, är vi skyldiga att rapportera detta. Vi har inget att rapportera i det avseendet.

Styrelsens och verkställande direktörens ansvar

Det är styrelsen och verkställande direktören som har ansvaret för att årsredovisningen och koncernredovisningen upprättas och att de ger en rättvisande bild enligt lagen om årsredovisning i kreditinstitut och värdepappersbolag och, vad gäller koncernredovisningen, enligt IFRS Redovisningsstandards såsom de antagits av EU. Styrelsen och verkställande direktören ansvarar även för den interna kontroll som de bedömer är nödvändig för att upprätta en årsredovisning och koncernredovisning som inte innehåller några väsentliga felaktigheter, vare sig dessa beror på oegentligheter eller misstag.

Vid upprättandet av årsredovisningen och koncernredovisningen ansvarar styrelsen och verkställande direktören för bedömningen av bolagets och koncernens förmåga att fortsätta verksamheten. De upplyser, när så är tillämpligt, om förhållanden som kan påverka förmågan att fortsätta verksamheten och att använda antagandet om fortsatt drift. Antagandet om fortsatt drift tillämpas dock inte om styrelsen och verkställande direktören avser att likvidera bolaget, upphöra med verksamheten eller inte har något realistiskt alternativ till att göra något av detta.

Styrelsens revisionsutskott ska, utan att det påverkar styrelsens ansvar och uppgifter i övrigt, bland annat övervaka bolagets finansiella rapportering.

Revisorns ansvar

Våra mål är att uppnå en rimlig grad av säkerhet om huruvida årsredovisningen och koncernredovisningen som helhet inte innehåller några väsentliga felaktigheter, vare sig dessa beror på oegentligheter eller misstag, och att lämna en revisionsberättelse som innehåller våra uttalanden. Rimlig säkerhet är en hög grad av säkerhet, men är ingen garanti för att en revision som utförs enligt ISA och god revisionssed i Sverige alltid kommer att upptäcka en väsentlig felaktighet om en sådan finns. Felaktigheter kan uppstå på grund av oegentligheter eller misstag och anses vara väsentliga om de enskilt eller tillsammans rimligen kan förväntas påverka de ekonomiska beslut som användare fattar med grund i årsredovisningen och koncernredovisningen.

Som del av en revision enligt ISA använder vi professionellt omdöme och har en professionellt skeptisk inställning under hela revisionen.

Dessutom:

- identifierar och bedömer vi riskerna för väsentliga felaktigheter i årsredovisningen och koncernredovisningen, vare sig dessa beror på oegentligheter eller misstag, utför- mar och utför granskningsåtgärder bland annat utifrån dessa risker och inhämtar revisionsbevis som är tillräckliga och ändamåls- enliga för att utgöra en grund för våra uttalanden. Risken för att inte upptäcka en väsentlig felaktighet till följd av oegentligheter är högre än för en väsentlig felaktighet som beror på misstag, eftersom oegentligheter kan innefatta agerande i maskopi, förfälskning, avsiktliga utelämnanden, felaktig information eller åsidosättande av intern kontroll.
- skaffar vi oss en förståelse av den del av bolagets interna kontroll som har betydelse för vår revision för att utforma gransknings- åtgärder som är lämpliga med hänsyn till omständigheterna, men inte för att uttala oss om effektiviteten i den interna kontrollen.
- utvärderar vi lämpligheten i de redovisnings- principer som används och rimligheten i styrelsens och verkställande direktörens uppskattningar i redovisningen och tillhörande upplysningar.
- drar vi en slutsats om lämpligheten i att styrelsen och verkställande direktören använder antagandet om fortsatt drift vid upprättandet av årsredovisningen och koncernredovisningen. Vi drar också en slutsats, med grund i de inhämtade revisionsbevisen, om huru-

vida det finns någon väsentlig osäkerhets- faktor som avser sådana händelser eller förhållanden som kan leda till betydande tvivel om bolagets och koncernens förmåga att fortsätta verksamheten. Om vi drar slutsatsen att det finns en väsentlig osäkerhetsfaktor, måste vi i revisionsberättelsen fästa uppmärksamheten på upplysningarna i årsredovisningen och koncernredovisningen om den väsentliga osäkerhetsfaktorn eller, om sådana upplysningar är otillräckliga, modifiera uttalandet om årsredovisningen och koncernredovisningen. Våra slutsatser baseras på de revisionsbevis som inhämtas fram till datumet för revisionsberättelsen. Dock kan framtida händelser eller förhållanden göra att ett bolag och en koncern inte längre kan fortsätta verksamheten.

- utvärderar vi den övergripande presentationen, strukturen och innehållet i årsredovisningen och koncernredovisningen, däribland upplysningarna, och om årsredovisningen och koncernredovisningen återger de underliggande transaktionerna och händelserna på ett sätt som ger en rättvisande bild.
- inhämtar vi tillräckliga och ändamålsenliga revisionsbevis avseende den finansiella informationen för enheterna eller affärs- aktiviteterna inom koncernen för att göra ett uttalande avseende koncernredovisningen. Vi ansvarar för styrning, övervakning och utförande av koncernrevisionen. Vi är ensamt ansvariga för våra uttalanden.

Vi måste informera styrelsen om bland annat revisionens planerade omfattning och inriktning samt tidpunkten för den. Vi måste också informera om betydelsefulla iakttagelser under revisionen, däribland de eventuella betydande brister i den interna kontrollen som vi identifierat.

Vi måste också förse styrelsen med ett uttalande om att vi har följt relevanta yrkesetiska krav avseende oberoende, och ta upp alla relationer och andra förhållanden som rimligen kan påverka vårt oberoende, samt i tillämpliga fall åtgärder som har vidtagits för att eliminera hoten eller motåtgärder som har vidtagits.

Av de områden som kommuniceras med styrelsen fastställer vi vilka av dessa områden som varit de mest betydelsefulla för revisionen av årsredovisningen och koncernredovisningen, inklusive de viktigaste bedömda riskerna för väsentliga felaktigheter, och som därför utgör de för revisionen särskilt betydelsefulla områdena. Vi beskriver dessa områden i revisionsberättelsen såvida inte lagar eller andra författningar förhindrar upplysning om frågan.

Rapport om andra krav enligt lagar och andra författningar

Uttalanden

Utöver vår revision av årsredovisningen och koncernredovisningen har vi även utfört en revision av styrelsens och verkställande direkt- tōrens förvaltning för Svenska Handelsbanken AB (publ) för år 2024 samt av förslaget till dispositioner beträffande bolagets vinst eller förlust.

Vi tillstyrker att bolagsstämman disponerar vinsten enligt förslaget i förvaltningsberättelsen och beviljar styrelsens ledamöter och verkstäl- lande direktören ansvarsfrihet för räkenskaps- året.

Grund för uttalanden

Vi har utfört revisionen enligt god revisionssed i Sverige. Vårt ansvar enligt denna beskrivs närmare i avsnittet Revisorns ansvar. Vi är oberoende i förhållande till moderbolaget och

koncernen enligt god revisorssed i Sverige och har i övrigt fullgjort vårt yrkesetiska ansvar enligt dessa krav.

Vi anser att de revisionsbevis vi har inhämtat är tillräckliga och ändamålsenliga som grund för våra uttalanden..

Styrelsens och verkställande direktörens ansvar

Det är styrelsen som har ansvaret för förslaget till dispositioner beträffande bolagets vinst eller förlust. Vid förslag till utdelning innefattar detta bland annat en bedömning av om utdel- ningen är försvarlig med hänsyn till de krav som bolagets och koncernens verksamhetsart, omfattning och risker ställer på storleken av moderbolagets och koncernens egna kapital, konsolideringsbehov, likviditet och ställning i övrigt.

Styrelsen ansvarar för bolagets organisation och förvaltningen av bolagets angelägenheter. Detta innefattar bland annat att fortlöpande bedöma bolagets och koncernens ekono- miska situation, och att tillse att bolagets organisation är utformad så att bokföringen, medelsförvaltningen och bolagets ekono- miska angelägenheter i övrigt kontrolleras på ett betryggande sätt. Verkställande direktören ska sköta den löpande förvaltningen enligt styrelsens riktlinjer och anvisningar och bland annat vidta de åtgärder som är nödvändiga för att bolagets bokföring ska fullgöras i överens- stämmelse med lag och för att medelsförvalt- ningen ska skötas på ett betryggande sätt.

Revisorns ansvar

Vårt mål beträffande revisionen av förvalt- ningen, och därmed vårt uttalande om ansvarsfrihet, är att inhämta revisionsbevis för att med en rimlig grad av säkerhet kunna bedöma om någon styrelseledamot eller verkställande direktören i något väsentligt avseende

- företagit någon åtgärd eller gjort sig skyldig till någon försummelse som kan föranleda ersättningsskyldighet mot bolaget, eller
- på något annat sätt handlat i strid med aktiebolagslagen, lagen om bank- och finansieringsrörelse, lagen om årsredovis- ning i kreditinstitut och värdepappersbolag eller bolagsordningen.

Vårt mål beträffande revisionen av förslaget till dispositioner av bolagets vinst eller förlust, och därmed vårt uttalande om detta, är att med

rimlig grad av säkerhet bedöma om förslaget är förenligt med aktiebolagslagen.

Rimlig säkerhet är en hög grad av säkerhet, men ingen garanti för att en revision som utförs enligt god revisionssed i Sverige alltid kommer att upptäcka åtgärder eller försummelser som kan föranleda ersättningsskyldighet mot bola- get, eller att ett förslag till dispositioner av bolagets vinst eller förlust inte är förenligt med aktiebolagslagen.

Som en del av en revision enligt god revi- sionssed i Sverige använder vi professionellt omdöme och har en professionellt skeptisk in- ställning under hela revisionen. Granskningen av förvaltningen och förslaget till dispositioner av bolagets vinst eller förlust grundar sig främst på revisionen av räkenskaperna. Vilka tillkommande granskningsåtgärder som utförs baseras på vår professionella bedömning med utgångspunkt i risk och väsentlighet. Det inne-

bär att vi fokuserar granskningen på sådana åtgärder, områden och förhållanden som är väsentliga för verksamheten och där avsteg och överträdelser skulle ha särskild betydelse för bolagets situation. Vi går igenom och prövar fattade beslut, beslutsunderlag, vidtagna åt- gärder och andra förhållanden som är relevanta för vårt uttalande om ansvarsfrihet. Som under- lag för vårt uttalande om styrelsens förslag till dispositioner beträffande bolagets vinst eller förlust har vi granskat styrelsens motiverade yttrande samt ett urval av underlagen för detta för att kunna bedöma om förslaget är förenligt med aktiebolagslagen.

Revisorns granskning av Esef-rapporten

Uttalanden

Utöver vår revision av årsredovisningen och koncernredovisningen har vi även utfört en granskning av att styrelsen och verkställande direktören har upprättat årsredovisningen och koncernredovisningen i ett format som möjliggör enhetlig elektronisk rapportering (Esef-rapporten) enligt 16 kap. 4 a § lagen (2007:528) om värdepappersmarknaden för Svenska Handelsbanken AB (publ) för år 2024.

Vår granskning och vårt uttalande avser endast det lagstadgade kravet.

Enligt vår uppfattning har Esef-rapporten upprättats i ett format som i allt väsentligt möjliggör enhetlig elektronisk rapportering.

Grund för uttalanden

Vi har utfört granskningen enligt FARs rekommendation RevR 18 Revisorns granskning av Esef-rapporten. Vårt ansvar enligt denna rekommendation beskrivs närmare i avsnittet Revisorns ansvar. Vi är oberoende i förhållande till Svenska Handelsbanken AB (publ) enligt god revisorssed i Sverige och har i övrigt fullgjort vårt yrkesetiska ansvar enligt dessa krav.

Vi anser att de bevis vi har inhämtat är tillräckliga och ändamålsenliga som grund för vårt uttalande.

Styrelsens och verkställande direktörens ansvar

Det är styrelsen och verkställande direktören som har ansvaret för att Esef-rapporten har upprättats i enlighet med 16 kap. 4 a § lagen (2007:528) om värdepappersmarknaden, och för att det finns en sådan intern kontroll som styrelsen och verkställande direktören bedömer nödvändig för att upprätta Esef-rapporten utan väsentliga felaktigheter, vare sig dessa beror på oegentligheter eller misstag.

Revisorns ansvar

Vår uppgift är att uttala oss med rimlig säkerhet om Esef-rapporten i allt väsentligt är upprättad i ett format som uppfyller kraven i 16 kap. 4 a § lagen (2007:528) om värdepappersmarknaden, på grundval av vår granskning.

RevR 18 kräver att vi planerar och genomför våra granskningsåtgärder för att uppnå rimlig säkerhet att Esef-rapporten är upprättad i ett format som uppfyller dessa krav.

Rimlig säkerhet är en hög grad av säkerhet, men är ingen garanti för att en granskning som utförs enligt RevR 18 och god revisionssed i Sverige alltid kommer att upptäcka en väsentlig felaktighet om en sådan finns. Felaktigheter kan uppstå på grund av oegentligheter eller misstag och anses vara väsentliga om de enskilt eller tillsammans rimligen kan förväntas påverka de ekonomiska beslut som användare fattar med grund i Esef-rapporten.

Revisionsföretagen tillämpar International Standard on Quality Management 1, som kräver att företagen utformar, implementerar och hanterar ett system för kvalitetsstyrning inklusive riktlinjer eller rutiner avseende efterlevnad av yrkesetiska krav, standarder för yrkesutövningen och tillämpliga krav i lagar och andra författningar.

Granskningen innefattar att genom olika åtgärder inhämta bevis om Esef-rapporten har upprättats i ett format som möjliggör enhetlig elektronisk rapportering av årsredovisningen och koncernredovisning. Revisorn väljer vilka åtgärder som ska utföras, bland annat genom att bedöma riskerna för väsentliga felaktigheter i rapporteringen vare sig dessa beror på oegentligheter eller misstag. Vid denna riskbedömning beaktar revisorn de delar av den interna kontrollen som är relevanta för hur styrelsen och verkställande direktören tar fram underlaget i syfte att utforma granskningsåtgärder som är ändamålsenliga med hänsyn till omständigheterna, men inte i syfte att göra ett uttalande om effektiviteten i den interna kontrollen. Granskningen omfattar också en utvärdering av ändamålsenligheten och rimligheten i styrelsens och verkställande direktörens antaganden.

Granskningsåtgärderna omfattar huvudsakligen validering av att Esef-rapporten upprättats i ett giltigt XHTML-format och en avstämning av att Esef-rapporten överensstämmer med den granskade årsredovisningen och koncernredovisningen.

Vidare omfattar granskningen även en bedömning av huruvida koncernens resultat-, balans- och eget kapitalräkningar, kassaflödesanalys samt noter i Esef-rapporten har märkts med iXBRL i enlighet med vad som följer av Esef-förordningen.

Revisorns granskning av bolagsstyrningsrapporten

Det är styrelsen som har ansvaret för bolagsstyrningsrapporten på sidorna 40–57 och för att den är upprättad i enlighet med årsredovisningslagen.

Vår granskning har skett enligt FARs rekommendation RevR 16 Revisorns granskning av bolagsstyrningsrapporten. Detta innebär att vår granskning av bolagsstyrningsrapporten har en annan inriktning och en väsentligt mindre omfattning jämfört med den inriktning och omfattning som en revision enligt International Standards on Auditing och god revisionssed i

Sverige har. Vi anser att denna granskning ger oss tillräcklig grund för våra uttalanden.

En bolagsstyrningsrapport har upprättats. Upplýsingar i enlighet med 6 kap. 6 § andra stycket punkterna 2–6 årsredovisningslagen samt 7 kap. 31 § andra stycket samma lag är förenliga med årsredovisningens och koncernredovisningens övriga delar samt är i överensstämmelse med lagen om årsredovisning i kreditinstitut och värdepappersbolag.

Revisorns yttrande avseende den lagstadgade hållbarhetsrapporten

Det är styrelsen som har ansvaret för hållbarhetsrapporten på sida 15 och för att den är upprättad i enlighet med årsredovisningslagen i enlighet med den äldre lydelsen som gällde före den 1 juli 2024.

Vår granskning har skett enligt FARs rekommendation RevR 12 Revisorns yttrande om den lagstadgade hållbarhetsrapporten. Detta

innebär att vår granskning av hållbarhetsrapporten har en annan inriktning och en väsentligt mindre omfattning jämfört med den inriktning och omfattning som en revision enligt International Standards on Auditing och god revisionssed i Sverige har. Vi anser att denna granskning ger oss tillräcklig grund för vårt uttalande.

En hållbarhetsrapport har upprättats.

PricewaterhouseCoopers AB, Torsgatan 21, 113 97 Stockholm, utsågs till Svenska Handelsbanken AB (publ)s revisor av bolagsstämman den 20 mars 2024 och har varit bolagets revisor sedan 29 mars 2017.

Deloitte AB, Rehnsgatan 11, 113 57 Stockholm, utsågs till Svenska Handelsbanken AB (publ)s revisor av bolagsstämman den 20 mars 2024 och har varit bolagets revisor sedan 22 mars 2023.

Stockholm den 26 februari 2025

PricewaterhouseCoopers AB

Deloitte AB

Magnus Svensson Henryson

Malin Lüning

Auktoriserad revisor

Auktoriserad revisor

(※) 上記は、独立監査人の監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものです。その原本は本有価証券報告書提出会社が別途保管しております。